
PeopleSoft HCM 9.2: アプリケーション の基礎

January 2014

ライセンス制約の保証と結果的に生じる損害の免責

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

保証免責

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクルまでご連絡ください。

制限付権利

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS: Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

危険な用途への使用について

このソフトウェアまたはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアまたはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション(人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む)への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアまたはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用了ことに起因して損害が発生しても、Oracle Corporationおよびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

商標と登録商標について

OracleおよびJavaはオラクルおよびその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD

Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

第三者のコンテンツ、製品、サービスに対する免責

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に別段の定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。適用されるお客様とOracle Corporationとの間の契約に定めがある場合を除いて、Oracle Corporationおよびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

ドキュメントのアクセシビリティについて

オラクルのアクセシビリティについての詳細情報は、Oracle Accessibility ProgramのWeb サイト(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=docacc>)を参照してください。

Oracle Supportへのアクセス

サポートをご契約のお客様には、My Oracle Supportを通して電子支援サービスを提供しています。詳細情報は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=info>)か、聴覚に障害のあるお客様は(<http://www.oracle.com/pls/topic/lookup?ctx=acc&id=trs>)を参照してください。

目次

はじめに.....	xxxvii
PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について.....	xxxvii
PeopleSoft ホスト ドキュメント.....	xxxvii
ローカルにインストールされたヘルプ.....	xxxvii
ダウンロード可能な PeopleBook のPDF ファイル.....	xxxviii
共通のヘルプ ドキュメント.....	xxxviii
フィールドおよびコントロールの定義.....	xxxviii
表記規則.....	xxxviii
ISO の国コードおよび通貨コード.....	xxxix
地域および業種の識別子.....	xxxix
PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理.....	xl
遅延処理.....	xl
PeopleSoft HCM で使用する共通エレメント.....	xli
標準ページ エレメント定義.....	xli
共通グループ ボックス - 氏名.....	xliv
共通グループ ボックス - 給与コンポーネント.....	xlvi
PeopleSoft HCM の関連リンク.....	xlvi
連絡先.....	xlvi
フォロー.....	xlvi
第1章: PeopleSoft HCM - はじめに.....	49
PeopleSoft HCM の概要.....	49
PeopleSoft HCM の統合.....	49
PeopleSoft HCM の導入.....	49
第2章: HCM について.....	51
コントロール テーブル、トランザクション テーブル、およびプロンプト テーブル.....	51
ビジネス ユニット、テーブルセットおよびセットID.....	52
有効日.....	52
個人構造とポジション構造.....	53
第3章: HCM におけるシステム データ規定の使い方.....	57
PeopleSoft HCM システム データ規定について.....	57
ビジネス ユニットとセットID の設定に使用するコンポーネント.....	57
前提条件.....	58
ビジネス ユニットの使い方.....	58
ビジネス ユニットについて.....	58
ビジネス ユニット構造の決定.....	59
テーブルセットの使い方.....	63
テーブルセットについて.....	63
テーブルセット共有の設定.....	67
データ セットの制御.....	67
複数のセットID の参照.....	68

権限リストとシステム デフォルトの使い方.....	73
権限リストへの関連付け.....	73
ビジネス ユニット HR デフォルトの定義.....	74
システムによるデフォルト値の決定.....	76
第4章: 法定区域の使い方.....	77
法定区域について.....	77
法定区域テーブルの相互関係について.....	77
法定区域の設定.....	78
法定区域とトランザクションの関連付け.....	79
法定区域とトランザクションについて.....	79
法定区域の管理.....	79
トランザクション処理の法定区域の使い方.....	80
デフォルト法定区域の設定.....	81
PeopleCode トランザクション処理への影響の確認.....	82
REG_REGION のプロンプト編集トランザクション ビューの作成.....	82
ヒューマン リソース管理トランザクションへの REG_REGION の追加.....	84
第5章: HCM セキュリティの設定と管理.....	87
PeopleSoft のセキュリティについて.....	87
HCM のデータ権限セキュリティについて.....	92
データ セキュリティとデータ取得.....	93
セキュリティ データ.....	96
セキュリティ結合テーブル.....	102
セキュリティ セットとセキュリティ アクセス タイプ.....	111
HCM セキュリティ プロセス フロー.....	115
HCM データ権限の例.....	116
データ権限セキュリティの導入.....	117
データ権限セキュリティの導入に使用するページ.....	118
将来の日付のセキュリティについて.....	118
特殊な職務のセキュリティ オプションについて.....	120
セキュリティ インストール設定ページ.....	120
セキュリティ セット テーブル ページ.....	123
セキュリティ更新グループ ページ.....	125
セキュリティ タイプ テーブル ページ.....	126
セキュリティ タイプ SQL ページ.....	128
ツリー ベースのデータ権限の設定と割り当て.....	130
ツリー ベース権限の設定と割り当てに使用するページ.....	131
部門セキュリティ ツリーによるデータ権限セキュリティについて.....	131
セキュリティ ツリーの構築と修正.....	134
セキュリティ ツリー検証レポート ページ.....	137
部門ツリー セキュリティ ページ.....	138
SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ.....	139
ロール ベース データ権限セキュリティの権限リストへの割り当て.....	140
ロール ベース データ権限セキュリティの権限リストへの割り当てに使用するページ.....	140
権限リスト別セキュリティ ページ.....	140

セキュリティ結合テーブルのリフレッシュ.....	142
セキュリティのリフレッシュに使用するページ.....	142
リフレッシュ プロセスを使用するタイミングについて.....	143
夜間の SJT リフレッシュ処理ページ.....	149
トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ.....	151
SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ.....	152
SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ.....	153
データ権限セキュリティの照会.....	155
データ権限セキュリティの照会に使用するページ.....	155
データ権限の照会について.....	156
検索ビューの検索ページ.....	157
セキュリティ データの表示ページ.....	159
ユーザー セキュリティ データ ページ.....	163
SJT_PERSON 検索ページ.....	165
SJT_DEPT 検索ページ.....	167
HRS_SJT_JO 検索ページ.....	168
管理者用データ権限セキュリティの設定.....	169
管理者用行セキュリティ プロセスに使用するページ.....	170
管理者のデータ権限について.....	170
管理者ユーザーとセキュリティの作成ページ.....	171
ユーザー ID の作成とロック.....	172
ユーザー ID の作成とロックに使用するページ.....	172
ユーザー ID のセキュリティについて.....	172
ユーザー ID を作成およびロックする際に使用する共通フィールド.....	173
ユーザーの作成ページ.....	173
ユーザーのロック ページ.....	175
国別機能のセキュリティ設定.....	175
国別機能へのアクセス許可に使用するページ.....	176
国別機能のセキュリティについて.....	176
グローバル セキュリティの設定ページ.....	176
除外コンポーネント ページ.....	177
データ権限セキュリティの修正.....	178
採用および異動のためのセキュリティの修正.....	178
ユーザー各自によるデータ更新の許可.....	179
第6章: PeopleSoft HCM の設定とインストール.....	181
導入デフォルトの設定.....	181
導入デフォルトの設定とレポートに使用するページ.....	181
導入デフォルトについて.....	182
製品ページ.....	182
HCM オプション ページ.....	184
製品別設定ページ.....	188
国別指定ページ.....	193
国別機能インストール ページ.....	195
自動採番ページ.....	196

サードパーティ/システム ページ.....	199
フリガナ ページ.....	200
PeopleTools オプション ページの HCM オプションの設定.....	201
国コードの管理.....	202
国コードの管理に使用するページ.....	202
国コードについて.....	203
国名ページ.....	203
住所フォーマット ページ.....	204
有効な住所ページ.....	205
国テーブル - HR ページ.....	206
都道府県/州ページ.....	208
法定区域の設定.....	209
法定区域の設定に使用するページ.....	209
法定区域ページ.....	210
法定トランザクション タイプの設定.....	212
法定トランザクション タイプの更新または追加に使用するページ.....	212
法定トランザクション タイプについて.....	212
タイプ別法定区域ページ.....	212
個人情報のインストール.....	213
個人情報のインストールに使用するページ.....	213
個人情報のインストール ページ.....	214
第7章: 検索/マッチングの設定と使い方.....	217
検索/マッチングについて.....	217
自動検索.....	218
自動検索条件について.....	219
検索/マッチングの設定.....	220
検索/マッチングの設定に使用するページ.....	220
検索/マッチング ルール ページ.....	221
検索パラメータ ページ.....	223
検索の権限ページ.....	225
検索/マッチング結果フィールド ページ.....	227
検索/マッチング結果 - 検索結果ページ.....	228
検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細.....	230
検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページ.....	231
検索結果の権限ページ.....	232
検索/マッチングの使い方.....	234
検索/マッチングに使用するページ.....	234
検索ボックスによる検索と検索/マッチングの違いについて.....	234
検索条件ページ.....	235
検索結果ページ.....	239
第8章: 外部検索/マッチングの設定と使い方.....	243
外部システム インテグレーションについて.....	243
外部検索/マッチングについて.....	243
検索方法.....	244

外部検索/マッチング Web サービスについて.....	246
検索結果.....	248
外部検索/マッチングの設定.....	249
外部検索/マッチング機能の設定に使用するページ.....	249
前提条件.....	249
外部システム インテグレーション ページ.....	250
外部システムによる検索/マッチング ページ.....	250
外部検索/マッチングの使い方.....	252
外部検索/マッチングに使用するページ.....	253
検索条件ページ.....	253
統合検索結果ページ.....	255
個人情報詳細ページ.....	260
地域ページ.....	262
第9章: 言語の設定と使い方.....	265
PeopleSoft の言語サポートについて.....	265
使用言語の設定.....	266
ブラウザの使用言語の設定.....	266
使用言語の設定ページの使い方.....	266
フリガナ文字セットの使い方.....	267
フリガナについて.....	267
フリガナ システム アーキテクチャについて.....	268
フリガナ機能のシステム設定.....	271
フリガナ情報の入力.....	272
フリガナを使ったレコード検索.....	273
第10章: 通貨の設定と使い方.....	275
通貨について.....	275
通貨桁数の設定.....	275
通貨桁数について.....	275
通貨桁数機能のアクティブ化.....	276
通貨桁数とレポート作成.....	276
通貨桁数拡張に伴うデータベースの拡張.....	277
多通貨の表示.....	280
現在の為替レート計算に関する情報の表示.....	280
通貨設定レポートの実行.....	280
通貨設定レポートの実行に使用するページ.....	281
第11章: 周期の設定と使い方.....	283
周期 ID について.....	283
周期 ID.....	283
給与レートでの周期の使い方.....	285
給与計算での周期の使い方.....	286
給与レート換算での周期について.....	286
給与レートへの係数の適用.....	286
給与レートの他の周期への換算.....	288
職務データ給与レート周期.....	290

グローバル ペイロールにおける周期について.....	291
エレメント定義での周期の使い方.....	291
ジェネレーション コントロールと周期の使い方.....	293
カレンダー期間と周期の使い方.....	294
レート コードとシステム エレメントでの周期の使い方.....	295
Payroll for North America における周期について.....	295
給与周期および支給周期.....	296
給与レート計算の例.....	296
給与レートの比例配分.....	297
周期テーブル使用の例外.....	297
周期 ID と国別デフォルトの定義.....	297
周期 ID と国別デフォルトの定義に使用するページ.....	298
周期テーブル ページ.....	298
国別デフォルト周期ページ.....	300
第12章: 組織構造基本テーブルの設定.....	301
関係者タイプの設定.....	301
関係者タイプの設定に使用するページ.....	301
関係者タイプについて.....	301
関係者タイプ ページ.....	302
休日スケジュールの設定.....	304
休日スケジュールの設定に使用するページ.....	305
職務レコードの休日スケジュール デフォルトについて.....	305
休日スケジュール ページ.....	306
ビジネス ユニットの定義.....	308
ビジネス ユニットの更新に使用するページ.....	308
ビジネス ユニット ページ.....	308
ビジネス ユニット相互参照ページ.....	313
ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ.....	314
会社情報の入力.....	315
会社情報の入力に使用するページ.....	316
会社について.....	317
会社 - 会社所在地ページ.....	317
デフォルト設定ページ.....	320
(Payroll for North America) 一般会計負債勘定ページ.....	335
(USA) チップの処理ページ.....	337
(USA) 税詳細ページ.....	339
(BEL) 会社テーブル - BEL ページ.....	341
(BEL) 外部取扱機関 BEL ページ.....	342
会社 - 電話番号ページ.....	342
ルール定義ページ.....	343
(USF) 機関情報の入力.....	344
機関情報の入力に使用するページ.....	344
機関情報について.....	345
(USF) Payroll Interface Information ページ.....	345

事業所の定義.....	346
事業所の定義に使用するページ.....	347
事業所について.....	347
事業所住所ページ.....	348
事業所 - 電話番号ページ.....	356
所在地の設定.....	357
所在地の設定に使用するページ.....	357
所在地について.....	358
所在地住所 ページ.....	358
所在地プロフィール ページ.....	359
軍の所在地の設定.....	365
軍の所在地の設定に使用するページ.....	365
所在地 MIL ページ.....	365
所在地 MIL - 所在地住所ページ.....	366
(USF) 連邦政府勤務地の設定.....	367
(USF) 連邦政府勤務地の設定に使用するページ.....	367
連邦政府勤務地について.....	368
Locality Pay Area Table ページ.....	368
Geographic Location ページ.....	369
Location USF - Locations Address ページ.....	370
会社所在地の設定.....	371
会社所在地の設定に使用するページ.....	372
会社所在地ページ.....	372
部門の管理.....	372
部門の管理とレポートに使用するページ.....	373
部門について.....	373
部門プロフィール ページ.....	374
コミットメント会計/E&G ページ.....	381
部門の相互チェックを行う SQR 検証の実行.....	384
(USF) 連邦政府部門の設定.....	384
連邦政府部門の設定に使用するページ.....	384
Department Table ページ.....	384
プライマリ権限リストの基本設定.....	387
権限リストのデフォルト設定に使用するページ.....	387
プライマリ権限リストの基本設定について.....	387
プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ.....	387
プライマリ権限リスト基本設定 - 設定ページ.....	389
第13章: 個人情報基本テーブルの設定.....	391
市民権ステータス コードの定義.....	391
市民権ステータスの定義に使用するページ.....	391
市民権ステータス ページ.....	391
国民 ID タイプの定義.....	392
国民 ID タイプの定義に使用するページ.....	392
国民 ID タイプ ページ.....	392

敬称情報の設定.....	395
敬称情報の設定に使用するページ.....	395
敬称情報について.....	396
氏名タイプ ページ.....	396
氏名プレフィックス ページ.....	397
氏名サフィックス ページ.....	398
敬称プレフィックス ページ.....	399
敬称サフィックス ページ.....	400
住所タイプの定義.....	401
住所タイプの入力に使用するページ.....	402
住所タイプ ページ.....	402
第14章: 職務の設定.....	403
補助職種コードと職種コードの定義.....	403
職種コードと補助職種コードの定義に使用するページ.....	403
補助職種コードと職種コードについて.....	403
補助職種 ページ.....	403
職種 ページ.....	404
職務系列の定義.....	405
職務系列の設定に使用するページ.....	405
職務系列について.....	406
職務系列テーブル ページ.....	406
職務の分類.....	406
職務の分類に使用するページ.....	406
職務コードについて.....	407
職務コード プロファイル ページ.....	408
評価基準ページ.....	420
市場給与の一致ページ.....	423
デフォルト給与ページ.....	424
固定的賃金外給与ページ.....	427
業務の定義.....	427
業務の定義に使用するページ.....	427
業務について.....	428
職務作業内容テーブル ページ.....	428
支給グループの設定.....	429
支給グループの設定に使用するページ.....	429
支給グループについて.....	430
支給グループ テーブル - 定義ページ.....	431
プロセス コントロール ページ.....	434
支給グループ テーブル - 計算パラメータ ページ.....	437
(USA) FLSA 支給期間定義ページ.....	442
(E&G) 教育/公的機関の追加支給コード ページ.....	444
職務コードと支給グループのレポートの実行.....	445
職務コードと支給グループのレポートの実行に使用するページ.....	445
第15章: (USF) ヒューマン リソース管理テーブルの設定.....	447

連邦 HCM コントロール テーブルの設定.....	447
連邦 HCM コントロール テーブルの設定に使用するページ.....	447
連邦 HCM コントロール テーブルについて.....	448
Handicap Table ページ.....	449
Legal Authority ページ.....	449
Nature of Action Table ページ.....	450
Law Enforcement Officers Pay Area Table ページ.....	452
NOA/Legal Authority 1 ページ.....	453
Sub-Agency ページ.....	453
Personnel Office ID Table ページ.....	454
PAR Approving Officials Table ページ.....	455
Personnel Action Rqst Rmks ページ.....	456
Federal HCM 設定レポートの実行.....	458
Federal HCM 設定レポートの実行に使用するページ.....	459
プロジェクト コスト管理および一般会計ビジネス ユニット テーブルの表示.....	459
第16章: 銀行および銀行支店の設定.....	461
銀行および銀行支店の設定について.....	461
銀行の設定.....	461
(GBR) イギリスの銀行および住宅金融組合の設定.....	461
CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイス.....	462
銀行および銀行支店の設定.....	463
銀行および銀行支店の設定に使用するページ.....	463
銀行テーブル ページ.....	463
支店テーブル ページ.....	465
(BRA) 銀行支店 - ブラジル ページ.....	467
IBAN 情報の設定.....	467
IBAN 情報の設定に使用するページ.....	468
IBAN 設定について.....	468
IBAN 国別設定ページ.....	468
送金元銀行の指定.....	470
送金元銀行の指定に使用するページ.....	471
送金元銀行について.....	471
送金元銀行口座ページ.....	471
(CAN および USA) 銀行の追加情報 CAN ページまたは 銀行の追加情報 USA ページ.....	474
(JPN) 銀行の追加情報 JPN ページ.....	476
銀行および銀行支店のレポート.....	477
銀行/支店レポートに使用するページ.....	477
第17章: チャートフィールドとチャートフィールド組み合わせの設定とその使い方.....	479
PeopleSoft チャートフィールドについて.....	479
標準チャートフィールド.....	479
前提条件.....	482
一般会計システムとバージョンの指定.....	483
一般会計システムとバージョンの指定に使用するページ.....	483
一般会計システムとバージョンによる比較について.....	484

PeopleSoft 一般会計の指定.....	485
その他の一般会計システムの指定.....	485
チャートフィールド設定テンプレートの設定.....	486
標準チャートフィールド設定テンプレートの確認と更新に使用するページ.....	486
標準チャートフィールド設定について.....	486
PeopleSoft Financials からのチャートフィールド設定のインポート.....	488
標準チャートフィールド設定ページ.....	489
チャートフィールド値の入力と管理.....	492
チャートフィールドの設定と確認に使用するページ.....	492
Financials からのチャートフィールドのインポートについて.....	495
その他の会計システムを使用している場合のチャートフィールド値について.....	497
関係会社チャートフィールドについて.....	498
プロジェクト コスト管理チャートフィールドについて.....	499
プロジェクト/グラント ページ.....	499
代替勘定科目ページ.....	500
有効なチャートフィールド組み合わせの入力と管理.....	502
チャートフィールド組み合わせの入力と確認に使用するページ.....	502
組合せコードについて.....	503
有効組合せテーブルのロードについて.....	503
スピード入力について.....	506
組合せコード テーブルのロード ページ.....	506
組合せコード テーブル ページ.....	507
チャートフィールドトランザクションの確認と管理.....	508
チャートフィールドトランザクションの確認と管理に使用するページ.....	509
チャートフィールドトランザクション検索ページについて.....	509
チャートフィールドトランザクション テーブルについて.....	509
チャートフィールドトランザクション テーブル ページ.....	509
HCM トランザクションでのチャートフィールド組み合わせの編集.....	511
HCM トランザクションでのチャートフィールド組み合わせの編集に使用するページ.....	511
チャートフィールドの検証について.....	512
チャートフィールド詳細ページ.....	512
組合せコードの検索ページ.....	514
スピード入力の検索ページ.....	515
第18章: 国別機能の設定.....	517
国別機能の設定について.....	517
(CHE) スイスの郵便番号の管理.....	517
スイスの有効な住所の管理に使用するページ.....	517
スイスの郵便番号管理について.....	517
郵便番号のロード CHE ページ.....	518
(DEU) コントロール テーブルの設定.....	518
ドイツの産業調査コードの設定に使用するページ.....	519
産業調査ページ.....	519
(ITA) 市区町村コードの設定.....	519
イタリアの市区町村データのロードに使用するページ.....	519

(JPN) コントロール テーブルの設定.....	520
日本のコントロール テーブルの設定に使用するページ.....	520
学齢について.....	520
学齢テーブル ページ.....	522
計算ルール設定ページ.....	523
郵便番号のロード JPN ページ.....	525
郵便番号 JPN ページ.....	526
(NLD) 郵便番号のロード.....	527
郵便番号のロードに使用するページ.....	527
郵便番号のロード NLD ページ.....	528
(ESP) コントロール テーブルの設定.....	528
スペインのコントロール テーブルの設定に使用するページ.....	529
(GBR) 国民保険番号プレフィックスの設定.....	529
国民保険番号プレフィックスの設定に使用するページ.....	529
国民保険番号プレフィックスについて.....	529
国民 ID プレフィックス GBR ページ.....	530
国民 ID プレフィックス詳細ページ.....	532
第19章: 市場給与の設定とその使い方.....	533
市場給与について.....	533
市場給与機能.....	533
市場給与プロセス フロー.....	533
前提条件.....	536
地域と市場給与マトリックスの設定.....	536
地域と市場給与マトリックスの設定に使用するページ.....	537
市場給与マトリックスについて.....	537
地域の定義ページ.....	538
マトリックスの定義ページ.....	539
入力ページ.....	540
出力ページ.....	541
検索キー ページ.....	542
データの内容ページ.....	543
表示ページ.....	544
データのマッピングとマトリックスのロード.....	545
データのマッピングとマトリックスのロードに使用するページ.....	545
給与統計マッピングの定義ページ.....	545
市場給与の職務コードへの関連付けページ.....	546
市場給与の一致ページ.....	547
ファイルからの市場給与データのロード ページ.....	548
ワークフォース リワードからの市場給与データのロード.....	549
データの内容ページ.....	550
職務コード別市場給与データ レポート ページ.....	550
第20章: 支給カレンダーの設定.....	551
残高 ID の作成.....	551
残高 ID の作成に使用するページ.....	551

残高 ID について.....	551
残高 ID テーブル 1 ページ.....	551
セットID - コメント ページ.....	554
残高 ID テーブル 2 ページ.....	555
給与計算実行 ID の作成.....	556
給与計算実行 ID の作成に使用するページ.....	557
給与計算実行 ID について.....	557
給与計算実行テーブル ページ.....	557
支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの作成.....	558
支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの作成に使用するページ.....	559
支給カレンダーについて.....	560
FLSA カレンダーについて.....	562
FLSA カレンダー テーブル ページ.....	563
支給カレンダー作成ページ.....	564
支給カレンダー テーブル ページ.....	567
(USF) その他の FederalPayroll 情報ページ.....	574
支給確認オプション ページ.....	576
第21章: 北米用法人税テーブルの設定.....	579
(USA) Company State Tax Table の設定.....	579
Company State Tax Table の設定に使用するページ.....	579
Company State Tax Table - General ページ.....	579
Company State Tax Table - VDI/FLI ページ.....	583
Company State Tax Table - GL Accounts ページ.....	585
(USA) Company Local Tax Table の設定.....	587
Company Local Tax Table のエントリの定義に使用するページ.....	587
Company Local Tax Table ページ.....	587
(CAN) カナダの法人税テーブルの設定.....	589
カナダの法人税テーブルの設定に使用するページ.....	590
Company Tax Table ページ.....	590
納税地の定義.....	591
納税地の定義に使用するページ.....	592
納税地について.....	592
Tax Location Table - Address ページ.....	592
Tax Location Table - State/Province/Locality ページ.....	593
第22章: 機関の設定.....	597
機関テーブルについて.....	597
機関.....	597
買掛金管理との統合.....	597
機関情報の入力.....	598
機関の設定に使用するページ.....	598
機関に関するページについて.....	599
AP 機関コントロール ページ.....	600
機関情報ページ.....	601
住所ページ.....	603

代替名ページ.....	604
所在地ページ.....	605
銀行口座ページ.....	607
支払オプション ページ.....	608
連絡先ページ.....	610
保険証券情報ページ.....	611
(USF) 差押機関テーブル ページ.....	612
(USF) GVT 従業員配分ページ.....	613
第23章: グループ定義の設定と使い方.....	615
グループ ビルドについて.....	615
グループ ビルド機能の使い方.....	615
グループの作成.....	616
グループ定義の設定.....	616
グループの定義に使用するページ.....	616
グループ定義について.....	617
グループ ビルドに使用するクエリーの定義について.....	619
部門別グループの自動生成について.....	620
グループ ビルド - レコード/フィールド ページ.....	621
グループ条件ページ.....	622
グループ プロファイル ページ.....	623
グループ定義ページ.....	626
グループ ビルド定義の表示ページ.....	630
グループ結果ページ.....	631
グループ ビルド (会社/部門)ページ.....	632
グループ セキュリティの設定.....	633
グループ セキュリティの設定に使用するページ.....	633
グループ セキュリティについて.....	633
グループ セキュリティ デフォルト ページ.....	634
グループ別セキュリティ ページ.....	635
ユーザー別セキュリティ ページ.....	636
PeopleSoft の各アプリケーションでのグループの絞り込み.....	638
グループ結果とレポートの表示.....	638
グループ結果とレポートの表示に使用するページ.....	638
グループのメンバー資格について.....	639
共通フィールド.....	639
複合グループ結果サマリ ページ.....	639
グループ結果の消去.....	639
結果の消去に使用するページ.....	640
グループ結果について.....	640
グループ結果消去ページ.....	640
使用不可グループ結果の消去ページ.....	641
第24章: XML レポート フレームワークの設定.....	643
XML レポート フレームワークについて.....	643
XML レポート フレームワークの設定.....	644

XML レポート フレームワークの設定に使用するページ	645
XML コード テーブル ページ	645
XML セット テーブル ページ	646
ノード テーブル ページ	647
ノード マッピング ページ	654
XML テンプレート ページ	656
XML テスター ページ	658
第25章: HCM システムの管理	661
ポータル ナビゲーションの分析	661
ポータル ナビゲーションの分析に使用するページ	661
ポータル分析ページ	661
ID の削除の制限	663
ID の削除を制限するのに使用するページ	663
ID 削除コントロールについて	664
ID 削除コントロール ページ	664
ヒューマン リソース管理データのリフレッシュと検証	665
ヒューマン リソース管理データのリフレッシュと検証に使用するページ	666
個人情報の設定ページ	667
氏名表示のリフレッシュ ページ	668
コア HR データ整合性の検証ページ	669
アクセス/更新テーブルの分析レポートの使い方	670
アクセス/更新テーブルの分析レポートの実行に使用するページ	670
アクセス/更新テーブルの分析レポート ユーティリティについて	670
アクセス/更新テーブルの分析ページ	672
コア コンポーネント インターフェイスの呼出ユーティリティを使ったコンポーネント インターフェイスのテスト	674
コア コンポーネント インターフェイスの呼出ユーティリティを使ったコンポーネント インターフェイスのテストに使用するページ	674
コア CI 呼出ページ	675
第26章: インターフェイスの登録	679
HCM インターフェイス レジストリについて	679
HCM インターフェイス レジストリの管理	681
HCM インターフェイス レジストリの管理に使用するページ	681
サービス レジストリ ページ	681
フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル> ページ	684
オーディット結果 - オーディット <レジストリ フォルダ ラベル> ページ	684
HMCR タイプ表示ページ	685
HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名> ページ	689
RegistryDoc の表示	689
新規インターフェイスの登録	693
レジストリ ウィザードを使った新規インターフェイスの登録に使用するページ	693
レジストリ情報ページ	693
インターフェイスの仕様ページ	696
実装ページ	698

登録したインターフェイスの実装.....	701
タイプの実装.....	701
サービスの実装.....	702
例外の実装.....	704
SQLView の実装.....	705
登録したインターフェイスの利用.....	706
登録されたインターフェイスの利用について.....	706
サービス インターフェイスの呼び出し.....	706
サービス呼び出しでの無効データ チェックの設定.....	708
コンポーネント インターフェイスのプール.....	709
コレクションサイズのインターフェイスの利用.....	709
複合タイプとポータル ページ間のバインド.....	709
SQLView の利用.....	709
レジストリ フォルダ構造の管理.....	710
レジストリ フォルダ構造の管理に使用するページ.....	710
サービス レジストリの管理ページ.....	710
サービスのテスト.....	712
サービスのテストに使用するページ.....	712
サービス テスタ ページ.....	713
変換マップの表示と登録.....	714
変換マップの表示と登録に使用するページ.....	714
変換マップ レジストリ ページ.....	714
変換マップの登録ページ.....	715
インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピング.....	717
インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピングについて.....	717
インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピング.....	717
マッピングされたサービスの削除.....	719
インテグレーション ブローカーを使った Web サービスの提供.....	720
第27章: 組織図の設定と作成.....	723
組織図について.....	723
前提条件.....	723
組織図を作成する方法.....	723
組織図の作成に使用するページ.....	724
処理について.....	724
組織図の作成ページ.....	724
組織図ファイルのクライアント コンピュータへのコピー.....	726
組織図の確認.....	726
Visio 組織図ウィザードの使用.....	727
第28章: マス アップデート処理の設定と実行.....	729
マス アップデート処理について.....	729
マス アップデートのアーキテクチャ.....	729
マス アップデートの実行手順.....	730
マス アップデートを正しく行うためのヒント.....	731
マス アップデートのためのトランザクション プロセッサの設定.....	732

マス アップデートのためのトランザクション プロセッサの設定に使用するページ.....	732
トランザクション プロセッサの設定について.....	732
プロセッサの設定ページ.....	733
プロセッサの設定 - 必要条件ページ.....	736
マス アップデート定義の設定.....	737
マス アップデート定義の設定に使用するページ.....	737
マス アップデート定義について.....	737
マス アップデート定義ページ.....	738
共通の変更ページ.....	740
その他の変更ページ.....	743
マス アップデートの作成.....	744
マス アップデートの作成に使用するページ.....	745
マス アップデートの作成について.....	745
マス アップデート作成ページ.....	745
マス アップデートレポートの生成.....	746
マス アップデートレポートの生成に使用するページ.....	746
マス アップデートレポート ページ.....	746
マス アップデートの管理.....	748
マス アップデートの管理に使用するページ.....	748
マス アップデート管理ページ.....	748
マス アップデート管理 - トランザクション詳細ページ.....	752
マス アップデートの実行.....	754
マス アップデートの実行に使用するページ.....	754
マス アップデート処理について.....	754
マス アップデート実行ページ.....	755
未処理のマス アップデートの削除.....	756
マス アップデートの削除に使用するページ.....	756
マス アップデート削除ページ.....	756
第29章: 承認の設定と使い方.....	759
承認について.....	759
承認で使う用語.....	759
承認フレームワーク.....	761
承認ビジネス プロセス フロー.....	762
情報ソース.....	763
承認フレームワークのための HCM トランザクションの導入.....	764
承認コンポーネントのナビゲーション.....	765
承認コンポーネントのナビゲーションに使用するページ.....	765
承認トランザクションの登録.....	766
承認トランザクションの登録で使用するページ.....	766
承認トランザクション レジストリについて.....	766
前提条件.....	768
ワークフロー トランザクションのリンク.....	768
ワークフロー トランザクションのリンクで使用するページ.....	769
ワークフロー トランザクション ページ.....	769

承認トランザクションの設定.....	773
承認トランザクションの設定で使用するページ.....	773
承認プロセス定義の設定.....	773
承認プロセス定義の設定に使用するページ.....	774
HCM 承認プロセス定義の設定例の確認.....	775
動的承認の定義.....	782
動的承認の定義で使用するページ.....	783
動的承認の権限の設定方法について.....	783
承認用の通知テンプレートの定義.....	785
承認用の通知テンプレートの定義で使用するページ.....	785
汎用テンプレート定義について.....	785
承認用のユーザーの定義.....	785
承認用のユーザーの定義で使用するページ.....	786
承認内のユーザー リストについて.....	786
通知およびエスカレーション マネージャの設定.....	788
通知およびエスカレーション マネージャの設定で使用するページ.....	788
通知とエスカレーションについて.....	789
イベント ステータス ページ.....	789
承認のためのセキュリティの設定.....	790
承認の管理.....	792
管理者承認で使用するページ.....	792
承認管理について.....	792
承認のモニター ページ.....	794
承認オーディット レポートの作成.....	797
承認オーディット レポートの実行に使用するページ.....	797
承認オーディット レポートについて.....	798
承認オーディット レポート ページ.....	799
セルフサービス承認トランザクションの使い方.....	800
セルフサービス承認トランザクションの処理に使用するページ.....	800
トランザクションの確認ページ.....	801
職務の選択ページ.....	801
PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのセルフサービス承認トランザクションの使用.....	802
PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの管理者セルフサービス承認トランザクションに使用するページ.....	803
承認ページへのアクセス方法について.....	803
承認タイル.....	804
承認待ちページ.....	805
フィルタ ページ.....	808
承認待ち - <トランザクション詳細> ページ.....	809
承認履歴ページ.....	811
承認履歴 - <トランザクション詳細> ページ.....	813
第30章: 委任の設定と使い方.....	815
委任について.....	815
委任コンポーネント間の移動.....	820

委任コンポーネント間の移動に使用するページ.....	820
ワークフロー トランザクションの登録.....	821
ワークフロー トランザクションの登録に使用するページ.....	821
ワークフロー トランザクション ページ.....	821
委任のための権限リストとロールの設定.....	823
委任のための権限リストとロールの設定について.....	823
権限リストとロールの設定.....	824
委任インストール設定の定義.....	825
委任インストール設定の定義に使用するページ.....	825
委任インストール設定ページ.....	825
委任トランザクションの設定.....	829
委任トランザクションの設定に使用するページ.....	829
委任トランザクションについて.....	829
委任トランザクション設定ページ.....	831
管理者による委任リクエストの追加.....	835
管理者による委任リクエストの追加に使用するページ.....	835
委任リクエストの追加ページ.....	835
委任管理.....	837
委任の管理に使用するページ.....	837
委任管理ページ.....	837
バッチ委任リクエストの処理.....	840
バッチ委任リクエストの処理に使用するページ.....	840
代理権の管理ページ.....	840
セルフサービスの委任の使い方.....	841
セルフサービス委任の処理に使用するページ.....	841
委任管理ページ.....	842
委任管理 - 委任の説明ページ.....	844
委任リクエストの作成 - 職務名の選択ページ.....	845
委任リクエストの作成 - 日付の入力ページ.....	845
委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページ.....	846
委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定ページ.....	848
委任リクエストの作成 - 代理人を名前で指定ページ.....	849
委任リクエストの作成 - 委任の詳細ページ.....	849
委任リクエストの作成 - 確認ページ.....	851
代理人の確認ページ.....	851
委任リクエストの詳細ページ.....	852
代理権の確認ページ.....	853
委任リクエストの承諾ページ.....	855
委任リクエストの辞退ページ.....	855
複数トランザクション ページ.....	856
委任用の標準の通知テンプレートの確認.....	857
第31章: メタデータおよびクエリー ビルダーの使い方.....	859
HCM メタデータ リポジトリの管理.....	859
HCM メタデータ リポジトリの管理に使用するページ.....	859

HCM メタデータ リポジトリについて.....	859
HCM メタデータ リポジトリの管理に使用する共通フィールド.....	860
基本クラスの定義ページ.....	863
オブジェクト クラスの定義ページ.....	863
クラスの属性の詳細ページ.....	865
クラスの詳細ページ.....	867
メタデータ定義のエクスポート ページ.....	869
メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート ページ.....	871
メタデータ定義のインポート ページ.....	871
クエリー ビルダーによる SQL クエリーの作成.....	872
クエリーの作成に使用するページ.....	872
クエリー ビルダーについて.....	873
結果の属性ページ.....	874
属性のロード ページ.....	876
クエリー ビルダー - 条件ページ.....	877
クエリー ビルダー - 結果ページ.....	879
クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード ページ.....	880
定義済クエリー ページ.....	881
第32章: HCM 変換フレームワークの使い方.....	883
変換フレームワークについて.....	883
PeopleSoft インテグレーション ブローカーの基本メッセージ フォーマット.....	884
HCM 変換マップの設定と管理.....	886
HCM 変換マップの設定と管理に使用するページ.....	886
変換マップの登録ページ.....	886
変換マップ レジストリ ページ.....	889
第33章: 定型文書の設定と作成.....	891
PeopleSoft HCM 定型文書について.....	891
前提条件.....	891
PeopleSoft HCM 定型文書の使い方.....	891
PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の作成.....	892
PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の作成について.....	893
定型文書の作成.....	894
定型文書ファイルでの名称指定規則の使用.....	896
定型文書の設定.....	897
定型文書を印刷するための準備.....	900
定型文書の応用.....	900
定型文書のトラブルシューティング.....	904
標準文書コードの設定.....	906
標準文書コードの設定と一覧出力に使用するページ.....	907
標準文書テーブル ページ.....	907
その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書の作成.....	908
その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書について.....	908
PeopleSoft プロセス スケジューラを使った定型文書の作成.....	909
定型文書ファイルでの名称指定規則の使用.....	911

定型文書を印刷するための準備.....	911
定型文書の応用.....	912
サンプル定型文書.....	914
第34章: (USF) 処理中管理システムの設定.....	917
WIP 管理システムの設定について.....	917
標準の設定.....	917
設定ステップ.....	918
付属サンプルの WIP システム パラメータについて.....	919
サンプル WIP ステータス コード.....	919
サンプル WIP ステータス タイプおよび関連するステータス コード.....	921
サンプル WIP パラメータ設定.....	921
WIP ステータスの設定.....	923
WIP ステータスの設定に使用するページ.....	923
WIP ステータス コードおよびステータス タイプについて.....	923
Transaction Setup ページ.....	924
Batch Programs ページ.....	927
WIP アクティビティ処理の定義.....	928
WIP アクティビティ処理の定義に使用するページ.....	928
WIP Activity 1 ページ.....	929
Component Defaults ページ.....	930
WIP Activity 2 ページ.....	931
WIP Activity 3 ページ.....	933
Define Steps ページ.....	935
第35章: PeopleSoft Enterprise CRM ヒューマン リソース ヘルプデスク - 360 ビューの設定.....	937
PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクについて.....	937
PeopleSoft HCM 情報の抽出と表示.....	937
PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対するセキュリティの設定.....	938
PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対する直属部下の設定.....	940
PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対する直属部下の設定に使用するページ.....	940
ターゲット情報ページ.....	940
第36章: セルフサービス トランザクションの設定と使い方.....	943
セルフサービス トランザクションの設定.....	943
セルフ サービス トランザクションのルールの設定に使用するページ.....	943
セルフサービス トランザクションのルールについて.....	944
ワークフローの設定ページ.....	948
管理者通知設定ページ.....	949
SS コンポーネント インターフェイス設定ページ.....	950
トランザクションの確認.....	951
トランザクションの確認に使用するページ.....	951
ワークフロー照会ページ.....	951
(USF) 連邦セルフサービス トランザクションの確認.....	953
連邦セルフサービス トランザクションの確認に使用するページ.....	953
Workflow Inquiry (USF) ページ.....	953
<トランザクション名> ページ.....	956

直属部下データへのアクセス権限の設定.....	959
直属部下の設定に使用するページ.....	960
管理者セルフサービスへのアクセス権限の決定.....	960
ターゲット情報ページ.....	961
手順テキスト ページ.....	963
セルフサービス トランザクションにおけるワークフローの使い方.....	964
ワークフローのアクティブ化に使用するページ.....	965
ワークリスト デフォルト設定ページ.....	966
システム ワークフロー ルール ページ.....	966
ワークフロー ユーザー基本設定ページ.....	968
第37章: PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス ホーム ページの使い方.....	969
PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのホーム ページについて.....	969
PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス.....	969
Fluid ホーム ページ.....	970
Fluid トランザクションおよび条件ナビゲーション.....	970
PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスで使用する共通フィールド.....	971
従業員セルフサービス ホーム ページの使用.....	971
従業員セルフサービスのホーム ページとして使用するページ.....	972
従業員セルフサービス ホーム ページ.....	972
従業員セルフサービス ページの共通ヘッダー.....	975
管理者セルフサービス ホーム ページの使用.....	978
管理者セルフサービスのホーム ページとして使用するページ.....	978
直属部下について.....	978
管理者セルフサービス ホーム ページ.....	979
管理者セルフサービス ページの関連アクション.....	982
従業員の写真の表示.....	984
第38章: セルフサービス レポート フレームワークの使い方.....	985
セルフサービス レポート フレームワークについて.....	985
セルフサービス レポート フレームワークの設定.....	985
セルフサービス レポート フレームワークの設定に使用するページ.....	985
グループ設定ページ.....	986
セルフサービス レポートの有効化ページ.....	987
セルフサービス レポートの設定ページ.....	989
レポート フィルタの定義ページ.....	990
フィルタ フィールドの値ページ.....	993
レポート セキュリティのリフレッシュ ページ.....	994
セルフサービス レポートの生成と表示.....	995
セルフサービス レポートの生成と表示に使用するページ.....	995
法定レポート ページ.....	995
第39章: PeopleSoft HCM の検索の概要と設定.....	997
HCM 用の PeopleSoft 検索フレームワークの導入について.....	997
HCM 用の PeopleSoft 検索定義について.....	998
HCM 用の PeopleSoft 検索に関する考慮事項.....	998
PeopleSoft 検索用の HCM ロールと権限.....	999

セルフサービス関連のアクション	1000
HCM 用のグローバル検索定義の使用	1000
PeopleSoft HCM 用のコンポーネント キーワード検索ページ定義の使用	1009
HCM データベースからのリモート検索の設定	1014
第40章: 共通コンポーネントの使い方	1017
PeopleSoft HCM 共通コンポーネントについて	1017
共通コンポーネントの使用時に使用する共通フィールド	1017
共通コンポーネント ページ	1017
直属部下機能の設定	1018
直属部下機能の設定に使用するページ	1018
直属部下機能について	1019
直属部下パフォーマンス テーブルについて	1020
直属部下設定ページ	1022
直属部下トランザクション設定ページ	1023
直属部下テーブル作成ページ	1026
直属部下 API の呼出 - 設定/実行ページ	1029
直属部下 API の呼出 - 実行結果ページ	1032
直属部下 API の呼出 - 追跡結果ページ	1032
直属部下関連 UI API の呼出ページ	1033
<アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページ	1034
個人検索の設定	1036
個人単純検索の設定に使用するページ	1036
個人単純検索について	1036
個人単純検索の設定ページ	1037
単純検索 API の呼出ページ	1039
個人検索ページ	1039
マウス オーバー ポップアップの設定	1040
従業員のマウス オーバー ページの設定に使用するページ	1041
マウス オーバー ポップアップ ページについて	1042
従業員の写真とマウス オーバー ポップアップ ページについて	1045
マウスオーバー フィールド定義ページ	1047
マウス オーバー列 1 およびマウス オーバー列 2 ページ	1048
マウスオーバー コンポーネント設定ページ	1052
マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細ページ	1054
インスタント メッセージ ID の設定と検証	1056
インスタント メッセージ ID のテストに使用するページ	1056
インスタント メッセージングについて	1056
インスタント メッセージングの設定について	1057
個人インスタント メッセージ テスタ ページ	1058
HR ノートパッドの設定と使い方	1059
HR ノートパッドの設定と処理に使用するページ	1059
HR ノートパッドについて	1060
HR ノートパッドの設定 - アプリケーション ページ	1060
HR ノートパッドの設定 - キーの設定ページ	1061

HR ノートパッドの設定 - リンクの設定ページ.....	1063
ノートパッド テスタ ページ.....	1065
<アプリケーション ページ> ノートパッド ページ.....	1066
選択済メモ ページ.....	1067
テキスト カタログの設定.....	1068
テキスト カタログの処理に使用するページ.....	1068
テキスト カタログについて.....	1069
テキスト カタログの使用時に使用する共通フィールド.....	1070
テキスト カタログの設定.....	1070
テキスト カタログの更新ページ.....	1073
テキスト カタログの更新 - HTML 表示ページ.....	1074
テキスト カタログ - 全適用条件の表示ページ.....	1075
テキスト カタログの翻訳 - 説明ページ.....	1076
テキスト カタログの翻訳 - カタログ テキスト ページ.....	1078
テキスト カタログのテスト ページ.....	1078
添付ファイルの設定.....	1080
添付ファイルの設定に使用するページ.....	1080
添付ファイルについて.....	1081
承認の定義ページ.....	1083
承認エントリの定義ページ.....	1084
添付ファイルの定義ページ.....	1085
キーの設定ページ.....	1087
添付ファイル適用条件ページ.....	1088
添付ファイル保存キー ページ.....	1089
定義の管理ページ.....	1090
添付ファイル フレームワークの実装.....	1092
学歴関連の情報の定義.....	1096
学歴関連の情報の定義に使用するページ.....	1097
学歴関連の情報およびプロフィールについて.....	1097
学校ページ.....	1098
(JPN) 学部/学科 JPN ページ.....	1099
第41章: HR 通知の使い方.....	1101
HR 通知について.....	1101
通知受取人.....	1102
通知内容.....	1102
通知を処理するためのラン コントロール.....	1103
通知を送信するための AE プログラム.....	1103
実行時におけるアナウンスメントの表示.....	1103
通知データのアーカイブ.....	1104
アプリケーション コンポーネントにおける HR 通知の有効化.....	1105
HR 通知の設定.....	1109
HR 通知の設定に使用するページ.....	1109
インストール設定ページ.....	1110
受取人タイプ情報の指定ページ.....	1111

セキュリティの設定ページ.....	1112
受取人選択方法の選択ページ.....	1113
プロンプト レコードの選択ページ.....	1115
プロンプト検索フィールドの選択ページ.....	1116
確認ページ.....	1117
埋め込み型リンクの設定ページ.....	1117
埋め込み型リンクの割当ページ.....	1119
HR 通知ページ.....	1119
詳細オプション ページ.....	1121
第42章: (USF) 異動シミュレーションの使い方.....	1125
所属変更マス チェンジについて.....	1125
はじめに.....	1125
所属変更マス チェンジの実行.....	1126
所属変更マス チェンジの実行に使用するページ.....	1126
所属変更マス チェンジの実行.....	1126
Define Changes ページ.....	1128
Apply Changes ページ.....	1129
第43章: PeopleSoft HCM における PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスの使い方.....	1131
PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスについて.....	1131
DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使ったディレクトリ データのロード.....	1131
DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使ったディレクトリのロードに使用するページ.....	1131
ディレクトリのロード プロセスについて.....	1132
一時テーブルの消去.....	1132
フル データ パブリッシュ ページ.....	1132
モニター概要ページ.....	1133
ディレクトリのロード ページ.....	1133
DSMAPINPUT FullSync プロセスを使ったディレクトリ データのオーディット.....	1134
DSMAPINPUT FullSync オーディット プロセスを使ったディレクトリのオーディットに使用するページ.....	1134
ディレクトリ オーディット プロセスについて.....	1134
一時テーブルの消去とロード.....	1135
フル データ パブリッシュ ページ.....	1135
モニター概要ページ.....	1136
ディレクトリ オーディット ページ.....	1136
HCM における PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスの使い方.....	1137
サンプル マッピングと付属のサービス オペレーションへのアクセス.....	1137
サンプル マッピングの使い方.....	1138
付属のサービス オペレーションの確認.....	1138
第44章: HCM におけるインテグレーション ポイントの使い方.....	1143
導入するインテグレーションの特定.....	1143
サービス オペレーションおよびキューのアクティブ化.....	1144
HCM ローカル インテグレーションの使い方.....	1144
その他の HCM インテグレーションの使い方.....	1146
第45章: Clairvia との統合.....	1149

Clairvia とのインテグレーションについて.....	1149
Clairvia を使用したインテグレーション ブローカーとエンタープライズ コンポーネントの管理.....	1151
Clairvia によるインテグレーション ブローカーとエンタープライズ コンポーネントの管理に使用するページ.....	1151
フル テーブル パブリッシュ ルール ページ.....	1151
フル データ パブリッシュ ページ.....	1152
PeopleSoft と Clairvia とのインテグレーションの設定.....	1153
PeopleSoft と Clairvia との インテグレーションの設定に使用するページ.....	1154
インストール済インテグレーション製品ページ.....	1154
パブリッシュされるコンテンツ タイプの定義.....	1155
職務データの更新.....	1156
Clairvia に対するオプションおよびデフォルト値の追加.....	1156
PeopleSoft ヒューマン リソース管理と Clairvia とのインテグレーションの管理.....	1157
同期の初期設定.....	1158
Clairvia にパブリッシュされるデータ.....	1158
ヒューマン リソース メッセージの設計の概要.....	1161
勤務管理と Clairvia とのインテグレーションの管理.....	1163
勤務管理と Clairvia とのインテグレーションの管理に使用するページ.....	1163
勤務管理と Clairvia とのインテグレーションについて.....	1163
勤務管理データのパブリッシュ ページ.....	1164
休暇残高のパブリッシュ ページ.....	1173
Clairvia からのスケジュール情報および休暇情報の受信.....	1174
第46章: Taleo との統合.....	1177
Taleo とのインテグレーションについて.....	1177
インテグレーションの範囲.....	1177
インテグレーションの必要条件.....	1178
ロールおよびユーザー プロファイルの管理.....	1179
ロールおよびユーザー プロファイルの管理に使用するページ.....	1179
インテグレーション関連ロールに対する権限リストの確認.....	1179
ユーザー ID へのインテグレーション関連ロールの追加.....	1180
Web サービスの設定.....	1181
Web サービスの設定に使用するページ.....	1181
付属のサービス オペレーションのアクティブ化.....	1182
権限リストに対するアクセスの設定.....	1182
ルーティング コネクタ プロパティの設定.....	1182
キューのアクティブ化.....	1183
Taleo 資格の追加.....	1184
Taleo インテグレーションの設定.....	1184
Taleo インテグレーションの設定に使用するページ.....	1184
インストール オプションの設定ページ.....	1185
会社をビジネス ユニットに関連付けページ.....	1187
インテグレーション エラーの定義ページ.....	1188
ドメイン値マップ ページ.....	1191
職務テンプレートの作成ページ.....	1192

ソース データの分析.....	1192
ソース データ分析レポートの実行に使用するページ.....	1193
ソース データ アナライザの実行ページ.....	1193
Taleo へのデータの送信.....	1194
Taleo へのデータの送信に使用するページ.....	1195
データの同期ページ.....	1195
Taleo からのデータの受信.....	1197
Taleo からの候補者データの受信に使用するページ.....	1198
候補者データの受信ページ.....	1198
変換エラーの確認.....	1199
変換エラーの確認に使用するページ.....	1200
インテグレーション モニター ページ.....	1200
候補者の採用.....	1204
Taleo 統計の表示.....	1205
Taleo ページレットの有効化.....	1206
第47章: Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との統合.....	1207
共存について.....	1207
ドメイン値マップの設定.....	1208
データ マッピングの設定に使用するページ.....	1208
ドメイン値マップの設定について.....	1208
値マップの定義 - エlement ページ.....	1213
値マップの定義 - ドメイン ページ.....	1214
値マップのインポート ページ.....	1216
ドメイン値マップ ページ.....	1217
共存のための Web サービスの設定.....	1217
共存のための Web サービスの設定に使用するページ.....	1218
サービス オペレーション - 一般ページ.....	1218
Web サービス アクセス ページ.....	1220
サービス オペレーション - ハンドラ ページ.....	1220
サービス オペレーション - ルーティング ページ.....	1222
ルーティング定義.....	1222
コネクタ プロパティ ページ.....	1225
キュー定義ページ.....	1226
ノード定義ページ.....	1226
コネクタ ページ.....	1227
WS セキュリティ ページ.....	1228
共存のためのロールおよびユーザー プロファイルの管理.....	1229
ロールおよびユーザー プロファイルの管理に使用するページ.....	1229
権限リスト ページ.....	1229
ロール ページ.....	1230
FTP サーバーの URL オブジェクトの作成.....	1231
FTP サーバーの URL オブジェクトの作成に使用するページ.....	1231
URL 管理ページ.....	1231
共存の設定.....	1232

共存の設定に使用するページ.....	1232
設定ページ.....	1232
Fusion 統合インストール オプション ページ.....	1237
異動区分/理由連番ページ.....	1241
評価モデルの定義.....	1242
評価モデルの定義に使用するページ.....	1242
評価モデル ページ.....	1242
PeopleSoft HCM ソース データの分析.....	1244
PeopleSoft HCM ソース データの分析に使用するページ.....	1244
ソース データ アナライザの実行ページ.....	1244
Fusion へのデータの送信.....	1245
Fusion へのデータの送信に使用するページ.....	1245
Fusion に HR データを送信ページ.....	1245
進捗レポート ページ.....	1249
プロファイル データの移行ページ.....	1251
Fusion からのデータの受信.....	1253
Fusion からのデータの受信に使用するページ.....	1253
インバウンド プロセスについて.....	1253
Fusion から報酬データを受信 ページ.....	1254
給与データのキャンセル ページ.....	1258
インバウンド ステータス モニター ページ.....	1259
<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ.....	1261
<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ.....	1263
<インテグレーション オブジェクト> 検証レポート ページ.....	1263
変換エラー情報の確認.....	1264
変換エラー情報の確認に使用するページ.....	1264
変換エラー確認 - エラー サマリ ページ.....	1264
変換エラー確認 - エラー データ ページ.....	1269
変換エラー レポート ページ.....	1270
付録A: グループ ビルドの導入 (開発者向け).....	1271
グループビルド機能を導入したアプリケーション プログラムまたはバッチ プログラムの作成.....	1271
PeopleCode API コールの導入.....	1271
PeopleSoft アプリケーション エンジン API コールの導入.....	1277
クライアント専用ワークフローの開発.....	1280
グループ バージョンの使い方.....	1284
バージョン番号について.....	1284
バージョンの使い方 (開発者向け).....	1284
付録B: PeopleSoft HCM アプリケーションの診断プラグイン.....	1287
PeopleTools 診断フレームワークについて.....	1287
標準装備の HCM アプリケーション診断プラグイン.....	1287
ヒューマン リソース管理の基本福利厚生管理.....	1287
ヒューマン リソース管理の基本報酬管理と予算計画.....	1288
ePerformance - パフォーマンス管理.....	1288
グローバル ペイロール.....	1289

勤務管理.....	1294
付録C: PeopleSoft HCM の標準ワークフロー.....	1301
一般ワークフロー情報.....	1301
メッセージ エージェントを使ったロール ユーザーの作成.....	1301
動的ロール ユーザー クエリーの使い方.....	1301
教育・研修管理の標準ワークフロー.....	1302
研修リクエストの承認イベント.....	1302
研修の承認イベント.....	1303
研修リクエスト イベント (CSE).....	1304
研修リクエスト イベント (SCE).....	1304
研修リクエスト イベント (ST).....	1305
送信の確認.....	1306
キャンセルの送信.....	1307
スケジュール変更の送信.....	1307
人事・労務管理の標準ワークフロー.....	1308
(USF) 60 日確認.....	1308
(USF) 汎用.....	1310
従業員の入社手続き.....	1310
職務データの管理.....	1314
個人データの管理.....	1317
(USF) 人事異動要求処理.....	1319
従業員の雇用終了処理.....	1325
(USF) 従業員の雇用終了手続き.....	1328
基本報酬管理と予算計画の標準ワークフロー.....	1330
アドホック給与変更の承認または却下.....	1330
予算計上済み給与変更の承認または却下.....	1330
給与変更の処理.....	1331
給与変更リクエスト.....	1331
記入票の管理の標準ワークフロー.....	1332
記入票の管理の通知イベント.....	1332
フランス利潤分配管理の標準ワークフロー.....	1333
資金リリース リクエストの承認.....	1333
資金エラー.....	1333
金融機関の変更.....	1334
資金ステータスの変更.....	1335
資金リリース リクエストの却下.....	1336
資金のリリース リクエスト.....	1337
フランス公的機関管理の標準ワークフロー.....	1338
CAE リクエスト (採用).....	1338
スタンプ リクエスト (採用).....	1338
CAE 却下 (採用).....	1339
スタンプ却下 (採用).....	1340
スタンプ付与 (採用).....	1341
スタンプ延期 (採用).....	1342

削除確認 (採用).....	1342
等級変更.....	1343
スタンプ リクエスト (等級および CAE の変更).....	1344
CAE 却下 (等級および CAE の変更).....	1345
スタンプ却下 (新しい等級).....	1346
スタンプ付与 (新しい等級).....	1346
スタンプ延期 (新しい等級).....	1347
削除確認 (新しい等級).....	1348
勤務時間割合変更.....	1349
スタンプ リクエスト (WTP および CAE の変更).....	1350
CAE 却下 (WTP および CAE の変更).....	1350
スタンプ却下 (新しい WTP).....	1351
スタンプ付与 (新しい WTP).....	1352
スタンプ延期 (新しい WTP).....	1353
削除確認 (新しい WTP).....	1354
ダブル変更.....	1354
スタンプ リクエスト (等級、WTP および CAE の変更).....	1355
CAE 却下 (等級、WTP および CAE の変更).....	1356
スタンプ却下 (新しい等級および WTP).....	1357
スタンプ付与 (新しい等級および WTP).....	1358
スタンプ延期 (新しい等級および WTP).....	1358
削除確認 (新しい等級および WTP).....	1359
CAE 割当解除リクエスト.....	1360
スタンプ リクエスト (CAE 割当解除).....	1361
割当解除却下 (CAE 割当解除).....	1362
割当解除却下 (スタンプ).....	1362
スタンプ付与 (CAE 割当解除).....	1363
割当解除延期.....	1364
CAE リクエスト.....	1365
スタンプ リクエスト (復職).....	1365
CAE 却下 (復職).....	1366
スタンプ却下 (復職).....	1367
スタンプ付与 (復職).....	1368
スタンプ延期 (復職).....	1368
削除確認 (復職).....	1369
ダブル変更 (復職).....	1370
スタンプ リクエスト (復職および等級変更).....	1371
CAE 却下 (復職および等級変更).....	1372
スタンプ却下 (復職および等級変更).....	1372
スタンプ付与 (復職および等級変更).....	1373
スタンプ延期 (復職および等級変更).....	1374
削除確認 (復職および等級変更).....	1375
ダブル変更 (復職および WTP 変更).....	1376
スタンプ リクエスト (復職および WTP 変更).....	1376

CAE 却下 (復職および WTP 変更).....	1377
スタンプ却下 (復職および WTP 変更).....	1378
スタンプ付与 (復職および WTP 変更).....	1379
スタンプ延期 (復職および WTP 変更).....	1380
削除確認 (復職および WTP 変更).....	1381
トリプル変更 (復職、等級および WTP の変更).....	1381
スタンプリクエスト (復職、等級および WTP の変更).....	1382
CAE 却下 (復職、等級および WTP の変更).....	1383
スタンプ却下 (復職、等級および WTP の変更).....	1384
スタンプ付与 (復職、等級および WTP の変更).....	1385
スタンプ延期 (復職、等級および WTP の変更).....	1385
削除確認 (復職、等級および WTP の変更).....	1386
終身在職権の承諾.....	1387
終身在職権の試用期間更新.....	1388
終身在職権の拒否.....	1389
公認資格認定管理の標準ワークフロー.....	1390
公認資格認定採用.....	1390
公認資格認定管理の追加.....	1390
公認資格認定分類変更.....	1391
公認資格認定職務変更.....	1392
公認資格認定管理の再認定.....	1392
公認資格認定管理の雇用終了.....	1393
変動報酬管理の標準ワークフロー.....	1394
プラン別報奨割当 (承認).....	1394
プラン別報奨割当 (却下).....	1395
グループ別報奨割当 (承認).....	1395
グループ別報奨割当 (却下).....	1396
資金割当 (グループ).....	1396
変動報酬ツリーの變更.....	1397
変動報酬ツリーの削除.....	1398
変動報酬ツリー名の變更.....	1398
キャリア プランの標準ワークフロー.....	1399
(USF) キャリア プラン.....	1399
付録D: PeopleSoft HCM Web ライブラリ.....	1401
Web ライブラリについて.....	1401
PeopleSoft HCM Web ライブラリ.....	1401
付録E: サンプル データに付属しているサードパーティ画像.....	1405
サンプル データと共に提供されたサード パーティのイメージの使用.....	1405
付録F: PeopleSoft HCM アプリケーションの基礎のレポート群.....	1415
PeopleSoft HCM 基本レポート: 概要.....	1415
HCM 基本レポート.....	1415
社有車管理レポート.....	1419
報酬管理レポート.....	1419
オランダ給与管理レポート.....	1420

給与パッケージ管理レポート.....	1421
教育・研修管理レポート.....	1421
人事・労務管理レポート.....	1426
基本福利厚生管理レポート.....	1434
コミットメント会計管理レポート.....	1448
フランス利潤分配管理レポート.....	1450
フランス公的機関管理レポート.....	1450
労使関係管理レポート.....	1454
ポジション管理レポート.....	1457
公認資格認定管理レポート.....	1460
プロフィール管理レポート.....	1460
変動報酬管理レポート.....	1462
法定提出書類用レポート.....	1465
(AUS) オーストラリア法定提出書類用レポート.....	1468
(BRA) ブラジル法定提出書類用レポート.....	1468
(CAN) カナダ法定提出書類用レポート.....	1469
(FRA) フランス法定提出書類用レポート.....	1470
(GBR) イギリス法定提出書類用レポート.....	1471
(USF) US 連邦政府法定提出書類用レポート.....	1472
休暇欠勤管理レポート.....	1474
安全衛生モニター管理レポート.....	1475
キャリア プランと後任計画レポート.....	1479
基本報酬管理と予算計画レポート.....	1480
パフォーマンス管理レポート.....	1484
総合人件費レポート.....	1485
教職員イベントの管理レポート.....	1485
フレックス勤務管理レポート.....	1486
海外赴任管理レポート.....	1487
PeopleSoft HCM レポート: 主要レポート.....	1487
PER044 - 複数年功給コンポーネント - 基本レポート.....	1487
PER033 - 市民権/国/査証の検証 - 人事・労務管理.....	1487
PER058 - 主雇用レコードの検証 - 人事・労務管理.....	1488
PER066JP - 人員配置表 JPN.....	1488
POS006A - ポジション ツリー構造の作成 - ポジション管理.....	1489
POS008 - ポジションの例外/未更新 - ポジション管理.....	1489
PKG006 - 給与パッケージ FBT 照合 - 給与パッケージ管理.....	1490
HRH905CN - カナダ統計局 FT 調査 - 教職員イベントの追跡.....	1490
VC011 - 組織/グループ目標 - 変動報酬管理.....	1490
VC013 - サブスクリプション エラー レポート - 変動報酬管理.....	1491
BEN004 - 貯蓄投資配分 - 基本福利厚生.....	1491
BEN733 - 基本福利厚生データの検証 - 基本福利厚生.....	1492
CBR005 - COBRA イベントレポート - 基本福利厚生.....	1492
CBR007 - COBRA 検証レポート - 基本福利厚生.....	1492
CBR008 - COBRA 管理エラー - 基本福利厚生.....	1493

NDT004 - 401(k)/401(m) 差別禁止テスト - 基本福利厚生.....	1493

はじめに

PeopleSoft オンライン ヘルプおよび PeopleBook について

PeopleSoft オンライン ヘルプは、PeopleSoft アプリケーションおよび PeopleTools の全てのヘルプ コンテンツを表示できる Web サイトです。このヘルプでは、標準ナビゲーションと全文検索、さらに状況依存オンライン ヘルプが PeopleSoft ユーザーに提供されます。

PeopleSoft ホスト ドキュメント

オラクル社の PeopleSoft ホストドキュメント Web サイトの PeopleSoft オンライン ヘルプにアクセスすると、Oracle ホスト サーバーの全てのヘルプ Web サイトおよび状況依存ヘルプに直接アクセスすることができます。ホストドキュメントは定期的に更新されるため、ユーザーは最新のドキュメントにアクセスすることができます。ホストの Web サイト コンテンツにはアプリケーションの保守に関するドキュメントがすぐに反映されるため、これらの個別のドキュメント記録を My Oracle Support で確認する必要がなくなります。ホストドキュメントの Web サイトは英語版のみ利用可能です。

注: 最新リリースのホストドキュメントのみが定期的に更新されます。新しいリリースが登録されても、前のリリースは引き続き利用できますが、更新はされません。

ローカルにインストールされたヘルプ

組織においてファイアウォールの制限により、ホストドキュメントの Web サイトを利用できない場合は、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルでインストールすることができます。ローカルでヘルプをインストールした場合は、ユーザーがアクセス可能なドキュメントをより詳細に管理したり、自分の組織のカスタムドキュメントへのリンクをヘルプ ページに組み込むことができます。

また、PeopleSoft オンライン ヘルプをローカルにインストールすると、全文検索にあらゆる検索エンジンを使用することができます。Oracle Secure Enterprise Search を設定して全文検索を行う手順については、ご使用のインストールドキュメントに記載されています。

ご使用のデータベース プラットフォーム向けの『*PeopleTools Installation*』の「Installing PeopleSoft Online Help」を参照してください。Secure Enterprise Search を使用しない場合は、選択した検索エンジンのドキュメントを参照してください。

注: ローカルでインストールしたヘルプ Web サイトで検索エンジンにアクセスするには、検索のポートレットとリンクを有効にする必要があります。手順については、PeopleSoft オンライン ヘルプのいずれかのページで [ヘルプ] リンクをクリックしてください。

ダウンロード可能な PeopleBook のPDF ファイル

従来の PeopleBook 形式であり、ダウンロード可能な PDF 版のヘルプ コンテンツにアクセスすることもできます。PeopleBook PDF のコンテンツは PeopleSoft オンライン ヘルプのコンテンツと同じですが、構造は異なり、オンライン ヘルプで利用できるインタラクティブなナビゲーション機能はありません。

共通のヘルプ ドキュメント

共通のヘルプ ドキュメントには、複数のアプリケーションに適用される情報が含まれています。共通のヘルプの 2 つの主要なタイプは、次のとおりです。

- アプリケーションの基礎
- PeopleSoft アプリケーションの使い方

ほとんどの製品ファミリーでは、システムの設定や設計に関する基本的な情報を説明する、一連のアプリケーションの基礎ヘルプ トピックが提供されます。この情報は、PeopleSoft 製品ファミリーの多くの、または全てのアプリケーションに適用されます。単一のアプリケーション、製品ファミリー内のアプリケーションの組合せ、または製品ファミリー全体のいずれを実装化に関係なく、該当するアプリケーションの基礎ヘルプのコンテンツについて理解している必要があります。これらは、基本的な実装タスクの開始点となります。

また、『*PeopleTools: Applications User's Guide*』では、PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャのさまざまな要素が紹介されています。また、そこではシステムをナビゲートする際に、ナビゲーションの階層、コンポーネントおよびページを使用して基本的な機能を実行する方法についても説明しています。アプリケーションや導入内容は異なる場合がありますが、このユーザーズ ガイドのトピックでは PeopleSoft アプリケーションの使用方法に関する一般的な情報が説明されています。

フィールドおよびコントロールの定義

PeopleSoft のドキュメントには、アプリケーション ページに表示されるほとんどのフィールドおよびコントロールの定義が含まれています。これらの定義で、フィールドまたはコントロールの使用方法や、移入される値の発生元、さらに特定の値を選択したときの結果などが説明されています。フィールドまたはコントロールが定義されていない場合は、追加の説明が必要ないか、ドキュメントの共通要素のセクションに既に記載されています。たとえば、日付フィールドは追加の説明がほとんど必要ないため、ドキュメント内で定義が複数のページにわたって記載されないことがあります。

表記規則

次の表に、オンライン ヘルプで使われる表記規則を示します。

表記規則	説明
キー + キー	キー操作の組合せを示します。たとえば、キーの間のプラス記号 (+) は、最初のキーを押しながら 2 番目のキーを押す必要があることを意味します。Alt+W の場合、Alt キーを押しながら W キーを押します。

表記規則	説明
... (省略記号)	PeopleCode 構文で、先行する項目または一連の項目を任意の回数繰り返すことができることを示します。
{ } (波かっこ)	PeopleCode 構文で、2 つのオプションからの選択肢を示します。オプションはパイプ () で区切られます。
[] (角かっこ)	PeopleCode 構文で、オプションの項目を示します。
& (アンパサンド)	PeopleCode 構文でパラメータの前にアンパサンドが記述されている場合は、そのパラメータがインスタンス作成済みのオブジェクトであることを示します。 また、アンパサンドは全ての PeopleCode 変数の前に付きます。
⇒	この継続文字は、コードの行の最後、ページのマージンで折り返された場所に挿入されます。コードは、継続文字がない 1 つの連続した行のコードとして表示または入力される必要があります。

ISO の国コードおよび通貨コード

PeopleSoft オンライン ヘルプのトピックでは、国別の情報や通貨金額を識別するために国際標準化機構 (ISO) の国コードおよび通貨コードを使用しています。

PeopleSoft ドキュメントでは、ISO 国コードは国の識別子として表示される場合があります、ISO 通貨コードは通貨の識別子として表示される場合があります。ドキュメントでの ISO 国コードの参照は、全ての ISO 国コードがアプリケーションに含まれていることを意味しません。"(FRA) Hiring an Employee" は、国固有の見出しの例です。

PeopleSoft の通貨コード テーブル (CURRENCY_CD_TBL) には、サンプルの通貨コード データが含まれています。通貨コード テーブルは、ISO 標準 4217 "Codes for the representation of currencies" に基づいており、さらに国テーブル (COUNTRY_TBL) の ISO 国コードにも依存します。通貨コードおよび国情報を管理するページへのナビゲーションは、使用している PeopleSoft アプリケーションによって異なります。通貨コード テーブルおよび国テーブルを管理するページにアクセスするには、アプリケーションのオンライン ヘルプで詳細を確認してください。

地域および業種の識別子

特定の地域や業種に対してのみ適用される情報は、その前に標準の識別子がかっこ書きで付きます。通常、この識別子はセクション見出しの先頭に記述されますが、注意書きや他のテキストの先頭に記述されることもあります。

地域固有の見出しの例として、"(Latin America) Setting Up Depreciation" があります。

地域識別子

地域は地域名によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプでは、次の地域識別子が使用される場合があります。

- Asia Pacific
- Europe
- Latin America
- North America

業種の識別子

業種は、業種名または業種の略称によって識別します。PeopleSoft オンライン ヘルプには、次の業種識別子が現れることがあります。

- USF (U.S. Federal)
- E&G (Education and Government)

PeopleSoft オンライン ヘルプの使用および管理

次のトピックに関する情報を参照するには、PeopleSoft オンライン ヘルプの任意のページのユニバーサル ナビゲーション ヘッダーで [ヘルプ] リンクをクリックします。

- PeopleSoft オンライン ヘルプの新機能。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセシビリティ。
- PeopleSoft オンライン ヘルプのアクセス、ナビゲーションおよび検索。
- ローカルにインストールされた PeopleSoft オンライン ヘルプ Web サイトの管理。

遅延処理

PeopleSoft HCM アプリケーションには、遅延処理モードで動作するページがあります。これらのページの多くのフィールドは、ボタン、リンク、またはタブをクリックしてページを保存またはリフレッシュするまで、更新や検証が行われません。この遅延処理は、ページのフィールド値に対してさまざまな影響を及ぼします。たとえば、フィールドにデフォルト値が入っている場合、値を入力しても、ページが更新されると全てデフォルトに上書きされます。他にも、ページを保存またはリフレッシュすると、残高や合計が更新されるという影響があります。

PeopleSoft HCM で使用する共通エレメント

PeopleSoft HCM で使用する共通エレメントを説明します。

標準ページ エレメント定義

住所 1、住所 2、住所 3	自由形式テキスト入力フィールド。番地、部屋番号、およびその他の住所情報を入力できます。
指定日	この日以前のデータが、レポートやプロセスに含まれます。
ブロック	スペインの住所では、建物または隣接している建物をブロックと呼ぶ場合があります。必要に応じて住所にブロック名を入力します。
ビジネス ユニット	上位の業務組織を表す ID コード。ビジネス ユニットを使って地域または部門による組織単位を設定し、さらに大きな組織の構成単位にすることができます。
市	住所での市区町村名。
コメント	自由形式テキスト入力フィールド。コメントを入力できます。
会社	ビジネスの組織単位。PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft Pension Administration を使用しているアメリカ企業の場合は、給与報告のために政府規定の固有の事業主 ID 番号 (EIN) を持つ事業単位。
国	住所に使用する国名。選択する国によって、他の住所フィールドが調整されます。[国] の値を有効値リストから選択して、TAB キーを使ってフィールド間を移動します。国を選択すると、国テーブルで事前設定されたその国の標準フォーマットに合わせて、住所フィールドが自動的に表示されます。表示されるフィールドに該当する住所データを入力します。
郡 (県および州)	必要に応じて、住所に郡 (県/州) の名前を入力します。
通貨コード	通貨を指定する 3 文字のコード。
説明	36 文字までの自由形式テキストで、定義する対象について説明できます。
部門	社内の組織単位を示す識別コード。
部屋番号	スペインの住所では、部屋の名称または番号を識別します。
有効日	テーブル行が有効になる日付で、アクションが開始される日付。たとえば、元帳を 6 月 30 日で締める場合、元帳を締めるための

有効日は 7 月 1 日になります。また、この日付によって情報を表示したり変更できる期間が決まります。ページやバックグラウンド処理には、現在行の情報が使用されます。

電子メール

個人または組織の電子メール アドレス。

従業員 ID、個人 ID および ID

組織に関連する各個人に固有の ID コード。

雇用レコード番号

システムにより自動的に割り当てられた番号。個人が 2 つ以上の職務データレコードを持っていることを示します。

FAX (FAX 番号)

個人または組織の FAX 番号。

フロア

スペインの住所では、階の名称または階数を識別します。

住宅

住宅タイプを識別します。

イニシャル

個人のイニシャル。

言語

従業員、非従業員、関係者または応募者が使用する言語。

言語、言語コード

印刷するレポートのフィールド ラベルとレポート見出しに使用する言語。指定した言語で、フィールドに値が表示されます。また、従業員、非従業員、関係者、応募者が使用する言語も表します。

最終実行日時

レポートまたは処理が最後に実行された日付。

納税地

組織の納税地。

氏名

個人の氏名。

国民 ID

所得、個人の識別、福利厚生管理などの情報の追跡やその他の目的で国が居住者に設定している ID コード。たとえば、アメリカ居住者の場合は社会保障番号、ドイツ居住者の場合は社会保険番号、イギリス居住者の場合は国民保険コードとなります。

番号

スペインの住所でのストリート、本通り、または他の住所フィールドに関連する番号。住所に番地がない場合、"s/nn (sin numero)" と入力して、番地がないことを示します。

電話番号

個人または組織の電話番号。

内線番号

個人または組織の内線番号。

Phone Type

[電話番号] フィールドに入力する電話番号のタイプを識別します。有効値は、[勤務先]、[学校]、[携帯電話]、[寮]、[FAX]、[自宅]、[その他]、[ポケベル 1]、[ポケベル 2]、[テレックス] です。

郵便番号 (郵便)

住所の郵便番号。

プレフィックス	個人のプレフィックス (Mr.、Ms.、Mrs.、Dr. など)。
[処理頻度] グループ ボックス	[処理頻度] グループボックスで該当する頻度を指定します。[1 回限り] を選択すると、リクエストは次回バックグラウンド処理が実行されるときに実行されます。バックグラウンド処理が実行されると、処理頻度は自動的に [実行せず] に設定されます。[常時] を選択すると、リクエストはバックグラウンド処理が実行されるたびに実行されます。[実行せず] を選択すると、このリクエストはバックグラウンド処理の実行時には無視されます。
プロセス モニター	このリンクをクリックしてプロセス リスト ページにアクセスすると、送信済プロセス リクエストのステータスを確認できます。
法定区域	法定区域とは、特定の法律や規定を持ち、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の対象となっている地域を指します。各国特有の法規定に基づいたトランザクションが多数ありますが、法定区域はこのトランザクションの処理に使います。
レポート ID	レポートを識別します。[レポート マネージャ] リンクをクリックして、レポート マネージャ コンポーネントにアクセスすると、レポート内容、レポートのステータス、レポートの説明と配布リストを示す内容詳細メッセージを確認することができます。
リクエスト ID	レポートまたはプロセスの選択条件セットを表すリクエスト ID。[実行] をクリックしてプロセス リクエスト ページにアクセスすると、プロセスまたはジョブの実行場所や、プロセスの出力フォーマットを指定できます。
ラン コントロール ID	ページに指定されたラン コントロール設定を識別します。
実行日	プロセスが実行された、またはレポートが作成された日付。
実行時間	プロセスが実行された、またはレポートが作成された時間。
セットID	コントロール テーブル情報のセットを表す ID。セットID によって、複数のビジネス ユニット間でコントロール テーブル情報のセットを共有できます。
略称	15 文字までの自由形式テキスト。
階数	スペインの住所では、階名または番号を識別します。
都道府県/州 (州)	住所の都道府県/州。
ステータス	テーブルの行が、アクティブと非アクティブのどちらになっているかを示します。

住所タイプ	住所が広場、通り、本通り、道路などであるかどうかを識別します。スペインの法律では、公文書の住所に住所タイプを含める必要があります。
電話番号 (電話)	個人または組織の電話番号。
ユーザー ID	トランザクションの作成者に対する ID。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』および『PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler』を参照してください。

共通グループ ボックス - 氏名

以下のフィールドは、PeopleSoft HCM で氏名情報を入力、表示するいずれの場合にも使用されます。

[氏名フォーマット] または [フォーマット タイプ]	対象となる個人に適切な氏名フォーマットを持つ言語を選択します。選択した氏名フォーマットに合わせて、氏名グループ ボックスに適切なフィールドが表示されます。
Refresh the Name Field	姓、名の各フィールドに加えた変更を [氏名] フィールドに反映するには、このボタンをクリックします。ページの保存時に、情報が更新されます。

氏名、現在の氏名

以下は、氏名グループ ボックスに表示されるフィールドです。これらのフィールドが一度に全て表示されるわけではありません。使用フォーマット フィールドで選択した国によって、表示されるフィールドが変化します。

タイトル	タイトルを選択します。ドイツの Duevo Directive の規定に基づいて従業員情報を報告する場合、このフィールドは必須フィールドとなり、Duevo 指定のルールに従って入力を完了する必要があります。
プレフィックス、氏名プレフィックス	必要に応じてプレフィックス (氏名プレフィックス) を選択します。
敬称プレフィックス	必要に応じて敬称プレフィックスを選択します。
名	個人の正式な名前を入力します。
別名	オランダでは、正式な名前と異なる名前を個人が使用する際、別名としてその名前を入力します。この個人に対し手紙や宛ラベルを作成する場合には、この別名が使用されます。
使用する姓	オランダでは、既婚の個人に対する氏名追加情報を入力します。使用する姓ページには、[パートナーの姓]、[パートナーのプレフィックス]、[使用する姓] の 3 つのフィールドが表示されます。

ミドル ネーム	必要に応じて個人のミドル ネームを入力します。
姓	個人の正式な姓を入力します。
サフィックス	必要に応じてサフィックスを選択します。
第 2 姓	スペイン人の場合は、第 2 姓 (母方の姓) を入力します。
フリガナ	このフィールドを使って、個人名のフリガナを入力できます。

注: 日本語で氏名を入力する場合、姓と名の間にはスペースを入れても入れなくてもかまいません。アルファベットを使って名前を入力する場合は、姓と名の間をコンマで区切ります。

警告 インストール テーブルのフリガナ ページで指定した文字種を使用してください。間違った文字を使用すると、エラー メッセージが表示されます。

敬称サフィックス	適切な敬称サフィックスを選択します。ドイツの Duevo Directive の規定に基づいて従業員情報を報告する場合、このフィールドは必須フィールドとなり、Duevo 指定のルールに従って入力を完了する必要があります。
氏名	システムで使用する氏名が表示されます。

ページ上における日本語の氏名の表示

個人の氏名フィールドを表示するページでは、氏名は通常、名、姓の順で表示されます。しかし使用フォーマットの国が日本の場合 (使用フォーマットに "JPN" が選択されている場合) は、姓、名の順で表示されます。

また、氏名フィールドが "姓, 名" の形ではなく、"姓 [スペース] 名" の形で表示される点が他とは異なります。つまり、姓と名の間はカンマ (,) ではなくスペースによって区切られます。

「[フリガナ文字セットの使い方](#)」を参照してください。

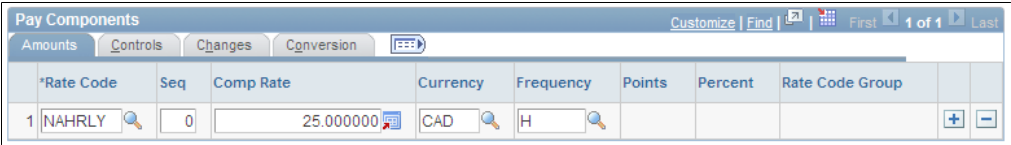
共通グループ ボックス - 給与コンポーネント

[給与コンポーネント] グループ ボックスは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の多くのページに表示されます。

[金額] タブ

[金額] タブにアクセスします。

画像: 給与コンポーネント - [金額] タブ



	*Rate Code	Seq	Comp Rate	Currency	Frequency	Points	Percent	Rate Code Group
1	NAHRLY	0	25.000000	CAD	H			

給与レート コード

給与レート コードは、給与コンポーネントを識別するための値です。この給与レート コードに関連付けられている給与情報が [給与コンポーネント] グリッド内に表示されます。

注: "職務データ - 給与" ページで年功給与レート コードがデフォルトで表示される場合、その給与レート コードの値は編集できません。

連番

同じ給与レート コードが重複して使用される場合、連番を入力します。

給与レート、通貨および周期

給与レートと、そのレートに使用される通貨、また給与が支払われる周期 (年次、週次、時間など)。

給与点数

この給与レート コードに給与点数が設定されている場合は、その値が表示されます。

パーセント

この給与レート コードのレート タイプにパーセントが選択されている場合、この職務の給与レートまたはレート コード グループ (レート コード グループを使用している場合) に適用されるパーセントが表示されます。

レート コード グループ

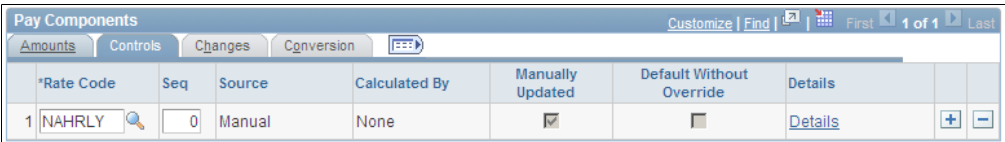
レート コード グループを使用すると、従業員の給与パッケージの一部として給与コンポーネントをパーセントで計算する際に詳細を指定することが可能になります。

[コントロール] タブ

[コントロール] タブにアクセスします。

画像: 給与コンポーネント - [コントロール] タブ

次に、"給与コンポーネント - [コントロール] タブ" の例を示します。



	*Rate Code	Seq	Source	Calculated By	Manually Updated	Default Without Override	Details
1	NAHRLY	0	Manual	None	☒	☐	Details

このページには、個人の給与がどのように入力されたかが表示されます。

ソース	給与レートコードのソース (プレミアム吸収型、年功給、職務コード、手動など) が表示されます。
手動による更新	給与コンポーネントを手動で変更した場合は、このチェック ボックスが自動的にオンになります。
デフォルト値上書き不可	オンになっている場合、"職務データ - 給与" ページで従業員の給与パッケージを手動変更できません。

[変更] タブ

[変更] タブにアクセスします。

画像: 給与コンポーネント - [変更] タブ

次に、"給与コンポーネント - [変更] タブ" の例を示します。

Pay Components							
Customize Find First 1 of 1 Last							
Amounts	Controls	Changes	Conversion				
*Rate Code	Seq	Change Amount	Currency	Frequency	Change Points	Change Percent	
1 NAHRLY	0	0.000000	CAD	Hourly		0.000	+ -

個人の給与に関する変更を表示します。

変更額	この給与コンポーネントのレートに対する変更額です。
変更点数	この給与コンポーネントに対する変更を点数で表したものです。変更点数がない場合もあります。
変更率	この給与コンポーネントに対する変更率です。変更率がない場合もあります。

[換算] タブ

[換算] タブにアクセスします。

画像: 給与コンポーネント - [換算] タブ

次に、"給与コンポーネント - [換算] タブ" の例を示します。

Pay Components							
Customize Find First 1 of 1 Last							
Amounts	Controls	Changes	Conversion				
*Rate Code	Seq	Converted Comp Rate	Currency	Frequency	Apply FTE		
1 NAHRLY	0	1,500.000000	CAD	Biweekly	☐	+ -	

個人の給与の換算レートを表示します。

換算済給与レート	この給与コンポーネントの換算済み給与レートが表示されます。全ての固定的賃金コンポーネントが、職務通貨および給与周期に換算されます。

FTE 適用

このチェック ボックスをオンにすると、年次化または非年次化ができるよう、システムによって給与レートに FTE 係数が掛けられます。FTE とは、労働者の通常の常勤勤務時間に対するパーセント値です。レート コードのタイプがパーセントの場合、このフィールドは使用できません。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Administer Compensation](#)

PeopleSoft HCM の関連リンク

[PeopleSoft 情報ポータル](#)

[My Oracle Support](#)

[Oracle University の PeopleSoft 研修](#)

[YouTube での PeopleSoft ビデオ機能の概要](#)

[PeopleSoft ビジネス プロセス マップ \(Microsoft Visio 形式\)](#)

連絡先

[提案を送信する](#) ご使用の PeopleTools およびアプリケーションのリリース番号を含めてください。

フォロー



[Facebook](#) で PeopleSoft の最新の更新を入手します。



[Twitter@PeopleSoft_Info](#) で PeopleSoft をフォローします。

第1章

PeopleSoft HCM - はじめに

PeopleSoft HCM の概要

PeopleSoft HCM は、PeopleSoft ピュア インターネット アーキテクチャ (PIA) とポータル テクノロジーに基づいたアプリケーションとビジネス プロセスを統合したセットです。

PeopleSoft HCM で提供されている高度な機能と、コラボレーティブ機能やセルフサービス機能によって、採用から退職までのヒューマン リソース管理を可能にし、戦略的なビジネス目標を持って人事・労務に関する調整を積極的に行うことができます。

PeopleSoft HCM の統合

PeopleSoft HCM は、PeopleSoft Financials、PeopleSoft ワークフォース アナリティクス、および PeopleSoft ラーニング マネジメントなどの、他の PeopleSoft アプリケーションと統合できます。PeopleSoft HCM は、他のサード パーティのアプリケーションと統合することもできます。PeopleSoft HCM では、さまざまな統合 テクノロジーを使うことによって、データの送受信が可能です。

統合に関する注意事項については、各ドキュメントの導入のトピックで説明します。サードパーティのアプリケーションとの統合に関する補足情報は、My Oracle Support の Web サイトに掲載されています。

PeopleSoft HCM の導入

PeopleSoft セットアップ マネージャを使用すると、導入する機能に基づいて、実行する必要がある設定タスクのリストを生成できます。この設定タスクには、設定する必要があるコンポーネントが、コンポーネント テーブルにデータを入力する順番にリストされ、関連するドキュメンテーションへのリンクも含まれます。

PeopleSoft HCM には、既存システムから PeopleSoft HCM のテーブルヘデータをロードするコンポーネント インターフェイスも用意されています。テーブルにデータをロードするには、Excel to Component Interface ユーティリティを使用します。

次の表に、コンポーネント インターフェイスが用意され、このドキュメントで説明している全てのコンポーネントを示します。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL)	DEPARTMENT_TBL	「 部門の管理 」を参照してください。

コンポーネント	コンポーネント インターフェイス	参照先
事業所コンポーネント (ESTABLISHMENT_DATA)	ESTABLISHMENT_DATA	「 <u>事業所の定義</u> 」を参照してください。
職務作業内容テーブル コンポーネント (JOB_CODE_TASK_TABLE)	JOB_CODE_TASK_TABLE	「 <u>業務の定義</u> 」を参照してください。
職務コード テーブル コンポーネント (JOB_CODE_TBL)	CI_JOB_CODE_TBL	「 <u>職務の分類</u> 」を参照してください。
作業内容コンポーネント (JOB_TASK_TABLE)	JOB_TASK_TABLE	「 <u>業務の定義</u> 」を参照してください。
所在地コンポーネント (LOCATION_TABLE)	LOCATION_TABLE	「 <u>所在地の設定</u> 」を参照してください。
FLSA カレンダー テーブル コンポーネント (FLSA_CALENDAR)	FLSA_CALENDAR	「 <u>FLSA カレンダー テーブル ページ</u> 」を参照してください。
給与計算実行テーブル コンポーネント (PAY_RUN_TABLE)	PAY_RUN_TABLE	「 <u>給与計算実行テーブル ページ</u> 」を参照してください。
納税地テーブル コンポーネント (TAX_LOCATION_TBL)	TAX_LOCATION_TBL	「 <u>納税地の定義</u> 」を参照してください。

『PeopleTools: Setup Manager』を参照してください。

関連リンク

エンタープライズ コンポーネント

第2章

HCM について

コントロール テーブル、トランザクション テーブル、およびプロンプト テーブル

PeopleSoft HCM は、会社、勤務地、システム仕様などの重要な一般データが一元管理された、テーブルベースのシステムです。このシステムでは、複数のユーザーが同時に同じ基本情報にアクセスできる一方で、データの正確性と一貫性を保つことが可能です。

PeopleSoft HCM で一元管理されるテーブルには、コントロール テーブル、トランザクション テーブル、およびプロンプト テーブルがあります。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』を参照してください

コントロール テーブル

コントロール テーブルには、ユーザーが PeopleSoft HCM アプリケーションを使って行う日々のビジネス活動 (トランザクション) の処理および検証に使用する情報が保存されます。

コントロール テーブルに保存される情報は共通で、組織間で共有されます。たとえば、顧客のマスタースト、ベンダー、アプリケーション、アイテム、勘定科目チャートなどです。コントロール テーブルでこれらの共有情報を一元管理することにより、重複データを削減してデータの一貫性を保ち、複数のユーザーが同時に同じ基本情報にアクセスできるようになります。

通常、コントロール テーブルに保存される情報は固定的で、ビジネス ポリシーや組織構造、処理ルールなどに根本的な変更がない限り、更新されません。

注: コントロール テーブルには、SETID キー フィールド (セットID) が含まれます。コントロール テーブルを設定すると、セットID によって、複数のビジネス ユニット間でコントロール テーブル情報を共有できるようになります。

トランザクション テーブル

トランザクション テーブルには、ユーザーが PeopleSoft HCM アプリケーションを使って行う日々のビジネス活動 (トランザクション) に関する情報が保存されます。

トランザクション テーブルに保存される情報は何度も変更され、コントロール テーブルに保存される情報よりも頻繁に更新されます。

注: トランザクション テーブルには、BUSINESS_UNIT フィールドが含まれます。このフィールドは、キーフィールドとして使用される場合とそうでない場合があります。

プロンプト テーブル

プロンプト テーブルは、PeopleSoft アプリケーション ページ上のフィールドに関連付けられているテーブルで、ユーザーがプロンプト オプションや検索オプションを選択すると、ページ上のフィールドに有効なデータ値を表示します。

プロンプト テーブルに保存されるデータ値は、コントロール テーブル、トランザクション テーブル、または他の PeopleSoft テーブルから検索されます。

ビジネス ユニット、テーブルセットおよびセットID

PeopleSoft では、ビジネス ユニット、テーブルセットおよびセットID を使用して HCM システム データを規定します。

ビジネス ユニット

ビジネス ユニットとは、特定のビジネス情報を追跡および報告するために作成する論理的な単位のことです。ビジネス ユニットには、制限や要件などが事前に設定されていません。ビジネス ユニットは柔軟な構造設計であるため、ユーザーの組織の業務構造に合わせて PeopleSoft HCM を導入することができます。

ビジネス ユニットは、少なくとも 1 つ定義する必要があります。BUSINESS_UNIT フィールドは、全てのトランザクション テーブルにあります。

テーブルセットおよびセットID

テーブルセットとセットID は、複数のビジネス ユニット間で情報を共有または制限することができるよう設計されています。たとえば、テーブルセットとセットID を使用すると、国コードなどの重複した情報を集中管理できる一方で、部門コードや職務コードなどの他の情報を分散管理することができます。テーブルセットとセットID によって、データの重複を最小限にとどめ、データの整合性を維持し、システム管理タスクを削減することを全体的な目的としています。

テーブルセット (セットID) は、少なくとも 1 つ定義する必要があります。SETID キー フィールドは、全てのコントロール テーブルにあります。

関連リンク

[PeopleSoft HCM システム データ規定について](#)

有効日

PeopleSoft HCM では、有効日を設定して、過去、現在、未来の情報を保存します。有効日を設定すると、次のことが可能になります。

- データの履歴を日付順に管理できます。有効日付きの情報をテーブルに保存することによって、過去のトランザクションを確認したり、将来のイベントを計画したりすることができます。たとえば、過去のある時点までシステムをロール バックし、データの履歴を分析することができます。また、テーブルやデータを事前に設定しておくことも可能です。メモ ファイルや保留ファイルを作る必要もありません。
- データの正確性を保ちます。プロンプト テーブルの有効日とアプリケーション ページの有効日を比較することによって、アプリケーション ページの有効日時点で有効な値だけが表示されます。たとえば、新しい部門コードを 2008 年 5 月 1 日の有効日で作成します。次に、職務データ ページで、従業員の新しいデータ行に 2008 年 5 月 1 日より前の有効日を入力します。新しい部門コードは有効でないため、部門フィールドの入力を選択する際に表示されません。

詳細については、『*PeopleTools: Application Designer Developer's Guide*』の製品ドキュメントを参照してください。

個人構造とポジション構造

PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムは、個人を基準にする方法とポジションを基準にする方法の 2 とおりで構成および運用することができます。コントロール テーブルで情報を設定する前に、どちらの方法を採用するか決定する必要があります。選択した方法によって、システム内での情報処理方法が異なります。

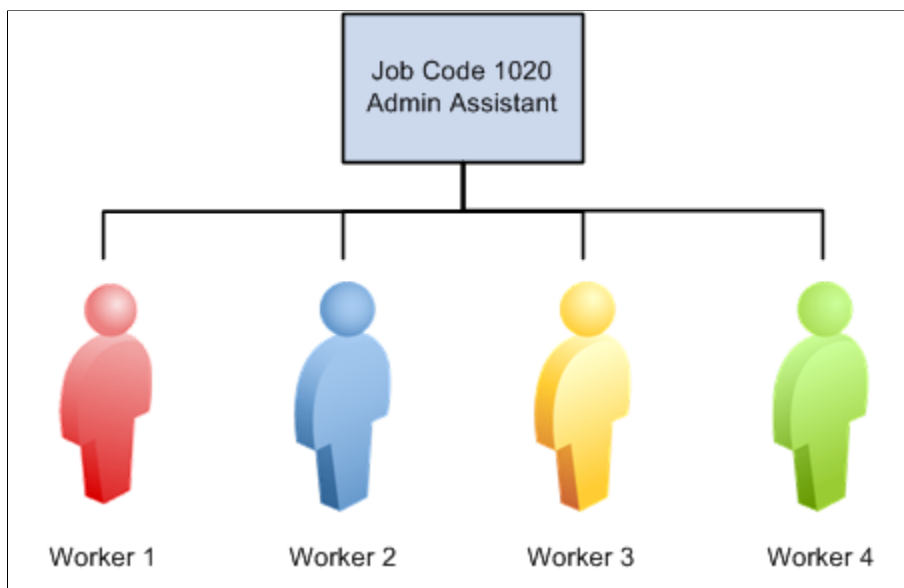
相違点

個人を基準にして PeopleSoft ヒューマン リソース管理を運用する場合、職務コードを使って職務データをグループに分類します。この職務コードを使って個人データと職務データをリンクします。ポジションを基準に PeopleSoft ヒューマン リソース管理を運用する場合、EEO (雇用機会均等法) や給与調査データなど

の一般的なグループ分けや職務分類には職務コードを使いますが、職務コードの中の各ポジションをそれぞれ区別し、個人とこれらのポジションをリンクするのが特徴です。

画像: 個人を基準にした HCM の運用

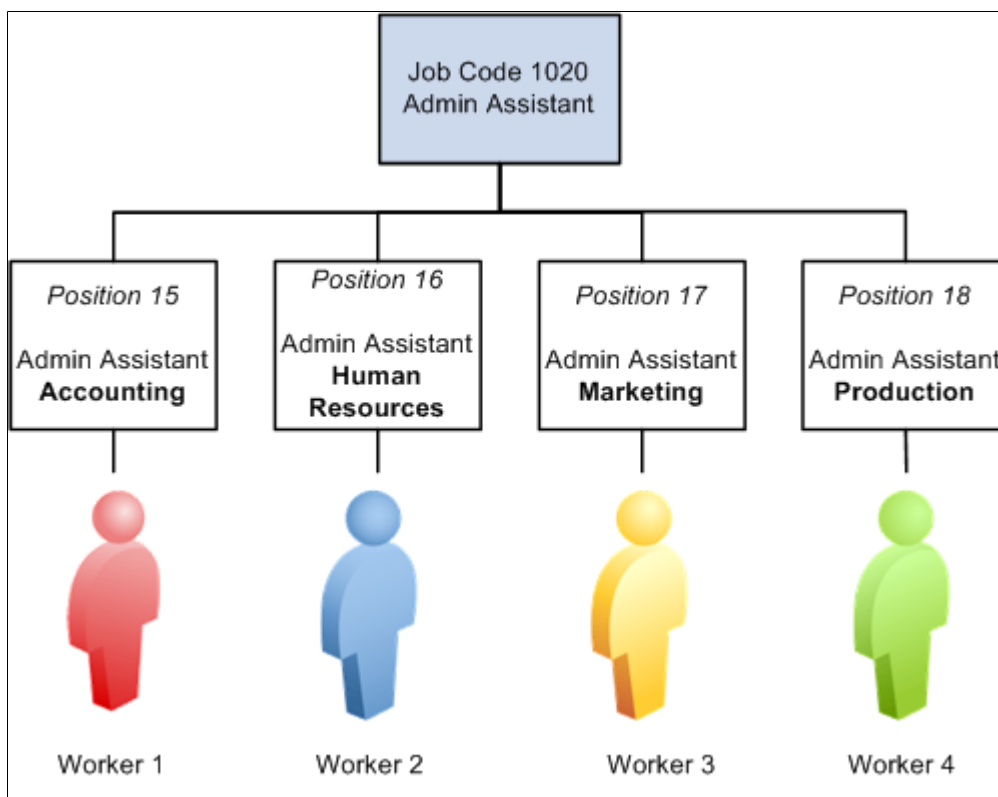
職務コードの場合は、主に 1 つの職務コードに対して複数の従業員、という関係になります。勤務する部門、場所、会社が異なる場合でも、多くの労働者に同じ職務コードが使われます (次の図を参照)。労働者が携わる職務は、労働者の職務レコードに入力するデータによって判別します。



画像: ポジションを基準にした HCM の運用

これに対して、通常は、1 つのポジションに対し 1 人の従業員という関係が成り立っています。ですが、1 つの職務コードに複数のポジションを設定することもできます。ポジションによって、特定の部門または勤務地における特定の職務についてさらに詳しく管理できます。たとえば、職務コード 1020 の事務アシスタントに対し、それぞれ異なるポジション番号で複数の事務アシスタントのポジションを定義し、ポジション 15 は経理部門、ポジション 16 は人事部門、ポジション 17 はマーケティング部門、ポジション 18 は生産

グループとすることもできます。その後、労働者がそれらの個別のポジションに割り当てられます。この方法を次の図に示します。



ポジションを基準としてシステムを運用する場合は、さまざまなポジションの属性を定義し、これらのポジションに労働者を割り当てたりはずしたりします。そのポジションに実際に個人が割り当てられているかどうかにかかわらず、電話番号、郵送先などそのポジションに関する情報を管理します。各ポジションに特有のデータに基づいて、組織計画、採用管理、キャリアプラン、予算編成などを行うことができます。

2つの方法を区別する理由

ページやテーブルを使っているときは、個人とポジションのどちらを基準にしても大きな違いはありません。ただし、システムによってデータが処理される方法が、どちらを基準にするかによって大きく異なります。2つの方法のどちらを使うかによって、個人データやポジション（または職務）データを入力および管理する方法とその場所が異なります。

適切な方法を選択するには

システムの運用を個人を基準にして行うか、またはポジションを基準にして行うかを決めるには、以下の事柄を考慮する必要があります。

- 組織が流動的な場合、つまり労働者を大まかにグループ分けして捉え、新しい職務を頻繁に作成する傾向にある場合は、個人を基準にしてシステムを運用する方が効率的です。

この方法は、組織が絶えず拡張している場合や、新規プロジェクトが立ち上げられ、新しい職務や職務タイプを定期的に作成する必要がある場合に便利です。

- 組織がかなり安定している場合、つまり職務や職務内容がほぼ固定されており、既存のポジション間で労働者の配属や異動が行われる場合は、ポジションを基準にしてシステムを運用する方が効率的です。

たとえば、官公庁や病院など、実際にポジションに人を配属する前に予算に基づいてポジション計画を決めることが多い場合は、この方法が大変便利です。

- 組織内の部署やレベルによって効果的な方法が異なる場合は、2つの方法を併用して PeopleSoft ヒューマン リソース管理を運用することも可能です。

たとえば、会社の一部の部門や管理職レベルではポジションを基準としたシステム運用が効率的で、その他では個人を基準としたシステム運用が効率的な場合があります。その場合、[一部をポジション管理] という設定方法を選択すれば、両方の方法が使えます。

注: どの方法を選択しても PeopleSoft の給与計算システムが影響を受けることはありません。どの方法を使う場合でも、PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft グローバル ペイロールを使用できます。

年金、給与計算、および福利厚生管理のアプリケーションについて

PeopleSoft Pension Administration を使っている場合、年金受給者 (退職者、受益者、QDRO 代替受給者など) の管理には、労働者管理と同じテーブルを使います。退職者の管理は、ポジションではなく個人 (この場合は受給者) を基準にすると、各受給者に対しそれぞれポジションを設定する必要があります。現職労働者をポジション基準で管理し、年金受給者を個人基準で管理する場合は、[一部をポジション管理] オプションを使います。

PeopleSoft グローバル ペイロールや PeopleSoft Payroll for North America を使っている場合も同様です。PeopleSoft ヒューマン リソース管理の Manage Base Benefits のビジネス プロセスまたは PeopleSoft Benefits Administration を使用している場合は、システムの一部だけまたは全体をポジションで管理するようにポジション管理のオプションを設定できます。

関連リンク

[Understanding Positions](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)

[Understanding Job Data](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

HCM におけるシステム データ規定の使い方

PeopleSoft HCM システム データ規定について

会社が成長し複雑になるに従って、さまざまな場所で同じタイプのデータを収集する必要が生じることが多くなります。PeopleSoft のビジネス ユニットとセットID を使用すると、ビジネスを会社や部門とは異なる論理ユニットに編成することができます。また、ユニット間で組織内のデータを共有する方法を定義することができます。

PeopleSoft HCM のシステム データは、ビジネス ユニット、テーブルセットとセットID、およびテーブルセット共有を使用して規定されます。ビジネス ユニットは、ユーザーの組織の業務構造に合わせて PeopleSoft HCM を導入することができる論理的な単位です。テーブルセット、セットID、およびテーブルセット共有は、ビジネス ユニット間で HCM システムに保存されている情報を共有したり制限したりできる組織的な手段です。

ビジネス ユニット	論理的な組織単位です。
セットID	多くのコントロール テーブルに対する上位レベルのキーです。
テーブルセット	コントロール テーブルの行のセットを指し、セットID によってグループ化されます。特定のビジネス ユニットで使用されます。

ビジネス ユニットとセットID の設定に使用するコンポーネント

ビジネス ユニットのマッピングが済んだら、次のコンポーネントを使ってビジネス ユニットとセットID を設定し、権限リストまたはビジネス ユニットに基づき、システムのデフォルト値を定義します。

コンポーネント	場所
テーブルセットIDコンポーネント (SETID_TABLE)	[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理], [テーブルセット ID]
ビジネス ユニット コンポーネント (HR_BUSINESS_UNIT) 「 ビジネス ユニットの定義 」を参照してください。	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織構造], [ビジネス ユニット]
レコード グループ コンポーネント (REC_GROUP_TABLE)	[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理], [レコード グループ]
プライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (OPR_DEF_TBL_HR) 「 プライマリ権限リストの基本設定 」を参照してください。	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織構造], [プライマリ権限リスト基本設定]

コンポーネント	場所
ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネント (BUS_UNIT_OPT_HR) 「ビジネス_ユニット_オプション_デフォルト_ページ」を参照してください。	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織構造], [ビジネス ユニット オプション デフォルト]
テーブルセット コントロール コンポーネント (SET_CNTRL_TABLE1)	[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理], [テーブルセット コントロール]

前提条件

PeopleSoft HCM を導入する前に、会社の事業運営方針を詳細に検討します。さらに、組織の事業構造、業務慣行、および業務手順をどのようにマッピングするかについて分析します。

ビジネス ユニットとテーブルセット ID は、インストール テーブル コンポーネント (INSTALLATION_TBL) の設定および会社コンポーネント (COMPANY_TABLE) への会社の入力の前または後のいずれでも設定できます。ただし、インストール テーブル コンポーネントと会社コンポーネントは、テーブルセット コントロール コンポーネント、ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネント、およびプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントの設定を開始する前に設定する必要があります。

ビジネス ユニットの使い方

次の各トピックでは、ビジネス ユニットの概要とビジネス ユニット構造の決定方法について説明します。

ビジネス ユニットについて

ビジネス ユニットとは、特定のビジネス情報を追跡および報告するために作成する論理的な単位のことです。ビジネス ユニットには、制限や要件などが事前に設定されていません。ビジネス ユニットは柔軟な構造設計であるため、ユーザーの組織の業務構造に合わせて PeopleSoft HCM を導入することができます。

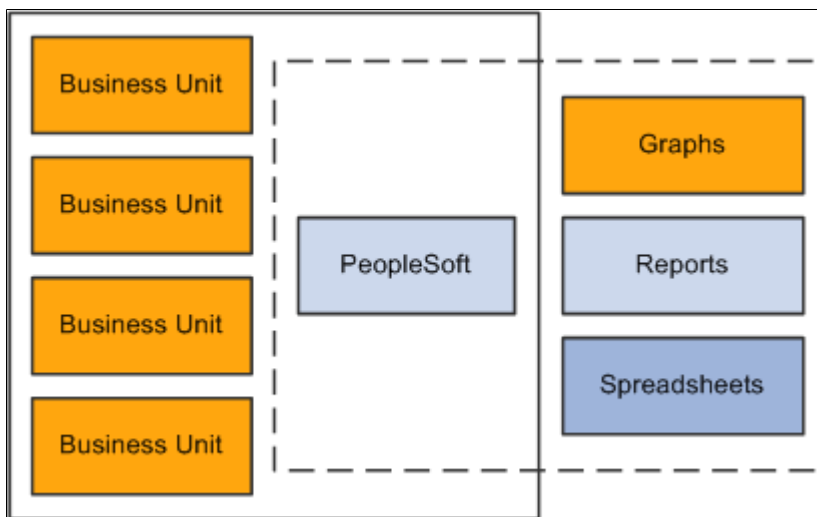
ビジネス ユニットでは処理ルールが共有されます。そのため、組織の構造に合わせて、また社内の人事部門の要望を反映させて、組織内のさまざまなレベルでビジネス ユニットを作成することができます。組織全体で同じ処理ルールを使用している場合は、ビジネス ユニートを 1 つ設定するだけで済みます。一方、会社、国、または業務内容ごとに異なる処理ルールを使用している場合は、複数のビジネス ユニートを設定することもできます。

PeopleSoft HCM ではビジネス ユニットの定義が事前設定されていないため (部門と会社についてはあらかじめ設定された定義があります)、ビジネス ユニートを組織の構造に合わせて定義し、PeopleSoft HCM アプリケーションに導入することができます。ビジネス ユニートは、PeopleSoft HCM、Financials、Manufacturing、および Distribution の各アプリケーション間で共有できます。または、1 つの PeopleSoft アプリケーションに限定して定義することも可能です。

注: PeopleSoft HCM では、ビジネス ユニットの定義方法は、ユーザー次第です。またデータ処理を容易にするためのビジネス ユニットの使い方もユーザーの自由です。たとえば、組織内の各法人ごとにビジネス ユニットを設定し、中央の人事管理部門がそのビジネス ユニットの処理を全て行うよう設定できます。この人事管理部門が各ユニットの情報、労働者、プロセスの間のインターフェイスとなり、管理を実行します。一方、組織内の会社、所在地、または支店ごとにビジネス ユニットを設定し、データを中央の親ビジネス ユニットと共有しながら、人事管理情報を各ユニット別に管理することもできます。

画像: 集中管理データによるビジネス ユニット間の分析およびレポート作成

各ビジネス ユニットでは別々に人事管理情報が管理されますが、1 つの集中管理データベースを設定することで、ユニット間で重複するデータを管理する手間が省けます。さらに重要なポイントは、次の図に示すように、複数のビジネス ユニットにまたがるレポートを作成できることです。これによって、全体像を把握しながら、詳細を比較することができます。



関連リンク

[コントロール テーブル、トランザクション テーブル、およびプロンプト テーブル](#)

ビジネス ユニット構造の決定

ビジネス ユニットによって柔軟な構造設計が実現されるため、組織の業務構造に合わせて PeopleSoft HCM を導入することができます。組織によっては、従来の構造とビジネス モデルの共通点が明白な場合もあります。そうでない場合は、組織構造を反映して PeopleSoft HCM の優れた機能を最大限に活用するために、ビジネス ユニットの設定に綿密な検討および分析が必要です。PeopleSoft HCM の導入にあたってビジネス ユニットの設定方法を決定するときは、次の点に留意してください。

- ビジネス ユニット機能は、個人を組織構造の中に位置付けるための 1 つの方法と考えます。
- ビジネス ユニットは、職務、ポジションおよび個人の職務レコードに常に関連付けられています。

- ビジネス ユニットは事前設定された定義がありません (部門と会社についてはあらかじめ設定された定義があります)。ビジネス ユニットという新しい組織レベルは、会社の役に立つ形で導入することができます。
- ビジネス ユニットは法律上の企業体ではなく、レポート作成やロールアップ データの収集に関する特定のビジネス情報を追跡する方法です。

設計の初期段階から PeopleSoft の導入パートナーと密接に作業を進め、PeopleSoft HCM システムにビジネス ユニットを定義する最適な方法を決定するようにします。企業によって要件はそれぞれ異なり、また発生する可能性のある要素をあらかじめ全て網羅することは不可能です。しかし、企業のビジネス ユニット構造を具体化し、設定するビジネス ユニットの数を仮決定したら、以下の点を再確認してください。

- ビジネス ユニット構造とビジネス ユニットの数は正しいか。
- これらの構造でうまくいかない要因があるか。
- これらの構造により使いたい機能が使用できなくなる可能性があるか。
- これらの構造によりレポート作成のオプションに対する制限が発生する可能性があるか。
- これらの構造により夜間処理に予定以上の時間がかかる可能性があるか。

ビジネス ユニット構造の例

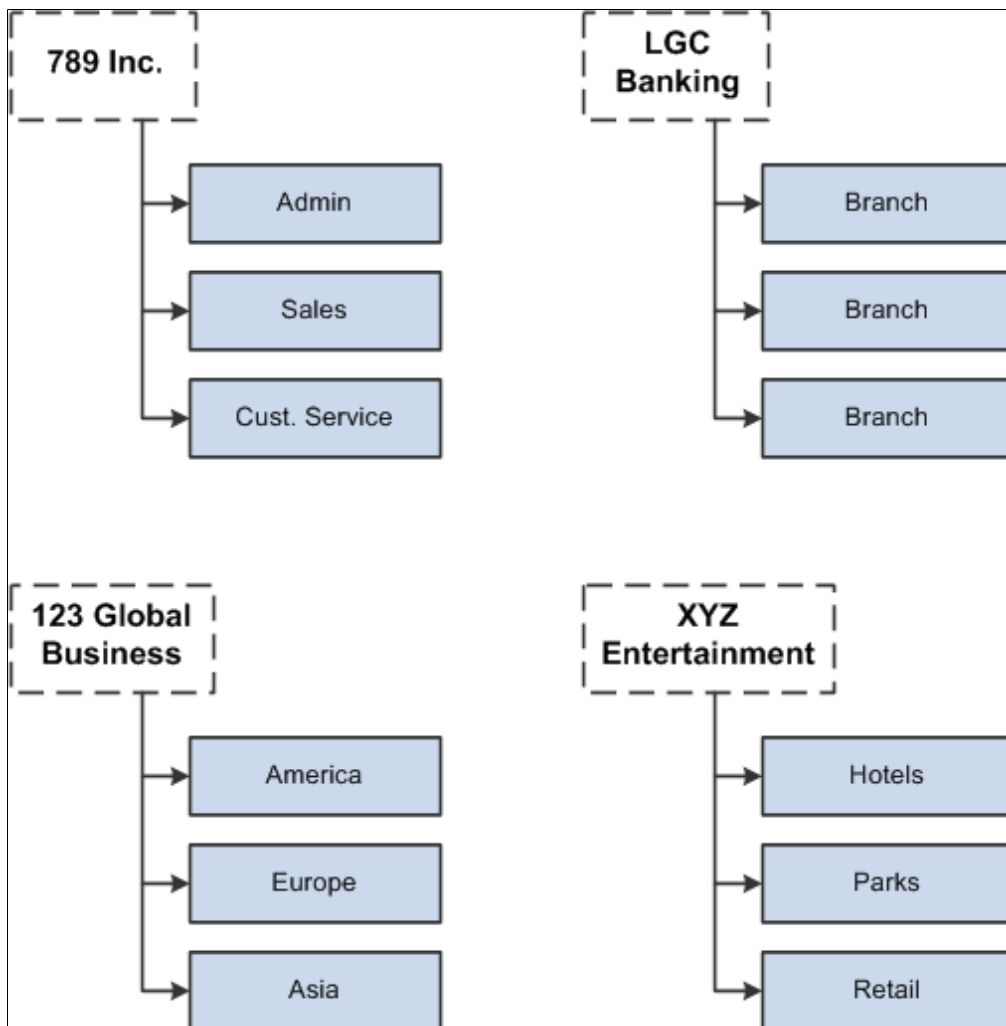
ビジネス ユニットの定義方法は、産業分野、法定要件、法定提出書類要件、または業務責任の割り振り方によって異なります。

画像: ビジネス ユニットは、業務内容や支店、地域、子会社、または組織のニーズに最適なものを表すために設定できます。

次のシナリオと補足図を考えてみます。

- 789 社は、販売と顧客サービスの状況など、情報を業務別または目的別に管理しています。この会社では、人事管理、福利厚生および給与計算の各部門の業務ニーズに合わせて、ビジネス ユニットを作成しています。
- LGC 銀行は、各支店をそれぞれ 1 つのビジネス ユニットとして扱っており、そのため従業員のレポート作成を各支店ごとに行うことができます。
- 123 グローバルビジネスは多国籍企業で、海外で業務を行う必要性から、事業運営を地域ごとに分割しています。このような企業にとっては、各オフィスの情報よりも地域ごとの情報の方が重要です。ヨーロッパやアジアの市場に対して、アメリカの工場の状況はどうなっているかなどの情報を検討する必要があります。そうすることで、ビジネスの要件やニーズを追跡することができます。
- XYZ エンターテインメントには、子会社があります。このような多角経営企業では、それぞれの子会社やコストセンターをビジネス ユニットとして定義することができます。たとえば、ホテル事業と小売販売業

を営む会社の場合は、2 つの事業に関する情報を個別に維持しながら、1 つのデータベースにまとめて一元管理することも可能です。



これらの方法を全て組み合わせて設定することも、またそれぞれの組織ニーズに合わせたその他の単位を設定することも可能です。ビジネス ユニットは必要な数だけ設定できますが、ビジネス ユニットの数が多いほど管理する情報も増大します。ただし、システムにはビジネス ユニットが少なくとも 1 つは必要です。

ビジネス ユニットの導入

組織全体に対してビジネス ユニットを 1 つ導入することも可能ですが、複数のビジネス ユニットを設定すると、レポート作成とデータ コントロールで重要なオプションが使用できるようになります。複数のビジネス ユニットを設定すると、次のことが可能になります。

- ツリー構造の管理による、会社独自のロールアップ レポートの作成。
- 複数のビジネス ユニットに、部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) や所在地コンポーネント (LOCATION_TABLE) などのコントロール テーブルの管理を分散。

PeopleSoft HCM のビジネス ユニット機能は、大企業や多国籍企業が複数分野にわたるデータ フローを管理する場合に役立ちます。

注: PeopleSoft Benefits Administration を導入している場合は、ビジネス ユニットの関連付けに基づいて、労働者の福利厚生資格を決定する資格ルールを定義できます。

テーブルセットの使い方

次の各トピックでは、テーブルセットの概要と、以下の方法について説明します。

- テーブルセット共有の設定
- データ セットの制御
- 複数のセットID の参照

テーブルセットについて

テーブルセットを使うには、テーブルセット、セットID、テーブルセット共有の違いを理解する必要があります。

テーブルセット

同じ上位レベル キーで特定されるコントロール テーブルのデータ行のセット。

セットID

データ行のセットを特定する上位レベルのキー。次の 2 つのタイプのセットID があります。

- 物理的なセットID

ビジネス ユニットのセットID (BUSINESS_UNIT = SETID)。物理的なセットID のデータ行は、ビジネス ユニットと 1 対 1 の関係にあります。

- 論理的なセットID

汎用的に使用され、ビジネス ユニット以外のビジネス ルールによって特定される論理的なセットID。論理的なセットID は、複数のビジネス ユニット間でデータ行を共有するのに使用されます。

テーブルセット共有

テーブルセットのデータ行を複数のビジネス ユニット間で共有すること、または 1 つのビジネス ユニットに制限すること。

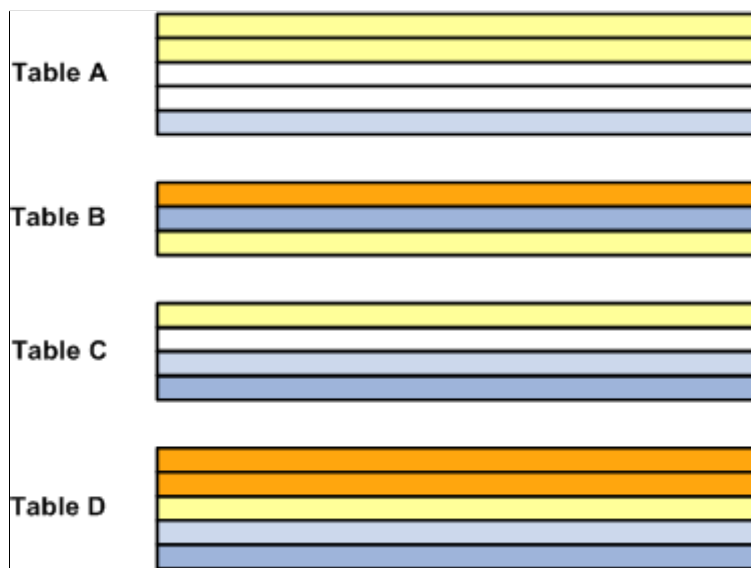
注: テーブルセットとセットID という用語は、同じ意味で使われることもあります。ほとんどの場合は区別なく使用しても間違いではありませんが、混乱を招く可能性があります。

テーブルセットは必要に応じて定義できますが、その数が多くなるほどテーブルセット共有は複雑になります。組織によっては、1 つのテーブルセットだけで済む場合もあります。

注: PeopleSoft HCM では、テーブルセットとセットID は、少なくとも 1 つずつ作成する必要があります。

画像: セットID はテーブルのデータ行を識別し、同じセットID によってテーブルセットが構成されます

セットID はテーブルの行のセットの識別に使用するため、テーブルセットが存在する場合は、必ず同じ番号のセットID が存在することになります。たとえば、次の図は 4 つのコントロール テーブルを表しています。テーブル内のそれぞれの色はセットID を表しており、同じ色の全ての行はテーブルセットを表します。テーブル A と B はそれぞれ 3 つのテーブルセットで構成され、テーブル C と D は異なる 4 つのテーブルセットで構成されていますが、この 4 つのテーブルの中には全部で 5 つのセットID (すなわちテーブルセット) が存在します。



セットID がキーとなっている PeopleSoft ヒューマン リソース管理のコントロール テーブルには、以下のものがあります。

- 所在地コンポーネント
- 部門コンポーネント
- 給与プラン コンポーネント
- 職務コード コンポーネント

テーブルセット共有

テーブルセット共有によって、コントロール テーブルのデータの一部または全てをビジネス ユニット間で共有できます。そのため同じデータを何度も入力する必要がなくなります。情報の共有で重要なのは、ビジネス ユニット間で共有できるデータ行、制限された特定のビジネス ユニットで共有できるデータ行、および制限をかけるデータ行を決定することです。

たとえば、国コードなどの重複する情報を、共有する 1 つのセットID を使用して集中管理し、一方、部門コードや職務コードなどの情報を複数のセットID を使用して分散管理することができます。テーブルセット共有は、データの重複を最小限にとどめ、データの整合性を維持し、システム管理タスクを削減することを目的としています。

テーブルセットは HCM システムの基本構成要素です。テーブルセットに含まれる各テーブルには、会社特有のビジネス ルールや処理オプションに従ってデータを入力します。さらに、テーブルセット コントロール コンポーネント (SETID_TABLE) でビジネス ユニットに対するテーブルセット割り当てを更新することにより、複数のテーブルセットの組み合わせや照合が可能です。

テーブルセットにある全てのテーブルを共有する必要はありません。PeopleSoft HCM では、必要に応じて、任意の数のビジネス ユニットで任意のテーブルの組み合わせを共有することができます。テーブルセット コントロール ページを使用して、各ビジネス ユニットの共有対象データとその共有方法を指定します。

画像: テーブルセットは、複数のビジネス ユニットで共有することも、1 つのビジネス ユニットで固有のものとすることもできます

次の図は、あるレコード グループ (職務コードレコード グループ) では 1 つのテーブルセットが組織の 3 つ全てのビジネス ユニットで共有され、別のレコード グループ (所在地レコード グループ) では各ビジネス ユニットがそれぞれ独自のセットID を使用している例を示しています。3 番目のレコード グループ (給与プラン グループ) では、2 つのビジネス ユニット (ABC と QRS) が 1 つのテーブルセットを共有していますが、3 つ目のビジネス ユニット (XYZ) は別のセットID に作成した値を使用しています。

	Business Unit ABC	Business Unit QRS	Business Unit XYZ
Job Codes			
Locations			
Salary Plans			

レコード グループとテーブルセット共有

テーブルセットを共有するために、コントロール テーブルはレコード グループに分割されます。レコード グループは、同じセットID のグループを同じように使用するコントロール テーブルとビューがセットになったものです。

レコード グループは次の 2 つの目的に使用されます。

- 膨大な量のデータを重複して入力することなくテーブルセット共有を設定できるため、時間を節約できます。
- システム内の関連するテーブルやビュー全体に一貫してテーブルセット共有が実行されることで、セーフティ ネットとしての役割を果たします。

レコード グループにはテーブルが 1 つしかない場合と、複数のテーブルとビューがある場合があります。各レコード グループに含まれるテーブルやビューは、レコード グループ コンポーネントを使って更新または修正することができます。

ビジネス ユニットとセットID

ビジネス ユニットを作成する際は、ビジネス ユニットにデフォルト セットID を割り当てる必要があります。次の 2 つの方法があります。

- 新規のビジネス ユニットでのみ使用するコントロール テーブルのデータ行を作成する場合は、ビジネス ユニットの作成時にそのビジネス ユニットのセットID を作成します。

ビジネス ユニットを作成するときに、[セットID] フィールドのビジネス ユニット コードを受け入れることで、セットID を作成することができます。このように操作すると、ビジネス ユニットの保存したときに、テーブルセットID コンポーネントにレコード セットID が作成されます。

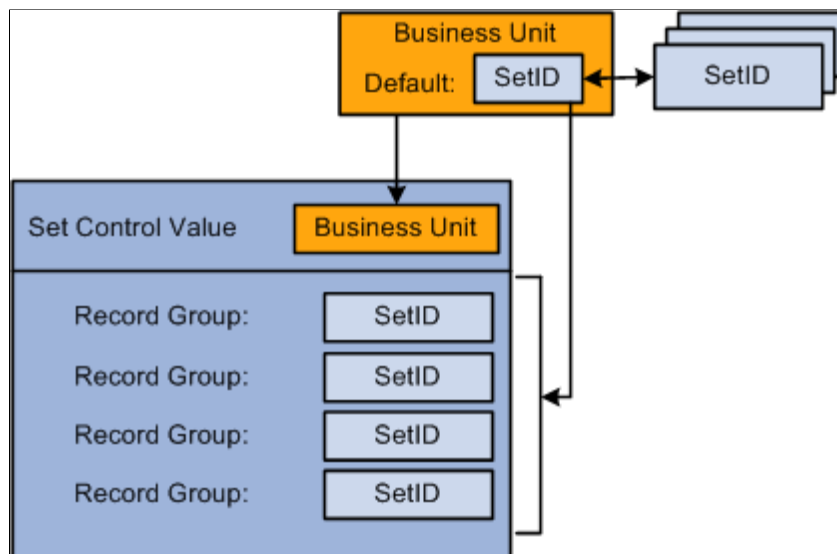
注: これは、1 つのビジネス ユニットののみを使用する場合に最適な方法です。

- 作成するビジネス ユニットと他のビジネス ユニット間でテーブルのデータ行を共有させる (テーブル セット共有) 場合は、作成するビジネス ユニットに対して使用を許可するデータ行に関連付けられている、または関連付ける予定の既存のセットID を選択します。

いずれの方法を選択した場合も、ビジネス ユニットの保存すると、テーブルセット コントロール コンポーネントにそのビジネス ユニットのエントリが作成され、各レコード グループと、ビジネス ユニットに対して選択したデフォルト セットID が関連付けられます。テーブルセット コントロール コンポーネントのセットID の割り当ては変更できます。

画像: テーブルセット コントロールによって、ビジネス ユニットが各レコード グループに対して使用するテーブルセットが決まります

この図は、セットID とビジネス ユニットの関係を示し、システムによってテーブルセット コントロール コンポーネントに作成されるビジネス ユニットの情報を示します。テーブルセット コントロール コンポーネントでは、一部または全てのセットID の割り当てを変更できます。



テーブルセット共有の設定

テーブルセット共有の設定は簡単です。テーブルセット コントロールを使用して、ビジネス ユニット間で使用できるようにするデータ、または特定のビジネス ユニットに使用を制限するデータを制御します。テーブルセット コントロールを設定する前に、以下を作成します。

- レコード グループ
- ビジネス ユニット
- セットID

ビジネス ユニットを作成して保存すると、ビジネス ユニットに対して、テーブルセット コントロール コンポーネントにレコードが作成され (セット コントロール値)、各レコード グループのセットID に、ビジネス ユニットに対して選択したセットID がロードされます。そのビジネス ユニットが、特定のレコード グループの他のセットID の行にアクセスできるようにする場合は、デフォルト セットID を適切なセットID に変更します。つまり、多くのテーブルセット共有の設定はバックグラウンドで行われます。

データ セットの制御

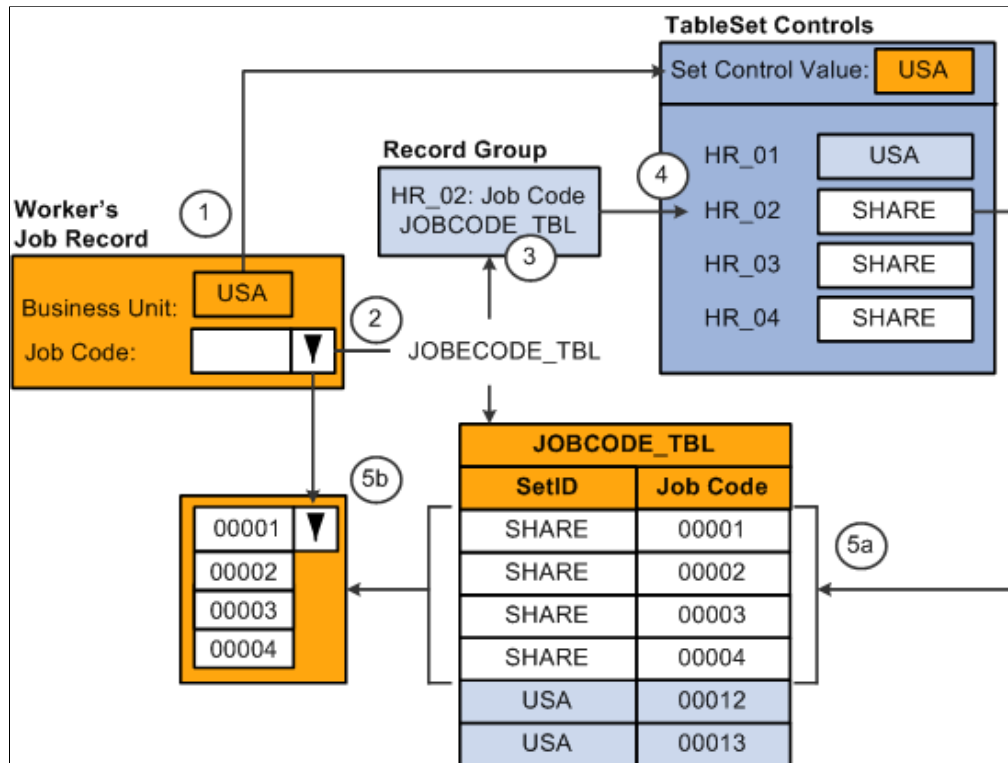
テーブルセット コントロールの設定に基づいて、トランザクション コンポーネントでユーザーが使用できるフィールド オプションが決まります。たとえば、新規従業員の職務データレコードの作成時に職務コードフィールドのドロップダウン リストを選択すると、以下の項目に基づいて選択できるオプションが絞り込まれます。

1. この個人の職務データレコードが含まれるビジネス ユニット
USA
2. このフィールド (職務コード) のテーブル コントロール データ
JOBCODE_TBL
3. 上記のテーブルが含まれるレコード グループ
HR_02
4. このビジネス ユニットの上記のレコード グループに割り当てられているセットID
SHARE
5. そのセットID をキーとするコントロール テーブル (職務コード テーブル) の行
 - a. システムにより、SHARE のセットID の値を持つ職務コードのみが検索されます。

- b. セットID "SHARE" をキーとする行のみが表示されます。

画像: ビジネス ユニット テーブルセット コントロールのセットID に基づいた、有効なコントロール テーブルのフィールド値の取得

次の図は、ビジネス ユニット "USA" のテーブルセット コントロールと、そのビジネス ユニットに対して表示される職務コード値の決定方法 (前述した方法) を表しています。



ユーザーがアクセスしようとしたフィールドのコントロール テーブルがレコード グループ HR_01 に含まれる場合は、対応するコントロール テーブルからセットID の USA をキーとする値が表示されます。ユーザーに表示されるデータは、ユーザーがアクセスしているコントロール テーブルが含まれるレコード グループのテーブルセット コントロール コンポーネントに指定されているセットID によって決まります。

複数のセットID の参照

ページによっては、複数のセットID を参照する場合があります。セットID 機能を使用する場合は、ページプロセッサがこのような状況でどのように機能しているのかを理解することが重要です。それによって、データレコードのデフォルト値がどのように設定されるかが理解しやすくなります。

あるセットID をキーとするテーブルに、別のセットID テーブルの検索画面が表示されるフィールドが存在する場合、PeopleSoft HCM では次の 2 つの状況が考えられます。

シナリオ 1: コントロール テーブルに複数のセットID が存在するが、それらのセットID に基づくデフォルトが存在しない場合

複数のセットID に関連付けられるコントロール テーブルの例として、部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) があります。このコンポーネントの DEPT_TBL レコードには、部門と部門の所在地の 2 つのセットID があります。所在地プロンプトのセットID は、LOCATION_TBL レコードから取得されます。

画像: 部門プロフィール ページ

次の例は、部門プロフィール ページを示しています。

The screenshot displays the 'Department Profile' page for Set ID SHARE and Department 13000. It includes fields for Effective Date, Status, Description, Short Description, Location Set ID, Location, Company, Manager Type, Manager ID, and Manager Position. A search bar is also present.

このように、部門セットID と所在地セットID である場合は、[所在地] フィールドに次の値が表示されるようにコンポーネントを設定できます。

- 全てのセットID から得られる全ての所在地。
- 同じセットID を共有する所在地、および部門のセットID。

全ての所在地を表示するように設定した場合、部門のセットID にアクセスできるどのビジネス ユニットでも使用されないセットID の所在地を指定して部門を作成すると、問題が発生します。所在地セットID を 1 つのみ使用できるようにした場合、その部門のセットID にアクセス可能なビジネス ユニットが別の所在地セットID を使用したときに問題が発生することがあります。

たとえば、ある組織では、4 つのビジネス ユニットに対して、DEPT レコード グループと LOCATION レコード グループのテーブルセット コントロールを以下のように設定しています。

ビジネス ユニット		PDEV	EURO	ASIA	RUSS
レコード グループ:	DEPT	USA	EURO	USA	EURO
	LOCATION	USA	EURO	ASIA	RUSS

注: テーブルセット コントロールはテーブルセット コントロール コンポーネントで設定します。

所在地セットID を部門のセットID に制限した場合、*ASIA* および *RUSS* ビジネス ユニットでは有効な所在地を指定して部門を設定することができません。全てのセットID の全ての所在地を表示するように設定した場合、ユーザーがセットID *EURO* の所在地を指定して、セットID *USA* の部門を作成してしまうというリスクがあります。

部門に対して表示する所在地を制限しながら、一方で異なるテーブル共有を可能にするには、部門セットID が *USA* の場合は、所在地セットID が *USA* と *ASIA* に、部門セットID が *EURO* の場合は、所在地セットID が *RUSS* と *EURO* に制限されるように設定できます。

シナリオ 2: トランザクション レコード全体のデフォルト設定をコントロールするセットID が複数あるトランザクション テーブルの場合

レコード全体のデフォルト設定をコントロールするセットID が複数あるトランザクション テーブルの例として、職務データ コンポーネント (JOB_DATA) があります。

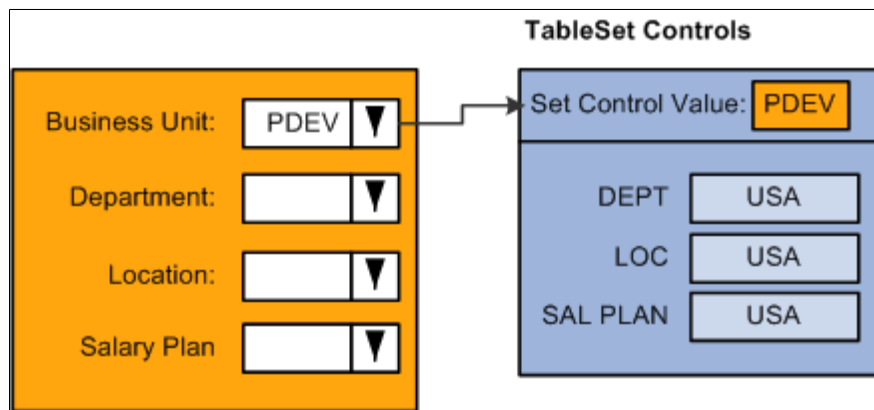
従業員の職務データレコードを作成する際は、勤務地ページ (JOB_DATA1) でビジネス ユニットを選択します。ビジネス ユニットのテーブルセット コントロールによって、コンポーネントに含まれるその他のフィールドに表示される値や、設定されたデフォルトが使用されるタイミングが決まります。

所在地がビジネス ユニットの有効なセットID に含まれる場合のみ、ビジネス ユニットで選択されたセットID に含まれる部門が表示され、部門の所在地にデフォルトが設定されます。所在地には関連付けられた給与プランがあり、ビジネス ユニットに対して有効なセットID にその給与プランが含まれている場合のみ所在地の給与プランがデフォルトで設定されます。デフォルト値が、選択されたビジネス ユニットの有

効なセットID に含まれない場合は、フィールドは空白のままとなり、ユーザーは有効なセットID に含まれるオプションの中から値を選択します。

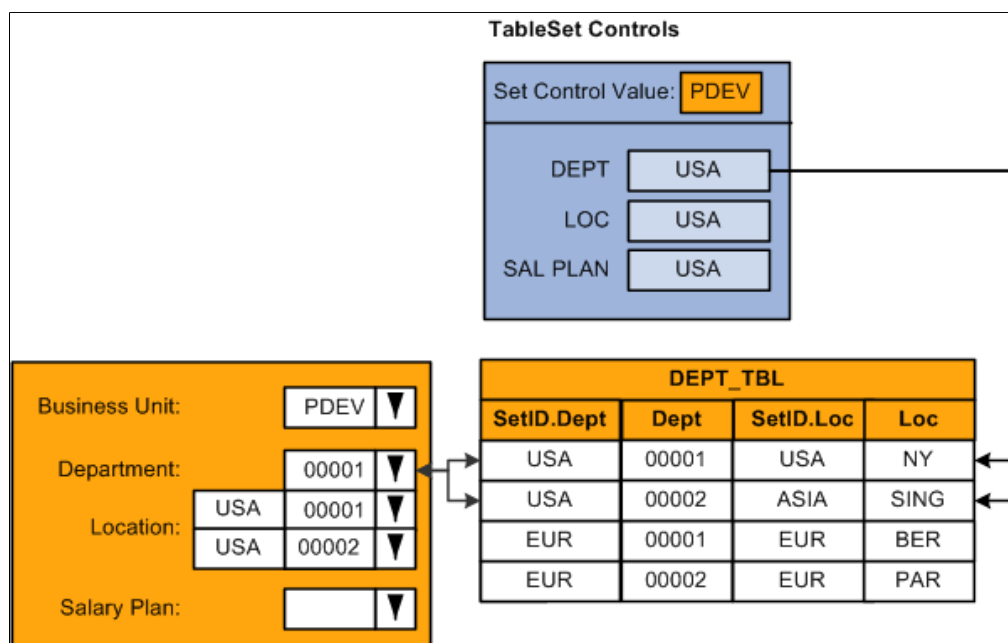
画像: ビジネス ユニットを選択すると、コンポーネントの多くのフィールドについて有効なセットID が特定されます

たとえば、次の図に示すように、職務データ コンポーネントで ビジネス ユニット (たとえば PDEV) を選択します。そのビジネス ユニットのテーブルセット コントロールが参照され、コンポーネントに含まれる多数の他のフィールド (部門、所在地、給与プランなど) に対して有効なセットID が特定されます。



画像: このビジネス ユニットに対する該当フィールドのプロンプト テーブル用に設定された、指定のセットID をキーとする値のみが表示されます

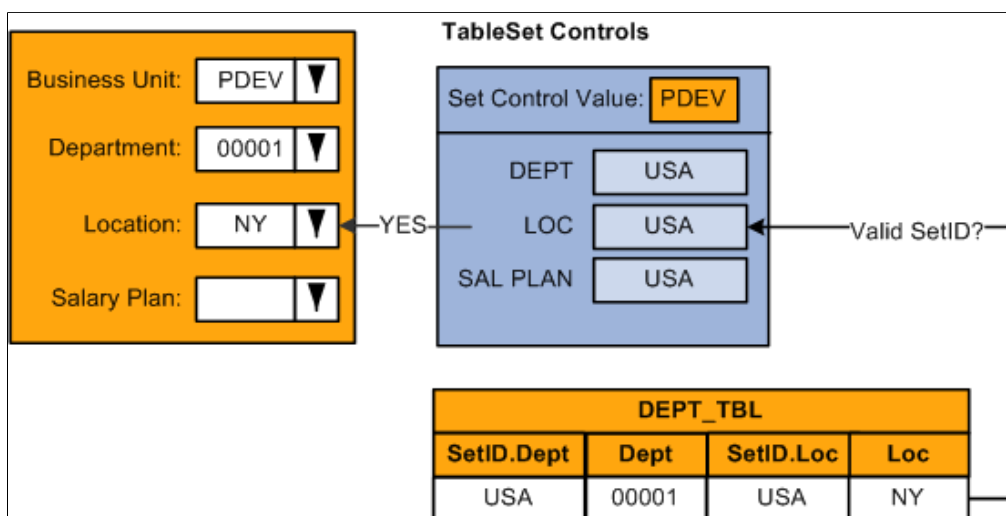
職務データ コンポーネントで [部門] 検索ボタンを選択すると、テーブルセット コントロール テーブルが参照され、このビジネス ユニットで表示される部門セットID を判別するレコード グループ行が検索されます。USA が部門レコードに指定されたセットID であることから、検索リストには、USA のセットID を持つ部門のみが表示されます。次の図の場合、これは USA-00001 と USA-00002 の部門になります。



また、部門に関連付けられた所在地のセットID がこのビジネス ユニットに対して有効であるかがシステムによってチェックされます。

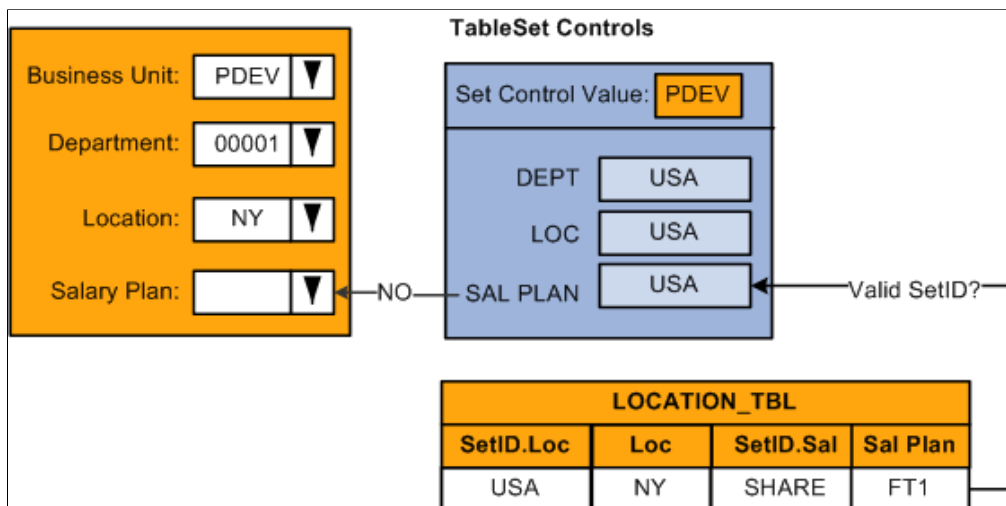
画像: デフォルトの所在地が個人のビジネス ユニットの有効なセットID に含まれる場合は、その値のみ部門テーブルから入力されます

この例では、セットID が USA の所在地のみ、PDEV のビジネス ユニットに対して有効です。部門に関連付けられた所在地が USA のセットID を使用している場合 (たとえば、部門 USA-00001 のように、所在地 USA-NY に関連付けられている場合)、[所在地] フィールドにデフォルトの所在地が入力されます。もし部門 USA-00002 (この部門に関連付けられた所在地のセットID は ASIA) を選択した場合、[所在地] フィールドにデフォルトは設定されません。[所在地] フィールドは空白になります。



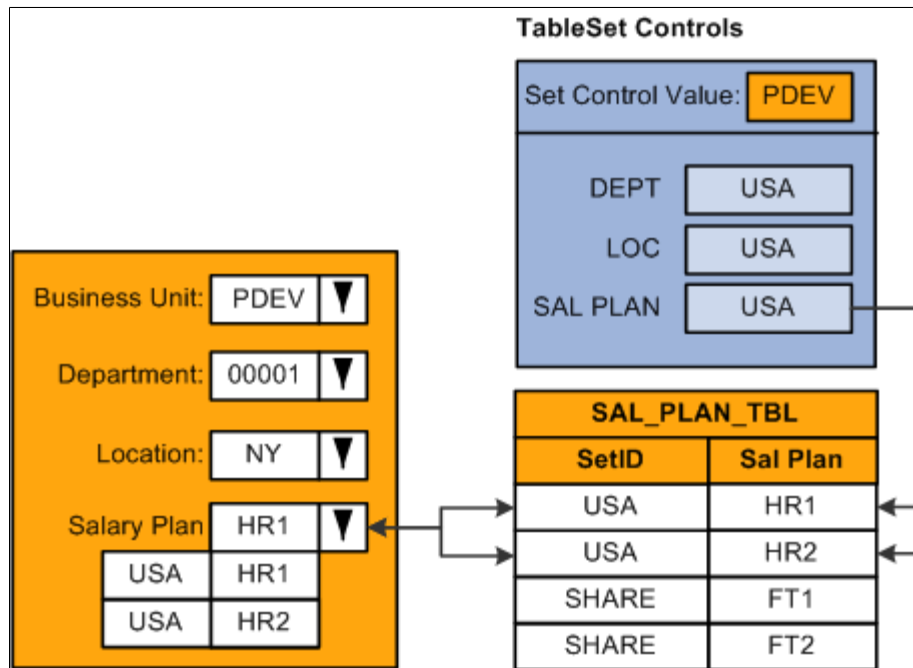
画像: 値のセットID がビジネス ユニットに対して有効でない場合、デフォルト値は入力されません

所在地に給与プランが関連付けられている場合は、ビジネス ユニットのテーブルセット コントロールレコード (この例では PDEV) がチェックされて、その所在地に関連付けられた給与プランのセットID が該当のビジネス ユニットで有効であるかどうかを確認されます。このビジネス ユニットで有効な値は USA のセットID に関連付けられている必要があり、USA-NY の所在地に関連付けられた給与プランでは給与プランのセットID に SHARE を使用しているため、従業員のレコードにデフォルトで給与プランは入力されません。



画像: そのフィールドに対して定義された有効なセットID を持つ値のみ表示したり選択することができます

給与プランを選択した場合は、ビジネス ユニット PDEV のテーブルセット コントロールに定義されているように、給与プラン テーブルからセットID が USA で始まる該当の行のみが取得されます。



注: セットID を使用するコントロール テーブルの多くでは、選択したセットID に対してアクセス権を持つビジネス ユニットを確認できます。これにより、コントロール値の設定時に、適切なビジネス ユニットでそれらの値が使用可能となるかを確認できます。

権限リストとシステム デフォルトの使い方

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- 権限リストへの関連付け
- ビジネス ユニット HR デフォルトの定義
- システムによるデフォルト値の決定

権限リストへの関連付け

PeopleSoft のセキュリティは、権限リストという構成要素に基づいています。権限リストに基づいて、アプリケーション、機能、メニュー、データなどへのユーザー アクセスが許可されます。権限リストのほとんどはロールごとにグループ化されており、そのロールがユーザーに付与されます。ただし、アプリケーションの特定の機能をコントロールし、ユーザー プロファイルに直接割り当てられる権限リストが 4 つあります。

その 1 つはプライマリ権限リストで、ユーザー別のデフォルト値の特定に使用されます。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (OPR_DEF_TBL_HR) で、プライマリ権限リストに以下の項目を設定します。

- 以下のフィールドのデフォルト値の設定
 - ビジネス ユニット
 - セットID
 - 会社
 - 国
 - 法定区域
 - 換算先通貨
 - 通貨レート タイプ
- 給与計算システムや産業などのアプリケーションの設定

ユーザーがシステムにログオンすると、ユーザーのプライマリ権限リストがシステムによって参照され、適用する設定、およびプライマリ権限リストのデフォルト設定機能をサポートするコンポーネントにデフォルトとして入力する値が特定されます。これにより、各ユーザーの職務内容に応じた適切な情報を入力できるようになります。

注: 全てのコンポーネントでプライマリ権限リストのデフォルト値が使用されるわけではありません。

警告 権限リストにシステム ユーザーを関連付けておかないと、PeopleSoft ヒューマン リソース管理において重大なデータ エラーが発生する可能性があります。

詳細については、『*PeopleTools: Security Administration*』の製品ドキュメントを参照してください。

関連リンク

[PeopleSoft のセキュリティについて](#)

[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)

ビジネス ユニット HR デフォルトの定義

HCM コンポーネントにアクセスすると、ユーザーのプライマリ権限リストに関連付けられた値に基づいて、ビジネス ユニット、会社、国などのフィールドに自動的に値がロードされます。また、ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ (BUS_UNIT_OPT_HR) でセットID にデフォルト値を関連付けることもできます。

設定したテーブルセット コントロールとビジネス ユニット デフォルト オプションに基づいて、トランザクション コンポーネントの選択フィールドにロードされるデフォルト値が決定されます。これらのデフォルト値は、

ビジネス ユニット フィールドからデフォルト値を取得するように識別されたコンポーネントにのみ使用されます。

ビジネス ユニットのデフォルトを設定するには、次の手順に従います。

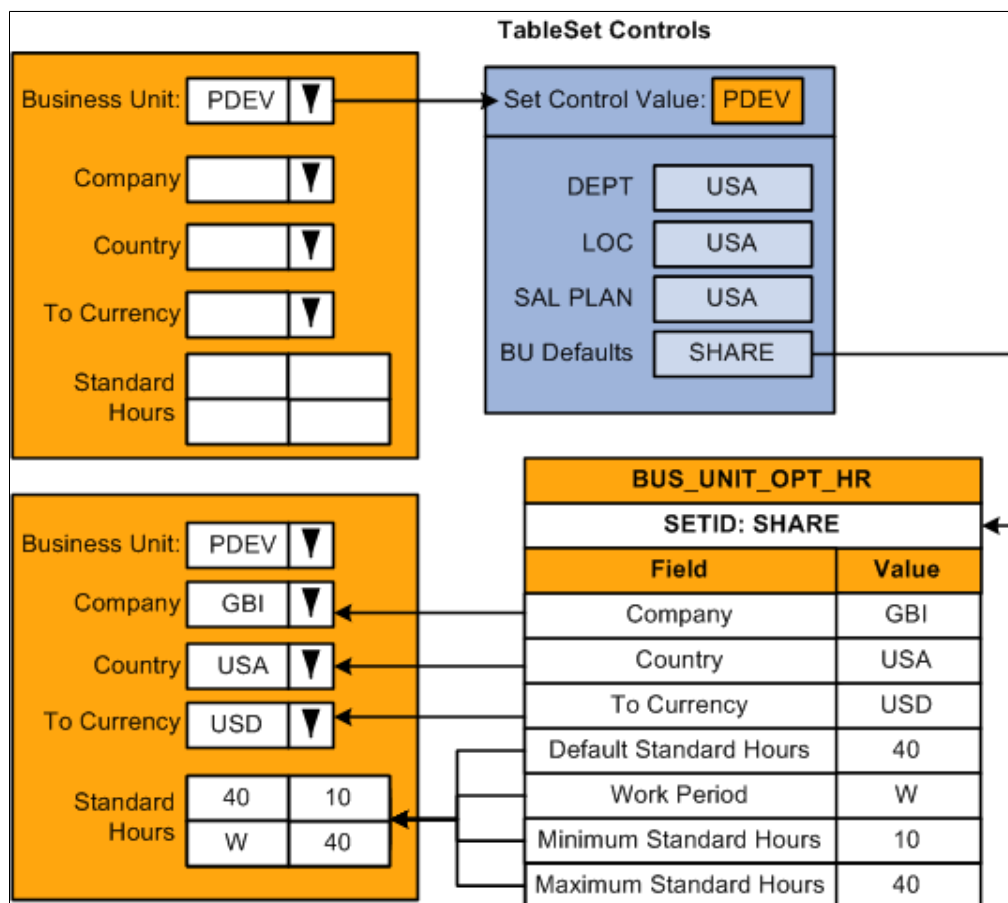
1. テーブルセット コントロールのレコード グループ ページ (SET_CNTRL_TABLE1) で、ビジネス ユニットのビジネス ユニット デフォルトをコントロールするセットID を選択します。

これにより、デフォルト設定ルールをビジネス ユニット間で共有できます。

2. ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネントでセットID のデフォルト値を入力します。

画像: テーブルセット コントロールとビジネス ユニット デフォルト オプションが参照され、選択したビジネス ユニットのデフォルト値が決定されます

ビジネス ユニットのデフォルト設定に基づいて動作するコンポーネントにアクセスし、ビジネス ユニットを選択すると、テーブルセット コントロール テーブルのBU デフォルトレコード グループが参照され、そのビジネス ユニットのデフォルト設定に使用されるセットID が決まります。たとえば、ビジネス ユニット PDEV の場合、BU デフォルトレコード グループの行のセットID は SHARE です。ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネントが参照され、セットID が SHARE のデフォルト値が取得されて、トランザクション コンポーネントの該当する値に入力されます (次の図を参照)。



注: ビジネス ユニット オプション デフォルト レコード (BUS_UNIT_OPT_HR) を含むレコード グループは HR_06 です。

同種のデフォルト設定を共有しているビジネス ユニットが複数存在する場合は、ビジネス ユニット オプション デフォルト ページでビジネス ユニットのデフォルト値を設定するという方法があります。しかし、このようなデフォルト共有の操作は、権限リストを使用して即時に管理することはできず、これを行うには セットID を使用します。

システムによるデフォルト値の決定

PeopleSoft HCM システムにおけるページ レベルのデフォルトのほとんどは、ビジネス ユニット別ではなくプライマリ権限リスト別に設定されます。通常、ビジネス ユニットのデフォルト設定はビジネス ユニットに基づくコンポーネントや従業員 ID (EmplID) を上位レベルのキーとして使用しているコンポーネントでのみ使用されます。

次の表は、ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネントとプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントのどちらで定義したデフォルト値を使用するかが決定される際の最も一般的な 4 つのシナリオを示しています。

コンポーネント	デフォルトの決定方式
ビジネス ユニットを選択します。	ビジネス ユニット デフォルト オプション コンポーネントからデフォルト値がロードされます。
従業員 ID の値を入力します。ビジネス ユニット値は入力しません。	従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせに対して個人の職務レコードがチェックされ、個人のビジネス ユニットが特定されます。その値に基づき、ビジネス ユニット デフォルト オプション コンポーネントからデフォルト値がロードされます。
コンポーネントに、ビジネス ユニット フィールドと従業員 ID フィールドのいずれも含まれていません。	プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントからデフォルト値がロードされます。
コンポーネントでは、ビジネス ユニットや従業員 ID の値が関連付けられていないセットID を使用しています。(このような状況は、所在地コンポーネントや部門コンポーネントなど、ほとんどの設定コンポーネントやコントロール コンポーネントで発生します。)	プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントからデフォルト値がロードされます。

警告 上記のルールに沿っていない場合もあります。あくまでガイドラインとして参照してください。ページレベルでの実際のデフォルト設定は、主にページの機能によって異なります。

注: 上記カテゴリのどれにも属さない例外的なページに対応できるように、ある程度の柔軟性が備わっています。

詳細については、『PeopleTools: Security Administration』および『PeopleTools: Data Management』の製品ドキュメントを参照してください。

法定区域の使い方

法定区域について

PeopleSoft ヒューマン リソース管理の法定区域機能は、法規定や地域関連の編集作業に使います。法定区域は、PeopleCode の編集作業、設定処理、およびユーザーが参照するコードや値の管理に使います。

法定区域とは、特定の法律や規定を持ち、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の対象となっている地域を指します。各国特有の法規定に基づいたトランザクションが多数ありますが、法定区域はこのトランザクションの処理に使います。法規定は人種、身体障害、安全衛生などに関するものです。法定区域を使った場合、法規定コード、PeopleCode の編集ロジック、および設定処理は、国やトランザクションによって異なります。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムにデータを入力するときは、該当する法定区域で使われる特定のコードやデータを使用しなければなりません。法定区域機能を使うと、ユーザーは正しいデータ セットに絞って作業できるため、データ入力が迅速かつ正確になります。

この機能は、従業員の国籍が多岐にわたる企業で特に役立ちます。以下は、ビジネス データを整理するうえで法定区域の概念が役に立つ例です。

- アメリカ勤務の従業員がカナダに出張中、安全衛生にかかわる事故が発生したとします。この場合は、保険事故の詳細コンポーネントにある法定区域を使って、事故が発生した国に該当する保険事故データやコード (身体部位、危険事象、診断結果コードなど) を入力します。
- PeopleSoft Benefits Administration が導入されており、その自動資格処理機能を使って、アメリカおよびカナダの従業員の福利厚生登録オプションを決定するとします。カナダとアメリカでは福利厚生のルールがかなり異なるので、資格ルール テーブルの法定区域を使って、福利厚生資格ルール セットをカナダの従業員用とアメリカの従業員用に 2 つ設定します。

法定区域テーブルの相互関係について

次のページは、ユーザー システムの法定区域コントロールの確認と設定に使用します。

- 法定区域 (REG_REGION)
- トランザクション (REG_TRX)
- トランザクション タイプ別法定区域 (REG_TRX_REGION)

法定区域ページは、既存の法定区域の確認、修正、および法定区域の追加に使います。法定区域は国ごと、または州や都道府県ごとに設定します。

トランザクション ページでは、既存の法定トランザクション タイプを確認、修正したり、新規の法定トランザクション タイプを設定、説明したりします。

トランザクション タイプ別法定区域ページでは、既存の法定トランザクション タイプの定義に使われる法定区域の確認および修正、新規作成する法定トランザクション タイプの定義に使われる法定区域の設定をします。

次の表は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理において法定区域の定義および管理に使う法定区域のページ間の関係を示しています。

REG_REGION_TBL	>	REG_TRX_REGION	<	REG_TRX
REG_REGION		REG_TRX		REG_TRX
DESCR50		REG_REGION		DESCRLONG
COUNTRY				
REG_AVAIL				

これらのページには、有効日または有効ステータスがありません。REG_REGION_TBL および REG_TRX には、どちらも関連言語テーブルがあります。不要データを非表示にするには、REG_AVAIL = NOT とするか、またはその不要データをトランザクションの区域リストから削除します。

注: 設定する際は、最初に法定区域を作成してからトランザクションを作成し、法定区域とトランザクションの相互関係を設定してください。法定区域は多数のトランザクションで使われます。

法定区域の設定

システムに設定されている法定区域以外の国々とビジネス取引がある場合は、新規の法定区域を追加することもできます。または、ビジネスの運営方法に影響がある国内地域 (州や都道府県など) を法定区域として追加作成することもできます。たとえばアメリカの場合、法定コードやデータ定義が州によってかなり異なるのであれば、法定区域を州レベルで設定することもできます。法定区域を追加するには、法定区域ページを使います。

注: 法定区域の新規作成は必須ではありません。法定区域は、地域特有の法規制を設定するなど、特別に必要な場合にだけ新規作成します。システムにあらかじめ設定されている既存の法定区域を使ってください。ビジネス取引が単一の国に限られており、法定区域のためにデータを入力するユーザーに負担をかけたくない場合は、その単一区域をプライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (OPR_DEF_TBL_HR) のデフォルト法定区域として割り当てることができます。

注: 法定区域の範囲を国からさらに狭めることもできますが、PeopleSoft では標準法定区域は国レベルに設定することをお勧めします。

新規の法定区域を作成する際は、設定を単純化して一貫性を保つため、データ名はなるべく次の表記規則に従って設定してください。

- 国レベルの新規法定区域には、国テーブル コンポーネント (COUNTRY_TABLE) にある 3 文字の ISO 認定国コードを使います。
- 国よりも狭い範囲の区域には、3 文字の国コードに 2 文字の区域固有コードを続けます。たとえば、州や都道府県レベルの区域には CCCSS という形式 (CCC は国コード、SS は州/都道府県コード) を使います。この方法を使うと、たとえばカナダのブリティッシュ コロンビア州の法定区域コードは CANBC となります。

関連リンク

[法定トランザクション タイプの設定](#)

法定区域とトランザクションの関連付け

次の各トピックでは、法定区域およびトランザクションの概要と、以下の方法について説明します。

- 法定区域の管理
- トランザクション処理の法定区域の使い方
- デフォルト法定区域の設定
- PeopleCode トランザクション処理への影響の確認
- REG_REGION のプロンプト編集トランザクション ビューの作成
- ヒューマン リソース管理トランザクションへの REG_REGION の追加

法定区域とトランザクションについて

法定区域は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理システム全体にわたるコンポーネントのコントロール フィールドとして使われます。法定区域はほとんどの場合、必須フィールドです。

PeopleCode により、ページで処理される特定のトランザクションと、該当する法定トランザクション タイプまたはビューが関連付けられます。法定区域の各フィールドでは、トランザクション固有のビューによる編集プロンプトが設定されています。このビューには、該当する法定トランザクション タイプが適用可能であり、ユーザーがアクセス権を持つ国だけが表示されます。

標準デフォルトは、ユーザーが適切な法定区域とトランザクションを選択するのに役立ちます。

注: 通常、デフォルトを上書きして、正しい法定区域をトランザクションに割り当てることができます。

法定区域の管理

法定区域のサイズおよび定義は国よりも大きい場合も小さい場合もあり、トランザクションやアプリケーションによって異なります。ただし、標準の区域は国コードになっています。

トランザクション ビューやアプリケーション ビューを追加して、トランザクションに該当する区域だけを表示することもできます。[法定区域] フィールドをトランザクション レコードの上に配置し、トランザクション固有のビューから編集プロンプトを定義します。このビューでは、ユーザーが使用できる国 ([全ユーザーにアクセス権あり] か、またはグローバル セキュリティが設定されているユーザー対象の [グローバルセキュリティ設定済ユーザー]) だけが表示されます。たとえば、次の表はシステムに既に設定されている法定区域の一部を示しています。

トランザクション タイプ	法定区域	名称	国コード (代替検索)	セキュリティ ステータス
標準	BEL	ベルギー	BEL	グローバル セキュリティ 設定済ユーザー
安全衛生管理	BEL	ベルギー	BEL	
標準	CAN	カナダ	CAN	全ユーザーにアクセス 権あり
安全衛生管理	CANBC	カナダ - ブリティッシュ コロンビア州	CAN	
標準	DEU	ドイツ	DEU	全ユーザーにアクセス 権あり
標準	FRA	フランス	FRA	アクセス禁止
標準	GBR	イギリス	GBR	グローバル セキュリティ 設定済ユーザー
標準	JPN	日本	JPN	アクセス禁止
標準	NLD	オランダ	NLD	アクセス禁止
安全衛生管理	QC	カナダ - ケベック州	CAN	
標準	USA	アメリカ	USA	全ユーザーにアクセス 権あり

法定区域を追加して、独自に設定することもできます。たとえば、アメリカの 50 州を追加して、ほとんどのトランザクションを州単位で管理することができます。

トランザクション処理の法定区域の使い方

各個人に対して通常使う法定区域は、従業員 ID と雇用レコード番号が組み合わされた、現時点で有効な職務データレコードにあるデータによって決まります。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理ビジネス プロセス機能のトランザクションの中には、通常個人に関連付けられている法定区域とは異なる区域が必要なものもあります。この場合は、トランザクションに法定区域を追加設定します。法定区域テーブルのトランザクション ビュー (通常は標準ビュー) を使って、そのトランザクションに適した法定区域のプロンプトを設定します。

REG_REGION がページ バッファにあると、地域編集と設定処理を実行することができます。

注: 国別の編集ロジックでは区域の国フィールド (関連表示) を必ず使用し、ユーザーがより詳細なレベルでその他の編集を行えるようにします。

デフォルト法定区域の設定

通常、法定区域は必須フィールドです。デフォルトの法定区域が設定される方法は、使用している PeopleSoft ヒューマン リソース管理のビジネス プロセスによって異なります。このデフォルトはいつでも上書きできます。次の表は、デフォルトの法定区域が自動設定されるコンポーネントと、その法定区域のデフォルト値が指定されているコンポーネントの一覧です。

コンポーネント	法定区域のデフォルト値が指定されているコンポーネント
ポジション データ (POSITION_DATA)	プライマリ権限リスト基本設定
職務データ (JOB_DATA)	ポジション データ (労働者がポジションに割り当てられている場合) または プライマリ権限リスト基本設定 (労働者がポジションに割り当てられていない場合)
保険事故の詳細 (HS_INCIDENT)	プライマリ権限リスト基本設定
障害者データ (DISABILITY)	職務データ
事業所 (ESTABLISHMENT_DATA)	プライマリ権限リスト基本設定
人材募集 (HRS_JOB_OPENING)	ポジション データ (人材募集がポジションに割り当てられている場合) または プライマリ権限リスト基本設定 (人材募集がポジションに割り当てられていない場合)

関連リンク

[Understanding Health and Safety Incidents](#)PeopleSoft Human Resources Monitor Health and Safety

[プライマリ権限リストの基本設定](#)

[Tracking Disabilities](#)PeopleSoft Human Resources Administer Workforce

[事業所の定義](#)

[Creating Positions](#)PeopleSoft Human Resources Manage Positions

PeopleCode トランザクション処理への影響の確認

ほとんどのトランザクションは、法定トランザクション タイプが "STANDARD" です。ユーザーが指定した法定区域に基づき、職務データ コンポーネントの個人の法定区域に対して PeopleCode の編集ロジックが実行され、トランザクションの正しい PeopleCode が確定されます。この PeopleCode はページ上のプロセスで使われます。

注: 職務データ コンポーネントの [法定区域] は必須フィールドです。職務データ コンポーネントからは、セキュリティ アクセス権のある法定区域の STANDARD のリストだけを参照できます。

法定トランザクション タイプ "HANDS" ではカナダの各州も法定区域に含まれるため、安全衛生トランザクション (保険事故) ではこのタイプが使われます。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントの法定区域の値が、保険事故データ ページとレポート ページのデフォルト値として使用されます。

REG_REGION のプロンプト編集トランザクション ビューの作成

PeopleSoft ヒューマン リソース管理にはトランザクション タイプが 2 つあるため (従業員トランザクション用の STANDARD と安全衛生トランザクション用の HANDS)、それぞれのタイプに対して異なるプロン

プトビューが設定されています。トランザクションを追加する場合は、既存のビューを使って新しいプロンプトビューを作成します。

```
REG_STANDARD_VW

SELECT

S.OPRID,

R.REG_REGION,

R.DESCR50,

R.COUNTRY

FROM PS_REG_REGION_TBL R,

      PS_REG_TRX_REGION T,

      PSOPRDEFN S

WHERE T.REG_TRX = 'STANDARD'

AND T.REG_REGION = R.REG_REGION

      AND (R.REG_AVAIL = 'ALL'

            OR (R.REG_AVAIL = 'GBL'

                  AND S.OPRID = (SELECT OPRID FROM PS_SCRTY_TBL_GBL G

                                   WHERE S.OPRID = G.OPRID

                                   AND G.COUNTRY = R.COUNTRY)))

REG_HANDS_VW

SELECT

S.OPRID,

R.REG_REGION,

R.DESCR50,

R.COUNTRY

FROM PS_REG_REGION_TBL R,

      PS_REG_TRX_REGION T,

      PSOPRDEFN S

WHERE T.REG_TRX = 'HANDS'

AND T.REG_REGION = R.REG_REGION

      AND (R.REG_AVAIL = 'ALL'

            OR (R.REG_AVAIL = 'GBL'

                  AND S.OPRID = (SELECT OPRID FROM PS_SCRTY_TBL_GBL G

                                   WHERE S.OPRID = G.OPRID

                                   AND G.COUNTRY = R.COUNTRY)))
```

注: 必要であれば、トランザクション ビューを新規作成することができます。新規ビューを作成するには、[名前を付けて保存] を使ってハードコードのトランザクション名を変更します。

ヒューマン リソース管理トランザクションへの REG_REGION の追加

次に、法定区域をヒューマン リソース管理のトランザクションと関連付ける例を 2 とおり示します。

例 - 職務データ

職務データ コンポーネントで REG_REGION を個人に関連付けるには、次の手順に従います。

1. REG_REGION フィールドを JOB レコードに追加します。
2. REG_REGION フィールドを必須フィールドにします。
3. フィールドをレコードに追加してから、標準ビュー (REG_STANDARD_VW) からプロンプト編集を定義します。
4. このフィールドを JOB_DATA1 ページに追加します。

[法定区域] を検索すると、ユーザーにアクセス権のある法定区域のみが表示されます。

例 - 安全衛生

安全衛生の保険事故に法定区域を関連付けました。法定区域は必須フィールドです。安全衛生でセットID を主キーとして持つ設定コンポーネントから返される値は、全てこのフィールドによって管理されます。たとえば、保険事故の法定区域を GBR (イギリス) と指定すると、"保険事故の詳細 - 詳細" ページ (HS_INC_DESCRIPTION) の [危険事象] には、GBR のコードのみが表示されます。安全衛生の保険事故のプロンプト編集ロジックは REG_HANDS_VW です。

警告 労働災害にリンク設定した値は全て必ず同じ法定区域に属するようにしてください。法定区域が変更されて新規の法定区域のセットID が元のものとは異なっている場合 (更新/表示モードで作業しているときなど)、リンクされた設定フィールドや設定値は、データの一貫性を保つために全て削除されます。たとえば、法定区域 USA (アメリカ) のセットID は USA で、法定区域 GBR (イギリス) のセットID は GBR です。保険事故の法定区域 USA を GBR に変更すると、リンク設定された保険事故の詳細コンポーネントの内容は全て失われます。法定区域を変更しようとする、続行して値を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

安全衛生では、各法定区域に対して次のセットID がマッピングされています。

法定区域	セットID
BEL	STD
CANAB	CAN
CANBC	CANBC

法定区域	セットID
CANMB	CAN
CANNB	CAN
CANNF	CAN
CANNS	CAN
CANON	CAN
CANQC	CAN
CANSK	CAN
DEU	DEU
FRA	FRA
GBR	GBR
JPN	STD
NLD	STD
USA	USA

上記の法定区域は、テーブルセット コントロールのレコード グループ ページ (SET_CNTRL_TABLE1) でそれぞれのセットID にマッピングされています。

安全衛生に特有のコード セットや値がある法定区域は、常にそれと同じ名前のセットID にマッピングされます。これに該当する国や地域は、CANBC (カナダのブリティッシュ コロンビア州)、DEU (ドイツ)、FRA (フランス)、GBR (イギリス)、および USA (アメリカ) です。

同じ名前のセットID にマッピングされない法定区域は 2 種類あります。現在、ブリティッシュ コロンビアを除くカナダの州には特定の州コードや値が設定されておらず、全て CAN というセットID にマッピングされています。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で直接サポートされているその他の国には区域固有のコードや値が現在設定されておらず、STD という一般セットID にマッピングされています。これに該当する国は、JPN (日本)、BEL (ベルギー)、および NLD (オランダ) です。

法定区域に関するトランザクションのその他の修正

次の PeopleSoft ヒューマン リソース管理コンポーネントにも法定区域が追加されています。

- ポジション データ: プロンプト編集として REG_STANDARD_VW を共に使用します。
- 人材募集: プロンプト編集として REG_STANDARD_VW を共に使用します。

- 事業所: プロンプト編集として REG_STANDARD_VW を共に使用します。
- プライマリ権限リスト基本設定: プロンプト編集として REG_STANDARD_VW を共に使用します。
- 障害者データまたは環境改善要求: プロンプト編集として REG_STANDARD_VW を共に使用します。

Creating PositionsPeopleSoft Human Resources Manage Positions を参照してください。

Understanding Job OpeningsPeopleSoft Talent Acquisition Manager を参照してください。

「事業所の定義」を参照してください。

「プライマリ権限リストの基本設定」を参照してください。

Tracking DisabilitiesPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

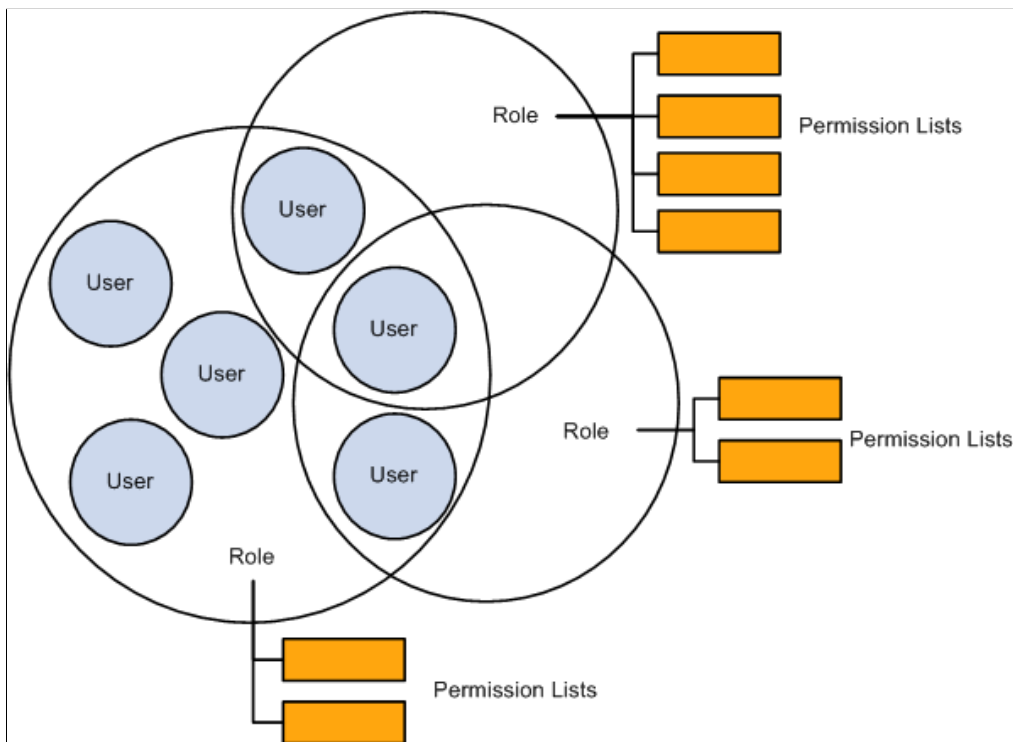
HCM セキュリティの設定と管理

PeopleSoft のセキュリティについて

PeopleSoft のセキュリティは、権限リストとロールを基準にしています。

画像: ユーザーのセキュリティ プロファイルは権限リストとロールによって構成されます

次の図は、権限リストがどのようにロールに割り当てられ、さらにロールがどのようにユーザー ID に割り当てられて、ユーザー セキュリティ プロファイルが作成されるかを示しています。



セキュリティを管理するには、次の手順に従います。

1. 権限リストを作成します。
2. ロールを作成し、ロールに権限リストを関連付けます。
3. ユーザー ID を作成し、ユーザー ID に権限リストとロールを関連付けます。

権限リストの作成

権限リストを作成し、メニュー、コンポーネント、コンポーネント インターフェイス、ページ、グローバル機能へのアクセス権を、他の情報と共に権限リストに割り当てます。権限リストはロールに割り当てられますが、ユーザーに直接割り当てられる権限リストもあります。

重要 まずはセキュリティ要件を徹底的に分析するところから始めてください。たとえば、あるユーザーがポジション管理ページにアクセス可能であるときに、そのページで職務データ テーブルを更新するコンポーネント インターフェイスを使用している場合、そのユーザーはポジション管理ページの権限だけでなく、職務データ コンポーネント インターフェイスの権限も必要です。

権限リスト コンポーネント (ACCESS_CNTRL_LISTX) または権限リストのコピー コンポーネント (PERMISSION_SAVEAS) を使用して権限リストを作成するには、[PeopleTools], [セキュリティ], [権限 / ロール] にナビゲートして、適切な権限リスト コンポーネントを選択します。

画像: 権限リスト コンポーネントまたは権限リストのコピー コンポーネントで権限リストを作成します

次の例では、権限リスト コンポーネントまたは権限リストのコピー コンポーネントで権限リストを作成しています。

注: 部門ツリー セキュリティ ページ (SCRTY_TABL_DEPT) および権限リスト別セキュリティ ページ (SCRTY_CLASS) で権限リストにデータ権限を割り当てするには、[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ] にナビゲートして、適切なコンポーネントを選択します。

『PeopleTools: Security Administration』の「Setting Up Permission Lists」を参照してください。

ロールの作成

ロールを作成し、そのロールに権限リストを割り当てます。その権限リストに付与したアクセス権が、ロールの下に結合されます。たとえば、管理者に必要な複数の権限リストを管理者のロールに割り当てると、これらが結合され、管理者が必要とするシステムの全てのエレメントへのアクセス権が管理者に与えられます。ロールはユーザーに割り当てられます。

ロール コンポーネント (ROLEMAINT) またはロールのコピー コンポーネント (ROLE_SAVEAS) を使用してロールを作成するには、[PeopleTools], [セキュリティ], [権限 / ロール] にナビゲートして、適切なロール コンポーネントを選択します。

画像: 権限リスト ページ (ROLE_CLASS) で権限リストをロールに割り当てます

次の例では、権限リスト ページ (ROLE_CLASS) で権限リストをロールに割り当てています。

General				Permission Lists	Members	Dynamic Members	Workflow	Role Grant	Links	Role Queries	Audit
Role Name:				Standard Non-Page Permissions							
Description:				Standard Non-Page Permissions							
Permission Lists				Personalize Find View All First 1-8 of 8 Last							
*Permission List	Description	View Definition									
HCSPADS	Standard ADS Permissions	View Definition									
HCSPCMPINT	Standard Comp Intf Permissions	View Definition									
HCSPMSGCHN	Standard Message Channels	View Definition									
HCSPMSSCHG	Standard Mass Change Perm	View Definition									
HCSPPRCS	Standard Process Permissions	View Definition									
HCSPSERVICE	Standard Service security	View Definition									
HCSPSIGNON	Standard Signon Times	View Definition									
HCSPWEBLIB	Standard WebLib Permissions	View Definition									

『PeopleTools: Security Administration』の「Setting Up Roles」を参照してください。

ユーザー ID 作成

ユーザー ID を作成し、ユーザー ID にロールと権限リストを割り当てることにより、必要に応じてシステムへのアクセス権を付与します。

ロールへの権限リストの割り当てに加えて、ユーザー プロファイル - 一般ページ (USER_GENERAL) で、次の 4 つの特定の権限リストをユーザーに直接割り当てるには、[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [一般] にナビゲートします。ロールに割り当てられる権限リストと異なり、この 4 つの権限リストはそれぞれ 1 つずつしかユーザーに割り当てられません。

- ナビゲータ ホームページ

ナビゲータ ホームページは、PeopleSoft ワークフローで使用されます。

- プロセス プロファイル

プロセス プロファイルには、PeopleSoft プロセス スケジューラの権限が含まれます。

- プライマリ

プライマリ権限リストでは、グローバル セキュリティが付与されます。

- 行セキュリティ

行セキュリティ権限リストでは、部門セキュリティ ツリーに基づくデータ権限セキュリティが付与されます。権限リストへのデータ権限の割り当ては、部門 ツリー セキュリティ ページで行います。

注: 権限リスト別セキュリティ ページでは、ロールに関連付ける権限リストにデータ権限を割り当てることができます。

画像: ユーザー プロファイル コンポーネントまたはユーザー プロファイルのコピー コンポーネントでユーザー ID を作成し、一般ページでナビゲータ ホームページ、プロセス プロファイル、プライマリ、および行セキュリティの各権限リストを直接ユーザー プロファイルに割り当てます

次の例では、ユーザー プロファイル コンポーネントまたはユーザー プロファイルのコピー コンポーネントでユーザー ID を作成し、一般ページでナビゲータ ホームページ、プロセス プロファイル、プライマリ、および行セキュリティの各権限リストを直接ユーザー プロファイルに割り当てています。

The screenshot displays the 'User ID' configuration interface. At the top, there are tabs for General, ID, Roles, Workflow, Audit, Links, and User ID Queries. The 'General' tab is active. Below the tabs, the 'User ID' is set to 'PS' and the 'Description' is '[PS] Peoplesoft Superuser'. There are checkboxes for 'Account Locked Out?' and 'Password Expired?'. The 'Ligon Information' section includes fields for 'Symbolic ID' (SYSADM), 'Password', 'Confirm Password', and 'User ID Alias'. Below this is the 'General Attributes' section with 'Language Code' (English), 'Currency Code' (US Dollar), and 'Default Mobile Page'. The 'Permission Lists' section is expanded, showing assigned roles: 'Navigator Homepage' (HCSPPRFL), 'Primary' (HCDPALL), 'Process Profile' (HCSPPRFL), and 'Row Security' (HCDPALL). Each role has a search icon and a help icon.

ロールと権限リストがユーザー ID の下に組み合わせられることにより、ユーザーにアクセス権が付与されます。たとえば、教育・研修の管理者には、管理者、講師、および従業員として必要なアクセス権を与えるため、管理者、講師、および従業員のロールを割り当てます。他の部門の管理者には、これと同じ管理者および従業員のロールを、それぞれの必要に応じた他のロールに加えて割り当てます。

"ユーザー プロファイル - ロール" ページ (USER_ROLES) を使用してユーザーにロールを割り当てるには、[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [ロール] にナビゲートします。

画像: "ユーザー プロファイル - ロール" ページでユーザー ID にロールを割り当てます。

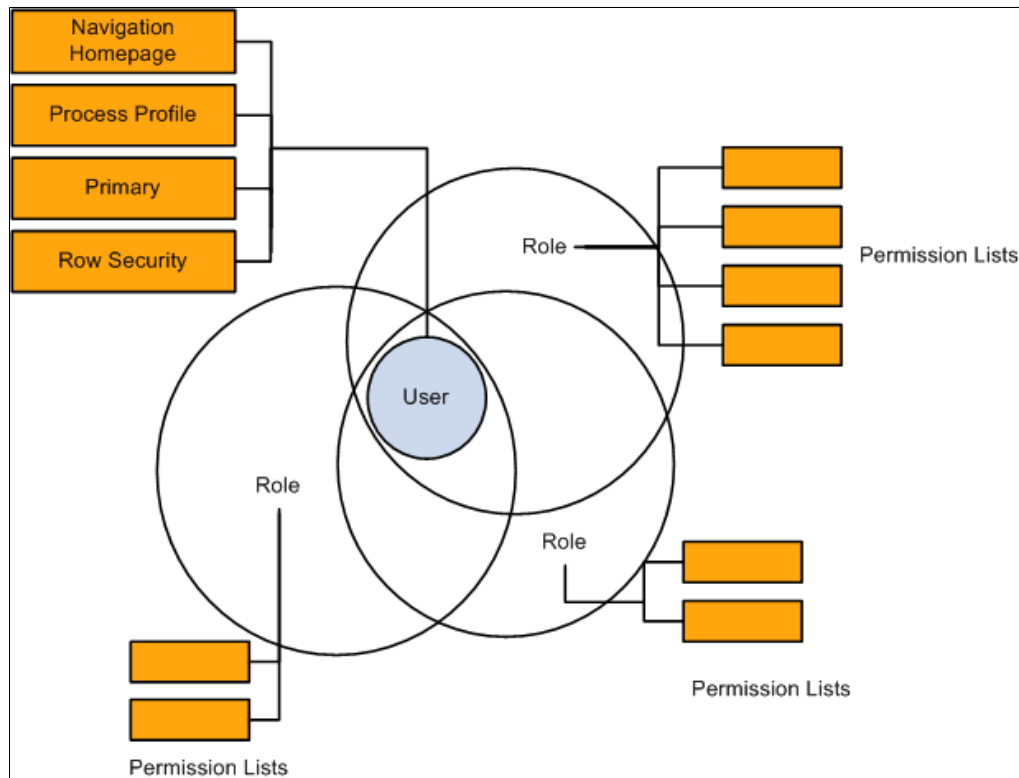
次の例では、"ユーザー プロファイル - ロール" ページでユーザー ID にロールを割り当てています。

The screenshot shows the 'User Roles' page in PeopleTools. The page has tabs for General, ID, Roles, Workflow, Audit, Links, and User ID Queries. The 'Roles' tab is selected. The 'User ID' is 'PS' and the 'Description' is '[PS] Peoplesoft Superuser'. On the left, there is a 'Dynamic Role Rule' section with buttons for 'Test Rule(s)', 'Refresh', 'Execute Rule(s)', 'Process Monitor', and 'Service Monitor'. The main table lists the roles assigned to the user.

Role Name	Description	Dynamic	View Definition
ADS Designer	ADS Designer	☐	Route Control View Definition
AM Administrator	Absence Mngmnt Administrator	☐	Route Control View Definition
AM Administrator NLD	Absence Administrator NLD	☐	Route Control View Definition
AM EA Administrator	AM EA Administrator	☐	Route Control View Definition
AWE Administrator	AWE Administrator	☐	Route Control View Definition
Administer HR Dashboards	Administer HR Dashboards	☐	Route Control View Definition
AppServer Administrator	AppServer Administrator	☐	Route Control View Definition
Applicant	Internal Applicant	☐	Route Control View Definition
Benefits Administrator	[WF] Benefits Administrator	☐	Route Control View Definition
Benefits Administrator	Benefits Administrator GPChina	☐	Route Control View Definition

画像: ユーザー セキュリティ プロファイルは、ロールとそのロールに割り当てられた権限リストによる権限の組み合わせによって構成されます

次の図は、ユーザーのセキュリティ プロファイルが、割り当てられたロールおよびそれらのロールに割り当てられた権限リストと、ユーザーに直接割り当てられた権限リストによって構成されるようすを示しています。



『PeopleTools: Security Administration』の「Administering User Profiles」を参照してください

HCM のデータ権限セキュリティについて

データ権限セキュリティとは、システム内のデータ行へのアクセスの制御を指します。PeopleSoft HCM では、以下の種類のデータへのアクセスを制御できます。

- 個人
 - 従業員
 - 非従業員
 - 職務のある関係者
 - 職務のない関係者

注: 職務のない関係者のデータは、職務のある関係者のデータとは異なる方法で保護されます。

- 採用管理の人材募集

- 部門

注: ポジション管理を使用している場合は、部門の行セキュリティによって、部門の予算とポジションが保護されます。部門コンポーネントはデータ権限によっては保護されないため、このコンポーネントへのアクセスを制限することによって部門定義へのアクセスを制御するか、検索レコードを DEPT_SEC_SRCH に変更します。

データ セキュリティとデータ取得

システムでは、セキュリティ検索ビューを使用してデータ権限セキュリティが適用されます。この適用方法を理解するには、コンポーネントにアクセスしたときのデータ取得方法を理解することが役立ちます。

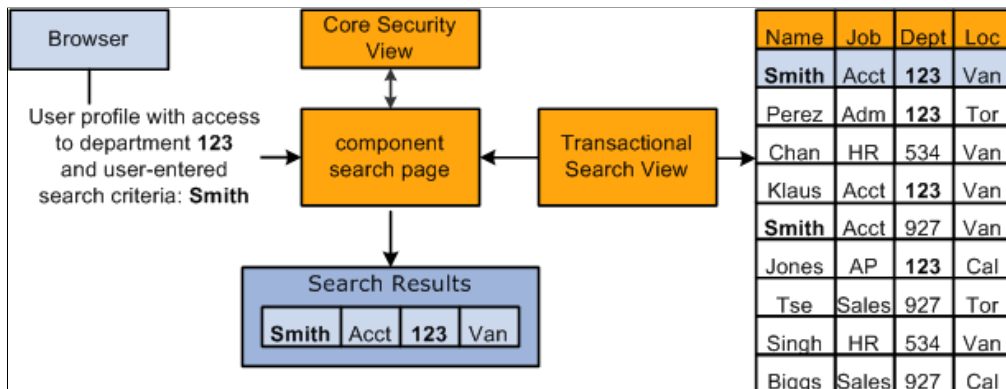
PeopleSoft HCM のコンポーネントを開くと、検索ページが表示されます。この検索ページには検索レコードが表示されます。表示されるフィールドは、各データ行を個別に識別する検索キー フィールドと代替キー フィールドです。キー フィールドまたは代替キー フィールドに入力された情報を基にして、参照または操作したいデータ行が検索されます (ただし、追加アクションの場合はキーを入力すると新規データ行が作成されます)。たとえば、キー フィールドとして従業員 ID、代替キーとして氏名が使われている検索ページの場合を考えてみます。氏名フィールドに "Smith" と入力すると、氏名フィールドのデータが "Smith" のデータ行が全て検索されます。

検索レコードも、データ権限セキュリティの適用に使用されます。機密データを含むコンポーネントの検索ビューには、データ アクセスを制御する検索ビューも含まれています。

ユーザー ID およびユーザー プロファイルに関連付けられた権限リストの値を含むユーザーのセキュリティ プロファイルが、ユーザーが検索ページで入力した値と共に SQL の SELECT ステートメントに挿入されます。検索ページとそのユーザーのデータ権限リストの両方の条件に一致するデータが取得されます。ユーザーの権限リストにデータ アクセスが許可されていない個人のデータは取得されません。

画像: ユーザー プロファイル情報、検索条件、およびセキュリティビューにより、データ権限セキュリティが適用されます。

上記の例を使うと、氏名代替キー フィールドに "Smith" と入力した場合、Smith という名前の人のデータの中からアクセスが許可されているもの (部門 123 の従業員) だけが取得されます。名前が Smith であってもユーザーのセキュリティ権限 (部門 123) の範囲外の従業員は取得されないか、またはユーザーとしてアクセスできません。次の図は、データ取得のプロセスを示しています。



注: プロセスとクエリーのセキュリティは、ほぼ同じ方法で適用されます。

全ての PeopleSoft HCM コンポーネントでデータ権限セキュリティが必要なわけではありません。セキュリティ要件によっては、ページ全体、コンポーネント全体、あるいはメニュー全体に対するアクセスを制限するアプリケーション セキュリティを使うだけで間に合う場合もあります。給与情報などの機密情報を含むコンポーネントに限って、セキュリティ検索ビューを使います。SQL ビューとして定義されている検索レコードであれば (SQL テーブルとして定義されている検索レコードもあります)、個人データにアクセスするコンポーネントに対して必要に応じてデータ権限セキュリティを追加できます。

コンポーネントに設定できる検索レコードは 1 つだけです。1 つのコンポーネントに複数の検索レコードを関連付ける場合 (たとえば、あるユーザーにはデータレベル セキュリティを設定し、別のユーザーには設定しないなど)、検索レコードごとにコンポーネントを異なるメニューで再設定し、アプリケーション セキュリティを使用して目的のコンポーネントに対するアクセス権を許可します。

コア セキュリティビュー

PeopleSoft では、個人の管理を行うコンポーネント用に、以下のコア セキュリティビューが提供されています。

全ての個人タイプのデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
コンポーネント検索ビュー	はい	PERALL_SEC_SRCH	EMPLID および異なる検索アイテムごとに 1 行。将来の日付の行を含む。
SQR ビュー	いいえ	PERALL_SEC_SQR	EMPLID ごとに 1 行。
クエリー ビュー	いいえ	PERALL_SEC_QRY	EMPLID ごとに 1 行。

職務のある個人のデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
コンポーネント検索ビュー	はい	PERS_SRCH_GBL	EMPLID と EMPL_RCD の組み合わせ、有効日、および異なる検索アイテムごとに 1 行。将来の日付の行を含む。
コンポーネント検索ビュー	はい	PERS_SRCH_EMP	従業員の場合のみ EMPLID ごとに 1 行。将来の日付の行を含む。

職務のある個人のデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
コンポーネント検索ビュー	いいえ	PERS_SRCH_CURR	EMPLID ごとに 1 行。
SQR ビュー	いいえ	FAST_SQR_SEC_VW	EMPLID ごとに 1 行。
クエリー ビュー	いいえ	PERS_SRCH_QRY	EMPLID ごとに 1 行。
プロンプトビュー	いいえ	EMPL_ACTV_SRCH	(システム日付の時点で) アクティブな現在の職務データレコードがある個人の場合、EMPLID ごとに 1 行。
プロンプトビュー	いいえ	WORKER_PROMPT	(コンポーネントの有効日の時点で) アクティブな現在の職務データレコードがある従業員および非従業員の場合、EMPLID ごとに 1 行。

複数の職務データレコードが割り当てられる可能性のある個人のデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
コンポーネント検索ビュー	はい	EMPLMT_SRCH_GBL	EMPLID と EMPL_RCD の組み合わせ、有効日、および異なる検索アイテムごとに 1 行。将来の日付の行を含む。
コンポーネント検索ビュー	はい	EMPLMT_SRCH_EMP	従業員の場合のみ EMPLID と EMPL_RCD の組み合わせごとに 1 行。将来の日付の行を含む。
SQR ビュー	はい	FAST_SQRFUT_SEC	EMPLID ごとに 1 行。将来の日付の行を含む。
SQR ビュー	いいえ	FAST_SQR_SEC_VW	EMPLID と EMPL_RCD の組み合わせごとに 1 行。
クエリー ビュー	いいえ	EMPLMT_SRCH_QRY	EMPLID と EMPL_RCD の組み合わせごとに 1 行。

複数の職務データレコードが割り当てられる可能性のある個人のデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
プロンプトビュー	いいえ	PERJOB_PROMPT	(コンポーネントの有効日の時点で) アクティブな現在の職務データレコードがある個人の場合、EMPLID ごとに 1 行。

職務のない個人のデータを保存するコンポーネント用のセキュリティビュー			
タイプ	将来の日付のセキュリティを含む	セキュリティビュー	返される行
コンポーネント検索ビュー	該当なし	POI_SEC_SRCH	EMPLID、POI_TYPE、および異なる検索アイテムごとに 1 行。
SQR ビュー	該当なし	POI_SEC_SQR	EMPLID および POI_TYPE ごとに 1 行。
クエリービュー	該当なし	POI_SEC_QRY	EMPLID および POI_TYPE ごとに 1 行。

『PeopleTools: PeopleSoft Application Designer』を参照してください

セキュリティ データ

データ権限は、トランザクションとユーザーの 2 つの側面から制御されます。

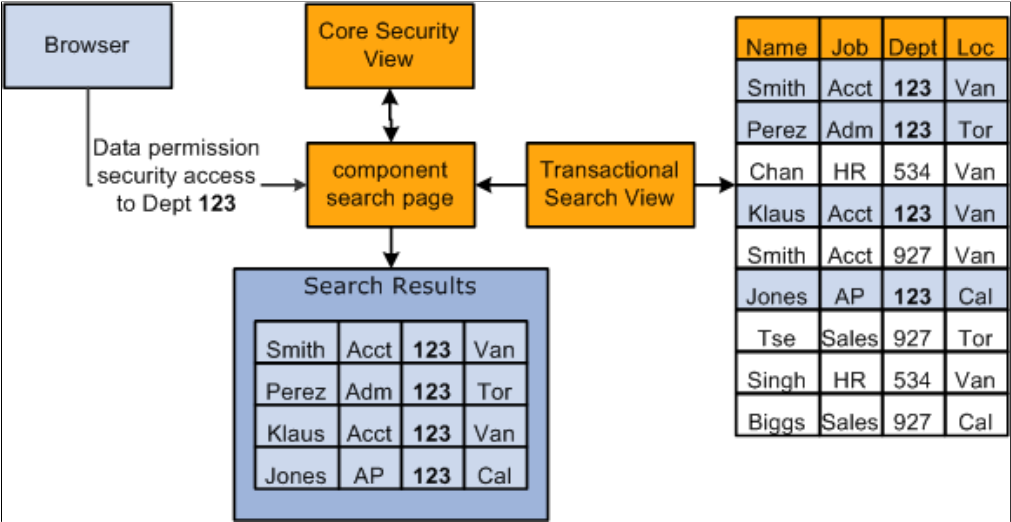
トランザクション セキュリティ データ

トランザクション データは、保護される側のデータです。トランザクション データ行の一定のトランザクション フィールドは、その行へのアクセスのセキュリティを適用するために使用されます。このようなフィールドのデータが、トランザクション セキュリティ データと呼ばれます。トランザクション セキュリティ データの値がユーザーがアクセス可能な値 (ユーザー セキュリティ データ) と一致すると、そのデータ行全体がユーザーにとって利用可能になります。

ユーザーがコンポーネント検索ページにアクセスすると、セキュリティ検索ビューによってデータ行にフィルタがかけられ、ユーザーがアクセス可能なトランザクション セキュリティ データ値を持つデータ行のみが表示されます。

画像: 部門フィールドが、データ行を保護するトランザクション値になっています

次の図は、組織内の個人データを保護するために、部門フィールドがトランザクション セキュリティ データとして使用され、ユーザーは部門 123 の従業員に対してのみセキュリティ アクセス権を持っていることを示しています。



次の表は、トランザクション データの入力と管理を行うコンポーネント、トランザクション データが保存されるレコード、およびトランザクション セキュリティ データとして使用可能なフィールドを示しています。

データ タイプ	データを入力または管理するトランザクション コンポーネント	トランザクション データを保存するレコード	トランザクション セキュリティ データとして使用可能なフィールド
部門	部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL)	DEPT_TBL	• セットID • 部門
人材募集	人材募集ページ (HRS_JO_360)	HRS_JOB_OPENING	• 会社 • ビジネス ユニット • 部門 ID • 勤務地

データ タイプ	データを入力または管理するトランザクション コンポーネント	トランザクション データを保存するレコード	トランザクション セキュリティ データとして使用可能なフィールド
- 従業員 - 非従業員 - 職務のある関係者	- 従業員情報の作成コンポーネント (JOB_DATA_EMP) - 非従業員情報の作成コンポーネント (JOB_DATA_CWR) - 関係者情報の追加コンポーネント (JOB_DATA_POI) - 職務データ コンポーネント (JOB_DATA)	JOB	- 雇用情報 (従業員、非従業員、または関係者) - 法定区域 - 会社 - ビジネス ユニット - 部門 - 勤務地 - 給与プラン - 支給グループ (Payroll for North America を使用している場合)
職務のない関係者	- 関係者情報の追加コンポーネント (PERS_POI_ADD) - 関係者情報の管理コンポーネント (PERS_POI_MAINTAIN)	PER_POI_SCRTY	- 関係者タイプ - 関係者タイプとビジネス ユニット - 関係者タイプと機関 - 関係者タイプと会社コード

注: 個人については、雇用形態にかかわらず、最初は全て個人情報の追加コンポーネント (PERSONAL_DATA) に入力し、ここで個人情報の入力と ID の割り当てを行います。これらのページでは、トランザクション セキュリティ データは取得されません。トランザクション セキュリティ データは、個人の雇用情報の詳細を入力するコンポーネントで取得されます。

注: 職務データレコードまたは関係者タイプレコードを作成せずに個人情報を追加した場合、その個人は関係者タイプが不明の、職務のない関係者として保存されます。この個人データにアクセスし、その職務データまたは関係者タイプレコードを作成するには、タイプが不明の関係者に対するデータ アクセス権のあるユーザーが組織内にいなければならない、いない場合、このデータはアクセス不能になります。システムに個人データを入力するユーザーは、個人データの入力時にその職務データまたは関係者タイプレコードを作成および保存しないとどうなるかを理解している必要があります。従業員情報の作成コンポーネント、非従業員情報の作成コンポーネント、関係者情報の追加コンポーネント、または関係者情報の管理コンポーネントで個人のトランザクション レコードが完成し保存されると、その個人の不明という関係者タイプは削除されます。

Adding a PersonPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

Controlling Data Access for POIs Without JobsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

Adding Organizational Instances for Employees Contingent Workers and POIsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

ユーザー セキュリティ データ

ユーザー セキュリティ データは、ユーザーのアクセス権に関するデータです。これを使用して、ユーザーがアクセス権を与えられたデータ以外にアクセスできないようにすることができます。HCM データ権限のユーザー セキュリティ データは、権限リストに割り当てるデータ権限と、権限リストを割り当てるロールとユーザーから成ります。

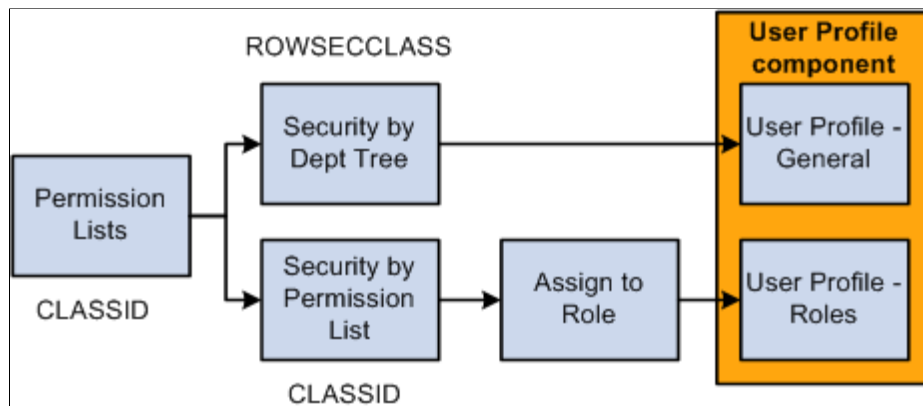
データ権限は、行セキュリティ (ツリーベース) の権限リスト (ROWSECCLASS) および通常の (ロールベースの) 権限リスト (CLASSID) に付与されます。どちらの権限リストも、権限リスト コンポーネントおよび権限リストのコピー コンポーネントを使用して作成します。

権限リスト コンポーネントで権限リストを作成する場合は、アプリケーションの複数の側面に対してセキュリティを割り当てることができます。データ権限の割り当ては、別途部門ツリー セキュリティ ページおよび権限リスト別セキュリティ ページで行います。

注: 部門ツリー セキュリティ コンポーネントに権限リストを追加すると、権限リストは ROWSECCLASS として保存されます。

画像: 権限リストを作成し、ここにデータ権限を割り当て、これをユーザーに割り当てます

次の図では、権限リストを作成し、(部門ツリー セキュリティまたは権限リスト別セキュリティを使用して) データ権限を割り当ててから、"ユーザー プロファイル - 一般" ページで、行セキュリティ権限リストとしてユーザーに直接権限リストを割り当てたり、"ユーザー プロファイル - ロール" ページで、権限リストに関連付けられているロールをユーザーに割り当てることで、ユーザーに権限リストを割り当てています。



以下の表は、データ権限が割り当てられたロールベースの権限リストと、行セキュリティ権限リストの主な違いを示しています。

行セキュリティ権限リスト	ロール ベース権限リスト
ユーザー プロファイル - 一般ページにある [行セキュリティ] フィールドでユーザーに割り当てられます。	ロールを使用してユーザーに割り当てられます。
1 ユーザーにつき 1 つしか割り当てられません。	ユーザーに複数のロール ベース権限リストを割り当て、各リストのデータ アクセス権を組み合わせることができます。
"ユーザー プロファイル - 一般" ページの [行セキュリティ] フィールドでユーザーに割り当てられたデータ権限のみが含まれます。	権限リスト別セキュリティ ページで割り当てられたデータ アクセス権、および権限リスト コンポーネントで権限リストに付与されたアプリケーション アクセス権が含まれます。 ユーザーは、部門ツリー セキュリティ ページで割り当てられたデータ権限は利用できません。
部門セキュリティ ツリー ベースのセキュリティだけを含めてください。	部門セキュリティ ツリー ベース以外のセキュリティのみ含められます。

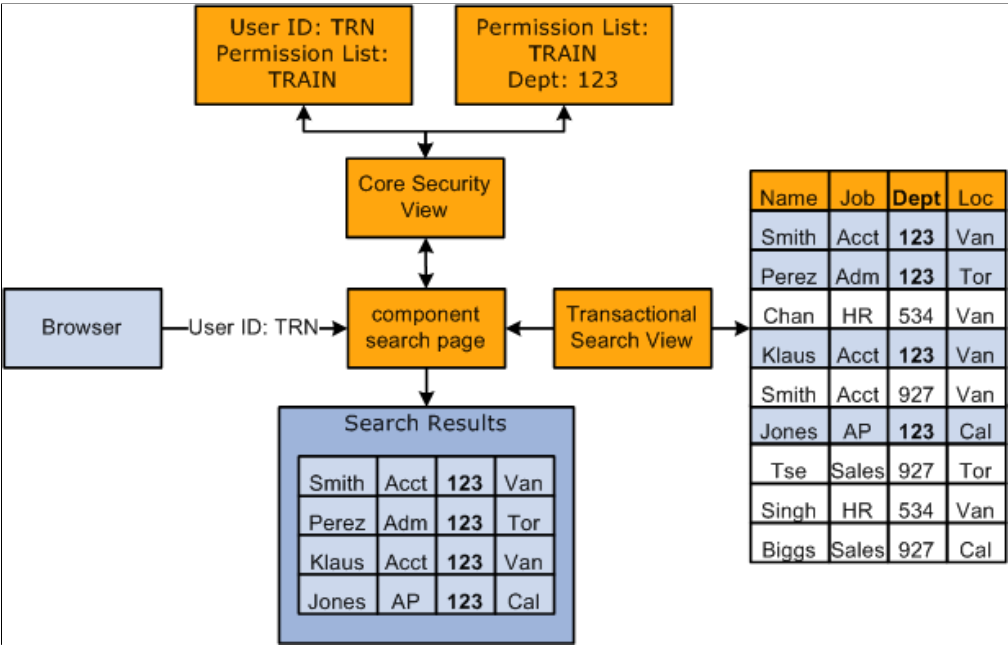
注: 同じ権限リストを行セキュリティ権限リストとロール ベース権限リストとして使用することができます。これにはその権限リストを、部門ツリー セキュリティ コンポーネントと権限リスト別セキュリティ コンポーネントの両方に追加してから、"ユーザー プロファイル - 一般" ページとロールを使用してユーザーに追加します。

注: システムでは、行セキュリティ権限リストに関連付けられた、ツリー ベース以外のセキュリティも認識されます。以前のリリースでツリー ベース以外のセキュリティを使用するようシステムを変更している場合も、必要なのはカスタマイズしたテーブルをインポートして、行セキュリティ権限リストおよびセキュリティ定義を SJT_CLASS に取り込むことです。引き続き "ユーザー プロファイル - 一般" ページの [行セキュリティ権限リスト] フィールドで、権限リストをユーザーに割り当てることができます。

システムを初めて使用する場合、またはツリー ベース以外のセキュリティを初めて使用する場合は、ロールベース権限リストを使用することをお勧めします。こちらの方が、柔軟性は大幅に高くなります。

画像: ユーザーに割り当てられた権限リストとそのリストによって与えられるデータ権限が判別された後に、一致するデータ行が取得されます

次の図は、検索ページで、ユーザーに割り当てられた権限リストと、そのリストによってユーザーに与えられるデータ権限が判別されるようすを示しています。ユーザー (TRN) は、行セキュリティとロールによる権限リストの両方の権限リスト TRAIN に関連付けられています。権限リスト TRAIN には部門 123 のみの従業員のレコードに対するアクセスが付与されているため、検索結果には、この部門の従業員のみが表示されます。



次の表は、ユーザー セキュリティ データの入力と管理を行うページと、ユーザー セキュリティ データが保存されるレコードを示しています。

データタイプ	データを入力または管理するセキュリティ ページ	ユーザー セキュリティ データが保存されるレコード
行セキュリティ権限リスト	部門ツリー セキュリティ ページ	SCRTY_TBL_DEPT このデータは SJT_CLASS_ALL にロードされます。

データタイプ	データを入力または管理するセキュリティページ	ユーザー セキュリティデータが保存されるレコード
ロール ベース権限リスト	権限リスト別セキュリティ ページ	SJT_CLASS このデータは SJT_CLASS_ALL にロードされます。
ロールに割り当てられる権限リスト	ロール - 権限リスト ページ	PSROLECLASS このデータは SJT_OPR_CLS にロードされます。
ユーザーに割り当てられるロール	ユーザー プロファイル - ロール ページ	PSROLEUSER このデータは SJT_OPR_CLS にロードされます。
ユーザーに割り当てられる行セキュリティ権限リスト	ユーザー プロファイル - 一般ページ	PSOPRDEFN このデータは SJT_OPR_CLS にロードされます。

注: PSROLECLASS、PSROLEUSER、PSOPRDEFN のデータは、USER_PROFILE メッセージと ROLE_MAINT メッセージを有効にしたとき、または SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行したときのいずれかの場合に、システムによって自動的に SJT_OPR_CLS にロードされます。

「[PeopleSoft のセキュリティについて](#)」を参照してください。

「[ツリーベースのデータ権限の設定と割り当て](#)」を参照してください。

「[ロールベースデータ権限セキュリティの権限リストへの割り当て](#)」を参照してください。

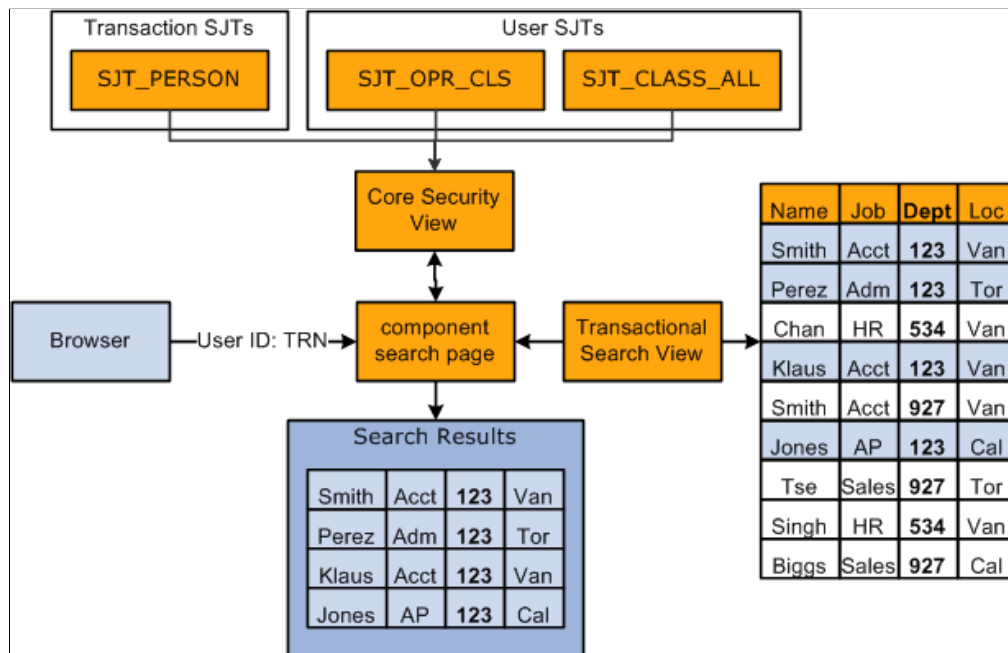
セキュリティ結合テーブル

セキュリティ データは、トランザクションおよびユーザーのセキュリティ結合テーブル (SJT) に保存されます。セキュリティ検索ビューを使用してトランザクション コンポーネントにアクセスすると、セキュリティ

ビューではセキュリティ結合テーブルが参照され、データがどのように保護されているか、およびユーザーにどのようなアクセス権があるかが判別されます。

画像: コア セキュリティ ビューでは、セキュリティ結合テーブルに保存されたセキュリティ データを使用して、ユーザーがアクセス可能なデータ行が決定されます

次の図は、検索ページで、トランザクションまたはユーザー セキュリティ結合テーブルを使用して、ユーザーに割り当てられた権限リスト、およびそのリストによってユーザーに与えられるデータ権限が判別されるようすを示しています。トランザクション セキュリティ結合テーブルは、コンポーネントに保存されるデータのタイプによって決定されます。



トランザクション セキュリティ結合テーブル

各トランザクション セキュリティ結合テーブルには、各データ行を保護するために必要なトランザクション データが保存されます。セキュリティ結合テーブルには、キー フィールドの異なる組み合わせごとに 1 つのデータ行が保存されます。

トランザクション セキュリティ結合テーブルには、以下の 4 つがあります。

トランザクション セキュリティ結合テーブル	説明	保存するデータのソース	キー フィールド
SJT_PERSON SJT_PERSON_USF 注: SJT_PERSON はコアの職務データ コンポーネントを使用している場合に使用され、SJT_PERSON_USF は USF の職務データ コンポーネントを使用している場合に使用されます。	HCM システムにおける個人 (従業員、非従業員、職務のある関係者、および職務のない関係者) のトランザクション データを保存します。	• JOB • JOB_JR • PER_ORG_ASGN • PER_POI_SCRTY	SCRITY_TYPE_CD SCRITY_KEY1 SCRITY_KEY2 SCRITY_KEY3 EMPLID
SJT_DEPT	HCM 部門のトランザクション データを保存します。	DEPT_TBL	SCRITY_TYPE_CD SCRITY_KEY1 SCRITY_KEY2 SCRITY_KEY3 SETID DEPTID
HRS_SJT_JO	システムにおける人材募集のトランザクション データを保存します。	• HRS_JOB_OPENING • HRS_JO_RTEAM_VW	SCRITY_TYPE_CD SCRITY_KEY1 SCRITY_KEY2 SCRITY_KEY3 HRS_JOB_OPENING_ID

以下はキー フィールドの説明です。

- SCRITY_TYPE_CD (セキュリティ アクセス タイプ コード)

セキュリティ アクセス タイプは、トランザクション セキュリティ データに使用されるフィールドを示します。たとえば、セキュリティ タイプが 002 の場合は、勤務地によって個人データを保護することができます。

セキュリティ アクセス タイプは、セキュリティ アクセス セットごとに一意です。

- SCRITY_KEY1、SCRITY_KEY2、および SCRITY_KEY3 (セキュリティ キー)

キー セキュリティ フィールドによって、データ行を保護するセキュリティ トランザクション データが一意に識別されます。キー フィールドは、セキュリティ アクセス タイプによって決定されます。たとえば、個

人データが勤務地によって保護される場合、キー セキュリティ フィールドは BUSINESS_UNIT (勤務地のプロンプト値) と LOCATION になります (この例の場合、3 番目のキー フィールドは不要です)。

- EMPLID

個人情報のページで割り当てられた、個人を一意に識別する番号です。

- SETID および DEPTID

部門のセットID および部門 ID。

- HRS_JOB_OPENING_ID

人材募集ページで割り当てられた、人材募集を一意に識別する番号です。

各テーブルには、使用するセキュリティのタイプに応じて追加のフィールドが保存されます。

たとえば、セキュリティ アクセス タイプに職務部門ツリー (001) を使用して職務のある個人のデータを保護する場合、セキュリティ結合テーブル SJT_PERSON のキー フィールドは以下のようになります。

SCRTY_TYPE_CD	SCRTY_KEY1	SCRTY_KEY2	SCRTY_KEY3	EMPLID
001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 123	該当なし	IN3321
001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 534	該当なし	IN7894
001	部門セットID: USA	部門 ID: OKL	該当なし	US8390

たとえば勤務地 (002) と職務部門ツリーのように、2 つのセキュリティ アクセス タイプを使用した場合は、SJT_PERSON は以下のようになります。

SCRTY_TYPE_CD	SCRTY_KEY1	SCRTY_KEY2	SCRTY_KEY3	EMPLID
001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 123	該当なし	IN3321
002	勤務地ビジネス ユニット: FRA01	勤務地コード: PAR	該当なし	IN3321
001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 534	該当なし	IN7894
002	勤務地ビジネス ユニット: AUS01	勤務地コード: SYD	該当なし	IN7894
001	部門セットID: USA	部門 ID: OKL	該当なし	US8390
002	勤務地ビジネス ユニット: USA	勤務地コード: KSC	該当なし	US8390

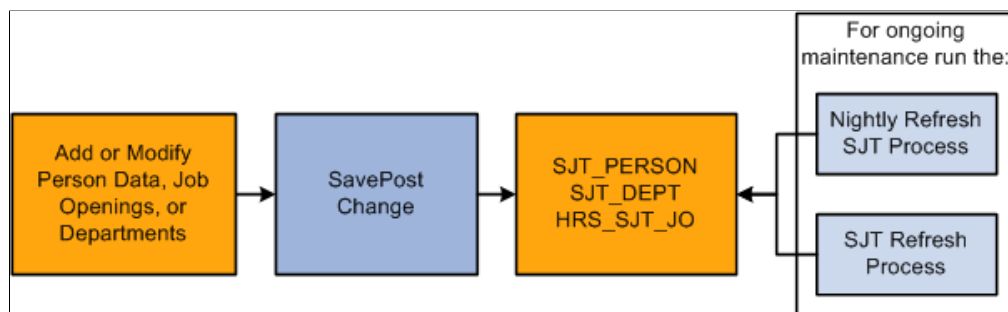
注: 勤務地および部門を一意に識別するために 3 つのキー フィールドは必要ないため、この例の場合、3 番目のセキュリティ キー フィールドは不要です。

初めてセキュリティ アクセス タイプを使用可能にするときには、SJT リフレッシュ プロセスを使用してトランザクション データをセキュリティ結合テーブルにロードします。最初のロードの後は、トランザクション コンポーネントでトランザクション セキュリティ データに変更を加えると、自動的に PeopleCode の SavePostChange を使用してテーブルが更新されます。必要に応じて SJT リフレッシュ プロセスを実行するか、夜間リフレッシュ プロセスによって、PeopleCode で更新されなかった変更を取り込むこともできます。

注: トランザクション コンポーネント サブページ SCRTY_SJT_SBP の SavePostChange PeopleCode によって、セキュリティ結合テーブルが更新されます。

画像: リフレッシュ プロセスを使用してトランザクション セキュリティ結合テーブルを最新の状態に保ちます

次の図は、前述したようにトランザクション セキュリティ結合テーブルが最新の状態に保たれるようすを示しています。



「[夜間の SJT リフレッシュ処理ページ](#)」を参照してください。

「[トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

ユーザー セキュリティ結合テーブル

ユーザー セキュリティ結合テーブルには、ユーザーのデータ権限の決定に必要なユーザー セキュリティ データが保存されます。セキュリティ結合テーブルには、キー フィールドの異なる組み合わせごとに 1 つのデータ行が保存されます。

ユーザー セキュリティ結合テーブルには、以下の 2 つがあります。

ユーザー セキュリティ結合テーブル	説明	保存するデータのソース	キー フィールド
SJT_CLASS_ALL	部門ツリー セキュリティ ページまたは権限リスト別セキュリティ ページでデータ アクセス 権が付与された全ての権限リストのデータ権限情報が保存されます。	• SCRTY_TBL_DEPT • SJT_CLASS	CLASSID SCRTY_SET_CD SCRTY_TYPE_CD SCRTY_KEY1 SCRTY_KEY2 SCRTY_KEY3
SJT_OPR_CLS	データ権限のあるユーザーのユーザー ID と、そのユーザーに割り当てられたデータ権限を含む権限リストが保存されます。	• PSOPRDEFN • PSROLEUSER • PSROLECLASS	OPRID CLASSID

セキュリティ アクセス タイプ フィールドとセキュリティ キー フィールドに加えて、ユーザー セキュリティ結合テーブルには以下のフィールドが保存されます。

- SCRTY_SET_CD (セキュリティ セット コード)

セキュリティ セットは、HCM において保護されるデータのセットです。たとえば、PPLJOB は職務のある個人のデータに対するセキュリティ セットであり、DEPT は部門データに対するセキュリティ セットです。セキュリティ セットごとに、セキュリティ アクセス タイプが設定されます。

- OPRID

ユーザーのユーザー ID です。

- CLASSID

ロール ベースまたは行セキュリティの権限リストの ID です。

注: セキュリティ結合テーブルでは、行セキュリティ権限リスト (ROWSECCLASS) が CLASSID 権限リストとして保存されますが、行セキュリティ フラグを使用して識別されます。

SJT_CLASS_ALL の権限リスト データは、以下の 2つのソースから取り込まれます。

- SCRTY_TBL_DEPT

ツリー ベース データ権限を権限リストに追加するときには、部門ツリー セキュリティ ページを使用します。権限リストの情報は SCRTY_TBL_DEPT レコードに保存されます。

- SJT_CLASS

ツリー ベース以外のデータ権限を権限リストに追加するときには、権限リスト別セキュリティ ページを使用します。権限リストの情報は SJT_CLASS レコードに保存されます。

たとえば、セキュリティ アクセス タイプに職務部門ツリー (001) を使用して職務のある個人のデータを保護する場合、SCRTY_TBL_DEPT テーブルのキー フィールドは以下のようになります。

ROWSECCLASS	セットID	DEPTID
TRAIN	部門セットID: SHARE	部門 ID: 123
PAY1	部門セットID: SHARE	部門 ID: 534
PAY2	部門セットID: USA	部門 ID: OKL

SCRTY_TBL_DEPT テーブルからデータをロードするには、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行する必要があります。SJT_CLASS_ALL では、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスによって以下の処理が行われます。

- 使用可能なツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプ (およびそのセキュリティ セット) ごとにデータ行が作成され、部門ツリー セキュリティ ページで設定したデータ権限が与えられます。

たとえば、セキュリティ アクセス タイプ 012 (RS 部門 ID) およびセキュリティ アクセス タイプ 001 (職務部門ツリー) を使用可能にし、行セキュリティ権限リスト TRAIN に部門 123 に対するデータ権限を付与した場合、このプロセスによってセキュリティ アクセス タイプごとに行が作成され、権限リストに部門 123 の職務のある個人および部門 123 の人材募集に対するアクセス権が与えられます。

- 行セキュリティ権限リストが CLASSID 権限リストとして保存されます。
- 部門セットID が SCRTY_KEY1 として、部門 ID が SCRTY_KEY2 として保存されます。

たとえば、セキュリティ アクセス タイプに勤務地 (002) を使用して職務のある個人のデータを保護する場合、セキュリティ結合テーブル SJT_CLASS のキー フィールドは以下のようになります。

CLASSID	SCRTY_SET_CD	SCRTY_TYPE_CD	SCRTY_KEY1	SCRTY_KEY2	SCRTY_KEY3
TRAIN	PPLJOB	002	勤務地ビジネスユニット: FRA01	勤務地コード: PAR	該当なし
PAY1	PPLJOB	002	勤務地ビジネスユニット: AUS01	勤務地コード: SYD	該当なし
PAY2	PPLJOB	002	勤務地ビジネスユニット: USA	勤務地コード: KSC	該当なし

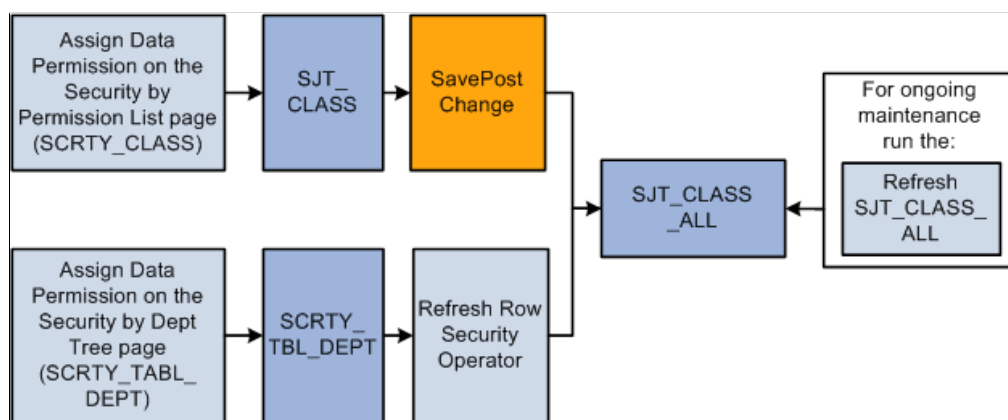
権限リスト別セキュリティ ページで行った修正を保存すると、自動的に SavePostChange PeopleCode によってセキュリティ結合テーブル SJT_CLASS_ALL のデータが更新されます。

両方のセキュリティ アクセス タイプを使用している場合、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行し、PeopleCode によって更新が行われた後の SJT_CLASS_ALL は、次のようになります。

CLASSID	SCRTY_SET_CD	SCRTY_TYPE_CD	SCRTY_KEY1	SCRTY_KEY2	SCRTY_KEY3
TRAIN	PPLJOB	001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 123	該当なし
TRAIN	PPLJOB	002	勤務地ビジネス ユ ニット: FRA01	勤務地コード: PAR	該当なし
PAY1	PPLJOB	001	部門セットID: SHARE	部門 ID: 534	該当なし
PAY1	PPLJOB	002	勤務地ビジネス ユ ニット: AUS01	勤務地コード: SYD	該当なし
PAY2	PPLJOB	001	部門セットID: USA	部門 ID: OKL	該当なし
PAY2	PPLJOB	002	勤務地ビジネス ユ ニット: USA	勤務地コード: KSC	該当なし

画像: ユーザー セキュリティ結合テーブルを最新の状態で保つ

次の図は、前述したように権限リスト ユーザー セキュリティ結合テーブルが最新の状態で保たれるようすを示しています。



「SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ」を参照してください。

セキュリティ結合テーブル SJT_OPR_CLS には、ユーザー ID とデータ権限が含まれる権限リストとの関係が保存されます。SJT_OPR_CLS のデータは、以下の 3 つのソースから取り込まれます。

- PSOPRDEFN

このレコードには、ユーザー ID と "ユーザー プロファイル - 一般" ページで割り当てられた行セキュリティ権限リストとの関係が含まれます。

- PSROLEUSER

このレコードには、ユーザー ID と "ユーザー プロファイル - ロール" ページで割り当てられたロールとの関係が含まれます。

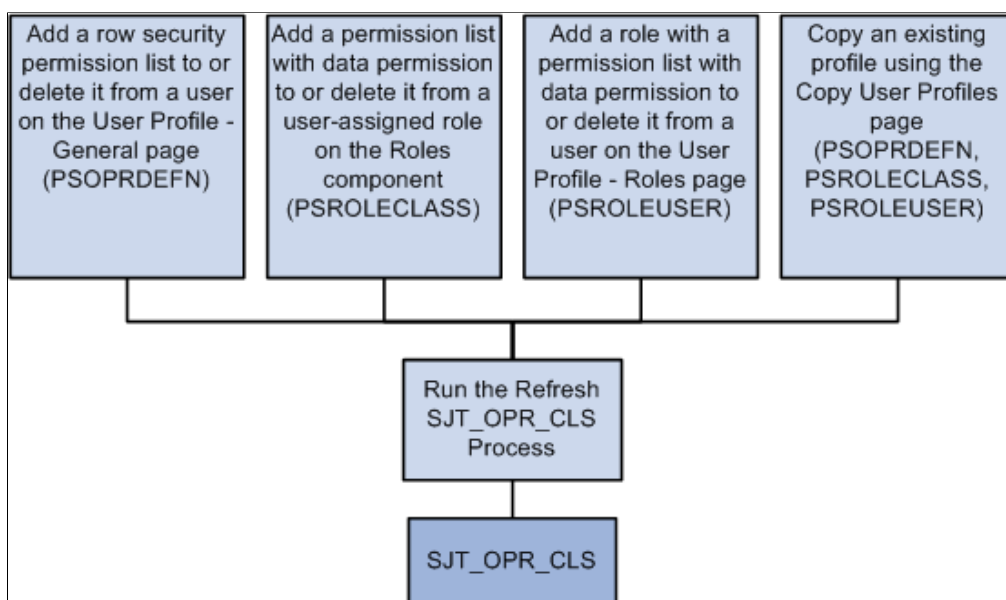
- PSROLECLASS

このレコードには、ロールと "ロール - 権限リスト" ページで割り当てられた権限リストとの関係が含まれます。

SJT_OPR_CLS を PSOPRDEFN、PSROLECLASS および PSROLEUSER のデータで更新するには、データセキュリティを含む権限リストをユーザー プロファイルに追加するたび ("ユーザー プロファイル - 一般" ページで行セキュリティ権限リストを追加するか、ロールの権限リスト ページでデータ権限を含むロールベース権限リストをユーザー割当済ロールに追加する、"ユーザー プロファイル - ロール" ページでデータ権限のあるロールを追加する、既存のユーザー プロファイルをコピーして新規のユーザー プロファイルを作成する、のいずれかの方法で)、あるいはユーザー プロファイルから削除するたびに、SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行します。

画像: SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行して、SJT_OPR_CLS を最新の状態に保ちます。

次の図は、このプロセスでいつユーザー プロファイル セキュリティ結合テーブルを更新するかを示しています。



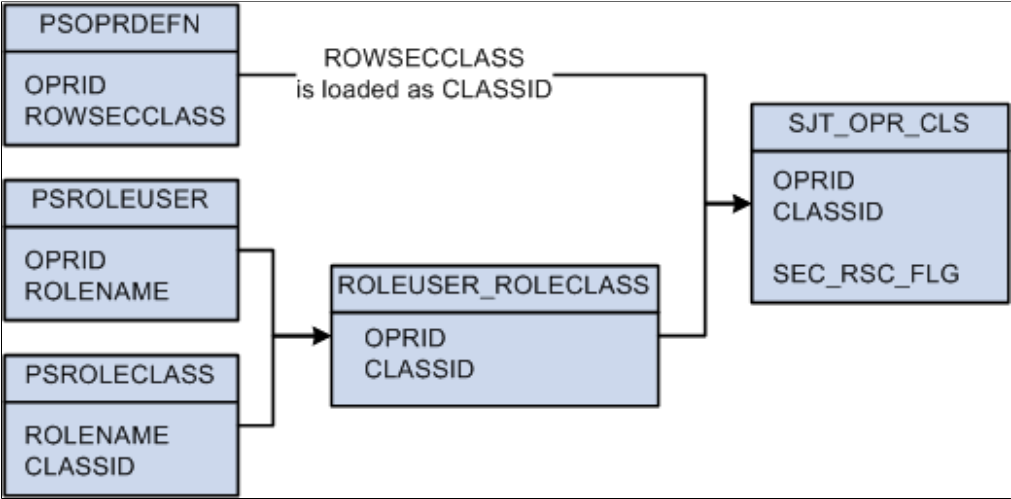
注: USER_PROFILE メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Refresh_SJT_OPR_CLS、および ROLE_MAINT メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Role_Refresh_SJT_OPR_CLS を有効にして、SJT_OPR_CLS を自動更新することもできます。システムの出荷時には、これらのメッセージは有効にされていません。

SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスでは、PSOPRDEFN から直接 SJT_OPR_CLS に OPRID および ROWSECCLASS の値がロードされ、行セキュリティ権限リストが CLASSID として保存されます。

ユーザー プロファイルとロール ベース権限リストの関係を確立するため、このプロセスでは最初に PSROLEUSER から OPRID と ROLENAME、および PSROLECLASS から ROLENAME と CLASSID が一時テーブル (ROLEUSER_ROLECLASS) にロードされ、次に OPRID と CLASSID およびその関係が SJT_OPR_CLS にロードされます。

画像: SJT_OPR_CLS にユーザー プロファイルと権限リストの関係が保存されます。

次の図は、前述した SJT_OPR_CLS に保存されるデータとそのソースを示しています。



注: SEC_RSC_FLG フィールドは、CLASSID が元は ROWSECCLASS 権限リストであった場合に、値 Y によってこれを示します。

「[SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

セキュリティ セットとセキュリティ アクセス タイプ

セキュリティ セットは、保護されるデータをグループ化したものです。このセットは、トランザクション セキュリティ データのソースによって異なります。たとえば、職務のない関係者は、JOB レコードではなく PER_POI_SCRTY レコードのトランザクション データを使用して保護されるため、職務のある個人とは異なるセキュリティ セットが使用されます。

PeopleSoft は以下の 5 つのセキュリティ セットを提供しています。

セキュリティ セット	説明	データを保存するセキュリティ結合テーブル
PPLJOB	職務のある個人 JOB レコードがある個人のデータ、およびその個人に関連する全てのデータが含まれます。	SJT_PERSON

セキュリティ セット	説明	データを保存するセキュリティ結合テーブル
PPLUSF	アメリカ連邦政府の職務のある個人 GVT_JOB レコードがある個人のデータ、およびその個人に関連する全てのデータが含まれます。	SJT_PERSON_USF
PPLPOI	職務のない関係者 JOB レコードがない個人のデータ、およびその個人に関連する全てのデータが含まれます。	SJT_PERSON
DEPT	部門 部門の予算およびポジションが含まれます。	SJT_DEPT
RSOPN	人材募集 人材募集に関連付けられた応募者のデータを含む、人材募集のデータが含まれます。	HRS_SJT_JO

注: 必要になる可能性が高いセキュリティ セットは、全て用意されています。新規セットの追加は、カスタマイズと見なされます。

「[セキュリティ セット テーブル ページ](#)」を参照してください。

セキュリティ アクセス タイプは、セキュリティ セット内のデータを保護する方法です。各セキュリティ セットには複数のセキュリティ アクセス タイプ用意されており、そこから選択して使用可能にすることができます。セキュリティ アクセス タイプによって、特に以下の判別がされます。

- セキュリティ トランザクション データ
- 将来日付の行のデータ セキュリティがあるか
- そのアクセス タイプで部門セキュリティ ツリーが使用されるか

注: 部門階層はセキュリティ ツリー上にのみ構築可能であり、部門 ツリーによるアクセス権は、行セキュリティ権限リストにのみ付与することができます。

部門セキュリティ ツリーを使用しないセキュリティ アクセス タイプには階層構造がなく、権限リストごとに個別に各フィールド値をリストする必要があります。

次の表は、セキュリティ セットごとのセキュリティ アクセス タイプを示しています。

セキュリティ セット	セキュリティ アクセス タイプ
PPLJOB	• 職務部門ツリー (001) • 勤務地 (002) • 職務ビジネス ユニット (003) • 職務会社 (004) • 職務法定区域 (005) • 職務給与等級 (014) • 雇用情報 (015) • 職務 - 部門 ID - ツリーなし (025) • 職務会社/支給グループ (032)
PPLUSF	• US 連邦政府部門ツリー (016) • US 連邦政府勤務地 (017) • US 連邦政府企業 (018) • US 連邦政府ビジネス ユニット (019) • US 連邦政府給与等級 (020)
PPLPOI	• 関係者ビジネス ユニット (006) • 関係者勤務地 (007) • 関係者機関 (008) • 関係者 (009)
DEPT	• ツリー別部門 (021) • 部門 - ツリーなし (022) • セットID 別部門 (023)
RSOPN	• RS 会社 (010) • RS ビジネス ユニット (011) • RS 部門 ID (012) • RS 勤務地 (013) • 採用チーム (031)

注: 必要になる可能性が高いセキュリティ アクセス タイプは、全て用意されています。新たなタイプを追加することはできますが、アプリケーションと SQL に精通している必要があります。

セキュリティ管理者は、データ権限の割り当てに、使用可能に設定されたセキュリティ アクセス タイプのみ使用することができます。

「[セキュリティタイプ テーブル ページ](#)」を参照してください。

複数のセキュリティ アクセス タイプの使用可能設定と使用

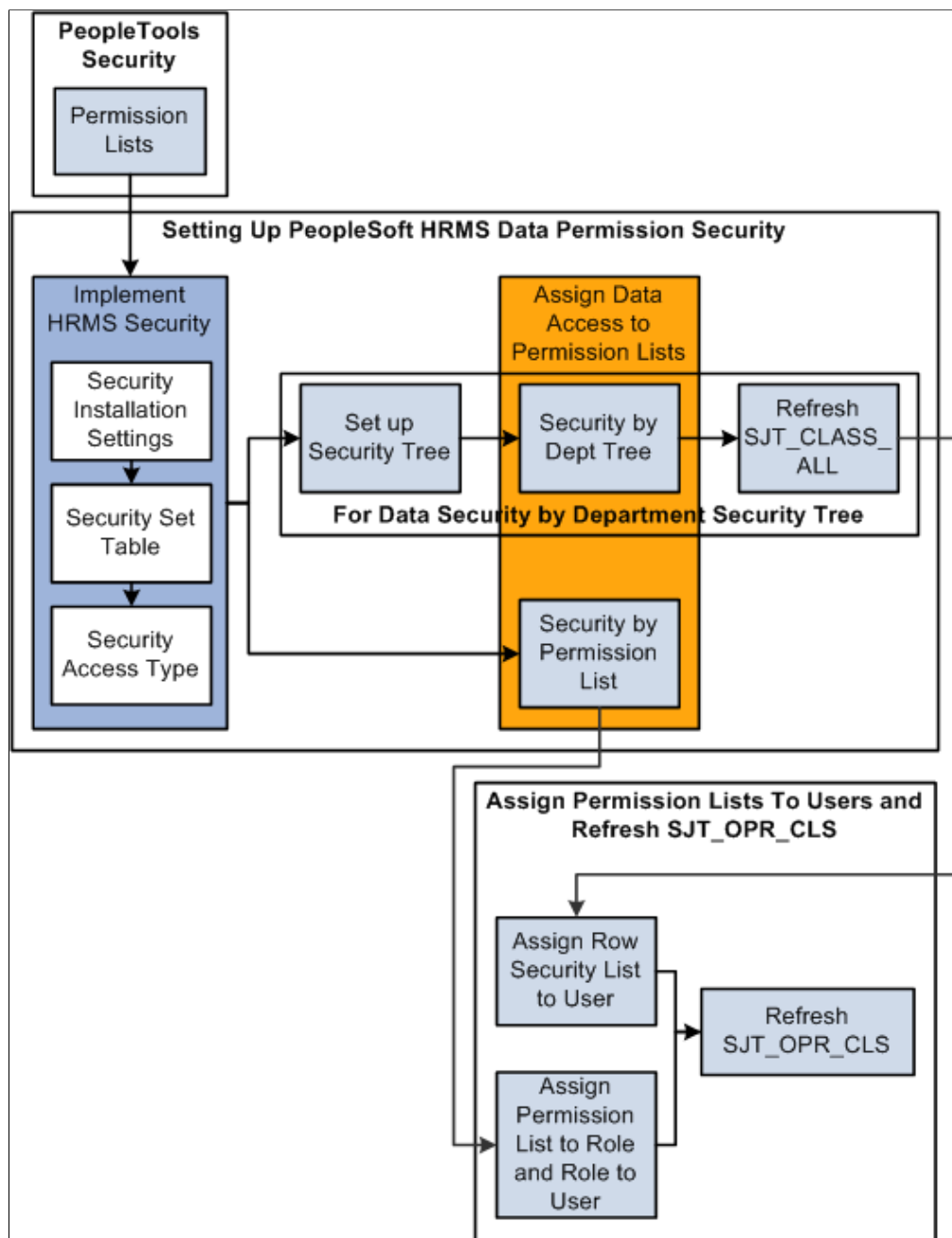
複数のセキュリティ アクセス タイプを使用してセキュリティ セット内のデータへのアクセス権を権限リストに付与した場合、セキュリティ アクセスでは 2 つのタイプの結合や交差ではなく合併が作成されます。たとえば、PPLJOB セキュリティ セットで職務会社と職務ビジネス ユニットを使用可能にし、権限リストに会社 A の個人およびビジネス ユニット B の個人に対するアクセス権を付与した場合、この権限リストを割り当てられたユーザーは会社 A の個人およびビジネス ユニット B の個人にアクセスすることができ、このユーザーに与えられるアクセス権はビジネス ユニット B と会社 A の両方に属する個人に限定されません。

注: トランザクション フィールドを結合してデータを保護するセキュリティ アクセス タイプの作成に関する詳細については、My Oracle Support に掲載されているセキュリティに関するホワイト ペーパーを参照してください。

HCM セキュリティ プロセス フロー

画像: PeopleSoft HCM データ権限セキュリティの設定

HCM データ権限セキュリティの設定は、次のプロセス フローに従って行います (詳細は後述します)。



HCM データ権限を設定するには、次の手順に従います。

1. PeopleTools のページで権限リストを設定します。
2. セキュリティ インストール設定コンポーネントでセキュリティ インストールの設定を行います。
3. セキュリティセット テーブル コンポーネントでセキュリティ セットを確認します。

4. セキュリティ アクセス タイプ コンポーネントでセキュリティ アクセス タイプを使用可能にします。
5. データ権限を権限リストに割り当てます。
 - セキュリティ ツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプを使用している場合は、セキュリティ ツリーを設定し、部門ツリー セキュリティ コンポーネントでデータ権限を割り当て、SJT_CLASS_ALL をリフレッシュします。
 - セキュリティ ツリー ベース以外のセキュリティ アクセス タイプを使用している場合は、権限リスト別セキュリティ コンポーネントでデータ権限を割り当てます。
6. 権限リストをユーザーに割り当てます。ロール ベースの権限リストを使用している場合はロールを使用して割り当てます。行セキュリティ権限リストを使用している場合はユーザー プロファイルに直接割り当てます。
7. SJT_OPR_CLS をリフレッシュします。

HCM データ権限の例

以下のセキュリティをそれぞれの権限リストに付与します。

権限リスト	ページ	セキュリティ アクセス タイプ	セキュリティ値
JobByDept	部門ツリー セキュリティ ページ	職務部門ツリー (001)	部門 10100 (最初のキーとしてセットID SHARE を選択する必要があります)
JobByLoc	権限リスト別セキュリティ ページ	勤務地 (002)	勤務地 UK1 (最初のキーとしてビジネス ユニット GBR01 を選択する必要があります)
MyJobs	部門ツリー セキュリティ ページ	職務部門ツリー (001)	部門 11000 (セットID SHARE)
権限リスト別セキュリティ ページ	勤務地 (002)	勤務地 USA (ビジネス ユニット GBL01)	

以下のロールに権限リストを割り当てます。

ロール	権限リスト	結果
ロール 1	JobByDept	ツリー ベースの部門セキュリティ (セキュリティ アクセス タイプ 001) はロールと一緒に使用できないため、ロール 1 にアクセス権は与えられません。
ロール 2	JobByLoc	勤務地 UK1 で職務のある個人へのアクセス権が与えられます。
ロール 3	MyJobs	勤務地 USA で職務のある個人へのアクセス権が与えられます。 部門 11000 へのアクセス権は与えられません。

以下の行セキュリティ権限リストとロールをユーザーに割り当てます。

ユーザー ID	行セキュリティ権限リスト	ロール	職務のある個人にアクセス可能な範囲
ユーザー A	JobByDept		部門 10100
ユーザー B	JobByDept	ロール 2	部門 10100 勤務地 UK1
ユーザー C		ロール 2	勤務地 UK1
ユーザー D		ロール 3	勤務地 USA
ユーザー E	MyJobs		部門 11000 勤務地 USA
ユーザー F		ロール 1	アクセス不可
ユーザー G	JobByDept	ロール 2 ロール 3	部門 10100 勤務地 UK1 勤務地 USA

データ権限セキュリティの導入

データ権限セキュリティを導入するには、セキュリティ インストール設定コンポーネント (SCRTY_INSTALL)、セキュリティ セット コンポーネント (SCRTY_SET_TBL)、およびセキュリティ アクセス タイプ コンポーネント (SCRTY_TYPE2_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、データ権限セキュリティを導入するいくつかの方法について説明します。

データ権限セキュリティの導入に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>セキュリティインストール設定ページ</u>	SCRTY_INSTALL	インストールする HCM セキュリティ設定を選択します。
<u>セキュリティセットテーブルページ</u>	SCRTY_SET_TBL	既存のセキュリティセットと、そこに関連付けられたセキュリティ アクセス タイプを確認します。
<u>セキュリティ更新グループページ</u>	SCRTY_SJT_UPD	SJT リフレッシュ プロセスによって更新可能なデータ グループを定義します。
<u>セキュリティタイプテーブルページ</u>	SCRTY_TYPE2_TBL	既存のセキュリティ アクセス タイプの使用可能設定や変更、または新規セキュリティ アクセス タイプの作成を行います。
<u>セキュリティタイプ SQL ページ</u>	SCRTY_TYPE2_SQL	新規セキュリティ タイプの SQL ステートメントを入力します。

将来の日付のセキュリティについて

セキュリティ インストール設定ページでは、勤務地ページ (JOB_DATA1) で使用すると SJT_PERSON に将来の日付の行を作成する SavePostChange PeopleCode をトリガする異動区分を選択することができます。

システムでは、通常は現在のトランザクション セキュリティ データを使用してデータが保護されます。現在の行のトランザクション セキュリティ データに対するデータ アクセス権のあるユーザーだけが、個人データにアクセスすることができます。

将来の日付のトランザクション セキュリティ データ行を含めた場合は、現在のデータと将来の日付の値の両方を使用してデータが保護されます。この場合、現在の行のトランザクション セキュリティ データに対するデータ アクセス権のあるユーザーと、将来の日付の行のトランザクション セキュリティ データに対するデータ アクセス権のあるユーザーに、個人データへのアクセスが許可されます。

次の操作を行った場合にのみ、SJT_PERSON に将来の日付のセキュリティ行が作成されます。

1. セキュリティ インストール設定ページで 1 つまたは複数の異動区分を選択します。
2. セキュリティ アクセス タイプで将来の日付の行を使用可能にします。

注: これで、タイプによって将来の日付のセキュリティの使用/不使用を選択することができます。

3. セキュリティ インストール設定ページで選択した異動区分の 1 つを使用して、JOB レコードを使用するコンポーネントに将来の日付の行を作成し保存します。

[将来の日付を持つセキュリティ行をトリガする異動] グリッドで転属という異動区分を選択した場合は、個人に対して異動区分が転属である将来の日付の職務データ行を作成すると、その新たな行のトランザ

クシオン データを使用して SJT_PERSON に行が追加されます。将来の日付のトランザクション セキュリティ データに対するデータ権限のあるユーザーは、この個人のデータにアクセスすることができます。

注: 将来の日付のセキュリティ行を使用するのは、コンポーネント セキュリティビューだけです。

たとえば、2005 年 1 月 1 日時点で Kenny Wong が部門 42000 で勤務しているとします。2006 年 7 月 1 日から、彼は部門 44000 に転属します。2006 年 4 月 15 日に、この異動を見越して、人事部門の管理者がこの異動に関する将来の日付の職務データ行を入力します。

Julie Sparrow は部門 42000 を管理し、Barry Deere は部門 44000 を管理しており、それぞれ自分が管理する部門に属する個人のデータに対する権限を持っています。

2006 年 4 月 15 日現在、Kenny Wong には以下の 2 つの職務データ行が設定されています。

有効日	異動区分	部門
2005 年 1 月 1 日	採用	42000
2006 年 7 月 1 日	転属	44000

データ権限は、そのセキュリティ アクセス タイプで将来の日付のセキュリティを使用しているか、またセキュリティ インストール設定ページで異動区分 "転属" を選択しているかどうかによって異なります。

- 選択していない場合

- 将来の日付の行に基づく新しい部門の情報はまだ有効になっていないため、SavePostChange PeopleCode ではこの情報による SJT_PERSON の更新は行われません。

注: 転属が有効になると、SJT の夜間更新プロセスにより SJT_PERSON が更新され、古い行に新しい行が上書きされます。

- Kenny のデータに、Julie は 2006 年 6 月 30 日まで アクセスすることができ、Barry は 2006 年 7 月 1 日からアクセスすることができます。

- 選択している場合

- SavePostChange PeopleCode により、将来の日付のトランザクション セキュリティ データを含む新しい行が SJT_PERSON に作成されます。システムでは、この行は将来の日付の行として識別されます。

注: 転属が有効になると、SJT の夜間更新プロセスにより SJT_PERSON が更新され、古い行が削除されて将来の日付の行が現在の行になります。

注: 将来の日付のセキュリティを使用しない検索ビューでは、データ権限の適用時に将来のセキュリティ行は使用されません。

- Kenny のデータに、Julie は 2006 年 6 月 30 日まで アクセスすることができ、Barry は 2006 年 4 月 15 日からアクセスすることができます。

特殊な職務のセキュリティ オプションについて

特殊な職務のセキュリティ オプションを使用しない場合は、ID と雇用記録番号の異なる組み合わせごとに 1 つのトランザクション セキュリティ データ行が作成されます。特殊な職務のセキュリティ オプションを使用した場合は、異なるセキュリティ キー値で SJT_PERSON に追加の行が作成され、権限リストでは通常アクセスできない行へのアクセスが可能になります。

たとえば、部門によってデータを保護し、本国での職務のデータレコードに対するアクセス権を持つユーザーには赴任先での職務のデータレコードの表示を許可するが、赴任先での職務のデータレコードに対するアクセス権を持つユーザーには本国での職務のデータレコードの表示を許可しない場合、本国での職務のデータレコード (雇用記録番号 0) が部門 25000 にあり、赴任先での職務のデータレコード (レコード番号 1) が部門 20000 にある個人に対して、以下の 3 つのデータ行が SJT_PERSON に作成されます (ここには、関連する列だけが示されています)。

キー 1	キー 2	従業員 ID	雇用記録	本国/赴任先	国際タイプ
SHARE	25000	K0G019	0	本国	
SHARE	25000	K0G019	1	赴任先	本国->赴任
SHARE	20000	K0G019	1	赴任先	

特殊な職務のセキュリティ オプションを許可する、本国->赴任がマークされた行が作成されます。赴任先のレコードに本国のレコードの部門値を含む行を作成することにより、本国のレコードに対するデータ権限のあるユーザーが、赴任先のレコードにアクセスできるようになります。

その他の特殊な職務のセキュリティ オプションについても同様に、追加の行が作成され、アクセスを可能にするキー値が挿入されます。

セキュリティ インストール設定ページ

セキュリティ インストール設定ページ (SCRTY_INSTALL) を使用して、導入環境に合わせて HCM セキュリティ設定を選択します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ インストール設定], [セキュリティ インストール設定]

画像: セキュリティ インストール設定ページ

次の例では、セキュリティ インストール設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Security Installation Settings

Special Job Security Versions

☒ Include Home/Host Access?
Home can see Host

☒ Incl Additional Assignments?
Both

☒ JPN Appointment

Actions that trigger Future Dated Security Rows Personalize | Find | 1-15 of 15

*Action	Action Description		
ADD	Add Contingent Worker	+	-
ADL	Additional Job	+	-
ASG	Assignment	+	-
HIR	Hire	+	-
JRC	Job Reclassification	+	-

特殊な職務情報のセキュリティ バージョン

ここで選択したオプションは、インストールで使用可能になりますが、使用するセキュリティ アクセス タイプに対して改めて選択するまでは有効になりません。このため、セキュリティ アクセス タイプによってセキュリティ バージョンの使用と不使用を選択することができます。

本国/赴任先のアクセスを含む

このオプションは、海外赴任の管理用です。赴任した従業員には、本国のレコードと赴任先のレコードがあります。以下のオプションから 1 つ選択します。

- **[本国から赴任先を表示]:** 本国のレコードを表示するデータ権限のある人に、従業員の赴任先のレコードの表示も許可する場合に選択します。赴任先のレコードに対するデータ権限だけがある人は、従業員の本国のレコードは表示できません。
- **[赴任先から本国を表示]:** 赴任先のレコードを表示するデータ権限のある人に、従業員の本国のレコードの表示も許可す

る場合に選択します。本国のレコードに対するデータ権限だけがある人は、赴任先のレコードは表示できません。

- *[両方]*: 本国のレコードに対するデータ権限のある人に赴任先のレコードの表示を許可し、赴任先のレコードに対するデータ権限のある人に本国のレコードの表示を許可する場合に選択します。

[本国/赴任先のアクセスを含む] をオンにしない場合は、通常のデータ権限ルールが適用されます。

Understanding Global Assignment TrackingPeopleSoft Human Resources Track Global Assignments を参照してください。

追加割当を含む

このオプションは、雇用レコードの追加コンポーネント (JOB_DATA_CONCUR) を使用して雇用レコードが追加された個人に対して使用します。

雇用レコードが追加された個人には、アクティブな職務データレコードを含む従業員または非従業員主雇用レコードと、追加職務データを含む追加雇用レコードがあります。以下のオプションから1つ選択します。

- *[追加レコードから主雇用レコードを表示]*: 追加職務データレコードを表示するデータ権限のあるユーザーに、個人の主雇用職務データレコードの表示も許可する場合に選択します。主雇用職務データレコードに対するデータ権限があるユーザーは、追加職務データレコードは表示できません。
- *[主雇用レコードから追加レコードを表示]*: 主雇用職務データレコードを表示するデータ権限のあるユーザーに、個人の追加職務データレコードの表示も許可する場合に選択します。追加職務データレコードに対するデータ権限があるユーザーは、主雇用職務データレコードは表示できません。
- *[両方]*: 主雇用職務データレコードを表示するデータ権限のあるユーザーに追加職務データレコードの表示も許可し、追加職務データレコードを表示するデータ権限のあるユーザーに主雇用職務データレコードの表示も許可する場合に選択します。
- *[なし]*: 全てのユーザーに追加職務データレコードの表示を許可する場合に選択します。

[追加割当を含む] をオンにしない場合は、通常のデータ権限ルールが適用されます。

Adding Additional AssignmentsPeopleSoft Human Resources
Administer Workforce を参照してください。

兼務セキュリティ JPN

(JPN) 個人の兼務レコードに対するアクセス権のあるユーザーに、その個人の主務レコードへのアクセスを許可する場合に選択します。

特定の従業員 ID の主務と呼ばれるレコード、すなわち職務データ コンポーネントからアクセスできる職務に、兼務が割り当てられます。

[兼務セキュリティ JPN] をオンにしない場合は、通常のデータ権限ルールが適用されます。

Setting Up Security for Tracking Additional
AppointmentsPeopleSoft Human Resources Administer
Workforce を参照してください。

将来の日付を持つセキュリティ行をトリガする異動

ここで選択した異動区分を職務データ コンポーネントの将来の日付の行で使用すると、JOB レコードを使用するコンポーネントで SavePostChange PeopleCode がトリガされて SJT_PERSON に将来の日付のセキュリティ行が作成されます。ここでリストされた異動以外では、将来の日付の行に対するセキュリティ行は作成されません。

将来の日付の行を作成するには、[セキュリティ タイプ テーブル] の [将来の日付を含む] チェック ボックスをオンにする必要があります。このため、セキュリティ アクセス タイプによって将来の日付のセキュリティの使用と不使用を選択することができます。

セキュリティ セット テーブル ページ

セキュリティ セット テーブル ページ (SCRTY_SET_TBL) を使用して、既存のセキュリティ セットと、そこに関連付けられたセキュリティ アクセス タイプを確認します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ セット], [セキュリティ セット テーブル]

画像: セキュリティ セット テーブル ページ

次の例では、セキュリティ セット テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Security Set TableSecurity Update Groups

Security SetFind | View AllFirst1 of 7Last

Security Set DEPT

Description Departments

Short Description Department

CommentControls access to Department data.

Object Owner ID HR Core Objects

Transaction Sec Join Table SJT_DEPT

SJT Tmp Table (for AE process) SJT_DEPT_TMP

SQID for Value Field List SEC_DEPT_FLDVAL
SETID, DEPTID, EFFDT

Security Access Types for this SetPersonalize | Find1-3 of 3

Security Access Type	Description	Enabled
021	Departments by Tree	☒
022	Departments - non Tree	☐
023	Departments by Setid	☐

オーナー ID

PeopleSoft オブジェクトのオーナー ID を持つセキュリティ セットは、システム データであり、このページで変更することはできません。提供されているセキュリティ セットのセキュリティ更新グループは変更可能です。

トランザクション セキュリティ結合テーブル

このセキュリティ セットのトランザクション データを保存するセキュリティ結合テーブルです。

注: セキュリティ セットを新規作成するには、セキュリティ セットを作成する前にアプリケーション デザイナでこのテーブルを作成しておく必要があります。
セキュリティ セットの新規作成には、システムの変更が必要になります。詳細については、My Oracle Support に掲載されているセキュリティに関するホワイト ペーパーを参照してください。

SJT 一時テーブル (AE プロセス用)

PeopleSoft アプリケーション エンジンで使用される一時レコードです。トランザクション セキュリティ結合テーブルをコピーしたも

ので、アプリケーション エンジン プロセス フィールドも含まれます。このテーブルでは、アプリケーション エンジン プロセスを使用してトランザクション セキュリティ結合フィールドが更新されます。

フィールドリストの SQL ID トランザクション セキュリティ結合テーブル内のフィールド (キーフィールドは含まれません) のリストです。

SQL 作成 このボタンをクリックすると、値フィールドリストの SQL と SQL ID が作成されます。

セキュリティ アクセス タイプ

このセキュリティ セットのセキュリティ アクセス タイプがリストされ、使用可能になっているものが示されます。使用可/不可の切り替えは、セキュリティ タイプ テーブル ページで行います。

「[セキュリティ タイプ テーブル ページ](#)」を参照してください。

セキュリティ更新グループ ページ

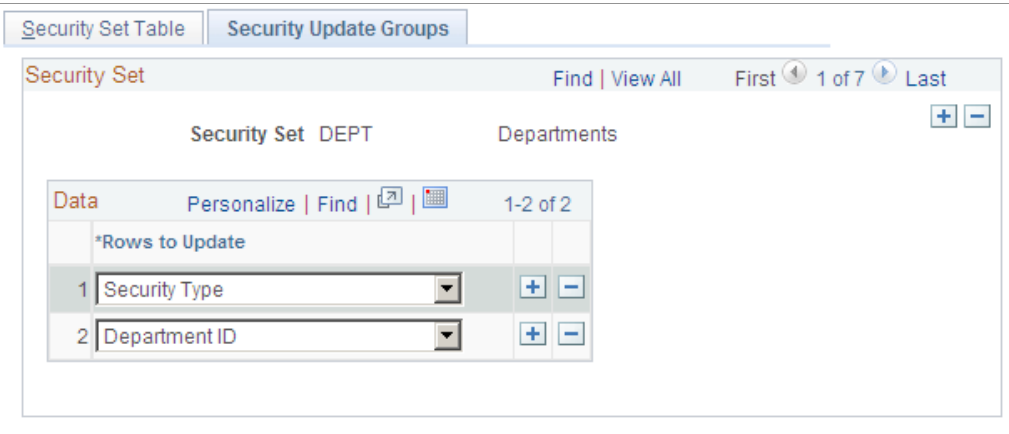
セキュリティ更新グループ ページ (SCRTY_SJT_UPD) を使用して、SJT リフレッシュ プロセスによって更新可能なデータ グループを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ セット], [セキュリティ更新グループ]

画像: セキュリティ更新グループ ページ

次の例では、セキュリティ更新グループ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



SJT リフレッシュ プロセスを使用したセキュリティ セットの更新時に使用可能にするリフレッシュ オプションを選択します。ここで選択したオプションが、SJT リフレッシュ ページでこのセキュリティ セットに対して使用可能になります。このためセキュリティ結合テーブルの一部を選択して更新することができます。

たとえば、リフレッシュ オプションに [関係者タイプ]、関係者タイプに外部の講師を選択することによって、外部の講師について全ての行をリフレッシュすることができます。

セキュリティ タイプ テーブル ページ

セキュリティ タイプ テーブル ページ (SCRTY_TYPE2_TBL) を使用して、既存のセキュリティ アクセス タイプの使用可能設定や変更、または新規セキュリティ アクセス タイプの作成を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ アクセス タイプ], [セキュリティ タイプ テーブル]

画像: セキュリティ タイプ テーブル ページ

次の例では、セキュリティ タイプ テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Security Type Table' page. It features a header with 'Security Type Table' and 'Security Type SQL' tabs. Below is a form titled 'Security Access Type'. The form contains several fields: 'Security Type' (002), 'Short Description' (Job Loc), 'Security Set' (PPLJOB), 'Transaction Label' (JOB LOCATION), 'Transaction Sec Join Table' (SJT_PERSON), 'Transaction Table' (JOB), 'Security Key 1' (BUSINESS_UNIT), 'Security Key 2' (LOCATION), and 'Security Key 3'. There are also checkboxes for 'Enabled', 'Include Future Dates', and 'Use Dept Sec Tree?'. A section titled 'Special Job Security Versions' includes two dropdown menus for 'Type of International Security' and 'Type of Assignment Security', and a checkbox for 'JPN Additional Appointment'.

1 つのセキュリティ セットで複数のセキュリティ アクセス タイプを使用可能にすることができ、また複数のアクセス タイプを使用して権限リストにデータ アクセス権を割り当てることができます。

注: 必要性の高いセキュリティ アクセス タイプはほとんど提供されているため、新たにタイプを作成する必要はありません。インストールに必要なタイプの使用可/不可を切り替えます。新しいセキュリティ タイプの作成方法については、My Oracle Support に掲載されているセキュリティに関するホワイト ペーパーを参照してください。

注: 使用可能なセキュリティ アクセス タイプおよび使用するオプションの数が多いほど、セキュリティ 結合テーブルに保存されるデータ行が多くなります。これはシステムのパフォーマンスに影響を与えます。データ権限の管理に必要なセキュリティ タイプとオプションだけを使用可能にすることをお勧めします。

セキュリティ タイプ

新規セキュリティ タイプには、自動的に番号が設定されます。

トランザクション ラベル	フィールド ラベルを入力します。このラベルは、このセキュリティ タイプがデータを収集するフィールドとして使用されるときにトランザクション ページに表示されます。 たとえば、職務のない関係者のデータへのアクセスを制御するために関係者タイプの他にもフィールドを使用する場合、ここで入力したラベルが関係者情報の追加ページおよび関係者情報の管理ページでセキュリティトランザクション値の検索条件に使用されます。
[セキュリティ セット] および [トランザクション セキュリティ結合テーブル]	データを保護するセキュリティ セットと、そのセキュリティ セットに関連付けられたセキュリティ結合テーブルです。 「セキュリティ セット テーブル ページ」を参照してください。
使用可	セキュリティ タイプを使用可能にする場合に、オンにします。
将来の日付を含む	セキュリティ結合テーブルでこのタイプの将来の日付のセキュリティ行を保存できるようにする場合に、オンにします。セキュリティ インストール設定ページで選択された異動に関する将来の日付の行が含まれるセキュリティ結合テーブルだけが更新されます。
部門セキュリティ ツリーを使用	このセキュリティ タイプで部門セキュリティ ツリーを使用する場合に、オンにします。 部門セキュリティ ツリーは部門に対してのみ作成でき、また部門セキュリティ ツリー ベースのデータ権限は行セキュリティ権限リストにのみ付与できます。
トランザクション テーブル	このタイプのセキュリティを制御するフィールドを保存するトランザクション テーブルです。
特殊な職務情報のセキュリティ バージョン	セキュリティ インストール設定ページで [特殊な職務情報のセキュリティ バージョン] のオプションをオンにする場合は、このセキュリティ アクセス タイプのオプションをオンにします。 「セキュリティ インストール設定ページ」を参照してください。
[セキュリティ キー 1]、[セキュリティ キー 1 のプロンプトレコード]、[セキュリティ キー 2]、[セキュリティ キー 2 のプロンプトレコード]、[セキュリティ キー 3] および [セキュリティ キー 3 のプロンプトレコード]	このタイプのセキュリティ データ フィールドを定義します。このフィールドは、トランザクション テーブル レコード上になければなりません。 プロンプトレコードは、権限リストに値を割り当てるときにプロンプト フィールド値のソースとなるレコードです。ここで一意の識別を行うために必要な全てのレコードとフィールドを選択する必要があります。

たとえば、勤務地 (キー 2) を選択するには、最初にビジネスユニット (キー 1) を選択する必要があります。BUSINESS_UNIT フィールドのプロンプトレコードは BUS_UNIT_TBL_HR、LOCATION フィールドのプロンプトレコードは LOCATION_TBL です。

トランザクション セキュリティ結合テーブルのリフレッシュ

以下の操作を行ったときには、必ずトランザクション セキュリティ結合テーブルをリフレッシュする必要があります。

- セキュリティ アクセス タイプの使用可/不可の切り替え
- 使用可能なセキュリティ アクセス タイプに将来の日付のセキュリティを含む/含まないの切り替え
- 使用可能なセキュリティ アクセス タイプに対する特殊な職務情報のセキュリティ バージョンの変更

「[トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

セキュリティ タイプ SQL ページ

セキュリティ タイプ SQL ページ (SCRTY_TYPE2_SQL) を使用して、新規セキュリティ タイプの SQL ステートメントを入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ アクセス タイプ], [セキュリティ タイプ SQL]

画像: セキュリティ タイプ SQL ページ (1/3)

次の例では、セキュリティ タイプ SQL ページのフィールドおよびコントロールを説明します (1/3)。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Security Type Table

Security Type SQL

Security Access Type 002

Job Location

Transaction Table JOB

SJT Table SJT_PERSON

Sec Key 1 Fld BUSINESS_UNIT

Sec Key 2 Fld LOCATION

Sec Key 3 Fld

SQL Statements

SQLID for Value Field List SEC_PPLCORE_FLDNM

Generate SQL

List of non-key fields in the Security Join Table for this Security Set. Usually the same for all Types in a Set.

,EMPLID , POI_TYPE , PER_ORG , EMPL_RCD , BUSINESS_UNIT , SETID_DEPT , DEPTID , SETID_LOCATION , LOCATION , COMPANY , REG_REGION , APPT_TYPE , HR_STATUS , EMPL_STATUS , OTHER_ID_JPN , REPORTS_TO , SUPERVISOR_ID , INSTITUTION , NATIONAL_ID , SETID_JOBCODE , JOBCODE , MAIN_APPT_NUM_JPN , ORG_INSTANCE_ERN , HOME_HOST_CLASS , PAY_SYSTEM_FLG , GP_PAYGROUP , PAYGROUP , MILITARY_SERVICE , MIL_RANK , MIL_WORN_RANK,EFFDT_NOKEY , EFFSEQ_NOKEY

画像: セキュリティ タイプ SQL ページ (2/3)

次の例では、セキュリティ タイプ SQL ページのフィールドおよびコントロールを説明します (2/3)。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

SQLID for Key Contents SEC_KEY_002_SEL

Generate SQL

The fields that will populate the SCRTY_KEY1, SCRTY_KEY2, and SCRTY_KEY3 in the Security Join Table. Should be the same as the prompt fields.

,BUSINESS_UNIT ,LOCATION ,'

SQLID for Field Contents SEC_PPLJOB_FLDVAL

Generate SQL

The select field list for the non-key fields in the Security Join Table. Usually the same as the SEC_SQL_FLDNM except where a correlation name is needed or where the values are not in the transaction table for this type. The proper blank, 0, or %datenuil value should be entered then.

, JOB.EMPLID , JOB.POI_TYPE , JOB.PER_ORG , JOB.EMPL_RCD , JOB.BUSINESS_UNIT , JOB.SETID_DEPT , JOB.DEPTID , JOB.SETID_LOCATION , JOB.LOCATION , JOB.COMPANY , JOB.REG_REGION , JOB.APPT_TYPE , JOB.HR_STATUS , JOB.EMPL_STATUS , JR.OTHER_ID_JPN , JOB.REPORTS_TO , JOB.SUPERVISOR_ID , '' , '' , JOB.SETID_JOBCODE , JOB.JOBCODE , JOB.MAIN_APPT_NUM_JPN , PA.ORG_INSTANCE_ERN , PA.HOME_HOST_CLASS , JOB.PAY_SYSTEM_FLG , JOB.GP_PAYGROUP , JOB.PAYGROUP , '' ; '' , JOB.EFFDT , JOB.EFFSEQ

SQLID for From Record SEC_PPLJOB_FROM

Generate SQL

The table where the data for this security Type comes from. Usually just the transaction record, but sometimes you may want to join in another table.

PS_JOB JOB , PS_JOB_JR JR , PS_PER_ORG_ASGN PA

画像: セキュリティ タイプ SQL ページ (3/3)

次の例では、セキュリティ タイプ SQL ページのフィールドおよびコントロールを説明します (3/3)。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The where clause for this security access type. If the transaction record is effective dated, then you will need to add an effective date join here. If no join is needed, enter 1=1.	<pre>PA.EMPLID = JOB.EMPLID AND PA.EMPL_RCD = JOB.EMPL_RCD AND JOB.EFFDT = (SELECT MAX(EFFDT) FROM PS_JOB JOB2 WHERE JOB.EMPLID = JOB2.EMPLID AND JOB.EMPL_RCD = JOB2.EMPL_RCD AND JOB2.EFFDT <= %CurrentDateIn) AND JOB.EFFSEQ = (SELECT MAX(EFFSEQ) FROM PS_JOB JOB3 WHERE JOB.EMPLID = JOB3.EMPLID AND JOB.EMPL_RCD = JOB3.EMPL_RCD AND JOB.EFFDT = JOB3.EFFDT) AND JR.EMPLID = JOB.EMPLID AND JR.EMPL_RCD = JOB.EMPL_RCD AND JR.EFFDT =</pre>
Where-Future: The where clause for this access type if the Future dated transactions are needed. If Include Future is not checked on this type, this SQL does not need to be entered.	SEC_PPLJOB_FUTWHERE <pre>PA.EMPLID = JOB.EMPLID AND PA.EMPL_RCD = JOB.EMPL_RCD AND JOB.EFFDT IN (SELECT EFFDT FROM PS_JOB JOB4 WHERE JOB4.EMPLID = JOB.EMPLID AND JOB4.EMPL_RCD = JOB.EMPL_RCD AND JOB4.EFFDT > % CurrentDateIn) AND JOB.EFFSEQ = (SELECT MAX(EFFSEQ) FROM PS_JOB JOB3 WHERE JOB.EMPLID = JOB3.EMPLID AND JOB.EMPL_RCD = JOB3.EMPL_RCD AND JOB.EFFDT = JOB3.EFFDT) AND JR.EMPLID = JOB.EMPLID AND JR.EMPL_RCD = JOB.EMPL_RCD AND JR.EFFDT = JOB.EFFDT AND JR.EFFSEQ = JOB.EFFSEQ</pre>

[Generate SQL](#)

アプリケーション エンジンでは、このページの SQL フラグメントを使用して、トランザクション セキュリティ 結合テーブルを更新する UPDATE および INSERT ステートメントが作成されます。

任意の SQLID を使用することができますが、[SQL 作成] ボタンをクリックすると、セキュリティ セットとタイプに基づいて一意の ID が作成されます。

警告 このページは、SQL 結合およびテーブルの相互関係を熟知しているユーザー以外は使用しないでください。

ツリー ベースのデータ権限の設定と割り当て

ツリー ベースのデータ権限を設定し使用するには、ツリー マネージャ コンポーネント (PSTREEMGR)、セキュリティ ツリー検証コンポーネント (RUNCTL_PER506)、部門ツリー セキュリティ コンポーネント (SCRITY_DATA)、および SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ コンポーネント (SCRITY_OPR_RC) を使用します。

次の各トピックでは、部門セキュリティ ツリーによるデータ権限セキュリティの概要、およびツリー ベースのデータ権限を管理する方法について説明します。

注: 行セキュリティ権限リストをユーザーに割り当てた後には、SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行する必要があります。

「[SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

ツリー ベース権限の設定と割り当てに使用するページ

ページ名	定義名	用途
ツリー マネージャ ページ	PSTREEMGR	部門セキュリティ ツリーを設定または修正します。 ツリーを設定または修正したときには、必ず SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行する必要があります。
<u>セキュリティ ツリー検証レポート ページ</u>	RUNCTL_PER506	部門コンポーネントに入力されたデータと、現在のセキュリティ ツリーに追加された部門の間の相違点出力されます。
<u>部門ツリー セキュリティ ページ</u>	SCRTY_TABL_DEPT	行セキュリティ権限リストにツリー ベースの部門データ アクセス権を付与します。
<u>SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ</u>	SCRTY_OPR_RC	セキュリティ ツリーの構築、修正時、または行セキュリティ権限リストの作成、修正時に、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行して、SJT_CLASS_ALL をユーザー セキュリティ データによって更新します。

部門セキュリティ ツリーによるデータ権限セキュリティについて

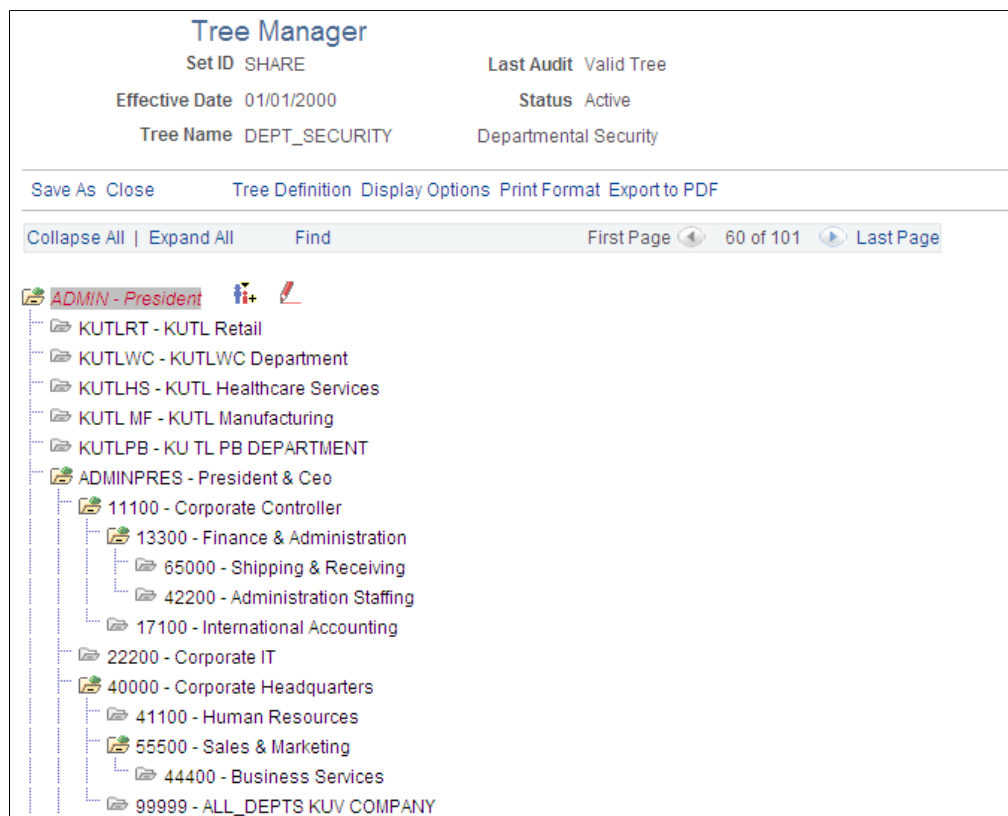
各セキュリティ セットには、ツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプが設定されています。ツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプでは部門セキュリティ ツリーを使用して部門の階層が設定され、ユーザーはこの階層を使用して簡単にデータを割り当てることができます。

PeopleSoft ツリー マネージャを使って、組織の部門セキュリティ階層を構築します。セキュリティ ツリーでは、データへのアクセスを許可、制限するためのグラフィック ツールが使用できます。セキュリティ ツリーの構成は、組織の階層を正確に反映させたものでなくてもかまいませんが、できる限り近いものにしてください。

行セキュリティ権限リストに部門グループへのアクセスを許可するには、その全ての部門が所属する部門へのアクセスを許可します。必要に応じて、個別の部門または部門グループへのアクセスを制限することができます。次の図は、セットID が SHARE の部門セキュリティ ツリーの例です。

画像: SHARE の部門セキュリティ ツリーの一部

次の例は、SHARE の部門セキュリティ ツリーの一部を示しています。



このセキュリティ ツリーを使用して、たとえば行セキュリティ権限リストに部門 13000 へのアクセス権を付与することによって、部門 13000 およびこの部門に所属する全ての部門が含まれ、この権限リストに 14 の財務部門に属する全ての個人へのアクセスを許可することができます。

また、分岐した構成単位の 1 つに対するアクセスを制限することもできます。たとえば、行セキュリティ権限リストにビジネス サービスを除く財務部門の全ての個人に対するアクセス権を付与する必要がある場合、部門 13000 へのアクセスを許可するが、部門 15000 へのアクセスは制限し、部門 13000、20000、22000、25000、27000、および 31000 へのアクセスは許可することができます。

注: ツリー ベース データ権限は、行セキュリティ権限リストにのみ付与することができます。

データ セキュリティおよびツリー マネージャを使って作業を始める前に、PeopleSoft HCM コントロール テーブルで人事関連のデータが定義されていることを確認してください。

警告 このセクションでは、PeopleSoft ツリー マネージャの概要を全て記載していません。そのため、セキュリティ ツリーの構築、修正の前には、『*PeopleTools: PeopleSoft Tree Manager*』でツリー マネージャの使用法の詳細を確認することをお勧めします。セキュリティは、非常に重要なシステム コンポーネントであるため、導入の前に PeopleSoft のセキュリティの全容とそのツールについて理解しておくことが重要です。

「[ツリー ベースのデータ権限の設定と割り当て](#)」を参照してください。

「[ロール ベース データ権限セキュリティの権限リストへの割り当て](#)」を参照してください。

『*PeopleTools: PeopleSoft Tree Manager*』を参照してください

セキュリティ ツリーと部門

部門セキュリティ ツリーを構築するには、PeopleSoft では会社レベルから部門レベルまで、組織における全ての構成単位を部門として定義します。部門データは部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) で作成、保存されます。このコンポーネントへは PeopleSoft ツリー マネージャまたは HCM 基本設定のメニューからアクセスできます。セキュリティ アクセスは作成した部門に基づいて割り当てられるため、組織内にある全単位を部門コンポーネントで定義して各単位に部門 ID を設定し、セキュリティ ツリーに追加できるようにしてください。

ツリーは、レベルおよびノードで構成されています。

- レベルとは、階層内のレベルを意味します。
- ノードは組織内の単位を表し、各レベルに追加されて階層内での位置を表します。

たとえば、ツリーの第 1 レベルを会社レベルとします。第 2 レベルは、地域レベルになります。第 1 レベルに追加されるノードは会社レベルのノードで、会社という部門であることを意味します。第 2 レベルに追加されるノードは地域レベルのノードで、事務所などの地域部門であることを意味します。組織内の最初のノードがルート ノードになります。このノードは、この階層における最上位のノードです。その他の全ノード (部門) はルート ノードに所属します。

データには、作成した階層に基づいてアクセス権を設定します。ある部門へのアクセスを許可すると、その部門に所属する各部門へのアクセスも許可したことになります。

注: セキュリティ ツリーには、非アクティブな部門も残しておく必要があります。そうしないと、非アクティブな部門に以前属していて、退職、雇用終了、異動した個人のデータにアクセスできなくなります。

「[部門の管理](#)」を参照してください。

セキュリティ ツリーと有効日

セキュリティ ツリーは、全て DEPT_SECURITY と呼ばれます。セキュリティ ツリーは、セット ID と有効日によって一意に識別されます。

将来の日付のツリーを構築して、レポート構造の変更を反映したり、新しいツリーを使用してアクセスを許可したりすることができます (また、場合によっては過去のツリーを使用することもできます)。

部門ツリー セキュリティ ページで権限リストにデータを割り当てるときに、ツリーを有効にする日付を選択します。部門ツリー セキュリティ ページの [セキュリティ プロファイルの定義] グリッドに行を追加し、セキュリティ ツリーのセットID を選択すると、[ツリー指定日] フィールドで選択された日付で有効なセキュリティ ツリーが参照されます。

たとえば、現在が 2005 年 4 月で、日付が 2006 年 1 月 1 日でセットID が SHARE の将来の日付のセキュリティ ツリーが作成されているとします。この新しいツリーを使用してデータ権限をテストしたいものとします。部門ツリー セキュリティ ページの [ツリー指定日] フィールドに、2006 年 1 月 1 日と入力します (またはそれより後の日付を入力します。この日付は、ツリーの正確な有効日である必要はありません)。
[セキュリティ プロファイルの定義] グリッドに行を追加し、セットID として SHARE を選択します。グリッド内の [ツリー有効日] フィールドに 2006/01/01 と表示され、将来の日付のツリーを使用して権限リストに権限が適用されます。

将来の日付のツリーが有効になっても、古いツリーを参照する権限リストのセキュリティ プロファイルは自動的に更新されません。たとえば、2006 年 1 月 1 日には、引き続き前の SHARE のツリーを使用して、これを参照していた全ての権限リストにデータ権限が適用されます。

新しいツリーを参照するように権限リストを更新するには、部門ツリー セキュリティ ページを開き、指定日に 2006 年 1 月 1 日と入力して [ツリー有効日のリフレッシュ] ボタンをクリックします。この権限リストによって参照される全てのツリーの有効日が更新され、2006 年 1 月 1 日の時点で有効なツリーの日付になります。

セキュリティ ツリーの構築と修正

セキュリティ ツリーの構築は、自動または手動で行うことができます。

ツリー マネージャ ページ (PSTREEMGR) を使用して、部門セキュリティ ツリーの設定または修正に使用します。

ツリーを設定または修正したときには、必ず SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行する必要があります。

ナビゲーション

[ツリー マネージャ], [ツリー マネージャ], [ツリー マネージャ]

セキュリティ ツリーの手動による構築

ツリーの手動による構築方法は、『*PeopleTools: PeopleSoft Tree Manager*』に説明されています。セキュリティ ツリーを作成したら、ツリー定義/プロパティ ページ (PSTREEDEFN) で以下のデータを入力します。

フィールド	説明
ツリー名	DEPT_SECURITYと入力します。
ストラクチャ ID	DEPARTMENTを選択します。PeopleSoft では、このストラクチャ ID が出荷時に設定されています。

フィールド	説明
説明	ツリーの説明となる名称を入力します。
セットID	ツリーに追加する部門のセットID を選択します。
有効日	このツリーが有効になる日付を入力します。この日以前に有効となっている部門のみを追加します。
ステータス	ツリーのステータスを選択します。
カテゴリ	ツリーのカテゴリを選択します。
レベルの適用	以下のオプションから 1 つ選択します。 階層に基づいて適用 レベルを構成する組織単位が 1 種類だけの場合は、このオプションを選択します。たとえば、会社レベルに所属するのは地域という単位だけ、地域に所属するのは部門という単位だけの場合などです。 各ノードに適用 ある組織の下位に複数種類の組織単位がある場合は、このオプションを選択します。たとえば、会社レベルに地域と部門という 2 種類の単位が所属する場合です。 適用しない セキュリティ構造が階層化されていないため、レベルにより各組織単位をグループ化する必要がない場合は、このオプションを選択します。
このツリーの全詳細値	空欄にしておきます。
詳細値の重複を許可	空欄にしておきます。

基本のツリー構造を作成したら、ノードを追加します。セキュリティ ツリーでは、各ノードが組織におけるビジネス単位を表します。部門コンポーネントでノードを定義し、組織内の各ビジネス単位に対応する部門を作成します。

セットID 内の部門ごとにノードを作成する必要があります。組織に部門を追加するたびに、ツリーにノードを追加することができます。

新規部門に追加される個人のデータ セキュリティを管理するために、将来の日付で新規部門を追加するには、将来の日付のセキュリティ ツリーを構築します。こうすることによって、新規部門が有効になる前に個人データを追加し、一方でその個人の現在のデータへのアクセスも制御することができます。

セキュリティ ツリーの自動構築

既存の組織構造を使って、セキュリティ ツリーを構築することができます。以下の SQR プロシージャを使って、既存階層をインポートしてセキュリティ ツリーを構築します。部門データを一時的な部門テーブルにインポートすると、そのデータを使ってセキュリティ ツリーが構築されます。

部門の階層を設定し、データ セキュリティ ツリーを自動構築するには、次の手順に従います。

1. 組織単位データをインポートします。

SQR やその他のバッチ機能など、PeopleSoft が提供するインポート ユーティリティを使って、組織単位データを一時テーブル R_PER507 にインポートします。この一時テーブルに部門データをロードする前に、組織に存在する全部門の階層構造を設定しておく必要があります。これには、R_PER507 一時テーブルの REPORTS_TO_DEPT フィールドを使用します。R_PER507 テーブルは PeopleSoft HCM に含まれています。部門テーブル (DEPT_TBL) に似ていますが、以下の列が追加で含まれています。

追加されている列	説明
SETID_RPDEPT	所定の部門の所属先部門のセットIDを指定します。部門テーブルの他のデータに加え、この列にもデータをロードする必要があります。
REPORTS_TO_DEPT	所定の部門の所属先部門を指定します。部門テーブルの他のデータに加え、この列にもデータをロードする必要があります。
ORGCODEFLAG	この部門が特定日に処理の対象となるかどうかを示します。この列には、部門データと REPORTS_TO_DEPT フィールドの値を基準に、値がロードされます。
ORGCODE	階層における部門の位置を設定します。この列には、部門データと REPORTS_TO_DEPT フィールドの値を基準に、値がロードされます。
TREE_LEVEL_NUM	一時作業列です。
PARENT_NODE_NUM	一時作業列です。
TREE_NODE_NUM	一時作業列です。
TREE_NODE_NUM_END	一時作業列です。

2. 所属階層を設定します。

PER507 を実行して、ツリーの所属階層を設定します。このユーティリティでは、ユーティリティの実行時に入力した日付の時点で部門がアクティブであるか非アクティブであるかどうかの判別され、その決定に従って R_PER507 テーブルの ORGFLAG 列にデータがロードされます。ユーティリティを実行すると、REPORTS_TO_DEPT フィールドの値に基づいて所属階層を反映した組織コードが作成され、そ

れに従って ORGCODE 列にデータがロードされます。部門階層は、ORGCODE の値を使って設定されます。

3. 部門のセキュリティ ツリーを構築します。

PER508 を実行して、部門セキュリティ ツリー (DEPT_SECURITY) を構築します。ツリーの有効日には、手順の 2 で処理された部門の有効日の中で最新の日付が使用されます。

注: 異なる時点でのセキュリティ構造や組織構造を反映した複数のツリーを設定する場合は、各ツリーに対し指定日をそれぞれ設定して手順の 2 を実行し、この手順を繰り返します。

4. 部門データを部門コンポーネントへ移動します。

PER509 を実行して、R_PER507 で設定した情報を部門テーブル (DEPT_TBL) へ移動します。このユーティリティを実行しないと、部門コンポーネントの表示、更新はできません。

5. セキュリティ ツリーに番号を振り直し、不足している番号を追加調整します。

PTUGAPTR.SQR を実行して、ツリーのノード番号を振り直し、不足している番号を追加調整します。

セキュリティ ツリーの修正

既存のツリーは、ノードまたはレベルのいずれかを変更して修正できます。通常、セキュリティ ツリーを修正するとツリー ノード番号が変更されるため、ツリー ノード番号を更新する必要があります。また、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行してデータ アクセス プロファイルとセキュリティ結合テーブルを更新する必要があります。

「[SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

セキュリティ ツリー番号調整

PeopleTools では、各ノードに番号が割り当てられており、ノード番号を調整するための連続した未使用の番号が保持されています。これは、セキュリティ ツリーのセクションに変更を加える際に使用されます。ノードを移動させると、移動させたノード (および移動させたノードの子ノード) の右側にあるノードの番号が自動的に付け替えられます。ツリーへの変更を保存すると、変更されたツリーの部分のみが保存されます。

ノード間の調整用未使用番号を更新するには、PTUGAPTR.SQR ユーティリティを実行します。未使用番号を更新するのは、以下の場合です。

- セキュリティ ツリー構造をロードする場合
- セキュリティ ツリーを修正する場合
- ツリーへの調整番号の挿入を指示するエラー メッセージが表示された場合

セキュリティ ツリー検証レポート ページ

セキュリティ ツリー検証レポート ページ (RUNCTL_PER506) を使用して、部門コンポーネントに入力されたデータと、現在のセキュリティ ツリーに追加された部門の間の相違点を出力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ ツリー検証レポート], [セキュリティ ツリー検証レポート]

セキュリティ ツリーを構築したら、SQR 検証 (PER506.SQR) を実行して、部門コンポーネントにはあってもセキュリティ ツリーにはない部門 ID、またはセキュリティ ツリーにはあっても部門コンポーネントにはない部門 ID を確認してください。新規部門のツリー ベース セキュリティは、セキュリティ ツリーに新規部門を追加してからでないと設定できません。この SQR 検証を使うと、システムに登録されている各部門をセキュリティ ツリーに確実に追加することができます。

部門ツリー セキュリティ ページ

部門ツリー セキュリティ ページ (SCRTY_TABL_DEPT) を使用して、行セキュリティ権限リストにツリーベースの部門データ アクセス権を付与します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [部門ツリー セキュリティ], [部門ツリー セキュリティ]

画像: 部門ツリー セキュリティ ページ

次の例では、部門ツリー セキュリティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Set ID	*Dept ID	Access Code	Effective Date of Tree		
AUS01	ALL DEPTS	Read/Write Acces	01/01/1980	+	-
BEL01	10200	Read/Write Acces	01/01/1980	+	-
BNCAN	B001	Read/Write Acces	01/01/1980	+	-
BNUSA	B001	Read/Write Acces	01/01/1996	+	-
CDN	00001	Read/Write Acces	01/01/1980	+	-
CHE01	10200	Read/Write Acces	01/01/2004	+	-
CHN	ALL_DEPTS	Read/Write Acces	01/01/2000	+	-
DEU01	10200	Read/Write Acces	01/01/2003	+	-
EBGEN	E000	Read/Write Acces	01/01/1980	+	-

ツリー有効日のリフレッシュ

[セキュリティ プロファイルの定義] グリッドでツリーのセットIDを選択すると、この日付の時点で有効なツリーが参照されます。将来の日付のツリーを参照する場合は、将来の日付を選択します。

たとえば、今日現在有効な部門セキュリティ ツリーを使用するには、このフィールドに今日の日付を入力します。

ツリー有効日のリフレッシュ

[セキュリティ プロファイルの定義] グリッドにリストされたツリーをリフレッシュして、[ツリー 指定日] フィールドの日付で有効なツリーにする場合にクリックします。

注: 行セキュリティ権限リストで確実に現在のツリーが使用されるようにするには、セットID に対するセキュリティ ツリーの新たなバージョンを作成するたびに、適切な指定日を入力してこのボタンをクリックする必要があります。

セキュリティ プロファイルの定義

[セットID] および [部門 ID]

アクセスを許可するツリーのセットID と部門 ID を入力します。行セキュリティ権限リストには、(特別に指定していない限り) セキュリティ ツリーでこの部門 ID に所属している各部門 ID へのアクセスが認められます。そのため、各部門 ID を個別に選択する必要はありません。

アクセス コード

この部門 ID のデータに対して行セキュリティ権限リストが持つアクセス権の種類を指定します。

アクセスを許可した部門 ID に所属する 1 つまたは複数の部門に対するアクセスを制限するには、行を挿入し、制限する部門の ID を選択してからアクセスコード [アクセス不可] を選択します。

アクセスを許可する部門 ID に所属する部門 ID に対するアクセスを制限する場合にのみ、明示的にアクセス制限を与える必要があります。それ以外の場合は、このページで部門またはその部門が所属する部門にアクセスが許可されていない限り、行セキュリティ権限リストはその部門にアクセスすることができません。

ツリー有効日

このセットID のツリーの有効日が表示されます。ツリーの有効日が正しいことを確認してください。ツリーの新しいバージョンを作成しても、有効日は自動的に更新されません。

ツリーを更新するには、[ツリー有効日のリフレッシュ] フィールドにツリーの有効日を入力して [ツリー有効日のリフレッシュ] ボタンをクリックします。

SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ

SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ (SCRTY_OPR_RC) を使用して、セキュリティツリーの構築、修正時、または行セキュリティ権限リストの作成、修正時に、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行し、SJT_CLASS_ALL をユーザー セキュリティ データによって更新します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ], [SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ]

部門ツリー セキュリティ コンポーネントでツリーの追加、修正、または行セキュリティ権限リストの追加、修正を行ったときには、必ず SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行して SJT_CLASS_ALL を新たなユーザー セキュリティ データによって更新する必要があります。

このプロセスを実行する前に部門ツリー セキュリティ ページで新規または修正後のツリーにアクセスすることができます。このため、ツリーを構築してから新規または既存の権限リストでそのツリーを使用する場合は、適切な行のリフレッシュを行っている限り、このプロセスは 1 回実行するだけで済みます。

「[SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

ロール ベース データ権限セキュリティの権限リストへの割り当て

データ権限セキュリティをロール ベース権限リストに割り当てるには、権限リスト別セキュリティ コンポーネント (SCRTY_CLASS) を使用します。

このトピックでは、権限リストにフィールド値によるデータ権限セキュリティを割り当てる方法を説明します。

ロール ベース データ権限セキュリティの権限リストへの割り当てに使用するページ

ページ名	定義名	用途
権限リスト別セキュリティ ページ	SCRTY_CLASS	ロール ベース権限リストに、フィールド値によるデータ権限セキュリティを付与します。

権限リスト別セキュリティ ページ

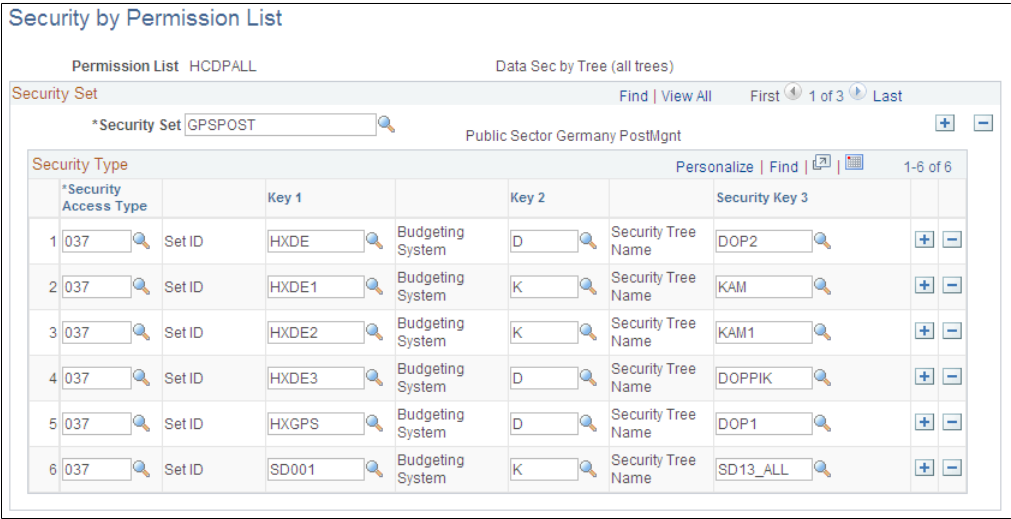
権限リスト別セキュリティ ページ (SCRTY_CLASS) を使用して、ロール ベース権限リストに、フィールド値によるデータ権限セキュリティを付与します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [権限リスト別セキュリティ], [権限リスト別セキュリティ]

画像: 権限リスト別セキュリティ ページ

次の例では、権限リスト別セキュリティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



セキュリティ セット

この権限リストによってデータを保護するセキュリティ セットを選択します。複数のセキュリティ セットのデータを保護するには、セキュリティ セットの行を追加します。

セキュリティ タイプ

アクセス タイプ

セキュリティ アクセス タイプを選択します。このセキュリティ セットで使用可能に設定されたタイプだけがリストされます。

1 つの権限リストに対して複数のアクセス タイプを使用してデータ権限を設定することができます。

注: このページでは、ツリー ベース セキュリティ タイプは使用できません。

注: セキュリティ アクセス タイプ 031 (採用チーム) は、アクセスを許可する人材募集の割り当てに使用されます。

[キー 1]、[キー 2] および [セキュリティ キー 3]

この権限リストにアクセスを許可するトランザクション セキュリティ値を選択します。トランザクション値を選択するまでに、1 つ、時には 2 つのキー プロンプトの選択が必要になる場合があります。

たとえば、この権限リストに、勤務地が UK1 である職務のある個人に対するデータ アクセス権を付与するには、[セキュリティ セット] で PPLJOB、[セキュリティ アクセス タイプ] で勤務地を選択します。勤務地を選択するには、最初にビジネス ユニットを選択する必要があります。このため、[キー 1] フィールドでビジネス ユニット GBR01 を選択し、[キー 2] で勤務地 UK1 を選択します。

この他にも勤務地を選択するには、行を追加します。

複数のアクセス タイプを使用するには、行を追加して異なるアクセス タイプを選択し、そのタイプのセキュリティ キーのフィールド値を選択します。

注: セキュリティ タイプは累積されず、OR 関係で結ばれます。

セキュリティ結合テーブルのリフレッシュ

セキュリティ結合テーブルをリフレッシュするには、夜間の SJT リフレッシュ処理コンポーネント (SCRTY_SJTDLY_RC)、トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ コンポーネント (SCRTY_SJT_RC)、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ コンポーネント (SCRTY_OPR_RC) および SJT_OPR_CLS のリフレッシュ コンポーネント (SCRTY_OPRCLS_RC) を使用します。

次の各トピックでは、セキュリティのリフレッシュ プロセスを使用するタイミングと実行する方法について説明します。

セキュリティのリフレッシュに使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>夜間の SJT リフレッシュ処理ページ</u>	SCRTY_SJTDLY_RC	トランザクション セキュリティ結合テーブルをリフレッシュして、自動的にテーブルにロードされなかったデータ変更を取得します。深夜 0 時直後に実行して、有効な日付の変更を取得します。
<u>トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ</u>	SCRTY_SJT_RC	トランザクション ベースのセキュリティ結合テーブルの一部または全部のデータをリフレッシュして、自動的にテーブルにロードされなかったデータ変更を取得します。
<u>SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ</u>	SCRTY_OPR_RC	SJT_CLASS_ALL テーブルの一部または全部のデータをリフレッシュして、自動的にテーブルにロードされなかった権限リストに対する変更を取得します。
<u>SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ</u> (セキュリティ オペレータ クラス)	SCRTY_OPRCLS_RC	SJT_OPR_CLS の一部または全部のデータをリフレッシュして、ユーザー プロファイルと権限リストの現在の関係を取得します。

リフレッシュ プロセスを使用するタイミングについて

PeopleSoft HCM の行レベル セキュリティには、4 つのリフレッシュ プロセスが用意されています。リフレッシュ プロセスを使用してセキュリティ データを最新の状態に保ち、最新の情報を使用してデータ権限が適用されるようにします。

重要 リフレッシュ プロセスは、プロセス定義に含まれる各行を順番にリフレッシュするように設計されています。したがって、行数が多い場合、プロセスの実行に非常に長い時間がかかります。パフォーマンスを向上させるため、ラン コントロール ページの [全ての行をリフレッシュ] チェック ボックスをオフにすることと、より詳細な定義のラン コントロールを作成して同時に実行することをお勧めします。(たとえば、1 つのラン コントロールで全ての権限リストをリフレッシュするのではなく、権限リストごとにラン コントロールを作成して同時に実行します)。ラン コントロールは保存可能であり、必要に応じて何度でも使用できます。

SJT の夜間リフレッシュ

トランザクション セキュリティ結合テーブルをリフレッシュする場合に、SJT の夜間リフレッシュ プロセスを夜間に実行します。夜間リフレッシュ プロセスでは、以下の処理が行われます。

- トランザクション セキュリティ結合テーブルを、SavePostChange PeopleCode をスキップしたトランザクション セキュリティ データの変更によって更新します。

手動入力またはコンポーネント インターフェイスをトリガするマス更新により、トランザクション コンポーネントで変更の実行と保存を行うと、自動的にトランザクション セキュリティ結合テーブルが更新されます。PeopleCode をスキップする場合は、リフレッシュ プロセスを使用して変更を取り込む必要があります。

- セキュリティ結合テーブルに含まれる将来の日付のセキュリティ行が有効になった (現在のカレンダー日とトランザクションレコードの有効日が一致した) ときに、このセキュリティ結合テーブルを更新します。これは、将来の日付の行が有効になっても SavePostChange PeopleCode はトリガされないためです。
- 将来の日付のセキュリティ行を使用している場合は、古いセキュリティ行を削除し、将来のフラグの付いた行を有効な行にします。

使用している全てのセキュリティ セットに対して、このプロセスを夜間に実行します。

「[夜間の SJT リフレッシュ処理ページ](#)」を参照してください。

SJT リフレッシュ

トランザクション セキュリティ結合テーブルをリフレッシュする場合に、SJT のリフレッシュ プロセスを実行します。

以下の処理を行うときには、このプロセスを使用してテーブルをリフレッシュする必要があります。

- セキュリティ アクセス タイプの使用可/不可の切り替え

セキュリティ アクセス タイプを使用可能にしたときには、そのタイプのトランザクション セキュリティ データをセキュリティ結合テーブルにロードする必要があります。

セキュリティ アクセス タイプを使用不可にしたときには、セキュリティ結合テーブルからそのトランザクション セキュリティ データをクリアするため、このプロセスを実行する必要があります。実行しなくてもセキュリティが損なわれることはありませんが、不要な行を削除することでパフォーマンスを向上させることができます。

- コンポーネント インターフェイスをバイパスするプロセスを使用したトランザクション コンポーネントの更新

SJT の夜間リフレッシュ プロセスでもこのデータは取り込まれますが、スケジュールされた実行を待たず、直ちにテーブルをリフレッシュすることもできます。

このプロセスは、全てのセキュリティ セットに対して一括で、個別に、または小さなデータ グループごとに実行することができます。

「[トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

行セキュリティのリフレッシュ

SJT_CLASS_ALL をリフレッシュするには、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行します。

以下の処理を行うときには、このプロセスを使用して SJT_CLASS_ALL をリフレッシュする必要があります。

- セキュリティ アクセス タイプの修正。

この修正には、将来の日付のセキュリティ行を使用する選択、または職務データ セキュリティ オプションの変更が含まれます。

- 部門セキュリティ ツリーの構築または修正。
- 部門ツリー セキュリティ コンポーネントでの行セキュリティ権限リストの作成または修正。

この修正には、データ権限の追加または削除、およびツリーの有効日のリフレッシュが含まれます。

「[SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

SJT_OPR_CLS のリフレッシュ

SJT_OPR_CLS をリフレッシュするには、SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行します。

ユーザー プロファイルとデータ権限を含む権限リストとの関係を作成または変更するときには、必ず SJT_OPR_CLS をリフレッシュする必要があります。以下の処理を行う場合に、このプロセスを実行します。

- データ権限のあるユーザー プロファイルのコピー
- "ユーザー プロファイル - 一般" ページでの、データ権限がある行セキュリティ権限リストのユーザーへの追加またはこのリストの削除
- データ権限のある権限リストが割り当てられたロールのユーザーへの追加またはこのロールの削除

- ユーザーに割り当てられるロールへのデータ権限のある権限リストの追加またはこのリストの削除

注: 部門ツリー セキュリティ コンポーネントおよび権限リスト別セキュリティ コンポーネントでは、SavePostChange PeopleCode によって、いずれかのコンポーネントに初めて権限リストが追加されたときに SJT_OPR_CLS が更新されます。最初に [行セキュリティ] フィールドまたはロールを使用してユーザーに権限リストを追加してからこれを部門ツリー セキュリティ ページまたは権限リスト別セキュリティ ページに追加する場合は、このプロセスの実行は不要です。

USER_PROFILE メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Refresh_SJT_OPR_CLS、および ROLE_MAINT メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Role_Refresh_SJT_OPR_CLS を有効にして、SJT_OPR_CLS を自動更新することもできます。

不要なパブリッシュを避けるために、システムの出荷時にはこれらのメッセージは有効に設定されていません。それらのメッセージを使用するには、次の手順に従います。

1. USERMAINT.GBL SavePostChange PeopleCode 内の以下の PeopleCode を非コメント化します。

```
/*
If %Mode="A" Then
    %MSG.CopyRowset (&USERPROFILECHANGE);
    %MSG.Publish();
Else
    %MSG.CopyRowsetDelta (&USERPROFILECHANGE);
    %MSG.Publish();
End-If,*/
```

2. PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して、次の手順に従い USER_PROFILE メッセージと ROLE_MAINT メッセージをアクティブに設定します。
 - a. 各メッセージを開きます。
 - b. [Properties] アイコンをクリックします。
 - c. [User] タブを選択します。
 - d. [アクティブ] チェック ボックスをオンにします。
3. PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用して、USER_PROFILE メッセージと ROLE_MAINT メッセージのハンドラ/アプリケーション クラスをアクティブに設定します。
 - a. 各メッセージを開きます。
 - b. メッセージ サブスクリプションで、HCM_Refresh_SJT_OPR_CLS (USER_PROFILE 用) または HCM_ROLE_REFRESH_SJT_OPR_CLS (ROLE_MAINT 用) を選択して右クリックし、メッセージ サブスクリプション プロパティを選択します。
 - c. [アクティブ] チェック ボックスをオンにします。
4. キューが実行中であることを確認します。

- a. [PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], インテグレーションのモニター, [メッセージ モニター] を選択します。
 - b. メッセージ モニターのチャンネルのステータス ページ (AMM_CHNL_STATUS) で、USER_PROFILE チャンネルと ROLE_MAINT チャンネルが表示されるまでスクロールします。
 - c. 両方のチャンネルのステータスが "実行中" であることを確認します。
5. 次の手順を実行して、USER_PROFILE メッセージおよび ROLE_MAINT メッセージを HCM ノード上でアクティブに設定します。
 - a. [PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード定義] の順に選択します。
 - b. ノード定義 - トランザクション ページ (IB_NODETRXLIST) で、各メッセージのステータスを "アクティブ" に変更します。

「[HCM ローカル インテグレーションの使い方](#)」を参照してください。

「[SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

アクション別のリフレッシュ プロセス

次の表は、HCM セキュリティを導入する際に実行する必要があるリフレッシュ プロセスを示しています。

アクション	SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ	SJT_Refresh
セキュリティ インストール 設定ページで、導入設定を変更する。	実行	実行
セキュリティ アクセス タイプを使用可能に設定する。		実行
セキュリティ アクセス タイプを使用不可に設定する。	実行	実行
使用可能であるセキュリティ アクセス タイプの設定内容を修正する (たとえば、[将来の日付を含む] チェック ボックスをオンまたはオフにするなど)。	実行	実行

次の表は、セキュリティ ツリーの使用时、および行セキュリティ権限リストの作成時および修正時に実行する必要のあるリフレッシュ プロセスを示しています。

アクション	SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ
部門セキュリティ ツリーを作成する。	
既存のツリーに別の有効日を設定して新しいバージョンのツリーを作成する。 注: この時点では SJT_CLASS_ALL をリフレッシュする必要はありません。新規のツリーを参照するようにデータ権限リストを更新する必要があります。その後、SJT_CLASS_PROCESS を実行します。	
有効日を変更せずに、部門セキュリティ ツリーを修正する。	実行
部門ツリー セキュリティ ページに新規の権限リストを追加して、そのリストにデータ権限を追加する。	実行
部門ツリー セキュリティ ページで、権限リストのデータ権限を修正する。	実行
既存のツリーに別の有効日を設定して新しいバージョンのツリーを作成したため、部門ツリー セキュリティ ページでツリーの有効日をリフレッシュする。	実行

次の表は、行セキュリティ権限リストの作成時および修正時に実行する必要があるリフレッシュ プロセスを示しています。

アクション	SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ
権限リスト別セキュリティ ページに新規の権限リストを追加して、そのリストにデータ権限を追加する。 注: コンポーネントを保存すると、SavePostChange PeopleCode を使用して SJT_CLASS_ALL が自動的に更新されます。	
権限リスト別セキュリティ ページで、権限リストのデータ権限を修正する。 注: コンポーネントを保存すると、SavePostChange PeopleCode を使用して SJT_CLASS_ALL が自動的に更新されます。	

次の表は、ユーザーのデータ権限の追加、削除、修正時に実行する必要があるリフレッシュ プロセスを示しています。

注: 次の表の内容は、SJT_OPR_CLS を自動更新する USER_PROFILE メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Refresh_SJT_OPR_CLS、および ROLE_MAINT メッセージとローカル サブスクリプション HCM_Role_Refresh_SJT_OPR_CLS を有効に設定していない場合を前提としています。システムの出荷時には、これらのメッセージは有効にされていません。

これらのメッセージが有効な場合、SJT_OPR_CLS は自動的に更新されるため、以下に示すアクションに従ってリフレッシュ プロセスを実行する必要はありません。

アクション	SJT_OPR_CLS のリフレッシュ
ユーザー プロファイル – 一般ページで、ユーザー プロファイルに行セキュリティ権限リストを追加する。	実行
ユーザー プロファイル – 一般ページで、ユーザー プロファイルから行セキュリティ権限リストを削除する。	実行
ユーザー プロファイル – 一般ページで、ユーザー プロファイルの行セキュリティ権限リストを変更する。	実行
データ権限が設定された権限リストを持つ既存のプロファイルをコピーして、新規のユーザー プロファイルを作成する (ユーザー プロファイルのコピー ページ、ユーザー作成プロセス、または行セキュリティ - 部門管理者プロセスのいずれかを使用して作成する)。	実行
ロール ベースの権限リスト (セキュリティ権限リスト ページでデータ権限が設定された権限リスト) を、ユーザーに既に割り当てられているロールに追加する。	実行
ロール ベースの権限リスト (セキュリティ権限リスト ページでデータ権限が設定された権限リスト) を、ユーザーに既に割り当てられているロールから削除する。	実行
1 つ以上のロール ベース権限リスト (セキュリティ権限リスト ページでデータ権限が設定された権限リスト) が設定されたロールをユーザー プロファイルに追加する。	実行
1 つ以上のロール ベース権限リスト (セキュリティ権限リスト ページでデータ権限が設定された権限リスト) が設定されたロールをユーザー プロファイルから削除する。	実行
ロールを使用してユーザーに既に割り当てられている権限リストを、権限リスト別セキュリティ ページに追加して、その権限リストにデータ権限を設定する。	

アクション	SJT_OPR_CLS のリフレッシュ
ユーザー プロファイル – 一般ページでユーザーに既に割り当てられている権限リストを、部門ツリー セキュリティ ページに追加して、その権限リストにデータ権限を設定する。	

次の表は、以下のトランザクション セキュリティ データの追加、削除、修正時に実行する必要のあるリフレッシュ プロセスを示しています。

- 個人の職務データレコード
- 個人の関係者レコード
- 部門
- 人材募集

アクション	SJT リフレッシュプロセス
既存のトランザクション レコードを追加、削除または修正する。	
将来の日付のトランザクション レコードを作成する。	
コンポーネント インターフェイスをトリガする一括更新プロセスを使用して、複数のトランザクション レコードを作成、削除または修正する。	
コンポーネント インターフェイスをトリガしない (またはトランザクション レコードのコンポーネント インターフェイスをバイパスする) 一括更新プロセスを使用して、複数のトランザクション レコードを作成、削除または修正する。	実行

夜間の SJT リフレッシュ処理ページ

夜間の SJT リフレッシュ処理ページ (SCRTY_SJTDLY_RC) を使用して、トランザクション セキュリティ結合テーブルをリフレッシュし、自動的にテーブルにロードされなかったデータ変更を取得します。

深夜 0 時直後に実行して、有効な日付の変更を取得します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [夜間の SJT リフレッシュ処理], [夜間の SJT リフレッシュ処理]

画像: 夜間の SJT リフレッシュ処理ページ

次の例では、夜間の SJT リフレッシュ処理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このプロセスが定期スケジュールを使用して毎晩深夜 0 時直後に実行されるように設定し、[指定日] フィールドは空白のままにします。このプロセスを深夜 0 時直後に実行することによって、有効になったばかりの、将来の日付であった行が取得されます。

トランザクション セキュリティ結合テーブル

更新するトランザクション セキュリティ結合テーブルを選択します。

前日の変更内容を含む

前日の変更内容を含める場合にオンにします。前日にトランザクション レコードに加えられた変更がないかシステム内が検索され、あればその変更によってトランザクション セキュリティ結合テーブルが更新されます。これによって、コンポーネントまたはコンポーネント インターフェイスの外でデータに加えられた変更を確実に取得することができます。

このチェック ボックスをオンにしない場合は、指定日に行われた変更だけを使用してトランザクション セキュリティ結合テーブルが更新されます。

注: 確実に最新の情報によってトランザクション セキュリティ結合テーブルが更新されるように、このプロセスを実行するときには毎回このチェック ボックスをオンにすることをお勧めします。このチェック ボックスをオフにするのは、パフォーマンスの問題が発生しており、かつ通常のユーザー インターフェイスまたはコンポーネント インターフェイスの外でレコードが更新されていないことが確実な場合だけにしてください。

指定日

このラン コントロール ID を定期的に行うようにスケジュールする場合は、[指定日] は空白のままにします。実行のたびに、現在のシステム日付が使用されます。

トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ

トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ (SCRITY_SJT_RC) を使用して、トランザクション ベースのセキュリティ結合テーブルの一部または全部のデータをリフレッシュし、自動的にテーブルにロードされなかったデータ変更を取得します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ], [トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ]

画像: トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページ

次の例では、トランザクション SJT テーブルのリフレッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Refresh Trans. SJT tables

Run Control ID sjttrans

Report Manager

Process Monitor

Run

Refresh the Transaction Security Join Tables.

This needs to be done when mass changes have been made to the data the Transaction table is based on - and the change was not done through a CI. It can be run at anytime for all of the Tables or for one.

Row Level Security Refresh

*Refresh All Sets?

One Security Set

Security Set

People with Jobs

SJT Table

SJT_PERSON

☐ Refresh All Rows?

Rows to Update

Security Type

Rows to Update

Populate Security Types

Select All

Deselect All

Data

Personalize | Find | 1-2 of 2

	Select	Security Access Type	Description		
1	☒	001	Job Department Tree	+	-
2	☒	004	Job Company	+	-

リフレッシュするセット

全てのセキュリティセットをリフレッシュする場合は、[全てのセキュリティセット] を選択します。

1 つのセキュリティセットをリフレッシュする場合は、[特定のセキュリティセット] を選択します。

- [セキュリティ セット] および [SJT テーブル]

1 つのセキュリティ セットをリフレッシュする場合は、そのセットを選択します。そのセキュリティ セットに関連付けられたトランザクション セキュリティ結合テーブルが表示されます。
- 全ての行をリフレッシュ

セキュリティ結合テーブル内の全ての行をリフレッシュする場合はオンにします。
- 更新する行

セキュリティ結合テーブル内の選択した行をリフレッシュする場合はオフにします。[更新する行] グリッドが表示されます。
- 更新する行

更新する行を選択します。ここで選択可能な行は、セキュリティ セット コンポーネントでセキュリティ セットに対して選択された行です。

更新する行

[更新する行] グリッドに表示されるフィールドとボタンは、[更新する行] フィールドで更新する行として選択した行によって異なります。更新するデータ行を入力します。

たとえば、[更新する行] フィールドで *[セキュリティ タイプ]* を選択した場合は、トランザクション データをリフレッシュするセキュリティ タイプを選択します。

SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ

SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ (SCRTY_OPR_RC) を使用して、SJT_CLASS_ALL テーブルの一部または全部のデータをリフレッシュし、自動的にテーブルにロードされなかった権限リストに対する変更を取得します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ], [SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ]

画像: SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ

次の例では、SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Refresh SJT_CLASS_ALL

Run Control ID sjclassall Report Manager Process Monitor Run

Refresh the SJT_CLASS_ALL Security Join Table.
This is done when a Security Type is modified or added, when a Security Tree is modified or added, or when a ROWSECCLASS is modified or added. The process can be run for all data, for all Trees, or for a group of trees, types, or permission lists.
All Tree Permission Lists are updated based on the refresh date Except when run for specific tree.

Row Level Security Refresh

☐ Refresh All Rows?

Refresh Set

Permission List

Refresh Tree Effcts by

Set of Security to Refresh

Data

Personalize | Find | | First 1 of 1 Last

Permission List	Permission List Description
1 HCCPCO1200	Administer eCompensation

行レベル セキュリティのリフレッシュ

全ての行をリフレッシュ

SJT_CLASS_ALL の全ての行をリフレッシュする場合はオンにします。

選択した行をリフレッシュする場合はオフにします。[リフレッシュするセット] フィールドが表示されます。

リフレッシュするセット

リフレッシュする行のセットを選択します。[リフレッシュするセキュリティ セット] グリッドが表示されます。

以下から選択してリフレッシュすることができます。

- 全ツリー
- 権限リスト
- セキュリティ タイプ
- 選択したツリー

ツリー有効日のリフレッシュ

テーブルをリフレッシュする日付を選択します。プロセスによって、この日の時点で有効なセキュリティ データによってテーブルがリフレッシュされます。

リフレッシュするセキュリティ セット

リフレッシュする値を選択します。

たとえば、行セキュリティ権限リストを修正した場合は、テーブル全体をリフレッシュせずに、[リフレッシュするセット] フィールドで *[権限リスト]* を選択してから、ここで修正した権限リストを選択します。

特定のツリーを修正した場合は、[リフレッシュするセット] フィールドで *[選択したツリー]* を選択し、そのツリーのリフレッシュするセットIDを選択します。

SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ

SJT_OPR_CLS のリフレッシュ (セキュリティ オペレータ クラス) ページ (SCRTY_OPRCLS_RC) を使用して、SJT_OPR_CLS の一部または全部のデータをリフレッシュし、ユーザー プロファイルと権限リストの現在の関係を取得します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [SJT_OPR_CLS のリフレッシュ], [SJT_OPR_CLS のリフレッシュ]

画像: SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ

次の例では、SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Refresh SJT_OPR_CLS

Run Control ID 1 Report Manager Process Monitor **Run**

Refresh the SJT_OPR_CLS Security Join Table.
This is done when an Operator or a Security Class is added to or deleted from a Security Role. The process can be run for all data, for a set of Operators or a set of CLASSIDs.

Row Level Security Refresh

☐ Refresh All Rows?

Set of Security to Refresh: Classid

Group box

Data		Personalize	Find	1 of 1
Class Id	Description			
HCDPALL				

SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスでは、システム日付で SJT_OPR_CLS がリフレッシュされます。

全ての行をリフレッシュ

SJT_OPR_CLS の全ての行をリフレッシュする場合はオンにします。

選択した行をリフレッシュする場合はオフにします。[リフレッシュするセキュリティ セット] フィールドが表示されます。

リフレッシュするセキュリティ セット

リフレッシュする行のセットを選択します。

以下から選択してリフレッシュすることができます。

- クラス ID

ユーザーに関連付けられた行セキュリティまたはロールベースの権限リストの ID を選択して、テーブルをリフレッシュする場合に選択します。

- ユーザー ID

選択したユーザー ID およびその ID に割り当てられた権限リストによってテーブルをリフレッシュする場合に選択します。

データ権限セキュリティの照会

データ権限セキュリティを照会するには、セキュリティ データの照会コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、データ権限セキュリティの照会について説明します。

データ権限セキュリティの照会に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>検索ビューの検索ページ</u>	SCRTY_CLASS_DISP	特定のコンポーネントで実際に使用されているビューの SQL テキストを照会します。[ビュー名] フィールドに照会するビューの名前を入力します。SQL オブジェクト ID を指定して、そのビューで使用されている SQL オブジェクトの定義を確認することができます。
<u>セキュリティデータの表示ページ</u>	SCRTY_TRANS_DISP	選択したセキュリティ セットおよびアクセス タイプのセキュリティ データを表示します。選択したタイプを使用するユーザーセキュリティ データ、およびそのタイプによって保護されるトランザクション データを表示することができます。
<u>ユーザーセキュリティデータ ページ</u>	SCRTY_OPR_DISP	ユーザーのセキュリティ データ (割り当てられたロールと権限リストを含む) の照会と確認を行います。
<u>SJT_PERSON 検索ページ</u>	SCRTY_SJT_PERSON	個人のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその個人に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。
<u>SJT_PERSON_USF 検索ページ</u>	SCRTY_SJT_PER_USF	(USF) 個人のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその個人に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。
<u>SJT_DEPT 検索ページ</u>	SCRTY_SJT_DEPT	部門のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその部門に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。

ページ名	定義名	用途
<u>HRS_SJT_JO 検索ページ</u>	SCRTY_SJT_RSOPN	人材募集のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその人材募集に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。

データ権限の照会について

セキュリティ データの照会コンポーネントでは、設定したアクセス権の内容について疑問が生じた場合に、データ権限の設定をさまざまな面から迅速かつ簡単に照会することができます。このコンポーネントは 7 つのページで構成され、それぞれが異なる面から HCM データ権限の照会を行います。

ページ	説明
検索ビューの検索	コンポーネントで使用されているセキュリティ検索ビューに関する詳細を確認するときに使用します。検索ビューにはさまざまな種類があり、同じコンポーネントでもメニューによって異なるビューを使用している場合があります。 セキュリティビューのテキストによって、コンポーネントのデータがどのセキュリティセットに含まれるか、また特別な選択条件があるかを確認することができます。 検索ビューの検索を使用するには、以下の情報が必要です。 - コンポーネント名 - マーケット - メニュー名 - ユーザーが使用したアクセス モード (追加か、更新か) - ユーザーがレコードを追加しようとしていた場合は、追加検索ビュー ([追加検索] フィールドに表示されます) を照会します。 - ユーザーがレコードを更新または確認しようとしていた場合は、[検索レコード名] または [上書き検索レコード] フィールドに表示される検索ビューを照会します。

ページ	説明
セキュリティ データの表示	選択したセキュリティ セットおよびセキュリティ アクセス タイプのセキュリティ データを確認する場合に使用します。ユーザー ID、権限リスト、またはセキュリティ キーの値を選択することによって、あるいはこれら 3 つを組み合わせることによって、照会の対象を絞り込むことができます。 権限リストのアクセス権と、パラメータによって保護されるトランザクション データの両方を確認することができます。 たとえば、セキュリティ セット PPLJOB およびセキュリティ アクセス タイプ 001 (部門 11000) で権限リスト MyJobs に割り当てられたデータ権限を確認することができます。あるいは、セキュリティ セット PPLJOB およびセキュリティ アクセス タイプ 002 (112 職務のある個人) で権限リスト MyJobs がアクセス可能なトランザクション データを確認することができます。 複数のアクセス タイプのアクセス権の一覧をコンパイルするには、グリッド内のデータを Microsoft Excel にダウンロードします。
ユーザー セキュリティ データ	ユーザーのデータ権限プロファイル (ロール、ロール ベース権限リスト、および行セキュリティ権限リストを含む) と、関連付けられたデータ権限を確認します。 データ権限セキュリティを含むロールとロール ベース権限リストだけが照会されます。
- SJT_PERSON 検索 - SJT_DEPT 検索 [SJT_PERSON_USF 検索] (日本未対応機能) - HRS_SJT_JO 検索	トランザクション データに対するアクセス権を確認するときに使用します。以下の内容を確認することができます。 - トランザクション レコードを保護するデータ - 選択したレコードに対するデータアクセス権を与えられた権限リスト - 選択した権限リストが割り当てられたユーザー

検索ビューの検索ページ

検索ビューの検索ページ (SCRTY_CLASS_DISP) を使用して、特定のコンポーネントで実際に使用されているビューの SQL テキストを照会します。

[ビュー名] フィールドに照会するビューの名前を入力します。SQL オブジェクト ID を指定して、そのビューで使用されている SQL オブジェクトの定義を確認することができます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [検索ビューの検索]

画像: 検索ビューの検索ページ

次の例では、検索ビューの検索ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

セキュリティ検索ビューで使用されているビューおよび SQL テキストを照会するには、以下の情報を入力して検索する検索ビューを指定します。

- コンポーネント名
- マーケット
- メニュー名

検索レコード名

指定したコンポーネントに更新または表示モードでアクセスしたときに使用されるデフォルト検索レコードが表示されます。

注: メニューレベルでコンポーネントに上書き検索レコードを割り当てることができます。コンポーネントで上書き検索レコードが使用されている場合は、[上書き検索レコード] にこれとは異なる検索レコードが表示されるので、そちらを検索してください。

追加検索

指定したコンポーネントに追加モードでアクセスしたときに使用される検索レコードが表示されます。

上書き検索レコード	指定したコンポーネントに更新または表示モードでアクセスしたときに使用される上書き検索レコードが表示されます。
[ビュー名] および [ビュー テキスト]	検索レコード ビューのテキストを確認する場合は、そのビューを [ビュー名] フィールドに入力します。Tab キーを押して [ビュー名] フィールドから出ると、ビュー テキストが表示されます。
[SQL オブジェクト ID] および [SQL テキスト]	ビューで使用される SQL オブジェクト内の SQL テキストを確認する場合は、その SQL オブジェクトの ID を [SQL オブジェクト ID] フィールドに入力します。Tab キーを押して [SQL オブジェクト ID] フィールドから出ると、SQL テキストが表示されます。

注: SQL オブジェクトは、共通の SQL を保存するために使用されます。

たとえば、[人事・労務管理] メニューの個人情報コンポーネントに更新モードでアクセスした場合のセキュリティ検索ビューは、PERALL_SEC_SRCH です。この検索ビューでは、セキュリティセット PPLJOB および PPLPOI と、トランザクション セキュリティ結合テーブル SJT_PERSON が使用されます。このビュー テキストには、APPT_TYPE (任務タイプ) が 1 の場合は行を返さないという特別な選択条件が含まれています。

この情報を使用して、セキュリティ データをより詳細に確認することができます。たとえば、セキュリティ セット PPLPOI ではどのデータが保護されているか、あるいはこのコンポーネントでユーザーがアクセスしようとしているレコードの任務タイプの値は 1 であり、そのためレコードにアクセスできないのかなどです。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』を参照してください。

セキュリティ データの表示ページ

セキュリティ データの表示ページ (SCRTY_TRANS_DISP) を使用して、選択したセキュリティ セットおよびアクセス タイプのセキュリティ データを表示します。

選択したタイプを使用するユーザー セキュリティ データ、およびそのタイプによって保護されるトランザクション データを表示することができます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [セキュリティ データの表示]

画像: セキュリティ データの表示 (1/3)

次の例では、セキュリティ データの表示 (1/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Find Search View

Display Security Data

User Security Data

Find in SJT_PERSON

Find in SJT_DEPT

Find in SJT_PERSON_USF

Use this page to display the Security Definitional data and the transactional data accessed through those definitions.
You must enter a Security Set and Type. The other selection criteria are optional and can be combined as needed.

Enter Search Values

*Security Set

People with Jobs

PPLJOB

Transaction Sec Join Table

SJT_PERSON

*Security Access Type

Job Department Tree

001

Clear All Entries

User ID

ID/Name

Row Security

Permission List

SETID_DEPT

DEPTID

Security Key 1

SHARE

Security Key 2

25000

Security Key 3

画像: セキュリティ データの表示 (2/3)

次の例では、セキュリティ データの表示 (2/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Show Security Definitions

Clear the Grid

Show SQL

Security Definition Data - SJT_CLASS_ALL							Personalize Find 1-8 of 8	
	Select	Permission List	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Tree		
1	☐	HCDPALL	SHARE	25000		☒	+	-
2	☐	HCDPCAN	SHARE	25000		☒	+	-
3	☐	HCDPFED	SHARE	25000		☒	+	-
4	☐	HCDPMEX	SHARE	25000		☒	+	-
5	☐	HCDPMYS	SHARE	25000		☒	+	-
6	☐	HCDPPB	SHARE	25000		☒	+	-
7	☐	HCDPTLEXT	SHARE	25000		☒	+	-
8	☐	HCDPUSA	SHARE	25000		☒	+	-

画像: セキュリティ データの表示 (3/3)

次の例では、セキュリティ データの表示 (3/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

▼ View the Transaction Data

Show Transaction Data

Clear the Grid

Security Data - SJT_PERSON

Personalize | Find | 1-36 of 36

Key 1	Key 2	Key 3	Empl ID	Empl Record	Name	Home/Host	Intl Type	Future?	Addl Appt
1 SHARE	25000		K0G017	0	Edward Jackson	Home		☐	☐
2 SHARE	25000		K0G018	0	Josephine Bonds	Home		☐	☐
3 SHARE	25000		K0G019	0	Janet Braxton	Home		☐	☐
4 SHARE	25000		K0G020	0	Jennifer Miller	Home		☐	☐
5 SHARE	25000		K0W005	0	Laura Jones	Home		☐	☐
6 SHARE	25000		K0W045	0	John April	Home		☐	☐
7 SHARE	25000		K0W307	0	Paulina Blonde	Home		☐	☐
8 SHARE	25000		K0W335	0	Peg Roberts	Home		☐	☐
9 SHARE	25000		K0W345	0	Al Verdi	Home		☐	☐
10 SHARE	25000		K0W347	0	Justin Palin	Home		☐	☐
11 SHARE	25000		K0W348	0	Bruce McNeil	Home		☐	☐
12 SHARE	25000		KU0087	0	Wilma Lopez	Home		☐	☐
13 SHARE	25000		K0G017	0	Edward Jackson	Home		☐	☐
14 SHARE	25000		K0G018	0	Josephine Bonds	Home		☐	☐
15 SHARE	25000		K0G019	0	Janet Braxton	Home		☐	☐

検索値フィールドをクリアするには、[全ての表示データをクリア] ボタンをクリックします。

検索値の入力

[セキュリティ セット]、[トランザクション セキュリティ結合テーブル] および [セキュリティ アクセス タイプ]

セキュリティ データを確認するセキュリティ セットとアクセス タイプを選択します。そのセキュリティ セットで使用されるトランザクション セキュリティ結合テーブルが表示されます。

注: 複数のセキュリティ アクセス タイプまたは以下の複数の追加パラメータに対するデータ権限セキュリティ データを照会するには、[セキュリティ定義を表示] および [トランザクション データを表示] グリッドの結果を Microsoft Excel にダウンロードして、検索を実行するたびにここに結果を追加します。

選択したセキュリティ セットまたはセキュリティ アクセス タイプの中で検索値を絞り込むには、以下のフィールドに 1 つまたは複数の値を入力します。

[ユーザー ID] および [ID/氏名]

ユーザーのデータ権限セキュリティ データを確認する場合は、ユーザー ID を選択します。選択したプロフィールに割り当てられている個人の ID と氏名が表示されます。

行セキュリティ

行セキュリティ権限リストのデータ権限セキュリティ データを確認する場合は、権限リストを選択します。

ツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプを選択し、ユーザー ID を入力すると、そのユーザー ID に関連付けられた行セキュリティ権限リストが自動的に入力されます。

このフィールドは、ツリー ベースのセキュリティ アクセス タイプを選択した場合にのみ使用することができます。

[セキュリティ キー 1]、[セキュリティ キー 2] および [セキュリティ キー 3] 選択したセキュリティ キーのデータ権限セキュリティ データを確認する場合は、ここで値を選択します。たとえば、部門 10000 のセキュリティ データを確認するには、[セキュリティ キー 1] で部門セットID SHARE を指定し、[セキュリティ キー 2] で部門 10000 を指定します。

[セキュリティ定義を表示] グループ ボックス内の [SQL を表示] グループ ボックスおよび [トランザクション データを表示] グループ ボックスを展開すると、SJT_CLASS_ALL テーブルの照会に使用される SQL と、この照会に対応するトランザクション セキュリティ結合テーブルが表示されます。

「[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)」を参照してください。

セキュリティ定義を表示

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、検索条件に合致するユーザー セキュリティ データが表示されます。

グリッドには、権限リストと、その権限リストがアクセス可能なセキュリティ キーの値が表示されます。

ツリー 行セキュリティ (ツリー ベースの) 権限リストの場合は、自動的にこのチェック ボックスがオンになります。

トランザクション データを表示

[トランザクション データを表示] ボタンをクリックすると、選択したセキュリティ セットのトランザクション セキュリティ結合テーブルに保存されたトランザクション データが表示されます。グリッドに表示される行は、照会するセキュリティ セットによって異なります。

[セキュリティ キー 1] または [キー 1]、[セキュリティ キー 2] または [キー 2]、および [セキュリティ キー 3] または [キー 3] このデータ行を保護するために使用されているトランザクション セキュリティ データ (および必要なキー値) が表示されます。

[セットID]、[部門]、[有効日] および [名 称] 部門のトランザクション データ行の場合は、データが保護されるセットIDと部門が表示されます。

人材募集 ID 採用管理ソリューションの人材募集の行の場合は、データが保護される人材募集の ID が表示されます。

[従業員 ID]、[雇用レコード] および [名前] 個人のトランザクション データ行の場合は、データが保護される個人の ID、雇用レコード番号 (該当する場合)、および名前が表示されます。

一意の従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせが複数ある個人の場合は、複数のデータ行が表示されます。

本国/赴任先	このフィールドは、海外赴任の場合に使用され、そのトランザクション行が本国または赴任先のどちらの職務データレコードのもんかが示されます。海外赴任の職務データレコードの場合のみ "赴任先" と表示されます。 「セキュリティインストール設定ページ」を参照してください。
国際タイプ	海外赴任の職務データレコードに対して特殊なセキュリティオプションを使用している場合は、このフィールドに、この行が特殊な職務のセキュリティを使用可能にするために作成されたものかどうか示されます。 「特殊な職務のセキュリティオプションについて」を参照してください。
将来の日付	このフィールドには、その行が将来の日付のトランザクション行かどうか示されます。 「将来の日付のセキュリティについて」を参照してください。
兼務	(JPN) この行が兼務のトランザクション行であるかどうか示されます。 「セキュリティインストール設定ページ」を参照してください。
[WIP ステータス]、[退職]、[異動区分コード] および [ステータス タイプ]	(USF) その職務データ行に関する追加情報が表示されます。これらの値は、データの保護には使用されません。

ユーザー セキュリティ データ ページ

ユーザー セキュリティ データ ページ (SCRTY_OPR_DISP) を使用して、ユーザーのセキュリティ データ (割り当てられたロールと権限リストを含む) の照会と確認を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティデータの照会], [ユーザー セキュリティデータ]

画像: ユーザー セキュリティ データ ページ (1/2)

次の例では、ユーザー セキュリティ データ ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Find Search View

Display Security Data

User Security Data

Find in SJT_PERSON_USF

Find in SJT_PERSON_USF

Find in SJT_PERSON_USF

Find in SJT_PERSON_USF

User ID

HQ0AMEXC01

Clear All Entries

ID/Name

KU0007

Betty Locherty

Row Security

HCDPALL

Data Sec by Tree (all trees)

Show Security Definitions

User's Data Security Roles and Classes - SCRTY_OPR_ROLE

Personalize | Find | 1 of 1

Role Name	Description	Permission List	Permission List Description
1 Security: People without Jobs	Access to People without Jobs	HCDPALLPOI	Access to People w/out Jobs

User's Data Security Definitions by Role Class - SJT_CLASS_ALL

Personalize | Find | 1-5 of 5

Permission List	Security Access Type	Short Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3
1 HCDPALLPOI	009		00000		
2 HCDPALLPOI	009		00007		
3 HCDPALLPOI	009		00008		
4 HCDPALLPOI	009		00009		
5 HCDPALLPOI	009		00010		

画像: ユーザー セキュリティ データ ページ (2/2)

次の例では、ユーザー セキュリティ データ ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

User's Data Security Definitions by ROWSECCLASS - SJT_CLASS_ALL					Personalize Find  	1-1149 of 1149
	Permission List	Security Access Type	Short Description	Security Key 1	Security Key 3	Security Key 2
1	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		10000
2	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		11000
3	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		12000
4	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		13000
5	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		14000
6	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		15000
7	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		21500
8	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		25000
9	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		27000
10	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		50000
11	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		53000
12	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		54000
13	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		55000
14	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		56000
15	HCDPALL	001	Job Dept	AUS01		ALL DEPTS

ユーザー ID	データ アクセス権を照会するユーザーの ID を選択します。

そのユーザーの氏名と行セキュリティ権限リストが表示されます。

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、グリッドに値が表示されます。

ユーザー セキュリティ データのロールとクラス - SCRTY_OPR_ROLE

ユーザーに割り当てられたロールと、そのロールに割り当てられたデータ権限のある権限リストが表示されます。

注: SCRTY_OPR_ROLE テーブルには、データ権限のある権限リストが割り当てられたロールだけが保存されます。データ権限のないロールは、グリッドに表示されません。

ロール クラス別ユーザー セキュリティ データ定義 - SJT_CLASS_ALL

このユーザーのロールに関連付けられたロール ベース権限リストのデータ権限が表示されます。

ROWSECCLASS 別ユーザー セキュリティ データ定義 - SJT_CLASS_ALL

このユーザーに関連付けられた行セキュリティ権限リストの権限が表示されます。

関連リンク

[セキュリティデータ](#)

SJT_PERSON 検索ページ

SJT_PERSON 検索ページ (SCRTY_SJT_PERSON) または SJT_PERSON_USF 検索ページ (SCRTY_SJT_PER_USF) を使用して、個人のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその個人に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [SJT_PERSON 検索]
- [HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [SJT_PERSON_USF 検索]

画像: SJT_PERSON 検索ページ (1/2)

次の例では、SJT_PERSON 検索ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Select	Empl ID	Empl Record	POI Type	POI Type	Security Type	Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3
☐	Z89002		0		001	Job Department Tree	ZEBEN	ZD00000002	
☐	Z89002		0		004	Job Company	ZEB		
☒	Z89002		0	External Instructor	006	POI Business Unit	00008	ZBU00	
☐	Z89002		0	External Instructor	008	POI Institution	00008	PSUNV	

画像: SJT_PERSON 検索ページ (2/2)

次の例では、SJT_PERSON 検索ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Select	Security Set	Security Type	Permission List	Permission List Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Tree
☐								

Permission List	User ID	Empl ID	Name	RowSecClass Flag	Role Name
				Role Class	

注: SJT_PERSON_USF 検索ページには、関係者を検索するためのオプションは表示されません。

トランザクション セキュリティ データを確認する個人の従業員 ID を選択します。1 つの職務データレコードだけを検索する場合は、雇用レコード番号を入力します。特定の関係者タイプだけを検索する場合は、そのタイプを選択します。

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、[セキュリティ データ - SJT_PERSON] グリッドに、この個人のレコードを保護するトランザクション セキュリティ データが表示されます。

セキュリティ データ - SJT_PERSON

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、[セキュリティ データ - SJT_PERSON] グリッドに値が表示されます。

入力した検索条件に合致する SJT_PERSON の行がリストされます。セキュリティ キーは [セキュリティ キー データ] タブで確認できます。その行が将来の日付の行か、本国/赴任先情報や兼務情報へのアクセスを許可するために作成された行か、などの特殊な職務情報セキュリティ オプション データを確認するには、[特殊職務フラグ] タブにアクセスします。

表示された 1 つまたは複数の行に対するデータ アクセス権のある権限リストを確認するには、その行の [選択] をオンにして [権限リストを表示] ボタンをクリックします。

権限リスト データ

[権限リストを表示] ボタンをクリックすると、このグリッドに値が表示されます。

選択したトランザクション行にアクセス可能な権限リストが、セキュリティ セットおよびセキュリティ アクセス タイプごとに表示されます。

表示された 1 つまたは複数の権限リストに割り当てられたユーザーを確認するには、その行の [選択] をオンにして [ユーザーを表示] ボタンをクリックします。

ユーザー データ

[ユーザーを表示] ボタンをクリックすると、このグリッドに値が表示されます。

選択した権限リストに割り当てられたユーザーが表示され、各ユーザーにその権限リストが行セキュリティまたはロール ベース (ロール クラス) のどちらの権限リストとして割り当てられているか、またロール ベースの権限リストである場合はユーザー プロファイルでどのロールが割り当てられているかが示されます。

SJT_DEPT 検索ページ

SJT_DEPT 検索ページ (SCRTY_SJT_DEPT) を使用して、部門のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその部門に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [SJT_DEPT 検索]

画像: SJT_DEPT 検索ページ (1/2)

次の例では、SJT_DEPT 検索ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Find Search View | Display Security Data | User Security Data | Find in SJT_PERSON | Find in SJT_DEPT | **D**

Enter Search Values

Set ID

Department

Show Security Definitions

Security Data - SJT_DEPT

Personalize | Find |

Select	Set ID	Department	Description	Security Access Type	Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Include Future Dates	Effective Date
1	☒	SHARE	11000	Information Systems	021	Departments by Tree	SHARE	11000		02/03/2009

画像: SJT_DEPT 検索ページ (2/2)

次の例では、SJT_DEPT 検索ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

▼ Permission List Data

Show Permissions Lists

Security Definition - SJT_CLASS_ALL

Personalize | Find |

Select	Security Set	Security Access Type	Permission List	Permission List Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Tree
1	☐	PPLJOB	001	HCDPALL	Data Sec by Tree (all trees)	SHARE	11000	☒
2	☐	PPLJOB	001	HCDPCAN	Data Sec by Tree - Canada	SHARE	11000	☒
3	☐	PPLJOB	001	HCDPFED	Data Sec by Tree - Federal	SHARE	11000	☒
4	☐	PPLJOB	001	HCDPMEX	Data Sec by Tree - Mexico	SHARE	11000	☒
5	☒	PPLJOB	001	HCDPMYS	Data Sec by Tree - Malaysia	SHARE	11000	☒
6	☐	PPLJOB	001	HCDPPB	HCDPPB: Data Sec by Tree -	SHARE	11000	☒
7	☐	PPLJOB	001	HCDPTLXT	[System] Data Perm - TL Ext	SHARE	11000	☒
8	☐	PPLJOB	001	HCDPUSA	Data Sec by Tree - USA	SHARE	11000	☒

▼ Operator Data

Show Users

User's Data Security Roles and Classes - SCRTY_OPR_ROLE

Personalize | Find |

Permission List	User ID	Empl ID	Name	RowSecClass Flag	Role Name
1 HCDPMYS	HCRMYS	KM0020	Philip Lim	RowSecclass	
2 HCDPMYS	HCRMYS_KM0001	KM0001	Lee Choo	RowSecclass	
3 HCDPMYS	HCRMYS_KM0008	KM0008	Lee Chin	RowSecclass	

トランザクション セキュリティ データを確認する部門のセットID と部門 ID を選択します。

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、[セキュリティ データ - SJT_DEPT] グリッドに、この部門のレコードを保護するトランザクション セキュリティ データが表示されます。

HRS_SJT_JO 検索ページ

HRS_SJT_JO 検索ページ (SCRTY_SJT_RSOPN) を使用して、人材募集のデータを保護するために使用されるトランザクション データ、およびその人材募集に対するアクセスが許可された権限リストとユーザーを確認します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ データの照会], [HRS_SJT_JO 検索]

画像: HRS_SJT_JO 検索ページ (1/2)

次の例では、HRS_SJT_JO 検索ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

User Security DataFind in SJT_PERSONFind in SJT_DEPTFind in SJT_PERSON_USFFind in HRS_SJT_JO

Enter Search Values

Job Opening ID900003Clear All Entries

Show Security Definitions

Security Data - HRS_SJT_JO

PersonalizeFind1-5 of 5

	Select	Job Opening ID	Security Access Type	Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Empl ID
1	☐	900003	010	RS Company	NF			
2	☐	900003	011	RS Business Unit	NFSBU			
3	☒	900003	012	RS Dept Id	NFEDS	NF005		
4	☐	900003	013	RS Location	NFSBU	NFNATIONAL		
5	☐	900003	031	Recruiting Team	L00001			L00001

画像: HRS_SJT_JO 検索ページ (2/2)

次の例では、HRS_SJT_JO 検索ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Permission List Data

Show Permissions Lists

Security Definition - SJT_CLASS_ALL

PersonalizeFind1 of 1

	Select	Security Set	Security Access Type	Permission List	Permission List Description	Security Key 1	Security Key 2	Security Key 3	Tree
1	☐	PPLJOB	001	HCDPFED	Data Sec by Tree - Federal	NFEDS	NF005		☒

Operator Data

Show Users

User's Data Security Roles and Classes - SCRTY_OPR_ROLE

PersonalizeFind1 of 1

	Permission List	User ID	Empl ID	Name	RowSecClass Flag	Role Name
1						

トランザクション セキュリティ データを確認する人材募集の ID を選択します。

[セキュリティ定義を表示] ボタンをクリックすると、[セキュリティ データ - HRS_SJT_JO] グリッドに、この人材募集のレコードを保護するトランザクション セキュリティ データが表示されます。

管理者用データ権限セキュリティの設定

管理者用データ権限セキュリティを設定するには、管理者ユーザーとセキュリティの作成コンポーネント (RUN_PER510) を使用します。

次の各トピックでは、管理者のデータ権限の概要および管理者用データ権限の設定方法について説明します。

管理者用行セキュリティ プロセスに使用するページ

ページ名	定義名	用途
管理者ユーザーとセキュリティの作成 ページ	RUNCTL_PER510	管理者用行セキュリティ権限リストの設定および更新を行います。

管理者のデータ権限について

部門管理者に適切なデータ アクセス権を与えるには、管理者用行セキュリティの設定プロセスを使用します。このプロセスでは、以下の処理が行われます。

- ユーザー プロファイルのない新規管理者の場合は、ユーザー プロファイルを作成します。
- 部門管理者ごとに行セキュリティ権限リストを作成するか既存の権限リストを更新し、各管理者が担当する部門のデータにアクセスする権限を与えます。
- (たとえば管理者でなくなったなど) 古くなったユーザーの行セキュリティ権限リストを削除します。

部門プロフィール ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) の [管理者 ID] の値を使用して、部門の管理者が決定されます。管理者には、[管理者 ID] フィールドにその管理者の ID がリストされている全ての部門に対するアクセス権が与えられます。

部門ごとに 1 人の管理者しかリストされないため、その他の管理者のプロファイルは手動で更新する必要があります。これには、最初の管理者に対して自動的に作成される行セキュリティ権限リストを、それ以外の管理者のプロファイルに割り当てます。このリストは管理者用行セキュリティの設定プロセスを実行するたびに削除されることに注意してください。

注: 管理者用行セキュリティの設定プロセスでは、管理者の従業員 ID がユーザー ID として使用され、行セキュリティ権限リストには HCDP_DEPT_MGR_[管理者の従業員 ID] という命名規則が適用されます。

はじめに

管理者用行セキュリティの設定プロセスでは、ツリー ベースのセキュリティを使用して管理者用行セキュリティ権限リストが作成されます。このプロセスを実行する前に、部門セキュリティ ツリーを設定しておく必要があります。

部門セキュリティ ツリーの階層ルールが権限リストにも適用されます。セキュリティ ツリーにおいて管理者が担当する部門に所属する部門がある場合、この管理者は自分が担当する部門に加えて、そこに所属する部門の個人データにもアクセスすることができます。

ユーザー セキュリティ結合テーブルのリフレッシュ

管理者用行セキュリティの設定プロセスでは、行セキュリティ権限リストの作成と修正、および行セキュリティ権限リストのユーザー プロファイルへの追加またはユーザー プロファイルからの削除が行われます。どちらの処理でも、以下の操作が必要になります。

- SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ プロセスを実行して、SJT_CLASS_ALL を行セキュリティ権限リストのデータによってリフレッシュします。
- SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行して、SJT_OPR_CLS を "ユーザー プロファイル - 一般" ページで割り当てられた新規ユーザー プロファイルと行セキュリティ権限リストの組み合わせによってリフレッシュします。

これらのリフレッシュ プロセスを実行するまでは、新たに設定されたデータ権限は適用されません。

「[SJT_CLASS_ALL のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

「[SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ](#)」を参照してください。

管理者ユーザーとセキュリティの作成ページ

管理者ユーザーとセキュリティの作成ページ (RUNCTL_PER510) を使用して、管理者用行セキュリティ権限リストの設定および更新を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [グループ別ユーザー メンテナンス], [管理者ユーザーとセキュリティの作成], 管理者ユーザーとセキュリティの作成

画像: 管理者ユーザーとセキュリティの作成ページ

次の例では、管理者ユーザーとセキュリティの作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

指定日

行セキュリティ権限リストが有効になる日付を選択します。

- ユーザー ID

デフォルトのユーザー ID を選択します。このデフォルト値に基づいて、新規ユーザー ID が作成されます。
- ロックされたユーザーを作成

全ての新規ユーザー ID をロックするには、このチェック ボックスをオンにします。

管理者用行セキュリティの設定プロセスは、以下の 2 つの PeopleSoft アプリケーション エンジンと 1 つの SQR レポートで構成されています。

1. HR_PER510

管理者のデータ権限の更新に必要な変更を決定します。
2. HR_PER510_CI

HR_PER510 によって決定された変更をデータベースに適用します。
3. SQR レポート PER510

HR_PER510 によって決定され HR_PER510_CI によって適用された変更と、それぞれのステータスをリストします。

注: 各プロセスを個別に選択し、それが正常に完了してから次のプロセスを選択して実行してください。

ユーザー ID の作成とロック

ユーザー ID を作成してロックするには、ユーザーの作成 (CREATE_USERS) コンポーネントおよびユーザーのロック (LOCK_USERS) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、ユーザー ID のセキュリティの概要と、ユーザーを作成およびロックする方法について説明します。

ユーザー ID の作成とロックに使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ユーザーの作成ページ</u>	CREATE_USERS	グループのメンバーにユーザー ID を作成します。
<u>ユーザーのロック ページ</u>	LOCK_USERS	ユーザー ID のグループをロックまたはロック解除します。

ユーザー ID のセキュリティについて

グループビルドと、ユーザーの作成ページを使用して、従業員のユーザー ID を作成します。グループビルドを使いグループの作成とロードを行います。次に、ユーザーの作成ページを使って、各グループ メンバーのユーザー ID を作成します。

ユーザーのロック ページを使い、ユーザー ID (従業員 ID) が使用可能になるまでロックします。

関連リンク

[グループビルドについて](#)

ユーザー ID を作成およびロックする際に使用する共通フィールド

グループ ID	メンバーにユーザー ID が必要なグループの ID を選択します。
グループをロード	このボタンをクリックすると、ページにグループ メンバーがロードされます。
[従業員 ID] および [名前]	選択したグループに属するメンバーの従業員 ID と名前が表示されます。
ユーザー ID	[ユーザー ID 作成] ボタンをクリックすると、メンバーのユーザー ID が表示されます。従業員 ID がユーザー ID として使用されます。
アカウントのロックアウト	ユーザー ID のアカウントがロックアウトされている場合は、このオプションがオンになります。

ユーザーの作成ページ

ユーザーの作成ページ (CREATE_USERS) を使用して、グループのメンバーにユーザー ID を作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [グループ別ユーザー メンテナンス], [ユーザーの作成], [ユーザーの作成]

画像: ユーザーの作成ページ

次の例では、ユーザーの作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Users

Populate Group

Group ID

Populate Group

Create User IDs Based on

User ID

Create User IDs

☐ Create Users as locked

User List

Personalize | Find | View All | | | First 1 of 1 Last

Empl ID	Name	User ID	Account Locked Out?
☐ B-TC001	Julia Child		

注: このプロセスで作成されたユーザー ID は、作成されたユーザーの従業員 ID と同じになります。

- グループ ID

ユーザー ID の作成で個人のグループに使用するグループ ID を入力または選択します。
- ユーザー ID

デフォルトのユーザー ID を選択します。このデフォルト値に基づいて、新規ユーザー ID が作成されます。作成されたユーザー ID は、後からユーザー ID コンポーネントで個別にプロファイルを修正することができます。

新規ユーザーの基準になるユーザー ID にデータ権限が与えられている場合は、SJT_OPR_CLS のリフレッシュ プロセスを実行する必要があります。これを実行しないと、新規作成されたユーザー プロファイルのデータ権限は認識されません。

「SJT_OPR_CLS のリフレッシュ ページ」を参照してください。
- ロックされたユーザーを作成

全ての新規ユーザー ID をロックするには、このチェック ボックスをオンにします。
- ユーザー ID 作成

クリックすると処理が実行されます。

ユーザーのロック ページ

ユーザーのロック ページ (LOCK_USERS) を使用して、ユーザー ID のグループをロックまたはロック解除します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [グループ別ユーザー メンテナンス], [ユーザーのロック], [ユーザーのロック]

画像: ユーザーのロック ページ

次の例では、ユーザーのロック ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Lock Users

Populate Group

Group ID

Populate Group

Lock/Unlock Group

Lock Group

Unlock Group

Data

Personalize | Find |

First 1 of 1 Last

Empl ID	Name	User ID	Account Locked Out?
			☐

注: ユーザーの作成ページで作成したユーザーのみロックすることができます。従業員 ID とユーザー ID は同じ値です。

- グループをロック

クリックすると処理が実行され、グループ全体のユーザー ID (従業員 ID) がロックされます。
- グループをアンロック

クリックすると処理が実行され、グループ全体のユーザー ID (従業員 ID) のロックが解除されます。

国別機能のセキュリティ設定

次の各トピックでは、国別機能のセキュリティの概要および設定方法について説明します。

国別機能へのアクセス許可に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>グローバル セキュリティの設定ページ</u>	SCRTY_TBL_GBL	プライマリ権限リストがグローバル コンポーネントでアクセスできる国別機能を選択します。
<u>除外コンポーネント ページ</u>	SCRTY_GBL_SEC	選択したコンポーネントの国別機能へのアクセスを制限します。

国別機能のセキュリティについて

国別機能とは、国に特有の機能を指します。グローバル コンポーネント内の国別機能は、折りたたみセクションにあり、各国の国旗マークが付けられています。国別コンポーネントへのアクセスを許可するには、コンポーネント権限を使います。グローバル コンポーネント内の国別機能へのアクセスを許可するには、コンポーネント権限に加えてグローバル セキュリティの設定ページを使います。

ユーザーにグローバル メニューの国別機能へのアクセスを許可するには、次の手順に従います。

1. [国別指定] の [国別機能インストール] (INSTALLATION_SEC) ページを使って、PeopleSoft HCM システムの一部としてインストールする国別機能を指定します。

ここで指定されていない国の国別機能にはアクセスすることができません。

2. グローバル セキュリティの設定ページを使って、プライマリ権限リストに国別機能へのアクセスを許可します。
3. "ユーザー プロファイル - 一般" ページで、必要とされる国へのアクセス権を持つプライマリ権限リストを、ユーザーに対して割り当てます。

『PeopleTools: Security Administration』を参照してください

グローバル セキュリティの設定ページ

グローバル セキュリティの設定ページ (SCRTY_TBL_GBL) を使用して、プライマリ権限リストがグローバル コンポーネントでアクセスできる国別機能を選択します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [セキュリティ], [コンポーネントとページのセキュリティ], [グローバル セキュリティの設定], [グローバル セキュリティの設定]

画像: グローバル セキュリティの設定ページ

次の例では、グローバル セキュリティの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Setup Global Security			
Primary Permission List HCPPGP		Primary List - Global Payroll	
Security Detail		Personalize Find  	1-3 of 3
*Country	Description	Excluded Components	
BEL 	Belgium	Excluded Components	 
NLD 	Netherlands	Excluded Components	 
CHE 	Switzerland	Excluded Components	 

プライマリ権限リスト

この権限リストを割り当てられたユーザーは、グローバル コンポーネントで、このページで指定された国の国別機能にアクセスすることができます。

プライマリ権限リストは、権限リスト コンポーネントで定義します。ユーザーには、"ユーザー プロファイル - 一般" ページでプライマリ権限リストが割り当てられます。

国

国を (場合によっては複数) 選択すると、このプライマリ権限リストに割り当てられたユーザーは、その国の国別機能にグローバル コンポーネントからアクセスできます。

アクセス禁止コンポーネント

[アクセス禁止コンポーネント] リンクをクリックすると、除外コンポーネント ページが表示されます。このページを使って、選択したコンポーネントの国別機能へのアクセスを制限することができます。

たとえば、個人データ コンポーネントを除いて、全てのグローバル コンポーネントのイタリア用セクションに対するアクセス権を権限リストに与えることができます。

「[プライマリ権限リストの基本設定](#)」を参照してください。

除外コンポーネント ページ

除外コンポーネント ページ (SCRTY_GBL_SEC) を使用して、選択したコンポーネントの国別機能へのアクセスを制限します。

ナビゲーション

グローバル セキュリティの設定ページの [アクセス禁止コンポーネント] リンクをクリックします。

画像: 除外コンポーネント ページ

次の例では、除外コンポーネント ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

コンポーネント名

選択したコンポーネントでは、この国の国別機能が制限されます。たとえば、個人データ コンポーネントでイタリアの国別機能へのアクセス権を制限する場合は、個人データ コンポーネントのシステム名を選択します。

データ権限セキュリティの修正

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- 採用および異動のためのセキュリティの修正
- ユーザー各自によるデータ更新の許可

採用および異動のためのセキュリティの修正

PeopleSoft HCM では、ユーザーは自分が更新のアクセス権を持たない部門にも個人を割り当てることができます。アクセス権を持たないユーザーが個人の部門異動をできないようにするため、PeopleSoft HCM では、アクセス権を持つ部門 ID だけがユーザーに表示される DEPT_SEC_VW というビューを用意しています。

このビューを使う場合、全部門へのアクセス権を持つユーザーのクラスを作成して、そのユーザー クラスが異動を実行できるようにします。さらに、PeopleSoft アプリケーション デザイナで職務データレコードの定義を更新し、DEPT_ID フィールドのプロンプト テーブルを DEPT_SEC_VW に指定します。ユーザーがアクセス権を持つ部門にのみアクセスできるようにするには、DEPARTMENT_TBL コンポーネントのセキュリティビューをこのビューに変更します。この定義には、部門セキュリティセットを使用します。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』を参照してください。

ユーザー各自によるデータ更新の許可

PeopleSoft HCM では、ユーザーによる自分自身のデータの更新は、セルフサービス インターネット アプリケーション以外では許可されていません。しかし、他のコンポーネントにおいて、ユーザーが自分のデータを更新する必要がある場合もあります。ユーザーが自分のデータを更新できるようにするには、従業員 ID に対しデータの変更を認める PeopleCode 関数の Allow EmplIDChg を使用します。この関数では、単一のブール型パラメータが参照されます。このパラメータが true に設定されているとユーザーは自分のデータを更新できますが、false に設定されていると更新できません。

たとえば、ユーザーが各自の個人データを変更できるようにするには、個人データ コンポーネントの基礎となっているレコード定義の PERSONAL_DATA で、この PeopleCode 関数を有効にします。これでユーザーは職務情報を除く各自の個人データを変更できるようになります。

Allow EmplIDChg 関数を有効にするには、次の手順に従います。

1. PeopleSoft アプリケーション デザイナでレコード PERSON を開きます。
2. [EMPLID] フィールドで PeopleCode [RowInit] を開きます。
3. 次の行の後に新しいコードを挿入します。

```
/****** START OF ROW INIT PEOPLECODE *****/
```

4. 行を挿入し、既存コードの先頭行 (注釈) の後に次のコードを入力します。

```
if %Component = Component.PERSONAL_DATA then  
    AllowEmplIDChg(true);  
end-if;
```

5. 変更内容を保存して PeopleCode ページを終了します。

これでユーザーは個人データのページで自分のデータを更新できるようになります。

PeopleSoft HCM の他のページでユーザーが自分のデータを更新できるようにするには、更新を許可したい各ページで基となっているレコード定義に、この PeopleCode 関数を挿入します。

第6章

PeopleSoft HCM の設定とインストール

導入デフォルトの設定

導入デフォルトを設定するには、インストール テーブル コンポーネント (INSTALLATION_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、概要および導入デフォルトについて説明します。

導入デフォルトの設定とレポートに使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>製品ページ</u>	INSTALLATION_TBL1	導入する PeopleSoft アプリケーションを指定します。
グローバル ペイロールの国別機能ページ	INSTALL_GP_SEC	導入する PeopleSoft グローバル ペイロール国別機能を選択します。
インストール済インテグレーション製品ページ	INSTALL_PIP_SEC	給与計算のインテグレーション パックを使用する場合は、そのインテグレーション パックを選択します。
<u>HCM オプション ページ</u>	INSTALLATION_TBL1B	システム運用の基準 (個人、ポジション、その両方) を指定します。 組織の方針に関連する PeopleSoft HCM のデフォルト値を入力します。
<u>製品別設定ページ</u>	INSTALLATION_TBL1A	製品 (産業) 別の導入情報を入力します。
<u>国別指定ページ</u>	INSTALLATION_TBL3	国別の導入情報を入力します。
<u>国別機能インストール ページ</u>	INSTALLATION_SEC	PeopleSoft ヒューマン リソース管理のユーザーに対して有効になる国別機能を選択します。
<u>自動採番ページ</u>	INSTALLATION_TBL2	番号の割り当てを開始する番号を指定します。

ページ名	定義名	用途
<u>サードパーティ/システム ページ</u>	INSTALLATION_TBL4	PeopleSoft HCM に対して統計収集の条件を設定し、SQR セキュリティを有効にします。Visio などのサードパーティ アプリケーションを使用するためのパラメータを定義します。
<u>フリガナ ページ</u>	ALT_CHAR_TBL	言語コードとフリガナ文字タイプを指定します。
インストール テーブル レポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	インストール テーブル レポート (PER702) を実行します。会社コード、標準勤務時間の上限と下限、社会保障番号などのフィールドにデフォルトとして設定されている値が一覧で表示されます。

導入デフォルトについて

PeopleSoft HCM 導入の際は、導入するサイトごとに、インストール テーブル コンポーネントでシステムのデフォルト値、処理ルール、およびカウンタ値などの情報を全て指定する必要があります。インストール情報は、各サイトにつき 1 セットだけ設定できます。この情報は必ず入力が必要です。

警告 プライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (OPR_DEF_TBL_HR) でも各プライマリ権限リストの情報を入力する必要があります。PeopleSoft HCM のデフォルト値の大部分は、インストール テーブル コンポーネントではなく、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントから取得されます。PeopleSoft HCM の他のアプリケーションには、インストール テーブルの設定に基づくデフォルトがあります。しかし PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、システムのデフォルト値には全てプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントでのユーザー設定が使われます。PeopleSoft ヒューマン リソース管理でのこのルールには例外もありますが、デフォルト フィールドレベルで説明する際に触れます。

「プライマリ権限リストの基本設定」を参照してください。

最初にインストール テーブル コンポーネントにアクセスすると、サンプル企業の情報が例として既に入力されていることがわかります。実際のインストール情報を入力したら、ログオフして変更を保存します。

製品ページ

製品ページ (INSTALLATION_TBL1) を使用して、導入する PeopleSoft アプリケーションを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [製品]

画像: 製品ページ

次の例では、製品ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Products	HCM Options	Product Specific	Country Specific	Last ID Assigned	Third Party/System	Alternate Character
Installed Products						
☒ Human Resources	☐ Education and Government	☐ Enterprise Learning Management				
☒ Benefits Administration	☐ Federal					
☒ Succession Planning	☐ Military	☒ Candidate Gateway				
	☐ French Public Sector	☒ Talent Acquisition Management				
☒ Pension Administration	☐ German Public Sector					
☒ Stock Administration		☒ eBenefits				
☒ Time and Labor	☒ Currency Conversion Utility	☒ eDevelopment				
☒ Labor Rules and Monitoring	☒ Pay/Bill Management	☒ eCompensation				
	☒ Directory Interface	☒ eCompensation Manager				
☒ Absence Management	☒ HRMS Portal Pack	☒ ePay				
☒ Payroll for North America	☐ General Ledger	☒ ePerformance				
☒ Payroll Interface	☐ Project Costing	☒ eProfile				
☒ Global Payroll Core	☐ Receivables	☒ eProfile Manager				
Installed GP Countries	☒ Student Administration					
Installed Integration Products						

導入するアプリケーションを選択します。アプリケーションの機能にアクセスするには、このページでアプリケーションを選択する必要があります。

PeopleSoft グローバル ペイロールを導入する場合は、[グローバル ペイロール国別機能] リンクをクリックし、該当する国別機能を選択します。

インテグレーション製品を導入する場合は、[インストール済インテグレーション製品] リンクをクリックし、インテグレーション製品を選択します。

(USF) PeopleSoft HCM の連邦政府機能用の設定

データベースを米国連邦政府機能用に設定するには、「インストール テーブル - 製品」ページで [連邦政府] を選択し、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントで米国連邦政府の産業とセクターを指すように更新します。

データベースを軍機能用に設定するには、「インストール テーブル - 製品」ページで [軍機能対応] を選択します。

プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントの設定ページで、プライマリ権限リストの基本設定を変更します。連邦政府のデータベースを設定するには、[産業] で [官公庁] を選択し、[産業セクター] で [US 連邦政府] を選択します。

HCM オプション ページ

HCM オプション ページ (INSTALLATION_TBL1B) を使用して、システム運用の基準 (個人、ポジション、その両方) を指定します。

組織の方針に関連する PeopleSoft HCM のデフォルト値を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [HCM オプション]

画像: HCM オプション ページ

次の例では、HCM オプション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

会社

デフォルトの会社コードを選択します。ここで選択するデフォルト値は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の一部のテーブルで使用されます。

組織が単一企業から成る場合は、その会社コードを入力します。複数の会社で構成される場合は、どの会社をデフォルトとして使用するかを決める必要があります。

標準勤務時間

PeopleSoft グローバル ペイロールを使っている場合、この機能を使って給与計算の入力を管理するには、そのエレメントが PeopleSoft Enterprise ヒューマン リソース管理の適切なアイテムを参照しているか確認する必要があります。標準勤務時間が自動的に使用されるわけではありません。

[最小標準勤務時間] および [最大標準勤務時間]

従業員が標準勤務周期中に勤務する標準勤務時間の下限と上限を入力します。ここで指定した値が、デフォルト値として自動的に入力されますが、職務コード コンポーネント (JOB_CODE_TBL) またはポジション データ コンポーネント (POSITION_DATA) で上書きが可能です。

デフォルト標準勤務時間

会社の標準勤務周期中の勤務時間数を入力します。このフィールドは入力必須です。プライマリ権限リストの基本設定を定義するときに、インストール テーブルの標準勤務時間がデフォルト値になります。ここで入力した値は、職務コード テーブル コンポーネントのデフォルト標準勤務時間および給与プラン テーブル コンポーネント (SALARY_PLAN_TABLE) のデフォルト標準勤務時間にもなります。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、標準勤務時間を使用して常勤換算 (FTE) を計算し、パートタイムや時間給労働者に対して、休日勤務時間の比例配分や給与計算を行います。

勤務周期

従業員が標準勤務時間分の勤務を完了する必要がある周期を選択します。有効値は周期テーブルに保存されています。

標準勤務周期の年次化係数と標準勤務時間を組み合わせて FTE が計算されます。

「[職務の分類](#)」を参照してください。

ポジション管理オプション

システムの一部または全体をポジションを基準に運用するには、このグループ ボックスで設定します。

PeopleSoft Pension Administration を使用している場合は、退職者の管理にポジション管理を使わないでください。従業員に対してポジション管理を使用する場合は、[一部] を選択して退職者を除外します。

注: ポジション管理を使うとシステムのデータ処理方法が大幅に変わり、ユーザー側もデータ管理方法を変える必要が生じます。

全体をポジション管理

組織内の全員のポジション データを追跡管理し、ヒューマン リソース管理システムを個人ではなくポジションを基準として運用します。

一部をポジション管理

使用可能なポジション データがあれば自動的に使われますが、ポジション管理によって組織全体を管理する必要はありません。このビジネス プロセスを試験的に使う場合や、会社の特定部門だけに使う場合にこのオプションを選択します。

なし

個人を基準にしてシステムを運用します。個人にポジション番号を割り当てることはできますが、勤務先電話番号や郵便箱 ID などの職務レコードに対してポジション データは使用されま

せん。これは、特定のポジション (たとえば、特定の管理職レベルより上のポジション) のみを追跡管理する場合に便利です。

現職者のオンライン更新制限

この数値は、オンラインで更新される、1 つのポジションに対する現職者の最大数を取得するために使用されます。システムのデフォルトは 50 ですが、この数量は組織のサーバー性能に基づいて調整できます。

ポジションに対する現職者の数がここに設定された制限値を越えていない場合、現職者のデータはオンラインで更新されます。

ポジション データ コンポーネントのデータを保存したときに、ポジションに対する現職者の数がここに設定された制限値を越えていた場合、メッセージが表示され、現職者のデータ更新はバッチ プロセスで行われることが通知されます。プロセスがスケジュールされ、別のメッセージでジョブのプロセス インスタンス番号が表示されます。アプリケーション エンジン プログラムによってポジション データ コンポーネント インターフェイスが呼び出され、UpdateIncumbents 機能が呼び出されて現職者の更新が実行されます。

給与レート コード

デフォルト給与周期

給与のレポートに使用される値を選択します。これは必須フィールドです。さらに、この値は職務コード テーブルの給与周期のデフォルト値としても使用されます。

「[職務の分類](#)」を参照してください。

レート コード グループの使用

給与計算時に、レート コードをまとめてパーセントを適用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

給与点数使用

給与レート コード タイプに "点数" が指定されているレート コードを使用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

複数ステップ給与等級

複数ステップ/給与等級プランを使用する場合、このチェック ボックスをオンにします。これにより、給与ステップ コンポーネント ページ (SALARY_PLAN_T3GBL) を使って給与レートが決定されます。

通貨

多通貨

複数の種類の通貨を使用して給与を支給する場合は、このチェック ボックスをオンにします。このオプションは PeopleSoft Payroll for North America だけに影響します。PeopleSoft グロー

バル ペイロールでは、給与計算システムにある別の多通貨機能が使われます。

注: PeopleTools オプション ページ (PSOPTIONS) で、[多通貨] チェック ボックスをオンにします。

基本通貨

通貨コード ページ (CURRENCY_CD_TABLE) の値から通貨コードを選択します。ここで選択するコードは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理および PeopleSoft Payroll for North America のページやレポートで、相対比率 (給与等級内での位置をパーセントで表した値) と合計金額を計算する際、デフォルト通貨として使われます。個々の行アイテムに使われる通貨とは無関係です。

たとえば、基本通貨がアメリカドルの場合、海外営業の担当者がフランス フランで経費報告書を提出しても、行アイテムの金額が全てアメリカドルに自動換算され、合計額がアメリカドルで表示されます。

注: PeopleSoft ヒューマン リソース管理で使用されるデフォルトの通貨は全て、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントではなく、インストール テーブル コンポーネントで指定する基本通貨に基づいています。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントの設定は、国別ページのデフォルト通貨には影響しません。

"通貨および市場レートについて" (PeopleSoft 9.2: エンタープライズ コンポーネント) を参照してください。

レート タイプ

通貨変換の際に使用されるデフォルトのレート タイプを指定します。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントでプライマリ権限リストにデフォルトのレート タイプを指定していない場合にのみ、このフィールドで選択します。システムでは、まずプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントのデフォルトのレート タイプが参照され、指定がない場合には、この値が参照されます。

従業員の写真

写真を表示

オンにすると、HCM システム全体のアプリケーション ページで従業員の写真が表示されます。多くのアプリケーション ページでは、マウス オーバー ポップアップの機能を使用して、従業員の写真が表示されます。従業員の写真の詳細や、このようなポップアップ ページを設定して従業員の写真を表示する方法については、「[従業員の写真とマウス オーバー ポップアップ ページについて](#)」および「[マウス オーバー ポップアップの設定](#)」を参照してください。

オフにすると、HCM アプリケーション全体で従業員の写真表示はオフになります。このオプションをオフにすると、このページの [セルフサービスで表示] チェック ボックスおよび [従業員が写真をアップロード可能] チェック ボックスは選択できなくなります。

セルフサービスで表示

オンにすると、従業員の写真がセルフ サービスや PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのページで表示されるようになり、これには ePerformance や組織図ビューア (たとえば、会社ディレクトリ) のページも含まれます。

従業員が写真をアップロード可能

オンにすると、従業員が自分の写真をアップロードできるようになります。このオプションをオンにすると、[写真の更新] リンクまたはアイコンが、セルフサービスの個人情報サマリ ページ、組織図ビューア (会社ディレクトリなど) のプロフィール ページ、および PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの個人情報ページの従業員の写真の下に表示されるようになります。

このオプションを有効にすると、従業員は [写真の更新] リンクまたはアイコンを選択して、写真の表示オプションを選択することができます。従業員は次の表示を選択できます。

- 写真なし (このオプションでは、ダミーの写真が表示されません)。
- HR システムに保存されている公式の写真。
- 個人が自分でアップロードした個人的な写真。

オフにすると、セルフサービス ページで [写真の更新] リンクまたはアイコンは使用できなくなります。ただし、管理者は引き続き、身分証明データで HR システムの公式の写真をアップロードすることができます (従業員の写真ページ)。

関連リンク

[プライマリ権限リストの基本設定](#)

[Creating Positions](#) PeopleSoft Human Resources Manage Positions

[個人構造とポジション構造](#)

[通貨について](#)

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)

製品別設定ページ

製品別設定ページ (INSTALLATION_TBL1A) を使用して、製品 (産業) 別の導入情報を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [製品別設定]

画像: 製品別設定ページ

次の例では、製品別設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Product Specific' configuration page. It includes sections for:

- Benefits Functions:** Checkboxes for FMLA Administration, COBRA Administration, Benefits Billing, Retroactive Benefits/Deduction, and FSA Claims Administration. A 'Start Date for BenAdmin' field is set to 01/01/1999.
- Benefits Deduction Class Order:** Radio buttons for 'EE After Tax Then PTax Benefit' (selected) and 'PTax Benefit Then EE After Tax'.
- Federal Functionality:** A dropdown for 'Default Pay Basis' set to 'Per Annum' and a checkbox for 'NFC Indicator'.
- NA Payroll / Payroll Interface:** Checkboxes for 'Concurrent Calc/Confirm', 'Automatic Employee Tax Data', and 'Use State Residence for Local'. A section for 'T&L / NA Payroll Paysheet Opt' includes checkboxes for 'Change Final Check', 'Change Online Check', 'Change Reversal Adjustments', and 'Load in Preliminary Calc'.
- Commitment Accounting:** Checkboxes for 'Encumbrance Trigger', 'Comm Control Budget Processor', and 'Enforce Real Time Budget Check'.
- Human Resources:** Checkboxes for 'Multi-Company Organization', 'Automatic Job Termination', and 'Automatic Job Suspension'. A 'Temporary SSN Mask' field is set to 'XXX' and 'Empl ID Field Length' is set to 4.
- General Ledger:** A 'GL Version' field set to 'N/A' and an 'Update Version' button.
- Combination Editing Caching:** A checkbox for 'Cache Validations' and a 'Cache Retention Days' field set to 0.

福利厚生機能

[FMLA 管理] (家族医療休暇法)、[COBRA 管理] (包括財政調整法管理)、[福利厚生請求管理]、[遡及福利厚生/控除] および [FSA 請求管理]

該当する福利厚生機能のチェック ボックスをオンにして選択します。

福利厚生管理開始日

PeopleSoft の日付フォーマット (YYYY/MM/DD) で管理の開始日を入力します。

福利厚生控除クラス順序

415(c) 限度額を満たしている場合、控除クラスは、従業員税引前拠出金、従業員税引後拠出金、税引前福利厚生 (雇用主税引前拠出金)、非課税福利厚生 (雇用主税引後拠出金) の順に制限されます。限度額を満たしている場合、[雇用主税引前 - 従業員税引後] を選択することによって控除クラス順序を変更できます。この場合、雇用主税引前拠出金が先に制限され、次に従業員税引後拠出金が制限されます。したがって、控除クラスの順序は、従業員税引前拠出金、税引前福利厚生 (雇用主税引前拠出金)、従業員税引後拠出金、非課税福利厚生 (雇用主税引後拠出金) となります。

(USF) 連邦政府機能

デフォルト支給基準

[デフォルト支給基準] には、給与の見積りおよびレポート作成に使用する値を選択します。製品ページで [連邦政府] を選択した場合、このフィールドは必須です。

NFC インジケータ

このチェック ボックスをオンにすると、影響を受けるコンポーネントに National Finance Center (NFC) のフィールドが表示され、関連付けられた Peoplecode ロジックが実行されます。

NA Payroll/給与計算インターフェイス**計算/確認の同時進行**

このチェック ボックスをオンにすると、計算と確認の作業が同時に実行されます。ただし、1 人の個人に対して同時に 2 つの処理が行われる可能性があり、そのため、プロセスが異常終了した場合にデッド ロック状態が生じる恐れがあります。

従業員税データ自動作成

このチェック ボックスをオンにすると、次の条件を満たす場合は常に、従業員の連邦税、州税、地方税のレコードが自動的に作成されます。

- 従業員の採用手続きを行う場合
- 従業員の職務変更に伴って新たな納税地への移動が必要になった場合
- 従業員の雇用レコード追加に伴って新たな納税地への移動が必要になった場合
- 応募者管理システムを使って従業員を採用する場合
- 個人が新しい会社に異動する場合

地方税に居住州を使用

[従業員税データ自動作成] を選択すると、自動的にこのチェック ボックスもオンになります。従業員の居住する州と地方税の管轄区域が同じ場合は、オンのままにしておきます。同じでない場合は、このチェック ボックスをオフにしないと、従業員の給与小切手から地方税が誤って控除されてしまいます。

TL/NA Payroll ペイシート オプション**[最終小切手の変更]、[オンライン小切手の変更] および [逆仕訳調整の変更]**

これらのチェック ボックスをオンにすると、給与計算システムのユーザーが、PeopleSoft 勤務管理から取得したデータにペイシートで変更を加えることができます。ただし、ペイシートに直接変更を加えても、PeopleSoft 勤務管理には変更内容が反映されないため、これらのオプションは選択しないことをお勧めします。

仮計算にロード

給与計算プロセスでは、[仮計算にロード] フィールドの値によって、新規の有効時間 (職務変更の前に勤務した追加時間で、以前にペイシートにロードされていない時間) をロードするかどうか判断されます。

- このチェック ボックスをオンにした場合、新規の時間も含めて全ての有効時間が新規のペイシートにロードされます。
- このチェック ボックスをオフにした場合、以下に示す例外を除き、新規の有効時間はペイシートにロードされません。

注: 従業員に職務データの変更があり、ペイシートが再作成された場合、給与計算プロセスでは、有効な時間が全て再ロードされ、職務変更の結果無効となった時間は却下されます。これは、[仮計算にロード] フィールドの設定にかかわらず、必ず実行されます。その場合、まず過去にロードした全ての時間が却下され、次に、有効な時間が再ロードされます。[仮計算にロード] がオフの場合でも、ロードされる新規時間もあります。ただし、職務データ変更のために処理中である従業員についての時間のみです。

AP 請求書番号プレフィックス (買掛金管理の請求書プレフィックス)

APプレフィックス (買掛金管理の請求書プレフィックス) (省略可) HCM で作成される買掛金管理 (AP) の請求書に使用されるプレフィックスを入力します。

コミットメント会計

エンカンバランストリガ

さまざまなオンライン イベントから起動されるプレエンカンバランストリガとエンカンバランストリガを有効にします。各イベントによって、エンカンバランストリガ テーブル (ENCUMB_TRIGGER) にレコードが書き込まれます。次に、このレコードはバッチ エンカンバランス計算処理 (ENC_CALC) の入力値として使用されます。

コミットメント コントロール予算処理

オンにすると、PeopleSoft Financials のコミットメント コントロール予算処理を使用したリアルタイム予算チェックが有効になります。リアルタイム予算チェックでは、職務データの変更またはポジション データの変更によって生成されるエンカンバランスおよびプレエンカンバランスに対して、割り当て可能な資金の検証が行われます。コミットメント コントロール予算処理は、予算の割り当て可能な資金をチェックする PeopleSoft Financials アプリケーション エンジン プログラムです

このチェック ボックスは、PeopleSoft Financials 9.0 以降との必要な統合が設定済みである場合に使用できますが、別途、必要な元帳が設定済みであることを確認する必要があります。元帳が設定されていない場合、コミットメント コントロール予算処理の全ての予算チェックへの応答は請求が無効になります。

注: また、リアルタイム予算チェックは部門レベルでアクティブにする必要があります。

「[コミットメント会計/E&G ページ](#)」を参照してください。

リアルタイム予算チェックの実行

この設定は、部門テーブル設定でリアルタイム予算チェックが設定された部門に対してのみ適用できます。

オンにすると、ユーザーは、職務データおよびポジション データの一部の重大な変更については、リアルタイム予算チェックで変更に対する十分な予算資金が存在しない場合は保存できなくなります。

職務データ コンポーネントにおける重要な変更には、採用、再雇用、および兼務の追加が含まれます。ポジション データ コンポーネントの重大な変更は、ポジションの作成、ポジションの人員数の増加、ポジションの非アクティブからアクティブへの変更、およびポジションのプレエンカンパランス インジケータの [なし] または [人材募集] から [即時] への変更です。エンカンパランス およびプレエンカンパランスの計算に影響するその他の変更は、重大なものとは見なされません。

このチェック ボックスをオンにした場合、ユーザーは予算エラーを解決しないと、職務データまたはポジション データの重大な変更を保存できません。このチェック ボックスをオフにした場合、ユーザーは重大な変更に対する予算エラーを無視できます。

注: 重大でない職務データおよびポジション データの変更については、ユーザーはいつでも予算チェックエラーを無視できます。

ヒューマン リソース管理

マルチカンパニー企業

組織が複数の会社から構成されている場合、このチェック ボックスをオンにします。PeopleSoft Pension Administration を使用している場合は、年金受給者の所属先として会社を設定するため、このオプションをオンにしてください。

職務の自動終了

終了日が指定されている職務を自動的に終了させるには、このチェック ボックスをオンにします。これによって、該当する職務に対し、終了を指定する行が自動的に作成されます。

自動職務中断

個人が臨時職務に従事する間、その主要職務を自動的に一時中断する場合、このチェック ボックスをオンにします。

仮社会保障番号のマスク

社会保障番号が不明の応募者や個人に対してデフォルトの社会保険番号として使用する 3 桁の数字を入力します。実在の

番号と重複するのを防ぐため、仮の番号には 800 より大きな値を割り当てます。

従業員 ID フィールドの長さ

従業員 ID に使用する文字数を入力します。

一般会計

GL バージョン

PeopleSoft HCM とインターフェイスをとっている PeopleSoft 一般会計のバージョンが表示されます。バージョンを変更するには、[バージョンの更新] ボタンをクリックします。自動的に GL バージョンが更新されます。

注: PeopleSoft 一般会計のバージョン 8.4 以降を使用している場合のみ、全てのチャートフィールド機能を使用することができます。PeopleSoft Financials 9.0 以降とコミットメントコントロールを使用している場合のみ、リアルタイム予算チェックを使用することができます。

バージョンの更新

このボタンをクリックすると、PeopleSoft Financials との統合がテストされ、Financials の最新バージョンが表示されます。

キャッシュ確認

検証結果をキャッシュに保存する場合、このチェック ボックスをオンにします。キャッシュの検証結果を使用できるようにすることによって、パフォーマンスが向上します。

キャッシュ保存日数

検証結果を保存する日数を入力します。この日数を超えたデータはキャッシュから削除されます。

関連リンク

[Benefit Information Automation PeopleSoft Benefits Administration](#)

国別指定ページ

国別指定ページ (INSTALLATION_TBL3) を使用して、国別の導入情報を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [国別指定]

画像: 国別指定ページ

次の例では、国別指定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Country Specific' tab in the PeopleSoft HCM interface. At the top, there are several tabs: 'Products', 'HCM Options', 'Product Specific', 'Country Specific' (which is active), 'Last ID Assigned', 'Third Party/System', and 'Alternate Character'. Below the tabs, the 'Country' field is set to 'USA'. Underneath, the 'Language Code' is 'ENG' and the language is 'English'. There is a link for 'Installed HR Countries'. The page is divided into sections for different countries: 'Canadian Parameters' (with fields for '*Census Metro Area' and '*Industrial Sector'), 'Australian Parameters' (with a checkbox for 'Education & Government'), 'Japanese Parameters' (with a checkbox for 'Additional Appointment Enabled'), and 'USA Parameters' (with a checkbox for 'Two-Question Format(Ethnicity)').

国

国

デフォルト値として使用する国を選択します。

言語コード

データベースのデフォルトの基本言語が表示されます。

国別機能

このリンクをクリックすると、国別機能インストール ページが表示され、インストールする国別機能を選択することができます。

(CAN) [カナダ用パラメータ]

国勢調査metro エリア

[国勢調査metro エリア] フィールドには、所在地のカナダ統計局によって規定された国勢調査metro エリア (CMA) コードを入力します。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントにデフォルトの CMA コードが指定されていない場合に限り、ここで指定するデフォルトの CMA コードが使われます。CMA は人口 10 万人以上の都市の主要労働市場を指します。このフィールドは、カナダの会社では必須フィールドになります。

「[プライマリ権限リストの基本設定](#)」を参照してください。

産業セクター

カナダの雇用機会均等の目的に使われます。プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントにデフォルトの産業セクターが指定されていない場合に限り、ここで指定するデフォルト値が使わ

れます。この値は部門コンポーネントにあるカナダの [産業セクター] フィールドのデフォルト値として使われ、対象部門の従業員が所属している産業セクターを表します。これは必須フィールドです。

「[プライマリ権限リストの基本設定](#)」を参照してください。

「[部門の管理](#)」を参照してください。

(AUS) [オーストラリア用パラメータ]

教育/公的機関

オーストラリア公的機関の場合、このチェック ボックスをオンにします。

(JPN) [日本用パラメータ]

兼務可能

兼務の追跡管理を行う場合、このチェック ボックスをオンにします。オンにすると、この機能がアクティブになり、新規ビジネスユニットを作成する際に、ダミーの兼務職務コードが作成されます。

Understanding Additional AppointmentsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

(USA) [アメリカ用パラメータ]

2 質問フォーマット (民族)

このチェック ボックスは、米国の行政管理予算局 (OMB) の "1997 Standards for Maintaining, Collecting and Presenting Federal Data on Race and Ethnicity" で定義された 2 質問フォーマットを使用して、米国の従業員の民族データを収集する場合にオンにします。

このチェック ボックスをオンにした場合、米国の従業員がセルフサービスの民族グループ ページにアクセスすると、2 質問フォーマットを使用したバージョンのページが表示されます。

このチェック ボックスをオフにした場合、米国の従業員には、米国以外の従業員に表示されるものと同じバージョンのセルフサービスの民族グループ ページが表示されます。この汎用バージョンのページには質問は表示されません。代わりに、従業員は民族グループ グリッドで 1 つ以上の民族を指定します。

国別機能インストール ページ

国別機能インストール ページ (INSTALLATION_SEC) を使用して、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のユーザーに対して有効になる国別機能を指定します。

ナビゲーション

インストール テーブルの国別指定ページで、[国別機能] リンクをクリックします。

画像: 国別機能インストール ページ

次の例では、国別機能インストール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Installed HR Countries	
☒ ARG - Argentina	☒ HKG - Hong Kong
☒ AUS - Australia	☒ IND - India
☒ BEL - Belgium	☒ ITA - Italy
☒ BRA - Brazil	☒ JPN - Japan
☒ CAN - Canada	☒ MEX - Mexico
☒ CHE - Switzerland	☒ MYS - Malaysia
☒ CHN - China	☒ NLD - Netherlands
☒ DEU - Germany	☒ NZL - New Zealand
☒ ESP - Spain	☒ SGP - Singapore
☒ FRA - France	☒ THA - Thailand
☒ GBR - United Kingdom	☒ USA - United States

OK Cancel

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で国別機能が設定されている各国の国名が表示されます。

- 国別機能を有効にする場合は、その国のチェック ボックスをオンにします。セキュリティ アクセス権が与えられているユーザーは、選択した国の機能を参照および使用できるようになります。
- 国の機能を有効にしない場合は、その国のチェック ボックスをオフにします。

このページで国別のチェック ボックスをオンにしても、グローバル セキュリティの設定 ページ (SCRTY_TBL_GBL) で、ユーザーのプライマリ権限リストに国別アクセスが許可されていない場合は、国別機能はユーザーには表示されません。

「[国別機能のセキュリティ設定](#)」を参照してください。

自動採番ページ

自動採番ページ (INSTALLATION_TBL2) を使用して、番号の割り当てを開始する番号を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [自動採番]

画像: 自動採番ページ

次の例では、自動採番ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Products	HCM Options	Product Specific	Country Specific	Last ID Assigned	Third Party/System	Alternate Character
Last Employee ID Assigned		60		Last H/S Claim Nbr Assigned		94000
Last Position Nbr Used		55555555		Last HS Non-Employee ID Assgn		1924002
Last Grievance Nbr Used		1		Last Incident Nbr Used		70000008
Last Car Nbr Assigned		3616012		Last Journal Nbr Assigned		
Last Demand ID Assigned		19		Last Illness Nbr Assigned		
Last Template Sequence # Used		151		Last Illness Report # Assigned		
Last Succession Plan ID		1		Last Temp Assignment # Used		9
Last Help Context # Used		10000000		Last Used Element Number		222920
				Last OSHA Case Nbr Assigned		9047

PeopleSoft HCM では、手動で番号を入力するフィールドと、自動的に番号が割り当てられるフィールドがあります。

以下の表に自動的に採番されるフィールドを示します。

フィールド	アプリケーション	ビジネスプロセス
従業員 ID の最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	人事・労務管理、採用管理
ポジション最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	ポジション管理、後任計画
苦情の最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	労使関係管理
車両の最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	社有車管理
申請 ID の最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	研修予算管理
テンプレート ベース連番の最終番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	人事・労務管理
最終後任計画 ID	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	後任計画
使用済最終ヘルプ コンテキスト番号	PeopleSoft HCM	Windows のオンライン ヘルプのカスタマイズ
安全衛生請求の最終割当番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	安全衛生モニター管理
HS非従業員IDの最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	安全衛生モニター管理
事故の最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	安全衛生モニター管理

フィールド	アプリケーション	ビジネスプロセス
最終仕訳割当番号	PeopleSoft Payroll for North America	GL インターフェイス管理
最終疾病割当番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	休暇欠勤管理
疾病レポートの最終採番番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	休暇欠勤管理
最終一時割当番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	人事・労務管理
最終使用エレメント番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	プロフィール管理
OSHA 申立の最終割当番号	PeopleSoft ヒューマン リソース管理	安全衛生モニター管理 法定提出書類

このページに表示されるフィールドに自動採番機能を利用するには、各フィールドで最後に使用された数字を入力します。自動採番機能を使うと、最後に使った番号に 1 を足した番号が自動的に割り当てられます。また、番号が割り当てられるたびにインストール テーブルの値も自動更新されます。

注: 2 とおりの番号が設定されてしまわないように、採番は常に手動または自動のどちらかで行うよう統一してください。

ID について

ID データを他のシステムから PeopleSoft ヒューマン リソース管理に変換する際は、ID の重複を避けるため、前のシステムで使われていた番号の最大値を入力してください。たとえば、前のシステムで最後に割り当てた ID が 1000 の場合は、[従業員 ID の最終採番番号] フィールドに "1000" と入力します。PeopleSoft ヒューマン リソース管理で従業員を追加すると、ID には自動的に "1001" が割り当てられ、それに応じて [従業員 ID の最終採番番号] フィールドも更新されます。

ID を常に手動で入力するには、[従業員 ID の最終採番番号] フィールドと [応募者 ID の最終採番番号] フィールドに、"999999999" (9 を 10 桁) と入力します。

社会保障番号や社会保険番号を ID として使用する場合は、PeopleSoft アプリケーション デザイナを使って従業員 ID フィールドのフォーマットを変更します。

ゼロの自動挿入

データ入力のスピードと精度を向上させるため、一部のページでは、ユーザーが自動採番された番号を入力すると、その数字の前に自動的に 0 (ゼロ) が挿入されます。たとえば、"4" を入力すると、その前に 0 (ゼロ) が追加され、00000004 (1 つの番号につき合計 8 桁) と表示されます。このようにゼロが自動挿入されるのは、以下のフィールドです。

- 人材募集
- 候補者検索リスト
- 苦情管理

- 保険事故番号
- 請求額
- ポジション

注: ゼロが挿入されていない番号を既に使っている場合は、データを PeopleSoft ヒューマン リソース管理に変換しても正確に番号が追跡できるように採番番号を変更してください。
データ変換の詳細については、ヒューマン リソース管理プロジェクトの担当者に問い合わせるか、または PeopleSoft アプリケーション デザインのドキュメントを参照してください。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』を参照してください

サードパーティ/システム ページ

サードパーティ/システム ページ (INSTALLATION_TBL4) を使用して、PeopleSoft HCM に対して統計収集の条件を設定し、SQR セキュリティを有効にします。

Visio などのサードパーティ アプリケーションを使用するためのパラメータを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [サードパーティ/システム]

画像: サードパーティ/システム ページ (1/2)

次の例では、サードパーティ/システム ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Products	HCM Options	Product Specific	Country Specific	Last ID Assigned	Third Party/System
Performance Monitor Parameters					
* Start Time For Stats Gathering		11/29/2000 12:00AM		☐ Gather Statistics for Table	
* Stop Time For Stats Gathering		11/29/2000 12:00AM		☐ Gather Statistics Globally	
* Write Interval		300		Seconds	
Third Party Settings					
Organization Chart		None			
System Defaults					
Max Number of Rows in Scrolls		25		Commit After Empl Processed 300	
System Settings					
☒ Address Map					

パフォーマンス モニタ パラメータ

[情報収集の開始時間] および [情報収集の終了時間] 情報の収集を開始する日付と時刻、および終了する日付と時刻を入力します。

テーブル統計収集	統計データをローカルに収集する場合、このチェック ボックスをオンにします。
グローバル統計収集	統計データをグローバルに収集する場合、このチェック ボックスをオンにします。
書込み間隔	統計収集の周期を秒数で入力します。
サードパーティ設定	
組織図	ヒューマン リソース管理データを基にした組織図の作成に使用するサードパーティのアプリケーションを入力します。
システム デフォルト	
スクロールの最大行数	サードパーティ アプリケーションのスクロール可能なデータ ボックスの最大行数を入力します。
コミット単位 (処理済従業員数)	コミット前にシステムで処理される人数の上限を入力します。この設定は PeopleSoft Payroll for North America の処理にのみ使用されます。
システム設定	
アドレス マップ	アドレスのマップを含めるにはオンにします。
関連リンク	
組織図について	

フリガナ ページ

フリガナ ページ (ALT_CHAR_TBL) を使用して、言語コードとフリガナ文字タイプを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [フリガナ]

画像: フリガナ ページ

次の例では、フリガナ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: [インストール テーブル] で設定するフリガナ文字タイプは、HCM アプリケーション全体の設定に影響します。インストールされている全ての言語コードについて、フリガナ文字タイプを設定するかどうか、またどのタイプを設定するかを検討してください。

使用中の言語コードに対してフリガナ文字タイプが指定されていない場合、フリガナ フィールドに文字を入力しようとすると、警告メッセージが表示されます。

言語コードにフリガナ文字タイプが指定されている場合、ユーザーがそれ以外の文字タイプをフリガナ フィールドに入力しようとすると、警告メッセージが表示されます。

注: 警告メッセージを無視して、指定以外の文字セットを入力することも可能ですが、異なる種類のフリガナ文字セットでデータをソートする場合に問題が生じる可能性があります。

PeopleTools オプション ページの HCM オプションの設定

PeopleTools オプション ページの HCM オプションを設定するには、PeopleTools オプション コンポーネント (PSOPTIONS) を使用します。

このトピックでは、PeopleTools オプション ページの HCM オプションを設定する方法について説明します。

PeopleTools オプション ページを使用して、次の項目に関連したさまざまな設定を行うことができます。

- マルチカンパニー企業
- 業務に複数の通貨を使用する組織
- 複数ジョブ機能

[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理] の順にクリックし、PeopleTools オプション ページにアクセスします。

『PeopleTools: Data Administration Tools』を参照してください

各機能を有効にするには、必要に応じて以下のチェック ボックスをオンにします。

マルチカンパニー企業

組織が複数の会社から構成されている場合、または、年金受給者の所属先として会社を設定するために PeopleSoft Enterprise Pension Administration を使用している場合は、このチェック ボックスをオンにします。

多通貨

複数の通貨でデータ入力を行う必要がある場合には、このチェック ボックスをオンにします。たとえばアメリカとイタリアに事務所があり、給与の計算にアメリカドルとイタリア リラの両方が使用される場合です。[多通貨] チェック ボックスをオンにすると、金額フィールドを含むページに通貨コードのフィールドが表示されます。

注: [多通貨] チェック ボックスは、独自の多通貨機能を持っている PeopleSoft グローバル ペイロールには影響を及ぼしません。

複数ジョブ使用可

PeopleSoft HCM では、このオプションはオンのままにしておく必要があります。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で、さまざまなタイプの雇用形態 (従業員、非従業員および関係者) の個人のデータ管理を可能にするため、複数ジョブ機能がアクティブである必要があります。

『PeopleTools: Security Administration』を参照してください。

国コードの管理

国コードを管理するには、国テーブル (COUNTRY_TABLE)、国テーブル - HR (HR_COUNTRY_TABLE)、および都道府県/州 (STATE_DEFN) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、国コードおよびインテグレーション ポイントの概要と、国コードの管理について説明します。

国コードの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
国名ページ	COUNTRY_DEFN	国情報を表示または更新します。

ページ名	定義名	用途
<u>住所フォーマット ページ</u>	ADDR_FORMAT_TABLE	国テーブルから選択した国の住所フォーマットを指定します。
<u>有効な住所ページ</u>	EO_ADDR_VALIDAT	国テーブルで選択した国の都道府県/州や市区町村を指定します。
<u>国テーブル - HR ページ</u>	HR_COUNTRY_DEFN	HCM のレポート作成に必要な、国に関する追加情報を指定します。
<u>都道府県/州ページ</u>	STATE_DEFN	国テーブルで選択した国の州や都道府県、またはそれに該当するエンティティを追加します。
国テーブルレポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	国テーブルレポート (PER708) を実行すると、全ての国の文字コードが出力されます。

国コードについて

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、個人、会社、事務所などの住所の一部として、国名が多くのページで表示されます。国はコード (たとえばカナダは CAN) で表され、これらは国テーブル コンポーネントにリストされています。ページ内の国フィールドにはデフォルトの国コードが表示されますが、この値は変更できます。デフォルトのコードは、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントおよびビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネント (BUS_UNIT_OPT_HR) の設定によって決まります。国テーブル コンポーネントの住所フォーマット ページ (ADDR_FORMAT_TABLE) では、特定の国の住所に必要な情報を定義することもできます。

会社が事業を営んでいる国、およびシステムに登録する個人が居住している国全てに対し、国コードが必要です。国名ページ (COUNTRY_DEFN) には、あらゆる国名と国コードが初期設定されています。また PeopleSoft では、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のバージョンごとに、国際標準化機構 (ISO) が認定する国名に準じてこのページを更新します。

国コードを追加する場合は、PeopleSoft のアカウント マネジャーに連絡してください。PeopleSoft ヒューマン リソース管理の次のバージョンで、そのコードが国テーブルに追加されます。

国名ページ

国名ページ (COUNTRY_DEFN) を使用して、国情報を表示または更新します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国テーブル], [国名]

画像: 国名ページ

次の例では、国名ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Country Description

Address Format

Valid Address

Country AUT

Country

*Description Austria

Short Description Austria

2-Char Country Code AT

☒ EU Member State

国コード (2 桁) (2 文字で表す国コード) アメリカ政府が割り当てた国コードがある場合に、そのコードを入力します。

EU 加盟国 (欧州連合加盟国) EU 加盟国である場合は、このチェック ボックスをオンにします。このフィールドは参照用で、システム処理やレポート作成には影響しません。

住所フォーマット ページ

住所フォーマット ページ (ADDR_FORMAT_TABLE) を使用して、国テーブルから選択した国の住所フォーマットを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国テーブル], [住所フォーマット]

画像: 住所フォーマット ページ

次の例では、住所フォーマット ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Country Description

Address Format

Valid Address

Country AUT Austria

*Address Edit Page EO_ADDR_DFT_SEC

☐ Enable Address Search

☒ Enable Address Validation

Address Fields

Personalize | Find | First 1-9 of 9 Last

Field Name	Edit Label Override	Include in Display?	Include in Print?	Line Number	Position Number	Use Description?	Pre Separator	Post Separator
1 COUNTRY		☐	☐			☐		
2 ADDRESS1		☒	☒	1	1	☐		
3 ADDRESS2		☒	☒	2	1	☐		
4 ADDRESS3		☒	☒	3	1	☐		
5 ADDRESS4		☒	☒	4	1	☐		

住所編集ページ	使用可能なオプションのリストから住所ページを選択します。[住所フィールド] グループ ボックス内に、そのページのフィールドが一覧表示されます。
住所検索可	このチェック ボックスをオンにすると、住所検索が可能になります。
住所確認	このチェック ボックスをオンにすると、有効な住所ページで表示される都道府県/州および市区町村と照合した住所入力の検証が可能になります。
住所フィールド	
フィールド名	[フィールド名] 列には、PeopleSoft HCM で使用できる住所フィールドが表示されます。
上書きラベル	必要の場合は、表示されたフィールド名を別のラベルで上書きできます。
表示	オンにすると、読取専用モードで住所が表示されるときにそのフィールドが表示されます。住所の表示をデータ入力時に表示される住所形式と異なる形式で表示したい場合は、特定のフィールドのこのチェック ボックスをオフにします。
印刷	このチェック ボックスをオンにすると、国の住所が印刷される場合は、常にこのフィールドが印刷されます。
行番号	このフィールドが表示される際の行番号を入力します。
ポジション番号	選択された行のフィールドの位置を指定します。
名称使用	このチェック ボックスをオンにすると、このフィールドの名称が表示されます。
前区切り、後区切り	必要に応じて、住所エレメントの区切り文字を入力します。

有効な住所ページ

有効な住所ページ (EO_ADDR_VALIDAT) を使用して、国テーブルで選択した国の都道府県/州や市区町村を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国テーブル], [有効な住所]

画像: 有効な住所ページ

次の例では、有効な住所ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

	Postal	State	City	Address 1		
1	064-0811	01	Sapporo-shi	Chuo-ku Minami Juichijo Ni	+	-
2	100-0004	13	Chiyoda-ku	Ohtemachi	+	-
3	100-0011	13	Chiyoda-ku	Uchisaiwai-cho	+	-
4	100-6106	13	Chiyoda-ku	Nagata-cho, Sanno Park Tow	+	-
5	102-0074	13	Chiyoda-ku	Kudan Minami	+	-
6	102-0082	13	Chiyoda-ku	Ichiban-cho	+	-
7	105-0023	13	Minato-ku	Shibaura	+	-
8	106-0045	13	Minato-ku	Azabu Juban	+	-

有効な住所

有効な住所ページには、都道府県/州ページに入力されている都道府県/州のコードと、それに対応する市区町村が保存されます。住所フォーマット ページで **[住所確認]** チェック ボックスをオンにすると、入力された住所と有効な住所ページで保存された値がチェックされ、市区町村と都道府県/州の検証が行われます。

注: (JPN) 日本の郵便番号データは、郵便番号テーブルと有効な住所テーブル (EO_ADDR_VALIDAT) の両方に保存されます。有効な住所テーブルと郵便番号テーブルの同期を保つため、新たに郵便番号を入力するときは郵便番号ページに入力する必要があります。有効な住所ページに値を入力しても、郵便番号テーブルは更新されません。

関連リンク

[\(ITA\) 市区町村コードの設定](#)

[郵便番号 JPN ページ](#)

国テーブル - HR ページ

国テーブル - HR ページ (HR_COUNTRY_DEFN) を使用して、HCM のレポート作成に必要な、国に関する追加情報を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [国テーブル - HR], [国テーブル - HR]

画像: 国テーブル - HR ページ

次の例では、国テーブル - HR ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Country Table - HR

Country CAN Canada

Belgium

NIS Country Number

France

INSEE Country Number

Netherlands

Nationality

☐ Target Group - Diversity Mgmt

Canada

*Stats-Can Country Code pre2009

*Stats-Can Country Code 2009

USA

Country Code for 1042

(BEL) [ベルギー]

NIS 国別番号 (国家統計局 国別番号) 社会保険に対する採用と雇用終了のレポート作成に使用する NIS 国別番号を入力します。

(FRA) [フランス]

INSEE 国別番号 (国立統計経済研究所 国別番号) INSEE は、フランスの公的統計経済機関です。INSEE は番号を発行します。この番号は税務当局、社会保障機関、商工会議所などにおいて、組織やその下の子会社などを識別するために使われます。

(NLD) [オランダ]

国籍

対象の国の 4 桁の国籍コードを入力します。国籍コードは、オランダ規格協会 (NEN) によって定義され、オランダでの賃金の申告で使用されます。市民権/旅券ページで従業員に指定され

た国コードによって、従業員に適用する国籍コードが判別されません。

ターゲット グループ - 民族管理

この国をオランダの民族レポートを作成するためのターゲットグループとして特定する場合は、このチェック ボックスをオンにします。オランダの従業員を管理している場合に、従業員の国籍に関する情報を追跡したい場合があります。従業員の国籍は、その従業員の出生地または両親の出生地に基づきます。

注: 2003 年 12 月 31 日より、SAMEN 法は法的要件ではなくなくなっています。ただし、オラクル社では引き続き、従業員の国籍を追跡して従業員の民族データをモニター可能な機能を提供しています。

(CAN) [カナダ]

統計用カナダ国コード 2009

その国に関連付けられているカナダ統計局のコードを入力します。

(USA) [アメリカ]

1042 用国コード

(USA) 連邦政府機関および州政府機関に対して賃金および税のレポートを EFW2 フォーマットで提出する場合に使用する国コードを入力します。

(E&G) 非居住外国人処理用の国コードを入力します

都道府県/州ページ

都道府県/州ページ (STATE_DEFN) を使用して、国テーブルで選択した国の州や都道府県、またはそれに該当するエンティティを追加します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [都道府県/州], [都道府県/州]

画像: 都道府県/州ページ

次の例では、都道府県/州ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

State/Province

Country BEL Belgium

Abbreviation LX

Numeric Code 10

*Province Luxemburg

PeopleSoft が提供する都道府県/州テーブルには、全サポート対象国の都道府県、州、あるいはそれに相当する地域単位が全て含まれています。これらのコードは標準の郵便番号を基準にしています。PeopleSoft では、システムのバージョンごとにこのテーブルを更新しています。

会社が事業を営んでいる全ての国の都道府県/州コードが必要です。この情報は、システム内の多くの住所フィールドで使用されます。

- 住所の略称
- 選択した都道府県/州のコードが表示されます。
- 数値コード
- 数値コードがある場合はそれを入力します。アメリカの各州には、連邦政府によって法定書類用の数値コードが割り当てられています。カナダの新しい州に数値コードを入力する必要はありません。

法定区域の設定

法定区域を設定するには、法定区域コンポーネント (REG_REGION) を使用します。

次の各トピックでは、インテグレーション ポイントの概要および法定区域の定義方法について説明します。

法定区域の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
法定区域ページ	REG_REGION	法定区域を設定します。

法定区域ページ

法定区域ページ (REG_REGION) を使用して、法定区域を設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [法定区域], [法定区域]

画像: 法定区域ページ

次の例では、法定区域ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

国

リストから国を選択します。法定区域を作成するときは、必ず国コードを指定してください。国コードを指定しておけば、システムトランザクションに州または都道府県レベルの区域が使われている場合でも国別の編集ができます。追加する国がリストにならない場合は、国テーブルを使って国を追加してください。

セキュリティ アクセス

リストからセキュリティ アクセスレベルを選択します。企業において、ユーザーは限られた法定区域だけを使う場合が多く、その場合この機能を使ってそれ以外の法定区域をユーザーに対して非表示にすることができます。値はトランスレートテーブルに保存されています。法定区域のプロンプト編集ビューでは、これらの値を使って、ユーザーがアクセスする法定区域がアクセス権のあるものだけに制限されます。有効値は以下のとおりです。

- *[全ユーザーにアクセス権あり]*: ユーザーはこの法定区域を選択できます。
- *[アクセス禁止]*: ユーザーはこの法定区域を選択できません。
- *[グローバルセキュリティ設定済ユーザー]*: プライマリ権限リストにこの法定区域の国別機能へのアクセス権が割り当てられているユーザーのみが、この法定区域を選択できます。

「[国別機能のセキュリティ設定](#)」を参照してください。

注: 国別のデータ セキュリティ管理機能を使わない場合は、法定区域へのアクセスに *[全ユーザーにアクセス権あり]* または *[アクセス禁止]* のいずれかを選択してください。管理を簡略化するため、セキュリティ アクセスは各法定区域に対して 1 回だけ設定され、その設定が全トランザクションに使われます。

デフォルト レコード グループ セットID

このグループ ボックスを使って、該当法定区域に対応付けるセットID を指定します。法定区域は安全衛生管理などのいくつかのアプリケーションでセット処理に使われるため、セット コントロール値であると言えます。デフォルト レコード グループ セットID によって、この新規法定区域の設定処理に関する初期の相互関係が設定されます。

セットID

法定区域を追加する場合、最初は [セットID] フィールドは入力可に、[既存の法定区域からコピー] フィールドは入力不可の状態になっています。[セットID] フィールドにデフォルトのセット ID が表示されますが、これは定義したばかりの法定区域コードと同じ名前になります。このコードと一致するセットID を定義していない場合は、法定区域の該当セットID を有効値リストから選択してください。リストのセットID は、テーブル セット ID を使って設定されています。これらのセットID からのみ選択できます。

注: セットID を指定する前に、[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理] メニューにあるコンポーネントで、セットID、レコード グループ、セット コントロール値およびテーブルセット レコード グループ コントロールを定義してください。

「[PeopleSoft HCM システム データ規定について](#)」を参照してください。

既存の法定区域からコピー

新しい法定区域に割り当てられるセットID を既存の法定区域からコピーすることができます。このオプションは、作成中の新規法定区域と作成済みの別区域のデフォルト レコード グループ セットID が同じになるときに使います。

コピーする法定区域を入力します。

詳細については、『*PeopleTools: Data Management*』の製品ドキュメントを参照してください。

関連リンク

[PeopleSoft のセキュリティについて](#)

[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)

法定トランザクション タイプの設定

法定トランザクション タイプを設定するには、トランザクション タイプ別法定区域コンポーネント (REG_TRX_REGION) を使用します。

次の各トピックでは、法定トランザクション タイプの概要と、トランザクション タイプに法定区域を追加する方法について説明します。

法定トランザクション タイプの更新または追加に使用するページ

ページ名	定義名	用途
トランザクション タイプ別法定区域 - トランザクション ページ	REG_TRX	法定トランザクション タイプの説明を更新するか、または新しい法定トランザクション タイプを追加します。
トランザクション タイプ別法定区域 - <u>タイプ別法定区域ページ</u>	REG_TRX_REGION	法定トランザクション タイプを構成する法定区域を定義します。

法定トランザクション タイプについて

次の表のように、2 セットの法定トランザクション タイプが既に定義されています。

法定トランザクション タイプ	対象となる国または区域	理由
STANDARD (標準)	システムでサポートされている全ての国	ほとんどのアプリケーションでは、規定や法定の編集ロジックが国レベルで適用されます。
HANDS (安全衛生)	システムに含まれている全ての国と、カナダの各州	ほとんどのアプリケーションでは国レベルで規定や法定の編集ロジックが適用されますが、カナダでは州固有の法律によって安全衛生に関する申告が規定されています。

トランザクション タイプ別法定区域コンポーネント (REG_TRX_REGION) の 2 ページを使って、新規法定区域のトランザクション タイプへの割り当て (システムに国または法定区域を追加した場合) と、新規法定トランザクション タイプの設定を行います。

タイプ別法定区域ページ

トランザクション タイプ別法定区域 - トランザクション タイプ別法定区域 ページ (REG_TRX_REGION) を使用して、法定トランザクションタイプを構成する法定区域を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [トランザクション タイプ別法定区域], [タイプ別法定区域]

画像: タイプ別法定区域ページ

次の例では、トランザクション タイプ別法定区域ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Transaction		Regions in Transaction	
Regulatory Transaction STANDARD			
Data		Personalize Find View All  	First  1-7 of 36  Last
Regulatory Region	Country	Security Access	Description
ARG 	ARG	ALL	Argentina
AUS 	AUS	ALL	Australia
BEL 	BEL	ALL	Belgium
BRA 	BRA	ALL	Brazil
CAN 	CAN	ALL	Canada
CHE 	CHE	ALL	Switzerland Regulatory Region
CHN 	CHN	ALL	China

法定区域

このトランザクション タイプに属する法定区域を選択します。

個人情報のインストール

個人情報をインストールするには、個人情報のインストール コンポーネント (INSTALL_PERSON) を使用します。

このトピックでは、個人情報のインストール方法について説明します。

個人情報のインストールに使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>個人情報のインストール ページ</u>	INSTALL_PERSON	個人情報の追加コンポーネント (PERSONAL_DATA) に関するインストール設定を行います。

個人情報のインストール ページ

個人情報のインストール ページ (INSTALL_PERSON) を使用して、個人情報の追加コンポーネント (PERSONAL_DATA) に関するインストール設定を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [個人情報のインストール], [個人情報のインストール]

画像: 個人情報のインストール ページ

次の例では、個人情報のインストール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person Object Installation

Installation Settings

☒ Show Checklists
 ☐ Perform Automatic Search/Match

Default Checklists

Employee Checklist Add Employment Instance
 Contingent Worker Checklist Add Contingent Worker Instance

Person of Interest Type Checklist
Personalize | Find |
First 1-12 of 12 Last

	POI Type	Description	POI Checklist	Description
1	00000	Unknown		🔍
2	00001	COBRA Qualified Beneficiary		🔍
3	00002	Pension Payee		🔍
4	00003	Stock - Board Member		🔍
5	00004	Stock - Non-HR Employee		🔍
6	00005	Global Payroll Payee		🔍
7	00006	Student Refund		🔍
8	00007	External Trainee	HCPOI	🔍 Add Person of Interest Inst.
9	00008	External Instructor		🔍
10	00009	Campus Solution Person		🔍
11	00010	Other		🔍
12	00011	Other Payee		🔍

インストール設定

チェックリストを表示

このチェック ボックスをオンにすると、雇用形態ページ (PERSON_DATA4) に [チェックリスト コード] フィールドが表示され、ユーザーが追加する個人に使用するチェックリストを選択し、個人チェックリスト コンポーネント (PERSON_CHECKLIST) でレコードを作成することができるようになります。

自動検索/マッチングを実行

このチェック ボックスをオンにすると、PERSONAL_DATA コンポーネントに個人情報を追加するときに自動的に検索とマッチングが実行されます。重複するレコードを入力していないか確認するため、データベースが検索されます。

デフォルト チェックリスト

新規の個人情報に以下のいずれかの雇用形態を追加するときに雇用形態ページの [チェックリスト コード] フィールドに表示されるデフォルトのチェックリストを選択します。

- 従業員
 - [従業員チェックリスト] フィールドでは、民間企業の従業員用のデフォルトのチェックリストを選択します。
 - [フランス公的機関従業員] フィールドでは、フランス公的機関の従業員用のデフォルトのチェックリストを選択します。

- 非従業員

[非従業員チェックリスト] フィールドでは、非従業員用のデフォルトのチェックリストを選択します。

- 関係者

[関係者タイプのチェックリスト] グリッドに一覧表示される関係者タイプの中でデフォルトのチェックリストを指定したいものに、それぞれチェックリストを選択します。

最初に個人情報を作成するときに、雇用形態ページのチェックリスト コードが識別されて個人チェックリスト コンポーネントにレコードが作成されます。

チェックリストの設定は、チェックリスト コンポーネント (CHECKLIST_TABLE) で行います。

Creating ChecklistsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

検索/マッチングの設定と使い方

検索/マッチングについて

システムの機能を最大限に利用するには、データベースの整合性を保つ必要があります。多くの部門のユーザーがシステムにデータを入力する場合、入力されるレコードの重複を最小限にする必要があります。検索/マッチングによって、重複する ID レコードのチェック基準を定義することができます。検索可能な ID のタイプ (検索タイプと呼ばれます) には、以下のものがあります。

- 個人 (従業員 ID)
- 応募者 (PeopleSoft タレント獲得管理の HRS_PERSON_ID)

注: PeopleSoft では、これらの ID タイプを SM_TYPE フィールド内のトランスレート値として提供しています。これらは出荷時にはアクティブになっていますが、ライセンスされているアプリケーションに応じて非アクティブにすることもできます。ただし、ID タイプの値を追加または削除することはできません。

これらの ID タイプごとに、ユーザー セキュリティ ロールに基づいて、部門または事業領域独自の検索条件を定義し、検索を実行することができます。検索条件では、複数の検索ルールを定義し、これを検索パラメータ内に任意の順序で並べることができます。また、部門または事業領域ごとに、一致する可能性のある ID を識別するために、どのデータを結果に表示するか設定することができます。部門および事業領域では、複数の検索結果コードを設定して、全てのユーザーにアクセスを許可したり、特定のセキュリティロールが割り当てられた一部のユーザーにアクセスを制限することができます。

アドホック検索だけを許可するルールとパラメータを設定して、適切な権限を持つユーザーが、あらかじめ定義された条件の制約を受けずに、アドホック検索を実行できるようにすることもできます。

検索結果に返されるデータには、機密情報が含まれる可能性があります。フィールドの全体または一部をマスクするか、フィールド全体を表示するかを設定することができます。マスクの設定は、ユーザー セキュリティ アクセスを使用して制御することができます。検索結果と表示コントロールの定義によって、ユーザーはレコードを追加する前に検索/マッチングを実行し、そのレコードが既に存在しないか確認することができます。

ユーザーがデータを入力して新規 ID を保存すると、検索/マッチングがトリガされ、条件に一致する ID のリストに直接移動するように設定することによって、検索/マッチングを強制的に使用させることもできます。保存時に強制的に検索/マッチングが行われる場合、ユーザーは検索/マッチング コンポーネントにナビゲートして、ID が存在するか確認するためのデータを再入力する必要はありません。

検索ルールを定義して、検索するフィールドと、検索実行時の各フィールドの使用方法を指定します。検索ルールは 1 つでも複数でも使用できます。複数の検索ルールを使用する場合、検索/マッチングでは、定義した順序でルールが適用されます。最初のルールから開始され、そのルールに従って一致するレコード

が1つでも見つかり、検索が停止されます。しかしそのルールに一致する ID が見つからなければ、次のルールに進み、一致する ID が見つかるまで同様の処理が続けられます。

また、複数の検索ルールを使用する場合は、ルールを最も制限の多いものから少ないものの順に並べる必要があります。たとえば、ルール 1 では、姓、名、電話番号、および国民 ID が完全に一致したときに、一致する ID が返されるとします。ルール 4 では、姓と名だけが一致すれば、一致する ID が返されるとします。この例の場合、ルール 4 では、一致する ID がルール 1 より多く返される可能性があります。したがって、検索/マッチングで使用する検索ルールは、返される結果がどれだけ重要であるかを示す指標として使用することができます。

検索パラメータは、1 つまたは複数の検索ルールのセットを、最も制限の多いルールが最初の検索順序番号、最も制限の少ないルールが最後の検索順序番号になるように順に並べたものです。検索パラメータは、検索ルールが 1 つしかない場合でも作成する必要があります。

ユーザーが検索を実行すると、このルールと順序に従って、重複の可能性がある ID が見つかるか、ID が見つからないまま全ての検索ルールを実行してしまうまで、検索が行われます。

検索結果コードを使用して、検索/マッチングによって見つかった一致する可能性のある ID について検索結果ページのグリッドに返されるデータを指定します。機密情報と考えられるフィールドには、フィールドレベルのセキュリティを定義することができます。たとえば、ユーザー プロファイルに割り当てられたプライマリ権限リストに基づいて、特定のユーザーに対しては生年月日全体を表示するが、他のユーザーには年だけを表示する（または何も表示しない）ように制限することができます。

いくつかの検索ルール、検索パラメータ、および検索結果が標準で用意されています。これらをそのまま使用するか、変更するか、または必要なだけ追加することができます。

警告 検索フィールドを新たに追加するにはプログラミングに多大な労力が必要なため、追加することはお勧めしません。

関連リンク

自動検索

自動検索

自動検索では、トランザクション ページで新規 ID を作成するときに、強制的に検索/マッチングが使用されます。トランザクション ページから自動検索をトリガするには、そのページが含まれるコンポーネントに、有効な検索パラメータを関連付けます。ユーザーがそのページで新規 ID の作成に必要なデータを全て入力してトランザクション レコードを保存すると、自動的に検索/マッチングが開始されます。あらかじめ定義された検索パラメータと、ユーザーが入力したデータが、検索条件として使用されます。検索/マッチングで一致する ID が見つからなかった場合は、トランザクションが保存されます。検索/マッチングで一致する ID が 1 つでも見つかった場合は、検索結果ページのグリッド内に検索結果が表示されます。

コンポーネント名が検索パラメータ コードおよび検索結果コードに関連付けられている場合は、検索/マッチングにより検索結果ページのグリッド内に検索結果が表示されます。このためユーザーが検索結果ページに手動でナビゲートすることなく、重複の可能性がある ID を確認することができます。検索結果ページで結果を確認した後、ユーザーが [戻る] をクリックすると、新規 ID の保存を続行する場合は [OK] をク

リックし、トランザクションを保存せず、さらに調べる場合は [キャンセル] をクリックするよう指示する画面が表示されます。

注: この設定は、HRS_PREP_FOR_HIRE コンポーネントから個人 ID を作成する場合にのみ有効です。

警告 保存時に検索結果ページを表示するには、コンポーネント インターフェイス HCR_SM_SEARCH に対するアクセス権が割り当てられたセキュリティ ロールが必要です。

「[検索結果ページ](#)」を参照してください。

『*PeopleTools: Security Administration*』を参照してください

注: この設定は、個人情報 (PERSONAL_DATA) コンポーネントから一般企業用 HCM の個人 ID を作成する場合、および Hire Employee (EE_HIRE) コンポーネントから米国連邦政府用 HCM の個人 ID を作成する場合にのみ有効です。

自動検索/マッチング機能の有効化

HCM で自動検索/マッチング処理が行われるようにするには、個人情報のインストール ページ (INSTALL_PERSON) の [自動検索/マッチングを実行] チェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオンにすると、検索パラメータおよび検索結果コードが PERSONAL_DATA コンポーネント (米国連邦政府の場合は EE_HIRE コンポーネント) に関連付けられているかがチェックされます。関連付けられているコードがある場合は、そのルール名が表示されます。ない場合は、検索パラメータおよび検索結果コードを PERSONAL_DATA または EE_HIRE コンポーネントに関連付けるまでは自動検索/マッチング処理は実行されないことを知らせる警告が表示されます。

「[関係者タイプの設定](#)」を参照してください。

自動検索条件について

検索/マッチングで電話番号および電子メール アドレスの値が検索に使用されるのは、優先される電話番号または電子メール アドレスが指定されているときだけです。したがって、新規 ID を保存すると自動的にトリガされる検索ルールで PhoneRule および EmailAddressRule を使用するには、その ID に優先される電話番号および優先される電子メール アドレスが入力されている必要があります。

新規個人 ID を保存するとトリガされる検索ルールに

Address1Rule、Address2Rule、Address3Rule、Address4Rule、CityRule、CountryRule、CountyRule、PostalRule または StateRule が含まれている場合、検索/マッチングでは、住所タイプが自宅住所である住所フィールドだけを使用して検索が実行されます。つまり、自宅住所以外の住所タイプを入力した場合、検索/マッチングでは住所フィールドが検索条件として使用されません。

検索/マッチングの設定

検索/マッチングを設定するには、検索/マッチング ルール (HCR_SM_RULE)、検索/マッチング パラメータ (HCR_SM_PARM)、検索/マッチング結果フィールド (HCR_SM_RSLT_FLDS)、検索/マッチング結果 (HCR_SM_RESULT)、および検索/マッチング実行 (HCR_SM_SEARCH) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、検索/マッチングの設定方法について説明します。

検索/マッチングの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>検索/マッチング ルール ページ</u>	HCR_SM_RULE	検索対象フィールドのセットを定義し、それぞれの検索方法を指定します。
<u>検索パラメータ ページ</u>	HCR_SM_PARM	検索ルールの組み合わせと順序を定義します。この組み合わせ (検索パラメータ) を、ユーザーが検索を実行する前に選択することによって、検索が可能な検索フィールドが決定されます。
<u>検索の権限ページ</u>	HCR_SM_PERM	検索パラメータを使用して検索を実行できるユーザーを指定します。また、新規 ID をデータベースに保存する際に検索パラメータを使用すべきコンポーネントがある場合は、そのコンポーネント名を指定します。
<u>検索/マッチング結果フィールド ページ</u>	HCR_SM_RSLT_FLDS	検索結果の定義に使用可能なフィールドを表示または追加します。
<u>検索/マッチング結果 - 検索結果ページ</u>	HCR_SM_RESULT	検索結果に含める結果フィールドを指定し、フィールド値の表示方法を制御します。 このページと、類似したオブジェクト名 (HCR_SM_RESULTS) を持ち、やはり検索結果と呼ばれるページを混同しないよう注意してください。HCR_SM_RESULTS は、検索/マッチングによる検索結果が表示されるページです。
<u>検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細</u>	HCR_SM_RDTL_PG	検索/マッチングによって返された特定の ID に関する詳細情報の表示に使用するページを定義します。

ページ名	定義名	用途
検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページ	HCR_SM_RESULT_EXCP	検索結果の権限ページで設定されたデータ表示コントロールに対するフィールドレベルでのセキュリティの例外を定義します。
検索結果の権限ページ	HCR_SM_RSLT_PERM	検索結果コードに対するアクセス権を持つユーザーを指定します。また、新規 ID が追加され、重複の可能性がある ID が見つかった場合に、検索/マッチングでその結果コードを使用すべきコンポーネントがある場合は、そのコンポーネントを指定します。

検索/マッチング ルール ページ

検索/マッチング ルール ページ (HCR_SM_RULE) を使用して、検索対象フィールドのセットを定義し、それぞれの検索方法を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング ルール], [検索/マッチング ルール]

画像: 検索/マッチング ルール ページ

次の例では、検索/マッチング ルール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search/Match Rules

Search Rule Code: PSCS_10

Search Type: Person

*Description: Name,Addr,City,Bday,Gender,SSN

☐ Ad Hoc Search

Search Fields		Personalize Find						First	1-7 of 7	Last
*Sequence	*Search Field		Required	Usage	Start Position	Number of Characters	Length			
1	Address1Rule	Address Line 1	☒	Begins With	1	5	55			
2	CityRule	City	☒	Begins With	1	10	30			
3	FirstNameSrchrRule	First Name Search	☒	Begins With	1	3	30			
4	LastNameSrchrRule	Last Name Search	☒	Begins With	1	5	30			
5	DateOfBirthRule	Date of Birth	☒	Equals			10			
6	GenderRule	Gender	☒	Equals			1			
7	NationalIDRule	National Id	☒	Equals			20			

アドホック検索

この検索ルールでアドホック検索を許可する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

アドホック検索では、ユーザーは組織であらかじめ定義された検索基準を無視して、あらかじめ定義されたオペランドを使用せず、評価対象の文字数制限なしに構成した検索を実行することができます。たとえば、アドホック検索では名が "John" に一致する ID を検索できるのに対し、非アドホック検索では名の最初の

3 文字 (この例の場合は "Joh") だけを検索する設定がされている場合などがあります。

検索フィールド

検索フィールドは、システムにあらかじめ設定されています。

警告 検索フィールドを新たに追加するにはプログラミングに多大な労力が必要なため、追加することはお勧めしません。

連番

検索フィールドが検索パラメータ内で使用されたときに表示される順序を指定します。

[検索フィールド] および [フィールド説明]

この検索ルール コードに割り当てる各検索フィールドを選択します。[検索フィールド] フィールドから出ると、関連付けられた説明が表示されます。検索フィールドは、ユーザーに検索が許可されるフィールドです。

検索フィールドは、システムにあらかじめ設定されています。検索フィールド値の追加または修正には、プログラミングに多大な労力が必要とされます。検索フィールドを削除しないでください。

注: ルールで Name Type (氏名タイプ)、National ID Type (国民 ID タイプ)、Phone Type (電話番号タイプ)、Email Type (電子メール タイプ)、または Address Type (住所タイプ) を指定せずに Name (氏名)、National ID (国民 ID)、Phone (電話番号)、Email Address (電子メール)、または Address (住所) フィールドを使用すると、該当する個人の全ての国民 ID、電話番号、電子メール、または住所が検索されます。

必須

この検索ルールで検索する際に、該当する検索フィールドの値を必須にする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、ルールをより制限的なものにすることができます。

このチェック ボックスをオフにすると、この検索ルールではこのフィールドが空白であるか、このフィールドが存在しなくても検索が受け付けられます。たとえば、検索ルール内の全てのフィールドが必須に指定されている場合は、このルールを使用して一致する ID を検索するには、各検索フィールドのデータが入力されていなければなりません。しかし、たとえば Date of Birth (生年月日) の [必須] チェック ボックスがオフになっている場合は、生年月日を指定しなくてもこの検索ルールを使用して検索することができます。

検索方法

検索時にフィールド値を評価する方法を指定します。

[先頭一致]: 値が特定の文字列で始まっていなければなりません。この値を選択すると、[開始位置] フィールドにデフォルト値の 1 が表示され、[文字数] フィールドの定義が可能になります。開始位置のデフォルト値を変更することはできません。

[部分一致]: 値に特定の文字列が含まれていなければなりませんが、その前後に他の文字列が含まれていてもかまいません。この値を選択すると、[開始位置] フィールドにデフォルト値の 1 が表示され、[文字数] フィールドの定義が可能になります。

[完全一致]: 値が特定の文字列とまったく同じでなければなりません。

[非使用]: この検索では、このフィールド値は使用しません。

[開始位置] および [文字数]

比較を開始する文字位置を入力し、その文字位置から何文字を比較対象にするかを入力します。

たとえば、National ID (国民 ID) の検索方法として *[部分一致]* を選択し、[開始位置] に 3、[文字数] に 5 と入力した場合は、フィールド値の 3、4、5、6、7 番目の文字との比較が行われます。この結果、国民 ID にその 5 文字が含まれる ID が返されます。

検索方法として *[先頭一致]* を選択した場合は、[開始位置] はデフォルト値の 1 になり、検索/マッチングで最初の文字から何文字を使用して検索を実行するかを指定する必要があります。

長さ

その検索フィールドの文字数が示されます。[検索フィールド] 列のフィールドから出ると、そのフィールドに関連付けられたフィールドに合計文字数が表示されます。

「[検索/マッチングについて](#)」を参照してください。

検索パラメータ ページ

検索パラメータ ページ (HCR_SM_PARM) を使用して、検索ルールの組み合わせと順序を定義します。

この組み合わせ (検索パラメータ) を、ユーザーが検索を実行する前に選択することによって、検索が可能な検索フィールドが決定されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング パラメータ], [検索パラメータ]

画像: 検索パラメータ ページ

次の例では、検索パラメータ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search ParametersSearch Permissions

Search Parameter PSCS_TRADITIONALSearch Type Person

*Description CS_Person_Traditional

Status ActiveAd Hoc Search

Search/Match Rules

PersonalizeFind1-5 of 5FirstLast

Search Order	*Search Rule Code			
10	PSCS_10	Name,Addr,City,Bday,Gender,SSN	View Definition	+ -
20	PSCS_20	SSN Only	View Definition	+ -
30	PSCS_30	Name,Bday,Gender	View Definition	+ -
40	PSCS_40	Name,Gender	View Definition	+ -
50	PSCS_50	Name Only	View Definition	+ -

アドホック検索

この検索パラメータでアドホック検索のみを許可する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

アドホック検索では、ユーザーは組織であらかじめ定義された検索基準を無視して、あらかじめ定義されたオペランドを使用せず、評価対象の文字数制限なしに構成した検索を実行することができます。たとえば、アドホック検索では名が "John" に一致する ID を検索できるのに対し、非アドホック検索では名の最初の 3 文字 (この例の場合は "Joh") だけを検索する設定がされている場合などがあります。

注: アドホック検索が許可された検索パラメータからは、自動検索は実行できません。

検索/マッチング ルール

検索順序

この検索パラメータの検索ルール コードを適用する順序を入力します。最も制限の多い検索ルールを最も小さい検索順序番号に入力し、最も制限の少ない検索ルールを最も大きい検索順序番号に入力します。

検索ルールはいつでも変更することができます。ルールの順序を変更してページを保存すると、最後に入力した順序でルールが表示されます。

検索/マッチングでは、最初に番号の最も小さい検索ルールが処理され、一致する ID があれば、検索が停止されて結果が返されます。一致する ID がなければ、次のルールに進み、一致する ID が見つかるまで同様の処理が続けられます。

検索結果には、一致する可能性のある ID が見つかった検索ルールに対応する検索順序番号が表示されます。

アドホック検索では検索ルールを 1 つしか使用できないため、[アドホック検索] チェック ボックスをオンにした場合は、[検索順序番号] フィールドは表示されません。

[検索ルール コード] および [ルール コード説明]

使用する検索ルール コードを入力します。[検索ルール コード] フィールドから出ると、その検索ルールの説明が表示されます。有効な検索パラメータを作成するには、検索ルールを少なくとも 1 つは入力する必要があります。

定義の表示

このリンクをクリックすると、検索/マッチング ルール ページに移動して、ルール定義を表示または編集することができます。

検索の権限ページ

検索の権限ページ (HCR_SM_PERM) を使用して、検索パラメータを使用して検索を実行できるユーザーを指定します。

また、新規 ID をデータベースに保存する際に検索パラメータを使用すべきコンポーネントがある場合は、そのコンポーネント名を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング パラメータ], [検索の権限]

画像: 検索の権限ページ

次の例では、検索の権限ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search ParametersSearch Permissions

Search Parameter PSCS_TRADITIONAL

Search Type Person

Description CS_Person_Traditional

Status Active

Ad Hoc Search

Search Parameters Access

☒ Full Access

Search/Match Used in Transaction

Personalize | Find | First 1-4 of 4 Last

	*Component Name		
1	ADM_APPL_ENTRY1		+ -
2	ADM_PROSPECT_PROG		+ -
3	QUICK_ADMIT		+ -
4	SCC_BIO_DEMO		+ -

検索パラメータのアクセス権

フル アクセス

この検索パラメータ コードの使用を全てのユーザーに許可する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

セキュリティ アクセスの制限

この領域は、[フル アクセス] チェック ボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。

[ロール名] および [ロール説明]

この検索パラメータ コードの使用を、セキュリティ プロファイルに特定のロールが含まれるユーザーに限定します。

検索対象コンポーネント

[コンポーネント名] および [コンポーネント説明]

新規 ID の追加時に検索/マッチングを強制的に使用させる場合は、新規 ID の追加が行われるコンポーネントを選択します。ユーザーが新規 ID を作成するデータを入力してトランザクションを保存すると、検索/マッチングが自動的に開始されるようになります。検索対象を特定のコンポーネントに限定し、そこで全てのロールまたは特定のロールだけに権限を与えることもできます。

注: 1つのコンポーネント名は、1つの検索パラメータにのみ関連付けることができます。ただし、同じ検索パラメータを複数のコンポーネント名の中で使用することができます。この検索パラメータを使用する全てのコンポーネントを選択してください。

注: このフィールドは、[検索タイプ] が個人または組織の場合にのみ表示されます。

「[検索/マッチングについて](#)」を参照してください。

検索/マッチング結果フィールド ページ

検索/マッチング結果フィールド ページ (HCR_SM_RSLT_FLDS) を使用して、検索結果の定義に使用可能なフィールドを表示または追加します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング結果フィールド], [検索/マッチング結果フィールド]

画像: 検索/マッチング結果フィールド ページ

次の例では、検索/マッチング結果フィールド ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Result Field	Search Type
DateOfBirth	Person

Description Date of Birth ☐ Effective Dated

Search Result Data	
Record Name	PERSON
Field	BIRTHDATE

PERSON record
Date of Birth

System Data - not available for update

多くの検索/マッチング結果フィールドがあらかじめ定義されており、検索結果コードの定義時に使用可能になっています。このようなフィールドについては、検索/マッチング結果フィールド ページに "システムデータ - 更新不可" と表示されます。あらかじめ定義された検索フィールドのデータを編集することはできません。ただし、検索結果コードで使用可能にするフィールドを追加で選択することはできます。

[値の追加] タブを選択して検索結果フィールドの名前を入力すると、検索/マッチング結果フィールド ページのフィールドが入力可能な状態で表示され、検索結果内で使用可能にするレコードおよびフィールドを選択することができます。結果内のフィールド値の表示方法を制御するには、検索/マッチング結果の設定ページを使用します。

注: 有効日付きのレコードやタイプ関連 (住所タイプ、電子メール タイプ、電話番号タイプなど) のレコードに基づいて検索結果フィールドが作成される場合、検索/マッチング結果には、各日付 (履歴、現在および将来の日付) と各タイプの行が返されます。たとえば、性別フィールドは PERS_DATA_EFFDT レコードに含まれています。"性別" を検索結果フィールドとして使用すると、PERS_DATA_EFFDT に複数の行を持つ個人では、検索結果グリッドに同じ性別で複数の行が表示されます。これは、重複の可能性がある ID の評価が、各 ID に適用される全ての日付とタイプに対して行われるようにするためです。行を限定して表示したい場合は、現在の情報のみを表示するよう有効日を限定するロジック、または特定のタイプのみを返すロジック (たとえば、住所タイプが "自宅" の住所情報を選択するなど) を含むビューに基づく検索結果フィールドを作成できます。

検索/マッチング結果 - 検索結果ページ

検索結果ページ (HCR_SM_RESULT) を使用して、検索結果に含める結果フィールドを指定し、フィールド値の表示方法を制御します。

このページと、類似したオブジェクト名 (HCR_SM_RESULTS) を持ち、やはり検索結果と呼ばれるページを混同しないよう注意してください。HCR_SM_RESULTS は、検索/マッチングによる検索結果が表示されるページです。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング結果], [検索結果]

画像: 検索/マッチング結果 - 検索結果ページ

次の例では、検索/マッチング結果 - 検索結果ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results | Search Result Permissions

Search Result Code: PSCS_TRAD_MASK Search Type: Person

*Description: CS_Pers Traditional Result Mask Status: Active

Result Set

☒ Use Detail Page Page Navigation

Search/Match Result Fields										Personalize	Find	First	1-9 of 9	Last
Sequence	*Result Field	Display Option	Number of Characters	Day	Month	Year	Length							
1	NameType	Name Type	Display Entire Field				3	Exceptions						
2	EffectiveDate	Name Effective Date	Display Entire Field				10	Exceptions						
3	FirstName	First Name	Display Entire Field				30	Exceptions						
4	MiddleName	Middle Name	Display Entire Field				30	Exceptions						
5	LastName	Last Name	Display Entire Field				30	Exceptions						
6	NationalID	National ID	Display Last	4			20	Exceptions						
7	DateOfBirth	Date of Birth	Display Partial Date				10	Exceptions						
8	Gender	Gender	Display Entire Field				1	Exceptions						
9	CampusID	Campus ID	Display First	2			16	Exceptions						

結果セット

詳細ページを使用

検索によって返された各 ID の横に [詳細] リンクを表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

[詳細ページを使用] をオンにすると、[詳細を表示] ボタンが表示されます。

詳細を表示

このボタンは、[詳細ページを使用] チェック ボックスをオンにした場合にのみ表示されます。

このボタンをクリックすると 検索結果の詳細ページにアクセスし、ユーザーが特定の ID に関する詳細の確認のために移動するページを定義することができます。

注: ここで定義したページに移動するには、ユーザーにそのページに対するアクセス権がなければなりません。

検索/マッチング結果フィールド

連番

検索/マッチング結果グリッドに結果が表示される順序を指定します。結果フィールドの順序はいつでも変更することができます。フィールドの順序を変更してページを保存すると、最後に入力した連番の順に結果フィールドが表示されます。

[結果フィールド] および [フィールド説明]

検索結果に返すデータを選択します。検索の実行に使用されるフィールド (検索フィールド) は、結果の表示に必要なフィールド (結果フィールド) と同じである必要はありません。

結果フィールドの定義は、検索/マッチング結果フィールド ページで行います。

表示オプション

そのフィールドのデフォルトの表示コントロールが表示されます。これは上書きすることもできます。個別のフィールド値全体を表示または非表示にするには、[フィールド全体を表示] または [フィールド全体をマスク] を選択します。その他には、以下のオプションがあります。

[先頭の文字列を表示]: フィールド値の先頭から、指定した数の文字が表示されます。このオプションを選択すると、[文字数] フィールドが表示されます。フィールド値の先頭から何文字を表示するかを入力する必要があります。

[末尾の文字列を表示]: フィールド値の末尾から、指定した数の文字が表示されます。このオプションを選択すると、[文字数] フィールドが表示されます。フィールド値の末尾から何文字を表示するかを入力する必要があります。

[日付の一部を表示]: 日付フィールド値の、指定した部分が表示されます。このオプションを選択すると、[日]、[月]、[年] チェックボックスが表示されます。日付のどの部分を表示するかを選択する必要があります。たとえば、[年] を選択すると、年だけが表示されます。

文字数

フィールド値の先頭または末尾から何文字を表示するかを入力します。

[日]、[月]、[年]

日付値として日付のどの部分を表示するかを選択します。

長さ

フィールド値に表示可能な文字数が表示されます。

例外

このリンクをクリックすると、検索結果の例外ページに移動し、この検索結果に対するフィールドレベルの例外を定義することができます。

警告 検索/マッチングでは、データ権限セキュリティにかかわらず、一致する可能性がある全ての ID が返されます。機密データまたはその一部をマスクするには、フィールドレベルのセキュリティを使用する必要があります。

「[PeopleSoft のセキュリティについて](#)」および「[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)」を参照してください。

検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細

"検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細" ページ (HCR_SM_RDTL_PG) を使用して、検索/マッチングによって返された特定の ID に関する詳細情報の表示に使用するページを定義します。

ナビゲーション

検索結果ページで [詳細ページを使用] オプションをオンにすると表示される [詳細を表示] ボタンをクリックします。

画像: 検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細ページ

次の例では、検索/マッチング結果 - 検索結果の詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Match Results

Search/Match Results

Search Results Detail Page

Search Result Code

PSCS_TRAD_MASK

Search Type

Person

Description

CS_Pers Traditional Result Mask

Status

Active

Detail Page Parameters

Menu Name

CC_BIO_DEMO_DATA

Menu Bar Name

USE

Item Name

SCC_BIO_DEMO

Page Name

SCC_BIO_DEMO_PERS

Action Mode

Update/Display

OK

Cancel

詳細ページ パラメータ

[メニュー名]、[メニュー バー名]、[アイテム名] および [ページ名]

特定の ID に関する詳細を提供するページに対応する各アイテムを選択します。

アクション モード

ユーザーが詳細ページにアクセスするときのモードを定義するアクション モードを選択します。オプションは、以下のとおりです。

追加

修正

データ入力

更新/表示

更新

検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページ

検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページ (HCR_SM_RESULT_EXCP) を使用して、検索結果の権限ページで設定されたデータ表示コントロールに対するフィールドレベルでのセキュリティの例外を定義します。

ナビゲーション

検索結果ページの [例外] リンクをクリックします。

画像: 検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページ

次の例では、検索/マッチング結果 - 検索結果の例外ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Primary Permission List	Permission List Description	Display Option	Length
EODS1000	Directory Interface	Display Entire Field	10
EOEC9010	Credit Card Interface	Display Entire Field	10

検索結果ページで設定した検索結果に対する例外を定義することができます。たとえば、検索結果に含まれる生年月日フィールドの一部をマスクしたが、そのデータを必要とするユーザーにはフィールド全体が表示されるようにしたいとします。このような例外を、このページでプライマリ権限リストを使用して設定することができます。

「[PeopleSoft のセキュリティについて](#)」および「[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)」を参照してください。

『*PeopleTools: Security Administration*』を参照してください

フィールド レベル セキュリティの例外

[プライマリ権限リスト] および 権限リストの説明 選択した結果フィールドの例外とするユーザーのプライマリ権限リストを選択します。[プライマリ権限リスト] フィールドから出ると、権限リストの説明が表示されます。

表示オプション 検索結果ページで選択した表示オプションに対する例外として使用する表示オプションを選択します。

検索結果の権限ページ

検索結果の権限ページ (HCR_SM_RSLT_PERM) を使用して、検索結果コードに対するアクセス権を持つユーザーを指定します。

また、新規 ID が追加され、重複の可能性がある ID が見つかった場合に、検索/マッチングでその結果コードを使用すべきコンポーネントがある場合は、そのコンポーネントを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング結果], [検索結果の権限]

画像: 検索結果の権限ページ

次の例では、検索結果の権限ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results

Search Result Permissions

Search Result Code

PSHR_GENERAL

Search Type

Person

Description

General Core HR Results

Status

Active

Search Result Code Access

☒ Full Access

Search/Match Used in Transaction

Personalize | Find | First 1-2 of 2 Last

	*Component Name		
1	EE_HIRE	Hire Employee	+ -
2	PERSONAL_DATA	Personal Data	+ -

- フル アクセス

この検索結果コードの使用を全てのユーザーに許可する場合は、このチェック ボックスをオンにします。
- [ロール名] および [ロール説明]

この検索結果コードの使用を、ここに入力したロールがセキュリティ プロファイルに含まれるユーザーに限定します。これらのフィールドは、[フル アクセス] チェック ボックスがオフである場合に表示されます。
- コンポーネント名

このフィールドは、[検索タイプ] が個人の場合にのみ表示されます。

自動検索を使用しており、重複の可能性がある ID が存在する場合はユーザーに対して警告メッセージを表示し、自動検索の結果を表示するには、検索の権限ページで検索パラメータに対して選択したものと同一コンポーネント名 (複数可) を選択します。検索対象を特定のコンポーネントに限定し、そこで全てのロールまたは特定のロールだけに権限を与えることもできます。

注: 1 つのコンポーネント名は、1 つの検索結果コードにのみ関連付けることができます。ただし、同じ検索結果コードを複数のコンポーネント名の中で使用することができます。この検索結果コードを使用する全てのコンポーネントを選択してください。検索/マッチングによって、入力したデータと一致する可能性がある ID が見つかったら、検索結果ページが返され、見つかった一致する ID が表示されます。
- Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

233

「自動検索」を参照してください。

関連リンク

[検索結果ページ](#)

検索/マッチングの使い方

次の各トピックでは、検索ボックスによる検索と検索/マッチングの違いと、検索の選択および表示について説明します。

検索/マッチングに使用するページ

ページ名	定義名	用途
検索条件ページ	HCR_SM_SEARCH	重複するレコードを検索する条件を入力します。
デフォルトの検索結果ページ	HCR_SM_USERDFLT	ユーザー ID に、特定の検索タイプにおけるデフォルト値として使用する検索結果コードを割り当てます。
検索結果ページ	HCR_SM_RESULTS	手動検索による検索/マッチングの結果を表示し、ID の重複の可能性を検査します。 このページを、類似したオブジェクト名 (HCR_SM_RESULT) を持つ、検索結果フィールドの定義に使用する [検索結果] の設定ページと混同しないでください。

検索ボックスによる検索と検索/マッチングの違いについて

検索ダイアログ ページからのレコード検索と、検索/マッチングを使用するレコード検索には、次のような違いがあります。検索ボックス ページは、データの表示または更新を行うために、限定された検索条件を使用して既存のレコードを取得する場合に使用します。検索/マッチングは、これより大きい検索条件のセットを使用してデータベース内の重複レコードを検出したり、単一の ID を一意に識別すべきデータが重複して含まれている異なるレコードを特定するために使用します。

ID とそこに関連付けられたデータの整合性を保つことは、システムの機能を最大限に利用するうえで重要です。検索/マッチングは、レコードを作成または再作成する前に、その個人 (EMPLID)、組織 (EXT_ORG_ID、PeopleSoft Campus Solutions がライセンスされている場合のみ)、または応募者 (HRS_PERSON_ID、PeopleSoft タレント獲得管理がライセンスされている場合のみ) が既にデータベース内に存在していないかを判定することによって、レコードを重複して入力することを防ぐのに役立ちます。

検索/マッチングを使用して、ビジネス プロセスに関連する、一意の識別のためのデータが含まれるレコードが重複して存在しないかを判定するルールおよび検索パラメータを定義します。返された一致する ID と共に、どの結果フィールドを表示するかを設定することができます。また、ビジネス プロセスとユーザーに必要なセキュリティのレベルに基づいて、結果フィールド値の全体を表示するか、全体をマスクするか、一部をマスクするかを指定することができます。

ユーザーが新規 ID を作成し保存したときに、検索/マッチングが自動的に実行されるように設定することによって、重複の可能性を強制的に評価させることができます。

関連リンク

[自動検索](#)

検索条件ページ

検索条件ページ (HCR_SM_SEARCH) を使用して、重複するレコードを検索する条件を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [検索/マッチング実行], [検索条件]
- [人事・労務管理], [個人情報], [個人情報の検索], [検索条件]

画像: 検索条件ページ (1/2)

次の例では、検索条件ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Criteria

Search Type Person

Ad Hoc Search

Search Parameter PSCS_TRADITIONAL

CS_Person Traditional

Search Result Rule ?

Search Result Code PSCS_TRAD_RESUL

CS_Person Traditional Results

User Default

Search

Clear All

Carry ID reset

Search Criteria ?

Search Fields	Value
Address Line 1	
City	
First Name Search	JOHN
Last Name Search	SMITH
Date of Birth	

画像: 検索条件ページ (2/2)

次の例では、検索条件ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Gender

National Id

Search by Order Number ?

Search Order	Description	
10	Name,Addr,City,Bday,Gender,SSN	Selective Search
20	SSN Only	Selective Search
30	Name,Bday,Gender	Selective Search
40	Name,Gender	Selective Search
50	Name Only	Selective Search

検索タイプ

このページにアクセスするために選択した検索タイプ (個人) が表示されます。PeopleSoft タレント獲得管理がライセンスされている場合は、応募者を選択している可能性もあり、PeopleSoft

Campus Solutions がライセンスされている場合は、組織を選択している可能性もあります。

検索パラメータ

このページにアクセスするために選択したパラメータのコードが表示されます。検索ダイアログ ページの検索パラメータリストでは、セキュリティ ロールでアクセスが許可されている検索パラメータだけを選択することができます。

職責によっては、一日に何度も検索/マッチングのページにアクセスしなければならない場合があります。同じ検索パラメータを頻繁に使用する場合は、検索/マッチングのページにアクセスする前に、検索ダイアログ ページの [検索条件の保存] リンクをクリックして、検索条件を保存します。これで今後は [保存済検索の使用] からこの検索条件を選択できるようになります。

アドホック検索

この検索パラメータ コードでアドホック検索が許可されている場合は、このチェック ボックスがオンになります。

アドホック検索では、ユーザーは組織であらかじめ定義された検索基準を無視して、あらかじめ定義されたオペランドを使用せず、評価対象の文字数制限なしに構成した検索を実行することができます。たとえば、アドホック検索では名が "John" に一致する ID を検索できるのに対し、非アドホック検索では名の最初の 3 文字 (この例の場合は "Joh") だけを検索する設定がされている場合などがあります。

アドホック検索が可能な場合は、検索条件ページに、選択した検索パラメータ コードに設定された検索フィールドが表示され、各検索フィールドに対する [オペランド] フィールドが表示されます。[オペランド] フィールドを使用すると、入力した検索値と先頭が一致する、部分的に一致する、または完全に一致するという条件で検索を実行することができます。

また、アドホック検索では、[順序番号による検索] 領域は使用されないため表示されません。

「[検索パラメータ ページ](#)」を参照してください。

検索結果ルール

検索結果コード

この検索結果の表示に使用する検索結果コードを選択します。検索結果コードには、検索した構成要素が含まれる ID が既に存在するかを迅速に判別できるようにするため、検索/マッチングによって取得された ID をどう表示するか、またどのデータを返すかに関する全ての情報が含まれます。

ユーザー デフォルト

このリンクをクリックすると、デフォルトの検索結果ページにアクセスし、この検索タイプのデフォルト値として使用する検索結果コードを選択することができます。

デフォルトの検索結果コードは、ユーザー ID ごとに、各検索タイプにつき 1 つずつ選択することができます。

検索

このボタンをクリックすると、入力した全ての値について検索が開始され、選択した検索パラメータに定義されている中で最も制限の多い検索順序番号から順に検索されます。検索が完了すると、自動的に検索結果ページに移動します。

注: [検索] をクリックすると、指定したデータだけが検索されます。選択した検索パラメータに対して定義された検索順序はフィルタリングされます。たとえば、検索/マッチングにより検索順序番号 10 で一致する可能性がある ID が 1 つでも見つかった場合、検索は停止され、検索順序番号 10 で取得された結果が表示されます。一致する可能性がある ID が見つからなかった場合は、次の検索順序番号に進み、同様の処理が続けられます。特定の検索順序番号を使って検索を行うには、その順序番号の [検索] ボタンを使用します。

全てクリア

このボタンをクリックすると、[検索値] フィールドに入力した値が全てクリアされます。

ID の転記リセット

転記された ID を新規の ID にリセットする場合にクリックします。

検索結果ページでは、重複の可能性を詳細に調査するため他のページにアクセスするときに、ID を転記するよう選択することができます。[ID の転記リセット] をクリックした場合は、選択した ID は転記されず、代わりに新規の ID が使用されます。特に新たな ID を作成するページにアクセスする場合に、これは便利です。

「[プライマリ権限リストの基本設定](#)」を参照してください。

検索条件

検索フィールド

選択した検索パラメータに関連付けられた各検索フィールドが表示されます。

オペランド

このフィールドは、その検索パラメータでアドホック検索が許可されている場合にのみ表示されます。パラメータでアドホック検索が許可されている場合は、[アドホック検索] チェック ボックスがオンになり、[順序番号による検索] 領域は表示されません。

検索の実行に使用するオペランドを選択します。有効値は、[先頭 =]、[部分 =] および [=] です。これらの値はトランスレート値として定義されており、変更することはできません。

値

指定する検索フィールドごとに、検索する値を入力します。Gender (性別) などのように、あらかじめ値が定義されている場合は、リストから値を選択します。あらかじめ定義された値がない場合は、検索値フィールドに直接データを入力します。

順序番号による検索

このページ領域は、[アドホック検索] チェック ボックスがオフになっている場合にのみ表示されます。

[検索値] フィールドに条件を入力すると、そのフィールドを使って定義された検索順序番号の [検索] ボタンが使用可能になります。

[検索] ボタンをクリックすると、その番号の検索が実行されます。

検索が完了すると、自動的に検索結果ページに移動します。

検索結果ページ

検索結果ページ (HCR_SM_RESULTS) を使用して、手動検索による検索/マッチングの結果を表示し、ID の重複の可能性を検査します。

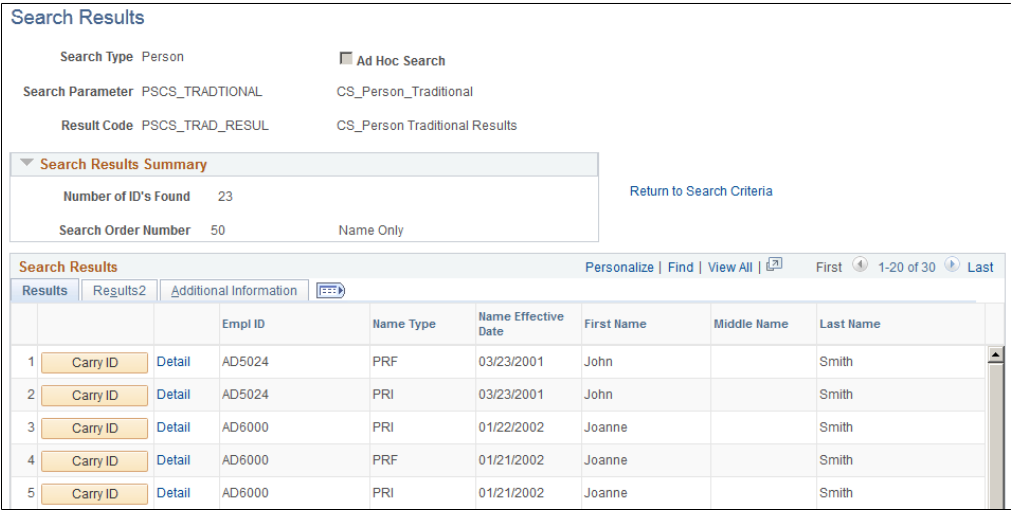
このページを、類似したオブジェクト名 (HCR_SM_RESULT) を持つ、検索結果フィールドの定義に使用する [検索結果] の設定ページと混同しないでください。

ナビゲーション

検索条件ページに条件を入力して [検索] ボタンをクリックするか、[順序番号による検索] の [検索] ボタンの 1 つをクリックして、手動検索を開始します。

画像: 検索結果ページ

次の例では、検索結果ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



画像: 検索結果ページ: その他の情報タブ (自動検索の場合)

次の例では、検索結果ページの [追加情報] タブ (自動検索の場合) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



検索条件ページで条件を入力して [検索] ボタンまたは [順序番号による検索] 領域のいずれかの [検索] ボタンをクリックすると、検索が開始され、上のページ例のような結果が表示された検索結果ページに移動します。

自動検索の場合は、下のページ例のような検索結果ページが表示されます。つまり、ID の作成が可能なコンポーネント名に検索パラメータ権限と検索結果権限の両方が設定され、検索/マッチングが自動的に開始されるように設定されている場合です。このように設定されたコンポーネントで ID を追加しようとしたときに、保存時に検索/マッチングにより重複の可能性がある ID が検出されると、検索結果ページに、

データベース内の少なくとも 1 つの ID が新規 ID 作成のために入力されたデータと一致していることを示す警告メッセージと、自動検索の実行に使用されたデータが表示されます。

画像: 検索結果 - 結果タブ (自動検索)

次の例では、検索結果ページの [結果] タブ (自動検索) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results

WARNING: Potential duplicates were found - this person may already exist in the database. Refer to the list below for possible matches to the person you are adding. After you select the return button at the bottom of the page, you'll be asked whether you want to continue adding this new person, or cancel this operation.

▼ Match Criteria

Data

Required	Description	Usage	Search Value
☒	First Name Search	Begins With	JO
☒	First Name Search	Begins With	JO
☒	Last Name Search	Begins With	SMIT
☒	Last Name Search	Begins With	SMIT
☒	Gender	Equals	U
☒	Gender	Equals	U

▼ Search Results Summary

Number of ID's Found3

Search Order Number40

Search Results

PersonalizeFindView All1-5 of 5FirstLast

ResultsResults2Additional Information

		Empl ID	Name Type	Name Effective Date	First Name	Last Name	National ID
1	Carry ID	FA0080	PRI	06/26/1998	Johanna	Smith	870679668
2	Carry ID	MUTA084	PRI	01/01/1996	Joe	Smith	314150279
3	Carry ID	MUIF025	PRI	01/01/1996	Jose	Smits	121211212

「検索/マッチングについて」を参照してください。

いずれの場合の検索結果ページでも、検索結果のリストや、検索で返されたレコードの詳細を表示することができます。また [ID の転記] をクリックすると、詳細な調査のため他のページにアクセスするときに ID が転記されるようにすることができます。

検索結果サマリ

ID の検索結果数

検索条件に一致した ID の数が表示されます。

この数は、[検索結果] グリッドに返された行の数より少ない場合がありますが、これはグリッドには同一の ID が何度も表示されることがあるためです。選択した検索結果コードに氏名フィールドが含まれている場合は、入力した検索条件に一致する氏名タイプおよび有効日ごとに行が返されます。検索結果コードに国民 ID フィールドが含まれている場合は、検索条件に一致するレコードに対して入力された国民 ID ごとに行が返されます。

Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

241

検索順序番号

検索結果が見つかった検索順序番号が表示され、検索の厳密性が示されます。つまり、この番号が小さいほど、検索の制限が多く、重複する ID が見つかった可能性が高いことになります。この番号は、返された ID が入力された条件と一致する度合いを示す指標として使用することができます。

検索結果

選択した検索結果コードに基づいて、[結果] および [結果 2] タブに列が表示されます。列内の値には、ユーザーのロール セキュリティに応じてマスクされるもの、一部マスクされるもの、全体が表示されるものがあります。

ID の転記

このボタンをクリックすると、この後でアクセスするページの検索ボックスの ID フィールドに ID が転記されるので、自分で ID を覚えておく必要がなくなります。

詳細

選択した検索結果コードに、ID の詳細を確認するページへのリンクをユーザーに表示する設定がされている場合は、[詳細] リンクが表示されます。

検索結果ページ: [その他の情報] タブ

このタブは、検索タイプが個人の場合にのみ表示されます。

雇用情報サマリ

このリンクをクリックすると、雇用情報サマリ ページにアクセスして、その個人の雇用情報を確認することができます。

機関との関係

このリンクをクリックすると、Campus Solutions の機関との関係詳細ページにアクセスして、その個人と機関との関係のタイプを特定し、それが探している個人なのかをより明確にすることができます。

注: このリンクは、PeopleSoft Campus Solutions を併用している場合に使用され、インストール テーブルの製品ページ (`INSTALLATION_TBL1`) で [Student Administration] チェックボックスか [Contributor Relations] チェックボックス、またはその両方をオンにしている場合にのみ表示されます。

外部検索/マッチングの設定と使い方

外部システム インテグレーションについて

PeopleSoft HCM と PeopleSoft Campus Solutions の製品スイートは、これまで伝統的に同じデータベースの共有インスタンス内に存在していました。この結合により、HCM と Campus Solutions は個人モデル、システム内の個人のシングル インスタンス、および HR Payroll を介した学生への還付処理を共有することができました。現在、HCM と Campus Solutions は別々のデータベース インスタンスに存在し、各製品スイートはそれぞれ独自のリリース サイクルに従っています。HCM 9.1 と Campus Solutions 9.0 は初めてそのような分離されたインスタンスです。オラクル社では、引き続き HCM と Campus Solutions の相互通信を可能にするための一連のインテグレーションをサポートします。

外部検索/マッチングは、HCM と Campus Solutions の異なるインスタンスどうしや、(カスタマイズによって) 別の任意の外部ターゲット システムとの間で、相互の方向に検索/マッチング機能を実行できるようにするツールです。

注: もし Oracle PeopleSoft HCM と Oracle PeopleSoft Campus Solutions の両方のお客様である場合は、外部検索/マッチングの FAQ (よくある質問)、ホワイト ペーパーおよび各種の実装ガイド (インテグレーション作業を支援するために Campus Solutions で開発されたもの) をお読みになることをご検討ください。これらのドキュメントは、My Oracle Support のドキュメント ID 1259484.1、CS バンドル番号 19 の「Functional Documentation for Campus Solutions 9.0 & Feature Pack 4」で公開されています。

外部検索/マッチングについて

外部検索/マッチング機能は、外観と操作感とも、PeopleSoft HCM に存在する標準の検索/マッチングによく似ています。ただし、外部検索/マッチングは外部システムと統合し、ユーザーはその外部システム内の検索を実行したり、レコードを個人レコードにインポートすることができます。目的は、HCM データベースの外部に存在する ID も含めて、環境全体で重複の可能性がある ID について完全かつ有効なリストを作成することです。

外部検索/マッチングは、用意されている 2 つの Web サービス オペレーションを利用して、これらの検索を実行します。その後、Web サービスを使用して、HCM データベース内に存在しない個人で一致する人物をインポートすることができます。Web サービスは、記録システムから外部システムにアウトバウンド検索 リクエストを送信し、さらに外部システムから直接インバウンドレスポンスを受信します。エンタープライズアーキテクチャの複雑化が進み、HCM が個人データの入力と管理の唯一のソースでなくなる可能性があるため、外部システムに対して検索を行うことで環境内に重複が存在しないことを保証します。

外部検索/マッチングでは、統合された別インスタンスのシステム内の個人のみが検索されます。外部検索/マッチングを使用して、HCM と Campus Solutions に対する検索を同時に行って重複の可能性がある個人レコードを特定し、そして HCM システムには一意の従業員 ID と個人レコードのみが追加されて、その従業員 ID がビジネス プロセス全体で引き継がれるようにします。このプロセスでは、HCM の検索結果ページ内に結合された結果が表示されます。

検索方法

内部の検索/マッチングと同様に、外部システム内の検索を実行するには、次の 2 つの方法があります。

- **オンライン検索:** 統合検索/マッチング コンポーネントに手動でナビゲートして、検索オプションを入力します。
- **自動検索:** ID の作成が可能な Campus Solutions コンポーネントから、ユーザーが [保存] をクリックすると、外部検索/マッチングがバックグラウンドで起動されます。

オンライン検索および自動検索は、いずれも外部検索/マッチングを使用して実行できます。

オンライン検索

オンライン検索を実行するには、次の手順に従います。

1. 統合検索/マッチング コンポーネントにアクセスします。
2. [検索タイプ]、[検索パラメータ]、[検索結果コード] および他の適切な検索フィールドを選択します (この手順は既存の検索/マッチングと同じです)。
3. これらのフィールドの一部または全てに検索データを入力してから、[検索] または [検索] ボタンをクリックします。

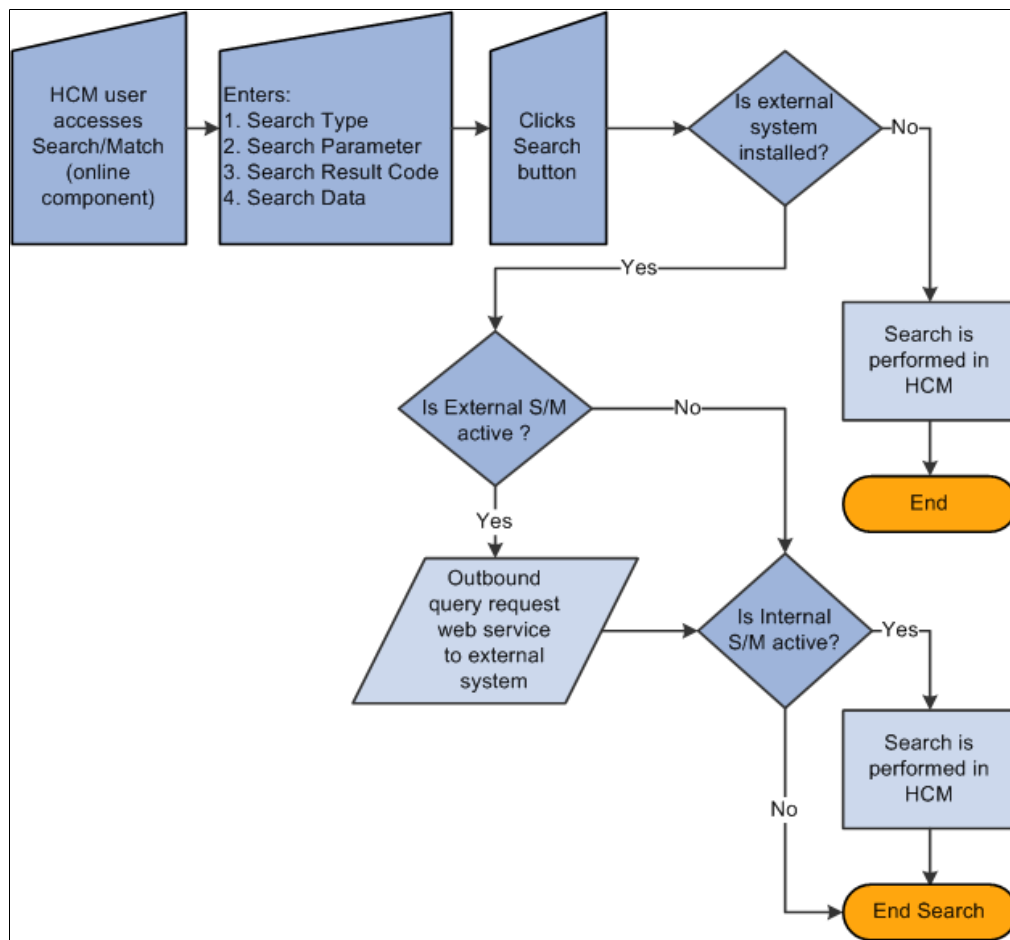
システムによって外部システムのデータ設定が検証され、組織でサポートされているのが検索/マッチングと外部検索/マッチングのいずれか、またはその両方であるのかが判別されます。この判別によって、その後、HCM データベース内と外部システムのいずれか、またはその両方に対して検索が実行されます。

外部検索を実行するようにシステムで決定された場合は、アウトバウンド検索リクエスト (マッチングリクエスト) が生成されます。その検索リクエストには、該当の検索に関する既知の全ての情報が含

まれます。その XML メッセージには、使用された検索パラメータや、検索フィールドとその値などが含まれます。

画像: オンライン検索のビジネス プロセス

次の図に、このオンライン検索のプロセスを示します。



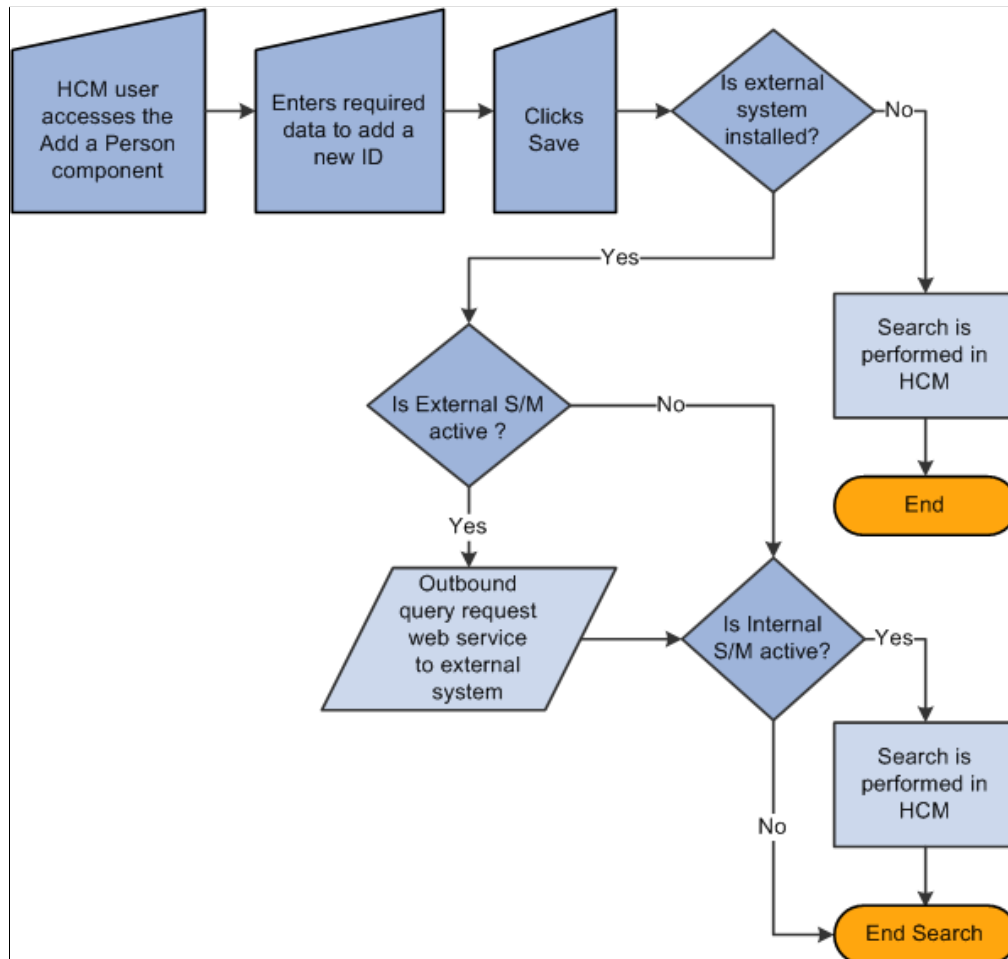
自動検索

自動検索を実行するには、前述の全ての情報を適用します。HCM のページでデータを入力して従業員 ID を作成し、[保存] ボタンをクリックすると、追加ロジックが呼び出されて、外部データ インテグレーション 設定が検証され、マッチング リクエストが生成されます。

注: この発行日の時点では、HCM 内から自動検索を使用することはできません。オラクル社の予定では、今後の更新で使用可能になる予定です。

画像: 自動検索のビジネス プロセス フロー

次の図に、自動検索のビジネス プロセス フローを示します。



外部検索/マッチング Web サービスについて

外部検索/マッチング機能によって起動されて使用される Web サービスが用意されています。具体的に、このような Web サービスには次のものがあります。

- マッチング サービス (SCC_SM_SERVICE)。
- フェッチ リクエストおよびフェッチ レスポンス (SCC_SM_FETCH)。

『PeopleSoft Campus Solutions Constituent Web Services Developer's Guide』で、これらの Web サービスの技術的な詳細 (たとえば、XML メッセージ コードの例など) について説明しています。

マッチング サービス

統合検索条件 ページで [検索] または [検索] ボタンをクリックすると、内部検索/マッチングと外部検索/マッチングのいずれか、またはその両方が実行されます。外部検索/マッチングでは、外部システムにマッチング リクエストが送信されます。これは、検索リクエストに含まれていた全てのフィールドが含まれる XML メッセージです。外部システムは、マッチング レスポンスを (同様に XML メッセージで) 返します。

外部システムへのマッチング リクエストの XML メッセージ (SCC_SM_SERVICE_REQ) では、次のようなシステム内の全ての情報が公開されます。

- 一致する候補が返される可能性がある全ての検索順序番号。
- 検索フィールド。
- 検索データ。
- 検索/マッチングの設定情報。

外部システムからのマッチング レスポンスの XML メッセージ (SCC_SM_SERVICE_RESP) には、次の情報が含まれます。

- 結果が見つかった検索順序番号およびルール。
- 一致する候補。
- 外部システム ID およびクロス リファレンス。
- 個人データ。

フェッチ リクエストおよびフェッチ レスポンス

統合検索結果ページで、従業員 ID がない個人の [詳細] または [インポート] ボタンをクリックすると、外部システムに対してフェッチ リクエストが送信されます。これは、外部システムの完全な個人レコードをリクエストする XML メッセージです。外部システムは、フェッチ レスポンスを (同様に XML メッセージで) 返します。

外部システムへのフェッチ リクエストの XML メッセージ (SCC_SM_FETCH_REQ) には、[インポート] または [詳細] ボタンが選択された対象の外部システム ID が含まれます。

外部システムからのフェッチ レスポンスの XML メッセージ (SCC_SM_FETCH_RESP) には、完全な個人レコードが含まれます。

外部システムからフェッチされた新しい個人レコードをインポートすると、

1. HCM システムで 従業員 ID が作成されます。
2. HCM システムで PERSON_BASIC_SYNC メッセージがパブリッシュされます (インテグレーション ブローカー内でこのメッセージがアクティブ化されている場合)。

My Oracle Support の『PeopleSoft Campus Solutions Constituent Web Services Developer's Guide』を参照してください。

検索結果

外部システムの検索プロセスで重複の可能性がある一致の検索が完了すると、レスポンス メッセージ (マッチング レスポンス) を介して結果データが HCM に送信されます。検索を実行して内部検索/マッチングと外部検索/マッチングの両方のプロセスが起動された場合に、同じ検索順序番号で結果が見つからないことがあります。外部検索/マッチング機能のルールでは、全ての検索結果は、取得された最も小さい検索順序番号 (一致する従業員 ID が見つかった最も制限の多い検索ルール) から表示されます。検索順序は結果エンジンによって決まります。

検索結果が表示される前に、結果エンジンは内部検索/マッチングと外部検索/マッチングの両方のプロセスから結果を受信します。エンジンは、各システムの一致候補の検索順序番号を評価します。

- 内部検索/マッチングで見つかった一致候補の検索順序番号が外部システムの番号より小さい場合、結果エンジンは内部検索/マッチングの結果を表示します (最も小さい検索順序は、制限が多い検索であったことを示します)。
- その反対に該当する場合、結果エンジンは外部検索で見つかった結果を表示します。
- 両方の検索で同じ検索順序番号で結果が取得された場合、結果エンジンは、それらの検索結果をユーザーのために一つにまとめて表示します。

呼び出されるのが内部検索/マッチングと外部検索/マッチングのいずれか、またはその両方であるのかにかかわらず、検索結果は統合検索結果ページに表示されます。このページには、検索結果ページと同じフィールドが多数含まれます。また、[結果] タブには、外部システム ID や従業員 ID などのオプションの列も含まれます。[結果] タブでは、検索/マッチング用に設定されたものと同じマスク設定が使用されます。

外部検索/マッチングで内部システムに存在しない一致候補が見つかった場合、ユーザーは [詳細] リンクを使用してその個人の情報を表示することができます。[詳細] リンクをクリックすると、詳細のためのアウトバウンド Web サービス リクエスト (フェッチ リクエスト) が生成されます。外部システムはリクエストを受け取り、そのレスポンス Web サービス (フェッチ レスポンス) に詳細な個人情報を含めて返します。次に、詳細ページ内に詳細な情報が表示され (ただし保存はされません)、ユーザーはデータを確認することができます。

その一致候補が自分が探している人物であると判断できた場合は、統合検索結果ページから個人レコードをインポートすることができます。[インポート] ボタンをクリックすると、フェッチ リクエスト (個人に関する詳細を取得するために使用されるものと同じ Web サービス) が生成され、そのフェッチ レスポンスに含まれる情報を使用して HCM データベース内に新しい個人レコードが作成されます。個人の従業員 ID を生成した後は、その ID を使用して以降のトランザクションを実行できます。

外部検索/マッチングの設定

次の各トピックでは、外部検索/マッチングの設定の前提条件と、外部検索/マッチングの設定について説明します。

外部検索/マッチング機能の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
外部システム インテグレーション ページ	SCC_EXT_SYSTEM	個人データ用に HCM と統合されている外部システムを指定します。
外部システムによる検索/マッチング ページ	SCC_CS_HUB_INSTALL	外部システムと統合するときの外部検索/マッチングのオプションを指定します。

関連リンク

[検索/マッチングについて](#)

前提条件

現在の検索/マッチング設定を変更しなくてもかまいませんが、外部システムで提供される検索機能を最大限に活用するため、設定を見直すことをお勧めします。

- 検索結果: 統合された外部システム内に保存されていないフィールドが結果コードに含まれるときに、返された個人が HCM システムの従業員 ID を持っている場合、結果エンジンは HCM データベース内のデータをフェッチして [結果] タブにロードします。

たとえば、ユーザーが使用している検索結果コードに職務コード フィールドが含まれているとします。この情報が外部システムに保存されていない場合、結果エンジンは返された従業員 ID を使用して HCM データベースをフェッチし、情報を取得します。これは、従業員 ID が付いて返された一致候補の場合も同様です。一致候補が HCM データベースに保存されていない場合 (従業員 ID が存在しない場合)、その候補の [職務コード] 列は空白のままとなります。

- 検索結果コードのマスク設定: マスク設定が付いた検索結果コードを使用して、外部システムから表示用の結果が返された場合、システムでは既存の設定が再利用されます。

また、次の Web サービスを起動するようにインテグレーション ブローカーを設定する必要があります。

- SCC_SM_FETCH (検索/マッチング フェッチ サービス)。
- SCC_SM_SERVICE (外部検索/マッチング サービス)。

最後に、ユーザーに統合検索/マッチング コンポーネントへのセキュリティを付与する必要があります。

注: 検索/マッチング コンポーネントの中に含まれる全ての検索機能は、統合検索/マッチング コンポーネントの中に含まれます。

外部システム インテグレーション ページ

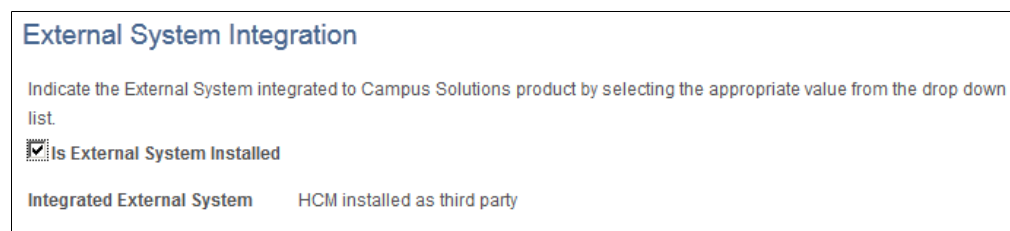
外部システム インテグレーション ページ (SCC_EXT_SYSTEM) を使用して、個人データ用に HCM と統合されている外部システムを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [外部システム検索/マッチング]

画像: 外部システム インテグレーション ページ

次の例では、外部システム インテグレーション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



外部システム インストール済

このチェック ボックスは、HCM が外部システムに統合されているかどうかを示すために使用します。このチェック ボックスがオフである場合、ページ上の他のフィールドは入力できません。

ユーザーが検索/マッチングを実行すると、システムでこのインジケータが評価されて、外部検索/マッチング機能呼び出すかどうか判定されます。

統合された外部システム

"HCM-サードパーティとしてインストール" は、HCM システムと Campus Solutions システムが別のインスタンスに存在し、管理ユーザーがこの 2 つを直接統合した外部システムとして、Campus Solutions システムを区別したことを示します。

外部システムによる検索/マッチング ページ

外部システムによる検索/マッチング ページ (SCC_CS_HUB_INSTALL) を使用して、外部システムと統合するときの外部検索/マッチングのオプションを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [検索/マッチング], [外部システムによる検索/マッチング], [外部システムによる検索/マッチング]

画像: 外部システムによる検索/マッチング ページ

次の例では、外部システムによる検索/マッチング ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Match with External Sys

External Search/Match Options

Search/Match Options

Search Type	*Search/Match Option	*Status		
Person	External Search/Match	Active	+	-
Person	Internal Search/Match	Active	+	-

Static Columns to display in the Results Grid

	*Default Column Name	Display Name		
1	Universal ID	CS Employee ID	+	-
2	Employee ID	Employee ID	+	-

外部システム インテグレーション ページの [外部システム インストール済] チェック ボックスがオフである場合は、次のメッセージが表示されます: “現在、Campus Solutions で設定された外部システムはありません。外部システムを設定するには、外部コア データ インテグレーション ページにナビゲートしてください。”

検索/マッチング オプション

このグループ ボックス内のフィールドでは、新しい個人が追加されたり、個人情報詳細ページが更新されて保存されたときに、どのような条件で検索/マッチング、外部検索/マッチング、またはその両方が使用されるかを決定します。

検索タイプ

"個人"、"応募者" または "組織" を選択します。

注: 現在は、"個人" オプションのみ選択できます。他の検索タイプはまだ外部検索/マッチングと統合されていません

検索/マッチング オプション

外部システムがインストールされている場合に、どの検索/マッチング機能を使用するかを選択します。

"内部検索/マッチング" を選択してステータスをアクティブにした場合、検索/マッチング プロセスが HCM データベース内の個人 ID を検索します。

"外部検索/マッチング"を選択してステータスをアクティブにした場合、外部検索/マッチング プロセスが、統合された外部システム (HCM システムと外部の Campus Solutions システム、またはターゲットに指定された任意の外部システム) 内の個人 ID を検索します。

注: 両方の検索は同時に選択することができ、これら両方の検索結果は同じ統合検索結果ページに表示されます。

結果グリッドに表示する静的列

このグループ ボックス内のフィールドには、統合検索結果ページの [結果] グリッド内に表示する追加の列に関する情報が含まれます。

デフォルトの列名

"従業員 ID" および "ユニバーサル ID" を選択します。

これらは用意されているトランスレート値です。変更しないでください。

"従業員 ID" はデフォルトで表示されます (内部の検索/マッチングと同様)。

"ユニバーサル ID" は、使用中の外部システム ID を表す一般用語です。選択すると、[結果] グリッドの [追加情報] タブ内に外部システム ID が表示されます。

注: "スコア" は、外部システムで見つかった一致にランキングを付ける方法を表す一般用語です。それは、見つかった結果の重みまたは精度です。パーセントまたは数値で表されることもあります。もし外部システムにランキング機能がない場合は、このオプションを選択しないでください。選択した場合は、[結果] グリッドの最初に列が表示されます。

"スコア" を選択した場合、[結果] グリッドの検索結果は、スコアの降順と従業員 ID の昇順でソートされます。"スコア" を選択しなかった場合、検索結果は従業員 ID の昇順のみで表示されます。

表示名

[結果] グリッドに表示される静的な列のカスタム列名を入力します

外部検索/マッチングの使い方

次の各トピックでは、PeopleSoft HCM 内からの外部検索/マッチングの使用方法、外部検索/マッチングの使い方の概要、および外部検索/マッチングの使い方について説明します。

外部検索/マッチングに使用するページ

ページ名	定義名	用途
検索条件ページ	HCR_SM_SEARCH	外部システム内の重複する個人レコードを検索するための条件を入力します。ページへのアクセスに SCC_SM_SEARCH コンポーネントが使用された場合は、外部検索/マッチングの評価が実行されます。
統合検索結果ページ	SCC_SM_RESULTS	外部システム検索による検索/マッチングの結果を表示し、ID の重複の可能性を检查します。
個人情報詳細ページ	SCC_SM_RESP_DTL	外部システム内に保存されている個人データを表示します。
地域ページ	SCC_BIO_DEMO_REG	外部システム内に保存されている地域データを表示します。

関連リンク

[外部検索/マッチングの設定](#)

検索条件ページ

検索条件ページ (HCR_SM_SEARCH) を使用して、外部システム内の重複する個人レコードを検索するための条件を入力します。

ページへのアクセスに SCC_SM_SEARCH コンポーネントが使用された場合は、外部検索/マッチングの評価が実行されます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [個人情報], [検索/マッチング (内部/外部)]

画像: 検索条件ページ (1/2)

次の例では、検索条件ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Criteria

Search Type Person

Ad Hoc Search

Search Parameter PSCS_TRADITIONAL

CS_Person Traditional

Search Result Rule

Search Result Code PSCS_TRAD_RESUL

CS_Person Traditional Results

User Default

Search

Clear All

Carry ID reset

Search Criteria

Search Fields	Value
Address Line 1	
City	
First Name Search	JOHN
Last Name Search	SMITH
Date of Birth	

画像: 検索条件ページ (2/2)

次の例では、検索条件ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Gender	
National Id	
Search by Order Number	
Search Order	Description
10	Name,Addr,City,Bday,Gender,SSN
20	SSN Only
30	Name,Bday,Gender
40	Name,Gender
50	Name Only

このページのフィールドは、検索/マッチング ページのフィールドと同じです。ただし、SCC_SM_SEARCH コンポーネントには、[検索] または [検索] ボタンをクリックしたときに外部システムのデータ設定を評価するロジックが含まれています。これは、[検索タイプ] が "個人" である場合のみ該当することに注意してください。

注: [検索タイプ] が "応募者" または "組織" の場合、システムで検索/マッチングが起動されるのは、外部システムに対する検索/マッチング オプション ページで [外部検索/マッチング] が非アクティブに設定され、[内部検索/マッチング] がアクティブに設定されている場合のみになります。

統合検索結果ページ

統合検索結果ページ (SCC_SM_RESULTS) を使用して、外部システム検索による検索/マッチングの結果を表示し、ID の重複の可能性を検査します。

ナビゲーション

検索条件ページに条件を入力して [検索] ボタンをクリックするか、[順序番号による検索] の [検索] ボタンの 1 つをクリックして、手動検索を開始します。

外部検索/マッチングが起動され、見つかった一致候補の検索ルール番号が検索/マッチングの番号以下である場合は、統合検索結果ページが表示されます。

画像: 統合検索結果ページ - [結果] タブ

次の例では、統合検索結果ページの [結果] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Integrated Search Results

Search Type: Person

☐ Ad Hoc Search

Search Parameter: PSCS_TRADITIONAL

CS_Person_Traditional

Result Code: PSCS_TRAD_RESUL

CS_Person Traditional Results

▼ Search Results Summary

[Return to Search Criteria](#)

Number of ID's Found: 11

Search Order Number: 50

Name Only

Search Results

Customize | Find | View All | 1-17 of 17 | First | Last

Results

Results2

Additional Information

...

		Employee ID	Name Type	Name Effective Date	First Name	Middle Name	Last Name
Import	Detail		PRI		Julia		Belknap
Import	Detail		PRI		John		Bell
Import	Detail		PRI		John		Bell
Import	Detail		PRI		John		Bell
Import	Detail		PRF		Joshua	K	Bell
Import	Detail		PRF		Jean	Marcel	Beliveau
Carry ID	Detail	FA0141	PRI	07/09/1998	Joshua		Belle
Carry ID	Detail	FA0141	PRI	02/24/1999	Joshua	L	Belle

画像: 統合検索結果ページ - [結果2] タブ

次の例では、統合検索結果 - [結果2] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Integrated Search Results

Search Type: Person

☐ Ad Hoc Search

Search Parameter: PSCS_TRADITIONAL

CS_Person Traditional

Result Code: PSCS_TRAD_RESUL

CS_Person Traditional Results

▼ Search Results Summary

[Return to Search Criteria](#)

Number of ID's Found: 11

Search Order Number: 50

Name Only

Search Results

[Customize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [First](#) | [1-17 of 17](#) | [Last](#)

Results

Results2

Additional Information

☰

		Employee ID	National ID	Date of Birth	Gender	Campus ID
Import	Detail		999999999	09/26/1980		
Import	Detail		047760110	06/13/1972		
Import	Detail		299001220	03/15/1962		
Import	Detail		553994187	01/07/1962		
Import	Detail		977667867	07/19/1982		
Import	Detail		505881236	06/06/2001		
Carry ID	Detail	FA0141	977667867	07/19/1982	M	
Carry ID	Detail	FA0141	977667867	07/19/1982	M	

画像: 統合検索結果ページ - [追加情報] タブ

次の例では、統合検索結果ページの [追加情報] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Integrated Search Results

Search Type: Person ☐ Ad Hoc Search

Search Parameter: PSCS_TRADITIONAL CS_Person Traditional

Result Code: PSCS_TRAD_RESUL CS_Person Traditional Results

▼ Search Results Summary [Return to Search Criteria](#)

Number of ID's Found: 11

Search Order Number: 50 Name Only

Search Results

Customize | Find | View All | 1-17 of 17 | Last

Results Results2 Additional Information

		Employee ID	CS Employee ID		
Import	Detail		KALK08	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Import	Detail		IU520006	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Import	Detail		GXEFA3	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Import	Detail		GXEFA03	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Import	Detail		FA0141	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Import	Detail		CCCM0026	Person Organizational Summary	Relations With Institution
Carry ID	Detail	FA0141		Person Organizational Summary	Relations With Institution
Carry ID	Detail	FA0141		Person Organizational Summary	Relations With Institution

このページのフィールドの多くは、検索結果ページのフィールドと同じです。ただし、いくつか重大な違いがあります。

- HCM の従業員 ID がないレコードは、[検索結果] グループ ボックスで最初に表示されます。
- HCM の従業員 ID がないレコードには、外部システム ID が割り当てられます。
- HCM の 従業員 ID が存在する場合は、[詳細] リンクからアクセスしたページで、HCM システムの ID レコードの詳細を表示できます。
- HCM の 従業員 ID が存在しない場合は、[詳細] リンクからアクセスしたページで、外部システムのデータの詳細を表示できます。
- 外部システムの個人が条件を満たす場合、[インポート] ボタンが表示されます。
- 外部システムに対する検索/マッチング オプション ページで定義された設定に基づいて、外部システム ID の列が表示されます。列見出しは、"ユニバーサル ID" 列に定義された表示名 (今回の場合は "CS 従業員 ID") によって決まります。
- マスク設定は、一致する全ての個人に適用されます (従業員 ID がない個人にも適用されます)。
- 外部検索/マッチングで見つかった一致する個人レコードの場合、このページには、必ずしも外部システム内に保存されているとは限らない情報も表示されます (たとえば、Campus Solutions の [補助年度])。

ID の検索結果数

検索/マッチングと外部検索/マッチングの両方、検索/マッチングのみ、または外部検索/マッチングのみで返された異なる ID の合計数が表示されます。

検索順序番号

結果が見つかった検索順序番号が表示されます。

内部検索および外部検索で異なる検索ルールで結果が見つかった場合、結果エンジンは、両方の検索で返された検索順序番号を評価し、最も小さい検索順序番号 (最も制限が多い検索) で結果が見つかった検索の結果を表示します。

内部検索および外部検索で同じ検索ルールで結果が見つかった場合、結果エンジンはその両方を表示します。

検索結果

このグループ ボックス内のフィールドは、検索結果ページのフィールドに似ています。HCM データベースと外部システムの両方から返された結果と、返された ID の補足データが表示されます。ただし、それらの列は動的なもので、個人データ情報やトランザクション データ情報が参照されることもあります。ここに表示される静的な列の定義は、外部システムに対する検索/マッチング オプション ページで行います。

[インポート] または [ID の転記]

[ID の転記] ボタンは、従業員 ID が存在する場合に表示されます。そうでない場合は、[インポート] ボタンが表示されます。ユーザーが [インポート] ボタンを使用できるかどうかは、個人の追加および個人の更新コンポーネントへのセキュリティ アクセスによって制御されます。

個人が HCM システムに存在しない場合に [インポート] ボタンをクリックすると、外部システム データをインポートすることができます。ボタンをクリックすると、新しい ID をシステムに作成するかどうかをたずねるメッセージが表示されます。

[はい] をクリックすると、外部システムの完全な構成レコードを要求するフェッチ リクエストが実行されます。外部システムからのフェッチ レスポンスをシステムが受信すると、それに含まれる個人データを使用して新しい従業員が作成されます。

データのインポートが正常に終了すると、[検索結果] グループボックスはリフレッシュされ、新しく作成された従業員が表示されて、その個人の行の [インポート] ボタンは [ID の転記] に変わります。他のインポートは実行できないことに注意してください (全ての [インポート] ボタンは使用不可になります)。これは、ユーザーが複数の一致候補をインポートしないようにするためです。

[はいえ] をクリックすると、データのインポートは行われずに統合検索結果ページに戻ります。

詳細

HCM の従業員 ID が存在する場合は、このリンクをクリックすると、検索結果コード内で設定されたページにアクセスして、個人の詳細情報を表示することができます。HCM 用のデフォルトページは、個人情報詳細 (PERSONAL_DATA1) です。

個人に対する HCM の従業員 ID が存在しない場合に、このリンクをクリックすると、外部システムから完全な構成レコードを取得するためのフェッチ リクエストが呼び出されます。外部システムからのフェッチ レスポンスをシステムが受信すると、個人情報詳細 (SCC_SM_RESP_DTL) ページにレスポンス内の個人データが表示されます。

注: [インポート] ボタンと [詳細] リンク (従業員 ID が存在しない場合) では、いずれも同じフェッチ リクエストが生成されます。フェッチ リクエストが [インポート] ボタンから生成された場合、フェッチ レスポンス内で受信されたデータはデータベースへの保存のみが行われます。そのため、インポートをする前に、常に詳細情報を確認することをお勧めします。

追加情報

外部システムに対する検索/マッチング オプション ページで、静的な列 "ユニバーサル ID" の表示を選択した場合、[追加情報] タブに外部システム ID の列が表示されます。列見出しは、定義された表示名 (今回の場合は "CS 従業員 ID") によって決まります。

個人情報詳細ページ

個人情報詳細ページ (SCC_SM_RESP_DTL) を使用して、外部システム内に保存されている個人データを表示します。

ナビゲーション

検索結果ページで、従業員 ID がない一致候補の [詳細] リンクをクリックします。

注: 次を示すサンプル コンポーネントは 個人情報詳細 (SCC_SM_RESP_DTL) で、HCM の 従業員 ID が不在個人の [詳細] リンクをクリックすると、このコンポーネントにアクセスします。

画像: 個人情報詳細ページ (1/2)

次の例では、個人情報詳細ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Biographical DetailsRegional

Universal ID: FA0141Score:

This component only lists the information known about the individual. The data is stored outside of your database. To create an ID using this data, press the import button.

Import

Current Names

CustomizeFindView All1-2 of 2Last

Name Type	Name	Effective Date	Status
Primary	Joshua Bell	03/23/2000	Active
Preferred	Joshua Bell	03/23/2000	Active

Personal Information

Date of Birth:07/19/1982

Biographical Information

Effective Date:03/23/2000

Marital Status:Single

Gender:Male

Highest Education Level:A-Not Indicated

☐ Full-Time Student

National ID

CustomizeFindView All1 of 1Last

Country	National ID Type	National ID	Primary ID
USA	Social Security Number	977667867	Y

画像: 個人情報詳細ページ (2/2)

次の例では、個人情報詳細ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Phone Numbers

CustomizeFindView All1-2 of 2Last

Phone Type	Telephone	Phone Extension	Country Code	Preferred
Main	301/897-4094			Y
Other	301/897-4094		001	N

Current Addresses

CustomizeFindView All1-3 of 3Last

Address Type	Address	Effective Date	Status
Permanent	585 Harrogate Road Pittsburgh, PA 15241	02/02/1998	Active
Mailing	37 Van Reyden Rd Bethesda, MD 20814	03/23/2000	Active
Home	ADDRESS1 ADDRESS2 ADDRESS3	02/24/1999	Active

Missing Information

No Email Address Information

No Regional Information

このページには、HCM データベースに保存されていないデータのセクションが表示され、これらのデータは [インポート] ボタンをクリックしない限り HCM データベースに保存されません。

このページには、次の条件に基づいてメッセージが表示されます。

注: データが存在しない場合、フィールドは表示されずに、不足している情報 グループ ボックスにメッセージが表示されます。

データ領域	条件	メッセージ
現在の氏名	氏名情報が存在しない	現在の氏名情報がありません
個人情報	個人情報が存在しない	個人情報がありません
個人情報 (Biographic)	個人情報 (Biographic) が存在しない	個人情報 (Biographic) がありません
国民 ID	国民 ID 情報が存在しない	国民 ID 情報がありません
電子メール アドレス	電子メール アドレス情報が存在しない	電子メール アドレス情報がありません
電話番号	電話情報が存在しない	電話番号情報がありません
現住所	住所情報が存在しない	住所情報がありません
地域	地域データが存在しない	地域情報がありません

インポート

このボタンをクリックすると、外部システム ID と表示されている全ての情報を HCM システムにインポートして、従業員 ID を作成します。

現在の氏名

履歴

このリンクは、外部システム ID に、現在の行以外の過去の日付または将来の日付が含まれている場合にのみ表示されます。リンクをクリックすると、氏名タイプの履歴ページにアクセスできます。

現住所

履歴

このリンクは、外部システム ID に、現在の行以外の過去の日付または将来の日付が含まれている場合にのみ表示されます。リンクをクリックすると、住所タイプ履歴ページにアクセスできます。

地域ページ

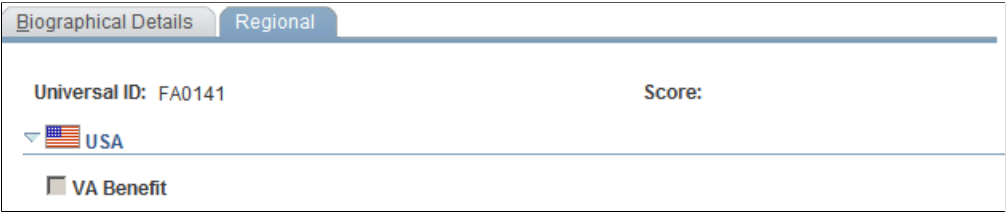
地域ページ (SCC_BIO_DEMO_REG) を使用して、外部システム内に保存されている地域データを表示します。

ナビゲーション

統合検索結果ページの [詳細] リンクをクリックし、次に [地域] タブをクリックします。

画像: 地域ページ

次の例では、地域ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページは、データが表示されている場合にのみ使用できます。フェッチ レスポンスに地域情報が含まれていない場合、個人情報詳細ページの 不足している情報 グループ ボックスに次のメッセージが表示されます。

データ領域	条件	メッセージ
地域	地域データが存在しない	地域情報がありません

言語の設定と使い方

PeopleSoft の言語サポートについて

複数国対応システムで重要となるのは、言語のサポートです。PeopleSoft では、効率の良い多国語処理が提供されています。たとえば、セッションの最中に言語を切り替える場合、言語設定用の 1 つのフィールドの値を変更するだけで、システム全体が自動的に新しい言語に切り替わります。1 回のセッションで、ドイツ語から英語、英語からフランス語に変更し、またドイツ語に戻すことができます。このセクションでは、PeopleSoft の言語サポートの概要について説明します。

PeopleSoft では、いくつかの方法で多言語機能がサポートされています。PeopleTools には、フィールドラベル、ページ表示、メニュー アイテムなどを別の言語に翻訳するツールが組み込まれています。ログオンすると、画面内容は全てユーザーの指定した言語で表示されます (翻訳されている言語に限ります)。

PeopleSoft を修正してフィールド、ページ、メニュー アイテムなどを新規追加する場合は、PeopleTools に組み込まれている機能を使って、追加したアイテムを目的の言語に翻訳できます。

アプリケーションを修正する際は、多言語機能を完全に維持するために、新規に作成したアイテムを翻訳して登録します。1 つの言語しか使用していなければ、その言語で新規アイテムを入力するだけで済みます。ただし、複数の言語を使う場合は、新規アイテムを翻訳しておかないと、システムを別の言語に切り替えても、そのアイテムは元の言語のままで表示されます。その結果、同じページに複数の言語が表示されてしまうことがあります。

次の表は、サポートしている言語と言語コードの一覧です。

言語コード	言語
CFR	カナダ フランス語
DAN	デンマーク語
DEU	ドイツ語
DUT	オランダ語
ESP	スペイン語
FRA	フランス語
ITA	イタリア語
JPN	日本語

言語コード	言語
KOR	韓国語
POL	ポーランド語
POR	ブラジル ポルトガル語
SVE	スウェーデン語
ZHS	簡体字中国語
ZHT	繁体字中国語

注: システム内のオブジェクトは、システムの出荷前に一度翻訳されます。これにはアプリケーションのページとメニュー アイテムが全て含まれています。ただし、新規にレコードを作成したりデータを追加する場合、新規のフィールド ラベルやデータ (名称、コメント、説明、略称など) を必ず翻訳してください。

『PeopleTools: Global Technology』を参照してください。

使用言語の設定

次の各トピックでは、使用言語の設定について説明します。

注: PeopleSoft には、使用言語の選択機能が標準装備されています。使用しているシステムの基本言語にかかわらず、PeopleSoft アプリケーションは、サポートされているどの言語でも表示できます。

ブラウザの使用言語の設定

PeopleSoft では、サポートされている各言語のサイン イン ページを表示できます。ただし、PeopleSoft のページはインターネット ブラウザで表示されるので、使用する言語がブラウザでサポートされていることを確認しておく必要があります。ブラウザの言語設定を確認して、使用する言語を選択してください。

一度設定が済むと、[言語] の各リンクをクリックするだけで、指定した言語でサイン イン ページを表示できます。ここで選択する言語によって、PeopleSoft インターネット アーキテクチャで表示されるアプリケーション全体の言語が決まります。

注: マイ システム プロファイル ページ (USER_SELF_SERVICE) で指定する言語コードは、レポート実行または電子メール作成の場合にのみ適用されます。

使用言語の設定ページの使い方

PeopleSoft アプリケーションにログインした後は、使用言語の設定ページを使えば、セッション中いつでも使用言語を変更することができます。使用言語の設定を変更すると、システム全体が新規の言語で表示

されるようになります (翻訳済みである場合)。使用言語を変更しても、言語コードの変更はデータベースに書き込まれず、そのセッションの間だけ PeopleTools のメモリに保存されます。

ここで指定する言語コードは、現在のセッションにおいて、その後使用される言語になります。現在のセッションからログオフするか、または再度使用言語を変更するまで、この言語が使われます。また、ツール設定では、この言語コードによって、数字、日付、通貨などに国別のフォーマットが適用されます。セッション中に言語コードを変更しても、ユーザー プロファイルの言語設定には影響しません。次のログイン時には、ユーザー ID に関連付けられた言語が表示されます。

使用言語を変更すると、ページ、メニュー、フィールドの内容などが全て、新規の使用言語で表示されます。

注: PeopleSoft の使用言語オプションは、Windows の言語オプションとは無関係です。Windows の言語パラメータを変更するには、[スタート]、[設定]、[コントロール パネル] の順に選択します。

『PeopleTools: Global Technology』および『PeopleTools: Security Administration』を参照してください。

フリガナ文字セットの使い方

次の各トピックでは、フリガナ システム アーキテクチャの概要と、以下の方法について説明します。

- フリガナ機能のシステム設定
- フリガナ情報の入力
- フリガナを使ったレコード検索
- フリガナ システム アーキテクチャの使い方

フリガナについて

PeopleSoft HCM では関連言語テーブル アーキテクチャが使用されているため、ユーザーは複数の言語を使用してデータを入力したり、基本言語テーブルと関連言語テーブルを切り替えて情報を複数の言語で表示することができます。また、フリガナ システム アーキテクチャが使用されているため、ユーザーは 1 つの言語に対して 2 つの文字セットを使用することができます。

フリガナ システム アーキテクチャは、固有名詞の入力の際に 2 つの文字セットが必要とされる中国語や日本語などに対応しています。2 つの文字セットが必要なのは、固有名詞をバイナリ順ではなく、読み方順でソートできるようにするためです。日本語で氏名や名称などの固有名詞を入力する場合は、漢字と、その読み方を表す文字セットの両方を使える機能が必要です。PeopleSoft HCM で日本語を読み方順にソートできるようにするには、固有名詞を漢字で入力し、さらに読み方をKatakanaやHiragana、Romajiで入力できるよう、システムを設定する必要があります。

重要 (JPN) 読み方にどの文字セットを採用するかを選択を行う際は、読み方の文字セット情報の入力方法を統一することが重要です。技術的な観点から言えば、システムでは、単純に読み方の文字にバイナリソート方式が適用されます。そのため、PeopleSoft HCM では、読み方が同じでも文字が異なる場合は、読み方でまとまってソートされません。たとえば、*Hiragana*の "ま" はひらがなの "み" より前に、また*Hiragana*の "ぼ" より後に表示されます。カタカナの "マ" がソート対象に含まれていた場合は、*Katakana*の "ミ" の前に来ますが、カタカナは、*Hiragana*の文字が全てソートされた後に表示されます。

(CHN) 中国政府では中国語のローマ字表記 (Hanyu Pinyinとも呼びます) を公式な方法として採用しているため、英数字 (ローマ字) をフリガナ文字セットとして使用することを強くお勧めします。

『PeopleTools: Global Technology』を参照してください。

フリガナ システム アーキテクチャについて

PeopleSoft HCM では、氏名、住所、および説明に関するフィールドには、レコードの一部として対応フリガナ フィールドが付いていることがあります。このアーキテクチャにより、ユーザーは 1 つの固有名詞の入力に 2 つの文字セットを使用することができます。

グローバル ページ関連のフリガナ フィールド

以下の表は、PeopleSoft HCM におけるフリガナ フィールドとそれに関連するグローバル ページのリストです。

ページ	2 次ページ	フィールド	コメント
BANK_BRANCH_EC		BRANCH_NAME_AC	
BANK_EC		BANK_NAME_AC	
COMPANY_TABLE1	COMPANY_ACDESCR_SEC	DESCR_AC	
COMPANY_TABLE1	COMPANY_ACADDR_SEC	COMPANY_ACADDR_SBP	COMPANY_TBL.CITY_AC COMPANY_TBL.ADDRESS1_AC COMPANY_TBL.ADDRESS2_AC DERIVED_GBL.POSTAL_BTN ADDR_POS_JPN_SEC
DEPEND_BENEF1	DEPENDBN_ACNAME_SEC	NAME_AC	
ESTAB_TBL1_GBL	ESTAB_ACDESCR_SEC	DESCR_AC	

ページ	2 次ページ	フィールド	コメント
ESTAB_TBL1_GBL	ESTAB_ACADDR_SEC	ESTAB_ACADDR_SBP	ESTAB_TBL.CITY_AC ESTAB_TBL.ADDRESS1_AC ESTAB_TBL.ADDRESS2_AC DERIVED_GBL.POSTAL_BTN
HS_NON_EMPL1	HS_NE_ACNAME_SEC	NAME_AC	
PERSONAL_DATA1 APP_PERSONAL_DATA1	PERSDTA_ACADDR_SEC	PERSDTA_ACADDR_SBP	PERS_DATA_EFFDT.CITY_AC PERS_DATA_EFFDT.ADDRESS1_AC PERS_DATA_EFFDT.ADDRESS2_AC DERIVED_GBL.POSTAL_BTN ADDR_POS_JPN_SEC
PERSONAL_DATA1 APP_PERSONAL_DATA1	PERSDTA_ACNAME_SEC	NAME_AC	
PYE_BANKACCT		ACCOUNT_NAME_AC	
SRC_BANK		ACCOUNT_NAME_AC	
STATE_NAMES_TBL	STATE_ACDESCR_SEC	DESCR_AC	
TRN_INSTRUCTR_TBL1	TRN_INS_ACNAME_SEC	NAME_AC	
NAMES	NAMES_ACPREFNM_SEC	NAME_AC	

フリガナ フィールドによるレコード検索

以下は、レコード内またはサブレコード内にフリガナ検索キー (NAME_AC) を持つ PeopleSoft HCM 検索レコードです。これらのレコードではフリガナの入力と表示が可能です。

- NAMES
- NAMES_SS_TMP
- NE_INCIDENT_SRCH

- NE_PERSONAL_DTA
- OPR_ROWS_EE
- OPR_ROWS_EE2
- PERSON_NAME
- PERS_SRCH_ALL
- PHYSICIAN_SRCH
- PHYSICIAN_SRCH2
- SHS_EMPL_TAO
- SHS_EXEMPT_TAO
- SSF_PERSON_VW
- SUCCESS_TR_SRCH
- TRN_DMNDDEE_SRCH
- TRN_INSTR_SRCH
- UPG_NAMES_TAO
- WCS_NAME_SCH_VW
- WF_PERSON_NAME
- WORKER_PROMPT

注: このリストには、ヒューマン リソース管理システム以外のレコードは含まれていません。

フリガナでソートする PeopleSoft ヒューマン リソース管理レポート

以下は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で [氏名] フィールドまたは [フリガナ] フィールドでソートするレポートを、システムの基本言語とレポート言語の設定環境別に挙げたものです。

基本言語	レポート言語	レポート ソート順
英語	日本語	BASE.NAME_AC
日本語	日本語	BASE.NAME_AC
英語	英語	BASE.NAME
日本語	英語	BASE.NAME

SQR/BI Publisher レポート

以下の SQR/BI Publisher レポートでは、レポートの言語と基本言語の設定に基づいて、日本語がフリガナでソートされます。

レポート ID	説明
PER001	部門内人事通知
PER002	従業員の生年月日
PER004	緊急連絡先
PER005	休職中の従業員
PER007	臨時従業員
PER009	組合員リスト
PER011	社内技能のインベントリ
PER012	部門別給与
PER013	給与変更従業員
PER020	従業員の住所録
PER023	給与履歴
CMP003	給与等級と職務コードによる相対比率分析
CMP004	下限以下の給与分析
CMP005	上限以上の給与分析

注: このリストには、[氏名] でソートされる国別の法定レポートは含まれていません。

フリガナ機能のシステム設定

このトピックでは、PeopleSoft HCM のフリガナ機能の設定方法について説明します。

PeopleSoft HCM でフリガナ機能を設定するには、次の手順に従います。

1. インストール テーブルのフリガナ ページ (ALT_CHAR_TBL) で、フリガナ文字タイプを言語コードとリンクさせます。

この設定は、PeopleSoft HCM 全体のインストールに影響します。

注: このページで、各ユーザーがサインオン ページで選択した言語に対応するフリガナ文字セットを定義します。

2. プライマリ権限リスト基本設定ページ (OPR_DEF_TBL_HR) で、特定ユーザー ID に対し、[フリガナの使用] チェック ボックスをオンにします。

特定のユーザーのフリガナ機能をオンにすると、グローバル (GBL) メニューに関連するフリガナ フィールドを持つ各フィールドの右側に、フリガナ ボタンが表示されます。

このボタンをクリックするとページが開き、そのページでフィールド値のフリガナを入力または表示します。

フリガナ情報の入力

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、グローバル メニューのページで、固有名詞フィールド (氏名、市区町村、会社名など) のフリガナ フィールドにアクセスできます。固有名詞フィールドの右側にあるフリガナ ボタンをクリックすると、フリガナ フィールドが表示されます。

注: (CHN)、(HKG) および (JPN) 氏名ページには、国のフォーマットが CHN、HKG または JPN である場合に [氏名] および [フリガナ] フィールドが表示されます。氏名ページのこれらの両方のフィールドには情報を直接入力することができます。住所ページでは、ボタンをクリックして、フリガナの 2 次ページにアクセスすることができます。住所ページに [フリガナ] ボタンが表示されるかどうかは、ユーザー ID の権限リストや、個々のページがフリガナ機能に対応しているかどうかによって異なります。

(CHN) 国のフォーマットが CHN である場合に、[姓] および [名] のフィールドの値が英数字で、[フリガナ] が空白である場合は、姓、スペースの区切文字、および名を使用して [フリガナ] が自動的に入力されます。この機能は、フリガナの値が存在しない場合にのみ適用されることに注意してください。

住所履歴ページ (ADDR_HISTORY_SEC) で [住所フリガナ] ボタンをクリックすると、次のような住所フリガナ ページが開きます。ここで、市区町村などの固有名詞を所定のフリガナ文字セットで入力します。

画像: フリガナ文字タイプ ページの例

次の例は、フリガナ文字タイプ ページの例を示しています。

Alternate Character Type:

Alternate Character Address

Prefecture Tokyo-To

Address 1 Jinjumae

Address 2 7-5-3

Address 3

City Shibuya-ku

OK Cancel Refresh

注: ユーザーがアプリケーションにサインインしたときに使用した言語にフリガナ文字タイプが指定されていた場合、フリガナ文字タイプ ページのタイトル バーには、その文字タイプが表示されます。上記の例では、英語に半角英数字のフリガナ文字タイプが定義されています。

フリガナ フィールドにフリガナ情報を入力した後、[OK] をクリックしてページを閉じると、フリガナ ボタンの表示が変更されます。これは主要ページの固有名詞にフリガナが入力されていることを示します。

フリガナを使ったレコード検索

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、従業員を検索してそのレコードを更新または追加するためのオプションがいくつかあります。もし個人の名前を (中国語や日本語の漢字などの) 表意文字で入力している場合も、検索条件としてフリガナを指定することができます。

たとえば、カワモト ノリコという日本人従業員の個人データレコードを検索するには、カーソルを [フリガナ] フィールドに置き、"カフ" と入力して [OK] をクリックします。検索レコード ページのリスト ボックスに、"カフ" で始まる全ての名前 ("カフサキ"、"カフシマ"、"カフモト" など) がフリガナ順でソートされ、漢字とカナの両方で表示されます。

注: フリガナの値は、基本名の値と同じです。

通貨の設定と使い方

通貨について

組織がグローバルな環境で運営されると、人事管理業務もグローバルになります。このため、従業員の給与や還付額を複数の通貨で、場合によっては複数のレートタイプを使って追跡すると同時に、1つの通貨を参照用として使い、世界中で発生する経費を追跡することにより、その合計金額を把握できるようにしておく必要があります。

PeopleSoft における通貨を理解するには、以下の 2 段階のプロセスが必要です。

- HCM 全体に共通して使用される通貨コード、通貨タイプ、為替レート、および基本通貨の定義構造を理解する。
- この情報が PeopleSoft HCM のアプリケーションでどのように使われるかを理解する。たとえば、PeopleSoft グローバル ペイロールには、アプリケーションに特有の広範な通貨機能があります。通貨に関するアプリケーション特有の問題の詳細については、そのアプリケーション用のドキュメンテーションを参照してください。

注: PeopleSoft アプリケーション全体に共通する通貨設定については、他のドキュメントで説明しています。

関連リンク

"通貨および市場レートについて" (PeopleSoft 9.2: エンタープライズ コンポーネント)

通貨桁数の設定

次の各トピックでは、通貨桁数の概要と以下について説明します。

- 通貨桁数機能のアクティブ化
- 通貨桁数とレポート作成
- 通貨桁数拡張に伴うデータベースの拡張

通貨桁数について

国際標準化機構 (ISO) の規格では、通貨の小数点以下の桁数は 0 から 3 の範囲とされています。たとえば、アメリカドルでは小数点以下 2 桁まで表示されますが、日本円には小数点以下がありません。この

ように通貨によって異なる桁数をサポートするため、PeopleSoft の金額フィールドは整数 13 桁小数 2 桁 (13.2 と表記) が標準になっています。金額フィールドは、整数 15 桁小数 3 桁 (15.3) まで任意に拡張できます。同じレコードにコントロール通貨があり、これによって金額フィールドの表示や処理が調整されます。

PeopleSoft では、オンライン処理やバックグラウンド処理の実行中、金額フィールドは全てコントロール通貨の桁数に合わせて端数処理されます。たとえば、金額フィールドが整数 15 桁小数 3 桁となっているデータベースでは、端数処理の結果、日本円は 123.000 に、またアメリカドルは 123.230 のようになります。日本円の場合、小数点以下に 0 以外の数字は付きません。アメリカドルでは、小数点以下 3 桁目に 0 以外の数字は付きません。

PeopleSoft のオンライン ページでは、金額フィールドが各通貨に合った桁数で表示されます。たとえば日本円は 123、アメリカドルは 123.23 と表示されます。金額を入力する際、定義されている桁数を超えることはできません。桁数が定義数を超えると、オンライン エラー入力として処理されます。

PeopleCode プログラムとバックグラウンド処理では、金額フィールドは全てコントロール通貨の桁数に合わせて端数処理されます。

通貨桁数機能のアクティブ化

通貨桁数機能は PeopleTools のオプションです。このオプションをオンにすると、付随機能が全てアクティブになります。このオプションをオフにしておくと、金額フィールドは PeopleSoft アプリケーション デザイナの定義どおりに表示され、小数点以下はアプリケーション デザイナの定義に合わせて端数処理されます。

PeopleTools 多通貨オプションをアクティブにするには、PeopleTools オプション ページ (PSOPTIONS) で [多通貨] チェック ボックスをオンにします。この設定をしておくと、コントロール通貨フィールドを指定した金額フィールドには、その通貨に対して通貨コード ページ (CURRENCY_CD_TABLE) で指定されている桁数が適用されます。PeopleSoft アプリケーションによっては、多通貨オプションがオンになっている状態で出荷されているものがあります。デフォルトの設定は変更することができます。

注: [多通貨] チェック ボックスをいったんオフにすると、再度オンにしても、既存トランザクションの金額は自動的に端数処理されません。[多通貨] チェック ボックスをオフにすると、PeopleSoft ではデフォルトの金額フィールド サイズである整数 13 桁小数 2 桁のみがサポートされます。それより大きなサイズである整数 15 桁小数 3 桁はサポートされません。

通貨桁数とレポート作成

PeopleSoft の大半の SQR レポートでは、通貨金額を表示する際、該当通貨に設定された小数部桁数が使われます。たとえば、日本円の金額は 123、アメリカドルの金額は 123.23 のようにレポートに表示されます。

BI Publisher と PS/nVision (Excel) でレポートを作成すると、金額は小数点以下 2 桁まで表示されます。これらのレポートで小数点以下 3 桁まで表示する場合は、レポートを変更する必要があります。

PeopleSoft のサードパーティのレポート作成ツールでは、15 桁を超える数値フィールドは完全にはサポートされていません。PS/nVision (Excel) では、数値フィールドに 8 バイトの浮動小数点が使われています。こ

のため 15 桁より後は切り捨てられます。BI Publisher では 16 桁まで正しく表示されます。数字が 17 桁以上になると、小数位に無意味な数字が自動挿入されます。ただし、桁数が極端に多くない限り、問題はありません。これらのどのレポート作成ツールでも、以下に示す金額までは正確に表示されます。

- 100 兆円または 100 兆イタリア リラ: 小数点以下の桁数 = 0
- 1 兆ドル: 小数点以下の桁数 = 2
- 1000 億ディナール: 小数点以下の桁数 = 3

たとえば、整数 15 桁小数 3 桁の数値データベースの金額フィールドに数字の 2 を続けて入力すると、各レポートでの表示は次のようになります。

桁数	レポート	PS/nVision (Excel)	SQR
16	2,222,222,222,222.222	2,222,222,222,222.220	2,222,222,222,222.222
17	22,222,222,222,222.219	22,222,222,222,222.200	22,222,222,222,222.220
18	222,222,222,222,222.188	222,222,222,222,222.000	222,222,222,222,222.200

通貨桁数拡張に伴うデータベースの拡張

PeopleSoft アプリケーションによっては、データベースの金額フィールドを整数 13 桁小数 2 桁から整数 15 桁小数 3 桁のサイズまで拡張できるものもあります。たとえば、PeopleSoft Financials、Distribution、および Manufacturing の各アプリケーション ラインでは、整数 15 桁、小数 3 桁の拡張フィールド サイズがサポートされています。

データベースを拡張するには、次の手順に従います。

1. データベースのバックアップをとります (省略可)。

このステップは任意ですが、できるだけ実行するようにしてください。バックアップをとっておけば、これ以降の作業の途中でデータベースに整合性の問題が起きても、修復が可能です。

2. 検証スクリプトを実行します。

PeopleSoft プロセス スケジューラから DDDAudit と SYSAudit を実行し、データベースにエラーがないことを確認します。[PeopleTools]、[プロセス スケジューラ]、[プロセス リクエスト] の順に選択して、[ラン コントロール ID] に値を入力します。[実行] をクリックします。使用環境のサーバー名を指定して、プロセス リストから DDDAUDIT (次に SYSAUDIT) を選択します。[OK] をクリックしてプロセスを実行します。

3. スクリプト出力を調べて、データベースにエラーがないことを確認します。

DDDAudit レポートと SYSAudit レポートを検索して特定したら、データベースにエラーがないことを確認します。

4. FSINTLFD.DMS を実行して、フィールド サイズの国際化対応テーブルにデータをロードします。

データベースにエラーがなくなったら、FSINTLFD.DMS スクリプトを実行して、フィールド サイズの国際化対応テーブル (INTL_FLDSIZ_TBL) にデータをロードします。データムーバーを使って、このスクリプトを実行します。アプリケーション デザイナでコントロール通貨が設定されている金額フィールドは、全てフィールド サイズの国際化対応テーブルにロードされます。これによって、小数点の左側へ 2 桁、右側へ 1 桁拡張されます。フィールド サイズの国際化対応テーブルに新しいフィールドが追加される前に、そのテーブルから既存フィールドが全て削除されます。

5. フィールド サイズの国際化ページを使って、結果を確認します。

フィールド サイズの国際化ページを表示します。[国際化対応サイズ] の列では、ほとんどのフィールドについて整数 15 桁、小数 3 桁 (15.3) と表示されています。[現在のサイズ] と比較すると、[国際化対応サイズ] 列の方が小数点から左に 2 桁、右に 1 桁多くなっています。つまり、[現在のサイズ] フィールドの値が整数 13 桁、小数 2 桁 (13.2) であるのに対して、[国際化対応サイズ] の列は整数 15 桁、小数 3 桁 (15.3) になっています。

6. PeopleTools プロセス TLSINST1.SQR を実行して、PSDBFIELD のフィールド サイズを変更します。

注: この SQR は、アプリケーション エンジンでもあります。この SQR にアクセスするには、[PeopleTools], [ユーティリティ], [国際化対応], [フィールド サイズ処理] の順にクリックします。

SQRW を使って SQR TLSINST1.SQR を実行し、PSDBFIELD PeopleTools テーブルのフィールド サイズを変更します。これで PeopleTools の定義値が変更されますが、データベースのフィールド サイズは変わりません。

平均サイズ、または最大サイズのフィールドを使ったページを全て一覧表示するレポート TLSINST1.LIS も作成されます。PeopleSoft Enterprise の標準として、金額フィールドが拡張されている場合は、金額フィールド全てにカスタムのフィールド サイズを採用し、フィールドが重複しないようになっています。ページのリストを見て、読みやすくなるように調整します。

7. SQR.LOG を調べて、エラーの有無を確認します。

SQR ログは、特に指定のない限り C:\TEMP に作成されます。ログを表示し、フィールドのサイズが整数 15 桁、小数 3 桁に変更されていることを確認します。フィールド サイズをランダムにチェックして結果を照合し、手順 5 に示した金額フィールドが含まれる各種レコードを開きます。プロジェクトの構築、テーブルの SQL Alter スクリプトの実行、ビューの作成、およびインデックスの作成などを行うときは、スクリプトの実行を注意深く監視し、エラー ログを確認してください。

8. 全てのテーブルに SQL Alter を実行します。

- a. PeopleTools, アプリケーション デザイナ, [File (ファイル)], [New (新規作成)], [Project (プロジェクト)] の順に選択します。
- b. [File (ファイル)], [Save Project As (プロジェクトに名前を付けて保存)] を選択します。
- c. プロジェクト名に "CURR_TBL" と入力して保存します。
- d. [Insert (挿入)] の [Definitions into Project (定義をプロジェクトに挿入)] を選択します。

- e. [Definition Type (定義タイプ)] に [Records (レコード)], [Type (タイプ)] には [Table (テーブル)] をそれぞれ選択します。
 - f. [Record Name (レコード名)] の下の [Insert (挿入)] をクリックします。ロードされるテーブルの一覧が表示されます。
 - g. [Select All (全て選択)] をクリックして、[Insert (挿入)] を再度クリックします。[Close (閉じる)] をクリックしてページを閉じます。
 - h. [Build (ビルド)] の [Project (プロジェクト)] を選択します。
 - i. [Build Options (ビルド オプション)] グループ ボックスの [Create Indexes (インデックスの作成)] と [Alter Tables (テーブルの変更)] をオンにします。
 - j. [Build Execute Options (ビルド実行オプション)] の [Build script file (スクリプト ファイルの作成)] がオンになっていることを確認します。
 - k. データベース管理者 (DBA) と共にスクリプト ファイルを確認し、最適な SQL クエリー ツールを使って実行します。
9. SQL Create を使用して、全てのビューを作成します。
- a. PeopleTools, アプリケーション デザイナ, [File (ファイル)], [New (新規作成)], [Project (プロジェクト)] の順に選択します。
 - b. [File (ファイル)], [Save Project As (プロジェクトに名前を付けて保存)] を選択します。プロジェクト名を "CURR_VW" と入力して保存します。
 - c. [Insert (挿入)] の [Definitions into Project (定義をプロジェクトに挿入)] を選択します。[Definition Type (定義タイプ)] に [Records (レコード)], [Type (タイプ)] には [View/QueryView (ビュー/クエリー ビュー)] をそれぞれ選択します。
 - d. [Insert (挿入)] をクリックし、次に [Select All (全て選択)] をクリックします。
 - e. [Insert (挿入)] を再度クリックし、[Close (閉じる)] をクリックしてページを閉じます。
 - f. [Build (ビルド)] の [Project (プロジェクト)] を選択します。
 - g. [Build Options (ビルド オプション)] グループ ボックスで [Create Views (ビューの作成)] をオンにします。
 - h. [Build Execute Options (ビルド実行オプション)] の [Build script file (スクリプト ファイルの作成)] をオンにします。
 - i. データベース管理責任者 (DBA) と共同でスクリプト ファイルを確認し、最適な SQL クエリー ツールを使って実行します。
10. 検証スクリプトを再実行します。

DDDAudit と SYSAudit を再実行して、データベースにエラーがないことを確認します。

11. レポートを手動で変更します。

PeopleSoft のほとんどの SQR レポートでは、金額フィールドが整数 15 桁、小数 3 桁に拡張されています。ただし、スペースが足りないため、整数 13 桁、小数 2 桁のままになっているレポートもあります。小数の最後の桁が重要であれば、SQR を更新して整数 12 桁、小数 3 桁の設定にして小数点以下 3 桁がレポートに表示されるようにしてください。以下は、小数点第 3 位を表示するために手動変更が必要なレポートのアプリケーション別リストです。

General Ledger	GLS1001, GLS1003, GLS7000, GLS7009, GLS7010, GLS7012
Receivables	AR30001 (9.2), AR30002 (9.2), AR30003 (9.2), AR30004 (12.2)

『PeopleTools: Global Technology』を参照してください。

多通貨の表示

"他の通貨で表示" ページを開くには、多通貨をサポートするページで [他の通貨で表示] ボタンをクリックします。

ある通貨で金額が表示されているページの多くは、別の通貨を使って表示することもできます。これは PeopleSoft の欧州通貨統合 (EMU) サポートの統合機能で、これによりシステムでサポートされている全ての通貨の換算金額を表示できます。

現在の為替レート計算に関する情報の表示

為替レート詳細ページには、現在と過去の為替レート、また換算に使った換算元通貨、換算先通貨、および為替レートが表示されます。[戻る] をクリックすると、"他の通貨で表示" ページに戻ります。

通貨設定レポートの実行

このトピックでは、通貨設定レポートの実行に使用するページについて説明します。

通貨設定レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
通貨レートレポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	通貨レート テーブル レポート (PER714) を 実行します。このレポートには、為替レート についての情報が出力されます。
通貨コード テーブル - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	通貨コード テーブル レポート (PER713) を実行します。このレポートには、通貨 コード テーブル で定義した各通貨につい ての情報が出力されます。

周期の設定と使い方

周期 ID について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 周期 ID
- 給与レートでの周期の使い方
- 給与計算での周期の使い方

周期 ID

PeopleSoft ヒューマン リソース管理、グローバル ペイロール、Payroll for North America のアプリケーションでは、周期 ID が使用されています。周期 ID は、周期テーブル コンポーネント (FREQUENCY_TBL) で定義します。各周期 ID には、周期タイプと、1 年間にその期間が生じる回数を示す年次化係数を設定します。

PeopleSoft HCM では周期 ID を使用して、給与計算、標準勤務時間の完了、および給与の支給などの処理を行う周期を定義します。

PeopleSoft には、標準周期セットが用意されています。ユーザーは、ユーザー独自で管理する非標準周期を追加定義できます。たとえば、周期タイプを "月次"、非標準年次化係数を "13" として定義して、1 年間で 13 の月次周期を持つ周期 ID を定義できます。

PeopleSoft の標準周期

PeopleSoft では、周期テーブル コンポーネントに以下の周期 ID が標準で設定されています。

周期 ID	名称	周期タイプ	年次化係数
A	年次	年次	1
B	隔週	隔週	26
BMX30	隔週 - メキシコ - 係数 30.0	隔週	25.7142857
BMX34	隔週 - メキシコ - 係数 30.4	隔週	26.0571428
C	契約	契約	1

周期 ID	名称	周期タイプ	年次化係数
D	日次	日次	260
D365	Diaro 365 dias	日次	365
D426	日次 - 14 - 支給	日次	426
DAR30	日次 - アルゼンチン - 係数 30.0	日次	360
DMX30	日次 - メキシコ - 係数 30.0	日次	360
DMX34	日次 - メキシコ - 係数 30.4	日次	364.8
F	4 週毎	4 週毎	13
H	時間毎	時間毎	年次化で標準勤務時間を使用
HMX30	時間毎 - メキシコ - 係数 30.0	時間毎	2880
HMX34	時間毎 - メキシコ - 係数 30.4	時間毎	2918.4008
JM	月次 - 日本	月次	12
M	月次	月次	12
M13	月次 - 13 - 支給	月次	13
M14	月次 - 14 - 支給	月次	14
Q	四半期毎	四半期毎	4
S	半月毎	半月毎	24
SMX34	半月毎 - メキシコ - 係数 30.4	半月毎	24.32
W	週次	週次	52
WMX30	週次 - メキシコ - 係数 30.0	週次	51.4285714
WMX34	週次 - メキシコ - 係数 30.4	週次	52.1142857

給与レートでの周期の使い方

給与レートに周期を関連付けて、給与の基準となる期間を定義します。たとえば、年次周期を使用して従業員の基本給与を年間 60,000 ドルに設定したり、月次周期を使用して月間 5,000 ドルに設定したりします。この給与レートを職務、ポジション、給与ステップ、または各職務レコードに関連付けると、その周期に関連付けられた年次化係数を使用して、給与が他の周期に換算されます。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムを設定する際、複数のレベルでデフォルトの給与周期を定義できます。このデフォルト値はいろいろなページにロードされますが、通常はそのページで値を変更できません。

次の表に、給与周期の指定または使用の際に重要なページを示します。

コンポーネントまたはページ	デフォルト給与周期値
デフォルト周期ページ (DFLT_FREQUENCY)	国別デフォルト周期を定義し、職務データ - 給与データ ページの [給与レート] グループ ボックスに表示される固定的賃金のレートの順序を指定します。
職務データ (JOB_DATA) の給与データ ページ (JOB_DATA3)	デフォルト周期ページで国別に指定した周期で固定的賃金情報が表示されます。
インストール テーブル コンポーネント (INSTALLATION_TBL) の HCM オプション ページ (INSTALLATION_TBL1B)	デフォルトの給与周期と勤務周期を設定します。ここで設定されたデフォルト値は、[職務コード テーブル] に自動入力されます。
職務コード テーブル (JOB_CODE_TBL) の職務コード プロファイル ページ (JOB_CODE_TBL1_GBL)	[インストール テーブル] で設定した給与周期と標準勤務周期が、デフォルト値として使用されます。
給与レート コード テーブル コンポーネント (COMP_RATECD_TBL)	給与レート コード ページで、給与レート周期を指定します。PeopleSoft HCM のさまざまなページで表示される [給与コンポーネント] グループ ボックスで、給与レート コードを選択すると、このデフォルト値が自動的に入力されます。 また、給与レート コードに関連付けられた給与に、FTE (常勤換算) を適用すべきかどうかを、このページで指定することもできます。
給与プラン コンポーネント (SALARY_PLAN_TABLE)	給与ステップに割り当てられた支給コンポーネントのデフォルト周期を指定します。
支給グループ テーブル コンポーネント (PAYGROUP_TABLE)	支給グループの日次および月次の周期を指定します。この周期情報に従って給与レートが計算されます。

関連リンク

職務の分類

[Setting Up Rate Codes](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Compensation](#)

給与計算での周期の使い方

グローバル ペイロールおよび Payroll for North America では、周期を使用して特定のイベントが発生する頻度を定義します。

グローバル ペイロールでは、エレメント、ジェネレーション コントロール パラメータ、カレンダー期間、レートコード エレメント、およびシステム エレメントを定義する際に、周期 ID を使用します。周期テーブル ページで定義された周期に加えて、グローバル ペイロールでは、ジェネレーション コントロール 周期ページ (GP_GCTL_FREQUENCY) で定義された周期も使用されます。

Payroll for North America では、周期 ID を使用して、支給期間周期の定義および給与レートと給与の比例配分の計算を行います。

関連リンク

[グローバル ペイロールにおける周期について](#)

[Payroll for North America における周期について](#)

給与レート換算での周期について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 給与レートへの係数の適用
- 給与レートの他の周期への換算
- 職務データ給与レート周期

給与レートへの係数の適用

PeopleSoft HCM では、2 つの標準的な周期換算の計算式を使用して、時間、日次、週次、月次、その他の周期で給与レートを計算および表示します。換算される周期によって、以下の係数を 1 つ以上、給与レートに適用することで計算が実行されます。

- 給与周期年次化係数
- 職務標準勤務時間
- 標準勤務周期の年次化係数
- FTE (常勤換算) 係数

周期年次化係数

各周期 ID には、1 年間にその期間が生じる回数を表す年次化係数が設定されています。

「[周期 ID](#)」を参照してください。

標準勤務時間と標準勤務周期

時間給与レートを換算する際に、職務の標準勤務時間と標準勤務周期を使用して計算が行われます。職務の標準勤務時間では、従業員に義務付けられる勤務時間を定義します。標準勤務周期では、標準勤務時間を完了するための勤務周期を定義します。周期テーブル コンポーネントで定義した周期 ID (およびその年次化係数) を選択することで、標準勤務周期を定義します。

標準勤務時間と標準勤務周期は、以下のページで定義します。

コンポーネント	ページ	割り当てレベル
インストール テーブル	HCM オプション	ユーザー組織
プライマリ権限リスト基本設定 (OPR_DEF_TBL_HR)	設定 (OPR_DEF_TBL_HR2)	プライマリ権限リスト
ポジション データ (POSITION_DATA)	ポジション情報 (POSITION_DATA1)	ポジション
給与プラン定義	給与プラン テーブル (SALARY_PLAN_TABLE)	給与プラン
職務コード	職務コード プロファイル	職務コード
職務データ	職務情報 (JOB_DATA_JOBCODE)	従業員
人材募集 (HRS_JOB_OPENING)	人材募集 (HRS_JOB_OPENING)	採用管理アプリケーション

BU オプション デフォルト ページ (BUS_UNIT_OPT_HR) で定義した標準勤務時間下限、標準勤務時間上限、および標準勤務周期が、職務データ コンポーネントとポジション データ コンポーネントで確認編集に使用されます。

標準勤務時間と標準勤務周期のデフォルト

標準勤務時間と標準勤務周期の両方が定義されていれば、それらの値はデフォルト情報として自動挿入されます。以下に、指定された条件において職務データで使われるデフォルトのソースを示します。

条件	デフォルト ソース
従業員に給与プランを割り当てた場合	給与プラン テーブル ページ
従業員にポジションを割り当てた場合	ポジション データ コンポーネントのポジション情報ページ
従業員に職務コードを割り当てた場合	職務コード コンポーネントの職務コード プロファイル ページ
給与プラン テーブル、職務コード テーブル、またはポジション データ テーブルで標準勤務時間を指定していない場合	インストール コンポーネントの HCM オプション ページ

常勤換算

FTE (常勤換算) とは、その従業員の通常の勤務時間を、常勤従業員の勤務時間に対するパーセント値で表したものです。FTE の計算には、ユーザーが定義した標準勤務時間と標準勤務周期が使用されます。

給与コンポーネントで *[FTE 適用]* を選択すると、PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、標準勤務時間および勤務周期を使用して FTE が計算され、パートタイムと時間給の従業員に対して、休日勤務時間および支給額が比例配分計算によって算出されます。

注: (FRA) フランスの法定区域に属している従業員については、PAID_FTE フィールドを使ってパートタイム時間給従業員の休日勤務時間および支給額が比例配分計算されます。

画像: FTE の方程式

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、次の方程式に示すように、職務標準勤務時間に職務標準勤務周期の年次化係数を乗じた積を、デフォルト標準勤務時間にデフォルト常勤標準勤務周期の年次化係数を乗じた積で除算して FTE を計算します。

$$FTE = \frac{(\text{Job Std. Hrs }) \times (\text{Annualization Factor of Job Std. Work Period})}{(\text{Default Full Time Std. Hrs }) \times (\text{Annualization Factor of Default Full Time Std. Work Period})}$$

デフォルト常勤標準勤務時間およびデフォルト常勤標準勤務周期のソースは以下のとおりです。

- 給与プラン コンポーネント (給与プランが従業員に設定されており、標準勤務時間と勤務周期の両方がこの給与プランに定義されている場合)
- プライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (給与プランが従業員に設定されておらず、標準勤務時間と勤務周期の両方がプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントで定義されている場合)

給与レートの他の周期への換算

給与レートは、標準の計算式によって、日次、月次などの周期に自動換算されます。時間給与との換算を行う計算式では、標準勤務時間と標準勤務周期が考慮されます。

給与レートの換算は、次の手順で行われます。

1. 従業員の給与の年間レートが算出されます。
2. 非年次化換算計算式を使った年間レートの除算によって、目的の周期でレートが算出されます。
3. 給与コンポーネントの *[FTE 適用]* が選択されている場合は、換算された給与レートと FTE 係数との乗算が実行されます。

注: (FRA) フランスの法定区域に所属する従業員の場合は、換算した給与レートに掛ける数字として PAID_FTE が使われます。

レート of 年次化 of 計算

給与レート of 年次周期への換算には、以下の計算式が使われます。

元の周期	年次周期への換算に使用する計算式
時間毎	年間給与 = 給与レート × 職務標準勤務時間 × 標準勤務周期 of 周期年次化係数
月次、日次、その他	年間給与 = 給与レート × 周期年次化係数

レート of 非年次化 of 計算

給与レート of 年次周期から他の周期への換算には、以下の計算式が使われます。

年次以外の周期	年次周期からの換算に使用する計算式
時間毎	時間給 = 給与レート / (職務標準勤務時間 × 標準勤務周期 of 周期年次化係数)
月次、日次、その他	年間給与以外の給与 = 給与レート / 周期年次化係数

上記の計算式 of 使用例を示します。

時間毎から月次への給与レート換算例

Teresa Johnson には、以下の職務データ情報があります。

職務データの変数	値
給与レート (時間給与)	10
職務標準勤務時間	35
標準勤務周期 of 周期年次化係数	52
月次 of 周期年次化係数	12

次の表では、Teresa Johnson の月間 FTE (常勤換算) 給与レート of 計算方法を示します。結果は、1 週間の勤務時間が 35 時間、1 年間を 52 週とした場合 of、Teresa の月間給与を表します。

レート	計算式
年次	$10 \times 35 \times 52 = 18,200$

レート	計算式
月次	年次化給与レート / 月次の周期年次化係数 $18,200 / 12 = 1516.67$

月次から隔週への給与レート換算例

Bill McKenny には、以下の職務データ情報があります。

職務データの変数	値
給与レート (月次)	2000
月次の周期年次化係数	12
隔週の周期年次化係数	26
[FTE 適用] の選択	オン
FTE 係数	0.95

次の表は、Bill McKenny の隔週給与レートの計算方法を示しています。

レート	計算式
年次	給与レート × 月次の周期年次化係数 $2000 \times 12 = 24,000$
非年次化レート	年次化給与レート / 隔週の周期年次化係数 $24,000 / 26 = 923.08$
FTE で乗算	$923.08 \times 0.95 = 876.85$

職務データ給与レート周期

国別のデフォルト周期は、「職務データ - 給与」ページにある [給与レート] グループ ボックス内の給与レートの計算と表示に使用されます。デフォルト周期テーブルで従業員の国に関連付けられた周期が検索されます。このテーブルで周期をリストした順序で、[給与レート] グループ ボックス内の給与レートが表示されます。これまでのトピックで前述した標準計算式を使用して、給与レートがデフォルト周期に換算されます。

PeopleSoft グローバル ペイロールおよび PeopleSoft Payroll for North America では、支給グループに設定された周期を使用して日次と月次の給与レートが計算されるため、「職務データ - 給与」ページに表示される給与レートが、支給グループの日次と月次の周期を使用して計算された給与レートと異なる可能性

があります。これは、その支給グループの日次または月次の周期が、デフォルト周期ページで国別に指定した日次または月次の周期と異なる場合に発生します。できるだけ、各国のデフォルト周期と一致する支給グループの周期を設定することをお勧めします。

支給グループ周期で計算された給与レート

は、JOB.ANNUAL_RT、JOB.MONTHLY_RT、JOB.DAILY_RT、および JOB.HOURLY_RT フィールドの JOB レコードで使用されます。これらのフィールドは、人事異動サマリ ページおよび PS クエリーで参照できます。

関連リンク

[国別デフォルト周期ページ](#)

グローバル ペイロールにおける周期について

PeopleSoft グローバル ペイロールでは、エレメント、ジェネレーション コントロール パラメータ、カレンダー期間、レート コード エレメント、およびシステム エレメントを定義する際に、周期が使用されます。周期テーブル ページで定義された周期に加えて、PeopleSoft グローバル ペイロールでは、ジェネレーション コントロール周期コンポーネントに定義された周期も使用されます。

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- エレメント定義での周期の使い方
- ジェネレーション コントロールと周期の使い方
- カレンダー期間と周期の使い方
- レート コードとシステム エレメントでの周期の使い方

エレメント定義での周期の使い方

エレメントは、PeopleSoft グローバル ペイロールの最小コンポーネントで、給与計算を処理するための計算ルールの定義に使用されます。エレメントには、支給額 (支給エレメント)、支給から控除される額 (控除エレメント)、または業務から離れている時間 (休暇欠勤エレメント) などが保持されます。

支給、控除、休暇欠勤などのエレメントは、独立して扱うことができます。一方、サポート エレメント (レートコードや端数処理ルールなど) は、他のエレメントと共に使用され、計算ルールの定義します。各エレメントは、一度定義すれば繰り返し使用できます。

支給、控除、休暇欠勤のいずれのエレメントに対しても、一定の金額や休暇日数に対する周期を指定する必要があります。周期に関連付ける各アイテムに対し、全体の処理プランにおいて周期がどのように機能するのかを考慮する必要があります。支給、控除、および休暇欠勤のエレメントに正しい周期を選択することは、処理を正確に行うために必要不可欠です。以下に例を示します。

支給エレメント	一定金額の支給周期を指定します。週次、月次、年次などです。
控除エレメント	一定金額が源泉徴収される周期を指定します。たとえば、支給期間ごと、月次、またはその年全体などです。
休暇欠勤エレメント	従業員に休暇が付与される周期を指定します。たとえば、月間3日、年間3日などです。

PeopleSoft グローバル ペイロールでは、支給、控除、休暇欠勤などのエレメント定義の際に、周期が使用されます。

支給エレメントの定義を例に説明します。この処理は、支給、控除、休暇欠勤の各エレメントに共通です。

"支給 - 計算" ページ (GP_ERN_DED_CALC) で、支給エレメントの計算ルール、周期、およびジェネレーション コントロールを定義します。

Earnings - Calculation PagePeopleSoft Global Payroll を参照してください。

計算ルールを選択したら、次にそのルールの各コンポーネントの詳細を定義する必要があります。たとえば、計算ルールに [金額] を選択した場合、支給エレメントの金額を指定します。

次の表に、周期変換が実行される計算ルールとコンポーネントを示します。

計算ルール	コンポーネント
金額	金額 (必要に応じて)
レート × ユニット	ユニット
レート × ユニット × パーセント	ユニット
ベース × パーセント	ベース

この支給エレメントが支給される周期を定義します。[カレンダー期間の周期を使用] を選択すると、カレンダー定義 - 期間ページ (GP_CALENDAR_PERIOD) でカレンダー期間に対して定義されている周期が使用されます。[指定の周期を使用] を選択すると、"支給 - 計算" ページで、周期のリストから直接周期を選択して定義できます。

Creating PeriodsPeopleSoft Global Payroll を参照してください。

[周期] フィールドの使用により、エレメントの値に対応する周期を指定できます。たとえば、週次の給与計算を行っており、[指定の周期を使用] を選択して、金額が 100 で周期が [月次] の支給エレメントを作成したとします。ジェネレーション コントロールの条件を定義していない場合、金額は年次化および非年次化されて、処理周期の金額になります。組織の月次周期は 12 で、週次周期は 52 に定義したとします。システムでは、月間の金額である 100 が年次化され 1200 になります。次に、この年次化された金額が非年次化され、給与計算の処理周期 (この例では週次) に変換されます。各支給期間の支給額は、次のとおりです。

$$1200 / 52 = 23.08$$

周期を定義する利点は、組織が複数の支給周期 (週次、半月、月次など) を使用する場合に、各周期に対して別々の支給エレメントを作成しなくて済むことです。支給金額は、各支給周期に対応する支給期間の金額に自動換算されます。たとえば、年間賞与 1000 を全ての受給者に支給することが決まり、1 年かけてこの賞与を分割支給するとします。時間給の受給者は週単位で、その他の給与受給者は月単位で支給を受けます。支給賞与を $BON = 1000$ と定義し周期を年次に設定すると、年次化と非年次化を通じて、この支給定義を週単位で支給される受給者と月単位で支給される受給者の両方に適用できます。"支給 - 計算" ページで割り当てられた周期に基づいて、支給周期に関係なく賞与額が正確に算出されます。

注: PeopleSoft グローバル ペイロールでは、雇用形態 (従業員、非従業員、または関係者) による区別はありません。給与計算処理は、全ての雇用形態に対して行われるので、PeopleSoft グローバル ペイロールのドキュメンテーションでは、全て "受給者" と呼ばれています。

ジェネレーション コントロールと周期の使い方

支給期間の周期は、システムにハードコードされていません。その代わりに、PeopleSoft グローバル ペイロールでは、ヒューマン リソース管理の周期テーブル コンポーネントを使って、周期の計算方法が決定されます。たとえば、月次の周期に 12、週次の周期に 52 の係数が定義されているとします。周期テーブル ページで定義された周期は、システム内で周期を使用するどの場所でも簡単に使用できます。

PeopleSoft グローバル ペイロールでは、"ジェネレーション コントロール周期" という追加のジェネレーション コントロール概念が用意されており、特定の支給または控除が変換される支給期間の制御 (たとえば月の最初の支給期間のみ、など) に使用できます。ジェネレーション コントロール周期によって、意味のある名前を定義して、正しい周期 ID と支給期間を関連付けることができます。

ヒューマン リソース管理の周期テーブルに存在しない周期の例として、[月 - 第 1 週] があります。給与周期が週次であっても、月の最初の支給期間にのみ支給される支給エレメントが必要だとします。この場合、PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、周期は月次になります。しかし、これでは目的に合った給与計算処理は行われません。そこで、PeopleSoft グローバル ペイロールでは、この支給エレメントは "月 - 第 1 週" として定義 (タグ付け) され、月の最初の支給期間にのみ支給が行われます。

ジェネレーション コントロール周期コンポーネントは、ジェネレーション コントロールの周期処理の一部です。

ジェネレーション コントロールを使えば、エレメントを処理する際に、システムに多様なコントロール方法を認識させることができます。たとえば、支給エレメントが月の最初の支給期間のみ (週単位の給与計算) に支給される場合、給与計算処理を制御して、この支給が週 1 にだけ支給され、その月の残りの週の給与計算では支給されないようにすることができます。

- まず、ジェネレーション コントロール - 条件ページ (GP_GCTL_CONDITION) で、ジェネレーション コントロール ID の各パラメータを定義します。

Generation Control Name PagePeopleSoft Global Payroll を参照してください。

- 次に、支給エレメントを定義する際に、"支給 - 計算" ページで、ジェネレーション コントロール名を選択してこのテーブルを検索します。
- この方法では、各支給エレメントのパラメータを個別に再定義する必要はありません。

"支給 - 計算" ページで、[ジェネレーション コントロール] フィールドを空白にすると、受給者の通常の資格ルールに基づいて毎回、支給が実施されます。

注: [カレンダー期間の周期を使用] 以外の周期を選択すると、支給期間の周期を基に、支給額の非年次化が行われます。ジェネレーション コントロール周期が存在する場合は、ジェネレーション コントロールの周期に基づいて支給額の非年次化が行われます。周期換算時には、支給期間の周期はジェネレーション コントロールの周期によって上書きされます。たとえば、ある支給エレメントの金額が 1200、周期が年次、支給期間が月次であるとします。組織の月次周期の年次化係数が 12 と定義されており、この支給に対してジェネレーション コントロール周期が指定されていない場合、支給金額は月あたり 100 に非年次化されます ($1200 / 12 = 100$)。この支給エレメントに対するジェネレーション コントロール周期が指定されている場合は、金額は異なります。たとえば、ジェネレーション コントロール周期が [四半期] と定義されているとします。この場合、支給は 300 に非年次化されます ($1200 / 4 = 300$)。

PeopleSoft グローバル ペイロールでは、[月 - 第 1 週]、[年次]、[1 月]、および [四半期] という 4 つの定義済みジェネレーション コントロール周期が用意されています。これらのジェネレーション コントロール周期は全て、対応するジェネレーション コントロール エレメントで使用できます。

カレンダー期間と周期の使い方

処理対象の周期を定義する際は、周期と共にカレンダー期間を使用します。

PeopleSoft グローバル ペイロールでは、給与計算や休暇欠勤の処理を実行する場合、計算対象期間を指定する必要があります。これは通常、支給期間と呼ばれます。期間ページで期間 ID を設定することによって、期間の選択条件を定義します。

Creating PeriodsPeopleSoft Global Payroll を参照してください。

各期間 ID に対しては、支給期間の開始日、終了日、および周期を定義します。この定義は支給カレンダーから切り離されているため、繰り返し使用でき、非常に柔軟に処理を行うことができます。

期間 ID で定義できる時間と周期データの例を以下に示します。

開始日	終了日	周期
6 月 1 日	6 月 7 日	週次
6 月 1 日	6 月 30 日	月次
6 月 1 日	6 月 15 日	半月毎
6 月 1 日	8 月 31 日	四半期毎

期間ページでは、支給、控除、または休暇欠勤のエLEMENTにジェネレーション コントロールの周期が指定されていない場合に非年次化に使用される周期を定義します。ただし、ジェネレーション コントロールの周期が支給、控除、または休暇欠勤のエLEMENT定義に含まれ、ELEMENTのジェネレーション コントロールとカレンダー ID のジェネレーション コントロールが一致する場合には、このジェネレーション コントロールの周期に基づいて非年次化係数が特定されます。

周期の例

次の表に、周期の例をいくつか示します。

周期	エレメント 1	エレメント 2a	エレメント 2b	エレメント 3
金額	1,200	1,200	1,200	1,200
周期 (エレメント定義)	月次 (12)	月次 (12)	月次 (12)	月次 (12)
ジェネレーション コントロール周期	なし	月次 (12)	月次 (12)	半月 (24)
支給期間の周期	半月 (24)	半月 (24)	半月 (24)	半月 (24) *
カレンダーのジェネレーション コントロール周期	なし	月次 (12)	なし	半月 (24) *
計算金額	600	1200	処理なし	600

周期が支給期間の周期と一致する場合には、関連する周期を指定する必要はありません。

「職務データ給与レート周期」を参照してください。

レート コードとシステム エLEMENTでの周期の使い方

レート コード、または周期によって管理されるシステム エLEMENTを使用する支給または控除ELEMENTを定義する際は、その支給または控除ELEMENTには常に [カレンダー期間の周期を使用] の周期を指定する必要があります。システム エLEMENTは、PeopleSoft によって提供および管理されます。

周期によって管理されるシステム エLEMENTは、ELEMENT設定の際に指定された周期に従って、給与計算処理のカレンダー周期の部分で処理されます。次に、カレンダー周期によって非年次化が行われます。

Payroll for North America における周期について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 給与周期および支給周期
- 給与レート計算の例

- 給与レートの比例配分
- 周期テーブル使用の例外

給与周期および支給周期

Payroll for North America では、周期テーブル コンポーネントの周期を使用して、支給グループ コンポーネントの支給期間の周期を指定します。バッチ処理およびオンライン システム処理では、給与周期および支給周期を使用して支給レートの計算と比例配分が行われます。

関連リンク

[職務データ給与レート周期](#)

給与レート計算の例

このトピックでは、給与レートと周期、および支給期間の周期を使用した給与レートの計算例を示します。

例: 月給の隔週支給期間の計算

次の例では、Payroll for North America で次の周期を使用して月給を年次化することにより、支給期間レートを計算する方法を示します。

名称	周期 ID	周期タイプ	周期年次化係数
支給周期 (支給グループ テーブル)	B1	B (隔週)	26.1
給与周期 (従業員の職務データ設定)	M	M (月次)	12

給与レート 1,000 USD を使用すると、年間給与レートおよび支給期間給与レートは以下のように計算されます。

- 年間給与 = 給与レート × 給与周期係数

$$12,000.00 = 1,000.00 \times 12$$
- 支給期間 (隔週) レート = (年間給与) / 支給周期係数

$$459.77 = 12,000.00 / 26.1$$

例: 時給の週次支給期間の計算

Payroll for North America では、標準勤務周期の年次化係数と標準勤務時間を組み合わせて、給与レートを計算したり時給を比例配分します。

次の例では、Payroll for North America で時給の週次支給期間レートを計算する方法を示します。

支給グループの支給期間の周期は以下のように定義されています。

名称	周期 ID	周期タイプ	周期年次化係数
支給周期 (支給グループ テーブル)	W (週次)	W (週次)	52

従業員の給与周期は以下のように定義されています。

給与レート	給与周期	標準勤務時間	標準勤務周期の年次化係数
10.00	H (時間毎)	40.00	52

年間給与レートおよび支給期間給与レートは以下のように計算されます。

- 年間給与 = 給与レート × (標準勤務時間 × 標準勤務周期の年次化係数)

$$20,800.00 = 10 \times 40 \times 52$$

- 支給期間 (週次) レート = 年間給与 / 支給周期係数

$$400 = 20,800.00 / 52$$

給与レートの比例配分

支給期間中に新規採用、雇用終了、給与変更などのイベントが発生すると、一部期間に対する比例配分が計算されます。給与データに加えて、支給グループ コンポーネントに指定したデータを使用して、比例配分が計算されます。

Understanding Proration RulesPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

周期テーブル使用の例外

控除額計算、カナダ税金計算などの一部のプロセスでは、支給カレンダー テーブル ページ (PAY_CALENDAR_TABLE) から年間支給期間が使用されます。支給カレンダー テーブル ページの年間支給期間フィールドの値は、支給グループの支給周期から導出されます。

関連リンク

[支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの作成](#)

[支給グループの設定](#)

周期 ID と国別デフォルトの定義

周期 ID と国別デフォルトを定義するには、周期テーブル コンポーネント (FREQUENCY_TBL) と 国別デフォルト周期コンポーネント (DFLT_FREQUENCY) を使用します。

次の各トピックでは、周期情報について説明します。

周期 ID と国別デフォルトの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
周期テーブル ページ	FREQUENCY_TBL	周期 ID、周期タイプ、年次化係数などを定義します。
国別デフォルト周期ページ	DFLT_FREQUENCY	国別のデフォルト周期を国別に指定します。

周期テーブル ページ

周期テーブル ページ (FREQUENCY_TBL) を使用して、周期 ID、周期タイプ、年次化係数などを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [報酬ルール設定], [周期テーブル], [周期テーブル]

画像: 周期テーブル ページ

次の例では、周期テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

管理責任

管理責任を選択します。値は以下のとおりです。

- **C (顧客):** ユーザーが周期 ID を定義します。ユーザーがこの周期コードの更新管理の責任を負います。

- *P (PeopleSoft)*: PeopleSoft が周期を定義し、その更新管理の責任を負います。この値が選択されている場合、このページの他のフィールドは無効になります。

周期タイプ

周期タイプを選択します。値は以下のとおりです。

- 年次
- 隔週
- 契約
- 日次
- 4 週毎
- 時間: この値を選択すると、[年次化で標準勤務時間を使用] チェック ボックスが選択可能になります。
- 月次
- 四半期
- 半月毎
- 週次

年次化で標準勤務時間を使用

このチェック ボックスをオンにすると、周期年次化係数ではなく職務の標準勤務時間を使って年次化が行われます。この場合、周期年次化係数には 0 (ゼロ) が設定され、フィールドには入力できなくなります。

注: PeopleSoft ヒューマン リソース管理、PeopleSoft Payroll for North America、および PeopleSoft グローバル ペイロールでは、標準勤務時間を使って給与および支給周期の年次化を行う [時間] の周期タイプのみ使用できます。

周期年次化係数

1 年間に周期が生じる回数を定義します。

例:

- 給与周期が日次で、年間の勤務日数が 260 日の場合、値は 260 になります。
- W53 という名称の周期に [週次] の周期タイプ、および年次化係数 53 を定義することができます。

重要 既存の周期の有効ステータス、周期タイプ、年次化係数などを変更すると、その周期を使用した過去の計算値には新しい値が反映されないことを警告するメッセージが表示されます。

国別デフォルト周期ページ

国別デフォルト周期ページ (DFLT_FREQUENCY) を使用して、国別のデフォルト周期を国別に指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [報酬ルール設定], [国別デフォルト周期], [国別デフォルト周期]

画像: 国別デフォルト周期ページ

次の例では、国別デフォルト周期ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Default Frequencies by Country

Country	CAN	Canada

Frequency to display on Job

1st Frequency	A		Annual
2nd Frequency	M		Monthly
3rd Frequency	D		Daily
4th Frequency	H		Hourly

指定した国のデフォルト値として設定する 4 つの周期を選択します。この 4 つのデフォルト周期は、"職務データ - 給与" ページにある [給与レート] グループ ボックス内で表示される給与レートの計算に使用されます。このページで周期をリストした順番で、[給与レート] グループ ボックス内の給与レートが表示されます。

たとえば、カナダの場合は、[第 1 周期] に A (年次)、[第 2 周期] に M (月次)、[第 3 周期] に D (日次)、[第 4 周期] に H (時間毎) を指定します。カナダの従業員の場合、[給与レート] グループ ボックス内には、年次、月次、日次、時間毎の順に給与レートが表示されます。このトピックで前述した標準計算式を使用して、給与レートがデフォルト周期に換算されます。

関連リンク

[職務データ給与レート周期](#)

組織構造基本テーブルの設定

関係者タイプの設定

関係者タイプを設定するには、関係者タイプ (POI_TYPE_TBL) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、関係者タイプの概要、および新規の関係者タイプの設定方法と標準設定の関係者タイプをアクティブにする方法について説明します。

関係者タイプの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
関係者タイプ ページ	POI_TYPE_TBL	使用される関係者タイプの確認、およびその関係者タイプで関係者情報が処理される際の管理特性の変更を行います。

関連リンク

[Organizational RelationshipsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

関係者タイプについて

PeopleSoft では、従業員ではないがその組織に関係している "関係者" の情報を追跡することができます。組織内の異なる領域で、複数の関係者タイプが使用されます。たとえば、PeopleSoft グローバル ペイロールでは [グローバル ペイロール受給者] 関係者タイプが使用され、PeopleSoft 採用管理ソリューションおよび PeopleSoft Campus Solutions では、採用の前に研修が必要な応募者に対して [外部研修生] 関係者タイプが使用されます。

以下の 3 つのコンポーネントで関係者タイプを選択します。

- 個人情報の追加コンポーネント (PERSON_DATA_ADD)
- 職務データ コンポーネント (JOB_DATA)
- 雇用情報サマリ コンポーネント (PERSON_ORG_SUMM)

汎用コンポーネントは [人事・労務管理] メニューに含まれますが、上記のコンポーネントは、異なるアプリケーション メニューでも使用されます。関係者タイプの設定または変更を行う際に、その関係者タイプを選択できるコンポーネントをメニュー別に限定できます。たとえば、採用管理メニューのコンポーネントのみで使用される [新規採用者] 関係者タイプを作成したり、Pension Administration (年金管理) のメニュー

でのみオプションとして取得される [年金受給者] 関係者タイプを [人事・労務管理] メニューでも使用できます。

関係者タイプ ページ

関係者タイプ ページ (POI_TYPE_TBL) を使用して、使用される関係者タイプの確認、およびその関係者タイプで関係者情報が処理される際の管理特性の変更を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [関係者タイプ], [関係者タイプ]

画像: 関係者タイプ ページ

次の例では、関係者タイプ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person of Interest Types

Person of Interest Type 00007 *Effective Status Active

*Description External Trainee

*Short Description Ext Stud.

☐ Job Record Required?

POI Transaction

Record for POI Transaction PER_POI_TRANS

Component Name TRN_INSTRUCTR_TBL1

Market GBL

Menu Name ADMINISTER_TRAINING_(GBL)

Menu Bar Name USE

Menu Item Name PERSONAL_DATA

Transfer Panel Name PERSONAL_DATA1

Usage of this POI Type

Record for POI Summary View POI_TRN1_VW

Person of Interest Checklist HCPOI

☒ Allow in Generic Add Component

☒ Allow in Generic Upd Component

Comments

Used by the HR product in the Training Administration Module. This relationship can be created in the Training Module, the Administer Workforce Add POI Relationship component, and also via Recruit Workforce for people who need training prior to being hired.

有効ステータス

使用しないシステム標準設定の関係者タイプを非アクティブにすると、HCM トランザクション コンポーネントにオプションとして表示されません。

職務レコード必須

その関係者タイプに関係者の職務レコードが必要な場合、このチェック ボックスをオンにします。

新規の関係者タイプに対してこのチェック ボックスをオンにすると、[関係者トランザクション] グループ ボックスにデフォルト情報がロードされ、上書きすることはできません。

関係者トランザクション

関係者トランザクションのレコード

その関係者タイプによる関係者情報の処理および保持に使用するレコードを選択します。

PER_POI_TRANS レコード (雇用情報サマリ コンポーネントで使用される汎用の関係者トランザクション レコード) を選択した場合、[関係者トランザクション] グループ ボックスの残りのフィールドと [関係者サマリ表示用レコード] フィールドにデフォルト情報がロードされ、上書きすることはできません。

職務レコードを必要としない関係者タイプに対して PER_POI_TRANS 以外のレコードを選択した場合、[関係者サマリ表示用レコード] フィールドを指定してビューを作成し、トランザクションレコードのデータが雇用情報サマリ コンポーネントで表示されるようにする必要があります。

コンポーネント名

関係者トランザクションのレコードを使用するコンポーネントを選択します。個人情報 – 雇用形態ページでこの関係者タイプを選択し、[雇用データを追加] ボタンをクリックすると、ここで選択したコンポーネントに移動します。

マーケット、メニュー名、メニュー バー名、メニュー アイテム名

選択したコンポーネントに対して、メニューのマーケット、メニュー名、バー名、およびアイテム名を入力します。

移動先ページ名

[雇用データを追加] ボタンをクリックしたときに表示されるページのオブジェクト名を入力します。

関係者タイプの用途

関係者サマリ表示用レコード

この関係者タイプのサマリ情報のソースとなるレコードを選択します。雇用情報サマリ コンポーネントでこの関係者タイプを持つ個人の雇用情報を表示する場合、このレコードからサマリ情報が取得されます。

PER_POI_TRANS 以外のレコードを選択した場合、ビューを作成してこのフィールドに指定し、トランザクション レコードのデータが雇用情報サマリ コンポーネントで表示されるようにする必要があります。PeopleSoft アプリケーション デザイナで、PER_POI_TRANS ビューを使用して、異なるビュー テキストでビューを作成します。

関係者チェックリスト

この関係者タイプのデフォルト チェックリストを選択します。個人情報 - 雇用形態ページ (PERSONAL_DATA4) で関係者タイプを個人に割り当て、関係者チェックリストを作成すると、個人チェックリスト ページ (PERSON_CHECKLIST) でその個人のレコードが作成され、このチェックリストが追加されます。

Creating ChecklistsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

汎用追加コンポーネントで使用可

[人事・労務管理] メニューの個人情報の追加コンポーネント、職務データ コンポーネント、および雇用情報サマリ コンポーネントで関係者のレコードを追加する際に、この関係者タイプを使用可能にする場合、このチェック ボックスをオンにします。新規の関係者タイプに対しては全て、このチェック ボックスはオンになります。

汎用更新コンポーネントで使用可

[人事・労務管理] メニューの職務データ コンポーネントおよび雇用情報サマリ コンポーネントで関係者のレコードを更新する際に、この関係者タイプを使用可能にする場合、このチェック ボックスをオンにします。

標準設定の関係者タイプの変更

システム標準設定の関係者タイプに対しては、以下のフィールドのみ変更が可能です。

- 有効ステータス
- 関係者チェックリスト
- 汎用追加コンポーネントで使用可
- 汎用更新コンポーネントで使用可

休日スケジュールの設定

休日スケジュールを設定するには、休日スケジュール (HOLIDAY_SCHED_TBL) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、職務レコードの休日スケジュール デフォルトの概要および休日スケジュールの定義方法について説明します。

休日スケジュールの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
休日スケジュール ページ	HOLIDAY_SCHED_TBL	給与計算処理で使用する休日を指定します。

職務レコードの休日スケジュール デフォルトについて

休日は、所在地、勤務スケジュール、またはその他の要因によって従業員グループの各セグメントごとに異なる場合があるため、休日スケジュールは必要な数だけ定義できます。

従業員の職務レコードに対する休日スケジュールのデフォルト設定は、給与計算システムによって異なります。

- PeopleSoft グローバル ペイロール

給与計算システムがグローバル ペイロールの場合、"職務データ - 給与計算" ページに [休日スケジュール] のデフォルト値はロードされません。この給与計算ページでは、受給者の [休日スケジュール] を選択するか、このフィールドを空白のままにすることができます。このフィールドを空白のままにした場合、グローバル ペイロール処理では、受給者の支給グループに割り当てられた休日スケジュールが使用されます。

- PeopleSoft Payroll for North America

給与計算システムが Payroll for North America の場合、"職務データ - 給与計算" ページにロードされるデフォルト休日スケジュールは、従業員を追加しているかどうかまたは職務データを更新しているかどうか、および所在地テーブルにデフォルト休日スケジュールを定義したかどうかによって決定されます。

このトピックでは、それぞれの条件について詳細に説明します。

Payroll for North America 給与計算システムで従業員を追加した場合

給与計算システムが Payroll for North America の場合、職務データ - 給与計算ページにロードされるデフォルト休日スケジュールは、所在地テーブルまたは支給グループ テーブルのいずれかに関連付けられた休日スケジュールです。

- 所在地テーブル

所在地プロファイル ページでデフォルト休日スケジュールを割り当てた場合、その所在地に従業員を追加すると、そのスケジュールがデフォルトになります。

- 支給グループ テーブル

所在地テーブルの [休日スケジュール] フィールドを空白のままにすると、支給グループに割り当てられたデフォルト休日スケジュールが自動的に入力されます。

休日スケジュールは、従業員の職務データ - 給与計算ページで変更できます。

Payroll for North America 給与計算システムで従業員の職務データを変更した場合

従業員の "職務データ" の給与計算ページで [休日スケジュール] フィールドが空白の場合、以下の職務データ フィールドを変更すると、休日スケジュールの変更が発生する場合があります。

- 会社
- 部門 ID
- ポジション番号
- 支給グループ

注: 従業員の職務レコードに休日スケジュールが既に入力されている場合は、これらのフィールドを変更しても休日スケジュールの更新は発生しません。

次に、これらのフィールドを変更した場合の影響を説明します。

- [会社] および [部門 ID]

従業員の休日スケジュールが入力されていない場合、[会社] および [部門 ID] を変更すると、最初に所在地テーブルからデフォルト休日スケジュールが自動的に入力されます。所在地テーブルにデフォルト休日スケジュールが割り当てられていない場合は、支給グループ テーブルに割り当てられた休日スケジュールが自動的に入力されます。

- [ポジション番号] および [支給グループ]

従業員の休日スケジュールがまだ入力されていない場合は、[ポジション番号] および [支給グループ] フィールドを変更すると、支給グループ テーブルからデフォルト休日スケジュールが自動的に直接入力されます。

休日スケジュール ページ

休日スケジュール ページ (HOLIDAY_SCHED_TBL) を使用して、給与計算処理用に休日を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [休日スケジュール], [休日スケジュール]

画像: 休日スケジュール ページ

次の例では、休日スケジュール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Holiday Schedule

Holiday Schedule J02

Schedule Information

*Description

Holiday Schedule for Japan

Short Description

HS Japan

Holiday Details

Personalize | Find | View All | 1-7 of 70 | First | Last

*Holiday	Description	Nbr of Hours	Holiday Type	Start Time	End Time		
01/01/2001	New Year's Day		Standard			+	-
01/08/2001	Coming-of-Age Day		Standard			+	-
02/11/2001	National Foundation Day		Standard			+	-
02/12/2001	Substitute Holiday		Standard			+	-
03/20/2001	Vernal Equinox Day		Standard			+	-
04/29/2001	Greenery Day		Standard			+	-
04/30/2001	Substitute Holiday		Standard			+	-

休日 組織がこのスケジュールに適用する休日を全て入力します。

時間数 (省略可) 各休日の支給時間数を指定できます。

Payroll for North America では、このフィールドの値を使用して、支給からの控除が行われます。

休日タイプ 休日のタイプを選択します。

以下の値は、PeopleSoft Payroll for North America で使用されます。

カナダ: Payroll for North America では、この値はカナダの法定休日に対して指定します。

標準: Payroll for North America では、この値はアメリカの休日またはカナダの法定外休日に対して指定します。

U.S.祭日: 休日がアメリカの祝祭日に当たる場合に選択します。

以下の値は、PeopleSoft Payroll for Hong Kong で使用されます。

香港法定休日: Payroll for Hong Kong では、この値は香港の法定休日に対して指定します。

標準: Payroll for Hong Kong では、この値は祝祭日に対して指定します。

開始時刻、終了時刻

(省略可) 各休日の開始時刻と終了時刻を指定できます。

注: Payroll for North America およびグローバル ペイロールでは、これらのフィールドは参照されません。

ビジネス ユニットの定義

ビジネス ユニットを定義するには、ビジネス ユニット (HR_BUSINESS_UNIT)、ビジネス ユニット オプション デフォルト (BUS_UNIT_OPT_HR)、および GL ビジネス ユニット (BUS_UNIT_GL) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、ビジネス ユニットの更新方法について説明します。

ビジネス ユニットの更新に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ビジネス ユニット ページ</u>	BUS_UNIT_TBL_HR	ビジネス ユニットを追加または更新します。
<u>ビジネス ユニット相互参照ページ</u>	BUS_UNIT_TBL_HR2	ビジネス ユニットに関連付ける他の PeopleSoft アプリケーションのビジネス ユニットを指定します。
<u>ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ</u>	BUS_UNIT_OPT_HR	特定のセットID について会社、国、および通貨などのシステム デフォルト値を設定します。
GL ビジネス ユニット ページ	BUS_UNIT_TBL_GL	GL ビジネス ユニットを確認します。

ビジネス ユニット ページ

ビジネス ユニット ページ (BUS_UNIT_TBL_HR) を使用して、ビジネス ユニットを追加または更新します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [ビジネス ユニット], [ビジネス ユニット]

画像: ビジネス ユニット ページ

次の例では、ビジネス ユニット ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Business Unit

Business Unit Reference

Business Unit

CFMBU

*Status

Active

*Description

Canadian Business Unit

Short Description

Cdn BU

Default Record Group Set IDs

Set ID

CDN

Canadian General SetID

OR

Clone from Existing Business Unit

警告 システム パフォーマンスを最適化するために、ビジネス ユニットは 5 文字で設定してください。セットID やビジネス ユニットが 5 文字に満たない場合は、パフォーマンスが大幅に低下します。

ステータス

[アクティブ] または [非アクティブ] を選択します。[非アクティブ] を選択した場合は、PeopleSoft HCM のビジネス ユニット リストにこのビジネス ユニットは表示されません。

注: ビジネス ユニットには有効日が付いていないため、ビジネス ユニットの使用可能状態の切り替えにはこのフィールドを使用します。

テーブルセット共有オプションについて

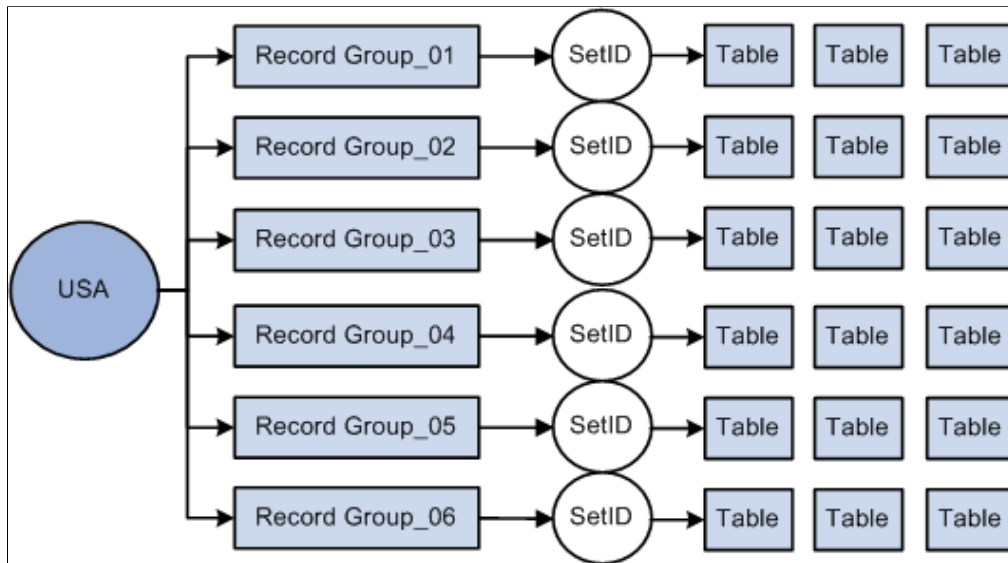
デフォルトレコード グループ セットID

ビジネス ユニット コンポーネントで新規のビジネス ユニットを定義する際は、このグループ ボックスのオプションを使用して、新規のビジネス ユニットに対してデフォルトのレコード グループ セットID が設定されるように指定します。[セットID] または [既存ビジネス ユニットからコピー] フィールドに値を入力すると、新規ビジネス ユニットの各レコード グループに割り当てられるセットID が決定します。その結果、このビジネス ユニットのテーブルセット共有の設定が暫定的に決まります。さまざまなコントロール テーブルから有効値を取得する際に該当するビジネス ユニットに使用されるテーブルセットは、レコード グループに割り当てられたセットID によって決定します。

特定のデフォルト セットID を使用したテーブルセット共有設定

画像: テーブルセット共有

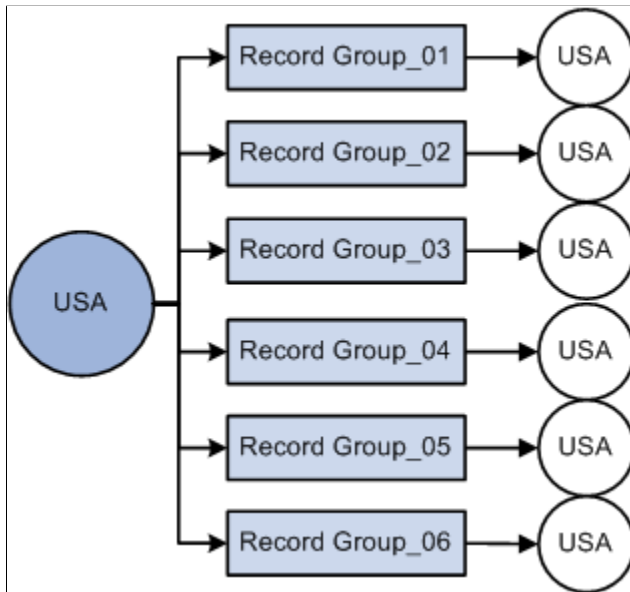
セットID の主要デフォルト (必要に応じて、テーブルセット コントロール - レコード グループ ページ (SET_CNTRL_TABLE1) で変更可) を使用して作成している新規ビジネス ユニットにテーブルセット共有設定を定義する場合は、使用するデフォルトのセットID を入力します。



システムに新規のビジネス ユニットを追加すると、[セットID] フィールドにはそのビジネス ユニットと同じ名前が表示されます。たとえば、ビジネス ユニットの名前が *USA* の場合、[セットID] の値は *USA* にデフォルト設定されます。デフォルト セットID は必要に応じて上書きできます。

画像: デフォルト セットID を使用したテーブルセット共有

デフォルト セットID を変更せずにビジネス ユニットを保存すると、そのビジネス ユニットと同じ名前 (この場合は *USA*) で新しいセットID が作成され、ビジネス ユニット ページで指定したこのデフォルト セットID である *USA* が、次の図に示すように、新しいビジネス ユニットの各レコード グループに割り当てられます。



注: 1 つのビジネス ユニットに関連付けることができるデフォルト セットID は 1 つのみです。

既存ビジネス ユニットからのテーブルセット設定のコピー

[既存ビジネス ユニットからコピー] オプションを使用すると、既存ビジネス ユニットのテーブルセット共有設定をコピーできます。

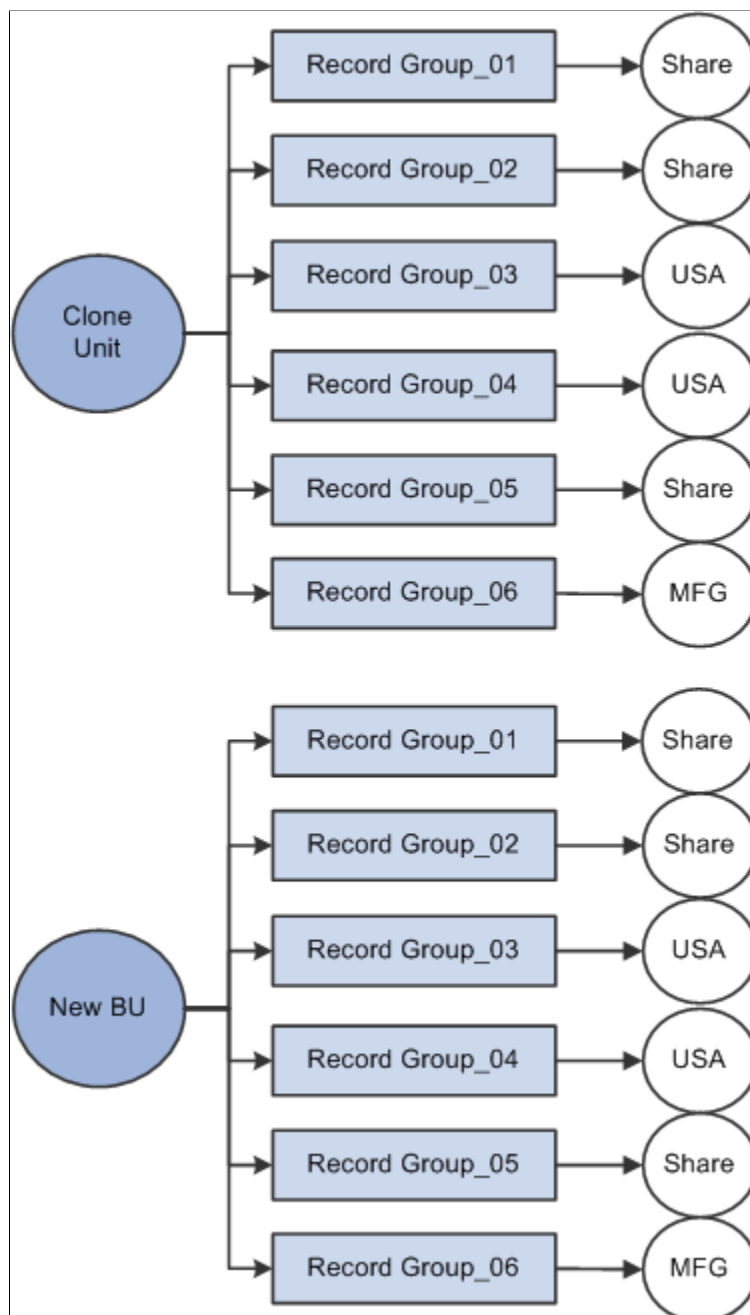
注: 初めてビジネス ユニット ページを開くと、[既存ビジネス ユニットからコピー] オプションは、グレー表示になっています。このオプションを使用可能にするには、[セットID] フィールドにある値を消去し、フィールドからカーソルを移動します。

作成中の新規ビジネス ユニットのテーブルセット共有設定を、既に定義済みの別のビジネス ユニットの設定と同じにする場合、または 2 つのユニットの設定をレコード グループ数個を除いてほぼ同じにする場合は、コピー対象のビジネス ユニットを入力します。レコード グループが新規ビジネス ユニットにリンクさ

れると、コピー元として選択したビジネス ユニットと同じセットID が各レコード グループに割り当てられます。

画像: 既存ビジネス ユニットからのテーブルセット共有設定のコピー

たとえば、コピー対象として指定する既存のビジネス ユニットに、レコード グループ 01、02、および 05 にセットID *SHARE* が関連付けられ、レコード グループ 03 および 04 にセットID *USA* が関連付けられ、レコード グループ 06 にセットID *MFG* が関連付けられているとします。作成した新規ビジネス ユニットは、次の図に示すように、同じレコード グループごとにこれらの同じセットID 値を共有します。



どちらの方法を選択しても、新規ビジネス ユニートを最初に保存した後は、デフォルトの [セットID] または [既存ビジネス ユニットからコピー] フィールドは入力不可になります。このビジネス ユニットのデフォルトレコード グループ セットID の情報をこのページから再度変更することはできません。これは、PeopleSoft

HCMにある定義済みビジネス ユニットのテーブルセットレコード グループ コントロールが誤って上書きされないようにするためです。

注: 新規ビジネス ユニットを追加してページを保存すると、全ての有効なテーブル値が自動作成されます。これらの値は PeopleTools から取得され、ビジネス ユニット ID、レコード グループ ID、およびセットIDに関連するものです。

ビジネス ユニットを作成すると、すぐにテーブルセット共有が設定されます。1 つのデフォルト セットID を使用してテーブル セット共有を設定した場合の共有には特に、細部の調整が必要です。テーブル セット コントロール — レコード グループ ページで個別のレコード グループに割り当てられているセットID を変更して、この調整を行います。レコード グループを追加すると、このページのデフォルト セットID 値が使用されます。

『PeopleTools: Data Management』の「PeopleTools Utilities」に含まれる「TableSet Control - Record Group」を参照してください。

ビジネス ユニット相互参照ページ

ビジネス ユニット相互参照ページ (BUS_UNIT_TBL_HR2) を使用して、ビジネス ユニットに関連付ける他の PeopleSoft アプリケーションのビジネス ユニットを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [ビジネス ユニット], [ビジネス ユニット相互参照]

画像: ビジネス ユニット相互参照ページ

次の例では、ビジネス ユニット相互参照ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ビジネス ユニット相互参照

このグループ ボックスでは、ページに表示されている PeopleSoft アプリケーションに対して、適用可能な場合は、ビジネス ユニット相互参照を入力します。作成したビジネス ユニットに関連付ける、他の PeopleSoft アプリケーションのビジネス ユニットを指定します。

注: PeopleSoft HCM ビジネス ユニットに関連付けられている PeopleSoft 一般会計ユニットは、GL/HR ビジネス ユニット マッピング ページ (BU_GL_HR_LNK) で確認できます。

ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ

ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ (BUS_UNIT_OPT_HR) を使用して、特定のセットID について会社、国、および通貨などのシステム デフォルト値を設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [ビジネス ユニット オプション デフォルト], [ビジネス ユニット オプション デフォルト]

画像: ビジネス ユニット オプション デフォルト ページ

次の例では、ビジネス ユニット オプション デフォルト ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Business Unit Options Defaults' page. It includes a table for 'Table Set shared across Corp' with columns for Set ID, SHARE, and the table name. Below this, there are input fields for *Company (GBI), *Country (USA), and *To Currency (USD). The 'Standard Hours' section contains fields for *Default Standard Hours (40.00), Minimum Standard Hours (10.00), Work Period (W), and Maximum Standard Hours (40.00). The 'Industrial Committee' and 'NACE Code' fields are also present. The 'Census Metropolitan Area' dropdown is set to 'Toronto, Ontario'.

セットID に対し各種のデフォルト値を設定することで、ヒューマン リソース管理システム内のフィールドに表示されるデフォルト値を指定できます。ビジネス ユニット オプション デフォルト コンポーネントはセットID をキーとしているため、複数のビジネス ユニット間でこのデフォルトを共有できます。

警告 このページで入力または選択した値は、PeopleSoft HCM システム全体のデフォルト設定に影響します。

会社、国、換算先通貨

デフォルト値として使用される会社、国、換算先通貨を選択します。

標準勤務時間

デフォルト標準勤務時間

デフォルト標準勤務時間は、給与プラン定義コンポーネント (SALARY_PLAN_TABLE)、職務コード テーブル コンポーネント

(JOB_CODE_TBL)、またはインストール テーブル コンポーネント (INSTALLATION_TBL) から取得されます。

勤務周期

標準勤務周期とは、従業員が規定の標準勤務時間分の勤務を完了しなければならない周期です。標準勤務周期の年次化係数と、デフォルトの標準勤務時間を組み合わせて、常勤換算 (FTE) が計算されます。デフォルトの標準勤務周期は、給与プラン定義、職務コード テーブル、またはインストール テーブルの各コンポーネントから取得されます。ここで入力した値は、職務データ コンポーネント (JOB_DATA) およびポジション データ コンポーネント (POSITION_DATA) で確認のために使用されます。

最小標準勤務時間、最大標準勤務時間

このセットID に対する最小標準勤務時間と最大標準勤務時間のデフォルト値を入力します。ここで入力した値は、職務データ コンポーネントおよびポジション データ コンポーネントで確認のために使用されます。

(BEL) [ベルギー]

業界委員会

会社に適合する業界委員会を選択します。これは、必要に応じて部門レベルで上書きできます。

NACE コード

会社の NACE コードを入力します。注: NACE コードの詳細レベルを選択することができます。グループレベルで 5 桁、クラスレベルで 6 桁、およびサブクラスレベルで 7 桁です。

(CAN) [カナダ]

国勢調査メトロ エリア

メトロ エリアを選択します。

産業セクター

産業セクターを選択します。選択した値は、カナダ部門のデフォルトの産業セクターとして使用されます。

注: これらの値は PeopleSoft ヒューマン リソース管理のカナダの法定レポートに影響します。

会社情報の入力

会社情報を入力するには、会社法人タイプ (LEGAL_TYPE)、会社テーブル (COMPANY_TABLE)、および会社テーブル レポート (RUN_PER707) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、会社の概要および会社情報の入力について説明します。

会社情報の入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
会社法人タイプ ページ	LEGAL_TYPE_TBL	それぞれの会社に対し、会社テーブルで正しい法人タイプを関連付けておき、レポート作成の際にその情報を利用します。 多くの国では、会社の法人構造について、会社法人、有限会社、協同組合などのいずれであるかを報告することが義務付けられています。
会社 - 会社所在地ページ 機関所在地ページ	COMPANY_TABLE1	会社を定義し、詳細情報を設定します。
デフォルト設定ページ	COMPANY_TABLE2_GBL	デフォルトの会社情報を設定します。たとえば、支給グループ、給与点数、ベルギーの場合は Claeys 計算の係数などを定義します。
(Payroll for North America) 一般会計負債勘定ページ	COMP_TBL7USA_SEC	純支給額および自動振込に対する一般会計の勘定科目コードを入力します。
(USA) チップの処理ページ	COMP_TBL6USA_SEC	チップの割り当てに関する設定をします。
(USA) 税詳細ページ	COMP_TBL8USA_SEC	連邦事業主 ID (EIM) の指定、会社の関連付け、およびデフォルトの税ステータスの定義を行います。
(BEL) 会社テーブル - BEL ページ	COMP_TBL2ABEL_SBP	Claeys 計算式を実行する際に使われるデフォルト情報と給与係数を入力します。
(BEL) 外部取扱機関 BEL ページ	COMP_TBL2BBEL_SBP	取扱機関をセットIDに関連付けます。
会社 - 電話番号ページ	COMPANY_TABLE3_GBL	会社の電話番号情報を入力します。
ルール定義ページ	COMPANY_TABLE4_GBL	会社の FTE ルールを定義します。
会社テーブルレポート - ラン コントロールページ	PRCSRUNCNTL	会社テーブルレポート (PER707) を実行します。このレポートには、会社テーブルに含まれる全ての会社と、その名称、住所、会社コード、有効日などのデフォルト情報が出力されます。 別のレポート プログラム (PAY702) には、会社テーブルに入力した一般会計情報が出力されます。

会社について

会社テーブル コンポーネントには、組織に属している 1 つまたは複数の会社に関する情報を入力できます。これには、住所、一般会計の勘定科目、税情報、給与計算処理情報などが含まれます。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理のみを使用している場合は、追加する各会社の情報を会社所在地ページ (COMPANY_TABLE1) にのみ入力します。デフォルト設定ページ (COMPANY_TABLE2_GBL) で、会社でデフォルトの支給グループを関連付けることもできます。ここで選択する値は、この会社の従業員の職務データ コンポーネントにデフォルトとして表示されます。ただし、PeopleSoft Payroll for North America を使っている場合と同様、会社を追加する場合は、各会社を独立した税務単位として扱うのが効率的な方法です。

PeopleSoft グローバル ペイロールを使用している場合、支給元が会社と同じ場合は、給与計算固有の会社情報を支給元コンポーネント (GP_PYENT) に追加入力する必要があります。入力には PeopleSoft グローバル ペイロールで行います。

(USA) アメリカの企業が考慮すべき点

PeopleSoft Pension Administration では、従業員のアクティブな職務データレコードとは別の退職者職務、および一致する退職者職務を使用して年金受給者が追跡されます。これらの退職者職務は、特定の退職者会社と関連付ける必要があります。したがって、年金受給者の所属先として必ず会社を設定してください。年金プランは、アメリカ独自の EIN 番号が設定される個々の税納税義務者であるため、通常は、保証する年金プランごとに 1 つの退職者会社を設定します。退職者会社を設定すると、プラン管理コンポーネント (PLANADM) で会社を年金プランと組み合わせることができます。

PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft Pension Administration を使用しているアメリカ企業の場合は、通常、給与税報告のために政府規定の固有の事業主 ID 番号 (EIN) がある事業単位として定義されます。年金プランには EIN があるため、年金プランごとに会社を作成します。年金プラン会社は、そのプランから福利厚生を収集している全ての受給者の受給者職務データレコードから参照します。

PeopleSoft Payroll for North America を使用している会社の場合は、追加する各会社が、自社で使用している各 EIN に対応する必要があります。会社の EIN を追加するには、給与計算スタッフが 3 つのページ全てを最低 1 回ずつは完了する必要があります。

関連リンク

[Setting Up Plan Administration DataPeopleSoft Pension Administration](#)

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

[PeopleSoft Payroll Interface](#)

会社 - 会社所在地ページ

会社 - 会社所在地ページ (COMPANY_TABLE1) を使用して、会社情報を定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社], [会社所在地]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [Agency USF], [機関所在地]

画像: 会社 - 会社所在地ページ (1/2)

次の例では、"会社 - 会社所在地" ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Company Location' page for 'Company QF1'. The 'Location' section contains the following fields and values:

- *Effective Date: 01/01/1990
- *Status: Active
- *Description: CATS Company
- Short Descr: CATS
- Location Set ID: QEGID (EG Share)
- Location: QCAB (Generic EG Location CAN)
- *Default Set ID: QEGID (EG Share)
- Legal Entity: (empty)
- Stats-Can Institution Code: 590111
- Country: CAN (Canada)
- Address: 2500 University Dr, Calgary ON T3Y8U9

An 'Edit Address' button is located next to the address field. Below the location details is an 'Email Addresses' table with the following structure:

Email Addresses		Personalize	Find	View All	First	1 of 1	Last
*Address Type	*Email Address						
1							

画像: 会社 - 会社所在地ページ (2/2)

次の例では、"会社 - 会社所在地" ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays a web interface for managing company information. It is divided into two main sections: 'Mailing Address' and 'Representative Information'.

Mailing Address Section: This section is titled 'Mailing Address' and includes a 'Country' dropdown menu currently set to 'USA', with a magnifying glass icon and the text 'United States' next to it. Below the dropdown is a text input field labeled 'Other Address'. To the right of these fields is an 'Edit Address' button.

Representative Information Section: This section is titled 'Representative Information' and includes a navigation bar with 'Find | View All' and 'First 1 of 1 Last' buttons. Below the navigation bar is a date field labeled '*Effective Date' with the value '06/30/2014' and a calendar icon. Below the date field are two text input fields labeled 'Title' and 'Name'.

単一の会社から成る組織の場合、このテーブルは 1 回設定するだけですが、複数の会社で構成される組織の場合は、各会社ごとに会社コードを設定します。

(BEL) [ベルギー]

ベルギーの会社の電子メール アドレス情報を入力します。

(JPN) [日本]

肩書

有効日の時点における会社代表者の肩書きを入力します。これは、[辞令 JPN] レポート ページでデフォルトの肩書きとして使用されます。

このデフォルトは辞令 JPN ページで上書きできますが、そのまま使用した場合、この肩書きと名前が、採用、異動、昇格、退職などの辞令に印刷されます。

氏名

代表者の氏名を入力します。このデフォルトは、[辞令 JPN] レポート ページで上書きできます。

関連リンク

[Recording and Viewing Employee Additional Appointments DataPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

デフォルト設定ページ

デフォルト設定ページ (COMPANY_TABLE2_GBL) を使用して、デフォルトの会社情報を設定します。たとえば、支給グループ、給与点数、ベルギーの会社の場合は Claeys 計算の係数などを定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社], [デフォルト設定]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [Agency USF], [デフォルト設定]

画像: デフォルト設定ページ (1/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (1/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Default Settings' page for 'Company K1G GP US Company G'. The page is divided into several sections:

- Company Location:** K1G GP US Company G
- Default Settings:**
 - Effective Date:** 01/01/2004
 - Status:** Active
 - Regulatory Region:** USA (United States)
 - Points Value:** (empty field)
 - Currency Code:** USD (US Dollar)
- Payroll for North America:**
 - Pay Group:** (empty field)
 - Default Earnings Program:** (empty field)
 - *Lines on Paysheet:** 15
 - Activity Days for Terminations:** 30
 - Federal Tax Deduction Priority:** 100
 - State Tax Deduction Priority:** 110
 - ☒ Single Check for Multiple Jobs
 - ☒ Pay Taxes through AP
- General Ledger Accounts:** (link)
- Tips Processing:** (link)
- Tax Details:** (link)

画像: デフォルト設定ページ (2/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (2/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 Belgium

Company Information

Company Trade Name

Registration for Trade

Legal Entity

Official Language

[Claeys Defaults](#)

[External Providers](#)

☐ Salary Limit

Employer Data

Natl Office for Social Sec

RIZIV Nbr

Geo Loc NOSS

Industrial Committee

Overseas Soc Ins Inst

Federal Pension Institute

Statistics Institute

NACE Code

 Canada

Workers' Compensation Board

Firm Number

Rate Number

 Switzerland

AHV Number

Accident Insurance Number

Trade Registry Number

画像: デフォルト設定ページ (3/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (3/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 Germany

☐ OECD Permission Required

☒ Medical Checkup Required

Accident Insurance

Social Insurance Accident Nbr

Tax Unit

 Spain

Fiscal Identification Code

 France

SIREN Code

APE Code

Bank ID

Base Scheme

Option

Company Fund Membership

Personalize | Find |   First 1 of 1 Last

Membership Number	Description	Institution Nbr	Description	Fund Code	Description
1 Membership Number					

 United Kingdom

Business Description

画像: デフォルト設定ページ (4/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (4/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 Italy

Representatives
[Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) |  
First  1 of 1  Last

	*Representative Type	Empl ID	Description		
1					

List of Company Code
[Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) |  
First  1 of 1  Last

	Company Code Type	Company Code	Main Code		
1			☐		

 Netherlands

Federal Employer Tax ID

Providers
[Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) |  
First  1 of 1  Last

	Set ID	Vendor ID	Registration Nbr		
1					

 USA

Employer ID Number

Federal Reserve Bank ID

Federal Reserve Bank District

EEO Company Code

☒ FLSA Required

FLSA Rule

☒ Higher of FLSA/Contractual

☐ Always use FLSA Premium

画像: デフォルト設定ページ (5/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (5/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 Australia	
Salary Packaging	
☐ Liable for Payroll Tax	
TEC Comp Rate Code	
TPV Comp Rate Code	
 New Zealand	
Classification Unit	
 Argentina	
CUIT	
DGI Office	
Main Activity	
Legal Book Last Page Nbr	
Company Activity Code	
 Brazil	
*Nature of Declarer	MixC/PubFedCo.Inv.Fun/ClubAdr
*Option to Simples	Opting
Last Reg Number Method	Company
Last Reg Number	1

画像: デフォルト設定ページ (6/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (6/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 China

Legal Representative

 Legal Representative 

Operation Classification

 Operation Classification

Accounting Software DI Options

Shared Information

 Organization Number

 Enterprise Industry

 *Translation Type

Accounting Data Information

 Electronic Book Number

 Electronic Book Name

Accounting Period Mapping

☐ Earn Date

☒ Pay Date

Public Sector Specific Info

 Administrative Division Code

 Budget Management Level

 Fund Source

Vendor/Software Information

 Software Vendor ORACLE

 ERP Software Version PSFT HRMS 9.21

 CNAO Standard Version

画像: デフォルト設定ページ (7/7)

次の例では、デフォルト設定ページ (7/7) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface for setting default values. It is divided into two main sections: Mexico and Malaysia. The Mexico section is expanded, showing 'Company Information' and 'Legal Representative' sub-sections. The 'Company Information' sub-section has a table with fields: *Effective Date (06/30/2014), Company Settings, RFC, INFONAVIT ID, and % Creditable Subsidy Applied. The 'Legal Representative' sub-section has fields: Name, RFC, and CURP. The Malaysia section is collapsed, showing fields: Reference Number and Registration Number.

デフォルト設定

点数値

点数を金額で入力します。

Payroll for North America

以下のフィールドは、PeopleSoft Payroll for North America を使用する会社に対して適用されます。

支給グループ

このフィールドに入力した支給グループは、この会社の全従業員のデフォルト支給グループとして表示されます。従業員の大半が同じ支給グループに属している場合は、デフォルトを設定することによって、従業員レベルでのデータ入力の時間を節約することができます。

注: このフィールドの長さは、PeopleSoft グローバル ペイロールまたは PeopleSoft Payroll for North America のどちらを使用するかによって変わります。このページで支給グループを使用するためには、最初に PeopleSoft グローバル ペイロールまたは Payroll for North America で支給グループを設定しておく必要があります。設定を行う場所は、どちらの給与計算システムを使っているかによって異なります。

デフォルトの支給プログラム

この会社の従業員に対するデフォルト値を選択します。

ペイシート行数	ペイシートの行数を入力します。ペイシートは、各支給期間において、従業員への支給額を計算するために必要なデータを保存しておく保管場所としての機能を果たします。 Understanding Earnings TablesPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。
雇用終了者の計算可能日数	このフィールドは参照専用です。
連邦税控除の優先権および州税控除の優先権	連邦税控除および州税控除の優先度を入力します。
AP による税の支払 (買掛金管理による税の支払)	買掛金管理 (AP) を使って税を管理している場合、このチェックボックスをオンにします。
GL 勘定科目コード	一般会計の勘定科目コードに関する情報を入力する際に、このリンクをクリックします。
チップの処理	会社の方針に従ってチップを処理するためのパラメータを設定する際に、このリンクをクリックします。
税詳細	FICA と税詳細を入力する際に、このリンクをクリックします。
(BEL) [ベルギー]	
会社商号	ベルギーの会社商号 (Continental Commerce - Belgium など) を入力します。
商号の登録番号	ベルギーの商号登録簿にある公式登録番号を入力します。
法人企業	法人企業は、会社法人や共同組合など、会社の法律上の形態です。さまざまな会社形態がトランスレート値として設定されています。会社の株式が公開か非公開か、または有限会社であるかなのかなどを選択します。
給与限度額	給与限度額の上限を設定する場合に、チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにしても実際に給与額に限度が自動設定されるわけではありませんが、昇給が会社の上限額を超えたり昇給禁止期間に行われたりするのを防ぐために参照用としてこのチェック ボックスを使用できます。 会社昇給禁止期間が設けられていたり、従業員の昇給に制限が設定されている場合は、このページの PeopleCode を変更できます。その後、このチェック ボックスをオンにすると、指定期間内の昇給が行われないように設定されます。
公用語	会社の公用語を選択します。この値は、従業員のデフォルト公用語として使用されます。ただし、会社の所在地が首都ブリュッ

セルの場合は例外で、従業員が指定した言語がデフォルトとして使用されます。

Claeys デフォルト

このリンクをクリックすると、Claeys ページが表示され、Claeys デフォルトおよび給与係数情報を入力できます。

「[\(BEL\) 会社テーブル - BEL ページ](#)」を参照してください。

外部取扱機関

このリンクをクリックすると、取扱機関ページが表示され、サードパーティ取扱機関を管理するためのベルギーの取扱機関情報を入力できます。

「[\(BEL\) 外部取扱機関 BEL ページ](#)」を参照してください。

NOSS (社会保障局)

社会保障局 (NOSS) に登録された会社の番号を入力します。

海外の社会保険制度 (海外の社会保険制度、連邦年金機関)

会社の海外の社会保険制度 (連邦年金機関) を入力します。この情報は、ベルギーの組織がベルギー政府に提出する法定提出書類の要件を満たすために使用されます。システム上、この情報は必要ではありませんが、法定レポートの作成には重要です。

RIZIV 番号

RIZIV 番号を入力します。この番号は、連邦疾病障害保険機関 (Federal Institute for Illness and Disability Insurance) のカテゴリを表すものです。

NOSS 所在地 (NOSS 所在地カテゴリ) NOSS の所在地を入力します。

統計機関

統計機関を入力します。この情報は、ベルギーの組織がベルギー政府に提出する法定提出書類の要件を満たすために使用されます。システム上、この情報は必要ではありませんが、法定レポートの作成には重要です。

業界委員会

会社に適合する業界委員会を選択します。この値は、部門レベルで上書きできます。

NACE コード

会社の NACE コードを入力します。

注: NACE コードは、グループレベルで 5 桁、クラスレベルで 6 桁、およびサブクラスレベルで 7 桁です。

(CAN) [カナダ]

法人番号、レート番号

カナダの従業員の労働災害補償委員会 (WCB) データを管理している場合に入力します。

(CHE) [スイス]

AHV 番号 (Alters-und Hinterbliebenen Versicherung 番号)	該当する AHV 補償機関の番号を入力します。6 桁までの数字を指定できます。
事故障害保険番号	事故障害保険会社によって会社割り当てられた番号を入力します。この番号は安全衛生管理レポートの作成に使用します。
商号登録番号	商号登録機関によって会社割り当てられた番号を入力します。フォーマットは、999.9.999.999-9 です。

(DEU) [ドイツ]

OECD の許可必要 (経済協力開発機構 (OECD) の許可必要)	該当する場合、このチェック ボックスをオンにします。ドイツでは、OECD に加盟していない国出身の従業員が防衛やハイテク分野などの特定の産業に従事する場合、OECD の許可が必要です。
健康診断必要	ドイツの労働法に従って従業員の健康診断が必要な場合は、このチェック ボックスをオンにします。

(DEU) ドイツ公的機関

州 (EF1)	会社の州の値を指定します。会社に対して実行される従業員統計レポートの EF1 値として使用されます。
区分 (EF2)	会社の区分の値を指定します。会社に対して実行される従業員統計レポートの EF2 値として使用されます。
レポート番号 (EF3)	会社のレポート番号の値を指定します。会社に対して実行される従業員統計レポートの EF3 値として使用されます。
事業主番号	会社の事業主番号の値を指定します。従業員の家族手当レポートを実行するためにこの値が必要です。

(ESP) [スペイン]

会計 ID コード	スペイン政府によって割り当てられた、会社の会計 ID コードを入力します。

(FRA) [フランス]

SIREN コード (Systeme Informatique pour le Repertoire des Entreprises コード)	この会社の SIREN コードを入力します。SIREN コードは、フランス政府に対して会社の事業登録を行ったときに割り当てられるコードです。このコードはヒューマン リソース管理システムに必要ありませんが、社用文書で頻繁に必要になります。

APE コード (Activite Principale Exercee コード)

APE コードを選択します。APE コードは、金融、ソフトウェア、保険など、会社の産業分野を指定するコードです。APE コードはフランスの法律によって義務付けられており、会社の法定レポート全てに記載する必要があります。

銀行 ID

銀行 ID およびデータ チェック デジットを入力します (省略可)。

基本スキーム

会社の基本スキームを選択します。基本スキームは、必須基本スキーム ページ ([HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [従業員データ FRA], [基本スキーム]) で定義され、DADS レポートの作成に必須の情報です。

Understanding DADS ReportingPeopleSoft Global Payroll for France、Understanding Global Payroll Rules for DADSPeopleSoft Global Payroll for France、およびUnderstanding DADS Data StructuresPeopleSoft Global Payroll for France を参照してください。

Generating DADS FilesPeopleSoft Global Payroll for France を参照してください。

オプション

このフィールドは、過去の DADS 標準 (DADS-TDS) の DADS レポートで以前使用されていました。現在、DADS-U 標準を使用する最新の DADS レポートでは使用されていません。

会社資金資格

このスクロール領域には、年金/準備金の契約ページで会社に定義された年金/偶発事故準備金の契約が表示されます。資格番号リンクをクリックすると、契約定義が表示されます。

Pension/Contingency Contracts PagePeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements を参照してください。

注: このページのフィールドに入力した番号のフォーマットは、自動的には検証されません。

(GBR) [イギリス]

事業内容

会社の事業内容を入力します。この情報は、[安全衛生管理] メニューにある 2 つのイギリス用 RIDDOR レポートで使われます。各従業員の職務レコードから、関連する会社の事業内容が出力されます。

(ITA) [イタリア]

会社コード タイプ、会社コード

イタリアの行政機関によって会社に割り当てられた会社コードタイプと会社コードを入力します。

メイン コード

入力された会社コードがレポート作成に使用される主要な会社コードである場合、このチェック ボックスをオンにします。

(NLD) [オランダ]**連邦雇用税 ID**

オランダ政府によって指定された連邦雇用税 ID を入力します。これは、税務当局に提出される賃金申告に必要です。

「」を参照してください。

機関 ID

会社に関連付けられている取扱機関を選択します。オランダの疾病レポートでは、機関情報ページの [HCM クラス] フィールドの値が "I" (労働保険取扱機関) に設定されている取扱機関が使用されます。取扱機関は、機関テーブル コンポーネント ([HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD]) を使用して設定します。

オランダの疾病レポート機能は、ヒューマン リソース管理の休暇欠勤管理ビジネス プロセスと PeopleSoft Global Payroll for the Netherlands に標準で用意されています。

「」を参照してください。

登録番号

保険取扱機関の登録番号を入力します。この情報は保険取扱機関から取得します。オランダの疾病レポートで使用される取扱機関については、[登録番号] フィールドの指定は必須です。

(USA) [アメリカ]**事業主 ID 番号**

会社に関連付けられた固有の連邦事業主 ID 番号 (EIN) を指定します。この番号は、州法人税テーブル コンポーネントの州源泉徴収の事業主 ID のデフォルト値になります。

注: 同じ EIN を使用して複数の会社を設定する場合は、TAX810XX、TAX860XX、TAX002XX など四半期賃金レポートを、これらの合計を累計するように修正する必要があります。

年次 W-2 レポートを作成する場合には、W-2 レポート会社の機能を使って、従業員の残高をまとめることができます。

FLSA 適用

公正労働基準法が適用される従業員が、超過勤務手当について FLSA レートを計算する必要がある場合は、このチェック ボックスをオンにします。FLSA レートを計算する必要がない公正労働基準法が適用される従業員が含まれる支給グループがある場合は、支給グループの [FLSA 適用] チェック ボックスをオフにします。

会社テーブルの [FLSA 適用] をオフにすると、支給グループテーブル (PAYGROUP_TABLE) の [FLSA 適用] フラグが非表示になるため、全支給グループに対して FLSA 計算が適用できなくなります。

このチェック ボックスをオンにした場合は、[FLSA ルール] グループ ボックス内のオプションも選択し、FLSA に基づいて算出された割増しを超過勤務手当に対して適用する方法と場合を指定します。

FLSA / 契約

FLSA 割増しは、契約レートより高い場合にのみ、適用されます。

常に FLSA 割増を適用

契約レートに関係なく、FLSA 割増し額を使います。

連邦準備銀行 ID

アメリカの貯蓄債券発行データを処理する際に、このフィールドが使用されます。連邦準備銀行 (FRB) によって、この会社に割り当てられた FRB ID を入力します。

連邦準備銀行地区

アメリカの貯蓄債券発行データを処理する際に、このフィールドが使用されます。連邦準備銀行地区を選択し、債券を発行する FRB を指定します。

雇用機会均等会社コード

アメリカ連邦政府によって会社 EE0-1 や VETS100 レポート用のコードが割り当てられている場合は、その番号を入力します。

(AUS) [オーストラリア]

給与税支払義務

デフォルトの給与レート コンポーネントが課税対象かどうかを指定します。このチェック ボックスをオンにすると、州給与税ページ (PKG_PYTX_RT_TBL) で設定した州の給与税率が、給与パッケージ処理が行われた従業員の給与計算に使用されます。

TEC 給与レート コード、TPV 給与レート コード

給与パッケージ登録で使用するデフォルトの TPV 給与レートコードと TEC 給与レート コードを指定します。

給与レートコードは給与レート コード ページ (COMP_RATECD_TBL) で設定します。

教育機関コード

このグループ ボックスは、インストール テーブルの国別指定ページで [教育/公的機関] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。DETYA レポートに必要な教育機関コードを入力します。レポート作成に必要な教育機関情報を管理するために使われます。また、この情報が必要なページでは、デフォルト値となります。

機関コード

このグループ ボックスは、インストール テーブルの国別指定ページで [教育/公的機関] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。会社の機関コードを入力します。

(NZL) [ニュージーランド]**分類ユニット**

会社の分類ユニットを入力します。この情報は、分類ユニット テーブル ページ (CLS_UNT_TBL_NZL) から取得されます。このデータは、事故障害リハビリ補償保険 (ARCI) の事業主保険料の計算に使われます。

Setting Up the ARCI TablePeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements を参照してください。

(ARG) [アルゼンチン]**CUIT (Código único de Identificación Tributaria)**

対応する固有税 ID コードを入力します。

法定文書最終ページ番号

従業員の支給/控除を詳述する、法定文書の最終ページ番号を表示します。

(BRA) [ブラジル]**申告者区分**

事業所の法定区分を入力します。この情報は、レポート作成のために使います。

SIMPLES オプション

会社の拠出額を請求書作成後の実際の請求拠出額に置き換えるための SIMPLES 値を選択します。

最終登録番号方法

従業員の登録番号の割当と追跡を事業所と会社のいずれで行うかを選択します。

最終登録番号

この会社採用、再雇用、または異動される次の従業員に割り当てられる登録番号を表示します。このフィールドを編集できるのは、最終登録番号方法として [会社] を選択した場合です。最終登録番号は、会社の有効日行全てで更新されます。

(CHN) [中国]

これらのフィールドの詳細については、Default Settings PagePeopleSoft Global Payroll for China を参照してください。

(MEX) [メキシコ]**会社設定**

会社の事業活動を定義します。財務、医薬、製造、サービス、旅行、販売などの値を入力します。

RFC

会社の RFC ID を入力します。

メキシコの財務省 (*Secretaria de Hacienda y Credito Publico*) では、RFC ID で会社を識別します。社会保障、税、給与関連のレポートで RFC ID が使用されます。

INFONAVIT ID

会社の INFONAVIT ID を入力します。

% 貸付補助金

貸付補助金の率を入力します。この値は、連邦税の計算に使われます。

氏名

会社の法定代表者の氏名を入力します。

RFC、CURP

法定代表者について、それぞれの値を入力します。

(MYS) [マレーシア]**参照番号**

会社の税整理番号 (会社 C ファイル番号) を入力します。この番号は、マレーシアの年税控除明細 CP159 レポート (GPMYTX05) に使われます。

登録番号

マレーシア政府によって割り当てられた、会社を一意に識別するための登録番号を入力します。この番号は、CP39 月次税控除明細の電子フォーム (GPMYTX04) に使われます。

関連リンク

[Understanding the Works Councils Approval Business Process](#) PeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration

[Understanding U.K. Regulatory Requirements](#) PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements

[Setting Up and Viewing Salary Packaging Tax Options](#) PeopleSoft Human Resources Administer Salary Packaging

[Setting Up Rate Codes](#) PeopleSoft Human Resources Administer Compensation
PeopleSoft Global Payroll

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

(Payroll for North America) 一般会計負債勘定ページ

(USF) 一般会計負債勘定ページ (COMP_TBL7USA_SEC) を使用して、純支給額と自動振込みの一般会計勘定コードを入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [Agency USF], [デフォルト設定]

[Payroll for North America] グループ ボックスを展開し、[GL 勘定科目] リンクを選択します。

画像: (Payroll for North America) 一般会計負債勘定ページ

次の例では、Payroll for North America の一般会計負債勘定 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'General Ledger Liability Accts' page. It has a header section with 'Net Pay' and 'Direct Deposits' fields, each with a search icon. Below this is a section titled 'Employee Liabilities' containing six fields: 'FWT', 'EIC Advances', 'FICA OASDI', 'FICA MediCare', 'Additional Medicare', and 'Garnishment Company Fee', each with a search icon. Below that is a section titled 'Employer Liabilities' containing three fields: 'FICA OASDI', 'FICA MediCare', and 'FUT', each with a search icon. At the bottom left, there is a checkbox labeled 'Distribute Expense'.

各負債の組み合わせコードを選択します。

このページの [純支給額] フィールドおよび [自動振込] フィールドは、アメリカとカナダの両方に使用できます。負債の組み合わせコードは、アメリカの税務会計情報にのみ関連しています。カナダの会社では、賃金損失補償プラン テーブルを使って、一般会計の税務会計情報を入力します。

経費の配分

複数の職務がある従業員などが支給を受けている出向元の部門とそれ以外の部門間で福利厚生を経費を配分する場合に、このチェック ボックスをオンにします。従業員への支給総額に対する各部門での支給額の割合に基づいて、福利厚生を経費が配分されます。このチェック ボックスをオフにした場合は、全ての経費は従業員の出向元の部門に配分されます。

(CAN) Setting Up Wage Loss PlansPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

Establishing a General Ledger Account for Company FeesPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

(USA) チップの処理ページ

チップの処理ページ (COMP_TBL6USA_SEC) を使用して、チップの割当を設定します。

ナビゲーション

デフォルト設定ページの [チップの処理] リンクをクリックします。

画像: チップの処理ページ

次の例では、チップの処理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

チップの処理

チップの処理機能を使う場合に、このチェック ボックスをオンにします。チップを受け取った従業員から所定の支給期間内のチップ金額として報告された金額が、その支給期間に会社が受け取った総額に対する所定の率より少ない場合は、チップ割り当てが必要です。

チップ割当管理

以下の値は、チップ割当事業所ページ (TIPS_ESTAB_TBL) にロードされます。

チップ割当事業所フィールド

チップが発生する事業所を指定します。チップ割り当ては各事業所に対して行われます。事業所とは、レストランやホテルなどの独立した場所を指します。15 軒のレストランを経営している会社の場合、チップはレストランごとに割り当てられます。この値は、チップ割当事業所ページで上書きできません。

ここで選択する値によって、チップ割当事業所ページのチップ割当事業所 ID フィールドで使用する有効な値が決まります。たとえば、ここで [職務勤務地] を選択した場合は、チップ割当事業所ページのチップ割当事業所 ID フィールドから有効な勤務地のリストを使用できます。[職務部門 ID] を選択した場合は、有効な部門のリストを使用できます。Setting Up the Payroll

System for Tip AllocationPeopleSoft Payroll for North America
を参照してください。

チップ率の下限

従業員に分配されるチップ率の下限を入力します。連邦政府の規定率は 8% です。事業所のチップ率が 8% より低いことが文書で証明できれば、事業主はそれより低い率を申請できます。この値は、チップ割当事業所ページで上書きすることができます。

注: [チップ率の下限] の値は、連邦および州の規定に基づいています。

チップの割当方法

この会社で使うチップの割り当て方法を指定します。割り当て方法として [労働時間] を使用できるのは、支給期間中の従業員が 25 人未満 (チップを受け取る従業員も受け取らない従業員も含む) の事業所だけです。この値は、チップ割当事業所ページで上書きすることができます。

チップ割当支給コード

チップ割り当て処理で計算された金額を保存するための、支給コードを選択します。この値は、チップ割当事業所ページで上書きできません。

チップ支給管理

以下の値は、支給グループ テーブル コンポーネントにロードされます。このコンポーネントでこれらの値を上書きすることができます。

チップの源泉徴収

税テーブルで源泉徴収が適用された各支給について、月間の連邦税および州税申告で 20 ドル超のチップを受け取ったことを従業員が報告するまで、そのチップに対する税の徴収を繰り返し延べる場合に、このチェック ボックスをオンにします。

最低賃金に調整

会社が国税庁と特約を結んでいない限り、このチェック ボックスをオンにします。これにより、チップを受け取った従業員に対して必要な賃金調整が行われ、最低賃金に調整されます。

最低賃金調整支給コード

賃金とチップの合計が法定最低賃金より低い場合に使用される支給コードを選択します。

チップ クレジット支給コード

チップ クレジットを保存するための支給コードを選択します。チップ クレジットとは、報告されたチップのうち、連邦政府の最低賃金の支払いに使われる分を特定するための "メモ支給 (Memo Earnings)" です (州の最低賃金が連邦の最低賃金より高い場合は、州の最低賃金が使われます)。

(USA) 税詳細ページ

税詳細ページ (COMP_TBL8USA_SEC) を使用して、連邦事業主 ID (EIM) の指定、会社の関連付け、およびデフォルトの税ステータスの定義を行います。

ナビゲーション

デフォルト設定ページの [税詳細] リンクをクリックします。

画像: 税詳細ページ

次の例では、税詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

2 社以上の関連会社が、1 人または複数の従業員を同時に採用し、その関連会社の中の 1 社が共通給与マスタとして支給を行う場合に、[残高処理] グループ ボックスのフィールドを使用します。これらのフィールドを使用すると、給与計算を行う際に、複数の会社の従業員残高を 1 つの残高として同時に処理することができます。

支払の必要のある社会保障税とメディケア税の総額は、従業員が 1 つの事業主 (共通給与マスタ) に雇用されており、そこから給与の全額を支給されている場合と同様の方法で計算されます。また、特定の制限が満たされたかどうかを判断する際には、共通給与マスタに関連付けられた全ての会社の残高が認識されます。そのため、手動で従業員の残高を計算する必要はありません。

共通給与マスタ ID

共通給与マスタ ID を入力し、それを共有する会社について、全従業員の税金、控除、差し押え、および支給の残高を 1 つにまとめて処理するように指定します。

他の共通 ID

他の共通 ID を入力し、それを共有する会社について、全従業員の控除、差し押え、および支給残高を 1 つにまとめて処理するように指定します。

通常、税とは別の目的で会社を管理し、セクション 415 制限、年間累計控除額の上限、および年間支給額の上限を計算するために、全社の現在の従業員残高を正確に把握しておく必要がある場合に、他の共通 ID を使用します。有給休暇残数は、共通給与マスタ ID または他の共通 ID の処理には含まれません。

税申告タイプ

このフィールドは、年度末の税申告プログラムで使用されます。

PeopleSoft Payroll for North America では、従業員およびサポートされているタイプの関係者を、適切な税申告タイプが設定されている会社に関連付けるように要求されます。

- 従業員は、これらの税申告タイプのいずれかが設定された会社に関連付ける必要があります。
 - W-2 または管轄地域
 - W-2PR (W-2 プエルトリコ)
- [その他受給者] および [Pension 受給者] タイプの関係者は、税申告タイプが 1099R の会社に関連付ける必要があります。
- [学生還付] タイプの関係者は、税申告タイプが [非従業員] または [なし] の会社に関連付ける必要があります。

注: Payroll for North America を使い、プエルトリコ用にフォーム W2PR を作成するには、申告対象の税年度中に 1 社または数社でプエルトリコの従業員に対して給与が支給されていることが必要です。税の申告を適切に行うには、プエルトリコの各従業員の自宅住所の国コードは "USA"、州コードは "PR" にそれぞれ設定されている必要があります。

注: 年度末申告に退職者を含めるには、別の 1099-R 対象の会社を設定する必要があります。

FICA ステータス - 事業主

このフィールドは、参照専用です。

FICA ステータス - 従業員

このグループ ボックスの情報は、職務情報ページ (JOB_DATA_JOBCODE) でデフォルト値として表示されます。

SDI ステータス - 従業員	SDI ステータスに 対象外 が指定されていない州の場合は、従業員の SDI ステータスがデフォルト値として表示されます。
FUT 免税	FUT 免税会社の場合、このチェック ボックスをオンにします。
SUT 免税	SUT 免税会社の場合、このチェック ボックスをオンにします。

(BEL) 会社テーブル - BEL ページ

会社テーブル - BEL ページ (COMP_TBL2ABEL_SBP) を使用して、Claeys 計算式を実行する際に使用されるデフォルト情報と給与係数を入力します。

ナビゲーション

デフォルト設定ページの [ベルギー] セクションにある[Claeys デフォルト] リンクをクリックします。

画像: 会社テーブル - BEL ページ

次の例では、会社テーブル - BEL ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Company Table - BEL

Claeys Defaults

Factor Seniority

0.8700000

Factor Age

0.0600000

Correct. Factor Lower Range

0.0370000

Correct. Factor Higher Range

0.0290000

Factor Yearly Base

106.5300000

Number of Months to Reduce

1.45

Salary Limit Lower Range

27,597.000000

Salary Limit Higher Range

120,000.000000

Salary Factors

Hour/Year Factor

2470.000000

Week/Year Factor

65.000000

Month/Year factor

13.8500000

Year/Year Factor

1.1541667

OK

Cancel

給与下限範囲、給与上限範囲	Claeys 計算を適用する給与限度額を入力します。
時間/年係数	従業員の時間給与額を計算し、その金額を基にして年間合計額を計算する場合に、時間/年係数を入力します。
月/年係数	従業員の月間給与額を計算し、その金額を基にして年間合計額を計算する場合に、月/年係数を入力します。
週/年係数	従業員の週間給与額を計算し、その金額を基にして年間合計額を計算する場合に、週/年係数を入力します。
年/年係数	年間合計額を計算する場合に、年/年係数を入力します。

注: ベルギーの年係数は 13.85 に設定されています。

関連リンク

[Tracking Claeys Formula CalculationsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

(BEL) 外部取扱機関 BEL ページ

外部取扱機関 BEL ページ (COMP_TBL2BBEL_SBP) を使用して、取扱機関をセットID に関連付けます。

ナビゲーション

デフォルト設定ページの [ベルギー] セクションにある[外部取扱機関] リンクをクリックします。

画像: 外部取扱機関 BEL ページ

次の例では、外部取扱機関 BEL ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Set ID	Description	Vendor ID	Vendor Name	Affiliate	Registration Nbr
1					

- セットID、機関 ID

オプション リストから値を選択します。リストにはベルギーの取扱機関だけでなく、有効な取扱機関が全て表示されます。
- 関係会社

関係会社があれば、それを入力します。
- 登録番号

登録番号があれば、それを入力します。

会社 - 電話番号ページ

会社 - 電話番号ページ (COMPANY_TABLE3_GBL) を使用して、会社の電話情報を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社], [電話番号]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [Agency USF], [会社], [電話番号]

画像: 会社 - 電話番号ページ

次の例では、"会社 - 電話番号" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Company LocationDefault SettingsPhonesRules Definition

Company K1G

Phones / Processing ControlsFind | View AllFirst1 of 1LastGo To Row

Effective Date 01/01/2004Status Active

Description GP US Company G

Processing Controls

IndustryCoreOverride Operator Industry

Industry SectorCore

France

Phone InformationPersonalize | Find | View All | First1 of 1Last

Phone Type	Telephone	Country Code
1		

プロセス コントロール

ユーザー産業上書き

ユーザー産業を上書きできるかどうかを指定します。

(FRA) [フランス]

労働協約

リストから労働協約コードを選択します。

電話番号タイプ、電話番号

勤務先や自宅などの電話番号タイプと電話番号を指定します。これらのフィールドは有効日で管理されており、またスクロールもできるので、複数の電話番号の入力や履歴データの管理が可能です。

ルール定義ページ

ルール定義ページ (COMPANY_TABLE4_GBL) を使用して、会社の FTE ルールを定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社], [ルール定義]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [Agency USF], [ルール定義]

画像: ルール定義ページ

次の例では、ルール定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Company_Location

Default Settings

Phones

Rules Definition

Company K1G

Decimal Precision for Full-Time Equivalency

Find | View All

First

1 of 1

Last

*Effective Date 07/01/2014

*Status Active

Go To Row

FTE Decimal Precision 0

France

PAID FTE Decimal Precision 0

FTE 小数部桁数

FTE を計算する際に使用される小数部の桁数を入力します。

注: このフィールドを 0 (ゼロ) または空白のままにすると、入力した時間数や常勤/パートタイムのステータスに関係なく、職務データ コンポーネントでの FTE 計算はデフォルトで 1 に設定されます。

(FRA) [フランス]

支給対象 FTE 小数部桁数

支給のために FTE を計算する際に使用される小数部の桁数を入力します。

(USF) 機関情報の入力

機関情報を入力するには、Agency USF (AGENCY_TABLE) および Agency Table Report (RUN_FGPER803) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、機関情報の概要および給与計算情報の入力方法について説明します。

機関情報の入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
(USF) Payroll Interface Information ページ	GVT_COMPANY_TBL7	機関の給与計算インターフェイス情報を入力します。

ページ名	定義名	用途
Payroll Office Address ページ	GVT_COMPANY_TBL8	機関の給与計算事務所の住所情報を入力します。
ECS Address ページ (電子認証システムアドレス)	GVT_COMPANY_TBL9	機関の ECS アドレス情報を入力します。
Agency Table Report - Run Control ページ	PRCSRUNCNTL	Agency Table Report (FGPER803) を実行します。これによって、Agency コンポーネントの全ての機関と、名前、住所、機関コード、および有効日などのデフォルト情報が出力されます。

機関情報について

Agency コンポーネント (AGENCY_TABLE) を使用して、組織内の単一機関または複数の別組織に関する、中央機関の住所から一般会計勘定科目、税金情報および給与計算処理情報までの情報を入力します。ほとんどのページには、PeopleSoft Payroll for North America からのデータが含まれます。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理のみを使用している場合は、追加する機関ごとに最初のページである Agency Location ページのみに情報を入力します。Default Settings ページで、デフォルトの支給グループを機関に関連付けることもできます。選択した値は、指定機関の従業員の Job Data ページにデフォルトとして表示されます。ただし、PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合と同様、機関を追加する場合は、各機関を独立した税務単位として扱うのが効率的な方法です。

PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合、通常、機関は給与税報告のために政府規定の固有の事業主 ID 番号 (EIN) がある事業単位として定義されます。

PeopleSoft Payroll for North America を使用している機関の場合は、追加する各別組織が、機関で使用する各 EIN に対応する必要があります。機関の EIN を追加するには、給与計算スタッフが 9 つのページ全てを最低 1 回ずつは完了する必要があります。

Agency Table Report を使用して、機関テーブルのレポートを出力できます。

注: Agency Table コンポーネントの Agency Location、Default Settings、Phones、および Rules Definition の各ページは、Company Table コンポーネントと同一で、同じオブジェクト名を共有します。

(USF) Payroll Interface Information ページ

Payroll Interface Information ページ (GVT_COMPANY_TBL7) を使用して、機関の給与計算インターフェイス情報を入力します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Foundation Tables], [Organization], [Agency USF], [Payroll Interface Information]

画像: Payroll Interface Information ページ

次の例では、Payroll Interface Information ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Agency Location | Default Settings | Phones | Rules Definition | Payroll Interface Information | Payroll Office Address

Company AG Department of Agriculture

Payroll Office Contact/ID Information Find | View All First 1 of 1 Last

Effective Date 01/01/1980 Status Active

Description

Payroll Office Contact Info

Contact Person

Contact Title

Contact Type

Contact Phone

FTS Indicator

Payroll Office ID Info

Agency ID

Agency Check ID

Agency TSP ID

Agency TSP Account

Voucher Year

FRB Company ID No

FRB Location ID No

FRB Acct No

FRB Branch No

FRB Dist Desig

FTS Indicator 電話番号が FTS 番号の場合に選択します。

FRB Company ID No (FRB 会社 ID 番号)、**FRB Location ID No (FRB 所在地 ID 番号)**、**FRB Acct No (FRB 口座番号)**、**FRB Branch No (FRB 支店番号)**、**FRB Dist Desig (FRB 地区指定)** 必要に応じて、FRB 情報を入力します。

関連リンク

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

事業所の定義

事業所を定義するには、事業所コンポーネント (ESTABLISHMENT_DATA) および管理対象事業所サマリコンポーネント (CONTROLLED_ESTABS) を使用します。事業所コンポーネントの各テーブルへのデータロードには、ESTABLISHMENT_DATA コンポーネント インターフェイスを使用します。

次の各トピックでは、事業所の概要および事業所データの定義について説明します。

事業所の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>事業所住所ページ</u>	ESTAB_TBL1_GBL	各事業所について、名称、法定区域、住所などの情報を入力し、プロフィールを作成します。
<u>事業所 - 電話番号ページ</u>	ESTAB_TBL2_GBL	事業所の電話番号、FAX 番号、その他の関連する電話番号を入力します。
管理対象事業所サマリ ページ	CONTROLLED_ESTABS	選択した事業所 (本社ユニット) を管理事業所とする、全ての事業所が表示されます。

事業所について

事業所コンポーネントでは、異なる場所で営業を行っている各事業所を定義し、住所や法定書類情報を入力します。PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、会社の業務の法定要件を満たすように事業所を定義します。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で定義される事業所は、次のような特徴があります。

- 住所が指定されている。
- 会社に関連付けられている。
- 法定書類で使用される。

事業所は、必ずしも 1 つの建物や場所に存在している必要はなく、工業団地やオフィス パークである場合もあります。ただし、一般的にはまとまった 1 つの単位として申告される場所や施設を指します。

事業所は、たとえば以下の書類で使われます。

- アメリカの職業上の疾病/障害の記録 (Occupational Illness and Injury Record keeping) (OSHA 200) および均等雇用機会/差別撤廃措置 (Equal Employment Opportunity/Affirmative Action) に関する法定提出書類
- フランスの社会保障および経営統計に関する法定提出書類

注: (USA) AAP レポートをサポートするために、所在地と事業所には多対多の関係を設定できます。所在地と事業所の関係設定には、所在地プロフィール ページ (LOCATION_TBL2_GBL) を使用します。所在地プロフィール ページでは、その所在地の有効日の時点で有効な事業所のみが使用可能です。事業所住所ページで、事業所に関連付けられた所在地を表示します。

関連リンク

[Understanding U.S. Regulatory Requirements](#)[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

事業所住所ページ

事業所住所ページ (ESTAB_TBL1_GBL) を使用して、各事業所について、名称、法定区域、住所などの情報を入力し、プロフィールを作成します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [事業所], [事業所住所]
- [職場環境保全], [法定提出書類要件], [法定要件データ定義], [事業所], [事業所住所]

画像: 事業所住所ページ (1/4)

次の例では、事業所住所ページ (1/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Establishment Address

Phone Numbers

Establishment ID 24200

Establishment Address

Find | View All | First | 1 of 1 | Last

*Effective Date01/01/1990

*StatusActive

+ -

*DescriptionAccord State Univ

+ -

Short Desc

*Reg RegionUSA

United States

☐ Headquarters Unit

CompanyPSU

PeopleSoft University

CountryUSA

United States

Address4213 University Terrace

Nelson, NY 34545

Nelson

Edit Address

Spain

Insurance Company Code

Social Security Company Numbers

Personalize | Find | View All | 20 |

First | 1 of 1 | Last

画像: 事業所住所ページ (2/4)

次の例では、事業所住所ページ (2/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 France

SIREN Code

Closure Date

NIC Code

APE Code

CRAM Fund ID

Labor Agreement

Bank ID

Counter#/Acct#/RIB Key

Transport Rate

Transport Rate Date

Additional Transport Rate

Additional Transport Rate Date

URSSAF Code

URSSAF Nbr

ASSEDIC Nbr

Mandatory Base Scheme

Tax on Salary Liability

Establishment Activity

Medical Organization Code

FONGECIF Code

☒ TDS Declared Establishment

Declared Establishment

☒ Annual Report Declaration

Establishment Fund Membership

[Personalize](#) | [Find](#) |  

First

1 of 1

Last

Membership Number	Description	Institution Nbr	Description	Fund Code	Description
1	Membership Number				

Establishment Risk

[Find](#) | [View All](#)

First

1 of 1

Last

☐ *Risk Code

AT SECTION

Code AT

Standard Rate

00

+

-

画像: 事業所住所ページ (3/4)

次の例では、事業所住所ページ (3/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

 Mexico

Building Guide Number
 IMSS Zone
 IMSS Subzone
 IMSS Sector Risk Factor
 Wage Zone

 USA

Section B

North Amer Ind Class Sys SIC
 EEO Unit Number Vets 100 Unit Number
 Controlling Establishment ID  Controlled Establishments

Section C

☐ EEO-1 Minimum 100 Employees ☐ EEO-1 Filed Previous Year
☐ EEO-1 Company Affiliated Dun and Bradstreet Number
 *EEO-1 Govt Contractor Type

Section D

☐ Employ Apprentices

Section E

Location same as last year ☒ Yes ☐ No ☐ No report last year
 Major business activity same as last year ☒ Yes ☐ No ☐ No report last year
 Estab major business activity

画像: 事業所住所ページ (4/4)

次の例では、事業所住所ページ (4/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Section G

Certifying Official

Title

Name

Telephone

Fax Number

Email Address

☐ Copy Details from Headquarters

Location

As of Date01/01/1990

Locations

Personalize | Find | View All |

First1 of 1Last

Set ID	Location Code	Description
1	PSUSI	PACSU
		Accord State University,Campus

Go To Locations

本社ユニット

事業所を本社として定義するには、このチェック ボックスをオンにします。会社内で少なくとも 1 つの事業所を本社に指定する必要があります。

(ESP) [スペイン]

- 保険会社コード

勤務中の負傷に関して、事業所 (職業センター) を担当する保険会社コードを選択します。保険会社コードは、保険会社テーブル ページ (INSUR_COMP_CD_ESP) で管理されます。
- 事業主 SSN

スペイン政府によって割り当てられた、事業主の社会保障番号を入力します。
- 制度 ID

社会保障制度 ID を選択します。
- 事業主 SSN タイプ (事業主社会保障番号タイプ)

従業員との契約タイプを基に、[実習]、[正規]、または[研修] から値を選択します。
- [代表]

[事業主 SSN] フィールドに入力した値が、この事業所 (職業センター) の代表番号の場合、このチェック ボックスをオンにします。1 つの事業所 (職業センター) には、複数の事業主社会保障番号を指定することができます。
- IA コード (産業アクティビティコード)

IA コードを入力します。このコードは、産業アクティビティ ページ (INDSTRY_ACT_CD_ESP) で管理されます。

日数タイプ	有効なオプションから日数タイプを選択します。
社会保険料減額 ID	有効なオプションから社会保険料減額 ID を選択します。
資格有効日	資格の有効日を入力します。

(FRA) [フランス]

NIC コード (<i>Numero Interne de Classement code</i>). (内部ファイリング番号)	事業所の NIC コードを入力します。NIC 番号により、同一企業内の事業主が識別されます。

注: SIRET 番号 (*Systeme Informatique pour le Repertoire des Etablissements*、事業所登録番号) は、INSEE (*Institut National de la Statistique et des Etudes Economiques*、国立統計経済研究所) がフランスの企業に割り当てる番号です。INSEE は、フランスの公的統計経済機関です。SIRET 番号は、SIREN 番号と NIC 番号で構成されており、税務当局や社会保障管理当局が企業やその事業主を識別するために使われます。

CRAM 基金 ID (<i>Caisse Regionale d'Assurance Maladie</i> 基金 ID)	CRAM 基金 ID を選択します。CRAM は地方の社会団体で、労災の防止と補償を取り扱っています。CRAM 事務所は、労災関係の補償を管理する各地の CPAM (<i>Caisse Primaire d'Assurance Maladie</i>) 事務所の監督機関です。
カウンタ番号/口座番号/RIB キー	カウンタ番号、口座番号、RIB キーの情報を入力します。
輸送レート	輸送レートを入力します。輸送レートは法定控除です。事業所ごとにレートが設定されており、毎年 URSSAF が各事業所に通知します。この控除は、地域の交通機関の助成金として、また道路の建設および整備のための資金として使われます。PeopleSoft グローバル ペイロールでは、ここで入力した輸送レートを使用します。
輸送レート日	輸送レートの最終更新日付を入力します。この日付は、PeopleSoft Global Payroll for France で提供されている DUCS レポートで使用されます。
追加輸送レート	必要に応じて追加輸送レートを入力します。輸送レートは法定控除であり、地方の条例によって定義されます。PeopleSoft Global Payroll for France では、ここで入力した追加輸送レートを使用します。
追加輸送レート日	追加輸送レートの最終更新日付を入力します。この日付は、PeopleSoft Global Payroll for France で提供されている DUCS レポートで使用されます。

URSSAF コード (Union de Recouvrement de la Securite Social et des Allocations Familiales コード)、URSSAF 番号

URSSAF のコードと番号を入力します。URSSAF は、フランスの全事業主が社会保障拠出金を納めるように管理する機関です。

必須基本スキーム

DADS の社会保障コードを選択します。

給与税支払義務

給与税支払いの義務について、[あり] または [なし] を選択します。

事業所活動、医療組織コード

事業所活動を入力し、医療組織コードを選択します。医療組織コードは、医療組織ページ ([HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [職場環境保全], [法定要件 FRA], [医療組織]) で定義します。これらのフィールドは個人別採用明細で使用されます。

Running Workforce Reporting Statutory ReportsPeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements を参照してください。

事業所資金資格

このスクロール領域には、年金/準備金の契約ページで事業所に定義された年金/偶発事故準備金の詳細が表示されます。[資格番号] リンクをクリックすると、年金/偶発事故準備金の契約定義が表示されます。

事業所リスク

リスク コード

リスク コードを入力します。このリスク コードによって、さまざまなレートが関連付けられます。リスク コードを部門レベルで使用すると、部門の労働災害レートを指定できます。

AT セクション (Section Accident du Travail セクション) (労働災害セクション)

事業所ごとにリスク コードを識別するのに必要な情報が表示されます。

標準レート

標準レート情報を入力します。リスク コードによって、さまざまなレートが関連付けられます。リスク コードを部門レベルで使うと、部門の労働災害レートを指定できます。

(MEX) [メキシコ]

社会保障と税について必要な事業所登録 (Registros Patronal) 情報を入力します。

建物

事業所住所の建物情報を入力します。

ガイド番号

IMSS が指定した番号を入力します。ガイド番号は、IMSS にレポートを提出する際、参照用に使われます。

IMSS ゾーン、IMSS サブゾーン、IMSS セクター	事業所の所在地の IMSS ゾーン、IMSS サブ ゾーン、および IMSS セクターを選択します。
	IMSS ゾーン、IMSS サブ ゾーン、および IMSS セクターは、支給を行う事務所を示します。
リスク係数	IMSS の税金計算に使用されるリスク係数を入力します。
賃金ゾーン	会社所在地の経済区域を選択します。賃金ゾーンによって最低賃金が決まります。有効値は、[A ゾーン]、[B ゾーン]、および [C ゾーン] です。

(USA) [アメリカ]

以下のアメリカ固有のセクションにデータを入力します。

セクション B

北米産業分類システム [北米産業分類システム(NCIS)]、管理事業所 ID、SIC (標準産業分類)、VETS-100 ユニット番号	北米産業分類コード、管理事務所 ID、SIC コード、および VETS-100 ユニット番号について、この事業所に該当するものがあれば、その値を入力します。

セクション C

EEO-1 従業員 100 人以上、EEO-1 関係会社	この事業所に該当する場合は、チェック ボックスをオンにします。
前年の EEO-1 レポート ファイル済	デフォルトではオンに設定されています。前年、この事業所について EEO-1 レポートを提出しなかった場合は、このチェック ボックスをオフにします。

セクション E

前年と同じ所在地	所在地が前年と同じ住所の場合は [はい]、そうでない場合は [いいえ] を選択します。また、前年にレポートを提出しなかった場合は、[レポートなし] を選択します。
主要業務内容: 前年と同じ	業務内容が前年と同じ場合は [はい]、そうでない場合は [いいえ] を選択します。また、前年にレポートを提出しなかった場合は、[レポートなし] を選択します。
事業所の主要業務内容	事業所の主な業務内容を入力します。業務内容は、ページに表示されている 4 行まで入力できます。

セクション G

証明担当者

証明担当者を選択します。

本社から詳細をコピー

本社から詳細をコピーする場合に、オンにします。

所在地

指定日

特定の時点でこの事業所に関連付けられている所在地を表示する日付を入力します。

セットID、所在地コード、名称

所在地プロフィール ページでこの事業所に関連付けた所在地コードを表示します。

勤務地へ移動

クリックすると、所在地コンポーネントにアクセスします。事業所コンポーネントから移動せずに、所在地コンポーネントを表示できます。

所在地コンポーネントで変更を保存するかキャンセルすると、事業所コンポーネントの画面に戻ります。

関連リンク

所在地の設定

Understanding U.S. Regulatory Requirements[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

事業所 - 電話番号ページ

電話番号ページ (ESTAB_TBL2_GBL) を使用して、事業所の電話番号、FAX 番号、その他の関連する電話番号を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [事業所], [電話番号]
- [職場環境保全], [法定提出書類要件], [法定要件データ定義], [事業所], [電話番号]

画像: 電話番号ページ

次の例では、電話番号ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Establishment AddressPhone Numbers

Establishment ID 24200

Establishment

Find | View AllFirst1 of 1Last

Description Accord State Univ

Effective Date 01/01/1990Status Active

Phone Numbers

Find | View AllFirst1 of 1Last

Phone TypePhone

France

Contact for Establishment

電話番号タイプ、電話この事業所の電話番号情報を入力します。

(FRA) [フランス]

事業所連絡先この事業所の連絡先を選択します。

所在地の設定

所在地を設定するには、所在地 (LOCATION_TABLE) および所在地テーブルレポート (RUN_PER705) の各コンポーネントを使用します。所在地コンポーネントの各テーブルへのデータ ロードには、LOCATION_TABLE コンポーネント インターフェイスを使用します。

次の各トピックでは、所在地の概要および所在地の設定について説明します。

所在地の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
所在地住所 ページ	LOCATION_TABLE1	本社、支店、営業所などの所在地を入力します。
会社所在地のビジネス ユニット ページ	LOC_BU_SEC	このセットID を使用するビジネス ユニットのリストが表示されます。

ページ名	定義名	用途
所在地 - 電話番号ページ	BUS_PHONE_SEC	各所在地の電話番号を入力します。
所在地プロファイル ページ	LOCATION_TBL2_GBL	その所在地に適用される給与管理プラン、税情報、事業所情報、および国別情報などを指定します。
所在地詳細 BRA ページ	LOCATION_TBL_BRA	ブラジルでの所在地の詳細を定義します。
所在地テーブルレポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	所在地テーブルレポート (PER705) を実行します。このレポートには、所在地コード順に所在地が出力されます。所在地は有効日別に定義できるため、過去、現在、および将来の所在地が全て出力されます。

所在地について

所在地コンポーネントでは、本社、支店、営業所など、組織の所在地を設定します。PeopleSoft グローバルペイロールを使っている場合、所在地別にレポートを作成する場合もあるので、所在地情報を設定する際は、そのことも考慮に入れてください。

PeopleSoft Pension Administration を使用している場合は、年金受給者の所在地を 1 つ以上作成します。さらに詳細な所在地情報に基づいて受給者を報告する必要がある場合は、全ての退職者に対して 1 つの退職者所在地を使用できます。

所在地コンポーネントで定義する情報は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のさまざまなページで参照されます。キャリア プランでは、たとえば、研修コースを所在地に割り当てる際に使用されます。採用では、人材募集は、所在地と、勤務地域と呼ばれる個別の採用オブジェクトの間のリンクによって直接的または間接的に所在地と関連付けられます。

注: (USA) 所在地プロファイル ページで法定区域に "USA" を選択した場合、AAP レポートをサポートするために、所在地と事業所には多対多の関係を設定できます。同ページの [アメリカ] セクションで、その関係を設定します。所在地プロファイル ページでは、その所在地の有効日の時点で有効な事業所のみが使用可能です。事業所住所ページで、事業所に関連付けられた所在地を表示します。

所在地住所 ページ

所在地住所 ページ (LOCATION_TABLE1) を使用して、本社、支店、営業所などの所在地を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地], [所在地住所]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地 BRA], [所在地住所]

画像: 所在地住所 ページ

次の例では、所在地住所 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Location Address' page. At the top, there are tabs for 'Location Address' and 'Location Profile'. Below the tabs, the 'Set ID' is 'SHARE' and the 'Location Code' is 'KCQC00'. A link 'Business Units that use this Set ID' is visible. The main form contains several fields: '*Effective Date' (01/01/1980), '*Status' (Active), '*Description' (Montreal Office), 'Short Description' (Montreal), 'Building' (empty), 'Floor Nbr' (empty), 'Country' (CAN), 'Language Code' (Canadian Fr), and 'Address' (Place Ville Marie, 300 St-Catherine Street, Suite 1100, Montreal QC P3F 2W1). There is an 'Edit Address' button and a 'Phone' link.

建物

建物名がある場合は入力します。たとえば、本社がオフィスパークの "第 4 ビル" にある場合はこのビル名を入力します。

階数

該当する場合は階数を入力します。

言語コード

この所在地で使用されている公用語の言語コードを選択します。

電話番号

電話番号を入力するには、このリンクをクリックします。

所在地プロファイル ページ

所在地プロファイル ページ (LOCATION_TBL2_GBL) を使用して、その所在地に適用される給与管理プラン、税情報、事業所情報、および国別情報などを指定します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地], [所在地プロファイル]
- [HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地 BRA], [所在地プロファイル]

画像: 所在地プロファイル ページ (1/2)

次の例では、所在地プロファイル ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Location Profile' page for 'Set ID: SHARE' and 'Location Code: KCQC00'. The page is divided into several sections:

- Location Profile Header:** Includes 'Find | View All' and pagination 'First 1 of 1 Last'.
- Description:** 'Montreal Office', 'Effective Date: 01/01/1980', 'Status: Active'.
- Salary Default:** Fields for 'Set ID' (SHARE) and 'Plan'.
- Regulatory Region:** 'CAN' with a search icon.
- Holiday Schedule:** 'KC01' with a search icon, linked to 'Canadian Holiday Schedule'.
- Establishment ID:** A search field.
- Payroll for North America:** Fields for 'Taxing Locality' and 'Check Cashing Location'.
- Canada Section:** Includes a dropdown for 'Canadian Census Metropol Area' (Montreal, Quebec), 'CEC Management Area', 'Geographical Location Code', and 'Office Type'.
- Switzerland Section:** Fields for 'Municipality Code' and 'Descr'.

画像: 所在地プロファイル ページ (2/2)

次の例では、所在地プロファイル ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Germany

Tariff

Tariff Area

Spokesmen Committee ID

Industrial Inspection ID

Mexico

Fonacot ID Number

FONACOT Office

☐ Local Tax

Special Local Tax

Spain

Last Matricula Number Assigned

United Kingdom

☐ Northern Ireland Reportable

USA

☐ Telework Location

Establishments

Establishment ID

Description

1

Personalize

Find

View All

First

1 of 1

Last

Argentina

Family Allowance Rate

このページで、カナダおよびドイツ所在地に対する米国の税金情報を入力します。

注: PeopleSoft Payroll for North America では、所在地情報について納税地テーブルが参照され、PeopleSoft Pension Administration では、PeopleSoft Payroll for North America の税金情報が参照されます。PeopleSoft Payroll for North America の所在地コンポーネントと納税地テーブルの間の関係の詳細については、PeopleSoft Payroll for North America のドキュメンテーションを参照してください。

セットID、プラン

給与プラン コンポーネントで作成した有効値の中から、該当する給与プランを選択します。

Setting Up Salary Plans Grades and StepsPeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgetingを参照してください。

給与管理プランを所在地に関連付けておくと、同じ職務コードの従業員の間で、通貨や生活費の違いを把握するのに役立ちます。所在地別に給与管理プランを区別する必要がない場合は、このフィールドを空白にしておきます。

注: 選択できるのは、給与プラン定義コンポーネントで選択したセットIDに関連付けられているプランに限ります。このページで選択した給与管理プランは、この所在地の従業員の職務データコンポーネントでデフォルト値として使用されます。このページで給与管理プランを選択しない場合は、[職務コード テーブル]で入力した給与管理プランが使われます。

「職務の分類」を参照してください。

法定区域

この所在地に関連する法定区域を入力します。

注: (USA) 法定区域に "USA" を選択した場合、[事業所 ID] フィールドは非表示になります。この所在地を事業所に関連付けるには、このページの [アメリカ] セクションにある [事業所] グリッドを使用します。

休日スケジュール

この所在地の休日スケジュールを選択します。

注: PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合は、ここで選択する休日スケジュールは、職務データ – 給与計算ページ (JOB_DATA2) で従業員に割り当てられたデフォルトの休日スケジュールです。このフィールドを空白のままにすると、支給グループ コンポーネントからデフォルトの休日スケジュールが取得されます。

PeopleSoft グローバル ペイロールを使用している場合、このページの休日スケジュールは参照専用です。割り当てられた支給グループによって、処理対象の休日スケジュールのデフォルト値が決まります。

「休日スケジュールの設定」を参照してください。

事業所 ID

この所在地に関連付ける事業所 ID を選択します。

注: (USA) 法定区域に "USA" を選択した場合、[事業所 ID] フィールドは非表示になります。所在地がアメリカである事業所については、このページの [アメリカ] セクションで設定します。

Payroll for North America

納税地、小切手現金化の場所

納税地と小切手現金化の場所を入力します。このフィールドは参照専用です。

(CAN) [カナダ]

国勢調査メトロ エリア

カナダ統計局によって規定された、この所在地の国勢調査メトロ エリア (CMA) コードを選択します。CMA は人口 10 万人以上の都市の主要労働市場を指します。これは必須フィールドです。

CEC 管理地域 (カナダ雇用センター管理地域) オプション リストから値を選択します。

所在地コード カナダ統計局によって定義された所在地コードを入力します。

注: (CAN) 公用語法 (Official Languages Act) が適用される組織の場合は、[所在地コード]、[オフィス タイプ]、TBS (財務委員会) コード、[首都圏] の各フィールドの情報を、カナダ政府に提出する公用語レポート (PER102CN と PER108CN) の一部として使用します。軍機能のインストールの場合、所在地 MIL コンポーネントの最初のページに入力した所在地コードが、カナダ セクションの所在地コードにコピーされます。

Understanding Regulatory Requirements for CanadaPeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements を参照してください。

(CHE) [スイス]

自治体コード デフォルト値は、所在地の郵便番号に対応する自治体コードです。この所在地がある州の有効な自治体コードリストから別のコードを選択できます。

(DEU) [ドイツ]

Tariff *tariff* (この所在地での業務タイプ) を入力します。たとえば、金融業、小売販売業、印刷業、製材業などです。

産業調査 ID 必要に応じて、有効値リストからこの所在地の産業調査 ID を選択します。産業調査コードは保険事故/疾病レポートに出力されます。このレポートは、安全衛生モニター管理ビジネス プロセスで作成され、従業員の勤務中に起きた事故や疾病が記録されます。

注: 職務データ コンポーネントで従業員の勤務地を入力する際、所在地コンポーネントで入力した所在地の値に基づいて [Tariff] および [Tariff 地区] のデフォルト値が決まります。

職務データ コンポーネントで従業員の勤務地および労働タイプを入力する際は、[代表委員会 ID] および [経営協議会 ID] の各フィールドに自動的に値がロードされます。これらの値は、"職務データ" の勤務地 ページ (JOB_DATA1) での従業員の勤務先所在地、および労働組合情報ページ (JOB_LABOR) の労働タイプ (管理職または非管理職) の値に基づいています。

Understanding the Works Councils Approval Business ProcessPeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration を参照してください。

(MEX) [メキシコ]

FONACOT ID 番号 所在地の FONACOT ID を入力します。FONACOT とは、労働者消費推進保証基金のことです。

FONACOT 事務所 最寄りの FONACOT 事務所を指定します。

地方税	所在地の州が Chihuahua の場合は、このチェック ボックスをオンにします。
特別地方税	所在地の州が Chihuahua の場合、このフィールドのデフォルト値は Ciudad Juarez になります。
(ESP) [スペイン]	
従業員最終登録番号	スペイン政府は、各従業員に固有の従業員登録番号を割り当てることを事業主に義務付けています。この番号は法定レポートに使用します。番号の重複を避けるため、このフィールドで、最終登録番号の更新と保存が行われます。
(GBR) [イギリス]	
北アイルランドレポート対象	北アイルランドレポート対象の所在地の場合、このチェックボックスをオンにします。この所在地の従業員は、北アイルランドの所属コミュニティレポート (Fair Employment Monitoring Return) の対象になります。
アメリカ	
テレワーク所在地	従業員の遠隔地での勤務をこの事業所で許可している場合に選択します。
事業所	この所在地について、1 つまたは複数の事業所 ID を選択します。 指定された事業所と所在地の関係は、差別撤廃措置プラン、雇用機会均等 (EEO)、職業安全衛生管理局 (OSHA)、およびその他の米国連邦政府の法定提出書類に使います。 その所在地の有効日の時点で有効な事業所のみが使用可能です。 [職務データ] の 勤務地 ページで、所在地および事業所を従業員に割り当てます。選択した所在地に割り当てられた事業所のみ選択できます。
注: 事業所の [名称] が空白の場合、その事業所は、最初にその所在地に割り当てた後で非アクティブになっています。	
注: 事業所住所ページで、事業所に関連付けられた所在地を表示できます。	

(DEU) ドイツ公的機関

自治体
ドイツ公的機関で使用される、所在地に対する地方自治体を指定します。

Municipality Table PagePeopleSoft Human Resources Manage German Public Sector も参照してください。

(ARG) [アルゼンチン]

家族手当レート
家族手当レートは次の値から選択します。[一般]、[ゾーン 1]、[ゾーン 2]、[ゾーン 3]、および[ゾーン 4]。

関連リンク

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

軍の所在地の設定

軍の所在地を設定するには、所在地コード MIL (GVT_LOCATION_TBL) と所在地 MIL (LOCATION_TABLE_MIL) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、軍の所在地の設定について説明します。

軍の所在地の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
所在地 MIL ページ	GVT_LOCATION	所在地を定義します。
所在地 MIL - 所在地住所ページ	LOCATION_TABLE_MIL	軍の所在地を入力して、所在地コードに関連付けます。

所在地 MIL ページ

所在地 MIL ページ (GVT_LOCATION) を使用して、所在地を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地 MIL], [所在地 MIL]

画像: 所在地 MIL ページ

次の例では、所在地 MIL ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Geographic Location MIL

Geog Location Code 152400003

Geographic LocationFind | View AllFirst1 of 2Last

*Effective Date07/01/2014

*StatusActive

City Code/Name2400

HONOLULU

County Code/Name003

Honolulu

State/Country Code15

Hawaii

State HI

USA

CBSA3320

CSA

*Locality Pay Area99

Not in a Locality Area

*LEO Special Pay Area0

Non LEO Area

Locality Pay Percentages

Locality Percentage0.00

IGA Percentage0.00

LEO Percentage0.00

- 市コード/名

市コードは自動的に割り当てられます。市の名前を入力します。
- CBSA (中核統計圏)

この値は OPM データ ファイルで提供されます。勤務地が CBSA 以外の場合は空白です。有効日が 2005 年 2 月 2 日より前の場合、このフィールドのラベルは [MSA] です。
- CSA (広域都市統計圏)

この値は OPM データ ファイルで提供されます。勤務地が CSA 以外の場合は空白です。有効日が 2005 年 2 月 2 日より前の場合、このフィールドのラベルは [CMSA] です。

所在地 MIL - 所在地住所ページ

所在地 MIL - 所在地住所ページ (LOCATION_TABLE_MIL) を使用して、軍の所在地を入力して、所在地コードに関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地 MIL], [所在地住所]

画像: 所在地 MIL - 所在地住所ページ

次の例では、"所在地 MIL - 所在地住所" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Location AddressLocation Profile

Set ID SHARELocation Code KUMILUS08Business Units that use this Set ID

Location Address

Find | View All

First1 of 1Last

*Effective Date01/01/1980

*DescriptionHonolulu, HI

BuildingFloor Nbr

Geoloc Cd152400003HONOLULU

CountryUSAUnited States

AddressHonolulu, HI 96801Honolulu

*StatusActive

Short DescriptionHonolulu

Language CodeEnglish

Phone

Edit Address

所在地コード所在地コードを選択します。

「所在地住所 ページ」を参照してください。

(USF) 連邦政府勤務地の設定

連邦政府勤務地を設定するには、Locality Pay Area Table USF コンポーネント (GVT_LOCPAY_AREA_TB)、Geographic Location コンポーネント (GVT_LOCATION_TBL)、Location USF コンポーネント (LOCATION_TABLE)、Work Location Table コンポーネント (RUN_FGPER817)、Geographic Location コンポーネント (RUN_FGPER802)、および Locality Pay Area Rpt USF (RUN_FGPER807) を使用します。

次の各トピックでは、連邦政府勤務地の概要および設定について説明します。

(USF) 連邦政府勤務地の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Locality Pay Area Table ページ	GVT_LOCAREA_TABLE	連邦政府職員が固定的賃金に加えて追加支給を受ける区域を定義します。
Geographic Location ページ	GVT_LOCATION	所在地を定義します。
Location USF - Locations Address ページ	GVT_LOC_TABLE1	勤務地を追加します。

Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

367

ページ名	定義名	用途
Run Control ページ	PRCSRUNCNTL	Work Location Table、Geographic Location Table、および Locality Pay Area Table の各レポートを実行します。 • Work Location Table レポート (FGPER817) では、勤務地テーブルの詳細が出力されます。 • Geographic Location Table レポート (FGPER802) では、所在地テーブルの詳細が生成されます。 • Locality Pay Area Table レポート (FGPER807) では、全ての納税地支払区域に関する情報が出力されます。

連邦政府勤務地について

Locations USF コンポーネントでは、機関の本社、支店、営業所など、組織内の所在地を設定します。

Locations USF コンポーネントで定義する情報は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のさまざまなページで参照されます。たとえば、採用では、応募者は所在地別に勤務の優先事項を指定できます。キャリア プランでは、研修コースを特定の所在地に割り当てる際に使用されます。

Locality Pay Area Table ページ

Locality Pay Area Table ページ (GVT_LOCAREA_TABLE) を使用して、連邦政府職員が固定的賃金に加えて追加支給を受ける区域を定義します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Compensation], [Locality Pay Area Table USF], [Locality Pay Area Table]

画像: Locality Pay Area Table ページ

次の例では、Locality Pay Area Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Locality Pay Area Table

Locality Pay Area 17

Locality Pay Area							Personalize Find View All		First	1-7 of 10	Last
	*Effective Date	*Status	*Description	Locality Percentage	IGA Percentage						
1	02/01/2005	Inactive	Dallas-Fort Worth	15.07	0.00						
2	01/11/2004	Active	Dallas-Fort Worth	13.85	0.00						
3	01/02/2000	Active	Dallas-Fort Worth	8.59	0.00						
4	01/01/1999	Active	Dallas-Fort Worth	7.47	0.00						
5	01/03/1998	Active	Dallas-Fort Worth	6.90	0.00						
6	01/05/1997	Active	Dallas-Fort Worth	6.40	0.00						
7	01/07/1996	Active	Dallas-Fort Worth	6.23	0.00						

特定の区域の連邦政府職員は、固定的賃金に加えて追加支給を受けます。PeopleSoft にはこのデータが用意されていますが、Office of Personnel Management の更新に基づいてデータの変更が必要な場合があります。

Effective Date

このテーブルを最初に設定するとき、組織の最も古い履歴情報も十分に網羅できる有効日を選択します。

Status

ステータスを選択します。

注: 一定期間に変更される情報の履歴データを管理するには、データ行を追加し、スクロール バー、[Effective Date] フィールド、および [Status] フィールドを使用します。たとえば、納税地支払区域を以後使用しない場合は、[Inactive] ステータスの有効日行を挿入します。

Locality Percentage

支給プラン、等級、およびステップ別に設定された固定的賃金に加えて、この区域の従業員が受け取る固定的賃金の率を入力します。金額は、人事・労務管理の個人の Compensation ページ (JOB_DATA3) に表示されます。

Geographic Location ページ

Geographic Location ページ (GVT_LOCATION) を使用して、所在地を定義します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Geographic Location], [Geographic Location]

画像: Geographic Location ページ

次の例では、Geographic Location ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Geographic Location

Geog Location Code 010000003

Geographic Location

Find | View All

First 1 of 2 Last

*Effective Date 01/01/2006

*Status Active

City Code/Name 0000 BALDWIN

County Code/Name 003 Baldwin

State/Country Code 01 Alabama State AL USA

CBSA 5160

CSA

*Locality Pay Area ZZ Not in a Locality Pay Area

*LEO Special Pay Area 0 Non LEO Area

Locality Pay Percentages

Locality Percentage	0.00	IGA Percentage	0.00	LEO Percentage	0.00

City Code/Name 市コードは自動的に割り当てられます。市の名前を入力します。

Locality Pay Area、LEO Special Pay リストから選択します。
Area (法執行担当者の特別支給区域)

注: PeopleSoft Payroll for North America では、所在地情報について納税地テーブルが参照されます。

関連リンク

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

Location USF - Locations Address ページ

Location USF - Location Address ページ (GVT_LOC_TABLE1) を使用して、勤務地を追加します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Foundation Tables], [Organization], [Location USF], [Location Address]

画像: Location USF - Location Address ページ

次の例では、Location USF - Location Address ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Building

建物名がある場合は入力します。たとえば、国内官庁が複合施設の本館に位置する場合です。

Geoloc Cd

所在地コードを選択します。

Designated Agt (指定エージェント)

指定エージェントコードを選択します。

Country

値リストから国を選択し、フィールドからカーソルを移動します。国テーブルで設定した標準住所フォーマットを使用して、選択した国に対する適切な住所フィールドが表示されます。

Telework Location

従業員の遠隔地での勤務をこの所在地で許可している場合に選択します。

会社所在地の設定

会社所在地を設定するには、会社所在地テーブル コンポーネント (COMP_LOC_TBL) を使用します。

このトピックでは、会社所在地の設定方法について説明します。

会社所在地の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
会社所在地ページ	COMP_LOC_TBL	経営協議会 ID を会社と所在地に関連付けます。

会社所在地ページ

会社所在地ページ (COMP_LOC_TBL) を使用して、経営協議会 ID を会社と所在地に関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社所在地], [会社所在地]

画像: 会社所在地ページ

次の例では、会社所在地ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Company Location' page. At the top, it shows 'Company GD3' and 'Set ID DEU01' with the description 'German Payroll Company 3'. Below this, 'Location Code KD915' is shown with the description 'Zweigstelle Brandenburg'. The 'Effective Date' is set to '01/01/1980'. The 'Works Council ID' is 'KDWC00915' with the description 'Works Council Berlin'. There are also fields for 'Spokesmen Committee ID' and 'Social Insurance Unit'. The page includes a 'Find' button and navigation controls for 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last'.

経営協議会 ID

この会社および所在地の従業員を代表する経営協議会の ID を選択します。

(DEU) [ドイツ]

代表委員会 ID

経営協議会の代表委員会 ID を選択します。

社会保険ユニット

社会保険番号を選択します。

部門の管理

部門を管理するには、部門コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) および部門テーブルレポート コンポーネント (RUN_PER701) を使用します。このコンポーネントの各テーブルへのデータロードには、DEPARTMENT_TBL コンポーネント インターフェイスを使用します。

次の各トピックでは、部門の概要および部門情報の管理方法について説明します。

部門の管理とレポートに使用するページ

ページ名	定義名	用途
部門プロフィール ページ	DEPARTMENT_TBL_GBL	部門の基本情報を定義します。 Payroll for North America を使用している場合は、部門への支給額の請求、労働コスト配分会計などの会計処理のために部門 ID を使用します。ペイシートおよび給与小切手を部門別に並べるときは、部門 ID が使用されます。
コミットメント会計/E&G ページ (部門テーブル - コミットメント会計および教育/公的機関)	DEPARTMENT_TBL_CA	教育/公的機関のユーザーやコミットメント会計機能を使用するユーザーに特有の部門情報を使用できるように管理します。
部門テーブルレポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	部門 ID 別に全ての部門の一覧を出力する部門テーブルレポート (PER701) を実行します。

部門について

会社および所在地データを定義したら、部門コンポーネントで組織内の部門を定義します。PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft グローバル ペイロールを使用している場合は、賃金を負担するコスト センターに対応する部門コードを設定する必要があります。PeopleSoft Pension Administration を使っている場合は、年金受給者のための部門も必要です。受給者全員を 1 つの部門にまとめて管理することもできますが、申告に便利のように、部門構成を使って受給者を管理することもできます。いずれのシステムも使用していない場合は、どのように部門を設定してもかまいません。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、部門の定義と表示を行う部門コンポーネントへのアクセス方法が 2 つあります。

- [HCM 基本設定] メニューからのアクセス
- PeopleSoft ツリー マネージャからのアクセス

このトピックでは、[HCM 基本設定] メニューにある部門コンポーネントの使用方法について説明します。

部門セキュリティ ツリーによるデータ権限セキュリティの使用

PeopleSoft では、PeopleSoft ツリー マネージャを使用してセキュリティ階層を構築し、従業員が所属する部門に基づいて、個人データへのアクセスを許可または拒否することができます。部門セキュリティ ツリーを使用してデータ アクセスを管理する場合は、部門コンポーネントへのアクセス方法に関係なく、作成する各部門を有効な部門セキュリティ ツリーに関連付ける必要があります。

また、PeopleSoft HCM では、データ権限セキュリティのその他のフィールドを使用することもできます。

詳細については、『*PeopleTools: Tree Manager*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

関連リンク

[PeopleSoft のセキュリティについて](#)

[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)

部門プロファイル ページ

部門プロファイル ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) を使用して、部門に関する基本情報を定義します。

Payroll for North America を使用している場合は、部門への支給額の請求、労働コスト配分会計などの会計処理のために部門 ID を使用します。ペイシートおよび給与小切手を部門別に並べるときは、部門 ID が使用されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織構造], [部門], [部門プロファイル]

画像: 部門プロファイル ページ (1/4)

次の例では、部門プロファイル ページ (1/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Department Profile' page. At the top, there are tabs for 'Department Profile' and 'Comm. Acctg. and EG'. Below the tabs, the 'Set ID' is 'SHARE' and the 'Department' is '10000'. A link 'Business Units that use this Set ID' is visible. The 'Department Profile' section includes fields for '*Effective Date' (03/27/2009), '*Status' (Active), '*Description' (Human Resources), 'Location Set ID' (SHARE), 'Location' (KUNY00), and 'Company' (GBI). The 'Manager Type' section includes 'Manager Type' (EmplID), 'Manager ID' (KU0005), and 'Manager Position'. The 'Payroll for North America' section includes 'Tax Location'. A 'Budget Year End Date' and '*Budget Level' (Department) are also present.

画像: 部門プロファイル ページ (2/4)

次の例では、部門プロファイル ページ (2/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Department Profile' page (2/4) with fields for different countries. For 'Belgium', there is an 'Industrial Committee' and 'NACE Code'. For 'Canada', there is an 'Industrial Sector' (451), 'NAICS Code', 'Stats-Can Department Code', 'Stats-Can CIP', and 'Stats-Can Faculty Code'. For 'Germany', there is a 'Tax Location Code' (QCAB), 'Accident Insurance', 'Hazard', and 'Social Insurance Accident Nbr'. For 'France', there is an 'Establishment ID', 'Risk Code', and 'AT SECTION'. For 'USA', there is an 'EE04 Function'.

画像: 部門プロフィール ページ (3/4)

次の例では、部門プロフィール ページ (3/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

New Zealand

Classification Unit:

Australia

Higher Education

Organizational Unit:

Work Sector:

Australian Public Service

Agency Code:

Mexico

Cost Center:

Argentina

Cost Center:

画像: 部門プロフィール ページ (4/4)

次の例では、部門プロフィール ページ (4/4) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Brazil

Cost Center

China

Parent Department

Parent Department

☐ Not Display on Fin Data Rpt

Administrative Rank

Administrative Rank

Institution Classification

Institution Classification

- 有効日

[HCM 基本設定] メニューから部門コンポーネントにアクセスして新規部門を追加する場合は、その有効日をセキュリティツリーの有効日より前、または同一日に設定します。
- 名称

Payroll for North America を使用していて、従業員の職務レコードで指定された部門を使用して小切手の発行場所を指定する場合、その部門の名称とコードが小切手に自動的に出力されます。
- 所在地セットID、所在地

部門の所在地を指定します。所在地コードの値は、所在地コンポーネントで管理します。

会社

この部門が属する会社のコードを指定します。[会社] フィールドの値は、この部門に関連付けられている全従業員の職務レコードでデフォルトの会社所在地として使用されます。従業員をこの部門に追加すると、その従業員は、その部門が属する会社の従業員でもあると見なされます。ここで会社コードを入力しない場合は、職務データ コンポーネントで入力できます。ただし、ここで入力した会社コードは職務データ コンポーネントで変更できません。

注: 複数の会社で構成される組織で、1つの部門を複数の会社で共有する場合は、[会社] フィールドを空白にしておきます。

管理者タイプ

部門の管理者を指定しない場合は、[なし] を選択します。管理者を指定する場合は、管理者が個人 ([従業員 ID]) かポジション ([ポジション]) かを指定します。ポジション管理を部分的に使っている、つまり組織の一部のみでポジションを使用している場合は、どちらを選択してもかまいません。

管理者 ID

[従業員 ID] を選択した場合、このフィールドが入力可能になります。管理者の ID を選択します。ここで選択する管理者 ID は、この部門に所属する全従業員の職務レコードでデフォルトの監督者 ID になります。組織内にさらに階層がある場合は、デフォルト値を上書きします。

管理者のポジション

[ポジション] を選択して、この部門のポジションが既に作成されている場合は、管理者のポジション番号を選択します。このフィールドは省略可ですが、入力しておく、部門階層データなどのレポート作成の際に役立ちます。

[従業員 ID] フィールドには、現在そのポジションについている従業員の氏名と従業員 ID が表示されます。

注: ポジションには、どのポジションでも選択できるようになっています。検索画面でこの部門のポジションだけが表示されるようにしたい場合は、PeopleSoft アプリケーション デザインで DEPT_TBL を更新し、このフィールドのプロンプト テーブルを DEPT_POSITIONS に設定します。

予算年度終了月日

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で予算を処理している場合は、予算年度の最終月日を入力します。この日付がこの部門の全てのポジションに適用されます。

予算レベル

この部門に定義される予算レベルを、[部門]、[職務コード]、[ライン項目]、[ポジション番号]、または [なし] の中から選択します。

Payroll for North America

納税地

部門の納税地域を指定します。入力した納税地コードは、この部門の従業員の税配分ページ (TAX_DISTRIBUTION または TAX_DIST_CAN) にロードされます。この情報は、従業員ごとに上書きできます。

(BEL) [ベルギー]

業界委員会

会社に適する業界委員会を選択します。これは、必要に応じて部門レベルで上書きできます。

NACE コード

会社の NACE コードを入力します。

注: NACE コードは、グループレベルで 5 桁、クラスレベルで 6 桁、およびサブクラスレベルで 7 桁です。

(CAN) [カナダ]

産業セクター

北米産業分類体系 (NAICS) は、比較可能な産業統計を作成するための、カナダ、メキシコ、およびアメリカ向けの共通フレームワークです。これは、セクター (2 桁コード)、サブセクター (3 桁コード)、産業グループ (4 桁コード)、および産業 (5 桁コード) で構成された階層構造になっています。階層の各レベルで、前のレベルからの数字が付加されます。たとえば、医療保険の NAICS-2007 セクター コードが 62 の場合、医療保険のサブセクター、産業グループ、および産業コードは全て 62 で始まります。

[産業セクター CAN] フィールドを使用して、部門に対する 2 桁のセクター コードを選択します。多数の産業が含まれるセクターには、複数のセクター コードがあります。セクターレベルではコード間に違いはありませんが、部門の産業に対して正しい数字を示すコードを選択することをお勧めします。たとえば、製造業セクターでは 31、32、または 33 を使用できますが、産業グループが 3151 の衣類製造業の場合は、セクター コードとして 31 を選択します。

コードには有効日があるため、新しいコードがパブリッシュされたときはこのフィールドを簡単に更新できます。たとえば、NAICS-2007 のコードが 2007 年 1 月 1 日に有効になった場合、有効日がこの日付以降の行のエントリのみが使用可能になります。

NAICS コード

部門の産業グループに対する 4 桁の NAICS コードを入力します。NAICS コードはカナダの雇用機会均等レポートで使用され、雇用機会均等レポート (PER101CN) に表示されます。

新しい NAICS コードがパブリッシュされた場合は、有効日付きの新しい行を作成して、部門の産業グループ コードの変更を取得します。

(E&G) 部門コード CAN (カナダ統計局の部門コード)

カナダの教職員調査で報告される 3 文字のコードを入力します。このフィールドは、高等学位を授与するカナダの機関のみが対象です。

(E&G) 教職コード CAN (カナダ統計局の教職コード)

教職と部門に関連付けるコードを選択します。教職コードは、教職コード テーブルで設定され、医療カテゴリと教職の関連付けに使用されます。この部門に関連付けられている教職コードによって、カナダ教職員調査で報告される医療カテゴリが特定されます。このフィールドは、高等学位を授与するカナダの機関のみが対象です。

Understanding the University and College Academic Staff System (UCASS) Survey Business Process
PeopleSoft Human Resources Track Faculty Events を参照してください。

(DEU) [ドイツ]

納税地コード

コードを選択します。

注: 納税地コードが Payroll for North America の給与計算処理に及ぼす影響の詳細については、PeopleSoft Payroll for North America のドキュメンテーションを参照してください。

注: [事故障害保険コード]、[危険コード]、および [社会保険の事故番号] の各フィールドは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の安全衛生モニター管理のビジネス プロセス機能を管理するために使われます。

(FRA) [フランス]

事業所 ID

この部門の事業所 ID を選択します。フランスの社会保障管理局では、特定の事業所で過去 3 年間に起きた労働事故数に基づいたリスク コードを指定します。各事業所は、事業所内で発生した労働事故数に応じて労働災害基金に拠出する義務があります。労働事故の発生件数が多いほど、拠出負担額が多くなります。

Global Payroll for France を使用している場合、このフィールドは必須です。PeopleSoft ヒューマン リソース管理: ポジション管理を使用している場合は、このフィールドの値が従業員の職務レコードにデフォルトとして使用されます。

リスク コード	リスク コードのリストから値を選択します。ここで入力するリスク コードに基づいて、フランスの社会保障基金への拠出金の率を部門レベルで設定します。
AT セクション	[リスク コード] フィールドで選択したリスク コードに対する AT セクションを選択します。リスク コードと AT セクションは、事業所に対して定義されます。事業所に対して複数の AT セクションが定義されている場合は、使用する AT セクションをこのフィールドで指定します。

(USA) [アメリカ]

雇用機会均等機能 (米国雇用機会均等 04 機能)	この部門に適用する健康保障や消防保障などの機能カテゴリを選択します。ここで選択するオプションは、米国連邦政府に提出する雇用機会均等に関するレポートに影響します。

(NZL) [ニュージーランド]

分類ユニット	会社の分類ユニットを入力します。この情報は、分類ユニットテーブルから取得されます。このデータは、事故障害リハビリ補償保険 (ARCI) の事業主保険料の計算に使われます。

(AUS) [オーストラリア]

以下のフィールドは、インストール テーブルの国別指定ページで [教育/公的機関] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。

組織ユニット	該当する高等教育機関のユニット コードを入力します。
機関コード	この部門の 4 桁のオーストラリア公的機関コードを入力します。

(MEX、ARG、BRA) [メキシコ、アルゼンチン、ブラジル]

コスト センター	この部門に対するコスト センターを指定します。

(CHN) [中国]

親部門	SOE および PSGM の CNAO レポートを担当する親部門を入力します。
資金データレポートで非表示	このチェック ボックスをオンにすると、親会社の情報が CNAO XML ファイルに表示されません。親会社の情報を表示する場合は、このチェック ボックスをオフにする必要があります。

コミットメント会計/E&G ページ

コミットメント会計/EG (部門テーブル - コミットメント会計および教育/公的機関) ページ (DEPARTMENT_TBL_CA) を使用して、教育/公的機関のユーザーやコミットメント会計機能を使用するユーザーに特有の部門情報を使用できるように管理します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織構造], [部門], [コミットメント会計/EG]

画像: コミットメント会計/E&G ページ

次の例では、コミットメント会計/EG ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Commitment Accounting and EG' page for department QBD01. It includes tabs for 'Department Profile' and 'Comm. Acctg. and EG'. The page contains several sections with checkboxes and dropdown menus for configuring departmental accounting and budgeting settings.

FTE 編集 (常勤換算編集)

この部門の FTE 最大値を超えたときに表示するメッセージとして、[警告] または [エラー] を選択します。この部門について FTE 編集を実行しない場合は、[編集なし] を選択します。

終身在職権処理

終身在職権付与可能

この部門の有資格の従業員に終身在職権を与えることができる場合に、チェック ボックスをオンにします。

コミットメント会計

コミットメント会計/予算機能を使用

この部門にコミットメント会計処理を使用する場合に、チェック ボックスをオンにします。このチェックボックスをオンにすると、このグループ ボックス内の他のページ項目が入力可能になります。

部門予算

部門グループの累計予算は、ここに入力した部門に集計されます。

ここで入力する部門は、現在定義している部門と同じセットIDに含まれ、セキュリティツリーの上位に位置している必要があります。たとえば、部門 00010 と 00012 はセキュリティツリー上、部門 00005 よりも下位に位置付けられ、同じセットID である場合、部門 00010 と 00012 の [部門予算] に部門 00005 を指定できます。部門 00010 と 00012 の予算は部門 00005 の予算として 1 つにまとめられます。

「ツリーベースのデータ権限の設定と割り当て」を参照してください。

エンカンバランス処理を使用

この部門にコミットメント会計のエンカンバランス処理を使用する場合に、チェック ボックスをオンにします。

実績の配分を使用

この部門にコミットメント会計の実績配分の処理を使用する場合に、チェック ボックスをオンにします。

リアルタイム予算チェック

処理オプション

エンカンバランス計算に影響を与える可能性がある、職務データやポジション データに対する変更の処理方法を選択します。

選択した処理オプションごとに、職務データやポジション データに対する変更が重要と見なされるかどうかによってアクションが異なります。職務データ コンポーネントにおける重要な変更には、採用、再雇用、および兼務の追加が含まれます。ポジション データ コンポーネントにおける重要な変更には、ポジションの作成、ポジションの人員数の増加、ポジションを非アクティブからアクティブに変更、ポジションのプレエンカンバランスを [なし] または [人材募集] から [即時] に変更が含まれます。

次の表に、選択できる処理オプションを示します。

処理オプション	重要な変更	重要でない変更
全て	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できます。	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できます。

処理オプション	重要な変更	重要でない変更
バッチ処理のみ	リアルタイム予算チェックは実行できません。全てのエンカンバランス計算はバッチ処理で実行されます。各予算チェック ステータスは [保留] に設定されます。	リアルタイム予算チェックは実行できません。全てのエンカンバランス計算はバッチ処理で実行されます。各予算チェック ステータスは [保留] に設定されます。
重要	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できます。	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できません。エンカンバランス計算は、バッチ処理で実行されるか、またはリアルタイム予算チェック コンポーネントからの各予算チェックで実行されます。各予算チェック ステータスは [保留] に設定されます。
繰延	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できません。エンカンバランス計算は、バッチ処理で実行されるか、またはリアルタイム予算チェック コンポーネントからの各予算チェックで実行されます。各予算チェック ステータスは [保留] に設定されます。	職務データおよびポジション データ コンポーネントから即時予算チェックを実行できません。エンカンバランス計算は、バッチ処理で実行されるか、またはリアルタイム予算チェック コンポーネントからの各予算チェックで実行されます。各予算チェック ステータスは [保留] に設定されます。

自動予算チェック

このチェック ボックスは、選択した処理オプションが [全て] または [重要] の場合のみ選択できます。

ユーザーが職務データまたはポジション データに対する変更を保存しようとしたときに、リアルタイム予算チェックを即時に実行する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

ユーザーが職務データまたはポジション データに対する変更を保存しようとしたときに、ポップアップ ウィンドウを表示する場合は、このチェック ボックスをオフにします。ユーザーはポップアップ ウィンドウを使用して、予算チェックを即時に実行するか、または予算チェックを実行せずにトランザクションを保存するかを選択できます。ユーザーが予算チェックを行わない場合は、職務別予算確認ページまたはポジション別予算確認ページから処理可能なトランザクションが生成されます。

その他のページの項目

勤務管理配分を使用

このチェック ボックスをオンにすると、PeopleSoft 勤務管理に入力したタスク情報が、コミットメント会計の実績の配分処理に取

り込まれます。このチェック ボックスは、PeopleSoft 勤務管理のユーザーにだけ適用されます。

このチェック ボックスをオンにすると、実績の配分プロセスでは、勤務管理タスクの入力ごとに 1 つずつエントリが作成されます。次に、適切な比率 (労働コスト配分に使用されるのと同じ比率) で支給が配分されます。

関連リンク

- [Setting Up Tenure TrackingPeopleSoft Human Resources Track Faculty Events](#)
- [Understanding Fiscal Year Budgets in PeopleSoft Human ResourcesPeopleSoft Human Resources](#)
- [Manage Commitment Accounting](#)

部門の相互チェックを行う SQR 検証の実行

部門コンポーネントに新しい部門を追加したら、それを必ずセキュリティツリーにも追加してセキュリティ構造に含まれるようにしてください。セキュリティツリーを作成したら、SQR 検証 (PER506) を実行して、部門コンポーネントに含まれる部門 ID でセキュリティツリーに入っていないものを検出できます。この SQR を実行すると、セキュリティツリーに入っていて、部門コンポーネントに含まれていない部門も検出できます。後者の状況は、部門をシステムから削除したときにセキュリティツリーからノードを削除しなかった場合などに起こります。

SQR の実行手順は、アプリケーション環境によって異なります。標準の手順が不明なときは、システム管理者に問い合わせてください。

(USF) 連邦政府部門の設定

連邦政府部門を設定するには、Departments USF コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) を使用します。
次の各トピックでは、連邦政府部門の設定方法について説明します。

連邦政府部門の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Department Table ページ	GVT_DEPART_TBL_USA	部門を設定します。

Department Table ページ

Department Table ページ (GVT_DEPART_TBL_USA) を使用して、部門を設定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Foundation Tables], [Organization], [Departments USF], [Department Table]

画像: Department Table ページ

次の例では、Department Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Department TableComm. Acctg. and EG

Set ID FEDPSDepartment F000020

Find | View AllFirst1 of 1Last

Department Profile

*Effective Date01/01/1980

*StatusActive

DescriptionOffice of the Chief Information Officer

Short DescriptionCIO

Location Set IDFEDPSFederal PS Business Unit

LocationF0001National Office

CompanyFRGFederal Reserve Board

Sub-AgencyZZInternal Research Depart-NR

Manager Type

☒ None

☐ EmplID

☐ Position

Manager ID

Manager Position

Empl ID

Budget Year End Date930

*Budget LevelPosition Number

Payroll for North America

Tax LocationF0001National Office

USA

EE04 FunctionNot Counted for EEO Reporting

Effective Date

重要 [Set Up HCM] メニューからこの Departments USF コンポーネントにアクセスして新規部門を追加する場合は、その有効日をセキュリティツリーの有効日より前、または同一日に設定します。

Sub-Agency

この部門が属する別組織を選択します。

注: [Company] および [Sub-Agency] フィールドは、この部門に関連付けられている全従業員の職務レコードでデフォルトの機関/別組織所在地として使用されます。この部門に採用された従業員は、指定機関/別組織の従業員でもあると見なされます。ここで機関を入力しない場合は、職務データ ページで入力できます。ただし、ここで入力した機関を職務データ ページで変更することはできません。

Manager ID

選択した管理者 ID は、この部門に割り当てられている全従業員の従業員レコードでデフォルトの監督者 ID になります。組織内にさらに階層がある場合は、デフォルト値を上書きします。

Manager Position

ポジション管理を使用してこの部門にポジションを作成する場合は、管理者のポジション番号を選択できます。このフィールドは省略可ですが、入力しておく、部門階層データなどのレポート作成の際に役立ちます。管理者のポジション番号を選択すると、従業員が管理者のポジションに割り当てられているかどうかが表示されます。

注: このフィールドで任意のポジションを選択できます。検索画面でこの部門のポジションだけが表示されるようにしたい場合は、PeopleSoft アプリケーション デザイナで DEPT_TBL を更新し、このフィールドのプロンプト テーブルを DEPT_POSITIONS に設定します。

ポジション管理を部分的に使用している、つまり組織の一部のみでポジションを使用している場合は、管理者 ID 番号またはマネージャ ポジション番号を使用できます。いずれかのフィールドを選択すると、残りのフィールドは使用不可になります。

Budget Year End Date

PeopleSoft ヒューマン リソース管理で予算を処理している場合は、予算年度の最終月日を入力します。この日付がこの部門の全てのポジションに適用されます。

Budget Level

この部門に定義される予算レベルを、*[Department]*、*[Job Code]*、*[Line Item]*、*[Position Number]*、または *[None]* のの中から選択します。

(USA) [アメリカ]**EEO4 Function**

この部門に適用する健康保障や消防保障などの機能カテゴリを選択します。選択したオプションは雇用機会均等に関するレポートに影響を与えます。

『*PeopleTools: Application Designer Developer's Guide*』を参照してください。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

プライマリ権限リストの基本設定

プライマリ権限リストの基本設定を行うには、プライマリ権限リスト基本設定コンポーネント (OPR_DEF_TBL_HR) を使用します。

次の各トピックでは、プライマリ権限リスト基本設定の概要および設定方法について説明します。

権限リストのデフォルト設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ	OPR_DEF_TBL_HR	各プライマリ権限リストに、定義済みテーブルセット共有とシステム全般のデフォルトを設定します。
プライマリ権限リスト基本設定 - 設定 ページ	OPR_DEF_TBL_HR2	各権限リストに給与計算システムとシステム全般のデフォルトを設定します。

プライマリ権限リストの基本設定について

プライマリ権限リスト基本設定コンポーネントを使用して、定義済みのテーブルセット共有やシステム全体で使用されるデフォルト値を各プライマリ権限リストに設定します。プライマリ権限リストは、ユーザー プロファイル - 一般ページ (USER_GENERAL) でユーザーに割り当てられます。ユーザーが PeopleSoft HCM にログオンすると、そのユーザーが属している権限リストに対しプライマリ権限リスト基本設定コンポーネントで指定されているビジネス ユニット、セットID、通貨、国、および会社コードなどの値がデフォルトで表示されます。さらに、グローバル セキュリティの設定ページ (SCRTY_TBL_GBL) での設定に従って、プライマリ権限リストにより国別機能へのユーザーのアクセスが制御されます。

『PeopleTools: Security Administration』の「Setting Up Permission Lists」を参照してください。

関連リンク

[国別機能のセキュリティ設定](#)

プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ

プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ (OPR_DEF_TBL_HR) を使用して、各プライマリ権限リストに、定義済みテーブルセット共有とシステム全般のデフォルトを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [プライマリ権限リスト基本設定], [デフォルト]

画像: プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト ページ

次の例では、"プライマリ権限リスト基本設定 - デフォルト" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

DefaultsSettings

Primary Permission List HCPPEGPrimary List - EG

☐ Alternate Character Enabled

*Business UnitEGVBU

Educ & Govt/State

*Set IDEGVBU

E&G State / Government

*CompanyPSU

PeopleSoft University

*CountryUSA

United States

Regulatory RegionUSA

United States

*To CurrencyUSD

US Dollar

Currency Rate TypeOFFIC

Official Rate

Name FormatEnglish

PeopleSoft HCM システムを各ユーザーに合わせて調整し、ページに表示されるデフォルト値を制御できます。

注: PeopleSoft HCM のプロンプト テーブルに表示される内容は、"テーブルセット レコード - グループ コントロール" ページによって規制されます。プライマリ権限リストに設定したデフォルト値により、インストール テーブルで同じオプションに対して設定されているデフォルト値が上書きされます。

フリガナの使用

このチェック ボックスをオンにすると、この権限リストの検索にフリガナを使用できます。

警告 このページで選択した [セットID] フィールドの値は、PeopleSoft HCM システム全体で、この権限リストのビジネス ユニットとセットID のデフォルトに影響します。

関連リンク

- フリガナ文字セットの使い方
- ビジネス ユニット、テーブルセットおよびセットID
- 国コードの管理
- 法定区域とトランザクションの関連付け

通貨について

プライマリ権限リスト基本設定 - 設定ページ

プライマリ権限リスト基本設定 - 設定ページ (OPR_DEF_TBL_HR2) を使用して、各権限リストに給与計算システムとシステム全般のデフォルトを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [プライマリ権限リスト基本設定], [設定]

画像: プライマリ権限リスト基本設定 - 設定ページ

次の例では、"プライマリ権限リスト基本設定 - 設定" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Settings' tab of the 'Primary Permission List' configuration page. It includes sections for 'Payroll Info' and 'Standard Hours'. The 'Payroll Info' section contains a 'Payroll System' dropdown set to 'Payroll for North America'. The 'Standard Hours' section includes fields for 'Default Standard Hours' (40.00), 'Minimum Standard Hours' (20.00), 'Maximum Standard Hours' (40.00), and a 'Standard Work Period' dropdown set to 'Weekly'. Below these, there is a 'Canada' section with a Canadian flag icon, containing fields for '*Canadian Census Metropolis Area' (set to 'Toronto, Ontario') and '*Canadian Industrial Sector' (set to '(Invalid Value)').

PeopleSoft HCM システムを各権限リストに合わせて調整し、ページに表示されるデフォルト値を制御できます。

産業

米国連邦政府のデータベースである場合は、[官公庁] を選択します。デフォルト値は [主要] です。

産業セクター

連邦政府のデータベースである場合は、[US 政府] を選択します。デフォルト値は [主要] です。

ID の転記

メニュー全体に従業員 ID 検索キー情報を転記する場合に、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、現在使用している従業員 ID 検索キーが後続のメニューでも使われます。

注: データベースで米国連邦政府機能を十分に活用するには、[産業] フィールドに [官公庁] を指定し、[産業セクター] フィールドに [US 政府] を指定する必要があります。また、インストール テーブル - 製品ページ (INSTALLATION_TBL1) で、[米国連邦政府機能対応] をオンにする必要があります。

デフォルトの給与計算システムの指定

給与計算システム

デフォルトの給与計算システムを選択します。PeopleSoft HCM のテーブルやページで給与計算システムを選択するときは、この権限リストに選択した値に基づいて、[北米] または [グローバル] が表示されるか、あるいはどちらも表示されません。必要に応じて、このデフォルト設定を上書きすることができます。

デフォルト標準勤務時間の設定

デフォルト標準勤務時間

デフォルト値は 40 時間です。ここで入力する値は、ヒューマンリソース管理システムでの従業員の常勤換算 (FTE) の算出方法および給与計算処理に影響します。

標準勤務周期

標準勤務周期を選択します。標準勤務周期とは、従業員が標準勤務時間分の勤務を完了しなければならない周期です。標準勤務周期の年次化係数と、デフォルトの標準勤務時間を組み合わせて、常勤換算 (FTE) が計算されます。

最小標準勤務時間、最大標準勤務時間

このセットID に対する最小標準勤務時間と最大標準勤務時間のデフォルト値を入力します。ここで入力する値は、ヒューマンリソース管理システムでの従業員の常勤換算 (FTE) の算出方法および給与計算処理に影響します。

(CAN) [カナダ]

国勢調査メトロ エリア

トランスレート テーブルに定義されたメトロ エリアから値を選択します。

産業セクター CAN

トランスレート テーブルに定義された有効値のリストから値を選択します。

注: (CAN) これらの値は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のカナダの法定レポートに影響します。

Understanding Regulatory Requirements for CanadaPeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements を参照してください。

関連リンク

[導入デフォルトの設定](#)

個人情報基本テーブルの設定

市民権ステータス コードの定義

市民権ステータス コードを定義するには、市民権ステータス コンポーネント (CITIZEN_STATUS) を使用します。

このトピックでは、市民権ステータスの定義方法について説明します。

市民権ステータスの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>市民権ステータス ページ</u>	CITIZEN_STATUS	国ごとに、人事管理に必要な市民権ステータスを定義します。たとえば、ある国の母国籍を持っているか、帰化により市民権を取得したか、または永住在留資格を取得しているかを区別しなくてはならない場合があります。

市民権ステータス ページ

市民権ステータス ページ (CITIZEN_STATUS) を使用して、国ごとに、人事管理に必要な市民権ステータスを定義します。

たとえば、ある国の母国籍を持っているか、帰化により市民権を取得したか、または永住在留資格を取得しているかを区別しなくてはならない場合があります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [市民権ステータス], [市民権ステータス]

画像: 市民権ステータス ページ

次の例では、市民権ステータス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Citizen Status

Country AUS Australia

Country Citizenship Definition Personalize Find View All First 1-8 of 9 Last

	*Status	*Description	Short Description		
1	1	Native	Native	+	-
2	2	Naturalised	Naturalise	+	-
3	3	Alien Permanent	Alien Perm	+	-
4	4	Alien Temporary	Alien Temp	+	-
5	5	Citizen	Citizen	+	-
6	6	Foreign Worker	Foreign Wo	+	-
7	7	Permanent Resident	Perm Res	+	-
8	8	Foreign ID Card Holder	Foreign ID	+	-

国

このページにアクセスするために入力した国コードが表示されます。この国の市民権ステータス コードを指定します。

ステータス

定義する市民権ステータスのコードを入力します。必要な数だけ市民権コードを入力します。

国民 ID タイプの定義

国民 ID タイプを定義するには、国民 ID タイプ コンポーネント (NID_TYPE_TABLE) を使用します。

このトピックでは、国コードに国民 ID タイプを割り当てる方法について説明します。

国民 ID タイプの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
国民 ID タイプ ページ	NID_TYPE_TABLE	国コードに国民 ID タイプを割り当て、個人 ID や応募者 ID がない場合に使用するデフォルト値または仮の国民 ID を指定します。

国民 ID タイプ ページ

国民 ID タイプ ページ (NID_TYPE_TABLE) を使用して、国コードに国民 ID タイプを割り当て、個人 ID や応募者 ID がない場合に使用するデフォルト値または仮の国民 ID を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [国民 ID タイプ], [国民 ID タイプ]

画像: 国民 ID タイプ ページ

次の例では、国民 ID タイプ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

National ID Type

Country BRABrazil

National ID Types

PersonalizeFind1-11 of 11FirstLast

*NID Type	Default	*Description	Short Desc	National ID Format	NID as Stored		
C-RES	☐	Militar Certificate	C-RES			+	-
CAIXA	☐	CAIXA	CAIXA	999999999999	999999999999	+	-
CNS	☐	Health National Card	CNS	9999999999999999	9999999999999999	+	-
CPF	☐	CPF - Person Registry	CPF	999999999999	999999999999	+	-
CTPS	☐	CTPS - Work Card	CTPS	XXXXXXXX	XXXXXXXX	+	-
DNV	☐	New Born ID	DNV	99-99999999-9	999999999999	+	-
ESTRAN	☐	Foreigner ID	Foreigner	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	+	-
PASEP	☐	PASEP	PASEP	999999999999	999999999999	+	-
PIS	☐	PIS	PIS	999999999999	999999999999	+	-
RG	☐	General Registry	RG			+	-
TIT-EL	☐	Voter Registration Card	TIT-EL			+	-

給与計算、身分証明、または福利厚生为目的で、各国はそれぞれなんらかの形で国民 ID を管理しています。たとえば、ドイツの労働者には社会保険番号、イギリスの労働者には国民保険番号、米国の労働者には社会保障番号が割り当てられています。それぞれの国民 ID には、その国独自のフォーマット規定があります。

国民 ID を入力するグローバル ページで国コードを選択すると、このページで定義した情報が参照され、自動的にデフォルトの国民 ID タイプ (選択されている場合) が入力されるか、有効な国民 ID タイプをユーザーが確実に選択できるようになります。また、ユーザーが入力した国民 ID が、このページで指定したフォーマットに合っているかが検証されます。間違った桁数や文字を国民 ID に入力すると、警告メッセージが表示されます。

たとえば、個人情報詳細ページでアメリカ人の国民 ID 情報を新規入力すると、国民 ID タイプ テーブル ページで設定された情報を使用してアメリカで有効な国民 ID タイプが決定され、デフォルト値として社会保障番号 (PR) が入力されます。また、入力したデータが国民 ID フォーマットとして設定された値に合っているかが検証され、必要な場合は入力したデータがフォーマットされます。この例の場合には、"9999999999" と入力すると "999-99-9999" に再フォーマットされます。

注: [国民 ID] フィールドのあるアプリケーション ページでは、この他にも UDF フォーマットを参照して適切な表示を決定するためのシステム チェックが実行されます。このフォーマットの指定は、PeopleSoft アプリケーション デザイナーで行います。

注: PeopleSoft アプリケーションには、サポートされている国ごとに適切なタイプを含む国民 ID タイプ テーブルが用意されています。

注: (GBR) 有効な国民保険番号のプレフィックスを定義するには、国民 ID プレフィックス (GBR) ページを使用します。事業主が申告する年度末レポートには有効な国民保険番号プレフィックスのみを含めることが、内国歳入庁によって定められています。

「(GBR) 国民保険番号プレフィックスの設定」を参照してください。

注: (CAN および USA) カナダおよびアメリカ合衆国については、適切な国民 ID タイプとして "PR" (カナダの場合は社会保険番号、合衆国の場合は社会保障番号に相当します) が定義されています。この値は給与計算処理に必要なため、削除することはできません。

注: (DEU および JPN) ドイツと日本のユーザーについては、従業員の国民 ID データの入力は必須ではないため、PeopleSoft では、"NO" というデフォルト値を用意しています。

国民 ID タイプ	個人 (従業員、扶養家族、応募者など) の識別に使用する国民 ID のタイプを入力します。 国民 ID タイプが不要な国の場合は、"NO" という値を作成し、[国民 ID フォーマット] フィールドは空白にしておきます。PeopleSoft HCM では国民 ID タイプが必須フィールドになっているページが多いため、こうすることによって、このような国出身の個人に値を入力できます。
デフォルト	このチェック ボックスをオンにした場合、この行の [国民 ID タイプ] が、この国出身の個人に対するデフォルト値として使用されます。国には必ずしもデフォルトの国民 ID タイプを指定する必要はありませんが、デフォルト値を指定しない場合は、ユーザーがシステムに国民 ID を入力するたびに国民 ID タイプを指定しなければなりません。
国民 ID フォーマット	国民 ID のデフォルト フォーマットを指定します。以下の値を使用します。 • ユーザーが値に英数字を入力するか値を空白にしておける場合は、"X" または "Z" • ユーザーが必ず文字を入力しなければならない場合は、"A" および任意の小文字 • ユーザーが必ず数値を入力しなければならない場合は、"9" • このフィールドを空白にした場合、ユーザーはこの国民 ID タイプに対して任意の値を入力する (または何も入力しない) ことができます。

注:
BEL、BRA、CAN、CHE、FRA、GBR、MEX、NLD、USA、DEU、ESP、MYS、
および ITA の国民 ID については、ここで設定する一般情報に
加えて、PeopleCode レコード ロジックによる特別なデータ検証が
実行されます。

注: (USA) U.S. 連邦政府関連機関にレポートする際
に、PeopleSoft Payroll for North America では、不足または不
明の社会保障番号に対するデフォルトが、関連機関が要求す
るフォーマットに変換されます。

国民 ID (保存済)

実際にシステムに保存されている状態で国民 ID が表示されま
す。この値をフィールド表示フォーマットに一致させるには、アプ
リケーション デザイナを使用します。

関連リンク

[Adding a PersonPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

敬称情報の設定

敬称情報を設定するには、氏名フォーマット タイプ コンポーネント (NAME_FORMAT_TBL)、氏名タイ
プ コンポーネント (NAME_TYPE_TBL)、氏名プレフィックス コンポーネント (NAME_PREFIX_TABLE)、
氏名サフィックス コンポーネント (NAME_SUFFIX_TABLE)、敬称プレフィックス コンポーネント
(NM_ROYAL_PREF)、敬称サフィックス コンポーネント (NM_ROYAL_SUFF)、および氏名タイトル コン
ポーネント (TITLE) を使用します。

次の各トピックでは、敬称情報の概要および設定方法について説明します。

敬称情報の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
氏名フォーマット テーブル ページ	NAME_FORMAT_TBL	HCM 全体で、氏名に関するページで使 用する氏名フォーマット タイプを定義し ます。
氏名タイプ ページ	NAME_TYPE_TBL	氏名タイプおよびその処理順を定義しま す。
氏名プレフィックス ページ	NAME_PREFIX_TABLE	氏名情報を記録する際に使用する氏名 プレフィックスを入力します。
氏名サフィックス ページ	NAME_SUFFIX_TABLE	氏名情報を記録する際に使用する氏名 サフィックスを入力します。

ページ名	定義名	用途
敬称プレフィックス <u>敬称プレフィックスページ</u>	NM_ROYAL_PREFIX	敬称プレフィックスと名称を入力します。敬称プレフィックスのコードは主にドイツとオランダで使用されます。個人情報コンポーネントで個人名を入力する際に、これら標準の敬称プレフィックスを参照できます。
敬称サフィックス <u>ページ</u>	NM_ROYAL_SUFFIX	敬称サフィックスを定義します。敬称サフィックスはドイツでのみ使用され、DUEVO 公認の敬称サフィックスの検索画面が表示されます。個人情報ページで氏名を入力する際に、これら標準の敬称サフィックスを参照できます。
氏名タイトル <u>ページ</u>	TITLE_TBL	氏名と共に使用するタイトルを入力します。 人事管理システムで氏名と共に使用する " <i>professor</i> "、" <i>mijnheer</i> " などの標準タイトルを追跡管理します。

敬称情報について

複数の国でグローバルに人材を管理している場合も、1 つの国だけで人材を管理している場合も、雇用レコードの一部としてさまざまな氏名や敬称を追跡管理していく必要があります。氏名プレフィックス、氏名サフィックス、敬称プレフィックス、敬称サフィックス、および氏名タイトルの各テーブルで、"*Mr.*"、"*Mrs.*"、"*Mdme.*"、"*Mssr.*" などの標準氏名プレフィックスや、"*Jr.*"、"*Sr.*" などの標準氏名サフィックスが定義できます。

ヨーロッパで人材を管理している場合、ドイツ従業員用の敬称プレフィックス "*von*" など、ドイツとオランダで標準的な敬称を追加することができます。また、"*professor*"、"*doctor*"、"*count*" などの称号も入力できます。これらのテーブルを使用すると、組織の人事管理システムでさまざまな敬称を柔軟に管理することが可能になります。

氏名タイプ ページ

氏名タイプ ページ (NAME_TYPE_TBL) を使用して、氏名タイプおよびその処理順を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [氏名タイプ], [氏名タイプ]

画像: 氏名タイプ ページ

次の例では、氏名タイプ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Name Type					
Name Type			Personalize Find View All  		
			First  1-10 of 10  Last		
Order by	Name Type CD	Name Type	Short Name		
1	PRI	Primary	Primary		
2	PRF	Preferred	Preferred		
3	LEG	Legal	Legal	+	-
4	DEG	Degree	Degree	+	-
5	MDN	Maiden	Maiden	+	-
6	OTH	Other	Other	+	-
7	FR2	Former2	Former2	+	-
8	FTR	Father	Father	+	-
9	FR1	Former1	Former1	+	-
10	MTR	Mother	Mother	+	-

処理順 この氏名タイプを処理する順番を入力します。

氏名タイプコード、氏名タイプ、略称 氏名タイプのコード、氏名タイプの名称、および氏名タイプの略称を入力します。

注: 氏名タイプ PRI および PRF はシステム データなので、編集することはできません。

氏名プレフィックス ページ

氏名プレフィックス ページ (NAME_PREFIX_TABLE) を使用して、氏名情報を記録する際に使用する氏名プレフィックスを入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [氏名プレフィックス], [氏名プレフィックス]

画像: 氏名プレフィックス ページ

次の例では、氏名プレフィックス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Name Prefix

Name Prefix

Personalize | Find |  

First  1-5 of 5  Last

	*Name Prefix	Short Description	*Description		
1	Dr	Dr	Doctor	+	-
2	Miss	Miss	Miss	+	-
3	Mr	Mr	Mister	+	-
4	Mrs	Mrs	Mrs	+	-
5	Ms	Ms	Ms	+	-

氏名プレフィックス

追加する氏名プレフィックスを入力します。個人情報ページで個人名を入力する際に、これら標準の敬称プレフィックスを参照できます。

ここで入力したプレフィックスは、個人名の一部として表示されます。

注: 氏名プレフィックスには有効日もステータスも付きません。

氏名サフィックス ページ

氏名サフィックス ページ (NAME_SUFFIX_TABLE) を使用して、氏名情報を記録する際に使用する氏名サフィックスを入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [氏名サフィックス], [氏名サフィックス]

画像: 氏名サフィックス ページ

次の例では、氏名サフィックス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Name Suffix

Name Suffix

Personalize | Find | | First 1-3 of 3 Last

	*Name Suffix	Short Description	*Description		
1	III	III	III		
2	Jr.	Jr.	Junior		
3	Sr.	Sr.	Senior		

- 氏名サフィックス

追加する氏名サフィックスを入力します。個人情報ページで個人名を入力する際に、これら標準の敬称サフィックスを参照できます。
- 略称、名称

ここで入力したサフィックスの略称または名称が、個人名の一部としてページに表示されます。

注: 氏名サフィックスには有効日もステータスも付きません。

敬称プレフィックス ページ

敬称プレフィックス ページ (NM_ROYAL_PREFIX) を使用して、敬称プレフィックスと名称を入力します。

敬称プレフィックスのコードは主にドイツとオランダで使用されます。個人情報コンポーネントで個人名を入力する際に、これら標準の敬称プレフィックスを参照できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [敬称プレフィックス], [敬称プレフィックス]

画像: 敬称プレフィックス ページ

次の例では、敬称プレフィックス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Royal Name Prefix

Certified By DUEVO

Royal Name Prefix

Personalize | Find | View 100 | First 1-15 of 187 Last

	*Name Royal Prefix	*Status	Short Description	*Description		
1	a	Active	a	a	+	-
2	aan de	Active	aan de	aan de	+	-
3	aan den	Active	aan den	aan den	+	-
4	al	Active	al	al	+	-
5	am	Active	am	am	+	-
6	an	Active	an	an	+	-
7	an der	Active	an der	an der	+	-
8	auf	Active	auf	auf	+	-
9	auf dem	Active	auf dem	auf dem	+	-
10	auf der	Active	auf der	auf der	+	-
11	auf m	Active	auf m	auf m	+	-
12	auff m	Active	auff m	auff m	+	-
13	aufm	Active	aufm	aufm	+	-
14	aus	Active	aus	aus	+	-
15	aus dem	Active	aus dem	aus dem	+	-

認定タイプ

ページにアクセスするときに選択した値が表示されます。ドイツの場合は "DUEVO"、オランダの場合は "NEN" が表示されます。

敬称プレフィックス

半角 15 文字以内で敬称プレフィックスを入力します。

ステータス

敬称プレフィックスには有効日が付かないため、プレフィックスコードを以後使用しない場合は、ステータスを [非アクティブ] に変更します。

敬称サフィックス ページ

敬称サフィックス ページ (NM_ROYAL_SUFFIX) を使用して、敬称サフィックスを定義します。

敬称サフィックスはドイツでのみ使用され、DUEVO 公認の敬称サフィックスの検索画面が表示されます。個人情報ページで氏名を入力する際に、これら標準の敬称サフィックスを参照できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [敬称サフィックス], [敬称サフィックス]

画像: 敬称サフィックス ページ

次の例では、敬称サフィックス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Royal Name Suffix

Certified By DUEVO

Name Royal Suffix

Personalize | Find | View All | | First 1-15 of 66 Last

	*Name Royal Suffix	*Status as of Effective Date	Short Description	*Description		
1	Bar	Active	Bar	Bar		
2	Baron	Active	Baron	Baron		
3	Baronesse	Active	Baronesse	Baronesse		
4	Baronin	Active	Baronin	Baronin		
5	Brand	Active	Brand	Brand		
6	Condesa	Active	Condesa	Condesa		
7	Earl	Active	Earl	Earl		
8	Edle	Active	Edle	Edle		
9	Edler	Active	Edler	Edler		
10	Erbgräefin	Active	Erbgräefin	Erbgräefin		
11	Erbgraf	Active	Erbgraf	Erbgraf		
12	Erbprinz	Active	Erbprinz	Erbprinz		
13	Erbprinzessin	Active	Erbprinzess	Erbprinzessin		
14	Ffr	Active	Ffr	Ffr		
15	Freifr	Active	Freifr	Freifr		

- 認定タイプ
- ページにアクセスするときに選択した値が表示されます。ドイツの場合は "DUEVO"、オランダの場合は "NEN" が表示されます。
- 敬称サフィックス
- 半角 15 文字以内で敬称サフィックスを入力します。
- 有効日現在のステータス
- 敬称サフィックスには有効日が付かないため、サフィックス コードを以後使用しない場合は、ステータスを [非アクティブ] に変更します。

住所タイプの定義

住所タイプを定義するには、住所タイプ コンポーネント (ADDR_TYPE_TBL) を使用します。

このトピックでは、住所タイプの入力方法について説明します。

住所タイプの入力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
住所タイプ ページ	ADDR_TYPE_TBL	住所タイプおよびその処理順を定義するのに使用します。

住所タイプ ページ

住所タイプ ページ (ADDR_TYPE_TBL) を使用して、住所タイプおよびその処理順を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [個人情報管理タイプ], [住所タイプ], [住所タイプ]

画像: 住所タイプ ページ

次の例では、住所タイプ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Address Type				
Address Type Personalize Find View All First 1-10 of 13 Last				
*Order by	Addr Type CD	Address Type	Short Type	
1	HOME	Home	Home	+ -
2	MAIL	Mailing	Mail	+ -
3	BUSN	Business	Business	+ -
4	CHK	Check	Check	+ -
5	DORM	Dormitory	Dorm	+ -
6	LEGL	Legal	Legal	+ -
7	CAMP	Campus	Campus	+ -
8	OTH	Other	Other	+ -
9	BILL	Billing	Billing	+ -
10	OTH2	Other 2	Other 2	+ -

処理順

この住所を処理する順番を入力します。

住所タイプ コード、住所タイプ、略称

住所タイプのコード、住所タイプの名称、および住所タイプの略称を入力します。

注: 住所タイプ HOME、MAIL、BUSN、および CHK はシステム データなので、編集することはできません。

職務の設定

補助職種コードと職種コードの定義

補助職種コードを定義するには、補助職種定義コンポーネント (JOB_SUBFUNC_DEFN) を使用します。
職種コードを定義するには、職種テーブル コンポーネント (JOB_FUNCTION_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、補助職種コードと職種コードの概要およびその設定方法について説明します。

職種コードと補助職種コードの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
補助職種ページ	JOB_SUBFUNC_DEFN	補助職種コードを設定します。
職種ページ	JOB_FUNCTION_TBL	職種コードを設定します。職種と補助職種の関係を定義します。

補助職種コードと職種コードについて

補助職種コードを使用して、職種コードに割り当てられる補助職種を作成します。たとえば、給与計算の補助職種コードを作成して、それを経理の職種コードに割り当てることができます。また、必要に応じて、補助職種コードと職種コードにプロファイルを設定することもできます。

関連リンク

[Understanding Managing Profiles](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Profiles](#)

補助職種ページ

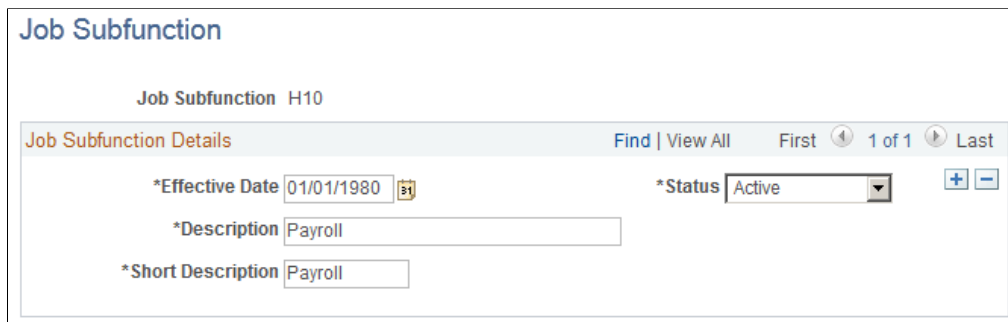
補助職種ページ (JOB_SUBFUNC_DEFN) を使用して、補助職種コードを設定して定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [補助職種], [補助職種]

画像: 補助職種ページ

次の例では、補助職種ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



The screenshot displays the 'Job Subfunction' page for 'H10'. The page title is 'Job Subfunction H10'. Below the title, there is a section titled 'Job Subfunction Details'. This section contains several fields and controls: a 'Find' button, a 'View All' button, and navigation controls showing 'First', '1 of 1', and 'Last'. The main fields are: '*Effective Date' with a date picker set to '01/01/1980', '*Status' with a dropdown menu set to 'Active', '*Description' with a text input field containing 'Payroll', and '*Short Description' with a text input field containing 'Payroll'. There are also '+' and '-' buttons next to the '*Status' dropdown.

職種ページ

職種ページ (JOB_FUNCTION_TBL) を使用して、職種コードを設定して定義します。

職種と補助職種の関係を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職種], [職種]

画像: 職種ページ

次の例では、職種ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Function

Job Function Code H08

Job Function Information

Find | View All

First 1 of 1 Last

Effective Date 01/01/1980

*Status Active

*Description Human Resources

Short Description HR

Italy

INAIL Code

Job Subfunctions

Personalize | Find | View All

First 1-4 of 4 Last

*Job Subfunction	Description		
H04	Satellite Technology	+	-
H08	Human Resources	+	-
H09	Benefits	+	-
H10	Payroll	+	-

(ITA) [イタリア]

INAIL コード (Istituto Nazionale per l'Assicurazione contro gli Infurtuni sul Lavoro コード)

INAIL コードを使って、職務に関連付けられたリスクレベル、および事業主に義務付けられている関連リスク保険で職務を分類します。

職務系列の定義

職務系列を定義するには、職務系列テーブル コンポーネント (JOB_FAMILY) を使用します。

次の各トピックでは、職務系列の概要および職務を系列にグループ化する方法について説明します。

職務系列の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
職務系列テーブル ページ	JOB_FAMILY_TABLE	職務系列を作成します。

職務系列について

類似している職務をグループ化して職務系列を作成します。プロファイル管理を使用すると、職務系列に含まれる全ての職務が記載された職務系列のプロファイルを作成できます。

職務系列テーブル ページ

職務系列テーブル ページ (JOB_FAMILY_TABLE) を使用して、職務系列を作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務系列テーブル], [職務系列テーブル]

画像: 職務系列テーブル ページ

次の例では、職務系列テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Family Table

Job Family H0PM1

Job Family

Find | View All

First 1 of 1 Last

*Effective Date

01/01/2000

*Status

Active

*Description

Administrative

Short Description

Admin

重要 職務系列の有効日は、関連する職務コードの有効日以前の日付になっている必要があります。

職務の分類

職務を分類するには、職務コード テーブル コンポーネント (JOB_CODE_TBL) を使用します。CI_JOB_CODE_TBL コンポーネント インターフェイスを使用して、このコンポーネントのテーブルにデータをロードします。

次の各トピックでは、職務コードの概要および職務コードの分類について説明します。

職務の分類に使用するページ

ページ名	定義名	用途
職務コード プロファイル ページ	JOBCODE_TBL1_GBL	システムに新しい職務コードを追加し、各職務コードの職務系列、給与、および法定提出書類情報を追加します。

ページ名	定義名	用途
職務コード別ビジネス ユニット ページ	JOBCODE_BU	この職務コードのセットID に関連付けられた全てのビジネス ユニットが表示されます。
<u>評価基準ページ</u>	JOBCODE_TBL2_GBL	職務評価基準に点数を割り当てます。この情報を使用して、社内の職務コードをランク付けし、給与等級、給与ステップ、および対象者/非対象者の区分を査定することができます。
<u>市場給与の一致ページ</u>	JOB_CD_MP_SAL_SURV	職務コードに市場給与マトリックスに関連付けます。
<u>デフォルト給与ページ</u>	JOB_CD_COMP_RATE	職務コードに給与プラン情報および固定的賃金の給与レートコードに関連付けます。職務コードに給与レートコードに関連付けることによって、職務情報のページで従業員の職務レコードに関連付けられる給与パッケージを定義します。
<u>固定的賃金外給与ページ</u>	JOB_CD_NON_BASE	固定的賃金外の給与レートコードを職務コードに関連付けます。

職務コードについて

HCM では、職務は職務コードで識別します。職務に関する情報は、職務に従事している個人やグループとは別に管理します。たとえば、職務の給与等級や標準勤務時間は、その職務に誰がついているかを考慮せずに職務に割り当てます。

職務コードを保存すると、その職務コードと同じ給与レートコード ソースで、給与ステップに対し給与レートコード デフォルト ルールが作成されます。職務コードや給与ステップの設定テーブルの代わりに、レートコード デフォルト ルールが給与のデフォルト指定に使用されます。

HCM の職務コードとポジションについて

HCM では、ポジションと職務コードは別のものです。1 つの職務コードの中に、複数のポジションが存在することがあります。たとえば、事務アシスタントという職務コードを 1 つ定義し、その職務コードの下にマーケティング部門の事務アシスタント、研究部門の事務アシスタント、給与担当グループの事務アシスタントなど、異なる事務アシスタントのポジションを定義できます。特定の部門や勤務地の特定職務の詳細を追跡するには、ポジションを使用します。通常は、1 つのポジションに対し 1 人の従業員という関係が成り立っています。職務コードの場合は、1 つの職務コードに対して複数の従業員、という関係になります。

ポジションを基準として PeopleSoft ヒューマン リソース管理を運用する場合も、大まかなグループ分けや職務分類を行うために職務コードを使用します。分類した職務コードグループを基に、各ポジションのデフォルトの職務データを管理します。

注: PeopleSoft Pension Administration を使用する場合は、年金の受取人に対して、ポジションではなく職務を設定します。プロファイル管理を使用すると、職務コードのプロファイルを設定できます。

Understanding Managing ProfilesPeopleSoft Human Resources Manage Profiles を参照してください。

(JPN) 職務コードと職能等級管理の使い方

人材募集データの職務詳細ページにある [職務コード] は、必須フィールドです。職能資格等級制度に基づく人材管理を行っている企業では、人材募集に職務コードを設定することが適切でない場合も考えられます。その場合は、このページの要件を満たすために、[職務コード] フィールドにダミーの職務コードを設定する必要があります。ダミーとして入力した職務コードには、プロセスを関連付けません。作成したそのダミーコードに対しても職務コード プロファイル ページで入力しなければならないフィールドが 6 つありますが、そのうち 5 つにはデフォルト値が入るため、職務名を入力するだけで済みます。職務名には、明らかにダミーの職務コードであることがわかる名前を使用してください。

関連リンク

[Understanding PositionsPeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)

職務コード プロファイル ページ

職務コード プロファイル ページ (JOB_CODE_TBL1_GBL) を使用して、システムに新しい職務コードを追加し、各職務コードの職務系列、給与、および法定提出書類情報を追加します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [職務コード プロファイル]

画像: 職務コード プロファイル ページ (1/5)

次の例では、職務コード プロファイル ページ (1/5) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Job Code Profile' page (1/5) in the HCM system. The page is titled 'Job Code Profile' and includes navigation tabs at the top: 'Job Code Profile', 'Evaluation Criteria', 'Market Pay Match', 'Default Compensation', and 'Non-Base Compensation'. The page shows various fields for defining a job code profile, including:

- Set ID:** DEU01
- Job Code:** 140035
- Business Units that use this Set ID:**
- Job Code Profile:** Find, First, 1 of 1, Last
- *Effective Date:** 01/01/1980
- *Status:** Active
- Go To Row:** +, -
- *Job Title:** Analyst-Financial
- Short Job Title:** Fin Anlyst
- Job Description:** Financial Analyst
- Job Function Code:** FIN
- Job Family:** LHUMAN
- *Standard Hours:** 40.00
- Workers' Comp Code:**
- *Comp Freq:** M
- Regular/Temporary:**
- Union Code:**
- Job Subfunction:**
- Standard Work Period:** W
- *Manager Level:** Non-Manager
- Medical Checkup Required:**
- Festive Advance Pay Program:**

画像: 職務コード プロファイル ページ (2/5)

次の例では、職務コード プロファイル ページ (2/5) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Canada

National Occupational Classif

Pay Equity Job Class ☐ Seasonal

BPS Activity

Employment/Labour Std Status

Stats-Can Acad Teaching Survey

*Report Flag

Duties

Education and Government

Academic Rank

Service Calculation Group

WCB Classification Personalize | Find | View All | First 1 of 1 Last

Province	Rate Group	Classification

Germany

☐ Medical Surveillance Required

United Kingdom

UK SOC Code

Italy

INAIL Code

Malaysia

Number of Hours in a Work Day

Festive Advance Pay Program

画像: 職務コード プロファイル ページ (3/5)

次の例では、職務コード プロファイル ページ (3/5) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

USA

*EEO-1 Job Category

*EEO-4 Job Category

*EEO-5 Job Category

*EEO-6 Job Category

Standard Occupational Classif

Occupational Classif Code

EEO Job Group

*FLSA Status

*Tipped ☐ Available for Telework

ACA Eligibility Status

Education and Government

Academic Rank

Service Calculation Group

画像: 職務コード プロファイル ページ (4/5)

次の例では、職務コード プロファイル ページ (4/5) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Australia' section of the Job Code Profile Page. It includes a search field for 'ASCO Code'. Below this is a 'Salary Packaging Options' section with search fields for 'Package Template ID' and 'Package Rule ID'. The 'Higher Education' section contains dropdown menus for 'Job Function' and 'Type of Work Performed', along with input fields for 'Annual Contact Hours' and 'Teaching Weeks'. At the bottom, there is a search field for 'Brazilian Occupation Cd'.

画像: 職務コード プロファイル ページ (5/5)

次の例では、職務コード プロファイル ページ (5/5) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Argentina' and 'Spain' sections of the Job Code Profile Page. It includes a search field for 'Report Job Code'. Below this is a search field for 'Job Code CNO' with the value '2711' and the text 'Systems Analysts'. At the bottom, there is a footer with update information: 'Updated on 06/15/12 1:59:57PM', 'Updated By SAMPLE', and 'Betty Locherty'.

職務コード

組織の中で特定の職務に関連付ける固有のコード。

重要職務コード

これが組織の後任計画の重要職務である場合は、このチェック ボックスをオンにします。

(USF) 職務系列、公式ポジション名コード、組織ポジション名コード

リストから選択します。このフィールドは、アクセス権限のあるユーザーが連邦情報を表示するために、連邦データベースで使用可能になります。

職種コード

職務を機能面から分類した際に最もよく当てはまる職種コード (総務、文書、管理など) を選択します。

補助職種

最もよく当てはまる補助職種コードを選択します。

職務系列

職務コードをより一般的なグループに分類するために、職務系列を選択します。たとえば、信託アナリストと運用アナリストは "アナリスト" という 1 つの職務系列にまとめられます。

標準勤務時間

この職務の標準勤務周期中のデフォルト勤務時間数を入力します。このページで [標準勤務時間] に入力した値が、この職務コードに関連付けられた全ての従業員のデフォルト値になります。個々の従業員の標準勤務時間は、職務データ コンポーネント (JOB_DATA) で変更できます。

[標準勤務時間] には、プライマリ権限リスト基本設定テーブルで定義した標準勤務時間の上限と下限の間の値を入力してください。プライマリ権限リスト基本設定テーブルで標準勤務時間の上限と下限が定義されていない場合は、インストール テーブルの値が使用されます。

標準勤務周期

従業員が就労しなければならない標準勤務時間の時間枠を選択します。これらの値は、周期テーブル ページ (FREQUENCY_TBL) で管理します。

標準勤務周期の年次化係数と標準勤務時間を組み合わせ、FTE (常勤換算) が計算されます。

『PeopleSoft: エンタープライズ コンポーネント』を参照してください。

給与コード

給与コードを入力して、この職務コードに使用される給与プランを指定します。

管理者レベル

従業員に関連付けられた管理レベルを選択します。

給与周期

給与の計算周期を選択します。インストール テーブルで指定された周期がデフォルト値になります。

健康診断必要

この職務コードで雇用された従業員に対し健康診断が必要な場合は、このチェック ボックスをオンにします。

注: ドイツの従業員を管理している場合、[職務コード プロファイル] というドイツ固有機能のセクションで、継続的な医療監視が必要な職務かどうかを指定する必要があります。特に、従業員が危険な作業環境におかれたり危険物を扱う場合はこの情報が必要になります。

組合コード

組合に関連付けられている職務コードを定義する場合は、組合コードを選択します。組合コードは、ヒューマン リソース管理の労使関係管理ビジネス プロセスの一環として定義します。

更新日時

この職務コードの最終更新日時です。

更新ユーザー

最終更新ユーザーの情報です。

(SGP) [シンガポール]

祝祭日前給与支給プログラム

祝祭日前プログラム ページを使って、全タイプの祝祭日を含む祝祭日前給与支給プログラムを 1 つまたは複数設定する場合は、デフォルトの祝祭日前給与支給プログラムを選択した職務コードに関連付けます。

祝祭日別の各プログラム詳細は、同じ場合も、異なる場合もあります。1つの支給プログラムに、さまざまな祝祭日タイプを含めたり、支給エレメント、控除エレメント、試用期間の各種組み合わせと関連付けたりすることができます。

この職務コードが、民族グループや宗教と共に、祝祭日前給与の従業員別詳細 (MYS/SGP) ページのデフォルト値を決定する基準になります。

(CAN) [カナダ]

全国職業分類コード

カナダの全国職業分類コードを選択します。

季節就労

季節就労職務の場合は、このチェック ボックスをオンにします。

BPS アクティビティ (勤務先給与計算調査アクティビティ)

カナダ統計局の勤務先給与計算調査 (BPS) に参加している場合、職務コードのビジネス アクティビティを選択します。

レポート

職務コードをカナダ統計局の教職員調査のレポートに含める場合は、該当するレポートを選択します。

このフィールドは、高等学位を授与するカナダの機関のみが対象です。

職務範囲

職務コードの職務範囲を、*[教職のみ]*、*[教職とその他の職務]*、または *[研究]* から選択します。*[レポート]* フィールドで値を選択した場合、このフィールドの入力は必須です。

このフィールドは、高等学位を授与するカナダの機関のみが対象です。

州

この職務コードの WCB (労働災害補償委員会) レポートの提出先の州を入力します。カナダの WCB レポートは常に州単位で処理されます。全国共通の WCB はありません。

レート グループ

この職務コードのレート グループを選択します。それぞれの産業には、査定の目的でレート グループが割り当てられています。グループ割り当ての基準は、産業タイプ、および各州の各産業における事故と傷害の発生頻度です。

クラス

この職務コードの WCB クラスを選択します。WCB クラスは、この職務コードに該当する産業を表します。

注: レート グループと WCB クラスは管轄州の WCB から取得できます。レートとレート コードは州によって異なります。

(DEU) [ドイツ]**医療監視必要**

この職務コードに継続的な医療監視が必要な場合は、このチェック ボックスをオンにします。たとえば、危険物を扱う職務に就いている従業員は、この職務に就いている間、安全衛生規定により定期検診が義務付けられています。

(GBR) [イギリス]**イギリス SOC コード (イギリスの標準職業分類コード)**

イギリスの標準職業分類 (SOC) コードを入力します。このコードは、北アイルランド公正雇用法で義務付けられているレポートに必要です。

(ITA) [イタリア]**INAIL コード**

オプションのリストから職務コードの INAIL コードを選択します。INAIL コードを使って、職務に関連するリスクレベル、およびそのレベルによって事業主に義務付けられている保険を分類します。

(MYS) [マレーシア]**勤務日の勤務時間**

給与と休暇の計算に使用する標準の勤務日時間を入力します。

祝祭日前給与支給プログラム

祝祭日前プログラム ページを使って、全タイプの祝祭日を含む祝祭日前給与支給プログラムを 1 つまたは複数設定する場合は、デフォルトの祝祭日前給与支給プログラムを選択した職務コードに関連付けます。

祝祭日別の各プログラム詳細は、同じ場合も、異なる場合もあります。1 つの支給プログラムに、さまざまな祝祭日タイプを含めたり、支給エレメント、控除エレメント、試用期間の各種組み合わせと関連付けたりすることができます。

この職務コードが、民族グループや宗教と共に、祝祭日前給与の従業員別詳細 (MYS/SGP) ページのデフォルト値を決定する基準になります。

(USA) [アメリカ]**雇用機会均等法職務カテゴリ**

職務カテゴリを選択します。雇用機会均等法 - 1 のコードは連邦職業カテゴリ (FOC) としても使われます。

雇用機会均等法 - 1 レポートに有効な職務コードを取得するには、*[EEO-1 記載なし]* 以外の "雇用機会均等法-1 職務カテゴリ" を選択します。

標準職業分類コード

アラスカ州で業務を行っている場合は、失業保険の提出書類用の標準職業分類 (SOC) コードを入力できます。アメリカの SOC コードは、標準職業分類コード テーブル (U.S.) に入力します。

雇用機会均等職務グループ

職務カテゴリをさらに細かく分類する場合は、この職務の属する雇用機会均等職務グループを入力します。

FLSA ステータス (公正労働基準法ステータス)

この職務が FLSA に基づく規定の対象か対象外かを指定するコードを入力します。この値は、この職務コードに関連付けられた職務レコード全ての FLSA ステータスのデフォルトになります。たとえば *[管理者]*、*[幹部役員]*、*[控除外]*、*[専門職]* などの値があります。

テレワーク可能

従業員の遠隔地での勤務をこの所在地で許可している場合に選択します。

医療制度改革法資格

この職務コードに対するデフォルトの医療制度改革法資格を入力します。この値は従業員のレコードにデフォルトで指定されますが、必要に応じて上書きできます。有効値は以下のとおりです。

- *常に資格あり*: たとえば、福利厚生に対して常に資格がある常勤の給与所得従業員が該当します。
- *資格あり*: 平均勤務時間が 1 週間または 1 か月当たりの最小時間以上で、福利厚生面で常勤と見なされる従業員が該当します。従業員は福利厚生に対して適格です。
- *除外*: たとえば、ボランティア従業員、学生従業員、修道会のメンバー。
- *資格なし*: 平均勤務時間が 1 週間または 1 か月当たりの最小時間未満で、福利厚生面でパートタイムと見なされる従業員が該当します。従業員は福利厚生に対して不適格です。
- *未定*: 従業員の福利厚生がパートタイム用か常勤用かを判断できません。ヒューマン リソース管理で従業員の医療制度改革法資格ステータスを確認および判断する必要があります。

注: 新規採用をシステムに入力すると、それぞれの職務コードレコードに設定されている値が福利厚生に渡されます。したがって、組織の職務コード テーブルの全てのデータを分析して、このフィールドに適切な値を設定する必要があります。

(AUS) [オーストラリア]

ANZSCO コード (オーストラリアおよび ニュージーランドの職業分類標準コード) ANZSCO コードを選択します。

パッケージ テンプレート ID、パッケージ ルール ID この職務コードをオーストラリア用給与パッケージの一部として設定するパッケージ ルールおよびテンプレートに関連付ける場合に、これらのフィールドを使用します。これらの ID が、従業員給与パッケージのモデル作成時に、この職務に対するデフォルト値になります。これらのフィールドはポジション テーブルでも使用できますが、これらのフィールドよりポジション テーブルのフィールドが優先されます。

職務コードにテンプレートとルールを関連付けると、パッケージのモデル作成中に、パッケージ コンポーネントが自動的に従業員に割り当てられるようになります。テンプレートを使用することによって、モデル作成時に確実に正しいテンプレートとルールを使用できるため、時間を節約することができます。

注: パッケージ テンプレートは、パッケージ テンプレート ページで設定します。パッケージ ルールは、パッケージ ルール ページで設定します。

(AUS) [高等教育機関]

これらのフィールドは、インストール コンポーネントの国別指定ページでオーストラリア用パラメータの [教育/公的機関] チェック ボックスをオンにしている場合にのみ使用できます。

職種 組織におけるデフォルトの職種を選択します。

業務タイプ 組織におけるデフォルトの業務タイプを選択します。

教務担当時間数 (年) 教務担当時間数を入力します。この時間数は業務によって異なります。この値の計算方法については、「担当時間数の決定」を参照してください。

教務担当週数 デフォルトの教務担当週数を入力します。

(BRA) [ブラジル]

ブラジル職業コード

公式リストから適切なブラジルの職業コード (CBO) を入力します。

2002 年 12 月 31 日以前の有効コードは、99999 の書式である必要があります。2003 年 1 月 1 日以降の有効コードは、9999-99 の書式である必要があります。

注: CBO のリストを参照するには、www.mte.gov.br にアクセスします。

アルゼンチン

レポート職務コード

簡略化レポートの職務コードを入力します。有効な値は、レポート職務コード コンポーネントで定義されます。

スペイン

職務コード CNO

選択した PeopleSoft HCM 職務コードにマップする全国職業コードを入力します。

(USF) US 連邦政府

次の各フィールドは、連邦 (U.S. 連邦政府) データベースで作業する場合に使用可能です。

画像: 職務コード プロファイル ページ – US 連邦政府 1/2

次の例では、職務コード プロファイル ページ - US 連邦政府 1/2 のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

US Federal

Agency Department of Communications

Sub-Agency Bureau of Telecommunications

POI Bureau of R&D

Bargaining Unit

Pay Basis

Fund Source

Parenthetical Title

PATCOB Code

☐ Employee Financial Interests

☐ Executive Financial Disclosure

画像: 職務コード プロファイル ページ – US 連邦政府 2/2

次の例では、職務コード プロファイル ページ - US 連邦政府 2/2 のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Classification Factors

Functional Class

Sensitivity Code

LEO Position

Classification Standard

Classifier

Date Classified

Classification Authority

☐ IA Actions

Target Grade

Find | View All First 1 of 1 Last

Classification Factor	Factor Level	Points	Weight (%)

OPM Certification Nbr

Grade Points			Total Points
Salary Grade	Min Points	Max Points	
00	0	0	Total Points 0

Position Classification Std

254 characters remaining

Updated on 05/23/06 2:07:56PM Updated By SAMPLE Betty Locherty

NFC インジケータ上書き

[NFC 更新インジケータ] フィールドの値を上書きするには、このチェック ボックスをオンにします。

NFC 更新インジケータ

NFC に関連し、ユーザーまたはシステムによって管理されるトランザクションのステータス。このフィールドには、次のオプションがあります。

- 処理中 – この職務コードはエクスポート プログラムを介して実行され、その後 NFC に送られます。

- **準備未完了** – この職務コードは NFC に対するエクスポートから除外されることになります。
- **その他** – システム ユーザーによって管理されるステータス。
- **準備完了** – この職務コードは次の NFC エクスポートの対象となります。
- **SINQ** – この職務コードは NFC の PINE 編集に正常に引渡しされていないため訂正が必要です。

NFC 機能コード

マスターレコードに対して NFC で実行するタスクを指定します。このフィールドのオプションには、*[追加]*、*[変更]*、*[削除]*、*[非アクティブ]*、および *[再アクティブ化]* があります。

所属組合

職務コードが組合に関連付けられている場合は、所属組合を選択します。

支給基準

たとえば、*[年単位]*、*[時間単位]* など、この職務コードの給与を見積る支給基準を入力します。

分類基準

分類基準に関連付けられている分類権限および分類基準が表示されます。

ターゲット等級

該当する場合は、職務のターゲット等級を入力します。

正式職務名プレフィックス

NFC によって定義された職務名プレフィックスのリスト。

基準レベル

この分類基準に関連付けられている各分類基準の分類基準レベルを入力します。

点数、等級点数、合計点数

分類基準に関連付けられている点数が表示されます。

加重 (%)

分類基準に関連付けられている点数の加重率が表示されます。

OPM 認定番号 (連邦人事管理局認定番号)

この職務コードに関連付けられている OPM 認定番号を入力します。

ポジション分類標準

使用されるポジション分類標準を入力します。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Profiles](#)

[PeopleSoft Human Resources Administer Compensation](#)

[Understanding PositionsPeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)

[Understanding Festive AdvancesPeopleSoft Human Resources Administer Festive Advance](#)

[Understanding Salary Packaging SetupPeopleSoft Human Resources Administer Salary Packaging](#)

[Understanding DETYA ReportingPeopleSoft Human Resources Track Faculty Events](#)

[PeopleSoft Payroll for North America](#)

評価基準ページ

評価基準ページ (JOBCODE_TBL2_GBL) を使用して、点数を特定の職務評価基準に割り当てます。

この情報を使用して、社内の職務コードをランク付けし、給与等級、給与ステップ、および対象者/非対象者の区分を査定することができます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [評価基準]

画像: 評価基準ページ

次の例では、評価基準ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Evaluation Criteria' page. At the top, there are tabs: 'Job Code Profile', 'Evaluation Criteria' (active), 'Market Pay Match', 'Default Compensation', and 'Non-Base Compensation'. Below the tabs, the page header shows 'Set ID SHARE' and 'Job Code 110000'. The main content area is divided into several sections:

- Evaluation Criteria:** Includes 'Effective Date 01/01/1980', 'Status Active', and a 'Go To Row' button. Below this is a table with columns 'Description', 'Accountant', 'Points', and 'Percent'. The table lists 'Knowhow' (400 points, 34.8%), 'Accountability' (350 points, 30.4%), and 'Problem-Solving' (400 points, 34.8%). The total points are 1150.
- Commitment Accounting:** Includes a checkbox 'Used by Position Management', a dropdown '*Pre-Encumbrance Indicator' (set to 'No Encumt'), a dropdown '*Encumber Salary Option' (set to 'User Spec'), and a text field 'Encumber Salary Amount'.
- France:** Includes a dropdown 'Employee Category', a text field 'INSEE Code', and a text field 'Job Category Code'.
- Germany:** Includes a text field 'Function Code', a text field 'BA Code', and a checkbox 'Technical'.
- Training Program:** Includes a text field 'Training Program'.

専門知識

その職務を行うために必要な従業員の専門知識を表す点数を入力します。

職責度

割り当てられた仕事を行うための従業員の能力を表す点数を入力します。

問題解決力

困難な状況において問題を解決する従業員の能力を表す点数を入力します。

合計点数

点数の値は、これらを社内の他の職務と比較して決定します。専門知識、職責度、および問題解決力が上がるにつれて点数が高くなります。たとえば、経理担当は秘書よりも責任が重いので、職責度の点数も秘書より高くします。

合計点数と、各要素の点数のパーセント、つまり相対的な重要度を表す値は、自動計算されます。たとえば、[専門知識] に合

計点数の 33.2 パーセント、[職責度] に 33.7 パーセント、[問題解決力] に 33.1 パーセントを割り当てた場合、これら 3 つの要素の重要度はほぼ等しいことになります。

しかし、[専門知識] に 54.4 パーセント、[職責度] に 9.2 パーセント、[問題解決力] に 36.4 パーセントを割り当てた場合は、専門知識が職責度および問題解決能力よりも重要性が高く、職責度の重要性は低いことになります。

ポジション管理に使用

この職務コードをポジション管理で使用するかどうかを選択します。インストール テーブル コンポーネントで一部または全体にポジション管理を使用するように指定した場合、[ポジション管理に使用] チェック ボックスはデフォルトでオンに設定されます。

チェック ボックスがオンに設定されているときは、ポジションレベルで職務コードに対する予算を作成していることになります。職務コードにポジションや従業員を割り当てる際に制限が加えられるわけではありません。このチェック ボックスがオフの場合も、職務コードを使用してポジションを設定できます。チェック ボックスがオンに設定されていても、従業員の職務データレコードに職務コードは入力できます。

オフにすると、[プレエンカンバランス] フィールドと [エンカンバランス給与オプション] フィールドが表示されます。

プレエンカンバランス

職務コードに対して直ちにエンカンバランスを計上する場合は [即時]、必要のない場合は [なし]、必要に応じて割り当てる場合は [必要時] を選択します。

エンカンバランス給与オプション

コミットメント会計を使用して給与のエンカンバランス処理を行う場合は、欠員ポジションの給与に対するエンカンバランスを計上する際に、ここで指定した値に基づいて給与金額が決定されます。

エンカンバランス給与額

[エンカンバランス給与オプション] で [ユーザー指定] を選択した場合は、エンカンバランスとして計上する給与額を入力します。

(FRA) [フランス]

従業員カテゴリ

職務コードに対する従業員カテゴリを選択します。このコードは、以下の法定レポートに必須です。

- 個人記載事項
- 国籍別年間調査
- フランスの労働災害レポート

INSEE コード (国立統計経済研究所コード)	この職務コードと、フランスの身体障害レポートで使用する INSEE コードを関連付けます。
職務カテゴリ コード	職務カテゴリ コードを選択します。このコードは個人別採用明細レポートに必要です。

(DEU) [ドイツ]

BA コード (Bundesanstalt fuer Arbeitコード)	この職務コードの BA コードがある場合、それを選択します。
技術職	この職務が技術職の場合に、チェック ボックスをオンにします。

(FRA) [フランス公的機関]

職務タイプ	公的職務か、民間職務か、公的と民間を組み合わせた職務かを選択します。
契約社員給与	この職務の契約社員に適用する給与等級テーブル タイプおよび給与等級テーブルを選択します。 Setting Up Salary GradesPeopleSoft Human Resources Manage French Public Sector を参照してください。
労働協約外の職務	職務コードが団体労働協約でカバーされない場合は、このチェック ボックスをオンにします。
法定区域	職務コードの法定区域を選択します。

注: 労働協約は法定区域別にグループ化されます。労働協約をこの職務コードに割り当てる場合は、法定区域が労働協約の区域と一致していることを確認してください。

	Employee Categorization PagePeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration を参照してください。
労働協約	この職務コードをカバーしている労働協約を選択します。 Defining Labor AgreementsPeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration を参照してください。
労働協約上のカテゴリ	この職務コードの労働協約上のカテゴリを選択します。 Defining Labor AgreementsPeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration を参照してください。
自動雇用検証	職務要件を使用して新規雇用者の評価を自動的に検証する場合に選択します。

コンピテンシー適合

職務を担当する個人の資格と、この職務コードに関連付けられたコンピテンシーを適合させる場合に選択します。

職業コード

この職務コードの職業コードを選択します。

研修プログラム

研修プログラム

この職務コードに研修プログラムを関連付けることもできます。この機能は、キャリア プラン作成のときに便利です。この職務コードを持つ従業員の研修および人材開発プログラムを設定する際、デフォルトの研修プログラムを個人のキャリア研修プランの基準として使うことができます。

関連リンク

[Understanding PositionsPeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)
[Understanding French Regulatory RequirementsPeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

市場給与の一致ページ

市場給与の一致ページ (JOB_CD_MP_SAL_SURV) を使用して、職務コードに市場給与マトリックスを関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [市場給与の一致]

画像: 市場給与の一致ページ

次の例では、市場給与の一致ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Code ProfileEvaluation CriteriaMarket Pay MatchDefault CompensationNon-Base Compensation

Set ID SHAREJob Code 110000

Market Pay MatchFind | View AllFirst1 of 1LastGo To Row

Effective Date 01/01/1980Status Active

Description Accountant

Matrix Name MARKET_PAYMarket Pay

Edit Matrix

Market Pay (1900-01-01)									
Survey Job Code	Survey Provider	Description	Survey Salary	Currency	Mean Base Rate	Median Base Rat	Mean Total Comp	Med Total Comp	Midpoint Rate
MCD14	MCDONALD	Grimace	60000	USD	61,100.000000	62,000.000000	63,000.000000	60,000.000000	62,000.000000

マトリックス名

職務コードに関連付ける市場給与マトリックスを選択します。マトリックスの有効日が、職務コードの有効日以前の日付である必要があります。

マトリックスの編集

このボタンをクリックすると、データの内容ページにアクセスして、このマトリックスに関連付けられた値を表示および編集でき

ます。値を編集すると、同じマトリックスに関連付けられた他の職務コードも影響を受けます。

関連リンク

[Understanding Configurable Matrices](#)
[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)
[市場給与について](#)

デフォルト給与ページ

デフォルト給与ページ (JOB_CD_COMP_RATE) を使用して、給与プラン情報および基本的な給与レートコードを職務コードに関連付けます。

職務コードに給与レートコードを関連付けることによって、職務情報のページで従業員の職務レコードに関連付けられる給与パッケージを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [デフォルト給与]

画像: デフォルト給与ページ

次の例では、デフォルト給与ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Code ProfileEvaluation CriteriaMarket Pay MatchDefault CompensationNon-Base Compensation

Set ID SHAREJob Code KUML01

Default CompensationFind | View AllFirst1 of 1Last

Effective Date 01/01/2005Status Active

Description Recruit-in-Training

Job Ratio

Minimum SalaryMidpoint SalaryMaximum SalaryCurrencyFrequency

Sal Plan/Grade/Step

Salary Set ID SHARESal Plan/Grade/Step KUMLE02

Military

Service KUUARUS ArmyRank 1/C Cadet 1/C

Midpoint

Hourly7.99 USD

63.90 USD

Monthly1,384.50 USD

Annual16,614.00 USD

Job Code Base Components

Personalize | Find | 1 of 1

*Rate Code	Details	Comp Rate	Currency	*Frequency	Points	Percent	Rate Code Group	Apply FTE
1	Details							☐

職務コードに給与レートコードを関連付けることによって、職務情報のページで従業員の職務レコードに関連付けられるデフォルトの給与パッケージを定義します。

職務給与比率

関税に対応するためにプラン/等級/ステップのデータを使用している国で、同様の業務を行う従業員の給与を比較するための情報を、職務給与比率によって求めます。職務に関連する業務についてプラン/等級/ステップのデータを使用している場合は、[職務給与比率] グループ ボックスを使用する必要はありません。

職務データ コンポーネントの給与データ ページに指定されている従業員の給与レートが、[職務給与比率] グループ ボックスに定義されている通貨と周期に変換されます。この結果が、職務コードの中間給与レートで除算されます。

最低給与、中間給与、最高給与、通貨、周期

この職務コードに適用できる周期 (デフォルトで職務コード プロファイル ページの値が表示されますが、このページで上書きが可能です) に従って、給与の最低額、中間金額、および最高額を入力します。デフォルトとは異なる通貨を使う場合は、給与金額に対し通貨を選択します。

給与プラン/等級/ステップ

社内の給与プログラムが既に設定されている場合は、この職務の給与プラン/等級/ステップのデフォルト値を表すコードを選択します。これらのコードは、給与プラン テーブル、給与等級テーブル、および給与ステップ テーブルで定義されます。

給与プラン/等級/ステップ

給与プラン、等級、およびステップを選択します。この 3 つのフィールドは全てオプションです。デフォルトを設定すると、このページの残りの給与管理プラン フィールドと [給与ステップ コンポーネント] グリッドに、選択した等級に関連付けられた時給、月給、および年間給与の中間額が自動的に入力されます。

職務情報ページ (JOB_DATA_JOBCODE) で従業員に職務コードを割り当てると、ここで選択した値が給与プラン ページ (JOB_DATA_SALPLAN) にデフォルト値として入力されます。

注: 勤務地ページ (JOB_DATA1) で従業員に割り当てられた所在地コードに給与プランを割り当てた場合は、職務コードの給与プランではなく所在地の給与プランが、給与プラン ページのデフォルト値として使用されます。

Tying Salary Plans to Job Codes, Locations, or Labor Agreements
PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting を参照してください。

軍機能対応

兵役	この職務が属する兵役を選択します。この値は、ポジション管理でこの職務コードをポジションに関連付ける際、兵役のデフォルト値として使用されます。
ランク	この職務が分類される軍のランクを選択します。この値は、ポジション管理でこの職務コードをポジションに関連付ける際、軍のランクのデフォルト値として使用されます。

職務コード ベース コンポーネント

この職務コードのデフォルトの固定的賃金に含めるレートコードを1つ以上選択します。レートコード定義から給与レート、通貨、周期のデフォルト値が取得されますが、必要であれば別の値を設定することもできます。

注: 給与レートコードにマトリックスが関連付けられている場合は、[給与レート] フィールドは使用できません。この場合、給与レートは、従業員の給与レコードにこの給与レートコードが追加されたときに、従業員のデータに基づいて動的に設定されます。

詳細	レートコードに関連付けられている名称、給与レートコードタイプ、およびレートコードクラスを確認するときにクリックします。
周期	給与レートコードの給与周期がデフォルトの周期として表示されます。給与レートコードの周期は、給与レートコードページで定義します。 「 周期 ID について 」を参照してください。
給与点数	給与レートコードに給与点数が関連付けられている場合は、その値が表示されます。
パーセント	この給与レートコードタイプが <i>[パーセント]</i> である場合は、この職務の給与レートまたはレートコードグループに適用されるパーセントが表示されます。
FTE 適用 (常勤換算の適用)	職務の給与レートの計算で、このレートコードの給与レートに FTE を乗算することを示す場合に選択します。

注: グリッド内の列の順番は、設定方法によって異なる場合があります。全ての列が表示されない場合があります。必要に応じて水平スクロールバーを使用すると、全ての列を確認できます。

関連リンク

アプリケーションの基礎

[Understanding the Base Compensation Budgeting and Planning Business Process](#)
[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)

固定的賃金外給与ページ

固定的賃金外給与ページ (JOB_CD_NON_BASE) を使用して、固定的賃金以外のコードを職務コードに関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [固定的賃金外給与]

画像: 固定的賃金外給与ページ

次の例では、固定的賃金外給与ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Code ProfileEvaluation CriteriaMarket Pay MatchDefault CompensationNon-Base Compensation

Set ID SHAREJob Code KUJML01

Non-Base CompensationFind | View AllFirst1 of 1Last

Effective Date 01/01/2005Status ActiveGo To Row

Description Recruit-in-Training

DataPersonalize | Find1 of 1

*Rate Code	Details	Comp Rate	Currency	*Frequency	Points	Percent	Rate Code Group	Apply FTE
1	Details							

HCM の各ページでは、固定的賃金外の給与レート コードがデフォルト値として使用されることはありません。それらのコードは、給与計算に使用されます。

業務の定義

業務を定義するには、業務コンポーネント (JOB_TASK_TABLE) および職務作業内容テーブル コンポーネント (JOB_CODE_TASK_TABLE) を使用します。JOB_TASK_TABLE コンポーネント インターフェイスを使用して、このコンポーネントのテーブルにデータをロードします。

次の各トピックでは、業務の概要および業務コードの定義方法について説明します。

業務の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
業務ページ	JOB_TASK_TABLE	業務内容を定義します。たとえば、従業員が重い箱を持ち上げて運ぶことが必要な職務の場合、重い箱を運ぶ作業を不可欠業務として定義します。障害がある従業員はフォークリフトを使用すれば箱を運ぶことができるため、その業務は重い箱を持ち上げる作業として指定しないでください。
職務作業内容テーブル ページ	JOB_CODE_TASK_TABLE	業務を各職務コードと関連付けます。

業務について

データ入力などの業務コードを定義し、職務作業内容テーブル ページで、職務コードに割り当てます。また、職務作業内容テーブル ページでは、その業務の重要度と周期を指定します。プロファイル管理を使用すると、業務のプロファイルを設定できます。

関連リンク

[Understanding Managing ProfilesPeopleSoft Human Resources Manage Profiles](#)

職務作業内容テーブル ページ

職務作業内容テーブル ページ (JOBCODE_TASK_TABLE) を使用して、業務を各職務コードと関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務作業内容テーブル], [職務作業内容テーブル]

画像: 職務作業内容テーブル ページ

次の例では、職務作業内容テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Code Task Table

Set ID SHAREJob Code 140035Analyst-Financial

Location Set ID SHARELocation Code KCQC00Montreal Office

Job Code

Find | View AllFirst1 of 1Last

*Effective Date01/01/1980Total Percent Time Spent100.00

Detail

Personalize | Find | View All | First1-2 of 2Last

*Jobtask Set ID	Job Task	Descr	*Importance	*Frequency	*Consequence	% Time Spent	
1 SHARE	K00010	Data Conversion	Essential	Weekly	Quite Serious	60.00	
2 SHARE	K00037	System Design	Marginal	Daily	Very Minor	40.00	

勤務時間比率の合計

[勤務時間比率] フィールドから移動すると、勤務時間比率の合計が表示されます。合計が 100% を超えることはできません。

注: この情報を作成しておく、応募者に職務要件を説明する場合に特に役立ちます。ADA では、応募者に身体障害があるかどうかをたずねることは禁止していますが、応募している職務の業務リストを見せて、その業務を遂行する上で何か困難があるかを聞くことはできます。つまり、応募者に自分の身体障害について、またその業務を遂行するために必要な施設改善について説明する機会を与えることになります。

業務のセットID	有効なオプションから業務セットIDを選択します。有効値は、テーブルセット コントロール ページに保存されています。
業務	有効なオプションから業務を選択します。有効値は、業務ページに保存されています。
重要度	該当する職務コードに対し、業務の重要度を選択します。有効値は、トランスレート テーブルに保存されています。
周期	各職務コードに対する業務の発生頻度を入力します。有効値は周期テーブルに保存されています。
影響度	業務を実行しなかった場合の影響度を選択します。有効値は、トランスレート テーブルに保存されています。
勤務時間比率	業務に費やす勤務時間の比率を入力します。

支給グループの設定

支給グループを設定するには、支給グループ テーブル コンポーネント (PAYGROUP_TABLE) を使用します。

次の各トピックでは、支給グループの概要および設定方法について説明します。

支給グループの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
支給グループ テーブル - 定義ページ	PAYGROUP_TABLE1	支給グループを設定します。
プロセス コントロール ページ	PAYGROUP_TABLE2	特定の支給グループに含まれる従業員の従業員タイプ オプションを設定します。
支給グループ テーブル - 計算パラメータ ページ	PAYGROUP_TABLE3	支給グループに対する詳細な給与計算パラメータを定義します。
(USA) FLSA 支給期間定義ページ	FLSA_PERIOD_SBPNL	(USA) 支給グループの FLSA 計算に使用する FLSA 支給期間定義およびその他のパラメータを指定します。
(E&G) 教育/公的機関の追加支給コード ページ	PAYGRP_TBL3_HP_SEC	(E&G) 教育/公的機関の支給コードを追加します。

支給グループについて

HCM で使用する給与計算システムを導入する際、支給グループの設定は特に重要な作業の 1 つになります。たとえば、福利厚生や支給の内容によって、従業員に対し異なる支給グループを作成します。

支給グループの情報は、給与計算を処理する場合だけでなく、ヒューマン リソース管理で職務レコードや福利厚生プログラムを設定するときにも必要になります。人事・労務管理メニューの各ページ フィールドのデフォルト値の多くは、支給グループ テーブル コンポーネント (PAYGROUP_TABLE) で指定する支給グループの値に基づいたものです。会社テーブル コンポーネント (COMPANY_TABLE) で設定した各会社について、少なくとも 1 つの支給グループを設定します。

「[会社情報の入力](#)」を参照してください。

「[\(USF\) 機関情報の入力](#)」を参照してください。

支給グループの設定

支給グループの設定場所は、使用する給与計算アプリケーションによって異なります。

- PeopleSoft Payroll for North America

PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合は、このトピックで説明する支給グループ テーブルのページと『*PeopleSoft Payroll for North America*』で説明されている支給グループ テーブルのページを使用します。

Understanding Pay GroupsPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

- PeopleSoft 給与計算インターフェイス

PeopleSoft 給与計算インターフェイスを使用している場合は、このトピックで説明する支給グループ テーブルのページと『*PeopleSoft Payroll Interface*』で説明されている支給グループのページを使用します。

Understanding Payroll SchedulesPeopleSoft Payroll Interface を参照してください。

- PeopleSoft グローバル ペイロール

PeopleSoft グローバル ペイロールを使用している場合は、このアプリケーションの支給グループ コンポーネントを使います。

Defining Pay GroupsPeopleSoft Global Payroll を参照してください。

- PeopleSoft 給与計算アプリケーション以外の給与計算システム

PeopleSoft 給与計算アプリケーションを使用していない場合は、このトピックで説明する支給グループ テーブルのページを使用します。

- PeopleSoft Pension Administration

PeopleSoft Pension Administration を使用する場合は、年金受給者の会社に対する支給グループも設定します。Pension Administration では、年金給付の支給には支給グループを使用しません。

『PeopleSoft Pension Administration』を参照してください。

注: 複数の給与計算アプリケーション (Payroll for North America とグローバル ペイロールなど) を使用している場合は、それぞれのアプリケーションに必要な支給グループを設定してください。そうでない場合は、使用するアプリケーションに必要な支給グループだけを設定します。会社と支給グループのキーは、給与計算アプリケーションに対して一意である必要があります。したがって、複数の給与計算アプリケーションに対して、同じキーの組み合わせを使用しないでください。

支給グループ テーブルの使い方

支給グループ テーブル コンポーネントは 9 ページで構成されます。ヒューマン リソース管理では、このコンポーネントの最初の 3 ページのみが情報を入力するために使用されます。これはこの 3 つのページで入力した情報が、HCM の全てのアプリケーションで使用されるためです。コンポーネントの最後の 6 ページは、Payroll for North America で使用されます。一部は給与計算インターフェイスでも使用されます。

支給グループ テーブル - 定義ページ

支給グループ テーブル - 定義ページ (PAYGROUP_TABLE1) を使用して、支給グループを設定します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給グループ テーブル], [定義]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給グループ テーブル], [定義]

画像: 支給グループ テーブル - 定義ページ

次の例では、"支給グループ テーブル - 定義" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Definition' tab of the 'Pay Group Information' form. The form is for Company 'FRG' (Federal Reserve Board) and Pay Group 'F09' (FLSA Exempt Overtime). Key fields include:

- *Effective Date:** 01/01/1980
- *Status:** Active
- *Set ID:** FEDPS
- *Description:** FLSA Exempt Overtime
- Short Description:** FLSAOTime
- *Country:** USA
- Employee Type Default:** Salaried
- Retiree Pay Group:** Unchecked
- GL Use:** Rate Type OFFIC, Conv Date C
- Frequency:** Pay B Biweekly, Daily D Daily, Monthly M Monthly

 The bottom of the form shows page navigation: Pages 1 - 3, Pages 4 - 6, and Pages 7 - 9.

支給グループ

このページを開く際に指定した支給グループが表示されます。

注: 従業員の職務レコードでは、支給グループのデフォルト値は会社に基づいて決定されます。

セットID

支給グループの従業員が使用するシフト テーブルのセットID を選択します。シフト テーブルを使用しない支給グループには、汎用のセットID を使用します。

退職者支給グループ

退職者支給グループの場合は、チェック ボックスをオンにします。退職者は、退職者用の支給グループにまとめておくことをお勧めします。このチェック ボックスに関連する処理はありません。

PI 構成 ID (給与計算インターフェイス構成 ID)

該当する場合は、オンにします。PI 構成 ID は、給与計算インターフェイスの構成テーブル コンポーネント (INTRFC_CONFIG) を使用して設定します。そちらのコンポーネントを先に設定しておくか、またはこのフィールドをこの時点では空白にしておく必要があります。

注: 必ず給与計算インターフェイス用の値を入力してください。PI 構成 ID が正しく設定されていないと、給与計算インターフェイスでの給与計算処理が正しく行われません。詳細については、『*PeopleSoft Payroll Interface*』を参照してください。

控除優先度

支給グループの控除優先度を入力します。会社に対し小切手の一括支払オプションが設定されていない場合に、複数の職務を兼任する従業員に対して控除優先度が使用されます。

デフォルト従業員タイプ

この支給グループで最も一般的な従業員タイプを選択します。この値は、この支給グループの従業員職務レコードのデフォルトとして使用されます。このページで入力するデフォルト値は、福利厚生プログラム テーブルの値で検証されます。そのため、このテーブルを先に設定しておく必要があります。テーブルが設定されていない場合は、このフィールドを空白のままにしておきます。有効値は以下のとおりです。

- **給与所得:** 累計勤務時間数ではなく、支給期間ごとに設定された金額を基に給与が支給される従業員に選択します。この場合も、例外をペイシートに入力できます。
- **時間給:** 各支給期間の勤務時間数が一定でない従業員にこの値を選択します。通常、時間給の従業員は勤務時間レポートが必要です。この場合、勤務時間数をペイシートに入力します。
- **例外時給:** 各支給期間の勤務時間数が一定である従業員にこの値を選択します。例外的な勤務についてのみペイシートに入力します。
- **該当なし:** 該当する値がない場合に選択します。

(CAN) 賃金補償プランのデフォルト

支給グループの賃金補償プランのデフォルト値を指定します。このデフォルト値により、従業員の税データレコードが自動作成されるたびに、所得税データ CAN ページで従業員に適切な賃金補償プランが割り当てられます。

周期

支給

支給期間の周期を選択します。

注: 給与に関するページで従業員の給与レートが計算される周期が支給期間と同じ周期 (たとえば月次など) である場合は、支給の周期と給与の周期に、同じ周期 ID を使用する必要があります。

日次 Payroll for North America で日次給与レートを計算するために使用される周期を選択します。周期テーブルで周期タイプが日次に設定されている周期だけが選択可能です。

月次 Payroll for North America で月次給与レートを計算するために使用される周期を選択します。周期テーブルで周期タイプが月次に設定されている周期だけが選択可能です。

一般会計使用

以下のフィールドは、PeopleSoft 一般会計で使用されます。

レートタイプ リストから該当する値を選択します。

変換日 有効値は、[小切手発行日]、[支給終了日]、および [今日の日付] です。

関連リンク

[Setting Up DeductionsPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Payroll for North America における周期について](#)

プロセス コントロール ページ

プロセス コントロール ページ (PAYGROUP_TABLE2) を使用して、特定の支給グループに含まれる従業員の従業員タイプ オプションを設定します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給グループ テーブル], [プロセス コントロール]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給グループ テーブル], [プロセス コントロール]

画像: プロセス コントロール ページ

次の例では、プロセス コントロール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Process Control' tab of a web application. At the top, there are tabs for 'Definition', 'Process Control', and 'Calc Parameters'. Below these, the 'Company' is set to 'FRG Federal Reserve Board' and the 'Pay Group' is 'F09 FLSA Exempt Overtime'. The 'Pay Group Information' section includes 'Effective Date' (01/01/1980) and 'Status' (Active). The 'Processing Control' section has dropdowns for 'Industry' (Government) and 'Industry Sector' (US Federal Government). The 'Employee Type(s) for Pay Group' section shows '*Employee Type' as 'Excep Hrly' and three checkboxes: 'Print Paysheets' (checked), 'Confirmation Required for Job Earnings on Paysheet' (unchecked), and 'Confirmation Required for Partial Pay Period on Paysheet' (unchecked). Navigation links like 'Find', 'First', '1 of 1', and 'Last' are present throughout the form.

従業員レコードに従業員タイプを割り当てる前に、このページでオプションを設定します。たとえば、月次給与グループは給与所得者だけで構成し、隔週支給グループは時間給所得者と例外時間給所得者で構成することができます。

エラーのまま継続

エラーのまま継続

チェック ボックスをオンにすると、給与計算プロセスで非致命的計算エラーが発生した場合でも支給の確認プロセスが続行されます。エラーが発生したペイシートは指定の不定期カレンダーに移動され、不定期処理の実行時に修正されます。

注: 1 つの給与計算実行 ID に関連付けられた全ての支給グループで、このページの [エラーの確認] オプションの設定を同じにする必要があります。この条件が満たされていない場合、その給与計算実行 ID でエラーが発生したペイシートは移動されません。

支給終了日エラー オプション

この値は、支給カレンダー作成プロセスで支給カレンダーを設定するときに使用されます。エラーの発生したペイシートが移動される不定期支給カレンダーの日付を選択します。

[翌日] を選択した場合は、支給カレンダー作成プロセスによって、それぞれの定期支給カレンダーにつき1つの不定期支給カレンダーが作成されます。不定期カレンダーの支給終了日は、定期支給カレンダーの支給終了日の1日後になります。たとえば、定期カレンダーの支給終了日が5月31日である場合、不定期カレンダーの支給終了日は6月1日です。

警告 ユーザーが独自に支給終了日を入力する場合は、移動した給与計算行を計算する前に、その日付の支給カレンダーが作成されていることを必ず確認してください。

プロセス コントロール

産業

組織の主な業務内容 ([主要]、[教育産業]、[官公庁]、[小売業] など) を選択します。

産業セクター

[なし]、[主要]、[公的機関]、または [US 政府] を選択します。

支給グループの従業員タイプ

従業員タイプ

[時間給]、[例外時間給]、[給与所得] など、この支給グループで有効なオプションを選択します。PeopleSoft Payroll for North America を使用する場合は、給与計算処理パラメータも指定する必要があります。または、PeopleSoft Payroll for North America によって支給を受ける従業員については、[ペイシートの印刷] をデフォルトとして選択したままにしておきます。

注: 支給グループに特定の従業員タイプが指定されていない場合、ユーザーは従業員に対しそのタイプを設定できません。たとえば、支給グループに給与所得の従業員タイプが指定されていない場合は、従業員が雇用されたときに、職務情報の従業員タイプに給与所得の値を指定できません。

ペイシートの印刷

PeopleSoft Payroll for North America を使っている場合、ペイシートを印刷するときにこの従業員タイプの従業員を必ず含むようにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスがオフになっていても、従業員タイプはペイシートに表示されます。

注: [要確認 - ペイシート上の給与額に対する確認が必要] チェック ボックス、または [要確認 - ペイシート上の支給期間に対する部分的な確認が必要] チェック ボックスがオンの場合は、このチェック ボックスをオンにする必要があります。

ペイシート上の給与額に対する確認が必要

PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合、ペイシートの [支給可] フィールドをデフォルトでオフにする場合は、このチェック ボックスをオンにします。[支給可] フィールドでは、従業員に対する支給を行うか、確認するまでレコードを保留するかを指定します。つまり、支給計算では [支給可] がオンになっている従業員に対する処理だけが行われます。このオプションを選択する場合は、[ペイシートの印刷] もオンにする必要があります。

通常、時給の従業員は、給与の支払いを受けるために勤務時間数を入力する必要があります。このため、確認作業が必要な場合があります。ペイシートに従業員の勤務時間数を入力したら、手動で [支給可] を選択して、従業員への給与支給が行われるようにします。

例外時給および給与所得の従業員の場合、通常は必要時にのみ例外時間を入力します。そのため、確認作業は必要ありません。例外時給および給与所得の従業員には、支給周期ごとに基本給与や時給が支払われます。これはペイシートの作成時に [支給可] チェック ボックスがオンに設定されているためです。

ペイシート上の支給期間に対する部分的な確認が必要

PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合、ペイシートの [支給可] チェック ボックスを制御するには、このチェック ボックスをオンにします。従業員の採用、雇用終了、職務変更、給与レート変更など、職務レコードの変更が期間中に発生すると、支給期間の一部に対するレコードが比例配分によって作成されます。通常、給与を比例配分するには、このチェック ボックスをオフにして確認が不要であることを示し、ペイシートで [支給可] をオンにします。それに対して従業員の比例配分を手動で確認したい場合は、このチェック ボックスをオンにします。ペイシート上で支給の調整を行ってから [支給可] チェック ボックスをクリックすることができます。このオプションを選択する場合は、[ペイシートの印刷] もオンにする必要があります。

関連リンク

[Understanding Paysheets and Paylines](#) PeopleSoft Payroll for North America

支給グループ テーブル - 計算パラメータ ページ

計算パラメータ ページ (PAYGROUP_TABLE3) を使用して、支給グループに対する詳細な給与計算パラメータを定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給グループ テーブル], [計算パラメータ]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給グループ テーブル], [計算パラメータ]

画像: 支給グループ テーブル - 計算パラメータ ページ

次の例では、"支給グループ テーブル - 計算パラメータ" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

支給グループ情報

支給プログラム ID

この支給グループの従業員レコードに対するデフォルト値を選択します。支給プログラム ID は、Payroll for North American または給与計算インターフェイスの支給プログラム テーブル コンポーネント (EARNES_PROGRAM_TBL) を使用して設定します。そちらのコンポーネントを先に設定しておくか、またはこのフィールドをこの時点では空白にしておく必要があります。

支給プラン

(USF) この支給グループに割り当てる支給プランを選択します。

休日スケジュール

支給グループの休日スケジュールを選択します。所在地プロファイル ページの [休日スケジュール] フィールドを空白にした場合に、このページで指定した休日スケジュールが、従業員の職務レコードのデフォルトとして使用されます。このため、休日スケジュール テーブルを先に設定しておくか、またはこのフィールドをこの時点では空白にしておく必要があります。

注: 給与計算インターフェイスでサードパーティの給与計算システムを使用して休暇手当の処理を行う場合は、休日スケジュール コンポーネントで "NONE" という休日スケジュールを設定します。

デフォルト福利厚生プログラム

支給グループのデフォルトの福利厚生/控除プログラムを選択します。選択したデフォルトの福利厚生/控除プログラムは、従業員の職務レコードのデフォルトとして使用されます。このページで入力するデフォルト値は、福利厚生管理の福利厚生/控除プログラム テーブルと照らし合わせて検証されます。そのため、テーブルを先に設定しておくか、またはこのフィールドをこの時点では空白にしておく必要があります。

遡及支払プログラム ID

支給グループに関連付ける遡及支払プログラムを選択します。遡及支払プログラムで、遡及支払計算に使用される支給コードが識別されます。

各遡及支払プログラムでは、遡及支払に適格な支給コードをリストし、これらの各支給コードについて、遡及支払の支給に使用する支給コードを指定します。

遡及支払プログラムは、遡及支払プログラム コンポーネントで定義します。

Program Table PagePeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

遡及支払トリガ プログラム ID

支給グループに関連付ける遡及支払トリガ プログラムを選択します。遡及支払トリガ プログラムは、遡及支払リクエストを作成する (職務レコードやその他支払データレコードの) レコードおよびフィールド変更を制御します。次に、遡及支払計算プロセスではこれらのリクエストを処理して、変更に起因して支払う遡及支払額がある場合はその額を決定します。

遡及支払トリガ プログラムは、遡及支払トリガ プログラム コンポーネントで定義します。

Retro Pay Trigger Program PagePeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

注: PeopleSoft Payroll for North America 9.1 より前のリリースでは、遡及リクエストは遡及支払トリガ プログラムではなく PeopleCode を使用して生成されていました。これらの初期リリースからアップグレードする場合は、修正モードを使用して、このページの現在および履歴の行について遡及支払トリガ プログラムを入力してください。遡及支払トリガ プログラムがない遡及支払プログラムの行がある場合は、このコンポーネントに変更内容を保存できません。

最終小切手プログラム ID

支給グループに対するデフォルトの最終小切手プログラムを指定する場合に、支給グループの最終小切手処理に使用される支給、控除、および累計を識別する最終小切手プログラム ID を選択します。

FLSA 適用

(USA) この支給グループに FLSA の規定を適用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、[FLSA 支給期間定義] ボタンが表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、このボタンは表示されず、FLSA 支給期間の定義はできません。

FLSA 機能は Payroll for North America 専用です。このチェック ボックスは、FLSA 処理が FICA/税詳細ページ ("会社テーブル - デフォルト設定" ページからアクセスします) で有効化され、また該当する場合は各グループに対して有効化されている場合にのみページに表示されます。

注: FLSA が会社に対して有効化されていない場合、その会社内の支給グループに対して有効化することはできません。会社レベルで有効化すれば、支給グループレベルで有効化する必要はありません。ただし、支給グループに対して FLSA を適用する場合は、会社と支給グループの両方のレベルで FLSA を有効化する必要があります。

注: (USF) FLSA が全ての機関または機関のほとんどの支給グループに必要な場合は、[FLSA 適用] チェック ボックスをオフにし、FLSA の要件を機関テーブルに定義します。機関テーブルで [FLSA 適用] チェック ボックスがオフの場合は、支給グループの FLSA ルールが [FLSA /契約] にデフォルト設定されることに注意してください。

注: FLSA 計算の対象にする従業員は、FLSA 対象のステータスを持ち、FLSA 支給グループに属している必要があります。

注: 支給グループの設定時に、FLSA 計算用に異なる超過勤務手当コードを使用している 2 つの異なる会社で、同じ支給グループ ID を使用しないでください。

FLSA 支給期間定義

(USA) このボタンをクリックすると、FLSA 支給期間定義ページにアクセスできます。

支給

このグループ ボックスを使い、各支給タイプの支給コードを定義します。

標準勤務時間

標準勤務時間の支給タイプに対する支給コードを選択します。

超過勤務時間 (超過勤務時間の支給タイプ)

超過勤務時間の支給タイプに対する支給コードを選択します。

基本支給

基本支給タイプに対する支給コードを選択します。

休日

ペイシートの作成時に、支給期間内で休日が検出された場合、このフィールドに関連付けられた支給コードが使われます。休日スケジュール テーブルの休日タイプがカナダのものである場合は、ペイシートで法定休日支給を設定するために、この支給コードが使われます。

注: (USF) 従業員の支給期間全体が無給ステータスの場合、ペイシートに休日支給コードは入力されません。

払戻

US の貯蓄債券の選択を取り消す従業員、または年間購入限度のために購入が一時停止されている従業員への返金に使用する支給コードを入力します。

重要 払戻支給コードは適切に設定する必要があります。"支給テーブル - 税" ページで、総額に加算および [支給残高管理] チェック ボックスをオンにして、支給コードが課税対象にならないようにする必要があります。

Earnings Table - Taxes PagePeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

(USF) US 連邦政府

追加支給コードを指定します。

無給時間

全支給期間にわたって従業員の無給での休暇、または短期または長期の障害休暇が検出された場合に、ペイシートに入力する支給コードを入力します。

注: 無給時間は、従業員の支給期間全体が無給ステータスの場合にのみ、ペイシートに入力されます。

利息支給コード

遅延がカレンダー日で 30 日を超えている遡及支払に対する利息の支払に使用する支給コードを入力します。

(USF) Managing Interest Calculations on Retro PayPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

関連リンク

[休日スケジュールの設定](#)

[Setting Up Retro Pay ProcessingPeopleSoft Payroll for North America](#)

(USA) FLSA 支給期間定義ページ

FLSA 支給期間定義ページ (FLSA_PERIOD_SBPNL) を使用して、支給グループの FLSA 計算に使用する FLSA 支給期間定義およびその他のパラメータを指定します。

ナビゲーション

計算パラメータ ページの [FLSA 支給期間定義] をクリックします。

画像: FLSA 支給期間定義ページ

次の例では、FLSA 支給期間定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

FLSA 支給期間定義ページに表示される内容は、選択したオプションによって異なります。次の表に、[FLSA 支給期間定義] で選択した値に応じてページに表示されるフィールドを示します。

FLSA 支給期間定義	[FLSA 使用有給時間]: [固定有給時間] または [実績有給時間]	基準式の使用	FLSA カレンダー ID	FLSA 支給日数	FLSA 超過時間数
固定 FLSA 期間および [固定有給時間] を選択し、[基準式の使用] をオフ	X	X	X	X	
固定 FLSA 期間および [固定有給時間] を選択し、[基準式の使用] をオン	X	X			
固定 FLSA 期間および [実績有給時間] を選択	X		X	X	
法執行			X	X	X
消防保障			X	X	X

FLSA 支給期間定義

以下から該当する期間定義を選択します。

- 固定 FLSA 期間: 7 日間または 14 日間。7 がデフォルトです。
- 消防保障: 7 日間から 28 日間。
- 法執行: 7 日間から 28 日間。
- ユーザー定義の FLSA 支給期間定義も、リストから選択することができます。

固定 FLSA 期間 を選択した場合、期間は 7 日間または 14 日間のいずれかになります。超過時間数は法執行および消防保障の従業員にのみ適用されるため、固定 FLSA 期間が選択された従業員には FLSA 超過時間数は表示されません。

FLSA 使用有給時間

固定有給時間

従業員の職務レコードに入力した標準時間を使用する場合は、このオプションを選択します。このオプションを選択すると、[基準式の使用] チェック ボックスが表示されます。

基準式の使用

このチェック ボックスをオンにすると、[FLSA カレンダー ID] および [FLSA 支給日数] のチェック ボックスは表示されなくなりま

す。基準式は、月または半月単位の支給周期でのみ使用されます。FLSA 支給期間は支給カレンダーの期間と同じだと見なされるため、FLSA カレンダー ID は不要になります。このチェック ボックスをオンにした場合、職務情報のページで勤務日の勤務時間のフィールドに情報を入力する必要が生じます。

実績有給時間

給与が支払われる従業員が 1 週間に実際に勤務した時間数に基づいてその従業員の FLSA レートを決定する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

FLSA カレンダー ID

FLSA カレンダーの ID を選択します。FLSA カレンダー ID は、FLSA カレンダー テーブル ページの FLSA 期間開始日および [FLSA 支給日数] フィールドに関連付けられています。これらのフィールドを使用して、FLSA 期間の開始日と終了日が定義されます。したがって、支給グループでは、FLSA カレンダー ID を使用して FLSA 期間が決定されます。このフィールドは、*基準レート*式を選択した場合は表示されません。*固定 FLSA 期間*を選択した場合は、有効値リストには FLSA 支給日数が 7 または 14 の FLSA カレンダー ID のみが表示されます。[消防保障] または [Law Enforcement] を選択した場合は、有効値リストには 7 日間から 28 日間の FLSA カレンダー ID が表示されます。

FLSA 支給日数

FLSA 支給期間の長さ、つまり FLSA 開始日から FLSA 終了日までの日数です。この日数は自動的に表示されます。FLSA カレンダー テーブルで定義した FLSA 支給日数に基づいて決定されます。このフィールドは表示専用です。

FLSA 超過時間数

消防保障および法執行の従業員がこの時間数を超えて勤務すると、FLSA レートが適用されます。どちらのタイプの職務にも、FLSA の規定により異なるさまざまな超過時間数が定義されています。どちらの超過時間数の一覧表も、PeopleSoft に標準で用意されており、FLSA 期間テーブルに定義されています。必要に応じて、ユーザーが異なる超過時間数の一覧表を含む FLSA 期間定義を作成することもできます。

Overview of FLSA CalculationsPeopleSoft Payroll for North America および Multiplication Factors in FLSA CalculationsPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

(E&G) 教育/公的機関の追加支給コード ページ

教育/公的機関の追加支給コード ページ (PAYGRP_TBL3_HP_SEC) を使用して、教育/公的機関に対する支給コードを追加します。

ナビゲーション

計算パラメータ ページで、追加の教育/公的機関支給コードの順にクリック

画像: 教育/公的機関の追加支給コード ページ

次の例では、教育/公的機関の追加支給コード ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Education and Government Additional Earnings Codes

Addl Educ/Govt Earnings Codes

*Contract Regular Earnings

CRG

*Earned Not Paid

ENP

*Paid Not Earned

PNE

1042 Earnings

OK

Cancel

各フィールドに適切な支給コードを選択します。

職務コードと支給グループのレポートの実行

職務コードと支給グループのレポートを実行するには、職務コード テーブル レポート コンポーネント (RUN_PER_709C) と支給グループ コンポーネント (RUN_PAY711) を使用します。

このトピックでは、職務コードと支給グループのレポートの実行に使用するページを示します。

職務コードと支給グループのレポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
職務コード テーブル レポート - ラン コント ロール ページ	PRCSRUNCNTL	全ての職務コードの一覧が出力される、 職務コード テーブル レポート (PER709C) を実行します。
支給グループ レポート ページ	PRCSRUNCNTL	支給グループ レポート (PAY711) には、 各支給グループとそのグループに適用さ れる処理特性が出力されます。

(USF) ヒューマン リソース管理テーブルの設定

連邦 HCM コントロール テーブルの設定

連邦 HCM コントロール テーブルを設定するには、Handicap Table コンポーネント (GVT_HANDICAP_TBL)、Legal Authority コンポーネント (GVT_LEGAL_AUTH_TBL)、U.S. County Table コンポーネント (GVT_COUNTY_TABLE)、Nature of Action Table コンポーネント (GVT_NOAC_TBL)、LEO Pay Area USF コンポーネント (GVT_LEOPAY_AREA_TB)、NOA/ Legal Authority コンポーネント (GVT_AUTH_VAL_1)、Sub Agency コンポーネント (GVT_SUB_AGENCY_TBL)、Personnel Office ID コンポーネント (GVT_POI_TABLE)、および Personnel Action Rqst Rmks コンポーネント (GVT_SF50_RMK_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、連邦 HCM コントロール テーブルの概要および設定方法について説明します。

連邦 HCM コントロール テーブルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Handicap Table ページ	GVT_HANDICAP_TBL	個人の障害のタイプにコードを割り当てます。ユーザーの機関で使用する障害テーブルを設定し、必要に応じて追加できます。
Legal Authority ページ	GVT_LEGAL_AUTH_TBL	Legal Authority テーブルには、人事異動要求 (PAR) 処理の Data Control ページで使用される値が設定されます。
U.S. County Table ページ	GVT_COUNTY_TABLE	アメリカの郡の完全リストを表示します。このテーブルには、Location テーブルの郡の説明が読み込まれます。PeopleSoft にはアメリカの郡のリストが用意されていますが、必要に応じてエントリを追加または変更できます。
Nature of Action Table ページ	GVT_NOAC_TBL	コードを確認、追加、および更新します。このテーブルは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で使用する異動区分コードを定義します。

ページ名	定義名	用途
Law Enforcement Officers Pay Area Table ページ	GVT_LEOAREA_TABLE	Law Enforcement Officers Pay Area テーブルに特別支給区域を設定します。これらの区域の法執行担当者は、支給プラン、等級、およびステップに対する固定的賃金に加えて追加支給を受けます。PeopleSoft には現在の LEO 支給区域が用意されており、年間を通じて受け取る Office of Personnel Management の更新に基づいて LEO 支給区域を更新できます。
NOA/Legal Authority 1 ページ	GVT_AUTH_VAL_1	Nature of Action テーブルに定義された NOA コードを、Legal Authority テーブルに定義された法務当局に接続します。異動区分コードおよび法務当局コードは設定済みである必要があります。
Sub-Agency ページ	GVT_SUBAGCY_TABLE	別のエンティティとして OPM に報告する組織が機関に複数ある場合に、別組織を設定します。
Personnel Office ID Table ページ	GVT_POI_TABLE1	機関内の全ての事業所に ID 番号を割り当てます。入力する情報の多くは、人事異動要求に出力されます。
PAR Approving Officials Table ページ	GVT_POI_TABLE2	PAR のルーティング プロセス セクションに表示される名前を入力します。
Personnel Action Rqst Rmks ページ	GVT_SF50_RK_TBL	標準化された備考を定義して PAR に添付します。ここで入力された備考をそのまま使用する場合もありますが、個人レベルで備考を添付する場合は、その備考に個人固有の情報を挿入します。

連邦 HCM コントロール テーブルについて

このトピックでは、連邦機関に固有のコントロール テーブルの設定について説明します。

人事異動要求を作成するときは、Legal Authority テーブル、Nature of Action テーブル、PAR Remarks テーブル、および NOA/Legal Authority 1 テーブルからの情報を使用してフィールドを検索します。

従業員固有の情報を入力するときは、Handicap テーブルおよび LEO Pay Area テーブルの値を使用します。

PeopleSoft HCM では、U.S. County テーブル、Personnel Office ID テーブル、および Sub-Agency テーブルの値を使用します。

Handicap Table ページ

Handicap Table ページ (GVT_HANDICAP_TBL) を使用して、個人の障害のタイプにコードを割り当てます。

ユーザーの機関で使用する障害テーブルを設定し、必要に応じて追加できます。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Handicap Table], [Handicap Table]

画像: Handicap Table ページ

次の例では、Handicap Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Handicap Table

Disability Code 15

Handicap Table				Personalize Find View All [Grid Icon] [Table Icon]	First 1 of 1 Last
	*Effective Date	*Status	Disabled	*Description	
1	01/01/1900 [Calendar Icon]	Active [Dropdown Arrow]	☒	Hard of Hearing	[+/-]

Disabled

障害コードによって機関が障害と見なす内容を示す場合に選択します。通常は、このチェック ボックスをオンにします。ただし、たとえば個人に障害がないことを示す障害コードを設定する場合は、このチェック ボックスをオフにしたままにします。

Legal Authority ページ

Legal Authority ページ (GVT_LEGAL_AUTH_TBL) を使用して、人事異動要求 (PAR) 処理の Data Control ページで使用される値を Legal Authority テーブルに設定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Legal Authority], [Legal Authority]

画像: Legal Authority ページ

次の例では、Legal Authority ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Legal Authority

Legal Authority Code ABR

Legal Authority

Personalize | Find | View All | First 1-3 of 3 Last

	Effective Date	Status	Description - Part 1	Description - Part 2		
1	03/01/2000	Active	Reg. 330.608. Agency	Career Transition Program	+	-
2	04/16/1996	Active	Reg. 330.608		+	-
3	03/01/1996	Active	Reg. 330.608		+	-

法務当局とは、機関に対して人事異動要求を許可する権限を与える当局です。PeopleSoft では、ユーザーのシステムに対して法務当局のリストを提供します。Office of Personnel Management が法務当局の更新を発行する場合は、Legal Authority テーブルの情報を変更することによってシステムを最新に維持できます。

Effective Date

このテーブルに法務当局コードを追加する場合は、適用対象になる組織の最も古い履歴レコードも十分に網羅できる有効日を選択します。データ行を追加して、一定期間に変更される情報の履歴データを管理します。

Description - Part 1 、Description - Part 2

個人の人事異動を処理するときは、Data Control ページ (GVT_JOB0) に表示される説明を入力します。

Nature of Action Table ページ

Nature of Action Table ページ (GVT_NOAC_TBL) を使用して、コードを確認、追加、および更新します。
このテーブルは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で使用される異動区分コードを定義します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Nature of Action Table], [Nature of Action Table]

画像: Nature of Action Table ページ

次の例では、Nature of Action Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Nature of Action Code

全ての人事異動要求 (PAR) には異動区分 (NOA) コードが必要であるため、全ての人事異動はこのテーブルに記述され、NOA コードが割り当てられます。

PeopleSoft には NOA コードが用意されていますが、必要に応じてエントリを追加または更新できます。機関で内部使用する NOA コードを入力するときは、900 番台のコードを使用することをお勧めします。

Effective Date

このテーブルに異動区分コードを追加する場合は、適用対象になる組織の最も古い履歴レコードも十分に網羅できる有効日を選択します。データ行を追加して、NOA コードについて一定期間に変更される情報の履歴データを管理します。

Time NOA is Effective (異動区分が有効になる時期)

このフィールドは、人事異動が有効になる時期を指定します。*[Opening of Business Day]* (デフォルト) または *[Close of Business Day]* を選択します。

[(none)] を選択すると、デフォルトの *[Opening of Business Day]* が使用されます。

PeopleSoft では、通常、全てのアクションは有効日の業務開始時に有効になることを前提としています。これは、連邦政府には必ずしも該当しません。*[Termination/Non-Pay]* アクション (300 番台と 400 番台の NOA) の場合、アクションは有効日の営業日終了時に有効になります。*[Close of Business Day]* を指定して

定義された人事異動は、職務有効日が 1 だけ増分されます。
連邦 (GVT_JOB) 有効日は影響されません。

Required for CPDF (中央人事データ ファイルで必須)

NOA コードが CPDF レポートから Office of Personnel Management (OPM) へのレポート対象である場合に選択します。

Push Action to Job

人事異動を保存した後に、連邦政府から異動区分をコア PeopleSoft 職務レコード (JOB) に適用する場合に選択します。

IRR Reportable (レポート対象個人退職 レコード)

IRR で NOA コードが OPM へのレポート対象である場合に選択します。これは、個別の人事異動が保存されるとき、IRR 関連の NOA コードが IRR コントロール レコードに含まれることを示します。

IRR Type

生成される IRR のタイプを選択します。値は、*[Retirement]*、*[Transfer/Resignation]*、および *[Supplemental]* です。

Law Enforcement Officers Pay Area Table ページ

Law Enforcement Officers Pay Area Table ページ (GVT_LEOAREA_TABLE) を使用して、Law Enforcement Officers Pay Area テーブルに特別支給区域を設定します。

これらの区域の法執行担当者は、支給プラン、等級、およびステップに対する固定的賃金に加えて追加支給を受けます。PeopleSoft には現在の LEO 支給区域が用意されており、年間を通じて受け取る Office of Personnel Management の更新に基づいて LEO 支給区域を更新できます。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Compensation], [LEO Pay Area Table USF], [Law Enforcement Officers Pay Area Table]

画像: Law Enforcement Officers Pay Area Table ページ

次の例では、Law Enforcement Officers Pay Area Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Law Enforcement Officers Pay Area Table					
LEO Special Pay Area 1		Boston-Worcester-Lawrence			
LEO Pay & Area Table			Personalize Find View All		
	*Effective Date	*Status as of Effective Date	*Description	LEO Percentage	
1	10/16/1992	Active	Boston-Worcester-Lawrence	16.00	
2	01/01/1900	Active	Boston-Worcester-Lawrence	0.00	

LEO Percentage (法執行担当者率)

支給プラン、等級、およびステップ別に設定された固定的賃金に加えて、この区域の LEO が受け取る固定的賃金の率を入力

します。金額は、人事・労務管理の Compensation Data ページ (JOB_DATA3) に反映されます。

NOA/Legal Authority 1 ページ

NOA/Legal Authority 1 ページ (GVT_AUTH_VAL_1) を使用して、Nature of Action テーブルに定義された NOA コードを、Legal Authority テーブルに定義された法務当局に接続します。

異動区分コードおよび法務当局コードは設定済みである必要があります。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [NOA/Legal Authority 1], [NOA/Legal Authority 1]

画像: NOA/Legal Authority 1 ページ

次の例では、NOA/Legal Authority 1 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'NOA/Legal Authority 1' page. At the top, there are labels for 'Nature of Action Code 001' (Cancellation) and 'Legal Authority Code ADM' (OPM Directive). Below this is a table with the following structure:

NOA/Legal Authority		Personalize	Find	View All	1 of 1	First	Last
Effective Date	Status						
1 01/01/1980	Active						

人事・労務管理の PAR Data Control ページで NOA (異動区分) コードを入力すると、[Authority (1)] フィールドでプロンプト表示されるときにこのテーブルから有効な値のみが表示されます。ただし、[Authority (2)] の場合は、Legal Authority テーブルに定義された法務当局の中から選択できます。

Sub-Agency ページ

Sub-Agency ページ (GVT_SUBAGCY_TABLE) を使用して、別のエンティティとして OPM に報告する組織が機関に複数ある場合に、別組織を設定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Sub-Agency], [Sub-Agency]

画像: Sub-Agency ページ

次の例では、Sub-Agency ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Sub-Agency

Company KS Corp for National & Comm Servc

Sub-Agency 00

Sub-Agency

Find | View All

First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/1980

*Status Active

☒ Report CPDF

Description

Long Corporation for National and Community Service

*Description Corporation for National and C

Abbreviation Corporatio

- Sub-Agency

別のエンティティとして Office of Personnel Management に報告する組織が機関に複数ある場合は、オンライン処理のために別組織として設定します。
- Report CPDF (中央人事データ ファイルのレポート)

別組織が CPDF を定期的にレポートする場合に選択します。
- Long

別組織の詳細な説明を入力します。
- Abbreviation

別組織の略称を入力します。

Personnel Office ID Table ページ

Personnel Office ID Table ページ (GVT_POI_TABLE1) を使用して、機関内の全ての事業所に ID 番号を割り当てます。

入力する情報の多くは、人事異動要求に出力されます。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Personnel Office ID Table], [Personnel Office ID Table]

画像: Personnel Office ID Table ページ

次の例では、Personnel Office ID Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

- Sub-Agency

別組織コードを選択します。
- Personnel Officer's Name

この事務所の人事異動の担当者名を入力します。
- OPM Oversight Office (Office of Personnel Management 監督局)

人事異動をレポートする OPM 監督局を有効値から選択します。値はトランスレート テーブルに保存されています。値を変更または追加するには、プロジェクト管理局に必要な更新を依頼してください。
- Automated Submitting Point

自動送信ポイントは参照フィールドで、PeopleSoft HCM 処理中は使用されません。ただし、OPM フォームでは必要で、現在営業している事業所の事業所 ID の作成または変更を通信するのに使用されます。
- Electronic Commerce Address

このアドレスはユーザーの機関向けの参照専用です。たとえば、電子メール アドレスや政府ネットワーク ID です。

PAR Approving Officials Table ページ

PAR Approving Officials Table ページ (GVT_POI_TABLE2) を使用して、PAR のルーティング プロセス セクションに表示される名前を入力します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Personnel Office ID Table], [PAR Approving Officials Table]

画像: PAR Approving Officials Table ページ

次の例では、PAR Approving Officials Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Personnel Office ID Table

PAR Approving Officials Table

Personnel Office

Find | View All

First

1 of 1

Last

Personnel Office ID 7444

Effective Date 01/01/1980

Status Active

+

-

Approving Officials

Personalize | Find | View All

First

1 of 1

Last

	*Empl ID	Empl Record	*Name	Primary PAR Approving Official	*Title	
1	FRG7008	0	Coppi,Fausto	☐	Clerk-Typist	+ -

- Empl ID (従業員 ID)

人事異動を承認する各担当者の従業員 ID を入力します。
フィールドからカーソルを移動すると、[Empl Record]、[Name]、および [Title] の各フィールドに値がロードされます。これらのフィールドは編集できます。
- Primary PAR Approving Official (人 該当する場合、このチェック ボックスをオンにします。このチェック 事異動要求承認の主担当者)

ボックスは参照専用です。

Personnel Action Rqst Rmks ページ

Personnel Action Rqst Rmks ページ (GVT_SF50_RK_TBL) を使用して、標準化された備考を定義して PAR に添付します。

ここで入力された備考をそのまま使用する場合もありますが、個人レベルで備考を添付する場合は、その備考に個人固有の情報を挿入します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Personnel Action Rqst Rmks], [Personnel Action Rqst Rmks]

画像: Personnel Action Rqst Rmks ページ

次の例では、Personnel Action Rqst Rmks ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Office of Personnel Management (OPM) では、*A* から *X* で始まる備考コードを指定します。PeopleSoft には現在の標準 OPM PAR 備考が用意されていますが、年間を通じて受け取る OPM 更新に基づいて管理する必要があります。機関で内部使用する追加の備考を入力する場合は、*Y* または *Z* で始まるコードを使用します。PeopleSoft HCM をアップグレードする際は、機関固有の備考を保持してください。

Print Priority

備考の印刷優先順位を選択します。有効値は、*[1st Tier]* および *[2nd Tier]* です。第 1 層の備考は、第 2 層の備考より前に SF50/52 レポートに印刷されます。したがって、*[1st Tier]* として定義された備考は、HR 担当者がリストした順序で印刷されます。その後、第 2 層の備考が続きます。

Insertion Required

この備考に従業員固有の情報が必要な場合に選択します。この備考を個人レベルで選択すると、このチェック ボックスは入力不可になります。

PeopleSoft では、備考が個人レベルで PAR に添付された場合、アスタリスク (*) を使用して、人事管理担当者を変更した個人固有の情報を示します。

IRR Reportable (レポート対象個人退職レコード)

IRR に印刷される PAR にこの備考が添付され、備考を IRR に印刷する場合に選択します。

ROST Reportable (レポート対象の離職および転属の登録) この備考を ROST に印刷する場合に選択します。

関連リンク

[Understanding the IRR ProcessPeopleSoft Payroll for North America](#)

Federal HCM 設定レポートの実行

このトピックでは、Federal HCM 設定レポートの実行に使用するページを示します。

Federal HCM 設定レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Run Control ページ	PRCSRUNCNTL	Federal HCM 設定レポートを実行します。 - Handicap Table レポート (FGPER811) には、全ての障害と関連するコードが出力されます。 - Legal Authority Table レポート (FGPER812) には、[Legal Authority] テーブルに設定された法務当局に関する情報が出力されます。 - Nature of Action Table レポート (FGPER813) には、[Nature of Action] テーブル内のコード一覧が作成されます。 - Law Enforcement Officers Pay Area Table レポート (FGPER808) には、各 LEO 特別支給区域と関連する率がリストされます。 - NOA Authority 1 レポート (FGPER814) には、[Nature of Action/Authority 1] テーブルの情報一覧が作成されます。 - Personnel Office ID Table レポート (FGPER805) には、組織内の全ての事業所 ID に関する情報が出力されます。 - Sub-Agency レポート (FGPER804) には、"別組織" 内の全ての別組織および関連する組織が出力されます。

プロジェクト コスト管理および一般会計ビジネス ユニット テーブルの表示

PC (プロジェクト コスト管理) ビジネス ユニット テーブルおよび GL (一般会計) ビジネス ユニット テーブルは表示専用ページです。

PC Business Unit テーブル

PC ビジネス ユニット テーブルは、PeopleSoft Financials のプロジェクト コスト管理プロセスの一部で、勤務管理プロセスと対話します。プロジェクト コスト管理を使用しない場合、このテーブルの値をインポートする必要はありません。

PeopleSoft Time and Laborを参照してください。

GL Business Unit テーブル

GL ビジネス ユニット テーブルは、PeopleSoft Financials の一般会計プロセスの一部で、給与計算プロセスと対話します。一般会計を使用しない場合、このテーブルの値をインポートする必要はありません。

『*PeopleSoft General Ledger*』を参照してください。

銀行および銀行支店の設定

銀行および銀行支店の設定について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 銀行の設定
- (GBR) イギリスの銀行および住宅金融組合の設定
- CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイス

銀行の設定

HCM で銀行を設定するには、次の手順に従います。

1. 銀行テーブル ページ (BANK_EC) で銀行情報を設定します。
2. 支店テーブル ページ (BANK_BRANCH_EC) で銀行支店情報を指定します。

注: イギリスの銀行の場合は、この他にも必要な設定があります。

「(GBR) イギリスの銀行および住宅金融組合の設定」を参照してください。

3. 送金元銀行口座ページで、給与計算処理に使用する送金元銀行を指定します。

(GBR) イギリスの銀行および住宅金融組合の設定

このトピックでは、イギリスの金融機関について銀行/支店コンポーネントのページを設定する方法を説明します。この設定は、従業員の銀行および住宅金融組合に関する情報を銀行口座管理ページに入力する前に行う必要があります。

Entering Bank Account InformationPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

業務で取り引きの生じる全ての銀行または住宅金融組合について設定を行う必要があります。この情報は、BANK_EC_TBL テーブルおよび BANK_BRANCH_TBL テーブルに保存されます。また、PYE_BANKACCT テーブルには、受給者の銀行および住宅金融組合の口座に関する詳細が保存されます。

イギリスの銀行については、銀行テーブル ページで銀行の支店を設定します。住宅金融組合については、銀行テーブル ページを使用してその組合の決済を行う銀行支店を設定します。支店テーブル ページ

および関連付けられた住宅金融組合住所ページを使用して、住宅金融組合の詳細を入力します。次の表に、これらのページの入力内容を示します。

口座タイプ	銀行テーブル ページ	支店テーブル ページと住宅金融組合住所ページ
銀行支店	銀行支店の名前、住所、電話番号を入力します。	空欄にしておきます。
住宅金融組合	住宅金融組合の決済を行う銀行支店の名前、住所、電話番号を入力します。	住宅金融組合の名前、住所、および銀行テーブル ページで設定された決済銀行にある、その住宅金融組合の口座の番号を入力します。

警告 支店テーブル ページで住宅金融組合を設定し、その住宅金融組合を銀行テーブル ページで決済銀行に関連付ける必要があります。説明に従って住宅金融組合を設定しない場合、Global Payroll for the UK で提供される BACS インターフェイスおよびプロセスによって、有効なデータが生成されません。

画像: 住宅金融組合の設定の例

次の例は、支店テーブル ページでの住宅金融組合の定義方法を示しています。

The screenshot displays the 'Branch Table' page in the PeopleSoft HCM interface. It shows the configuration for a branch of a mortgage lender. Key fields include:

- Country Code:** GBR (United Kingdom)
- Bank ID:** 300000
- Bank Name:** LloydsTSB
- Branch Information:**
 - *Bld Soc ID:** NORTHERNROCK
 - *Bld Soc Name:** Northern Rock - Gosforth
 - *Account Number:** 00105678
 - Bank Identifier Code:** LOYDGB21307
 - *Status:** Active
 - Short Name:** NrthRck

 The page also includes navigation links like 'Find', 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last'.

この例では、住宅金融組合はその決済を行う LloydsTSB 銀行 (銀行 ID 30000) に関連付けられています。住宅金融組合の決済口座は、[口座番号] フィールドに表示されています。

CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイス

大量の銀行情報の設定が必要になる場合があるため、PeopleSoft に標準装備されている CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイスを使用して銀行情報を Microsoft Excel のスプレッドシートから銀行設定テーブルにインポートすることによって、設定処理を簡単にできます。

銀行情報を提供しているウェブサイトまたはサービスから Excel のスプレッドシートに銀行情報をダウンロードしてから、この情報を Excel to Component Interface ユーティリティを使用して Excel のスプレッドシートから CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイスにインポートします。CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイスによって、PeopleSoft HCM の BANK_EC テーブルおよび BANK_BRANCH_TBL に銀行情報がロードされます。

注: Excel to Component Interface ユーティリティ使用時に PeopleSoft HCM データベースのどの行を更新し、どの行を追加するかは、ユーザーの側に委ねられています。

関連リンク

エンタープライズ コンポーネント

銀行および銀行支店の設定

銀行を設定するには、銀行コンポーネント (BANK_EC) を使用します。銀行支店を設定するには、銀行支店コンポーネント (BANK_BRANCH_TBL) を使用します。

このコンポーネントのテーブルに銀行データをロードするには、CI_BANK_EC コンポーネント インターフェイスを使用します。

『PeopleSoft: エンタープライズ コンポーネント』を参照してください。

次の各トピックでは、銀行および銀行支店の設定方法について説明します。

銀行および銀行支店の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
銀行テーブル銀行テーブル ページ	BANK_EC	全ての金融機関の基本情報を設定します。 送金元の銀行とその口座を指定する前に、銀行テーブル ページの入力を完了する必要があります。
支店テーブル支店テーブル ページ	BANK_BRANCH_EC	銀行の支店を定義します。国によっては、銀行の支店情報が不要な場合もあります。
銀行支店住所ページ	BANK_BRA_ADR_SP	銀行の支店住所を入力します。
(BRA) 銀行支店 - ブラジル ページ	BANKBRANCH_BRA_SEC	ブラジルの銀行支店の追加情報を入力します。

銀行テーブル ページ

銀行テーブル ページ (BANK_EC) を使用して、全ての金融機関の基本情報を設定します。

送金元の銀行とその口座を指定する前に、銀行テーブル ページの入力を完了する必要があります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [金融機関関連], [銀行], [銀行テーブル]

画像: 銀行テーブル ページ

次の例では、銀行テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

銀行 ID

このフィールドは自動表示です。各国用に、複数のフォーマットがあります。数字の ID と、英数字の ID があります。

銀行タイプ

銀行タイプを選択します。有効な値は、[商業]、[コミュニティ]、[一般]、[郵便局]、および [貯蓄] です。

代替銀行 ID

銀行の国家 ID があれば入力します。銀行が国際的な銀行業務の協会やシステムに加入している場合、国際取引に使用する代替銀行 ID が与えられています。

銀行名

銀行の名前を入力します。

銀行 ID コード

SWIFT から提供される銀行識別コード (BIC) を入力します。保存時に、入力された文字数が 8 または 11 であるかどうかチェックされます。検証されるのは文字数だけであり、BIC が正確かどうかは検証されません。

国

銀行の所在国を選択します。

住所

銀行の住所が表示されます。

住所編集

[住所編集] リンクをクリックすると、銀行の住所情報を変更できます。

電話番号

銀行の電話番号を入力します。

銀行名フリガナ

このフィールドは、プライマリ権限リスト基本設定ページにある [フリガナの使用] チェック ボックスをオンにしている場合に表示されます。日本語を使用する場合は、半角カタカナで銀行名を入力します。

(GBR) イギリスのユーザーが考慮すべき点

イギリスの銀行支店を設定するには、以下の情報を入力します。

国コード

"GBR" と入力します。

銀行 ID

銀行支店のソート コードを入力します。

注: 住宅金融組合を設定する場合は、その住宅金融組合の決済を行う銀行支店のソート コードを入力します。決済は通常、銀行の本店によって行われます。

銀行タイプ

イギリスの銀行の場合は、オプションです。

代替銀行 ID

イギリスの銀行の場合は、空欄にしておきます。

銀行名

支店の説明を入力します。銀行の名称だけでなく、支店の所在地も含めて入力します。

支店テーブル ページ

支店テーブル ページ (BANK_BRANCH_EC) を使用して、銀行の支店を定義します。

国によっては、銀行の支店情報が不要な場合もあります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [金融機関関連], [銀行], [支店テーブル]

画像: 支店テーブル ページ

次の例では、支店テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

支店 ID

銀行の支店 ID を入力します。支店 ID のフォーマットは国によって異なります。

支店名

銀行の支店名を入力します。

銀行 ID コード

SWIFT から提供される銀行識別コード (BIC) を入力します。保存時に、入力された文字数が 8 または 11 であるかどうかチェックされます。検証されるのは文字数だけであり、BIC が正確かどうかは検証されません。

支店名フリガナ

このフィールドは、プライマリ権限リスト基本設定ページにある [フリガナの使用] チェック ボックスをオンにしている場合に表示されます。日本語を使用する場合は、半角カタカナで支店名を入力します。

住所情報

[住所情報] リンクをクリックすると、銀行支店住所ページにアクセスできます。

その他の情報

(BRA) [その他の情報] リンクをクリックすると、"銀行支店 - ブラジル" ページにアクセスできます。

(GBR) イギリスのユーザーが考慮すべき点

イギリスの住宅金融組合を設定するには、支店テーブル ページで以下の情報を入力します。

住宅金融組合 ID

住宅金融組合に対する固有の ID を入力します。

ステータス	従業員の口座詳細には、ステータスがアクティブである住宅金融組合のみ入力できます。
住宅金融組合名	住宅金融組合の正式名称を入力します。
口座番号	決済銀行にある、この住宅金融組合の口座番号を入力します。
住所情報	[住所情報] リンクをクリックすると、住宅金融組合住所ページにアクセスして、住宅金融組合の本店の住所を入力できます。

(BRA) 銀行支店 - ブラジル ページ

銀行支店 - ブラジル ページ (BANKBRANCH_BRA_SEC) を使用して、ブラジルの銀行支店の追加情報を入力します。

ナビゲーション

支店テーブル ページで、ブラジルの銀行の [その他の情報] リンクをクリックします。

画像: 銀行支店 - ブラジル ページ

次の例では、銀行支店 - ブラジル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

確認番号	銀行が割り当てる確認番号を入力します。ファイル転送に、確認番号が必要な場合があります。
支店所在地	銀行支店の所在地を入力します。
コンタクト名	銀行支店のコンタクト先の名前を入力します。

IBAN 情報の設定

IBAN 情報を設定するには、IBAN 国別設定 (SETUP_IBAN_TBL) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、IBAN の設定の概要および IBAN 情報の設定方法について説明します。

IBAN 情報の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
IBAN 国別設定ページ	SETUP_IBAN_TBL	指定した国で IBAN 機能を使用できるようにします。BBAN の検証ルールを作成します。

IBAN 設定について

国際銀行口座番号 (IBAN) は、多国間で利用できるように、ISO 規格に準拠して割り当てられた、銀行口座を一意に識別する口座番号です。PeopleSoft アプリケーションでは、銀行口座レベルでこの情報を保存することができます。

IBAN 機能を使用するには、IBAN 国別設定ページの [IBAN 使用可] チェック ボックスをオンにしておく必要があります。このページでは、基本銀行口座番号 (BBAN) の作成に適用されるルールを設定することもできます。IBAN 機能を有効にすると、その国の送金元銀行口座ページと銀行口座管理ページに [IBAN] フィールドと [確認] ボタンが表示されるようになります。

関連リンク

[送金元銀行の指定](#)

[Entering Bank Account Information](#)PeopleSoft Human Resources Administer Workforce

IBAN 国別設定ページ

IBAN 国別設定ページ (SETUP_IBAN_TBL) を使用して、特定の国の IBAN 機能を有効にします。BBAN の検証ルールを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [金融機関関連], [IBAN 国別設定], [IBAN 国別設定]

画像: IBAN 国別設定ページ

次の例では、IBAN 国別設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

IBAN Country Setup

Country FRA France

IBAN Setup

☒ IBAN Enabled

☐ IBAN Required

Basic Bank Account Number

Personalize | Find |

First 1-4 of 4 Last

Sequence	*Bank Account Field	*Start Position	*Length		
1	Bank ID	1	5	+	-
2	Branch ID	6	5	+	-
3	Account Number	11	11	+	-
4	Check Digits	22	2	+	-

IBAN 使用可

この国で IBAN 機能を使用できるようにするには、このチェックボックスをオンにします。IBAN を有効にすると、この国コードを使用して送金元銀行口座または受給者銀行口座を設定するときに、[IBAN] フィールドと [確認] リンクが表示されるようになります。

IBAN 必須

この国の口座を設定するときに IBAN の値を必須にするには、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、この国コードを使用して送金元銀行口座または受給者銀行口座を設定するときに、[IBAN] フィールドを必ず入力しなければならなくなります。

このチェック ボックスは、次の各ページに [既に IBAN 番号あり] フィールドを表示するかどうか制御します。

- 控除受取人定義 (RECIPIENT)
- 受取人情報 (GP_RCP_PYE_SP)
- 海外銀行口座管理 CHE (PYE_BANKACCT)
- Override Source Bank CHE (PYE_BANKACCT)
- 海外銀行口座管理 DEU (PYE_BANKACCT)

- 海外銀行口座管理 DEU (PYE_BANKACCT)
- Override Source Bank DEU (PYE_BANKACCT)
- 銀行口座 (PYE_BANKACCT)
- 銀行口座管理 (PYE_BANKACCT)
- 送金元銀行口座 (SRC_BANK)
- 口座詳細の追加 (GP_SS_EE_BANK_DET)
- 銀行口座の追加 (HRS_APP_BANKACCT)

このチェック ボックスをオンにすると、対応するページに [既に IBAN 番号あり] フィールドは表示されないため、IBAN 情報を入力する必要があります。

このチェック ボックスをオフにすると、対応するページに [既に IBAN 番号あり] フィールドが表示され、IBAN 情報を入力するか、個々の金融機関情報を入力することになります。

「[送金元銀行の指定](#)」を参照してください。

Entering Bank Account InformationPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

基本銀行口座番号

連番	基本銀行口座番号 (BBAN) に値が表示される順番を指定します。
銀行口座フィールド	BBAN の構成に使用するフィールドを選択します。
開始位置	銀行口座フィールドが開始される位置を指定します。
長さ	この銀行口座フィールドに割り当てられる文字数を入力します。

送金元銀行の指定

送金元銀行を指定するには、送金元銀行口座コンポーネント (SRC_BANK) を使用します。

次の各トピックでは、送金元銀行の概要および指定方法について説明します。

送金元銀行の指定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>送金元銀行口座ページ</u>	SRC_BANK	資金を引き出す銀行に送金元銀行 ID を割り当て、その銀行の情報を定義します。
<u>(CAN および USA) 銀行の追加情報 CAN ページ</u> または <u>銀行の追加情報 USA ページ</u>	SRC_BANK_PY_SP	(CAN および USA) カナダまたはアメリカの銀行データを指定します。 このページは、送金元銀行口座ページで [国コード] の値に [CAN] または [USA] を選択した場合にのみ使用できるようになります。
<u>(JPN) 銀行の追加情報 JPN ページ</u>	GPJP_SRC_BANK_SEC	(JPN) 日本の銀行の口座タイプと会社コードを指定します。

送金元銀行について

送金元銀行は、給与を支給する際にその資金を引き出す銀行です。各送金元銀行について、適切な銀行と支店、口座番号、および FB フォーマットを指定します。

アメリカ、カナダ、日本など、国によっては、送金元銀行口座ページの [その他の必須情報] リンクを使用してアクセスするページで、送金元銀行の追加情報を設定する必要があります。ヨーロッパ諸国の場合は、送金元銀行口座ページを使用して、国際銀行口座番号 (IBAN) の情報を定義する必要があります。

給与計算の設定

PeopleSoft グローバル ペイロールを使用している場合は、送金元銀行を支給元に関連付ける必要があります。

Understanding BankingPeopleSoft Global Payroll を参照してください。

PeopleSoft Payroll for North America を使用している場合は、送金元銀行を支給グループに関連付ける必要があります。

Pay Group Table - Bank/Tip Info PagePeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

送金元銀行口座ページ

送金元銀行口座ページ (SRC_BANK) を使用して、資金を引き出す銀行に送金元銀行 ID を割り当て、その銀行の情報を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [金融機関関連], [送金元銀行口座], [送金元銀行口座]

画像: 送金元銀行口座ページ

次の例では、送金元銀行口座ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Source Bank AccountsPayment ID Assignment

Source Bank ID03032

*DescriptionCredito Emiliano

StatusActive

Bank Details

Country CodeITAItaly

IBANIT95R03032016011234567Validate

*Bank ID03032Credito Emiliano

Bank Branch ID01601Ag.58 Milano

*Account Number1234567Check DigitR

*Account NameAccount 1234567 Name

*Currency CodeITLItalian Lira

EFT DomesticEFT Int'lBank Transfer ID

- 名称

銀行の名前を入力します。
- 国コード

受給者銀行口座の国を選択します。
- 国際 ACH 銀行口座 (国際自動決済
機関銀行)

銀行が米国の管轄地域外にあることを指定する場合はオンに
します。

注: このフィールドは、PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft Global Payroll for United States がインストールされている場合のみ表示されます。

- 既に IBAN 番号あり

受給者に IBAN があることを示す場合に選択します。この
チェック ボックスをオンにすると、[銀行 ID]、[銀行支店 ID]、お
よび[口座番号] フィールドが表示専用になり、[IBAN] フィールド
および [確認] ボタンが使用可能になります。
- [IBAN] フィールドに既に入力されて検証されている IBAN の
受給者に対してこのチェック ボックスをオフにすると、この処理
によって、[IBAN] および銀行口座詳細フィールドがクリアされる
ことが警告されます。続行する場合は [OK] をクリックし、チェッ
ク ボックスをオンの状態のままにする場合は [キャンセル] をク
リックできます。

注: このページにこのチェック ボックスが表示されるのは、IBAN 国別設定ページで [IBAN 使用可] チェック ボックスがオンで、[IBAN 必須] チェック ボックスがオフの場合のみです。

IBAN (国際銀行口座番号)

受給者の IBAN を入力します。このフィールドが編集可能になるのは、IBAN 国別設定ページで [既に IBAN 番号あり] チェック ボックスがオンの場合、または [IBAN 必須] チェック ボックスがオンの場合のみです。

検証

[IBAN] フィールドに入力されている番号を検証する場合にクリックします。検証プロセスによって、入力されている IBAN にエラーがある場合は警告されます。さらに、検証プロセスでは、入力されている IBAN に基づいて [銀行 ID]、[銀行支店 ID]、および [口座番号] フィールドに値がロードされます。

このボタンが使用可能になるのは、IBAN 国別設定ページで [既に IBAN 番号あり] チェック ボックスがオンの場合、または [IBAN 必須] チェック ボックスがオンの場合のみです。

[銀行 ID]、[銀行支店 ID]、[口座番号]、[チェック デジット]

IBAN 国別設定ページで [既に IBAN 番号あり] チェック ボックスがオンの場合、または [IBAN 必須] チェック ボックスがオンの場合は、このフィールドを編集できません。これらのフィールドには、[検証] ボタンのクリック時に、入力されている IBAN に基づいて値がロードされます。

注: ドイツ口座で IBAN が指定されている場合、[銀行支店 ID] フィールドは編集可能な状態です。

IBAN の指定のない口座の場合は、[銀行 ID]、[銀行支店 ID]、および [口座番号] フィールドに手入力で値を入力します。これらの口座の場合、[チェック デジット] フィールドは表示されません。

口座名義

従業員の口座名義を入力します。

予告通知情報

(USA) このリンクをクリックすると、銀行予告通知情報ページにアクセスします。

通貨コード

口座の管理に使用する通貨のコードを選択します。このフィールドに入力するコードは参照専用であり、銀行振込のプロセスでは使用されません。

その他の必須情報

銀行の追加情報のページにアクセスするには、このリンクをクリックします。選択した国によっては、このページが使用されない場合もあります。このページは、アメリカ、カナダ、または日本でのみ営業している会社の情報を記録するときに使用します。

「(CAN および USA) 銀行の追加情報 CAN ページまたは銀行の追加情報 USA ページ」を参照してください。

「(JPN) 銀行の追加情報 JPN ページ」を参照してください。

口座名義フリガナ

このフィールドは、プライマリ権限リスト基本設定ページにある [フリガナの使用] チェック ボックスをオンにしている場合に表示されます。日本語を使用するときは、半角カタカナで銀行口座名を入力します。

国内 FB (国内ファーム バンキング)

送金元銀行口座で使用されている FB フォーマットを指定します。国内取引用の FB 名を入力します。受給者または受取人の口座が国内の場合、デフォルトの FB 名は選択した送金元銀行口座の [国内 FB] フィールドから取得されます。国内の口座の国コードは、インストール時に選択した国コードと同じです。

注: アメリカとカナダの場合は該当しません。

銀行振替 ID

決済システムにおいて銀行の識別に使用される銀行振替 ID を入力します。

国際 FB (国際ファーム バンキング)

国外取引用の FB 名を入力します。受給者または受取人の口座が国外の場合、デフォルトの FB 名は選択した送金元銀行口座の [国際 FB] フィールドから取得されます。国外の口座の国コードは、インストール時に選択した国コードとは異なります。

注: このコンポーネントに含まれる支給 ID 割当ページは、PeopleSoft グローバル ペイロールでのみ使用されます。詳細については、PeopleSoft グローバル ペイロールのドキュメンテーションに記載されています。

(CAN および USA) 銀行の追加情報 CAN ページまたは 銀行の追加情報 USA ページ

銀行の追加情報 CAN ページ (SRC_BANK_PY_SP) を使用して、カナダまたはアメリカにある銀行のデータを指定します。このページは、送金元銀行口座ページで国コードとして [CAN] または [USA] を選択した場合にのみ使用できます。

ナビゲーション

送金元銀行口座ページの [その他の必須情報] リンクをクリックします。

画像: 銀行の追加情報 USA ページ

次の例では、銀行の追加情報 USA ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a window titled "US Bank Additional Data". Inside, it displays "Source Bank ID B11" and "Description Contra Costa Bank". Below this, there is a section for "Prenote Wait Days" with a "Wait Days" input field containing the number "10". Another section, "Payroll for North America", contains three fields: "Check Stock Form ID" with the value "CHECK", "Advice Form ID" with the value "ADVICE", and "Deposit Medium" with a dropdown menu showing "Tape". At the bottom of the window are "OK" and "Cancel" buttons.

(USA) [処理待ち日数]

処理待ち日数

処理待ち日数を入力します。この送金元銀行レベルで入力したデータに基づいて、予告通知処理が必要かどうか決定されます。このフィールドに "0" と入力した場合は、受給者レベルで予告通知は生成されません。"0" 以外の数値を入力した場合は、予告通知が必要になります。

会社からの送金先の口座を変更する場合 (たとえば、従業員が自動振込用の口座を変更する場合)、銀行では、ダミーのレコードを使って振込処理を試行し、変更後の口座が有効 (既存) であるか確認しておくことを推奨しています。指定した処理待ち期間、つまり、ダミー処理から口座への振込みが可能になるまでの期間のことを、"処理待ち日数" といいます。

注: 予告通知処理を使うことで、従業員レベルで指定した送金番号の確認ができます。

Payroll for North America

[Payroll for North America] グループ ボックスは、PeopleSoft Payroll for North America がインストールされている場合にのみ表示されます。このグループ ボックスでの定義は、PeopleSoft Payroll for North America を使用する場合にのみ必要です。

小切手フォーム ID	会社が小切手を振り出す場合は、この送金元銀行口座で使用するフォーム ID を選択します。
通知フォーム ID	会社が自動振込を行う場合は、この送金元銀行口座で使用するフォーム ID を選択します。 小切手または自動振込の番号を割り当てるときに、支給確認プロセスおよび給与小切手の再印刷プロセスによってこのフィールドが参照され、使用する小切手および通知の番号が決定されます。フォーム ID は、フォーム テーブルで定義します。
振込方法	銀行振込み処理に必要なトランザクションを指定します。オプションは、[デブ]、[FB] (ファーム バンキング)、[ディスクット]、および[レポート] です。 PeopleSoft Payroll for North America の場合、このフィールドは参照専用です。給与計算処理にはいかなる影響も与えません。
(CAN) ルートのフォーマット	ルートのフォーマットを入力します。 ルート番号を使って、銀行に送るテープまたはファイルでルート番号 (銀行 ID) を表す方法を指定します。この番号は前にゼロを付けることができます。銀行 ID と銀行支店 ID のどちらが先になるかによって、番号が変わることがあります。 自動振込みファイル作成の SQR プログラム DDP001CN で作成された自動支払いのルート番号に適用するフォーマットを選択します。このフォーマットを使用して、従業員の小切手をその個人銀行口座に振り込みます。有効値は以下のとおりです。 • リードゼロ, 銀行 ID, 支店 ID • リードゼロ, 支店 ID, 銀行 ID • 銀行 ID, 支店 ID (リード ゼロなし) • 支店 ID, 銀行 ID (リード ゼロなし)

(JPN) 銀行の追加情報 JPN ページ

銀行の追加情報 JPN ページ (GPJP_SRC_BANK_SEC) を使用して、日本の銀行の口座タイプと会社コードを指定します。

ナビゲーション

送金元銀行口座ページで日本の銀行の [その他の必須情報] リンクをクリックします。

画像: 銀行の追加情報 JPN ページ

次の例では、銀行の追加情報 JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Japan Bank Additional Data

Source Bank ID B34

Description Dai - Ichi Kangyo Bank

*Account Type

Checking

Company Code

OK

Cancel

- 口座タイプ

送金元銀行の口座タイプです。値は、[当座] および [普通] です。
- 会社コード

金融機関によって会社に割り当てられている ID を入力します。

銀行および銀行支店のレポート

銀行および銀行支店のレポートを作成するには、銀行/支店レポート (RUN_PAY701) コンポーネントを使用します。

このトピックでは、銀行および銀行支店のレポートを作成するためのページを示します。

銀行/支店レポートに使用するページ

ページ名	定義名	用途
銀行/支店レポート ページ	PRCSRUNCNTL	銀行および銀行支店テーブルの情報が一覧表示される銀行/支店レポートを実行します。

チャートフィールドとチャートフィールド組み合わせの設定とその使い方

PeopleSoft チャートフィールドについて

PeopleSoft アプリケーションでは、勘定科目表を保存したり、取引データや予算データを分類するための基本構造を提供するフィールドのことをチャートフィールドと呼びます。各チャートフィールドには固有の属性が設定されるため、対象カテゴリのデータを最も効率的かつ柔軟な方法で記録、レポート、分析することができます。1つのチャートフィールドは常に1つのデータカテゴリを表しますが、同一データを詳細に分類するため、複数の値が保存されます。

取引金額の基本カテゴリとして、勘定科目チャートフィールドが用意されています。これに加え、他のチャートフィールドを適切な値と共に使用することにより、製品別、プロジェクト別、資金別など任意の数のカテゴリ別に、同一取引について同時に記録することができます。この場合、同じ取引データに対して追加サブセットが作成されます。

PeopleSoft では、ほとんどの会計要件やレポート要件に対応するチャートフィールドセットとその関連機能を用意しています。チャートフィールドは、ユーザー固有の要件を満たすようにユーザーが設定する設計になっています。

注: PeopleSoft 8.4 Financials またはそれ以降のリリースと統合されている場合、次の各トピックで説明するほとんどのコンポーネントは表示専用です。

標準チャートフィールド

次の表は、標準のチャートフィールドについて説明しています。

ラベル名	ラベル略称	チャートフィールド名 (フィールド長)	コンポーネント名	説明
勘定科目	勘定科目	ACCOUNT (10)	GL_ACCOUNT	取引の種別を分類します。これは必須フィールドです。企業で使用される勘定科目に使用します。

ラベル名	ラベル略称	チャートフィールド名 (フィールド長)	コンポーネント名	説明
部門	部門	DEPTID_CF (10)	DEPARTMENT_RO	組織の部門別に情報を追跡管理します。取引の責任者や取引の影響を受ける人物の指定に使用できます。
プロジェクト/グラント	プロジェクト	PROJECT_ID (15)	PROJECT	グラントとプロジェクトの会計処理に役立つ追加情報を取得します。[プロジェクト/グラント] チャートフィールドには、有効日はありません。
製品	製品	PRODUCT (6)	PRODUCT	収益性やキャッシュフローを、販売または製造した製品別に分析する際に役立つ追加情報を取得します。
資金コード	資金	FUND_CODE (5)	FUND_DEFINITION	教育/公的機関の会計処理における基本的な構成単位です
プログラムコード	プログラム	PROGRAM_CODE (5)	PROGRAM_DEFINITION	組織内または組織全体のプログラムの支出を追跡管理します。関連するアクティビティのグループ、コストセンター、収益センター、責任センターおよび学問的プログラムの識別に使用できます。
クラス フィールド	クラス	CLASS_FLD (5)	CLASS_PNL	特定の充当金の識別に使用できます。
関係会社	関係会社	AFFILIATE (5)	なし	1つのユニット間勘定科目を使用している場合に、ビジネス ユニット間での取引のマッピングに使用します。
業務ユニット	業務ユニット	OPERATING_UNIT (8)	OPERATING_UNIT	流通倉庫や販売センターなどの場所の指定に使用できます。
代替勘定科目	代替勘定科目	ALTACCT (10)	ALTACCT	行政機関の取引の種別を分類します。法定会計に使用します。

ラベル名	ラベル略称	チャートフィールド名 (フィールド長)	コンポーネント名	説明
予算参照	予算参照	BUDGET_REF (8)	BUDREF_PNL	個々の予算が予算キーと重複する予算期間を共有している場合、それぞれの予算を一意に識別する際に使用します。
チャートフィールド 1	チャートフィールド 1	CHARTFIELD1 (10)	CHARTFIELD1	汎用の拡張チャートフィールドです。
チャートフィールド 2	チャートフィールド 2	CHARTFIELD2 (10)	CHARTFIELD2	汎用の拡張チャートフィールドです。
チャートフィールド 3	チャートフィールド 3	CHARTFIELD3 (10)	CHARTFIELD3	汎用の拡張チャートフィールドです。
アクティビティ ID	アクティビティ	ACTIVITY_ID (15)	なし	アクティビティは、プロジェクトを構成する特定のタスクです。[アクティビティ] チャートフィールドは、プロジェクトコスト管理に役立つ追加情報を取得します。このチャートフィールドには、有効日はありません。出荷時には、非アクティブに設定されています。
ビジネス ユニット PC	PC ビジネス ユニット	BUSINESS_UNIT_PC (5)	なし	組織の業務サブセットとして使用され、組織の会計転記や財務レポートに関する標準会計手順の制限を受けずに、プロジェクトアクティビティを編成できます。
リソース タイプ	RsrcType	RESOURCE_TYPE (5)	なし	ソースタイプによって、トランザクションの目的やソースを識別します。プロジェクトコスト管理に役立つ追加情報を取得します。このプロジェクトコスト管理チャートフィールドには、有効日はありません。出荷時には、非アクティブに設定されています。

ラベル名	ラベル略称	チャートフィールド名 (フィールド長)	コンポーネント名	説明
リソース カテゴリ	カテゴリ	RESOURCE_CATEGORY (5)	なし	プロジェクト コスト管理に役立つ追加情報を取得します。このプロジェクト コスト管理チャートフィールドには、有効日はありません。出荷時には、非アクティブに設定されています。
リソース サブカテゴリ	RsrcSubCat	RESOURCE_SUB_CAT (5)	なし	プロジェクト コスト管理に役立つ追加情報を取得します。このプロジェクト コスト管理チャートフィールドには、有効日はありません。出荷時には、非アクティブに設定されています。
関係会社 - 資金	関係会社 - 資金	AFFILIATE_INTRA1 (10)	なし	1 つのユニット内勘定科目を使用している場合に、資金間での取引の関連付けに使用します。出荷時には、非アクティブに設定されています。
関係会社 - 業務ユニット	会社 - 業務ユニット	AFFILIATE_INTRA2 (10)	なし	1 つのユニット内勘定科目を使用している場合に、業務ユニット間での取引の関連付けに使用します。出荷時には、非アクティブに設定されています。

注: "なし" は該当しないことを意味します。

前提条件

次の表は、チャートフィールドとチャートフィールド組み合わせの機能を導入するために、HCM データベースに設定する必要があるサービス オペレーションについて説明しています。

サービス オペレーション	説明
RELEASE_REQUEST	HCM は、Financials の一般会計バージョンの更新をリクエストします。

サービス オペレーション	説明
RELEASE_RESPONSE	HCM は、一般会計バージョンの更新データを Financials から受信します。
FSCM_CF_CONFIG	HCM は、特定のチャートフィールド設定テンプレートを Financials から受信します。
各 GL チャートフィールドにつき 1 つのインテグレーション ポイント	HCM は、Financials データベースからパブリッシュされたチャートフィールド値を受信します。 「チャートフィールド値の入力と管理」を参照してください。
HR_ACCT_CD_LOAD	HCM は、Financials データベースまたはフラット ファイルからインポートされた組合せコードを受信し、一般会計勘定科目テーブル (GL_ACCT_CD_TBL) にロードします。
HR_CHARTFLD_COMBO_SYNC	HCM は、Financials データベースによってパブリッシュされたサービス オペレーションを受信し、スピード入力テーブルを最新の状態を保ちます。
COMBO_CF_EDIT_REQUEST	HCM は、組合せコードを検証するリクエストを Financials データベース (8.4.01 以降のバージョン) に送信します。
COMBO_CF_EDIT_REPLY	HCM は、組合せコードの検証リクエストに対する Financials データベースからの返信を受信し、処理します。

注: 上記のサービス オペレーションのほとんどでは、インテグレーション ブローカーを使用できるバージョンの PeopleSoft 一般会計を使用する必要があります。

詳細については、『*PeopleTools: Integration Broker*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

関連リンク

導入するインテグレーションの特定

一般会計システムとバージョンの指定

次の各トピックでは、さまざまな設定オプションの機能を比較し、一般会計システムの指定について説明します。

一般会計システムとバージョンの指定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
製品ページ	INSTALLATION_TBL1	導入する PeopleSoft アプリケーションを指定します。

ページ名	定義名	用途
<u>製品別設定ページ</u>	INSTALLATION_TBL1A	製品 (産業) 別の導入情報を入力します。

一般会計システムとバージョンによる比較について

インストール テーブルでの一般会計インジケータと一般会計バージョンの設定は、チャートフィールドの組み合わせ編集機能とチャートフィールド ページの表示内容に影響を与えます。

次の表は、インストール テーブルで設定される一般会計のインジケータとバージョンのさまざまな組み合わせに対するチャートフィールド機能を比較したものです。

一般会計インジケータ	一般会計バージョン	チャートフィールド設定テンプレートの更新	個々のチャートフィールド値の更新または追加	インテグレーション ブローカーによる組み合わせの検証
未選択	該当なし	可	可 (部門チャートフィールド以外)	不可
選択	該当なし	不可。 標準チャートフィールドテンプレートを使用	可 (部門チャートフィールド以外)	不可
選択	8.40.00 より前	不可。 標準チャートフィールドテンプレートを使用	不可。 参照専用。	不可
選択	8.40.00	不可。 PeopleSoft Financials によって更新される チャートフィールドテン プレートを使用	不可。 参照専用。	不可
選択	8.40.01 以降	不可。 PeopleSoft Financials によって更新される チャートフィールドテン プレートを使用	不可。 参照専用。	可

一般会計インジケータ	一般会計バージョン	チャートフィールド設定テンプレートの更新	個々のチャートフィールド値の更新または追加	インテグレーションブローカーによる組み合わせの検証
選択	9.0	不可。 インストール テーブルでプロジェクト コスト管理が選択されている場合は、プロジェクト コスト管理チャートフィールドを含む、チャートフィールド テンプレートが必要に応じて PeopleSoft Financials によって更新されます。	不可。 参照専用。	可

注: 部門チャートフィールドは、常に読取専用設定されています。部門テーブルに加えられた変更は、部門チャートフィールドに自動的に反映されます。

関連リンク

[導入デフォルトの設定](#)

PeopleSoft 一般会計の指定

PeopleSoft 一般会計システムとそのバージョンを指定、更新するには、次の手順に従います。

1. インストール テーブル - 製品ページ (INSTALLATION_TBL1) で、[一般会計] および [プロジェクト コスト管理] インジケータを選択します。
2. インストール テーブル - 製品別設定ページ (INSTALLATION_TBL1A) で、[一般会計] グループボックスの [バージョンの更新] ボタンをクリックします。

このボタンをクリックすると、Financials データベースへのリクエストが実行され、[GL バージョン] が自動的に更新されます。

注: デフォルトの一般会計バージョンは "該当なし" で、最初のチャートフィールドに対して Financials 8.4 またはそれ以降を使用する場合、またはプロジェクト チャートフィールドに対して Financials 9.0 を使用する場合は、[バージョンの更新] ボタンを使用して更新できます。

その他の一般会計システムの指定

PeopleSoft 一般会計を使用していない場合、"インストール テーブル - 製品" ページの [一般会計] チェックボックスをオンにしないでください。[GL バージョン] は、"N/A" と表示されます。

"インストール テーブル - 製品" ページで [プロジェクト コスト管理] チェック ボックスをオンにしているが、PeopleSoft 一般会計を使用していない場合は、編集にプロジェクト コスト管理チャートフィールドを使用できますが、Financials の検証は実行できません。

使用している一般会計システムが Payroll for North America によってサポートされている場合、関連するドキュメントのシステム設定の指示に従ってください。

チャートフィールド設定テンプレートの設定

標準チャートフィールド設定テンプレートを更新するには、標準チャートフィールド設定 (STANDARD_CF_TMPLT) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、標準チャートフィールド設定の概要およびチャートフィールド設定の設定方法について説明します。

標準チャートフィールド設定テンプレートの確認と更新に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>標準チャートフィールド設定ページ</u>	STANDARD_CF_TMPLT	チャートフィールド値ページで使用するチャートフィールドをアクティブに設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
アクション ステータス ページ	STANDARD_CF_LOG	チャートフィールドの変更ステータスについて表示します。レポートは PAY_CONFIG レポートによって作成されます。
チャートフィールド ラベル ページ	STANDARD_CFLBL_LNG	基本言語と関連言語の両方のチャートフィールド ラベルの変更を表示します。

標準チャートフィールド設定について

PeopleSoft では、元のチャートフィールドとプロジェクト コスト管理チャートフィールドの異なる 2 つのタイプの標準チャートフィールド設定テンプレートが用意されています。これらのチャートフィールドには、標準チャートフィールド設定ページを介してアクセスできます。

注: PeopleSoft Financials を使用している場合、チャートフィールド設定テンプレートは参照専用となります。このチャートフィールド設定テンプレートの修正は、Financials システムで実行する必要があります。元のチャートフィールドに Financials 8.40 以降のバージョンを使用している場合、またはプロジェクト コスト管理チャートフィールドに Financials 9.0 以降のバージョンを使用している場合は、チャートフィールド設定の変更が FSCM_CF_CONFIG サービス オペレーションによって HCM に送信されます。

元のチャートフィールド

PeopleSoft では、標準チャートフィールド設定テンプレートが用意されています。このテンプレートには、アクティブな 14 個および非アクティブな 2 個の元のチャートフィールドが以下の順序で設定されています。

- 勘定科目
- 部門
- プロジェクト/グラント
- 製品
- 資金コード
- プログラム コード
- クラス フィールド
- 関係会社
- 業務ユニット
- 代替勘定科目
- 予算参照
- チャートフィールド 1
- チャートフィールド 2
- チャートフィールド 3
- 関係会社 - 資金 (非アクティブ)
- 関係会社 - 業務ユニット (非アクティブ)

注: 元のチャートフィールド インテグレーションは、PeopleSoft Financials 8.4 以降が導入されている組織で使用可能です。

プロジェクト コスト管理チャートフィールド

PeopleSoft では、標準チャートフィールド設定テンプレートが用意されています。このテンプレートには、6 個のプロジェクト コスト管理チャートフィールドが以下の順序で表示されます。

- ビジネス ユニット PC
- プロジェクト/グラント
- アクティビティ ID
- リソース タイプ

- リソース カテゴリ
- リソース サブカテゴリ

重要 プロジェクト コスト管理のチャートフィールドは、[プロジェクト/グラント] チャートフィールドの位置との関係で、その表示順序が常に同じであるという点で独特です。フィールドの表示順序を変更すると、プロジェクト コスト管理の全てのチャートフィールドは 1 つのブロックとして一緒に移動します。プロジェクト コスト管理チャートフィールドの表示順序は変更できますが、その他 5 つのチャートフィールドは、そのプロジェクト コスト管理チャートフィールドとの関連で同じ順序のまま残ります。

注: プロジェクト コスト管理チャートフィールドのインテグレーションは、PeopleSoft Financials 9.0 が導入されている組織で使用可能です。PeopleSoft Financials と統合せずに PeopleSoft プロジェクト コスト管理を使用する場合は、標準チャートフィールド設定テンプレートでプロジェクト コスト管理チャートフィールドの属性を変更できます。

『PeopleSoft Project Costing』を参照してください。

チャートフィールド設定テンプレートの変更

PeopleSoft 一般会計を使用していない場合、標準チャートフィールド設定ページを使用して、標準チャートフィールド設定に以下の修正を実行できます。

- ページおよびレポートでのチャートフィールドの表示順序の変更
- チャートフィールドの名称と略称のラベル変更
- チャートフィールドの非アクティブ化またはアクティブ化

非アクティブのチャートフィールドは、ページ、レポートおよびプロンプトリストには表示されません。非アクティブのチャートフィールドはインデックスに含まれません。表示はされませんが、レコードまたはページから削除されているわけではありません。これにより、設定に要する時間と労力が大幅に削減されます。

- ページおよびレポートに表示されるチャートフィールドのフィールド長の変更
- ユニット内関係会社チャートフィールドの関連チャートフィールドの変更

PeopleSoft Financials からのチャートフィールド設定のインポート

PeopleSoft Financials 8.40 またはそれ以降 (元のチャートフィールドの場合) または Financials 9.0 (プロジェクト コスト管理チャートフィールドの場合) のリリースと統合している場合は、Financials システムでチャートフィールド設定プロセス (PYCONFIG) が完了すると、Financials データベースから HCM データベースに FSCM_CF_CONFIG サービス オペレーションが自動的に送信されます。

FSCM_CF_CONFIG サービス オペレーションは、Financials の最新のチャートフィールド テンプレートと、対応する全てのチャートフィールド ラベルから構成されます。サービス オペレーションを受信すると、HCM データベースでは、チャートフィールド設定テンプレートとラベルが比較され、HCM のチャートフィールド変更に必要なアクションが生成されます。これらの実行待ちのチャートフィールド変更アクションは、アクショ

ン ログ ファイルに記録されます。アクション ステータス ページでこれらの変更を確認し、システムに適用するタイミングを決定できます。標準チャートフィールド設定ページにあるボタンを使用して、設定ステータスを確認し、変更を適用します。

標準チャートフィールド設定ページ

標準チャートフィールド設定ページ (STANDARD_CF_TMPLT) を使用して、チャートフィールドをチャートフィールド値ページでできるようにアクティブにします。

PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], [標準チャートフィールド設定], [標準チャートフィールド設定]

画像: 標準チャートフィールド設定ページ

次の例では、標準チャートフィールド設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Standard ChartField Configuration							
	Status	Order	*Field Long Name	*Field Short Name	Display Length	Affiliate Type	IntraUnit Related ChartField
☐	Active	1	Account	Acct	10		
☐	Active	2	Department	Dept ID	10		
☐	Active	3	Project/Grant	Project	15		
☐	Active	4	Product	Product	6		
☐	Active	5	Fund Code	Fund	5		
☐	Active	6	Program Code	Program	5		
☐	Active	7	Class Field	Class	5		
☐	Active	8	Affiliate	Affl	5	InterUnit	Business Unit
☐	Active	9	Operating Unit	Operating Unit	8		
☐	Active	10	Alternate Account	Alt Account	10		
☐	Active	11	Budget Reference	Budget Ref	8		
☐	Active	12	Chartfield 1	Chartfield1	10		
☐	Active	13	Chartfield 2	Chartfield2	10		
☐	Active	14	Chartfield 3	Chartfield3	10		
☐	Inactive	99	Fund Affiliate	Fund Affil	10	IntraUnit	
☐	Inactive	99	Operating Unit Affiliate	Oper Unit Affil	10	IntraUnit	

標準チャートフィールド設定ページを最初に開いたときは、PeopleSoft によって提供された状態でチャートフィールドが表示されます。

ステータス

アクティブなチャートフィールドは、ページ、レポートおよびプロンプト リストに表示されます。非アクティブなチャートフィールドは、ページ、レポートおよびプロンプト リストには表示されませんが、レコードおよびページから削除されているわけではありません。

[関係会社 - 資金]、[関係会社 - 業務ユニット]、および [プロジェクト コスト管理] チャートフィールドは非アクティブの状態を提供されていますが、アクティブの状態を提供されるチャートフィールドでは要件を満たさない場合は、アクティブに変更できます。

警告 全ての設定を実行済みで、システムが稼働中の場合、チャートフィールドのステータスを変更しないでください。ステータスによって、チャートフィールドがシステム全体でページ、レポートおよびプロンプト リストに表示されるかどうかが決まります。

順序

このフィールドの順序連番を変更することによって、表示順序を変更できます。非アクティブなチャートフィールドの順序番号は 99 になります。アクティブなチャートフィールドには順序番号が必要です。非アクティブのチャートフィールドをアクティブに変更すると、使用可能な次の番号が自動的に割り当てられます。この番号は変更可能で、新たにアクティブにしたチャートフィールドに任意の連番を指定することができます。

ページを保存すると、最終的な並べ替えが自動的行われ、連番内の欠番や重複が削除されます。

重要 プロジェクト コスト管理のチャートフィールドは、[プロジェクト/グラント] チャートフィールドの位置との関係で常に同じです。フィールドの表示順序を変更すると、全てのプロジェクト コスト管理チャートフィールドも 1 つのブロックで一緒に移動します。

フィールド名称、フィールド略称

チャートフィールドの表示ラベルを変更するための、新規の名称と略称を入力します。これらの名称は、チャートフィールドのデータベース フィールド名ではなく、ページ、レポートおよびプロンプト リストに表示される名称です。

表示長

ページ上での表示長を変更するための新規の値を入力します。表示長には、チャートフィールドの実際のフィールド長よりも大きい値を指定できません。

関係会社タイプ

関係会社チャートフィールドは、[ユニット間関係会社] または [ユニット内関係会社] のいずれかになります。標準チャートフィールドには、関係会社タイプはありません。

ユニット内関連チャートフィールド

アクティブのユニット内関係会社チャートフィールドにはそれぞれ、フィールド長が同じかそれより小さい固有のユニット内関連チャートフィールドを指定する必要があります。(ユニット間関係会社チャートフィールドには、ビジネス ユニットが必須です。)

アクティブ

非アクティブのチャートフィールドをアクティブにするには、アクティブにするフィールドの隣のチェック ボックスをオンにし、[アクティブ] ボタンをクリックします。

非アクティブ

アクティブなチャートフィールドを非アクティブにするには、非アクティブにするフィールドの隣のチェック ボックスをオンにし、[非アクティブ] ボタンをクリックします。

警告 トランザクション データが転記済みであるチャートフィールドは、非アクティブにしないでください。非アクティブにすると、そのチャートフィールドは、ページやレポートに表示されません。

影響

このボタンをクリックすると、チャートフィールド設定 PSJob プロセス (PYCONFIG) がレポート モードで実行され、チャートフィールド変更の分析および新規テンプレートの適用による影響の割り出しが行われます。

設定ステータス

このボタンをクリックすると、アクション ステータス ページが表示され、標準チャートフィールドのアクティビティ ログや実行待ちの変更 (Financials からサブスクライブされているが未適用の変更など) を確認できます。

サブスクライブされた変更を適用する前に、[影響] ボタンをクリックしてその影響を確認してください。

変更の保存後、その変更を適用する前にキャンセルしたい場合、"設定ステータス - アクション ステータス" ページで、不要な設定アクションをキャンセルできます。これにより、チャートフィールドは、前の設定にリセットされます。

適用

このボタンをクリックすると、チャートフィールド設定 PSJob プロセス (PYCONFIG) が更新モードで実行され、チャートフィールド設定の変更が適用されます。

警告 標準チャートフィールド設定 ページに変更を加えた場合は、それらを有効にするために、チャートフィールド設定プロセスを更新モードで実行して変更を適用する必要があります。

変更を適用すると、アクティブなチャートフィールドのみが表示されるようになります。チャートフィールドは、この標準設定で定義した順番とラベルで表示されます。

チャートフィールド値の入力と管理

チャートフィールド値を入力、管理するには、チャートフィールド値コンポーネント (DEFINE_CF_VALUE) を使用します。

次の各トピックでは、チャートフィールドの概要、およびプロジェクト、権利付与、代替勘定科目値の追加について説明します。

チャートフィールドの設定と確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
チャートフィールド値ページ	DEFINE_CF_VALUES	アクティブなチャートフィールドのコンポーネントへのリンクが表示されます。アクセスするコンポーネントのリンクをクリックします。 このページには、標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定したチャートフィールドのコンポーネントへのリンクのみが表示されます。
一般会計勘定科目テーブル ページ	GL_ACCOUNT	新しい勘定科目チャートフィールドの値を設定します。勘定科目の値は、他のチャートフィールド値と組み合わせて有効なチャートフィールド組み合わせを作成するのに使用されます。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
部門ページ	DEPT_CHARTFIELD	部門を確認します。一般的に、部門は、組織を大きな単位で分類した区分 (事業部、業務ユニット、大学内の学部、関係官庁の支局など) を表します。通常、部門では予算と責任会計が重要視されます。 このページへの入力はありません。
プロジェクト/グラント ページ	PROJECT_CF	プロジェクトの値を追加して、プロジェクトの開始日と終了日、およびプロジェクトステータスを設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
製品ページ	PRODUCT	製品コードを追加します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ページ名	定義名	用途
資金コード ページ	FUND_DEFINITION	全てのタイプの資金について値を定義します。資金は、教育/公的機関の会計処理における基本的な構成単位です。資金は貸借一致の勘定科目セットとして管理され、財務報告書の作成に使用されます。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
プログラム コード ページ	PROGRAM_DEFINITION	コードを設定して、プログラムの財務情報の追跡を可能にします。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
クラス フィールド ページ	CLASS_PNL	コードを設定して、給与や賞与などのクラス金額の財務情報の追跡を可能にします。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
業務ユニット ページ	OPERATING_UNIT	コードを設定して、財務情報の追跡のための業務ユニットを指定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
<u>代替勘定科目ページ</u>	ALTACCOUNT	新しい代替勘定科目チャートフィールドの値を設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
予算参照ページ	BUDREF_PNL	予算キーと重複期間を共有する複数の予算について、一意に設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
チャートフィールド 1 ページ	CHARTFIELD1	新しい勘定科目チャートフィールド 1 の値を設定します。チャートフィールド 1 はユーザーが設定可能なチャートフィールドです。標準チャートフィールドの他にチャートフィールドが必要な場合に、このチャートフィールドをアクティブにして設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ページ名	定義名	用途
チャートフィールド 2 ページ	CHARTFIELD2	新しい勘定科目チャートフィールド 2 の値を設定します。チャートフィールド 2 はユーザーが設定可能なチャートフィールドです。標準チャートフィールドの他にチャートフィールドが必要な場合に、このチャートフィールドをアクティブにして設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
チャートフィールド 3 ページ	CHARTFIELD3	新しい勘定科目チャートフィールド 3 の値を設定します。チャートフィールド 3 はユーザーが設定可能なチャートフィールドです。標準チャートフィールドの他にチャートフィールドが必要な場合に、このチャートフィールドをアクティブにして設定します。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
ビジネス ユニット PC ページ	BUSINESS_UNIT_PC	財務転記およびレポート用の企業の標準会計手続きの制約なしに、プロジェクトを計画し、ビジネス データを収集するためのプロジェクト コスト管理のためのビジネス ユニットを設定します。プロジェクト コスト管理ビジネス ユニットによって、[プロジェクト ID]、[アクティビティ ID]、[リソース タイプ]、[リソース カテゴリ]、および[リソース サブカテゴリ]の各フィールドで使用できる値が決まります。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
アクティビティ ID ページ	ACTIVITY_ID	(省略可) レポートおよび分析を容易にするための標準アクティビティ タイプを作成します。アクティビティは、プロジェクト コスト管理ビジネス ユニットに依存します。[アクティビティ ID] の値を選択する前に、[ビジネス ユニット PC] および [プロジェクト ID] の値も選択する必要があります。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ページ名	定義名	用途
リソース タイプ ページ	RESOURCE_TYPE	トランザクションの目的を識別するために個々のトランザクションに割り当てることができるリソース タイプを定義します。 リソース タイプは、プロジェクト コスト管理のリソース グループ、レポート、およびプロセスが正しく機能するために必要です。実装されていない場合は、これらのソース タイプも設定する必要があります。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
リソース カテゴリ ページ	RESOURCE_CATEGORY	(省略可) リソース タイプをさらに定義するためのリソース カテゴリを設定します。レポートおよび分析目的のコストの追跡および分析について柔軟性と詳細度を高めるために、リソース グループにカテゴリを結合できます。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。
リソース サブカテゴリ ページ	RESOURCE_SUB_CAT	(省略可) カテゴリおよびリソース タイプをさらに定義するためのサブカテゴリを設定します。レポートおよび分析目的のコストの追跡および分析について柔軟性と詳細度を高めるために、リソース グループにカテゴリとサブカテゴリを結合できます。 PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

Financials からのチャートフィールドのインポートについて

PeopleSoft Financials リリース 8.0 またはそれ以降のリリースを使用している場合、インテグレーション ブローカーを使用して、Financials データベースからチャートフィールド値をインポートし、それらのデータを最新の状態に保ちます。

次の表は、インテグレーション ブローカーによる Financials からの元のチャートフィールドのインポートで 사용되는サービス オペレーションの一覧です。

チャートフィールド	サービス オペレーション
勘定科目	ACCOUNT_CHARTFIELD_FULLSYNC ACCOUNT_CHARTFIELD_SYNC

チャートフィールド	サービス オペレーション
プロジェクト/グラント	PROJECT_FULLSYNC PROJECT_SYNC
製品	PRODUCT_CHARTFIELD_FULLSYNC PRODUCT_CHARTFIELD_SYNC
資金コード	FUND_LOAD FUND_CF_SYNC
プログラム コード	PROGRAM_CF_FULLSYNC PROGRAM_CF_SYNC
クラス フィールド	CLASS_CF_FULLSYNC CLASS_CF_SYNC
業務ユニット	OPER_UNIT_CF_FULLSYNC OPER_UNIT_CF_SYNC
代替勘定科目	ALTACCT_CF_FULLSYNC ALTACCT_CF_SYNC
予算参照	BUDGET_REF_CF_FULLSYNC BUDGET_REF_CF_SYNC
チャートフィールド 1	CHARTFIELD1_FULLSYNC CHARTFIELD1_SYNC
チャートフィールド 2	CHARTFIELD2_FULLSYNC CHARTFIELD2_SYNC
チャートフィールド 3	CHARTFIELD3_FULLSYNC CHARTFIELD3_SYNC

インポートしたチャートフィールド値は、チャートフィールド値ページで参照できます。

次の表は、インテグレーション ブローカーによる Financials 9.0 からのプロジェクト コスト管理チャートフィールドのインポートで使用する追加のサービス オペレーションの一覧です。

チャートフィールド	サービス オペレーション	用途
ビジネス ユニット PC	BUS_UNIT_PC_FULLSYNC BUS_UNIT_PC_SYNC	Financials と HCM の間のビジネス ユニット情報の統合を提供します。

チャートフィールド	サービス オペレーション	用途
プロジェクト/グラント	PROJECT_FULLSYNC PROJECT_SYNC	Financials と HCM の間でプロジェクト、一般情報、および摘要を提供します。
アクティビティ ID	PROJECT_ACTIVITY_FULLSYNC PROJECT_ACTIVITY_SYNC	PROJECT_ACTIVITY_FULLSYNC メッセージングは、PROJ_ACTIVITY テーブル内の全ての行をパブリッシュし ます。 PROJECT_ACTIVITY_SYNC は、Financials と HCM の間でプロジェ クト、一般情報、および摘要に対するアク ティビティの変更を提供します。
リソース カテゴリ	RESOURCE_CAT_FULLSYNC RESOURCE_CAT_SYNC	Financials から HCM に、フル テーブル データ、およびリソース カテゴリ テーブル に対する変更を提供します。
リソース サブカテゴリ	RESOURCE_SUB_CAT_FULLSYNC RESOURCE_SUB_CAT_SYNC	FMS から HCM に、フル テーブル デー タ、およびリソース サブカテゴリ テーブル に対する変更を提供します。
リソース タイプ	RESOURCE_TYPE_FULLSYNC RESOURCE_TYPE_SYNC	RESOURCE_TYPE_FULLSYNPC メッ セージングは、リソース テーブル情報全 体を Financials から HCM にメッセージ で提供します。 RESOURCE_TYPE_SYNC メッセージン グは、HCM に対してのみ変更を提供し ます。

注: PeopleSoft Financials では、ソース レコードが COMBO_DATA_TBL であり、詳細プロジェクト チャー
トフィールドは含まれていないため、詳細プロジェクト チャートフィールドの HCM へのパブリッシュ
は、組合せ編集でサポートされていません。パブリッシュされる唯一のプロジェクト チャートフィールド
は、PROJECT_ID です。

詳細については、『*PeopleTools: Integration Broker*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

関連リンク

[導入するインテグレーションの特定](#)

その他の会計システムを使用している場合のチャートフィールド値について

PeopleSoft Financials と統合していない場合、または PeopleSoft Financials システムにインテグレーショ
ン ブローカー機能が組み込まれていない場合、チャートフィールド値を HCM データベースに直接入力して
管理する必要があります。

標準チャートフィールド設定ページでアクティブなチャートフィールドによって、チャートフィールド値の入力が可能なページが決まります。

注: チャートフィールド値には、特殊文字や組み込みブランクを使用しないことをお勧めします。一般的に使用される英数字やアンダースコアを使用してください。特殊文字や組み込みブランクはエラーの原因となる可能性があり、特にバックグラウンド処理で問題を引き起こす可能性があります。

プロジェクト チャートフィールドを除いて、チャートフィールド値の定義への変更には全て有効日が設定されます。そのため、いつ部門をアクティブに設定するか製品ラインを導入するか、勘定科目をクローズするかなどを設定できます。有効日機能をアクティブ/非アクティブ機能と共に使用することにより、全ての変更や追加に関する完全な履歴を保持し、完全な監査証跡を提供し、過去、現在、将来の状況について比較することができます。あるチャートフィールド値を今後使用しない場合は、元の行を非アクティブにするのではなく、行を追加して有効日を設定した非アクティブなエントリを作成します。既存の行を非アクティブに設定するだけでは、チャートフィールド値がアクティブだったときの履歴が残りません。

最初にチャートフィールド テーブルに値を入力すると、以降はチャートフィールド値ページで管理できます。

関係会社チャートフィールドについて

組織がコミットメント会計を使用しており、ビジネス ユニット、資金、業務ユニットなど複数の関連エンティティ間で同じ勘定科目チャートフィールド値を使用して、ユニット間またはユニット内の取引を管理する場合は、関係会社チャートフィールド値を使用します。たとえば、各エンティティにおいて、勘定科目 140000 をユニット間の売掛金および買掛金の両方の勘定科目として使用するとします。各エンティティでは、別の勘定科目を設定することができます。ただし、売掛金または買掛金の相手先エンティティを識別するため、各インスタンスにおいて、関係会社チャートフィールド値が会計処理行に割り当てられている必要があります。

PeopleSoft では、以下の関係会社チャートフィールドが標準で用意されています。

- 関係会社チャートフィールド

ビジネス ユニットと関連したユニット間会計処理でのみ使用されます。

- 関係会社 - 資金チャートフィールド

エンティティ間のユニット内会計処理で使用されます。

- 関係会社 - 業務ユニット チャートフィールド

エンティティ間のユニット内会計処理で使用されます。

関係会社チャートフィールドの値には、関連するチャートフィールドの値を使用します。つまり、勘定科目や部門などのように、単独のチャートフィールドとして関係会社の値を入力するための関係会社チャートフィールド ページが存在するわけではありません。

関係会社用に、ビジネス ユニットのユニット間関連チャートフィールドとして入力する必要があります。この値を入力すると、仕訳入力ページの関係会社フィールドのリスト ボックスで使用可能な値が設定されます。

プロジェクト コスト管理チャートフィールドについて

プロジェクト コスト管理では、リソース タイプ、カテゴリ、およびサブカテゴリ間の依存を定義できます。こうした依存関係によって、データ入力を制御し、エラーを減らすことができます。PeopleSoft Financials を使用している場合、プロジェクト コスト管理アプリケーションのプロジェクト コスト管理定義ページでこれらのオプションを指定します。

PeopleSoft には、以下のプロジェクト コスト管理チャートフィールドが用意されています。

- リソース タイプ
- リソース カテゴリ
- リソース サブカテゴリ

リソース タイプは、必要に応じて一般または固有として指定できます。たとえば、労働リソース タイプを使用すると、プロジェクト労働コスト合計を追跡でき、超過勤務および標準労働リソース タイプを使用すると、超過勤務と標準労働をそれぞれ追跡できます。

レポートおよび分析目的のコストの追跡および分析について柔軟性と詳細度を高めるために、リソース グループにカテゴリとサブカテゴリを結合できます。たとえば、労働リソース タイプを建築家労働、大工労働、および配管工労働などの別々のカテゴリの労働に分割し、標準勤務時間および超過勤務時間に対するサブカテゴリを作成できます。これらのカテゴリとサブカテゴリを使用することによって、プロジェクトの労働コスト合計、超過勤務時間合計、建築家の超過勤務時間、および大工の標準勤務時間などの項目を追跡できます。

リソース タイプ、カテゴリ、およびサブカテゴリでは、トランザクションを柔軟に定義できます。これらのフィールドの関係を定義すると、特定のフィールドのデータ入力オプションを制御できます。関係は、1 対 1 または 1 対多を指定できます。リソース タイプを特定のカテゴリに関連付け、リソース タイプをトランザクションに割り当てた場合、リソース カテゴリを割り当てることができるのは、そのカテゴリがリソース タイプに関連付けられている場合のみです。たとえば、労働リソース タイプを含むトランザクションは、労働に関連付けられているリソース カテゴリにのみ入力できます。リソース カテゴリとリソース サブカテゴリの間の関係についても同様です。

プロジェクト/グラント ページ

プロジェクト/グラント ページ (PROJECT_CF) を使用して、プロジェクトの値を追加して、プロジェクトの開始日と終了日、およびプロジェクト ステータスを設定します。

PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ナビゲーション

チャートフィールド値ページで [プロジェクト/グラント] リンクをクリックします。

画像: プロジェクト/グラント ページ

次の例では、プロジェクト/グラント ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Project/Grant

SetID: SHARE

Project: AD PROJ-CA

*Description: ACCT_CD

*Integration: CAN01

Start Date:

Business Unit: CAN01

Status: Active

End Date:

Project Status			Personalize Find View All  		First	1 of 1	Last
Effective Date	*Project Status	Description					
07/07/2014							

- インテグレーション

プロジェクトとプロジェクトレベルに対して、インテグレーションテンプレートを選択します。
- 開始日、終了日

これらのフィールドは参照専用です。バックグラウンドでの処理はありません。
- プロジェクト ステータス

有効日を入力してプロジェクト ステータスを選択し、プロジェクトの処理サイクルにおけるさまざまな段階を示します。

注: これらのフィールドは参照専用です。

代替勘定科目ページ

代替勘定科目ページ (ALTACCOUNT) を使用して、新しい代替勘定科目チャートフィールドの値を設定します。

PeopleSoft Financials と統合している場合、このページは入力できません。

ナビゲーション

チャートフィールド値ページで [代替勘定科目] リンクをクリックします。

画像: 代替勘定科目ページ

次の例では、代替勘定科目ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

PeopleSoft の代替勘定機能を使用すると、分析用の勘定科目や主要勘定科目と共に、法定勘定科目表について、詳細な取引レベルで入力できます。代替勘定科目を使用して、法定報告書類の要件に合わせた仕訳行や取引レベルの残高が得られます。主要勘定科目チャートフィールドには企業で使用する勘定科目が、代替勘定科目チャートフィールドには法定勘定科目が設定されます。代替勘定機能は、内部管理や親会社への提出用と、地方管轄機関や中央政府への提出用の、2 種類の異なるレポートを作成する必要のある企業にとって便利な機能です。

PeopleSoft アプリケーションでは、分析用または主要な勘定科目チャートフィールドは ACCOUNT です。

一方、地方行政監督機関から法定勘定科目の使用を求められる場合があります。PeopleSoft アプリケーションでは、この法定勘定科目のことを代替勘定科目チャートフィールド (ALTACCT) と呼びます。

ユーザーは、代替勘定科目チャートフィールドの値と勘定科目チャートフィールドの値を関連付けます。これにより、勘定科目チャートフィールドに値を入力すると、関連付けられた代替勘定科目にも自動的に値が入力されます。また、代替勘定科目チャートフィールドに値を入力すると、関連付けられた勘定科目にも自動的に値が入力されます。デフォルトの値は、選択リストから別の値を選択して上書きすることができます。選択リストに表示されるのは、あらかじめユーザーが勘定科目チャートフィールドまたは代替勘定科目チャートフィールドにマッピングした勘定科目値だけです。

注: 別のセットID が設定されていない限り、代替勘定科目チャートフィールドをマッピングできるのは同じ属性の勘定科目チャートフィールドのみです。

詳細説明

代替勘定科目の目的や用途、および転記される取引のタイプの説明を任意で入力できます。

勘定科目タイプ

注: このフィールドは参照専用です。

勘定科目タイプ ページであらかじめ定義したタイプから選択します。

統計科目

注: このフィールドは参照専用です。

このチェック ボックスをオンにすると、金額が通貨額ではなく、統計値に対して使用されます。このチェック ボックスをオンに設定した場合は、単位を指定する必要があります。

コントロール

注: このフィールドは参照専用です。

このチェック ボックスをオンに設定すると、仕訳ジェネレータによってのみ、この代替勘定科目を更新可能であることを示します。コントロール勘定科目は、アプリケーションに記録された明細のサマリを表します。

注: このフィールドは参照専用です。

有効なチャートフィールド組み合わせの入力と管理

HCM に有効なチャートフィールド組み合わせを入力するには、組合せコード テーブルのロード (RUN_BUD003) と、組合せコード テーブル (VALID_COMBO_TABLE) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、組合せコード、有効な組み合わせのロード、およびスピード入力の概要と、組合せコードについて説明します。

チャートフィールド組み合わせの入力と確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>組合せコード テーブルのロード ページ</u>	RUNCTL_FILEPATH	組合せコードのロード プロセス (BUD003) を実行して、HR_ACCT_CD_LOAD サービス オペレーションにより GL_ACCT_CD_TBL に既にインポート済みであるチャートフィールド組み合わせを組合せコード テーブルにロードします。

ページ名	定義名	用途
<u>組合せコード テーブル ページ</u>	VALID_COMBO_TBL	HCM にインポート済みであり、組合せコードのロード プロセス (BUD003) によってロードされている全ての組合せコードを確認します。 有効なチャートフィールド値の組み合わせをインポートしない場合は、手動でそれらの値を定義して、確認します。
資金ソース情報ページ	HP_FUNDSRC_INF_SBP	資金ソースのデフォルトの資金割当終了日を表示します。PeopleSoft ヒューマン リソース管理のコミットメント会計管理ビジネス プロセスでは、この情報が使用されます。
組合せコードレポート ページ	PRCSRUNCNTL	組合せコードレポート (PAY760) を実行して、有効組合せテーブル (VALID_COMBO_TBL) の内容についてのレポートを作成します。
スピード入力ページ	HMCF_SPEEDTYPE	PeopleSoft Financials で管理されているスピード入力テーブルを確認します。

組合せコードについて

組合せコードとは、チャートフィールドの組み合わせを定義するためのキーのことです。取引の一般会計への転記プロセスを実行する際、組合せコードによって、各取引に含めるチャートフィールドが特定されます。

有効な組合せコードとは、一般会計で有効なチャートフィールドの組み合わせです。有効な組合せコードは、有効組合せテーブル (VALID_COMBO_TBL) に保存され、チャートフィールド組み合わせの検証プロセスで使用されます。

注: 有効な組合せコードを使用せずに、トランザクション ページでチャートフィールド組み合わせを入力したい場合は、組合せコード テーブルにはロードしないでください。チャートフィールドトランザクション テーブル (ACCT_CD_TABLE) には、ユーザーが使用するチャートフィールド組み合わせがロードされるため、ユーザーはこれらの組み合わせを追跡したり再利用することができます。

関連リンク

[HCM トランザクションでのチャートフィールド組み合わせの編集](#)

有効組合せテーブルのロードについて

このトピックでは、有効な組合せコードを有効組合せテーブルに入力する 3 つの方法について説明します。どの方法を使用するかは、主として、使用している一般会計システムとそのバージョンによって異なります。

Financials データベースからのインポート

PeopleSoft Financials 8.0 またはそれ以降のリリースと統合している場合、インテグレーション ブローカーを使用して、Financials データベースから有効なチャートフィールド組み合わせをインポートして、それらのデータを最新の状態に保つことができます。

Financials から有効な組み合わせをインポートするには、次の手順に従います。

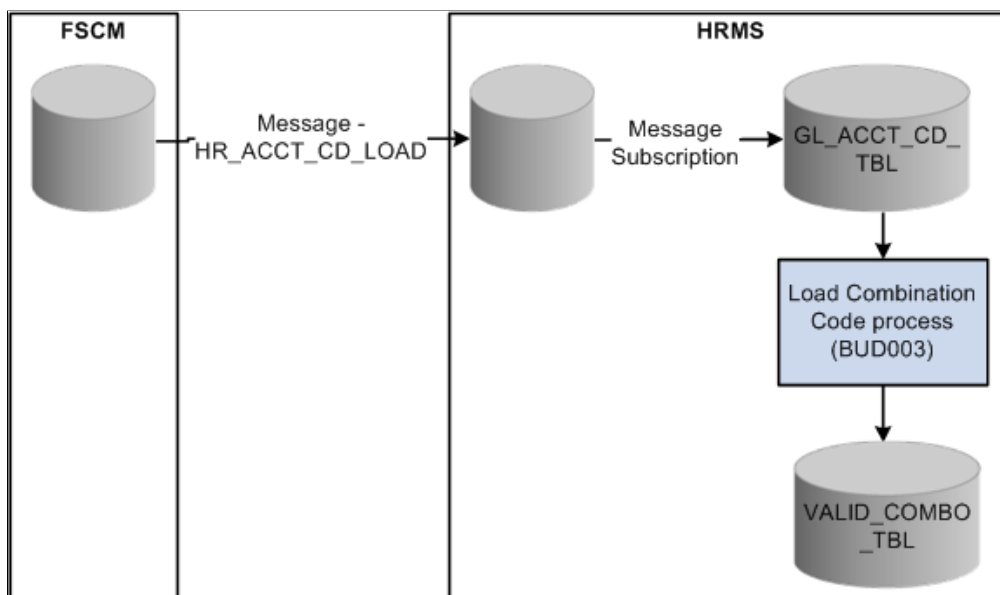
1. HR_ACCT_CD_LOAD インテグレーション ブローカー サービス オペレーションを使用して、組み合わせデータ情報を Financials (FSCM) から HCM にパブリッシュします。

HCM がこのサービス オペレーションを受信すると、データはハンドラによって正しいレイアウトに配置され、GL_ACCT_CD_TBL にロードされます。

2. 組合せコードのロード SQR プロセス (BUD003) を実行して、有効組合せテーブルにロードします。

画像: Financials データベースからの有効組合せコードのインポート

次の図は、前述の Financials データベースからの有効組合せコードのインポート プロセスを示しています。



フラット ファイルのロード

インテグレーション ブローカー機能が組み込まれていない会計システムと統合している場合は、インバウンドフラットファイル プロセスを使用して、有効組合せテーブル (VALID_COMBO_TBL) にロードし、管理します。

インバウンドフラットファイル プロセスを使用して、有効な組合せコードをロードするには、次の手順に従います。

1. 有効な組み合わせデータを含むフラット ファイルを、GL_ACCT_CD_TBL で指定されたレイアウトフォーマットで作成します。

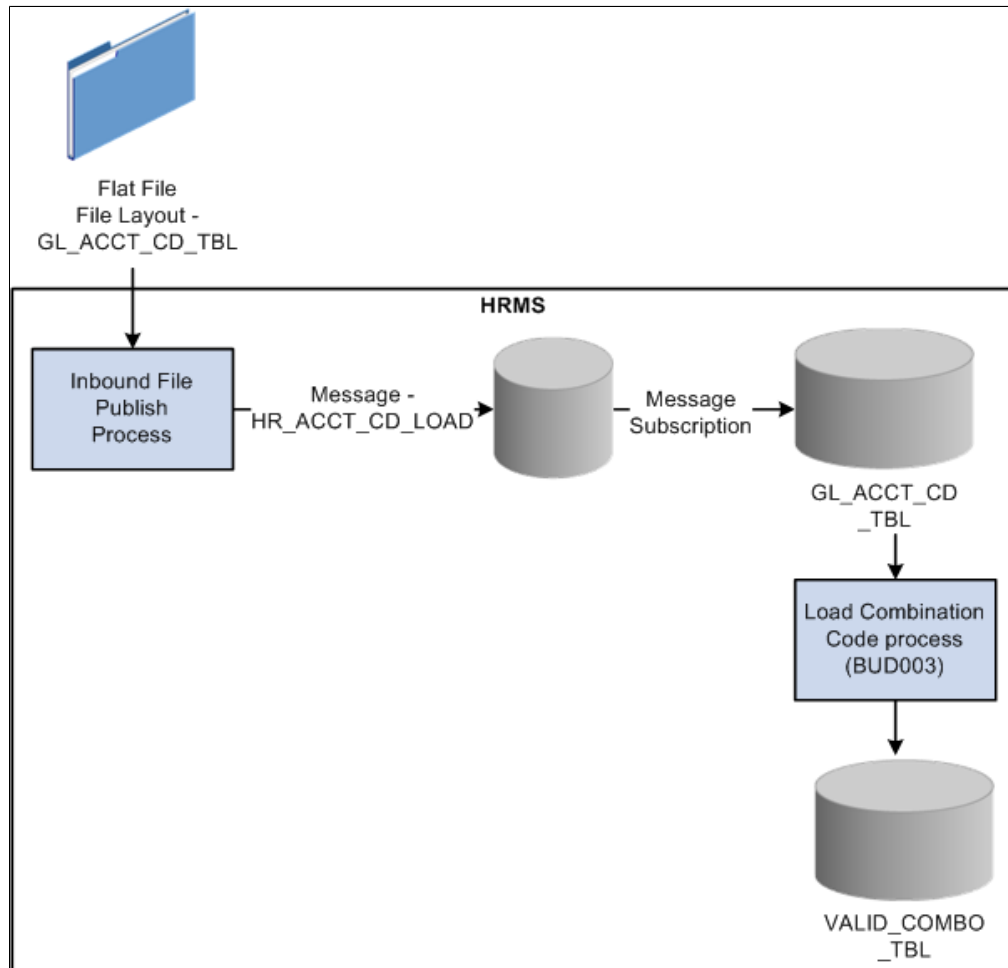
2. HR_ACCT_CD_LOAD サービス オペレーションを使用して、この組み合わせデータをパブリッシュするインバウンド フラット ファイル プロセスを開始します。

サービス オペレーションが受信されると、データはハンドラによって正しいレイアウトに配置され、GL_ACCT_CD_TBL にロードされます。

3. 組合せコードのロード SQR プロセス (BUD003) を実行して、有効組合せテーブルにロードします。

画像: フラット ファイルを使用した有効組合せコードのインポート

次の図は、前述のフラット ファイルを使用した有効組合せコードのインポート プロセスを示しています。



手動によるロード

PeopleSoft Financials と統合していない場合、有効なチャートフィールド組み合わせを組合せコード テーブル ページで直接入力できます。インストール テーブルで一般会計インジケータが選択されている場合、このページでデータを手動で入力することはできません。

『PeopleSoft FSCM: Resource Management』を参照してください。

スピード入力について

"スピード入力"とは、頻繁に使用されるチャートフィールド組み合わせに使用するショートカット キーのことを指します。スピード入力を使用することによって、入力作業を最小限にし、仕訳の効率を大幅に向上させ、エラーを削減できます。

PeopleSoft Financials 8.0 またはそれ以降のリリースと統合している場合、HR_CHARTFLD_COMBO_SYNC サービス オペレーションを使用して、スピード入力テーブルを最新の状態に保つことができます。Financials データベースのスピード入力テーブルに変更が加えられると、インテグレーション ブローカーによる HCM の更新が起動されます。

組合せコード テーブルのロード ページ

組合せコード テーブルのロード ページ (RUNCTL_FILEPATH) を使用して、組合せコード テーブルのロード プロセス (BUD003) を実行して、HR_ACCT_CD_LOAD サービス オペレーションにより GL_ACCT_CD_TBL に既にインポート済みであるチャートフィールド組み合わせを組合せコード テーブルにロードします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], [組合せコード テーブルのロード], [組合せコード テーブルのロード]

画像: 組合せコード テーブルのロード ページ

次の例では、組合せコード テーブルのロード ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

指定日

PeopleSoft 一般会計からインポートするチャートフィールド組み合わせの指定日を入力します。

非アクティブ勘定をダウンロードしない

このチェック ボックスをオンにすると、現在の会計年度で該当する項目のない組み合わせが非アクティブになります。

このチェック ボックスをオフにすると、古い組み合わせが現在の会計年度でもアクティブのままになります。

組合せコード テーブル ページ

組合せコード テーブル ページ (VALID_COMBO_TBL) を使用して、HCM に対して組合せコードのロードプロセス (BUD003) によってインポートされた全ての組合せコードを確認します。有効なチャートフィールド値の組み合わせをインポートしない場合は、手動でそれらの値を定義して、確認します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], [組合せコード テーブル], [組合せコード テーブル]

画像: 組合せコード テーブル ページ

次の例では、組合せコード テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Combination Code Table

Set ID SHARE

GL Combination Code P00000001

Combination Code Detail

Find | View All

First 1 of 1 Last

*Effective Date01/01/1990

*StatusActive

*DescriptionSalaries

Short DescSalaries

☒ Valid Value

ChartField Detail

Account :	610000
Department :	10500
Project/Grant :	
Product :	
Fund Code :	
Program Code :	
Class Field :	
Affiliate :	
Operating Unit :	
Alternate Account :	
Budget Reference :	P001-REF
Chartfield 1 :	P001SA-CF1
Chartfield 2 :	P00110-CF2
Chartfield 3 :	P0006101-3

Funding Source Information

注: Financials からインポートされた組合せコードのチャートフィールド値は変更できませんが、名称を変更したり、アクティブまたは非アクティブに設定できます。

一般会計組合せコード

HCM のページでこのコードを入力して、チャートフィールドのこの組み合わせをトランザクションで使用します。

組合せコードは、以下の条件に合致する場合、インストール テーブルの [組合せコードの最終採番番号] フィールドに基づき、システムによって連番で生成されます。

- チャートフィールド組み合わせを、インテグレーション ブローカーによって Financials から受信済みであること
- [一般会計組合せコード] の値が、インバウンドフラットファイルで提供されたものではないこと
- チャートフィールド組み合わせを手動で追加し、[一般会計組合せコード] の値を事前に割り当てていないこと

有効値

このフィールドは、セットID に対して初めてチャートフィールド組み合わせを入力するときのみ入力可能となります。チャートフィールド組み合わせが有効な場合に、オンにします。同じセットID に組み合わせが既に存在している場合、このフィールドには、既存の組み合わせの値に基づいて値が自動的に入力され、変更することはできません。

資金ソース情報

このリンクをクリックすると、資金ソース情報ページが表示され、デフォルトの資金割当終了日が示されます。コミットメント会計管理ビジネス プロセスは、部門予算およびエンカンパランス定義でデフォルトの資金割当終了日を使用します。

Funding End Dates and Multiyear EncumbrancesPeopleSoft Human Resources Manage Commitment Accounting を参照してください。

チャートフィールド詳細

組合せコードを手動で設定している場合、このチャートフィールド組み合わせに適用される各チャートフィールドのチャートフィールド値を入力します。

注: 標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定されているチャートフィールドのみが、このページに表示されます。

チャートフィールド トランザクションの確認と管理

チャートフィールド トランザクションの確認と管理を行うには、チャートフィールド トランザクション テーブル (ACCT_CD_TABLE) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、チャートフィールドトランザクション検索ページとチャートフィールドトランザクションテーブルの概要、およびチャートフィールドトランザクションの確認と管理方法について説明します。

チャートフィールドトランザクションの確認と管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
チャートフィールドトランザクション テーブル ページ	ACCT_CD_TABLE	処理で使用されたチャートフィールドの組み合わせがチャートフィールドトランザクション テーブルに表示されます。このページで、組合せコードに関する追加情報を管理します。
チャートフィールドトランザクション レポート ページ	PRCSRUNCNTL	チャートフィールドトランザクション レポート (PAY710) を実行して、チャートフィールドトランザクション テーブルの内容についてレポートを作成できます。

チャートフィールドトランザクション検索ページについて

チャートフィールドトランザクション テーブル検索ページにアクセスすると、[追加チャートフィールドの検索] フィールドが表示されます。このフィールドを使用して、アクセスするチャートフィールドのタイプの検索を絞り込みます。オプションは、*[元のチャートフィールド]*、*[追加チャートフィールド]*、および *[プロジェクトコスト管理チャートフィールド]* です。このフィールドに特に指定しない限り、検索ページは元のチャートフィールドの検索にデフォルト設定されます。

チャートフィールドトランザクション テーブルについて

トランザクション ページで有効な組合せコードを選択したか、または個々のチャートフィールド値の組み合わせを選択したかにかかわらず、HCM トランザクションでチャートフィールド値の新規の組み合わせを使用すると、必ずレコードが作成されます。チャートフィールドトランザクション テーブルにこの組み合わせが保存されて、トランザクションで使用されたチャートフィールド組み合わせの履歴が管理されます。

チャートフィールドトランザクション レポート (PAY710) を使用して、チャートフィールドトランザクション テーブルの内容についてレポートを作成できます。

注: 有効な組合せコードを使用せずに、トランザクション ページでチャートフィールド組み合わせを入力したい場合は、有効組合せテーブルには入力しないでください。チャートフィールドトランザクション テーブル (ACCT_CD_TABLE) には、ユーザーが使用するチャートフィールド組み合わせがロードされるため、ユーザーはこれらの組み合わせを追跡したり再利用することができます。

チャートフィールドトランザクション テーブル ページ

チャートフィールドトランザクション テーブル ページ (ACCT_CD_TABLE) を使用して、処理で使用されたチャートフィールドの組み合わせをチャートフィールドトランザクション テーブルに表示します。

このページで、組合せコードに関する追加情報を管理します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], [チャートフィールドトランザクション テーブル], [チャートフィールドトランザクション テーブル]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [予算情報], [チャートフィールドトランザクション テーブル], [チャートフィールドトランザクション テーブル]

画像: チャートフィールドトランザクション テーブル ページ

次の例では、チャートフィールドトランザクション テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ChartField Transaction Table

Combination Code 000000001

Combination Code Detail

*Description Salaries

Short Desc Salaries

☐ Direct Charge

☒ Prorate Liability Indicator

ChartField Detail

Account :	5000
Department :	114
Project/Grant :	FACTORY
Product :	
Fund Code :	100
Program Code :	1000
Class Field :	10
Affiliate :	
Operating Unit :	
Alternate Account :	
Budget Reference :	0001-REF
Chartfield 1 :	0001SA-CF1
Chartfield 2 :	000111-CF2
Chartfield 3 :	00005001-3

Encumbrance Account

Pre-Encumbrance Account

Funding Source Information

このページのチャートフィールド情報は入力できませんが、組み合わせに関する情報を管理できます。標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定されているチャートフィールドのみが、このページに表示されます。

組合せコード

有効組合せテーブルにインポートまたは作成された有効な組合せコードでない場合、チャートフィールドのこの一意の組み合わせに組合せコードが自動的に割り当てられます。組合せコードを

トランザクション ページで使用すると、チャートフィールドのこの特定の組み合わせを再利用できます。

組合せコード詳細

直接請求

実績の配分プロセスでこの組合せコードを使用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。このフィールドの情報は参照専用のため、処理には影響しません。

負債比例配分

負債を比例配分する必要のある場合は、このチェック ボックスをオンにします。

実績 GL インターフェイス プロセスが実行される際、[負債比例配分] フラグの設定がシステムによって確認されます。このチェック ボックスをオンに設定すると、従業員負担の税金と控除が所得経費全体に比例配分されます。

エンカンバランス勘定科目、プレエンカンバランス勘定科目

これらのフィールドは、ユーザー独自の GL インターフェイスで使用できます。PeopleSoft ヒューマン リソース管理のコミットメント会計管理ビジネス プロセスでは、これらのフィールドは使用されません。

資金ソース情報

このリンクをクリックすると資金ソース情報ページが表示され、この組合せコードのデフォルトの資金割当終了日が表示されます。

Funding End Dates and Multiyear EncumbrancesPeopleSoft Human Resources Manage Commitment Accounting を参照してください。

HCM トランザクションでのチャートフィールド組み合わせの編集

次の各トピックでは、チャートフィールド検証の概要およびチャートフィールドの組み合わせの編集について説明します。

HCM トランザクションでのチャートフィールド組み合わせの編集に使用するページ

ページ名	定義名	用途
チャートフィールド詳細ページ	HMCF_HRZNTL_CFLD	PeopleSoft HCM トランザクションでチャートフィールドまたは組合せコードを入力または確認します。
組合せコードの検索ページ	HMCF_VLD_CMBO_SRCH	有効な組合せコードを使用して、チャートフィールドを検索します。

ページ名	定義名	用途
<u>スピード入力の検索ページ</u>	HMCF_SPD_TYP_SRCH	PeopleSoft Financials のスピード入力を使用して、チャートフィールドを検索します。
組合せコードの検索ページ	HMCF_COMBO_CD_SRCH	チャートフィールドを個別に選択するか、またはトランザクションで既に使用されている有効なチャートフィールド組み合わせを検索します。

チャートフィールドの検証について

チャートフィールド組合せコードを入力する、どの HCM トランザクション ページからも、共通のチャートフィールド詳細ページ (HMCF_HRZNTL_CFLD) にアクセスでき、その組合せコードに関連付けられたチャートフィールド詳細を入力または表示することができます。新しいチャートフィールド組み合わせを入力すると、組合せコード検証プロセスがシステムによって実行され、入力された組み合わせが有効であるかどうかを確認されます。

以下のいずれかの検証方法が使用されます。

- PeopleSoft Financials 8.4.01 またはそれ以降のリリースと統合している場合、COMBO_CF_EDIT_REQUEST と COMBO_CF_EDIT_REPLY サービス オペレーションによって、組み合わせの検証が Financials データベースに対して実行されます。
- PeopleSoft Financials 8.4.01 またはそれ以降のリリースと統合しておらず、有効組合せテーブル (VALID_COMBO_TBL) に有効な組み合わせをロードした場合、有効組合せテーブルが検索され、指定された個々のチャートフィールド値に一致するチャートフィールド組み合わせが検出されます。
- PeopleSoft Financials 8.4 またはそれ以降のリリースと統合しておらず、有効組合せテーブルに値をロードしていない場合、選択されたチャートフィールドの組み合わせは有効であると仮定され、一致する値を検出するためにトランザクション テーブルが検索されます。

一致する値が検出された場合、対応する組合せコードが使用されます。検出されなかった場合、次に使用可能な番号が割り当てられ組合せコードが生成されます。

注: 新しく作成した組合せコードの有効日は現在日です。トランザクションの有効日がこの日付より前の場合は、作成元のトランザクションに対して有効なコードになるように、新しく作成した組合せコードの有効日を変更する必要があります。

チャートフィールド詳細ページ

チャートフィールド詳細ページ (HMCF_HRZNTL_CFLD) を使用して、PeopleSoft HCM トランザクションでチャートフィールドまたは組合せコードを入力または確認します。

ナビゲーション

HCMトランザクション ページの [チャートフィールド詳細] または [チャートフィールドの編集] リンクまたはボタンをクリックします。

画像: チャートフィールド詳細ページ (1/2)

次の例では、チャートフィールド詳細ページ (1/2) の左側にあるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ChartField Common Component

ChartField Details

Combination Code

Search Options

☒ Combination Codes
☐ Speed Types

Search

ChartField Detail

Account	Department	Project/Grant	Product	Fund Code	Program Code	Class Field	Affiliate

Ok Cancel

画像: チャートフィールド詳細ページ (2/2)

次の例では、チャートフィールド詳細ページ (2/2) の右側にあるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Operating Unit	Alternate Account	Budget Reference	Chartfield 1	Chartfield 2	Chartfield 3

注: このページのタイトルは、アクセス元のトランザクション ページによって、より具体的な名称に変わる場合があります。

組合せコードがトランザクション ページで既に入力されている場合、関連付けられているチャートフィールド値がこの詳細ページに表示されます。トランザクション ページで修正モードにあるか、新規の有効日行を表示している場合、個々のチャートフィールド値を変更し、新しい組み合わせが有効であることをシステムにより判断することができます。それ以外の場合、このページは表示専用となり、チャートフィールド値の確認のみを行うことができます。

トランザクション ページで組合せコードを入力していない場合、詳細ページのチャートフィールド値は空白となり、必須のチャートフィールドに個別に値を入力できます。

注: 標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定されているチャートフィールドのみが、このページに表示されます。

検索オプション

使用可能なオプションを選択して、既存のチャートフィールド組み合わせを検索します。使用可能なオプションは以下のとおりです。設定している組合せコード テーブルによって、使用できるオプションは異なります。

- 組合せコード

このオプションは、有効組合せテーブル (VALID_COMBO_TBL) に値を入力している場合、使用可能です。

- スピード入力

このオプションは、PeopleSoft 一般会計からスピード入力の値をインポートしている場合、使用可能です。

組合せコードの検索ページ

組合せコードの検索ページ (HMCF_VLD_CMBO_SRCH) を使用して、有効な組合せコードを使用してチャートフィールドを検索します。

ナビゲーション

チャートフィールド詳細ページで、[組合せコード] オプション ボタンを選択して、[検索] ボタンをクリックします。

画像: 組合せコードの検索ページ

次の例では、組合せコードの検索ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: 標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定されているチャートフィールドのみが、このページにフィールドとして表示されます。

組合せコードを検索するには、次の手順に従います。

1. 個々のチャートフィールド値を入力します。

それらのチャートフィールド値に一致するチャートフィールド組合せコードが全て検出されます。

2. 使用する組合せコードを選択します。

個々のチャートフィールド値が全て入力された状態で、チャートフィールド詳細ページが自動的に表示されます。

スピード入力の検索ページ

スピード入力の検索ページ (HMCF_SPD_TYP_SRCH) を使用して、PeopleSoft Financials のスピード入力を使用してチャートフィールドを検索します。

ナビゲーション

チャートフィールド詳細ページで、[スピード入力] オプション ボタンを選択して、[検索] ボタンをクリックします。

画像: スピード入力の検索ページ

次の例では、スピード入力の検索ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Speed Types

SpeedType Key

Search by ChartFields

Account

Affiliate

Department

Operating Unit

Project/Grant

Alternate Account

Product

Budget Reference

Fund Code

Chartfield 1

Program Code

Chartfield 2

Class Field

Chartfield 3

Search

Clear

Cancel

ChartField Detail

	Select	SpeedType	Account	Department	Project/Grant	Product	Fund Code	Program Code	Class Field
1	Select								

注: 標準チャートフィールド設定ページでアクティブに設定されているチャートフィールドのみが、このページにフィールドとして表示されます。

スピード入力を使用して組合せコードを検索するには、次の手順に従います。

1. 個々のチャートフィールド値を入力します。

それらのチャートフィールド値に一致するスピード入力が全て検出されます。

2. 使用するスピード入力を選択します。

個々のチャートフィールド値が全て入力された状態で、チャートフィールド詳細ページが自動的に表示されます。

3. これらの値はスピード入力を使用して選択されているため、有効なチャートフィールド組合せを作成するには、チャートフィールド値の追加入力が必要となる場合があります。

Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

515

国別機能の設定

国別機能の設定について

自国または複数の国の従業員を管理するにあたって、テーブルをいくつか設定する必要があります。設定したテーブルは、国別の要件をサポートするために基本コントロール テーブルで参照されます。この設定は、支給グループなどの基本コントロール テーブルを設定したり、会社、所在地、部門、職務コードなどを定義する前に行ってください。

(CHE) スイスの郵便番号の管理

スイスの郵便番号を管理するには、郵便番号のロード CHE コンポーネント (POSTAL_LOAD_CHE) を使用します。

次の各トピックでは、スイスの郵便番号管理の概要およびその有効な住所の更新方法について説明します。

スイスの有効な住所の管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
郵便番号のロード CHE ページ	POSTAL_LOAD_CHE	スイスの郵便番号情報を、有効な住所テーブルにロードします。

スイスの郵便番号管理について

郵便番号を更新するには、以下の手順に従います。

1. Swiss Post の Web サイトから最新の郵便番号の一覧をダウンロードして、保存した一覧ファイルへのパスをメモします。
2. Swiss Post の Web サイトから最新の代替名の一覧をダウンロードして、保存した一覧ファイルへのパスをメモします。
3. 郵便番号のロード CHE ページで、ファイルへのパスを入力し、有効な住所ファイルと代替名ファイルを有効な住所テーブルにロードします。

有効な住所テーブルの情報を使用して、郵便番号に正しい市区町村名が対応しているかどうかを確認されます。

郵便番号のロード CHE ページ

郵便番号のロード CHE ページ (POSTAL_LOAD_CHE) を使用して、スイスの郵便番号情報を有効な住所テーブルにロードします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [郵便番号のロード CHE], [郵便番号のロード CHE]

画像: 郵便番号のロード CHE ページ

次の例では、郵便番号のロード CHE ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Load Postal Codes CHE

Postal Codes File

Alternate Names File

Load Data

Postal Codes CHE

Personalize | Find | View 100 |   First  1-6 of 5162  Last

	State	Postal Code	City
1	VD	1000	Chailly-sur-Lausanne
2	VD	1000	Lausanne
3	VD	1000	Lausanne 1 CC Distribution
4	VD	1000	Lausanne 12
5	VD	1000	Lausanne 13
6	VD	1000	Lausanne 14

- 郵便番号ファイル

Swiss Post からダウンロードした郵便番号ファイルへの絶対パスを入力します。
- 代替名ファイル

Swiss Post からダウンロードした代替名ファイルへの絶対パスを入力します。
- データ ロード

このボタンをクリックすると、郵便番号データが有効な住所テーブルにロードされます。
- 都道府県/州、郵便番号、市

最初は、このフィールドには、現在有効な住所テーブルのデータが表示されます。ロード処理を行うと、更新されたデータが表示されます。

(DEU) コントロール テーブルの設定

ドイツの産業調査コードを設定するには、産業調査コンポーネント (IDUST_INSPEC_GER) を使用します。

このトピックでは、ドイツの産業調査コードの設定方法について説明します。

ドイツの産業調査コードの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>産業調査ページ</u>	INDUST_INSP_GER	組織の所在地に関連付ける、ドイツの産業調査コードを設定します。

産業調査ページ

産業調査ページ (INDUST_INSP_GER) を使用して、組織の所在地に関連付ける、ドイツの産業調査コードを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [従業員データ DEU], [産業調査], [産業調査]

産業調査コードには有効日が付いていないため、ステータスはありません。

ドイツの*Berufsgenossenschaft*.の規定に従って、この産業調査コードに関連する市区町村を指定します。

(ITA) 市区町村コードの設定

イタリアの市区町村コードを設定するには、市区町村テーブルのロード ITA コンポーネント (RUNCTL CITYUPDATE) を使用します。

このトピックでは、イタリアの市区町村データのロードに使用するページを示します。

イタリアの市区町村データのロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
市区町村テーブルのロード ITA ページ	RUNCTL_CITYUPDATE	<i>Ministero delle Finanze.</i> の Web サイトから提供される市区町村コードのデータファイルをダウンロードし、イタリアの市区町村テーブル更新プロセスを実行して市区町村データを更新します。

関連リンク

Understanding Country-Specific Table Setup
(ITA) Setting Up Italian Workforce Tables

(JPN) コントロール テーブルの設定

日本のコントロール テーブルを設定するには、郵便番号 JPN コンポーネント (POSTAL_CODE_TBL)、学齢テーブル JPN コンポーネント (EDLVLAG_TBL_JPN)、パラメータ設定 JPN コンポーネント (SETUP_SALCOMP_JPN) を使用します。

次の各トピックでは、学齢の概要およびテーブルの設定について説明します。

日本のコントロール テーブルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
学齢テーブル ページ	EDLVLAG_TBL_JPN	企業で使用する学齢基準を設定します。
計算ルール設定ページ	SETUP_SALCOMP_JPN	学齢計算に使用される基準日を設定し、特定の給与コンポーネントに等級範囲チェックを適用するかどうかを指定します。
郵便番号のロード JPN ページ	RUNCTL_POSTAL_JPN	日本郵政が提供している郵便番号の CSV ファイルをインポートします。
郵便番号 JPN ページ	POSTAL_TBL_JPN	日本の郵便番号を管理するための情報の入力、または正常にインポートされなかったデータの追加を行います。

学齢について

学齢テーブルによって、システム内に既に設定されている最終学歴を、採用時の "学齢基準" にリンクできます。学齢基準を使用して従業員の "学齢生年月日" が計算されます。学齢生年月日を使用すれば、いつの時点においても従業員の学齢を算出できます。従業員の学齢は、学齢給の計算に使用されます。学齢給とは、年功給の一種です。

従業員の学齢の計算

このトピックでは、学齢給の決定において、学齢基準がどのように使用されるかについて説明します。このトピックでは、説明の中で次の略語が使用されることがあります。

略語	意味
ELABa (Education Level Age Basis)	学齢基準 (採用時)
AELABa (Adjusted Education Level Age Basis)	調整済み学齢基準 (採用時)
ELABi (Education Level - Adjusted Birth Date)	学齢生年月日

略語	意味
SCB (Standard Calculation Birthday)	学齢計算基準の月日
CSD (Company Seniority Date)	入社年月日
ELA (Education Level Age)	学齢

A 社では、4 年制大学卒業者の学齢基準 (ELABa) を 22 と設定しています。また、学齢計算基準の月日 (勤続年数の加算日) は 4 月 1 日に設定されています。

ここで、A 社従業員の大和太郎さんの場合を例にして考えてみましょう。大和太郎さんは、1972 年 2 月 6 日生まれで、1994 年 3 月 23 日に 22 歳で 4 年制大学を卒業しました。その後 2 年間は世界を旅して回りました。A 社は、1996 年 6 月 1 日付けで大和太郎さんを従業員として採用しました。入社日が 4 月 1 日でないのは、大和太郎さんが 1996 年 5 月に日本に帰国したためです。採用されたとき大和太郎さんは 24 歳でした。

大和太郎さんの学齢給を計算するには、毎年大和太郎さんの学齢を計算する必要があります。その計算には、学齢生年月日を使います。

従業員の学齢生年月日の計算には、学齢基準、入社年月日、および学齢計算基準の月日が使用されます。

従業員の入社年月日の月日が学齢計算基準の月日の前か後かによって、学齢基準の調整が必要となる場合があります。調整されたものを、"調整済み学齢基準" (AELABa) と呼びます。従業員の入社年月日 ([配属開始日] フィールドの値) の月日が、学齢計算基準の月日より後の場合、従業員の学齢基準は 1 (年) 差し引かれます。

大和太郎さんの場合、入社日が 6 月 1 日で、A 社の学齢計算基準の月日である 4 月 1 日より後のので、大和太郎さんの学齢基準は 1 年引かれます。4 月 1 日かそれ以前に入社していれば、学齢基準の調整は必要ありません。

大和太郎さんの調整済み学齢基準は、次のように導き出されます。

- CSD (入社年月日の月日 = 6 月 1 日) > SCB (学齢計算基準の月日 = 4 月 1 日) であるため、調整 = -1
- この -1 によって、学齢基準が調整されます。

$$\text{ELABa (学齢基準)} - 1 = \text{AELABa (調整済み学齢基準)}$$

したがって、大和太郎さんの学齢基準は、次の値になります。

$$22 - 1 = 21$$

次に、この調整済み学齢基準 (21) を使用して、大和太郎さんの学齢生年月日を求めます。

計算式は次のとおりです。

$$\text{入社年} - \text{AELABa (調整済み学齢基準)} = \text{ELABi (学齢生年月日)}$$

すなわち

$$1996 - 21 = 1975$$

したがって、学齢給の計算に使用する大和太郎さんの学齢生年月日は、会社の学齢計算基準の月日との組み合わせによって、1975 年 4 月 1 日になります (実際の生年月日は 1972 年 2 月 6 日)。

ここで、学齢生年月日がどのくらい重要か見てみましょう。

1 年後の 1997 年、大和太郎さんの学齢が必要となります。計算は次のようになります。

$$\text{SCB (計算実行年の学齢計算基準の月日)} - \text{ELABi (学齢生年月日)} = \text{ELA (学齢)}$$

すなわち

$$1997 \text{ 年 } 4 \text{ 月 } 1 \text{ 日} - 1975 \text{ 年 } 4 \text{ 月 } 1 \text{ 日} = 22$$

これは、大学新卒者の学齢と同じです。この一連の計算によって、大和太郎さんが卒業後 2 年間旅をしたこと、その年の会社の学齢計算基準の月日より後に入社したことが、学齢の調整に全て反映され、それに基づいて適切な学齢給が導き出されます。

注: 4 月から 6 月までの 2 か月間がそれほど大きくないと会社が判断した場合、大和太郎さんの学齢生年月日を 1975 年 4 月 1 日から、1974 年 4 月 1 日に変更できます。その場合、1997 年の計算では、大和太郎さんの学齢が 23 (1974 年 4 月 1 日～1997 年 4 月 1 日) となり、新卒者が 1 年間勤務した場合と同じになります。

関連リンク

[Understanding the Update Seniority Pay Process](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Compensation](#)
[Administering Seniority Pay](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Compensation](#)

学齢テーブル ページ

学齢テーブル ページ (EDLVLAG_TBL_JPN) を使用して、企業の学齢基準を設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [従業員データ JPN], [学齢テーブル], [学齢テーブル]

画像: 学齢テーブル ページ

次の例では、学齢テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Education Level					
Education Level Age		Personalize	Find	View All	First 1-6 of 6 Last
Highest Education Level	Description	Education Level Age Basis			
1 A	A-Not Indicated	15	+	-	
2 C	C-HS Graduate or Equivalent	18	+	-	
3 F	F-2-Year College Degree	20	+	-	
4 G	G-Bachelor's Level Degree	22	+	-	
5 I	I-Master's Level Degree	24	+	-	
6 J	J-Doctorate (Academic)	27	+	-	

学齢基準は、従業員の学齢生年月日の計算に使用されます。さらに、その学齢生年月日を使用して、従業員の学齢と学齢給が計算されます。

学齢基準

最初のフィールドで選択した最終学歴に関連付ける値です。この学齢基準を使用して従業員の学齢生年月日が計算され、その学齢生年月日を使用して従業員の学齢が計算されます。

注: [最終学歴] の値は、最終学歴テーブルで設定されたトランスレート値です。各従業員の最終学歴は、個人情報ページの [個人情報の履歴] グリッドで、このテーブルにアクセスして設定します。これらのトランスレート値を変更 (非アクティブにするなど) した場合、その値を使用している従業員レコードも、他の値を使うように変更する必要があります。トランスレート値を追加し、学齢基準と関連付ける場合は、このページにも同じ値を追加して学齢基準を割り当て、最終学歴テーブルとの同期をとる必要があります。このページで値を追加せずに、新しい最終学歴の値を個人情報詳細ページの [個人情報の履歴] グリッドなどで使用しても、従業員の学齢生年月日は計算されず、フィールドは空白のままになります。この結果、従業員の学齢も計算されません。

計算ルール設定ページ

計算ルール設定ページ (SETUP_SALCOMP_JPN) を使用して、学齢計算に使用される基準日を設定し、特定の給与コンポーネントに等級範囲チェックを適用するかどうかを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [従業員データ JPN], [パラメータ設定 JPN], [計算ルール設定]

画像: 計算ルール設定ページ

次の例では、計算ルール設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Calculation Rule Settings

Standard Calculation Birthday

Educ Lvl Month Educ Level Day

Defined Range Check

☒ Defined Range Check

学齢計算基準の月日

この月日を基準に、全従業員の学齢が計算されます。

学齢基準月

学齢計算の基準の月を入力します。たとえば、1 月ならば "1"、2 月ならば "2" と入力します。学齢計算基準の月が設定され、この月を基準として、従業員の年功が計算されます。各従業員の学齢を計算する際に使用されます。

学齢基準日

学齢計算の基準の日を入力します。たとえば、[学齢基準月] に "4"、[学齢基準日] に "1" と入力すると、4 月 1 日が学齢計算基準の月日になります。

範囲型給与チェック適用

このチェック ボックスをオンにすると、「職務データ - 給与」ページで、給与レート コード クラスが [DFRPAY] (範囲型給与レートコード) の給与レートレコードが追加された場合に、そのコンポーネントの金額が給与等級テーブルで定義した等級の範囲内に収まっているかどうかを確認されます。

この確認は、レコードが手動で追加された場合でも、システムにより自動追加された場合でも実行されます。

また、このチェック ボックスをオンにすると、1 人の従業員の給与データ ページに対して DFRPAY (範囲型給与レートコード) ク

ラスの給与レート コードが 1 つしか入力されないようにチェックがかかります。

関連リンク

[Adding Organizational Instances for Employees Contingent Workers and POIs](#)
[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

郵便番号のロード JPN ページ

郵便番号のロード JPN ページ (RUNCTL_POSTAL_JPN) を使用して、日本郵政が提供している郵便番号の CSV ファイルをインポートします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [郵便番号のロード JPN], [郵便番号のロード JPN]

画像: 郵便番号のロード JPN ページ

次の例では、郵便番号のロード JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: このページを使用する前に、日本郵政の Web サイトから CSV ファイルをダウンロードして解凍し、自社内に設置している FTP サーバーに転送する必要があります。CSV ファイルは、Shift-JIS の文字セットでエンコードされている必要があります。郵便番号のロード プロセスを使用する前に、PeopleTools ユーティリティメニューで URL データを定義する必要があります。

「[住所フォーマット ページ](#)」を参照してください。

URL ID

郵便番号データを含む CSV ファイルが保存されている FTP URL を選択します。

全ての都道府県

全ての都道府県の郵便番号データをロードする場合、このオプションを選択します。

注: 郵便番号データの行数は 120,000 行を超えるため、全ての行をインポートする際は、バッチ処理のパフォーマンスを考慮してください。

選択した都道府県

特定の都道府県の郵便番号をロードする場合、このオプションを選択します。

ロード結果

住所 1 または住所 1 のフリガナの文字数が 55 文字を超える場合、フィールドは空白となります。また、住所 1 または住所 1 のフリガナが長すぎるために複数の行に分割されている場合、最初の行のみがインポートされ、残りの行は未インポート行としてログ レポートに出力されます。

住所 1 および住所 1 のフリガナ の "以下に掲載がない場合 (イカニケイサイガナイバアイ)" を削除する場合、その文字列をストリング テーブル (プログラム ID は HGJPPSTL) に登録します。削除するテキストを [ストリング テキスト] フィールドに入力します。

都道府県、市区町村、住所 1 が同じ 1 つの郵便番号で、読み方が異なるため住所 1 のフリガナが複数ある場合など、1 つの郵便番号に複数行存在するときには、全ての行が表示されないことがあります。

目的のデータがロードされない場合、郵便番号 JPN ページでデータを追加または編集します。

郵便番号ロード プロセスのログ レポート

プロセスが完了すると、インポートされた行数、およびインポートされなかった行数とその詳細な理由がリストされたプロセス ログ レポートが生成されます。行がインポートされなかった理由として、以下が考えられます。

- インポート ファイルが見つからなかった。
- ファイルが正しくフォーマットされていない。
- インポート ファイルが、[選択した都道府県] フィールドで指定した都道府県以外の都道府県のデータを含むファイルである。

郵便番号 JPN ページ

郵便番号 JPN ページ (POSTAL_TBL_JPN) を使用して、日本の郵便番号を管理するための情報の入力、または正常にインポートされなかったデータの追加を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [郵便番号 JPN], [郵便番号 JPN]

画像: 郵便番号 JPN ページ

次の例では、郵便番号 JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Postal Codes JPN

Postal Code

105-0023

Municipal Code

000004

Minato-ku

Prefecture

13

Tokyo-To

City

Minato-ku

Address 1

Shibaura

AC City

Minato-ku

AC Address 1

Shibaura

自治体コード

この郵便番号が属す日本の自治体コードを選択して入力します。

都道府県

この郵便番号の都道府県をリストから選択します。

(NLD) 郵便番号のロード

オランダの郵便番号をロードするには、郵便番号のロード NLD コンポーネント (RUN_POSTAL_NLD) を使用します。

このトピックでは、オランダの郵便番号をインポートする方法について説明します。

郵便番号のロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
郵便番号のロード NLD ページ	RUNCTL_POSTAL_NLD	ヒューマン リソース管理で、オランダの郵便番号に郵便番号をインポートします。

郵便番号のロード NLD ページ

郵便番号のロード NLD ページ (RUNCTL_POSTAL_NLD) を使用して、ヒューマン リソース管理で、オランダの郵便番号に郵便番号をインポートします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [郵便番号のロード NLD], [郵便番号のロード NLD]

画像: 郵便番号のロード NLD ページ

次の例では、郵便番号のロード NLD ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web interface for loading postal codes. At the top, it says 'Load Postal Codes NLD'. Below this, there are navigation links: 'Run Control ID 1', 'Report Manager', and 'Process Monitor', followed by a yellow 'Run' button. A section titled 'Report Request Parameters' contains two input fields: 'Initial Load File' and 'Update Load File'.

オランダの郵政当局は全国の郵便番号の一覧表を発行しており、申し込めば入手できます。郵便番号コード テーブルのロード プロセスを実行すると、オランダ郵政当局 (TPG Post) 提供のソース ファイルにある全ての郵便番号がヒューマン リソース管理システムにロードされます。

レポート リクエスト パラメータ

初期ロード ファイル

オランダの郵便番号データを初めてシステムにロードする場合は、郵便番号の初期ロード ファイル名とそのパス情報を入力します。

更新ロード ファイル

オランダの郵便番号テーブルを定期的に更新している場合は、更新される郵便番号ファイル名とそのパス情報を入力します。

実行

このボタンをクリックすると、リクエストが実行されます。PeopleSoft プロセス スケジューラにより、郵便番号コード テーブルのロード プロセスがユーザー定義の間隔で実行されます。

(ESP) コントロール テーブルの設定

スペインのコントロール テーブルを設定するには、保険会社テーブル コンポーネント (INSUR_COMPANY_ESP) と産業アクティビティ テーブル コンポーネント (INDUSTRY_ACT_ESP) を使用します。

スペインで業務を行う場合、企業の主な業務内容と、職場で事故や病気が発生した場合に使用する保険会社について、スペイン政府が必要とする情報を入力する必要があります。

スペインの全ての従業員は、スペイン政府の定義した社会保障職業センターに所属することが義務付けられています。事業主は職業センター番号情報を使用して、スペイン社会保障機関 (*Instituto Nacional de la Seguridad Social*) に従業員情報を報告します。

スペインのコントロール テーブルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
保険会社テーブル ページ	INSUR_COMP_CD_ESP	企業の保険会社に関するデータを入力します。
産業アクティビティ テーブル ページ	INDSTRY_ACT_CD_ESP	企業の業務内容に応じたコードを定義します。

関連リンク

[Adding Organizational Instances for Employees Contingent Workers and POIs](#)
[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

(GBR) 国民保険番号プレフィックスの設定

イギリスの国民保険番号プレフィックスを設定するには、国民 ID プレフィックス GBR (NID_PREFIX_GBR) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、国民保険番号プレフィックスの概要および設定について説明します。

国民保険番号プレフィックスの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
国民 ID プレフィックス GBR ページ	NID_PREFIX_GBR	既存の国民 ID プレフィックスを確認します。
国民 ID プレフィックス詳細ページ	NID_PR_GBR_SEC	新規の国民 ID プレフィックスの設定、または既存のプレフィックスのステータスの変更を行います。

国民保険番号プレフィックスについて

2004/2005 税年度から、事業主の年度末報告には有効な国民保険番号プレフィックスのみを含めることが、内国歳入庁により義務付けられました。無効な国民保険番号プレフィックスを含む報告の提出は受け付けられません。

有効な国民保険番号プレフィックスを定義するには、標準で用意されている設定テーブルを使用します。個人情報詳細ページで個人の国民保険番号を入力すると、この国民保険番号プレフィックス テーブルに対してプレフィックスが検証されます。

国民保険番号のフォーマットは、国民 ID タイプ テーブル ページで定義されます。このページについては、このドキュメンテーション内に説明があります。

関連リンク

[国民 ID タイプの定義](#)

[Adding a PersonPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

国民 ID プレフィックス GBR ページ

国民 ID プレフィックス GBR ページ (NID_PREFIX_GBR) を使用して、既存の国民 ID プレフィックスを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [国別指定], [国民 ID プレフィックス GBR], [国民 ID プレフィックス GBR]

画像: 国民 ID プレフィックス GBR ページ

次の例では、国民 ID プレフィックス GBR ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

NID Prefix GBR

Effective07/07/201431

StatusActive

Refresh

Add

AA AB AE AH AK AL AM AP AR AS AT AW AX AY AZ
BA BB BE BH BK BL BM BT
CA CB CE CH CK CL CR
EA EB EE EH EK EL EM EP ER ES ET EW EX EY EZ
GY
HA HB HE HH HK HL HM HP HR HS HT HW HX HY HZ
JA JB JC JE JG JH JJ JK JL JM JN JP JR JS JT JW JX JY JZ
KA KB KE KH KK KL KM KP KR KS KT KW KX KY KZ
LA LB LE LH LK LL LM LP LR LS LT LW LX LY LZ
MA MW MX
NA NB NE NH NL NM NP NR NS NW NX NY NZ
OA OB OE OH OK OL OM OP OR OS OX
PA PB PC PE PG PH PJ PK PL PM PN PP PR PS PT PW PX PY
RA RB RE RH RK RM RP RR RS RT RW RX RY RZ
SA SB SC SE SG SH SJ SK SL SM SN SP SR SS ST SW SX SY SZ
TA TB TE TH TK TL TM TP TR TS TT TW TX TY TZ
WA WB WE WK WL WM WP
YA YB YE YH YK YL YM YP YR YS YT YW YX YY YZ
ZA ZB ZE ZH ZK ZL ZM ZP ZR ZS ZT ZW ZX ZY

デフォルトでは、現在の日付時点でアクティブである国民 ID プレフィックスがページ上に表示されます。国民 ID プレフィックス リンクをクリックすると、選択した国民 ID プレフィックスの有効日とステータスを表示、更新できます。

有効、ステータス

異なる日付時点でアクティブな国民 ID を表示する、または異なるステータスの国民 ID を表示するには、[有効] フィールドまたは [ステータス] フィールド (あるいはその両方) を更新して、[リフレッシュ] ボタンをクリックします。

リフレッシュ

ページをリフレッシュする場合にクリックします。[有効] または [ステータス] フィールドを変更した場合に、このボタンを使用します。

追加

クリックすると、新しい国民 ID プレフィックスを追加できます。国民 ID プレフィックス詳細ページ

国民 ID プレフィックス詳細ページ

国民 ID プレフィックス詳細ページ (NID_PR_GBR_SEC) を使用して、新しい国民 ID プレフィックスを追加する、または既存の国民 ID プレフィックスのステータスを変更します。

ナビゲーション

"国民 ID プレフィックス GBR" ページで、国民 ID プレフィックス リンクをクリックするか、[追加] ボタンをクリックします。

画像: 国民 ID プレフィックス詳細ページ

次の例では、国民 ID プレフィックス詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Effective Date	Status
04/06/2004	Active

新しい国民 ID プレフィックスを追加する、または既存の国民 ID プレフィックスのステータスを変更する場合に、このページを使用します。既存のプレフィックスを変更するには、新しい行を追加します。

プレフィックスがアクティブまたは非アクティブになる日付を指定して、[ステータス] フィールドでステータスを選択します。

市場給与の設定とその使い方

市場給与について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 市場給与機能
- 市場給与プロセス フロー

市場給与機能

PeopleSoft ヒューマン リソース管理の市場給与機能は、市場競争力のある報酬に従業員に支払うための指針として、給与統計データを使用する際に役立つ機能です。市場給与とは、基本報酬、変動報酬、報酬合計や、その地域別の値など、さまざまな給与エレメントを含めた、一連の給与報酬に関する情報です。PeopleSoft の市場給与機能では、市場給与を地域別に定義できます。

市場給与機能を使用すると、次のことが可能です。

- 地域を定義して、最終決定された市場データを従業員に関連付けることができます。
地域は、さらに国別、都道府県/州別、市区町村別に詳細に分類できます。
- 市場給与マトリックスを作成して、1 つまたは複数の職務コードと関連付けることができます。
- 既存の給与統計テーブルから市場給与テーブルにデータをアップロードできます。これにより、既存の機能が保持されます。
- 給与統計データを PeopleSoft ワークフォース リワードからインポートできます (ただし、ワークフォース リワードのライセンスを所有している必要があります)。
- 市場データの結果をマトリックス形式で保存できます。

市場給与プロセス フロー

市場給与機能を設定するには、次の手順に従います。

1. 地域を定義します。
2. 既存の条件指定市場給与マトリックスを選択するか、新たに作成します。
3. (省略可) 既存の給与統計データ フィールドを条件指定マトリックス定義にマッピングします。

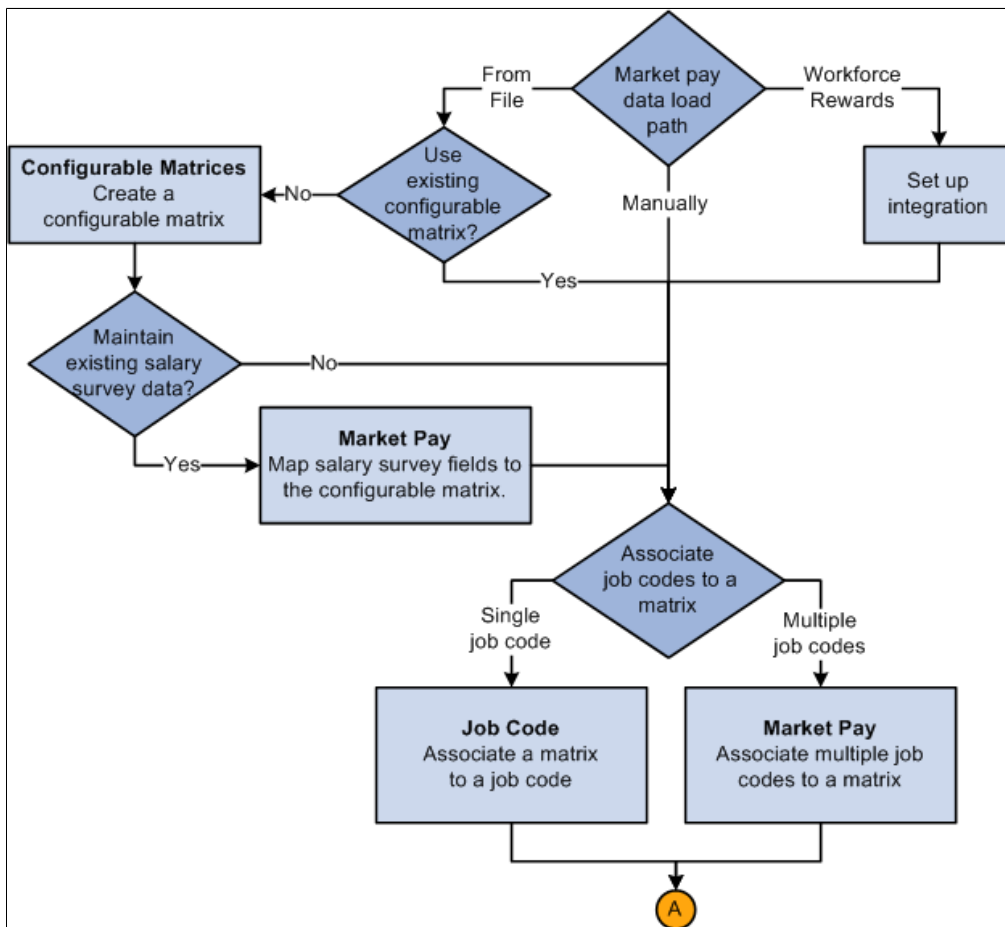
4. 市場給与マトリックスを職務コードに関連付けます。1 つの職務コードに関連付ける場合は、"職務コード - 市場給与の一致" ページで、複数の職務コードに関連付ける場合は、市場給与の職務コードへの関連付けページで行います。
5. 以下の 3 つの方法のうちいずれかを使用して、市場給与データをロードします。
 - 自動処理を使用してファイルからデータをロードします。
 - 手動でデータを入力します。
 - (ワークフォース リワードのユーザーのみ) ワークフォース リワードからパブリッシュされたメッセージをサブスクライブします。

ワークフォース リワードからパブリッシュされたメッセージをサブスクライブするためのインテグレーション ブローカー メッセージングを設定します。

6. 市場給与データをオンラインで職務コード別に表示します。

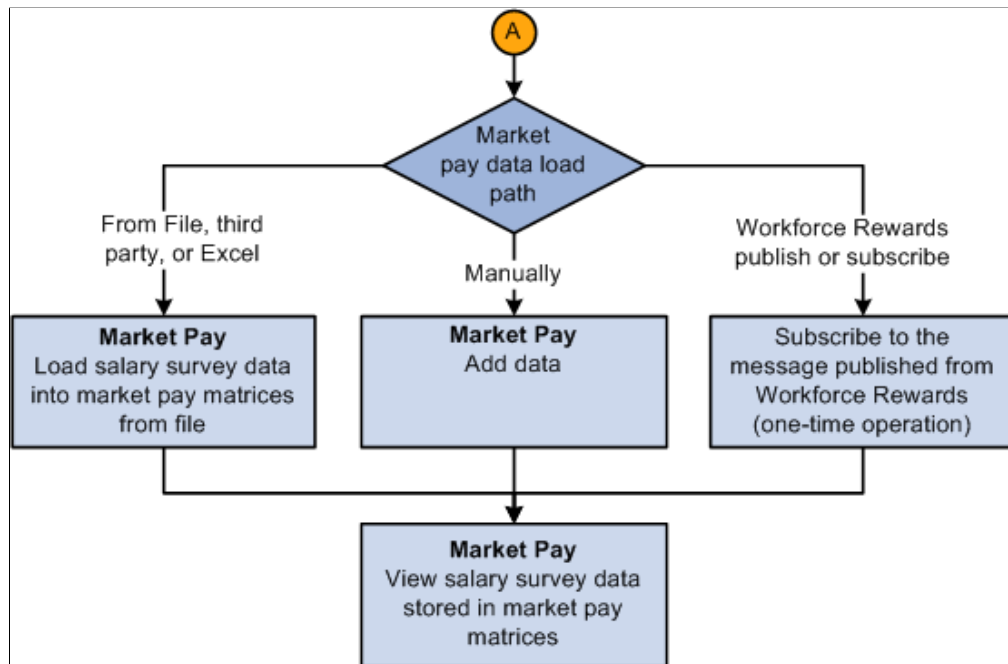
画像: 条件指定マトリックスの作成と職務コードの関連付け

次の図は、条件指定マトリックスの作成と職務コードの関連付けを示しています。



画像: 市場給与マトリックスへのデータのロード

次の図は、市場給与マトリックスへのデータのロードを示しています。



前提条件

市場給与マトリックスの設定および使用の前に、以下のタスクを事前に実行しておく必要があります。

1. 会社の職務に対する職務コードの作成
「[職務の分類](#)」を参照してください。
2. 採用処理での職務コードの従業員への割り当て
Understanding Job DataPeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。
3. 給与統計の実行と、給与データの分析
4. ワークフォース リワードとのインテグレーションの設定 (COMP_MKT_RATE_SYNC インテグレーション ブローカー メッセージとサービス オペレーションを使用して、ワークフォース リワードから給与データをインポートする場合)

地域と市場給与マトリックスの設定

地域とマトリックスを設定するには、地域の定義 (GEOGRAPHY_TBL) コンポーネントとマトリックスの定義 (WCS_LK_TBL_DEFN) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、地域と市場給与マトリックスの概要および設定方法について説明します。

地域と市場給与マトリックスの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>地域の定義ページ</u>	GEOGRAPHY_TBL	国、都道府県/州、市区町村別に地域を定義します。地域を使用して、市場給与データを構成します。
<u>マトリックスの定義ページ</u>	WCS_LK_TBL_DEFN	市場給与マトリックス定義を設定します。
<u>入力ページ</u>	WCS_LK_TBL_INPUTS	市場給与統計の入力データを定義します。
<u>出力ページ</u>	WCS_LK_TBL_OUTPUTS	市場給与統計の出力データを定義します。
<u>検索キーページ</u>	WCS_LK_TBL_KEYS	検索キーを指定して、市場給与統計に使用される従業員データのマッチングに使用します。
条件指定マトリックス キーのロード ページ	WCS_LK_TBL_KEY_SEC	プロンプト テーブルを使用することにより、特定のソースの検索キーが自動的にロードされます。
<u>データの内容ページ</u>	WCS_LK_TBL_DATA	出力データの値を表示または入力します。
<u>表示ページ</u>	WCS_LK_TBL_VIEW	最新の保存バージョンのマトリックスを表示します。

市場給与マトリックスについて

PeopleSoft アプリケーションには、以下のマトリックスが用意されています。

- MARKET_PAY
- WFR_SURVEY_DATA

このマトリックスは、ワークフォース リワード アプリケーションから給与データをインポートする場合に使用されます。

条件指定マトリックスを追加設定して、市場給与統計データを含めることができます。

注: PeopleSoft で統計のマッチングを管理している場合は、標準の市場給与マトリックスを選択するか、統計機関や統計職務コードなどのフィールドを使用して新しいマトリックスを作成することにより、引き続き統計を管理できます。これらのフィールドを使用すると、いつでも必要なときにアドホック統計加入レポートを作成できます。統計加入レポートは、統計機関の要件に基づいて作成します。

関連リンク

[Understanding Configurable Matrices](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)

地域の定義ページ

地域の定義ページ (GEOGRAPHY_TBL) を使用して、国、都道府県/州、市区町村別に地域を定義します。

地域を使用して、市場給与データを構成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [市場給与], [地域の定義], [地域の定義]

画像: 地域の定義ページ

次の例では、地域の定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define Geographical Areas

Set ID SHARE

Geography ID SOUTHWEST REGION

Define Geographical Areas

Find | View All

First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/2000

*Status Active

+ -

*Description Southwest Region US

Data

Personalize | Find | 1-4 of 4

First 1-4 of 4 Last

	Country	Description	State / Province	Description	City		
1	USA	United States	AZ	Arizona		+ -	
2	USA	United States	NM	New Mexico		+ -	
3	USA	United States	OK	Oklahoma		+ -	
4	USA	United States	TX	Texas		+ -	

地域は広く国単位で入力することも、特定の都道府県/州、市区町村に絞って入力することもできます。国、都道府県/州、市区町村単位のデータは、1 行または複数行を設定できます。ただし、同一地域内には同じ組み合わせの国、都道府県/州、市区町村のデータを複数設定することはできません。

警告 同じ組み合わせの国、都道府県/州、市区町村のデータを別の地域に設定する場合は、従業員データと組み合わせるときにデータ コンフリクトが発生する可能性があるので、注意してください。

- 有効日

地域の定義を変更できます。
- ステータス

[アクティブ] または [非アクティブ] を選択します。
- 名称

会社で定義した名称を入力します。
- 国、都道府県/州

一覧から有効な値を選択します。

市

特定の市の名称を入力します。スペルは確認されないため、大文字と句読点を使用して名前を入力する必要があります。

マトリックスの定義ページ

マトリックスの定義ページ (WCS_LK_TBL_DEFN) を使用して、市場給与マトリックス定義を設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [マトリックスの定義]

画像: マトリックスの定義ページ

次の例では、マトリックスの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Matrix DefinitionInputsOutputsSearch KeysData ContentView

Matrix Name MARKET_PAY

Matrix DefinitionFirst1 of 1Last

*Effective Date01/01/1900

*StatusActive

*DescriptionMarket Pay

Short DescriptionMarket Pay

*Matrix TypeMARKETPAYMarket Pay Surveys

Matrix Environment

Matrix Usage (Results) MARKETPAYMarket Pay Surveys

Matrix Orientations (Sources)

Orientation	Description
EMPLOYEE	Employee

Comment

Last Updated07/03/14 12:27:42.000000PM

Last Updated ByPS

有効日

1 つまたは複数の職務コードにリンクする日付と同日か、それ以前の日付を入力します。

ステータス

[アクティブ] を選択します。全ての条件指定マトリックスのデフォルト値は [非アクティブ] です。マトリックスを使用するには、ステータスを [アクティブ] に変更する必要があります。

マトリックス タイプ

[MARKETPAY] を選択します。

入力ページ

入力ページ (WCS_LK_TBL_INPUTS) を使用して、市場給与統計の入力データを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [入力]

画像: 入力ページ

次の例では、入力ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Matrix Definition | **Inputs** | Outputs | Search Keys | Data Content | View

Matrix Name MARKET_PAY

Matrix Definition First 1 of 1 Last

Effective Date 01/01/1900 Status Active

Description Market Pay

Matrix Type Market Pay Surveys

Matrix Inputs First 1-2 of 2 Last

*Order 10 *Label Survey Job Code + -

*Key Type Match Type of Data Char

Decimals 0 *Display As Row

Optional Prompting

Table Field

Set ID

Sources for Resolving Input Personalize 1 of 1 Last

*Source ID	Description	Orientation
SURVEY_JOB_CODE	Survey Job Code	

*Order 20 *Label Survey Provider + -

*Key Type Match Type of Data Char

Decimals 0 *Display As Row

Optional Prompting

Table Field

Set ID

Sources for Resolving Input Personalize 1 of 1 Last

*Source ID	Description	Orientation
SURVEY_PROVIDER	Survey Provider	

有効値

ソース ID を GEOGAREA と指定した場合、このグループ ボックスにプロンプト値を入力できます。テーブルの値として GEOGRAPHY_TBL を、フィールドの値として GEOGRAPHY_ID を入力します。地域のキー値は、自動検証されません。

入力処理ソース

ソース ID

市場給与データのソースを選択します。各マトリックスの入力の最大数は 15 です。入力の一般的なタイプには以下のものがあります。

- 地域
- 統計機関
- 統計職務コード

関連リンク

[Predefined Source IDs](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)
[Predefined Result IDs](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)
[Defining Sources for Configurable Matrices](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting](#)

出力ページ

出力ページ (WCS_LK_TBL_OUTPUTS) を使用して、市場給与統計の出力データを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [出力]

画像: 出力ページ

次の例では、出力ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Outputs' tab of the 'Matrix Definition' page for 'MARKET_PAY'. The page has tabs for 'Matrix Definition', 'Inputs', 'Outputs', 'Search Keys', 'Data Content', and 'View'. The 'Matrix Definition' section shows 'Effective Date' as 01/01/1900, 'Status' as Active, 'Description' as Market Pay, and 'Matrix Type' as Market Pay Surveys. The 'Matrix Outputs' section shows a list of outputs with columns for *Order, *Label, Decimals, *Result ID, and Type of Data. The first output is shown with *Order 10, *Label Description, Decimals, *Result ID PROVIDER_DESCRIPTION, and Type of Data Character. There is a checkbox for 'Do not return Results' and a 'Valid Values' section with fields for Table, Field, and Set ID.

結果 ID

市場給与マトリックスの出力データを選択します。通常の出力データには、通貨、基本報酬、変動報酬、報酬合計などがあります。各マトリックスの最大出力数は 30 です。

これらの用意されている値にはデフォルト名が付いていますが、業務に最も合うラベルに編集できます。

Predefined Source IDs PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting
Predefined Result IDs PeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting を参照してください。

検索キー ページ

検索キー ページ (WCS_LK_TBL_KEYS) を使用して、検索キーを指定し、市場給与統計に使用される従業員データのマッチングに使用します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [検索キー]

画像: 検索キー ページ

次の例では、検索キー ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Matrix DefinitionInputsOutputsSearch KeysData ContentView

Matrix Name MARKET_PAY

Matrix Definition

First1 of 1Last

Effective Date 01/01/1900Status Active

Description Market Pay

Matrix Type Market Pay Surveys

*Enter Keys for Survey Provider

Select Values From Prompt Table

Search Key Series

PersonalizeFindView All1 of 1Last

*Search Key (Character)	*Order	WildCard	
MCDONALD	10		+ -

Generate Key Combinations

このページは、従業員データの照合に使われるキー値の入力に使用します。市場給与マトリックスに適切な検索キーは、*地域や統計機関*などです。

注: マトリックスは、検索キーと出力データの値を指定せずに作成することができます。たとえば、マトリックスについてテンプレートを定義して、フラット ファイルなど他のソースから値をロードできます。ただし、マトリックスのステータスを "アクティブ" に変更して検索条件や検索値を定義していない場合は、警告が表示されます。

データの内容ページ

データの内容ページ (WCS_LK_TBL_DATA) を使用して、出力データの値を表示または入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [データの内容]

画像: データの内容ページ

次の例では、データの内容ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Matrix DefinitionInputsOutputsSearch KeysData ContentView

Matrix Name MARKET_PAY

Matrix Definition

First1 of 1Last

Effective Date01/01/1900StatusActive

DescriptionMarket Pay

Matrix TypeMarket Pay Surveys

Matrix Data

PersonalizeFindView All1 of 1First1 of 1Last

Survey Job Code	Survey Provider	Default	Description	Survey Salary	Currency	Mean Base Rate	Median Base Rat	Mean Total Comp	Med Total Comp	Midpoint Rate
MCD14	MCDONALD	☐	Grimace	60000	USD	61,100.000000	62,000.000000	63,000.000000	60,000.000000	62,000.000000

このページを使用して、入力フィールドと出力フィールドを表示します。データ値を空白にして、ファイルまたはワークフォース リワードから市場給与データをロードすることができます。データを手動で入力することもできます。

表示ページ

表示ページ (WCS_LK_TBL_VIEW) を使用して、最新の保存バージョンのマトリックスを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マトリックス], [マトリックスの定義], [表示]

画像: 表示ページ

次の例では、表示ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Matrix DefinitionInputsOutputsSearch KeysData ContentView

Matrix Name MARKET_PAY

Matrix Definition

First1 of 1Last

Effective Date01/01/1900StatusActive

DescriptionMarket Pay

Matrix TypeMarket Pay Surveys

Display Saved Matrix

(This will display only the last saved version of the matrix)

出力用のデータの内容を全て入力したら、マトリックスを保存する必要があります。このページでマトリックスを表示できるのは、マトリックスを保存した後のみです。

[保存済マトリックスの表示] ボタンをクリックすると、マトリックスの最新保存バージョンの生成結果が表示されます。

重要 このページには、最新保存バージョンのマトリックスのみが表示されます。

Understanding Configurable MatricesPeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting を参照してください。

データのマッピングとマトリックスのロード

市場給与データをマッピングし、マトリックスをロードするには、給与統計マッピングの定義 (SP_SURV_MAP_TBL)、市場給与の職務コードへの関連付け (SP_SAL_SURV_TBL)、ファイルからの市場給与データのロード (SP_SURVLOAD_TBL) および職務コード別市場給与レポート (SP_MPAY_RPT_TBL) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、データのマッピングとマトリックスのロードについて説明します。

データのマッピングとマトリックスのロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
給与統計マッピングの定義ページ	SP_SURV_MAP_TBL	市場給与マトリックス フィールドを既存の給与統計フィールドにマッピングします。
市場給与の職務コードへの関連付けページ	SP_SAL_SURV_TBL	市場給与マトリックスを複数の職務コードに関連付けます。
市場給与の一致ページ	JOB_CD_MP_SAL_SURV	職務コード テーブルを使用して市場給与マトリックスと特定の職務コードに関連付けます。
ファイルからの市場給与データのロードページ	SP_SURVLOAD_TBL	ファイルから市場給与データをロードして、既存データを上書きするか新しくデータを追加します。
職務コード別市場給与データレポートページ	SP_MPAY_RPT_TBL	特定の職務コードにこれまで関連付けられた全ての市場給与定義が表示される、有効日付きのレポートを実行します。

給与統計マッピングの定義ページ

給与統計マッピングの定義ページ (SP_SURV_MAP_TBL) を使用して、市場給与マトリックス フィールドを既存の給与統計フィールドにマッピングします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [市場給与], [給与統計マッピングの定義], [給与統計マッピングの定義]

画像: 給与統計マッピングの定義ページ

次の例では、給与統計マッピングの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define Salary Survey Mapping

Set ID SHAREMatrix Name MARKET_PAYMarket Pay

Matrix DefinitionFind | View AllFirst1 of 2Last

Effective Date06/11/2004

*StatusActive

*DescriptionMARKET_PAY

Field MappingPersonalize1-10 of 10

Matrix Field	Target Field
1 Currency	Currency
2 Description	Provider Description
3 Mean Base Rate	Mean Base Rate
4 Mean Total Comp	Mean Total Compensation
5 Med Total Comp	Median Total Compensation
6 Median Base Rat	Median Base Rate
7 Midpoint Rate	Midpoint Range
8 Survey Job Code	Survey JobCode
9 Survey Provider	Provider
10 Survey Salary	Survey Salary

注: システムには MARKET_PAY マトリックスと WFR_SURVEY_DATA マトリックスが標準で用意されています。条件指定マトリックスを定義して、市場給与統計データを含めることもできます。

Defining and Maintaining Configurable MatricesPeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting を参照してください。

- マトリックス フィールド
- マトリックスの定義ページの値が表示されます。
- ターゲット フィールド
- 値を選択します。これらの値は、職務コード テーブルから取得されます。

市場給与の職務コードへの関連付けページ

市場給与の職務コードへの関連付けページ (SP_SAL_SURV_TBL) を使用して、市場給与マトリックスを複数の職務コードに関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [市場給与], [市場給与の職務コードへの関連付け], [市場給与の職務コードへの関連付け]

画像: 市場給与の職務コードへの関連付けページ

次の例では、市場給与の職務コードへの関連付けページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Associate Mkt Pay to Job Codes

Set ID SHAREMatrix Name KUM001Clerk Payroll 290080

Matrix DefinitionFind | View AllFirst1 of 1Last

*Effective Date 01/01/1980 *Status Active

*Description Clerk Payroll Mkt Pay

Edit Matrix

Associated Job CodesPersonalize | View All1 of 1Last

Job Code	Description
1 290080	Clerk-Payroll Sr

Clerk Payroll 290080 (1980-01-01)

Geog Area	Currency	25th Percentile	50th Percentile	75th Percentile	100th Percentil	Base Mkt Ref	Variable TgtPct	Var Tgt Pct Ref	Mean Total Comp	Total Comp Ref
COUNTRIES	USD	26,000.00	27,000.00	27,500.00	28,000.00	27,000.00	10.00	2,700.00	29,000.00	30,000.00
MID ATLANTIC STATES	USD	24,000.00	25,000.00	25,500.00	26,000.00	25,000.00	10.00	2,500.00	27,000.00	28,000.00
MIDWEST REGION	USD	27,000.00	28,000.00	28,500.00	29,000.00	28,000.00	10.00	2,800.00	30,000.00	31,000.00

追加ボタンをクリックして、市場給与データと職務コードを新たに関連付けます。虫眼鏡ボタンをクリックして、既存値を検索します。

マトリックスの編集

このボタンをクリックすると、マトリックスの定義コンポーネントにあるデータの内容ページにアクセスします。このページでは、[マトリックス データ] のフィールド情報を追加、修正または削除できます。

職務コード

市場給与マトリックスに関連付ける職務コードを選択します。1 つの市場給与マトリックスには複数の職務コードに関連付けることができます。ただし、1 つの職務コードに関連付けることのできる市場給与マトリックスは 1 つだけです。

市場給与の一致ページ

市場給与の一致ページ (JOB_CD_MP_SAL_SURV) を使用して、職務コード テーブルを使用して市場給与マトリックスと特定の職務コードを関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル], [市場給与の一致]

画像: 市場給与の一致ページ

次の例では、市場給与の一致ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Job Code ProfileEvaluation CriteriaMarket Pay MatchDefault CompensationNon-Base Compensation

Set ID SHAREJob Code 110000

Market Pay MatchFind | View AllFirst1 of 1Last

Effective Date 01/01/1980Status ActiveGo To Row

Description Accountant

Matrix Name MARKET_PAYMarket Pay

Edit Matrix

Market Pay (1900-01-01)									
Survey Job Code	Survey Provider	Description	Survey Salary	Currency	Mean Base Rate	Median Base Rat	Mean Total Comp	Med Total Comp	Midpoint Rate
MCD14	MCDONALD	Grimace	60000	USD	61,100.000000	62,000.000000	63,000.000000	60,000.000000	62,000.000000

注: 職務コードについて、新しい有効日の付いたマトリックス データを参照するには、履歴の修正モードで入る必要があります。1 つの職務コードには、市場給与マトリックスを 1 度に 1 つだけ関連付けることができます。

- マトリックス名

職務コードに関連付ける市場給与マトリックスを選択します。
- マトリックスの編集

このボタンをクリックすると、関連付けられたマトリックスに関するデータの内容ページにアクセスします。このページで、このマトリックスに関連付けられた値を表示および編集できます。

Data Content PagePeopleSoft Human Resources Manage Base Compensation and Budgeting を参照してください。

ファイルからの市場給与データのロード ページ

ファイルからの市場給与データのロード ページ (SP_SURVLOAD_TBL) を使用して、ファイルから市場給与データをロードし、既存データを上書きするか新しくデータを追加します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [市場給与], [ファイルからの市場給与データのロード], [ファイルからの市場給与データのロード]

画像: ファイルからの市場給与データのロード ページ

次の例では、ファイルからの市場給与データのロード ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web-based form titled "Load Market Pay Data from File". At the top, there are tabs for "Run Control ID 1", "Report Manager", and "Process Monitor", along with a "Run" button. The main form area is divided into two sections. The first section, "External Market Pay Data", contains two required fields: "*File Name" and "*File Location". Below the "*File Name" field is an example: "Example: Salary_Survey_Load_Document.txt". Below the "*File Location" field is an example: "Example: c:\Temp". The second section, "Load Properties", contains two radio buttons: "Append" (which is selected) and "Overwrite". At the bottom left of the form, there is a note: "* Required Field".

入力ファイルの必須フィールドは、SETID、EFFECTIVE DATE (yyyy-mm-dd 形式の日付)、EFFECTIVE STATUS、DESCRIPTION、JOB CODE、MATRIX ID です。これらのフィールドはこの順番である必要があります。また、マトリックスのフィールドは、マトリックス ID の後ろに、マトリックス内と同じ順番で続く必要があります。Excel などのユーティリティでは、表示フォーマットとは別のフォーマットに日付が再設定される場合があるため、ファイルを開いて日付フォーマットを確認することをお勧めします。日付のフォーマットは Excel で手動で定義することにより、正しく設定できます。

ファイル名 市場給与データのインポート元ファイルの名前を入力します。

ファイル保管場所 インポート ファイルの保管場所を入力します。"\\マシン名\ディレクトリ" の形式で入力すると、保管場所にマシン名を指定することもできます。

ロード プロパティ [追加] を選択すると、市場給与情報が既存ファイルに追加されます。

[上書き] を選択すると、システム内の既存データが、ファイルのデータによって置き換えられます。

ワークフォース リワードからの市場給与データのロード

ワークフォース リワードからパブリッシュされた COMP_MKT_RATE_SYNC インテグレーション ブローカーメッセージとサービス オペレーションを使用して、市場給与データをロードできます。これらの新しい目標基準レートは、WA_MKT_RATE_TBL から取得されます。

注: COMP_MKT_RATE_SYNC サービス トランザクションによって、市場レートが標準の条件指定マトリックス定義にロードされます。異なるフィールドが設定されたマトリックスにデータをロードする場合は、新しいメッセージとサービス オペレーションを作成する必要があります。

『PeopleSoft Workforce Rewards』の「Managing Market Compensation」を参照してください。

データの内容ページ

適切なマトリックスの データの内容ページを使用して、[マトリックス データ] グループ ボックスに市場給与データを手動で入力します。

職務コード別市場給与データ レポート ページ

職務コード別市場給与レポート ページ (SP_MPAY_RPT_TBL) を使用して、特定の職務コードにこれまで関連付けられた全ての市場給与定義が表示される、有効日付きのレポートを実行します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [市場給与], 職務コード別市場給与データレポート, 職務コード別市場給与データレポート

画像: 職務コード別市場給与レポート ページ

次の例では、職務コード別市場給与レポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Report Market Pay by Job Code

Set ID SHAREJob Code 170005

Matrix Definition

Effective Date 07/07/2014Matrix Name

Effective Date 01/01/1980Matrix Name KUM003

Admin Assistant 170005 (1980.01.01)

Geog Area	Currency	25th Percentile	50th Percentile	75th Percentile	100th Percentile	Base Mkt Ref	Variable	TgtPct	Var Tgt Pct Ref	Mean Total Comp	Total Comp Ref
MIDWEST REGION	USD	38,000.00	39,000.00	40,000.00	42,000.00	39,000.00		10.00	4,000.00	42,000.00	43,000.00
NEW YORK METRO	USD	36,000.00	37,000.00	38,000.00	40,000.00	37,000.00		10.00	3,700.00	40,000.00	41,000.00
MID ATLANTIC STATES	USD	36,000.00	37,000.00	38,000.00	40,000.00	37,000.00		10.00	3,700.00	40,000.00	41,000.00

このページには、現在の市場給与データだけでなく、利用可能な場合は過去および将来の市場給与データも表示されます。

支給カレンダーの設定

残高 ID の作成

残高 ID を作成するには、残高 ID テーブル (BALANCE_ID_TABLE) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、残高 ID の概要および残高 ID の作成方法について説明します。

注: 次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft Payroll for North America および Oracle の PeopleSoft 給与計算インターフェイスに適用されます。次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft グローバル ペイロールには適用されません。

残高 ID の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
残高 ID テーブル 1 ページ	BALANCE_ID_TBL1	支給グループに基づいて給与計算処理のサイクルを作成し、年間残高を定義します。
セットID - コメント ページ	BALANCE_ID_PU	会社ごとに設定されたセットIDを表示します。
残高 ID テーブル 2 ページ	BALANCE_ID_TBL2	年間残高 ID ごとに会社および年別の実際の四半期定義を定義します。

残高 ID について

残高は、カレンダー年、会計年度、福利厚生年、またはその他の必要な方法で管理できます。定義する年間残高タイプごとに開始日と終了日を指定し、年ごとに四半期、期間、および日付範囲を指定します。さまざまな年タイプ別に残高情報を更新、調整、および報告できます。

注: 1 つの残高 ID を設定するには、給与計算を処理する会社ごとにカレンダー年の残高オプションを選択する必要があります。

残高 ID テーブル 1 ページ

残高 ID テーブル 1 ページ (BALANCE_ID_TBL1) を使用して、支給グループに基づいて給与計算処理のサイクルを作成し、年間残高を定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, 残高 ID テーブル, 残高 ID テーブル 1
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], 残高 ID テーブル, 残高 ID テーブル 1

画像: 残高 ID テーブル 1 ページ

次の例では、残高 ID テーブル 1 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Balance ID Table 1' configuration page. At the top, there are tabs for 'Balance ID Table 1' and 'Balance ID Table 2'. Below the tabs, the 'Set ID' is 'BNUSA' and the 'Balance ID' is 'BX'. The '*Description' field contains 'BN_2003' and the 'Short Desc' is 'BN'03'. The '*Periods in a Year' is set to 12, and '*Quarters in a Year' is set to 4. There are checkboxes for 'Bal for Calendar Year', 'Maintain Earns Bal', 'Maintain Dedn Bal', 'Maintain Tax Bal', 'Maintain Check Bal', and 'Maintain Garn Bal'. A 'Use Date' section has radio buttons for 'Check Date' and 'Period End Date'. Below this is a table titled 'Balance ID details' with columns: *Year, *Period, *Begin Date, *End Date, *Period Name, and *Abbreviation. The table shows four rows for the year 2003, corresponding to quarters 1 through 4, with their respective start and end dates and names (January, February, March, April).

*Year	*Period	*Begin Date	*End Date	*Period Name	*Abbreviation
2003	1	01/01/2003	01/31/2003	January	Jan
2003	2	02/01/2003	02/28/2003	February	Feb
2003	3	03/01/2003	03/31/2003	March	Mar
2003	4	04/01/2003	04/30/2003	April	Apr

カレンダー年の残高 ID の作成

カレンダー年の残高 ID を作成するには、次の手順に従います。

1. カレンダー年の残高チェック ボックスをオンにします。
2. [年度] フィールドに年度を入力します。
3. [作成] ボタンをクリックします。
4. ページを保存します。

その他全てのフィールドは入力できなくなります。残高 ID 詳細の年の 12 の期間、年の 4 つの四半期、月のデフォルトの終了日は自動的に作成されます。

カレンダー年以外の残高 ID の作成

カレンダー年以外の残高 ID を作成する場合は、[年間期間数]、年間四半期数、[終了日デフォルト]、日付の使用、および [残高 ID の詳細] の各フィールドを指定する必要があります。管理する残高を選択する必要もあります。

値の入力

セットID

セットID ページにアクセスして各会社で使用する残高セットIDを表示するには、このボタンをクリックします。残高 ID テーブルコンポーネントのセットID は、会社テーブル – 会社所在地ページで指定します。

残高 ID

残高 ID テーブル検索ページで入力します。残高期間 (カレンダー年の場合は CY、会計年度の場合は FY、または福利厚生年の場合は BY など) を指定します。設定した残高 ID は変更しないでください。

年間期間数

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、年間期間数を指定します。

年間四半期数

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、年間四半期数を指定します。

カレンダー年の残高

カレンダー年の残高 ID を設定している場合に選択します。これによって、このページの残りのチェック ボックスおよび編集ボックス ([名称] および [略称] を除く) は入力できなくなります。カレンダー年の全ての残高タイプは自動的に選択され、[小切手発行日] オプションが自動的に選択されます。ただし、入力が可能になる [年度] フィールドおよび [作成] ボタンが表示されます。

年度

残高を作成する年を入力します。

作成

特定の会社および年度の会社、年、期間、開始日、終了日、期間名、および略称の各フィールドが自動的に入力されるように指示する場合は、このボタンをクリックします。

終了日デフォルト

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、このグループ ボックスを使用して、カレンダー年に適用する終了日を指定します。

なし

カレンダー年に対する特定の終了日が不要な場合に選択します。

月、隔月、四半期、日

月、隔月、四半期、または日の終了日を指定する場合は、対応するオプションを選択します。

支給残高管理、税残高管理、控除残高管理、小切手残高管理、差押残高の管理

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、作成する年の支給残高、税残高、控除残高、小切手残高、差押残高を管理するために、対応するチェック ボックスをオンにします。

注: これらの残高のそれぞれは定義する年で管理されます。たとえば、会計年度を定義して支給残高管理を選択した場合は、会計年度の支給残高が管理されます。

日付の使用

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、このグループ ボックスを使用して、管理する残高タイプを選択します。会社および年ごとに最初の期間、開始日、および終了日を設定する必要があります。これを入力すると、その会社/年の行ごとに開始日と終了日がデフォルトで自動的に設定されます。

小切手発行日

処理される残高を小切手発行日で管理する場合に選択します。たとえば、会計年度を 2006 年 7 月 1 日から 2007 年 6 月 30 日と定義していて、小切手発行日が 2007 年 6 月 23 日であった場合、残高はこの会計年度に含まれます。ただし、小切手発行日が 2007 年 7 月 1 日であった場合、残高は翌年の会計年度に含まれます。

期間終了日

処理される残高を期間終了日で管理する場合に選択します。たとえば、会計年度を 2006 年 7 月 1 日から 2007 年 6 月 30 日と定義していて、支給期間終了日が 2007 年 6 月 23 日であった場合、残高はこの会計年度に含まれます。ただし、支給期間終了日が 2007 年 7 月 1 日であった場合、残高は翌年の会計年度に含まれます。

残高 ID の詳細

カレンダー年の残高 ID を設定していない場合は、このグループ ボックスを使用して、特定の会社および年度の年、期間、開始日、終了日、期間名、および略称の各フィールドを指定します。

注: 最初の入力では、[年度]、[期間]、[開始日]、[終了日]、[期間名]、および [略称] の各フィールドに値を入力し、この情報の入力後、追加の行の [年度]、[期間]、[開始日]、および [終了日] の各フィールドは、デフォルトで、前の行に入力された値に基づいて自動的に設定されます。

年度、期間、開始日、終了日、期間名 残高タイプの年度、期間、開始日、終了日、期間名を入力します。

略称 期間名の略称を入力します。

セットID - コメント ページ

セットID - コメント ページ (BALANCE_ID_PU) を使用して、会社ごとに作成されたセットID を表示します。

ナビゲーション

残高 ID テーブル 1 または残高 ID テーブル 2 ページで、[セットID] ボタンをクリックします。

画像: コメント ページ

次の例では、コメント ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Comments

Balance SetID

Personalize | Find | View 100 |

First 1-4 of 1469 Last

Set ID	Set Control Value	Record Group ID	Record (Table) Name		
AA	AA	PY_01	BALANCE_ID_TBL		
AB	AB	PY_01	BALANCE_ID_TBL		
AB	NPS	PY_01	BALANCE_ID_TBL		
AC	AC	PY_01	BALANCE_ID_TBL		

OK

Cancel

セットID ページには、会社ごとに設定されたセットID が表示されます。これは、特定の会社について入力する際にセットID を確認するのに役立ちます。

残高 ID テーブル 2 ページ

残高 ID テーブル 2 ページ (BALANCE_ID_TBL2) を使用して、年間残高 ID ごとに会社および年別の実際の四半期定義を定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, 残高 ID テーブル, 残高 ID テーブル 2
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], 残高 ID テーブル, 残高 ID テーブル 2

画像: 残高 ID テーブル 2 ページ

次の例では、残高 ID テーブル 2 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Balance ID Table 1 | Balance ID Table 2

Set ID BNUSA

Balance ID BX BN2003 BN03

Periods in a Year 12

Quarters in a Year 4 ☐ None ☒ Monthly ☐ BiMonthly ☐ Quarterly ☐ Days

☐ Bal for Calendar Year ☒ Maintain Earns Bal ☒ Maintain Dedn Bal

☒ Maintain Tax Bal ☒ Maintain Check Bal ☐ Check Date ☐ Period End Date

☒ Maintain Garn Bal

Balance ID details Personalize | Find | View All | First 1-4 of 4 Last

*Year	*Quarter	*Period Name	*Abbreviation	*From Period	*To Period		
2003	1	Quarter 1	Q1	1	3	+	-
2003	2	Quarter 2	Q2	4	6	+	-
2003	3	Quarter 3	Q3	7	9	+	-
2003	4	Quarter 4	Q4	10	12	+	-

残高 ID テーブル 1 ページでカレンダー年の残高チェック ボックスをオンにして、[作成] ボタンをクリックすると、残高 ID テーブル 2 ページのフィールド情報が自動的に表示されます。

残高 ID テーブル 1 ページでカレンダー年の残高 ID タイプを指定していない場合は、[年度]、[四半期]、[期間名]、[略称]、[開始期間]、および [終了期間] の各フィールドに値を入力する必要があります。最初の入力後に追加する各行では、[年度]、[四半期]、および [開始期間] の各フィールドが、デフォルトで年間四半期数 フィールドの値に基づいて設定されます。

関連リンク

[残高 ID テーブル 1 ページ](#)

給与計算実行 ID の作成

給与計算実行 ID を作成するには、給与計算実行 テーブル (PAY_RUN_TABLE) コンポーネントを使用します。PAY_RUN_TABLE コンポーネント インターフェイスを使用して、このコンポーネントのテーブルにデータをロードします。

次の各トピックでは、給与計算実行 ID の概要および作成方法について説明します。

注: 次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft Payroll for North America および Oracle の PeopleSoft 給与計算インターフェイスに適用されます。次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft グローバル ペイロールには適用されません。

給与計算実行 ID の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
給与計算実行テーブル ページ	PAY_RUN_TABLE	給与計算実行 ID を作成して、処理対象のさまざまな支給グループの支給カレンダー エントリを結合します。

給与計算実行 ID について

給与計算実行 ID を使用して、一緒に処理する支給カレンダー エントリをシステムに示します。給与計算実行 ID は、処理する単一の支給カレンダーを指定します。複数の支給グループがある場合は、それらのグループに同一の給与計算実行 ID を割り当てることによって、単一の実行で一緒に処理できます。

給与計算実行 ID を共有する全てのカレンダー エントリは、通常、支給終了日が同じですが、支給周期が同じである必要はありません。たとえば、半月と月の支給カレンダーがある場合、両方のカレンダーは支給期間終了日が同じであるため、月末の実行では一緒に処理できます。

注: 給与計算実行 ID は給与計算履歴全体で一意である必要があります。給与計算実行 ID は、支給カレンダーに入力する前に、給与計算実行テーブルで作成する必要があります。給与計算実行 ID は最大 10 文字です。給与計算実行 ID を容易に識別できるように、最大 10 文字を有効に使用することをお勧めします。

給与計算実行テーブル ページ

給与計算実行テーブル ページ (PAY_RUN_TABLE) を使用して、給与計算実行 ID を作成し、処理対象のさまざまな支給グループの支給カレンダー エントリを結合します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [給与計算実行テーブル], [給与計算実行テーブル]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [給与計算実行テーブル], [給与計算実行テーブル]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD], [給与計算実行テーブル], [給与計算実行テーブル], [給与計算実行テーブル]

画像: 給与計算実行テーブル ページ

次の例では、給与計算実行テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Pay Run Table

Pay Run ID BRD-2012-5
 *Description BRD-2012-5
 Short Description BRD-2012-5

Pay Calendar Data
Find | View All
First 1-2 of 2 Last

Company	Pay Group	Pay Period End Date
BN1 Company BN1	BRP Retro Ben Pay Group	03/10/2012
BN3 Company BN3	BM2 CAN Retro Ben Biweekly	03/10/2012

略称

給与計算実行の略称を入力します。この略称は、さまざまな付属の給与レポート (PAY002 (給与計算の登録) など) に表示されます。また、ペイシート作成、給与計算、および支給確認に給与計算実行 ID を入力すると、ラン コントロールに表示されます。

会社、支給グループ、支給期間終了日

[支給カレンダー データ] グループ ボックスには、給与計算実行 ID でグループ化された全ての支給カレンダー エントリが表示されます。給カレンダー テーブルに給与計算実行 ID を入力した後は、このページに戻って、各給与計算実行 ID に割り当てられている支給カレンダーのデータを確認します。

支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの作成

支給カレンダーおよび FLSA カレンダーを作成するには、支給カレンダー作成 (RUNCTL_PAY_CAL_BLD)、FLSA カレンダー テーブル (FLSA_CALENDAR)、初期 FLSA カレンダー

(RUNCTL_FLSACALPD) の各コンポーネントを使用します。FLSA カレンダー テーブル コンポーネントの各テーブルへのデータ ロードには、FLSA_CALENDAR コンポーネント インターフェイスを使用します。

次の各トピックでは、支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの概要および作成方法について説明します。

注: 次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft Payroll for North America および Oracle の PeopleSoft 給与計算インターフェイスに適用されます。次の各トピックの情報は、Oracle の PeopleSoft グローバル ペイロールには適用されません。

支給カレンダーおよび FLSA カレンダーの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>FLSA カレンダー テーブル ページ</u>	FLSA_CALENDAR	FLSA カレンダーを設定します。
FLSA カレンダー作成ページ	RUNCTL_FLSACALPD	初期 FLSA カレンダー期間の作成 COBOL SQL プロセス (PSPIFLSA) を 実行して、既存の支給グループおよび支 給カレンダーに対する FLSA カレンダー を作成します。
<u>支給カレンダー作成ページ</u>	RUNCTL_PAY_CAL_BLD	支給カレンダーを自動的に作成します。(支給カレンダーの作成後、支給カレン ダー テーブル ページを使用して、支給カ レンダー エントリを手動で入力します。)
<u>支給カレンダー テーブル ページ</u>	PAY_CALENDAR_TABLE	単一の支給カレンダーを手動で作成しま す。自動的に作成されたカレンダーに支 給カレンダー エントリを手動で入力しま す。支給カレンダーを確認します。
<u>(USF) その他の Federal Payroll 情報 ページ</u>	GVT_PAY_STATUS_SEC	インターフェイスが実行されているかどう かを示し、連邦政府有給休暇処理の期 間を指定します。
<u>支給確認オプション ページ</u>	PAY_CALENDAR_TBL2	支給確認プロセス時に給与計算メッセ ージをスキップするかどうかを選択します。
支給カレンダーレポート ページ	PRCSRUNCNTL	支給カレンダー テーブル コンポーネント の情報 (支給グループ別に作成する給 与計算処理のサイクルを含む) が記載さ れたレポートを作成します。このテーブ ルの各エントリは、支給グループの支給期 間に対応します。
支給カレンダーの開/閉ページ	RUNCTL_PAY130	(USA) 年の最初の給与計算の処理後 に必要な年度末調整を入力する目的 で、閉じられた支給カレンダーを再度開 きます。

ページ名	定義名	用途
支給カレンダーの開/閉ページ	RUNCTL_130CN	(CAN) 年の最初の給与計算の処理後に必要な年度末調整を入力する目的で、閉じられた支給カレンダーを再度開きます。

支給カレンダーについて

支給カレンダーを使用して、支給グループの給与計算サイクルをスケジュールします。支給カレンダーの各エントリは、開始日と終了日で定義した支給グループの特定の支給期間に対応します。月の支給グループの支給カレンダーには、1 年の処理を表す 12 のエントリが指定されます。

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 給与計算実行 ID の割当
- 支給カレンダーの作成
- 自動による支給カレンダー
- 手動による支給カレンダー

給与計算実行 ID の割当

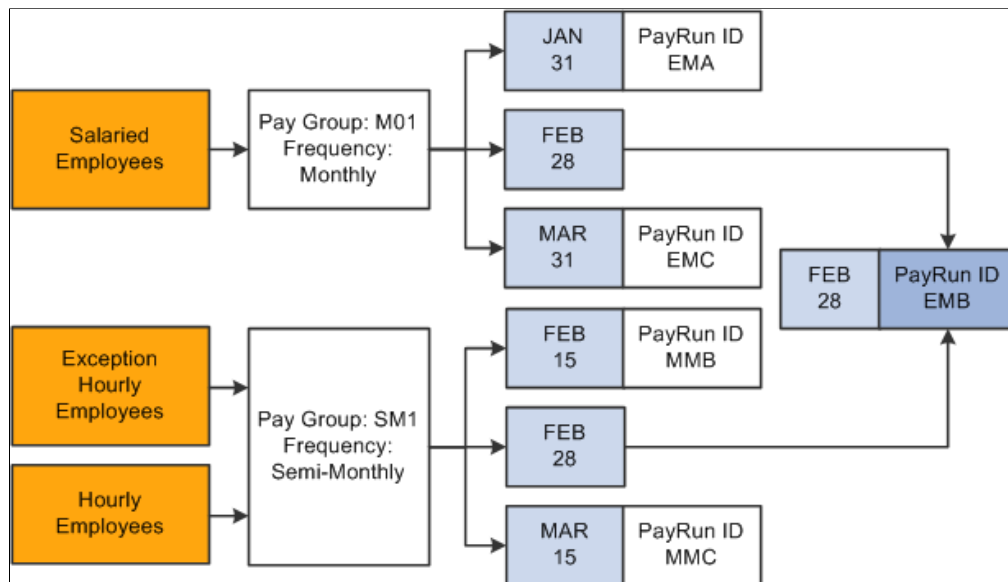
給与計算を処理するには、処理する支給カレンダー エントリに給与計算実行 ID を割り当てる必要があります。給与計算実行 ID を共有する全ての支給カレンダー エントリは、通常、支給終了日が同じですが、支給周期が同じである必要はありません。必ずではありませんが、通常、支給カレンダー テーブル コンポーネントの支給期間終了日ごとに異なる給与計算実行 ID を設定します。

注: 単一の給与計算実行 ID に割り当てられている全ての支給グループは、"支給グループ テーブル - プロセス コントロール" ページの [エラーのまま継続] オプションの設定が同じである必要があります。この条件が満たされていない場合、その給与計算実行 ID でエラーが発生したペイシートは移動されません。

半月と月の支給カレンダーがあり、エラーのまま処理を続行するように両方を設定している場合は、両方のカレンダーは支給期間終了日が同じであるため、月末の実行で一緒に処理できます。処理のスケジュールと [エラーのまま継続] 設定によって、一緒にグループ化できるグループかどうかが決まります。

画像: 同じ支給期間終了日を共有する支給グループは、同じ給与計算実行 ID に割り当てることができる一方、支給期間終了日が異なるグループは独自の給与計算実行 ID を割り当てる必要があります。

次の図では、CCB 社は同じ給与計算実行 ID (EMB) を 2 月 28 日の月カレンダー エントリと 2 月 28 日の半月カレンダー エントリの両方に割り当てているため、それらを同時に処理できます。半月の月中間日支給期間 (2 月 15 日や 3 月 15 日) など、同じ支給期間終了日を共有しない支給グループでは、独自の給与計算実行 ID (MMB および MMC) を設定します。両方の支給グループは、エラーのまま継続処理するように設定します。



支給カレンダーの作成

支給カレンダーを作成するには、次の手順に従います。

1. 支給カレンダーに必要な残高 ID を設定します。
2. 支給カレンダーに必要な給与計算実行 ID を設定します。
3. 支給カレンダーを自動または手動で作成します。

設定する各支給グループの支給期間ごとにカレンダーのエントリを作成する必要があります。また、給与計算を実行する前に、給与計算実行 ID を各カレンダーのエントリに割り当てる必要があります。

自動による支給カレンダー

支給カレンダーを自動的に作成するには、支給カレンダー作成ページの後に、支給カレンダー テーブル ページを使用します。

1. 支給カレンダー作成ページを使用して、支給カレンダーを自動的に作成します。

支給カレンダー作成ページを使用すると、カレンダー作成プロセス (PSPCLBLD) を実行して年の全てまたは一部の支給カレンダー エントリを自動的に作成できます。プロセスを実行するには、次の手順に従います。

- a. ラン コントロール データを設定します。
- b. プロセスを実行します。
- c. エラー メッセージを確認します。

全ての支給グループで同じ手順に従います。カレンダー作成プロセスを実行するたびに、ラン コントロール データが削除されます。したがって、このプロセスを再実行するときはデータを再度入力する必要があります。

2. 支給カレンダー テーブル ページを使用して、支給カレンダー エントリを手動で入力します。

カレンダー作成プロセスでは、支給カレンダー テーブル ページの [給与計算実行 ID]、有給休暇率、[有給休暇取消]、[集計 ID]、不定期カレンダー ?、不定期控除上書き、一般控除サブセットID、[福利厚生控除サブセットID]、福利厚生控除方法または一般控除方法の各フィールドに値が割り当てられません。プロセスの実行後に、これらのフィールドに値を手動で入力する必要があります。これらのフィールドの一部はオプションですが、給与計算の実行前に、給与計算実行 ID を各カレンダーのエントリに割り当てる必要があります。

手動による支給カレンダー

支給カレンダーを手動で作成するか、自動的に作成された支給カレンダーに支給カレンダー エントリを手動で入力するには、支給カレンダー テーブル ページ (PAY_CALENDAR_TABLE) を使用します。

通常、調整、オンライン小切手、給与小切手逆仕訳などの不定期処理に対応する単独の不定期支給カレンダーは手動でのみ作成します。

FLSA カレンダーについて

公正労働基準法 (FLSA) カレンダーは、個別の FLSA 期間および FLSA 期間開始日が指定された会社の支給グループごとに定義する必要があります。支給グループ テーブルの入力前に、システムに FLSA カレンダー ID を追加する必要があります。FLSA カレンダー要件は、固定 FLSA 期間で定義され、FLSA 支給期間定義ページで [基準式の使用] が選択された支給グループには適用されません。

FLSA 期間と FLSA 期間の開始日が同じである複数の支給グループは、全て同じ FLSA カレンダーを使用できます。

支給カレンダーを作成するプロセスと同じプロセスで FLSA カレンダーも作成されます。

FLSA カレンダーを作成するには、次の手順に従います。

1. FLSA カレンダー テーブル ページで FLSA カレンダーを設定します。

FLSA カレンダー ID を入力し、期間の長さで期間開始日を指定します。

- 2. 支給カレンダー作成ページからカレンダー作成プロセスを実行します。

カレンダー作成プロセスの実行前に FLSA カレンダーを設定しなかった場合は、初期 FLSA カレンダー期間の作成 COBOL SQL プロセス (PSPIFLSA) を使用すると、FLSA カレンダーを作成できます。支給グループの FLSA ステータスが更新または変更された場合も、このプロセスを使用できます。

- 3. FLSA 期間を表示するには、FLSA カレンダー テーブル ページに戻ります。

注: カレンダー年全体の FLSA カレンダーが作成されます。支給カレンダー日は、FLSA カレンダーに影響を与えません。

FLSA カレンダー テーブル ページ

FLSA カレンダー テーブル ページ (FLSA_CALENDAR) を使用して、FLSA カレンダーを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [FLSA カレンダー テーブル], [FLSA カレンダー テーブル]

画像: FLSA カレンダー テーブル ページ

次の例では、FLSA カレンダー テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

FLSA Calendar Table

FLSA Calendar ID T28SATFRI

FLSA Period in Days 28

FLSA Period Start Date 05/30/1998

FLSA Dates

Find | View All

First 1-8 of 8 Last

FLSA Begin Date	FLSA End Date
05/30/1998	06/26/1998
06/27/1998	07/24/1998
07/25/1998	08/21/1998
08/22/1998	09/18/1998
09/19/1998	10/16/1998
10/17/1998	11/13/1998
11/14/1998	12/11/1998
12/12/1998	01/08/1999

FLSA カレンダー ID

入力ページで追加または選択した FLSA カレンダー ID がここに表示されます。FLSA カレンダー ID を使用して、FLSA カレンダーを支給グループにリンクします。たとえば、14 と MON-SUN の FLSA カレンダー ID は、支給期間が 14 日間で、FLSA 支給期間が月曜日に開始して日曜日に終了する支給グループにリ

ンクされます。この ID は、FLSA 支給期間定義ページで FLSA カレンダーを支給グループに関連付けるために使用されます。

FLSA 支給日数

このフィールドを使用して、このカレンダー ID の FLSA 期間の長さを定義します。ここで入力した情報と FLSA 期間開始日を使用して FLSA 開始日と FLSA 終了日が決定し、それらは FLSA カレンダーの作成後にこのページに表示されます。

FLSA 期間開始日

このフィールドを使用して、後続の FLSA 期間の設定の元となる開始日を定義します。このフィールドは、この FLSA カレンダー ID を使用する全ての支給グループの中で最早日に設定する必要があります。

注: カレンダー作成プロセスを使用して FLSA カレンダーを作成した後、FLSA カレンダー テーブル ページは表示専用になります。[FLSA 日付] グループ ボックスの各行には、1 つの FLSA 勤務周期の FLSA 開始日と終了日が表示されます。作成後の FLSA カレンダーは表示専用になり、変更または修正を行うことはできません。

関連リンク

[FLSA カレンダーについて](#)

[Setting Up for FLSA CalculationPeopleSoft Payroll for North America](#)

支給カレンダー作成ページ

支給カレンダー作成ページ (RUNCTL_PAY_CAL_BLD) を使用して、支給カレンダーを自動的に作成します。

(支給カレンダーの作成後、支給カレンダー テーブル ページを使用して、支給カレンダー エントリを手動で入力します。)

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給カレンダー作成], [支給カレンダー作成]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給カレンダー作成], [支給カレンダー作成]

画像: 支給カレンダー作成ページ

次の例では、支給カレンダー作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Pay Calendars

Run Control ID 1Report ManagerProcess MonitorRun

Pay Calendar Information

*Company

*Pay Group

*Pay Period End Date

Check Dt Days From Pay End Dt

Pay Periods Per Year

Pay Year

Define Years

Calendar Yr Run

Pay Yr Run

Fiscal Yr Run

Leave Yr Run

注: 支給カレンダー作成ページを使用して、カレンダー作成プロセスを設定し、実行します。カレンダーの作成後、支給カレンダー テーブル ページを使用して、給与計算実行 ID およびその他の情報を割り当てます。

注: カレンダーの作成前に、カレンダー年の残高 ID を設定する必要があります。

支給期間終了日	支給カレンダーの最初の支給期間終了日を入力します。たとえば、2009 年の半月の給与計算の場合は、"01/15/2009" と入力します。部分的なカレンダー年の支給カレンダーを作成するには、カレンダーを開始する支給期間の終了日を入力します。つまり、3 月 15 日に終了する支給期間のカレンダーを開始するには、"03/15/2009" と入力します。
支給終了日から小切手発行日までの日数	支給期間終了日から小切手発行日までの日数 (正または負) を表す値を入力します。たとえば、支給期間終了日が 1 月 31 日で、小切手発行日が 2 月 3 日の場合は、日数を "3" に設定します。支給期間終了日が 1 月 31 日で、小切手発行日が 1 月

30 日の場合は、"-1"と入力します。小切手発行日が祝祭日または週末の場合は、小切手を発行する祝祭日または週末前の最初の就業日を検出するように、カレンダーをさかのぼって自動的に検索されます。

年間支給期間

年間支給期間数が表示されます。この数は、支給グループに割り当てられる支給周期によって異なります。

支給年

(USF) このフィールドは U.S. 連邦政府顧客にのみ表示されます。

IRR プロセスでは支給年が必要です。IRR の処理時に、IRR 経済的データ累計によって、支給年に発生した全ての金額が指定されます。支給カレンダーで適用する支給年を入力します。

(USF) 年の定義

このグループ ボックスは U.S. 連邦政府顧客にのみ表示されます。

カレンダー年の実行

この値は、連邦政府の休職処理で、休暇付与がこのカレンダー年から開始される特定の休暇タイプに対して使用されます。自動的に作成されるカレンダー エントリで、休暇プランのカレンダー年の開始に指定されている支給期間を識別する支給カレンダー番号を入力します。たとえば、月の給与計算の場合は、1 年に 12 の支給カレンダーがあります。1 月が開始点になるため、このフィールドには "1"と入力します。

支給年の実行

この値は、連邦政府の年間有給休暇処理で、休暇付与がこの支給年から開始される休暇タイプに対して使用されます。自動的に作成されるカレンダー エントリで、有給休暇処理の支給年の開始に指定されている支給期間を識別する支給カレンダー番号を入力します。

会計年度の実行

この値は、連邦政府の年間有給休暇処理で、休暇付与がこの会計年度から開始される休暇タイプに対して使用されます。自動的に作成されるカレンダー エントリで、有給休暇処理の会計年度の開始に指定されている支給期間を識別する支給カレンダー番号を入力します。

有給休暇年の実行

この値は、連邦政府年間有給休暇処理でのみ使用されます。自動的に作成されるカレンダー エントリで、年間有給休暇年の開始に指定されている支給期間を識別する支給カレンダー番号を入力します。

注: 有給休暇年が開始するのは、開始日と終了日の両方が新しい年にある、最初の完全支給期間の最初の日です。有給休暇年が終了するのは、新しい有給休暇年の支給期間の直前に終了する最後の支給期間の最後の日です。

関連リンク

[\(USF\) その他の Federal Payroll 情報ページ](#)
[支給カレンダーについて](#)

支給カレンダー テーブル ページ

支給カレンダー テーブル ページ (PAY_CALENDAR_TABLE) を使用して、単一の支給カレンダーを手動で作成します。

自動的に作成されたカレンダーに支給カレンダー エントリを手動で入力します。支給カレンダーを確認します。

ナビゲーション

- [Payroll for North America], 給与計算処理 USA, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, [支給カレンダー テーブル]
- [Payroll for North America], 給与計算処理 CAN, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, [支給カレンダー テーブル]
- [Payroll for North America], 給与計算処理 USF, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, [支給カレンダー テーブル]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給カレンダー テーブル], [支給カレンダー テーブル]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給カレンダー テーブル], [支給カレンダー テーブル]

画像: 支給カレンダー テーブル ページ

次の例では、支給カレンダー テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

不定期カレンダー？

支給カレンダーを不定期処理として指定する場合に選択します。定期と不定期の2つのタイプの処理が、支給カレンダーに関連付けられます。定期処理は、支給グループおよび支給期間に対して通常にスケジュールされた給与計算処理です。不定期処理は、標準外のその他の給与計算アクティビティです。不定期アクティビティは通常、この期間中において発行されたマニュアル小切手、計算されて発行された臨時小切手、および処理された逆仕訳の記録で構成されます。このオプションを使用

すると、定期小切手発行日とは異なる特定の小切手発行日に関連付けられている不定期小切手のグループを実行できます。

不定期控除上書き

不定期実行に対して、給与計算プロセスで控除上書きプロセスを使用して控除を決定するように指定する場合は、このチェックボックスをオンにします。

不定期カレンダー？が選択されて、不定期控除上書きが選択解除されている場合は、給与計算時に控除上書き評価プロセスがスキップされます。つまり、従業員レベルの福利厚生控除または一般控除の上書きは有効になりません。これは、不定期賞与の実行に有用です。

連邦政府

(USF) 給与計算ステータス ページにアクセスするには、このボタンをクリックします。このボタンは U.S. 連邦政府顧客にのみ表示されます。

支給期間終了日

支給期間終了日がここに表示されます。この日付は、従業員の支給を比例配分計算するかどうかを決定するために使用されます。この日付によって、祝祭日が支給期間内にあるかどうか、従業員が支給期間内でアクティブであるかどうかも確認されます。したがって、その日に従業員に支給するかどうかも認識されます。

給与計算プログラムでは、これらの日付を使用して、使用する控除および追加支給を決定します。

支給期間開始日

支給期間開始日を入力します。この日付は、従業員の支給を比例配分計算するかどうかを決定するために使用されます。この日付によって、祝祭日が支給期間内にあるかどうか、従業員が支給期間内でアクティブであるかどうかも確認されます。したがって、その日に従業員に支給するかどうかも認識されます。

給与計算プログラムでは、これらの日付を使用して、使用する控除および追加支給を決定します。

給与計算実行 ID

給与計算実行 ID を選択します。各給与計算バッチ プロセスには、処理する支給グループを決定するために給与計算実行 ID を指定する必要があります。同じ給与計算実行 ID が指定された全ての支給カレンダー エントリは、同時に処理されます。支給期間の給与計算処理を開始する前に、このページで給与計算実行 ID を割り当てますが、その ID は給与計算実行テーブル ページで事前に定義しておく必要があります。給与計算実行 ID なしで給与計算プロセスを実行することはできません。

集計 ID

(USA) 集計課税を示すには、集計 ID を入力します。ここに値を入力することによって、支給グループ全体の集計課税がシステムに通知されます。

集計納税方法を使用するのは通常、週の支給期間内で従業員に複数の割当を支払う人材派遣会社など、単一支給期間内で従業員に複数回支払う必要がある場合です。税金計算の目的のために、集計 ID の値 (不定期の給与計算を含む) が同じ全ての支給カレンダーが集計されます。同一集計 ID を使用してカレンダーで支給される全ての賃金は結合され、次に年次化され、それに応じて課税されます。

注: 単独の不定期カレンダーと一緒に集計するように追加する場合は、支給期間終了日が、最初に確認された小切手の支給期間終了日の翌日である必要があります。

複数の支給カレンダーに同じ集計 ID を入力する場合、特定の従業員については、これらの支給カレンダーのそれぞれで計算された後続の各小切手 (不定期または定期) が、同じ集計 ID を使用して設定された前の支給カレンダーの既に計算済の適格な小切手と共に集計されます。

1 つの支給カレンダーに固有の集計 ID を設定する場合、特定の従業員については、後続の不定期および定期小切手が、その支給カレンダーの既に確認済の適格な小切手と共に集計されます。

複数の小切手にわたる課税を集計するには、税算出方法として指定したペイシートの算出方法を使用して支給コードを設定し、税算出方法の定期ペイシートとして集計を手動で指定することも必要です。

Aggregate Taxation of Multiple ChecksPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。

給与小切手発行日

給与小切手発行日を選択します。この日付は、従業員の給与小切手または通知明細書に表示されます。これによって、全ての給与計算残高のカレンダー年、四半期および期間が決定します。さらに、この小切手発行日を使用して、この給与計算に使用する税テーブルの適切な有効日エントリが検索されます。

注: 従業員残高 (税、控除、および支給など) は、ペイシートまたは小切手の小切手発行日ではなく、処理する支給カレンダーの小切手発行日に基づいて更新されます。これらの日付は通常同じですが、必ず同じではありません。

この期間の週数

給与計算サイクル内の週数を示す値を入力します。従業員が配属されている州によって、税報告のためにこのフィールドの使

用が必要な場合があります。週数は、支給期間の水曜日の数に基づきます。

年間支給期間

年間の支給期間数を示す値を入力します。控除が計算されると、控除テーブルが確認されて各控除の金額が年次化され、結果が年間の支給期間数で除算されます。

例: 月ごとに \$100 の控除を設定すると、\$100 が 12 で乗算されて \$1200 になり、次に、従業員に対する月の支給では、12 で除算されて支給期間ごとに \$100 が控除されます。半月の従業員の場合、控除は 24 で除算されます。

週および隔週の支給期間の場合は、このように単純ではありません。支給日の曜日によって、特定の年の週の支給期間が 53 (52 ではなく) の場合があり、同様に、隔週の支給期間は 27 (26 ではなく) の場合があります。この状況に対応するために年間支給期間フィールドでは、定義する支給カレンダーが 26、27、52、または 53 の年間支給期間であるかどうかを指定します。

金額は、控除が週、隔週、半月、または月であるかどうかに基づいて 52、26、24、または 12 で乗算されて必ず年次化され、年間支給期間数に入力する数字で除算されて非年次化されます。

注: 月および半月の支給カレンダーの場合、年間支給期間フィールドに対して有効な値は "12" および "24" のみで、それ以外は入力できません。

残高 ID の詳細

このグループ ボックスには、残高を管理する各残高 ID の支給期間に適用される年、四半期、および期間が表示されます。

有給休暇率

一般会計インターフェイス用の有給休暇合計を計算するために、有給休暇率を入力します。この率は通常、会計期間が重複する支給期間、またはカレンダー月に対応しない支給期間を処理するために使用します。たとえば、給与計算は週で処理するが、一般会計は月で処理する場合は、調整が必要な場合があります。ここで率を指定すると、指定した月の最後の支給期間の支給に対する指定率が、一般会計インターフェイス用の有給休暇金額に追加されます。それらの有給休暇を翌月の最初の支給期間で取り消すには、[有給休暇取消] チェック ボックスをオンにして、有給休暇率フィールドを選択解除したままにします。一般会計インターフェイスで適切な金額から有給休暇を差し引くことで対応されます。

有給休暇取消

一般会計インターフェイスに追加した有給休暇を取り消す場合に選択します。一般会計インターフェイスで適切な金額から有給休暇を差し引くことで対応されます。ただし、このチェック

ボックスをオンにした場合は、有給休暇率フィールドを選択解除したままにする必要があります。有給休暇率フィールドを選択解除しない場合は、[有給休暇取消] チェック ボックスをオフにする必要があります。

注: 有給休暇率フィールドおよび [有給休暇取消] チェック ボックスは、PeopleSoft Payroll for North America for E&G には適用されません。

FLSA 定期支給終了日

FLSA 不定期処理の支給終了日を選択します。このフィールドは、不定期カレンダーにのみ適用されます。定期カレンダーの場合、このフィールドは入力できません。不定期で支払われる支給で FLSA 対象 (支給テーブル - 一般ページの FLSA に影響チェック ボックスを [なし] に設定しない) の場合は、支給を適用する定期支給終了日を入力します。この日付は、適切な FLSA 期間を決定するために使用されます。

福利厚生控除方法

この給与計算実行での福利厚生の控除方法を示すには、値を選択します。デフォルト値は、*[控除]* です。

- *なし*: 福利厚生を控除しない場合は、この値を選択します。
- *控除*: これらの従業員の控除テーブル ページで定義されている通常の福利厚生控除を使用する場合は、この値を選択します。これがデフォルト値です。
- *サブセット*: 特定の福利厚生控除サブセットを使用する場合は、この値を選択します。この値を選択する場合は、[福利厚生控除サブセットID] フィールドでサブセットID を指定する必要があります。

福利厚生控除サブセットID

福利厚生控除方法でサブセットを選択した場合は、サブセットID を指定します。

一般控除方法

この給与計算実行での一般控除方法を示すには、値を選択します。デフォルト値は、*[控除]* です。

- *なし*: 一般控除を行わない場合は、この値を選択します。
- *控除*: これらの従業員の控除テーブル ページで定義されている通常の控除を使用する場合は、この値を選択します。これがデフォルト値です。
- *サブセット*: 特定の一般控除サブセットを使用する場合は、この値を選択します。この値を選択する場合は、一般控除サブセットID フィールドでサブセットID を指定する必要があります。

一般控除サブセットID

一般控除方法でサブセットを選択した場合は、サブセットIDを指定します。

月間支給期間

このカレンダー エントリに指定した支給および控除に支給期間を割り当てるには、このオプションを使用します。ペイシートの作成時に、追加支給の支給期間が処理される支給期間と一致するかどうかを確認されて、ペイシートに追加支給が追加されます。給与計算時に、控除の支給期間が処理される支給期間と一致する場合は、支給総額から控除が差し引かれます。目的の月の支給期間を指定するには、対応するオプションの[期間 1]、[期間 2]、[期間 3]、[期間 4]、および [期間 5] を選択します。

給与計算マイルストンの確認

支給カレンダー テーブル ページの下部にあるチェック ボックスは、入力できません。システムで管理されるこのセクションは、処理インジケータ、つまりマイルストンで構成され、このカレンダー エントリに対する給与計算処理の進捗状況が示されます。たとえば、ペイシートを作成し、最終給与計算を完了し、支給確認を実行している場合、支給カレンダー テーブル ページでは複数のチェック ボックスが選択されて既に完了しているステップが示されます。

これらのインジケータは、バックグラウンド プログラムおよび SQR で管理されます。システムでは、給与計算処理時にこれらのインジケータを問い合わせ、給与計算バッチ プロセスが適切な順序で実行中であることを検証します。

不定期の終了

次の支給期間の定期給与計算が確認されると、不定期の終了チェック ボックスが選択されて、このカレンダーに対して不定期給与計算を実行できなくなります。

注: 年度末調整を処理するには、支給カレンダーの開/閉プロセス (PAY130 または PAY130CN) を使用してカレンダーを開きます (不定期の終了チェック ボックスをオフに設定)。調整の処理後、PAY130 または PAY130CN を実行してカレンダーを閉じます。このプロセスで開閉されるのは、年の最後の定期カレンダーのみです。

給与計算情報配分の実行

コミットメント会計以外の GL 情報配分が実行されている場合に選択されます。

GL インターフェイスの実行

(コミットメント会計以外の) 会計行が作成されている場合に選択されます。

コミットメント会計の給与計算情報配分の実行

コミットメント会計の GL 情報配分が実行されている場合に選択されます。

コミットメント会計の GL インターフェイスの実行

コミットメント会計の GL インターフェイスが実行されている場合に選択されます。

注: GL インターフェイスは、支給カレンダー エントリの定期および不定期給与計算を完了した後にのみ実行する必要があります。GL インターフェイスの実行後は、そのカレンダー エントリに対してさらに給与計算トランザクションを入力できなくなります。GL インターフェイスの実行またはコミットメント会計の GL インターフェイスの実行が選択されている場合は、このチェック ボックスを再設定するまで処理を再実行できません。GL インターフェイスのチェック ボックスは、支給期間の調整の処理に影響を与えません。調整は、不定期の終了チェック ボックスがオンになるまで実行できます。

GL インターフェイスは、支給カレンダー エントリの定期および不定期給与計算を完了した後にのみ実行する必要があります。GL インターフェイスの実行後は、そのカレンダー エントリに対してさらに給与計算トランザクションを入力できなくなります。GL インターフェイスの実行が選択されている場合は、このチェック ボックスを再設定するまで処理を再実行できませんが、支給期間の調整の処理には影響を与えません。調整は、不定期の終了チェック ボックスがオンになるまで実行できます。

関連リンク

[Creating Deduction SubsetsPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Printing Paychecks and Direct Deposit AdvicesPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Understanding Employee Balance AdjustmentsPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Understanding DeductionsPeopleSoft Payroll for North America](#)

(USF) その他の FederalPayroll 情報ページ

給与計算ステータス ページ (GVT_PAY_STATUS_SEC) を使用して、インターフェイスが実行されているかどうかを示し、連邦政府有給休暇処理の期間を指定します。

ナビゲーション

支給カレンダー テーブル ページで [連邦] ボタンをクリックします。

画像: その他の FederalPayroll 情報ページ

次の例では、その他の FederalPayroll 情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a dialog box titled "Additional Federal Payroll Info". It contains the following sections:

- Payroll Status:** A checkbox labeled "Leave Accrual Run".
- Interface Status:** Three checkboxes: "RITS Interface Run", "TSP Interface Run", and "Treasury Interface Run".
- Pay Year:** Two input fields: "Pay Year" with the value "8224" and "Pay Period Number" with the value "1".
- Year Indicators:** Four checkboxes: "Calendar Year Begins", "Leave Year Begins", "Pay Year Begins", and "Fiscal Year Begins". There is also a checkbox labeled "Leave Year Ends" on the right side of this section.

At the bottom of the dialog box are two buttons: "OK" and "Cancel".

給与計算ステータス

有給休暇の実行

このチェック ボックスは、給与計算の確認後に実行する有給休暇プロセスによって更新されます。

インターフェイスのステータス

このグループ ボックスのチェック ボックスでは、支給カレンダーに対して RITS インターフェイス、TSP インターフェイス、または財務管理インターフェイスが実行されているかどうかが表示されます。システムによって、これらのフィールドが更新されます。

支給年

支給年

IRR プロセスでは支給年が必要です。IRR の処理時に、IRR 経済的データ累計によって、支給年に発生した全ての金額が指定されます。支給カレンダーで適用する支給年を入力します。

年インジケータ

最初の 4 つのチェック ボックスは、カレンダー作成プロセスの実行時に入力したラン コントロール パラメータに基づいて完了されます。これらの値の変更が必要な場合は、カレンダーの作成後に手動で更新できます。

カレンダー年の開始

このチェック ボックスは、U.S. 連邦政府年間有給休暇処理および U.S. 連邦政府給与上限額/限度額処理で使用されます。

U.S. 連邦政府年間有給休暇処理用: 特定の休暇タイプの休暇プラン カレンダー年を開始するように支給期間が指定された支給カレンダーの場合は、このチェック ボックスをオンにします。

U.S. 連邦政府給与上限額/限度額処理用: 従業員の給与が今年度の限度を超えるために支給が翌年に繰延される場合は、COBOL によって、翌年の最初の給与計算で繰延支給の支払いが試行されます。このチェック ボックスがオンの場合は、この日付を使用して年の最初の給与計算が指定されます。

休暇年の開始

このチェック ボックスは、連邦政府年間有給休暇処理でのみ使用されます。年間休暇年を開始するように支給期間が指定された支給カレンダーの場合は、このチェック ボックスをオンにします。

注: 有給休暇年が開始するのは、開始日と終了日の両方が新しい年にある、最初の完全支給期間の最初の日です。有給休暇年が終了するのは、新しい有給休暇年の支給期間の直前に終了する最後の支給期間の最後の日です。

支給年の開始

このチェック ボックスは、連邦政府の年間有給休暇処理で、休暇付与がこの支給年から開始される休暇タイプに対して使用されます。有給休暇処理対象の支給年を開始するように支給期間が指定された支給カレンダーの場合は、このチェック ボックスをオンにします。

会計年度の開始

このチェック ボックスは、連邦政府の年間有給休暇処理で、休暇付与がこの会計年度から開始される休暇タイプに対して使用されます。有給休暇処理対象の会計年度を開始するように支給期間が指定された支給カレンダーの場合は、このチェック ボックスをオンにします。

休暇年の終了

このチェック ボックスは参照専用です。休暇年の終了を表している支給カレンダーを識別できます。

支給確認オプション ページ

支給確認オプション ページ (PAY_CALENDAR_TBL2) を使用して、支給確認プロセス時に給与計算メッセージをスキップするかどうかを選択します。

ナビゲーション

- [Payroll for North America], 給与計算処理 USA, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, 支給確認オプション
- [Payroll for North America], 給与計算処理 CAN, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, 支給確認オプション
- [Payroll for North America], 給与計算処理 USF, ペイシートの作成およびロード, 支給カレンダーの確認, 支給確認オプション
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], 給与計算処理コントロール, [支給カレンダーテーブル], 支給確認オプション
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], [給与計算], [支給カレンダーテーブル], 支給確認オプション

画像: 支給確認オプション ページ

次の例では、支給確認オプション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

不定期カレンダー？

支給カレンダー テーブル ページでこのチェック ボックスをオンにした場合、このチェック ボックスはオンになり、ページでオンにできなかった場合、このチェック ボックスはオフになります。

このオプションを選択する場合は、ラン コントロール ページの左側にある実行パラメータを使用して、振込みペイシートに対する給与計算を処理する必要があります。このオプションを選択しないと、定期カレンダーにリンクしている既存の不定期ペイシートに振込みペイシートをリンクしていると想定されます。

エラーのまま継続

エラーのまま継続機能に定義されているエラー メッセージが発生しても給与計算処理を続行する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

エラーの支給終了日

通常の給与計算実行時にスキップされた従業員を修正して支給する不定期給与計算の終了日を表す、エラーの支給終了日

を選択します。選択する支給終了日に不定期支給カレンダーが設定されていることを確認してください。

関連リンク

[Setting Up Continue with Errors ProcessingPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Reviewing Payroll Messages and Correcting ErrorsPeopleSoft Payroll for North America](#)

北米用法人税テーブルの設定

(USA) Company State Tax Table の設定

Company State Tax Table を設定するには、Company State Tax Table コンポーネント (CO_STATE_TAX_TBL) または Agency State Tax Table USF コンポーネント (CO_STATE_TAX_TBL) と Tax Collector Table コンポーネント (TAX_COLLECTOR_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、Company State Tax Table の設定方法について説明します。

注: 次の各トピックで説明する税テーブルは、Payroll for North America と給与計算インターフェイスの両方のアプリケーションに必要です。これらの各アプリケーションに固有の追加の税データ設定については、各アプリケーションのドキュメントに記載されています。

Company State Tax Table の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Company State Tax Table - General ページ	CO_STATE_TAX_TBL	組織が税の徴収または支払を行う各州の Company State Tax Table にエントリを設定します。
Company State Tax Table - VDI/FLI ページ	CO_STATE_TAX_TBL2	会社に関連付けられている任意所得補償保険プランを指定します。
Company State Tax Table - GL Accounts ページ	CO_STATE_TAX_TBL3	州税に対する一般会計勘定科目を入力します。
Company State Tax Report ページ	PRCSRUNCNTRL	TAX704 を実行して Company State Tax Table の情報を出力し、会社が税の徴収または支払を行う州を特定します。

Company State Tax Table - General ページ

General ページ (CO_STATE_TAX_TBL) を使用して、組織が税の徴収または支払を行う各州の Company State Tax Table にエントリを設定します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Company State Tax Table], [General]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Agency State Tax Table USF], [General]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Company State Tax Table], [General]

画像: Company State Tax Table - General ページ

次の例では、Company State Tax Table - General ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

[State Tax Data 1] および [Local Tax Data] の [State] フィールドは、このテーブルに対して編集されます。従業員に対する州税および地方税の情報を入力する前に、このテーブルにエントリを作成する必要があります。

State Withholding

Employer ID

州源泉徴収に対する州事業主 ID を入力します。

Non-Resident Declaration Reqd

このチェック ボックスは、州の Federal/State Tax Table 1 レコードに基づいてデフォルトでオンまたはオフになります。州が非居住者の従業員に対して非居住者申告を義務付けているかどうかを示します。

State Unemployment

Exempt From SUT

この州では会社に SUT の支払を義務付けていない場合は、このチェック ボックスをオンにします。会社全体で SUT が免税されないように会社テーブルに指定している場合は、このオプションを使用します。ここでオンにすると、[Exempt from SUT] は従業員レベルのデフォルトになり、この州で採用された従業員については、State Tax Data ページのこのチェック ボックスがオンになります。

「[Company State Tax Table - General ページ](#)」を参照してください。

Employer ID

州の失業保険に対する州事業主 ID を入力します。

MA Health Insurance Override

(MA 専用)マサチューセッツ標準健康保険料率が State Tax Table からデフォルトで設定されます。マサチューセッツの場合は、新しい事業主に対する健康保険料が異なります。低い料率が適用されるマサチューセッツの事業主の場合は、このチェック ボックスをオンにして適切なマサチューセッツの健康保険率を入力します。

Experience Rate Percent

[State Unemployment] グループ ボックスに入力する経験レートは、州の失業保険の機関から受け取るレートを反映する必要があります。[Effective Year] および [Effective Quarter] フィールドに、レートが有効になる年度および四半期を入力します。これによって、単一カレンダー年内で異なるレートを設定できます。

MA Health Insurance Rate

(MA 専用)上書きをオンにした場合は、適切な健康保険率を入力します。

Branch Code

このフィールドはアリゾナ用の情報です。TAX860AZ.SQR によって、州の EIN の末尾に支社コードが追加されます。

UBI Number (統合ビジネス ID 番号)

ワシントン州にある会社を追加する場合は、割り当てられている UBI 番号を入力します。ワシントン州のみで会社の四半期レポートに使用します。

EAF Rate (雇用管理基金レート)

ワシントン州にある会社を追加する場合は、さらに雇用管理基金に対する税の計算に使用する EAF を入力します。雇用管理基金は、失業者のための仕事探しの支援および研修に資金を供給します。ワシントン州のみで会社の四半期レポートに使用します。

State Disability

Exempt From ER Disability

この州の従業員が雇用主支払の州の所得補償税を免除されている場合、このチェック ボックスをオンにします。このフィールドは参照専用であり、システムでは使用されません。

Experience Rate Percent

[State Disability] グループ ボックスに入力する経験レートは、州の所得補償の機関から受け取るレートを反映する必要があります。[Effective Year] および [Effective Quarter] に、レートが有効になる年度および四半期を入力します。これによって、単一カレンダー年内で異なるレートを設定できます。

注: システムでは四半期 1 のレコードが存在することを想定しているため、四半期 1 のレコードを設定する必要があります。後続の四半期のレコードが必要なのは、年度の途中でレートが変更される場合のみです。四半期 2 のレコードを設定して、四半期 1 のレコードを設定しないと、給与計算時に "SUT rate not found on Company/State Tax table" エラーが表示されます。このエラーは、処理する支給終了日に関係なく発生します。

Employer ID

(E&G) カリフォルニア、ミシガン、およびミネソタでグループ化している州の所得補償に対する適切な事業主 ID を入力します。ここで事業主 ID を入力して、ラン コントロール ページで [Separate Tax Report] チェック ボックスをオンにした場合は、T002CAHP、T002MIHP、および T002MNHP レポートが事業主 ID でグループ化されます。このレポートには、州の源泉徴収、州の失業保険、および州の所得補償が示されます。

TAX002、TAX810、および TAX860 レポートに対するデータを生成するための SUT 免税の設定

TAX002、TAX810、および TAX860 レポートは、SUT 賃金に基づいて生成されます。このページで [Exempt From SUT] フィールドをオンにすると、課税対象賃金が生成されず、TAX002、TAX810、および TAX860 レポートにはデータが含まれません。

州失業税は免税のままにする一方、TAX002、TAX810、および TAX860 レポートで必要な賃金詳細レポートのデータを生成できるように、以下を実行して課税支給を生成します。

1. Company Table-FICA/Tax Details ページで [Company Exempt from SUT] フィールドの選択が解除されていることを確認します。
2. Company State Tax Table - General ページの [Exempt From SUT] フィールドの選択は解除したままにします。

これらのステップでは、各従業員の State Tax Data ページの [Exempt From SUT] フィールドの選択が解除されていることを確認する必要があります。3 つ全てのページで [Exempt From SUT] フィールドの選択が解除されていることを確認します。

3. Company State Tax Table – General ページで [State Unemployment] の [Employer ID] フィールドにダミーの番号を入力します。
4. [State Unemployment] の経験レートに "0" (ゼロ) の値を入力します。

これらのステップを実行すると、SUT 税額を計算せずに課税賃金を追跡できます。TAX002、TAX810、または TAX860 レポートでは、SUT 対象賃金をレポートできます。

Company State Tax Table - VDI/FLI ページ

VDI/FLI ページ (CO_STATE_TAX_TBL2) を使用して、会社に関連付けられている任意所得補償保険プランを指定します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Company State Tax Table], [VDI/FLI]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Agency State Tax Table USF], [VDI/FLI]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Company State Tax Table], [VDI/FLI]

画像: Company State Tax Table - VDI/FLI ページ

次の例では、Company State Tax Table - VDI/FLI ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Company State Tax Table - VDI/FLI' page. At the top, there are tabs for 'General', 'VDI/FLI', and 'GL Accounts'. Below the tabs, the company and state information is shown: 'Company BN1' and 'State NJ', with 'Company BN1' and 'New Jersey' listed below. The main section is titled 'Company State Tax Information' and includes a 'Find | View All' button and a pagination indicator 'First 1 of 2 Last'. The 'Effective Date' is '01/01/2009' and the 'Status' is 'Active'. The 'Voluntary Disability Plan' section is expanded, showing a checked box for 'Voluntary Disability Plan'. Below this, the 'Plan Number' is 'NJPLAN1', the 'VDI Administrator Code' is 'TQVIDBOTH', and the 'VDI BOTH ER AND EE PAY' is selected. The 'Effective Year' is '2009' and the 'Effective Quarter' is '1' (First Qtr). The 'Employee Rate Percent' is '0.50000' and the 'Employer Rate Percent' is '0.50000'. The 'State Family Leave Insurance' section is also expanded, showing a checked box for 'Voluntary Family Leave Plan'. Below this, the 'FLI Plan Number' is 'NJFLIADM', the 'FLI Administrator Code' is 'KUFLIADM', and the 'FLI Administrator' is selected. The 'Effective Year' is '2009' and the 'Effective Quarter' is '1'. The 'Employee Rate Percent' is '.5' and the 'Employer Rate Percent' is '.5'.

このページには、VDI (任意所得補償保険) プランおよび任意州家族休暇保険プランに関する情報を設定するセクションとほぼ同一のセクションが含まれています。

Voluntary Disability Plan

Voluntary Disability Plan

定義するプランが州で許可されている任意所得補償保険プランであることを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。

Plan Number

任意所得補償保険プランのプラン番号を入力します。ニュージャージーの場合は、この番号が [Form W-2] に表示されます。

VDI Administrator Code プランの管理者を指定するコードを選択します。管理者コードは、VDI/FLI Administrator Table ページで管理します。

Employee Rate Percent 従業員支払レートを入力します。

Employer Rate Percent 事業主支払レートを入力します。

VDI 賃金を追跡できるようにレートがゼロの VDI を設定するには、このページの [Employee Rate Percent] および [Employer Rate Percent] に "99.99999" と入力します。

State Family Leave Insurance

Voluntary Family Leave Plan 定義するプランが州で許可されている任意家族休暇プランであることを示す場合は、このチェック ボックスをオンにします。

FLI Plan Number 任意家族休暇保険プランのプラン番号を入力します。

FLI Administrator Code プランの管理者を指定するコードを選択します。管理者コードは、VDI/FLI Administrator Table ページで管理します。

Employee Rate Percent 従業員支払レートを入力します。

Employer Rate Percent 事業主支払レートを入力します。

FLI 賃金を追跡できるようにレートがゼロの FLI を設定するには、このページの [Employee Rate Percent] および [Employer Rate Percent] に "99.99999" と入力します。

Company State Tax Table - GL Accounts ページ

GL Accounts ページ (CO_STATE_TAX_TBL3) を使用して、州税に対する一般会計勘定科目を入力します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Company State Tax Table], [GL Accounts]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Agency State Tax Table USF], [GL Accounts]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Company State Tax Table], [GL Accounts]

画像: Company State Tax Table - GL Accounts ページ

次の例では、Company State Tax Table - GL Accounts ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

GeneralVDI/FLI**GL Accounts**

Company BN1Company BN1

State NJNew Jersey

Company State Tax InformationFind | View AllFirst1 of 2Last

Effective Date 01/01/2009Status Active

GL Liability # Non Commit Acct

SWT

SUT (Employee)

SUT (Employer)

SDI (Employee)

SDI (Employer)

VDI (Employee)

VDI (Employer)

FLI (Employee)

VFLI (Employee)

VFLI (Employer)

該当する場合は、以下の会社前払に対する一般会計勘定科目番号を入力します。

SWT	州の源泉徴収税の未払。
SUT (Employee)	州の失業保険の従業員前払。
SUT (Employer)	州の失業保険の事業主前払。
SDI (Employee)	州の所得補償の従業員前払。
SDI (Employer)	州の所得補償の事業主前払。
VDI (Employee)	任意所得補償保険の従業員前払。
VDI (Employer)	任意所得補償保険の事業主前払。

586

Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

FLI (Employer)	州家族休暇保険の従業員前払。
VFLI (Employee)	任意家族休暇保険の従業員前払。
VFLI (Employer)	任意家族休暇保険の事業主前払。

(USA) Company Local Tax Table の設定

Company Local Tax Table を設定するには、Company Local Tax Table コンポーネント (COMP_LOCAL_TAX_TBL) を使用します。

このトピックでは、Company Local Tax Table のエントリの設定方法について説明します。

注: Local Tax Data ページの [locality] フィールドは Company Local Tax Table に対して編集されるため、従業員の地方税データを入力する前に、このテーブルを完成する必要があります。

注: 次の各トピックで説明する税テーブルは、Payroll for North America と給与計算インターフェイスの両方のアプリケーションに必要です。これらの各アプリケーションに固有の追加の税データ設定については、各アプリケーションのドキュメントに記載されています。

Company Local Tax Table のエントリの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Company Local Tax Table ページ	COMP_LOCAL_TAX_TBL	組織が税の徴収または支払を行う各納税地の Company Local Tax Table ページにエントリを設定します。
Company Local Tax Report ページ	PRCSRUNCNTRL	TAX705 を実行して Company Local Tax Table の情報を出力し、組織が税の徴収または支払を行う納税地を特定します。

Company Local Tax Table ページ

Company Local Tax Table ページ (COMP_LOCAL_TAX_TBL) を使用して、組織が税の徴収または支払を行う各納税地の Company Local Tax Table ページにエントリを設定します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Local Taxes], [Company Local Tax Table], [Company Local Tax Table]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Local Taxes], [Agency Local Tax Table USF], [Company Local Tax Table]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Company Local Tax Table], [Company Local Tax Table]

画像: Company Local Tax Table ページ

次の例では、Company Local Tax Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Employer ID

このフィールドは、この納税地の地方源泉徴収税に使用されます。これは、デフォルトで、Company State Tax Table の州源泉徴収税の事業主 ID に設定されます。

GL Account Number - Local Withholding Tax for Non Commitment Accounting

これらの勘定科目は、地方源泉徴収税で使用する一般会計勘定科目で、PayGL01 プロセスのみで使用されます。これらの勘定科目を使用するのは、コミットメント会計を対象としない GL 情報のみです。

Employee, Employer

この納税地の地方源泉徴収税の前払を転記する一般会計勘定科目番号を設定している場合は、ここで従業員および事業主の勘定科目番号を入力します。

Metropolitan Commuter Transportation Mobility Tax

(ニューヨーク) このグループ ボックスは、全ての州および納税地のエントリに対して表示されますが、適用されるのはニューヨーク州のみです。このグループ ボックス内の各フィールドにデータ入力のためにアクセスできるのは、[State] = [NY] かつ [Locality] = [P0023] の場合のみです。

注: このグループ ボックスにデータを入力する前に、会社の MTA 税ステータス、MTA の最大税率、および四半期最小しきい値を決定する必要があります。「New York State Department of Taxation & Finance」および「New York Metropolitan Commuter Transportation Mobility Tax (MTA Payroll Tax)」を参照してください。<http://www.tax.ny.gov/bus/mctmt/emp.htm> を参照してください。

Exempt from MTA (メトロ通勤者交通 移動税の免税) 会社が MTA 税の支払が免除される事業主タイプの場合は、このチェック ボックスをオンにします。

このチェック ボックスをオンにすると、課税賃金は集計されず、税金は計算されないため、[MTA Payroll Tax Override] チェック ボックスは使用できなくなり、[MTA Payroll Tax Rate] は非表示になります。

税金の支払が免除される事業主の例には、アメリカの機関または省庁、国連、別の州またはカナダとの協約または協定に従って設立された州間機関または公法人、あるいは資格のある教育機関があります。

MTA Payroll Tax Override

会社が MTA 税の課税対象であるが、四半期の給与計算費用により、納税地 NY P0023 に対する地方税テーブルのエントリに税率として用意されている MTA 最大税率よりも低い税率が適用される資格がある場合は、このチェック ボックスをオンにします。

MTA Payroll Tax Rate

会社に適用する税率を入力します。

カレンダーの四半期に対象となる会社の全ての従業員の給与計算費用が、税金の支払が必要となる最小しきい値未満の場合は、"0.00000" と入力します。

Tax Year, Tax Quarter

低税率または免除ステータスが適用される年度および四半期を入力します。

(CAN) カナダの法人税テーブルの設定

カナダの法人税情報を設定するには、Company Tax Table コンポーネント (CO_CAN_TAX_TABLE) および Wage Loss Plan Table コンポーネント (WAGELS_PLN_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、カナダの法人税テーブルの設定方法について説明します。

注: 次の各トピックで説明する税テーブルは、Payroll for North America と給与計算インターフェイスの両方のアプリケーションに必要です。これらの各アプリケーションに固有の追加の税データ設定については、各アプリケーションのドキュメントに記載されています。

カナダの法人税テーブルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Company Tax Table ページ	CAN_USR_TAX_TABLE1	設定する法人ごとに、[Prescribed Interest Percent]、[Province]、[Provincial Premium Tax Percent]、および [Health Insurance Rate Override] を指定します。

Company Tax Table ページ

Company Tax Table ページ (CAN_USR_TAX_TABLE1) を使用して、[Prescribed Interest Percent]、[Province]、[Provincial Premium Tax Percent]、および [Health Insurance Rate Override] を指定します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Canadian Taxes], [Company Tax Table], [Company Tax Table]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Company Tax Table CAN], [Company Tax Table]

画像: Company Tax Table ページ

次の例では、Company Tax Table ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Company Tax Table

Company CFN Canadian Company CFN

Company Tax Information Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/1997

Prescribed Interest Percent 6.000

Company Tax Rates Personalize | Find | View All | First 1-5 of 5 Last

*Province	Provincial Premium Tax Percent	Health Insurance Rate Override		
MB	0.00	0.045000	+	-
NF	4.00	0.000000	+	-
NS	3.00	0.000000	+	-
PE	3.00	0.000000	+	-
QC	2.35	0.000000	+	-

注: Company Tax Table の全てのレートは、ユーザーが責任を持って更新してください。

Company Tax Information

Prescribed Interest Percent

会社が低利融資を処理する場合は、現在の規定利率を入力します。このレートはカナダ連邦政府により四半期ごとに更新されます。

警告 カナダ連邦政府によって四半期ごとに設定されるレートに従って、ユーザーが責任を持って[Prescribed Interest Percent] フィールドを更新してください。PeopleSoft の税更新ではこのフィールドは更新されません。PeopleSoft ではフィールドは空白のままになります。

Company Tax Rates

これらのフィールドを使用して、州税率に対する法人固有の上書きを入力します。

重要 ゼロの上書き値は無視されます。上書き値が 0.00 の場合は、州税テーブルのレートを使用して税が計算されます。

Province

会社が事業活動を行い、州保険料税の処理または健康保険料レートの上書きが必要な、該当する全ての州を入力します。

Provincial Premium Tax Percent

会社が税金の源泉徴収および提出を処理している場合は、グループ生命保険および健康保険の福利厚生プラン保険料に適用可能な州保険料税率を入力します。

Health Insurance Rate Override

保険料レートが Canadian Tax Table Provincial Rates ページに定義されたレートと異なる場合は、健康保険料レート上書きを入力して、会社に応用する保険料レートを指定します。このフィールドは、給与総額に基づいて異なるレートが適用される州 (オンタリオ州やマニトバ州など) で事業活動している会社に応用されます。

納税地の定義

納税地を定義するには、Tax Location Table コンポーネント (TAX_LOCATION_TBL) を使用します。このコンポーネントの各テーブルへのデータロードには、TAX_LOCATION_TBL コンポーネント インターフェイスを使用します。

次の各トピックでは、納税地の概要および納税地の定義方法について説明します。

注: 次の各トピックで説明する税テーブルは、Payroll for North America と給与計算インターフェイスの両方のアプリケーションに必要です。これらの各アプリケーションに固有の追加の税データ設定については、各アプリケーションのドキュメントに記載されています。

納税地の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Tax Location Table - Address ページ	TAX_LOCATION_TBL1	給与計算および税金を処理する所在地を設定します。
Tax Location Table - State/Province/Locality ページ	TAX_LOCATION_TBL2	任意の数の州、納税地、およびリンクされた納税地を納税地コードに関連付けます。
Tax Location Report ページ	PRCSRUNCNTL	Tax Location Table の情報をリストする PAY718 を生成します。

納税地について

Tax Location Table で指定した情報に従って、連邦、州、または地方の従業員税データおよび税配分データが設定されます。このテーブルで、納税地 ID を使用して各所在地を設定し、各納税地に関連付ける勤務先の州および納税地を指定します。

注: インストール テーブルで [Automatic Employee Tax Data] を選択した場合は、各従業員の勤務先および居住地の州と納税地ごとに税データが自動的に設定されます。納税地が 1 つの州/納税地を表す場合は、その勤務州/納税地に対して税配分レコード作成されます。

Tax Location Table - Address ページ

Tax Location Table - Address ページ (TAX_LOCATION_TBL1) を使用して、給与計算および税金を処理する所在地を設定します。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Tax Location Table], [Address]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Canadian Taxes], [Tax Location Table], [Address]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Tax Location Table], [Address]

画像: Tax Location Table - Address ページ

次の例では、Tax Location Table - Address ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Address

State/Province/Locality

Tax Location Code

B-003

*Status

Active

Tax Location Information

*Description

Walnut Creek Branch

Short Desc

Wal Crk Br

Country

USA

United States

Address

1616 Main St
Walnut Creek, CA 94596

Edit Address

Alaska Area Code

- Tax Location Code

給与計算および税データを処理する各所在地の納税地コードを設定します。任意の数の州と納税地を各コードに関連付けることができます。
- Alaska Area Code

該当する場合は、アラスカ地域コードを選択します。

注: インストール テーブルで [Automatic Employee Tax Data] を選択し、職務データで各従業員に納税地 ID を割り当てると、各従業員の税データが、Employee Tax Data ページと Employee Tax Distribution ページにデフォルトで設定されます。

Tax Location Table – State/Province/Locality ページ

Tax Location Table – State/Province/Locality ページ (TAX_LOCATION_TBL2) を使用して、都道府県または任意の数の州、納税地、およびリンクされた納税地を納税地コードに関連付けます。

ナビゲーション

- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Federal/State Taxes], [Tax Location Table], [State/Province/Locality]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll for North America], [Canadian Taxes], [Tax Location Table], [State/Province/Locality]
- [Set Up HCM], [Product Related], [Payroll Interface], [Payroll], [Tax Location Table], [State/Province/Locality]

画像: Tax Location Table – State/Province/Locality ページ

次の例では、Tax Location Table - State/Province/Locality ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

State / Province

納税地コードと関連付けられている各州を識別するために使用します。任意の数の州を単一の納税地に関連付けることができます。州ごとに、各納税地を指定します (ある場合)。

この納税地コードと関連付ける州を Company State Tax Table と Company Local Tax Table に定義します。この値は、この納税地に割り当てる Employee Tax Data ページと Employee Tax Distribution ページにデフォルトで設定されます。

Locality

この納税地コードと関連付ける納税地を Company State Tax Table と Company Local Tax Table に定義します。この値は、この納税地に割り当てる Employee Tax Data ページと Employee Tax Distribution ページにデフォルトで設定されます。

Other Work Locality

このフィールドを使用するのは、次のように 1 つの所在地で複数の地方税が適用される場合のみです。

- ケンタッキー州のパデューカとケンタッキー州のマクラッケン郡
- 勤労所得税、およびペンシルベニア州の Emergency and Municipal Service Tax。

納税地チェーンにさらにリンクを作成するには、次の手順に従います。

- 同じ州の行をもう 1 行追加します。

- 前の行の他の勤務納税地を [Locality] に入力します。
- 新しい勤務納税地を入力します。

注: インディアナ州の納税地を複数入力しようとしないでください。従業員が勤務する可能性のあるインディアナ州の納税地数に関係なく、同時にまたは一年間を通して、従業員はカレンダー年ごとに 1 つのインディアナ郡に対してのみインディアナ州の郡税を課されます。これは、居住郡が課税する場合は 1 月 1 日時点のインディアナ州の居住郡、または居住郡が課税しない場合は 1 月 1 日時点の主業務地のインディアナ州の郡です。

注: カナダ人従業員は、1 つの州で一度に課税でき、カナダに地方税はないため、[Locality] および [Other Work Locality] はカナダでは必要ありません。

関連リンク

[Understanding Job DataPeopleSoft Human Resources Administer Workforce \(USA\) Entering U.S. Employee Tax DataPeopleSoft Payroll for North America](#)

機関の設定

機関テーブルについて

このトピックでは、機関、および HCM と PeopleSoft 買掛金管理の統合について説明します。

機関

機関とは、会社が従業員に代わって送金する、または従業員の給与小切手から源泉徴収する対象となる業者や組織のことです。機関には次のものがあります。

- 福利厚生取扱機関
- 差押機関
- 税計算ソフト会社

機関に関する情報は、機関テーブルに保存されます。このテーブルには、機関への支払に必要な情報および福利厚生取扱機関用の保険証券情報が保持されています。

買掛金管理との統合

買掛金管理、Payroll for North America、およびヒューマン リソース管理の基本福利厚生管理では、インテグレーション ブローカーを使用して相互の機関テーブルをロードします。

注: PeopleSoft 買掛金管理を使用して機関への支払を行う場合は、PeopleSoft 買掛金管理から機関テーブルにアクセスして機関の入力と更新を行い、PeopleSoft ヒューマン リソース管理システム (HCM) に機関テーブルをエクスポートしてください。

警告 HCM テーブルで機関を更新すると、連絡先情報が買掛金管理システムにエクスポートされます。ただし、HCM から入力した既存の機関の銀行情報に対する変更は、買掛金管理システムへはエクスポートされません。

インテグレーション ポイント

インテグレーションを使用して機関テーブルを管理する前に、インテグレーション ブローカー ノードを設定し、以下のサービス オペレーションに対する適切なキュー、ハンドラおよびルーティングを有効にします。

サービス オペレーション	説明
VENDOR_FULLSYNC	買掛金管理で機関テーブルの全ての内容を HCM 機関テーブルにパブリッシュします。
VENDOR_SYNC	買掛金管理で機関テーブルの更新を HCM 機関テーブルにパブリッシュします。

PeopleSoft アプリケーションで使用されるインテグレーション ポイントの技術的な詳細については、My Oracle Support の Interactive Services Repository を参照してください。

詳細については、『*PeopleTools: Integration Broker Service Operations Monitor*』および エンタープライズ コンポーネント製品ドキュメンテーションを参照してください。

関連リンク

導入するインテグレーションの特定

[Maintaining Vendor Information](#)[PeopleSoft Payroll for North America](#)

機関情報の入力

機関情報を入力するには、機関管理コンポーネント (VENDOR_CONTROL)、機関情報コンポーネント (VNDR_ID)、機関テーブル コンポーネント (PROVIDER_TABLE)、差押機関テーブル コンポーネント (GARNISH_PAYEE_TBL)、および差押機関テーブル USF コンポーネント (GVT_GARNISH_PAYEE) を使用します。

次の各トピックでは、ベンダー設定ページの概要および設定方法について説明します。

機関の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
AP 機関コントロール ページ	VNDR_CNTRL	PeopleSoft 買掛金管理の機関に割り当てられるプレフィックスを指定します。
機関情報ページ	VNDR_ID1	機関の基本情報を入力します。
住所ページ	VNDR_ADDRESS	機関の住所情報を入力します。
代替名ページ	VNDR_ADDR_ALT1	支払時に使用する代替名を入力します。
電話情報ページ	VNDR_ADDR_PHN	機関の住所に対応する電話番号情報を入力します。住所ごとに複数の電話番号を入力することができます。

ページ名	定義名	用途
電子メール アドレス ページ	VNDR_ADDR_EMAILID	機関の電子メール アドレスを入力します。
<u>所在地ページ</u>	VNDR_LOC	住所関連の情報や送金情報を入力します。
<u>銀行口座ページ</u>	VNDR_BANK_ACCOUNT	機関の銀行口座情報を入力します。
銀行住所ページ	VNDR_BANK_ACCT2	銀行の住所情報を入力します。銀行の[国] フィールドは、銀行口座ページからデフォルトで設定されます。住所のフィールドの形式は、国によって異なります。
電話番号ページ	VNDR_BANK_ACCT3	銀行の電話番号情報を入力します。
コメント ページ	VNDR_LOC_COMMENTS	所在地に関するメモやコメントを入力します。
<u>支払オプション ページ</u>	VNDR_PAY	機関の所在地に対する支払処理のルールを入力します。
<u>連絡先ページ</u>	VNDR_CNTCT	機関の連絡先を入力します。必要に応じて複数の電話番号を入力します。
電話情報ページ	VNDR_CNTCT_PHN	連絡先の電話番号情報を入力します。
<u>保険証券情報ページ</u>	VNDR_POLICY	保険証券に関する情報と、その連絡先について入力します。
<u>(USF) 差押機関テーブル ページ</u>	GVT_GARN_PAYEE	U.S. 連邦政府の差押機関連絡先情報を入力します。
<u>(USF) GVT 従業員配分ページ</u>	GVT_GARN_DIST_SEC	U.S. 連邦政府の差押機関配分情報を入力します。

機関に関するページについて

機関情報を入力するには、以下のページを使用します。

- AP 機関コントロール
- 機関情報
- 住所
- 所在地
- 連絡先

- 保険証券情報

AP 機関コントロール

PeopleSoft 買掛金管理を使って機関へ支払を行う場合のみ、このページを使用します。さまざまなタイプの機関を特定するためのしくみが用意されています。

機関情報

このページでは、機関コードを登録し、その機関の名前およびタイプを指定します。

住所

このページは厳密な意味での住所情報に関するもので、所在地と混同しないでください。1 つの機関が異なる場所にある場合は、複数の住所を入力することができます。

所在地

機関の所在地とは物理的な住所のことではありません。特定の機関とどのように商取引を行うかを定義する、デフォルトのルールセットや条件を指します。機関の所在地は、支払条件、送金先情報、銀行口座情報などの情報で構成されます。所在地は住所ではありませんが、住所情報を参照します。

機関には必ず 1 つの所在地が必要です。機関が複数の業務に対して同じルールセットを使用する場合は、その機関に対して 1 つの所在地を入力する以外に何もする必要はありません。ただし、機関のさまざまな商取引の場所 (複数の支店、場所またはオフィスなど) に対して異なるルールセットを使う場合は、その機関に複数の所在地を設定し、所在地ごとに独自のビジネス ルールセットを指定することができます。

連絡先

このページでは、定期的に連絡をとる担当者に関する情報を入力します。機関の連絡先を必要な数だけ入力してその役割を指定できるため、質問する場合の問い合わせ先を簡単に判断したり、機関の連絡先へ電話をかけ直す前に、どのような用件なのか見当をつけることができます。

保険証券情報

保険証券情報は、福利厚生取扱機関では必須です。[基本福利厚生] の "プランと取扱機関" の機関テーブル コンポーネントで、該当の機関と保険証券情報を関連付けます。

AP 機関コントロール ページ

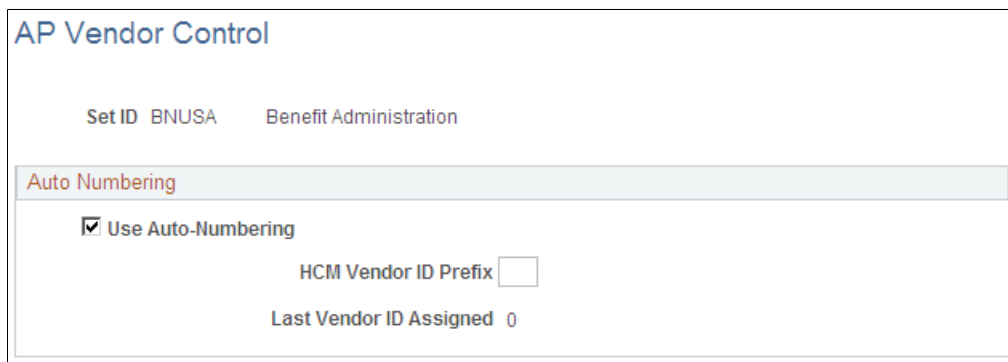
AP 機関コントロール ページ (VNDR_CNTRL) を使用して、PeopleSoft 買掛金管理の機関に割り当てられるプレフィックスを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [取引先コントロール], [AP 機関コントロール]

画像: AP 機関コントロール ページ

次の例では、AP 機関コントロール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



自動採番の使用

PeopleSoft 買掛金管理には、自動採番機能を使って ID を新しい取引先 (機関) に割り当てるためのオプションがあります。

HCM 機関 ID プレフィックス

[自動採番の使用] チェック ボックスをオンにした場合は、HCM 機関を特定するために使用するプレフィックスを入力します。

機関情報ページ

機関情報ページ (VNDR_ID1) を使用して、機関の基本情報を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [機関情報], [機関情報]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [プランと取扱機関], [機関テーブル], [機関情報], [機関情報]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], [差押], 差押機関テーブル, [機関情報], [機関情報]

画像: 機関情報ページ

次の例では、機関情報 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

名称 1 給与小切手に表示される機関の名称を入力します。

HCM クラス

このフィールド値によってビューの作成に使用する HCM クラスが識別されるため、適切な機関を適切なテーブルで照会できるようになります。

また、買掛金管理の支払伝票を作成するために控除データを抽出する際に、課税控除と非課税控除を識別するためにも使われます。

有効値は以下のとおりです。

- クレジット カード業者 (C)
- 一般控除 (D)
- 差押機関 (G)
- 国民健康保険取扱機関 (H)

- 労働保険取扱機関 (I)
- 年金保険取扱機関 (M)
- 一般保険会社 (P)
- 税計算ソフト会社 (T)

福利厚生取扱機関の場合、[一般保険会社] (P) を選択します。

ステータス

HCM 機関の場合、[承認済] を選択します。その他の値は、買掛金管理で使用されます。

取引期間

HCM 機関の場合、[標準] を選択します。その他の値は、買掛金管理で使用されます。

住所ページ

住所ページ (VNDR_ADDRESS) を使用して、機関の住所情報を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [機関情報], [住所]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [プランと取扱機関], [機関テーブル], [住所]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], [差押], 差押機関テーブル, [住所]

画像: 機関情報 - 住所ページ

次の例では、"機関情報 - 住所" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

住所タイプ

機関に対して住所を1つ以上入力します。

PeopleSoft 買掛金管理を使用する場合は、少なくとも1つの住所が送金先の住所である必要があります。この住所は、支払伝票を作成する際に使用されます。

控除受取人に対して有効な住所種別は、*[保険料支払先]* および *[送金先]* のみです。その他の住所種別が機関に対して表示される場合は、買掛金管理部門に問い合わせてください。

[保険料支払先] は通常、福利厚生の控除に適用されます。*[送金先]* は、課税などその他全ての控除タイプに適用されます。

代替名ページ

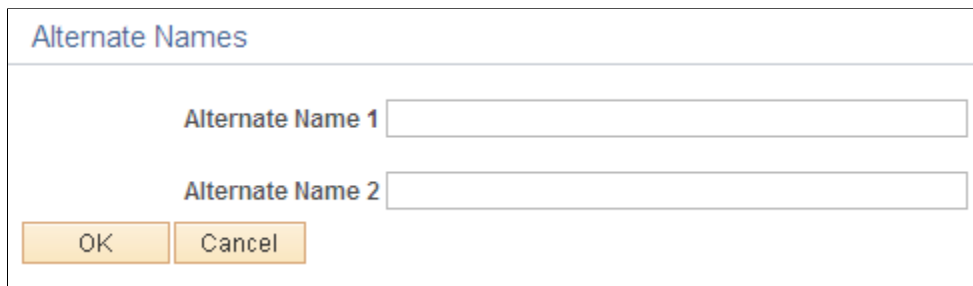
代替名ページ (VNDR_ADDR_ALTN) を使用して、支払時に使用する代替名を入力します。

ナビゲーション

"機関情報 - 住所" ページで [代替名] リンクをクリックします。

画像: 代替名ページ

次の例では、代替名ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



Alternate Names	
Alternate Name 1	
Alternate Name 2	
OK	Cancel

[代替名 1]、[代替名 2]

この住所を使用して所在地に対する支払情報が生成されるとき、買掛金管理では機関情報ページで入力した名前とは異なる名前を使用する必要がある場合に、このページでその名前を入力します。

所在地ページ

所在地ページ (VNDR_LOC) を使用して、住所関連の情報や送金情報を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [機関情報], [所在地]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [プランと取扱機関], [機関テーブル], [所在地]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], [差押], 差押機関テーブル, [所在地]

画像: 機関情報 - 所在地ページ

次の例では、"機関情報 - 所在地" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

所在地

入力する所在地情報の ID を入力します。機関に対して複数の所在地が設定されている場合は、[機関の所在地] タイトルバーの前のページおよび次のページへのリンクを使用して目的の所在地情報を表示できます。

デフォルト

該当の機関について、この所在地を自動的に支払伝票に出力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。デフォルトとして選択できる所在地は 1 つだけです。

機関への送金

支払の送金先となる機関に関する情報です。支払を受け取る機関の名前、所在地、および支払の送金先となる住所を特定するコードを選択する必要があります。

銀行口座

このリンクをクリックすると、銀行口座ページが表示されます。給与計算部門に連絡して、この情報を設定してください。

コメント

このリンクをクリックすると、コメント ページが表示されます。

支払オプション

このリンクをクリックすると、支払オプション ページが表示されます。給与計算部門に連絡して、この情報を設定してください。

銀行口座ページ

銀行口座ページ (VNDR_BANK_ACCOUNT) を使用して、機関の銀行口座情報を入力します。

ナビゲーション

"機関情報 - 所在地" ページで [銀行口座] リンクをクリックします。

画像: 銀行口座ページ

次の例では、銀行口座ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Bank Accounts". At the top, there are tabs for "Set ID BNUSA", "Vendor BNFTF", and "Location TEST FLOOR". Below the tabs is a section titled "Vendor Bank Accounts" with a "Find | View All" link and a pagination control showing "First 1 of 1 Last". The form contains several input fields: a "Default" checkbox, a "Description" text field, a "Bank ID Qual" text field, a "Branch ID" text field, a "Bank ID" text field, an "Acct Type" dropdown menu, an "Account Nbr" text field, a "Check Digit" text field, a "DFI Qualifier" dropdown menu, and a "DFI ID" text field. At the bottom, there are links for "Bank Address" and "Phone Details", and "OK" and "Cancel" buttons.

デフォルト

この銀行口座が所在地のデフォルトの銀行口座の場合は、[デフォルト] チェック ボックスがオンになります。デフォルトの銀行口座は、この機関の各支払スケジュールにコピーされます。

承認 ID

銀行/取引先を識別するための国別の数値です。この値によって、銀行/取引先のページにおける銀行情報の編集方法および表示方法が決まります。

支店 ID

銀行の支店 ID (該当する場合)。

銀行 ID

銀行の銀行 ID。

口座タイプ

銀行の口座タイプ。たとえば、[債券]、[当座預金]、[生命保険] などがあります。

口座番号

機関の銀行口座番号。

チェック デイジット

銀行で使用するチェック デイジット。

DFI ID タイプ

この機関の所在地に対して自動決済システム (ACH)、電信、またはファーム バンキングによる支払を行う場合には、このフィールドに該当の DFI ID タイプが表示されます。この値によって [DFI ID タイプ] フィールドのフォーマットが決まります。

- 送金番号: DFI ID は 9 桁で、チェック デジットが付きます。
- *SWIFT ID*: DFI ID は 8 文字または 11 文字 (半角英数字) で、5 から 6 文字目は有効な 2 文字の国コードです。
- *CHIPS ID*: DFI ID は 3 桁または 4 桁です。
- *カナダの銀行支店/銀行協会、相互保証*: DFI ID の確認はありません。

DFI ID タイプ によって銀行の DFI ID のフォーマットが決まります。

DFI ID	銀行のDFI ID。フォーマットは、[DFI ID タイプ] フィールドに表示される値によって決まります。
銀行住所	[銀行住所] リンクをクリックすると銀行住所ページが表示されます。
電話番号	[電話番号] リンクをクリックすると電話番号ページが表示されます。

支払オプション ページ

支払オプション ページ (VNDR_PAY) を使用して、機関の所在地に対する支払処理のルールを入力します。

ナビゲーション

"機関情報 - 所在地" ページで [支払オプション] をクリックします。

画像: 支払オプション ページ

次の例では、支払オプション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Payment Options

Set ID BNUSA Vendor BNFTE Location TEST FLOOR

Payment Control

☐ Hold Payments
☒ Separate Payment

Payment Handling

*Flag

Default from Higher Level

Code

Bank

Bank ID
Bank Account

Payment Method

*Flag

Default from Higher Level

Code

OK

Cancel

支払管理

支払保留

このチェック ボックスをオンにすると、PeopleSoft 買掛金管理では、この機関に対する支払が自動的に保留になります。

個別支払

このチェック ボックスをオンにすると、PeopleSoft 買掛金管理では、同じ支払サイクルで機関の支払伝票を複数処理する場合でも、支払伝票ごとに個別の支払が行われます。

銀行

銀行 ID

機関に対する支払元となる銀行のコード。

銀行口座

機関に対する支払元となる口座。

支払処理

フラグ

このフィールドによって支払処理の方法が決まります。

- *上位レベルのデフォルト:* 機関に対する支払処理の方法は管理階層から取得されます。
- *当レベルで指定:* 機関に対する支払処理の方法は [コード] フィールドで指定します。

コード

[フラグ] フィールドで [当レベルで指定] を選択した場合、このフィールドのドロップダウン リストで、買掛金管理部門が機関に対する支払を発行するときに従う支払処理の方法を指定します。

- *高額支払*
- *内部処理*
- *標準支払*
- *購買管理経由*

支払方法

フラグ

このフィールドによって支払方法が決まります。

- *上位レベルのデフォルト:* 機関に対する支払方法は管理階層から取得されます。
- *当レベルで指定:* 機関に対する支払方法は [コード] フィールドで指定します。

コード

[フラグ] フィールドで [当レベルで指定] を選択した場合、このフィールドのドロップダウン リストで、機関に対する支払方法を指定します。

- 自動決済システム
- 顧客振出手形
- 口座引落
- 期日支払 *FB*
- ファームバンキング (*EFT*)
- *Giro* - *FB*
- *Giro* - マニュアル
- 信用状
- マニュアル小切手
- システム小切手
- 財務電信フラット ファイル
- 機関振出手形
- 電信レポート

連絡先ページ

連絡先ページ (VNDR_CNTCT) を使用して、機関の担当者を入力します。

必要に応じて複数の電話番号を入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [機関情報], [連絡先]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [プランと取扱機関], [機関テーブル], [連絡先]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], [差押], 差押機関テーブル, [連絡先]

画像: 機関情報 - 連絡先ページ

次の例では、"機関情報 - 連絡先" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

連番

連絡先に自動的に割り当てられた番号です。

タイプ

連絡先のタイプを選択します。

住所

住所ページで入力した住所の 1 つを選択します。

URLID

連絡先の Web サイトのアドレスを入力します。

電話情報

このリンクをクリックすると、連絡先の電話番号ページが表示されます。

保険証券情報ページ

保険証券情報 ページ (VNDR_POLICY) を使用して、保険証券に関する情報と、その連絡先について入力します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [プランと取扱機関], [機関テーブル], [保険証券情報]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], AP 機関, [機関情報], [保険証券情報]

画像: 保険証券情報ページ

次の例では、保険証券情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

一般保険 URL ID

一般保険証券情報が提供されている機関の Web サイトのアドレスを選択します。

認証保険会社 URL ID

認証された加入取扱機関のリストが掲載されている機関の Web サイトのアドレスを選択します。

連番

連絡先ページで入力した連絡先リストから連絡先を選択します。連絡先を選択すると、[連絡先氏名] が自動的に表示されます。

(USF) 差押機関テーブル ページ

差押機関テーブル ページ (GVT_GARN_PAYEE) を使用して、U.S. 連邦政府の差押機関連絡先情報を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [Payroll for North America], [差押], 差押機関テーブル USF, 差押機関テーブル

画像: 差押機関テーブル ページ

次の例では、差押機関テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Garnishment Payee Table

*Payee Name

Address 1

Address 2

Address 3

Address 4

City

County

State

Postal Code Country

Contact Name

Telephone

配分情報

このボタンをクリックして、GVT 従業員配分ページにアクセスします。

(USF) GVT 従業員配分ページ

GVT 従業員配分 ページ (GVT_GARN_DIST_SEC) を使用して、U.S. 連邦政府の差押機関配分情報を入力します。

ナビゲーション

差押機関テーブル ページの [配分情報] ボタンをクリックします。

画像: GVT 従業員配分ページ

次の例では、GVT 従業員配分ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'GVT Employee Distribution' form. It is divided into three main sections: 'Payment Information', 'Electronic Funds Transfer Info', and 'Check Address Information'. The 'Payment Information' section includes a 'Payment Method' dropdown menu set to 'EFT', a 'Payee Name' text field, and a 'Payee ID' text field. The 'Electronic Funds Transfer Info' section includes a 'Routing Number' text field, an 'Account Number' text field, and an 'Account Type' dropdown menu. The 'Check Address Information' section includes a 'Country' dropdown menu set to 'USA' with a magnifying glass icon, a 'United States' label, a 'Payee Name' text field, an 'Address 1' text field, an 'Address 2' text field, a 'City' text field, a 'Zip' text field, and a 'State' text field with a magnifying glass icon. At the bottom of the form are 'OK' and 'Cancel' buttons.

支払情報を入力します。

支払方法

FB 配分の場合は、支払方法として *[FB]* を選択し、口座情報の他に送金状態と FIPS コードを指定します。

関連リンク

[\(USF\) Specifying Garnishment Data for U.S. Federal Government EmployeesPeopleSoft Payroll for North America](#)

[Specifying Employee Garnishment DataPeopleSoft Payroll for North America](#)

グループ定義の設定と使い方

グループビルドについて

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- グループビルド機能の使い方
- グループの作成

グループビルド機能の使い方

HCM では、グループビルド機能により従業員のグループを作成する方法を標準化できます。作成したグループは、さまざまな目的に利用できます。

職務、部門、さらには会社の異なる従業員のグループに対して 1 つのビジネス プロセスを適用することが望ましいケースは多々あります。たとえば、組織の研究開発チームに特別な賞与プランを提示するとします。このグループには部門 10200 から 10500 の全従業員が含まれています。グループビルド機能を使用して部門 10200 から 10500 で構成されるグループを作成し、変動報酬管理モジュールを使用してそのグループの奨励プランを管理できます。後で他のユーザーが基本報酬管理と予算計画モジュールを使って同じグループに対する昇給を管理することも可能です。グループは 1 度定義するだけです。

グループはグループビルドで定義し、以下の HCM アプリケーションでこれらのグループを使用できます。

- PeopleSoft 勤務管理
- PeopleSoft Benefits Administration
- PeopleSoft Stock Administration
- ePerformance - パフォーマンス管理
- PeopleSoft ヒューマン リソース管理の以下のビジネス プロセス
 - 基本報酬管理と予算計画
 - 対価合計管理
 - 変動報酬管理
 - 労使関係管理

グループの作成

PeopleSoft HCM でグループを作成するには、次の 3 つの手順に従います。

- 1. グループに属するメンバーを定義します。
- 2. グループ セキュリティを設定します。
- 3. 必要に応じて、PeopleSoft の各アプリケーションで、日付などアプリケーション特有のパラメータを設定します。

注: これらの手順は、PeopleSoft HCM のレコードとフィールドの構造に精通している経験豊富なユーザーが使用することを目的として設計されています。

グループ ビルドの各ページで以下の作業を行います。

- グループを定義するレコード、フィールド、および値を選択します。
- グループ セキュリティを設定します。

変動報酬管理のグループ

この後、変動報酬管理ビジネス プロセスで既存の人事考課のグループを使うには、既存のグループ ID を変動報酬管理ビジネス プロセス内の変動報酬グループ ツリーのノードにリンクします。

グループ ビルドには、NOGROUP というグループ ID があります。このグループは、変動報酬の処理に必要です。NOGROUP というグループ ID は、グループを指定しない変動報酬プランに使用されます。このため、NOGROUP は予約済みのグループ ID となり、グループ ビルド アプリケーションではグループ ID が NOGROUP のグループは作成できません。

グループ定義の設定

グループ定義を設定するには、グループ ビルド - レコード/フィールド コンポーネント (GB_REC_FIELD)、グループ条件コンポーネント (GB_CRITERIA_TABLE)、グループ ビルド - グループ定義コンポーネント (GB_GRP_DEFN_TABLE)、およびグループ ビルド (会社/部門) コンポーネント (RUNCTL_GBP003) を使用します。

次の各トピックでは、グループ定義の概要、クエリー定義の概要、部門別グループの自動生成の概要、およびグループ定義の設定について説明します。

グループの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
グループ ビルド - レコード/フィールド ページ	GB_REC_FIELD	グループ条件ページとグループ定義ページで使用するフィールドを選択します。

ページ名	定義名	用途
<u>グループ条件ページ</u>	GB_GRP_CRIT1_TBL	グループ条件 ID を作成します。グループ条件 ID は、他のエレメントと組み合わせて複雑なグループを作成する基礎単位です。
グループ定義コメントの 2 次ページ	GB_GRP_CRIT1_SEC	グループ条件の定義についてのコメントを自由形式で入力します。
<u>グループ プロファイル ページ</u>	GB_GRP_DEF1_TBL	グループ プロファイルを作成します。 (省略可) 既存のグループ条件 ID やクエリーをグループ定義に指定します。
<u>グループ定義ページ</u>	GB_GRP_DEF2_TBL	グループの定義やグループ条件の絞り込みに使用するレコード、フィールドおよびフィールド値を指定します。
<u>グループビルド定義の表示ページ</u>	GB_GRP_DEF1_SEC	グループ定義に指定したレコード、フィールド、フィールド値および演算子を表示します。
<u>グループ結果ページ</u>	GB_GROUP_RES_SEC	グループビルド ページで作成したグループのメンバーを表示およびソートします。
グループビルド (会社/部門) ページ (会社/部門からのグループビルド)	RUNCTL_GBP003	グループビルド SQR プロセス (GBP003) を実行して既存の会社/部門構造をグループ形式に変換し、部門からグループを作成します。

グループ定義について

グループのメンバーを定義するには、次の手順に従います。

1. (クエリーを使用しない場合は必須)グループビルド - レコード/フィールド コンポーネント (GB_REC_FIELD) で各レコードにフィールドを選択して、グループ条件ページ (GB_GRP_CRIT1_TBL) とグループ定義ページ (GB_GRP_DEF2_TBL) でグループ条件を作成するために使用できるようにします。

「グループビルド - レコード/フィールド ページ」を参照してください。

2. (省略可) グループ条件ページでグループ条件を作成します。

グループ条件とはレコードとフィールドとで構成される基礎単位で、さまざまなグループの作成に繰り返し利用できます。たとえば、従業員の部門と加入組合に基づいて複数のビジネス プロセスを処理する場合に、DEPT AND UNION CODE というグループ条件 ID を作成するとします。グループ条件 ID を一度作成しておけば、それを利用してさまざまなグループを定義できます。

レコード名	フィールド名
Job	部門
Job	組合コード

「[グループ条件ページ](#)」を参照してください。

3. グループ プロファイル ページ (GB_BRP_DEFN1_TBL) で、グループ条件 ID またはクエリーをグループ定義に指定します。

グループ プロファイル ページでは、グループ条件 ID とクエリーをグループ定義の一部として使用できます。

- グループ条件 ID の使い方

グループ条件 ID を使用すると、追加のレコード、フィールド、およびフィールド値をグループ定義ページで定義できます。ただし、グループ条件は 1 つのグループにつき 1 つしか使用できません。

「[グループ プロファイル ページ](#)」を参照してください。

- PeopleSoft クエリーの使い方

PeopleSoft クエリーを使用すると、既存のクエリーを選択したり、新規のクエリーを作成できます。クエリーを使うと、グループ条件ページやグループ定義ページで使用可能な 32 のレコードよりも広い範囲のシステムレコードのセットにアクセスできます。ただし、クエリーはグループ定義で使われる特定のルールに従う必要があります。1 つのグループ定義に関連付けられるクエリーは 1 つだけです。

「[グループビルドに使用するクエリーの定義について](#)」を参照してください。

4. グループ定義ページで、レコード、フィールドおよびフィールド値を選択してグループを定義または絞り込みます。

グループ定義にグループ条件 ID を指定した場合は、グループ定義ページで、グループ条件のフィールドとレコードに適切なフィールド値を指定する必要があります。グループ定義には、その他のレコード、フィールド、および値を追加することもできます。

グループ定義にクエリーを指定した場合は、グループ定義ページでこれ以上選択できません。

グループ条件やクエリーを使わずに、グループ定義ページだけでグループを定義することもできます。

「[グループ定義ページ](#)」を参照してください。

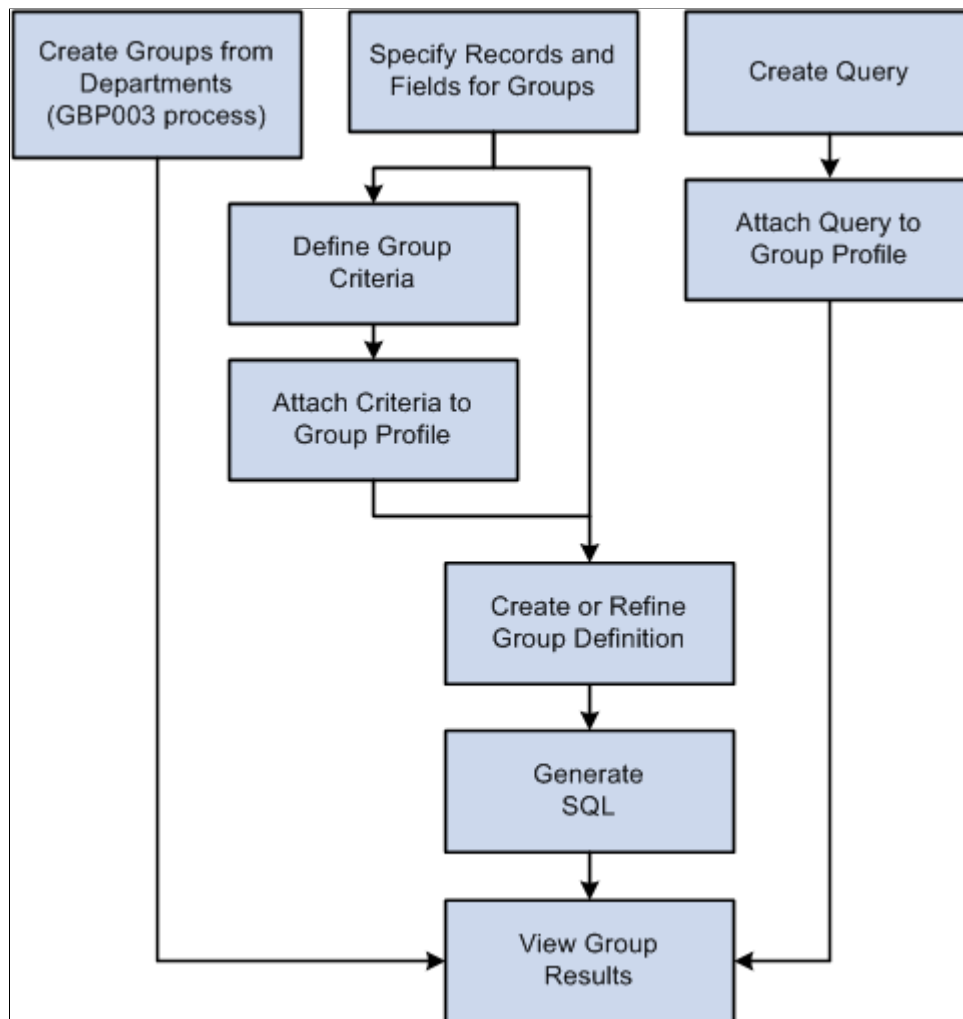
注: グループ定義ページで使用できるのは、グループビルド - レコード/フィールド コンポーネントで選択したフィールドのみです。

注: グループ ID を保存した後は、グループ別セキュリティ ページ (GB_GRP_SEC_TBL) またはユーザー別セキュリティ ページ (GB_GRP_SEC_TBL) で、そのグループに対するアクセス権を自分自身に与える必要があります。この作業を行わないと、グループビルド - グループ定義コンポーネント (GB_GRP_DEFN_TABL) で、そのグループにアクセスできません。

「グループセキュリティの設定」を参照してください。

画像: グループ定義を定義する方法

次の図は、前述のグループの定義と作成、部門からのグループの作成、およびグループ作成のクエリー方法を示しています。



グループビルドに使用するクエリーの定義について

グループ条件ページまたはグループ定義ページでは 32 のテーブルが利用できますが、それ以上のテーブルにアクセスするグループを定義するには、グループビルドで PeopleSoft クエリーを使用します。

グループ定義で使用するクエリーを定義する際には、以下の制約が適用されます。

- クエリーに挿入する最初のレコードは、グループビルドビュー (GB_QRY_LINK_VW) である必要があります。

システムでは、グループビルド - グループ定義コンポーネントで作成した SQL ステートメントと PeopleSoft クエリーで作成した SQL ステートメントとの結合に、このビューが使用されます。

- GB_QRY_LINK_VW レコードから以下の 4 つのフィールドを選択する必要があります。
 - EFFDT
 - EEFFSEQ

- PeopleSoft クエリーに追加するレコードには、最低 1 つの条件が必要です。

PeopleSoft クエリーでは、GB_QRY_LINK_VW レコードから条件を追加できません。

- SQL ステートメントが返すフィールドは定義できません。
- ユニオンは使用できません。
- 集計式は使用できません。
- ツリー オプションは式として使用できません。
- プロンプトは式として使用できません。

フィールド名、式、定数、In List、現在日付、および有効連番のみ使用可能です。

- クエリーの左側条件に式を使用できません。
- 式の最大長は "254" バイトです。

『PeopleTools: PeopleSoft Query』を参照してください。

部門別グループの自動生成について

組織に部門セキュリティ構造がある場合、同様の構造をグループに対して作成するとなると、既に行った大量の作業をもう一度繰り返して行うことになります。作業の重複をできるだけ避けるため、既存の部門構造をグループ形式に変換するグループビルド SQR プロセス (GBP003) が用意されています。このプロセスでは、既存の会社、セットID、および部門構造に対応するグループを新しく作成します。

以下に例を示します。

- セットID USA の部門 10100 は、グループ USA 10100 になります。
- セットID USA の部門 10200 は、グループ USA 10200 になります。
- 会社 CCB は、グループ CCB になります。

ある部門にアクセスできるユーザーには、その部門に対して新しく作成されたグループに対するアクセス権限が自動的に与えられます。たとえば、セットID USA の部門 10200 にアクセスできるユーザーには、新しいグループ *USA 10200* へのアクセス権限が与えられます。

グループビルド - レコード/フィールド ページ

グループビルド - レコード/フィールド ページ (GB_REC_FIELD) を使用して、グループ条件ページとグループ定義ページで使用するフィールドを選択します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループビルド - レコード/フィールド], [グループビルド - レコード/フィールド], [グループビルド - レコード/フィールド]

画像: グループビルド - レコード/フィールド ページ

次の例では、グループビルド - レコード/フィールド ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Group Build Records and Fields

Record JOB

EE Job History

Defaulting Rule Options

Find | View All

First 4 of 30 Last

Field Name DEPTID

Field Label Department

Edit Table DEPT_TBL

Departments

Prerequisite Fields

Personalize | Find |

First 1 of 1 Last

Required for Prompt	Field Label	Equivalent Record Field		
1 SETID	SetID	SETID_DEPT		

検索ページで選択したレコードについて、グループ条件ページとグループ定義ページでグループ条件を作成する際に使用可能にするフィールドを選択します。このページで選択したフィールドのみが、グループ条件ページで使用可能になります。

デフォルト ルール オプション

- フィールド名、フィールドラベル

グループ条件を作成する際に使用可能にするフィールド名を選択します。フィールド名を選択すると、その名称が [フィールドラベル] に自動的に表示されます。この名称は変更可能です。
- 編集テーブル

フィールドの編集テーブルを選択します。フィールドはこのテーブルに表示されます。

必要条件フィールド

プロンプトを表示するフィールド、フィールド ラベル 必要に応じて、グループ条件のフィールドを入力するために表示されるフィールドを選択します。

たとえば、デフォルト ルールのフィールドが部門の場合、"SETID" を選択します。これは、部門を選択する前に部門のセットID を選択する必要があるためです。[プロンプトを表示するフィールド] で値を選択すると、対応する [フィールド ラベル] に値が表示されます。

同等のレコード フィールド

[プロンプトを表示するフィールド] に選択した値と同等のレコードフィールドを選択します。たとえば、部門の SETID と同等のレコードフィールドは SETID_DEPT です。

[同等なレコード フィールド] の値は、[プロンプトを表示するフィールド] の値と同じものになる場合もあります。また、値自体がない場合もあります。同等のフィールドがない場合、このフィールドは空白のままにしておきます。

グループ条件ページ

グループ条件ページ (GB_GRP_CRIT1_TBL) を使用して、グループ条件 ID を作成します。グループ条件 ID は、他のエレメントと組み合わせて複雑なグループを作成する基礎単位です。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループ条件], [グループ条件]

画像: グループ条件ページ

次の例では、グループ条件ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Group Criteria

Group Criteria ID

KF001

*Description

Company and Employee Category

Short Description

Cpy & Catg

Comments

Criteria Definition

Personalize

Find

View All

First

1-3 of 4

Last

	Boolean	*(	*Record	*Field Name	*Field Label	Edit Table	*)		
1			JOB	COMPANY	Company	COMPANY_TBL			
2	AND		JOB	EMPL_STATUS	Employee Status				
3	AND		JOB	LABOR_AGREEMENT	Labor Agreement				

ブール値

このフィールドは、2 行目のデータ行をページに追加した場合にのみ表示されます。このページで入力したレコードとフィールドの処理方法をシステムに対して指定するために使います。有効値は [AND] (デフォルト) と [OR] です。

(	リンクしたレコードとフィールド名のセットまたはサブセットを作成します。AND/OR 条件を複数指定する場合、かっこを使うことにより指定が明確になります。ネストは 5 つのレベルまで可能です。値の一覧が表示されます。デフォルトでは何も表示されません。
レコード	グループ条件の定義に含めるレコード名を入力します。グループビルド - レコード/フィールド コンポーネントで使用可能に設定したレコードが一覧表示されます。
フィールド名	グループ条件の定義に含めるフィールド名を入力します。[レコード] フィールドで選択したレコードについて、グループビルド - レコード/フィールド コンポーネントで使用可能に設定したフィールドが一覧表示されます。
フィールド ラベル	Tab キーを押して [フィールド名] フィールドから出ると、このフィールドにフィールド ラベルが表示されます。内容は変更できます。
編集テーブル	編集テーブルは、所定のフィールドに入力したデータを確認するために、システムで使用されます。入力したフィールド名が編集テーブルにリンクされている場合、Tab キーを使って [フィールド名] フィールドから出ると、このフィールドにそのテーブル名が表示されます。
)	複数のレコードとフィールドをリンクするネスト ステートメントを完了します。値の一覧が表示されます。

グループ プロファイル ページ

グループ プロファイル ページ (GB_GRP_DEF1_TBL) を使用して、グループ プロファイルを作成します。

(省略可) 既存のグループ条件 ID やクエリーをグループ定義に指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループビルド - グループ定義], [グループ プロファイル]

画像: グループ プロファイル ページ

次の例では、グループ プロファイル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Group Profile' page with the 'Group Definition' tab selected. The 'Group ID' is 'KF002'. Below it, the 'Group Definition' section contains several fields: '*Effective Date' (01/01/1980), 'Status' (Active), 'Group Criteria ID' (KF001), '*Description' (Managers in Company KF1), 'Short Description' (KF1 Mgers), 'Query Name', 'Manager ID', and 'Approver Empl ID'. There are also checkboxes for 'Complex Group - Batch Process' and 'Avail to Manager Self-Service'. A 'Find' button and 'View All' link are visible at the top right of the definition section.

グループ ID

検索ページでグループ ID を入力または選択します。

注: *NOGROUP* というグループ ID は、グループを指定しない変動報酬プランに使用されます。このため、*NOGROUP* は予約済みのグループ ID となり、グループビルド アプリケーションではグループ ID が *NOGROUP* のグループは作成できません。

グループ条件 ID

このグループ定義に既存のグループ条件を含める場合、ここにグループ条件 ID を入力します。含めない場合は、空白のままにしておきます。1 つのグループに含めることができるグループ条件 ID は 1 つだけです。



[グループ条件 ID] フィールドで値を変更した場合、この [リフレッシュ] ボタンをクリックしてグループ定義ページに新しい値を再ロードします。

複合グループ - バッチ処理

オンラインで作成すると時間がかかる複合グループに対してバッチ処理を行う場合に、このチェック ボックスをオンにします。バッチ処理は、システムを他の用途に使用していないオフピーク時に実行できます。

バッチ処理は、PeopleSoft プロセス スケジューラにより行われるため、このチェック ボックスをオンにする場合は、必ずプロセス スケジューラが起動していることを確認してください。処理が完了すると、プロセス スケジューラからユーザーに通知されます。スケジュールしておいたグループの実行ステータスがが必要な場合は、「グループ定義 - グループ結果」ページを参照してください。

注: グループ定義ページの [集計開始] ボタンをクリックすると、作成対象のグループがプロセス スケジューラに送信されます。既に作成されている複合グループがある場合、[集計開始] ボタンをクリックするとグループの行数が集計されます。

管理者セルフサービス使用可

管理者セルフサービストランザクションのアクセス タイプとしてグループ ID を使用する場合に、このチェック ボックスをオンにします。

コメント

このリンクをクリックして、グループビルド定義の表示ページにコメントを自由形式で入力し、グループ定義ページで定義した Where 句を表示します。

クエリー名

このグループ定義に既存のクエリーを含める場合、ここにクエリー名を入力します。含めない場合は、空白のままにしておきます。

警告 このフィールドにあるオプションのリストにアクセスすると、レコード GB_QRY_LINK_VW を含む既存のクエリーが全て表示されます。ただし、グループビルド プロセスでは、EMPLID フィールド、EMPL_RCD フィールド、EFFDT フィールド、および EFFSEQ フィールドのあるクエリーのみが使用できます。これらのフィールドの設定されていないクエリーを選択すると、グループ定義ページに [集計開始] ボタンと [グループ表示] ボタンが表示されません。

「グループビルドに使用するクエリーの定義について」を参照してください。

管理者 ID

グループに管理者がいる場合、その管理者を指定します。たとえば、定義するグループが部門 10200 の全従業員で構成される場合、その部門の管理者の従業員 ID をここに入力します。また、プロジェクト チームのリーダーを指定するために、このフィールドを使用することもできます。

変動報酬管理では、プランがグループにより管理される場合、グループ管理者 ID を使用して報奨割当ページにアクセスできるユーザーが決定されます。

[管理者セルフサービス使用可] チェック ボックスをオンにした場合、管理者 ID は必須です。

承認者 ID

このグループをグループ別変動報酬管理ビジネス プロセスで使用する予定の場合、グループに対する報奨を承認する従業員の ID をこのフィールドに入力します。値の一覧が表示されます。

[管理者セルフサービス使用可] チェック ボックスをオンにし、セルフサービストラランザクションでワークフローを使用する場合、承認者 ID は必須です。

『PeopleTools: PeopleSoft Query』を参照してください。

グループ定義ページ

グループ定義ページ (GB_GRP_DEF2_TBL) を使用して、グループの定義やグループ条件の絞り込みに使用するレコード、フィールドおよびフィールド値を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループビルド - グループ定義], [グループ定義]

画像: グループ定義ページ

次の例では、グループ定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Group Definition' page in PeopleSoft. At the top, there are tabs for 'Group Profile' and 'Group Definition'. The 'Group Definition' tab is active, showing the 'Group ID' as 'KF002'. Below this, there are fields for 'Effective Date' (01/01/1980), 'Status' (Active), and 'Count Result' (0). A 'Where Clause' section is visible, containing fields for '*Group Left Parenthesis', 'Record' (JOB), 'Field Name' (COMPANY), 'Label' (Company), 'Operator' (Equal), 'Edit Table' (COMPANY_TBL), and '*Group Right Parenthesis' (COMPANY_TBL). At the bottom, there is a 'Values' section with a 'Value' field containing 'KF1'. Navigation links like 'Find', 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last' are present throughout the page.

グループ定義

このページは、グループ プロファイル ページで入力したグループ条件と組み合わせて使用できます。また、このページだけでグループを作成することもできます。以下のいずれかの方法で、このページを使用します。

- グループ プロファイル ページでグループ条件 ID を入力した場合

グループ定義ページのレコード名およびフィールド名には、グループ条件ページから値が自動的にロードされます。このページでレコード名およびフィールド名を変更することはできません。グループの定義を完了するには、グループ定義ページの [Where 句] グループ ボックスで、各フィールド名に適切なフィールド値を入力してパラメータを完成させます。定義には、レコード、フィールド名、およびフィールド値をさらに追加できます。

- グループ条件 ID を使用しない場合

グループの定義は全てこのページで行います。グループの作成に使用するレコード、フィールド名、およびフィールド値を全て入力します。

- グループ プロファイル ページでクエリーを入力した場合

クエリーに基づいて作成されるグループに対して、絞り込みの設定はできません。

(集計開始)

ページの保存後、グループにメンバーが何人いるかを計算するには、この [集計開始] アイコンをクリックします。"グループ定義 - グループ プロファイル" ページで [複合グループ - バッチ処理] チェック ボックスをオンにした場合に、[集計] ボタンをクリックすると、作成対象のグループが PeopleSoft プロセス スケジューラに送信されます。

既に作成されている複合グループの場合、[集計] ボタンをクリックするとグループの行数が集計されます。

集計結果

[集計開始] ボタンをクリックすると、グループのメンバー数が表示されます。グループ定義に有効日付きのレコードを使用した場合、従業員 1 人につき複数行のデータがグループに含まれる場合があります。各データ行は 1 アイテムとして集計され、[集計結果] に表示されます。

(グループ表示)

グループを作成してグループ結果ページにアクセスするには、この [グループ表示] ボタンをクリックします。グループ結果ページには、グループの全メンバーが表示されます。

コメント

このリンクをクリックすると、グループビルド定義の表示ページにアクセスします。このページでは、コメントを入力したり、グループ定義ページで定義した Where 句を表示できます。

Where 句

レコード

グループの定義に使うレコード名を入力します。有効なレコード名が一覧表示されます。このフィールドにグループ条件の定義内容がロードされている場合、その内容は変更できません。

フィールド名

グループの定義に使うフィールド名を入力します。[レコード] フィールドに入力したレコードの有効値が一覧表示されます。グループ プロファイル ページでグループ条件 ID を入力した場合、このフィールドに値が自動的にロードされ、変更できません。

ラベル

[フィールド名] フィールドからカーソルを移動すると、このフィールドに自動的に値が入力されます。

演算子

フィールド値をグループに含めるか、除外するかを定義します。以下に示す有効な演算子の表を参照してください。

注: (JPN) 年功給、昇給などの日本特有の処理のためにグループを定義する場合には、JOB レコードの有効日フィールドに対する演算子に *Current* を設定しないでください。*Current* を選択すると、過去にさかのぼって処理を実行する際に、必要な結果が得られない場合があります。ここで有効日フィールドに対して *Current* を設定しない代わりに、処理ページの指定日を使って、現行データ以外のデータを抽出するプロセスを実行できます。

編集テーブル

編集テーブルは、所定のフィールドに入力したデータを確認するために、システムで使用されます。入力したフィールド名が編集テーブルにリンクされている場合、このフィールドにテーブル名が表示されます。

注: 入力したフィールド名が別のフィールドのキーに設定されている場合は、そのフィールドの定義を完了するために入力する必要があるその他のフィールドが自動的に表示されます。たとえば、ある給与ステップに基づいてグループを作成する場合、セツトID、給与プラン、および給与等級も指定する必要があります。

値

リストからフィールド値を選択します。

有効な演算子

演算子	説明
<	N より小さい
<=	N 以下
<>	N と等しくない
=	N と等しい
>	N より大きい
>=	N 以上
Between	
Current	
有効日 <	有効日が N より小さい
有効日 <=	有効日が N 以下
有効日 >	有効日が N より大きい

演算子	説明
有効日 >=	有効日が N 以上
In List	
IS NULL	フィールド値が 0
Like	
Max	最大
Min	最小
Not Btw	間がない
Not Equal	
Not In	リストにない
Not Like	
Not Null	フィールド値が 0 以外

有効日付きのデータを使ったグループの定義

グループの定義に使用できるレコードには、以下のように有効日付きのものがあります。

- JOB (職務情報)
- PERS_DATA_EFFDT (有効日付き個人データ)
- TL_EMPL_DATA (従業員時間プロファイル)
- COMPENSATION (給与)

システムには、これらのレコードの現在データと履歴データの両方が保存されるため、これらのレコードを使ってグループを作成する方法が 2 つあるということになります。

- 現在データを使う場合

たとえば、従業員の現在の職務のみを選択し、以前の職務は除外する場合があります。条件 *Current* がレコードの有効日に自動的に追加されます。

- 履歴データを使う場合

たとえば、従業員が組織で担当した全ての職務を対象とする場合があります。グループには 1 人の従業員について複数行のデータが含まれることがあります。グループを定義する際に有効日に関する条件を指定しない場合、現在のシステム日付時点の履歴データが全て検出されます。

有効日付きレコードを2つ含むグループ定義を作成する場合、有効日を使って2つのレコードをリンクできます。次の表に、2つの有効日付きフィールドをリンクする方法を示します。

演算子	説明
Effdt<=	有効日が N 以下
Effdt>=	有効日が N 以上
Effdt<	有効日が N より小さい
Effdt>	有効日が N より大きい

グループビルド定義の表示ページ

グループビルド定義の表示ページ (GB_GRP_DEF1_SEC) を使用して、グループ定義に指定したレコード、フィールド、フィールド値および演算子を表示します。

ナビゲーション

グループ プロファイル ページまたはグループ定義ページの [コメント] リンクをクリックします。

画像: グループビルド定義の表示ページ

次の例では、グループビルド定義の表示ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Where Clause				
	Record (Table) Name	Field Name	Operator	Values List
(	JOB	COMPANY	Equal	KF1
AND	JOB	HR_STATUS	Equal	A
AND	JOB	LABOR_AGREEMENT	Equal	(FRA)KF01
AND	JOB	EMPL_CTG	Equal	(FRA)(KF01)CAD
)				

Where 句

グループ定義ページで定義した Where 句を表示します。

グループ結果ページ

グループ結果ページ (GB_GROUP_RES_SEC) を使用して、グループビルド ページで作成したグループのメンバーを表示およびソートします。

ナビゲーション

グループ定義ページの [グループ表示] アイコンをクリックします。

画像: グループ結果ページ

次の例では、グループ結果ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Group Result

Search Criteria

Name

ID

Sort group by

Empl ID

Name

1 to 25 of 95

Group Employees

Empl ID	Name	Empl Record	Job Code	Job EffDt	Job EffSeq	Description
KF0003	Serge Granjean	0	420090	02/11/1992	0	Director-Operations
KF0003	Serge Granjean	0	420090	01/01/1995	0	Director-Operations
KF0003	Serge Granjean	0	420090	01/01/2000	0	Director-Operations
KF0003	Serge Granjean	0	420090	01/01/2002	0	Director-Operations

グループメンバーのチャンク制御の使い方

グループメンバーは膨大な数になる場合もあるため、ページには複数のグループメンバーが1つのチャンクとして一括でロードされます。インストール テーブルのサードパーティ/システム ページの [スクロールの最大行数] フィールドで、チャンクに含めることのできる行数を指定できます。フィルタおよびナビゲーション ボタンを使って、表示するチャンクを制御します。

フィルタ機能では、検索条件を入力してチャンクに含めるメンバーを指定できます。1 つまたは複数のフィルタ フィールドに情報を入力して、検索条件を絞り込むことができます。

重要 グループビルドでは、JOB テーブル、COMPENSATION テーブル、PERSON テーブル、および PER_ORG_ASGN テーブルが自動的に結合されます。このページのグループ結果と SQL エディタから起動したクエリーの結果とを比較する場合、これら 4 つのレコードに結合結果を SQL エディタで追加して、結果を正しく比較できるようにしてください。

[集計開始] ボタンをクリックすると、システム日付がパラメータとして自動的に指定されます。たとえば、グループビルド - グループ定義コンポーネントで日付条件をまったく指定していなくても、JOB.EFFDT <= Given Date という条件が、作成された SQL に追加されます。

以下のフィルタおよびナビゲーション ボタンを使用して、メンバーのチャンク間を移動できます。

氏名で検索

1 つ以上の文字をこのフィルタ フィールドに入力して検索すると、その文字で始まる姓の従業員がページに表示されます。

ワイルドカードの % を使用すると、レコードが選択しやすくなります。たとえば、John という名前の従業員を全員検索する場合は、/ % John / と入力します。

ID (従業員 ID)

1 つ以上の数字をこのフィルタ フィールドに入力して検索すると、その数字で始まる従業員 ID を持つ従業員がページに表示されます。

グループのソート基準

リストに表示されるメンバーを、従業員 ID と氏名のどちらの順序で表示するかを選択します。

注: (JPN) 基本言語とログイン言語に日本語を使用する非 UNICODE のデータベースで漢字を使用すると、グループのソート基準機能が使用できなくなります。



検索

フィルタ フィールドに入力されている検索条件を全てクリアする場合は、この [検索フィールドのリフレッシュ] ボタンをクリックします。

新しい検索結果を表示するには、この [検索] ボタンをクリックします。[グループのソート基準] グループ ボックスの左側には、全行数のうち現在どの行が表示されているかが表示されます。たとえば、"1 から 4 まで (4)" と表示されている場合は、全 4 行のうち 1 行目から 4 行目までが表示されていることを示します。

注: [検索] ボタンをクリックすると、[検索フィールドのリフレッシュ] アイコンをクリックするまで、このボタンは非表示になります。

関連リンク

[グループビルドについて](#)

グループビルド (会社/部門) ページ

グループビルド (会社/部門) ページ (RUNCTL_GBP003) を使用して、グループビルド SQR プロセス (GBP003) を実行して既存の会社/部門構造をグループ形式に変換し、部門からグループを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループビルド (会社/部門)], [グループビルド (会社/部門)]

グループビルド SQR プロセス (GBP003) を実行して、部門構造をグループ形式に変換します。

処理が完了すると、グループビルドのページを使用してグループを表示して、グループが正しく生成されたかどうかを確認できます。

関連リンク

部門別グループの自動生成について

グループ セキュリティの設定

グループ セキュリティを設定するには、グループ セキュリティ デフォルト コンポーネント (GB_GRP_DEFN_TABLE)、グループ別セキュリティ コンポーネント (GB_GRP_SEC_TABLE)、ユーザー別セキュリティ コンポーネント (GB_OPR_SEC_TABLE) を使用します。

次の各トピックでは、グループ セキュリティの概要および以下の作業方法について説明します。

グループ セキュリティの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
グループ セキュリティ デフォルト ページ	GB_GROUP_DFT_TBL	デフォルト コンポーネント アクセスを設定します。 グループビルド - グループ定義コンポーネントで作成したグループを使用または参照できるコンポーネントを指定します。
グループ別セキュリティ ページ	GB_GRP_SEC_TBL	グループ別にセキュリティを設定します。選択したグループ ID へのアクセス権を持つユーザーを指定し、このグループでユーザーがアクセスできるコンポーネントを指定します。
ユーザー別セキュリティ ページ	GB_OPR_SEC_TBL	ユーザー別にセキュリティを設定します。選択したユーザーがアクセスできるグループを指定し、このグループでユーザーがアクセスできるコンポーネントを指定します。

グループ セキュリティについて

グループは、必要に応じて、異なる会社や異なる部門にわたって設定できるため、データ権限セキュリティとは別に独自のセキュリティ構造を持っています。グループ セキュリティは、データ権限セキュリティに優先されます。たとえば、通常は部門 10100 にアクセスできないが、部門 10100 の従業員を含むグループにはアクセスできるユーザーの場合、その部門に所属するメンバーも含めグループ メンバー全員を参照することができます。したがって、グループ設定時には、セキュリティは考慮すべき重要な要素になります。

注: ユーザー プロファイルには、グループへのセキュリティアクセスを設定するため、関連するメンバーを設定する必要があります (関連するメンバーの設定されていないユーザー ID は一覧表示されません)。これにより、確実にセキュリティがメンバーに割り当てられ、メンバーごとにグループを含むアクティビティについて追跡できるようになります。メンバーに対するユーザー プロファイルの割り当ては、PeopleTools セキュリティのユーザー プロファイル コンポーネントで行います。

グループ セキュリティ デフォルト ページ

グループ セキュリティ デフォルト ページ (GB_GROUP_DFT_TBL) を使用して、デフォルト コンポーネント アクセスを設定します。

グループ ビルド - グループ 定義コンポーネントで作成したグループを使用または参照できるコンポーネントを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループ ビルド], [グループ セキュリティ デフォルト], [グループ セキュリティ デフォルト]

画像: グループ セキュリティ デフォルト ページ

次の例では、グループ セキュリティ デフォルト ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Component Name	System Data
BUDGET_COMPARE_INQ	☒
COMP_RATECD_TBL	☒
CO_DPK_CATEGORY	☒
CO_DPK_SUPPLIER	☒
CO_ESV_EXTRACT	☒
CO_ESV_SUPPLIER	☒

コンポーネント名

これらのフィールドには、グループを参照する PeopleSoft ヒューマン リソース管理の標準コンポーネントが自動的に入力されます。

コンポーネントは、以下のいずれかの方法でグループを参照できます。

- グループ ID を入力する必要があるフィールドがページに表示される。
- 特定グループに属するメンバーのリストがページに表示される。

特定のグループまたはユーザーに対してグループ セキュリティを定義するときに、このデフォルト リストをグループ別セキュリティ ページおよびユーザー別セキュリティ ページにインポートできます。その後、特定のコンポーネントを削除して、グループまたはユーザーからアクセスできないようにします。

特定のコンポーネントがグループ別セキュリティ ページまたはユーザー別セキュリティ ページに表示されないようにするには、このリストからそのコンポーネント名を削除します。

システム データ

コンポーネントが PeopleSoft からシステム データとして配布された標準コンポーネントか、インストール時にカスタマイズして作成されたコンポーネントのどちらであるかを表示します。データがシステムにより提供される場合は、このチェック ボックスはオンになり、カスタム コンポーネントの場合はオフになります。このフィールドは変更できません。

グループ別セキュリティ ページ

グループ別セキュリティ ページ (GB_GRP_SEC_TBL) を使用して、グループ別セキュリティを設定します。

選択したグループ ID へのアクセス権を持つユーザーを指定し、このグループでユーザーがアクセスできるコンポーネントを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループ ビルド], [グループ別セキュリティ], [グループ別セキュリティ]

画像: グループ別セキュリティ ページ

次の例では、グループ別セキュリティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Security by Group' page. At the top, the title 'Security by Group' is displayed. Below it, there are two main sections: 'Group Security' and 'User Security'. In the 'Group Security' section, the 'Group ID' is set to 'EI003'. In the 'User Security' section, the 'User ID' is set to 'HHR_VC05'. Below these, there is a 'Component Name' section with a list of components: 'GB_GRP_DEFN_TABLE', 'RC_VC_CALCWRD_G', and 'RC_VC_CALCWRD_P'. Each component has a search icon and a 'Default' button. The page also includes navigation links like 'Find', 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last'.

有効日	このセキュリティ設定が有効になる日付です。デフォルトでは今日の日付になります。別の日付でセキュリティアクセスを与えるには、日付を変更します。
ユーザー ID	グループ アクセス権限を設定または変更するユーザーの ID を入力します。
 (従業員 ID 取得)	従業員の従業員 ID はわかっているが、対応するユーザー ID が不明なときに、この [従業員 ID 取得] アイコンをクリックして従業員のユーザー ID を検索します。ユーザー ID の検索ページが表示されます。従業員 ID を入力して [OK] をクリックし、その従業員のユーザー ID がユーザー リストになれば、追加するように指定します。 従業員 ID が不明な場合、その ID を検索するには、従業員 ID の検索アイコンをクリックします。従業員 ID の検索ページが表示されるので、目的の従業員 ID を検索します。
ステータス	このユーザーにこのグループへのアクセス権限を与える場合は [アクティブ] を、与えない場合は [非アクティブ] を選択します。
コンポーネント名	このグループに対するユーザーのセキュリティ アクセスに含めるコンポーネントを選択します。有効な値は、グループ セキュリティ ページに表示されるデフォルト コンポーネントになります。
デフォルト	このボタンをクリックして、グループ セキュリティ デフォルト ページにリストされている全てのデフォルト コンポーネントから現在のグループに、このユーザー アクセスを割り当てます。このページにはデフォルト コンポーネントが表示されます。このグループの特定のユーザーにアクセス権を付与したくない場合は、そのコンポーネントを削除できます。 「グループ セキュリティ デフォルト ページ」を参照してください。

ユーザー別セキュリティ ページ

ユーザー別セキュリティ ページ (GB_OPR_SEC_TBL) を使用して、ユーザー別セキュリティを設定します。

選択したユーザーがアクセスできるグループを指定し、このグループでユーザーがアクセスできるコンポーネントを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [ユーザー別セキュリティ], [ユーザー別セキュリティ]

画像: ユーザー別セキュリティ ページ

次の例では、ユーザー別セキュリティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

有効日

このセキュリティ設定が有効になる日付です。デフォルトでは今日の日付になります。別の日付でセキュリティアクセスを与えるには、日付を変更します。

グループ ID

このユーザーのアクセス制御対象となるグループの ID を入力します。

ステータス

このユーザーにこのグループへのアクセス権限を与える場合は **[アクティブ]** を、与えない場合は **[非アクティブ]** を選択します。

コンポーネント名

このグループに対するユーザーのセキュリティ アクセスに含めるコンポーネントを選択します。有効な値は、グループセキュリティ ページに表示されるデフォルト コンポーネントになります。

デフォルト

このボタンをクリックして、グループ セキュリティ デフォルト ページにリストされている全てのデフォルト コンポーネントから指定のグループに、このユーザー アクセスを割り当てます。このページにはデフォルト コンポーネントが表示されます。このグループの特定のユーザーにアクセス権を付与したくない場合は、そのコンポーネントを削除できます。

「[グループ セキュリティ デフォルト ページ](#)」を参照してください。

PeopleSoft の各アプリケーションでのグループの絞り込み

グループ定義を作成したら、グループ メンバーをアプリケーション レベルで絞り込みます。

グループの絞り込みには、以下の条件を指定できます。

- 時点

一部のプロセスでは、有効日の時点で処理対象のグループ メンバーのみが選択されます。この場合、全ての職務履歴行でグループが作成されると、有効日の時点のデータのみが選択されます。

- 期間

一部のプロセスでは、指定した開始日と終了日の範囲内で職務データを持つグループ メンバーが選択されます。

関連リンク

[グループビルド機能を導入したアプリケーション プログラムまたはバッチ プログラムの作成](#)

グループ結果とレポートの表示

次の各トピックでは、グループ メンバー リストの概要および複合グループ結果を表示する方法について説明します。

グループ結果とレポートの表示に使用するページ

ページ名	定義名	用途
複合グループ結果サマリ ページ	RSLT_SMRY_PNL	グループ定義コンポーネントで作成した複合グループのステータスを表示します。 あらかじめバックグラウンド処理を実行してグループを作成しておく必要があります。
グループ重複ページ	RUNCTL_GBP001	重複グループ メンバー レポート (GBP001) を実行します。このレポートには、複数のグループに所属する従業員が出力されます。
グループ メンバー リスト ページ	RUNCTL_GBP002	グループ メンバー リスト レポート (GBP002) を実行します。このレポートには、選択したグループのメンバーが出力されます。

グループのメンバー資格について

グループ定義コンポーネントでグループを定義する際に、グループのメンバー資格に期限を設定しないため、グループによってはメンバーのリストが長大になります。このように扱いにくくなる可能性のあるグループを管理しやすくするために、グループメンバーを照会するためのページとレポートが用意されています。

関連リンク

[グループ結果とレポートの表示](#)

共通フィールド

グループ ID	メンバーを表示するグループの ID を入力します。
指定日	レポートには、現在の日付または [絞込日] フィールドに指定した日付の時点で、そのグループに属しているメンバーが出力されます。
絞込日	グループ定義に有効日が設定されたレコードが含まれている場合、実行するレコードの日付を入力します。たとえば、有効日が 2000 年 1 月 1 日のグループを実行する場合に、2008 年 2 月 15 日時点でそのグループに含まれる有効日が設定された行を実行するとします。この場合、[グループ指定日] に 2000 年 1 月 1 日を選択し、[絞込日] に 2008 年 2 月 15 日を選択します。 このフィールドを空白のままにしておくと、現在の日付でグループが実行されます。

複合グループ結果サマリ ページ

複合グループ結果サマリ ページ (RSLT_SMRY_PNL) を使用して、グループ定義コンポーネントで作成した複合グループのステータスを表示します。

あらかじめバックグラウンド処理を実行してグループを作成しておく必要があります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [複合グループ結果サマリ], [複合グループ結果サマリ]

"グループ定義 - グループ プロファイル" ページの [複合グループ - バッチ処理] チェック ボックスをオンにすると、どのグループでも複合グループに指定できます。複合グループはバックグラウンド処理で作成され、処理が完了するとユーザーに通知されます。

グループ結果の消去

次の各トピックでは、グループ結果の概要および以下の作業方法について説明します。

結果の消去に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>グループ結果消去ページ</u>	RUNCTL_GBP004	グループ結果テーブルから前バージョンのグループ結果を消去します。
<u>使用不可グループ結果の消去ページ</u>	RUNCTL_GBP005	グループ結果テーブルから全てのグループ結果を消去します。 このページを使用する前に、結果を消去するグループを保存しておく必要があります。

グループ結果について

グループを作成したり実行するたびに、その結果がグループ結果テーブルに保存されます。次に同じグループを実行するときには、グループを前回実行したときからグループの定義と日付パラメータが変わっていないかどうかの確認が行われます。変更がある場合、グループ結果テーブルから前回の結果が削除され、新しい結果が保存されます。

グループ結果消去ページ

グループ結果消去ページ (RUNCTL_GBP004) を使用して、グループ結果テーブルから前バージョンのグループ結果を消去します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループ結果消去], [グループ結果消去]

画像: グループ結果消去ページ

次の例では、グループ結果消去ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

グループ結果消去プロセスにより、使用可能グループ、つまりグループ結果テーブルに保存されている結果が現在のグループ定義と同期されていて、今現在のシステムによる検索対象となっているグループが削除されます。

グループ ID

結果を消去するグループの ID を入力します。グループビルドの結果テーブル (GB_GRP_RES_TBL) から結果が削除されます。

使用不可グループ結果の消去ページ

使用不可グループ結果の消去ページ (RUNCTL_GBP005) を使用して、グループ結果テーブルから全てのグループ結果を消去します。

このページを使用する前に、結果を消去するグループを保存しておく必要があります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [使用不可グループ結果の消去], [使用不可グループ結果の消去]

使用不可グループ結果の消去プロセスでは、*使用不可グループ*、つまり作成時の基準となったグループ定義が現在のものとは異なり、グループ結果テーブルに保存されている結果が現在のグループ定義と一致しないグループが処理されます。以下のいずれかが変更された場合、グループ結果は使用不可となります。

- 開発者クエリー定義
- グループ結果が保存されているグループ結果テーブル
- グループ定義
- ユーザー クエリー定義

XML レポート フレームワークの設定

XML レポート フレームワークについて

レポート用の XML ファイルを作成する前に、XML ファイル作成用のコンポーネントを設定する必要があります。XML ファイルを設定する手順は、次のとおりです。

1. XML コード テーブルを設定します。
2. XML セットを定義します。
3. XML ノード テーブルとノード マッピングを設定します。
4. XML テンプレートを定義します。
5. ステップを実行して XML ファイルを作成します。

XML 作成プロセスでは、この動的設定データを使用して、作成するレポートの特定のニーズに基づいて XML ファイルを作成します。

XML コード テーブル

XML コード テーブルは、XML ノードの有効値の一覧を示すテーブルです。コード テーブルを使用すると、単一のメニュー エントリ ポイントを使用して設定データをまとめることができます。XML コード テーブル (XML_CODE_TBL) コンポーネントを使用して、会社で使用する補助 XML コード テーブルと有効値を定義します。XML コード テーブルを定義した後で、そのテーブルを使用して次の処理を行うことができます。

- ノードの XML コード テーブルへのシステム値のマッピング
- ノード値の検証テーブルとしての使用

XML ノード テーブル コンポーネントで XML ノードを定義する際に、この両方のオプションを実行できます。後のビジネス プロセスで、XML ファイル作成時に XML ファイルに対する個人のノード データを入力する際に、ノードのコード テーブルで定義した有効値からの選択を求められます。

XML セット

XML セットは XML ファイルのグループです。XML セットを機能分野に関連付けることができます。たとえば、スペインのヒューマン リソース管理には、Contrata@、Delta@、契約出力および Tripartite 機構機能分野の XML セットが用意されています。

XML セット テーブル コンポーネントを使用して、XML ファイルの XML セット定義を定義します。XML ノード テーブル コンポーネントを使用して XML ノードに、また XML テンプレート テーブル コンポーネントを使用して XML テンプレートに XML セットを関連付けます。

XML ノード テーブル

XML ノードは XML ファイル設定のコアです。XML ノードは、XML ファイルにおいてファイル内の階層構造を定めるタグの集まりです。これらは、HCM データにマッピングされる XML タグに相当します。ノードの開くタグと閉じるタグの間にある全てのタグが、そのノードを構成しています。XML ノード テーブル コンポーネントを使用して、XML ノードを定義し、ノード間に関係を作成します。作成して相互に関連付けるノードによって、XML ファイル構造が定義されます。XML 作成プロセスを通じて、システムは HCM データベースに既に格納されているデータを取得したり、データを適切な XML ノードに書き込むことができます。

複合ノードまたは単純ノードを定義することができます。複合ノードは、他の単純ノードまたは複合ノードから構成されます。複合ノードは、ルート ノードまたは子ノードにすることができます。定義する XML テンプレートあたり 1 つのルート ノードのみ使用できます。ルート ノードは特定の XML ファイル レイアウトを定義します。XML タグをさらに埋め込む場合は、子ノードの中に子ノードを含めることもできます。単純ノードは値に関連付けられています。単純ノードの値を取得するには、手動で入力する値またはシステム値をソースデータとして使用できます。

システムをノードの値の取得元のソースとして使用しているデータが、XML ファイルに必要なデータと一致しないことがあります。その場合は、XML ノード テーブル コンポーネントを使用して、レポート ニーズを満たす別の値にシステム データ値をマッピングすることもできます。たとえば、PeopleSoft システム データは、性別値として M (男性) および F (女性) を使用しています。一方、GP スペインの場合、I.N.E.M. では H (男性) と M (女性) を使用しています。XML ノード テーブル コンポーネントを使用して、これらの PeopleSoft システム値を対応するスペイン固有の I.N.E.M. 値にマッピングできます。

XML テンプレート

XML テンプレートは、各機能分野内の通信のタイプを定義し、各通信に対して作成する XML ファイルの完全な XML 構造を識別します。XML テンプレートは、XML 作成プロセスの実行時データ取得用のキーおよびルート ノードを保持します。各テンプレートを定義する際に、ルート ノードを割り当てます。したがって、ルート ノードにはテンプレート内の全てのノードの情報が含まれるため、XML ファイル構造が定義されます。実行時にシステムは、XML テンプレートに定義内で関連付けられたルート ノードの子ノードのデータを取得する際に、これらのキーを SQL Select 文の一部として使用して、フィールドの適切な値を取得します。

XML レポート フレームワークの設定

このトピックでは、XML レポート フレームワークの設定について説明します。

XML レポート フレームワークの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>XML コード テーブル ページ</u>	XML_CODE_TBL	会社で XML ノードに使用する補助 XML コード テーブルと有効値を定義します。
<u>XML セット テーブル ページ</u>	XML_SET_TBL	XML セット定義を管理します。
<u>ノード テーブル ページ</u>	XML_NODE_TBL1	国別機能の XML ファイル構造を構成するノードを定義します。
<u>ノード マッピング ページ</u>	XML_NODE_TBL2	ノードの既存のシステム値を XML ファイルに必要な代替値にマッピングします。
<u>XML テンプレート ページ</u>	XML_TEMPLATE	XML ファイル作成時に使用するテンプレートを定義します。
<u>XML テスター ページ</u>	XML_RC_TESTER	以前の設定を使用して定義した XML ファイルの実行を許可して、ユーザーが結果のレポートが想定どおりのレポートかどうかを確認できるようにします。

XML コード テーブル ページ

XML コード テーブル ページ (XML_CODE_TBL) を使用して、会社で使用する XML ノードの補助 XML コード テーブルと有効値を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML コード テーブル]

画像: XML コード テーブル ページ

次の例では、XML コード テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'XML Code Tables' page. At the top, there's a header 'XML Code Tables'. Below it, there are input fields for 'Set ID' (ESP), 'Code Table' (SSEXOTC), and 'Description' (Gender). Below the form, there's a table with columns 'Code - Description', 'Description', and 'Long Description'. The table contains two rows: '1 1' with 'Man' and '2 2' with 'Woman'. There are navigation buttons like 'First', '1-2 of 2', and 'Last'.

コード テーブル

コード テーブルの名前。

名称	コード テーブルの名称を入力します。
XLAT 値	コード テーブルのトランスレート値を入力します。
名称	トランスレート値の名称を入力します。

XML セット テーブル ページ

XML セット テーブル ページ (XML_SET_TBL) を使用して、XML セット定義を管理します。たとえば、ヒューマン リソース管理および Global Payroll Spain には、次に対する XML セットが用意されています。

- デルタレポート
- Contrat@ レポート
- Tripartite 機構レポート
- 契約出力の設定
- 会社証明書
- Cret@ レポート

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML セット テーブル]

画像: XML セット テーブル ページ

次の例では、XML セット テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

XML Set Table

XML Set C01

*Description

Contrat@

*Country

ESP

Details

Personalize | Find | View All |

First 1-10 of 13 Last

	Record (Table) Name	Record Description		
1	ALL_CCC_ESP_VW	Establishment ER Soc.Sec View		+ -
2	COMPDATA_ESP_VW	Company Data		+ -
3	CONTRACT_DATA	Contract Info		+ -
4	JOBDATA_ESP_VW	Job Data ESP		+ -
5	JOB_CNT_ESP_VW	View on JOB used in CONTRACT		+ -
6	PERSDATA_ESP_VW	Personal Data ESP		+ -
7	PERSONAL_DATA	PERSONAL_DATA for Rptng		+ -
8	PERS_NID	PERS_NID Record		+ -
9	WKF_CNT_CLAUSE	Work Force Contract Clause		+ -
10	WKF_CNT_TYP_ESP	Contract Info		+ -

- XML セット、名称

XML セット コードおよび名称が表示されます。
- 国

XML セットを定義する国を選択します。
- レコード (テーブル) 名

この XML セットの使用が可能なレコードの名前を入力します。
ここで入力したレコードは、このフレームワークの他の部分で使用可能になります。
- レコード説明

選択したレコードまたはテーブルの名称が表示されます。

ノード テーブル ページ

ノード テーブル ページ (XML_NODE_TBL1) を使用して、国別レポートの XML ファイル構造を構成するノードを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML ノード テーブル]

画像: ノード テーブル ページ (複合ノード タイプ)

次の例では、ノード テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Node Table

Node Id C0 01 XML Set Contrat@ Country ESP
Description Contract
*Tag CONTRATOS
*Node Type Complex
☒ Root Node Preview XML
☐ Define Attributes

Children Nodes

Personalize | Find | View All | First 1-10 of 30 Last

Sequence Number	*Node Id	Description	Node Type	* Required Field	Print Node if Blank	Iterative Node	Edit Table	
1	C1 01	Contract_100	Complex	☐	☐	☐		
2	C1 02	Contract_130	Complex	☐	☐	☐		
3	C1 03	Contract_150	Complex	☐	☐	☐		
4	C1 04	Contract_200	Complex	☐	☐	☐		
5	C1 05	Contract_230	Complex	☐	☐	☐		
6	C1 06	Contract_250	Complex	☐	☐	☐		
7	C1 07	Contract_300	Complex	☐	☐	☐		
8	C1 08	Contract_330	Complex	☐	☐	☐		
9	C1 09	Contract_350	Complex	☐	☐	☐		
10	C1 10	Contract_401	Complex	☐	☐	☐		

画像: ノード テーブル ページ (単純ノード タイプ)

次の例では、ノード テーブル ページ (単純ノード タイプ) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Node TableNode Mapping

Node IdC3 05XML SetContrat@CountryESP

DescriptionGender

*TagSEXO

*Node TypeSimple

☐ Concatenate

Source DataSystem Table

Record NamePERSDATA_ESP_VWPersonal Data ESP

Field NameSEXGender

☐ Use Description

☐ Substring

☐ Fill

☐ Clean String

☐ Special Format

☐ Define Attributes

- ノード ID

新規ノードの作成時に、ノードを識別するコードを入力します。
- XML セット

XML セットを選択して、このノードの定義対象の機能分野を指定します。
- 国

選択した XML セットに関連付けられている国が表示されます。
- 名称

ノードの名称を入力します。
- タグ

ノードの XML タグの名前を入力します。
- ノード タイプ

ノードが [単純]か、または [複合] かを選択します。単純ノードは、値に関連付けられるのに対して、複合ノードは、単純または複合ノードで構成されます。
- ルート ノード

複合ノードがルート ノード (つまり、XML ファイル構造内の他の全てのノードの派生元) であることを指定するには、このチェックボックスをオンにします。

このフィールドが表示されるのは、ノード タイプが [複合] の場合のみです。

XML のプレビュー

このボタンをクリックして、XML プレビュー ESP ページにアクセスします。このページで、複合ノードの XML ファイル構造をプレビューできます。複合ノード タイプの XML ファイル構造のみプレビューできます。

このボタンが表示されるのは、ノード タイプが *[複合]* の場合のみです。

連結

このチェック ボックスは、このノードのデータがデータベース内の 2 つ以上のフィールドの連結である場合にオンにします。連結されたノードを選択するための *[ノード ID]* フィールドが表示されます。

このチェック ボックスは、単純ノードでのみ編集可能になります。

ノード ID

連結されたノードを選択します。

このフィールドは、*[連結]* チェック ボックスをオンにした場合にのみ使用可能になります。

ソース データ

ノードのソース データを定義する方法を選択します。XML ファイルの作成時に、システムでは、ここで選択したオプションを使用して XML ファイルのノード値を取得および検証します。

このフィールドは、単純ノードでのみ編集可能になります。有効値は以下のとおりです。

- **手入力:** このオプションは、HR システムにノードのデータが格納されていない場合に選択します。ファイルの作成時に値の手入力が要求されます。このオプションを選択すると、指定した特定の XML コードテーブル、トランスレート フィールド、または日付形式に対してノード値が検証されます。または、検証を行わないことを指定して、ユーザーが入力可能フィールドに任意のノード値を入力できるようにすることもできます。
- **システム:** このオプションは、XML ファイル用に設計された特別なビューの一部としてノードの有効値がアプリケーションに既に存在することを指定する場合に選択します。このオプションを選択した後で、どのレコード (ビュー) およびフィールドにノードの有効値が含まれているかを指定する必要があります。*[レコード名]* フィールド、*[フィールド名]* フィールド、およびノード マッピング ページが編集可能になります。このオプションは、システム値を代替値にマッピングする必要がある場合に選択する必要があります。

[レコード名]、[フィールド名]

これらのフィールドは、単純ノードのソース データとしてシステム データを選択した場合に表示されます。[ソース データ] フィールドでシステム値を選択した場合は、どのレコードおよびフィールドに XML ノードの有効値が含まれているかを指定する必要があります。レコードおよびフィールドを指定するには、最初に有効なレコード (XML セット テーブル ページから追加) のリストからレコードを選択します。次に、ビューで使用可能なフィールドのリストからフィールドを選択します。選択した値は、XML ファイルの作成時にデータの取得に使用されます。

検証タイプ

ユーザーが XML ファイルで個人に対して入力したノード値の検証時に行われるデータ検証のタイプを手動で選択します。

このフィールドは、[ソース データ] フィールド値が [手入力] の場合にのみ使用可能になります。有効値は以下のとおりです。

- **コード テーブル:** このオプションは、XML コード テーブル ページで定義された値のテーブルからノード値を取得する場合に選択します。特定のテーブルを選択するための [コード テーブル] フィールドが表示されます。
- **日付:** このオプションは、ノード値を日付にする場合に選択します。日付形式を選択するための [日付フォーマット] フィールドが表示されます。
- **なし:** このオプションは、ノード値の検証が不要な場合に選択します。XML ファイル作成ページの詳細ページに、[ノード値] フィールドが入力可能フィールドとして表示されます。フィールドで検証のための編集が行われていないため、ユーザーはノードの値を任意に入力できます。
- **Xlatフィールド (トランスレート フィールド):** このオプションは、特定のフィールドのトランスレート テーブルからノード値を取得する場合に選択します。[フィールド名] フィールドが表示されます。このフィールドで、ユーザーにトランスレート値の選択を求めるフィールドを選択します。

デフォルト値

ソースが手入力の単純ノードの場合は、デフォルト値を設定できます。

このフィールドは、[ソース データ] フィールドで [手入力] を選択した場合にのみ使用可能です。

名称使用

コードの代わりに名称を出力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

このフィールドは、選択したフィールドに XLAT が関連付けられているか、または DESCR フィールドがあるプロンプト テーブルが設定されている場合にのみ使用可能です。

関連の使用

このフィールドに関連付けられているプロンプト テーブルのデータを出力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

このフィールドは、選択したフィールドにプロンプト テーブルが設定されている場合にのみ使用可能です。

サブストリング

フィールド値の一部のみを出力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオンにする際に、[開始位置] および [長さ] の値を入力する必要があります。

充てん

フィールドの値に [文字充てん] フィールドで指定した文字を必要な長さを満たすようにロードする場合は、このチェック ボックスをオンにします。

文字列の消去

[消去する文字] フィールドに指定した 1 つ以上の文字を削除する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

特別フォーマット

フレームワークで定義されているいずれかの特別フォーマットを使用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

- 小数点記号はカンマ
- 小数点記号はピリオド
- マップしてから連結
- 時間および分
- スペースの除去
- パーセントを 4 桁に変換
- ゼロをスペースに変換

属性の定義

ノードに属性を入力する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

法定区域

使用できるコード テーブルを特定のセットID にフィルタするために使用する法定区域を選択します。コード テーブルにはセットID が含まれます。法定区域を選択することで、法定区域と同じセットID を持つコード テーブルのみ選択できるようになります。

このフィールドは、コード テーブルを使用する単純ノード タイプの場合のみ使用できます。

コード テーブル	コード テーブルの検証タイプを選択した場合は、テーブルを選択します。ユーザーは、このテーブルからノード値を選択するよう要求されます。 このフィールドは、コード テーブルを使用する単純ノード タイプの場合のみ使用できます。
フォーマット済	日付フィールドのフォーマット方法を選択します。 このフィールドを使用できるのは、検証タイプに [日付] を選択した場合のみです。
フィールド名	このフィールドで、ユーザーにトランスレート値の選択を求めるフィールドを選択します。 このフィールドが使用できるのは、検証タイプに [Xlat フィールド] を選択した場合のみです。
子ノード	このグループ ボックスを使用して、複合ノードの子ノード メンバーを定義します。特定のノードに対して定義した全ての子ノードは、XML ファイル構造内で同じレベルに表示されます。子ノードがさらに子ノードを必要とする複合ノードである場合は、それぞれのノード定義でメンバーを定義する必要があります。このグループ ボックスが表示されるのは、ノードタイプが [複合] の場合のみです。
連番	子ノードが親ノードのファイル構造に出現する順序を入力します。子ノードは、最小から最大の順に並べられます。
ノード ID	子ノードを選択します。この同じコンポーネントを使用して子ノードを定義します。
名称	子ノードの名称が表示されます。
ノード タイプ	子ノードのノード タイプ ([単純] または [複合]) が表示されます。
[必須フィールド]	このノードを XML ファイルで必須フィールドにするには、このチェック ボックスをオンにします。適切なレポート コンポーネントを通じて XML ファイルを検証する場合、ユーザーは、XML ファイルを作成する前にこのフィールドに値を入力するよう要求されます。
空白の場合ノードを印刷	このチェック ボックスは、値が null の場合でも XML ファイルに特定のノードを含める場合にオンにします。
反復ノード	XML ファイルの内部でこのノードを反復できることを指定するには、このチェック ボックスをオンにします。
編集テーブル (反復レコード)	反復データが含まれるレコードを入力します。XML セット ページからレコードを選択します。

このフィールドは、[反復ノード] チェック ボックスがオンの場合にのみ編集できます。

ノード マッピング ページ

ノード マッピング ページ (XML_NODE_TBL2) を使用して、ノードの既存のシステム値を XML ファイルに必要な代替値にマッピングします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML ノード テーブル], [ノード マッピング]

注: このページは、ノード テーブル ページの [ノード タイプ] を [単純] として定義し、[ソース データ] を [システム テーブル] として定義した場合にのみ使用可能になります。

画像: ノード マッピング ページ

次の例では、ノード マッピング ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Node TableNode Mapping

Node IdC3 05Gender

Node TypeSimple

Source DataSystem

Mapping FromXlat

Mapping ToCode Table

Reg RegionESP

Code TableGender

Details

PersonalizeFindView All

First1-2 of 2Last

System Value	Description	Node Value	Description
1 F	Female	2	Woman
2 M	Male	1	Man

このページは、ノードの値がアプリケーションに存在しているが、システム値が XML ファイルに必要な値と一致しない場合に使用します。このページで、既存のシステム値を、XML ファイルで使用する必要のある他のより適切な値にマッピングできます。

マッピング元

マッピング元にするフィールドについて、フィールドで有効値を取得する方法を選択します。選択した後で、下のグリッドにある [システム値] フィールドを使用して、代替値にマッピングするシステム フィールド値を指定します。選択肢は以下のとおりです。

- 手入力: このオプションは、システム値がユーザー入力によって手動で取得され、これらの値を他の値にマッピングする場合に選択します。このようなフィールドは、編集がないものとして定義されるため、手入力が可能になります。グリッド内の [システム値] フィールドで、別の値にマッピングする各システム値を手動で入力するよう求められます。

- なし: このオプションは、ノードテーブル ページの [フィールド名] フィールドで指定するフィールドのシステム値を別の値にマッピングする必要がない場合に選択します。
- レコード: このオプションは、システム値がプロンプト テーブルから取得され、プロンプト テーブルの値を他の値にマッピングする場合に選択します。次に、使用可能になる [編集テーブル] フィールドを使用してプロンプト テーブルを指定します。このテーブルから、フィールドの有効値が取得されます。グリッド内の [システム値] フィールドで、別の値にマッピングする各プロンプト テーブル値を選択するよう求められます。
- *Xlat* (トランスレート): このオプションは、システム値がトランスレート テーブルから取得され、これらのトランスレート値を他の値にマッピングする場合に選択します。グリッド内の [システム値] フィールドで、別の値にマッピングする各トランスレート値を選択するよう求められます。

注: システム値を代替値に正常にマッピングするには、マッピングするフィールドに関連付けられているテーブル編集のタイプを知っておく必要があります。このようにしてデータの整合性を保持し、システムが XML ファイルのデータ検証中に値を正確に再マッピングできるようにします。ノードテーブル ページの [フィールド名] フィールドでフィールドを選択します。

編集テーブル

フィールド値をレコードからマッピングすることを選択した場合は、フィールドがその有効値を取得するプロンプト テーブルを選択します。

マッピング先

マッピング先の新しい有効フィールド値を定義する方法を選択します。選択した後で、下のグリッドにある [ノード値] フィールドを使用して、システム値を置換する新しい値を指定します。選択肢は以下のとおりです。

- コードテーブル: このオプションを選択して、値を XML コードテーブルに存在する値にマッピングします。[コード テーブル] フィールドが編集可能になります。
- 手入力: このオプションを選択して、手動で定義する値にシステム値をマッピングします。
- なし: このオプションは、システム値を別の値にマッピングする必要がない場合に選択します。

法定区域

使用できるコード テーブルを特定のセットID にフィルタするために使用する法定区域を選択します。コード テーブルにはセットID

が含まれます。法定区域を選択することで、法定区域と同じセットIDを持つコード テーブルのみ選択できるようになります。

コード テーブル

新しいフィールド値を XML コード テーブルの値にマッピングすることを選択した場合は、コード テーブルを選択します。XML コード テーブル ページで XML コード テーブルを定義します。

システム値、名称

別のより適切な XML ファイル値にマッピングするシステムフィールド値を指定します。有効値がトランスレート テーブルまたはプロンプト テーブルから取得されるフィールドからマッピングする場合は、変更する値を選択します。有効値が手入力でシステムに取得されるフィールドからマッピングする場合は、変更する値を入力します。手入力する値は、ユーザー入力で定義された値と同一である必要があります。

トランスレート値とテーブル レコード値の場合は、選択した名称が表示されます。

ノード値、名称

システム値のマッピング先のノード値を選択または入力します。[マッピング先] フィールドでコード テーブルへのマッピングを選択した場合は、指定した XML コード テーブル内の値を求められます。XML コード テーブル値の場合は、選択した名称が表示されます。

XML テンプレート ページ

XML テンプレート ページ (XML_TEMPLATE) を使用して、XML ファイル作成時に使用するテンプレートを定義します。XML セットでは、機能分野を定義するのに対して、XML テンプレートでは、特定の XML スキーマを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML テンプレート]

画像: XML テンプレート ページ

次の例では、XML テンプレート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

XML TemplateXML ResponseXML SQL Statement

XML Set C01Contrat@Country Spain

Template Type C01

*DescriptionContrata - Contracts

Key 1 Field NameEMPLIDEmpl ID

Key 2 Field NameEFFDTEffective Date

Key 3 Field NameCONTRACT_NUMContract Number

Root NodeC0 01ContractTag CONTRATOS

XML Version<?xml version="1.0" encoding="ISO-8859-1"?>

XMLP Template

Track Flag

Matching Node IdC3 03Person Identification

Record NameWKF_CNT_TYP_ESFContract Info

Field NameCTTA_CONTRACT_ESFReport as Contract

Schema Data

AttachDeleteViewValidate SchemaSchema Validated

- XML セット

新しい XML テンプレートを定義する場合は、テンプレートが属する XML セットを選択します。
- テンプレート タイプ

テンプレートの識別コード。
- 名称

XML テンプレートの名称を入力します。
- キー 1 フィールド名、キー 2 フィールド名、キー 3 フィールド名

XML テンプレートでレポートするデータのさまざまなレベルのキーとして使用するフィールドを指定します。これらのフィールドは、XML ファイルでレポートするデータの取得元のテーブルのキー構造を示します。たとえば、GP スペインの場合、Contrat@ レポートでは、キー フィールドとして EmplID および EFFDT を定義して、契約の有効日に基づく従業員情報をレポートすることを指定します。GP スペインの Delt@ レポート (XML セット = D01) では、会社、従業員および有効日 (または事故) という 3 つのレベルを定義して、会社レベル、従業員レベルおよび事故レベルでキーが付けられた情報を含む XML ファイルを提供します。

XML ノード テーブル コンポーネントを通じてデータベースに存在するレコードおよびフィールドにノードをマッピングする場合、選

択するフィールドを使用するように Where 句が動的に作成されるため、これらのレコードにはこれらのキーの 1 つ以上がレコードキーとして存在する必要があります。

ルート ノード

XML テンプレートのルート ノードを選択します。ルート ノードには構造全体が反復モードで含まれるため、XML テンプレートのルート ノードを識別することにより、XML ファイルの構造全体を設定します。ルート ノードは、XML 構造の開始点です。XML ノード テーブル ページでルート ノードを定義します。

XML バージョン

このテンプレートに基づく XML ファイルのバージョンを指定します。各 XML ファイルの 1 行目にはバージョンが示されている必要があります。

XMLP テンプレート

XML テンプレートをリンクする BI Publisher テンプレートを選択します。これによって、レポートの表示に役立つ PDF ドキュメントを作成できます。

スキーマ データ

このグループ ボックスを使用して、スキーマに対する XML 構造を検証します。スキーマ ファイル (*.xsd) を添付して、順序が正しいかどうか、またはノードに欠落があるかどうかを検証できます。

添付

検証のためにスキーマ ファイルを添付するには、このボタンをクリックします。

削除

既に添付されているスキーマ ファイルを削除するには、このボタンをクリックします。

表示

スキーマのコンテンツが含まれた XML ファイルを表示するには、このリンクをクリックします。

スキーマの検証

添付されたスキーマに対する XML 構造を検証するには、このボタンをクリックします。検証に失敗した場合は、警告メッセージが表示されます。

スキーマ検証済

XML 構造の検証に成功した場合、チェック ボックスはオンで表示されます。

XML テスター ページ

XML テスター ページ (XML_RC_TESTER) を使用して、XML 構造が正常に機能しているかどうかを検証します。これによって、新しい XML ファイルをテストする際に、実装フェーズで推奨される特定のランコントロール ページを作成せずに新しい XML レポートを実行できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [XML レポート フレームワーク], [XML テスター]

画像: XML テスター ページ

次の例では、XML テスター ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

XML セット

検証する XML セットを選択します。

テンプレート タイプ

検証する XML セットのテンプレート タイプを選択します。[レポートにアイテムを追加] グループ ボックスのキー フィールドは、選択したテンプレート タイプに基づいて変化します。

ファイル パス、ファイル名

サーバー ファイル パスおよびファイル名を入力します。

レポートにアイテムを追加

このグループ ボックスを使用して、レポートする反復データを表示します。

レコード (テーブル) 名

XML ファイルのルート ノードの直下に固有の反復ノードがある場合は、その反復ノード (反復レコード) に関連付けられているレコード名が取得されて、ここに表示されます。

フィールドの有効化

XML テンプレートに定義されているキー フィールドを上書きするには、このチェック ボックスをオンにします。

XML アイテムの追加

[レポートに追加するアイテム] グリッドを追加するには、このボタンをクリックします。ルート ノード下に反復複合ノードが追加されます。

キー 1 フィールド名、キー 2 フィールド
名、キー 3 フィールド名

このキー フィールド名は、テンプレート タイプを選択したときに
ロードされます。これらは、XML テンプレートに定義されている
キー フィールドに対応します。

キー 1 フィールド値、キー 2 フィールド
値、キー 3 フィールド値

キー フィールドごとに値を選択または入力します。

HCM システムの管理

ポータル ナビゲーションの分析

ポータル ナビゲーションを分析するには、ポータル分析コンポーネント (RUNCTL_PORTAL) を使用します。

このトピックでは、HCM ポータル ナビゲーションの分析方法について説明します。

ポータル ナビゲーションの分析に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ポータル分析ページ</u>	RUNCTL_PORTAL	ユーザー、ロール、権限リストについて、ポータル ナビゲーション構造を分析します。

ポータル分析ページ

ポータル分析ページ (RUNCTL_PORTAL) を使用して、ユーザー、ロールまたは権限リストのポータル ナビゲーション構造を分析します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [ポータル分析], [ポータル分析]

画像: ポータル分析ページ

次の例では、ポータル分析ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Portal Analysis' page with the following elements:

- Page Header:** Run Control ID 1, Report Manager, Process Monitor, and a Run button.
- Process Request Parameters:**
 - File Name: REGISTRY.TXT
 - Portal Name: EMPLOYEE
 - Content Provider Name: HRMS
 - Process Result: Portal Navigation Hardcopy (dropdown menu)
- Portal Object Name:**
 - Portal Object Name: (input field)
 - Display Levels: (checkbox)
 - Show Object Names: (checkbox)
 - Show Menu.Component.Market: (checkbox)
 - Suppress Hidden Objects: (checkbox)
- Apply Security Based On:**
 - Radio buttons for Userid, Role, and Permission List.
 - User ID: PS (input field)

ファイル名

プロセスによって、ここに入力した名称でファイルが作成され、ポータル分析の分析内容が記録されます。このファイルは、プロセスによりレポート リポジトリに配信されます。

ポータル名

分析するポータルの名前を入力します。

コンテンツ プロバイダ名

HCM ポータル ナビゲーションを分析するには、[コンテンツ プロバイダ名] フィールドで *[HRMS]* を選択します。

プロセス結果

プロセス結果に以下のどちらかのオプションを選択します。

- ポータル/メニュー パス

ポータルとメニュー パスの直線リストが作成されます。このプロセス結果では、ページの他の値は使用されません。このため、このオプションを選択すると、これらの値の入力フィールドが非表示になります。

- ポータル ナビゲーション ハードコピー

このプロセス結果ではさまざまなオプションを選択する必要があり、より階層化されたナビゲーション表示が作成されます。

ポータル オブジェクト名	ポータル オブジェクト名を選択します。
表示レベル	出力するポータル レベルの数を入力します。全てのレベルを出力する場合は、空白にします。
オブジェクト名を表示	このチェック ボックスをオンにすると、コンテンツ参照またはフォルダのオブジェクト名が表示されます。 このチェック ボックスをオフにすると、ラベルのみが表示されます。
メニュー コンポーネント マーケットを表示	このチェック ボックスをオンにすると、コンテンツ参照のメニュー、コンポーネント、およびマーケット情報が表示されます。
非表示オブジェクトを無視	このチェック ボックスをオンにすると、非表示オブジェクトは含まれません。 このチェック ボックスをオフにすると、非表示オブジェクトのオブジェクト名の前に *hidden* というテキストが表示され、非表示オブジェクトであることが示されます。

セキュリティ適用基準

[ユーザー ID]、[ロール]、または [権限リスト] に割り当てられたセキュリティ アクセスについて、ポータル ナビゲーションを分析します。[ユーザー ID]、[ロール]、[権限リスト] のいずれかを選択します。

ID の削除の制限

ID の削除を制限するには、ID 削除コントロール コンポーネント (ID_DEL_PRIVNT_TABLE) を使用します。

次の各トピックでは、ID 削除コントロールの設定の概要、および重要なレコードから ID が削除されないようにする方法について説明します。

ID の削除を制限するのに使用するページ

ページ名	定義名	用途
ID 削除コントロール ページ	ID_DEL_PRIVNT_TABLE	ID の削除処理や変更時に、ID を削除すべきでないレコードを入力します。これにより、情報が確実に履歴目的で保存されます。

関連リンク

[Changing and Deleting IDs](#)PeopleSoft Human Resources Administer Workforce

ID 削除コントロールについて

ID 削除コントロール機能を使用して、組織で他のユーザーが依存しているデータの ID を削除しないように、上位データレコードを定義します。上位データを準備すると、ユーザーは、データが存在する ID を削除できません。システム管理者、または適切なセキュリティを使用する他のユーザーはキー データを確認し、必要に応じて ID を削除できます。

PeopleSoft システムには、個人 ID および組織 ID に対して事前定義された ID 削除コントロールの上位テーブルとフィールドが用意されています。関連付けられたコントロール レコードやフィールドで、データが存在する ID を削除しようとする、対応するメッセージが表示されるように事前設定されています。

注: 事前定義された ID 削除コントロールは変更できません。ただし、別のレコードとフィールドを追加することによって上位データを追加定義し、ID の削除を管理できます。

ID 削除コントロール ページ

ID 削除コントロール ページ (ID_DEL_PRIVNT_TABLE) を使用して、ID の削除処理や変更時に、ID を削除すべきでないレコードを入力します。

これにより、情報が確実に履歴目的で保存されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [データベース処理], [ID 削除コントロール], [ID 削除コントロール]

画像: ID 削除コントロール ページ

次の例では、ID 削除コントロール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ID Delete Control				
Control Record/Fields				
*Record (Table) Name	*Field Name	*Message Set Number	*Message Number	
1 GP_PYE_PRC_STAT	EMPLID	1000	113	+ -
2 PAY_LINE	EMPLID	1000	113	+ -

以下の各コントロール レコードの ID および関連するメッセージは、事前定義されて HCM 用の上位データとして提供されています。

- GP_PYE_PRC_STAT
- PAY_LINE

注: ACOUNT_SF、RECRUITERS、RELATIONSHIPS、STDNT_CAREER および STUDENT_AID 上位データは Campus Solutions で使用されます。

事前定義されたコントロール レコードの全ての行は削除できません。これらは、個人 ID のベース ID 削除コントロール レコードとして保存し、必要に応じて追加の上位データを定義します。

追加のコントロール レコードを定義したり、同じレコードから別のフィールドを追加するには、追加するレベルでプラス ボタンをクリックします。新しい行が追加され、コントロール レコードの順序が付け替えられます。レコード名、フィールド名、およびメッセージ データを選択します。[保存] をクリックするまで、新しい行は追加されません。

レコード (テーブル) 名	上位データ フィールドを含むレコードの名前が表示されます。
フィールド名	データが存在する場合に、ID の削除を防ぐためのフィールドの名前が表示されます。
メッセージ セット番号	上位データ フィールドにデータが存在する場合に表示されるメッセージのセット番号を入力します。
メッセージ番号	上位データ フィールドにデータが存在する場合に表示されるメッセージの番号を入力します。

警告 ユーザー設定可能なメッセージの作成が必要な場合は、メッセージが上書きされるのを防ぐために、メッセージ セット 20,000 から 29,000 にメッセージを作成してください。

注: メッセージ番号の略称の多くは同一です。PeopleTools のメッセージ カタログで各メッセージ番号に関連付けられた詳細説明を確認して、特定のフィールドに関する目的のメッセージを表示するメッセージ番号を判別します。

ヒューマン リソース管理データのリフレッシュと検証

ヒューマン リソース管理データをリフレッシュして検証するには、従業員テーブルのリフレッシュ コンポーネント (RUN_PER099)、個人情報の設定コンポーネント (PERSON_DT_SETUP)、個人データのリフレッシュ コンポーネント (RUN_PERS_REFRESH)、個人データの更新 - 将来日付コンポーネント (RUN_PERSDATA_FUT)、氏名表示のリフレッシュ コンポーネント (NAME_DISPLAY_RC)、および コア HR データ整合性の検証コンポーネント (RUN_PER900) を使用します。

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- 個人情報コンポーネントのリフレッシュ オプションの選択
- 氏名表示のリフレッシュ
- ヒューマン リソース管理データの整合性の検証

ヒューマン リソース管理データのリフレッシュと検証に使用するページ

ページ名	定義名	用途
従業員テーブルのリフレッシュ ページ	RUNCTL_ASOF_DATE	PS_EMPLOYEES スナップショット テーブルが、指定日付の時点でリフレッシュされます。
<u>個人情報の設定ページ</u>	PERSON_DT_SETUP	個人情報コンポーネント (PERSONAL_DATA) のリフレッシュ スナップショットに含めるデータを選択します。選択するオプションが少ないほど、テーブルをリフレッシュする時間が速くなります。この選択は、HCM のインストール時に行う必要があります。 PeopleSoft では、従業員 ID と氏名データのみが使用されます。アドホックレポート要件とクエリー要件に合わせる必要のあるオプションを選択します。
個人データのリフレッシュ ページ	PRCSRUNCNTL	個人情報コンポーネントがリフレッシュされます。個人データのリフレッシュ コンポーネント (RUN_PERS_REFRESH) により、個人情報の設定ページで選択したデータ タイプがロードされます。 このプロセスは、個人情報の設定が変更された場合のみ実行する必要があります。このプログラムは、更新を行うために処理時に PERSONAL_DATA テーブルをロックします。
個人データの更新 - 将来日付 ページ	PRCSRUNCNTL	このプロセスを深夜 0 時過ぎに実行して、個人情報コンポーネントを更新します。日付が変わり、将来日付のデータが現在日付のデータとなるため、データが更新されます。 個人データの更新 - 将来日付プロセスを使用すると、HR_PERSONDATA アプリケーション エンジン プログラムが実行されます。
<u>氏名表示のリフレッシュ ページ</u>	NAME_DISPLAY_RC	NAME_DISPLAY フィールドと NAME_FORMAL フィールドに関して全てのレコードがリフレッシュされ、これらのフィールドの PeopleCode 定義に対して行われた変更内容が反映されます。レコードを全ての氏名フォーマット タイプを対象に更新するか、1 つの氏名フォーマット タイプを対象に更新するかを選択できます。

ページ名	定義名	用途
コア HR データ整合性の検証ページ	HRAUDIT	コア ヒューマン リソース管理データの整合性に関する検証を実行します。

関連リンク

[Refreshing Tables to Facilitate ReportingPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

個人情報の設定ページ

個人情報の設定ページ (PERSON_DT_SETUP) を使用して、個人情報コンポーネント (PERSONAL_DATA) のリフレッシュ スナップショットに含めるデータを選択します。

選択するオプションが少ないほど、テーブルをリフレッシュする時間が速くなります。この選択は、HCM のインストール時に行う必要があります。

PeopleSoft では、従業員 ID と氏名データのみが使用されます。アドホック レポート要件とクエリー要件に合わせる必要のあるオプションを選択します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [データベース処理], [個人情報の設定], [個人情報の設定]

画像: 個人情報の設定ページ

次の例では、個人情報の設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

PERSONAL_DATA Settings

Address Type

Other Address Type

- ☒ Include Installed Countries
- ☒ Include Primary Phone Data
- ☒ Include Smoker Data
- ☒ Include Campus Solutions Data
- ☒ Include US Federal Data

住所タイプ

リフレッシュ対象の住所タイプを選択します。

その他の住所タイプ

リフレッシュ対象の二次住所タイプを選択します。

インストール対象の国別機能を含む	このチェック ボックスをオンにすると、"インストール テーブル - 国別指定" ページでインストールした各国専用のグループ ボックスの情報が含まれます。
主電話番号データを含む	このチェック ボックスをオンにすると、PERSONAL_PHONE (個人データ - 電話番号) レコードの情報が含まれます。
喫煙者データを含む	このチェック ボックスをオンにすると、PERS_SMOKER (喫煙者履歴) レコードの情報が含まれます。
Campus Solutions データを含む	このチェック ボックスをオンにすると、PERSON_SA レコードの情報が含まれます。
米国連邦データを含む	このチェック ボックスをオンにすると、PERS_DATA_USF (有効日付き個人データの拡張 - USF 用) レコードの情報が含まれます。

関連リンク

[Adding a PersonPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

氏名表示のリフレッシュ ページ

氏名表示のリフレッシュ ページ (NAME_DISPLAY_RC) を使用して、NAME_DISPLAY フィールドと NAME_FORMAL フィールドに関して全てのレコードがリフレッシュされ、これらのフィールドの PeopleCode 定義に対して行われた変更内容が反映されます。

レコードを全ての氏名フォーマット タイプを対象に更新するか、1 つの氏名フォーマット タイプを対象に更新するかを選択できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [データベース処理], [氏名表示のリフレッシュ], [氏名表示のリフレッシュ]

画像: 氏名表示のリフレッシュ ページ

次の例では、氏名表示のリフレッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Refresh Name Display Values

Run Control ID 1 Report Manager Process Monitor **Run**

This process will update all records that have the NAME_DISPLAY and NAME_FORMAL fields to reflect changes made to the definition of those fields. The definition is done in peoplecode - NAMEGBL_SBR.COUNTRY_NM_FORMAT.SavePreChange in the Format_display_name function. You can choose to update records with all name format types or just with one name format type.

☒ Update All Name Formats?

Records to Update

- ☒ Update NAMES record
- ☒ Update Dependents
- ☒ Update HS Non-Employees
- ☒ Update French Public Sector
- ☒ Update US Federal Names

氏名フィールド フォーマットを更新したいレコードを選択します。

コア HR データ整合性の検証ページ

コア HR データ整合性の検証ページ (HRAUDIT) を使用して、コア ヒューマン リソース管理データの整合性に関する検証を実行します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [データベース処理], [コア HR データ整合性の検証], [コア HR データ整合性の検証]

画像: コア HR データ整合性の検証ページ

次の例では、コア HR データ整合性の検証ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Core HR Data Integrity Audit

Run Control ID FFFF

Report Manager

Process Monitor

Run

Language English

Core HR Data Integrity Audits

☒ Audit PERS_DATA_EFFDT data

☒ Audit NAME data

☒ Audit EMPLOYMENT data

☒ Audit Home Address data

☒ Audit JOB data

☒ Audit Disability data

☒ Audit JOB_JR data

☒ Audit Diversity data

整合性について検証する HR テーブルを選択します。

アクセス/更新テーブルの分析レポートの使い方

このトピックでは、アクセス/更新テーブルの分析レポートについて説明します。

アクセス/更新テーブルの分析レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
アクセス/更新テーブルの分析レポートの使い方	TAU_RUN_CONTROL	アクセス/更新テーブルの分析レポートを実行します。

アクセス/更新テーブルの分析レポート ユーティリティについて

アクセス/更新テーブルの分析レポートでは、以下の処理を行います。

- 以下の PeopleSoft アプリケーションの分析
 - SQR レポート
 - COBOL プログラム
 - アプリケーション エンジン プログラム
 - PS クエリー ビュー

- アプリケーション内の SQL ステートメントで参照されるレコード名のレポート
- 参照したレコードがどのように処理されたか (SELECT、UPDATE、DELETE など) のレポート

レポートの情報は以下の目的に使用します。

- プログラムの機能とデータの管理方法の理解
- 提案されているカスタマイズの影響の評価
- プログラムの実行に必要な基本的なデータベース権限の設定
- 特定のレコードを使用または変更する全てのバッチ プロセスの特定

アクセス/更新テーブルの分析レポートのトラブルシューティング

プログラミング環境には柔軟性があり、PeopleTools で利用可能なメタ SQL のセットは非常に多いため、アクセス/更新テーブルの分析レポートで作成されるテーブル リストが不完全になる場合があります。このリストは以下の場合に不完全になります。

- SQR で動的な代替テーブルを使用できる場合

アクセス/更新テーブルの分析レポートでは、代替可能なテーブルのセットを完全には認識できないため、この種類の SQR がある場合は条件をレポートします。

- SQL ステートメントで使用可能で、実行時に SQR で変換可能な文字列変数内に、SQL 句の構文が SQR で組み込まれる場合

アクセス/更新テーブルの分析レポートでは、このスタイルのコーディングを検出できませんが、このような種類の SQL 句にあるテーブル参照は多くありません。

- (#INCLUDE) SQC ファイルを含む構文で SQR がライブラリを参照する場合

含まれるモジュールが汎用性の高いライブラリで、汎用のルーチンが多く含まれる場合は、参照されるテーブルが実際の数より多く表示されることがあります。

- 他のモジュールの (CALL ... USING) ルーチンを呼び出す構文で COBOL プログラムがライブラリを参照する場合

呼び出されるモジュールが汎用性の高いライブラリで、汎用のルーチンが多く含まれる場合は、参照されるテーブルが実際の数より多く表示されることがあります。

- プラットフォーム固有の手続き型ロジック (Microsoft SQL Server の "Transact-SQL" や Oracle の "SQL-Plus" など) が指定されたメタ SQL 句 %Execute() がアプリケーション エンジン プログラムに含まれる場合

このようなメタ SQL 句が使用されている場合、アクセス/更新テーブルの分析レポートでは未分析としてレポートされます。

- アプリケーション エンジン プログラムで PeopleCode ステップが使用されている場合

PeopleCode が使用されている場合、アクセス/更新テーブルの分析では、SQL ステートメントの有無に関係なく未分析としてレポートされます。

- 動的なオブジェクト参照を含むメタ SQL のフォームがアプリケーション エンジン プログラムに含まれる場合

アクセス/更新テーブルの分析レポートでは、代替可能なテーブルのセットを完全には認識できないため、この種類のメタ SQL がある場合は条件をレポートします。

アクセス/更新テーブルの分析ページ

アクセス/更新テーブルの分析ページ (TAU_RUN_CONTROL) を使用して、アクセス/更新テーブルの分析レポートを実行します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [アクセス/更新テーブルの分析], [アクセス/更新テーブルの分析]

画像: アクセス/更新テーブルの分析ページ

次の例では、アクセス/更新テーブルの分析ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

アプリケーション タイプ

レポートで分析するアプリケーションのタイプを選択します。オプションは以下のとおりです。

- アプリケーション エンジン プログラム
- SQR レポート
- COBOL プログラム

- クエリー

製品

分析を特定の製品のアプリケーションに制限する場合は、ここで選択します。

アプリケーション名

分析するアプリケーションの名前の一部または全部を入力します。"?"を入力すると、製品内の全てのアプリケーションがレポート対象になります。

注: アプリケーションのタイプによっては、製品内のアプリケーション数が 1,000 を超える場合もあります。

レポートを実行するには、このページに入力した情報だけを使用する方法と、入力した値を検索条件にして、[使用可能アプリケーション] グループ ボックスと [選択アプリケーション] グループ ボックスを使用してアプリケーションのリストを作成する方法があります。

たとえば、[SQR レポート] および [ヒューマン リソース管理] を選択し、[アプリケーション名] フィールドに "R" を入力してユーティリティを実行すると、REG001FR、REG002FR、REG003FR のレポートが分析されます。検索を絞り込むには、[使用可能アプリケーションのリフレッシュ] ボタンをクリックし、分析するレポートを 3 つのレポートから選択して、[選択アプリケーション] リストに追加します。

使用可能アプリケーションのリフレッシュ、使用可能アプリケーション

[使用可能アプリケーションのリフレッシュ] をクリックすると、[アプリケーション名] フィールドに入力した検索条件に一致するアプリケーションが [使用可能アプリケーション] グループ ボックスに表示されます。分析対象のアプリケーションを選択します。

注: 1 回のみの変換ルーチンやインストール中に使用されるシステム設定ユーティリティなど、アプリケーションの数が少ない場合は、通常のラン コントロール ページには関連付けられず、[使用可能アプリケーション] リストには表示されません。このようなアプリケーションは、挿入ボタンをクリックして [選択アプリケーション] リストにアプリケーション名を入力します。

<<追加<<

[追加] をクリックすると、[使用可能アプリケーション] リストで選択したアプリケーションが [選択アプリケーション] リストに追加されます。

[選択アプリケーション] リストにアプリケーションを追加したら、[アプリケーション名] フィールドに新しい検索条件を入力して、[使用可能アプリケーション] リストをリフレッシュできます。

アプリケーションの選択解除、選択アプリケーション	レポートでは、[選択アプリケーション] リストに含まれる全てのアプリケーションが分析されます。アプリケーションを追加したり削除する場合は、挿入アイコンおよび削除アイコンをクリックします。
	[アプリケーションの選択解除] ボタンをクリックすると、分析対象に選択したアプリケーションのリストが選択解除されます。
PeopleTools テーブルを含む	分析対象に PeopleTools テーブルを含める場合は、このチェック ボックスをオンにします。PeopleTools テーブルでは、全ての PeopleSoft オブジェクトを定義し、関連する言語の制御、通貨換算、プロセス スケジューラ アクティビティなどのシステム動作を管理します。
ソース コードの場所	COBOL プログラムを分析する場合は、サーバー上の COBOL ソース コードの場所を示すパスを入力します。
	注: このフィールドは、COBOL プログラムを分析対象として選択した場合にだけ表示されます。
Tools プログラムの場所	SQR プログラムを分析対象にして、PeopleTools テーブルを除外する場合は、サーバー上の PeopleTools SQR コンポーネントの場所を示すパスを入力します。
	注: このフィールドは、SQR レポートを分析対象として選択した場合にだけ表示されます。

コア コンポーネント インターフェイスの呼出ユーティリティを使ったコンポーネント インターフェイスのテスト

このトピックでは、コンポーネント インターフェイスをテストする方法について説明します。

コア コンポーネント インターフェイスの呼出ユーティリティを使ったコンポーネント インターフェイスのテストに使用するページ

ページ名	定義名	用途
コア CI 呼出ページ	RUNCTL_CCI	サンプル データを使用してコンポーネント インターフェイスを呼び出し、適切に実行するかどうかをテストします。
エラー ログ ページ	RUNCTL_CCI2	コンポーネント インターフェイスの呼び出し後にエラーを確認します。

コア CI 呼出ページ

コア CI 呼出ページ (RUNCTL_CCI) を使用して、サンプル データでコンポーネント インターフェイスを呼び出し、適切に実行するかどうかをテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [ユーティリティ], [コア コンポーネント インターフェイスの呼出], [コア CI 呼出]

画像: コア CI 呼出ページ

次の例では、コア CI 呼出ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

コンポーネント インターフェイス アクセス

名前 テストするコンポーネント インターフェイスの名前を選択します。

モード 以下のアクセス モードから 1 つ選択します。

- 作成: [コンポーネント インターフェイス アクセス キー] グリッドに入力したキー値を使用して、コンポーネントに新規データ行を作成します。
- 検索: [コンポーネント インターフェイス アクセス キー] グリッドに入力した検索条件に一致するデータ行のリストを検索します。

- **取得:** [コンポーネント インターフェイス アクセス キー] グリッドに入力した検索条件に一致するデータ行を 1 行検索します。

ログ ファイル書込

コンポーネント インターフェイス テストのログ ファイルを作成する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

呼出 ID

必要な情報を全て入力したら、[呼出 ID] をクリックしてコンポーネント インターフェイスを呼び出し、このページで入力した情報を使用してテストします。

ソート基準、キープロパティ、値

コンポーネント インターフェイスのキー プロパティは、基になるコンポーネントの検索レコードの検索キーになります。検索で使用するキー フィールドを [キー プロパティ] フィールドで選択し、検索に使用するフィールドの値を [値] フィールドに入力します。

複数のキー フィールドで検索する場合は、検索結果のソート基準を指定します。

"作成" アクション モードを使用してコンポーネント インターフェイスをテストする場合は、全てのキー プロパティを使用します。

実行する処理

連番

コンポーネント インターフェイスを使用してこのアクションを実行する順番を指定します。

アクション

コンポーネント インターフェイスを使用して呼び出すアクションを選択します。

- **削除:** このグループ ボックスに入力した値に一致するデータ行を削除します。
- **取得:** このグループ ボックスに入力した値に一致するデータ行を取得します。
- **挿入:** このグループ ボックスに入力した値を使用して新規データ行を挿入します。

たとえば、現在行の日付が 2005 年 11 月 12 日の場合、11 月の行を現在行にしたままで、有効日が 2004 年 1 月 1 日の行を入力する場合は、このオプションを選択します。

- **メソッド呼出:**

コンポーネント インターフェイスのメソッドを実行します。メソッドでは、PeopleCode などを実行できます。たとえば、給与計画では、オンラインまたはバッチ プログラムで各従業員の昇給計算を実行できます。バッチ プログラムでは、メソッド

ド CI_SALARY_PLAN_GRP.Methods.SalPlanGrp が実行されます。

- **更新:** 有効日付きのコンポーネントに有効日付きの新規行を挿入するか、または有効日が設定されていないコンポーネントのデータを更新します。
- **挿入なしで更新:** 既存のデータ行を更新します。

繰越

コンポーネント インターフェイスを使用して挿入する行よりも日付が新しい行がコンポーネントにある場合、このチェック ボックスをオンにすると、その行が更新されます。

親コレクション名

データの更新に使用する (レコードに対応する) コレクションを選択します。

ソート基準、キープロパティ、値

([収集キー]) スクロール用のキーフィールドまたはフィールドを選択し、アクションを実行する行の値を入力します。

ソート基準、プロパティ、値

([プロパティと値の組合せ]) コレクションのフィールドと、このアクションで使用するフィールド値を選択します。

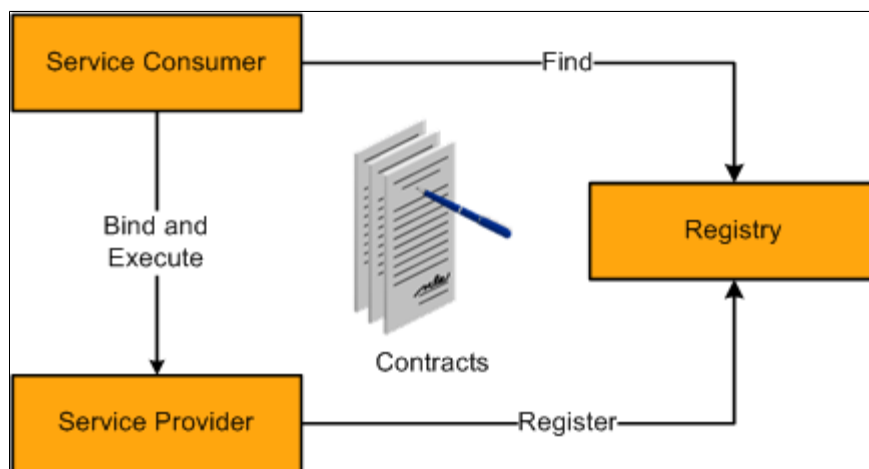
インターフェイスの登録

HCM インターフェイス レジストリについて

HCM インターフェイスレジストリには、サービス指向アーキテクチャ (SOA) で利用可能なサービスの全てのインターフェイス仕様が格納されます。HCM インターフェイスレジストリには、サービス プロバイダからの仕様が保存され、関連するサービス コンシューマに提供されます。

画像: レジストリにはサービスのバインドと実行に必要な情報が登録されており、サービス コンシューマはレジストリ内でインターフェイスを検索します。

次の図に示すように、サービス プロバイダはインターフェイスを登録します。サービス コンシューマはレジストリでインターフェイスを検索し、その情報を使用して、コンシューマとプロバイダ間で仕様をバインドして実行します。



サービス コンシューマとは、サービスを必要とするアプリケーション、サービス、あるいはその他のタイプのソフトウェア モジュールです。レジストリでサービスを検索し、通信経由でサービスにバインドしてサービス機能を実行する側になります。サービス コンシューマは、仕様に従った形式でサービスにリクエストを送信し、サービスを実行します。

サービス プロバイダは、コンシューマからのリクエストを受け取って実行するネットワーク対応のエンティティであるサービスです。サービス リクエストを実行するメインフレーム システム、コンポーネント、その他のタイプのソフトウェア システムがこれに該当します。サービス プロバイダは仕様をレジストリにパブリッシュして、サービス コンシューマがアクセスできるようにします。

インターフェイスレジストリを設定して使用するには、次の手順に従います。

1. レジストリウィザード ([HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], レジストリウィザード) を使用して、インターフェイス仕様を設定し、インターフェイスを登録します。

2. プロバイダのアプリケーションにインターフェイスを実装します。
3. 登録済みのインターフェイスを呼び出せるようにコンシューマのアプリケーションを設定します。

インターフェイス仕様の設定

インターフェイス仕様では、サービスのリクエストと応答の形式など、サービスの利用側と提供側であるコンシューマとプロバイダの対話方法を指定します。HCM レジストリには、HCM の既存のインターフェイス仕様がロードされます。レジストリに新しいインターフェイスを追加するには、最初にサービス間の仕様を定義する必要があります。

サービス間のインターフェイス仕様を定義するには、次の手順に従います。

1. インターフェイスの詳細 (署名、例外、警告など) を決定します。
2. プロバイダのオブジェクト ID でインターフェイスを登録します。
3. インターフェイスのステータスを `[アクティブ]` に設定します。

注: HCM レジストリのレジストリウィザードを使用して、インターフェイスを登録します。

インターフェイスは、以下のいずれかのカテゴリに分類されます。

- サービス
 - 同期リクエスト/応答 (サービス)

サービス インターフェイスは、手続き型の呼び出しであり、ローカルとリモートの両方が可能です。
 - 非同期パブリッシュ/サブスクライブ (イベント)

イベントは、メッセージングとインテグレーション ポイントに基づいて、通知 (アウトバウンド) または利用 (インバウンド) が可能です。
- sqlView (ビュー)

ビューは読み取り専用で SQL ベースです。
- タイプ

タイプは、サービス呼び出しで使用される複合データ タイプです。API でのサービス呼び出しには、以下のタイプがサポートされます。

 - 基本タイプ (ネイティブ PeopleCode データ タイプ)。文字列、日付、数値、ブール値、16 進数、配列などがあります。
 - 複合タイプ。複合タイプのレジストリまたは配列に定義されます。

注: サービス呼び出しでは、ネイティブで全ての基本タイプを使用できますが、複合タイプの定義とレジストリへの登録は、全て明示的に行う必要があります。

- 例外

例外とは、サービスの実行中に発生する可能性のある致命的なエラーであり、PeopleCode プログラムで特別な処理が必要になります。サービス プロバイダは、発生が想定される例外を特定して、コンシューマ側のコードで処理できるようにする必要があります。

例外を定義して、インターフェイスレジストリに登録します。

HCM インターフェイス レジストリの管理

HCM インターフェイス レジストリに登録されているインターフェイスを管理するには、サービス レジストリ コンポーネント (HMCR_IFC_REGISTRY) を使用します。

次の各トピックでは、HCM インターフェイス レジストリを管理する方法について説明します。

HCM インターフェイス レジストリの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
サービスレジストリ ページ	HMCR_IFC_REGISTRY	HCM レジストリを確認して既存のインターフェイスを変更します。
フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル> ページ	HMCR_IFC_FLDR_ACT	選択したインターフェイス フォルダの WSDL を生成してオーデイトを実行します。
オーデイト結果 - オーデイト <レジストリ フォルダ ラベル> ページ	HMCR_IFC_AUD_RSLT	レジストリ フォルダのオーデイトの結果を確認します。
HMCR タイプ表示ページ	HMCR_WSDL_VIEWER HMCR_IVW_VIEWER HMCR_TYPE_VIEWER	選択したインターフェイスのレジストリとインターフェイスの詳細を確認します。
HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名> ページ	HMCR_WSDL_RAW_SEC	レジストリに登録されているサービスの WSDL コードを表示するか、タイプまたは例外の XSD コードを表示します。

サービス レジストリ ページ

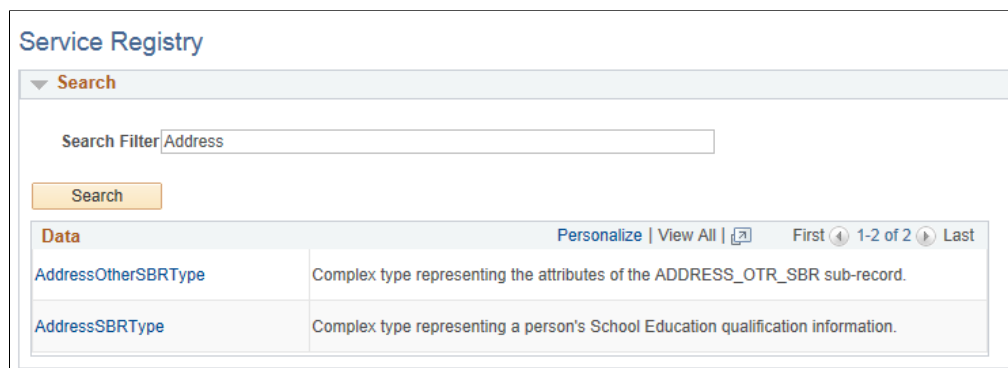
サービスレジストリ ページ (HMCR_IFC_REGISTRY) を使用して、HCM レジストリを確認して既存のインターフェイスを変更します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [サービス レジストリ], [サービス レジストリ]

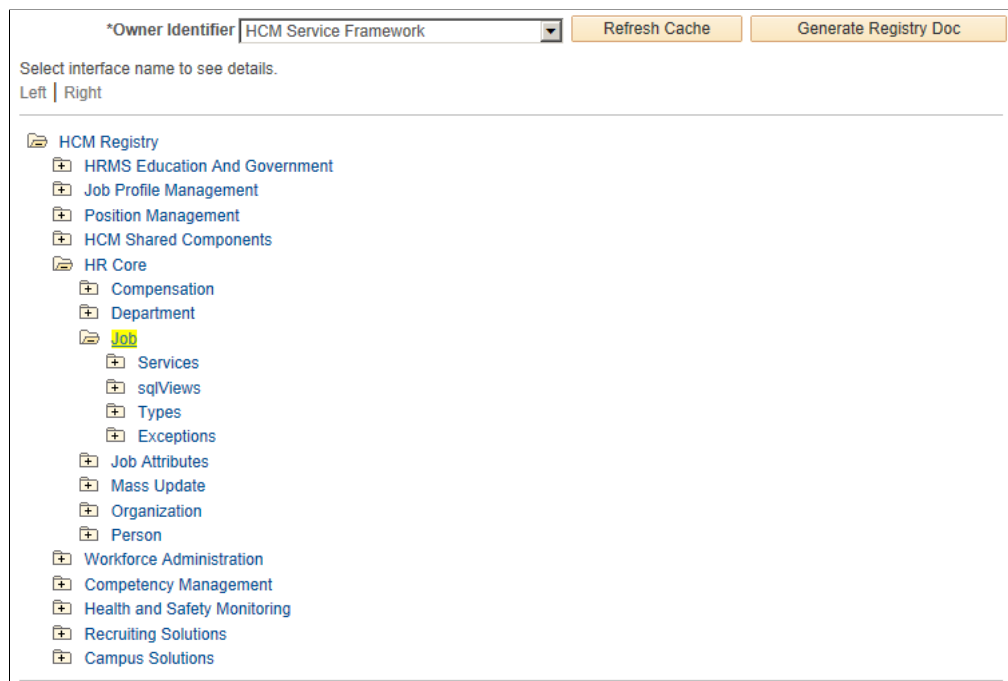
画像: サービス レジストリ ページ (1/2)

次の例では、サービス レジストリ ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



画像: サービス レジストリ ページ (2/2)

次の例では、サービス レジストリ ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



レジストリには、全てのコンテンツ オーナーとインターフェイスがツリー形式で表示されます。ツリーの詳細値は、登録済みのインターフェイスを表しています。登録済みのインターフェイスは、インターフェイス フォルダ別にグループ化されます。登録済みのインターフェイスをクリックすると、詳細ページで情報を確認できます。

オーナー ID

オーナー ID を選択します。

レジストリには、選択したコンテンツ オーナーに定義されている全てのインターフェイス (パブリックおよびプライベート) が表示されます。選択したオーナー以外のオーナーで定義されているパブリック インターフェイスも全て表示されます。

キャッシュのリフレッシュ

このボタンをクリックすると、レジストリの変更時にサービス、タイプ、例外、SQL ビューが保存されるキャッシュがリフレッシュされます。定義を修正、追加、削除する場合は、キャッシュをリフレッシュする必要があります。外部キャッシュのインポートが必要な場合も、キャッシュのリフレッシュが必要になります。

RegistryDoc の作成

このボタンをクリックすると、選択した HCM サービスレジストリの RegistryDoc が生成されます。RegistryDoc は HTML 形式で生成され、データにアクセスするための [RegistryDoc を表示] リンクが表示されます。RegistryDoc では、レジストリを開かずにレジストリの表示やイントロスペクトが可能なため、レジストリの内容を迅速に確認できます。

注: RegistryDoc の生成は、PeopleTools プロセス スケジューラの設定とレポート ノードを利用します。レポート リポジトリとして機能するディレクトリは、共有モードで設定してください。

RegistryDoc を表示

このリンクをクリックすると、生成した RegistryDoc が表示されます。新しいブラウザ ウィンドウが開き、レジストリ API の内容が HTML 形式で表示されます。

レジストリの検索

以下の場合に、検索機能を使用してレジストリを検索します。

- サービス、sqlView、タイプ、例外の正確な名前やナビゲーションが不明の場合
- 特定の単語やパターンで名称を検索する場合

検索フィルタ

レジストリに登録されているサービス、sqlView、タイプ、または例外を検索するには、このフィールドに検索文字列を入力します。SQL ベースの検索では、入力した単語のパターンが検索されます。

検索

このボタンをクリックすると、検索条件に一致するインターフェイスがレジストリから取得されます。

データ

このリンクをクリックすると、レジストリの詳細にアクセスします。

フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル> ページ

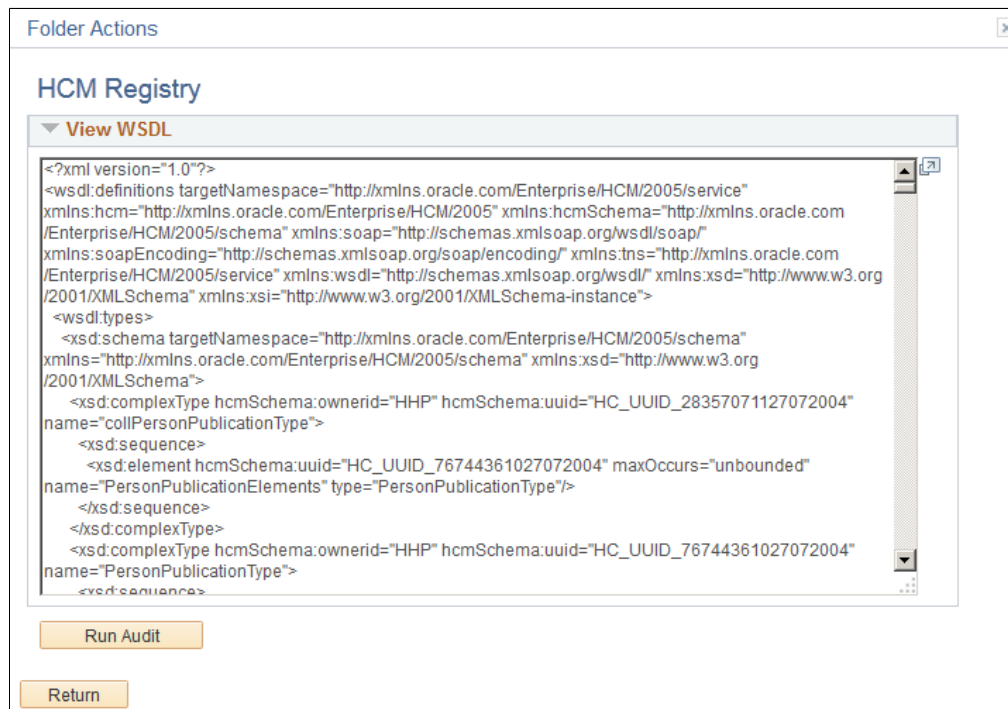
フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル> ページ (HMCR_IFC_FLDR_ACT) を使用して、選択したインターフェイス フォルダの WSDL を生成してオーディットを実行します。

ナビゲーション

サービスレジストリ ページで、インターフェイス フォルダをクリックします。

画像: [HR コア] インターフェイス フォルダ データが表示された "フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページ

次の例では、[HR コア] インターフェイス フォルダ データが表示された "フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



[WSDL の表示] グループ ボックスでは、選択したレジストリ フォルダで生成された WSDL を確認します。[オーディットの実行] ボタンをクリックすると、レジストリ フォルダのオーディットが実行されます。"オーディット結果 - オーディット <レジストリ フォルダ ラベル>" ページが表示され、レジストリ フォルダのオーディット結果を確認できます。

オーディット結果 - オーディット <レジストリ フォルダ ラベル> ページ

"オーディット結果 - オーディット <レジストリ フォルダ ラベル>" ページ (HMCR_IFC_AUD_RSLT) を使用して、レジストリ フォルダのオーディット結果を確認します。

ナビゲーション

"フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページで、[オーデイトの実行] ボタンをクリックします。

画像: オーデイト結果 - オーデイト <レジストリ フォルダ ラベル> ページ

次の例では、"オーデイト結果 - オーデイト <レジストリ フォルダ ラベル>" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Audit Results page

Audit - Compensation

Data

Personalize | Find | View All | | | First

Object Owner ID	Interface Type	Class Path	Portal Label	Warning/Error	Long Description	Solution
1			Audit - Audit - Compensation		No Audit Errors	

Return

HMCR タイプ表示ページ

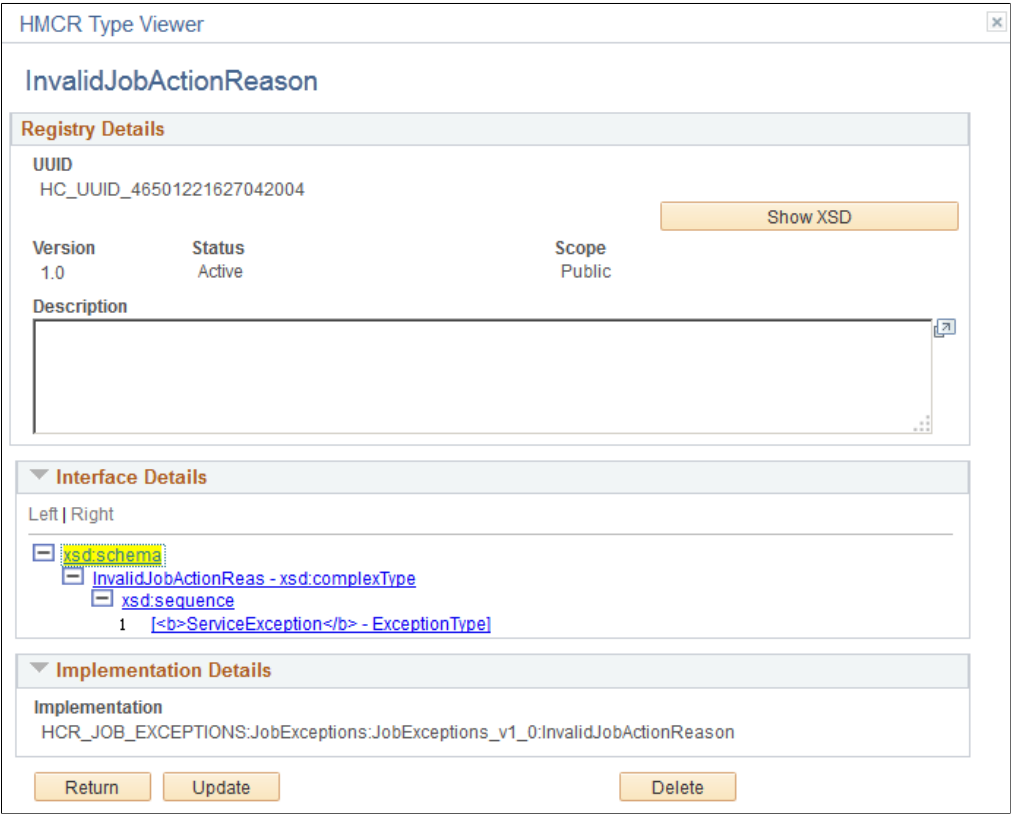
HMCR タイプ表示ページ (HMCR_WSDL_VIEWER) を使用して、選択したインターフェイスのレジストリとインターフェイスの詳細を確認します。

ナビゲーション

"フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページで、sqlViews、タイプ、または例外インターフェイス フォルダの下にあるリンクをクリックします。

画像: インターフェイス レジストリ - HMCR タイプ表示 ページ

次の例では、"インターフェイス レジストリ - HMCR タイプ表示" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



注: "インターフェイス レジストリ - HMCR タイプ表示" ページは、インターフェイスのタイプ (サービス、sqlView、タイプ、例外) によって若干異なります。

レジストリの詳細

IUD	IUD とは、レジストリ内のサービスに対するインターフェイスの固有 ID です。この ID は自動的に生成されます。
場所	この値は、必要に応じて自動的に表示されます。
バージョン	レジストリに登録されている各インターフェイスには、バージョンタイプがあります。必要に応じて、1 つのインターフェイスに複数のバージョンを割り当てることができます。
ステータス	レジストリに登録されているインターフェイスのステータスは、以下のいずれかになります。

- リクエスト

インターフェイスがパーティによってリクエスト済みですが、実装されていません。

- 使用中

インターフェイスが現在定義中です。

- アクティブ

インターフェイスを使用できる状態です。

- 非推奨

インターフェイスは最新のバージョンで置き換えられていますが、まだサポートされています。

- 廃止

選択したバージョンのインターフェイスは廃止されています。

注: インターフェイスのステータスは、登録されているインターフェイスのバージョン固有です。

範囲

このフィールドは、このバージョンのインターフェイスをどこから参照できるかを示します。

- インターフェイスが "パブリック" の場合は、どのアプリケーションでも使用できます。
- インターフェイスが "プライベート" の場合は、プロバイダ モジュール内でのみ使用可能です。

コンシューマ コードの生成

このボタンをクリックすると、このインターフェイスのコンシューマスタブ コードが生成されます。このコードを使用してサービスを実装します。

「[登録したインターフェイスの実装](#)」を参照してください。

プロバイダ コードの生成

このボタンをクリックすると、このインターフェイスのプロバイダスタブ コードが生成されます。このコードを使用してサービスを実装します。

「[登録したインターフェイスの実装](#)」を参照してください。

WSDL の表示

このボタンをクリックすると、レジストリに登録されているサービスの Web サービス記述言語 (WSDL) コードが生成されます。WSDL コードには、サービスの利用に必要なサービスに関する全ての詳細が記述されます。<レジストリ エントリ名> ページが開き、WSDL コードを表示できます。

注: sqlView、タイプ、および例外の定義では、WSDL は表示されません。

XSD の表示

このボタンをクリックすると、レジストリに登録されているタイプまたは例外の XSD コードが生成されます。XSD コードには、複合タイプの利用に必要な情報である特定のタイプの定義が記述されます。<レジストリ エントリ名> ページが開き、XSD コードを表示できます。

注: サービスおよび sqlView の定義では、XSD は表示されません。

オーディットの実行

このボタンをクリックすると、選択したレジストリ フォルダのオーディットが実行されます。オーディットにより、レジストリにエラーがないことを確認できます。また、インターフェイスの実装と仕様の間の整合性を確認することもできます。"オーディット - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページが表示され、オーディット結果を確認できます。

インターフェイスの詳細

インターフェイスは、XSD スキーマを使用して定義されます。スキーマは、インターフェイスのタイプ別にレジストリに保存されます。スキーマは登録時に生成されます。

注: スキーマでは、ビュー インターフェイスを実装するデータベース ビューではなく、sqlView インターフェイスの詳細を定義します。データベース ビューは、スキーマで定義したプロパティに一致する必要があります。

"サービス" タイプのインターフェイスには、"DoService" と呼ばれるオペレーションがあります。DoService は、1 つ以上の "input"、"output"、"outfault" のエレメントから構成され、各エレメントは 1 つ以上の単純タイプまたは複合タイプのいずれかで定義されます。

例外の詳細

サービス インターフェイスの例外の詳細と関連メッセージを確認します。

導入

[導入] グループ ボックスでは、このタイプまたは例外のクラスを実装する完全修飾のアプリケーション クラス パスを確認します。クラス パスには、このタイプのバージョンを示す下位パスが含まれます。レジストリに登録されているインターフェイスのバージョン属性は、このタイプ クラスのクラス パスのバージョンと一致する必要があります。

注: sqlView インターフェイスの場合、[導入] ボックスには、インターフェイス ビューを実装するデータベース ビューが表示されます。

注: 全ての例外では、PeopleTools ビルトインの例外クラスを拡張する *baseException* クラスを拡張する必要があります。

HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名> ページ

"HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名>" ページ (HMCR_WSDL_RAW_SEC) を使用して、レジストリに登録されているサービスの WSDL コードを表示するか、タイプまたは例外の XSD コードを表示します。

ナビゲーション

"フォルダ アクション - <レジストリ フォルダ ラベル>" ページでインターフェイスのサービスをクリックして、[WSDL の表示] ボタンをクリックするか、インターフェイスのタイプまたは例外をクリックして、WSDL 詳細情報ページから [XSD の表示] ボタンをクリックします。

画像: HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名> ページ

次の例では、"HMCR WSDL ソース表示 <レジストリ エントリ名>" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



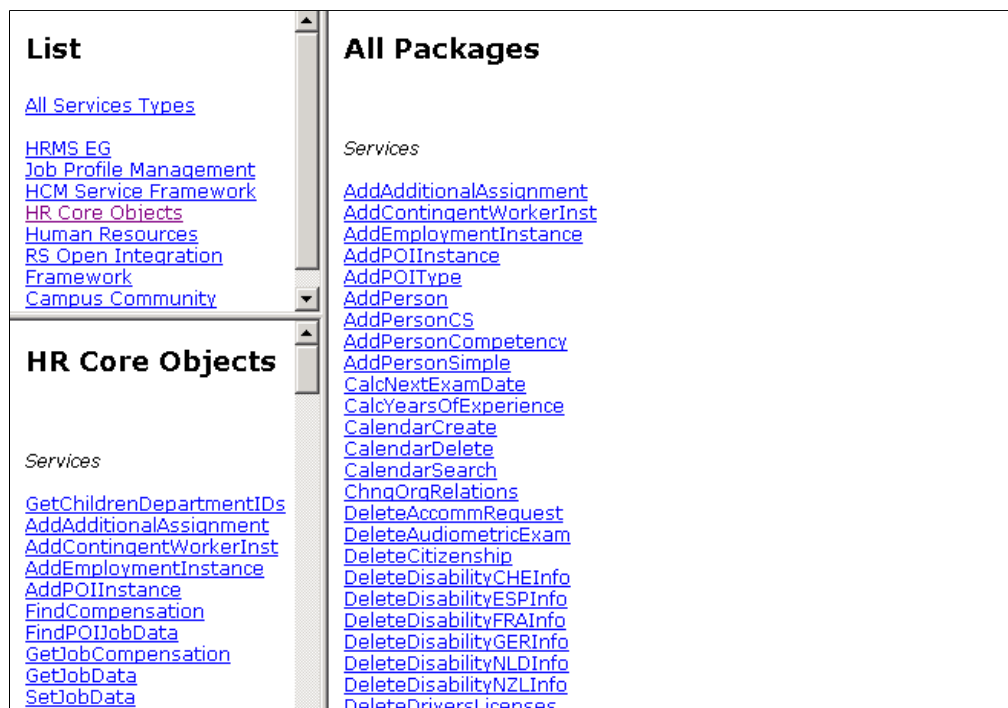
RegistryDoc の表示

RegistryDoc を表示するには、サービス レジストリ ページの [RegistryDoc の作成] ボタンをクリックします。RegistryDoc が生成され、[RegistryDoc を表示] リンクが表示されます。

[RegistryDoc を表示] リンクをクリックします。新しいブラウザ ウィンドウが開き、レジストリ API の内容が HTML 形式で表示されます。

画像: RegistryDoc の表示

次の例では、RegistryDoc の表示におけるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページは 3 つのフレームで構成されます。左上のフレームには、RegistryDoc 内のルート パッケージが表示されます。左上のフレームのルート パッケージのリンクをクリックすると、選択したルート パッケージに関連する全てのサービス、sqlView、タイプ、例外のリストが表示されます。左下のフレームには、選択したルート パッケージの詳細が表示されます。右側のフレームには、全てのルート パッケージのサービス、sqlView、タイプ、例外が表示されます。

左下のフレームまたは右側のフレーム内のリンクをクリックすると、サービス、sqlView、タイプ、例外の詳細が表示されます。

画像: サービス詳細の表示

次の例では、サービス詳細の表示におけるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

AddAdditionalAssignment 1.0

View WSDL 1.1

Service description

This service is used to create an additional assignment for an existing person and existing organizational instance.

Service usage

This service accepts an `OrganizationalAssignmentType` as input. Also, there is a boolean flag, `IgnoreBlanks`, which depending on how it is set the service will act accordingly. If set to `True` then any blank values in the `OrganizationalAssignmentType` are ignored. If set to `False`, then any blank values will be treated as an attempt to blank out the existing value. This service returns the updated `OrganizationalAssignmentType` as an output.

Service properties

UUID	HC_UUID_25856401612122005	Owner Id	HR Core Objects
Path	HR.Core.Job.Services.AddAdditionalAssignment		

Service attributes

Scope	Public	Status	In Work
Deployment	Local	Deployment Node	LOCAL_NODE
Implementation Path	HCR_JOB_SERVICES:Job:AddAdditionalAssignment_v1_0:implAddAdditionalAssignment		
Proxy Path			

Interface operation details

Service Operation Name	DoService
Input Parameters	
Name	Type
inIgnoreBlanks	boolean
inOrgAssignmentType	OrgAssignmentType
Output Parameters	
Name	Type
outOrgAssignmentType	OrgAssignmentType

Method Signature

DoService(&inIgnoreBlanks As boolean, &inOrgAssignmentType As OrgAssignmentType, &outOrgAssignmentType As OrgAssignmentType)

サービス詳細ページの "View WSDL" (WSDL の表示) リンクをクリックすると、選択したサービスの WSDL コードが表示されます。

画像: 選択したサービスの WSDL コードの表示

次の例では、選択したサービスの WSDL コードの表示におけるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

```
<?xml version="1.0" ?>
- <wsdl:definitions targetNamespace="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005/service"
  xmlns:hcm="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005"
  xmlns:hcmSchema="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005/schema"
  xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
  xmlns:soapEncoding="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/"
  xmlns:tns="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005/service"
  xmlns:wsdl="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance">
- <wsdl:types>
- <xsd:schema targetNamespace="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005/schema"
  xmlns="http://xmlns.oracle.com/Enterprise/HCM/2005/schema"
  xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">
- <xsd:complexType hcmSchema:ownerid="HCR"
  hcmSchema:uuid="HC_UUID_63830271514102005" name="OrgAssignmentType">
- <xsd:sequence>
  <xsd:element minOccurs="1" name="EMPLID" type="xsd:string" />
  <xsd:element minOccurs="1" name="EMPL_RCD" type="xsd:decimal" />
  <xsd:element minOccurs="1" name="PER_ORG" type="xsd:string" />
  <xsd:element minOccurs="1" name="ORG_INSTANCE_ERN" type="xsd:decimal" />
  <xsd:element name="POI_TYPE" type="xsd:string" />
  <xsd:element name="CMPNY_DT_OVR" type="xsd:string" />
  <xsd:element name="CMPNY_SENIORITY_DT" type="xsd:date" />
  <xsd:element name="SERVICE_DT_OVR" type="xsd:string" />
  <xsd:element name="SERVICE_DT" type="xsd:date" />
```

サービスまたはタイプが別の複合タイプまたは例外を参照する場合、詳細ページのタイプリンクをクリックすると、タイプまたは例外の詳細が表示されます。

画像: 選択したサービスのタイプ詳細の表示

次の例では、選択したサービスのタイプ詳細の表示におけるフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

OrgAssignmentType 1.0

Type description

-

Type usage

-

Type properties

UUID	HC_UUID_63830271514102005	Owner Id	HR Core Objects
Path	HR Core.Job.Types.OrgAssignmentType		

Type attributes

Scope	Public	Status	In Work
Implementation Path	HCR_JOB_TYPES:Job:OrgAssignmentType_v1_0:OrgAssignmentType		

Type class properties

Name	Type
EMPLID	string
EMPL_RCD	decimal
PER_ORG	string
ORG_INSTANCE_ERN	decimal
POI_TYPE	string
CMPNY_DT_OVR	string
CMPNY_SENIORITY_DT	date

新規インターフェイスの登録

新規インターフェイスを登録するには、レジストリ ウィザード コンポーネント (HMCR_WZ_REGSRV) を使用します。

次の各トピックでは、新規インターフェイスを登録する方法について説明します。

レジストリ ウィザードを使った新規インターフェイスの登録に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>レジストリ情報ページ</u>	HMCR_WZ_STEP1	新規インターフェイスの情報を入力します。
<u>インターフェイスの仕様ページ</u>	HMCR_WZ_STEP2	新規インターフェイスの詳細を入力します。
<u>実装ページ</u>	HMCR_WZ_STEP3	インターフェイスを実装して、新規インターフェイスの登録を完了します。

レジストリ情報ページ

レジストリ情報ページ (HMCR_WZ_STEP1) を使用して、新規インターフェイスの情報を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [レジストリ ウィザード], [レジストリ情報]

画像: レジストリ情報ページ

次の例では、レジストリ情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Step 1 of 3

1 2 3

Continue

Registry Information

*Type
Service

☐ Service Undo Required

*Name

*Version
1.0

Description

*Status
In Work

*Object Owner ID

*Scope
Public

Select parent folder

★ Parent Folder is required.

タイプ

インターフェイスのタイプを選択します。

注: このコンポーネントのページ内容と入力する情報は、選択するインターフェイスのタイプによって異なります。

名称

以下のガイドラインに従って、インターフェイスの内容を表す名前を入力します。

- 1 語 (スペースなし)。
- 大文字と小文字を混在させる。
- インターフェイスのタイプに応じて、以下の形式の 1 つを使用する。

登録するインターフェイスのタイプの応じて、<名詞>Exception、<名詞>Service、または<名詞>sqlView の形式にします。

- "タイプ" インターフェイスの場合は、"<名詞>Type"。
- "サービス" インターフェイスの場合は、"<動詞><名詞>"。
- "例外" インターフェイスの場合は、"<名詞>Exception"。
- インターフェイス ビューの場合は、"<名詞><名詞>"。

注: ここで入力する名前がレジストリ ツリーに表示されるため、インターフェイスの内容を表すわかりやすい名前にします。

バージョン

インターフェイスのバージョンを "n.n" の形式で指定します。

1 つのインターフェイスに、複数のアクティブなバージョンを割り当てることができます。

ステータス

このバージョンのインターフェイスのステータスを選択します。有効値は以下のとおりです。

- リクエスト

インターフェイスがパーティによってリクエスト済みですが、実装されていません。

- 使用中

インターフェイスが現在定義中です。

- アクティブ

インターフェイスを使用できる状態です。

- 非推奨

インターフェイスは最新のバージョンで置き換えられていますが、まだサポートされています。

- 廃止

選択したバージョンのインターフェイスは廃止されています。

オブジェクト オーナー ID

インターフェイス プロバイダを選択します。

- 範囲

インターフェイスの範囲を指定します。有効値は、*[パブリック]* (全てのアプリケーションで利用可能) または *[プライベート]* (プロバ
イダ アプリケーションでのみ利用可能) です。
- 親フォルダの選択

このリンクをクリックしてレジストリ フォルダ構造にアクセスし、
新規インターフェイスを配置するフォルダを選択します。インター
フェイスは機能別にグループ化します。

インターフェイスの仕様ページ

インターフェイスの仕様ページ (HMCР_WZ_STEP2) を使用して、新規インターフェイスの詳細を入力し
ます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [レジストリ ウィザード], [インターフェイスの仕様]

画像: インターフェイスの仕様ページ

次の例では、インターフェイスの仕様ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページの
フィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Step 2 of 3

123

BackContinue

Interface Specification

DoService Request

Seq Nbr	Element Name	Category	Simple Type		
1	PERSID	Simple Type	xsd:string	+	-
2	State	Simple Type	xsd:string	+	-
3	County	Simple Type	xsd:string	+	-

DoService Response

Seq Nbr	Element Name	Type Category	Simple Type		
1		Simple Type		+	-

Exceptions

Seq Nbr	Element Name	Complex Type	Exception Type		
1				+	-

Warnings

MessageDescription

Seq Nbr	Set	Msg	Message Text		
1				+	-

注: このページの表示内容は、登録するインターフェイスのタイプによって異なります。このページでサービス インターフェイスを登録する方法については、「サービスの登録」を参照してください。

実装からロード

実装済みのインターフェイスに基づいてインターフェイス ビューを定義する場合は、[実装からロード] リンクをクリックしてビューを選択します。各エレメントには、ビューのレコードのフィールドがロードされます。

注: このリンクが表示されるのは、インターフェイス ビューを登録する場合のみです。

連番

エレメントの発生順を指定します。

エレメント名

エレメント名を入力します。エレメントとは、インターフェイスのプロパティです。エレメント名は、1 語で大文字と小文字を混在させ、自己記述的な表記にする必要があります。

注: インターフェイス ビューを実装する場合は、ビューのレコードの各フィールドに対応するように、エレメントを追加する必要があります。

注: サービス インターフェイスのエレメントは、指定した位置のパラメータを表す記述的なアイテムになります。エレメントの位置はパラメータに対応する必要がありますが、PeopleSoft フィールド名にする必要はありません。

型のカテゴリ

エレメントのカテゴリを選択します。カテゴリでは、エレメントのデータ タイプが単純型か複合型かを指定します。単純データ タイプは、システム標準のデータ形式です。複合データ タイプは、レジストリに既に登録されている他のインターフェイス タイプを参照します。

注: "例外" エレメントの場合は、常に [複合] を選択します。

注: インターフェイス ビューの場合は、[単純] が選択され、それ以外は選択できません。

単純型

エレメントが単純タイプの場合は、エレメントのシステム標準のデータ形式を選択します。有効値は以下のとおりです。

- *xsd:string*
- *xsd:date*
- *xsd:number*

複合型	• <i>xsd:boolean</i> エレメントが複合タイプの場合は、このエレメントで参照する登録済みのエレメントを選択します。
	注: インターフェイスが "例外" の場合は、サービス フレームワーク フォルダから、"<i>ExceptionType</i>" を選択する必要があります。
最小回数	このエレメントの発生可能な最小回数を指定します。エレメントの発生が任意の場合は <i>[0]</i>、1 回以上発生させる必要がある場合は <i>[1]</i> を選択します。 注: "例外" エレメントの場合は、<i>[1]</i> を選択する必要があります。
最大回数	このエレメントの発生可能な最大回数を指定します。 注: "例外" エレメントの場合は、<i>[1]</i> を選択する必要があります。

サービスの登録

サービスを登録する場合は、以下の 4 つのグループ ボックスに情報を入力します。

- DoService リクエスト

サービス インターフェイスが情報のリクエストに使用される場合は、このグリッドのフィールドを使用して、サービスのリクエストパラメータを定義します。
- DoService 応答

サービス インターフェイスが情報のリクエストの応答に使用される場合は、このグリッドのフィールドを使用して、サービスのリクエスト パラメータを定義します。
- 例外

サービス インターフェイスで定義する例外を全て表示します。選択できる例外は、レジストリに既に追加されている例外のみです。
- 警告

サービスの実行中にログに記録される全ての警告とメッセージをコンシューマに理解できる形式で表示します。

実装ページ

実装ページ (HMCR_WZ_STEP3) を使用して、インターフェイスを実装し、新規インターフェイスの登録を完了します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [レジストリ ウィザード], [実装]

画像: 実装ページ

次の例では、実装ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Step 3 of 3

1 2 3

Back

Implementation

*Deployment
Local

Package Root

Class Path

Implementation AppClass

Proxy AppClass

Cancel Register

注: このページの表示内容は、登録するインターフェイスのタイプによって異なります。このページでインターフェイス ビューを登録する方法については、「インターフェイス ビューの登録」を参照してください。

運用、運用ノード

このフィールドは、サービス インターフェイスを登録する場合にのみ表示されます。

サービスの運用場所を指定します。有効値は、[ローカル] (コンシューマと同じデータベースにある場合) または [リモート] (コンシューマのデータベースと別の場所にある場合) です。

サービスがリモートの場合は、運用ノードを選択します。

パッケージのルート

プロバイダのルート パッケージを選択します。ルート サフィックスは、登録するインターフェイスのタイプによって異なります。

- タイプ インターフェイスの場合は、"<オーナー ID>_TYPES"。

- 例外インターフェイスの場合は、"<オーナー ID>_EXCEPTIONS"。
- サービス インターフェイスの場合は、"<オーナー ID>_SERVICES"。

クラス パス

指定したタイプ クラスの適切なバージョンのクラス パスを選択します。

実装アプリケーション クラス

クラスを実装したら、レジストリに戻り、インターフェイスのアプリケーション クラスを選択します。最初にインターフェイスを登録するときには値を選択せず、インターフェイスを実装してから選択してください。

「登録したインターフェイスの実装」を参照してください。

注: サービス インターフェイスを実装する場合、このフィールドに入力するのは、サービスがローカルの場合のみです。

クラス コードを作成

このボタンをクリックすると、実装アプリケーション クラスの PeopleCode が生成されます。生成されたコードをコピーして、インターフェイスの実装時にアプリケーション クラス オブジェクトに貼り付けます。

「登録したインターフェイスの実装」を参照してください。

注: サービス インターフェイスを登録する場合、このボタンは表示されません。

登録

このボタンをクリックすると、インターフェイス定義が登録されます。定義が正常に登録されると、インターフェイスの IUD が表示されます。

インターフェイス ビューの登録

インターフェイスの表示

このインターフェイスの sqlView を実装したら、このページに戻り、このインターフェイス ビューに対応するビューを選択します。

「登録したインターフェイスの実装」を参照してください。

関連言語のインターフェイス ビュー

関連言語ビューが存在する場合は、アプリケーション デザイナーの実装で定義した関連言語ビューが表示されます。

登録したインターフェイスの実装

インターフェイスを登録したら、プロバイダ アプリケーションに実装します。コンシューマ アプリケーションで予期しない動作が発生しないように、プロバイダ アプリケーションにはインターフェイスを正確に実装する必要があります。

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- タイプの実装
- サービスの実装
- 例外の実装
- SQLView の実装

タイプの実装

登録済みのタイプ インターフェイスを実装するには、次の手順に従います。

注: 登録済みのタイプは、PeopleCode アプリケーション クラスとして実装します。

1. アプリケーション デザイナーで、名称指定規則 <NAMESPACE_PREFIX>_TYPES を使用して、機能モジュールごとにアプリケーション パッケージを作成します。

第 1 レベルのサブパッケージを使用して、実装クラスを機能別にグループ化し、第 2 レベルのサブパッケージを使用して、クラスをバージョン別にグループ化します。

2. インターフェイス タイプを実装するアプリケーション クラスを作成します。

アプリケーション クラスを作成する場合は、アプリケーション クラスを以下のようにする必要があります。

- baseType クラスを拡張する。
- baseType 親クラス定義を持つパッケージをインポートする。
- タイプが *"string"* の読み取り専用のプロパティ IUD を表示する。
- レジストリ内の対応するインターフェイスの正しい IUD を含む IUD プロパティがある。
- クラスで定義された配列プロパティを、エレメントなしの配列プロパティとしてインスタンス化する。
- toXmlNode、toXmlNodeString、fromXmlNode、truncateType の必須パブリック メソッドを実装する。

3. このインターフェイスの "レジストリ ウィザード - 実装" ページで、[クラス コードを作成] ボタンをクリックして作成されたスタブ コードをコピーし、インターフェイス タイプを実装するアプリケーション クラスに貼り付けます。

生成されたスタブ コードには、以下の必須メソッドが含まれます。

```
method toXmlNode(&parentNode As XmlNode);
method fromXmlNode(&parentNode As XmlNode);
method toXmlNodeString(&nodeName As string) Returns string;
method TruncateType();
```

XML 形式の必須メソッドは、このタイプを XML 表示できるようにマーシャリングしたり、XML 表示からアンマーシャリングするのに使用され、このタイプをリモート サービス呼び出しで使用する場合に必要になります。*truncateType* 必須メソッドは、全てのタイプ エLEMENTの値を表します。

4. レジストリ ウィザードで、レジストリに登録されているタイプ インターフェイスにアクセスし、タイプの実装の詳細にアプリケーション クラスを追加します。

サービスの実装

コンシューマ プログラムでは、サービス実装クラスを直接インスタンス化できません。バインドの遅延とリモート プロシージャ コールをサポートにより、このフレームワークでは、実装クラス名の変換が実行時まで遅延されます。このため、設計時にサービス コンシューマで利用可能な情報のみがインターフェイス名になります。

サービス マネージャは、実行時にレジストリ検索機能を使用して、インターフェイス名を実装クラス名に変換します。レジストリで定義した実装の詳細に応じて、サービス マネージャはローカル実装クラスまたはリモート実装のプロキシ クラスのいずれかのインスタンスをコンシューマに返します。

これらを考慮して、プロバイダ アプリケーションでは、サービスを完全に実装するために、以下の 2 つのアプリケーションクラスを提供する必要があります。

- 設計時にコンシューマ アプリケーションが参照可能なインターフェイス
- 実行時にサービス マネージャがバインド可能な実装クラス

注: 登録済みのサービスは、PeopleCode アプリケーション クラスとして実装します。

登録済みのサービス インターフェイスを実装するには、次の手順に従います。

1. アプリケーション デザイナで、名称指定規則 <NAMESPACE_PREFIX>_SERVICES を使用して、機能モジュールごとにアプリケーション パッケージを作成します。

第 1 レベルのサブパッケージを使用して、実装クラスを機能別にグループ化し、第 2 レベルのサブパッケージを使用して、クラスをバージョン別にグループ化します。第 3 (アプリケーション クラス) レベルのサブパッケージを使用して、インターフェイスとサービス実装を定義します。
2. サービス、インターフェイス、実装クラスを実装するアプリケーション クラスを 2 つ作成します。

3. レジストリに登録されているインターフェイスから、このサービスを選択し、[プロバイダ コードの生成] ボタンをクリックします。以下の 3 つのグループ ボックスで構成されるページが表示され、各ボックスにコードが表示されます。

- インターフェイス PeopleCode

インターフェイス PeopleCode をコピーし、インターフェイス アプリケーション クラスに貼り付けます。

- 実装 PeopleCode

実装 PeopleCode をコピーし、実装アプリケーション クラスに貼り付けます。生成される実装コードは、アプリケーション クラスの実際のロジックの単なる骨組みです。このため、開発チームはプロバイダ アプリケーションの要件に合わせて、この実装クラスを修正する必要があります。

- プロキシ PeopleCode

4. 必要な情報がインターフェイス クラスと実装クラスに含まれていることを確認します。

この 2 つのアプリケーションの機能は異なります。インターフェイス クラスは抽象定義であり、実装クラスでどのメソッドとプロパティを登録済みの仕様に準拠させるかを詳細に記述しますが、実装の詳細は含まれません。実装クラスでは、インターフェイスを実際に実装し、抽象メソッド定義の実行コードを提供します。

インターフェイス アプリケーション クラスは、以下のようにする必要があります。

- 登録済みのサービスと同一の名前にする。
- baseService クラスを拡張する。
- baseService 親クラス定義をインポートする。
- 親 baseService クラスのインスタンスを作成するコンストラクタ メソッドを含める。
- 登録済みのサービスの署名に一致する署名を持つ抽象 DoService メソッドを定義する。

5. サービスの実装で以下のことを確認します。

- インターフェイスを実装する。
- DoService メソッドの具体的な実装を提供する。

開発チームはサービスの提供を決定したら、インターフェイスとインターフェイスを実装する実装クラスを作成します。

- 実装するインターフェイスと、インターフェイスで処理するタイプと例外をインポートする。

インポートは、プロバイダ コードを生成するごとに行います。

- エラーに対応するために、登録済みのインターフェイス仕様に従って例外をスローする。

- インターフェイス仕様に従って、警告をログに記録できるようにする。

インターフェイス アプリケーション クラスでは、サービスの実行時に生成された全ての警告の詳細を提供します。

- 実装がコンポーネント インターフェイスベースの場合は、API2CI フレームワークを使用して、コンポーネント インターフェイス仕様から抽象化する。

コンポーネント インターフェイスベースのサービスでは、以下のコードを使用して CI ライブラリ (レジストリで提供) をインポートする必要があります。

```
import HMCR_API2CI
```

コンポーネント インターフェイスは直接操作することができないため、DoService メソッドを使用する場合は、ciHandler と ciIdent の 2 つのローカル オブジェクトを宣言する必要があります。ciHandler は、コンポーネント インターフェイスへの全てのアクセスを管理するクラスです。ciIdent では、各 ciHandler インスタンスの固有の属性を定義します。

6. レジストリに登録されているサービス インターフェイスにアクセスし、タイプの実装の詳細に実装アプリケーション クラスを追加します。

注: 業務タスクを実行する場合に、他の複数のサービスを整理するサービスを使用することができます。これは集約サービスと呼ばれます。集約サービスは、業務取引や日常業務を管理したり、保存処理を実行するためのサービスであり、これらのプロセスは 1 回だけ実行すれば済むため、全体のパフォーマンスが向上します。サービスが集約モードで別のサービスを実行している場合、呼び出し元のサービス (集約サービス) では、呼び出し対象のサービスに RunAggregated フラグを設定するため、呼び出し対象のサービスでは日常業務や保存処理がスキップされます。

例外の実装

PeopleSoft では、デフォルトの例外処理を提供する baseException クラスが用意されています。このクラスは、PeopleTools 例外クラス上にあります。baseException クラス コンストラクタは、以下のパラメータを取ります。

- サービス ログのインスタンス
- メッセージ セット番号とメッセージ番号
- デフォルトのメッセージ テキスト
- メッセージ パラメータ "1 から 5" または "Null" (パラメータがない場合)

baseException クラス コンストラクタは、以下のロジックを実行します。

- PSMessages コレクションをサービス ログに追加します。
- 提供されたメッセージ セットとメッセージ番号の PeopleTools 例外を作成します。

登録済みのタイプ インターフェイスを実装するには、次の手順に従います。

注: 登録済みの例外は、PeopleCode アプリケーション クラスとして実装します。

1. アプリケーション デザインで、名称指定規則 <NAMESPACE_PREFIX>_EXCEPTIONS を使用して、機能モジュールごとにアプリケーション パッケージを作成します。

第 1 レベルのサブパッケージを使用して、実装クラスを機能別にグループ化し、第 2 レベルのサブパッケージを使用して、クラスをバージョン別にグループ化します。

2. このインターフェイスの "レジストリ ウィザード - 実装" ページで、[クラス コードを作成] ボタンをクリックして生成されたスタブ コードをコピーし、例外を実装するアプリケーション クラスに貼り付けます。
3. 例外の実装に以下の情報が含まれていることを確認します。
 - PeopleTools メッセージ カタログ内のエントリへのリンク
 - デフォルトのエラー処理
 - 例外固有のエラー処理 (必要な場合)

注: レジストリに登録されている例外では、例外名、エラー メッセージ構造、および例外の意味構造 (説明) を定義します。

4. 例外クラスの実装で以下のことを確認します。
 - レジストリに登録されている名前と同一である。
 - baseException を拡張して、baseException クラス定義をインポートする。
 - 以下のコンストラクタが含まれている。
 - 単一パラメータとして LogType のインスタンスを取り、LogType クラス定義をインポートする。
 - 親クラスのインスタンスによってデフォルトのエラー処理を容易にする。
 - レジストリ内の対応する例外の正しい IUD を IUD プロパティに割り当てる。
 - タイプが "string" の読み取り専用のプロパティ IUD を表示する。

SQLView の実装

登録済みの sqlView インターフェイスを実装するには、次の手順に従います。

注: 登録済みの sqlView インターフェイスは、タイプが "view" の PeopleSoft レコード定義として実装します。

1. レコード定義にフィールドを作成し、登録済みの sqlView インターフェイスの各フィールドに対応させます。

2. SQL の CREATE コマンドを実行し、データベースにビューを作成します。
3. レジストリに登録済みの sqlView を開き、実装レコード名を追加します。

新規のインターフェイス ビューを作成する場合は、レジストリ ウィザード コンポーネントを使用する必要があります。既存のビューを更新する場合は、レジストリにアクセスして、更新ボタンをクリックします。レジストリ ウィザード コンポーネントが表示されます。

「[新規インターフェイスの登録](#)」を参照してください。

登録したインターフェイスの利用

次の各トピックでは、登録されたインターフェイスの利用の概要および以下の作業方法について説明します。

- サービス インターフェイスの呼び出し
- サービス呼び出しでの無効データ チェックの設定
- コンポーネント インターフェイスのプール
- コレクションサイズのインターフェイスの利用
- 複合タイプとポータル ページ間のバインド
- SQLView の利用

登録されたインターフェイスの利用について

アプリケーションで使用する必要があるインターフェイスがレジストリに登録されている場合、インターフェイスを呼び出すコンシューマ アプリケーションの PeopleCode イベントにコードを作成する必要があります。

注: 登録済みサービスのレジストリの詳細ページで、[コンシューマ コードの生成] ボタンをクリックすると、コンシューマ アプリケーションに必要な全てのコードが生成されます。このコードを切り取り、コンシューマ アプリケーションの PeopleCode イベント (SavePostChange PeopleCode など) に貼り付けます。生成されたコードがこれらの手順で設定されている条件を満たしているかどうかを確認し、必要に応じて修正します。

注: コンポーネントの単一フィールドである SavePostChange PeopleCode には、"Set"、"Add"、"Delete" などの操作サービスのコードのみを置くことができます。操作サービス呼び出しは、複数の PeopleCode イベントにわたって展開することはできません。また、FieldChange PeopleCode に操作サービス呼び出しを置くこともできません。

サービス インターフェイスの呼び出し

アプリケーションを利用すると、以下の手順でサービス インターフェイスが呼び出されます。

1. フレームワーク クラス、サービス クラス、およびタイプ クラスをインポート、宣言、作成します。
2. サービス マネージャの `LocateService` メソッドを使用してサービス実装にバインドします。

サービス マネージャは、実装済みの適切なインターフェイス アプリケーション クラスを実行時に特定して、そのインスタンスをコンシューマ アプリケーションに返し、以下の手順で呼び出しを実行します。

- a. コンシューマ コードのインポート ステートメントで、必要な登録済みのインターフェイスを指定します。
- b. 登録済みのインターフェイスには、必要な実装済みのインターフェイス クラスに関する情報が含まれます。
- c. サービス マネージャの `LocateService` メソッドで、実装クラスのインスタンスを返します。

注: `LocateService` メソッドには、適切なサービスにバインドするために、サービス名とサービスバージョンが必要です。

コンシューマ コードで認識する必要があるのは、使用する登録済みのインターフェイスだけです。プロバイダ アプリケーションでは、どの実装済みクラスをコンシューマに返すかを指定します。これにより、コンシューマに影響を与えることなく、実装済みのインターフェイスをプロバイダで変更できるようになります。

3. タイプ インターフェイスを呼び出す場合、コンシューマ アプリケーションでは、タイプ クラスを `DoService` 呼び出しに渡す前に、入力パラメータ内のタイプ クラスのプロパティを設定する必要があります。

レジストリに登録されているタイプ インターフェイスでは、タイプ クラスのプロパティを記述します。コンシューマでは、コンシューマ アプリケーションからタイプ クラス プロパティに、プロパティを個別にマッピングできます。

4. サービス実装クラスの `DoService` メソッドを呼び出し、サービス署名で定義したパラメータを渡します。

サービス署名では、サービスに渡す必要がある入力または出力パラメータの数 (0 以上) を定義します。パラメータは、単純タイプ (文字列、数値、日付、ブール値など) または複合タイプにできます。パラメータのタイプは、インターフェイスレジストリのタイプとして、以下のように定義して登録されます。

- サービスのパラメータで複合タイプが必要な場合は、コンシューマでタイプ クラスをインポートしてローカル変数として宣言し、`CREATE` コマンドを使用してインスタンス化する必要があります。
- サービスのパラメータで単純タイプが必要な場合は、コンシューマで単純タイプを宣言するだけです。

5. 例外をキャッチして管理します。

コンシューマ コードでは、`"try-catch"` ブロック内の全てのサービスを呼び出す必要があります。`try` ステートメントと `catch` ステートメント間で実行される全てのコードは、保護された範囲にあるため、サービ

スの実行中にスローされる例外は、コンシューマ コードの `catch` ステートメントにコントロールをすぐに返します。これにより、コンシューマ アプリケーションで例外に応答できます。

コンシューマ コードでは、特定の例外または `baseException` をキャッチできます。`baseException` は、登録されている全ての例外の親クラスです。

注: サービス固有でない例外をキャッチする場合、コンシューマ コードでは常に `baseException` をキャッチする必要があります。

6. サービス実行ログの関連情報を解析します。

レジストリ フレームワークは、サービスの実行中にプロバイダによって出された全ての警告とメッセージを収集し、サービス実行ログとしてコンシューマ側に表示します。コンシューマでは、必要に応じて実行ログのクエリーを実行し、警告とメッセージに基づいてアクションを実行できます。

各サービスには、`ExecutionLog` と呼ばれるプロパティがあります。このプロパティには、`Log` と呼ばれる `LogType` の配列があります。`LogType` には、以下の属性があります。

- `DEFAULT_TEXT`
- `MESSAGE_SET_NBR`
- `MESSAGE_NBR`
- `MESSAGE_SEVERITY`

サービスの `Log` クラスには、実行ログの内容を表示するための汎用メソッド `ShowLog()` があります。

注: 全てのコンシューマ `PeopleCode` は、コンシューマ コンポーネント セッションの範囲内で実行されます。このトランザクションの範囲内では、コンポーネントの実行中に呼び出されるサービスも全て実行されます。サービスの実行中に致命的なエラーが発生した場合は、エラーが例外として明確にキャッチされない限り、コンポーネントトランザクション全体がロールバックされます。たとえば、コンシューマ アプリケーションのコンポーネントが、`SavePostChange PeopleCode` で呼び出されるサービスを 2 つ使用している場合、一方のサービスが正常に実行され、もう一方のサービスが致命的なエラーをスローすると、各サービスからコンポーネントにデータは保存されません。

サービス呼び出しでの無効データ チェックの設定

サービス呼び出しで `"Add"` アクションを使用してコンシューマ アプリケーションのコンポーネントを更新する場合は、無効なデータのチェックを設定する必要はなく、`Component.SavePostChange PeopleCode` のサービスを呼び出すことができます。

ただし、前に選択したデータをサービスで更新する場合は、無効なデータのチェックを設定して、基になるデータがコンシューマ側のユーザー操作で変更されていないことを確認する必要があります。これを行うには、`Component.PostBuild PeopleCode` に `Get` サービスを作成し、`Component.SavePostChange PeopleCode` に `Set` サービスを作成します。

レジストリでデータの不整合が検出されると、エラーが発生します。このエラーは、`baseException` でキャッチできます。

コンポーネント インターフェイスのプール

複数のサービスの実装で、各サービスがコンポーネント インターフェイスの同じインスタンスを使用する場合があります。パフォーマンスを向上するには、コンポーネント インターフェイスをプールします。コンポーネント インターフェイスの範囲は、1 つのローカル PeopleCode イベントにする必要がありますが、このイベントの範囲内のコードで、同じオープン コンポーネント インターフェイスを使用して、複数の呼び出しをサービスに送信できます。

コンポーネント インターフェイスのプールは、サービス マネージャの `LocateService` メソッドに渡されます。リクエスト側が PeopleCode イベントで 1 つのサービスしか呼び出さない場合は、コンポーネント インターフェイスのプールとして NULL が渡されます。

コレクションサイズのインターフェイスの利用

アイテムまたはコレクション (行セット) で実行するためのサービスを設定できます。コンシューマ アプリケーションが行のコレクションを使用する場合は、コレクション全体をサービスに渡すようにコンシューマ アプリケーションを設定する必要があります。コレクションのサービスに渡されないアイテムは、サービスによって削除されます。コンシューマが空のコレクションを渡すと、プロバイダ実装の全てのデータ行が効果的に削除されます。

コレクション タイプ クラスのロードや操作を行う場合や、*Set* サービスに戻す場合は、コレクションサイズの *Get* サービスを使用します。

複合タイプとポータル ページ間のバインド

全てのサービスでは、パラメータとして単純タイプと複合タイプを使用します。単純タイプは、PeopleCode データ タイプとして使用できます。プロバイダ アプリケーションでは、アプリケーション クラスとして複合タイプを実装します。アプリケーション クラスのプロパティはページ上に直接表示できないため、`Rowset.Row.Record.Field` オブジェクトに基づいて、コンシューマ アプリケーションでページを作成し、タイプ クラスのプロパティを各フィールドにマッピングする必要があります。

コンシューマ コードで、ヘルパー メソッドの *PopulateToRowset* の呼び出しを設定し、タイプ クラスのインスタンスからコンシューマ コンポーネントのユーザー インターフェイスに全てのデータをロードします。ヘルパー メソッドの *PopulateFromRowset* の呼び出しを設定し、タイプ クラスのユーザー インターフェイスで 사용되는行セットから全ての値をロードします。

注: 一部のタイプ クラスには、ヘルパー メソッドが用意されていません。また、コンシューマ コンポーネントで動作しないヘルパー メソッドもあります。このような場合は、独自のロジックを作成して、タイプ クラス値をコンシューマのユーザー インターフェイスにバインドする必要があります。

SQLView の利用

アプリケーションの利用では、登録済みの `sqlView` をバインドせずに直接使用できます。登録済みの `sqlView` は、以下で使われます。

- 検索ビュー

- プロンプト
- 関連表示

レジストリ フォルダ構造の管理

HCM インターフェイス レジストリを管理するには、サービス レジストリの管理コンポーネント (HMCR_CONTENT_ADMIN) を使用します。

このトピックでは、レジストリ フォルダ構造を管理する方法について説明します。

レジストリ フォルダ構造の管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
サービスレジストリの管理ページ	HMCR_CONTENT_ADMIN	レジストリに対してフォルダを追加または削除します。

サービス レジストリの管理ページ

サービス レジストリの管理ページ (HMCR_CONTENT_ADMIN) を使用して、レジストリに対してフォルダを追加または削除します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [サービスレジストリの管理], [サービスレジストリの管理]

画像: [フォルダの作成] が選択された サービスレジストリの管理ページ

次の例では、[フォルダの作成] が選択された サービスレジストリの管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Administer Service Registry' page. Under the 'Operation' section, 'Create Folder' is selected in a dropdown menu, and the 'Create Tree' button is visible. The 'Registry Details' section contains a 'Folder Label' field with the value 'JPM_SELFSESV', a '*Owner ID' dropdown menu with 'HCM Service Framework' selected, and a 'Final Level' checkbox which is unchecked. A footer note says 'Enter folder details and select 'Create Tree' button'.

画像: [フォルダの削除] が選択された サービスレジストリの管理ページ

次の例では、[フォルダの削除] が選択された サービスレジストリの管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Administer Service Registry' page with 'Delete Folder' selected in the 'Operation' dropdown. Below the dropdown, a note states: 'Select the folder that you wish to delete. (Note: Root Node cannot be deleted)'. There are tabs for 'Left' and 'Right'. The 'Left' tab is active, displaying a tree view of the HCM Registry structure. The tree starts with 'HCM Registry' at the root, followed by 'HRMS Education And Government'. Under this, 'Job Profile Management' is highlighted in yellow. Other folders listed include 'Job', 'Person', 'Profile', 'Position Management', 'HCM Shared Components', 'HR Core', 'Workforce Administration', 'Competency Management', 'Health and Safety Monitoring', 'Recruiting Solutions', and 'Campus Solutions'.

フォルダの作成

新規フォルダを作成するには、[操作] フィールドで *[フォルダの作成]* を選択して、フォルダのレジストリ詳細を入力します。

フォルダ ラベル	レジストリに表示されるフォルダ ラベルを入力します。
オーナー ID	オプションのリストから、フォルダ コンテンツのオーナー ID を選択します。
最終レベル	フォルダを最終フォルダにするかどうかを指定します。最終フォルダには、4 つのインターフェイス タイプのフォルダ以外の子フォルダを設定できません。このフォルダを最終フォルダにすると、4 つのインターフェイス フォルダが作成されます。 このチェック ボックスをオフにすると、フォルダは機能フォルダになり、子フォルダを追加できます。
ツリーを作成	フォルダの詳細を入力したら、[ツリーを作成] ボタンをクリックします。このボタンをクリックすると、新規のレジストリ ツリーが作成されます。ツリーを展開し、新規フォルダを追加するノードを選択します。 新規フォルダを追加できるフォルダは、同じオーナー ID を持ち、最終レベル以外のフォルダのみです。

フォルダの削除

フォルダを削除するには、[操作] フィールドで *[フォルダの削除]* を選択します。レジストリ ツリーを展開し、削除するフォルダを特定してクリックします。削除するフォルダが子フォルダの場合、登録済みのインターフェイスを含むフォルダは削除できません。

サービスのテスト

新規作成されたサービスをテストするには、サービス テスタ コンポーネント (HMCR_SRV_TESTER) を使用します。

このトピックでは、サービスをテストする方法について説明します。

サービスのテストに使用するページ

ページ名	定義名	用途
サービス テスタ ページ	HMCR_SRV_TESTER	新規作成されたサービスをこの汎用コンポーネントでテストします。

サービス テスタ ページ

サービス テスタ ページ (HMCR_SRV_TESTER) を使用して、新規作成されたサービスを汎用コンポーネントでテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [サービス テスタ], [サービス テスタ]

画像: サービス テスタ ページ

次の例では、サービス テスタ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Service Tester' interface. At the top, there are fields for 'Test Name' (PS_TEST), 'Service Name' (AddAdditionalAssignment), 'Version' (1.0), and 'UUID' (HC_UUID_25856401612122005). Below these is a 'Run Service' button and a set of radio buttons for execution mode: 'Add' (selected), 'Correction', and 'Update/Display'. There are also checkboxes for 'Use Tree Input' (selected) and 'Use XML Input', and a checkbox for 'Use Input Parameter as Output'. Below the controls is a tree view titled 'Left | Right' with 'Expand All' and 'Collapse All' buttons. The tree view shows a folder 'inOrgAssignmentType' expanded, containing several sub-folders like 'EMPLID - (blank)', 'EMPL_RCD - (blank)', 'PER_ORG - (blank)', 'ORG_INSTANCE ERN - (blank)', 'POL_TYPE - (blank)', 'CMPNY_DT_OVR - (blank)', 'CMPNY_SENIORITY_DT - (blank)', 'SERVICE_DT_OVR - (blank)', and 'SERVICE_DT - (blank)'.

このページでは、新規作成されたサービスを汎用コンポーネントでテストします。たとえば、レジストリウィザードコンポーネントを使用して対応する実装コードで新規サービスを作成する場合は、このページを使用してサービスをテストし、コミットするサービスが適切に動作するかどうかを確認できます。サービステストの結果は、新しいウィンドウにXMLで返されます。

追加、修正、更新/表示

サービスの実行モードを選択します。これらのオプションを使用して、さまざまなモードで実行するサービスをテストできます。

ツリー入力を使用、XML 入力を使用

XML 形式 (SOAP 1.2) またはツリー構造のどちらを使用して入力をロードするかを選択します。[XML 入力を使用] ボタンを選択すると、ツリー入力は対応する SOAP ドキュメントに変換されます。このオプションは、リモートサービスをテストする場合やサイズの大きいサービスの入力をロードする場合、または既存のサービスを新規サービスのテストにコピーする場合 ("名前を付けて保存" 機能と同様) に有効です。

入力パラメータを出力として使用	サービスに入力パラメータがなく、渡される入力パラメータがこのサービスで更新される場合、このチェック ボックスをオンにします。リモート サービスは参照によって入力を更新できないため、このチェック ボックスはローカル サービスでのみ有効です。この条件に合うローカル サービスでも、使用できないローカル サービスには推奨されません。
サービスの実行	入力したら、このボタンをクリックして、サービス リクエストを呼び出します。サービス呼び出しが完了すると、新しいウィンドウが開き、サービスの出力結果が XML 形式で表示されます。

変換マップの表示と登録

変換マップを表示するには、変換マップレジストリ コンポーネント (HMTF_TRF_REGISTRY) を使用します。変換マップを登録するには、変換マップの登録コンポーネント (HMTF_WZ_TRF) を使用します。

次の各トピックでは、変換マップの登録方法について説明します。

変換マップの表示と登録に使用するページ

ページ名	定義名	用途
変換マップレジストリ ページ	HMTF_TRF_REGISTRY	HCM 変換マップを表示します。
変換マップの登録ページ	HMTF_WZ_STEP1	メッセージ バージョン間のメッセージの変換マップを作成します。

変換マップ レジストリ ページ

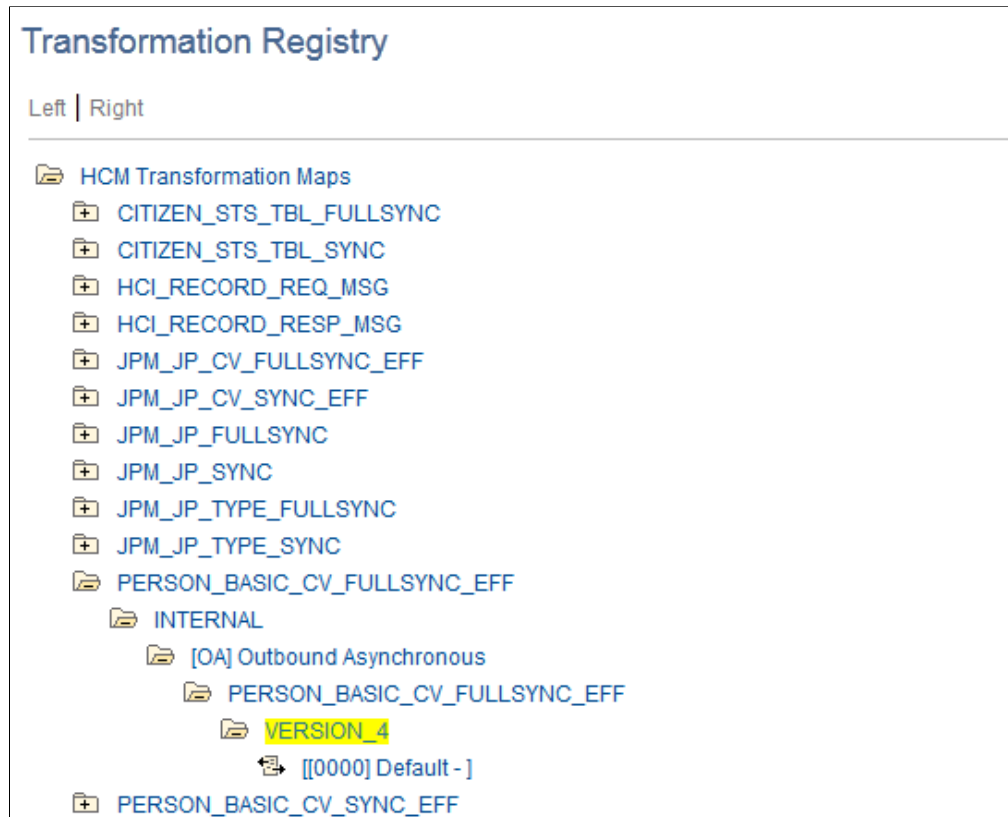
変換マップレジストリ ページ (HMTF_TRF_REGISTRY) を使用して、HCM 変換マップを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [変換マップレジストリ], [変換マップレジストリ]

画像: 変換マップレジストリ ページ

次の例では、変換マップレジストリ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



このページでは、変換マップの詳細を表示します。変換マップとは、受信メッセージ (変換元) を特定の形式 (変換先) に変換するように指示したものです。変換を行う主な理由は、リリース間でレコード定義が変更される場合があるためです。

変換マップの登録ページ

変換マップ ページ (HMTF_WZ_STEP1) を使用して、メッセージ バージョン間のメッセージの変換マップを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [変換マップの登録], [変換マップの登録]

画像: 変換マップの登録ページ

次の例では、変換マップの登録ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

2つの異なるリリースの PeopleSoft 製品間で情報を交換する必要がある場合は、変換を実行する必要があります。レコード定義はリリース間で変更される場合があります。変換を使用すると、リリース間でメッセージを変換して、このような問題を解決できます。このページでは、リリース間とバージョン間のメッセージの変換マップを作成します。

メッセージ名

バージョン間で変換する必要があるメッセージを選択します。

メッセージ バージョン

バージョン間で変換する必要があるメッセージのバージョンを選択します。

アプリケーション リリース

メッセージが属する PeopleSoft アプリケーションのリリースを選択します。たとえば、メッセージの変換元を HCM 8.3 システムにするか、または HCM 8.8 システムにするかを指定します。[デフォルト]を選択すると、現在のリリースの製品が使用されます。

トランザクション タイプ

メッセージのトランザクション タイプを選択します。有効値は、[インバウンド非同期]、[インバウンド同期]、[アウトバウンド - 非同期] または [アウトバウンド - 非同期] です。

オブジェクト オーナー ID	メッセージ オブジェクトのオーナーを選択します。
IUD	変換の固有 ID が表示されます。この ID は自動的に生成されます。
変換定義	変換定義を XML 形式で表示します。
登録	このボタンをクリックすると、変換が登録されます。

インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピング

次の各トピックでは、インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピングについての概要および以下の作業方法について説明します。

- インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピング
- マッピングされたサービスの削除
- インテグレーション ブローカーを使った Web サービスの提供

インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピングについて

HCM サービスは、リモート (PeopleSoft 以外) のシステムから呼び出すことができます。SOA フレームワークには、受信リクエスト (サービス) を処理して必要な応答を返すビルトイン機能が含まれています。このビルトイン機能では、以下の処理ができます。

- Web サービスの自動生成
- PeopleSoft リポジトリへの WSDL のパブリッシュ
- UDDI への WSDL のパブリッシュ
- インテグレーション ブローカー サービスとインテグレーション サービス リポジトリ (ISR) の自動同期

PeopleTools インテグレーション ブローカー サービスは、サービスの変換機能として使用されます。HCM サービスをインテグレーション ブローカーにマッピングすることにより、サービスレジストリを業界標準に適合させることができます。

インテグレーション ブローカーへの HCM サービスのマッピング

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- インテグレーション ブローカー サービスへの HCM インターフェイスレジストリのマッピング
- インテグレーション ブローカーのサービス オペレーションへの HCM サービスのマッピング
- インターフェイスの詳細のマッピング

- サービス オペレーションのセキュリティの表示
- サービス オペレーションのハンドラの表示
- サービス オペレーションのルーティングの表示

インテグレーション ブローカー サービスへの HCM インターフェイス レジストリへのマッピング

HCM サービスをインテグレーション ブローカーにマッピングするには、HCM インターフェイス レジストリを使用します。マッピングは、製品の HCM サービスの最下位サブカテゴリである第 3 レベル フォルダでのみ可能です。

特定フォルダの HCM インターフェイス レジストリのメタデータをインテグレーション ブローカー サービスにマッピングするには、次の手順に従います。

1. サービス レジストリ ページで、第 3 レベルのフォルダのフォルダ名のリンクをクリックします。

レジストリ フォルダの WSDL が表示されます。

2. [サービス リポジトリに追加] ボタンをクリックして、サービス リポジトリに追加します。

インテグレーション ブローカーを設定している場合は、サービスの詳細が表示されます。

注: [サービス リポジトリから削除] ボタンは、レジストリ フォルダをインテグレーション ブローカーのサービス リポジトリにマッピングした場合にのみ使用できます。マッピングすると、[サービス リポジトリに追加] ボタンは使用できなくなります。これにより、修正アクションしか実行できなくなります。

フォルダのインテグレーション ブローカー サービス名は自動的に生成されます。このサービス名はフォルダの IUD になります。これは HCM インターフェイス レジストリ内で固有の文字列になるため、各サービスの名前は一意になります。必要に応じて、サービス管理コンポーネント ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [サービス ユーティリティ], [サービス管理]) で、インテグレーション ブローカーのサービス名を変更して意味のある名前に変更することもできます。サービス別名フィールドには IUD サービス名のコピーが保存されるため、サービス名を変更しても固有名は確保されます。これにより、サービスと HCM インターフェイス レジストリを関連付ける方法が削除プロセスに確保されます。

注: サービス別名フィールドはサービスの削除処理に不可欠なため、サービス別名フィールドはどのような場合でも変更しないでください。

インテグレーション ブローカーのサービス オペレーションへの HCM サービスのマッピング

サービス レジストリ ページのレジストリ フォルダにある各 HCM サービスは、インテグレーション ブローカーのサービス オペレーションにマッピングされ、サービス ページ ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス]) でフォルダに生成したサービスで確認できます。HCM サービスの名前は、サービス オペレーションの名前 (そのサービス オペレーションが存在しない場合) として使用されます。サービス オペレーションが既に存在している場合は、サービス オペレーション名フィールドの長さの制約 (30 文字) 内でアルゴリズムが機能します。このアルゴリズムにより、一意の名前が生成されるまで最後の文字が数字で置換されます。サービス オペレーションのバージョンは、HCM インターフェイス レジストリから取得されます。

インターフェイスの詳細のマッピング

各入出力インターフェイスは、インテグレーション ブローカーの非行セット ベースのメッセージにマッピングされます。このメッセージには、生成されたスキーマが付きます。また、HCM インターフェイスレジストリからバージョンも割り当てられます。メッセージの基本名は、HCM サービス名にサフィックス "_IM" (入力インターフェイス) または "_OM" (出力インターフェイス) が付きます (例: ADDPOITYPE_IM)。

出力エラーのインターフェイスは、インテグレーション ブローカーの非行セット ベースのパート メッセージにマッピングされます。これは、インテグレーション ブローカーのエラー メッセージの数は、サービス オペレーションごとに 1 つだけという制限のためです。このため、マッピングされた HCM サービスに関連する出力エラーは、全てインテグレーション ブローカーのコンテナ メッセージ内に作成されます。出力エラー メッセージは、サフィックス "_FM" で示されます (例: ADDPOITYPE_FM)。

サービス オペレーションのセキュリティの表示

生成する各サービス オペレーションには、標準の権限リスト HCSPSERVICE が割り当てられます。Web サービスの権限リストの詳細には、Web サービス アクセス ページ ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [サービス オペレーション], [一般]の順にクリックし、[サービス オペレーション セキュリティ] リンクをクリック) でアクセスします。

サービス オペレーションのハンドラの表示

生成する各サービス オペレーションには、ハンドラが割り当てられます。割り当てられたハンドラは、受信リクエストを処理する汎用ハンドラ クラスを参照して、必要な応答を生成します。汎用ハンドラは、HMCR_FRAMEWORK:IB_Framework:Handlers:IB_SyncRequestHandler です。サービス オペレーションのハンドラには、サービス オペレーション コンポーネントのハンドラ ページ ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション])でアクセスします。

サービス オペレーションのルーティングの表示

HCM レジストリ内には、指定したサービスのコンシューマを示すものがないため、マッピング プロセスでルーティングは生成されません。必要なルーティングについては、開発チームで作成してください。

マッピングされたサービスの削除

サービスレジストリを使用して、インテグレーション ブローカーにマッピングした HCM サービスを削除します。サービスレジストリの [サービス リポジトリから削除] ボタンは、インテグレーション ブローカーのメタデータに追加したフォルダに対してのみ使用できます。

削除プロセスでは、インテグレーション ブローカーのメタデータから、以下のオブジェクトを削除します。

- WSDL
- サービス
- サービス オペレーション
- サービス オペレーションのセキュリティ

- サービス オペレーションのハンドラ
- サービス オペレーションのルーティング
- メッセージ (入力、出力、エラー コンテナ、パート)
- メッセージ スキーマ

インテグレーション ブローカーを使った Web サービスの提供

HCM サービスをインテグレーション ブローカーにマッピングする主な理由は、インテグレーション ブローカーの Web サービス提供機能を使用することです。Web サービスを提供できるのは、"全て/ローカル" のルーティングとして定義したサービス オペレーションの場合だけです。これらのサービス オペレーション、ハンドラ、およびルーティングは、サービス オペレーション コンポーネントで作成します。

サービス オペレーションで "全て/ローカル" のルーティングを設定するには、次の手順に従います。

1. サービス オペレーション コンポーネント ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション])にアクセスします。
2. 一般ページの [保存時のルーティング アクション] 領域にある [全て/ローカルの生成] チェック ボックスをオンにします。
3. コンポーネントを保存します。

[ルーティング ステータス] 領域の [全て/ローカル] の値が *[存在する]* に更新されます。

また、ルーティングも生成され、このコンポーネントのルーティング ページに表示されます。

"全て/ローカル" として定義したサービス オペレーションを 1 つ以上持つサービスは、Web サービスとしてパブリッシュできます。

適合するサービスを Web サービスとしてパブリッシュするには、次の手順に従います。

1. Web サービスの提供コンポーネント ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [Web サービス], [Web サービスの提供])にアクセスして、Web サービスの提供ウィザードを起動します。

サービスの選択ページが表示されます。

2. Web サービスとしてパブリッシュするサービスを検索します。
3. 返された検索結果からサービスを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

サービス オペレーションの選択ページが表示されます。

4. Web サービスとしてパブリッシュするサービスのサービス オペレーションを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

WSDL の表示ページが表示されます。

5. サービスの [WSDL の表示] リンクをクリックして、このサービスで生成された WSDL を表示します。

6. "WSDL の表示" ページに戻り、[次へ] ボタンをクリックします。

パブリッシュ オプションの指定ページが表示されます。

7. 選択したサービスをパブリッシュする場所を定義します。

[UDDI にパブリッシュ] チェック ボックスまたは [WSDL リポジトリ] チェック ボックスをオンにして、対応する場所にサービスをパブリッシュします。

Web サービスの提供 - 結果ページが表示されます。

8. WSDL 生成ログを表示して、ウィザードの結果を確認します。

組織図の設定と作成

組織図について

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のデータと Visio の組織図ウィザードを使用して詳細な組織図を作成できます。組織図を作成するには、ポジションまたは部門のどちらを基準に組織図を作成するか、つまり PeopleSoft ヒューマン リソース管理のポジション ツリーと部門ツリーのどちらを使用するかを決めます。次に、PeopleSoft プロセス スケジューラを使用して組織図 SQR を実行します。残りの作業は全て Visio によって行われます。Visio の組織図ウィザードのフォーマット オプションでは、部門別または組織全体の詳細な組織図を簡単に作成できます。

前提条件

組織図を作成する前に 以下の作業を行う必要があります。

- Visio がクライアント コンピュータにインストールされていることを確認します。

Visio は、PeopleSoft ヒューマン リソース管理に装備されていないので、別途購入の上、クライアント コンピュータにインストールする必要があります。Visio のインストールの詳細については、Visio のドキュメント類を参照してください。

- インストール テーブル コンポーネント (INSTALLATION_TBL) のサードパーティ/システム ページで、組織図インターフェイスとして Visio を選択します。
- 組織図インターフェイスのページを使用する前に、PeopleSoft ヒューマン リソース管理に組織と従業員のデータが設定されていることを確認します。

組織図を作成する方法

次の各トピックでは、組織図の処理の概要および組織図の作成方法について説明します。

組織図の作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>組織図の作成ページ</u>	ORGCHART_PNL	PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムのツリー情報に基づいて、組織図を作成します。

処理について

ヒューマン リソース管理のデータに基づいて組織図を作成するには、次の手順に従います。

- 組織図ページから組織図 SQR を実行します。
- 結果ファイルをクライアント コンピュータにコピーします。
- 組織図 SQR によって収集された組織図情報を確認します。
- Visio を起動し、Visio 組織図ウィザードを実行します。

組織図の作成ページ

組織図の作成ページ (ORGCHART_PNL) を使用して、PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムのツリー情報に基づいて、組織図を作成します。

ナビゲーション

[組織計画/管理], [ポジション管理], [組織構造の作成], [組織図の作成], [組織図の作成]

画像: 組織図の作成ページ

次の例では、組織図の作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

レポート タイプ

レポート タイプを選択します。オプションは、以下のとおりです。

- 部門

選択した 1 つの部門に基づいて組織図を作成します。

- ツリー

ヒューマン リソース管理システムで定義されたツリーの 1 つに基づいて組織図を作成します。このオプションを選択した場合、組織図に複数の部門を含めることができます。

注: 組織図を作成するときは、アクティブな部門ツリーおよびポジション ツリーしか使用できません。また、組織図にツリーや部門を加えるには、そのツリーや部門に対するセキュリティ アクセス権を持っている必要があります。

部門を使った組織図の作成

[レポート タイプ] フィールドに [部門] を選択すると、[セットID] および [部門] の各フィールドが表示されます。

部門

指定したセットID の部門 ID のリストから、組織図に含める部門を選択します。組織図は、1 度に1 部門が作成されます。(部門コードは、部門テーブルに部門を定義する際に作成します。)

実行

部門レポート タイプの組織図を作成する場合は、[実行] をクリックします。PeopleSoft プロセス スケジューラによって組織図 SQR が実行されます。

ツリーを使った組織図の作成

[レポート タイプ] に [ツリー] を選択すると、[セットID]、[ツリー名]、[ツリー ノード]、[レベル数] の各フィールドが表示されます。

1. リストからセットID を選択します。
2. リストからツリー名を選択します。

組織図に含めるツリー ノードとレベルの選択

ツリー ノード

組織図を開始するツリーのレベルを選択します。たとえば、部門ツリーを使用している場合は、部門を選択します。

ツリー レベル

選択したツリー ノードのツリー レベルが入力されます。

レベル数

ツリーに含めるレベルの数を指定します。

たとえば、ツリー レベルに 5、レベル数に 3 を指定すると、組織図にはツリーのレベル 5 から 7 が含まれます。

関連リンク

[セキュリティツリーの構築と修正](#)

組織図ファイルのクライアント コンピュータへのコピー

組織図 SQR によって ORGCHART.TXT ファイルが作成され、アプリケーション サーバーに保存されます。Visio を使用して組織図を作成するには、この ORGCHART.TXT ファイルをクライアント コンピュータへコピーする必要があります。クライアント コンピュータで Visio を実行し、組織図を作成します。

ORGCHART.TXT ファイルをコピーするには、次の手順に従います。

1. ([PeopleTools], [プロセス スケジューラ], [プロセス モニター])の順にクリックし、プロセス モニター - プロセス リスト ページ (PMN_PRCSLIST) にアクセスします。
2. 組織図プロセスを探し、対応する [詳細] リンクをクリックします。
3. [ログ/トレースの表示] リンクをクリックします。
4. [ORGCHART.TXT] リンクをクリックしてファイルを開きます。
5. [ファイル], [別名保存]を選択してクライアント コンピュータに保存します。

組織図の確認

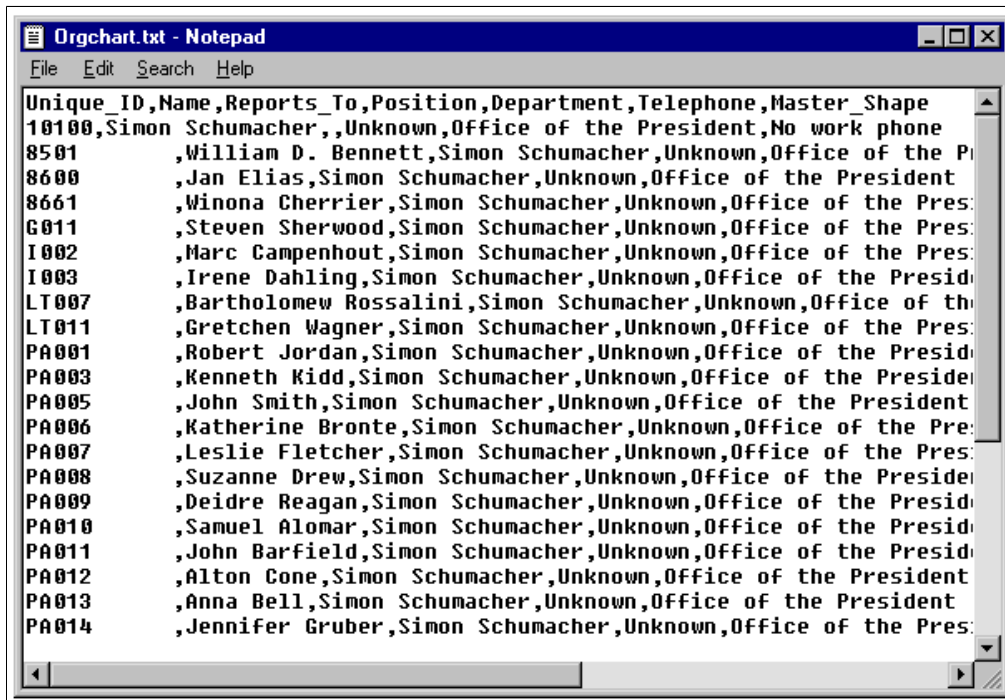
テキスト エディタを使用して ORGCHART.TXT ファイルを開き、内容を参照することで、組織図 SQR プロセスの結果を確認できます。ファイルには以下のデータが含まれます。

- Unique ID (固有の ID)
- Name (名前)
- Reports To (直属上司)
- Position (ポジション)
- Department (部門)
- Telephone (電話)

以下は、ORCHART.TXT ファイルの一例です。

画像: ORGCHART.TXT ファイルの例

ORGCHART.TXT ファイルの例



Visio 組織図ウィザードの使用

Visio を起動し、組織図ウィザードを使用して組織図を自動的に作成します。

注: 以下の説明は、Visio 2000 を使用している場合のものです。この組織図ウィザードは、他の Visio バージョンの場合と若干異なる可能性があります。

組織図ウィザードを実行するには、次の手順に従います。

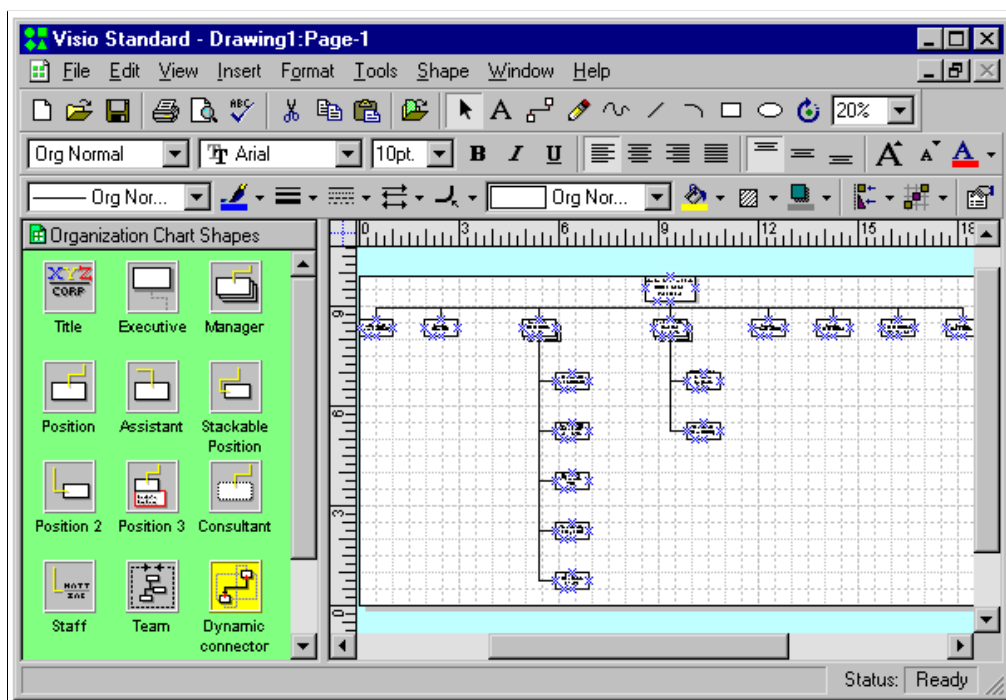
1. Visio で [File]、[New]、[Organization Chart]、[Organization Chart Wizard] の順にクリックします。
2. 表示されたウィンドウで、オプションの *[Information that's already stored in a file or database]* を選択し、[Next] をクリックします。
3. 次のウィンドウで、オプションの *[A text, Org Plus (*.txt)]* または *[Microsoft Excel file]* を選択し、[Next] をクリックします。
4. 次のウィンドウで、組織情報が保存されているクライアント コンピュータの場所 (ORGCHART.TXT ファイルの保存場所) を */C:\TEMP\ORGCHART.TXT/* のように入力し、[Next] をクリックします。
5. [Name] フィールドに *[Name]*、[Reports to] フィールドに *[Reports_To]*、[First Name] フィールド (省略可) に *[<none>]* を選択し、[Next] をクリックします。

6. [First Line] に *[Name]*、[Second line] に *[Position]* のように図に表示するデータを選択し、[Next] をクリックします。
7. ORGCHART.TXT ファイルに含まれるその他のフィールドを [Data file] 列から選択し、[Custom Property fields] 列に追加して組織図に追加します。[Next] をクリックします。
8. *[I want the wizard to automatically break my organization chart across pages]* を選択し、[Finish] をクリックします。

以下は、Visio で作成された組織図の一例です。

画像: Visio で作成された部門組織図の例

Visio で作成された部門組織図の例



注: Visio で作成した組織図を編集および印刷する方法の詳細については、Visio のドキュメントを参照してください。

マス アップデート処理の設定と実行

マス アップデート処理について

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- マス アップデートのアーキテクチャ
- マス アップデートの実行手順
- マス アップデートを正しく行うためのヒント

注: HCM 特有のマス チェンジ テンプレートのサポートはなくなりました。便宜上、データベースにテンプレートは残っていますが、マス アップデート機能を使用することをお勧めします。

『PeopleTools: Security Administration』を参照してください。

マス アップデートのアーキテクチャ

マス アップデート機能では、多数の従業員のデータを変更できます。たとえば、マス アップデート機能を使用すると、会社全体での昇給、部門の異動、職務コードの変更、労働協約の変更、および組織再編を実行できます。

マス アップデート機能は、以下のモジュールで構成されます。

- マスアップデートマネージャ: マス アップデート機能のユーザー インターフェイスになるフロントエンドのモジュールです。マス アップデート マネージャは、以下から構成されています。
 - マス アップデートの定義を設定するためのマス アップデート定義コンポーネント (MU_SETUP)
 - マス アップデートトランザクションを生成するためのマス アップデート作成コンポーネント (RUNCTL_MU_CREATE) および関連するアプリケーション エンジン (AE) プロセス
 - マス アップデートトランザクションのリストを確認および印刷するためのマス アップデートレポートコンポーネント (RUNCTL_MU_PRINT) および関連する SQR (Structured Query Report)
 - マス アップデートトランザクションの確認とプレビュー、オンラインでの個別処理、およびステータスの管理を行うためのマス アップデート管理コンポーネント (MU_MANAGE)
 - マス アップデートをバッチで実行するためのマス アップデート実行コンポーネント (RUNCTL_MU_EXECUTE) および関連する AE プロセス

- 未処理のマス アップデートトランザクションを削除するためのマス アップデート削除コンポーネント (RUNCTL_MU_DELETE) および関連する AE プロセス
- **トランザクション プロセッサ**: プロセッサの設定コンポーネントで構成されるバックエンドのモジュールです。トランザクション プロセッサでは、マス アップデートに使用されるシステム データの設定と管理、およびトランザクション処理機能にアクセスするアプリケーション クラスの設定と管理を行います。トランザクション プロセッサ アプリケーション クラスの役割は、サービス指向アーキテクチャ (SOA) 内のサービスにアクセスして、情報の読み込み、選択、書き込み、更新を行うことです。各トランザクションは、エレメントのリストから成る XML メッセージになっており、各エレメントは従業員と雇用レコードの組み合わせに対する更新に関連付けられています。トランザクション プロセッサ アプリケーション クラスは、この XML メッセージを解釈して適切なサービスにアクセスし、そのサービス呼び出すオンラインまたはバッチ プロセスに承認と例外を返します。
- **実行マネージャ**: スポーニングによる並列処理を管理および監視するマス アップデートのバッチ処理機能であるバックエンドのモジュールです。スポーニングとは、子プロセスの複数のインスタンスを親プロセスによって同時に実行する方法です。実行マネージャでは、マス アップデートのバッチ処理の複数のインスタンスを同時に実行できるため、パフォーマンスが向上します。

注: マス アップデートのフレームワークは、SOA フレームワークを利用します。

マス アップデートの実行手順

マス アップデートを処理するには、次の手順に従います。

1. マス アップデート定義コンポーネントで、マス アップデートの定義を設定します。
2. マス アップデート作成ページ (マス アップデート マネージャ モジュールの一部) で、マス アップデートの選択フェーズを実行して、マス アップデートのトランザクションを作成します。
3. トランザクションを確認して更新します。

マス アップデート管理コンポーネントを使用すると、トランザクションをオンラインで確認および更新できます。

マス アップデートレポート ページでは、レポートを生成してトランザクションを確認することもできます。

どちらのコンポーネントもマス アップデート マネージャ モジュールの一部です。

4. トランザクション プロセッサを使用してトランザクションを処理します。

トランザクションの処理は、マス アップデート マネージャ モジュールの一部であるマス アップデート管理コンポーネントで 1 つずつ行うことができます。

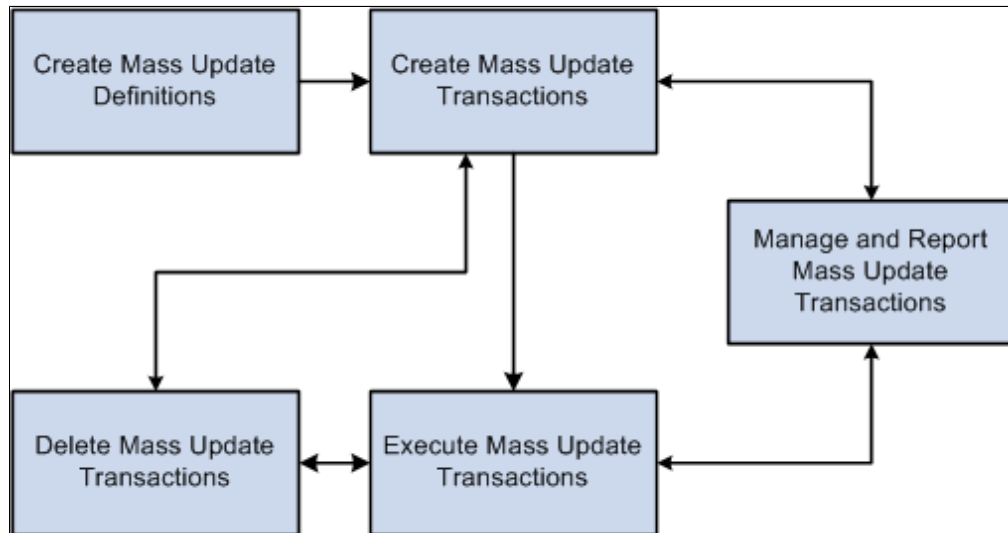
また、実行マネージャ モジュールの一部であるマス アップデート実行ページでトランザクションをバッチ処理することもできます。

5. (省略可) 必要に応じて、マス アップデート マネージャ モジュールの一部であるマス アップデート管理コンポーネントで、トランザクションをキャンセルします。
6. (省略可) 必要に応じて、マス アップデート管理コンポーネントでトランザクションを1つずつ削除するか、またはマス トランザクション削除ページでトランザクションをバッチ処理で削除します。

どちらのコンポーネントもマス アップデート マネージャ モジュールの一部です。

画像: マス アップデートのプロセス フロー

次の図は、マス アップデート処理のプロセス フローを示しています。



マス アップデートを正しく行うためのヒント

マス アップデートを正しく行うために、以下の点に注意してください。

- 最初は小さなグループで更新をテストします。
- データの上書きが確実に必要な場合だけ修正オプションを使います。

できるだけ修正オプションを使用せずに、新しい有効日付きの行を追加します。

- マス アップデート プロセスを使ってオンライン処理を自動化する前に、コンポーネントを制御するルールを理解するために処理に慣れておく必要があります。マス アップデートを使ってコンポーネントを更新する場合、そのコンポーネントはオンラインでアクセスするときと同じルール (デフォルト設定フィールドや必須フィールドなど) で制御されています。
- 全てを変更する複雑なマス アップデート ID を作成する代わりに、組み合わせて使用できる単純なマス アップデート ID をいくつか作成します。

これにより、柔軟性が高まるだけでなく、エラーの原因を簡単に特定できます。

重要 マス アップデート機能では、サービスを使用してデータを更新します。サービスでは、コンポーネントに関連付けられたビジネス ロジックが全て実行されます。このため、コンポーネントが正しく機能し、データの整合性を保つことができます。ただし、この方法によるデータの更新処理は、より完全な方法である反面、SQL 更新など他の方法に比べて処理が遅くなります。マス アップデートを実行する場合は、処理セットのサイズを制限したり、サーバーのトラフィックの少ない夜間に更新処理を行うなど、効率を上げる手順を行ってください。

マス アップデートのためのトランザクション プロセッサの設定

マス アップデートに使用されるセクションとエレメントを定義する場合は、プロセッサの設定コンポーネント (MU_TP_SETUP) を使用します。

次の各トピックでは、トランザクション プロセッサの設定の概要について説明します。

マス アップデートのためのトランザクション プロセッサの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>プロセッサの設定ページ</u>	MU_TP_SETUP	マス アップデートに使用するセクションとセクション内のエレメントのリスト、および更新を管理するサービスを定義します。マス アップデート定義コンポーネントでマス アップデート定義を作成する際に使用されるプロンプトと必要条件の情報も定義できます。
<u>プロセッサの設定 - 必要条件ページ</u>	MU_TP_SETUP_PRE	指定したセクションのマス アップデート定義の一部として定義する必要がある必要条件エレメントを定義します。定義した必要条件により、マス アップデートトランザクションで使用されるエレメント間の関係が確立されます。

トランザクション プロセッサの設定について

トランザクション プロセッサとは、アプリケーションの変更処理をサービスによって可能にするアプリケーション クラスです。変更処理は、変更の詳細を含むトランザクションに基づいて行われます。マス アップデートはマス アップデート管理コンポーネントからオンラインで実行するか、またはマス アップデート実行コンポーネントからバッチ処理で実行しますが、このマス アップデートの実行にトランザクション プロセッサが使用されます。

マス アップデート処理は、トランザクション プロセッサの設定に基づいて実行されます。この設定を実行するには、プロセッサの設定コンポーネントを使用する必要があります。このコンポーネントは、高度な経験を持ったテクニカル ユーザーを対象にしています。プロセッサの設定コンポーネントには、マス アップデートを実行するための多くのセクションが用意されています。

トランザクション プロセッサの設定では、マス アップデートに使用するセクションとセクション内のエレメントのリスト、および更新を管理するサービスを定義します。マス アップデート定義の作成には、マス アップデート定義コンポーネントを使用できます。マス アップデートの処理中に、マス アップデート マネージャがトランザクション プロセッサを起動し、該当するマス アップデートの定義で指定したセクション、エレメントおよび値を使用してマス アップデートトランザクションを処理します。トランザクション プロセッサは、セクションごとにトランザクション プロセッサ設定を参照して適切なサービスを特定し、トランザクションで定義した値を使用して該当のサービスを呼び出します。

注: 任務プロフィール マネージャ (JPM) カタログ タイプをシステムに追加する場合、新規に追加した JPM データに対してマス アップデートを実行するには、プロセッサの設定コンポーネントに JPM カタログ タイプを複製する必要があります。

プロセッサの設定ページ

プロセッサの設定ページ (MU_TP_SETUP) を使用して、マス アップデートに使用するセクションとセクション内のエレメントのリスト、および更新を管理するサービスを定義します。

マス アップデート定義コンポーネントでマス アップデート定義を作成する際に使用されるプロンプトと必要条件の情報も定義できます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [プロセッサの設定], [プロセッサの設定]

画像: プロセッサの設定ページ

次の例では、プロセッサの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Processor

Sections [Find](#) | [View All](#) [First](#) [1 of 1](#) [Last](#)

Section AREA STUDY

Description Areas of Study

Level Person ☒ Allow Copy Forward

Service MassUpdatePersonProfile **Version** 1.0

Elements [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [\[2\]](#) | [\[1\]](#) [First](#) [1-5 of 5](#) [Last](#)

Element	Description	Prerequisites Defined	Details	Prompt	Edit Record or Field
AVERAGE_GRADE	Grade	☒			
EFF_STATUS	Status	☒		Translate	EFF_STATUS
JPM_ADHOC_DESCR	Area Of Study	☒			
JPM_DATE_5	Date Acquired	☒		Date	
JPM_TEXT254_1	Area Of Study	☒			

セクション

セクション

セクションの名前を入力します。セクションとはエレメントの機能グループであり、サービス内で定義されます。

名称	セクションの名称を入力します。マス アップデート定義コンポーネントでマス アップデートを定義する場合、名称は [セクション] フィールドのプロンプト値として使用されます。
レベル	コンポーネント インターフェイスが "雇用レコード" 番号または "個人" のどちらに基づくかを選択します。デフォルトでは、"個人" 値が選択されます。 マス アップデート マネージャ モジュールが個人用のマス アップデートを生成する場合、選択したレベルを使用して、同一個人に対してマス アップデートトランザクションを 1 回だけ生成します。 トランザクション プロセッサ モジュールでは、選択したレベルを使用して、正しいキー値が含まれるサービスにアクセスします。
将来行も対象にする	オンにすると、マス アップデート定義コンポーネントのセクションまたはサービスで、[将来行も対象] オプションを使用できるようになります。
サービス	対応するセクションの更新の管理に使用されるサービスを入力します。指定したサービスにより、対応するセクションに関連するマス アップデートの全てのコントロールとデフォルト値が設定されます。設定自身に処理ロジックは含まれません。 PeopleSoft ヒューマン リソース管理には、職務データ (給与と労働協約の仕様を含む)、個人データ、任務プロファイル マネージャ、軍承認追跡などのマス アップデート処理で使用するサービスが用意されています。各サービスはデータ タイプを使用して定義し、同じ基本クラスを使用します。各データ タイプでは、サービスに使用できるエレメントを定義します。サービスを管理するには、サービスレジストリ コンポーネントを使用します。 注: 独自のサービスを作成して、マス アップデート機能に組み込むこともできます。マス アップデート プロセスで標準のサービス以外のデータにアクセスするには、特定の要件を管理するサービスを定義して登録し、トランザクション プロセッサの設定を更新する必要があります。
バージョン	指定したサービスのバージョンを入力します。
エレメント	
エレメント	このセクションを使用するマス アップデートで使用するエレメントまたはデータ タイプのオブジェクト名を入力します。入力できる値は、サービスで定義される単純なデータ タイプです。ここで

	指定したエレメントがマス アップデートで使用される情報になります。
名称	エレメントの名称を入力します。マス アップデート定義コンポーネントでマス アップデートを定義する場合、名称は [エレメント] フィールドのプロンプト値として使用されます。
必要条件定義あり	エレメントに必要条件を定義すると、このチェック ボックスが自動的にオンになります。
詳細	このボタンをクリックすると、前提条件ページにアクセスし、対応するエレメントの必要条件を定義できます。
プロンプト	エレメントのプロンプトをどのように定義するかを選択します。選択したプロンプトにより、マス アップデート定義ページでセクションとエレメントの値の組み合わせを定義する方法が決まります。有効値は以下のとおりです。 • アクション: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを処理する場合、エレメントで定義されるアプリケーション内で特定のアクションが実行されます。たとえば、エレメントでは、ボタンを押すアクションやデフォルト値を設定するアクションが実行されます (この場合はプロンプトなし)。 • チェックボックス: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを定義する場合、[ブール値] チェック ボックスが表示されます。 • 日付: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを定義する場合、日付フィールドが表示されます。 • 数値: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを定義する場合、[数値] フィールドが表示されます。 • レコード: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを定義する場合、[文字値] フィールドが表示されます。このフィールドでは、[プロンプトレコード/フィールド] フィールドで指定したレコードに対してプロンプトが表示されます。 • トランスレート値: このセクションとエレメントの組み合わせでマス アップデートを定義する場合に、[文字値] フィールドが表示されます。このフィールドでは、[プロンプトレコード/フィールド] フィールドで指定したフィールドの検索画面が表示されます。

[プロンプト レコード/フィールド]

エレメントのプロンプトでレコードを選択した場合は、レコードを選択します。エレメントのプロンプトでトランスレート値を選択した場合は、フィールド名を選択します。

プロセッサの設定 - 必要条件ページ

プロセッサの設定 - 必要条件ページ (MU_TP_SETUP_PRE) を使用して、指定したセクションのマス アップデート定義の一部として定義する必要がある必要条件エレメントを定義します。

定義した必要条件により、マス アップデートトランザクションで使用されるエレメント間の関係が確立されます。

ナビゲーション

プロセッサの設定ページの [詳細] アイコンをクリックします。

画像: プロセッサの設定 - 必要条件ページ

次の例では、"プロセッサの設定 - 必要条件" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Prerequisites

Section AREA STUDYAreas of Study

Element AVERAGE_GRADEGrade

Prerequisites Elements

Personalize | Find | View All | First 1 of 1 Last

Section Prerequisite	Element Prerequisite	Description	Prompt Field	Sequence
AREA STUDY	JPM_CAT_ITEM_ID			1

OK

Cancel

必要条件セクション、必要条件エレメント、名称

マス アップデートを定義する場合に、このセクションとエレメントの必要条件になるセクションとエレメントを選択します。このコンポーネントで定義したセクションから必要条件セクションを選択し、選択した必要条件セクションに定義したエレメントから必要条件エレメントを選択します。必要条件エレメントを選択すると、その名称が表示されます。

プロンプト フィールド

必要条件エレメントの検索画面に使用するフィールドを選択します。このフィールドは、必要条件フィールドの値がプロンプトレコードのどのフィールドにロードされるかを識別するために内部で使用されます。たとえば、エレメント "勤務地/部門" には、必要条件としてエレメント "勤務地/ビジネスユニット" があります。フィールド SETID には、プロンプトレコード DEPT_TBL で使用される場合にビジネス ユニットの値がロードされます。

連番

マス アップデートを定義する際に必要条件を入力する順番を入力します。

マス アップデート定義の設定

マス アップデート定義を設定してマス アップデートを処理するには、マス アップデート定義コンポーネント (MU_SETUP) を使用します。

次の各トピックでは、マス アップデート定義の概要および設定方法について説明します。

マス アップデート定義の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>マス アップデート定義ページ</u>	MU_SETUP	マス アップデート定義の一般情報を選択します。選択したオプションは、この定義で処理する全ての更新に適用されます。
<u>共通の変更ページ</u>	MU_SETUP_CHANGES	ロード選択基準と共通のデータ変更を指定して、マス アップデートの内容を定義します。有効なマス アップデート定義を作成するには、共通の変更ページまたはその他の変更ページのいずれかでデータを 1 行以上定義する必要があります。
<u>その他の変更ページ</u>	MU_SETUP_ADD_CHG	マス アップデート定義に追加するロード選択基準ごとにマス アップデートの内容を定義します。
マス アップデート定義 - サマリ ページ	MU_SETUP_SUMMARY	マス アップデート定義に含まれる全てのデータ変更の詳細なサマリを確認します。

マス アップデート定義について

マス アップデート定義では、指定した定義でマス アップデートを実行する場合に、マス アップデート プロセスで使用するデータ変更とロード選択基準のセットを定義します。マス アップデート定義でマス アップデート プロセスを開始すると、定義を変更することはできなくなります。マス アップデート定義を定義するには、マス アップデート定義コンポーネントを使用します。マス アップデート定義コンポーネントは、マス アップデート マネージャ モジュールの一部です。

マス アップデート定義は、ロード選択基準が重複しないように注意して確認する必要があります。マス アップデート プロセスでは、追加の変更を順番に管理し、従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせごとに 1 つずつ処理します。従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせが同じ場合は、変更することによって前の変更内容が上書きされます。このため、マス アップデート定義では、従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせに対して、1 つのマス アップデートで適用される変更データの組み合わせは 1 つだけです。

たとえば、[部門] の値を "D1" から "D2" に変更し、"D2" の値がある全ての部門で、[勤務地] の値を "L3" に変更するとします。その他の変更ページを使用して、1 つのマス アップデート定義で部門エレメン

トの値を "D2" に更新し、部門 D2 の勤務地の値を "L3" に更新するように定義すると、マス アップデートプロセスでは、最初に部門 D1 の従業員を部門 D2 に異動し、部門 D2 の既存の従業員を異動してから勤務地を L3 に更新します。従業員プロセスでは、部門を変更しても従業員の勤務地は変更されません。勤務地の変更を全体に適用する場合は、部門変更と勤務地変更の 2 つのマス アップデート定義を定義する必要があります。2 番目のマス アップデートは、最初のマス アップデートが終了してから適用する必要があります。

マス アップデート定義ページ

マスアップデート定義ページ (MU_SETUP) を使用して、マス アップデート定義の一般情報を選択します。

選択したオプションは、この定義で処理する全ての更新に適用されます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート定義], [マスアップデート定義]

画像: マス アップデート定義ページ

次の例では、マスアップデート定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

マス アップデート ID

新規のマス アップデート定義を追加する場合に、この定義に固有の ID を入力します。

名称、略称

マス アップデート定義の名称と略称を入力します。

ステータス

マス アップデート定義のステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- **新規:** マス アップデート定義が作成済みで、選択フェーズで使用できます。

- **開始済:** マス アップデート定義が選択フェーズの実行中です。選択フェーズは、更新フェーズを実行する前に複数回実行できます。
- **処理中:** マス アップデート定義が更新プロセス フェーズの実行中です。更新フェーズは、完了フェーズを実行する前に複数回実行できます。
- **終了:** マス アップデート定義が完了フェーズを実行して終了しています。それ以上マス アップデート処理を実行することはできません。

注: マス アップデート処理の更新フェーズを開始すると、マス アップデート定義は表示専用になります。

コピー元

別のマス アップデート定義を基にマス アップデート定義を定義する場合、基準となるマス アップデート定義を選択します。マス アップデート定義をコピーすると、マス アップデート定義コンポーネントにコピー元の定義のデータがロードされます。

マス アップデート定義をコピーする場合、コピー元のグループビルドと従業員を使用できるかどうかを検証されます。使用できない場合は、警告メッセージが表示され、使用できないグループビルドと従業員はコピー先の定義にロードされません。

注: 作成中の新規定義に入力したデータは全て上書きされます。

処理モード オプション

このグループ ボックスでは、マス アップデート定義の一般的な処理オプションを指定します。プロセスで、現データを修正するか、または新しい有効日付きの行を追加するかを指定します。また、将来の日付の行も処理対象にするかどうかも指定します。

新規有効日の追加

[参照日] の値を新規有効日として使用し、新しい有効日行を挿入する場合に選択します。新規有効日に指定した日付のレコードが既に存在し、このレコードに連番フィールドが含まれる場合は、その日付と新しい連番が付いた行が挿入されます。それ以外の場合は、データが上書きされます。レコードが同一有効日連番によって管理されていない場合は、データが上書きされます。このオプションを使用すると、新規情報が挿入され、更新前のデータは上書きされません。

現行情報の修正

間違ったデータを修正して、従業員レコードの情報を上書きする場合に選択します。[参照日] に入力した日付の時点で有効なレコード、または有効であったレコードが修正されます。

- 参照日

新しい有効日付きの行を挿入する場合や既存の行を修正する場合に、マス アップデート プロセスで使用する日付を入力します。
- 将来行を対象に含める

参照日以降に変更の対象になる従業員のデータ (ロード選択基準で定義) を更新する場合、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックス (遡及と同様) は、エレメントレベルで利用可能な繰越オプションと組み合わせて使用できます。

共通の変更ページ

- 共通の変更ページ (MU_SETUP_CHANGES) を使用して、ロード選択基準と共通のデータ変更を指定して、マス アップデートの内容を定義します。
- 有効なマス アップデート定義を作成するには、共通の変更ページまたはその他の変更ページのいずれかでデータを 1 行以上定義する必要があります。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート定義], [共通の変更]

画像: 共通の変更ページ

次の例では、共通の変更ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define MUCommon ChangesAdditional ChangesSummary

Mass Update ID K00003

Description Labor Agreement K00001 & Update K00002

Population Selection Criteria

PersonalizeFindView All1 of 1FirstLast

*Select By

Regulatory RegionLabor Agreement*Process

Labor AgreementUSAK00001Include

Individuals

PersonalizeFindView All1-2 of 2FirstLast

*Empl IDEmpl RecordName*Process

KU00590Vicki ZinnExclude

KU00680Marc KesslerExclude

Data Changes

PersonalizeFindView All1-4 of 4FirstLast

*Seq Nbr*Section*ElementCharacter ValueCopy Forward

1Job DataActionDTA

2Job DataReason CodeCDP

3Work LocationRegulatory RegionUSA

4Job LaborLabor AgreementK00002

ロード選択基準

このグループ ボックスでは、マス アップデートのロード選択基準を定義します。定義する基準の行ごとに、関連する従業員データを対象にするか対象外にするかを選択できます。複数行の基準を組み合わせ、ロード選択基準を絞り込むこともできます。

選択基準

特定の従業員データをマス アップデートの対象にするか対象外にするかの選択基準を指定します。

選択基準を指定すると、その選択基準に関連するフィールドが表示されるので、更新処理する値を指定します。たとえば、[グループ ID] を選択すると、[グループ ID] フィールドが表示されます。更新処理では、指定したグループ ID を持つ従業員が全員選択されます。

注: マス アップデート定義をグループ別に設定するには、マス アップデート定義コンポーネントへのグループ アクセス権限を与える必要があります。マス アップデート定義を部門別 (ビジネス ユニットや会社などの他の基準でも設定可能。データベースで定義した行レベルのセキュリティは、どの選択基準でも適用されます) に設定するには、選択した部門へのアクセス権限をユーザーが持っている必要があります。

ブール値

必要に応じて、このチェック ボックスをオンにし、選択したロード基準のブール値を指定します。

開始日、終了日

必要に応じて、選択したロード基準の日付範囲を入力します。

ビジネス ユニット

必要に応じて、選択したロード基準で従業員が所属するビジネス ユニットを選択します。

文字値

必要に応じて、選択したロード基準の文字値を入力します。

法定区域

必要に応じて、選択したロード基準の法定区域を選択します。

労働協約

必要に応じて、選択したロード基準の労働協約を選択します。

兵役

必要に応じて、選択したロード基準の兵役を選択します。

処理

選択したロード基準をマス アップデートの対象にするか対象外にするかを選択します。

個人

このグループ ボックスでは、特定の従業員をマス アップデートの対象にするか対象外にするかを指定します。

従業員 ID	マス アップデートの対象または対象外にする従業員を選択します。
雇用レコード (雇用レコード番号)	マス アップデートの対象または対象外にする従業員の雇用レコード番号を選択します。
名前	選択した従業員の氏名が表示されます。
処理	選択した従業員をマス アップデートの対象にするか対象外にするかを選択します。

データ変更

このグループ ボックスでは、更新するフィールドと更新する値を定義します。このページまたはその他の変更ページには、1 行以上入力する必要があります。

職務データを変更する場合は、異動区分と異動理由を指定する必要があります。異動区分と異動理由を指定しないで従業員の職務データまたは個人データのレコードに新しい有効日付き行を挿入すると、マス アップデート処理では、以下の値が新しいレコードに挿入されます。

変更タイプ	異動区分	異動理由
職務データ変更	データ変更 (DTA)	なし

連番 マス アップデートを処理する順番を示す数値を入力します。デフォルトでは、最初の行が 1 に設定され、行を挿入すると番号が 1 つずつ増加していきます。

エレメントによっては、同じマス アップデート ID のその他複数の関連エレメントの指定がないと更新できません。たとえば、職務レコードの勤務地を指定するには、適切なビジネス ユニットを最初に指定する必要があります。ビジネス ユニット エレメントの処理が先に行われる必要があるため、このエレメントには勤務地より前の連番を割り当てる必要があります。

電話番号情報などのキーで管理されているエレメントも、連番を使ってキーが先に更新されるように設定する必要があります。たとえば、一括処理で電話番号を更新する前に、電話番号タイプを更新する必要があります。マス アップデートを設定する際に、電話番号タイプには電話番号より前の連番を指定します。

関連フィールドやキー フィールドを追加入力する必要がある場合は、警告が表示されます。

注: フィールドの順番は正しく指定してください。マス アップデートでフィールドを更新する際には、オンラインでアクセスしたときにコンポーネントを制御しているのと同じ制約 (デフォルト設定フィールドや必須フィールドなど) も適用されることに注意してください。

セクション

マス アップデートを実行するエレメントを含むセクションを選択します。マス アップデートに使用されるセクションとエレメントの組み合わせは、プロセッサの設定ページのトランザクション プロセッサの設定の一部として定義します。

エレメント

マス アップデートでデータ変更を実行する対象として選択したセクション内のエレメントを選択します。エレメントはページのフィールドを参照します。マス アップデートに使用されるセクションとエレメントの組み合わせは、プロセッサの設定ページのトランザクション プロセッサの設定の一部として定義します。

エレメントの中には、プロセッサの設定ページで定義する必要条件が必要になるものもあります。この場合は、必要条件エレメントを最初を選択する必要があります。必要条件エレメントが必要なエレメントを選択する場合、必要条件のデータ変更を入力していないと、必要条件が作成されていない旨の警告が表示されます。

文字値

選択したエレメントで変更する新しい値を入力します。選択したエレメントのフィールド タイプに応じて、異なる値フィールドが表示されます。

将来行も対象

このチェック ボックスをオンにすると、マス アップデート プロセスで追加または修正される有効日付きの行だけでなく、既存の有効日付きの将来行が全て更新されます。有効日付きの将来行とは、マス アップデート定義ページで指定した参照日以降の有効日が付いた行です。このオプションは有効日が付いたデータだけに適用されます。

関連リンク

[PeopleSoft のセキュリティについて](#)

[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)

その他の変更ページ

その他の変更ページ (MU_SETUP_ADD_CHG) を使用して、マス アップデート定義に追加するロード選択基準ごとにマス アップデートの内容を定義します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート定義], [その他の変更]

画像: その他の変更ページ

次の例では、その他の変更ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

その他の変更ページは、共通の変更ページと組み合わせて定義し、複数の変更を組み合わせて定義できます。その他の変更ページでは、複数の変更を入力できますが、どれも必須ではありません。

変更番号

[変更番号] フィールドには、マス アップデート定義にロード選択基準を追加した場合に、マス アップデート変更を処理する順番を入力します。[新規行の追加] ボタンをクリックすると、追加のロード選択基準のデータ変更の情報が挿入されます。最初の行は自動的に "1" に設定され、行を追加すると番号が 1 つずつ増加していきます。

注: このページの残りのフィールドは、共通の変更ページのフィールドと同じです。

マス アップデートの作成

次の各トピックでは、マス アップデートトランザクションの作成の概要と、マス アップデートトランザクションを生成する方法について説明します。

マス アップデートの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
マス アップデート作成ページ	RUNCTL_MU	選択したマス アップデート定義で、マス アップデートトランザクションを生成します。

マス アップデートの作成について

マス アップデート作成コンポーネントでは、マス アップデート選択アプリケーション エンジン プロセス (HR_MASS_PREP) を実行して、マス アップデート処理の選択フェーズを実行します。このプロセスの主な役割は、ロードするマス アップデート定義を指定し、マス アップデート定義のロード選択基準で指定した個人 (従業員 ID と雇用レコード番号の組み合わせ) ごとにトランザクションを生成することです。このプロセスでは、トランザクションの生成中に、トランザクションごとに一意のトランザクション ID が割り当てられます。トランザクションの内容は XML 言語を使用して作成され、トランザクション ID をキーにしたテーブルに保存されます。各トランザクションには、個人と雇用レコード番号の組み合わせごとに変更セットが 1 つずつ格納されます。

注: このラン コントロール ページは、他のマス アップデート処理コンポーネントと共有されます。

マス アップデート作成ページ

マス アップデート作成ページ (RUNCTL_MU) を使用して、選択したマス アップデート定義で、マス アップデートトランザクションを生成します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート作成], [マス アップデート作成]

画像: マス アップデート作成ページ

次の例では、マス アップデート作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

*Seq	*Mass Update ID	Description	Mass Update Status
1	HXLAMU5	Labor Agreement Mass Update Definition	Initiated

マス アップデート

マス アップデート定義をグリッドに 1 つ以上入力します。

連番	指定したマス アップデート定義でマス アップデートトランザクションを生成する順番を入力します。デフォルトでは、最初の行は "1" に設定され、行を追加すると番号が 1 つずつ増加していきます。
	重要 2 つ以上のマス アップデート定義でトランザクションを同時に作成する場合は、ロード選択基準が重複していないことを確認する必要があります。
マス アップデート ID、名称	マス アップデートトランザクションの生成で使用するマス アップデート定義を選択します。選択したマス アップデート定義の名称が表示されます。
マス アップデート ステータス	選択したマス アップデート定義の処理ステータスが表示されます。 有効値は、[新規]、[開始済]、[処理中]、および [終了] です。 「マス アップデート定義の設定」、「マス アップデートの一般情報の定義」を参照してください。

マス アップデート レポートの生成

このトピックでは、マス アップデートレポートを生成する方法について説明します。

マス アップデート レポートの生成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
マス アップデート レポート ページ	RUNCTL_MU	特定のマス アップデート定義に関連するトランザクションを確認またはプレビューするレポートを生成します。

マス アップデート レポート ページ

マス アップデートレポート ページ (RUNCTL_MU) を使用して、特定のマス アップデート定義に関連するトランザクションを確認またはプレビューするレポートを生成します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデートレポート], [マス アップデートレポート]

画像: マス アップデートレポート ページ

次の例では、マス アップデートレポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Report Mass Updates

Run Control ID doc

Report Manager

Process Monitor

Run

Language English

Transaction Status

Print Messages

Mass Updates

Personalize Find

First 1 of 1 Last

*Seq	*Mass Update ID	Description	Mass Update Status
1	HXLAMU5	Labor Agreement Mass Update Definition	Initiated

マス アップデート SQR レポート (HRMASS) には、マス アップデート ID、名称およびステータスが表示されます。また、ステータスごとのトランザクションの合計数とトランザクションの詳細も表示されます。このレポートは、マス アップデート マネージャ モジュールの一部です。このレポートは、マス アップデート トランザクションの処理前、処理中、処理後のいつでも実行できます。マス アップデート トランザクションの処理前に実行する場合は、プレビューとしてこのレポートを使用できます。

- 言語

レポートを出力する言語を選択します。
- トランザクション ステータス

レポートに表示するマス アップデート トランザクションのステータスを選択します。有効値は、[キャンセル]、[異常終了]、[準備完了]、[正常終了]、[警告] です。
- メッセージを印刷する

レポートにメッセージと例外の詳細を表示する場合は、このチェック ボックスをオンにします。
- マス アップデート

このグループ ボックスでは、レポートに出力するマス アップデート定義を 1 つ以上入力します。

連番

マス アップデート定義をレポートに表示する順番を指定します。デフォルトでは、最初の行は "1" に設定され、行を追加すると番号が 1 つずつ増加していきます。

マス アップデート ID、名称

レポートを含めるマス アップデート定義を選択します。選択した定義の名称が表示されます。

マス アップデート ステータス

選択したマス アップデート定義のステータスが表示されます。
- Copyright © 1988, 2014, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

747

マス アップデートの管理

このトピックでは、マス アップデートを管理する方法について説明します。

マス アップデートの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>マス アップデート管理ページ</u>	MU_MANAGE	実行マネージャ モジュールの現在の職務データを監視して、生成されたマス アップデートトランザクションを管理します。トランザクションの詳細を表示したり、ステータスを変更できます。トランザクションをオンラインで個別に処理してマス アップデートの更新フェーズを実行することもできます。
<u>マス アップデート管理 - トランザクション詳細ページ</u>	MU_MANAGE_DETAIL_S	マス アップデートトランザクションの詳細を確認します。このページには、トランザクションの概要、ロード選択基準、変更、対象、メッセージおよび例外に関する情報が表示されます。

マス アップデート管理ページ

マス アップデート管理ページ (MU_MANAGE) を使用して、実行マネージャ モジュールの現在の職務データを監視して、生成されたマス アップデートトランザクションを管理します。

トランザクションの詳細を表示したり、ステータスを変更できます。トランザクションをオンラインで個別に処理してマス アップデートの更新フェーズを実行することもできます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート管理], [マス アップデート管理]

画像: マス アップデート管理ページ (1/2)

次の例では、マス アップデート管理ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Manage Mass Updates

Running Instances

Process Instance	Run Control ID	Mass Update ID	Run Status	Pending Transactions	Processed Transactions
				0	0

Search Criteria

Mass Update ID

Section

Element

Empl ID

Transaction Status

Search

画像: マス アップデート管理ページ (2/2)

次の例では、マス アップデート管理ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Total Transactions per Status

Mass Update ID	Transaction Status	Count
HXLAMU10	Ready	5
HXLAMU5	Ready	1

1 to 6 on 6

Mass Update Transactions

Mass Update ID	Person ID	Empl Record	Name	*Transaction Status	Details	Execute
HXLAMU10	HXLAMU8	0	James Jackson	Ready		Execute
HXLAMU10	HXRR020	0	Chris Schmidt	Ready		Execute
HXLAMU10	HXUH228	0	Smokey Bingham	Ready		Execute
HXLAMU10	HXUH229	0	Wai Wallion	Ready		Execute
HXLAMU10	SA0031	0	Margaret Simpson	Ready		Execute
HXLAMU5	HXLAMU13	0	Jansen Lombert	Ready		Execute

(リフレッシュ)

クリックすると、ページのデータが再ロードされます。

現在の職務データ

このグループ ボックスには、マス アップデート処理の現在の職務データの詳細が表示されます。

プロセス インスタンス	対応するインスタンスのプロセス インスタンス番号が表示されます。
ラン コントロール ID	インスタンスが処理するラン コントロール ID です。
マス アップデート ID	インスタンスが処理するマス アップデート定義です。
実行ステータス	プロセス インスタンスの実行ステータスです。
未処理トランザクション	プロセス インスタンスに割り当てられている未処理のマス アップデートトランザクションの数です。
処理済トランザクション	プロセス インスタンスで処理されたマス アップデートトランザクションの数です。この数には、エラーが発生した処理済みトランザクションも含まれます。

検索条件

このグループ ボックスでは、マス アップデートトランザクションを取得するための検索条件を指定します。

マス アップデート ID	マス アップデート定義を選択し、指定した定義内のマス アップデートトランザクションのみに検索対象を絞り込みます。
セクション	セクションを選択し、指定したセクションに関連するマス アップデートトランザクションのみに検索対象を絞り込みます。
エレメント	エレメントを選択し、指定したエレメントに関連するマス アップデートトランザクションのみに検索対象を絞り込みます。
従業員 ID	従業員 ID を選択し、指定した従業員 ID に関連するマス アップデートトランザクションのみに検索対象を絞り込みます。
トランザクション ステータス	トランザクション ステータスを選択し、指定したステータスのマス アップデートトランザクションのみに検索対象を絞り込みます。
検索	このボタンをクリックすると、指定した検索条件に一致するマス アップデートトランザクションのリストが表示されます。検索結果は、[マス アップデートトランザクション] グリッドに表示されます。

ステータス別トランザクション数

このグループ ボックスには、検索結果のマス アップデートトランザクションに関連する統計が表示されます。検索結果には、マス アップデート定義のリスト、各定義のステータス、および定義ごとのトランザクション数が表示されます。

マス アップデート トランザクション

マス アップデート

検索条件に一致する各マス アップデート定義の ID が表示されます。各行には、その定義に基づいたトランザクションを持つ従業員も表示されます。ID をクリックすると、マス アップデート定義コンポーネントにアクセスし、マス アップデート定義の詳細を確認できます。

個人 ID

検索条件に一致する各マス アップデートトランザクションに関連する個人の ID が表示されます。各行の 個人 ID のリンクをクリックすると、個人情報コンポーネントにアクセスして、各従業員の個人データレコードを確認できます。

注: このリンクは個人情報にアクセスしますが、マス アップデートトランザクション自身は個人データには関連付けられません。

雇用レコード (雇用レコード番号)

検索条件に一致する各マス アップデートトランザクションに関連する個人の雇用レコード番号が表示されます。各行の雇用レコード番号のリンクをクリックすると、職務データ コンポーネントにアクセスして、個人の職務データレコードを確認できます。

注: このリンクは職務データにアクセスしますが、マス アップデートトランザクション自身は職務データには関連付けられません。

名前

検索条件に一致する各マス アップデートトランザクションに関連する個人の氏名が表示されます。各行の名前のリンクをクリックすると、各従業員の個人データにアクセスします。

トランザクション ステータス

マス アップデートトランザクションのステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- **キャンセル:** ユーザーがマス アップデートトランザクションをキャンセルしています。
- **異常終了:** マス アップデート プロセスでトランザクションを正常に処理できません。メッセージと例外を表示し、エラーに関する詳細を表示します。

ステータスを [キャンセル] に変更すると、トランザクションをキャンセルできます。処理が終了すると、このアクションは元に戻せません。

- **準備完了:** 選択フェーズでトランザクションが作成され、処理可能な状態になっています。

ステータスを [キャンセル] に変更すると、トランザクションをキャンセルできます。処理が終了すると、このアクションは元に戻せません。

- **正常終了:** マス アップデート プロセスでトランザクションが正常に処理され、更新が実行済みです。
- **警告:** 選択フェーズでトランザクションが作成され、処理可能な状態になっています。ただし、トランザクションの作成中に競合が発生しています。指定した雇用記録番号の従業員が、1 つ以上の追加のロード選択基準の対象になっています。この場合、従業員は最新のロード選択基準に割り当てられます。

ステータスを [キャンセル] に変更すると、トランザクションをキャンセルできます。処理が終了すると、このアクションは元に戻せません。

トランザクション ステータスを変更して保存すると、マス アップデート定義のステータスも更新されます。マス アップデート定義の全てのトランザクションのステータスが [キャンセル] または [正常終了] で、ステータスが [準備完了]、[警告] または [異常終了] のトランザクションがない場合、マス アップデート定義のステータスは [終了] に変更されます。マス アップデート プロセスでは、ステータスが [準備完了] または [異常終了] のトランザクションのみが処理されます。それ以外のステータスのトランザクションは処理されません。

詳細

クリックすると、トランザクション詳細ページにアクセスします。このページでは、マス アップデートトランザクションの詳細と実行ログを確認できます。

実行

各行のこのボタンをクリックすると、対応するマス アップデートトランザクションがオンラインで個別に処理されます。処理できるのは、ステータスが [準備完了] または [異常終了] のトランザクションのみです。トランザクション プロセッサが起動し、トランザクションが処理されます。処理が終了すると、トランザクション プロセッサにより、トランザクションとマス アップデート定義のステータスが更新されます。オンラインでのトランザクションの個別処理は、特にトラブルシューティングの場合に役立ちます。

マス アップデート管理 - トランザクション詳細ページ

マス アップデート管理 - トランザクション詳細ページ (MU_MANAGE_DETAIL_S) を使用して、マス アップデートトランザクションの詳細を確認します。

このページには、トランザクションの概要、ロード選択基準、変更、対象、メッセージおよび例外に関する情報が表示されます。

ナビゲーション

マス アップデート管理ページで、各行の [詳細] ボタンをクリックします。

画像: マス アップデート管理 - トランザクション詳細ページ

次の例では、"マス アップデート管理 - トランザクション詳細" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Transaction Details

Mass Update:

HXLAMU10

LAMU - Group -Negative Test

Person ID:

HXLAMU8

James Jackson

Empl Record:

0

Transaction Status:

Ready

Transaction ID:

1

Updated By:

Updated on:

Population Selection Criteria

Group Build=HXLAMU2

Changes

Process Mode Option = Add a New Effective Date
Reference Date = 2006-02-15
Work Location: Regulatory Region = HXUSA
Job Labor: Labor Agreement = HXLMU3

Eligibility

From Date	From Sequence	To Date
01/02/2001	0	

Messages and Exceptions

Last Update Date/Time

Severity

Description

Customize

Find

Return

ロード選択基準

マス アップデートトランザクションの生成時に使用されるロード選択基準を確認します。共通の変更とその他の変更のロード選択基準が含まれます。

対象

マス アップデートの対象となるトランザクションの日付範囲を確認します。

メッセージと例外

処理中にトランザクション プロセッサによって生成されたマス アップデートトランザクションのメッセージと例外を確認します。トランザクション プロセッサがメッセージまたは例外、重要度、および説明を生成した最終更新日時が順番に表示されます。

マス アップデートの実行

次の各トピックでは、マス アップデート処理の概要およびマス アップデート プロセスの実行方法について説明します。

マス アップデートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>マス アップデート実行ページ</u>	RUNCTL_MU	マス アップデート プロセスを実行します。

マス アップデート処理について

マス アップデート実行コンポーネントでは、マス アップデート トランザクションをバッチ処理するマス アップデート アプリケーション エンジン (AE) プロセス (HR_MASS_UPD) を実行します。このバッチを実行することは、マス アップデート処理の更新フェーズを実行することを意味します。マス アップデート管理コンポーネントでは、マス アップデート処理のバッチ更新フェーズをオンラインで実行できません。

マス アップデート プロセス (HR_MASS_UPD) では、更新の候補となっているデータに関連するサービス (職務データの場合は JOB_DATA コンポーネント) を使用して、グループの各従業員のデータが取得されます。次に、従業員に新しい値が割り当てられて変更内容が保存され、このコンポーネントに適用されるビジネス ルールがトリガされます。また、実行結果レコードが作成され、全従業員に対して行われた全ての修正状況が追跡管理されます。

マス アップデート プロセスを実行するには、マス アップデート実行ラン コントロール ページを使用します。このページでは、マス アップデートのバッチ処理で使用するマス アップデート定義を 1 つ以上指定し、マス アップデート プロセスで各定義のトランザクションを処理する順番を指定します。並列処理のパラメータを指定することもできます。並列処理では、マス アップデート プロセスのインスタンスを同時に実行できるため、パフォーマンスが向上します。

マス アップデート プロセス (マス アップデート マネージャで起動) を実行すると、処理対象のトランザクション (ステータスが未処理のトランザクション) のセットに対してトランザクション プロセッサが呼び出されます。マス アップデート プロセスでは、未処理のマス アップデート トランザクションのキューと実行中のインスタンスのリストを監視します。監視処理は、処理待ちのトランザクションがなくなるか、ラン コントロール ページで定義した並列処理の最大数に達するまで実行されます。

並列処理でプロセスを実行すると、マス アップデート マネージャはマス アップデート実行 AE プロセス (HR_MASS_EXE) を使用して実行マネージャを起動し、ラン コントロール ページで指定した並列処理のパラメータを使用します。マス アップデート実行プロセスでは、最初にインスタンス (スポーニングと呼ばれる) が作成されます。次に、[インスタンス別トランザクション数] フィールドで指定した数に基づいて、トランザクションがインスタンスに割り当てられ、PeopleTools プロセス スケジューラに送信してインスタンスが処理されます。インスタンス数が [最大インスタンス数] フィールドで指定した数以下の場合は、他のインスタンスがスポーニングされます。このプロセスは、インスタンスの最大許容数に達するまで繰り返されます。マス アップデート実行プロセスは、マス アップデート プロセスの子プロセスです。

注: PeopleTools のサーバー定義ページ (ナビゲーションは [PeopleTools], [プロセス スケジューラ], [サーバー], [サービス定義]) では、ロード バランシング オプションを指定できます。

マス アップデート実行ページ

マス アップデート実行ページ (RUNCTL_MU) を使用して、マス アップデート プロセスを実行します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート実行], [マス アップデート実行]

画像: マス アップデート実行ページ

次の例では、マス アップデート実行ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Execute Mass Updates

Run Control ID doc

Report Manager

Process Monitor

Run

Language English

Mass Updates

Personalize | Find | |

First 1 of 1 Last

*Seq	*Mass Update ID	Description	Mass Update Status
1	HXLAMU5	Labor Agreement Mass Update Definition	Initiated

Parallel Processing

☒ Run Instances in Parallel

Maximum of Instances

Transactions per Instance

マス アップデート

このグループ ボックスでは、マス アップデートトランザクションの処理で使用するマス アップデート定義を選択します。

連番

マス アップデートを実行する順番を指定します。デフォルトでは、最初の行は "1" に設定され、行を追加すると自動的に番号が 1 つずつ増加していきます。

マス アップデート ID、名称

処理に含めるマス アップデート定義を選択します。選択できるのは、開始済みまたは進行中のマス アップデート定義のみです。選択したマス アップデート定義の名称が表示されます。

マス アップデート ステータス

マス アップデート定義のステータスが表示されます。

並列処理

このグループ ボックスでは、マス アップデート実行インスタンスの並列処理のパラメータを指定します。マス アップデート プロセスを別のハードウェアで同時に実行すると、パフォーマンスを向上できます。この場合、追加の設定は必要ありません。

並列処理でインスタンスを実行する

このチェック ボックスをオンにすると、複数のインスタンスを同時に実行できます。このプロセスでは、実行マネージャを使用して、サブプロセス (プロセス インスタンスと呼ばれます) の生成と監視を行います。サブプロセスは PeopleTools プロセス スケジューラで同時に実行されます。

このチェック ボックスをオフにすると、プロセスは PeopleTools プロセス スケジューラの単一のインスタンスで実行されます。この場合、マス アップデートは各トランザクションで連続してデータベースにコミットされます。

最大インスタンス数

プロセスで同時に生成および実行可能なインスタンスの最大数を入力します。このチェック ボックスは、インスタンスを並列処理で実行するように指定した場合に利用できます。

インスタンス別トランザクション数

新規インスタンスの作成前にインスタンスごとに処理可能なトランザクションの最大数を入力します。このチェック ボックスは、インスタンスを並列処理で実行するように指定した場合に利用できます。

未処理のマス アップデートの削除

このトピックでは、マス アップデートを削除する方法について説明します。

マス アップデートの削除に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>マス アップデート削除ページ</u>	RUNCTL_MU	生成済みで未処理のマス アップデート トランザクションを削除します。

マス アップデート削除ページ

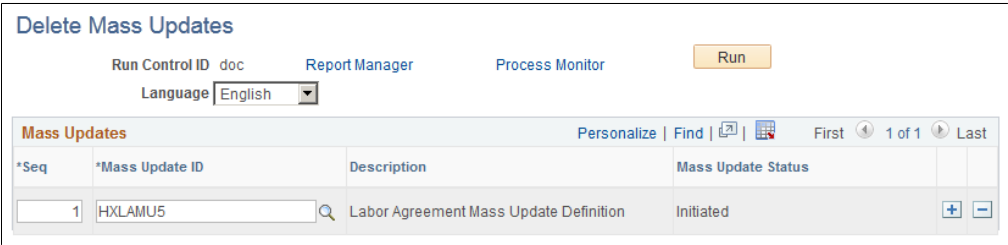
マス アップデート削除ページ (RUNCTL_MU) を使用して、生成済みで未処理のマス アップデート トランザクションを削除します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [マス アップデート], [マス アップデート削除], [マス アップデート削除]

画像: マス アップデート削除ページ

次の例では、マス アップデート削除ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



マス アップデート マネージャによってマス アップデート削除アプリケーション エンジン (AE) プロセス (HR_MASS_DEL) が起動し、トランザクションの削除が実行されます。マス アップデート削除プロセスでは、選択したマス アップデート定義からマス アップデート作成コンポーネントで生成した未処理のマス アップデートトランザクションを削除します。また、必要に応じてシステム テーブルのクリーンアップも実行します。

マス アップデート

このグループ ボックスでは、マス アップデートトランザクションの削除で使用するマス アップデート定義を選択します。

連番

マス アップデートトランザクションを削除する順番を指定します。デフォルトでは、最初の行は "1" に設定され、行を追加すると自動的に番号が 1 つずつ増加していきます。

マス アップデート ID、名称

削除するマス アップデートトランザクションを含むマス アップデート定義を選択します。マス アップデート定義の名称が表示されます。選択できるのは、開始済みまたは進行中のマス アップデート定義のみです。

マス アップデート ステータス

マス アップデート定義のステータスが表示されます。

承認の設定と使い方

承認について

多くの日常のタスクは、昇進・昇格の承認のようにいくつかのステップと人々の共同作業を含む大きなプロセスの一部です。このような複数ユーザーがかかわるプロセスを円滑に進めるために、PeopleSoft には承認機能が用意されています。この機能を使用すると、自動的にワークフロー通知をトリガして、承認待ちトランザクションのプロセスで次の承認者に知らせることができます。

多くの PeopleSoft アプリケーションには、定義済みの承認プロセスが用意されています。ただし、次の各トピックでは、PeopleSoft HCM 製品ライン固有の承認フレームワーク機能について説明します。このドキュメントには、HCM のナビゲーション、および HCM 承認フレームワークの設定に関する追加トピックが掲載されています。詳しい概要およびフィールドの説明は、付属ドキュメントの『PeopleSoft 承認フレームワーク』に記載されています。

関連リンク

承認フレームワーク

承認で使う用語

以下の用語は、承認機能を理解するうえで重要であり、以下のトピック全体にわたって使用されます。

承認プロセス	ある特定のトランザクションが組織内で承認のためにどのような経路で送られるかというビジネス プロセスを表す一般的な用語。
承認フレームワーク	承認プロセスの作成、実行、管理のための機能を提供するエンジン。
承認プロセス定義	承認フレームワーク内での承認プロセスの定義。定義には、ステージ、パス、ステップ、さまざまな階層、条件、およびその他の設定可能なパラメータが含まれます。
承認プロセス定義 ID (プロセス ID)	承認フレームワークにおける特定の承認プロセス定義に関連する ID。承認フレームワークに登録された各トランザクションには、少なくとも 1 つのプロセス ID が定義されている必要があります。

リクエスト	承認プロセスのために承認フレームワークを使用するトランザクション。たとえば、昇進・昇格や転勤時の休暇リクエスト、人材募集などがあります。
承認ステップまたはステップ	ステップには 1 人または複数の承認者がいて、承認者のアクションは追跡されます。ステップは、指定人数の承認者による関与を必要とするように設定することができます。ステップには、考慮中のリクエストについてステップを有効にするかどうかを決定する条件を設定します。ステップには連番が付けられています。
承認パスまたはパス	パスは、ステップの順番です。たとえば、ステップ 2 はステップ 1 が承認された後でないと承認者に送られません。承認はなんらかの決定に基づいて、複数の承認パスを経由することも実際に可能です。パスは相互に排他的にすることも、並行させることもできます。パスは全て最終承認で 1 つにまとめられます。
承認ステージまたはステージ	ステージは、承認パスを集めたものです。承認ステージは、単一の順序になっています (ステージ 1、ステージ 2 など)。承認ステージは、直前のステージが完了すると実行されます。承認ステージが実行されると、それに含まれる全ての承認パスも同時に実行されます。承認ステージは、含まれる承認パスが全て完了したときに完了したと見なされます。
承認者	リクエストの承認 (却下、差し戻しなど) を行う権限を持つと決定されたユーザー。
依頼者および発信者	依頼者は、承認フレームワークでリクエストの開始者として扱うユーザーです。ほとんどの場合、依頼者と発信者は同じユーザーになります。ただし、委任機能を使用する場合は依頼者と発信者が異なることがあります。たとえば、管理者がトランザクションを直属の部下に委任して、部下がトランザクションを送信すると、部下が発信者で管理者は依頼者となります。
対象者	トランザクションを処理する対象となるユーザー。たとえば、Karen が上司の Russell に自分の部下の 1 人である Robbin の昇進・昇格リクエストを送信するとします。この場合、Karen は依頼者 (発信者) で Robbin が対象者となり、Russell は承認者です。
監督者または管理者	導入時の直属部下の設定で定義されている、依頼者または承認者への管理責任を持つユーザー。
承認管理者または承認フレームワーク管理者	承認の設定、管理、トラブルシューティングおよびメンテナンスを担当するシステム管理者。

イベントまたは承認イベント	承認フレームワーク エンジン、イベント主導型です。イベントは通常、送信や承認、却下、差し戻しなどシステム内のユーザーが実行可能なアクションです。
ステータスまたは承認ステータス	ステータスは通常、トランザクションの置かれる全体的な状況を表します。たとえば、承認待ち、保留中、承認済み、却下、終了などです。
承認条件	承認が必要かどうかの決定に使用するルール。承認条件のフィールドおよびディメンションは、承認条件の定義に使用されるデータ要素および属性です。
承認階層	トランザクション タイプによって必要とされる、実際の承認をモデルとする組織的な階層 (たとえば、監督者や部門別の承認階層など)。
ユーザー リスト	SQL ステートメントの結果として、または PeopleSoft のロールや PeopleSoft アプリケーション クラスとして表される、ユーザー (PeopleSoft ユーザー ID) の集まり。
代替承認者または代替ユーザー ID	ユーザーは、システム内の別のユーザーを指定の期間だけ自分に代わる承認者とすることができます。これは、PeopleTools セキュリティ内のユーザー プロファイル コンポーネントにあるワークフロー ページで設定します。
委任	委任とは、ある個人が別の個人に特定の職責の代理業務を行う権限を付与することです。委任機能を使用すれば、ユーザーは管理トランザクションの開始権限または承認権限を委任することにより、管理職務を代理で行う権限を他のユーザーに付与することができます。

承認フレームワーク

承認フレームワークは、承認プロセスを作成、実行および管理するためのフレームワークと機能を提供するエンジンです。このエンジンは、アプリケーション コンポーネント設定と組み合わせて一連のデータベースオブジェクトを使用し、ワークフローを用いて承認を処理する方法を決定します。

承認ワークフローは、依頼者が昇進・昇格などのトランザクションを送信するとトリガされます。アプリケーションによって、トランザクションが承認フレームワークに渡され、エンジンは適切な承認プロセス定義を探して承認ワークフローを開始します。そして、承認者のグループがトランザクションに関連するタスクを実行します。

承認フレームワークによって、3 つのレベルのユーザーが組織の要件を満たすトランザクション承認を作成、設定および使用できます。たとえば、昇進・昇格を提案してそれに対して承認を得るプロセスには、昇進・昇格を承認する担当者、承認者の順序および承認者への転送方法を定義する必要があります。

作成および管理のために PeopleSoft PeopleTools の高度な技術的スキルを必要とする標準の PeopleSoft ワークフローと対照的に、承認ワークフローは作成や設定および管理がはるかに簡単なワークフローを提供します。たとえば、承認ワークフローの全てのステップは、基底にある PeopleSoft の PeopleCode ではなく PeopleSoft ページを使用して定義します。これによって、職務権限を持つユーザーは専門の開発者にワークフロー ルールの作成を依頼しなくても、これらのオンラインの PeopleSoft ページを使用してワークフローを設計および管理できます。

関連リンク

"承認フレームワーク機能について" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

"承認フレームワーク プロセス フローについて" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

承認ビジネス プロセス フロー

承認ビジネス プロセス フロー内では、次のことが行われます。

- アプリケーション開発者は、トランザクション登録ページを使用することにより情報を承認フレームワークに登録します。このページでは、アプリケーションをエンジンに登録して、そのコンポーネント、イベントハンドラおよびレコードを記述します。

レジストリの定義の一環として、アプリケーション開発者はレコードとテーブルを作成し、そこに相互参照情報を格納してイベントの通知テンプレートを設定します。この定義によって承認待ちのワークフロー プロセスが決まり、どのトランザクションが承認または却下されるかがアプリケーションに伝えられます。また、アプリケーション開発者はトランザクション コンポーネントをリンクします。

注: PeopleSoft ヒューマン リソース管理には、承認フレームワークに登録済みのトランザクションが数多く用意されています。これらのトランザクション レジストリは変更しないでください。これらの設定は出荷時のままにしておく必要があるためです。標準のトランザクション レジストリ定義の完全なリストを参照するには、[HCM 基本設定]、[共通定義]、[承認]、[承認設定センター]、[トランザクション登録]の順にクリックして、トランザクション登録コンポーネントにアクセスします。

- 職務機能ビジネス アナリストは、アプリケーション トランザクションの承認プロセス定義を定義します。

承認プロセス定義には、各承認プロセス ID について、承認ステージやパス、ステップ、受取人および通知の設定が含まれます。アナリストは、承認プロセス定義の基準となる承認トランザクション レジストリの入力項目を識別し、プロセスの詳細を定義します。

また、職務機能ビジネス アナリストは、ユーザー リスト定義、電子メール テンプレート定義およびトランザクションの設定を定義または確認します。

設定を完了したら、職務機能ビジネス アナリストは、承認プロセス トランザクションの管理とトラブルシューティングを担当します。

- 依頼者は、承認を得るためにトランザクションを送信します。

このアクションによって承認プロセスが開始されます。承認フレームワークは承認プロセス定義を読み込み、承認者のためにトランザクションをキューに入れます。

- 承認タスクが、電子メール通知またはワークリストの項目 (または両方) を使用して承認者またはレビュー担当者へ送信されます。

ワークリストの項目に組み込まれた URL は、対応する承認コンポーネントをポイントします。

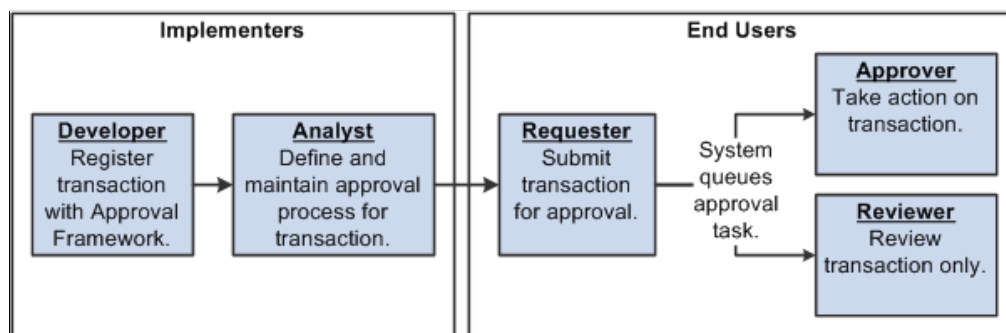
- 承認者はトランザクションに対してアクションを実行します。

承認者はリクエストを承認または却下したり、トランザクションのステータスのモニターや承認オーデイトを行うことができます。承認プロセス中にエラーや条件またはルールの違反があった場合、承認管理者は通知を受け取り、問題を解決します。

- レビュー担当者はトランザクションを参照します。

画像: 承認ビジネス プロセス フロー

この図は、承認機能の導入と使用のビジネス プロセス フローを示します。アプリケーション開発者やビジネス アナリストおよびエンドユーザーが、承認ワークフローを使用して行うタスクを示しています。



関連リンク

"承認フレームワーク プロセス フローについて" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

"トランザクション承認フローについて" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

"ヘッダー レベルおよび行レベルの承認について" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

"承認機能について" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

情報ソース

承認フレームワークは、HCM および他の製品ファミリー内の複数の PeopleSoft アプリケーションで共有されている共通コンポーネントです。HCM 製品ファミリーでは、承認フレームワークに関するドキュメンテーションはさまざまな場所にあります。

- 以下に示すトピックでは、HCM 製品ファミリーに固有の設計ステップ、ナビゲーション パスおよび詳細に適用される承認フレームワークの機能について説明します。
- アプリケーション固有の HCM ドキュメンテーション (『*PeopleSoft Absence Management*』など) では、製品の標準ビジネス プロセスに関連する承認ワークフロー詳細を提供することにより、上記の内容をさらに詳細に解説しています。

- 『PeopleSoft 承認フレームワーク』では、全ての製品ファミリーに適用される共通承認フレームワークの機能について説明します。

導入の前に全ての適切な情報ソースに目を通して、それぞれの情報がどのように関連するかを完全に理解するようにしてください。

承認フレームワークを参照してください。

承認フレームワークのための HCM トランザクションの導入

製品には、承認フレームワークと動作するように設定済みの承認トランザクションが数多く用意されています。標準トランザクションについては、アプリケーション ページ内で標準トランザクション データを見直し、ビジネス プロセスに適しているか確認してください。

承認フレームワークと使用するための標準 HCM トランザクションを見直すには、次の手順に従います。

1. トランザクション登録ページを使用して、承認フレームワークに承認トランザクションを登録します。

「[承認トランザクションの登録](#)」を参照してください。

2. ワークフロー トランザクション ページを使用して、ヒューマン リソース管理のセルフサービス トランザクションを承認フレームワークにリンクします。

「[ワークフロー トランザクションのリンク](#)」を参照してください。

3. トランザクション設定ページで、承認トランザクションの設定オプションを設定します。

「[承認トランザクションの設定](#)」を参照してください。

4. プロセス定義の設定コンポーネントで、承認プロセス定義を設定します。

「[承認プロセス定義の設定](#)」を参照してください。

承認プロセス定義を設定するには、次の手順に従います。

- a. プロセス定義の設定ページで、承認プロセス定義のステージ、パスおよびステップを定義します。
- b. プロセス定義の設定ページのリンクからアクセスする条件定義ページで、定義、パスおよびステップレベルでのワークフロー承認プロセスの条件を定義します。
- c. 承認パス定義ページで、ワークフロー承認プロセスのパスの詳細を設定します。
- d. 承認ステップ定義ページで、承認ワークフロー プロセスのステップの詳細を定義します。
- e. さまざまなコンポーネントで動的承認を定義します。

「[動的承認の定義](#)」を参照してください。

5. 汎用テンプレート定義ページで、承認トランザクション用電子メールのテンプレートを作成します。

「[承認用の通知テンプレートの定義](#)」を参照してください。

- 6. ユーザー リスト定義ページで、承認トランザクションのユーザー リスト定義を管理します。
「承認用のユーザーの定義」を参照してください。
- 7. 通知およびエスカレーション マネージャを設定します。
「通知およびエスカレーション マネージャの設定」を参照してください。
- 8. PeopleTools セキュリティ コンポーネントで、適切な権限リストやロールおよび Web ライブラリを設定します。
「承認のためのセキュリティの設定」を参照してください。

標準トランザクションの他に、承認フレームワークと共に使用する他のトランザクションを導入する必要がある場合、追加の導入ステップを完了してください。これらのステップには、PeopleTools のアプリケーション デザイン内でのオブジェクト構築や、アプリケーション ページ内での設定が含まれます。追加の承認トランザクションの導入方法の詳細については、『PeopleSoft 承認フレームワーク』を参照してください。

承認コンポーネントのナビゲーション

PeopleSoft HCM には、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールをサポートするフォルダ グループをまとめたカスタム ナビゲーション ページが用意されています。

注: PeopleSoft HCM のカスタム ナビゲーション ページの他に、メニューによるナビゲーションと、標準のナビゲーション ページも使用できます。

このトピックでは、カスタム ナビゲーション ページを使用して、承認機能のコンポーネント内を移動する方法を説明します。

承認コンポーネントのナビゲーションに使用するページ

この表は、承認機能の設定および管理コンポーネントのナビゲーションに使用するカスタム ナビゲーション ページの一覧です。

ページ名	ナビゲーション	用途
承認設定センター	[HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [承認設定センター]	承認管理者および導入担当者は、このページのリンクを使用して、PeopleSoft HCM の承認フレームワークに対するトランザクションの登録および設定に必要なコンポーネントにアクセスできます。
承認/委任	[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任]	承認管理者はこのページのリンクを使用して、承認トランザクションのモニターとトラブルシューティング、および PeopleSoft HCM の委任管理に必要なコンポーネントにアクセスできます。

承認トランザクションの登録

承認トランザクションを登録するには、トランザクション登録 (EOAW_TXN) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、承認トランザクション レジストリの概要と前提条件について説明します。

承認トランザクションの登録で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"トランザクション登録ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_TXN	各承認トランザクションに固有の承認プロセス ID を作成することにより、承認フレームワークで承認トランザクションを登録します。トランザクション定義は、承認フレームワークに対してトランザクションの設定を記述するメタデータです。

承認トランザクション レジストリについて

承認トランザクション レジストリとは、開発者が承認フレームワークに PeopleSoft アプリケーションのトランザクションを登録する場合に使用するインターフェイスです。トランザクション登録ページを使用して、開発者はシステムが承認用に定義されたアプリケーション部分とどのように機能するかを定義します。承認が必要なトランザクションは、承認フレームワークにリンクされる候補になります。開発者は、トランザクション登録ページを使用して、PeopleTools アプリケーション デザイナでアプリケーション トランザクション (提示条件や従業員休暇欠勤リクエストなど) 用に作成したコンポーネントやイベント ハンドラ、レコードおよびクラスをリンクできます。トランザクション定義自体は、承認フレームワークに対してトランザクションの構成を記述するメタデータです。場合によっては、トランザクションの追加や変更を行うことがあります。アプリケーション開発者はトランザクションを構成する主要なレコードおよびコンポーネントを登録し、それから職務機能ビジネス アナリストが承認プロセス定義の基準とする承認トランザクションを選択することができます。

標準承認トランザクション プロセス ID

PeopleSoft HCM には、承認フレームワークと共に使用するアプリケーションに共通の承認トランザクション プロセス ID がいくつか用意されています。特にこれらのプロセス ID は、リクエストを処理する承認フレームワークが委任フレームワークとやりとりできるように、委任に関するトランザクションを承認フレームワークに登録するために使用されます。

トランザクション登録ページで承認トランザクションを承認フレームワークに登録する際は、承認トランザクションにヘッダーレコードを指定する必要があります。これらのプロセス ID をトランザクション設定コンポーネントで設定する際は、このヘッダーレコードおよびリストされたいずれかのフィールドを使用して、承認トランザクションを処理するための追加条件を定義できます。この追加条件は条件定義ページで定義します。このページは、トランザクション設定コンポーネントからアクセス可能です。トランザクション登録コンポーネントにリストされていないフィールドは、条件定義には使用できません。

この表は、PeopleSoft HCM アプリケーションに用意されている承認トランザクション プロセス ID の一覧です。

プロセス ID	説明
AbsenceManagement	休暇管理。
Absence_Mgmt_ByDeptManager	部門管理者による休暇管理。
Absence_Mgmt_ByPosMgmt	ポジション管理による休暇管理。
Absence_Mgmt_ByPosnDeptMgr	ポジション - 部門管理者による休暇管理。
Absence_Mgmt_ByPosnSupervisor	ポジション - 監督者による休暇管理。
Absence_Mgmt_BySupervisorId	監督者 ID による休暇管理。
Abs Mgmt - Leave Donations	休暇付与。
AM_Extended_Abs	延長休暇。
Delegation	承認フレームワークに対して委任トランザクションを定義します。
DelegationBatch	承認フレームワークに対してバッチ委任トランザクションを定義します。
DelegationNotifyAdmin	承認フレームワークに対して委任トランザクションを定義し、管理者が通知を受け取るようにします。
DelegationRevoke	承認フレームワークに対して、取り消された委任トランザクションを定義します。
JPMNonpersonProfiles	非個人プロフィール。
JPMPersonProfiles	個人プロフィール。
JobOffer	条件提示。
JobOpening	人材募集。
PerformanceManagement	評価トランザクション承認。
PromoteEmployee	昇進・昇格トランザクションの承認。
ReportingChgEmployee	管理者変更トランザクションの承認。

プロセス ID	説明
TLPayableTime	TL 給与支給対象時間プロセス ID。
TLReportedTime	TL レポート時間プロセス ID。
TransferEmployee	転属トランザクションの承認。

注: アプリケーション固有の標準の承認トランザクション プロセス ID については、アプリケーション固有のドキュメンテーションに含まれている対応するドキュメンテーションを参照してください。

注: 製品に搭載されている承認には、承認トランザクション レジストリが既にロードされています。通常は追加設定は不要です。

前提条件

承認トランザクションを登録する前に、PeopleTools アプリケーション デザイナで必要なオブジェクトを全て作成する必要があります。

承認トランザクション レジストリを定義するための事前設定を完了するには、以下の作業を行います。

- 承認ワークフローに標準搭載の承認済みイベント ハンドラ クラスを拡張するトランザクション ハンドラ アプリケーション クラスを作成します。
- イベントの通知テンプレートを作成します。これにはヘッダー レベルおよび行レベルでの承認と却下が含まれます。
- 必要に応じて、トランザクション データ ソースを作成します。
- 条件ソースとして機能するトランザクション テーブルのビューを作成します。
- アドホック ユーザーのソースとして機能するビューを作成します。
- 承認者の連絡先情報のソースとして機能するビューを作成します。

関連リンク

[承認フレームワークのための HCM トランザクションの導入](#)

ワークフロー トランザクションのリンク

セルフサービストランザクションと承認機能にリンクを設定するには、ワークフロー トランザクション (HCM_EO_TXN) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、ワークフロー トランザクションをリンクするのに使用するページをリストし、ワークフロー トランザクションをリンクする方法を説明します。

ワークフロー トランザクションのリンクで使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ワークフロー トランザクション ページ</u>	HCM_EO_TXN	セルフ サービス トランザクションを適切な承認機能 (承認フレームワーク、または以前のリリースからの既存の承認ワークフロー機能) にリンクします。承認フレームワークを使用するトランザクションの場合は、トランザクションに関連付けられている承認プロセス ID をさらに指定する必要があります。トランザクションの開始の委任および承認の委任を有効にすることもできます。

ワークフロー トランザクション ページ

ワークフロー トランザクション ページ (HCM_EO_TXN) を使用して、セルフ サービス トランザクションを適切な承認機能 (承認フレームワーク、または以前のリリースからの既存の承認ワークフロー機能) にリンクします。

承認フレームワークを使用するトランザクションの場合は、トランザクションに関連付けられている承認プロセス ID をさらに指定する必要があります。トランザクションの開始の委任および承認の委任を有効にすることもできます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [承認設定センター], [ワークフロー トランザクション], [ワークフロー トランザクション]

画像: ワークフロー トランザクション ページ ([ワークフロー トランザクション] グリッド)

次の例では、ワークフロー トランザクション ページ ([ワークフロー トランザクション] グリッド) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Workflow Transactions				
Workflow Transactions				
*Transaction Name	*Category	Description	Delegate Initiation	
Delegate_ePerformance_Dev	HR_TRANSACTIONS	Update ePerformance Dev Docs	☒	+ -
Delegate_ePerformance_Doc	HR_TRANSACTIONS	Update ePerformance Docs	☒	+ -
EP_CREATE	HR_TRANSACTIONS	Appraisals by Dflt Access Type	☐	+ -
EP_CREATE_GRP	HR_TRANSACTIONS	Appraisals by Group ID	☐	+ -
GPCH_ABSENCE	HR_TRANSACTIONS	Absence	☐	+ -
GPCH_ABSENCE_MGR	HR_TRANSACTIONS	Absence by Manager	☐	+ -
GPCH_OVERTIME	HR_TRANSACTIONS	Overtime	☐	+ -
GPCH_OVERTIME_MGR	HR_TRANSACTIONS	Overtime by Manager	☐	+ -
GP_ABS_EESS_BAL	HR_TRANSACTIONS	Employee Absence Balance	☒	+ -

[ワークフロー トランザクション] グリッドと [承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッドは、相互に排他的です。両方のグリッドで同じトランザクションを登録することはできません。登録しようとするとエラーが表示され、ページを保存するにはどちらか一方を削除する必要があります。

ワークフロー トランザクション

[ワークフロー トランザクション] グリッドを使用して、以前のリリースからの既存のワークフロー設定を使用するセルフサービストランザクションを登録します。たとえば、現在セルフサービストランザクションがコンポーネント インターフェイスを介して最終承認されると同時に、主要なレコードが更新されるよう設定されている場合、[ワークフロー トランザクション] グリッドにトランザクションの一覧を表示できます。こうすることで、これらの設定値を活用できます。

トランザクション名	どちらか一方のグリッドかまたは両方に、セルフサービストランザクションの名称を入力します。
カテゴリ	セルフサービストランザクションにカテゴリを割り当てます。通常、セルフサービストランザクションは全て HR_TRANSACTIONS のカテゴリに割り当てられます。カテゴリは、ワークフロー トランザクション カテゴリ ページで設定できます。 <u>「セルフサービストランザクションにおけるワークフローの使い方」</u>を参照してください。
説明	セルフサービストランザクションの説明を入力します。
開始の委任	以前のリリースからの既存の承認設定を使用する対応するセルフサービストランザクションについて、トランザクションの開始の委任を有効にする場合に選択します。トランザクションは開始タイプの委任トランザクションとして設定可能になります。委任トランザクションは、委任トランザクション設定ページで設定できます。 <u>「委任トランザクションの設定」</u>を参照してください。

承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション

[承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッドを使用して、承認/委任フレームワークを使用するセルフサービストランザクションを登録します。このグリッドに入力したデータによって、トランザクション名と関連する HCM セルフサービストランザクションのテーブルは、承認プロセス ID にリンクされます。これらのトランザクションの承認プロセス ID は、承認フレームワークの設定中にトランザクション登録ページで作成します。

注: 特定のトランザクションは一度しかリストすることができません。委任処理の要件に違反するため、同じ承認フレームワークのトランザクションを複数の HR_TRANSACTIONS に割り当てることはできません。

画像: ワークフロートランザクション ページ ([承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッド: [詳細 1] タブ)

次の例では、ワークフロートランザクション ページ ([承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッド: [詳細 1] タブ) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Workflow Engine (AWE) and Delegation Transactions				
Details1		Details2		
*Transaction Name	*Category	Description		
EP_APPRAISAL	HR_TRANSACTIONS	Performance Document	+	-
FE_ADDRESS	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Addr Change	+	-
FE_FTPT	HR_TRANSACTIONS	Federal Full/Part Time Change	+	-
FE_LOCATION	HR_TRANSACTIONS	Federal Location Change	+	-
FE_MARITAL	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Mar Change	+	-
FE_NAME	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Name Change	+	-
FE_PROMOTION	HR_TRANSACTIONS	Federal Promotion	+	-
FE_REASSIGN	HR_TRANSACTIONS	Federal Reassignment	+	-
FE_REPORTING	HR_TRANSACTIONS	Federal Reporting Change	+	-
FE_RETIRE	HR_TRANSACTIONS	Federal Retirement	+	-
FE_SEPARATE	HR_TRANSACTIONS	Federal Separation	+	-
GP Payroll Approval CHN	HR_TRANSACTIONS	GP Payroll Approval CHN	+	-
GP_SS_ABS_APPR_L	HR_TRANSACTIONS	Manager Absence Approve	+	-
HR_FULL_PART_CHG	HR_TRANSACTIONS	Change Full/PT Status	+	-

画像: ワークフロートランザクション ページ ([承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッド: [詳細 2] タブ)

次の例では、ワークフロートランザクション ページ ([承認ワークフロー エンジン (AWE)/委任トランザクション] グリッド: [詳細 2] タブ) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Workflow Engine (AWE) and Delegation Transactions									
Details1		Details2							
*Transaction Name	*Approval Process ID	Org Viewer Service ID	Delegate Initiation	Delegate Approvals	Combine Partial	Limit Drill Up			
EP_APPRAISAL	PerformanceManagement		☐	☒	☐	☐	+	-	
FE_ADDRESS	FederalAddrChg		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_FTPT	FederalFTPTChange		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_LOCATION	FederalLocationChg		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_MARITAL	FederalMarChg		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_NAME	FederalNameChg		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_PROMOTION	FederalPromoteEmployee		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_REASSIGN	FederalReassignEmployee		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_REPORTING	FederalRportingChg		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_RETIRE	FederalRetireEmployee		☐	☐	☐	☐	+	-	
FE_SEPARATE	FederalSeparateEmployee		☐	☐	☐	☐	+	-	
GP Payroll Approval CHN	GPCN_Payroll_Approval		☐	☒	☐	☐	+	-	
GP_SS_ABS_APPR_L	AbsenceManagement	GP_ABS_MGRSS_REQ	☐	☒	☐	☐	+	-	
HR_FULL_PART_CHG	FTPTChangeEmployee		☒	☒	☐	☐	+	-	

トランザクション名

どちらか一方のグリッドかまたは両方に、セルフサービストランザクションの名称を入力します。

カテゴリ	セルフサービストランザクションにカテゴリを割り当てます。通常、セルフサービストランザクションは全て HR_TRANSACTION のカテゴリに割り当てられます。カテゴリは、ワークフローランザクション カテゴリ ページで設定できます。
説明	セルフサービストランザクションの説明を入力します。
承認プロセス ID	承認フレームワークの導入時には、ランザクション登録ページでそれぞれの HCM セルフサービストランザクションについて、プロセス ID という固有のランザクション レジストリ ID を定義します。このセルフサービストランザクションに定義した承認プロセス ID を選択します。セルフサービストランザクションと承認フレームワーク間にこのリンクを作成することにより、セルフサービストランザクションはランザクション名を用いて動的にこの承認プロセス ID を取り込み、承認フレームワークを呼び出すことができます。承認フレームワークは、処理中にこのパラメータを必要とします。
開始の委任	承認フレームワークを使用する対応するセルフサービストランザクションについて、ランザクションの開始の委任を有効にする場合に選択します。ランザクションは開始タイプの委任ランザクションとして設定可能になります。委任ランザクションは、委任ランザクション設定ページで設定できます。
承認の委任	対応するセルフサービストランザクションについて、ランザクション承認の委任を有効にする場合に選択します。ランザクションは承認タイプの委任ランザクションとして設定可能になります。この機能は、下のグリッドで承認フレームワークに登録したランザクションでのみ使用できます。 [開始の委任] および [承認の委任] チェック ボックスを両方ともオンにすると、開始と承認を委任するようランザクションを設定できるようになります。委任ランザクションは、委任ランザクション設定ページで設定できます。
一部を統合	部門管理者への一部ポジションレポートが見つかった後も部門管理者の検索を続行する場合はオンにします。いずれかのアクセス タイプで見つかり管理者 ID の検索を停止する場合はオフにします。
ドリルアップ制限	管理者が見つかるまでアクセス タイプのドリルアップが続行可能な場合はオンにします。次のレベルにのみアップ可能な場合は、このチェック ボックスをオフにします。
関連リンク	
<u>委任について</u>	

承認トランザクションの設定

通知をトリガするアクションや通知の送信先、通知内容を決定する要素を選択および定義するには、トランザクション設定 (EOAW_TXN_CONFIG) コンポーネントを使用します。

HCM トランザクションの場合、ワークフロー エンジンが承認フレームワークおよび委任と機能するためには、[ユーザー ユーティリティ] セクションに特定の値を入力する必要があります。[ユーザー ユーティリティ パッケージ] フィールドでは、値 "HCSC_USER_UTILITIES" を選択する必要があります。[ユーザー ユーティリティ パス] フィールドでは、値 "UserUtilities" を選択する必要があります。PeopleSoft HCM にはこれらの値が用意されています。

ユーザー ユーティリティ クラスはユーザーを委任と照合してチェックし、ユーザーが権限を委任したかどうかを判断します。委任していない場合は、ユーザー ユーティリティ クラスはそのユーザーのプロファイルに代替ユーザーが設定されているか確認します。

[イベント] セクションでは、指定した各関係者への通知に含める、デフォルト URL を構築する情報を定義します。

このトピックでは、承認トランザクションの設定に使用するページについて説明します。

承認トランザクションの設定で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"トランザクションの設定ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_TXN_NOTIFY	承認プロセス ID に関連する全てのイベントと通知を設定することにより、承認トリガの特定の導入が使用される方法を設定します。

承認プロセス定義の設定

承認プロセス定義を設定するには、プロセス定義の設定 (EOAW_PRC) コンポーネントを使用します。

ビジネス アナリストは、このコンポーネントを使用して承認プロセス定義を設定します。プロセスは、ステージ、パスおよびステップから構成されます。承認パスに設定する承認ステップは、トランザクションに必要な承認レベルを表します。

次のような承認プロセスを構築できます。

- 組織または階層型の承認範囲内にある承認プロセス。
- 監督者や部門の承認など、代替階層を使用する承認プロセス。
- 部門と人事の同時承認など、並行する複数の経路を使用する承認プロセス。

- 最初に部門の承認を得てから次に人事の承認を得るというような、段階ごとの経路を使用する承認プロセス。

通常の承認プロセスには次の関係者がいます。

- あるトランザクションを承認できる従業員や監督者。
- 各ステップに 2 人の承認者。あるステップで両方の承認者が承認しなければ、リクエストが次のステップに進みません。

"プロセス定義の設定コンポーネントの定義" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク) を参照してください。

次の各トピックでは、承認プロセス定義の設定に使用するページをリストし、HCM 承認プロセス定義の設定例を確認します。

承認プロセス定義の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
"プロセス定義の設定ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_PRCs_MAIN	ワークフロー承認プロセスのステージを定義します。
"条件定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_CRITERIA	ワークフロー承認プロセスの条件を定義します。条件定義を使用して、実行時に承認フレームワークがブール演算の結果 (真または偽) を出すために評価する計算ロジックを定義します。 このページは警告条件の定義にも使用します。警告条件は他の条件タイプと原則的に同じですが、適用方法が異なります。警告条件を使用して、警告をいつ表示するかを決定できます。たとえば、トランザクションが指定の条件を満たす場合に、承認トランザクション ページで承認者にメッセージを表示することが可能です。このページを使用して警告条件を定義するには、プロセス定義の設定ページの [警告条件] のリンクをクリックしてください。警告条件には異なる点が 2 つあります。 [説明] フィールドは、承認ページで表示される実際の警告テキストです。 - 条件によって、警告を承認ページに表示するか、あるいは行またはヘッダーを承認のために転送するかが決まります。

ページ名	定義名	用途
"承認パス定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_PATH_SEC	ワークフロー承認プロセスのパス詳細を設定します。
"承認ステップ定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_STEP_SEC	ワークフロー承認プロセスのステップの詳細を定義します。
承認プロセスのコピー ページ	EOAW_PRCO_COPY	既存の承認プロセス定義をコピーして新しいプロセス定義を作成します。新しい定義 ID と有効日を割り当てる必要があります。
承認プレビュー ページ	EOAW_PRCO_MON_SRC	承認プロセス定義の経路をプレビューすることにより確認します。

HCM 承認プロセス定義の設定例の確認

このトピックでは、PeopleSoft HCM に固有のトランザクションについて、承認プロセス定義の設定方法の例を説明します。

この例では、従業員の休暇リクエストの承認を処理する承認プロセス定義を作成します。

1. まず、承認プロセスのステージ、パスおよびステップを定義する必要があります。

プロセス定義の設定ページ (EOAW_PRCO_MAIN) を使用して、ワークフロー承認プロセスのステージを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [承認プロセス設定], [プロセス定義の設定]

画像: 承認プロセス定義の設定

次の例では、プロセス定義の設定ページを使用して承認プロセス定義を設定する方法を説明します。

この例の承認プロセスには、ステージとパスがそれぞれ 1 つずつ、ステップが 2 つあります。例にあるステージには組織で 1 つの承認パスが含まれ、このパスには従業員が休暇を取得するまでに 2 つのレベルの監督者による承認が必要です。まず、従業員の監督者が承認し、続いてその監督者の管理者がリクエストを承認する必要があります。

承認プロセス定義には、複数のステージ、パスおよびステップを定義できます。たとえば、従業員の休暇リクエストに管理者の承認が必要だとします。この場合、管理者の承認を必要とするステップを 1 つ含む追加のパスを既存のステージ内に作成します。

承認フレームワークは、複数のステージとステップを順番に処理します。指定のパスで前のステップが完了するまで、エンジンは次のステップに進むことはできません。同じように、あるステージ内の全てのパスが完了しないと、エンジンは次のステージに進むことができません。ただし、パスの場合は静的 (順番に処理) または動的 (並行して処理) のいずれかとして定義できます。

- ここで、承認フレームワークが実行時に評価してブール演算の結果を出すロジックを追加します。条件は定義、パス、ステップのレベルで定義できます。この例の場合はロジックを定義レベルに追加し、このロジックによって従業員 ID の値を持たない休暇リクエストがあった場合に、承認フレームワークに処理を停止するように指示します。

条件定義ページ (EOAW_CRITERIA) を使用して、ワークフロー承認プロセスの条件を定義します。

ナビゲーション

- プロセス定義の設定ページで、[定義条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページで、[警告条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページの [パス] セクションで、[条件] リンクをクリックします。
- プロセス定義の設定ページの [ステップ] セクションで、[条件] アイコンをクリックします。

画像: 処理条件の定義

次の例では、条件定義ページを使用して処理条件の定義を定義する方法を説明します。

The screenshot shows the 'Criteria Definition' page. At the top, there's a dropdown for '*Criteria Type' set to 'User Entered' and a checked checkbox for 'All Criteria Needed to Satisfy'. Below this is a section for 'User Entered Criteria' with a 'Description' field and a '+ -' button. Underneath is the 'Field Criteria' section, which includes a 'Record' field, a 'Field Name' field, and a table for defining criteria. The table has columns for '*Criteria Operator', 'Value', 'Value', and 'List Values'. The first row shows '1' in the first column, a dropdown for the operator, and empty fields for the values. Below the table is the 'Monetary Criteria' section, which includes fields for 'Amount Record', 'Currency Field', 'Amount Field', 'Operator' (set to 'Greater Than or Equal To'), 'Amount' (set to '0.000'), 'Currency Code', and 'Rate Type'. At the bottom are 'OK', 'Cancel', and 'Apply' buttons.

条件定義を使用して、実行時に承認フレームワークがブール演算の結果 (真または偽) を出すために評価する計算ロジックを定義します。このページは警告条件の定義にも使用します。警告条件は他の条件タイプと原則的に同じですが、適用方法が異なります。警告条件を使用して、警告をいつ表示するかを決定できます。たとえば、トランザクションが指定の条件を満たす場合に、承認トランザクションページで承認者にメッセージを表示することが可能です。このページを使用して警告条件を定義するには、プロセス定義の設定ページの [警告条件] のリンクをクリックしてください。警告条件には異なる点が2つあります。

このページで以下の操作を実行します。

- [条件タイプ] フィールドの値として [ユーザー入力] を選択します。

これによって、ページでフィールドが有効になり、条件を手動で定義できるようになります。

- b. [全ての条件必須] チェック ボックスを選択します。

このチェック ボックスはデフォルトで選択されています。

- c. [フィールド条件] グループ ボックスを使用して、必要なロジックを指定します。[レコード] フィールドで、このトランザクションのヘッダー レコードを選択します。トランザクションのヘッダー レコードは、トランザクション登録ページで定義します。この場合、トランザクションのプロセス ID は *AbsenceManagement* で、これにはヘッダーレコードの *GP_ABS_SS_DAT* が定義されています。プロセス ID の該当するヘッダーレコード内に定義されているフィールドのいずれかを選択します。

この例では、*EMPLID* が選択されています。ロジックを完了するには、[条件演算子] フィールドで *[NOT BLANK]* 値を選択します。

- d. [適用] をクリックし、次に [OK] をクリックします。

この条件定義のロジックは、休暇リクエストを処理する際に、承認フレームワークがこの定義 ID を使用して、トランザクションの一部に従業員 ID を含む *AbsenceManagement* 承認プロセス ID に関連する、全てのトランザクションを処理することを意味します。トランザクションに従業員 ID の値が含まれない場合、承認フレームワークは、関連の承認プロセス ID のトランザクション処理に必要な必須条件に一致する別の定義 ID を引き続き検索します。

3. 次に、現在の承認者が 3 日以内に返答しない場合に、承認フレームワークがパス内の次の承認者に承認を転送する必要があります。[パス] グループ ボックスの [詳細] リンクをクリックして、承認パス定義ページにアクセスします。

承認パス定義ページ (*EOAW_PATH_SEC*) を使用して、ワークフロー承認プロセスのパスの詳細を設定します。

ナビゲーション

プロセス定義の設定ページで、[パス] グループ ボックス内の [詳細] リンクまたはアイコンをクリックします。

画像: タイムアウト オプションを 3 日に指定

次の例では、承認パス定義ページを使用して、タイムアウト オプションを 3 日に指定する方法を説明します。

Approval Path Definition

Criteria

Approval Path 1

*Step Source: Static

Description: Abs Mgmt By Supervisor Multi

Long Description

☐ Skip Prior Steps for Requester

Timeout Options

*Escalate Option	Hours	Days	Reassign To	User List	Use Proxy
1	Notify Participant				☐

OK Cancel

[タイムアウト オプション] グループ ボックスを使用して、特定の時間が経過した後に特定のトランザクションやリクエストがどう処理されるかを定義します。たとえば、特定の時間や日数が経過した後、関係者へ通知したり、承認を先に進めるか、または割り当てをやり直すことができます。データベース内の特定のユーザーや定義済みのユーザー リストに、リクエストの割り当て先を変更することができます。

この例の条件を満たすには、[エスカレーション オプション] フィールドを [事前承認] に、[日数] フィールドを 3 に設定し、[OK] をクリックします。

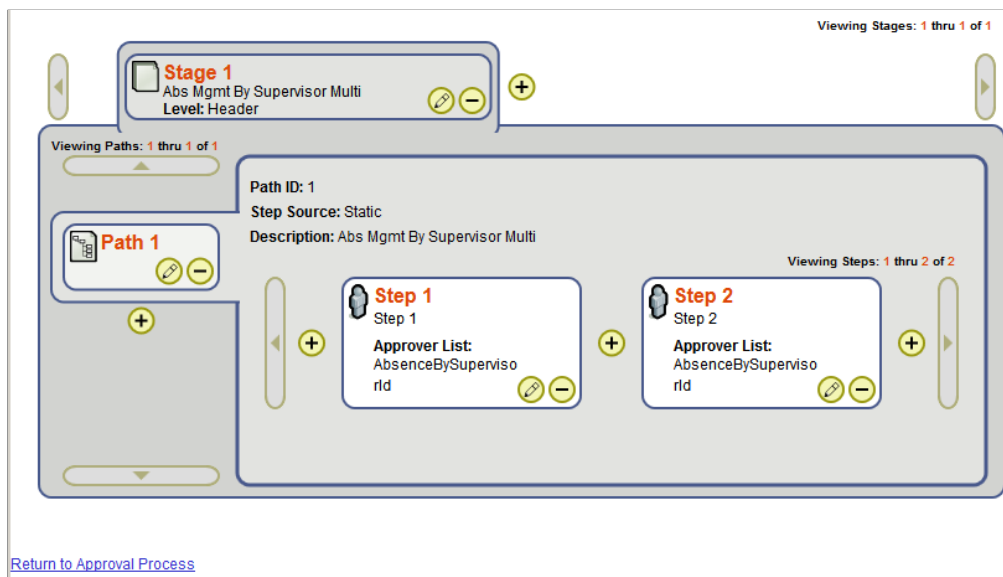
- これで承認プロセス定義が完了しました。次にグラフィックによる表示を見てみましょう。

ナビゲーション

プロセス定義の設定ページの上にある [承認プロセス表示] リンクをクリックします。

画像: 承認プロセス定義の参照

次の例では、承認ステップ定義ページを使用して承認プロセス定義を表示する方法を説明します。



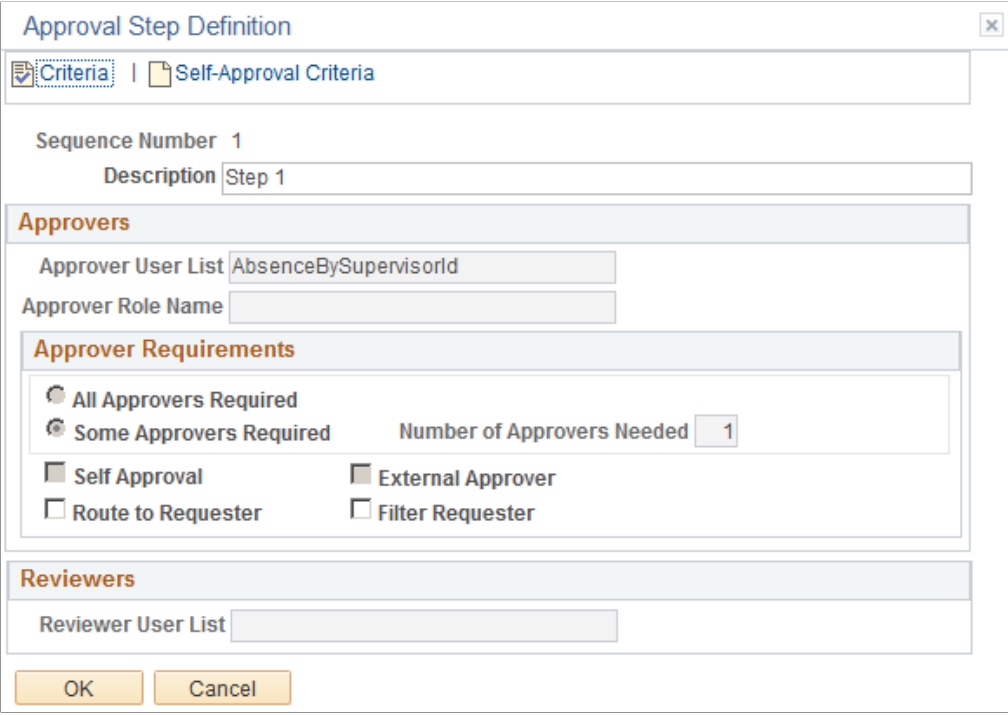
承認ステップ定義ページ (EOAW_STEP_SEC) を使用して、ワークフロー承認プロセスのステップの詳細を定義します。

ナビゲーション

プロセス定義の設定ページで、[ステップ] グループ ボックス内の [詳細] アイコンをクリックします。

画像: ワークフローのステップの詳細の定義

次の例では、ワークフローのステップの詳細を定義する方法を説明します。



The image shows a dialog box titled "Approval Step Definition". It has a tabbed interface with "Criteria" selected. Below the tabs, there are fields for "Sequence Number" (set to 1) and "Description" (set to "Step 1"). The "Approvers" section contains a text field for "Approver User List" (set to "AbsenceBySupervisorId") and an empty field for "Approver Role Name". The "Approver Requirements" section has radio buttons for "All Approvers Required" and "Some Approvers Required" (selected), with a "Number of Approvers Needed" field set to 1. There are also checkboxes for "Self Approval", "External Approver", "Route to Requester", and "Filter Requester". The "Reviewers" section has a text field for "Reviewer User List". At the bottom are "OK" and "Cancel" buttons.

Approval Step Definition	
Criteria Self-Approval Criteria	
Sequence Number	1
Description	Step 1
Approvers	
Approver User List	AbsenceBySupervisorId
Approver Role Name	
Approver Requirements	
☐ All Approvers Required	
☒ Some Approvers Required	Number of Approvers Needed: 1
☐ Self Approval	☐ External Approver
☐ Route to Requester	☐ Filter Requester
Reviewers	
Reviewer User List	
OK Cancel	

プロセス定義の設定ページでは、承認プロセス定義をグラフィックを用いて表示し、必要があれば定義をすばやく修正することが可能です。[+] や [-] ボタン、または修正ボタンをクリックしてステップを

変更します。たとえば、休暇リクエストに 3 番目の承認ステップがあった方が良いでしょう。ステップ 2 の後の [+] をクリックしてください。

画像: 承認プロセス表示ページから追加ステップを追加

次の例では、承認プロセス表示ページから追加ステップを追加する方法を説明します。

The screenshot shows the 'Setup Process Definitions' interface. At the top, there are tabs for 'Clone Approval Process', 'Approval Process Viewer', and 'Preview Approval Process'. Below these, the process details are listed: Process ID: ApproveCompensationProposals, Definition ID: ByTreeNode2Lvl, Effective Date: 01/01/1900, and Description: Compensation Two Step Approval. The 'Definition Options' section includes tabs for 'Definition Criteria', 'Alert Criteria', 'Definition Notifications', and 'Timeout Options'. Under 'Definition Criteria', there are fields for '*Admin Role' (AWE Administrator), '*Status' (Active), and 'Priority' (1). There are also checkboxes for 'Default Process Definition', 'User Auto Approval' (checked), 'Route to Requester', and 'Include Requester'. The 'Stages' section is expanded, showing a table of steps. The table has columns for 'Description', 'Approver User List', 'Details', and 'Criteria'. Step 1 is 'Next Available Submitter' with approver 'WCSGetNextHighestSubmitt'. Step 2 is 'Next Available Administrator' with approver 'WCSGetNextHighestAdmin'. A third step is being added, indicated by a '+' button at the bottom of the table.

プロセス定義の設定ページに自動的に戻り、ステップ 2 の後に新しい行が挿入されているので、新しいステップをここに入力します。定義を終えたら [保存] をクリックします。

動的承認の定義

動的承認を設定するには、プロセス定義の設定 (EOAW_PRCs)、ユーザー リスト管理 (EOAW_USER_LIST)、ロール (ROLEMAINT)、およびユーザー プロファイル (USERMAINT) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、動的承認の権限を設定する方法の概要について説明し、動的承認の定義に使用するページをリストします。

動的承認の定義で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"承認権限ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_AUTH	動的パスのロールと承認者に権限を付与します。
"プロセス定義の設定ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_PRCES_MAIN	ワークフロー承認プロセスのステージを定義します。
"条件定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_CRITERIA	ワークフロー承認の条件を定義します。条件定義を使用して、実行時に承認フレームワークがブール演算の結果 (真または偽) を出すために評価する計算ロジックを定義します。
"承認パス定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_PATH_SEC	ワークフロー承認パスの詳細を設定します。
"承認ステップ定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_STEP_SEC	承認ワークフローのステップの詳細を定義します。
"ユーザーリスト定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_USER_LIST	承認トランザクションの転送に使用されるユーザーリスト定義を作成および管理します。また、承認プロセスでステップと共に使用するユーザーのソースも定義します。
ロール - 一般ページ	ROLEDEFN	ワークフローのロールを設定します。
ユーザー プロファイル - 一般ページ	USER_GENERAL	ユーザー ID を設定してロールを割り当てます。

動的承認の権限の設定方法について

PeopleSoft アプリケーションでは、ワークフローを使用して承認パスを 2 つの方法で設定します。最初の設定方法では、ステップごとに全ての承認を定義します。2 番目の方法では、動的承認を作成します。動的承認を使用すると、1 つのステップを作成でき、そのステップではシステム的に潜在的な全ての承認者を識別し、その承認者に承認を完了するための十分な権限があるかどうかを検索すると同時に、ユーザーがプロセス内の必要な承認者を全て参照できるように、視覚的なパスを作成します。

動的承認の権限を設定するには、承認管理者は以下を実行する必要があります。

1. ユーザーリスト定義ページを使って、動的承認のユーザーリストを定義します。

承認フレームワークには、承認を監督者に転送する最も一般的な承認シナリオに対応するユーザーリストが用意されています。依頼者がエンドユーザーで、直属の監督者が 5,000.00 USD を超える金額を承認できない場合、人材募集が 6,000.00 USD であれば、その人材募集は次のレベルの監督者に転送されます。直属の監督者のユーザー ID は、ユーザー プロファイルにリストされます。

注: ユーザー ID 承認転送を使って監督者を有効にするには、職務について自分の ID に監督者が割り当てられている必要があります。

2. 承認権限ページで動的パスに対してロールや承認者を許可することにより、承認権限を作成します。

承認権限ページは [PeopleTools] からでも利用できますが、アプリケーションで使用可能にするにはポータル ナビゲーションに追加する必要があります。このページをポータル ナビゲーションに追加するには、[PeopleTools], [ポータル], [フォルダ/コンテンツ参照] の順に選択します。表示されているページで、[HCM 基本設定]、[共通定義]、[承認] の順にクリックし、[権限] オプションの [編集] リンクをクリックします。[ナビゲーションに表示しない] チェック ボックスをオフにし、[保存] をクリックします。続いて、[PeopleTools], [ポータル], [ポータル セキュリティの同期] の順に選択し、ポータルのキャッシュが変更を認識するように、ポータル セキュリティの同期プロセスを実行します。

定義 ID を指定しない場合、権限は汎用になります。特定の定義 ID について承認権限を作成するには、各定義 ID に行を追加する必要があります。

注: 承認権限ページで自己承認を有効にすると、静的パスのステップで自己承認が置き換えられます。

3. 承認パス定義ページで動的承認パスを定義します。

注: パス内でワークフロー エンジンを実アクティブにするトリガとなる条件を作成する際は、差が発生しないように必ず最終承認者を [>] として設定してください。

動的承認パスを定義するには、次の手順に従います。

- a. [ステップ ソース] フィールドで、動的承認パスとして [動的] を選択します。
- b. [承認者がいない場合管理者に通知] チェック ボックスをオンにして、パスの承認者がいない場合に承認管理者へ通知するように指示します。このオプションは、[ステップ ソース] が [動的] の場合にのみ使用できます。
- c. [前の承認依頼ステップを省略] チェック ボックスをオンにすると、このパスの承認者の 1 人が依頼者でもある場合、その承認者のステップより前にあるこのパスのステップを全て省略します。
- d. 承認権限を有効にするには、[権限をチェック] チェック ボックスをオンにします。
- e. [権限のないユーザーをスキップ] チェック ボックスをオンにすると、承認の条件を一部満たさないとシステムが判断した場合に、承認プロセスでユーザー リストに含まれるユーザーを省略できます。

動的承認の詳細および例は、『PeopleSoft 承認フレームワーク』の「動的承認の定義」を参照してください。

"動的承認の定義" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク) を参照してください。

承認用の通知テンプレートの定義

承認用の通知テンプレートを設定するには、汎用テンプレート (WL_TEMPLATE_GEN) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、汎用テンプレート定義の概要について説明し、通知テンプレート定義に使用するページをリストします。

承認用の通知テンプレートの定義で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"汎用テンプレート定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	WL_TEMPLATE_GEN	汎用テンプレート定義を入力します。

汎用テンプレート定義について

承認フレームワークが電子メール通知をトリガするたびに、トランザクション設定ページで設定した通知ルールに基づいて電子メールが作成されます。電子メールは、このページにある [通知] グループ ボックスの [テンプレート名] フィールドで指定したテンプレートに準拠します。

また、電子メール通知テンプレートでバインド変数 (%1、%2、%3 など) を指定した場合は、PeopleTools アプリケーション デザイナで SQL オブジェクトを作成する必要があります。承認フレームワークは、この SQL オブジェクトを使用して、ユーザーが通知テンプレートに定義したバインド変数をロードします。SQL オブジェクトは、トランザクション設定ページの [SQL オブジェクト ID] フィールドで電子メール通知に割り当てます。

承認フレームワークは、%1 バインド変数を、電子メール通知内で自動生成されたアプリケーション コンポーネントへのリンクのプレースホルダとして予約しています。電子メール通知に自動生成されたリンクを表示しない場合は、汎用テンプレート定義ページでテンプレート変数の一覧から %1 バインドを除外してください。

関連リンク

"承認フレームワーク用の通知テンプレートの定義" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)
[委任用の標準の通知テンプレートの確認](#)

承認用のユーザーの定義

承認用のユーザーを設定するには、ユーザー プロファイル (USERMAINT) およびユーザー リスト管理 (EOAW_USER_LIST) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、承認内のユーザー リストの概要について説明し、承認用のユーザーの定義に使用するページをリストします。

承認用のユーザーの定義で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"ユーザー プロファイル - ロール ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	USER_ROLES	ワークフロー ロールをユーザーに添付します。ロールとは、事務担当や購買担当、管理者など同じタイプの作業を行うユーザーのクラスです。ロールによって、ユーザーがワークフローでどのように機能するかを記述します。 ロール ユーザー ID によって、ワークリスト アイテムをユーザーに転送する方法、およびユーザーがワークフローで担当するロールの追跡方法が決まります。
"ユーザー プロファイル - ワークフロー ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	USER_WORKFLOW	ユーザー プロファイルのワークフローを定義します。このページを使用して、ワークフロー プロセスの一部となる代替ユーザーを定義します。代替ユーザーは、基本承認者および監督者が欠席中に承認を処理するために定義します。 委任機能を使用しているときに代替ユーザー ID を使用する場合は、「委任の設定と使い方」のトピックを参照してください。
"ユーザー リスト定義ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_USER_LIST	承認トランザクションの転送に使用されるユーザー リスト定義を作成および管理します。また、承認プロセスでステップと共に使用するユーザーのソースも定義します。 クエリー オプションを使用して承認ワークフローのユーザー リストを定義する場合は、クエリー マネージャ コンポーネントでクエリーを作成するときに、クエリーの [クエリー タイプ] の値を [プロセス] に設定する必要があります。[クエリー タイプ] の値を [ユーザー] に設定すると、エラーになります。

承認内のユーザー リストについて

ユーザー リストとは、SQL ステートメントの結果や PeopleSoft のロール、または PeopleSoft アプリケーション クラスとして表される、ユーザーの集まり (PeopleSoft ユーザー ID) です。ユーザー リストを使用して、トランザクションごとの承認階層のビジネス プロセスを表します。PeopleSoft には定義済みのユーザー リストが用意されています。標準のユーザー リストが組織の階層に適さない場合、ユーザー リスト管理コンポーネントを使用して独自のリストを定義できます。

HCM の標準ユーザー リスト

PeopleSoft HCM には、承認フレームワークと共に使用するための以下の共通ユーザー リストが用意されています。

ユーザー リスト	説明
部門管理者別	部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドを使用します。
一部ポジション管理 - 部門管理者別	職務情報ページの [直属上司] フィールド、およびそのポジションの [管理者 ID] フィールドと部門プロファイル ページの部門を使用します。
一部ポジション管理 - 監督者別	職務情報ページの [直属上司] フィールド、および同じページからそのポジションの [監督者 ID] フィールドを使用します。
ポジション管理別	職務情報ページの [直属上司] フィールドを使用します。
監督者 ID 別	職務情報ページの 監督者 ID フィールドを使用します。

注: アプリケーションに固有の標準のユーザー リストについては、アプリケーション固有のドキュメンテーションに含まれている対応するドキュメンテーションを参照してください。

複数の職務とユーザー リスト

PeopleSoft HCM には、特に従業員の職務情報を受け渡しするために作成されたアプリケーション クラスに基づいて、一連のユーザー リストや承認階層が用意されています。これらのユーザー リストは組織内のロールに呼応し、承認フレームワークで、複数の職務がある従業員の承認を転送する際に使用される職務を選択できます。

複数の職務を持つ従業員が、セルフサービス承認処理中に職務に関連したトランザクションを受け取ったときは、トランザクションを処理する対象の職務を選択するようプロンプトが表示されます。複数職務機能の場合、標準のユーザー リストはユーザー リストのソースとしてアプリケーション クラスを使用します。[ルート パッケージ ID] フィールドは `HCSC_USERLIST_UTILS` および次の標準アプリケーション クラスパスの値に設定されます。

アプリケーション クラス パス	関連のユーザー リスト定義
<code>HCSC_USERLISTS:GetApproversByPositionMgmt</code>	ポジション管理別
<code>HCSC_USERLISTS:GetApproversByDeptManager</code>	部門管理者別
<code>HCSC_USERLISTS:GetApproversByPosnDeptMgr</code>	一部ポジション管理 - 部門管理者別
<code>HCSC_USERLISTS:GetApproversByPosnSupervisor</code>	一部ポジション管理 - 監督者別

アプリケーション クラス パス	関連のユーザー リスト定義
HCSC_USERLISTS:GetApproversBySupervisorId	監督者 ID 別

標準のユーザー リストは、直属上司機能と共に PeopleSoft ヒューマン リソース管理に標準搭載のさまざまなアクセス タイプに対応します。これらの標準ユーザー リストのそれぞれが、直属部下の構造の定義方法 (監督者別や部門別など) に合わせて使用されます。

カスタムのユーザー リストを定義して複数の職務機能を必要とする場合、これらの同じアプリケーション ルート パッケージ ID およびアプリケーション クラス パスの値を使用する必要があります。PeopleSoft HCM は、定義済みの標準ユーザー リストでのみ複数職務機能をサポートしています。

注: PeopleSoft HCM は、これらのカスタムのユーザー リストについては、複数職務機能をサポートしていません。

『PeopleTools: PeopleCode Developer's Guide』を参照してください。

通知およびエスカレーション マネージャの設定

通知およびエスカレーションを設定するには、イベント タイプの定義 (EOAW_NEM_EVENTS)、イベントの定義 (EOAW_NEM)、イベント ステータス (EOAW_NEM_STATUS)、およびジョブセット定義 (SCHDLDEFN) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、通知およびエスカレーションの概要、通知とエスカレーション マネージャの設定に使用するページ、およびイベント ステータスを表示する方法について説明します。

通知およびエスカレーション マネージャの設定で使用するページ

ページ名	定義名	用途
"イベント タイプの定義" ページ (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_NEM_EVENTS	イベントをサーバーに関連付けます。
イベントの定義ページ (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_NEM_SETUP	エスカレーション イベントを設定し、評価およびアクションの詳細を定義します。
<u>イベント ステータス ページ</u>	EOAW_NEM_STATUS	イベントのステータスを表示します。
"エスカレーション カレンダー設定ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_CALENDAR	承認プロセス設定ページでタイムアウト オプションの定義に使用できるカスタム カレンダーを定義します。

通知とエスカレーションについて

通知およびエスカレーション マネージャ (NEM) は、通知およびエスカレーションを指定された間隔で処理する際に使用するメカニズムです。

たとえば、承認者が指定した時間内に承認待ちのトランザクションに返答しない場合に、エスカレーションを使用します。時間 (タイムアウト) を指定して、アクションを催促するために承認を通知してエスカレーションを実行する承認者を切り替えることができます。タイムアウト オプションは、承認パス定義ページで定義します。

イベント ステータス ページ

イベント ステータス ページ (EOAW_NEM_STATUS) を使用して、イベントのステータスを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [通知とエスカレーション], [イベント ステータス], [イベント ステータス]

画像: イベント ステータス ページ

次の例では、イベント ステータス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Event ID APPROVALACTIVITYEMAIL		Log Delete Options	
Event Type APPROVAL ACTIVITY EMAIL		This Event	All Events
Notification Manager			
		View All First 1-16 of 16 Last	
	Date Time Stamp	Matches	Detail
1	06/21/06 3:13:31PM	0	Class SAC_AW_EMAIL:EmailEvaluation was not found. (180,74) PTAF_NEM.Evaluator.OnExecute Name:EventEvaluation PCPC:3047 Statement:51 Called from:PTAF_NEM_PRC.MAIN.GBL.default.1900-01-01.Step02.OnExecute Statement:27
2	06/21/06 3:19:48PM	0	Class SAC_AW_EMAIL:EmailEvaluation was not found. (180,74) PTAF_NEM.Evaluator.OnExecute Name:EventEvaluation PCPC:3047 Statement:51 Called from:PTAF_NEM_PRC.MAIN.GBL.default.1900-01-01.Step02.OnExecute Statement:27
3	06/21/06 3:25:05PM	0	Class SAC_AW_EMAIL:EmailEvaluation was not found. (180,74) PTAF_NEM.Evaluator.OnExecute Name:EventEvaluation PCPC:3047 Statement:51 Called from:PTAF_NEM_PRC.MAIN.GBL.default.1900-01-01.Step02.OnExecute Statement:27
4	06/21/06 3:30:11PM	2	Message not found - 236, 5703, URL not set (236,5703) PTAF_UTILITIES.Portal.portalURL.OnExecute Name:getServletURL_ PCPC:5180 Statement:72 Called from:PTAF_UTILITIES.Portal.portalURL.OnExecute Name:GenerateComponentPortalURL Statement:42 Called fr

ログ削除オプション

現在のイベント	クリックすると、選択したイベント ID の全ての通知イベント ログが削除されます。
全イベント	クリックすると、全イベントの全ての通知イベント ログが削除されます。

通知マネージャ

日時スタンプ	ステータスレコードで、各インスタンスの実行の結果を追跡するときに使用されます。
該当数	行のセットから戻された行数が表示されます。
詳細	各通知イベントの詳細なステータス メッセージが表示されます。

承認のためのセキュリティの設定

必要な全てのオブジェクトを PeopleTools アプリケーション デザイナで定義し、アプリケーション コンポーネントで必要な設定が全て完了したら、適用可能な権限リスト、ロールおよび Web ライブラリの設定が正しいか確認してください。

この表は、承認フレームワークの標準権限リストを示します。

権限リスト名	説明	ロールの添付先
HCCPSCAW1010	これは、承認管理者の権限リストです。承認フレームワークの管理および構成オブジェクトの権限を付与します。これらのオブジェクトには、[HCM 基本設定], [共通定義], [承認] のメニュー パス管理下の全てのコンポーネントが含まれます。このリストが承認フレームワーク管理者ロールに添付済みの状態で用意されています。また、この権限リストを管理者が継承できるように、組織に既に存在するアプリケーションに固有の管理者ロールに添付してください。	承認フレームワーク管理者

権限リスト名	説明	ロールの添付先
HCCPSCAW1020	これは、管理者の権限リストです。承認フレームワークの管理者オブジェクトの権限を付与します。これらのオブジェクトには、管理者に固有のセルフサービス ページがいくつか含まれます。製品には、このリストが管理者ロールに添付済みの状態で用意されています。管理者ロールが割り当てられており、管理者と見なすことができるアプリケーション固有のユーザーは全て、この権限リストを自動的に継承します。	管理者
HCCPSCAW1030	これは、従業員の権限リストです。承認フレームワークの従業員オブジェクトの権限を付与します。これらのオブジェクトには、従業員に固有のセルフサービス ページがいくつか含まれます。製品には、このリストが従業員ロールに添付済みの状態で用意されています。従業員ロールが割り当てられており、従業員と見なすことができるアプリケーション固有のユーザーは全て、この権限リストを自動的に継承します。	従業員

PeopleSoft HCM には承認ワークフロー エンジンの管理者ロールが用意されています。このロールには、HCCPSCAW1010 権限リストが既に割り当てられています。ただし、このロールは出荷時にはどのユーザーにも添付されていません。アプリケーション固有の管理者ロールがない場合は、このロールをアプリケーション固有の任意の管理者ユーザーに添付することにより使用できます。組織内にアプリケーション固有の管理者ロールがいる場合は、HCCPSCAW1010 権限をそのロールに割り当てることをお勧めします。

ユーザーが承認ステータス モニターで承認フレームワーク関係者の追加情報を参照できるようにするには、ユーザーに正しい権限を割り当てる必要があります。また、ステータス モニターに承認が表示される方法に対応するため、WEBLIB_PTAF Web ライブラリに対して適切な製品の権限リストへのアクセス権を付与する必要があります。さらに、承認フレームワークの一部である EMC 機能を使用可能にするには、権限リストのフル アクセス権を WEBLIB_EOAW Web ライブラリに付与する必要があります。PeopleSoft HCM には、承認フレームワーク権限リストの一部として、これら 2 つの Web ライブラリが標準で用意されています。

権限リストのアクセス権を Web ライブラリに付与するには、次の手順に従います。

1. [PeopleTools], [セキュリティ], [権限 / ロール][権限リスト] の順に選択します。
2. Web ライブラリにアクセス権を付与する権限リストを選択します。
3. Web ライブラリ ページで、Web ライブラリ WEBLIB_PTAF および WEBLIB_EOAW に新しい行を挿入します。
4. 各 Web ライブラリについて、[編集] リンクをクリックします。

Web ライブラリ権限ページが表示されます。

5. [全てフル アクセス] ボタンをクリックして全ての機能へのアクセス権を付与するか、[アクセス権限] フィールドに値を入力して特定のスクリプト機能へのアクセス権を付与します。
6. [OK] をクリックします。
7. 権限リストを保存します。

注: 承認フレームワークでは、システム内のそれぞれのユーザーが有効なオペレータ ID を 1 つ持っている
と見なします。承認プロセスを使用していて、従業員が複数のオペレータ ID を持てるようにした場合、従
業員が同じロールと権限リストを持つようにしてください。

『PeopleTools: Security Administration』を参照してください。

承認の管理

承認モニターでは、管理者はアクセス権のある全ての承認を参照できるだけでなく、承認待ちの承認に
必要なアクションを行うことができます。

次の各トピックでは、承認管理の概要および承認の管理方法について説明します。

管理者承認で使用するページ

ページ名	定義名	用途
承認のモニター ページ	EOAW_ADM_MON_SRC	承認管理者は、承認プロセスを検索して まとめて割当変更を行うことができます。
"承認のモニター - 承認のモニター" ページ (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)	EOAW_ADM_MON_ACT	承認管理者は、特定の承認プロセスに 対してアクションを実行できます。

関連リンク

[\(USF\) 連邦セルフサービス トランザクションの確認](#)

承認管理について

管理者承認コンポーネントでは、承認管理者はアクセス権のある全ての承認を参照できるだけでなく、承認
待ちの承認に必要なアクションを行うことができます。

承認管理者は、次のアクションを行うことができます。

割当変更

検索条件に基づいて、承認管理者が承認待ちの承認を新しい承認者に割り当てられるようにします。

承認

承認管理者が割り当てられた承認者の代理で処理を行えるようにします。特定のユーザーについて、そのユーザーが特定のトランザクション内で承認待ちの場合に承認が開始されます。管理者がアクションを行うと、承認プロセスが再開されます。

却下

承認管理者が割り当てられた承認者の代理で処理を行えるようにします。特定のユーザーについて、そのユーザーが特定のトランザクション内で承認待ちの場合に却下が開始されます。

アドホック

承認管理者が、既存の承認者に連続または並行して、レビュー担当者または承認者を特定のトランザクションを追加できるようにします。連続する承認者の場合は、プロセス内の各承認が連番になります。ユーザーが承認者やレビュー担当者を追加できるのは、現在の承認待ちステップの後またはそれ以降になります。並行する承認の場合は、連番は関係なくなります。ユーザーは、現在承認待ちの全てのステージまたは後続のステージにあるアドホック パス内にアドホック ステップを挿入できます。

トランザクションが送信されると、承認管理者はアドホック承認者を追加または削除することができます。アプリケーション開発者のコードにより要求されている場合に、承認フレームワークはレビュー済みの承認プロセス インスタンスを起動します。

トランザクション設定ページでアドホック承認ユーザー リストが定義されていれば、そのリスト内のユーザーのみがアドホック承認者またはレビュー担当者として追加できます。

ソース終了アクション

リクエストが承認されると、エンジンはアプリケーションに通知し、これによってソース終了アクションが実行されます。

- 終了アクション

トランザクションを承認すると、別のトランザクションが作成されたり、別のビジネス プロセスがトリガされることがよくあります。承認フレームワークは、イベント通知のコールバック機能を提供することにより、このトリガをサポートしています。たとえば、昇進・昇格が承認されると、最終承認の後にソースに使用されて、これが終了アクションとなります。

- 行レベルとヘッダーレベルの終了アクションの違い

行レベルの承認を使用すると、トランザクションの他の行アイテムの承認を待たずに、承認されるとすぐに異なる行アイテムに対してアクションが実行できます。行アイテムが承認されるとすぐに、ソースとすることができます。

このアクションは、行レベルの承認ルートがプロセスの最後にあり、これ以上レビューが不要な場合にのみ実行することができます。この場合、アプリケーションは承認されるとすぐに個々の行を処理できます。承認フレームワークは、重要な承認に関連するイベントについてアプリケーションに通知します。

ヘッダー アクションを使用すると、トランザクション行をまとめてグループ化して処理できます。

承認の割当変更

承認待ちのタスクを別の承認者に割り当て変更したり、管理者が特定の承認者に属する全てのタスクを別の承認者に割り当て変更できます。割当変更は次のような場合に使用します。

- 承認者がタスクを別の承認者に割り当て変更して、特定のタスク (ステップ) を別の承認者に委任する。
- 承認管理者が、ある承認者に属するステップ内の全ての承認待ちタスクを、別の承認者に割り当て変更する。

この割当変更は通常、承認者が急遽欠席して、承認管理者が全ての承認待ちタスクを別の担当者に割り当て変更するときに発生します。

ワークフロー タスクを別の承認者に割り当て変更する場合、承認プロセス マップを修正することができます。

注: 承認フレームワークは、管理上の割当変更およびエスカレーション用にのみ設定されています。

承認のモニター ページ

承認のモニター ページ (EOAW_ADM_MON_SRC) を使用して、承認プロセスを検索し、まとめて割当変更できます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [承認のモニター], [承認のモニター]

画像: 承認のモニター ページ (1/2)

次の例では、承認のモニター ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Monitor Approvals

▼ Search Criteria

Approval Process

AM_Extended_Abs

Definition ID

Header Status

Approved

Last Modified

Approver

Approver Status

Originator

Requester

Search

▼ Administrative Actions

The selected approver does not currently have an alternate approver selected in their user profile. You must manually select an alternate approver to reassign pending tasks.

Approver's Oper ID

☐ Allow Auto Approval

Reassign To

☐ Allow Self-Approval

Comment

Reassign Selected

Approve Selected

Deny Selected

画像: 承認のモニター ページ (2/2)

次の例では、承認のモニター ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results

Select All

Deselect All

Approval Process: Extended Absence

Empl ID

Empl Record

Transaction Number

Transaction Number

Filter

		Modified	Status	Empl ID	Empl Record	Transaction Number	Transaction Number
1	☐	2012-05-29	Approved	K0W132	0	272	0
2	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	500	0
3	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	501	500
4	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	502	500
5	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	503	500
6	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	504	500
7	☐	2012-12-27	Approved	KNG003	0	505	500

このページの完全な説明については、『PeopleSoft 承認フレームワーク』の「承認モニターの使用」を参照してください。

"承認モニターの使用" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)を参照してください。

管理アクション

- 承認者のユーザー ID

承認トランザクションが割り当てられた承認の承認者 ID を選択します。
- 割当変更先

[承認者のユーザー ID] フィールドで指定した承認者について、承認トランザクションの割当変更先とする担当者のユーザー ID を選択します。
- 自動承認可

指定の承認者に割り当てられた承認トランザクションの自動承認を許可するときに選択します。
- 自己承認可

選択すると、指定した承認者が代理でトランザクションを承認できるようになります。
- コメント

マス再割当を説明するコメントを入力します。コメントはトランザクション自体の一部となります。
- 再割当選択

クリックすると、[承認者のユーザー ID] フィールドの承認者から [割当変更先] フィールドで指定した担当者に、承認トランザク

ションの割当先を変更します。検索結果で選択した承認トランザクションのみが割当先変更の対象となります。

検索結果

検索条件に一致する承認トランザクションを持つ承認プロセスごとに、固有のセクションが表示されます。各セクションには、指定の承認プロセスに固有のキー フィールドが含まれます。キー値を指定して [フィルタ] ボタンをクリックすることにより、セクション内で検索結果にフィルタを実行できます。

- 全て選択

クリックすると、検索結果にリスト表示された全ての承認トランザクションが選択されます。
- 全て選択解除

クリックすると、検索結果の全トランザクションが選択解除されます。
- フィルタ

承認プロセス セクションで検索結果を絞り込むには、キー値を指定して [フィルタ] ボタンをクリックします。
- 更新

承認トランザクションが最後に更新された日付が表示されます。承認トランザクションが更新されたことがない場合は、[なし] と表示されます。
- ステータス

承認トランザクションのステータスとして、[保留]、[却下]、[終了] または [承認済] が表示されます。
- <キー値>

検索条件に一致する承認トランザクションごとに、キー値が表示されます。キー値は承認プロセスによって異なります。

関連リンク

"承認のモニター ページ" (PeopleSoft 9.2: 承認フレームワーク)

承認オーディット レポートの作成

次の各トピックでは、承認オーディットレポートの概要を説明し、承認オーディットレポートの実行に使用するページをリストして、承認オーディットレポートの生成方法について説明します。

承認オーディット レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
承認オーディットレポート ページ	HCSCAWE_RUN_CNTL	実行条件に基づいて承認ワークフローで処理された承認トランザクションの完全なリストである、承認オーディットレポートを生成します。

承認オーディット レポートについて

承認フレームワークは、トランザクションが承認プロセスを移動するにつれて、各承認トランザクションについて監査証跡を生成します。この監査証跡には、元の承認者とその代理人とのアクションの違いを追跡することなどが含まれます。承認オーディットレポート アプリケーション エンジンのプロセス (HCSC_AWE_ADT) によって、この監査証跡と、承認オーディットレポート ページで入力する実行条件に基づいてオーディットレポートが作成されます。

承認オーディットレポート (AWEAUDIT) のレポートには、必要に応じて承認トランザクション リクエストに関する以下のデータが含まれます。

- トランザクション番号。承認フレームワークによって、各承認トランザクション リクエストに自動的に割り当てられます。
- 承認プロセス ID。承認プロセスの設定時に定義されます。
- 承認定義 ID。承認プロセスの設定時に定義されます。
- 現在の承認者名 (リクエストが承認待ちの場合)。
- 現在のリクエストのステータス。
- 依頼者名または発信者名。
- 代理人または委任者名 (該当する場合)。
- 依頼者または発信者の従業員 ID。
- 各承認者名。
- トランザクション送信日。
- トランザクション完了日。

レポートの結果を限定するには、必要なフィールドにデータを入力します。フィールドを空白にすると、レポートプロセスにはその条件に関するあらゆる値の結果が含まれます。たとえば、リクエストの送信日の範囲を 2009 年 1 月 1 日から 2009 年 12 月 31 日とし、発信者として特定の依頼者を指定した場合、承認プロセス ID や承認定義 ID に関係なく、その担当者が 2009 年に依頼した全トランザクションを含むレポートが生成されます。

レポートは、PDF フォーマットによりオンラインで参照するか、印刷や保存したり、異なるフィルタ条件を使用して再作成することができます。また、TXT、XLS または CSV ファイルとしてローカルのマシンにダウンロードすることも可能です。レポートの上部には、生成された日時および選択されたフィルタの概要が表示されます。レポートのデータは、リクエストの送信日順にソートされます。

承認オーディット レポート ページ

承認オーディット レポート ページ (HCSCAWE_RUN_CNTL) を使用して、実行条件に基づいて承認ワークフローで処理された承認トランザクションの完全なリストである、承認オーディット レポートを生成します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [承認オーディット レポート], [承認オーディット レポート]

画像: 承認オーディット レポート ページ

次の例では、承認オーディット レポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

開始送信日、終了送信日

オーディット レポートに含める承認トランザクション リクエストの日付範囲を入力します。

承認プロセス ID

レポート結果を特定タイプの承認トランザクションに限定するための承認プロセス ID を選択します。

承認定義 ID

レポート結果を限定するための特定承認プロセス定義を選択します。

依頼者

依頼者を選択して、レポート結果を特定の担当者が送信した承認トランザクション リクエストに限定します。

トランザクション ステータス

ステータスを選択して、レポート結果を、現在のステータスを選択したものと同じ承認トランザクション リクエストに限定します。

承認オーディット レポートのサンプル

以下は承認オーディットレポートのサンプルです。

画像: 承認オーディットレポート

次の例では、承認オーディットレポートのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

ORACLE®

Approval Workflow Transactions
Audit Report

Process ID: AbsenceManagement Definition ID: AbsenceMgmtBySupervisorId Thread ID: 171	
Transaction Originator	HAM_K0W003
Transaction Requestor	HAM_K0W003
Overall Transaction Status	P - Pending
Parent Thread Number	171
Last Updated On	

Stage Number: 1 Path Number: 1 Step Number: 1.00				
Step Type		N - Normal		
Step Status		P - Pending		
Ad Hoc Step Inserted By				
Participants				
Approver	Approved by	User Type	Step Stat	Completed On
HAM_K0W001	HAM_K0W001	A - Approver	P - Pending	2009-08-10T20:27:29

Comments		
User	Comment Date	Comments

注: このレポートは、PeopleTools の BI Publisher 機能を使用して設定できます。

セルフサービス承認トランザクションの使い方

次の各トピックでは、セルフサービス承認トランザクションの処理に使用するページについて説明します。

重要 このトピックでは、HCM 製品ラインの複数アプリケーション内で共通の承認トランザクションのセルフサービス ページのみをリストします。アプリケーション内のビジネス プロセスに固有なセルフサービス ページの詳細については、アプリケーション固有のドキュメントを参照してください。

セルフサービス承認トランザクションの処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
トランザクションの確認ページ	HCM_APPR_STATUS	このページを表示する管理者または従業員に関連する承認トランザクション リクエストのステータスと詳細を表示できます。

ページ名	定義名	用途
職務の選択ページ	HCM_JOB_SELECT	承認リクエストを送信または承認する職務を複数の職務から選択します。

トランザクションの確認ページ

トランザクションの確認ページ (HCM_APPR_STATUS) を使用して、表示する管理者または従業員に関連する承認トランザクション リクエストのステータスと詳細を表示できます。

ナビゲーション

- [管理者セルフサービス], [トランザクションの確認], [トランザクションの確認]
- [セルフサービス], [トランザクションの確認], [トランザクションの確認]

画像: トランザクションの確認ページ

次の例では、トランザクションの確認ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Review Transactions

Betty Locherty

This page allows you to view the status and relevant information for any transaction you either submitted for approval or have reviewed yourself. For each request you can get detailed information by selecting the hyperlink.

Approval Status: Pending my review Refresh

Approval Process: JPMPersonProfiles

Transaction Name	Submitted By	Submitted On Behalf Of	Submitted On	Thread Status	Approve/Deny
Person profile	Cynthia Adams		8/2/2012 - 3:57 PM	Pending	Approve/Deny
Transaction Details					
JPM_JP_TRAN_NUM		HR_TM_PROFILE_ID			
1250		100850			

ユーザーは、承認待ち、承認済み、却下済みまたは終了した承認トランザクション リクエストのステータスおよび詳細を参照することができます。承認プロセスでトランザクションをフィルタすることもできます。

結果はグリッドに表示されます。グリッドの各トランザクションについて[詳細の表示] リンクまたは [承認/却下] リンクをクリックすると、トランザクションの詳細を確認できるだけでなく、承認プロセスで次のアクションを実行することができます。

注: 承認フレームワークに保存されたアーカイブトランザクションについては、PeopleTools のデータ アーカイブ マネージャ コンポーネントを使用するよう推奨します。

職務の選択ページ

職務の選択ページ (HCM_JOB_SELECT) を使用して、承認リクエストを送信または承認する職務を複数の職務から選択します。

ナビゲーション

このページは、ユーザーがリクエストを送信または承認し、そのユーザーに複数の職務がある場合に表示されます。

画像: 職務名の選択ページの例

次の例では、職務名の選択ページの例のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Select Job Title

Danilo Travaniti

Please select the job title below for which you wish to review or create delegation requests.

Job Information			
Job Title	Department	Supervisor Name	Company
☒ Sales Manager	Sales Administration	Antonio Smith	Global Business Institute
☐ Bus Person	Business Services	Paul Harvest	Global Business Institute

Continue
Cancel

ユーザーがトランザクションを送信または承認し、そのユーザーに複数の職務がある場合は、トランザクションを送信または承認する職務を選択できます。こうすることで、リクエストが適切な担当者に転送されます。

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのセルフサービス承認トランザクションの使用

PeopleSoft モバイル承認機能は、承認者がスマートフォンまたはタブレットを使用して、選択した承認待ちの PeopleSoft トランザクションに対して承認ワークフロー エンジン (AWE) アクションを実行する方法を提供します。タブレット版はデスクトップで使用することもできます。この機能では、モバイル アプリケーション プラットフォーム (MAP) テクノロジが使用されますが、外観は PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのように表示されます。

モバイル アプリケーション プラットフォームの詳細については、『*PeopleSoft PeopleTools*』の「Mobile Application Platform」を参照してください。

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの詳細については、「[PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのホーム ページについて](#)」を参照してください。

次の各トピックでは、承認ページへのアクセス方法の概要および PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの管理者セルフサービス承認トランザクションの使用方法について説明します。

関連リンク

[Understanding the Management of Direct Reports](#)[PeopleSoft eProfile Manager Desktop](#)

"PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスでの承認操作" (PeopleSoft 9.2: エンタープライズ コンポーネント)

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの管理者セルフサービス承認トランザクションに使用するページ

ページ名	用途
<u>承認タイル</u>	ログインした管理者に関連付けられている承認待ちおよび承認履歴リクエストを確認します。
<u>承認待ちページ</u>	ログインした管理者が確認する必要がある承認待ちリクエストがリストされます。
<u>フィルタ ページ</u>	承認待ちリストを絞り込むために、1 つ以上のフィルタを適用します。
<u>承認待ち - <トランザクション詳細> ページ</u>	承認リクエスト詳細を確認し、コメントを入力し、リクエストを承認、却下、または差戻しします。
<u>承認履歴ページ</u>	過去に処理した承認がリストされます。
<u>承認履歴 - <トランザクション詳細> ページ</u>	既に処理した承認リクエストに関する詳細が表示されます。

承認ページへのアクセス方法について

モバイル デバイスを使用して承認ページにアクセスするには、管理者セルフサービス ホーム ページから承認タイルをタップします。PeopleSoft クラシック ユーザー インターフェイスでは、[Fluid ホーム] メニュー オプションを選択し、次に管理者セルフサービス ホーム ページにアクセスして、承認タイルにアクセスします。Fluid またはクラシックの PeopleSoft ページの上部にある [通知] フラグ アイコンを選択して、通知ウィンドウに警告を表示することもできます。

承認タイルをタップして承認ページにアクセスすると、ページは、デフォルトで承認待ちページに設定されます。承認ビュー間は切り替えることができます ([アクション メニュー] ドロップダウン アイコンをタップして、いずれかのページにアクセスします)。

- 承認待ち

承認者は、1 つのインターフェイスで複数の承認待ちトランザクションを表示できるため、承認待ちを検索するために複数の異なるコンポーネントに移動する必要がありません。承認待ちページでは、承認待ちがタイプ別、受取日別、送信者 (最後の送信者) 別、個人別にグループ化され、タイプ別、日付別および送信者別にフィルタされ、承認チェーンを含む各承認リクエストの詳細が表示されて、承認や却下のような AWE アクションが提供されます。

- 承認履歴

承認者は、既に処理した承認リクエストを表示することもできます。この機能では、承認チェーンの承認リクエストのステータスを表示したり、チェーン内のコメントを個人別に表示することもできます。管理者は、取得して表示できる過去の承認履歴の期間を定義できます。

画像: 承認ページの [アクション メニュー] ドロップダウン リスト

次の例では、承認ページ内の [アクション メニュー] ドロップダウン リストから承認ページを選択する方法を説明します。



注: スマートフォン、タブレットを使用しているかどうか、さらに、デバイスを横向きモードまたは縦向きモードで保持しているかどうかに基づいて、承認ページの表示は若干異なります。

承認タイル

承認タイル (HMAP_APPR_TILE_FL) を使用して、ログインした管理者に関連付けられている承認待ちおよび承認履歴リクエストを確認します。

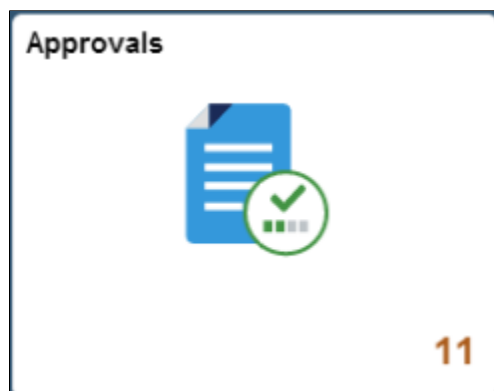
ナビゲーション

メイン メニューで、[Fluid ホーム] を選択します。表示されるページで、[管理者セルフサービス] を選択します。承認タイルは、管理者セルフサービス ランディング ページで使用できます。

管理者は、個人別設定を使用して、標準で用意されているホーム ページまたは自身で作成したホーム ページにタイルを追加できます。

画像: 承認タイル

次の例では、承認タイルを説明します。



タイルには、承認待ちの合計数が表示されます。使用可能な承認待ちがない場合、タイルには件数が表示されません。

タイルをタップして、従来のメニューナビゲーションを使用せずに承認待ちページおよび承認履歴ページにアクセスし、さまざまなトランザクションを確認および承認します。

承認ページでは、AWE を使用する承認がサポートされています。

承認待ちページ

承認待ちページを使用して、ログインした管理者が確認する必要のある承認待ちリクエストを確認して処理します。

ナビゲーション

管理者セルフサービス ホーム ページで承認タイルをタップします。

画像: 承認待ちページ

次の例では、承認待ちページのフィールドおよびコントロールを説明します。

My Homepage		Pending Approvals			
View By	Type	All			
All	11				11 Rows
Absence Request	3	Location change	To Arizona Operations	Routed	05/23/2014
Ad Hoc Salary Change	1	Absence Request	Sick 09/26/2014, 8 Hours	Routed	05/30/2014
Job Opening	1	Absence Request	Vacation 10/20/2014 to 10/24/2014, 40 Hours	Routed	06/02/2014
Location change	1	Promote Employee	Reason - Outstanding Performance	Routed	06/12/2014
Performance	2	Job Opening	Hiring Manager - Rosanna Channing	Routed	08/07/2014
Promote Employee	1	Ad Hoc Salary Change	Requested by Christelle Stevenson	Routed	08/28/2014
Retire Employee	1	Absence Request	Vacation 09/05/2014, 8 Hours	Routed	09/04/2014
Transfer Employee	1	Performance	Exceeds Expectations 01/01/2014 To 06/01/2014	Routed	09/04/2014
		Performance	Exceeds Expectations 01/01/2014 To 06/01/2014	Routed	09/04/2014
		Retire Employee	Retirement Date - 09/04/2014	Routed	09/04/2014

承認ページには垂直タブが表示されますが、このタブでは、承認トランザクション タイプが、選択した [表示単位] のタイプ値で定義されたカテゴリにグループ化されています。保留中のトランザクションがある場合は、全ての表示タイプのリストの上部に [全て] カテゴリ タイプが表示されます。[表示単位] タイプ内のトランザクション カテゴリには、そのトランザクション カテゴリの承認待ちの件数を示したバッジが表示されます。トランザクション カテゴリに承認待ちがない場合、そのタブはリストに表示されません。

注: 縦向きモードのモバイル デバイスで承認ページを使用している場合は、ページの左側に矢印が表示されます。この矢印をタップすると、トランザクション カテゴリのタブの表示/非表示が切り替わります。

トランザクション カテゴリのタブをタップして、そのカテゴリに適用されている承認待ちを表示します。トランザクション カテゴリをタップすると、承認待ちが承認リクエストの受信日でソートされ、最も古い承認待ちが最初に表示されます。

表示単位

ページでの承認リクエストの表示方法を選択します。次の表示オプションで承認待ちをグループ化できます。

- **タイプ** (承認タイルにアクセスしたときのデフォルトの表示)

承認リクエストをトランザクション タイプ別にグループ化します。たとえば、1 つのリストに全てのトランザクション タイプを表示したり、確認の必要な [休暇リクエスト] や [勤務地の変更] などの特定のトランザクション タイプを選択できます。

- **ルーティング日**

承認待ちを承認の送信日に基づいて週単位でグループします。次のカテゴリ タブが含まれる場合があります。

- 全て (全ての承認待ちを表示)
- 古い (先々週の開始日より前の全て)
- 2 週間前 (先々週の開始日から先々週の終了日まで)
- 先週 (先週の開始日から先週の終了日まで)
- 今週 (今週の開始日から現在日まで)

注: 週の開始日を定義するには、クラシックの PeopleSoft ページを使用して [パーソナル設定], 地域設定の個人別設定 に移動し、[週の開始曜日] の値を選択します。

- **送信者**

承認待ちを最後の送信者別にグループ化します。最後の送信者は、トランザクションの依頼者または承認チェーンの最後の承認者のいずれかです。承認チェーンの最後の承認者ステップに複数の承認者が存在する場合は、リクエストを承認した最後の個人の名前が表示されます。

- **個人**

承認待ちがある全ての個人のリストを表示します。個人に関連付けられていない承認待ちがある場合、トランザクション

カテゴリのタブには、[個人が関連付けられていません] カテゴリも表示されます。



フィルタ アイコン、
タブが適用されたアイコン



フィル

このアイコンをタップしてフィルタ ページにアクセスし、1 つ以上の条件から選択して承認待ちリストを絞り込みます。

フィルタが条件に適用されると、[フィルタ] アイコンが緑色で表示されます。

トランザクション リストには、次の内容が表示されます。

1. トランザクション名および関連付けられている個人または求人情報
2. 承認リクエストの簡単な説明
3. リクエストが自分にルーティングされた日

トランザクション アイコン

次のアイコンがトランザクションに関連付けられている場合があります。



Pushed back by

コン

[差戻し者] アイ

自身がリクエストを承認したが、承認チェーンの次の個人によって承認が差戻された場合に表示されます。このアイコンの後は、リクエストを差戻した個人の名前が表示されます。

注: 差戻されたリクエストは、承認チェーンの次の個人に転送されません。代わりに、リクエストは承認チェーンの前の個人に差戻されるか、あるいは差戻しが最初の承認者で発生した場合は依頼者に戻され、その個人のアクションが保留になります。



Delegated by

[委任者] アイコン

別の個人の代理人として承認リクエストを実行することを委任された場合に表示されます。このアイコンの後は、リクエストを委任した個人の名前が表示されます。

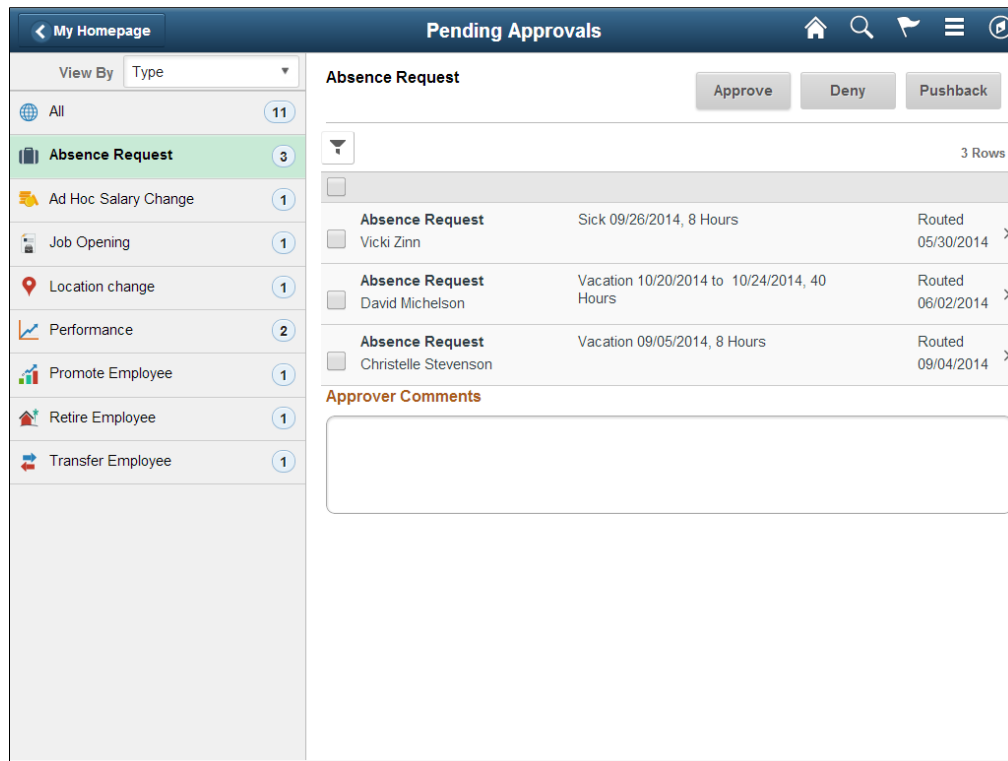
一括承認が許可されたトランザクション タイプ カテゴリの選択

トランザクション タイプ カテゴリをタップすると、そのカテゴリに関連付けられている承認待ちの項目が表示されます。一括承認を許可するようにトランザクション タイプが設定されている場合、ページの表示は異なります。一括承認を許可するようにトランザクション タイプ カテゴリが設定されていない場合、ページには承認リクエストトランザクションがリストされ、このページからはアクションを実行できません。これ

らのタイプのトランザクションの場合は、必要な承認リクエスト行をタップして承認待ち - <トランザクション詳細> ページにアクセスし、承認リクエストを確認して完了します。

画像: トランザクション カテゴリに対して一括承認が有効な場合の承認待ちページ

次の例では、モバイル承認オプション - 取引ページでトランザクション カテゴリの一括承認を有効に設定している場合の承認待ちページを示します。



管理者が一括承認を許可するようにトランザクションを設定している場合は、同じカテゴリ内の複数のリクエストに対してアクション (承認、却下、差戻し) を一度に実行できます。一括承認を実行するには、ページで各項目の前にあるチェック ボックスをオンにして、適切なアクション ボタンをタップします。全てのチェック ボックスを一度にオンまたはオフにするには、グレーのヘッダー内にある一番上のチェック ボックスをタップします。

全てのトランザクション リクエストに対して同じレスポンスを適用しない場合、または各リクエストの個々の詳細を表示する場合は、行をタップして承認待ち - <トランザクション詳細> ページにアクセスします。

フィルタ ページ

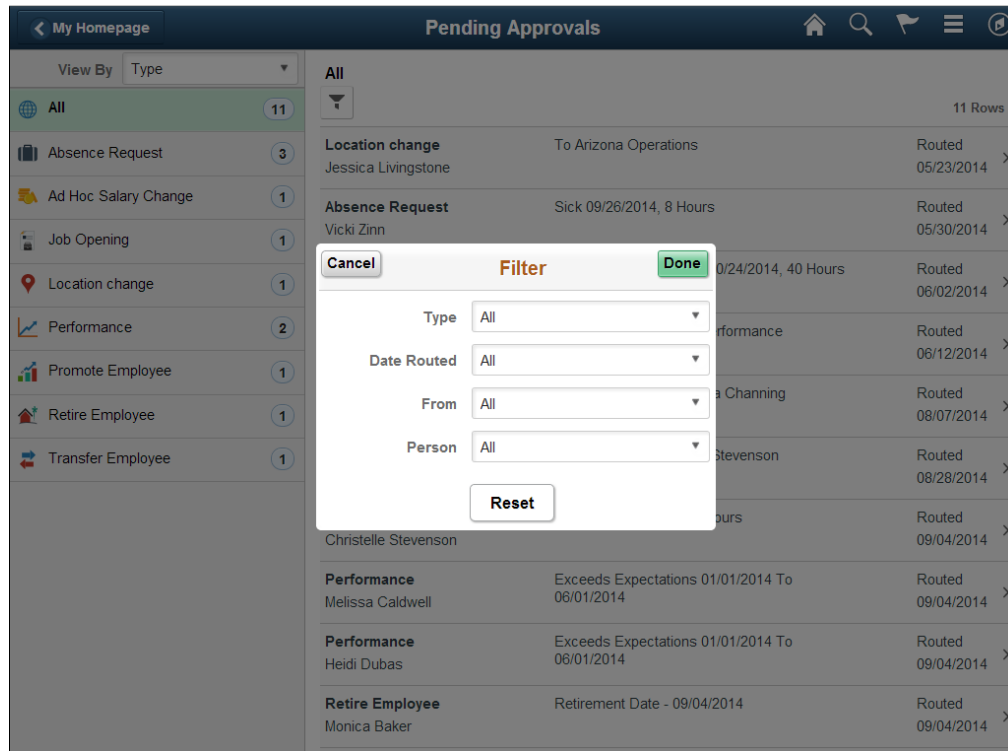
フィルタ ページを使用して 1 つ以上のフィルタを適用し、承認待ちリストを条件を満たすリクエストに絞り込みます。

ナビゲーション

承認待ちページまたは承認履歴ページの上部にある [フィルタ] ファネル アイコンをタップします。

画像: フィルタ ページ

次の例では、フィルタ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。



このページを使用して、1 つ以上の表示単位項目から特定のカテゴリを指定します。既存の承認待ちに適用するフィールドおよびカテゴリのみが表示されます。

キャンセル

承認待ちページまたは承認履歴ページに戻る場合は、このボタンをタップします。

完了

フィルタを適用して、承認待ちページまたは承認履歴ページの承認リクエスト結果を絞り込む場合は、このボタンをタップします。承認待ちページまたは承認履歴ページの [フィルタ] アイコンは緑色に変更され、フィルタが適用されていることが示されます。

リセット

フィルタの各フィールドをデフォルト値にリセットする場合は、このボタンをタップします。

承認待ち - <トランザクション詳細> ページ

承認待ち - <トランザクション詳細> ページを使用して、承認リクエスト詳細を確認し、コメントを入力し、リクエストを承認、却下または差戻しします。

ナビゲーション

承認待ちページから個々の承認リクエストトランザクションをタップします。

画像: 承認待ち - <トランザクション詳細> ページ

次の例では、承認待ち - <トランザクション詳細> ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Pending Approvals **Ad Hoc Salary Change**

Jessica Livingstone
Clerk-File

Approve **Deny**

Summary
Request Date 10/27/2014 Requester Christelle Stevenson

Proposed Changes

Salary Information	After Approval	Before Approval
Hourly Salary	12.02 USD	9.62 USD

Salary Details >

Approver Comments
Please enter comments here.

Approval Chain
Salary Change Approval Chain

Pending

Route to PosnSupervisor

Pending

Rosanna Channing
By Position Supervisor >

Requester Comments
Please approve a salary change for Jessica.

注: このページのバナーのタイトルは、選択した承認リクエストに基づいて変化します。このページのフィールドおよびエレメントも、確認している承認トランザクションのタイプに基づいて変化します。

ページの矢印をタップしてセクションを展開し、個人、リクエスト、または承認チェーンに関する追加の詳細を表示します。複数の個人が承認チェーンに存在する場合は、最初の承認者を最上部に配置して全ての承認者がリストされます。

トランザクションに添付ファイルが含まれる場合は、タップしてモーダル ウィンドウで添付ファイルを開きます。

ページで使用可能なボタンは、設定で決まります (PeopleSoft 9.2: エンタープライズ コンポーネント)。次のボタンが含まれる場合があります。

- 承認
- 却下
- 差戻し
- 保留
- リクエスト情報

- ・ 詳細 (このページに他のボタンが全て収まらない場合は、このボタンが表示されます)

トランザクションを承認、却下、または差戻しすると、実行するアクションの確認を求めるサマリ ページが表示されます。次にトランザクション リクエストを送信またはキャンセルできます。リクエストを送信すると、トランザクションは [承認待ち] キューから削除されて承認履歴ページに移動します。

承認履歴ページ

承認履歴ページを使用して、過去に処理した承認を確認します。

ナビゲーション

管理者セルフサービス ホーム ページで承認タイルをタップし、次に、承認待ちページの (バナーに配置されている) [アクション メニュー] ドロップダウン リストから [承認履歴] 項目を選択します。

画像: 承認履歴ページ

次の例では、承認履歴ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Approvals History			
View By Type	All		9 Rows
All 9	Absence Request 1	Performance 2	Promote Employee 1
Job Opening 2	Reporting Change 2	Transfer Employee 1	
History displays approvals for last 90 days.			
	Absence Request Christelle Stevenson	Vacation 10/06/2014 to 10/08/2014, 24 Hours Approved on 09/03/2014	Updated 09/03/2014 >
	Performance Chris Cameron	Exceeds Expectations 01/01/2013 To 12/31/2013 Approved on 09/03/2014	Updated 09/03/2014 >
	Performance David Michelson	Meets Expectations 01/01/2013 To 12/31/2013 Approved on 09/03/2014	Updated 09/03/2014 >
	Promote Employee Carmichael Espinosa	Reason - Salary Grade Advance Approved on 08/12/2014	Updated 08/12/2014 >
	Reporting Change Rosanna Channing	1 new direct report Denied on 08/12/2014	Updated 08/12/2014 >
	Transfer Employee Russell Parker	Reason - Employee Request Approved on 08/12/2014	Updated 08/12/2014 >
	Job Opening Manager-Accounts Payable	Hiring Manager - Rosanna Channing Approved on 08/07/2014	Updated 08/07/2014 >
	Job Opening Manager-Finance	Hiring Manager - Ponciano Batalang In Process - Jake Oglevy	Updated 08/07/2014 >
	Reporting Change Rosanna Channing	2 new direct reports Denied on 06/11/2014	Updated 06/11/2014 >

承認履歴ページには、過去に処理した承認トランザクションが表示されます。承認トランザクションの履歴を表示できる期間は、管理者が"モバイル承認オプション - 一般設定" (PeopleSoft 9.2: エンタープライズ コンポーネント) 設定ページで定義します。このページのカテゴリ タブの下には、履歴の表示期間を示すメッセージが表示されます。

このページには垂直タブが表示されますが、このタブでは、承認トランザクションが、選択した表示単位タイプで定義されたカテゴリにグループ化されています。承認トランザクションの履歴がある場合は、全ての表示タイプのリストの上部に [全て] カテゴリが表示されます。[表示単位] タイプ内のカテゴリには、そ

のカテゴリの承認履歴の件数を示したバッジが表示されます。指定された期間内にはカテゴリに承認履歴がない場合、そのタブはリストに表示されません。

注: 縦向きモードのモバイル デバイスで承認ページを使用している場合は、ページの左側に矢印が表示されます。この矢印をタップすると、カテゴリのタブの表示/非表示が切り替わります。

カテゴリのタブをタップして、そのカテゴリに適用されている承認履歴を表示します。カテゴリをタップすると、承認履歴が最後の個人が更新した日付でソートされるか、またはリクエストの実行日でソートされ、更新が最新の承認が最初に表示されます。

表示単位

ページでの承認履歴リクエストの表示方法を選択します。次の表示オプションで承認履歴をグループ化できます。

- **タイプ** (ページにアクセスしたときのデフォルトの表示)

承認リクエストをトランザクション タイプ別にグループ化します。たとえば、1 つのリストに全てのトランザクション タイプを表示したり、処理した [休暇リクエスト] や [勤務地の変更] などの特定のトランザクション タイプを選択できます。

- **ステータス**

リストで表示される可能性のあるステータス カテゴリは、次のとおりです。

- **全て** (履歴表示日数内で処理された全ての承認が含まれます)
- **処理中** (処理中で承認チェーンを完了まで到達していない承認が含まれます)

注: 上位レベルの承認者がトランザクションを差戻した場合、そのトランザクションは、差戻したユーザーにリクエストを送信したユーザーの承認待ちページに表示されます。ただし、リクエストを差戻した個人の承認履歴ページには、そのリクエストが [処理中] のステータスで表示されます。

- **承認済**
- **却下**
- **終了**
- **その他**
- **送信者**

承認履歴を最後の送信者別にグループ化します。最後の送信者は、トランザクションの依頼者または承認チェーンの最後の承認者のいずれかです。

- 個人

履歴のタイム フレームの定義内で承認を処理した全ての個人のリストが表示されます。個人に関連付けられていない承認履歴がある場合、カテゴリのタブには、*[個人が関連付けられていません]* カテゴリも表示されます。



フィルタ アイコン、
タが適用されたアイコン



フィル

このアイコンをタップしてフィルタ ページにアクセスし、1 つ以上の条件から選択して承認履歴リストを絞り込みます。

フィルタが条件に適用されると、*[フィルタ]* アイコンが緑色で表示されます。

トランザクション リストには、次の内容が表示されます。

1. トランザクション名および関連付けられている個人または求人情報
2. 承認リクエストの簡単な説明とそのステータス
3. リクエストの更新日

特定のトランザクションにタップして、履歴トランザクションの詳細ページにアクセスします。

承認履歴 - <トランザクション詳細> ページ

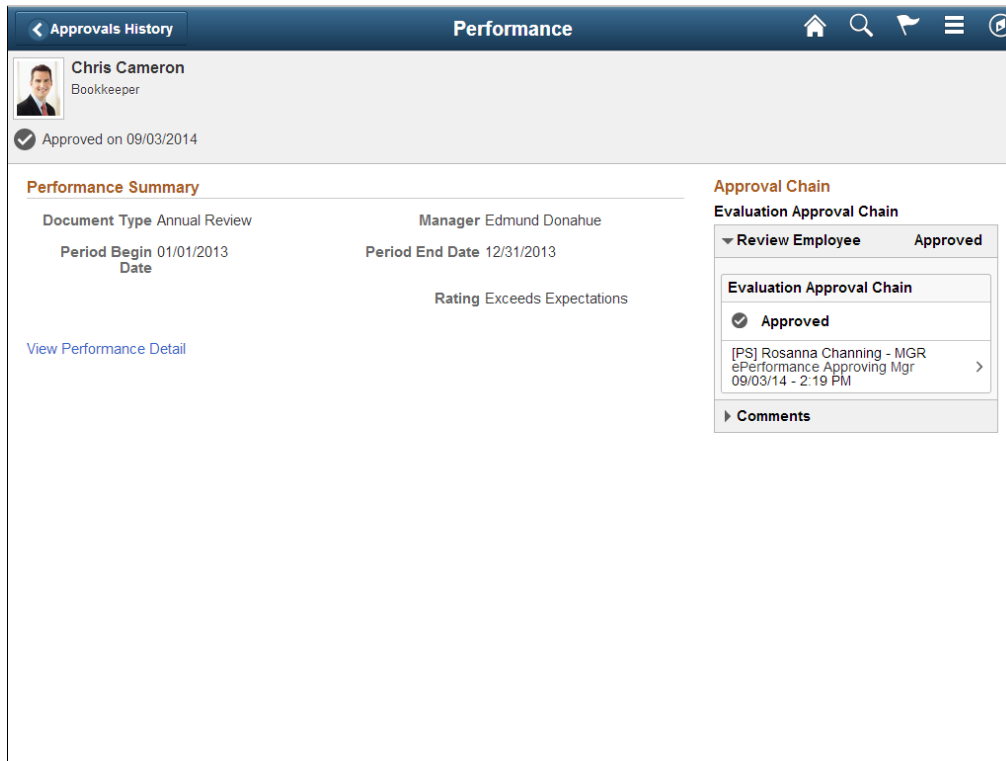
承認履歴 - <トランザクション詳細> ページを使用して、既に処理した承認リクエストに関する詳細を表示します。

ナビゲーション

承認履歴ページから個々の承認リクエストトランザクションをタップします。

画像: 承認履歴 - <トランザクション詳細> ページ

次の例では、承認履歴 - <トランザクション詳細> ページのフィールドおよびコントロールを説明します。



The screenshot displays the 'Performance' page for Chris Cameron, a Bookkeeper. The page is titled 'Performance' and includes a navigation bar with 'Approvals History', a home icon, a search icon, a flag icon, and a menu icon. The employee's name and title are shown at the top, along with a status 'Approved on 09/03/2014'. The main content area is divided into two sections: 'Performance Summary' and 'Approval Chain'. The 'Performance Summary' section includes fields for 'Document Type' (Annual Review), 'Manager' (Edmund Donahue), 'Period Begin Date' (01/01/2013), 'Period End Date' (12/31/2013), and 'Rating' (Exceeds Expectations). There is a link 'View Performance Detail'. The 'Approval Chain' section shows the 'Evaluation Approval Chain' with a 'Review Employee' button and an 'Approved' status. Below this, there is a list of approvers, including '[PS] Rosanna Channing - MGR ePerformance Approving Mgr' with a timestamp '09/03/14 - 2:19 PM' and a right arrow. A 'Comments' section is also visible at the bottom.

リクエストに関する詳細をさらに表示するには、ページの矢印およびリンクを使用してセクションを展開するか、または追加ページにアクセスします。

委任の設定と使い方

委任について

委任とは、ある個人が別の個人に特定の職責の代理業務を行う権限を付与することです。委任機能を使用すれば、ユーザーは管理トランザクションの開始権限または承認権限を委任することにより、管理職務を代理で行う権限を他のユーザーに付与することができます。

管理トランザクションを行う権限の委任は、通常次のような場合に発生します。

- 管理者が休暇を取って会社を休んでいる間、管理トランザクションの権限を別の個人に委任する。
- 上級管理者がトランザクションを処理する時間がないため、自分の権限を別の個人 (アシスタントなど) に委任する。

委任関連用語

以下の用語は委任機能を理解するうえで重要で、以下のトピック全体を通じて使用されています。

委任	あるユーザーの権限を別のユーザーに委任する行為。
委任者	権限を別のユーザーに委任する個人。
代理人	別のユーザーの代わりを務める権限を付与されている個人。
開始の委任	委任フレームワークでは、他の人の代理としてトランザクションを開始する職務と、トランザクションを承認する職務を区別できません。委任者は、委任者の代理としてトランザクションの開始または送信だけを行う代理権を委任できます。
承認の委任	委任フレームワークでは、他の人の代理としてトランザクションを開始する職務と、トランザクションを承認する職務を区別できません。委任者は、委任者の代理としてトランザクションの承認または却下だけを行う代理権を委任できます。
代理権	委任者から代理人に委任される権限。
委任リクエスト	委任者から代理人への代理権取得依頼。
委任期間	代理権が有効である期間。
委任管理者	代理権の設定や管理を担当しているシステム管理者。

取消

委任者や委任管理者が代理権を取り消すこと。

委任フレームワーク

委任機能のコアを成しているのが委任フレームワークです。委任フレームワークは、委任されたトランザクションに対する代理人の権限を管理します。代理人が代理権を持っていると、委任フレームワークは、委任されたトランザクションに固有のロールを代理人に一時的に割り当てます。そのロールによって、代理人は委任されたトランザクションに関連付けられているコンポーネントやページにアクセスできます。代理人に代理権がなくなると、委任フレームワークはそのロールを削除して、代理人が該当トランザクションを行えないようにします。

委任フレームワークは、以下のタイプの委任をサポートしています。

- 直属の部下、または所属階層内の間接の部下への権限の下方委任
- 管理者、または所属階層内の間接の上司への権限の上方委任
- 同じ部署の同僚、または所属階層内の別の部署の同僚への権限の水平委任

承認フレームワークとの統合

委任フレームワークは、承認フレームワークと統合されています。この統合には、いくつかの利点があります。第一に、委任フレームワークと承認フレームワークとの統合によって、承認フレームワークがシステム内の代理権を認識できるようになります。第二に、委任フレームワークが承認フレームワークを使用して、委任リクエストの受諾と辞退を管理できるようになります。

セルフサービスでの委任リクエストの作成

委任フレームワークは、PeopleSoft HCM のセルフサービス ソリューションの構成要素です。ユーザーは HCM のセルフサービス コンポーネントを使用して、選択したトランザクションの委任リクエストを作成することができます。

委任リクエストを作成すると、委任者は以下のことを行うことができます。

- アクセス権を持っているトランザクションだけを委任する。
たとえば、管理者ではない従業員は、管理者セルフサービス トランザクションへのアクセス権を持っていないため、管理者固有のトランザクションを委任することはできません。
- 1 つのトランザクションにつき、1 つの委任期間に 1 人の代理人のみに委任する。
- 全てのトランザクションを 1 人の代理人に委任したり、さまざまなトランザクションを異なる代理人に委任する。

委任管理

委任管理者は、委任管理コンポーネントを使用して、各種の便利なタスクを実行できます。実行できるタスクは以下のとおりです。

- 委任リクエストの追加コンポーネント (HCDL_ADMIN_ADD_DLG) を使用して、委任者の代わりに委任リクエストを作成する。
- 委任管理コンポーネント (HCDL_ADMIN_DLG) を使用して委任リクエストを確認し、必要に応じて委任者の代わりに委任リクエストを取り消す。
- 代理権の管理コンポーネント (HCDL_BATCH) を使用して、全ての委任トランザクションを毎日バッチ処理する。

通知

電子メール通知およびワークリスト通知を使用して、管理者と代理人に新規の委任リクエストや承認待ちのトランザクションが通知されます。通知の受信オプションとしてワークリスト アイテムを設定した場合、ワークリスト アイテムは代理人のワークリストにのみ作成され、委任者のワークリストには作成されません。承認のために代理人に電子メール通知が送信されます。承認フレームワークが正しく設定されている場合は、委任者にも電子メール通知が送信されます。委任管理者は、汎用テンプレート コンポーネントを使用して、代理人や委任者用のさまざまな電子メール テンプレートを設定できます。

「[委任用の標準の通知テンプレートの確認](#)」を参照してください。

リクエスト ステータスと委任ステータス

委任フレームワークは、リクエスト ステータスと委任ステータスを使用して委任リクエストを管理します。リクエスト ステータスによって、委任リクエストのステータスが決まります。委任ステータスによって、代理人の代理権がアクティブであるか非アクティブであるかが決まります。この 2 つのステータスの組み合わせによって、委任フレームワークによる委任の処理方法が決まります。

次の表は、委任のリクエスト ステータスを示し、個々のリクエスト ステータスに関連付けられている委任ステータスに基づいて委任フレームワークがどのように委任を処理するかを示しています。

リクエスト ステータス	委任ステータス	説明
送信済	非アクティブ	委任者が新規の委任リクエストを作成すると、リクエスト ステータスは "送信済" に設定され、委任ステータスは "非アクティブ" に設定されます。

リクエスト ステータス	委任ステータス	説明
受諾	アクティブ	代理人が委任リクエストを受諾すると、リクエスト ステータスは "受諾" に設定されます。 委任ステータスが "アクティブ" になるのは、次の 2 つの条件が発生した場合のみです。 • 代理人が委任リクエストを受諾した。 • システム日付が、委任期間の開始日よりも後か同日で、終了日よりも前か同日である。 委任ステータスが "アクティブ" になると、未処理の全てのトランザクションが委任者から代理人に再割り当てされます。また、トランザクションの一時権限リストとロールが代理人に割り当てられます。これによって、代理人はオンライントランザクションへのナビゲーション アクセスが可能になります。 委任リクエストの "終了日" が空白の場合は、委任者または管理者が委任リクエストを取り消すまで、リクエスト ステータスは "アクティブ" のままとなります。
受諾	非アクティブ	代理人が委任リクエストを受諾したが、委任リクエストの日付が将来の日付の場合は、システム日付が開始日よりも後か同日になるまで、委任ステータスは "非アクティブ" なままとなります。
辞退	非アクティブ	代理人が委任リクエストを辞退すると、リクエスト ステータスは "辞退" に設定されます。委任ステータスは "非アクティブ" のままとなります。

リクエスト ステータス	委任ステータス	説明
終了	非アクティブ	代理人の代理権の期間が終了すると、リクエスト ステータスは [終了] に設定され、委任ステータスは [非アクティブ] に変わります。このような変更は、システム日付が代理権の期間の終了日より後になると発生します。 未処理の全てのトランザクションが代理人から委任者に再割り当てされます。また、代理人の一時権限リストとロールが削除されます。これによって、オンライントランザクションへの代理人のナビゲーション アクセス権が削除されます。
取消	非アクティブ	委任者が委任リクエストを取り消すか、または委任管理者が委任者の代わりに委任リクエストを取り消すと、リクエストステータスは "取消" に設定され、委任ステータスは "非アクティブ" に変わります。 未処理の全てのトランザクションが代理人から委任者に再割り当てされます。また、代理人の一時権限リストとロールが削除されます。これによって、オンライントランザクションへの代理人のナビゲーション アクセス権が削除されます。

委任機能の導入に際しての注意事項

委任機能の導入に際して考慮が必要な事項があります。

考慮すべき重要事項は、以下のとおりです。

- 委任機能を有効にする必要があるか。
- どのようなトランザクションを委任できるようにする必要があるか。
- どの階層を委任できるようにする必要があるか。

また、以下のセキュリティ ニーズを分析し、それらのニーズに対応するプランを作成することも必要です。

- 委任コンポーネントに用意されている権限リストとロールを分析し、標準で提供されているオブジェクトを使用して委任機能を導入するか、新しいオブジェクトを作成して導入するかを決定する。
- 該当ロールが含まれている委任管理者の標準ユーザー プロファイルの定義方法を決定する。
- 該当ロールが含まれている委任者の標準ユーザー プロファイルの定義方法を決定する。

- 該当ロールが含まれている代理人の標準ユーザー プロファイルの定義方法を決定する。
- 委任者と代理人に同じプロファイルを与えるか、異なるプロファイルを与えるかを決定する。

委任の設定手順

委任フレームワークにトランザクションを導入するには、次の手順に従います。

1. ワークフロートランザクションの登録ページで、ワークフローの委任トランザクションを登録します。
2. PeopleTools セキュリティ コンポーネントを使用して、委任権限リスト/ロールを設定します。
3. 委任インストール設定ページで、委任のインストール設定を定義します。
4. 委任トランザクション設定ページで、委任トランザクションを設定します。

委任コンポーネント間の移動

PeopleSoft HCM アプリケーションには、特定のビジネス プロセスやタスク、ユーザー ロールをサポートするフォルダ グループをまとめたカスタム ナビゲーション ページが用意されています。

注: PeopleSoft HCM のカスタム ナビゲーション ページの他に、メニューによるナビゲーションと、標準のナビゲーション ページも使用できます。

このトピックでは、委任コンポーネント間の移動に使用するページを列挙します。

『PeopleTools: Application Designer Developer's Guide』を参照してください。

委任コンポーネント間の移動に使用するページ

次の表は、委任機能用の設定コンポーネント間および管理コンポーネント間の移動に使用するカスタムナビゲーション ページの一覧です。

ページ名	ナビゲーション	用途
委任設定センター	[HCM 基本設定], [共通定義], [委任], [委任設定センター]	このページのコンポーネントリンクを使用して、管理者は PeopleSoft HCM の委任フレームワークの設定に必要なページにアクセスできます。
承認/委任	[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任]	このページのコンポーネントリンクを使用して、管理者は PeopleSoft HCM の委任の管理と承認トランザクションの管理に必要なページにアクセスできます。

ワークフロー トランザクションの登録

このトピックでは、ワークフロー トランザクションの登録方法について説明します。

ワークフロー トランザクションの登録に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ワークフロー トランザクション ページ	HCM_EO_TXN	ワークフロー トランザクションを適切なワークフロー機能に関連付け、ワークフロー トランザクション カテゴリを割り当てることにより、セルフサービス トランザクションに対してワークフロー トランザクションを登録します。承認フレームワークを使用するトランザクションの場合は、トランザクションに関連付けられている承認プロセス ID をさらに指定する必要があります。トランザクションの開始の委任および承認の委任を有効にすることもできます。

ワークフロー トランザクション ページ

ワークフロー トランザクション ページ (HCM_EO_TXN) を使用して、ワークフロー トランザクションを適切なワークフロー機能に関連付け、ワークフロー トランザクション カテゴリを割り当てることにより、セルフサービス トランザクションに対してワークフロー トランザクションを登録します。

承認フレームワークを使用するトランザクションの場合は、トランザクションに関連付けられている承認プロセス ID をさらに指定する必要があります。トランザクションの開始の委任および承認の委任を有効にすることもできます。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [承認設定センター], [ワークフロー トランザクション], [ワークフロー トランザクション]
- [HCM 基本設定], [共通定義], [承認], [ワークフロー トランザクション], [ワークフロー トランザクション]

画像: ワークフロー トランザクション ページ (1/3)

次の例では、ワークフロー トランザクション ページ (1/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Workflow Transactions				
▼ Workflow Transactions				
*Transaction Name	*Category	Description	Delegate Initiation	
Delegate_ePerformance_Dev	HR_TRANSACTIONS	Update ePerformance Dev Docs	☒	+ -
Delegate_ePerformance_Doc	HR_TRANSACTIONS	Update ePerformance Docs	☒	+ -
EP_CREATE	HR_TRANSACTIONS	Appraisals by Dflt Access Type	☐	+ -
EP_CREATE_GRP	HR_TRANSACTIONS	Appraisals by Group ID	☐	+ -
GPCH_ABSENCE	HR_TRANSACTIONS	Absence	☐	+ -
GPCH_ABSENCE_MGR	HR_TRANSACTIONS	Absence by Manager	☐	+ -
GPCH_OVERTIME	HR_TRANSACTIONS	Overtime	☐	+ -
GPCH_OVERTIME_MGR	HR_TRANSACTIONS	Overtime by Manager	☐	+ -
GP_ABS_EESS_BAL	HR_TRANSACTIONS	Employee Absence Balance	☒	+ -

画像: ワークフロー トランザクション ページ: [詳細 1] タブ (2/3)

次の例では、ワークフロー トランザクション ページ: [詳細 1] タブ (2/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Workflow Engine (AWE) and Delegation Transactions				
Details1 Details2				
*Transaction Name	*Category	Description		
EP_APPRAISAL	HR_TRANSACTIONS	Performance Document	+	-
FE_ADDRESS	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Addr Change	+	-
FE_FTPT	HR_TRANSACTIONS	Federal Full/Part Time Change	+	-
FE_LOCATION	HR_TRANSACTIONS	Federal Location Change	+	-
FE_MARITAL	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Mar Change	+	-
FE_NAME	HR_TRANSACTIONS	Federal Employee Name Change	+	-
FE_PROMOTION	HR_TRANSACTIONS	Federal Promotion	+	-
FE_REASSIGN	HR_TRANSACTIONS	Federal Reassignment	+	-
FE_REPORTING	HR_TRANSACTIONS	Federal Reporting Change	+	-
FE_RETIRE	HR_TRANSACTIONS	Federal Retirement	+	-
FE_SEPARATE	HR_TRANSACTIONS	Federal Separation	+	-
GP Payroll Approval CHN	HR_TRANSACTIONS	GP Payroll Approval CHN	+	-
GP_SS_ABS_APPR_L	HR_TRANSACTIONS	Manager Absence Approve	+	-
HR_FULL_PART_CHG	HR_TRANSACTIONS	Change Full/PT Status	+	-

画像: ワークフロートランザクション ページ: [詳細 2] タブ (3/3)

次の例では、ワークフロートランザクション ページ: [詳細 2] タブ (3/3) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Approval Workflow Engine (AWE) and Delegation Transactions									
Details1		Details2							
*Transaction Name	*Approval Process ID	Org Viewer Service ID	Delegate Initiation	Delegate Approvals	Combine Partial	Limit Drill Up			
EP_APPRAISAL	PerformanceManagement		☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐
FE_ADDRESS	FederalAddrChg		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_FTPT	FederalFTPTChange		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_LOCATION	FederalLocationChg		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_MARITAL	FederalMarChg		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_NAME	FederalNameChg		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_PROMOTION	FederalPromoteEmployee		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_REASSIGN	FederalReassignEmployee		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_REPORTING	FederalRportingChg		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_RETIRE	FederalRetireEmployee		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
FE_SEPARATE	FederalSeparateEmployee		☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
GP Payroll Approval CHN	GPCN_Payroll_Approval		☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐
GP_SS_ABS_APPR_L	AbsenceManagement	GP_ABS_MGRSS_REQ	☐	☒	☐	☐	☐	☐	☐
HR_FULL_PART_CHG	FTPTChangeEmployee		☒	☒	☐	☐	☐	☐	☐

注: 委任フレームワークの導入時に、全てのセルフサービストランザクションを登録する必要があります。開始の委任または承認の委任に対して有効にした登録済みワークフロートランザクションだけが、次のステップである委任トランザクションの設定に使用できます。

「ワークフロートランザクションのリンク」を参照してください。

委任のための権限リストとロールの設定

次の各トピックでは、委任のための権限リストとロールの概要および設定方法について説明します。

委任のための権限リストとロールの設定について

委任トランザクションを設定する前に、まず、委任トランザクションに対して権限リストとロール セキュリティを設定する必要があります。PeopleSoft HCM アプリケーションには、委任フレームワークの使用に必要な権限リストがシステム データとして用意されています。ユーザーが委任機能にアクセスできるようにする必要がある場合に、これらの権限リストをロールに付与することができます。

次の表は、委任フレームワーク用に標準で用意されている権限リストについて説明しています。

権限リスト名	説明	権限リストに割り当てられているロール
HCCPDL1000	委任設定センター ページに属している委任設定コンポーネントと、承認/委任 ページに属している委任管理コンポーネントにユーザーがアクセスできるようにします。	HCM 委任管理者

権限リスト名	説明	権限リストに割り当てられているロール
HCCPDL1100	セルフサービストランザクションのホームページである委任管理ページにユーザーがアクセスできるようにします。	管理者 従業員

権限リストだけではなく、委任管理者ロールを定義して、それに HCCPDL1000 権限リストを割り当てる必要があります。このロールをユーザーに割り当てると、指定された委任管理者は、委任設定コンポーネントと委任管理コンポーネントにアクセスできるようになります。この目的のために、PeopleSoft HCM システムには、HCM 委任管理者ロールがシステム データとして用意されています。このロールには、HCCPDL1000 権限リストが既に割り当てられています。

委任機能を使用する PeopleSoft HCM アプリケーションには、委任フレームワーク用に事前設定されているトランザクションが多数用意されています。これらのトランザクションには、代理人が委任された標準トランザクションを実行できるコンポーネントごとに固有の権限リストとロールが事前設定されています。代理人のステータスがアクティブになると、その委任トランザクションに固有のロールが、代理人のユーザープロファイルに挿入されます。そのロールには、委任されたトランザクションを実行するために代理人がコンポーネントにアクセスできるようにする権限リストが含まれています。代理人のステータスが非アクティブになると、そのロールが代理人のユーザー プロファイルから削除されます。委任トランザクションを設定するには、委任トランザクション設定ページを使用して、トランザクションが実行されるコンポーネントと固有のロールをトランザクションに関連付けます。固有の権限リストは、PeopleTools セキュリティのロールに関連付けられます。

「[委任トランザクションの設定](#)」を参照してください。

委任対象のトランザクションを設定する際は、委任されたトランザクションに関連付ける個々のコンポーネントに固有のロールと権限リストを使用する必要があります。コンポーネントのポータル セキュリティに権限リストを付与し、固有のロールを固有の権限リストに関連付ける必要があります。また、ポータル セキュリティの同期プロセス ([PeopleTools], [ポータル], [ポータル セキュリティの同期]) を実行して、権限リストがポータル ナビゲーションに確実に関連付けられるようにすることも必要です。

警告 委任トランザクションの設定に、既存のロールは使用しないでください。委任フレームワークでは、トランザクションに対する代理人の代理権に従って代理人のセキュリティ プロファイルのロールが許可されたり、取り消されたりするためです。その結果、委任フレームワークによって代理権が取り消されると、指定されたコンポーネントへのアクセス権を既に持っている代理人は、そのコンポーネントにまったくアクセスできなくなります。

関連リンク

[委任トランザクションの設定](#)

権限リストとロールの設定

委任トランザクションに対して権限リストとロール セキュリティを設定します。

『*PeopleTools: Security Administration*』を参照してください。

委任インストール設定の定義

このトピックでは、委任インストール設定の定義方法について説明します。

委任インストール設定の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
委任インストール設定ページ	HCDL_SYS_SETUP	委任インストール設定を定義します。通常この作業は、委任のための権限リストとロールが設定された後、委任管理者が行います。

委任インストール設定ページ

委任インストール設定ページ (HCDL_SYS_SETUP) を使用して、委任インストール設定を定義します。

通常この作業は、委任のための権限リストとロールが設定された後、委任管理者が行います。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [共通定義], [委任], [委任設定センター], [インストール設定], [委任インストール設定]
- [HCM 基本設定], [共通定義], [委任], [インストール設定], [委任インストール設定]

画像: 委任インストール設定ページ

次の例では、委任インストール設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

管理者ロール

委任管理者として指定するロールを選択します。委任フレームワークによって、このロールにエラーが転送されます。この目的のために、PeopleSoft システムには、HCM 委任管理者ロールがシステム データとして用意されています。用意されているロールを選択することもできますし、他のロールを使用することもできます。

アクティブな代理人を確認する間隔、日

職務データレコードまたは関係者の同等のレコードで代理人がアクティブであるかを確認する際に、代理権の管理アプリケーション エンジン プロセスによってシステム日付に追加させたい日数を入力します。委任管理者は、代理権の管理ページでこのプロセスを実行できます。

終了日が設定されていない委任を使用する場合は、代理人のアクティブ/非アクティブの確認が特に重要です。セルフサービ

スで委任リクエストを作成する際に、委任者が "日付の入力" ページの [終了日] フィールドを空白のままにすると、終了日を設定しない委任になります。

デフォルトでは、7 日が使用されます。このフィールドを空白にするか、0 を入力すると、この値はコンポーネントの保存時に自動的に 7 に設定されます。この例では、委任管理者がバッチ ジョブを実行すると、システム日付に 7 日が追加され、その日に代理人がアクティブかどうかチェックされます。

有効階層

このグループ ボックスを使用して、トランザクションの委任時にセルフサービス ユーザーが代理人を選択する方法のオプションを定義できます。ここで選択するオプションによって、ユーザーが委任リクエストを作成するときに "代理人を階層から指定" ページに表示されるアクティブな代理人が決まります。これらの設定は、委任フレームワークを使用する全てのトランザクションに適用されます。たとえば、代休リクエストに対してアクティブな代理人を管理者 ID 別に、あるいは、昇進・昇格に対してアクティブな代理人を直属上司のポジション別にこのページに表示するように指定することはできません。

全個人

ユーザーが委任リクエストを作成するときに代理人の選択を制限しない場合は、このチェック ボックスをオンにします。"代理人を階層から指定" ページに [名前で検索] リンクが表示されます。ユーザーがこのリンクをクリックすると、"代理人を名前で指定" ページが表示され、システム内のアクティブな任意の個人を検索して、代理人として選択できます。デフォルトでは、このチェック ボックスはオンになっています。

階層指定

特定の階層に基づいて委任者が代理人を選択するように要求するには、このチェック ボックスをオンにします。選択できる階層は 1 つだけです。選択した階層は、トランザクション タイプとは無関係にシステム全体を通じて全ての委任リクエストに適用されます。セルフサービス ユーザーが代理人を階層から検索する場合は、階層の上位と下位の両方向の検索が可能です。

選択肢は以下のとおりです。

- **部門セキュリティツリー別:** セキュリティ ツリーの情報を使用して、従業員データのアクセス権限を決定します。セキュリティ ツリーに基づき、ユーザーがデータへのアクセスを許可された従業員の一覧が表示されます。
- **監督者 ID 別:** 勤務地ページの [監督者の従業員 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーの ID が、職務レコードの監督者 ID として指定されている従業員の一覧が表示されます。

- **部門管理者 ID 別:** 部門プロファイル ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) の [管理者 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。部門管理者のユーザーには、自分の部門に所属する従業員の一覧が表示されます。
- **直属上司のポジション別:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーのポジションが、職務レコードの直属上司のポジションとして指定されている従業員の一覧が表示されます。

このオプションを選択できるのは、"インストール テーブル - HCM オプション" ページでポジション管理ビジネス プロセスを有効にした場合のみです。

- **監督者 ID 別 - 一部がポジション管理:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドと [監督者の従業員 ID] フィールドの両方を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、最初に [直属上司] の値に基づいて行われ、次に [監督者の従業員 ID] の値に基づいて行われます。

このオプションを選択できるのは、"インストール テーブル - HCM オプション" ページでポジション管理ビジネス プロセスを有効にした場合のみです。

- **部門管理者ID別-一部がポジション管理:** 勤務地ページ (JOB_DATA1) の [直属上司] フィールドと、部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドの情報を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、最初に [直属上司] の値に基づいて行われ、次に 部門管理者 ID の値に基づいて行われます。
- **グループ ID 別:** グループビルド機能で設定されたグループ ID を使用して、データのアクセス権限を決定します。

このオプションを選択すると右側にフィールドが表示され、そのフィールドで有効なグループ ID を選択する必要があります。グループ ID は、グループビルド - グループ定義コンポーネントを使用して定義します。

これらの階層は、直属部下機能に関連付けられており、直属部下の設定コンポーネントのターゲット情報ページにある [アクセスタイプ] フィールドに表示される階層と同じです。

[階層指定] チェック ボックスと [全個人] チェック ボックスをオンにすると、委任者は、リストから選択するか、システム内の任意のアクティブな代理人を検索するかを選ぶことができるため、代理人の階層選択は必須ではなく任意になります。

委任トランザクションの設定

次の各トピックでは、標準の委任トランザクションの概要および委任トランザクションの設定方法について説明します。

委任トランザクションの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
委任トランザクション設定ページ	HCDL_TXN_SETUP	委任トランザクションを設定します。この作業は、トランザクションを委任設定可能にするために、委任インストール設定の設定後に委任管理者によって行われます。

委任トランザクションについて

PeopleSoft アプリケーションには、委任フレームワーク用に事前設定されたトランザクションが多数用意されています。それらのトランザクションには、トランザクションの設定コンポーネントからアクセスできます。次の表は、標準で用意されている委任トランザクションと設定の一覧です。

トランザクション名	固有のロール/権限リスト	コンポーネント名	委任トランザクションの説明
ePerf キャリア開発記入票の更新	delegate_ePerformaceDevDoc_Upgrade	EP_CURRENT_MY_DVL	キャリア開発記入票を更新する機能を委任します。
ePerformance 記入票の更新	delegate_ePerformaceDoc_Update	EP_CURRENT_MY_PRF	パフォーマンス記入票を更新する機能を委任します。
EP_APPRAISAL	Delegate_PerformancDoc_Approve	EP_APPRAISAL_APPR	パフォーマンス記入票の承認を委任します。
GP_ABS_EESS_BAL	従業員休暇残数の委任	GP_ABS_EESS_BAL	従業員の休暇残数照会の開始を委任します。
GP_ABS_EESS_HIST	従業員休暇履歴の委任	GP_ABS_EESS_HIST	従業員の休暇欠勤履歴照会の開始を委任します。
GP_ABS_EESS_REQ	従業員休暇リクエストの委任	GP_ABS_EESS_REQ	従業員の休暇欠勤リクエストの開始を委任します。

トランザクション名	固有のロール/権限リスト	コンポーネント名	委任トランザクションの説明
GP_ABS_MGRSS_BAL	管理者休暇残数の委任	GP_ABS_MGRSS_BAL	管理者の休暇残数照会の開始を委任します。
GP_ABS_MGRSS_HIST	管理者休暇履歴の委任	GP_ABS_MGRSS_HIST	管理者の休暇欠勤履歴照会の開始を委任します。
GP_ABS_MGRSS_REQ	管理者休暇リクエストの委任	GP_ABS_MGRSS_REQ	管理者の休暇欠勤リクエストの開始を委任します。
GP_SS_ABS_APPR_L	管理者休暇承認の委任	GP_SS_ABS_APPR_L	休暇欠勤リクエストの承認を委任します。
HR_EE_INF_MGR	Delegate_View_Employee_Info	HR_EE_INF_MGR	従業員情報の照会の開始を委任します。
HR_FULL_PART_CHG	Delegate_FullPartStat_Initiate	HR_MGR_FULL_PART	常勤/パートタイムのステータス変更の開始を委任します。
HR_LOCATION_CHG	Delegate_LocChange_Initiate	HR_MGR_LOCATION	勤務地変更の開始を委任します。
HR_PROMOTION (承認)	Delegate_Promotion_Approve	HR_PROMOTE_APPR	昇進・昇格の承認を委任します。
HR_PROMOTION (開始)	Delegate_Promotion_Initiate	HR_PROMOTE_MGR	昇進・昇格の開始を委任します。
HR_REPORT_CHG (承認)	Delegate_ReportingChg_Approve	HR_MGR_REPORT_APPR	管理者変更の承認を委任します。
HR_REPORT_CHG (開始)	Delegate_ReportingChg_Initiate	HR_MGR_REPORT_CHNG	管理者変更の開始を委任します。
HR_RETIRE	Delegate_Retire_Initiate	HR_RETIRE_EE	従業員の退職の開始を委任します。
HR_TERM	Delegate_Terminate_Initiate	HR_EE_TERMINATE	従業員の雇用終了の開始を委任します。
HR_TRANSFER (承認)	Delegate_Transfer_Approve	HR_TRANSFER_APPR	転属の承認を委任します。
HR_TRANSFER (開始)	Delegate_Transfer_Initiate	HR_TRANSFER_MGR	転属の開始を委任します。
JobOffer	Delegate_JobOffer_Approve	HRS_RECRUIT_CONSOL	条件提示の承認を委任します。
JobOpening	Delegate_JobOpening_Approve	HRS_RECRUIT_CONSOL	人材募集の承認を委任します。

トランザクション名	固有のロール/権限リスト	コンポーネント名	委任トランザクションの説明
TL_MSS_EE_SECH_PRD (承認)	レポート時間の承認管理の委任	TL_MSS_EE_SRCH_PRD	レポート時間の管理の承認を委任します。
TL_MSS_EE_SECH_PRD (開始)	レポート時間の管理の委任	TL_MSS_EE_SRCH_PRD	レポート時間の管理の開始を委任します。
TL_SRCH_APPRV_GRP	支給時間の承認管理の委任	TL_SRCH_APPRV_GRP	給与支給対象時間の承認を委任します。
WCSCompConfirmer	報酬更新の委任	WCS_ECM_MSS_HOME	報酬提案の確認の開始を委任します。
WCSCompReviewer	報酬更新の委任	WCS_ECM_MSS_HOME	報酬提案のレビューの開始を委任します。
WCSCompSubmitter	報酬更新の委任	WCS_ECM_MSS_HOME	報酬提案の送信の開始を委任します。
WCS_ECM_AWE_HOME	報酬承認の委任	WCS_ECM_AWE_HOME	報酬の承認を委任します。

注: アプリケーション固有の委任トランザクションの詳細については、該当するアプリケーションのドキュメントを参照してください。

委任トランザクション設定ページ

委任トランザクション設定ページ (HCDL_TXN_SETUP) を使用して、委任トランザクションを設定します。

この作業は、トランザクションを委任設定可能にするために、委任インストール設定の設定後に委任管理者によって行われます。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [共通定義], [委任], [委任設定センター], [トランザクションの設定], [委任トランザクション設定]
- [HCM 基本設定], [共通定義], [委任], [トランザクションの設定], [委任トランザクション設定]

画像: 委任トランザクション設定ページ

次の例では、委任トランザクション設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Delegation Transaction

Transaction Name Manager Absence Approve

Transaction Type Approve

*Description Manager Absence Approve

Configure Delegation Transaction Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/2005 *Status Active

Security

*Role Delegate Manager Absence Appr

*Component Name GP_SS_ABS_APPR_L

Optional Parameters

Display Link Label

Message Set Number

Message Number

Delegation Event Handler Class

Root Package ID

Appl Path

トランザクション名

トランザクションの名称が表示されます。新しい値を追加する場合は、ワークフローに対して設定済みで、かつ "ワークフロートランザクション" ページの [開始の委任] または [承認の委任] がオンになっているトランザクションのリストから値を選択するための検索画面が表示されます。これらの条件に一致しないトランザクションは、委任設定には使用できません。

トランザクション タイプ

トランザクションの設定が [開始の委任] と [承認の委任] のどちらであるかが表示されます。委任フレームワークでは、他の人の代理としてトランザクションを開始する職務と、トランザクシ

ンを承認する職務を区別できます。新しい値を追加する場合は、次のいずれかを選択するための検索画面が表示されます。

- **開始:** 委任者は、委任者の代理人としてトランザクションの開始または送信だけを行う代理権を委任できます。
- **承認:** 委任者は、委任者の代理人としてトランザクションの承認または却下だけを行う代理権を委任できます。

選択したトランザクションに対してどちらのオプションでも選択できますが、"ワークフロー トランザクション" ページで、該当する[開始の委任] チェック ボックスまたは [承認の委任] チェック ボックスをオンにした場合のみ、選択した値は有効になります。

名称

委任トランザクション設定の名称を入力します。関連付けられているトランザクションの表示時に、委任の全ページを通じてこの名称が使用されます。デフォルトでは、トランザクション タイプとトランザクション名を連結させた名称が使用されます。意味が類推できるような名称を常に付けるようにしてください。

有効日、ステータス

トランザクションの有効日を入力し、委任フレームワーク内でトランザクションがアクティブか非アクティブかを指定します。新しい有効日が設定されている行を入力することにより、必要に応じてトランザクションの使用可/不可を切り替えることができます。新しい行を入力すると、有効日としてシステム日付がデフォルトで使用されます。

セキュリティ

このグループ ボックスは、指定されたトランザクションに対する権限を委任される代理人に対して、セキュリティ アクセス権を設定するのに使用します。委任トランザクションがアクティブな間は、委任フレームワークにより、指定されたロールが代理人に一時的に割り当てられ、指定されたコンポーネントへの代理アクセス権が付与されます。

ロール

指定されたトランザクションの処理に使用する該当コンポーネントの権限リストが含まれているロールを選択します。委任可能にするトランザクションには、委任のみを目的とした固有のロールと関連権限リストが必要です。

代理人の代理権がアクティブになると、このロールが代理人のユーザー プロファイルに一時的に割り当てられ、代理権を所有している間は代理人は該当トランザクション コンポーネントにアクセスできます。代理人の代理権が終了すると、このロールは代理人のユーザー プロファイルから削除されます。したがって、代理人は該当トランザクション コンポーネントにアクセスできなくなります。

承認者が特定のロールを所有している必要がある承認トランザクションでは、そのトランザクションに対して代理権を持つ代理人は、トランザクションを承認するためのロールと同じロールを持っている必要があります。たとえば、承認者が管理者でなければならない昇進・昇格の承認では、昇進・昇格リクエストを正常に承認するためには、昇進・昇格を承認するための代理権を持つ代理人も管理者でなければなりません。

このフィールドの値は、ロール コンポーネントで設定したロールから検索/表示されます。

警告 委任されたトランザクションと関連付ける個々のコンポーネントに固有のロールを使用する必要があります。

「[委任のための権限リストとロールの設定について](#)」を参照してください。

コンポーネント名

指定されたトランザクションに対するリクエストを処理できるコンポーネントのオブジェクト名を選択します。ユーザーが委任リクエストを作成すると、委任者のユーザー プロファイルがチェックされ、このコンポーネントへのアクセス権限が委任者にあるかどうかを確認されます。委任者がセキュリティアクセス権を持っている場合のみ、トランザクションに対する委任リクエストの作成が許可されます。

オプション パラメータ

委任プロセスを完了するために、ユーザーを製品固有のページに移動するリンクを委任の各ページに作成する必要がある場合は、このグループ ボックスを使用します。

メッセージ カタログからリンク ラベルを取得するためには、[リンク ラベルの表示] の各フィールドを使用します。

メッセージ セット番号、メッセージ番号 委任詳細ページに表示されるリンクに使用する必要があるラベルを識別する番号を入力します。このラベルは、製品別に管理されます。

注: アプリケーション固有のメッセージ番号の詳細については、該当するアプリケーションのドキュメントを参照してください。

委任イベント ハンドラ クラス の各フィールドを使用して、製品固有のアプリケーション クラスを識別します。

ルート パッケージ ID

委任の各ページのリンクを個人がクリックした場合の移動先のコンポーネントを所有するアプリケーション パッケージを選択します。

パス

委任プロセスを終了するために、ユーザーを製品固有のコンポーネントに移動するクラスを入力します。

管理者による委任リクエストの追加

このトピックでは、管理者が委任リクエストを追加する方法について説明します。

管理者による委任リクエストの追加に使用するページ

ページ名	定義名	用途
委任リクエストの追加ページ	HCDL_ADMIN_ADD_DLG	管理者が委任者の代理人として作成する委任リクエストを追加します。

委任リクエストの追加ページ

委任リクエストの追加ページ (HCDL_ADMIN_ADD_DLG) を使用して、管理者が委任者の代理人として作成する委任リクエストを追加します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [委任リクエストの追加], [委任リクエストの追加]

画像: 委任リクエストの追加ページ

次の例では、委任リクエストの追加ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Add Delegation Request

Antonio SmithEmployeeEmplid K0W001Empl Record 0

Add Delegation Request

From Date	To Date	Trans Type	Transaction Name	Proxy	Name
12/21/2014	01/01/2015	Approve	GP_SS_ABS_APPR_L	K0W006	Paul Harvest

Maintain Delegated Authorities

Administer Delegation

注: 委任フレームワークがトランザクションに対する代理権を代理人に渡した後に委任の連鎖が発生しないようにするために、代理人はそのトランザクションに対する権限を別のユーザーに委任することはできません。委任フレームワークでは、トランザクションに対する権限は開始委任者から開始代理人にのみ渡されます。

注: ユーザーが委任リクエストを追加すると、"ユーザー プロファイル - ワークフロー" ページにある [代替ユーザー ID] フィールドの値がチェックされます。委任リクエストによって、委任リクエスト内のトランザクションの代替ユーザー ID が上書きされます。代替ユーザー ID が存在し、委任の日付と代替 ID の日付が重複すると、警告メッセージが表示されます。

開始日、終了日	委任をアクティブにする日付範囲を入力します。[開始日] の値は、今日よりも後の日付にする必要があります。[終了日] の値は、[開始日] の値よりも後の日付にする必要があります。委任の終了日を設定しない場合は、[終了日] フィールドを空白にします。
トランザクション タイプ、トランザクション名	委任するトランザクションを選択します。委任者がアクセス権を持っているトランザクションの中から選択するための検索画面が表示されます。これらのトランザクションは、委任トランザクション設定ページで定義した委任の日付範囲の間アクティブです。 選択したトランザクションが開始の委任と承認の委任のいずれであるかが表示されます。
代理人、名前	委任者がトランザクションを委任する代理人を選択します。
委任者に通知	代理人が委任者の代理人としてこのトランザクションを承認または開始したときに、委任者に電子メール通知を送信するには、このチェック ボックスをオンにします。
代理権の管理	このリンクをクリックすると、代理権の管理ページにアクセスします。このページでは、バッチ ジョブを実行して、委任トランザクションを処理できます。
委任管理	このリンクをクリックすると、委任管理ページにアクセスします。このページでは、システム内の個々の委任リクエストを検索および管理できます。
製品別設定リンク	委任リクエストを完了するために各製品に特化したコンポーネントが表示されるようにする場合は、トランザクションに対して各製品に特化したリンクを選択します。 各製品に特化したコンポーネントには、委任リクエストの送信の可否を示すチェック ボックスがあります。許可すると、委任リクエストが送信されることになります。許可しないと委任リクエストは送信されません。 このリンクは、トランザクションに対する委任トランザクション設定ページの [オプション パラメータ] セクションに、製品に特化した詳細な委任要件が設定されている場合に使用可能になります。リンクのラベルは、委任トランザクション設定ページで指定したメッセージ カタログから表示されます。委任トランザクション設定ページの [オプション パラメータ] セクションに情報が入力されていない場合、リンクは使用できません。

委任管理

このトピックでは、委任の管理方法について説明します。

委任の管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>委任管理ページ</u>	HCDL_ADMIN_DLG	委任リクエストを管理します。管理者は委任リクエストを確認し、必要に応じて、委任者の代理人として委任リクエストを取り消します。
委任管理 - リクエスト詳細ページ	HCDL_ADMIN_RQT_DTL	委任管理者は、選択した委任リクエストの詳細を確認できます。

委任管理ページ

委任管理ページ (HCDL_ADMIN_DLG) を使用して、委任リクエストを管理します。

管理者は委任リクエストを確認し、必要に応じて、委任者の代理人として委任リクエストを取り消します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [委任管理], [委任管理]

画像: 委任管理ページ: [委任リクエスト] タブ

次の例では、委任管理ページ: [委任リクエスト] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Administer Delegation

Maintain Delegated Authorities

Add Delegation Request

Selection Criteria

Delegator

From Date

Proxy

To Date

Transaction Name

Request Status

Delegation Status

Search

Clear

Search Results

Delegation Request

Request Details

Description	Delegator	Name	Proxy	Name
☐ Approve Job Offer	N30016	James Casey	E30048	Isaac Devin
☐ Approve Job Opening	N30002	Michael Campbell	E30051	Thomas Amari
☐ Approve Job Opening	N30018	Tyler Cameron	E30050	Jayden Kasey
☐ Approve Job Offer	N30018	Tyler Cameron	E30050	Jayden Kasey
☐ Approve Job Opening	N30013	David Tyler	N30014	Ryan Logan

画像: 委任管理ページ: [リクエスト詳細] タブ

次の例では、委任管理ページ: [リクエスト詳細] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Search Results

Delegation Request

Request Details

	From Date	To Date	Request Status	Delegation Status	Notify Delegator
☐	02/06/2009	02/06/2013	Accepted	Active	☐
☐	02/06/2009	02/07/2013	Accepted	Active	☐
☐	02/06/2009	02/13/2013	Accepted	Active	☐
☐	02/06/2009	02/07/2018	Accepted	Active	☐
☐	02/10/2009	02/01/2100	Accepted	Active	☐
☐	02/10/2009	02/10/2038	Accepted	Active	☐

注: 委任者と代理人が重複したトランザクションを開始した場合は、代理人、委任者または委任管理者が重複したトランザクションを取り消すか、または、承認者が最初のトランザクションの承認時に重複したトランザクションを却下することができます。

代理権の管理

このリンクをクリックすると、代理権の管理ページにアクセスします。このページでは、バッチ ジョブを実行して、委任トランザクションを処理できます。

委任リクエストの追加

このリンクをクリックすると、委任リクエストの追加ページにアクセスします。このページでは、委任者の代理人として委任リクエストを作成できます。

選択条件

このグループ ボックスでは、検索する委任リクエストの条件を指定します。全ての委任リクエストを検索するには、条件を指定しないで [検索] ボタンをクリックします。検索結果を絞り込むには、1 つ以上の条件を入力します。

委任者	委任リクエストを検索する委任者を入力します。既存のリクエストを持つ委任者の中から選択するための検索画面が表示されます。
代理人	委任リクエストを検索する代理人を入力します。既存のリクエストを持つ代理人の中から選択するための検索画面が表示されます。
トランザクション名	委任リクエストを検索するトランザクションを入力します。既存のリクエストに属しているトランザクションの中から選択するための検索画面が表示されます。
開始日、終了日	委任リクエストを確認する特定の開始日または終了日を指定します。
リクエスト ステータス	検索するリクエストのステータスを選択します。リクエスト ステータスは、 [受諾] 、 [終了] 、 [辞退] 、 [取消] 、および [送信済] です。 「委任について」 を参照してください。
委任ステータス	検索するリクエストの委任ステータスとして、 [アクティブ] または [非アクティブ] のいずれかを選択します。 「委任について」 を参照してください。
検索	指定した検索条件に基づいて委任リクエストを検索するには、このボタンをクリックします。
クリア	全ての検索条件フィールドを選択解除するには、このボタンをクリックします。

検索結果

指定した検索条件に基づいて、委任リクエストとリクエスト詳細が表示されます。

リクエスト ステータス	リクエストのステータス ([受諾] 、 [終了] 、 [辞退] 、 [取消] 、および [送信済]) が [リクエスト詳細] タブに表示されます。委任リクエストのさらに詳しい情報を確認するには、この列のリンクをクリックします。委任管理 - リクエスト詳細ページが表示されます。
全て選択	[検索結果] グループ ボックス内の全ての委任リクエストのチェック ボックスをオンにするには、このボタンをクリックします。

全て選択解除	[検索結果] グループ ボックス内の選択した全ての委任リクエストのチェック ボックスをオフにするには、このボタンをクリックします。
取消	委任者の代理人として委任リクエストを取り消すには、このボタンをクリックします。[検索結果] グループ ボックスで選択した全てのリクエストの委任が取り消されます。この変更によって影響を受ける代理人に通知が送信され、未処理の全てのトランザクションが自動的に委任者に再割り当てされます。

バッチ委任リクエストの処理

このトピックでは、バッチ委任リクエストの処理方法について説明します。

バッチ委任リクエストの処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
代理権の管理ページ	HCDL_BATCH	バッチ委任リクエストを毎日バッチ処理します。

代理権の管理ページ

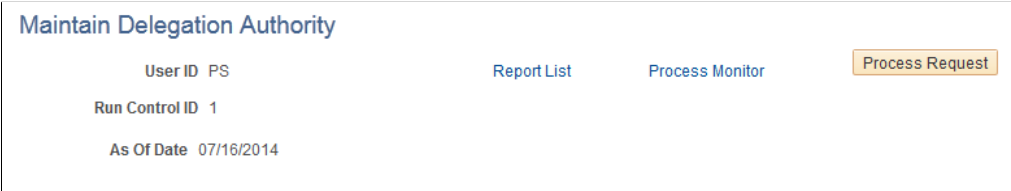
代理権の管理ページ (HCDL_BATCH) を使用して、バッチ委任リクエストを毎日バッチ処理します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [代理権の管理], [代理権の管理]

画像: 代理権の管理ページ

次の例では、代理権の管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



代理権の管理(HCDL_BATCH) アプリケーション エンジン プロセスを実行するには、[プロセス リクエスト] ボタンをクリックします。このバッチ プログラムでは、ラン コントロール ページに表示されるシステム日付で全ての委任トランザクションが処理されます。このプロセスは、将来の日付が付いていた全ての委任トランザクションが今日の日付でアクティブになるようにアクティブ化して、今日の日付で期限切れとなった全ての委任リクエストを取り消し、非アクティブな代理人を検索します。影響を受ける委任トランザ

クシヨン全てについて、リクエスト ステータスと委任ステータスが必要に応じて更新されます。代理人のナビゲーション セキュリティも、必要に応じて更新されます。

重要 委任を管理し、無効な行を更新するために、このプロセスを毎日実行してください。

セルフサービスの委任の使い方

次の各トピックでは、セルフサービスの委任の使い方について説明します。

セルフサービス委任の処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
委任管理ページ	HCDL_MGR_DLG_HOME	ユーザーに関連付けられている委任アクティビティを表示します。
委任管理 - 委任の説明ページ	HCDL_DLG_INSTR	委任に関するヘルプを表示します。ユーザーは、委任機能に関する説明を参照することができます。
委任リクエストの作成 - 職務名の選択ページ	HCDL_JOB_SELECTION	委任リクエストに対する職務を選択します。複数の職務を持つユーザーが、委任リクエストの作成や代理人の確認を行う職務を選択できます。
委任リクエストの作成 - 日付の入力ページ	HCDL_ADD_DLG_DATES	[開始日]と[終了日]を指定することで委任日を入力し、トランザクションに対して代理権の期間を定義します。[終了日]を指定しないと、無期限の委任を指定したことになります。
委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページ	HCDL_ADD_DLG_TXNS	委任対象のトランザクションを選択します。ユーザーは、委任対象のトランザクションを1つ以上選択できます。
委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定ページ	HCDL_ADD_DLG_SRCH	代理人を所属階層から選択します。ユーザーは、所属階層に基づいて、委任対象のトランザクションの代理人を選択できます。
委任リクエストの作成 - 代理人を名前指定ページ	HCDL_ADD_DLG_SRCH	代理人を名前で選択します。ユーザーは、名前に基づいて委任対象のトランザクションの代理人を検索し、選択することができます。
委任リクエストの作成 - 委任の詳細ページ	HCDL_ADD_DLG_DTL	委任リクエストを送信します。ユーザーは、委任リクエストの詳細を確認して、委任リクエストを送信できます。

ページ名	定義名	用途
委任リクエストの作成 - 確認ページ 委任リクエストの辞退ページ 委任リクエストの承諾ページ	HCDL_DLG_CONFIRM	委任リクエスト送信の確認、委任リクエストの受諾、または委任リクエストの辞退を参照します。
代理人の確認ページ	HCDL_MGR_DLGT	委任対象の代理人を管理します。ユーザーは、代理人を検索して委任リクエストのステータスを更新することで、代理人を管理できます。
委任リクエストの詳細ページ	HCDL_REQUEST_DTL	委任リクエストの詳細を表示します。ユーザーは、送信済の委任リクエストの詳細を確認できます。
代理権の確認ページ	HCDL_MGR_DLGT	代理権を管理します。 ユーザーは、代理人として選択された委任リクエストを受諾または辞退することができます。 注: 場合によっては、通常アクセス権限がない管理者セルフサービスのページの場合があります。これらの場合は、委任リクエストの受諾後、システムをログオフして、管理者セルフサービスのページにアクセスするために再度ログインします。
複数トランザクション ページ	HCDL_MULTI_TXNS	代理権を持っている複数トランザクションの詳細を参照します。

委任管理ページ

委任管理ページ (HCDL_MGR_DLG_HOME) を使用して、ユーザーに関連付けられている委任アクティビティを表示します。

ナビゲーション

- [セルフサービス], [委任管理], [委任管理]
- 委任リクエストの作成中に [キャンセル] ボタンをクリックします。
- 委任リクエストを正常に完了した後、確認ページの [OK] ボタンをクリックします。
- [セルフサービス], [トランザクションの確認]コンポーネントで、委任トランザクションの [詳細の表示] リンクまたは [承認/却下] リンクをクリックします。
- [管理者セルフサービス], [トランザクションの確認]コンポーネントで、委任トランザクションの [詳細の表示] リンクをクリックします。

画像: 委任管理ページ

次の例では、委任管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Manage Delegation

Jean Parsons

Some of your self-service transactions can be delegated so that others may act on your behalf to initiate and/or approve transactions for you and/or your employees. In addition, others may have delegated responsibility for their transactions to you.

 [Learn More about Delegation](#)

Select *Create Delegation Request* to choose transactions to delegate and proxies to act on your behalf.

[Create Delegation Request](#)

Select *Review My Proxies* to review the list of transactions that you have delegated and the proxy for each transaction.

[Review My Proxies](#)

Select *Review My Delegated Authorities* to see the list of transactions that have been delegated to you by others, and to accept or reject pending delegation requests.

[Review My Delegated Authorities](#)

ユーザーは、自身に関連付けられている全ての委任アクティビティを表示できます。委任リクエストの作成、代理人にトランザクションの開始または承認を委任した委任リクエストの取消、代理人として選択された委任リクエストの受諾または辞退を行うことができます。このページにユーザーがアクセスする際にユーザーに適用可能なコンテンツと関連リンクだけが表示されます。具体的には、以下のものが表示されます。

- [委任の説明] リンクと、委任の説明の関連コンテンツ。委任フレームワークが使用されていれば、全てのユーザーが常時アクセスできます。

- [委任リクエストの作成] リンクと、委任リクエスト作成のための関連コンテンツ。委任設定のページを使用して委任可能になっているトランザクションに対して、ナビゲーション セキュリティ アクセス権をユーザーが所有している場合のみ表示されます。
- [代理人の確認] リンクと、代理人を確認するための関連コンテンツ。ユーザーにアクティブまたは非アクティブな委任リクエストがある場合のみ表示されます。
- [代理権の確認] リンクと、代理権を確認するための関連コンテンツ。ユーザーが代理人としての権限を委任されている場合のみ表示されます。

委任管理 - 委任の説明ページ

委任管理 - 委任の説明ページ (HCDL_DLG_INSTR) を使用して、委任のヘルプを表示します。

ユーザーは、委任機能に関する説明を参照することができます。

ナビゲーション

委任管理ページで [委任の説明] リンクをクリックします。

画像: 委任管理 - 委任の説明ページ

次の例では、"委任管理 - 委任の説明" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Manage Delegation

Return

Jean Parsons

What is Delegation?

Depending upon how your System Administrator has setup your system, you may be able to delegate some or all of your Employee and/or Manager Self Service transactions to one or more people. When delegating transactions, you can specify whether you're delegating the authority to initiate a transaction, or approve a transaction.
For example, you may choose to delegate some or all of your transactions for the following reasons:

- You know that you will be away from the office for an extended period of time, and thus will not be able to manage transactions for you or your employees. You can delegate your transactions to someone else for a specific period of time.
- You prefer to have an assistant process all of your transactions. You can delegate all of your transactions to someone else for an indefinite period of time.

There are three links on Delegation Home Page - one for each way of managing delegation:

- **Create Delegation Request** - To create a delegation request so that your transaction(s) can be taken care of by a proxy.
- **Review My Proxies** - To view a list of transactions that you have delegated to proxies and to revoke the delegated authority of proxies.
- **Review My Delegated Authorities** - To view a list of transactions that have been delegated to you. You can either accept the request or reject the request.

FAQ

Who can I delegate transactions to?

Just about anyone. The other person does not have to be a manager, and they don't have to report to you.

What happens when I delegate Approval authority to someone?

When you delegate Approval authority to a proxy, this person can act on your behalf to approve pending transactions. The proxy will be notified of pending transactions (just as you are), and can execute the approval. In the event that the transaction must go up another level in the organization hierarchy, the next level approver(s) will be determined based upon your position in the hierarchy - not the proxy's.

このページは、PeopleTools のアプリケーション デザイナを使用してアクセスし、設定することができます。

委任リクエストの作成 - 職務名の選択ページ

委任リクエストの作成 - 職務名の選択ページ (HCDL_JOB_SELECTION) を使用して、委任リクエストの職務を選択します。

複数の職務を持つユーザーが、委任リクエストの作成や代理人の確認を行う職務を選択できます。

ナビゲーション

複数の職務を保持している場合は、委任管理ページの [委任リクエストの作成] リンクまたは [代理人の確認] リンクをクリックします。

画像: 職務名の選択ページ

次の例では、職務名の選択ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Select Job Title

Danilo Travaniti

Please select the job title below for which you wish to review or create delegation requests.

Job Information			
Job Title	Department	Supervisor Name	Company
☒ Sales Manager	Sales Administration	Antonio Smith	Global Business Institute
☐ Bus Person	Business Services	Paul Harvest	Global Business Institute

Continue Cancel

委任リクエストの作成または代理人の確認を行っているユーザーが複数の職務を持っている場合は、委任リクエストの作成や代理人の確認を行う職務を選択するための検索画面が表示されます。このページは、従業員が複数の職務を兼務している場合のみ表示されます。

委任リクエストの作成 - 日付の入力ページ

委任リクエストの作成 - 日付の入力ページ (HCDL_ADD_DLG_DATES) を使用して、[開始日] と [終了日] を指定することで委任日を入力し、トランザクションに対して代理権の期間を定義します。

[終了日] を指定しないと、無期限の委任を指定したことになります。

ナビゲーション

委任管理ページで [委任リクエストの作成] リンクをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - 日付の入力ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - 日付の入力" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Enter Dates

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

Enter the dates for your delegation request. Enter a *From Date* that is today or later. Enter a *To Date* that is the same as or later than your *From Date*. For open-ended delegation requests, leave the *To Date* blank.

Delegation Dates	
From Date	07/16/2014
To Date	07/25/2014

Next Cancel

委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページ

委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページ (HCDL_ADD_DLG_TXNS) を使用して、委任のトランザクションを選択します。

ユーザーは、委任対象のトランザクションを 1 つ以上選択できます。

ナビゲーション

日付の入力ページで、[次へ] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - トランザクションの選択" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Select Transactions

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

Select the transactions that you want to delegate to a proxy. You can select one or many transactions.

Delegate Transactions	
	Transaction
☐	Approve Job Offer
☐	Approve Job Opening
☐	Approve Promotion
☐	Compensation Approvals
☐	Confirm Compensation Proposals
☐	Employee Absence Balance
☐	Employee Absence History
☐	Employee Absence Request
☐	Employee Progression Chart
☐	Initiate Promotion
☒	Manage Approve Overtime
☒	Manage Approve Payable Time
☐	Manage Approve Reported Time
☐	Manage Overtime Request
☐	Manage Reported Time

[Select All](#)
[Deselect All](#)

[Previous](#)
[Next](#)
[Cancel](#)

委任トランザクション設定ページの [開始の委任] または [承認の委任] に設定されていて、かつ委任者がコンポーネント アクセス権を持っているトランザクションのみが表示されます。

ユーザーは、単一の委任リクエストで 1 つまたは複数のトランザクションを別の個人に委任することができます。代理人は、複数トランザクションの委任リクエストを受信した場合は、そのリクエスト全体を受諾

または辞退する必要があります。ただし、委任者が取り消すことができるトランザクションは、複数トランザクションのリクエストの中の 1 つのトランザクションだけです。委任者が複数トランザクションのリクエストから 1 つ以上のトランザクションを取り消すと、取り消されたトランザクションが複数トランザクションのリクエストから取り出され、個々の取り消されたエントリが承認フレームワーク内に作成されます。残りのトランザクションは、複数トランザクションのリクエスト内にとどまります。取消後に 1 つのトランザクションだけが残った場合は、グループは解消され、複数トランザクションの委任リクエストではなく単一トランザクションの委任リクエストが表示されます。この機能によって、複数トランザクションのステータスの正確さが保持されます。

委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定ページ

委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定ページ (HCDL_ADD_DLG_SRCH) を使用して、代理人を所属階層から選択します。

ユーザーは、所属階層に基づいて、委任対象のトランザクションの代理人を選択できます。

ナビゲーション

"トランザクションの選択" ページで、[次へ] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - 代理人を階層から指定" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Select Proxy by Hierarchy

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

This page displays persons within your hierarchy that you can select as proxies. Select the radio button next to the name to select that person as a proxy. You can also select the [Search by Name](#) hyperlink to search for proxies outside your hierarchy.

[Search by Name](#)

Choose Delegate						
Name	Empl ID	Organizational Relationship	Job Title	Department	Supervisor Name	
☐ Adam Ziglar	KUHM01	Employee	Brigade Commander	Human Resources	Douglas Lewis	
☐ Alex Passantino	KU0067	Employee	Vice President-Intl Ops	International Operations	Douglas Lewis	
☐ Andy Lee	KU0209	Employee	Vice President-Research & Dev	Research and Development	Douglas Lewis	
☒ Betty Locherty	KU0007	Employee	Director-Finance	Corporate Finance	Jean Parsons	
☐ Calvin Roth	KU0008	Employee	Director-Information Systems	Information Systems	Jean Parsons	
☐ Charles Baran	KU0002	Employee	Vice President-Operations	Corporate Operations	Douglas Lewis	
☐ Douglas Lewis	KU0001	Employee	President & CEO	President		
☐ Franklin Smith	LE0001	Employee	Director - Planning & Analysis	Program Planning & Analysis	Douglas Lewis	
☐ Fred Johnstone	R-RDSP02	Employee	Director-HR Operations	Corporate Headquarters	Douglas Lewis	
☐ Issac Nichta	K0G002	Employee	Administrator-Human Resources	Finance and Administration	Jean Parsons	
☐ Jeanette Lee	KU2008	Employee	Senior VP - Human Resources	Human Resources	Douglas Lewis	
☐ Kathy Wise	KU0206	Employee	Vice President-Admin	Administration	Jean Parsons	
☐ Kenneth Grafton	KU0004	Employee	Vice President-Sales	Sales and Services	Douglas Lewis	
☐ May Gee	KU0025	Employee	Assistant-Administrative	Administration	Jean Parsons	
☐ Patrick Seto	KU0011	Employee	Vice President-Corp Legal	Corporate Legal	Jean Parsons	

Previous Next Cancel

ユーザーは、委任対象のトランザクションの代理人を選択することができます。委任管理者が委任インストール設定ページでトランザクションに対して特定の階層を指定すると、その指定に基づいて有効な代理人が表示され、ユーザーは代理人をこのリストから選択できます。有効な代理人には、委任者の直属また

は間接の部下と、委任者の管理者で始まる上位階層の全ての個人が含まれます。委任管理者が委任インストール設定ページの [全個人] チェック ボックスをオンにした場合は、[名前で検索] リンクが表示されます。このリンクを使用すると、システム内の全ての個人を検索してその中から選択できます。

委任リクエストの作成 - 代理人を名前で指定ページ

委任リクエストの作成 - 代理人を名前で指定ページ (HCDL_ADD_DLG_SRCH) を使用して、代理人を名前で選択します。

ユーザーは、名前に基づいて委任対象のトランザクションの代理人を検索し、選択することができます。

ナビゲーション

- "代理人を階層から指定" ページの [名前で検索] リンクをクリックします。
- "代理人を名前で指定" ページの [階層から検索] リンクをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - 代理人を名前で指定ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - 代理人を名前で指定" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Create Delegation Request

Select Proxy by Name

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

Search for a proxy using their name. You can also select the Search By Hierarchy hyperlink to search for your proxy.

Search by Hierarchy

Last Name

First Name

Search Clear

Choose Delegate

Name	Empl ID	Organizational Relationship	Job Title	Department	Supervisor Name
☐ Brevin Baron	KULO11	Employee	Manager-Compensation/Benefits	Benefits	Eduardo Campos
☐ Chris Baron	KULH11	Employee	Engineer-Quality Assurance	Quality Assurance	
☐ John Baron	KULA11	Employee	Consultant-Junior	Sales and Services	Kenneth Grafton
☐ Kim Baron	KULD11	Employee	Engineer-Quality Assurance	Quality Assurance	
☐ Macke Baron	FAPK0571	Person of Interest			
☐ Martina Baron	KCLA11	Employee	Secretary-Senior	Human Resources	Marcel Saint-Amand
☐ Patrick Baron	KULM11	Employee	Specialist-Employment	Human Resources	Reza Aliverdi
☐ Reggie Baron	KUL611	Employee	Analyst-Business	Business Services	Richard Morgan

PreviousNextCancel

ユーザーは、代理人を名前で検索して、検索結果の有効な値のリストから選択できます。このページは、委任管理者が委任インストール設定ページの [全個人] チェック ボックスをオンにした場合のみ表示されます。

委任リクエストの作成 - 委任の詳細ページ

委任リクエストの作成 - 委任の詳細ページ (HCDL_ADD_DLG_DTL) を使用して、委任リクエストを送信します。

ユーザーは、委任リクエストの詳細を確認して、委任リクエストを送信できます。

ナビゲーション

"代理人を階層から指定" ページまたは "代理人を名前で指定" ページの [次へ] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - 委任の詳細ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - 委任の詳細" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Create Delegation Request". Below the title is a section "Delegation Detail". Inside this section, the name "Jean Parsons" is displayed, followed by the title "Senior Vice President Finance". Below this is a checkbox labeled "Notify Delegator" with the text "Select the Notify Delegator checkbox to receive all the notifications that your proxy receives when acting on your behalf." Below the checkbox is the text "Proxy Betty Locherty". Below that are two date fields: "From Date 07/16/2014" and "To Date 07/25/2014". Below the dates is a table with two rows: "Manage Approve Overtime" and "Manage Approve Payable Time". At the bottom of the form are three buttons: "Submit", "Previous", and "Cancel".

委任期間、選択された代理人、および選択されたトランザクションが表示されます。委任トランザクション設定ページに製品に特化した委任要件のトランザクションが設定されている場合は、トランザクションの後にリンクが表示されます。委任トランザクション設定ページの [オプション パラメータ] セクションに情報が入力されていない場合は、リンクを使用できません。製品に特化したコンポーネントを開いて委任リクエストを続行するには、トランザクションの製品に特化したリンクを選択します。

承認フレームワークを設定している場合は、[送信] ボタンをクリックすると、委任リクエストを受諾または辞退した代理人に電子メール通知が自動的に送信されます。

委任フレームワークがトランザクションに対する代理権を代理人に渡した後に委任の連鎖が発生しないようにするために、代理人はそのトランザクションに対する権限を別のユーザーに委任することはできません。委任フレームワークでは、トランザクションに対する権限は開始委任者から開始代理人にのみ渡されます。

注: ユーザーが委任リクエストを追加すると、"ユーザー プロファイル - ワークフロー" ページにある [代替ユーザー ID] フィールドの値がチェックされます。委任リクエストによって、委任リクエスト内のトランザクションの代替ユーザー ID が上書きされます。代替ユーザー ID が存在し、委任の日付と代替 ID の日付が重複すると、警告メッセージが表示されます。

委任リクエストの作成 - 確認ページ

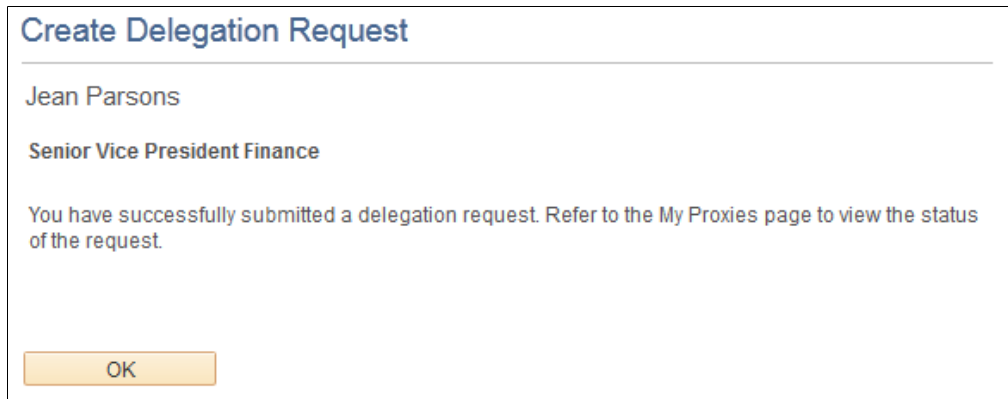
委任リクエストの作成 - 確認ページ (HCDL_DLG_CONFIRM) を使用して、委任リクエスト送信の確認を参照します。

ナビゲーション

委任リクエストの追加時に "委任の詳細" ページの [送信] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの作成 - 確認ページ

次の例では、"委任リクエストの作成 - 確認" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



注: 委任者と代理人が重複したトランザクションを開始した場合は、代理人、委任者または委任管理者が重複したトランザクションを取り消すか、または、承認者が最初のトランザクションの承認時に重複したトランザクションを却下することができます。

代理人の確認ページ

代理人の確認ページ (HCDL_MGR_DLGT) を使用して、委任対象の代理人を管理します。

ユーザーは、代理人を検索して委任リクエストのステータスを更新することで、代理人を管理できます。

ナビゲーション

委任管理 ページで [代理人の確認] リンクをクリックします。

画像: 代理人の確認ページ

次の例では、代理人の確認ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

My Proxies

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

This page allows you to view your proxies and the request status for each delegation request. Select a particular status and select *Refresh* to show the matching requests. Select the information icon to view request details. To revoke requests, select the request, then select *Revoke*.

Show Requests by Status

Refresh

Choose Delegate

	Transaction	Name	Job Title	From Date	To Date	Request Status	Delegation Status	Details
☐	Manage Approve Overtime	Betty Locherty	Director-Finance	07/16/2014	07/25/2014	Submitted	Inactive	i
☐	Manage Approve Payable Time	Betty Locherty	Director-Finance	07/16/2014	07/25/2014	Submitted	Inactive	i

Select All

Deselect All

Revoke

[Return to Manage Delegation](#)

考えが変わった場合には、トランザクションの開始または承認を代理人に委任した委任リクエストを取り消すことができます。委任リクエストを取り消すには、取り消す委任リクエストのチェック ボックスをオンにして、[取消] ボタンをクリックします。リクエスト ステータスが [取消] に変わり、委任リクエストのステータスに関する電子メール通知が代理人に自動的に送信されます。

委任リクエストの詳細ページ

委任リクエストの詳細ページ (HCDL_REQUEST_DTL) を使用して、委任リクエストの詳細を参照します。

ユーザーは、送信済の委任リクエストの詳細を確認できます。

ナビゲーション

代理人の確認ページで、委任トランザクションの [詳細] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの詳細ページ

次の例では、委任リクエストの詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Delegation Request Details

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

Request Details

Transaction

Manage Approve Overtime

Proxy

Betty Locherty

On Behalf Of

Jean Parsons

Job Title

Senior Vice President Finance

From

07/16/2014

To

07/25/2014

Notify Delegator of All Transactions for Proxy

No

Request Status

Request Status

Submitted

Delegation Status

Inactive

Request History

Personalize | Find |  

First  1-2 of 2  Last

	Transaction Name	Transaction Type	Request Status	Name	DateTime Stamp
1	TL_OT_MNGR_LIST	Approve	Submitted	Jean Parsons	07/16/14 2:37PM
2	TL_SRCH_APPRV_GRP	Approve	Submitted	Jean Parsons	07/16/14 2:37PM

[Return to My Proxies](#)

[戻る] ボタンをクリックすると、代理人の確認ページに戻ることができます。

代理権の確認ページ

代理権の確認ページ (HCDL_MGR_DLGT) を使用して、代理権を管理します。

ユーザーは、代理人として選択された委任リクエストを受諾または辞退することができます。

ナビゲーション

委任管理ページで [代理権の確認] リンクをクリックします。

画像: 代理権の確認ページ

次の例では、代理権の確認ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

My Delegated Authorities

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

This page allows you to view your delegated authorities. Select a particular status and select Refresh to show the matching requests. Select the information icon for request details.

Show Requests by Status: Submitted Refresh

Choose Delegate							
Transaction	Name	Job Title	From Date	To Date	Request Status	Delegation Status	Details
☐ Multiple Transactions	Betty Locherty	Director-Finance	09/01/2014	09/05/2014	Submitted	Inactive	i

Select All Deselect All Accept Reject

[Return to Manage Delegation](#)

注: 場合によっては、通常アクセス権限がない管理者セルフサービスのページの場合があります。これらの場合は、委任リクエストの受諾後、システムをログオフして、管理者セルフサービスのページにアクセスするために再度ログインします。

代理人は、異なる委任者からの複数の代理権を保持することができます。代理人は、委任リクエストのチェック ボックスをオンにして、[受諾] ボタンまたは [辞退] ボタンをクリックする必要があります。委任リクエストのステータスに関する電子メール通知が、委任者に自動的に送信されます。

注: 複数の職務レコード (職務データ コンポーネントで定義) を持つ代理人に委任している場合は、その代理人の職務レコード番号 0 がデフォルトで使用されます。

複数トランザクション

委任リクエストの作成 - トランザクションの選択ページで、委任者は単一の委任リクエストで 1 つ以上のトランザクションを別の個人に委任することができます。委任リクエストに複数のトランザクションが含まれている場合は、代理人は、[複数トランザクション] リンクをクリックして複数トランザクション ページにアクセスし、委任リクエストの個々のトランザクションに関する詳細を表示できます。複数トランザクションを持つ委任リクエストの場合は、代理人はリクエスト全体を受諾または辞退する必要があります。

代理人の確認ページで委任者が取り消すことができるトランザクションは、複数トランザクションのリクエストの中の単一のトランザクションだけです。委任者が複数トランザクションのリクエストから 1 つ以上のトランザクションを取り消すと、取り消されたトランザクションが複数トランザクションのリクエストから取り出され、個々の取り消されたエントリが承認フレームワーク内に作成されます。残りのトランザクションは、複数トランザクションのリクエスト内にとどまります。取消後に 1 つのトランザクションだけが残った場合は、グループは解消され、委任リクエストが複数トランザクションではなく単一トランザクションとして表示されます。この機能によって、複数トランザクションのステータスの正確さが保持されます。

委任リクエストの承諾ページ

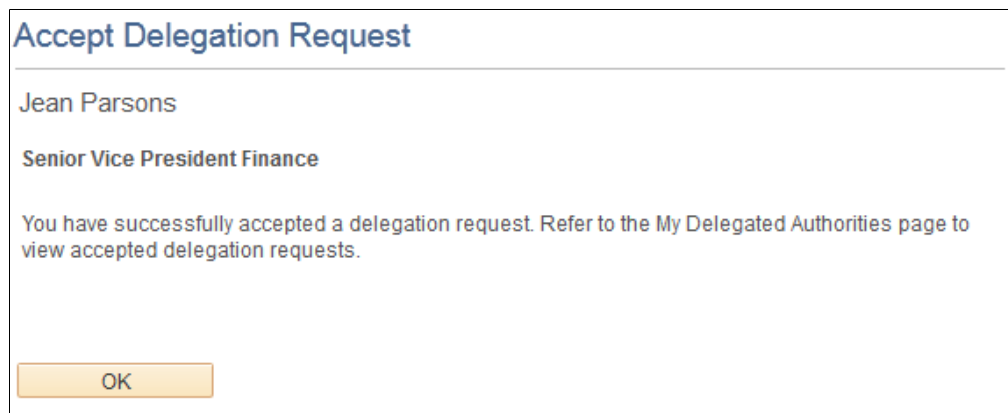
委任リクエストの承諾ページ (HCDL_DLG_CONFIRM) を使用して、委任リクエストの承諾を参照します。

ナビゲーション

代理権の確認ページの [受諾] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの承諾ページ

次の例では、委任リクエストの承諾ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



Accept Delegation Request

Jean Parsons

Senior Vice President Finance

You have successfully accepted a delegation request. Refer to the [My Delegated Authorities page](#) to view accepted delegation requests.

OK

[OK] ボタンをクリックすると、代理権の確認ページに戻ることができます。

注: 場合によっては、通常アクセス権限がない管理者セルフサービスのページ場合があります。これらの場合は、委任リクエストの受諾後、システムをログオフして、管理者セルフサービスのページにアクセスするために再度ログインします。

委任リクエストの辞退ページ

委任リクエストの辞退ページ (HCDL_DLG_CONFIRM) を使用して、委任リクエストの辞退を参照します。

ナビゲーション

代理権の確認ページの [辞退] ボタンをクリックします。

画像: 委任リクエストの辞退ページ

次の例では、委任リクエストの辞退ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

[OK]ボタンをクリックすると、代理権の確認ページに戻ることができます。

複数トランザクション ページ

複数トランザクション ページ (HCDL_MULTI_TXNS) を使用して、代理権を持っている複数トランザクションの詳細を参照します。

ナビゲーション

代理権の確認ページの [複数トランザクション] リンクをクリックします。

画像: 複数トランザクション ページ

次の例では、複数トランザクション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Transaction	Name	From Date	To Date	Request Status	Delegation Status
Manage Overtime Request	Betty Locherty	09/01/2014	09/05/2014	Submitted	Inactive
Manage Approve Reported Time	Betty Locherty	09/01/2014	09/05/2014	Submitted	Inactive
Manage Approve Payable Time	Betty Locherty	09/01/2014	09/05/2014	Submitted	Inactive
Manage Approve Overtime	Betty Locherty	09/01/2014	09/05/2014	Submitted	Inactive

このページが表示されるのは、委任者が同一の委任リクエスト内の複数トランザクションの代理人となるユーザーを選択した場合のみです。

委任用の標準の通知テンプレートの確認

次の表は、用意されている委任通知、個々の通知の説明、通知のトリガ、および受信者の一覧です。

テンプレート名	通知の説明	トリガ	受信者
DelegationAccept	委任者が送信した委任リクエストを代理人が承認したことを示します。	代理人が委任リクエストを受諾した場合。	宛先: 委任者 CC: 代理人
DelegationAdminAdd	委任者の代わりに管理者が委任リクエストを代理人に送信したことを示します。	委任管理者が委任リクエストを追加および送信した場合。	宛先: 代理人 CC: 委任者
DelegationAdminRevoke	委任者の代わりに管理者が、代理人に割り当てられた委任リクエストを取り消したことを示します。	委任管理者が委任リクエストを取り消した場合。	宛先: 代理人 CC: 委任者
DelegationBatch	委任者およびリストされているトランザクションに対して代理権がアクティブまたは非アクティブにされたことを示します。また、トランザクションへの代理アクセスが許可されるようにセキュリティが更新されたことも示します。	委任管理者が代理権の管理バッチ処理を実行した場合。	宛先: 代理人 CC: 委任者
DelegationError	送信された委任リクエストでエラーが発生したことを示します。	委任者が委任リクエストを提出したが、エラーが発生した場合。	宛先: 委任者
DelegationNotifyAdmin	受諾された委任リクエストに対して、代理人が少なくとも 1 日間非アクティブであることがシステムによって認識されたことを示します。	委任管理者が代理権の管理バッチ処理を実行した場合。	宛先: 委任者 CC: 代理管理者
DelegationReject	委任者が送信した委任リクエストを代理人が辞退したことを示します。	代理人が委任リクエストを辞退した場合。	宛先: 委任者 CC: 代理人
DelegationRequest	委任者または委任者の代わりに管理者が、委任リクエストを代理人に送信したことを示します。	委任者が委任リクエストを作成および送信した場合。	宛先: 代理人 CC: 委任者
DelegationRevoke	委任者または委任者の代わりに管理者が、代理人に割り当てられた委任リクエストを取り消したことを示します。	代理人が委任リクエストを取り消した場合。	宛先: 代理人 CC: 委任者

関連リンク

[承認用の通知テンプレートの定義](#)

メタデータおよびクエリー ビルダーの使い方

HCM メタデータ リポジトリの管理

HCM メタデータ リポジトリを管理するには、基本クラスの定義 (HCMD_BASE_CATALOG)、オブジェクトクラスの定義 (HCMD_OBJ_CATALOG)、エクスポート (HCMD_EXPORT_OBJS)、およびインポート (HCMD_IMPORT_OBJS) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、HCM メタデータ リポジトリの概要および管理方法について説明します。

HCM メタデータ リポジトリの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
基本クラスの定義ページ	HCMD_BASE_PG	基本クラスに関する定義を設定および照会して、基本クラスを定義します。
オブジェクトクラスの定義ページ	HCMD_OBJS_PG	派生クラスに関する定義を設定および照会して、オブジェクト クラスを定義します。
クラスの属性の詳細ページ	HCMD_OATT_SPG	クラスの属性の詳細を入力または照会します。
クラスの関係の詳細ページ	HCMD_OREL_SPG	クラスの関係の詳細を入力または照会します。
メタデータ定義のエクスポート ページ	HCMD_EXPORT_OBJS	メタデータ定義をカタログから XML へエクスポートします。
メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート ページ	HCMD_FILENAME	作成するエクスポート ファイルのパスとファイル名を入力します。
メタデータ定義のインポート ページ	HCMD_IMPORT_OBJS	メタデータ定義をインポートします。

HCM メタデータ リポジトリについて

メタデータは、ユーザー システムのデータに関するデータです。メタデータによって、全てのオブジェクト、オブジェクト属性、およびオブジェクト間の関係について定義します。メタデータを使用して、PeopleSoft HCM データベースのレコードをオブジェクトとして定義して操作できます。

HCM メタデータ オブジェクト モデルは、次の 2 つのエレメントで構成されます。

- PeopleTools レベルのメタデータ

フィールド、フィールド ラベル、データベース レコードおよびビューに関する情報を提供します。

- HCM レベルのメタデータ

オブジェクト レベルでのオブジェクト間の関係を設定し、オブジェクトのサービスと代替レベルを定義します。

HCM メタデータ オブジェクト定義は、メタデータ リポジトリにクラスとして登録されます。これらのクラスは、基本の動作、処理、属性の必要性に応じて、次の 2 つのカタログに分類されます。

- 基本カタログ

オブジェクト クラスには、以下の特徴があります。

- クラスの基本の動作と属性を定義します。
- 処理とクエリーの効率化を図るため、オブジェクトをグループ化します。
- 派生クラスに対し親の属性のみを継承させます。

- オブジェクト カタログ

オブジェクト クラスには、以下の特徴があります。

- 親である基本クラスの子オブジェクトとして、基本クラスの全ての属性を継承させることが可能です。

注: オブジェクト クラス カタログに必ず親クラス オブジェクトを設定する必要はありません。

注: 親クラス オブジェクト以外の全てのメタデータ クラス定義は、オブジェクト カタログで定義する必要があります。

- 継承された属性に加えて、固有の属性も定義されます。

たとえば、基本クラス オブジェクト "Person Base" は、派生オブジェクト クラス "Person" の親です。

HCM メタデータ リポジトリの管理に使用する共通フィールド

基本情報

以下のフィールドに情報を入力して、クラスの基本特性を定義します。

- クラス名
- 表示ラベル
- オブジェクト オーナー ID

クラスの使用

- アクティブ フラグ

以下のオプションを選択して、クラス オブジェクトがどのように使用されるかについて定義します。

- 以下のオプションから 1 つ選択します。
 - 製品アプリケーション: 標準の製品オブジェクト
 - ステージング: HCM システムへのデータのロードに使用される専用のステージング オブジェクト
 - レポート: 専用のレポート オブジェクト
 - システム: 通常はユーザーに表示されない HCM システム オブジェクト
 - 設定: HCM システム設定で使用する専用オブジェクト
 - ソース表示 (オブジェクト クラスのみ)
 - 属性マッピング (オブジェクト クラスのみ)
 - キーのマッピング (オブジェクト クラスのみ)
 - 一時使用 (オブジェクト クラスのみ)
- 動的ユーザー インターフェイスにクラスを表示させる場合は、[UI で使用] チェック ボックスをオンに設定します。
- クエリー ビルダーにクラスを表示させる場合は、[クエリーで 使用] チェック ボックスをオンに設定します。

クラス オブジェクトが HCM システム データとして提供されている場合は、[システム データ] チェック ボックスがオンに設定されています。

永続化マッピング

このクラスがマッピングされる PeopleTools レコードの名前を入力します。PeopleTools レコードは、クラス オブジェクトの唯一のソースです。1 つのクラス定義は 1 つの PeopleTools レコードに対してマッピングされます。

クラスの属性 (レコード フィールド)

クラスの属性を照会または入力します。

[属性の詳細を表示] ボタンをクリックして、クラスの属性の詳細 ページで詳細を照会したり、新しいクラス属性に関する詳細 データを入力します。

Import Record Fields

このボタンをクリックすると、[永続化マッピング] グリッドの [レコード名] フィールドで選択した PeopleTools レコードに関連付けられたフィールドが全て、[クラスの属性] グリッドに入力されます。

有効値の上書きは行われません。

注: PeopleTools レコードを修正した後は、このボタンをクリックして PeopleTools レコード フィールドと属性の同期を保つことをお勧めします。

関係

このクラス定義と他のクラス定義との間の関係を定義します。たとえば、PeopleTools Person レコードへマッピングされる Person クラスは、以下のクラスと関係を定義することができます。

- 名称クラス

システム内の従業員に 1 つまたは複数の名称を設定できます。

- 住所クラス

システム内の従業員に 1 つまたは複数の住所を設定できます。

- 職務クラス

システム内の従業員に 0 または 1 から複数の職務を設定できます。

[関係の詳細を表示] ボタンをクリックして、クラスの関係の詳細ページで詳細を照会したり、新しいクラス属性に関する詳細を入力します。

クラスの拡張

[クラスの拡張] グリッドでは、API からアクセス可能な追加属性を定義できます (これらのプロパティはクエリー ビルダーでは使用できません)。たとえば、必要に応じて Java タイプのクラスの拡張を MyJava という名称で作成して、[値] フィールドにプログラマがアクセス可能な Java ファイル名を設定できます。

以下のフィールドに値を入力して、クラスの拡張を定義します。

- タイプ
- 名称
- 値

基本クラスの定義ページ

基本クラスの定義ページ (HCMD_BASE_PG) を使用して、基本クラスに関する定義を設定および照会し、基本クラスを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM メタデータリポジトリ], [基本クラスの定義], [基本クラスの定義]

画像: 基本クラスの定義ページ (1/2)

次の例では、基本クラスの定義ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Base Class Definition

Class ID PERSON_BASE

by PS

Last Update Date/Time 05/18/2004 9:25:32PM

Basic Information

*Class Name

PersonBase

*Description

Person Base Class

Display Label

Person

*Owner ID

HR Core Objects

*Active Flag

Active

Class Use

☐ Use in UI

☒ Use in Queries

☒ System Data

Object use

☒ Production

☐ Staging

☐ Reporting

☐ System

☐ Configuration

Persistence Mapping

*Record Name

HCMD_PERS_BASE

Record Description

Organization Person Base Obj.

Class Attributes (Record Field)

Active	*Attribute Name	Field Name	Description	Details
☒	EMPLID	EMPLID	Employee ID	

Import Record Fields

画像: 基本クラスの定義ページ (2/2)

次の例では、基本クラスの定義ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Relationships

Active	*Relationship Name	*Relationship Type	*Target Class ID	Details
☒		One-to-Many (Child)		

Class Extensions

Type	Name	*Value

オブジェクトクラスの定義ページ

オブジェクトクラスの定義ページ (HCMD_OBJS_PG) を使用して、派生クラスに関する定義を設定および照会し、オブジェクトクラスを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM メタデータ リポジトリ], [オブジェクト クラスの定義], [オブジェクト クラスの定義]

画像: オブジェクト クラスの定義ページ (1/2)

次の例では、オブジェクト クラスの定義ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Object Class Definition

Class ID EMAIL
by PS Last Update Date/Time 05/30/2004 9:21:18PM

Basic Information

*Class Name EmailAddresses *Description Email Addresses
Display Label Email Addresses *Owner ID HR Core Objects
*Active Flag Active

Class Use

☐ Use in UI
☒ Use in Queries
☒ System Data

Object use

☒ Production ☐ Staging ☐ Reporting ☐ Source View
☐ Attribute Map ☐ Key Map ☐ System ☐ Temporary
☐ Configuration

Persistence Mapping

*Record Name EMAIL_ADDRESSES Record Description Email Addresses

Class Attributes

Parent Class EMAIL Search Component Component Interface Name

Edit Component

Menu Name Menu Bar Name Item Name Page Name

画像: オブジェクト クラスの定義ページ (2/2)

次の例では、オブジェクト クラスの定義ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Class Attributes (Record Field)

Active	*Attribute Name	Field Name	Description	View Attribute Details
☒	EMAIL_ADDR	EMAIL_ADDR	Email Address	
☒	EMPLID	EMPLID	EmplID	
☒	E_ADDR_TYPE	E_ADDR_TYPE	Email Type	
☒	PREF_EMAIL_FLAG	PREF_EMAIL_FLAG	Preferred	

Import Record Fields

Relationships

Active	*Relationship Name	*Relationship Type	*Target Class ID	View Relationship Details
☒		One-to-Many (Child)		

Class Extensions

Type	Name	*Value

* Required Field

クラスの属性

親クラス

このクラス オブジェクトが親クラス オブジェクトの子として作成される場合は、ここで親クラス オブジェクトを選択します。子クラス オブジェクトには、親クラス オブジェクトの全ての属性が継承されます。

オブジェクト クラスに親クラス オブジェクトを設定しない場合は、このフィールドは空白にします。

検索コンポーネント

この派生クラス オブジェクトのインスタンスを検索するための、検索コンポーネントを選択します。このフィールドに値を入力しない場合は、クエリー ビルダーの検索コンポーネントがデフォルトとして使用されます。

コンポーネント インターフェイス名

クラスに関するデータの保存に使用される PeopleTools コンポーネント インターフェイスを選択します。クエリー ビルダーでこのコンポーネント インターフェイスを使用して、一括更新を行うことができます。たとえば、所在地 A の全ての従業員についてクエリーを作成した後、所在地 A の従業員 グループについて、職務データ コンポーネントの所在地情報を所在地 B に一括更新することができます。

編集コンポーネント

このグループ ボックスでクラスに対してコンポーネントを入力すると、クエリー ビルダーでクラスを照会したときに、クエリー結果のハイパーリンクからコンポーネントまたはページへ移動できるようになります。このため、クエリー結果を照会しながら、コンポーネントを更新できます。

コンポーネントのメニュー名、メニュー バー名、アイテム名、およびページ名を入力します。

クラスの属性の詳細ページ

クラスの属性の詳細ページ (HCMD_OATT_SPG) を使用して、クラスの属性の詳細を入力または照会します。

ナビゲーション

- 基本クラスの定義ページで、クラスの属性の [属性の詳細を表示] アイコンをクリックします。
- オブジェクト クラスの定義ページで、クラスの属性の [属性の詳細を表示] アイコンをクリックします。

画像: クラスの属性の詳細ページ

次の例では、クラスの属性の詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Class Attribute Details

Class Attributes

*Attribute Name

EMAIL_ADDR

*Alias

EMAIL_ADDR

Description

Email Address

Field Name

EMAIL_ADDR

*Active Flag

Active

Configuration Controls

☒ Allow Modifications?

☒ Allow Deletion?

Use Options

☒ Use in Queries

☐ Use in User Interface

Key Settings

☐ Business key?

Class Attribute Extensions

	*Type	Extension Name	*Extension Value		
1	(Invalid Value)			+	-

* Required Field

OK

Cancel

属性名

属性名を入力します。対応するフィールド名と異なる文字列を入力することもできます。

別名

属性用の別名を入力します。

フィールド名

各属性ごとに、PeopleTools レコードの対応するフィールドを設定する必要があります。

設定コントロール

変更可能

このチェック ボックスをオンにすると、動的ユーザー インターフェイスで属性を修正できます。

削除可能

このチェック ボックスをオンにすると、動的ユーザー インターフェイスで属性を削除できます。

用途

クエリーで使用

このチェック ボックスをオンにすると、クエリー ビルダーに属性が表示されます。

ユーザー インターフェイスで使用

このチェック ボックスをオンにすると、動的ユーザー インターフェイスに属性が表示されます。

キー設定**業務的キー**

このチェック ボックスをオンにすると、ビジネス ロジックでこの属性 (フィールド) がキーであることが示されます。レコードレベルでこの属性をキー フィールドとして定義する必要はありません。

クラス属性の拡張

[クラス属性の拡張] グリッドでは、API からアクセス可能な追加属性を定義できます (これらのプロパティはクエリービルダーでは使用できません)。たとえば、必要に応じて Java タイプのクラスの拡張を MyJava という名称で作成して、値フィールドにプログラマがアクセス可能な Java ファイル名を設定できます。

以下のフィールドに値を入力して、クラスの拡張を定義します。

- タイプ
- 拡張名
- 拡張の値

クラスの関係の詳細ページ

クラスの関係の詳細ページ (HCMD_OREL_SPG) を使用して、クラスの関係の詳細を入力または照会します。

ナビゲーション

- 基本クラスの定義ページで、関係の [関係の詳細を表示] アイコンをクリックします。
- オブジェクト クラスの定義ページで、関係の [関係の詳細を表示] アイコンをクリックします。

画像: クラスの関係の詳細ページ

次の例では、クラスの関係の詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Class Relationship Details

Class Relationships

*Relationship Name

Establishment Company

*Active Flag

Active

Description

Company Establishments

Use Options

☒ Use in User Interface

☒ Use in Queries

Source Cardinality

☐ 0..1

☐ 0..n

☐ 1..1

☒ 1..n

Target Cardinality

☐ 0..1

☐ 0..n

☒ 1..1

☐ 1..n

*Relationship Target

COMPANY

☒ Relationship is Bidirectional?

☐ Bypass Indirection

Relationship Attribute Mapping

Personalize | First 1 of 1 Last

	*Source Attribute Name	*Target Attribute Name	
1	COMPANY	COMPANY	+ -

* Required Field

OK

Cancel

- 関係名

関係の名称を入力します。
- ユーザー インターフェイスで使用

このチェック ボックスをオンにすると、動的ユーザー インターフェイスに関係が表示されます。
- クエリーで使用

このチェック ボックスをオンにすると、クエリー ビルダーに関係が表示されます。
- ソースの基数

以下のオプションから、ソース クラス オブジェクトの基数の設定を選択します。

 - 0 対 1 (0.. 1)
 - 0 対多 (0.. n)
 - 1 対 1 (1.. 1)
 - 1 対多 (1.. n)

ターゲットの基数

以下のオプションから、ターゲット クラス オブジェクトの基数の設定を選択します。

- 0 対 1 (0.. 1)
- 0 対多 (0.. n)
- 1 対 1 (1.. 1)
- 1 対多 (1.. n)

関係のターゲット

関係のターゲット クラス オブジェクトを選択します。

双方向の関係

このチェック ボックスをオンにすると、自動的に逆の関係 (ソース オブジェクト クラスとターゲット オブジェクト クラスを反対にした関係) も有効になります。

間接参照しない

このチェック ボックスをオンにすると、セットID 間接参照フィールドを含む関係に対する自動セットID 間接参照は行われません。

クエリービルダーによって、必要に応じて必須セットID ロジックが自動的に追加されます。このチェック ボックスをオンに設定した場合は、[関係属性のマッピング] グリッドでロジックを定義する必要があります。たとえば、パフォーマンスを向上させるため、SETID_Location を、所在地テーブル (LOCATION_TABLE) のセットID フィールドに直接マッピングします。

関係属性のマッピング

マッピングする属性の名称を入力します。属性は好きな数だけマッピングできます。属性の名称は、マッピング先と同じ名称に設定する必要はありません。

メタデータ定義のエクスポート ページ

メタデータ定義のエクスポート ページ (HCMD_EXPORT_OBJS) を使用して、メタデータ定義をカタログから XML へエクスポートします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM メタデータ リポジトリ], [エクスポート], [メタデータ定義のエクスポート]

画像: メタデータ定義のエクスポート ページ

次の例では、メタデータ定義のエクスポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Export Metadata Definitions

To export all classes in the Metadata Repository, select 'Export All Class Definitions' button or use the criteria filters to view and select the definitions you wish to export.

Export All Class Definitions

Criteria Filter

Class ID

ADDRESSES

Owner ID

Class Type

OBJS

Active Flag

Apply Criteria

Reset Criteria

Search Results

Personalize | Find | First 1 of 1 Last

Select	Class ID	Class Name	Description	Active Flag
☒	ADDRESSES	Addresses	Addresses	Active

Select All

Deselect All

Export Selected Definitions

Export All Class Definitions

このボタンをクリックすると、カタログの全てのメタデータ定義が XML ファイルにエクスポートされます。メタデータ定義のエクスポート ページが表示され、ここでエクスポート パスや作成されるファイル名を入力します。

条件フィルタ

エクスポートされるクラスを制限するには、[クラス ID]、[クラス タイプ]、[オーナー ID]、または [アクティブ フラグ] の各フィールドにフィルタ条件を入力します。

注: フィールドに複数のクラス ID を入力する場合は、値をコンマで区切ります。

Apply Criteria

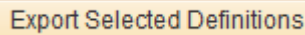
このボタンをクリックすると、入力した条件が適用されます。[検索結果] グリッドに、条件を満たすクラス オブジェクトが表示されます。

Reset Criteria

このボタンをクリックすると、検索条件フィールドがクリアされます。

検索結果

このグリッドには、検索条件を満たすクラス オブジェクトが表示され、デフォルトでは全てのクラス オブジェクトがエクスポート対象として選択されています。エクスポート対象でないクラス オブジェクトについては、左端のチェック ボックスをオフに設定します。



このボタンをクリックすると、選択したクラス オブジェクトが XML ファイルにエクスポートされます。

メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート ページ

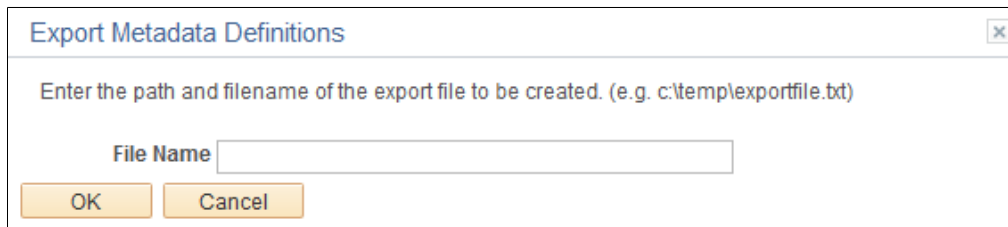
メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート ページ (HCMD_FILENAME) が表示され、パスおよび作成されるエクスポート ファイルのファイル名を入力します。

ナビゲーション

[全てのクラス定義をエクスポート] ボタンまたは [選択した定義をエクスポート] ボタンをクリックします。

画像: メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート ページ

次の例では、"メタデータ定義のエクスポート - メタデータ定義のエクスポート" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



Export Metadata Definitions

Enter the path and filename of the export file to be created. (e.g. c:\temp\exportfile.txt)

File Name

OK Cancel

アプリケーション サーバーへのフル パスとファイル名を入力します。ファイル名を指定しない場合は、プロセスによってデフォルトのディレクトリにファイルが作成されます。

メタデータ定義のインポート ページ

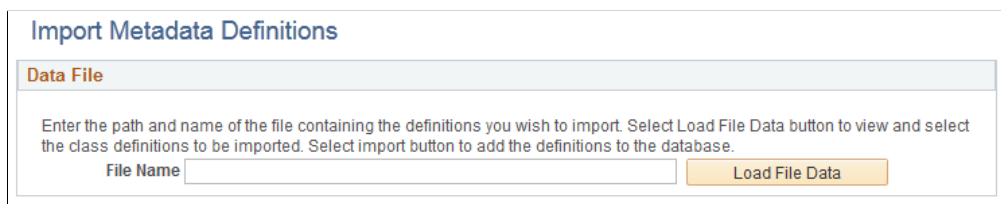
メタデータ定義のインポート ページ (HCMD_IMPORT_OBJS) を使用して、メタデータ定義をインポートします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM メタデータ リポジトリ], [インポート], [メタデータ定義のインポート]

画像: メタデータ定義のインポート ページ

次の例では、メタデータ定義のインポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



Import Metadata Definitions

Data File

Enter the path and name of the file containing the definitions you wish to import. Select Load File Data button to view and select the class definitions to be imported. Select import button to add the definitions to the database.

File Name Load File Data

ファイル パスとファイル名を入力して、XML ファイルからデータをロードします。エクスポートされたファイルに存在するクラスの一覧が表示され、そのクラスが既に存在する場合はアイコンが表示されます。インポートするクラスを選択し、既存のクラス定義を上書きするかどうかを指定します。

クエリー ビルダーによる SQL クエリーの作成

クエリー ビルダーを使用して SQL クエリーを作成するには、クエリー ビルダー コンポーネント (EQRY_SAMP_HTML_CMP) および定義済クエリー コンポーネント (EQRY_VIEWER_CMP) を使用します。

次の各トピックでは、クエリー ビルダーの概要およびクエリー ビルダーで SQL クエリーを作成する方法について説明します。

クエリーの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>結果の属性ページ</u>	EQRY_OUTPUT_PG	クエリー結果で結果の属性として使用するオブジェクト属性を選択します。属性は必要な数だけ選択できます。
属性を保存ページ	EQRY_OUT_S_PG	結果の属性の設定内容をクエリーとして保存します。クエリーの出力名と説明を入力します。保存したクエリーは、クエリー ビルダーへのアクセス権限のある全てのユーザーが使用できます。クエリーを作成したユーザー以外はこのクエリーを使用不可にする場合は、[プライベートクエリー] チェック ボックスをオンにします。
<u>属性のロード ページ</u>	EQRY_OUT_L_PG	定義済みの結果の属性の設定内容を、現在のクエリーで使用するためにロードまたは追加します。使用可能な属性は、クエリー ビルダーの起動時に選択されているターゲット オブジェクトによって異なります。
<u>クエリービルダー - 条件ページ</u>	EQRY_ISCRIPT	照会する属性を指定して、演算子と値を使用して式を定義します。
条件属性ツリー ページ	EQRY_ATT_TREE_PG	オブジェクト選択ツリーを使用してクエリー条件として使用する属性に移動し、選択します。
値の選択ページ	EQRY_VBUILD_PG	クエリー条件に使用する属性値を選択します。

ページ名	定義名	用途
条件を保存ページ	EQRY_PROP_PG	現在の条件の選択内容を、この後クエリーで使用するために名称を指定して保存します。クエリー ビルダーの起動時に選択されているターゲット オブジェクトについて、クエリー条件の選択内容が保存されます。
条件をロード ページ	EQRY_LOAD_PG	既存の条件の設定内容をロードします。
<u>クエリー ビルダー - 結果ページ</u>	EQRY_RESULT_PG	クエリーの結果を照会します。
<u>クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード ページ</u>	EQRY_COMBO_SAVE_PG	現在のクエリーを保存したり、定義済みのクエリーをロードします。
<u>定義済クエリー ページ</u>	EQRY_VIEWER_PG	クエリー ビルダー コンポーネントで定義済みのクエリーを実行します。このページは、クエリー ビルダー - 結果ページに似ています。

クエリー ビルダーについて

クエリー ビルダーは、PeopleSoft HCM メタデータ リポジトリに定義されたクラス オブジェクトを照会するのに使用される柔軟なツールです。

クエリー ビルダーを使用して、以下の作業を行います。

- 元になるデータベース モデルに関する知識を必要とせずに、長さに制限のない複雑なクエリーを作成できます。

クエリー ビルダーにより、最も効率的な SQL がメタデータ クラス定義に基づいて自動的に作成され、全ての SQL 結合がメタデータに定義された関係に基づいて自動的に作成されます。また、クエリー ビルダーには、セットID と有効日の付いたロジックが含まれます。

- 使用可能な出力フィールドを好きな数だけ選択して、元になるクラスとクラス関係の両方から結果を表示させます。
- 現在のクエリーを修正して、別の出力や条件を含めることができます。
- 定義済みのクエリーを実行します。
- クエリー結果として返されたオブジェクトに移動します。
- 件数、合計、平均によって出力結果をグループ化し、グループ化された出力結果の最低値や最高値を表示させます。

クエリー ビルダーによって、集計に適切な SQL が自動的に生成されます。

- クエリー ビルダーで作成された構造化照会言語 (SQL) クエリーをプレビューします。

PeopleSoft クエリーではクエリーでレコードとフィールドが使用されますが、クエリー ビルダーではオブジェクトと属性が照会されます。この方式には、2 つの利点があります。

- ユーザーにとってはレコード名やフィールド名よりもオブジェクト名の方が認識しやすいため、システム内のオブジェクトを照会する方が簡単です。
- 既存のクエリー定義に影響を与えずに、システム オブジェクトの元になるレコードやフィールドの定義を変更できるため、より強力なクエリーとなります。

結果の属性ページ

結果の属性ページ (EQRY_OUTPUT_PG) を使用して、クエリー結果で結果の属性として使用するオブジェクト属性を選択します。

属性は必要な数だけ選択できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM クエリー ビルダー], [クエリー ビルダー], [結果の属性]

画像: 結果の属性ページ

次の例では、結果の属性ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Result Attributes' page. At the top, there are tabs for 'Result Attributes', 'Criteria', 'Results', and 'Save/Load Query'. Below these, the 'Class ID to Query' is set to 'ADDRESSES' and 'Addresses'. The 'Effective Date' is '07/16/2014'. The 'Select Attributes' section is active. On the left, a navigation pane shows a tree structure with 'Addresses' selected. The main area features a table with columns: 'Attribute Grid', 'Sort', 'Group By', 'Count', 'Sum', 'Avg', 'Min', and 'Max'. Three attributes are listed: 'Addresses - Effective Date', 'Addresses - Address Type', and 'Addresses - EmplID'. Below the table, there are checkboxes for 'Attribute Grid' (checked), 'Enable Outer Joins' (checked), and 'Aggregations' (unchecked). At the bottom, there are buttons for 'View Results', 'Clear Attributes', 'Save As Default', 'Save Attributes', and 'Load Attributes'.

結果の属性ページを使用して、検索対象のオブジェクトの属性を選択します。オブジェクトに定義された属性は、どのような組み合わせでも選択できます。

結果の属性の定義中は、いつでもクエリーを実行して結果を参照できます。結果の属性ページに戻ってクエリー結果の属性を修正したり、条件ページでクエリーの選択内容を絞り込んだり、定義を保存できます。

照会するクラス ID

検索ページで照会用に選択したクラス ID が表示されます。

属性の選択

ターゲット クラス ID オブジェクトのフォルダと、選択したクラス ID に対してオブジェクト クラスの定義 ページで関係が設定された全てのオブジェクトのフォルダが表示されます。この例では、Person Core Objects と Person Data Model の両方のオブジェクトが、Email Addresses オブジェクトと関係が設定されていることを示します。

フォルダをクリックすると、各オブジェクトの属性が表示されます。属性のリンクをクリックすると、[属性グリッド] に追加されます。

属性の選択

選択した属性の順序を変更して、結果ページに属性が表示される順序を定義できます。各結果列に表示されるデータのソート順序も定義できます。

非表示

属性ツリーを非表示にします。

詳細...

クエリー ビルダーを最初に開くと、[属性の選択] ツリーには直接関連付けによってターゲット オブジェクトに関連付けられたシステム オブジェクトが表示されます。この関係は HCM メタデータで定義され、クエリーで最も頻繁に使用するオブジェクトであることを示します。必要なオブジェクトが見つからない場合は [詳細] リンクをクリックすると、他のオブジェクトも表示されます。

全て展開

全ての属性ツリー フォルダの内容が表示されます。

全て折りたたみ

全ての属性ツリー フォルダが折りたたまれます。

属性グリッド

このチェック ボックスをオンにすると、[属性グリッド] で定義した内容に基づいて結果列が表示されます。

集計

このチェック ボックスをオンにすると、[集計] グリッドで選択した分類に基づいて結果が表示されます。

外部結合を有効にする

このチェック ボックスをオンにすると、クエリーで外部結合を使用して、クエリーに追加データをまとめることができます。

結果を表示

クエリーが実行されます。結果ページが表示され、クエリーの結果が表示されます。

属性をクリア

(省略可) [選択した属性] リストに表示されている属性がクリアされます。

デフォルトとして設定

(省略可) 選択した属性が、ターゲット オブジェクトを使用するたびに表示されるデフォルト属性として設定されます。

属性を保存

(省略可) 現在の属性の選択内容がクエリーとして保存されます。

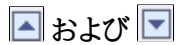
属性をロード

(省略可) 定義済みの属性の設定内容がロードされます。

属性グリッド

選択した属性

[選択した属性] リストには、ターゲット オブジェクトのリスト ボックス アイテムが Tools レコード定義の定義内容に基づいて自動的に入力されます。クエリーの属性は、必要に応じて追加または削除できます。



および

これらの矢印アイコンを使用して属性の並び順を変更し、クエリー結果の列の表示順序を定義します。たとえば、[選択した属性] リストの一番上の属性は、クエリー結果では一番左の列として表示されます。

ソート

(省略可) 列結果における属性のソート順序を示します。選択可能な値は、空白、[昇順]、および [降順] です。1 つまたは複数の列をソートできます。複数ソートを指定すると、列結果は左から右の順にソートされます。ソートされた列結果にはリンクが設定され、クエリー結果の列ヘッダーに表示されます。

集計

このグリッドのチェック ボックスを使用して、結果ページでの結果の表示方法について指定します。たとえば、結果をオーダー番号別にグループ化して、そのグループごとにオーダー金額を集計したり、最低額や最高額を表示させることができます。

グループ

このチェック ボックスをオンに設定すると、結果は属性別にグループ化されます。

件数、合計、平均、最小、最大

これらのチェック ボックスをオンに設定すると、各グループについて件数がカウントされます。トランザクション金額に関連する属性については、さらに集計や平均額を出したり、最低額や最高額を表示できます。

属性のロード ページ

属性のロード ページ (EQRY_OUT_L_PG) を使用して、定義済みの結果の属性の設定内容を、現在のクエリーで使用するためにロードまたは追加します。

使用可能な属性は、クエリー ビルダーの起動時に選択されているターゲット オブジェクトによって異なります。

ナビゲーション

結果の属性ページで [属性のロード] ボタンをクリックします。

画像: 属性のロード ページ

次の例では、属性のロード ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Select stored output column set to Load or Append to current selections					
Load	Append	Name of column selections	Description	User ID	Private Query
Load	Append	BUSINESSEMAIL	Preferred Business Emails		☐
Load	Append	JOB CODE GBI	Job Codes GBI excl SHARE&NERCT		☐

属性のロード ページを使用して、保存済みの結果列をクエリーに追加します。このページには、全てのユーザーによって保存された全ての属性セットと、ログオン ユーザーがプライベートに設定して保存した属性セットとが表示されます。

- ロード

クエリーで結果の属性を置き換えます。
- 追加

クエリーに結果の属性を追加します。
- ユーザー ID

結果の属性を作成して保存したユーザー。
- プライベート クエリー

このチェック ボックスがオンになっている場合は、プライベートクエリーであることを示します。

クエリービルダー - 条件ページ

クエリービルダー - 条件ページ (EQRY_ISCRIPT) を使用して、照会する属性を指定して、演算子と値を使用して式を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM クエリービルダー], [クエリービルダー], [条件]

画像: クエリービルダー - 条件ページ

次の例では、"クエリービルダー - 条件" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Result AttributesCriteriaResultsSave/Load Query

Class ID to Query EMAILEmail AddressesEffective Date 07/16/2014

Attribute Name	Operator	Value
Email Addresses - Email Type	=	BUSN
<> And Email Addresses - Preferred = Y		

クエリー結果の属性をロードまたは定義した後、"クエリービルダー - 条件" ページで任意に条件を追加して、クエリー結果をフィルタできます。選択できるのは、結果の属性ページで選択したオブジェクトの属性

のみです。条件行を必要な数だけ指定します。または、条件の選択内容を後で使用するために保存したり、現在のクエリーで定義済みの条件選択内容を利用することもできます。

式でインデントを使用することにより、複雑なクエリーを自由に作成できます。クエリー ビルダーでは式をカッコで括ることにより、クエリーが正しく評価されるようにします。

属性名 照会するクラス ID に割り当てられたオブジェクトの属性を選択します。

[属性名] フィールドの右隣の虫眼鏡ボタンをクリックすると、条件検索ページにオブジェクトの全ての定義済み属性が一覧表示されます。属性を選択して、条件ページに戻ります。

演算子 演算子を選択して、条件のフィルタ方法を定義します。

値 選択した属性について、クエリー条件として使用する値を入力します。

値の選択

値の選択ページにアクセスして、クエリーのフィルタに使用する値を選択します。このページに表示されるフィールドは、条件ページで選択した演算子によって異なります。

[BETWEEN] または [NOT BETWEEN] 演算子を選択した場合は、[開始] フィールドと [終了] フィールドで値を選択します。

[Like]、[Not like]、[=]、[<>]、[>]、[<=]、[<]、[>=] を選択した場合は、結果の比較に使用される値を選択します。

[In] または [Not In] 演算子を選択した場合は、1 つまたは複数のチェック ボックスをオンに設定して、結果を返してほしい範囲内の値を指定できます。

条件の定義中はいつでも、[結果を表示] ボタンをクリックしてクエリーを実行させ、条件ページまたは結果列ページに戻って定義内容を修正したり、必要に応じて保存できます。

条件の使い方

結果を表示 結果ページにクエリーの結果が表示されます。

条件をクリア 現在の属性名と値の選択内容が全てクリアされるので、最初から設定し直します。

条件を保存 (省略可) 現在の属性名と値の選択内容が保存されます。

条件を選択した後、今後使用するためにクエリー定義を保存できます。条件の保存ページで、クエリーの名前と説明を入力して、プライベートに設定するかどうかを選択します。

条件をロード (省略可) 定義済みの属性名と値の設定内容がロードされます。

このページは、属性のロード ページと同様に機能します。全てのユーザーによって保存された全てのクエリー条件セットと、ログオンユーザーがプライベートに設定して保存したクエリー条件セットが表示されます。

クエリービルダー - 結果ページ

結果ページ (EQRY_RESULT_PG) を使用して、クエリーの結果を確認します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM クエリービルダー], [クエリービルダー], [結果]

画像: クエリービルダー - 結果ページ

次の例では、"クエリービルダー - 結果" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Result AttributesCriteriaResultsSave/Load Query

Class ID to Query EMAILEmail Addresses

Effective Date07/16/2014

View SQLDownload to ExcelAdd NewRerun Query

View AllFirst1-50 of 4154Last

	Email Type	EmpID
1	BUSN	0022
2	BUSN	0023
3	HOME	0034
4	HOME	0035
5	HOME	0036
6	HOME	0037

"クエリービルダー - 結果" ページを使用して、クエリーの結果を表示します。結果列のリンクをクリックすると、属性が定義されているアプリケーション ページに移動することができます。

クエリー SQL の表示、Excel へのクエリー結果のダウンロード、新規条件の追加、またはクエリーの再実行を行います。

注: 現在のクエリー結果を Microsoft Excel スプレッドシートにダウンロードするように選択した場合は、現在ページに表示されている結果のみがスプレッドシートにダウンロードされます。全てのクエリー結果をダウンロードするには、[全て表示] リンクをクリックしてから、[Excel にダウンロード] リンクをクリックします。

集計グリッド

結果列ページでオンに設定したチェック ボックスに基づいて、ソート結果と集計結果が表示されます。このグリッドは、結果列ページの [集計] チェック ボックスをオンに設定した場合のみ表示されます。

クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード ページ

クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード ページ (EQRY_COMBO_SAVE_PG) を使用して、現在のクエリーをロードしたり、定義済みのクエリーをロードします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM クエリー ビルダー], [クエリー ビルダー], [クエリーの保存/ロード]

画像: クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード ページ

次の例では、"クエリー ビルダー - クエリーの保存/ロード" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Class ID to Query EMAIL	Email Addresses
*Query Name	PREFERRED EMAIL
Description	preferred email
☒ Private Query	
Save	Load

クエリーを定義する際、結果の属性と条件はそれぞれ別の定義として保存できます。これにより、さまざまな結果の属性や条件を、要件に合わせて柔軟に組み合わせることができます。さらに、出力 (結果の属性) の選択内容と条件の選択内容を組み合わせたクエリー定義も保存することができます。

クエリー名

クエリーを保存する名称を入力します。クエリー ビルダー クエリーを保存すると、結果の属性と条件の両方に関する選択内容が保存されます。

プライベート クエリー

このチェック ボックスをオンにすると、クエリーがプライベートに設定され、このクエリーを作成したユーザーしか使用できなくなります。

ロード

このボタンをクリックすると、定義済みクエリーがロードされます。

定義済クエリー ページ

定義済クエリー ページ (EQRY_VIEWER_PG) を使用して、クエリー ビルダー コンポーネントで定義済みのクエリーを実行します。

ページは、[クエリー ビルダー - 結果ページ](#)に類似しています。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], [HCM クエリー ビルダー], [定義済クエリー]

出力と条件の組み合わせ、名称、元のクラス ID、またはこれらの組み合わせについて検索して、クエリーを選択します。実行するクエリー結果をクリックします。[定義の表示] リンクをクリックすると、クエリー ビルダー コンポーネントにアクセスします。ここでクエリーの結果列、属性、または条件を変更して、クエリーに返すことができます。

注: クエリー ビルダー内から既存のクエリー定義をロードすることにより、その他の定義済クエリーも使用できます。

HCM 変換フレームワークの使い方

変換フレームワークについて

サービス オペレーション送信側アプリケーションで使用されるメッセージ構造は、サービス オペレーション受信側アプリケーションのメッセージ構造と異なることがあります。この場合、ターゲット アプリケーションで受信されるようにするには、メッセージを変換する必要があります。HCM 変換フレームワークでは、定義ロジックを使用してメッセージが変換されます。ユーザーが設定した情報を使用し、変換フレームワークにより正しい変換ロジックが適用され、ターゲット アプリケーションの要件に準拠するメッセージが生成されます。

HCM 変換フレームワークを使用すると、PeopleSoft アプリケーション間においても、Oracle、SAP、Siebel などのサードパーティのアプリケーションとの間においても、シームレスな統合が可能になります。変換マップには変換スキーマが関連付けられているため、スキーマを検索して修正することにより、外部の変更に迅速に対応できます。

変換マップレジストリは、変換マップから構成されます。変換マップでは、ターゲット アプリケーションとソース アプリケーションの両方のメッセージについて、メッセージ プロパティを定義します。変換スキーマは、各変換マップごとに作成します。変換スキーマとは、2 つのアプリケーション間のメッセージ構造のマッピングを定義する XML ドキュメントです。

メッセージがアプリケーションで正常に受信されるよう、変換する必要がある場合は、インテグレーションブローカーのリレーションシップ コンポーネント (IB_RELATIONSHIP) でメッセージに変換プログラムを割り当てる必要があります。

変換フレームワークでは、6 つの変換プログラムがサポートされています。

- HTMF_TR_IA: インバウンド非同期通信
- HTMF_TR_IS: インバウンド同期通信
- HMTF_TR_ISR: インバウンド同期レスポンス
- HTMF_TR_OA: アウトバウンド非同期通信
- HTMF_TR_OS: アウトバウンド同期通信
- HMTF_TR_OSR: アウトバウンド同期レスポンス

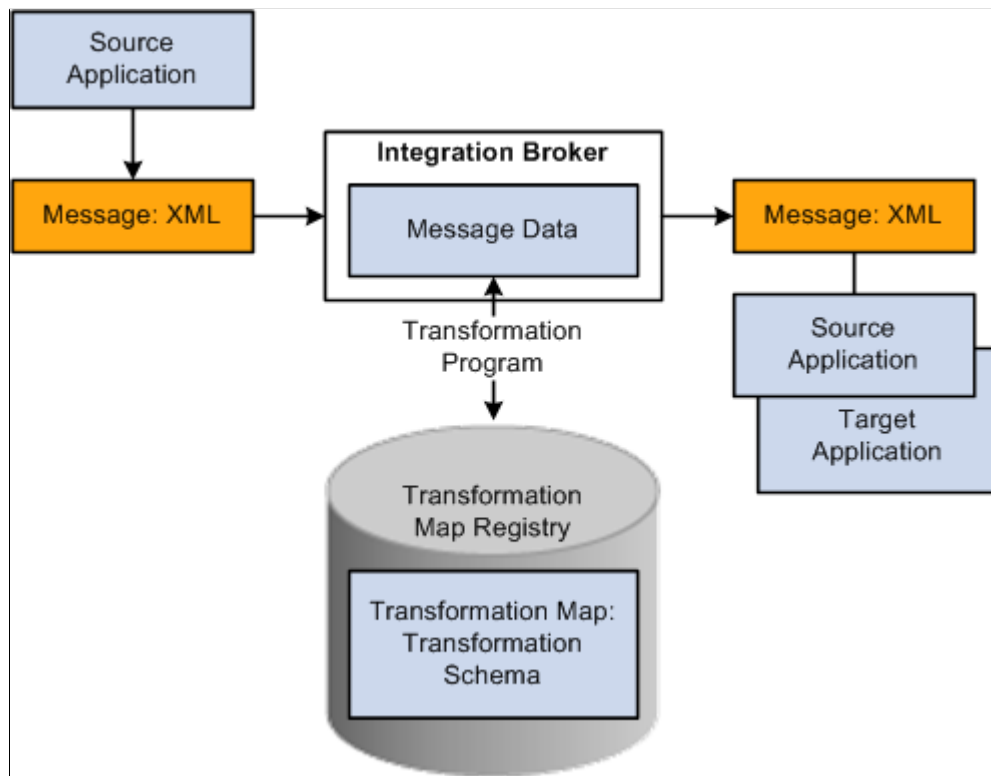
トランザクションのタイプに基づいて適切な変換プログラムを選択して、メッセージに関連付けます。

変換する必要があるメッセージがアプリケーションからパブリッシュされると、PeopleSoft インテグレーションブローカーによってメッセージに関連付けられた変換プログラムが起動されます。変換プログラムに

よって、ターゲット メッセージに対応する変換マップが決定され、XML 変換言語である XSLT を使用して変換スキーマがメッセージ データに適用されます。変換スキーマでは、ターゲット アプリケーションの要件に合わせて、メタデータまたはメッセージ データそのものを修正できます。変換されたメッセージ データは、PeopleSoft インテグレーション ブローカーによって、ターゲット アプリケーションに構造的に準拠する XML ドキュメントに再パッケージされます。この後、インテグレーション ブローカーによって、このメッセージを受信アプリケーションに送信できます。

画像: 変換フレームワークを使用したデータ変換

次の図は、HCM 変換フレームワークを使用したデータ変換における、1 つのアプリケーションから別のアプリケーションへのデータの流れを示しています。



『PeopleTools: PeopleSoft Integration Broker』の「Applying Filtering, Transformation and Translation」を参照してください。

PeopleSoft インテグレーション ブローカーの基本メッセージ フォーマット

変換スキーマを作成する前に、アプリケーション データをパッケージするために PeopleSoft インテグレーション ブローカーで使われる XML ドキュメントの基本フォーマットについて理解しておくことをお勧めします。

```

<?xml version="1.0"?>
<PeopleSoftMessageName>
  <FieldTypes>
    <RecordName1 class="R">
      <fieldname1 type="CHAR"/>
      <fieldname2 type="NUMBER"/>
      ...
    </RecordName1>
    <RecordName2 class="R">

```



```

    <fieldname1 type="CHAR"/>
    <fieldname2 type="NUMBER"/>
    ...
  </RecordName2>
  ...
</FieldTypes>
<MsgData>
  <Transaction>
    <RecordName1 class="R">
      <fieldname1>Fieldvalue</fieldname1>
      <fieldname2>Fieldvalue</fieldname2>
      ...
    <RecordName1>
    <RecordName2 class="R">
      <fieldname1 type="CHAR"/>
      <fieldname2 type="NUMBER"/>
      ...
    </RecordName2>
    <PSCAMA class="R">
      <AUDIT_ACTN>ActionCode</AUDIT_ACTN>
    </PSCAMA>
    ...
  </Transaction>
  ...
</MsgData>
</PeopleSoftMessageName>

```

このフォーマットは、ターゲット アプリケーションへ送信されるために、XML ドキュメントにパッケージされます。変換フレームワークでサポートされている変換プログラムのうちの 1 つをメッセージに関連付けておくと、この変換プログラムによって適切な変換マップが指定され、メッセージに変換スキーマが適用されて、メッセージ構造が修正されます。メッセージは修正された形式で XML ドキュメントに再パッケージされ、送信されます。

注: 変換プログラムは、変換フレームワークによってサポートされている必要があります。サポートされたプログラムのみ、変換マップと連動して処理できます。変換フレームワークとは無関係に、設定済みのアプリケーション エンジンまたは XSLT 変換プログラムも関係定義の一部として追加できます。

変換プログラムでは、標準メッセージ構造の以下のエレメントを修正できます。

PeopleSoftMessageName

アプリケーション デザイナを使用して PeopleSoft に定義されたメッセージの名称。

変換プログラムにより、メッセージ名を変更できます。

FieldTypes

レコードとそのフィールドのメタデータ。

変換プログラムにより、ターゲット アプリケーションに必要なフィールドを選択して、その名称を変更できます。

Transaction

レコードとそのフィールドのデータが含まれ、階層に構成されたもの。各レベルのレコード タグには、そのレコードのフィールドが含まれます。

変換プログラムにより、ターゲット サービス オペレーションに必要な 1 つまたは複数のレコード サブセットとそのフィールドを選

択するか、またはフィールドのサブセットを 1 つだけ選択して、その名称を変更できます。

PSCAM (PeopleSoft 共通アプリケーション メッセージ属性)

トランザクション全体に関する情報を提供する、トランザクション内の最後のレコード。PSCAMA レコードには、全てのメッセージで共通するフィールドが含まれます。<PSCAMA> タグは、メッセージのトランザクション セクションの各レベルの各行について繰り返されます。送信者は PSCAMA フィールドを設定して、メッセージ言語や行のトランザクション タイプなど、メッセージに関する基本情報を指定できます。

変換プログラムにより、この構造がターゲット メッセージ構造にコピーされます。

HCM 変換マップの設定と管理

HCM 変換マップを設定および管理するには、変換マップの登録コンポーネント (HMTF_WZ_STEP1) と変換マップレジストリ コンポーネント (HMTF_TRF_REGISTRY) を使用します。

次の各トピックでは、HCM 変換マップの設定と管理について説明します。

HCM 変換マップの設定と管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
変換マップの登録ページ	HMTF_WZ_STEP1	変換マップ (変換 XML スキーマ) の定義や修正を行います。
変換マップレジストリ ページ	HMTF_TRF_REGISTRY	メッセージ名、メッセージ バージョン、アプリケーション バージョンおよびトランザクション タイプに基づいて変換マップの体系を構成します。 変換マップ URL をクリックして、変換マップを修正します。

変換マップの登録ページ

変換マップの登録ページ (HMTF_WZ_STEP1) を使用して、変換マップ (変換 XML スキーマ) の定義や修正を行います。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [変換マップの登録], [変換マップの登録]

画像: 変換マップの登録ページ

次の例では、変換マップの登録ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Register Transformation Map

From

Message Name: PERSON_BASIC_SYNC

Message Version: INTERNAL

*Application Release: Default

Object Owner ID: HR Core Objects

To

Message Name: PERSON_BASIC_SYNC

Message Version: VERSION_4

Transaction Type: Outbound Asynchronous

UUID:

Transformation Definition

Generate Draft Map Cancel Register

変換マップは、HCM 変換マップ コンポーネントのポータル レジストリ (HC_REGISTRY) に HTML テンプレートとして保存されます。

メッセージ名、メッセージ バージョン

ソース (変換元) アプリケーションとターゲット (変換先) アプリケーションの両方について、メッセージ名とバージョンを選択します。

アプリケーション リリース

ソース アプリケーションのリリースを選択します。

トランザクション タイプ

トランザクション タイプが [インバウンド同期]、[インバウンド非同期]、[アウトバウンド - 同期]、[アウトバウンド - 非同期]、インバウンド同期レスポンス、または [アウトバウンド同期レスポンス] のいずれであるかを指定します。

オブジェクト オーナー ID

オブジェクトのオーナーを選択します。

変換定義

ソース サービス オペレーション構造をターゲット サービス オペレーション構造にマッピングするためのマッピング情報 (スキーマ) を定義します。

変換スキーマの定義

変換定義には、以下のコードが含まれます。

```
<?xml version="1.0"?>
<transformation type="IA"application_release="Application Name and?
Release"default_node="Default Node Name">
  <structure>
    <message message_name="Original Message Name" new_message_name="New Message?
Name">
      <TargetMessageRecord class="R" source_record="SourceMessageRecord ">
        < TargetMessageRecordField1 type="CHAR" value="DefaultValue"/>
        < TargetMessageRecordField2 type="CHAR" source_field="SourceMessageRecord?
Field" [source_record="SourceMessageRecord"/>
        ...
      </TargetMessageRecord>
    </message>
  </structure>
</transformation>
```

次のエレメントに値を入力してください。

XML タグ	エレメント	値
transformation	type	変換タイプを入力します。使用可能な値は次のとおりです。 - インバウンド非同期 - インバウンド同期 - アウトバウンド非同期 - アウトバウンド同期
application_release	(省略可) PeopleSoft インテグレーションブローカーで定義した関係の Category. AppRelease プロパティを入力します。	
default_node	(省略可) 使用するデフォルトのノードを入力します。	
message	message_name	ソース サービス オペレーションの名称を入力します。
new_message_name	(省略可) 変換先の構造でのメッセージの名称を入力します。	

XML タグ	エレメント	値
[TargetMessageRecord] 注: このタグは、ターゲット メッセージ レコード名となるように編集します。	class	エレメント クラスを入力します。メッセージ構造に基づく PeopleSoft レコードの値は "R" です。
source_record	(省略可) ソース レコードの名称を入力します。ソース レコードとターゲット レコードの名称が異なる場合は、この値を入力する必要があります。	
[TargetMessageRecordField] 注: このタグは、ターゲット メッセージ レコードのフィールド名となるように編集します。	type	ターゲット アプリケーション用に変換されたメッセージのフィールドのデータ タイプを選択します。有効値は以下のとおりです。 - CHAR - DATE - NUMBER
source_field または value	ターゲット アプリケーション用に変換されたメッセージ構造に値をコピーする必要のあるソース レコード フィールド名か、またはデフォルト値を入力します。 注: source_field または value のいずれかに値を入力します。両方に値を入力することはできません。	

変換マップ レジストリ ページ

変換マップレジストリ ページ (HMTF_TRF_REGISTRY) を使用して、メッセージ名、メッセージ バージョン、アプリケーション バージョンおよびトランザクション タイプに基づいて変換マップの体系を構成します。

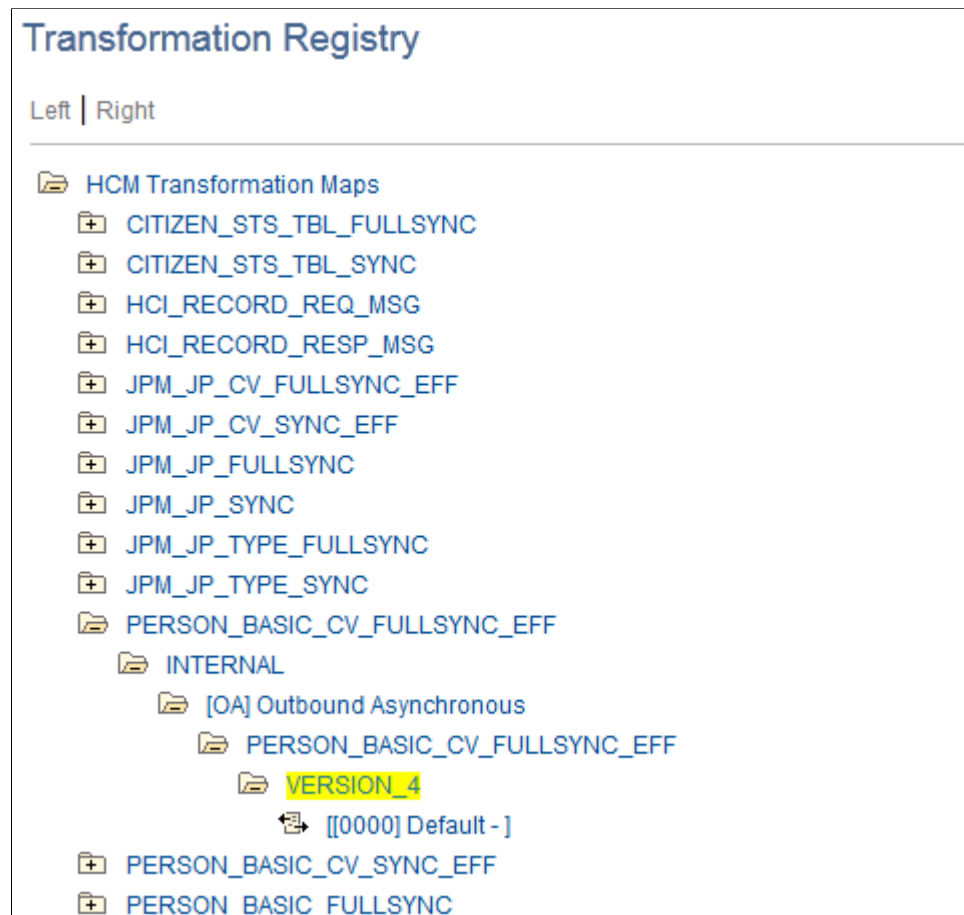
変換マップ URL をクリックして、変換マップを修正します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [システム管理], [HCM レジストリ], [変換マップレジストリ], [変換マップレジストリ]

画像: 変換マップレジストリ ページ

次の例では、変換マップレジストリ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



メッセージ名、メッセージ バージョン、アプリケーション バージョン、トランザクション タイプによって変換マップをドリルダウンします。テンプレート URL をクリックして、その変換マップの変換マップ ページにアクセスします。

定型文書の設定と作成

PeopleSoft HCM 定型文書について

次の各トピックでは、PeopleSoft HCM 定型文書の事前設定および使用方法について説明します。

前提条件

PeopleSoft ヒューマン リソース管理の PeopleSoft プロセス スケジューラを使用して、PeopleSoft HCM で提供されているサンプル定型文書を作成します。PeopleSoft プロセス スケジューラでは、次のジョブが実行されます。

1. SQR (Structured Query Report) を実行し、SQRibe Technology 社の Structured Query Report Writer を使用してデータベースからデータを抽出します。
2. Word をワープロとして使用して、このデータを文書テンプレートに差し込みます。
3. 結果の文書を Web サーバーに送ります。

SQRibe Technology 社の Structured Query Report Writer 以外のレポート ライター、または Word 以外のワープロを使用する場合は、次の各トピックの説明を参考にし、定型文書の作成手順についての理解を深めてください。次に、使用しているレポート ライターまたはワープロの説明書を参照し、サンプル文書に合わせて手順を変更します。

サンプル文書についての理解が深まると、他のタスク用に定型文書を変更したり、新たに作成できるようになります。

注: 文書を作成するには、Word の差し込み印刷機能について理解しておく必要があります。

関連リンク

[定型文書の応用](#)

PeopleSoft HCM 定型文書の使い方

PeopleSoft HCM では、PeopleSoft HCM アプリケーションで使用するいくつかのサンプル定型文書が用意されています。定型文書を作成するには、PeopleSoft ヒューマン リソース管理用と、PeopleSoft ヒューマン リソース管理以外のアプリケーション ("その他の PeopleSoft HCM アプリケーション" と呼びます) 用の 2 つの方法があります。

該当する方法を使用して、定型文書を作成してください。

多くのヒューマン リソース管理用アクティビティには、定期的な定型の文書やメモの送信が含まれています。以下に例を示します。

- (PeopleSoft ヒューマン リソース管理) コース セッションの登録、キャンセル、およびスケジュール変更を通知する文書
- (PeopleSoft グローバル ペイロール、Pension Administration、Benefits Administration) 各種文書類、通知定型文書、プラン更新を通知する文書

このような文書の文言は、住所、日付などの情報が変わるだけで、内容はいつもほとんど同じです。PeopleSoft HCM では、ヒューマン リソース管理データベースの必要なデータにアクセスし、使用しているワープロで定型文書を作成できます。

複数タイプの文書の作成と印刷を同時に行ったり、文書を作成して先に確認し、後で印刷することもできます。以下のトピックの最後に、2 つのサンプル定型文書が用意されています。

関連リンク

[Understanding Student Enrollment Options](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Training](#)

[Generating Student Form Letters](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Training](#)

[Setting Up Labor Administration Disciplinary Grievance and Resolution Classifications](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration](#)

[Understanding Foundation Data for Recruiting](#)[PeopleSoft Talent Acquisition Manager](#)

[PeopleSoft Candidate Gateway](#)

PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の作成

次の各トピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の概要および以下の作業方法について説明します。

- PeopleSoft プロセス スケジューラを使った定型文書の作成
- 定型文書ファイルでの名称指定規則の使用
- 定型文書の設定
- 定型文書を印刷するための準備
- 定型文書の応用
- 定型文書のトラブルシューティング

注: これらの説明は、テンプレートを使用して PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書を作成するためのものです。その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用の定型文書を作成するには、別の方法で行います。該当する説明に従って、定型文書を作成してください。

関連リンク

[その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書の作成](#)

PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の作成について

PeopleSoft では、以下のアプリケーションで使用するサンプル定型文書が用意されています。

- PeopleSoft ヒューマン リソース管理: 教育・研修管理
- PeopleSoft ヒューマン リソース管理: 労使関係管理

定型文書プロセスでは、特定の文書コードでタグ付けされているレコードについてデータベースを検索します。たとえば、教育・研修管理ビジネス プロセスを使用して従業員を研修コースに登録するとき、必要な文書のタイプを識別する文書コードを従業員レコードに追加できます。その後、研修関連文書レポートを実行すると、研修関連文書に関する文書コードの設定されたレコードが検索されます。

定型文書プロセスでは Word を使用して、PeopleSoft データベースから抽出されたデータに基づいて文書が作成されます。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理用定型文書を作成するには、次の手順に従います。

1. 標準文書テーブル ページ (STANDARD_LTR_TABLE) を使用して文書コードを作成します。

文書コードは定型文書を表し、レコードと必要な文書を関連付けるために使用します。

2. PeopleSoft ヒューマン リソース管理データベースの従業員レコードに、該当する文書コードを挿入してタグを付けます。

定型文書を作成するときに、応募者、従業員、非従業員、または関係者のレコードに文書コードを入力してレコードにタグを付けます。

たとえば、受講者を登録または研修コースの登録待ちリストに追加すると、その受講者の従業員レコード、非従業員レコード、または関係者レコードに文書コードが挿入されます。

3. 以下のプロセスを行うレポートを実行して、定型文書を作成します。

- a. SQR データ抽出プロセス
- b. WinWord WORDINIT プロセス
- c. PSMERGE アプリケーション エンジン プロセス

最後に、配信エージェントを使用して、文書ファイルをレポートリポジトリに転送します。

4. 研修関連文書を電子メールで送信します。

この手順は、研修関連文書のみに該当します。電子メール アドレスが従業員レコードに存在する受講者に対して、研修関連文書が電子メールで送信されます。

注: 研修関連文書を電子メールで自動的に送信するには、SMTP を設定してワークフローをアクティブにする必要があります。

『PeopleTools System and Server Administration』を参照してください。

5. Microsoft Word を使用して文書を印刷します。

定型文書は Web サーバー上の一時ディレクトリに作成され、同じタイプの文書は全て 1 つのファイルにまとめられます。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムが提供するアーキテクチャによって、アプリケーション サーバーはユーザーのマシンから離れた場所に設置できるため、文書はデフォルト プリンタには自動的に出力されません。その代わりに、Microsoft Word の標準印刷オプションを使用して文書の印刷先を選択できます。

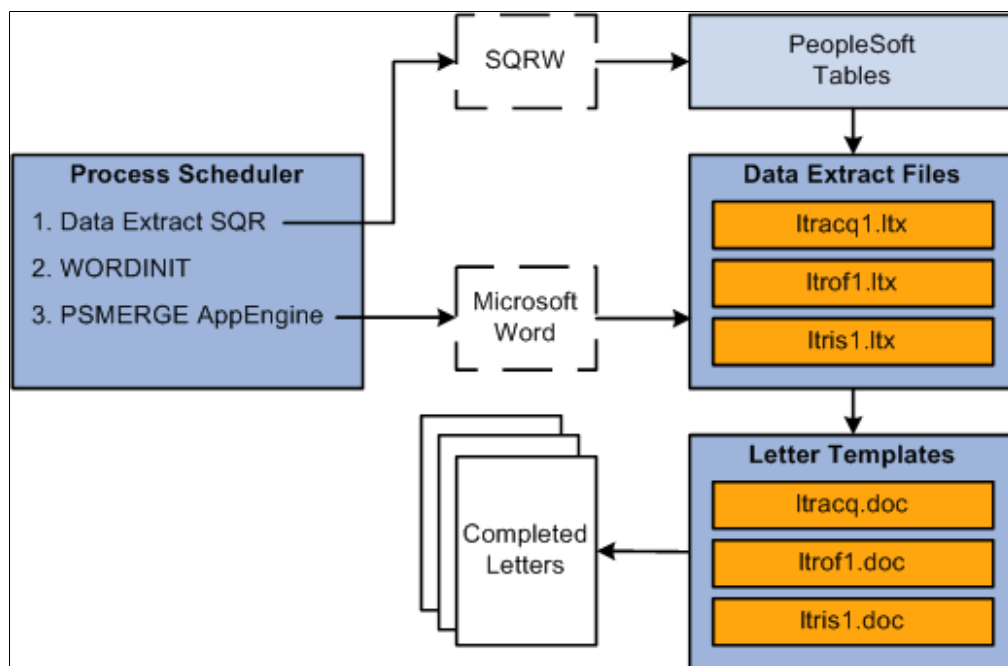
関連リンク

[標準文書コードの設定](#)

定型文書の作成

画像: PeopleSoft プロセス スケジューラを使った PeopleSoft ヒューマン リソース管理用定型文書の作成

次の図と手順は、PeopleSoft プロセス スケジューラを使用した PeopleSoft ヒューマン リソース管理用定型文書の作成方法を示しています。



ステップ 1: SQR データ抽出プロセス

SQR データ抽出プロセスでは、以下の処理を行います。

- 該当する文書コードが設定され印刷日の指定されていないレコードを、データベースで検索します。
- これらのタグで識別されたレコードからデータを抽出します。
- タグ付きレコードの印刷日フィールドを更新します。
- データを格納したデータ抽出ファイルを、拡張子 `.ltr` で文書ごとに作成します。

たとえば、条件提示文書のデータを含むファイルは `ltrofl.ltr` となります。このとき、`ofl` は条件提示、`.ltr` は文書であることを表します。

SQR プロセスにより、出力内容は SQR レポートに定義された `log/output` ディレクトリに送信されます。`log/output` ディレクトリは、プロセス スケジューラの設定ファイルで定義します。

ステップ 2: WORDINIT WinWord プロセス

WORDINIT WinWord プロセスは初期化プロセスです。このプロセスを行うことにより、PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスで以下の場所を取得できるようにします。

- Microsoft Word の実行ファイルである `winword.exe` の保存場所
- 文書テンプレートの格納された `PS_HOME` ディレクトリ

WORDINIT プロセスにより `winword.exe` および `PSINIT` と呼ばれるダミー マクロが実行されます。このマクロは、出力を作成せずに `psmerge.doc` ファイルを開いたり閉じたりします。WORDINIT WinWord プロセスをジョブ定義に含めることにより、`winword.exe` ファイルへのパスがプロセス スケジューラによって `PSPRCSPARMS` にロードされます。

PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスは、この情報を使用して Microsoft Word を呼び出します。

ステップ 3: PSMERGE アプリケーション エンジン プロセス

PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスにより、データ抽出ファイルから Word テンプレートへの差し込みが完了します。このプロセスでは、以下の処理を行います。

- データ抽出ファイル、`winword.exe`、および `PS_HOME` Winword ディレクトリの場所を検索します。
- `param.txt` と呼ばれるファイルを `log/output` ディレクトリに作成します。

このファイルには、ファイルの場所と差し込まれるファイルのリストが含まれます。

- Microsoft Word を呼び出し、差し込み処理を実行します。

Microsoft Word では、以下の処理を行います。

- データ抽出ファイルに対応する定型文書テンプレートを開きます。
- 各テンプレートのフィールド コードに該当する抽出ファイルのデータを差し込みます。

たとえば、条件提示文書の場合、テンプレートは `ltrofl.doc` で、氏名、住所、提示額のフィールドコードが含まれています。

- 該当する .ltr ファイルから、テンプレートのフィールド コードにデータを挿入します。
たとえば、ltr0f1.ltr 抽出ファイルから ltr0f1.doc テンプレートへデータを挿入します。
- 結果の文書を log/output ディレクトリに保存します。

定型文書ファイルでの名称指定規則の使用

既存の定型文書を応用する、または新規の定型文書を作成する前に、プロセスの各エレメントの名称指定規則について理解する必要があります。自分で新たに作成した定型文書コンポーネントには、同じ名称指定規則を使用します。

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- 文書コードの使い方
- データ抽出ファイルおよび対応する Word の文書テンプレートの使い方

文書コードの使い方

標準文書テーブル コンポーネントで文書コードを作成します。文書コードを使用して、特定のレコードに必要な文書のタイプについて指定します。サンプル文書で使用される PeopleSoft 標準の文書コードについて、下の表に示します。

データ抽出ファイルおよび対応する Word の文書テンプレートの使い方

拡張子 .ltr は定型文書であることを表し、拡張子 .doc は標準テンプレートであることを表します。定型文書を作成する文書コードには、それぞれに対応するデータ抽出ファイルと、データ抽出ファイルと同じ名前のテンプレートが必要です。

オブジェクト	例
新規文書コード	xyz
データ抽出ファイル名	aaaxyz.ltr
テンプレート名	aaaxyz.doc

以下に文書コードと、それに関連付けられたデータ抽出ファイルおよび Word のテンプレートを示します。

- 研修関連文書

文書の目的	文書コード	データ抽出ファイル	Word の文書テンプレート
セッション登録の確認	CON	ltrcon.ltr	ltrcon.doc

文書の目的	文書コード	データ抽出ファイル	Word の文書テンプレート
セッションのスケジュール変更通知	RSC	ltrrsc.ltr	ltrrsc.doc
セッションのキャンセル通知	CAN	ltrcan.ltr	ltrcan.doc

注: 標準文書テーブルには、WTC と WTS の 2 つの文書コードも含まれており、教育・研修管理で登録待ちリストに入っている受講者に使用されます。これらのコードには関連付けられたマクロおよびサンプル文書はありません。

- 労使関係関連文書

文書の目的	文書コード	データ抽出ファイル	Word の文書テンプレート
懲戒・指導の確認	DAF	ltrdaf.ltr	ltrdaf.doc
懲戒・指導最終決定の確認	DAR	ltrdar.ltr	ltrdar.doc
苦情の確認	GRF	ltrgrf.ltr	ltrgrf.doc
苦情最終処理の確認	GRR	ltrgrr.ltr	ltrgrr.doc

定型文書の設定

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- プロセス スケジューラの設定
- WinWord セキュリティの設定
- 文書テンプレートの設定
- WORDSAMP プロセスの実行
- SQR プロセスの出力タイプとフォーマットの指定

プロセス スケジューラの設定

定型文書を作成するためにプロセス スケジューラを設定するには、次の手順に従います。

1. プロセス スケジューラを実行するマシンに Microsoft Word をインストールします。
2. WINWORD パラメータをプロセス スケジューラの設定ファイルに定義します。

WINWORD パラメータによって、Microsoft Word 実行ファイルである winword.exe のサーバー上の場所を定義します。パスの中にスペースが含まれていないこと、およびパスの最後がスラッシュ (/) で終わっていないことを確認してください。

3. プロセス スケジューラを使用して、定型文書プロセスの実行専用サーバーを定義します。

[PeopleTools], [プロセス スケジューラ マネージャ], [使用], [サーバー定義] の順にクリックして、サーバーを定義します。配信ページの [レポートリポジトリへのシステム ファイル転送] チェック ボックスをオフにします。

プロセス スケジューラをサービスとして実行する場合は、以下の方法でデスクトップとの対話を行うようにサービスを変更します。

1. Windows のコントロール パネルで [管理ツール] の [サービス] を開きます。
2. Process Scheduler サービスを開いて、[ログオン] タブにアクセスします。
3. [ログオン] で [ローカル システム アカウント] オプション ボタンを選択して、[デスクトップとの対話をサービスに許可] チェック ボックスをオンに設定します。

これにより、Microsoft Word をサーバーのフォアグラウンドで実行可能になります。Microsoft Word のマクロをバックグラウンド サービスとして実行することはできません。

『PeopleTools PeopleSoft Process Scheduler』の「Using the PSADMIN Utility」を参照してください。

Winword セキュリティの設定

差し込み処理を完了させるマクロを実行するには、マクロ ウイルス保護機能を "低" に設定する必要があります。このためには、次の手順に従います。

1. Microsoft Word を実行して、メニュー バーから [ツール] を選択します。
2. 使用している Word のバージョンに合わせて、セキュリティを設定します。

『Microsoft Word Legal User's Guide』を参照してください。

文書テンプレートの設定

定型文書を作成するには、文書テンプレートとマクロを %PSHOME%\winword ディレクトリに置く必要があります。

psmerge.doc ファイルと psmerge.dot ファイル、および他の全ての文書テンプレートが読取専用であることを確認してください。

WORDSAMP プロセスの実行

定型文書プロセスを実行する前に、WORDSAMP プロセスを実行して環境についてテストします。このプロセスが正常に終了した場合は、Microsoft Word プロセスを実行するための環境が正しく設定されていることを示します。

注: WORDSAMP プロセスが正常に終了したかどうかの確認は、wordsamp.doc という名前の文書が作成されたことを確認して行います。

WORDSAMP プロセスを実行するには、次の手順に従います。

1. [PeopleTools]、[プロセス スケジューラ]、[プロセス リクエスト] の順にクリックします。検索ページでランコントロール ID を入力してから、通知文書作成ページで [実行] ボタンをクリックします。
2. プロセス リクエスト ページ (PRCSSAMPLEPNL1) が表示されます。
3. [サーバー名] フィールドでサーバーを選択して、[Winword サンプル プロセス] チェック ボックスをオンに設定します。
4. [OK] をクリックします。
5. [プロセス モニター] リンクをクリックして、プロセスが正常に実行されたこと (実行ステータスが [成功] になる) を確認します。
6. wordsamp.doc という名前の文書が作成されたことを確認します。この文書は、通常のレポートとしてレポート リポジトリに転送されます。

プロセスが正常に終了しない、または wordsamp.doc が作成されない場合は、マシンの環境が WinWord プロセスを実行するために正しく設定されていません。

『PeopleTools PeopleSoft Process Scheduler』の「Submitting and Scheduling a Process Request」を参照してください。

SQR プロセスの出力タイプとフォーマットの指定

定型文書レポートを実行して文書を作成する際に、[出力タイプ] フィールドと [フォーマット] フィールドが、SQR データ抽出プロセス用に正しく設定されていることを確認します。SQR プロセスでは、出力タイプを [ファイル] に、フォーマットを [LP] に設定する必要があります。

たとえば、研修通知を作成する場合は、出力タイプとフォーマットを次のように設定します。

1. [教育・研修管理]、[受講者の登録]、[研修通知作成]、研修通知作成ページ (RUNCTL_TRN001) の順に選択します。
2. 実行パラメータを入力して、[実行] をクリックします。
3. プロセス スケジューラのリクエスト ページで [研修通知] をクリックして、職務詳細ページにアクセスします。
4. 通知を作成する 3 つのプロセスがリストされている [プロセス リスト] グループ ボックスで SQR プロセス TRN001 を見つけ、[タイプ] フィールドで [ファイル] を選択し、[フォーマット] フィールドで [LP] を選択します。

定型文書レポートの実行に関する詳細については、該当する PeopleSoft ヒューマン リソース管理のドキュメンテーションを参照してください。

Tracking Disciplinary ActionsPeopleSoft Human Resources Manage Labor Administration を参照してください。

Generating Student Form LettersPeopleSoft Human Resources Administer Training を参照してください。

Generate Recruitment Letters PagePeopleSoft Talent Acquisition Manager を参照してください。

定型文書を印刷するための準備

定型文書を印刷できるようにするには、PeopleSoft 提供の付属のマクロを環境に合わせて変更し、プロセス スケジューラの設定ファイルを設定する必要があります。

設定によっては、付属の Microsoft Word の標準マクロに以下の変更を加える必要があります。

- 全てのマクロを含む empty.doc ファイルへのデフォルトのパス
- 文書の作成される場所

マクロにより、文書はアプリケーション サーバーの C:\TEMP ディレクトリに作成されます。マクロを編集して文書の場所を変更し、Microsoft Word から文書を印刷する際にローカル プリンタに出力できるようにしてください。

定型文書を印刷するためにシステムを設定するには、次の手順に従います。

1. "サーバー - 配信" ページで、[レポートリポジトリへのシステム ファイル転送] チェック ボックスをオフにしたまま、定型文書を実行する専用のプロセス スケジューラを新規作成します。
2. WINWORD 変数をプロセス スケジューラの設定ファイルに定義します。

WINWORD は、定型文書を作成するためにプロセス スケジューラによって実行される Microsoft Word の実行ファイルの場所を定義します。たとえば、Microsoft Word がアプリケーション サーバーで稼動している場合、プロセス スケジューラの設定ファイルのこの行は次のようになります。

```
WINWORD=C:\APPS\OFFICE97\OFFICE
```

『PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler』を参照してください。

定型文書の応用

定型文書は、サンプル文書が用意されている管理業務だけでなく、多くの管理業務でも便利に利用できます。サンプル定型文書には、いろいろな方法で変更を加えることができます。テンプレートのテキストに簡単な変更を加えるだけの場合も、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で他のページに [文書コード] フィールドを追加する場合もあります。

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- サンプル文書テンプレートのテキストの変更
- サンプル文書へのフィールドの追加
- 新規定型文書の作成
- ページへの文書コード フィールドの追加

サンプル文書テンプレートのテキストの変更

PeopleSoft ヒューマン リソース管理に付属する定型文書テンプレートには、各種のタスク用のサンプル テキストが含まれており、ユーザーのニーズに合わせて変更できます。たとえば、文書の送信者名を、組織

でのタスク管理の責任者である従業員名に変更する場合などです。使用するフィールドや、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で参照されるページやテーブルを変更せずに、テキストだけを変更する必要がある場合は、以下に示す手順に従います。

定型文書のテキストを変更するには、次の手順に従います。

1. 更新する Word の文書テンプレートを探します。

テンプレートは \PS\WINWORD ディレクトリにあります。

2. Microsoft Word で、変更する文書を開きます。

文書に " " がある場合は、[ツール], [オプション] を選択し、[フィールド コード] チェック ボックスをオンに設定します。

3. 一般にドキュメントのテキストを変更するのと同じ方法で、テキストに変更を加えてファイルを保存します。

警告 中かっこで囲まれているフィールド コードは上書きしないでください。これらは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理から抽出される値のプレースホルダです。

サンプル文書へのフィールドの追加

サンプル文書は、テキストを更新できるだけでなく、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の他のタイプのデータを含めることができます。

注: この変更を行うには、Microsoft Word のフィールド、および PeopleSoft ヒューマン リソース管理データベースからデータ値を抽出するために使用されるレポート ライターに精通している必要があります。

定型文書で追加フィールドを使用するには、次の手順に従います。

1. 新しいタイプのデータを含める場合は、そのデータ用のフィールド コードを定型文書テンプレートに追加します。
2. PeopleSoft ヒューマン リソース管理からデータを抽出する SQR を変更し、使用する全てのフィールドから値が取得され、その値が適切なデータ抽出ファイルに書き込まれるようにします。

たとえば、研修登録確認文書 ltrcon.doc にコース名を含めるには、定型文書テンプレートにコース名のフィールド コードを追加します。また、TRN001.sqr にコース名の変数を追加し、SQR によってコース名の値が取得され、それがデータ抽出ファイルに書き込まれるようにします。

変更前のデータ抽出ファイルは次のとおりです。

```
systemdate, Name, . . . ,
"August 10, 2001", "Barry Robert Campbell"
```

変更後のデータ抽出ファイルは次のとおりです。

```
systemdate, Name, Title...
"August 10, 2001", "Barry Robert Campbell", "Director". . .
```

新規定型文書の作成

他の目的に使用する新規の定型文書を作成することができます。たとえば、コース セッションの登録待ちの状態にあることを受講者に通知する定型文書を作成できます。

新規定型文書を作成するには、次の手順に従います。

1. 新規文書コードを標準文書テーブルに作成します。
2. 適切なテキスト、フィールド コード、およびデータ ステートメントの参照が含まれている Word 文書テンプレートを作成します。

テンプレートのファイル名は、データ抽出ファイル名 (拡張子は .ltr) と一致する必要があります。たとえば、データ抽出ファイル名が app004.ltr の場合は、Word のテンプレート ファイル名も app004.doc である必要があります。

定型文書を新規に作成するよりも、既存の定型文書テンプレートを応用の方が簡単です。定型文書テンプレートを調べて、若干の変更を加えるだけで新規定型文書テンプレートとして使用できるものがないかどうか確認してください。

たとえば、面接スケジュール用の定型文書 (INT) は、条件提示テンプレートを応用して作成します。\\PS\\WINWORD ディレクトリで ltr0f1.doc を開きます。必要に応じてテキストを変更し、使用する新規フィールド コードを文書に追加します。新しいテンプレートを別の名前 (ltrint.doc) で保存します。

3. PeopleSoft ヒューマン リソース管理の他のテーブルからデータを選択、抽出し、それを別のデータ抽出ファイルに保存する SQR を編集します。

差し込みプロセスによってデータ抽出ファイルから文書にデータを挿入させるための MERGEFIELD フィールド コードを挿入します。MERGEFIELD フィールド コードの挿入は、Alt + F9 キーを押して行います。

たとえば、面接スケジュール用の新規定型文書を作成する場合、全てのフィールドから値を抽出し、面接スケジュール文書情報を保存するための別のデータ抽出ファイルを作成する新規プロシーダを app007.sqr に作成します。

SQR プロセスには、作成されるデータ抽出ファイルの名前と拡張子 (.ltr) を含める必要があります。以下に例を示します。

```
begin-procedure Write-Heading
move '{IMPORTPREFIX}' to $FileName !start a new report file
do Get-prcsoutputdir
if (rtrim($prcsoutputdir, ' ') <> '')
move $prcsoutputdir to $Filename
concat 'APP004.LTR' with $Filename
end-if
NEW-REPORT $Filename
Let $InputField1 = 'LANG,Audience,Job_Requisition,JobTitle,DeptID,DeptName,Min⇒
```

```

_Rt_Annual,Max_Rt_Annual,Name1,Value1,Name2,Value2,Name3,Value3,Name4,Value4,Name5,Value5,Name6,Value6,Name7,Value7,Name8,Value8,'
Let $InputField2 = 'Name9,Value9,Name10,Value10,Name11,Value11,Name12,Value12,Name13,Value13,Name14,Value14,Name15,Value15,Name16,Value16,Name17,Value17,Name18,Value18,Name19,Value19,Name20,Value20,AsOfToday'
Let $InputFieldTot = $InputField1 || $InputField2
move
$InputFieldTot
to $ioarea
print $ioarea (1,1)
next-listing
end-procedure

```

アプリケーション エンジン プロセスを作成する場合、このプロセスによって作成されるファイルの拡張子は .ltr である必要があります。

『PeopleTools SQR for PeopleSoft Developers』を参照してください。

4. 新規文書テンプレートを、プロセス スケジューラ %PS_HOME%\winword ディレクトリにコピーします。
5. PSJOB を作成して、SQR、WORDINIT、および PSMERGE の各プロセスが正しい順番で実行されるようにします。

これらのプロセスが以下の順番で含まれるようにジョブを定義します。

- a. SQR プロセス、またはアプリケーション エンジン データ抽出プロセス
- b. WORDINIT Winword プロセス
- c. PSMERGE アプリケーション エンジン プロセス

注: Winword の標準マクロまたは標準テンプレートは、変更しないことをお勧めします。

注: 新規文書を PeopleSoft プロセス スケジューラにリンクするには、ヒューマン リソース管理プロジェクトの責任者に相談するか、以下の参考文書を参照してください。

ページへの文書コード フィールドの追加

PeopleSoft ヒューマン リソース管理は、[文書コード] フィールドが教育・研修管理、および人事・労務管理の労使関係の複数のページに含まれた状態で出荷されています。

[文書コード] フィールドは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理にある他のどのページ (およびその元になるテーブル) にも追加できます。たとえば、キャリア プラン セッションの通知文書を従業員宛に定期的を送る場合、[キャリア プラン] メニューのページの 1 つに [文書コード] フィールドを追加できます。

注: この変更を行うには、PeopleSoft アプリケーション デザイナ、Microsoft Word のフィールド コード、マクロ、データ ステートメント、および PeopleSoft ヒューマン リソース管理データベースからデータ値を抽出するために使用される SQR に精通している必要があります。

[文書コード] フィールドをシステム内の他のページや元になるテーブルに追加する場合は、以下についても作成する必要があります。

- 特定のアプリケーションを表す文書コード

- 適切なテキスト、フィールド コード、およびデータ ステートメントが含まれる定型文書テンプレート
- PeopleSoft ヒューマン リソース管理の適切なテーブルからデータを抽出し、新規データ抽出ファイルを作成するための SQR
- SQR、WinWord プロセス WORDINIT、およびアプリケーション エンジン PSMERGE で構成されるジョブ

『*PeopleTools: Application Designer Developer's Guide*』の「Working With Processes and Reports」を参照してください。

『*PeopleTools: Process Scheduler*』を参照してください。

定型文書のトラブルシューティング

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- SQR プロセスのトラブルシューティング
- WORDINIT プロセスのトラブルシューティング
- PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスのトラブルシューティング
- プロセス スケジューラのトラブルシューティング
- Winword ディレクトリのトラブルシューティング
- Winword プロセスのトラブルシューティング
- PSMERGE プロセスのトラブルシューティング

SQR プロセスのトラブルシューティング

SQR データ抽出プロセスについて、以下の確認/作業を行います。

- SQR プロセスが、出力タイプを [ファイル] に、フォーマットを [LP] に設定して実行されているかを確認します。出力タイプやフォーマットに他の値を設定して SQR プロセスを実行した場合は、必ずそのデータ抽出ファイルを削除します。
- データ抽出ファイルが、プロセス スケジューラの log/output ディレクトリに xxx.ltr の形式で作成されているかを確認します。
- プロセス モニターを使用して、異常終了したプロセス リクエストを全て削除します。

WORDINIT プロセスのトラブルシューティング

WORDINIT プロセスが異常終了し、環境が正しく設定されている場合は、マクロ セキュリティが原因である可能性が高いです。一部の Microsoft NT ネットワークで使用されるマクロ セキュリティ機能をオフにします。さらに、システム管理者に連絡する必要があります。

一部のネットワークでは、プロセスの実行中に Microsoft Word のセキュリティレベルが自動的に "高" に戻ります。たとえば、Winword のマクロ セキュリティを NT ユーザー プロファイル レベルで定義する場合は、PeopleSoft プロセス スケジューラ サービスを実行する NT ID について、マクロ セキュリティを "低" に設定する必要があります。

注: Windows では、Winword のマクロ ウイルス保護設定がロックおよびキャッシュされるため、マクロ ウイルス保護機能をオフにすると問題を引き起こす可能性があります。

以下の手順で、WORDINIT のプロセス定義で PS_HOME へのパスをハード コードにします。

1. [PeopleTools], [プロセス スケジューラ], [プロセス]の順に選択します。
2. [検索基準] フィールドで [プロセス名] を選択し、"WORDINIT" と入力します。
3. [上書きオプション] タブを選択します。
4. [パラメータ リスト] フィールドで、%%PS_HOME%% を、ハード コードされるディレクトリへのパスで置き換えます。

PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスのトラブルシューティング

PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスが完了せず、SQR データ抽出プロセスにフィールドを追加している場合は、それらのフィールドが文書テンプレートにも含まれていること、およびフィールドが同じ順番に並んでいることを確認します。

プロセス スケジューラのトラブルシューティング

プロセス スケジューラが正しく設定されていることを確認します。

- プロセス スケジューラ定義レベルで別のプロセス スケジューラ サーバーを定義して、[レポート リポジトリへのシステム ファイル転送] チェック ボックスをオフに設定する必要があります。
- WINWORD パラメータが prcs.cfg ファイルで正しく指定されていることを確認します。

プロセス モニターを使用して、定型文書の実行時に異常終了した全てのプロセスが削除されているかを確認します。異常終了したプロセス リクエストがあれば、全て削除します。

Windows のタスク マネージャを使用して、実行中の Winword プロセスがないことを確認します。実行中の Winword プロセスを削除してから、定型文書レポートを再実行します。

Microsoft Word をデスクトップとの対話を許可する設定にすると、Microsoft Word の再インストールが試みられる可能性があります。これを避けるため、Windows インストーラを使用不可にします。

Winword ディレクトリのトラブルシューティング

テンプレート ファイルが正しいディレクトリにあることを確認します。

- Winword のテンプレートとマクロは %PS_HOME%\winword ディレクトリにある必要があります。

- psmerge.doc ファイルと psmerge.dot ファイル、および %PSHOME%\winword ディレクトリにある全ての文書テンプレートは、読取専用でなければなりません。

『PeopleTools PeopleSoft Process Scheduler』を参照してください。

Winword プロセスのトラブルシューティング

エラーを表示して Winword プロセスをデバッグするには、プロセス スケジューラの設定ファイル psprcs.cfg を変更します。この変更は、このファイルのプロセス スケジューラ (Process Scheduler) セクションの動的変更の許可 (Allow Dynamic Changes) パラメータの後ろに、以下に示す行を追加して行います。

```
Allow To Interact With Desktop=1
```

変更を保存してキャッシュをクリアした後、アプリケーション サーバーを再起動します。

『PeopleTools PeopleSoft Process Scheduler』の「Using the PSADMIN Utility」を参照してください。

PSMERGE プロセスのトラブルシューティング

PSMERGE アプリケーション エンジン プロセスが異常終了する、またはステータスが [処理中] のまま変わらない場合は、トレース ファイル AE_PSMERGE_<PI>.trc (<PI> はプロセス インスタンス番号) から引数を抽出して組み合わせたものを、コマンドラインから実行します。これにより、プロセス スケジューラの外部でプロセスがテストされます。

AE_PSMERGE_<PI>.trc が次のように設定されているとします。

```
cmd = D:\PSHR88\WINWORD\run.bat
cwd = (null)
argc = 5
argv[0] = D:\PSHR88\WINWORD\run.bat
argv[1] = C:\PROGRA~1\MICROS~4\OFFICE\WINWORD.EXE
argv[2] = D:\PSHR88\appserv\prcs\HCUPG3WD\log_output\AE_PSMERGE_387\387_PARAM.TXT
argv[3] = D:\PSHR88\WINWORD\PSMERGE.DOC
argv[4] = /mPSMERGE
```

これを DOS のコマンドラインから次のように実行します。

```
D:\PSHR88\WINWORD\run.bat C:\PROGRA~1\MICROS~4\OFFICE\WINWORD.EXE
D:\PSHR88\appserv\prcs\HCUPG3WD\log_output\AE_PSMERGE_387\387_PARAM.TXT
D:\PSHR88\WINWORD\PSMERGE.DOC /mPSMERGE
```

『PeopleTools PeopleSoft Application Engine』の「Tracing Application Engine Programs」を参照してください。

標準文書コードの設定

標準文書コードを設定するには、標準文書テーブル コンポーネント (STANDARD_LTR_TABLE) を使用します。

このトピックでは、標準文書コードの設定方法について説明します。

注: 文書コードは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で使用される PeopleSoft HCM 定型文書についてのみ設定します。その他の PeopleSoft HCM アプリケーションで使用される PeopleSoft HCM 定型文書については設定しません。

標準文書コードの設定と一覧出力に使用するページ

ページ名	定義名	用途
標準文書テーブル ページ	STANDARD_LTR_TABLE	文書コードを定義します。
標準文書レポート - ラン コントロール ページ	PRCSRUNCNTL	標準文書テーブル レポート (PER711) を実行します。このレポートには標準文書テーブルに設定されたコードの一覧が出力されます。

標準文書テーブル ページ

標準文書テーブル ページ (STANDARD_LTR_TABLE) を使用して、文書コードを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [標準文書テーブル], [標準文書テーブル]

画像: 標準文書テーブル ページ

次の例では、標準文書テーブル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Standard Letter Table

Letter Code

DAF

*Set Letter Code

Manage Labor Relation

*Description

Disciplinary Action Filing

Short Description

Filing

サンプル文書用の文書コードが標準で提供されています。ユーザー独自のコードを追加して別の定型文書を作成することもできます。

注: 文書コードはテンプレートごとに提供されていますが、全ての文書コードにテンプレートが設定されているわけではありません。文書コードを使用する前に、対応するテンプレートがあることを確認してください。

セット文書コード

有効値のリストからコードを選択します。このコードは、同じような文書コードをグループ化し、必要なコードを見つけやすくするために使用されます。オプションは、以下のとおりです。

- **COBRA 関連文書:** COBRA 関連文書に対して選択します。
- **顧客関連文書:** このオプションは、他のどのカテゴリにも当てはまらない自社用文書を作成した場合に選択します。
- **人事考課関連文書:** 人事考課関連文書に対して選択します。
- **HIPPA 関連証明書:** HIPPA 関連証明書に対して選択します。
- **労使関係関連文書:** 労使関係関連文書に対して選択します。懲戒・指導および苦情の標準文書です。
- **採用関連文書:** 応募者用文書に対して選択します。
- **研修関連文書:** 研修関連文書に対して選択します。

[セット文書コード] フィールドの値によって、[セット文書コード] のフィールドに表示される文書コードが決まります。

その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書の作成

次の各トピックでは、その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用の定型文書の概要および以下の作業方法について説明します。

- PeopleSoft プロセス スケジューラを使った定型文書の作成
- 定型文書ファイルでの名称指定規則の使用
- 定型文書を印刷するための準備
- 定型文書の応用

注: これらの説明は、テンプレートを使用して他の PeopleSoft HCM アプリケーション用の定型文書を作成するためのものです。PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書を作成するには、別の方法で行います。該当する説明に従って、定型文書を作成してください。

関連リンク

[PeopleSoft ヒューマン リソース管理用の定型文書の作成](#)

その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書について

定型文書の作成または PeopleSoft HCM に付属するサンプル定型文書の変更を行う前に、PeopleSoft ヒューマン リソース管理以外の PeopleSoft HCM アプリケーションでのプロセスの処理のしくみを理解する必要があります。

その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書を作成するには、次の手順に従います。

1. レポート ライターを使用して SQR を実行します。

SQR によって PeopleSoft HCM データベースが検索され、データが抽出されて、1 文書につき 1 行のデータを含んだデータ抽出ファイルが作成されます。

2. Microsoft Word のマクロを実行して、各タイプの定型文書テンプレートにそれぞれのデータ抽出ファイルを差し込みます。

PeopleSoft プロセス スケジューラを使って定型文書を作成するために、Word マクロが含まれている 2 つのファイル (アプリケーション CD の \PS\WINWORD ディレクトリにある stdltr.dot および stdltr.95) が同梱されています。必ず、使用しているシステムに適したマクロ ファイルを使ってください。

- stdltr.dot のマクロは Microsoft Office 97 の Word 97 用で、Visual Basic で書かれています。
- stdltr.95 のマクロは Microsoft Windows 95 で使用される Word 7.0 用で、Word Basic で書かれています。

stdltr.95 を使う場合は、システムにコピーしてからファイル名を stdltr.dot に変更します。

3. Microsoft Word を使用して文書を印刷します。

定型文書はアプリケーション サーバー上の一時ディレクトリに作成され、同じタイプの文書は全て 1 つのファイルにまとめられます。

PeopleSoft HCM システムが提供するアーキテクチャによって、アプリケーション サーバーはユーザーのマシンから離れた場所に設置できるため、文書はデフォルト プリンタには自動的に出力されません。その代わり、Microsoft Word の標準印刷オプションを使用して文書の印刷先を選択できます。

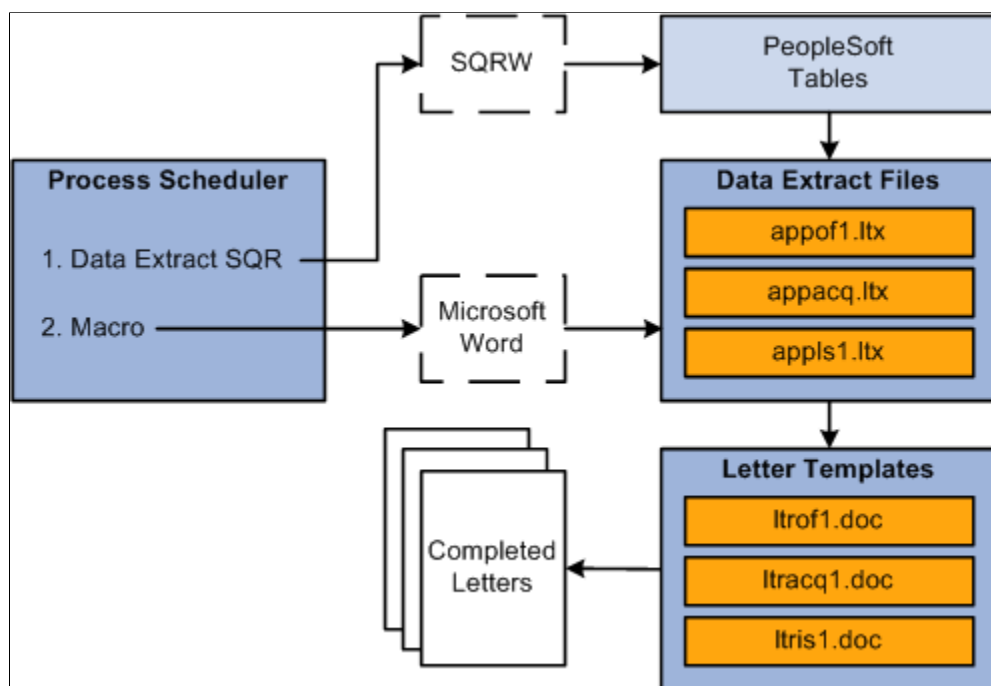
PeopleSoft プロセス スケジューラを使った定型文書の作成

PeopleSoft プロセス スケジューラでは、Microsoft Word を使用してマクロを実行し、データ抽出ファイルから定型文書テンプレートへの差し込みと、文書の印刷を行います。各ステップを順に実行するためのジョブを実行することも、手動で各ステップを順に実行することもできます。各プロセスを手動で実行する場合、最初に SQR、次に対応するマクロ、という順でステップを実行する必要があります。これ

は、PeopleSoft プロセス スケジューラからレポート ライターとワープロを同時に呼び出すことはできないためです。また、Word マクロを実行する前に、SQR でデータ抽出ファイルを作成しておく必要もあります。

画像: PeopleSoft プロセス スケジューラを使ったその他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書の作成

次の図と手順は、PeopleSoft プロセス スケジューラを使用したその他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書の作成方法を示しています。



PeopleSoft プロセス スケジューラで、その他の PeopleSoft HCM アプリケーション用定型文書を作成するには、次の手順に従います。

1. SQR PAWRL01:
 - a. 各従業員の個人データレコードをスキャンします。
 - b. レコードの情報を取得します。
 - c. データ抽出ファイル `pastdext.dat` をマクロに定義された TEMP ディレクトリに作成します。
2. マクロ PAWRL01:
 - a. データ抽出ファイルに対応する定型文書テンプレートを開きます。
 - b. 該当の抽出ファイル データをテンプレート `rollover.doc` に差し込みます。
 - c. `pastdext.dat` からテンプレートのフィールド コードにデータを挿入します。

定型文書ファイルでの名称指定規則の使用

Microsoft Word によって、全ての文書に拡張子 .doc が付けられます。このタイプの文書には、他の名称指定規則は必要ありません。

定型文書を印刷するための準備

定型文書を印刷できるようにするには、PeopleSoft 提供の付属のマクロを環境に合わせて変更し、プロセス スケジューラの設定ファイルを設定する必要があります。

設定によっては、付属の Microsoft Word の標準マクロに以下の変更を加える必要があります。

- 全てのマクロを含む empty.doc ファイルへのデフォルトのパス
- 文書の作成される場所

マクロにより、文書はアプリケーション サーバーの C:\TEMP ディレクトリに作成されます。マクロを編集して文書の場所を変更し、Microsoft Word から文書を印刷する際にローカル プリンタに出力できるようにしてください。

定型文書を印刷するためにシステムを設定するには、次の手順に従います。

1. ローカル マシン上に文書用の共有ディレクトリを設定します。

この設定によって、アプリケーション サーバーによってこのディレクトリに文書を追加できるようにします。たとえば、ユーザーが教育・研修管理者である場合、ローカル マシン上の C:\TEMP ディレクトリを TRNTEMP として共有できます。

マルチリンガル文書の場合、文書を実行する言語ごとにサブディレクトリを設定します。たとえば、[言語] フィールドが [英語] に設定された文書を実行する場合は、C:\TEMP\ENG ディレクトリを作成します。共有ディレクトリの設定方法がわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

2. empty.doc ファイルの場所および共有ディレクトリの場所を使ってマクロを更新します。

置換前のマクロの行は次のとおりです。

```
WordBasic.Call "FuncLib.MergeReport", "C:\TEMP", "PASTDEXT.DAT", "C:\HR800\WIN⇒WORD", "ROLLOVER.DOC", ""
```

置換後は次のとおりです。

```
WordBasic.Call "FuncLib.MergeReport", "C:\TEMP", "PASTDEXT.DAT", "C:\<path>\WI⇒NWORD", "ROLLOVER.DOC", "\\<machine_name>\TRNTEMP"
```

説明

<path> は empty.doc があるディレクトリへのパスです。

<machine_name> は、ユーザーのマシンに割り当てられたマシン名です。

3. WINWORD 変数をプロセス スケジューラの設定ファイルに定義します。

WINWORD は、定型文書を作成するためにプロセス スケジューラによって実行される Microsoft Word の実行ファイルの場所を定義します。たとえば、Microsoft Word がアプリケーション サーバーで稼動している場合、プロセス スケジューラの設定ファイルのこの行は次のようになります。

```
WINWORD=C:\APPS\OFFICE97\OFFICE
```

『*PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler*』を参照してください。

定型文書の応用

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- サンプル文書の Word マクロの変更
- サンプル文書テンプレートのテキストの変更
- サンプル文書へのフィールドの追加
- 新規定型文書の作成

サンプル文書の Word マクロの変更

Microsoft Word の各マクロにいくつかの環境変数を指定し、定型文書プロセスで Word のテンプレートとデータ抽出ファイルが参照されるようにします。たとえば、ネットワークまたはワークステーションの構成によって、マクロに指定されている場所とは異なる場所にファイルがある場合があります。その場合、パスを修正して正しい場所を反映させる必要があります。

既存のマクロを編集したり、マクロを新規作成する前に、Microsoft Word の文書、マクロ、およびレポートライター SQR のコピーを印刷して、慎重に検討してください。

注: マクロを変更するには、Microsoft Word のテンプレート、マクロ、およびレポートライターに精通している必要があります。

マクロは全て \PS\WINWORD ディレクトリのファイルに添付されています。(インストールの方法によってパスが異なる場合がありますが、ファイルは常に WINWORD サブディレクトリにあります。)マクロは、empty.doc という空の Microsoft Word ファイルに添付されます。

マクロを変更するには、次の手順に従います。

1. Microsoft Word で empty.doc ファイルを開きます。
2. [ツール], [マクロ] の順に選択します。
3. [マクロ名] フィールドで、[Stdltr] (テンプレート) を選択します。
4. 変更するマクロを選択して、[編集] をクリックします。

サンプル文書テンプレートのテキストの変更

PeopleSoft HCM に付属する定型文書テンプレートには、各種のタスク用のサンプル テキストが含まれており、ユーザーのニーズに合わせて変更できます。たとえば、文書の送信者名を、組織でのタスク管理の責任者である従業員名に変更する場合などです。使用するフィールドや、PeopleSoft ヒューマン リソース管理で参照されるページやテーブルを変更せずに、テキストだけを変更する必要がある場合は、以下に示す手順に従います。

定型文書のテキストを変更するには、次の手順に従います。

1. 更新する Word の文書テンプレートを探します。

テンプレートは \PS\WINWORD ディレクトリにあります。

2. Microsoft Word で、変更する文書を開きます。

文書に " " がある場合は、[ツール], [オプション] を選択し、[フィールド コード] チェック ボックスをオンに設定します。

3. 一般にドキュメントのテキストを変更するのと同じ方法で、テキストに変更を加えてファイルを保存します。

警告 中かっこで囲まれているフィールド コードは上書きしないでください。これらは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理から抽出される値のプレースホルダです。

サンプル文書へのフィールドの追加

サンプル文書は、テキストを更新できるだけでなく、PeopleSoft HCM の他のタイプのデータを含めることができます。

注: この変更を行うには、Microsoft Word のフィールド、および PeopleSoft ヒューマン リソース管理データベースからデータ値を抽出するために使用されるレポート ライターに精通する必要があります。

定型文書で追加フィールドを使用するには、次の手順に従います。

1. 新しいタイプのデータを含める場合は、そのデータ用のフィールド コードを定型文書テンプレートに追加します。
2. PeopleSoft ヒューマン リソース管理からデータを抽出する SQR を変更し、使用する全てのフィールドから値が取得され、その値が適切なデータ抽出ファイルに書き込まれるようにします。

たとえば、通知文書 rollover.doc に通貨を含めるには、定型文書テンプレートに通貨のフィールド コードを追加します。また、pastdext.sqr に通貨の変数を追加し、SQR によって通貨の値が取得され、それがデータ抽出ファイルに書き込まれるようにします。

変更前のデータ抽出ファイルは次のとおりです。

```
LANG, NAME, PLAN, ADDR1, ADDR2, ADDR3, NATIONAL_ID, CURDATE  
USA", "Mr. John Matson", "BEN01", . . . , "May 15, 1993"
```

変更後のデータ抽出ファイルは次のとおりです。

```
LANG, NAME, PLAN, ADDR1, ADDR2, ADDR3, NATIONAL_ID, CURDATE, Currency  
USA", "Mr. John Matson", "BEN01", . . . , "May 15, 1993", "US Dollars"
```

新規定型文書の作成

他の目的に使用する新規の定型文書を作成することができます。たとえば、従業員が署名する必要がある福利厚生プランに関する定型文書を送信することなどが可能です。

新規定型文書を作成するには、次の手順に従います。

1. 適切なテキスト、フィールドコード、およびデータ ステートメントの参照が含まれている Word 文書テンプレートを作成します。

定型文書を実際に作成するよりも、既存の定型文書テンプレートを応用する方が簡単です。定型文書テンプレートを調べて、若干の変更を加えるだけで新規定型文書テンプレートとして使用できるものがないかどうか確認してください。

2. PeopleSoft ヒューマン リソース管理の他のテーブルからデータを選択、抽出し、それを別のデータ抽出ファイルに保存する SQR を作成します。
3. 抽出したデータを読み取り、それを Word の文書テンプレートに差し込むマクロを新規作成します。

既存のマクロをコピーして応用する方が簡単です。

注: 新規文書を PeopleSoft プロセス スケジューラにリンクするには、ヒューマン リソース管理プロジェクトの責任者に相談するか、以下の参考文書を参照してください。

『PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler』を参照してください。

サンプル定型文書

このトピックでは、2 つの PeopleSoft HCM サンプル定型文書を掲載します。

- 研修関連文書サンプル - 研修で使用される登録確認文書 (PeopleSoft ヒューマン リソース管理の教育・研修管理ビジネス プロセス)
- 年金関連定型文書サンプル - 年金申請のために従業員が記入しなければならないダイレクト ロールオーバーの選択書 (PeopleSoft Pension Administration)

研修関連文書サンプル

August 10, 2009

Barry Robert Campbell 4928 Wildwood Place Toronto, ON

Dear Barry:

I am pleased to confirm your enrollment in training course K018 titled PeopleTools 1 beginning 09/11/2009 and ending 09/15/2009. Course hours are 9:00 AM to 6:00 PM daily, unless otherwise advised. The course will commence at: Corporation Headquarters Bldg 2000 Floor 2 Room Training Room 2

500 George Washington Pkway

New York, NY

Directions:

From the Airport, take the shuttle bus to George Washington Parkway.

Sincerely,

Barbara Smith Training Coordinator

年金関連定型文書サンプル

DIRECT ROLLOVER ELECTION FORM «PLAN» (Sample Form)

«NAME»

Date: «CURDATE»

«ADDR1»

«ADDR2»

Social Security No: «NATIONAL_ID»

«ADDR3»

I. Distribution Information:

Amount of distribution: _____ (If distribution is for the entire account balance enter "account balance")

II. Information About Plan or IRA to Receive Direct Rollover:

Name of Plan: _____

Name of Plan Administrator: _____

Address of Plan: _____

OR

Name of Plan Trustee or Custodian of IRA : _____

Address of Plan Trustee or Custodian: _____

Account Number of IRA: _____

Check which Applies to the Plan to Receive Your Rollover:

___ The plan is a qualified plan under Internal Revenue Code Section 401(a).

___ The plan accepts direct rollover contributions.

___ The plan accepts noncash contributions (optional).

I hereby certify that the information I have entered on this form is true, correct, and complete.

_____ Date _____

Signature of Participant

(USF) 処理中管理システムの設定

WIP 管理システムの設定について

PeopleSoft ヒューマン リソース管理には、ワークフローと共に使用する WIP 管理システムが用意されており、人事異動要求 (PAR) および Federal eApps for Self Service の追跡と処理が自動化されます。

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- 標準の設定
- 設定ステップ

標準の設定

ヒューマン リソース管理には、人事異動要求 (PAR) の *USFED* WIP 管理トランザクションの定義、およびこれらのセルフ サービス トランザクションの定義が用意されています。

- 従業員セルフサービス トランザクション
 - 住所変更 (FE_ADDRESS)
 - 婚姻区分変更 (FE_MARITAL)
 - 氏名変更 (FE_NAME)
- 管理者セルフ サービス トランザクション
 - 常勤/パートタイム ステータス (FE_FTPT)
 - 勤務地変更 (FE_LOCATION)
 - 管理者変更 (FE_REPORTING)
 - 昇進・昇格 (FE_PROMOTION)
 - 割当変更 (FE_REASSIGN)
 - 退職 (FE_RETIRE)
 - 終了 (FE_SEPARATE)

WIP 設定テーブルはシステム データとして提供されています。機関の WIP 処理のニーズに合わせて、提供された設定を変更できます。通常、WIP 管理パラメータの設定は 1 回のみのプロセスで、PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムを最初に設定するときに行います。後続のトピックで説明する設定情報は、機関で設定を実行するシステム管理者向けで、管理者やシステム ユーザー向けではありません。

注: 全ての説明は、説明対象のプロセスを理解していることを前提にしています。

関連リンク

[Understanding the Administering PAR SystemPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

[Understanding PARsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

[Understanding Transactions and ApprovalsPeopleSoft eProfile](#)

[Understanding Self-Service Transactions and ApprovalsPeopleSoft eProfile Manager Desktop](#)

設定ステップ

WIP システムの設定ステップは以下のとおりです。

1. WIP プロセスを計画して設計します。
2. WIP ステータス コードを設定し、レポート作成のためにステータス タイプおよびバッチ プロセスに関連付けます。
3. WIP アクティビティおよびコンポーネント処理を設定します。

機関の WIP プロセスの設計

WIP プロセス設定を計画するには、次の手順に従います。

1. 提供されているサンプルの USFED WIP システム パラメータを WIP 設定のサンプルとして確認します。

「[付属サンプルの WIP システム パラメータについて](#)」を参照してください。

2. 機関のレビュー プロセスを分析し、PAR および 採用処理に必要なレビューのレベルを決定します。
3. 承認プロセスでリクエストや他のデータをルーティングするための機関の要件に基づいて、システムを設計します。

後続のトピックで説明するサンプル パラメータのチャートを開始ポイントとして使用します。チャートはそのまま使用したり、変更することができ、テンプレートとして使用して類似するフォーマットで独自のチャートを設定することもできます。

WIP ステータス コードおよび関連するステータス タイプの定義

WIP ステータス管理を設定するには、次の手順に従います。

- Transaction Setup ページで、使用する WIP ステータス コードを定義します。

WIP ステータス コードを定義することにより、WIP プロセスをステップに分類します。このステップを使用して、PeopleSoft Workflow でのルーティングおよび追跡を定義します。

WIP ステータス コードによって、リクエスト/承認サイクルまたは他のタイプのサイクルの次のステップに PeopleSoft Workflow がデータを送信する時期と送信先が決まります。レビュー担当者がリクエストの WIP ステータスを変更すると、ステータスにリンクしている PeopleSoft ワークフロー プロセスでは、アクションが機関の全レビューレベルを通過し、実際のイベントとして完了するまで継続されることを確認します。

- ステータス タイプをステータス コードに関連付けます。

ステータス タイプによってリクエストが追跡され、関連するプロセスでデータ行を追加する時期が決まります。

- Batch Programs ページで、関連するプロセスの WIP ステータスとタイプを指定します。

処理中に、識別されたプロセスでは、指定されたステータス タイプのデータベース行が新規に作成され、関連する WIP ステータスが入力されます。

アクティビティおよびコンポーネント処理の設定

Approval Flow コンポーネントで、コンポーネントを WIP アクティビティに関連付け、WIP アクティビティごとに WIP ステータス処理、ワークフロー ルーティング、その他のコンポーネントレベルのプロセスコントロールを指定します。

関連リンク

[一般ワークフロー情報](#)

付属サンプルの WIP システム パラメータについて

次の各トピックの表には、PeopleSoft ヒューマン リソース管理人事・労務管理ビジネス プロセス用の付属 USFED サンプル システム WIP パラメータが記載されています。

次の各トピックでは、以下の項目について説明します。

- サンプル WIP ステータス コード
- サンプル WIP ステータス タイプおよび関連するステータス コード
- サンプル WIP パラメータ設定

サンプル WIP ステータス コード

USFED サンプル システムは、システム ページでの入力時に WIP ステータス コードに PAR ステータスが表示されるように設定されています。

次の表は、WIP ステータス コード、およびサンプル システムでそれらのコードを割り当てるユーザーの一覧および説明です。

WIP/PAR ステータス コード	WIP/PAR ステータスの名称	このステータスの割り当てが可能なユーザー
INI	Initiated	従業員、監督者、ヒューマン リソース管理
REQ	Requested	従業員、監督者、ヒューマン リソース管理
1ST	1st Authorized	第 1 レベルレビュー担当者: 監督者または管理者
2ND	2nd Authorized	第 1 レベルレビュー担当者: 監督者または管理者
SIG	Approved/Signed	第 2 レベルレビュー担当者: 監督者または管理者
APP	Approved	ヒューマン リソース管理
AUT	Authorized	第 1 レベルレビュー担当者: 監督者または管理者
REV	Reviewed	第 2 レベルレビュー担当者: 監督者または管理者
PRO	Processed by Human Resources	ヒューマン リソース管理
RET	Return for More Information	監督者、管理者、ヒューマン リソース管理
WTH	Withdrawn	アクションをリクエストしている従業員または監督者
DIS	Disapproved	監督者、管理者、ヒューマン リソース管理
COR	Corrected	ヒューマン リソース管理
CAN	Canceled	ヒューマン リソース管理
IRR	IRR Reported (個人退職金レコードレポート済)	ヒューマン リソース管理

関連リンク

[Tracking and Routing a PAR Through Reviews and Completion](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

サンプル WIP ステータス タイプおよび関連するステータス コード

次の表に、サンプル USFED システムで WIP ステータス タイプがさまざまな WIP ステータスにどのようにリンクするかを示します。

ステータス タイプ	WIP ステータス コード
Work-in-progress	INI (開始済)
Work-in-progress	REQ (要求済)
Work-in-progress	1ST (第 1 承認)
Work-in-progress	2ND (第 2 承認)
Work-in-progress	APP (承認済)
Work-in-progress	AUT (承認確定)
Work-in-progress	REV (確認済)
Work-in-progress	SIG (承認済/署名済)
Work-in-progress	RET (詳細情報に戻る)
Work-in-progress	WTH (取消)
Work-in-progress	DIS (未承認)
Corrected	COR (修正済)
Canceled	CAN (キャンセル)
Completed	PRO (ヒューマン リソースによる処理)
IRR Reported (個人退職金レコードレポート済)	IRR (IRR レポート済)

サンプル WIP パラメータ設定

次の表に、連邦 PAR コンポーネント処理を実行する USFED の Approval Flow コンポーネントでのサンプル WIP パラメータの設定方法を示します。

WIP アクティビティ	説明	行の削除/挿入の許可	デフォルトの WIP ステータス	アクションを実行するコンポーネント	検索の WIP ステータス	アクティブにする WIP ステータス フィールド
1st AUTH	第 1 承認		1ST	EE_1ST_AUTH	1ST, REQ	1ST, REQ - 両方ともステータス フィールドのみ

WIP アクティビティ	説明	行の削除/挿入の許可	デフォルトの WIP ステータス	アクションを実行するコンポーネント	検索の WIP ステータス	アクティブにする WIP ステータス フィールド
2nd AUTH	第 2 承認		2ND	EE_2ND_AUTH	1ST, 2ND	1ST, 2ND - 両方ともステータス フィールドのみ
APP/SGN	承認/署名			EE_APPROVAL	2ND, SIG	2ND - ステータス フィールドのみ, SIG
CANCEL	キャンセル			EE_CANCELLATION	CAN, PRO	COR, PRO - 両方ともステータス フィールドのみ
CONC_HIR	同時雇用		PRO	EE_CONC_HIRE		PRO, INI
CORRECTION	修正	挿入、削除	COR	EE_CORRECTION	COR, PRO	COR, PRO
EMPL REQST	従業員リクエスト	挿入	REQ	EE_EMPL_REQ	1ST, 2ND, COR, DIS, PRO, INI, REQ, RET, SIG	INI, REQ
HIRE	採用		PRO	EE_HIRE		PRO, INI, REQ
HR PROC	ヒューマン リソース管理による処理	挿入、削除	PRO	EE_HR_PROC	1ST, 2ND, CAN, COR, DIS, INI, PRO, REQ, RET, SIG, WTH	1ST, 2ND, CAN, COR, DIS, PRO, INI, REQ, RET, SIG, WTH
IRR CORR	修正 IRR	挿入	PRO	EE_IRR_CORR	IRR	PRO
IRR SUPP	補足 IRR	挿入	PRO	EE_IRR_SUPP	IRR	PRO
LEAVE REQ	無給休暇リクエスト		REQ	FG_EE_LEAVE_REQ		REQ
SUP REQST	監督者リクエスト	挿入	REQ	EE_SUP_REQ	PRO, INI, REQ	INI, REQ
TERMINATN	雇用終了リクエスト	挿入	REQ	FG_EE_TERMINATION		REQ

WIP アクティビティ	説明	行の削除/挿入の許可	デフォルトの WIP ステータス	アクションを実行するコンポーネント	検索の WIP ステータス	アクティブにする WIP ステータス フィールド
W3_PERS_DT	Web 個人データ		PRO	W3_GVT_PERS_DATA	PRO	PRO, REQ

WIP ステータスの設定

WIP ステータスを設定するには、Approval Transactions コンポーネント (GVT_WIP_RECORD) を使用します。

次の各トピックでは、WIP ステータスの設定方法について説明します。

WIP ステータスの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Transaction Setup ページ	GVT_WIP_RECORD1	USFED または Federal eApps トランザクションに対して WIP ステータスを定義し、ステータス タイプを関連付けます。
Batch Programs ページ	GVT_WIP_RECORD2	関連するバッチ プロセスに対して WIP ステータスおよびタイプを指定します。 このページが表示されるのは、USFED トランザクションの場合のみです。

WIP ステータス コードおよびステータス タイプについて

サンプル設定の確認後は、リクエスト プロセスの分析、機関で使用するプロセスの決定、WIP ステータスの定義、およびステータス タイプへの各 WIP ステータスのリンクを行います。

システムで提供されているステータスの全てまたは一部を使用でき、それらのステータスを 1 つのプロセスで複数回使用できます。たとえば、機関では、PAR の処理に 2 つの権限レベルと 2 つの承認レベルが必要な場合があります。または、サンプル システムに示されているように、2 つの権限レベルと 1 つの承認レベルが必要な場合があります。

各ステータスに適切な WIP ステータス タイプを割り当てます。PAR が承認パスを通過するとき、ステータス タイプは承認されるまで *[Work-in-progress]* に保持され、承認された時点で *[Completed]* になります。

次の表は、使用可能な WIP ステータス タイプとそれぞれを使用した場合を示した定義の一覧です。

WIP ステータス タイプ	定義
Work-in-progress	リクエストは、最終レベルの承認に到達していません。人事異動情報は、Federal PAR コンポーネントのみにあり、コア レコードおよびコア コンポーネントには適用 (送信) されません。
Completed	リクエストは全ての評価レベルを正常に完了済みで、ヒューマン リソース管理によって承認されます。人事異動は、コア レコードおよびコア コンポーネントに適用 (送信) されます。
Canceled	完了リクエストがヒューマン リソース管理によってキャンセルされます。人事異動は、Federal PAR コンポーネントで保持されますが、コア レコードおよびコア コンポーネントからは削除されます。
Corrected	完了リクエストがヒューマン リソース管理によって修正されます。人事異動は、Federal PAR コンポーネントで保持されますが、コア レコードおよびコア コンポーネントで更新されます。
IRR Reported	リクエストは、個人退職金レコード (IRR) でレポートされます。

関連リンク

[サンプル WIP ステータス コード](#)

[サンプル WIP ステータス タイプおよび関連するステータス コード](#)

[設定ステップ](#)

Transaction Setup ページ

Transaction Setup ページ (GVT_WIP_RECORD1) を使用して、USFED または Federal eApps トランザクションに対して WIP ステータスを定義し、ステータス タイプを関連付けます。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Approval Transactions], [Transaction Setup]

検索ページで、[Transaction] の値として *[USFED]* を選択します。

Federal eApps for Self Service トランザクションに対して、*FE_* で始まるその他の値を選択します。

画像: Transaction Setup ページ

次の例では、Transaction Setup ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

システムでは WIP 設定が用意されているため、サンプル データベースに適用したときにこのページに表示されるページ コントロールを説明します。USFED トランザクションの値は、機関に必要な設定に対応するように変更できます。

WIP Status Label

WIP ステータス ラベルを入力します。このラベルは、さまざまなヒューマン リソース ページで WIP ステータスを参照するためのものです。たとえば、人事・労務管理のリクエスト ページで WIP ステータスを参照する場合、サンプル システムのラベルは *[Par Status]* (人事異動要求ステータス) です。

Avail to Manager Self-Service (管理者セルフサービスで使用可能)

セルフサービストランザクションに対する承認を設定する場合のみ、このオプションを選択します。

Effective Dated Record

レコードに有効日を指定する場合に選択します。USFED トランザクションの場合は、これを選択する必要があります。

Valid WIP Statuses

WIP Status

必要に応じて、3 文字のステータス コードを追加または変更します。各 WIP ステータスは、承認プロセスの 1 ステップを表します。

Description, Short Description

WIP ステータスに対応する 3 文字の PAR ステータスを選択すると、HCM ページには名称または略称が表示されます。

Allow Row Insert

選択したステータスでユーザーが人事トランザクションから新しい行を挿入することを許可する場合は、このオプションを選択します。

たとえば、ユーザーが人事・労務管理の Data Control ページで有効日付きの新しい行を入力して新しいデータを追加したり、変更履歴を作成できる場合です。これらのタイプのページは、WIP 処理ページの一部で、ユーザーが新しい行を入力できる WIP ステータスを指定する WIP 管理設定に依存します。

Status Type

WIP ステータスにリンクするステータス タイプを選択します。有効なステータス タイプは次のとおりです。

- Work-in-progress
- Completed
- Canceled
- Corrected
- IRR Reported (個人退職金レコードレポート済)

これらのステータス コードは、このトピックの概要で定義しています。

「WIP ステータス コードおよびステータス タイプについて」を参照してください。

Personnel Action Processing

このグループ ボックスでは、選択したステータスのページの印刷フォームに関連する詳細を入力します。

SF-52 Print Area

実際のフォームで名前が表示される領域を選択します (例: *Part A - Box 6: Authorized By*)。

Allow SF-50 Print

SF-50 ボタンを使用可能にする場合に選択します。これによって、このステータスの人事トランザクションに対して SF50 フォームを印刷できます。

全てのデータ行の確認

このページで提供されているデータ行のデータの確認および修正を続行します。必要に応じて、データ行を追加します。

Batch Programs ページ

Batch Programs ページ (GVT_WIP_RECORD2) を使用して、関連するバッチ プロセスの WIP ステータスおよびタイプを指定します。

このページが表示されるのは、USFED トランザクションの場合のみです。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Data USF], [Approval Transactions], [Batch Programs]

検索ページで、[Transaction] の値として *[USFED]* を選択します。

画像: Batch Programs ページ

次の例では、Batch Programs ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'Batch Programs' tab in a web application. It displays a table titled 'WIP Record Program Information' with columns for 'Program', 'WIP Status', and 'Status Type'. The table contains four rows of data. Each row has a 'Find' button and a 'View All' button. The 'Status Type' column has a dropdown menu with options 'Completed' and 'Work-in-progress'. The 'WIP Status' column has a dropdown menu with options 'PRO' and 'SIG'. The 'Program' column has a text input field.

Program	WIP Status	Status Type
FGHR002B	PRO	Completed
FGHR002B	SIG	Work-in-progress
FGHR004B	PRO	Completed
FGHR004B	SIG	Work-in-progress

Program

新しい行を挿入する SQR、COBOL、またはアプリケーション エンジン プロセスの名前を入力します。挿入された行には、最高位の有効日と、このページの *[Status Type]* フィールドに指定されたステータス タイプが設定されます。

必要に応じて行を追加して、プログラムを追加します。

Status Type

プログラムで挿入する新しい行のステータス タイプを指定します。オプションは、次のとおりです。

- *Completed*: *[Completed]* と *[Corrected]* の両方が検索されます。
- *WIP*: *[Work-in-progress,]*, *[Completed]*, および *[Corrected]* が検索されます。

WIP Status

新しい行に挿入する WIP ステータスを選択します。

例

たとえば、前述の表示に基づくと、FGHR002B プロセスでは、最高位の有効日で *[Completed]* ステータスタイプの行が挿入され、[WIP Status] フィールドには、*PRO (Processed by Human Resources)* が表示されます。

関連リンク

[Understanding Automatic Action ProcessingPeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

WIP アクティビティ処理の定義

WIP アクティビティ処理を定義するには、Approval Flow コンポーネント (GVT_WIP_ACTVITY) を使用します。

次の各トピックでは、WIP アクティビティ処理の定義方法について説明します。

WIP アクティビティ処理の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
WIP Activity 1 ページ	GVT_WIP_ACTVITY1	アクションを処理できるコンポーネントに WIP アクティビティを関連付け、その他のプロセス コントロールを指定します。
Component Defaults ページ	GVT_WIP_PGRP_SEC	アクション、理由、NOA、および法務当局のコンポーネント デフォルトを選択します。
WIP Activity 2 ページ	GVT_WIP_ACTVITY2	WIP アクティビティとコンポーネントの各組合せに対して、有効な WIP ステータス値、ワークフロー転送、および PAR 追跡を指定します。
WIP Activity 3 ページ	GVT_WIP_ACTVITY3	WIP アクティビティとコンポーネントの各組合せに対して、データ入力可能状況を指定します。
Define Steps ページ	GVT_WIP_ACTVITY4	WIP ステータスを連邦セルフサービス トランザクション用の承認プロセス内のステップと関連付けます。 承認プロセスが定義されるまで、連邦セルフサービス トランザクション用の承認プロセス内のステップに WIP ステータスを関連付けることはできません。承認ワークフロー エンジン (AWE) を使用して承認プロセスを定義します。

WIP Activity 1 ページ

WIP Activity 1 ページ (GVT_WIP_ACTVITY1) を使用して、アクションを処理できる WIP アクティビティをコンポーネントと関連付け、その他のプロセス コントロールを指定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Approval Flow], [WIP Activity 1]

検索ページで、[Transaction] の値として [USFED] を選択します。

画像: WIP Activity 1 ページ

次の例では、WIP Activity 1 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

WIP Activity Information

WIP Activity

コントロールを定義しているアクティビティを入力します。

WIP Status

新しい有効日付きトランザクション行の挿入時、または追加モード時に各コンポーネントの Data Control ページに表示される、デフォルトの WIP ステータスを選択します。

Allow Row Insert?

有効日付きのレコード専用です。オンに設定すると、この WIP アクティビティを使用して行を挿入できます。

Allow Row Delete?

有効日付きのレコード専用です。オンに設定すると、この WIP アクティビティを使用して行を削除できます。

Insert Status

行の挿入が許可されるステータス タイプを指定します。

検索の WIP ステータス

検索レコードに含める WIP ステータス コードを選択します。このアクティビティにリンクされているコンポーネントに対するレコードの検索では、このテーブル内の内容と一致する WIP ステータスを含む行がある従業員のみが取得されます。

Components Performing Action

WIP アクティビティで処理の実行に使用されるコンポーネントを選択します。1 つのアクティビティ (たとえば、1 つのリクエスト) に複数のコンポーネントを関連付けることができます。たとえば、Employee Request (EE_EMPL_REQ) および Supervisor Request (EE_SUP_REQ) に対するコンポーネントは、リクエストに似たアクティビティであり、リクエスト アクティビティの下に含めることができます。

Self Service

コンポーネントがセルフサービス コンポーネントの場合に選択します。このオプションを選択すると、コンポーネントによって、初期化時に行が自動的に挿入されます。これは、新しい行を追加する場合と同様です。

All Job Actions Valid?

このコンポーネントに対して全ての異動区分が有効である場合に選択します。

Component Defaults

このボタンをクリックして、有効な異動区分、理由、NOA コード、および法務当局を入力する Component Defaults ページにアクセスします。

Component Defaults ページ

Component Defaults ページ (GVT_WIP_PGRP_SEC) を使用して、アクション、理由、NOA、および法務当局のコンポーネント デフォルトを選択します。

ナビゲーション

USFED トランザクションについて WIP Activity 1 ページの [Component Defaults] ボタンをクリックします。

画像: Components Defaults ページ

次の例では、Components Defaults ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

この WIP アクティビティに対してコンポーネントにデフォルトで入力される値を選択します。

WIP Activity 2 ページ

WIP Activity 2 ページ (GVT_WIP_ACTVITY2) を使用して、WIP アクティビティとコンポーネントの各組合せに対して、有効な WIP ステータス値、ワークフロー転送、および PAR 追跡を指定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Approval Flow], [WIP Activity 2]

検索ページで、[Transaction] の値として *[USFED]* を選択します。

画像: WIP Activity 2 ページ

次の例では、WIP Activity 2 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Components Performing Action

このスクロール領域には、WIP Activity 1 ページの WIP アクティビティに対してリストされている各コンポーネントの行が含まれます。

Available WIP Status to Change

このグループ ボックスで指定するステータスは、コンポーネントの PAR (人事異動要求) ページの [WIP Status] フィールドで選択できる唯一のステータスです。

Bus Proc (business process), Activity, Event Name

[Bus Proc]、[Activity]、および [Event Name] フィールドは、PeopleSoft ワークフローに使用する項目です。これらのエントリによって、さまざまな PeopleSoft ヒューマン リソース管理ビジネス プロセスを介してアクションのルーティングが制御されます。

ルーティングを変更するには、PeopleSoft アプリケーション デザイナで新しいビジネス プロセス アクティビティおよびイベントを作成します。このページで、新規プロセスの名前を挿入し、その

ルーティングを定義します。このテーブルからプロセスの名前が取得され、指定した WIP ステータスでユーザーがアクティビティを保存すると、そのイベントがトリガされます。

Prompt for Route to Next?

プロンプト ページで使用される、ルーティング プロンプト リストビューを指定する場合に選択します。

このオプションを選択すると、[Using] および [Routing Text] が表示され、ここでルーティング プロセスのパラメータを入力します。

Using

コンポーネントに対して [Prompt for Route to Next?] をオンにした状態でアクティビティを設定すると、ユーザーがコンポーネントを保存したとき、プロンプト ページが表示されます。プロンプト ページで、ユーザーは、WIP Activity 2 ページの [Using] フィールドで選択したビューの結果セットに含まれている、従業員リストから選択します。ユーザーは、次のレベルの承認のためにリクエストをルーティングする従業員を結果セットから選択します。

Routing Text

この人事異動のルーティングの選択を要求されるときにユーザーに表示されるテキストを指定します。

WIP Status in PAR Tracking**Default Sequence**

PAR 追跡の WIP ステータスのデフォルト連番を選択します。

WIP Status

定義している連番に対する WIP ステータスを選択します。

Required

連番が必須の場合に選択します。

Preload

事前ロードがデフォルト連番です。

WIP Activity 3 ページ

WIP Activity 3 ページ (GVT_WIP_ACTVITY3) を使用して、WIP アクティビティとコンポーネントの各組合せに対して、データ入力可能状況を指定します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Approval Flow], [WIP Activity 3]

検索ページで、[Transaction] の値として *[USFED]* を選択します。

画像: WIP Activity 3 ページ

次の例では、WIP Activity 3 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'WIP Activity 3' page. At the top, there are tabs for 'WIP Activity 1', 'WIP Activity 2', and 'WIP Activity 3'. Below the tabs, the page is titled 'WIP Record USFED' and 'Federal WIP Transactions'. The main content area is divided into several sections:

- WIP Activity Information:** Includes a 'Find | View All' link and navigation controls (First, 5 of 15, Last).
- Components Performing Action:** Includes a 'Find | View All' link and navigation controls (First, 1 of 1, Last). The 'Component Name' is 'EE_CONC_HIRE'.
- Action Reason:** Includes a 'Find | View All' link and navigation controls (First, 1 of 1, Last). It contains a dropdown menu for '*Action' (Addl Job) and a search field for 'Reason Code' (ADL).
- WIP Status to Ungray:** Includes a 'Find | View All' link and navigation controls (First, 1 of 1, Last). It contains a search field for '*WIP Status' (PRO) and a checkbox for 'Status Field Only?'.

異動理由

[Action Reason] グループ ボックスが表示されるのは、アクティビティとコンポーネントの組合せに対して、WIP Activity 1 ページで [All Job Actions Valid?] オプションがオフの場合のみです。ここで選択する [Action] および [Reason Code] の値によって、コンポーネントとアクティビティを使用した PAR の管理時に、[Action]/[Action Reason] プロンプトから使用できる値が制御されます。

Action 選択したアクティビティおよびコンポーネントに対するアクションを入力します。

Reason Code 選択したアクティビティおよびコンポーネントに対する有効な理由コードを入力します。選択したアクションに対して適切な理由コードのみが使用できます。

WIP Status to Ungray

WIP ステータスが、ユーザーの現在のアクティビティに対してここで選択した値のいずれでもない場合は、ページの全てのフィールドにデータを入力できない状態になります。

WIP Status

コンポーネントのデータ入力を可能にする WIP ステータスを選択します。

Status Field Only?

ステータス フィールドのみを入力可能にする場合に選択します。このオプションは、レビュー担当者が WIP ステータスの変更は許可されているが、アクションの基礎となるデータの変更は許可されていない場合に使用します。

Define Steps ページ

Define Steps ページ (GVT_WIP_ACTVTY4) を使用して、WIP ステータスを連邦セルフサービス トランザクション用の承認プロセス内のステップと関連付けます。

承認プロセスが定義されるまで、連邦セルフサービス トランザクション用の承認プロセス内のステップに WIP ステータスを関連付けることはできません。承認ワークフロー エンジン (AWE) を使用して承認プロセスを定義します。

ナビゲーション

[Set Up HCM], [Product Related], [Workforce Administration], [Workforce Data USF], [Approval Flow], [Define Steps]

検索ページで、[Transaction] の値として *FE* で始まる トランザクションを選択します。

画像: Define Steps ページ

次の例では、Define Steps ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Define Steps' page. At the top, it shows 'Transaction FE_ADDRESS' and 'Address Change'. Below this is the 'Approval Process Steps' section with a 'Find | View All' link and pagination 'First 1 of 3 Last'. The fields are: *Step Number (1), *Step Name (REQUEST), *Description (Request), and *Short Description (Request). Below this is the 'Actions For Step' section with a 'Find | View All' link and pagination 'First 1 of 1 Last'. The fields are: *On Action Of (Request) and *Set Status To (REQ) with a search icon and the value 'Requested'.

FE で始まる トランザクションを検索すると、承認設定のために、WIP アクティビティのページではなく、Define Steps ページに移動します。このページについては『PeopleSoft eProfile-人材プロフィール』に詳細に記載されています。

関連リンク

[Defining WIP Statuses for Approval StepsPeopleSoft eProfile](#)

[Understanding Self-Service Transactions and ApprovalsPeopleSoft eProfile Manager Desktop](#)

PeopleSoft Enterprise CRM ヒューマン リソース ヘルプデスク - 360 ビューの設定

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクについて

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスク - 360 度ビューには、従業員の HCM データを全て表示できるビューが用意されています。この PeopleSoft CRM アプリケーションは PeopleSoft CRM から設定、操作しますが、PeopleSoft HCM に格納されているデータを抽出、表示することができます。

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクの設定の一環として、以下の設定を行う必要があります。

- ヘルプデスク エージェントに従業員データへのアクセス権限を与える HCM セキュリティの設定
- 組織の管理者に対する直属部下の構造の設定

関連リンク

エンタープライズ コンポーネント

PeopleSoft HCM 情報の抽出と表示

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクを使用すると、PeopleSoft HCM から以下の情報を抽出し、表示できます。

- 個人情報
- 職務情報
- ポジション サマリ
- 給与計算サマリ
- 福利厚生サマリ
- 扶養家族および受益者情報
- 直属部下情報

上記の情報は、ヘルプデスクのページから変更することはできません。

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対するセキュリティの設定

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対するデータ権限セキュリティは、PeopleSoft HCM 全体に対すると同じように機能します。PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクを使用するヘルプデスク エージェントが 360 度ビュー ページでデータを照会するには、該当データへのアクセス権限が必要です。

エージェントのレベルと権限

CRM データベースには、レベル 1、レベル 2 およびレベル 3 の 3 つの HR ヘルプデスク エージェントがあります。レベル 1 とレベル 2 のエージェントは、アクション リnkを介して特定の HCM ページにアクセスできません。また、レベル 1 のエージェントは、HCM のページを表示のみが可能で、変更はできません。次の表は、HCM データベース内でエージェントがアクセスできるページを示しています。

アクション リンク	レベル 1 エージェント	レベル 2 エージェント	レベル 3 エージェント
HCM - 個人情報	不可	可	可
HCM - 緊急時連絡先	可	可	可
HCM - 人事異動サマリ	可	可	可
HCM - 職務データ情報	可	可	可
福利厚生 - 福利厚生サマリ	可	可	可
福利厚生 - 扶養家族福利厚生	不可	可	可
福利厚生 - 所得補償保険プラン	可	可	可
福利厚生 - 福利厚生登録	不可	可	可
福利厚生 - FSA プラン	可	可	可
福利厚生 - 健康プラン	可	可	可
福利厚生 - 休暇プラン	可	可	可
福利厚生 - 生命/障害保険プラン	可	可	可
福利厚生 - 年金プラン	可	可	可
福利厚生 - 退職プラン	可	可	可

アクション リンク	レベル 1 エージェント	レベル 2 エージェント	レベル 3 エージェント
福利厚生 - 貯蓄プラン	可	可	可
福利厚生 - 休暇プラン	可	可	可
給与計算 - 自動振込 - US	不可	可	可
給与計算 - 自動振込 - USF	不可	可	可
給与計算 - 一般控除 - US	不可	不可	可
給与計算 - 一般控除 - USF	不可	不可	可
給与計算 - 給与小切手 - US	可	可	可
給与計算 - 給与小切手 - USF	可	可	可
給与計算 - ペイシート - US	不可	不可	可
給与計算 - ペイシート - USF	不可	不可	可
給与計算 - 貯蓄債券 - US	可	可	可
給与計算 - 税データ - US	不可	不可	可
給与計算 - 税データ - USF	不可	不可	可
株式 - 株式アクティビティ	不可	可	可
株式 - 株式の権利行使	不可	可	可
研修 - コース登録	不可	可	可
研修 - 研修サマリ	可	可	可

関連リンク

[PeopleSoft のセキュリティについて](#)

[HCM のデータ権限セキュリティについて](#)

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対する直属部下の設定

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対して直属部下を設定するには、直属部下の設定コンポーネント (SS_LINK_TBL) を使用します。

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクでは、直属部下の設定ページでアクセス タイプを設定した場合に限り、適切なレポート構造を取得することができます。

PeopleSoft ヒューマン リソース ヘルプデスクに対する直属部下の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ターゲット情報ページ</u>	SS_LINK_TBL	HD_360_COMPONENT に対して、アクセス タイプを設定します。

ターゲット情報ページ

ターゲット情報ページ (SS_LINK_TBL) を使用して、HD_360_COMPONENT に対してアクセスタイプを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下の設定], [ターゲット情報]

画像: ターゲット情報ページ

次の例では、ターゲット情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Target Information		Instructional Text	
Component Name	HD_360_COMPONENT	Market	GBL
Menu Name	SETUP_HRMS		
Menu Bar Name	PRODUCTS_6		
Item Name	HC_HELP_DESK		
Page Name	HD_360_PAGE		
Access Mode	Correction		
Record (Table) Name			
Access Type	By Supervisor ID		
☐ Update Own Info			

アクセス タイプを設定するには、次の手順に従います。

1. 直属部下の設定コンポーネントにアクセスして、コンポーネント名に *HD_360_COMPONENT* を選択します。
2. ターゲット情報ページで、[アクセス タイプ] に [監督者 ID 別] を選択します。
3. ページを保存します。

セルフサービス トランザクションの設定と使い方

セルフサービス トランザクションの設定

セルフサービス トランザクションは PeopleSoft コア アプリケーションの拡張機能として使用されます。これを使って従業員は、個人情報を更新したり、職務に必要な基本タスクの一部を実行することができます。

注: PeopleSoft には、セルフサービス トランザクション用に 2 つの異なるワークフロー テクノロジが用意されています。ワークフローを使用する標準のセルフサービス トランザクションは、承認フレームワーク用、またはこれらのトピックに説明されているテクノロジ用に事前設定されています。

セルフサービス トランザクションを設定するには、セルフ サービス ワークフロー設定ページ (WF_CO_CONFIG) を使用します。

次の各トピックでは、セルフサービス トランザクションのルールの概要およびセルフサービス トランザクションの設定方法について説明します。

注: セルフサービス トランザクションで承認処理に承認フレームワークを使用する場合は、そのエンジンとそのフレームワークでの使用が可能ないように トランザクションを設定しておくことも必要です。

「[承認について](#)」を参照してください。

関連リンク

[承認について](#)

セルフ サービス トランザクションのルールの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ワークフローの設定ページ	WF_CO_CONFIG	トランザクションの承認処理とトランザクションによるデータベースの自動更新を行うかどうか、およびエラーを処理しデータベースを手動で更新する担当者のロールを指定します。
管理者通知設定ページ	WF_HR_TRANS_NOT	自動更新が正常終了した場合、または警告メッセージが更新時に発行された場合に、アプリケーション管理者が電子メールによる通知を受信する必要があるかどうかを定義します。

ページ名	定義名	用途
<u>SS コンポーネント インターフェイス 設定 ページ</u>	SS_TRANS_CIDTL_SEC	トランザクションで使用されるコンポーネント インターフェイスの名前、およびエラー メッセージと警告メッセージの場所を定義します。

セルフサービス トランザクションのルールについて

以下の事柄を判断するためのルールを設定することができます。

- トランザクションを承認処理するかどうか。
- トランザクションでデータベースを更新するか、またはアプリケーション管理者に通知を送信してトランザクションを手動で完了するか。
- トランザクションの処理中に問題が発生した場合、あるいはトランザクションが正常終了した場合に特定の個人に通知するか。

設定可能なトランザクション

次の表には、設定可能なトランザクションと、それぞれに対して出荷時にアクティブになっている承認/委任機能が示されています。

設定可能なトランザクション名	承認フレームワークが出荷時にアクティブになっている	開始の委任が出荷時にアクティブになっている	承認の委任が出荷時にアクティブになっている
パフォーマンス記入票	はい (承認フレームワーク)		はい (承認フレームワーク)
住所変更			
常勤/パートタイム ステータスの変更		はい	
勤務地の変更		はい	
婚姻区分			
氏名の変更			
昇進	はい (承認フレームワーク)	はい (承認フレームワーク)	はい (承認フレームワーク)
管理者変更	はい (承認フレームワーク)		
従業員の退職処理		はい	
アドホック給与変更	はい		

設定可能なトランザクション名	承認フレームワークが出荷時にアクティブになっている	開始の委任が出荷時にアクティブになっている	承認の委任が出荷時にアクティブになっている
従業員の雇用終了処理		はい	
研修登録			
研修登録 - 管理者	はい		
転属	はい (承認フレームワーク)	はい (承認フレームワーク)	はい (承認フレームワーク)

トランザクションの委任設定の変更は、ワークフロー トランザクション ページで行うことができます。承認フレームワークを使用しないワークフローの場合は、開始の委任 トランザクションは有効にできますが、承認の委任 トランザクションを有効にすることはできません。

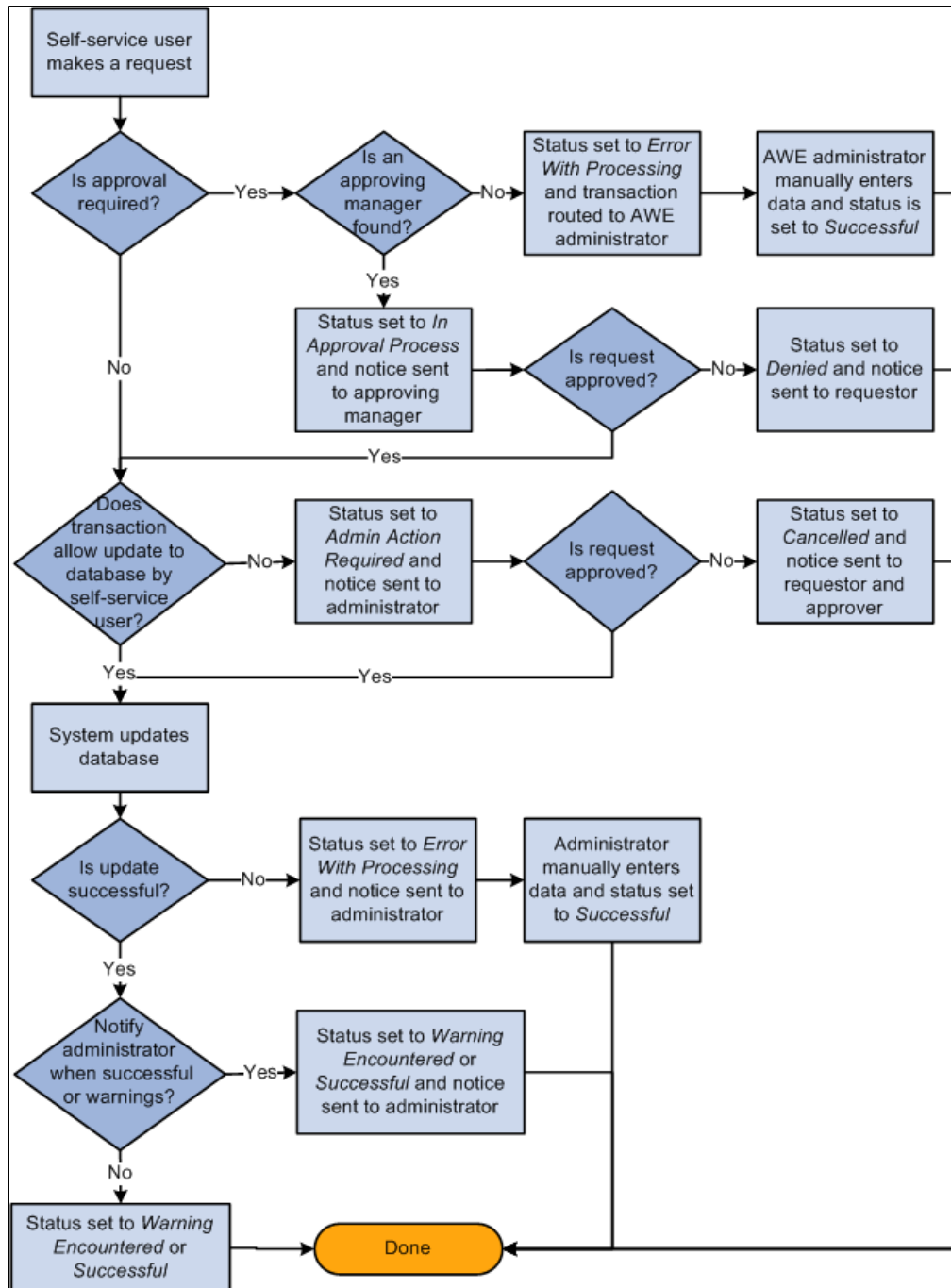
「[委任について](#)」を参照してください。

承認フレームワーク機能と委任機能を使用する トランザクションには追加設定が必要です。PeopleSoft が提供するこれらの トランザクションは、この 2 つの機能を使用できるように事前設定されています。

セルフサービス プロセスの概要

画像: プロセス設定を使ったトランザクションのプロセス フロー

次の図は、設定ルールに従うように設定されている場合のセルフサービス トランザクションで行われる処理を示しています。



注: トランザクションで承認フレームワークが使用され、適切なユーザーが見つからない場合は、そのトランザクションは確認および承認のために承認フレームワーク管理者に自動的に送信されます。トランザクションでワークフローに承認フレームワークが使用されず、適切なユーザーが見つからない場合は、エラー通知が管理者に送信されます。管理者はこのエラーをセルフサービスの照会ページで参照できます。プロファイル一般情報ページで代替ユーザーを入力する場合は、入力するユーザー ID に、必要なページへのアクセス権限が付与されているかを確認してください。

ルールの例外

トランザクションによっては、従業員の職務データを更新するものがあります。以下のセルフサービス ルールは、ポジション管理で管理されている情報を上書きできません。

ポジション管理の設定	従業員の職務	データベースの自動更新
なし	該当なし	可
一部	ポジション管理されている	不可 このルールの例外に、管理者が従業員に対する管理者変更をリクエストしている場合があります。従業員がポジション管理されており、[監督者の従業員 ID] フィールドに従業員 ID が入力された場合は、自動更新は可能です。 注: インストール ページのポジション管理オプションで [一部] を選択し、人事・労務管理の職務ページでポジション上書きチェック ボックスをオンにした場合は、ポジション データが自動的に更新されます。インストール ページのポジション管理オプションで [全体] を選択した場合は、全てのポジション データが自動的に更新されます。
全体	ポジション管理されている	不可 このルールの例外に、従業員の転属および昇進・昇格があります。これは、既存のポジション番号を変更するのではなく、新しいポジション番号を選択して管理者が従業員を転属または昇進・昇格させるためです。この場合、自動更新により新しいポジション番号が挿入され、全ての関連フィールドが更新されます。ポジション データに影響はありません。

関連リンク

[承認について](#)

[委任について](#)

ワークフローの設定ページ

ワークフローの設定ページ (WF_CO_CONFIG) を使用して、トランザクションの承認処理とトランザクションによるデータベースの自動更新を行うかどうか、およびエラーを処理しデータベースを手動で更新する担当者のロールを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス], [ワークフローの設定], [ワークフローの設定]

画像: ワークフローの設定ページ

次の例では、ワークフローの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Workflow Configurations					
Workflow Configurations					
Description	Approval Process?	Allow DB Update	*Administrator Role	Notification Setup	Component Interface Setup
Performance Document	☒		Personnel Administrator	Not Applicable	Not Applicable
Address Change	☐	☒	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Change Full/PT Status	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Change Full/Part Time Status	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Change Location	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Marital Status	☐	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Name Change	☐	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Promote Employee	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Promotion	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Reporting Change	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Retire Employee	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Request Ad Hoc Salary Change	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Ad Hoc Salary Change	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Terminate Employee	☒	☐	Personnel Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup
Training Enrollment	☐	☐	Training Administrator	Notification Setup	Component Interface Setup

注: (USF) このページは、HR テーブルを直接更新することのない米国連邦政府のセルフサービス トランザクションには使用されません。かわりに、連邦政府 トランザクションは、人事部門担当者が標準承認プロセス外で最終承認を完了する中間の人事異動要求 (PAR) テーブルにアクセスします。

名称	付属のセルフサービス トランザクションが一覧表示されます。これらはプロセス設定プロセスと連動するように設計されています。
承認処理	このチェック ボックスは、承認処理を使用するように設計された トランザクションについてのみ使用できます。チェック ボックスをオンにすると、管理者レベルの承認が必要になります。チェック ボックスがオフの場合、管理者レベルの承認は必要ありません。 注: 承認フレームワークを使用する トランザクションには、追加の承認設定が必要です。 「承認について」を参照してください。
DB の更新 (データベース更新の許可)	このチェック ボックスをオンにすると、トランザクションによるデータベースの更新が可能になります。チェック ボックスをオフにすると、アプリケーション管理者に変更の通知が行われ、アプリケーション管理者はプロセス リクエストを完了する必要があります。アプリケーション管理者は、ワークフロー照会ページ、またはセルフサービス トランザクション ページでリクエストを完了できます。
管理者ロール	エラーが発生した場合に トランザクションの結果を確認する担当者のロールを指定します。 管理者通知設定ページで [完了時に通知] チェック ボックスまたは [警告の通知] チェック ボックスをオンにした場合、処理の正常終了時、または警告の発生時にこのロールが通知を受信します。
通知設定	このリンクをクリックすると、管理者通知設定ページにアクセスします。
コンポーネント インターフェイス設定	このリンクをクリックすると、SS コンポーネント インターフェイス設定ページにアクセスします。

詳細については、『*PeopleTools: Security Administration*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

管理者通知設定ページ

管理者通知設定ページ (WF_HR_TRANS_NOT) を使用して、自動更新が正常終了した場合、または警告メッセージが更新時に発行された場合に、アプリケーション管理者が電子メールによる通知を受信する必要があるかどうかを定義します。

ナビゲーション

ワークフローの設定ページで [通知設定] リンクをクリックします。

画像: 管理者通知設定ページ

次の例では、管理者通知設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Admin Notification Setup

Address Change

Notification Setup

*Component	Notify on Success	Notify on Warnings	Business Process Name	Activity Name	Event Name		
HR_HOME_MAILING	☐	☐	HR_SS_WORK_EVENTS	HR_SS_CI_ADMIN_ORIG	Address Change CI Notify	+	-
WF_HOME_MAIL_CHG	☐	☐	HR_SS_WORK_EVENTS	HR_SS_CI_ADMIN_ADMN	Address Change CI Notify	+	-

コンポーネント

トランザクションの名前。

完了時に通知

ワークフローの設定ページで [DB の更新] がオンになっている場合のみ使用できます。このチェック ボックスをオンにすると、自動更新が正常終了したときに、ワークフローの設定ページで選択されたロールが電子メールを受信します。

警告の通知

このチェック ボックスをオンにすると、HR データベースを正常に更新しているときに警告メッセージが発生した場合、ワークフローの設定ページで選択されたロールが電子メールを受信します。

ビジネス プロセス名、アクティビティ名、イベント名

これは事前に定義されたシステム データですが、別のビジネス プロセスを使用したい場合は変更することができます。

SS コンポーネント インターフェイス設定ページ

SS コンポーネント インターフェイス設定ページ (SS_TRANS_CIDTL_SEC) を使用して、トランザクションで使用されるコンポーネント インターフェイスの名前、およびエラー メッセージと警告メッセージの場所を定義します。

ナビゲーション

ワークフローの設定ページで [コンポーネント インターフェイス設定] リンクをクリックします。

画像: SS コンポーネント インターフェイス設定ページ

次の例では、SS コンポーネント インターフェイス設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。
このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

SS Component Interface Setup

Interface Setup

Sequence Number	*Component Interface Name	*BC Item Logical Name	*Table Name	*Exception Table	
1	CL_PERSONAL_DATA	COLL_ADDRESSES	ADDRESSES	WF_PER_ERR_WRN	+ -

OK Cancel

注: 独自に作成または修正したコンポーネント インターフェイスまたは例外テーブルを使用しない限り、このページを変更する必要はありません。これは事前に定義されたシステム データですが、別のコンポーネント インターフェイスを使用したい場合は変更することができます。

トランザクションの確認

このセクションでは、トランザクション アクティビティの確認方法について説明します。

注: 承認フレームワークを使用するトランザクションを確認するには、承認モニターを使用します。

トランザクションの確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ワークフロー照会ページ	WF_SS_STAGED	承認フレームワークを使用しないセルフサービス トランザクションのアクティビティを確認します。

関連リンク

[承認の管理](#)

ワークフロー照会ページ

ワークフロー照会ページ (WF_SS_STAGED) を使用して、承認フレームワークを使用しないセルフサービス トランザクションのアクティビティを確認します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [ワークフロー照会], [ワークフロー照会]

画像: ワークフロー照会ページ

次の例では、ワークフロー照会ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Workflow Inquiry

Required Search Fields

Employee ID or Transaction Name is required.

Empl ID

Transaction NameReporting Change

Optional Search Fields

Date

Narrow your search results by choosing one or more of the following statuses

☐ Error with Processing

☐ Warnings Encountered

☐ In Approval Process

☐ Successful Updates

☐ Administrator Action Required

☐ Denied/Canceled

Search

Clear All

Reporting Changes

Details

Transaction Data1

Update Information

Status	Name	Empl ID	Empl Record	Effective Date	Transaction Number	Reports To Position Number	Supervisor ID	Go To Job	Update Status
1 In Approval Process	Joanna Strunsky	KU0016	0	04/19/2012	2		KU0046	Go To Job	Update Status
2 Cancelled	Carolina Cardenaz	KUZ102	0	10/01/2002	1		KUZ013	Go To Job	Update Status
3 Cancelled	Hether Hawthorne	KUZ107	0	10/01/2002	1		KUZ013	Go To Job	Update Status

必須検索フィールド

特定の従業員のアクティビティを照会するには、[従業員 ID] フィールドに従業員 ID を入力します。Tab キーを押して必ずフィールドから出てください。

トランザクション アクティビティを照会するには、[トランザクション名] フィールドでトランザクション名を選択します。

オプション検索フィールド

特定の日付に発生したトランザクションのアクティビティを照会するには、[日付] フィールドにその日付を入力します。

特定のステータスのアクティビティを選択するには、ステータス名の横にあるチェック ボックスをオンにします。1 つ以上のステータスを選択することができます。

検索

このボタンをクリックすると、検索条件を満たすトランザクションが検索されます。検索結果は [検索] ボタンの下に表示されます。

全てクリア

このボタンをクリックすると、このページの検索条件および検索結果が全てクリアされ、新規の照会を開始します。

検索結果

トランザクションに関する情報が、検索領域の下に表示されます。各種タブをクリックして、トランザクションに関連する情報を表示します。

- [エラー] または [警告] リンクをクリックすると、エラーおよび警告のメッセージが表示されます。
- 移動リンクをクリックすると、トランザクションに関連するコンポーネント ページが表示されます。
- [ステータス更新] リンクをクリックすると、ステータスを表示または更新できます。

(USF) 連邦セルフサービス トランザクションの確認

このトピックでは、連邦セルフサービス トランザクションの概要および確認方法について説明します。

注: 承認ワークフロー エンジン (AWE) には、確認のために使用し、必要に応じて承認トランザクションに対して特定の管理アクションを実行できる独自の承認モニターが用意されています。このトピックで説明する各ページには、連邦セルフサービス トランザクションに対して AWE 処理を使用する以前に存在していたトランザクションを確認するためのオプションなど、その他の管理機能が用意されています。

連邦セルフサービス トランザクションの確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Workflow Inquiry (USF) ページ	FE_SS_STAGED	承認フレームワークを使用しないセルフサービス トランザクションのアクティビティを確認します。
<トランザクション名> ページ	<各種>	詳細トランザクション情報を確認して、特定のトランザクションに対して管理アクションを実行します。

関連リンク

[承認の管理](#)

Workflow Inquiry (USF) ページ

Workflow Inquiry (USF) ページ (FE_SS_STAGED) を使用して、承認フレームワークを使用しないセルフサービス トランザクションのアクティビティを確認します。

ナビゲーション

[Workforce Administration], [Self Service Transactions], [Workflow Inquiry (USF)], [Workflow Inquiry]

画像: Workflow Inquiry (USF) ページ

次の例では、Workflow Inquiry (USF) ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Workflow Inquiry

▼ Search Criteria

Enter search criteria. Remove check boxes for unwanted status. All statuses will be returned if all check boxes are selected.

Transaction Name Promotion

Request Date All

Workflow Status:

☒ Error with Processing

☒ Manually Entered into PAR

☒ Error with Approval Routing

☒ Automatically Sent to PAR

☒ Warnings Encountered

☒ Administrator Action Required

☒ In SS Approval Process

☒ Canceled

☒ Denied

Employee ID

Search

▼ Promotions

Details

Transaction Data Last Update

Status	Name	Empl ID	Empl Record	Effective Date	Eff Seq	Job Title	PAR Result	Go To HR Processing	View Detail
1 In Approval Process	Susan Hart	LE0008	0	10/31/2010	1	Planner II	Not Applicable	Go To HR Processing	View Detail
2 Automatically Sent to PAR	Marcy Wilson	LE0012	0	09/01/2004	1	Analyst	In Process	Go To HR Processing	View Detail
3 Denied	Marcus Stevens	LE0013	0	10/01/2004	1	Analyst	Not Applicable	Go To HR Processing	View Detail

Search Criteria

Transaction Name, Request Date, Employee ID

特定のトランザクション タイプ、リクエスト日、または従業員のアクティビティを照会するには、これらのフィールドに適切な検索条件を入力します。

Workflow Status

検索結果を取得するには、選択したステータスのトランザクションのみが検索結果に含まれるように、これらのチェック ボックスの少なくとも 1 つをオンにする必要があります。

Error With Processing

トランザクション データを U.S. 連邦 PAR テーブルに送信するコンポーネント インターフェイスが原因でエラーが発生した承認対象 AWE トランザクション。

Understanding the Administering PAR SystemPeopleSoft Human Resources Administer Workforceを参照してください。

Error With Approval Routing

ルーティング エラーが発生した AWE トランザクション。エラーを確認して対処するには、AWE 承認モニター (承認のモニターページ) を使用する必要があります。

Warnings Encountered

警告が生成されたトランザクション。

In SS Approval Process (セルフサービス承認プロセス)

現在承認待ちのトランザクション。

Denied

却下された承認トランザクション。

Manually Entered into PAR

承認済で管理者が PAR テーブルに手動で入力したトランザクション。

これが発生するのは、常勤/パートタイムの変更、勤務地の変更、および管理者変更のトランザクションです。これらのトランザクションはポジション管理で、変更内容がポジションに加えられた後にポジションの個人に適用されるため、PAR システムに自動的に送信できません。

Automatically sent to PAR

承認済で、コンポーネント インターフェイスを使用してデータが PAR テーブルに自動的に送信されたトランザクション。

Administrator Action Required

続行するには管理者の決定が必要なトランザクション。

Cancelled

キャンセルされたトランザクション。

Search**Search**

特定の条件に一致するセルフサービス承認トランザクションのリストにアクセスするには、このボタンをクリックします。

Search Results

検索結果は、トランザクション固有のグリッドにグループ化されます。グリッドには、トランザクションの従業員名、従業員 ID、トランザクションの日付など、トランザクションの基本情報が表示されます。グリッドには、以下の承認処理列も表示されます。

Status

トランザクションのステータスが表示されます。これらのステータスは、[Search Criteria] グループ ボックスのステータスのチェック ボックスと同じです。

PAR Result

トランザクションが PAR テーブルに送信されているかどうかを示します。

- *Not Applicable*: トランザクションは承認処理中で、承認されるまで PAR テーブルに送信できません。

この値は、通常は PAR テーブルに自動的に送信されるトランザクションに対してのみ使用されます。

- *Not Available*: トランザクションを PAR 表に自動的に送信できません。

この値は、ユーザーが PAR テーブルにデータを手動で入力する必要がある 3 つのポジションベース トランザクションで

ある勤務地変更、管理者変更、および常勤/パート タイムの変更に対して使用されます。

- *In Process*: PAR テーブルに送信されたトランザクションは、HR アクションを待機しています。
- *Complete*: PAR テーブルに送信されたトランザクションは、HR 担当者が最終決定しました。
- *Denied*: PAR テーブルに送信されたトランザクションは、HR 担当者が PAR 承認を却下しました。

Go to HR Processing

HR 担当者が承認トランザクションを確認して最終決定する HR Processing USF コンポーネントにアクセスするには、このリンクをクリックします。

View Detail

次の内容を含む、トランザクションの詳細を表示するページにアクセスするには、このリンクをクリックします。

- ユーザーがリクエストした特定のデータの変更内容 (以前の婚姻区分や新規婚姻区分など)。
- 各承認ステップのステータスを含む、承認プロセスに関する情報。

<トランザクション名> ページ

<トランザクション名> ページを使用して、詳細トランザクション情報を確認し、特定のトランザクションに対して管理アクションを実行します。

ナビゲーション

Workflow Inquiry (USF) ページで、トランザクションの [View Detail] リンクをクリックします。

注: ページ名および特定のフィールドは、トランザクション タイプに基づいて変化します。

画像: <トランザクション詳細> ページ (1/2)

次の例では、<トランザクション詳細> ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Federal SS Promotion Inquiry

Promote Employee

Susan Hart

Effective Date 10/31/2010

Current Position LEP00031 Planner

Reason For Promotion Outstanding Performance

Proposed Position LEP00031 Planner

☐ Temporary Position

Promotion Details	Current Position	Proposed Position
Business Unit	Federal Planning & Analysis	Federal Planning & Analysis
Department	Plannin & Comm.Relations -T	Plannin & Comm.Relations -T
Location	National Office	National Office
Job Title	Planner II	Planner
Reports To	Lewiston Hsui	Lewiston Hsui
Pay Plan	General Schedule	General Schedule
Occ. Series	0345	0345
Pay Table	0000	0000
Grade / Level	11	12
Step / Rate	7	7

画像: <トランザクション詳細> ページ (2/2)

次の例では、<トランザクション詳細> ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

PAR Values				
Promotion		Action	PRO	
Outstanding Performance		Reason Code	OPR	
Promotion		Nature of Action Code	702	
Other Citation (Law, E.O.)		Legal Authority (1)	ZLM	
		Legal Authority (2)		
Pay rate includes rate changes (e.g., within-grade increases) to which employee would have been entitled had he or she remained		PAR Remarks	P06	

Reviewer Details					Personalize Find 1-2 of 2
Role Name	Name	Action	Action Date	Comments	
Originator	Lewiston Hsui	Request	05/08/2009	Outstanding work performed!	
Current Reviewer	Sharon Keyes	Pending			

Administrator Actions	
Current Transaction Status	In Approval Process
Go To HR Processing	

ページの上部では、リクエストされたデータ変更の以前の値と新規の値を確認できます。表示される特定のフィールドはトランザクションのタイプに依存します。

PAR Values

このグループ ボックスには、このトランザクションの PAR テーブルに書き込まれるデータが表示されます。このデータはセルフサービスのユーザーが指定するのではなく、代わりに 管理者がデフォルト/管理設定 ページを使用して、各フィールドにトランザクション固有のデフォルト値を指定します。

Defining PAR Tracking DataPeopleSoft eProfile を参照してください。

AWE トランザクションの承認詳細

AWE を使用してトランザクション承認を処理する場合、トランザクション詳細ページには、承認フローのグラフィカル表示が含まれます。

承認チェーン図には、承認者ごとにボックスが含まれます。ボックス タイトルには、承認者のステータスが表示される一方、ボックスには承認プロセスでの承認者の名前とロール (第 1 承認者など)、承認者が承認リクエストに対してアクションを実行した日付 (存在する場合) が含まれます。

非 AWE トランザクションの承認詳細

トランザクションが連邦セルフサービス トランザクションの承認の管理に AWE を使用する前に存在している場合、承認ステップは、承認フローのグラフィカル表示ではなくグリッドで表示されます。

このグリッドには、各承認者がロール別および名前別に示され、承認者が実行したアクション (存在する場合)、アクションを実行した日付、およびアクションの実行時に承認者が入力したコメントが表示されます。

PAR Result

PAR Result (人事異動要求結果) Workflow Inquiry (USF) サマリ ページの [PAR Result] フィールドに対応するメッセージが表示されます。

Administrator Actions

Current Transaction Status Workflow Inquiry (USF) サマリ ページの [Status] フィールドに対応するメッセージが表示されます。

Select this option as the request cannot be completed via Self-Service. You will be required to manually enter the request into PAR このチェック ボックスおよび [Save] ボタンが表示されるのは、現在のトランザクション ステータスが *[Error with CI]* の場合のみです。PAR にリクエストを手動で入力する必要があることを確認して、[Save] ボタンをクリックするには、このチェック ボックスをオンにします。

Go to HR Processing HR 担当者が承認トランザクションを確認して最終決定する (必要に応じてトランザクション データを手動で入力する) HR 処理 USF コンポーネントにアクセスするには、このリンクをクリックします。

現在のトランザクション ステータスが *[Error With Approval Routing]* の場合、それらのエラーは AWE 承認モニター (Monitor Approval ページ) で対処する必要があるため、このリンクを使用できません。

直属部下データへのアクセス権限の設定

直属部下データへのアクセス権限を設定するには、直属部下の設定コンポーネント (SS_LINK_TBL) を使用します。

次の各トピックでは、直属部下データへのアクセス権限の設定方法について説明します。

注: ePerformance-パフォーマンス管理または eProfile-人材プロファイルに対して直属部下データを設定する場合は、「共通コンポーネントの使い方」のトピックで説明されているページを使用します。

「[直属部下機能の設定](#)」を参照してください。

直属部下の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ターゲット情報ページ	SS_LINK_TBL	管理者用セルフサービス オプションでの、従業員データへのアクセス権限を設定します。
手順テキスト ページ	SS_LINK_TBL2	該当のトランザクション コンポーネント サービスの従業員の選択ページ (OPRROWS) に手順メッセージを追加します。
直属部下設定ページ	HR_DR_UI_CFG_1	直属部下またはユーザー インターフェイスの動作に対して設定する ePerformance-パフォーマンス管理および eProfile-人材プロファイルのトランザクションを選択します。
直属部下トランザクション設定ページ	HR_DR_UI_CFG_2	ePerformance-パフォーマンス管理または eProfile-人材プロファイルのセルフサービス トランザクションに対して直属部下またはユーザー インターフェイスの動作を設定します。

管理者セルフサービスへのアクセス権限の決定

システムでは、次の 2 項目を確認し、その内容によって管理者セルフサービスのコンポーネントとデータへのアクセスを許可します。

- 管理者ユーザーであるかどうか
- その直属部下

権限リスト ページでコンポーネントへのアクセス権限を定義するときに、管理者用のセルフサービス コンポーネントの一部または全部についてユーザーのアクセス権限を決定します。直属部下の設定コンポーネントでは、特定の管理者セルフサービス トランザクションでユーザーがデータを参照できる直属部下を指定します。

システムにより、管理者とその直属部下の関係が判断されます。このために、勤務地ページ (JOB_DATA1) と部門プロファイル ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) が使用されます。勤務地ページでは、従業員の管理者を指定します。部門プロファイル ページでは、部門の管理者と、その部門に所属する従業員を指定します。

注: このセクションの内容は、PeopleSoft タレント獲得管理の管理者ロールには適用されません。

関連リンク

[プライマリ権限リストの基本設定](#)

Adding Organizational Instances for Employees Contingent Workers and POIsPeopleSoft Human Resources Administer Workforce

部門プロファイル ページ

ターゲット情報ページ

ターゲット情報ページ (SS_LINK_TBL) を使用して、管理者用セルフサービス オプションでの、従業員データへのアクセス権限を設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下の設定], [ターゲット情報]

画像: ターゲット情報ページ

次の例では、ターゲット情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Target Information

Instructional Text

Component Name

CO_PE_MGRRPTS_COMP

Market

GBL

Menu Name

ROLE_MANAGER

Menu Bar Name

INQUIRE

Item Name

HR_EE_INF_MGR

Page Name

HR_EE_INF_HOME

Access Mode

Update/Display

Record (Table) Name

HR_SS_EMPL_SRCH

Access Type

By Department Manager ID

☐ Update Own Info

注: ePerformance-パフォーマンス管理または eProfile-人材プロファイルに対して直属部下データを設定する場合は、「共通コンポーネントの使い方」のトピックで説明されているページを使用します。

「直属部下機能の設定」を参照してください。

注: システム オブジェクトのテクニカル名を定義するには、PeopleSoft アプリケーション デザイナを使用してください。

コンポーネント名

PeopleSoft アプリケーション デザイナでメニューに定義されているコンポーネント名を入力します。

このコンポーネント名は、ユーザーが管理者セルフサービス トランザクションを選択したときに表示される従業員の選択ページ

のコンポーネント名です。トランザクション コンポーネントの名前ではありません。

メニュー名

[*ROLE_MANAGER*] を選択します。管理者セルフサービス トランザクションは全てこのメニューに属しています。他のメニューのコンポーネントへのアクセスを管理者に許可する場合は、該当コンポーネントのメニュー名を選択します。

メニュー バー名

トランザクション コンポーネントが属すメニュー バー名を選択します。

アイテム名

コンポーネントのアイテム名を入力します。アイテム名は、トランザクション コンポーネントのシステム名であり、従業員の選択ページのコンポーネント名ではありません。

トランザクション コンポーネントには、管理者が従業員データを参照、または操作するために使用するページが含まれています。

ページ名

トランザクション コンポーネント ページのオブジェクト名を入力します。管理者セルフサービス トランザクションのオブジェクト名は、ページに関する説明の導入部分にある表に記載されています。

トランザクション コンポーネントにページが複数ある場合は、ユーザーが従業員名を選択する際、最初に表示されるトランザクション ページ (通常、コンポーネントの最初のページ) の名前を入力します。

アクセス モード

ユーザーがトランザクションで使用するアクション モードを選択します。オプションは、[追加]、[更新/表示]、[全て更新/表示]、および [訂正] です。

レコード (テーブル) 名

トランザクション コンポーネントのページを構成するレコードのオブジェクト名を入力します。

アクセス タイプ

このフィールドは、該当トランザクション コンポーネントの従業員の選択ページで使われる直属関係を定義します。使用可能なオプションは以下のとおりです。

- **部門管理者 ID 別:** 部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。部門管理者のユーザーには、自分の部門に所属する従業員の一覧が表示されます。
- **部門セキュリティツリー別:** セキュリティ ツリーの情報を使用して、従業員データのアクセス権限を決定します。セキュリティ

ツリーに基づき、ユーザーがデータへのアクセスを許可された従業員の一覧が表示されます。

- **グループ ID 別:** グループビルド機能で設定されたグループ ID を使用して、データのアクセス権限を決定します。
- **部門管理者ID別-一部ポジション管理:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドと、部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドの情報を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に部門管理者 ID について行われます。
- **監督者 ID 別 - 一部ポジション管理:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドと [監督者の従業員 ID] フィールドの両方を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に監督者の従業員 ID について行われます。
- **直属上司のポジション別:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーのポジションが、職務レコードの直属上司のポジションとして指定されている従業員の一覧が表示されます。
- **監督者 ID 別:** 勤務地ページの [監督者の従業員 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーの ID が、職務レコードの監督者 ID として指定されている従業員の一覧が表示されます。

自分自身のデータを更新

セルフ サービスには適用されません。このチェック ボックスをオンにすると、管理者は該当のトランザクション コンポーネントにある自分の情報を更新できます。

『*PeopleTools: Applications User's Guide*』を参照してください。

関連リンク

[セキュリティツリーの構築と修正](#)

手順テキスト ページ

手順テキスト ページ (SS_LINK_TBL2) を使用して、該当のトランザクション コンポーネント サービスに対する従業員の選択ページ (OPRROWS) に手順メッセージを追加します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下の設定], [手順テキスト]

画像: 手順テキスト ページ

次の例では、手順テキスト ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

直属部下 - ページ アクセス手順テキスト

タイトル メッセージ セット、タイトル メッセージ番号 選択したコンポーネントの従業員の選択ページに表示される、トランザクション手順のタイトルのメッセージ セット番号とメッセージ番号を入力します。

メッセージ テキスト タイトル メッセージ番号に関連付けられたトランザクション手順タイトルのテキストが表示されます。このテキストが、選択したコンポーネントの従業員の選択ページに表示されます。

手順メッセージ セット、手順メッセージ番号 選択したコンポーネントの従業員の選択ページに表示される、手順メッセージのセット番号とメッセージ番号を入力します。

説明 手順メッセージ番号に関連付けられた手順メッセージのテキストが表示されます。このテキストが、選択したコンポーネントの従業員の選択ページに表示されます。

参照、または操作したいデータを持つ従業員の選択方法について説明します。

セルフサービス トランザクションにおけるワークフローの使い方

セルフサービス トランザクションにおいてワークフローを使用するには、ワークフロー デフォルト設定コンポーネント (WF_SYSTEM_DEFAULTS)、トランザクション カテゴリ コンポーネント (EO_TRAN_CATS)、ワークフロー トランザクション コンポーネント (EO_TRANSACTIONS)、システム ワークフロー ルール コン

ポーネント (EO_SYS_WF_RULES)、ワークフロー ステータス コンポーネント (HR_WF_STATUS)、およびワークフロー ユーザー設定コンポーネント (HR_SS_WF_EE_PREF) を使用します。

次の各トピックでは、セルフサービス トランザクションにおけるワークフローの使用方法について説明します。

ワークフローのアクティブ化に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>ワークリスト デフォルト設定ページ</u>	WF_SYS_DEFAULTS	ワークフロー メッセージに対するデフォルト パラメータを設定します。
ワークフロー トランザクション カテゴリ ページ	EO_TRAN_CATS	セルフサービス トランザクションの カテゴリを定義します。通常、セルフ サービス トランザクションは全て HR_TRANSACTIONS に割り当てられます。この情報は事前に定義されているため、変更しないでください。
ワークフロー トランザクション ページ	EO_TRANSACTIONS	セルフサービス トランザクションを適切なワークフロー機能に関連付けて、ワークフロー トランザクション カテゴリを割り当てることで、セルフサービス トランザクションをワークフロー トランザクションとして登録します。 承認フレームワークを使用しないトランザクションの場合は、カテゴリは事前に定義されているため、この情報は変更しないでください。 承認フレームワークを使用するトランザクションの場合は、トランザクションに関連付けられている承認プロセス ID をさらに指定する必要があります。トランザクションの開始の委任および承認の委任を有効にすることもできます。
<u>システム ワークフロー ルール ページ</u>	EO_SYS_WF_RULES	ワークフローを使用する予定の全ての セットID について、ワークフローの通知ルールを設定します。
ワークフロー ステータス ページ	HR_WF_STATUS	各セルフサービス トランザクションについて、ワークフローによってトリガされるものを指定します。承認パスを変更することはできますが、できるだけ変更しないでください。
<u>ワークフロー ユーザー基本設定ページ</u>	HR_SS_WF_EE_PREF	ワークフロー メッセージに対するユーザーの通知方法を設定します。

『PeopleTools: Workflow Technology』を参照してください。

ワークリスト デフォルト設定ページ

ワークリスト デフォルト設定ページ (WF_SYS_DEFAULTS) を使用して、ワークフロー メッセージのデフォルトのパラメータを設定します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [ワークフロー], [デフォルト/メッセージ], [ワークフロー デフォルト設定], [ワークリスト デフォルト設定]

画像: ワークリスト デフォルト設定ページ

次の例では、ワークリスト デフォルト設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

[ワークリスト使用]、[電子メール使用]、[HR 導入済] の各チェック ボックスがオンになっていることを確認してください。

システム ワークフロー ルール ページ

システム ワークフロー ルール ページ (EO_SYS_WF_RULES) を使用して、ワークフローを使用する予定の全てのセットID について、ワークフローの通知ルールを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス], [システム ワークフロー ルール], [システム ワークフロー ルール]

画像: システム ワークフロー ルール ページ

次の例では、システム ワークフロー ルール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

System Workflow Rules

Set ID SHARE Table Set shared across Corp

Category Workflow Rules

*Transaction Category	*Workflow Rule	Notify User - Entry	Notify - All	Notify - Final Disposition		
All HRMS Transactions	Both	☒	☒	☒	+	-

ビジネス ユニットごとに異なるルールを使用できるように、セットID レベルでルールを指定します。

注: この情報は、PeopleSoft HCM を導入するときに指定する必要があります。

トランザクション カテゴリ

トランザクション カテゴリを選択します。

ワークフロー ルール

ユーザーの処理が必要な場合に、ユーザーにそれを通知する方法を定義します。以下の値があります。

- 電子メール: ユーザーに電子メールで通知されます。
- ワークリスト: ユーザーのワークリストにエントリを設定することにより、ユーザーに通知されます。
- 両方: 電子メールとワークリストの両方により、ユーザーに通知されます。
- なし: 通知されません。
- ユーザー: ユーザーが基本設定を定義できます。ワークフロー ユーザー基本設定ページで基本設定を指定します。

入力時に通知

このチェック ボックスをオンにすると、トランザクションを開始したときにユーザーは確認メッセージを受け取ります。

全てに通知

このチェック ボックスをオンにすると、トランザクションが処理されるたびにユーザーは通知を受け取ります。

最終処理時に通知

このチェック ボックスをオンにすると、リクエストの最終処理が行われたときにユーザーは通知を受け取ります。

関連リンク

[一般ワークフロー情報](#)

ワークフロー ユーザー基本設定ページ

ワークフロー ユーザー基本設定ページ (HR_SS_WF_EE_PREF) を使用して、ワークフロー メッセージのユーザーの通知方法を設定します。

ナビゲーション

[セルフサービス], [ワークフロー ユーザー基本設定], [ワークフロー ユーザー基本設定]

画像: ワークフロー ユーザー基本設定ページ

次の例では、ワークフロー ユーザー基本設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Category Workflow Rules	
Transaction Category	*Notification Method
HR_TRANSACTIONS	Email and WorkLis

Save

ワークフローの通知方法を選択します。

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス ホーム ページの使い方

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスのホーム ページについて

ここでは、PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスの概要を説明します。

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス

Oracle の PeopleSoft には 2 つのユーザー インターフェイスが用意されています。

- PeopleSoft クラシック ユーザー インターフェイス。ラップトップおよびデスクトップで使用するよう設計されています。

このインターフェイスは、以前は PIA (PeopleSoft インターネット アーキテクチャ) と呼ばれていました。

- PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイス。モバイル デバイスで使用するよう設計されていますが、ラップトップおよびデスクトップでも使用できます。

PeopleSoft HCM のさまざまなセルフサービス トランザクション用の Fluid ページが用意されています。

Fluid モードは Web プロファイルで有効です。Fluid モードが無効な場合、Fluid ページとコンテンツ参照はシステム全体で無効になります。ユーザーは、クラシックと Fluid の両方のバージョンがあるページのクラシック バージョンにアクセスできますが、Fluid コンポーネントとしてのみ存在するトランザクションにはアクセスできません。Fluid モードが有効な場合は、Web プロファイルの追加設定によって、モバイル デバイスと同様にデスクトップ デバイスでも Fluid モードが使用可能かどうかを管理します。デスクトップ デバイスで Fluid ページが表示されるのは、ブラウザが PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスをサポートしている場合のみです。ユーザーが古いブラウザを使用している場合は、デスクトップ デバイスに対して Fluid モードが有効でもクラシック ページのみ表示されます。

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスに関する PeopleTools ドキュメンテーションは以下のとおりです。

- 『*PeopleTools: Applications User's Guide*』の「Working With PeopleSoft Fluid User Interface」
- 『*PeopleTools: Fluid User Interface Developer's Guide*』

Fluid ホーム ページ

ホーム ページは、トランザクションにアクセスするためにユーザーがタップするタイルの集まりです。ホーム ページには、さまざまなフォーム ファクタに異なるタイルを表示できます。たとえば、標準の従業員セルフ サービス ホーム ページに表示されるタイルの一部は、小さいフォーム ファクタ (電話など) には表示されません。

ユーザーは複数のホーム ページを使用できます。メインの Fluid ホームから全てのホーム ページにアクセスできます。Fluid ホームは、ユーザーが Fluid モードでシステムにサインインすると表示されます (つまり、ユーザーがモバイル デバイスからサインインしたとき、または、デスクトップ デバイスに対して Fluid が有効な場合は Fluid ページをサポートするブラウザからサインインしたとき)。さらに、ユーザーはクラシック メニューから [Fluid ホーム] を選択して Fluid ホームにアクセスすることもできます。

Fluid ホームには、最初にユーザーのデフォルトのホーム ページが表示されます。別のホーム ページにアクセスするには、ホーム ページのタイトルをタップして、表示されるリストから別のホーム ページを選択します。

ホーム ページでタイルをタップすると、対応するトランザクションが開きます。ほとんどの標準タイルでは Fluid ページが開きますが、クラシック ページが開くタイルもあります。

ホーム ページのタイルには、動的な情報 (最終支給日、現在のパフォーマンス記入票の数など) も表示できます。ユーザーは、パーソナル設定オプションを使用して、各ホーム ページに表示するタイルを選択できます。

PeopleSoft HCM には、2 つの標準ホーム ページが用意されています。標準ホーム ページとそのタイルについては、次の各トピックで説明します。

- [従業員セルフサービス ホーム ページの使用](#)
- [管理者セルフサービス ホーム ページの使用](#)

Fluid トランザクションおよび条件ナビゲーション

Fluid ページがクラシック ページと同等で Fluid モードの場合、クラシック メニューにはクラシック ページではなく Fluid ページへのナビゲーションが表示されます。

たとえば、Fluid モードでない場合、クラシック メニューに表示されるパスは [セルフサービス], [給与計算/報酬], [給与小切手表示] で、クラシックの給与小切手表示ページにアクセスします。Fluid モードでは、このメニュー パスは表示されず、代わりにクラシック メニューには Fluid ページへのパスとして [セルフサービス], [給与計算/報酬], [支給]が表示されます。この置換は、Fluid モードではクラシック ページにまったくアクセスできないことを意味します。

ユーザーを同等のクラシック ページではなく Fluid ページに導くロジックは、条件ナビゲーションと呼ばれます。条件ナビゲーションは、ユーザーがモバイル デバイスで最初にシステムにアクセスしたときに Fluid ホームを表示するメカニズムでもあります。

ユーザーがデスクトップまたはラップトップで Fluid ホーム ページにアクセスしてタイルをタップした場合、条件ナビゲーション ロジックによってユーザーはクラシック ページにリダイレクトされません。ただ

し、PeopleSoft HCM には、クラシック ページが開くタイル ([会社ディレクトリ] タイルなど) も用意されています。これは、条件ナビゲーションの機能ではありません。タイルからクラシック ページが開くのは、ページの Fluid バージョンがないためです。タイルは、クラシック ページへのナビゲーション ショートカットとして単独で機能します。

標準のホーム ページに関するドキュメンテーションには、標準の Fluid トランザクションの条件ナビゲーションに関する情報が記載されています。

- [従業員セルフサービス ホーム ページ](#)
- [管理者セルフサービス ホーム ページ](#)

PeopleSoft Fluid ユーザー インターフェイスで使用する共通フィールド

全ての Fluid ページの上部には、標準バナーが表示されます。バナーには、ページ タイトルおよび以下の標準ボタンが表示されます。



(ホーム)

メインの PeopleSoft ホーム ページに戻る場合にタップします。



(検索)

PeopleSoft グローバル検索機能にアクセスする場合にタップします。



(通知)

タップすると、通知ウィンドウにアクションと警告が表示されます。



(アクション リスト)

タップすると、現在のウィンドウに対して実行できるアクションのリストが表示されます。適用条件に応じたパーソナル設定オプションに従って、このメニューでは [サインアウト] コマンドが常に使用可能です。



(ナビゲーション バー)

ナビゲーション バーを使用する場合にタップします。ナビゲーション バーには、[最近表示した場所]、[お気に入り]、[ナビゲータ] (展開してクラシック メニュー階層を表示)、[クラシック ホーム] など、便利なナビゲーション オプションが表示されます。ユーザーは、パーソナル設定オプションを使用して、ナビゲーション バーに対して Fluid タイルを追加したり削除することもできます。

従業員セルフサービス ホーム ページの使用

このトピックでは、従業員セルフサービスに対して用意されているホーム ページについて説明します。

従業員セルフサービスのホーム ページとして使用するページ

ページ名	定義名	用途
従業員セルフサービス ホーム ページ	HC_HR_SELF_SERVICE_GBL (これはホーム ページのコンテンツ参照です)	さまざまな従業員セルフサービス トランザクションにアクセスします。

従業員セルフサービス ホーム ページ

従業員セルフサービス ホーム ページを使用して、さまざまな従業員セルフサービス トランザクションにアクセスします。このホーム ページのコンテンツ参照は HC_HR_SELF_SERVICE_GBL です。

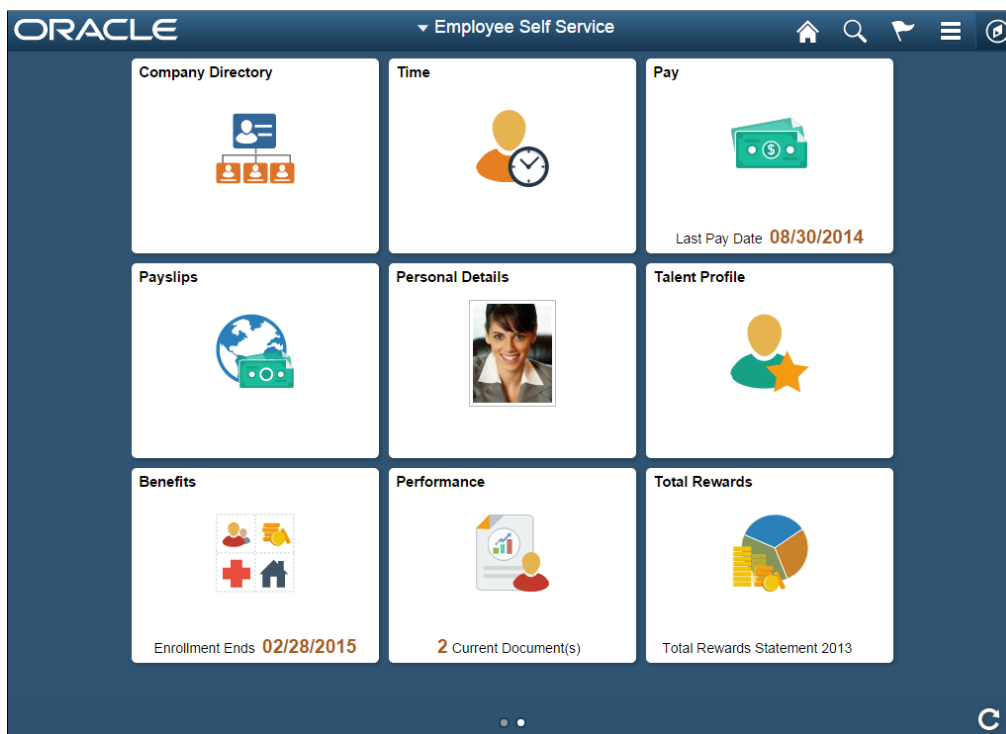
ナビゲーション

Fluid モードでは、最初のサインイン時に Fluid ホームが表示されます。メイン メニューまたはナビゲーション バーの下にある [Fluid ホーム] を選択して、Fluid ホームにアクセスすることもできます。

ホーム ページの上部には、デフォルトのホーム ページ タイトルが表示されます。従業員セルフサービス ホーム ページがデフォルトのホーム ページでない場合は、デフォルトのホーム ページのタイトルをタップして、表示されるリストから [従業員セルフサービス] を選択します。

画像: 従業員セルフサービス ホーム ページ

次の例では、従業員セルフサービス ホーム ページを説明します。



従業員セルフサービス ホーム ページの PeopleSoft HCM タイル

次の表に、付属の従業員セルフサービス ホーム ページのタイルを示しますこの表では、同等のクラシック ページへのナビゲーション パスも示します。これらは、Fluid モード の場合に、条件ナビゲーション によって Fluid ナビゲーション パスで置換されるメニュー パスです。

タイルは、アルファベット順に示されています。タイルの順序は、ホーム ページでパーソナライズできます。

各トランザクションの詳細なドキュメントにアクセスするには、この表内のリンクを使用します。

注: いくつかのタイルは、小さいフォーム ファクタ (電話など) には表示されません。小さいフォーム ファクタである電話に表示されるタイルは、[勤務時間]、[タレント プロファイル] および [福利厚生] のみです。

タイル名	説明	同等のクラシック ページへのナビゲーション
福利厚生	現在の福利厚生のサマリーを表示し、ライフ イベント 情報を入力し、(オープン登録時に) 福利厚生を登録します。	[セルフサービス], [福利厚生] メニューの下に、次の ページを含む複数のページが表示されます。 - 福利厚生サマリ - ライフ イベント
会社ディレクトリ	クラシックの 組織図ビューア ページ にアクセスし、組織のさまざまな階層内のレポート構造の適用条件内における従業員の個人および職務データを表示できます。	なし。このタイルには同等の Fluid がないため、クラシック ページが開きます。
支給	PeopleSoft Payroll for North America の給与小切手を表示します。	[セルフサービス], [給与計算/報酬], [給与小切手表示]
給与明細書	PeopleSoft グローバル ペイロール の給与明細書を表示します。	[セルフサービス], [給与計算/報酬], [給与明細書の表示]
パフォーマンス	パフォーマンス記入票を使用します。	なし。

タイル名	説明	同等のクラシック ページへのナビゲーション
個人情報	名前、住所、連絡先詳細、婚姻区分などの個人情報を表示して更新します。	[セルフサービス], [個人情報] メニューの下に、次のページを含む複数のページが表示されます。 • 自宅/郵送先住所 • 電話番号 • 電子メール アドレス • インスタント メッセージ ID • 緊急連絡先 • 婚姻区分 • 氏名の変更 • 民族グループ • 個人情報サマリ
タレント プロファイル	コンピテンシー、学歴などのプロフィール情報を表示して更新します。	[セルフサービス], [研修/能力開発], [現在のマイ プロファイル]
勤務時間 (勤務時間の場合は、および休暇欠勤の場合は、)	勤務時間レポートおよび休暇欠勤に関連するセルフサービス アクションを実行します。	• [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間レポート], [勤務時間] • [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間の表示], [リクエストの表示] • [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間の表示], [休暇残数]
対価合計	タイルには、最新の対価合計明細の明細期間が表示されます。タイルをタップして、クラシックの 対価合計ページ にアクセスすると、最新の対価合計明細を表示できます。	なし。このタイルには同等の Fluid がないため、クラシック ページが開きます。

その他のタイル

PeopleSoft インタラクション ハブを介してインテグレーションを設定している場合、従業員セルフサービス ページには、インテグレーション システムのタイルも表示できます。

インタラクション ハブ クラスタでは、同じ名前のホーム ページが自動的にマージされます。したがって、ソース システムとのインテグレーションがアクティブで、タイルに対するセキュリティ アクセス権がユーザーに付与されている場合は、他の従業員セルフサービス ホーム ページの次のタイルが、PeopleSoft HCM の従業員セルフサービス ホーム ページに自動的に表示されます。

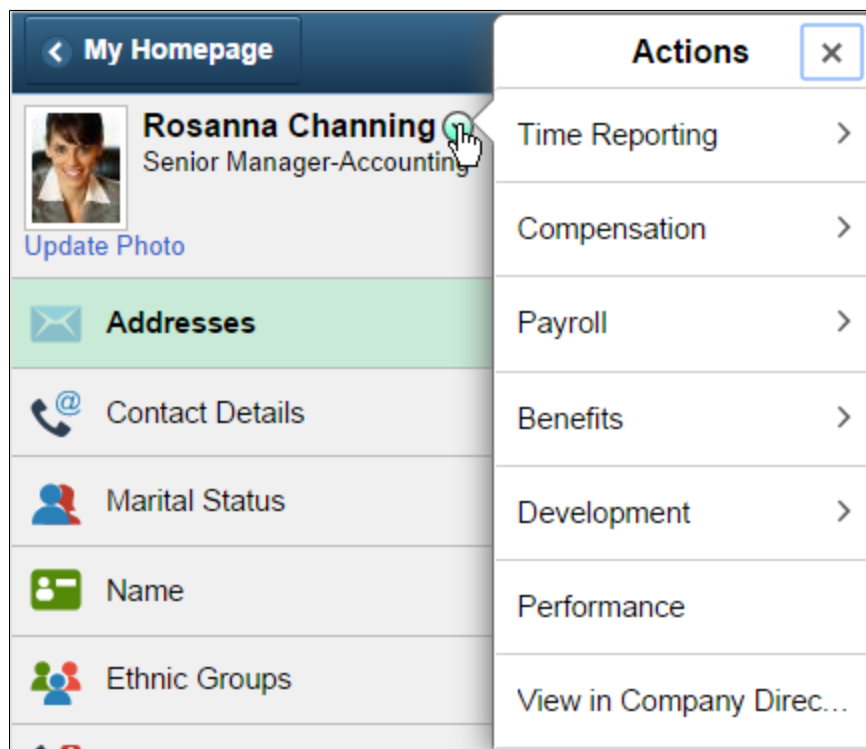
- 企業ニュース (PeopleSoft インタラクション ハブ)
- ラーニング (PeopleSoft エンタープライズ ラーニング マネジメント)

従業員セルフサービス ページの共通ヘッダー

多くの従業員セルフサービス Fluid ページのヘッダーには、従業員の写真、名前、職務名、および関連アクションにアクセスするためのアイコンが表示されます。

画像: 従業員セルフサービス Fluid ページの共通ヘッダー

次の例では、従業員セルフサービス Fluid ページの共通ヘッダーを説明します。この例では、関連アクション アイコンがタップされて、[アクション] メニューが表示されています。



<従業員の写真>

インストール テーブル - [HCM オプション](#) ページで [セルフサービスで表示] オプションが有効になっている場合は、共通ヘッダーに写真が表示されます。

写真の更新

インストール テーブルで 従業員による写真の更新を許可 オプションが有効になっている場合は、このリンクが表示されます。

個人情報 Fluid ページでのみ表示されます。

従業員写真のアップロードの詳細については、[Select Photo Page](#) PeopleSoft eProfile を参照してください。

 (関連アクション メニュー)

従業員の名前の横にある関連アクション アイコンをタップすると、その他のセルフサービス トランザクションのメニューが表示

されます。このメニューから Fluid およびクラシックの両方のページにアクセスできます。

関連アクション

関連アクション メニューが含まれる全てのページにおいて、現在のページへのリンクのメニューを除いて、メニューの選択肢は同じです。次の表に、関連アクション メニューに関する詳細を示します。

最上位レベルのメニュー項目	トランザクション
勤務時間レポート	1. 勤務時間 2. タイムシート 3. 休暇延長のリクエスト 4. 休暇延長履歴の表示 5. 休暇付与 6. 休暇付与受取 7. 未使用の休暇の返却 8. プログラムへの加入終了 9. 休暇振替リクエストの表示 10. 超過勤務リクエスト 11. 例外の表示
報酬管理	1. 対価合計の表示 2. 給与履歴の表示

最上位レベルのメニュー項目	トランザクション
給与計算	1. 支給 2. 自動振込の管理 3. W-4 税情報の変更 4. 任意控除の管理 5. W-2/W-2c 合意の指定 6. T4/T4A 合意の指定 7. W-2/W-2c フォームの表示 8. T4/T4A スリップの表示 9. W-2 再発行リクエスト 10. 給与明細書 11. 給与明細書の表示 UK 12. 個人銀行口座の管理 13. 年末調整データの更新
福利厚生	1. 福利厚生サマリ 2. 扶養家族/受益者情報の表示
開発	1. タレント プロファイル 2. マイ履歴プロフィールの表示 3. マイ任務プロフィールの表示 4. 希望任務リストの表示
マイ プロファイルの比較 (タレント プロファイル ページからのみ表示)	このメニュー項目から プロファイルの選択ページに直接移動して、個人のプロフィールを任務プロフィールと比較するプロセスを開始できます。
プロフィールの検索/比較	このメニュー項目から プロファイルの検索ページに直接移動して、さまざまなプロフィールを比較するプロセスを開始できます。
個人情報	このメニュー項目から個人情報ページに直接移動します。

最上位レベルのメニュー項目	トランザクション
パフォーマンス	このメニュー項目からパフォーマンス ページに直接移動します。
会社ディレクトリ表示	このメニュー項目から会社ディレクトリ ページに直接移動します。

管理者セルフサービス ホーム ページの使用

このトピックでは、管理者セルフサービスに対して用意されているホーム ページについて説明します。

管理者セルフサービスのホーム ページとして使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>管理者セルフサービス ホーム ページ</u>	HC_HR_MGR_SELF_SERVICE_FLU_GBL (これはホーム ページのコンテンツ参照です)	さまざまな管理者セルフサービス トランザクションにアクセスします。

直属部下について

管理者セルフサービス ホーム ページの多くのタイルでは、管理者にチーム メンバーに関する情報を提供しています。

上司と部下の関係を判断するために、直属部下 UI のアクセス タイプが使用されています。アクセス タイプでは、登録トランザクションごとにログイン ユーザーとそのユーザーの直属部下の従業員間の直属関係が定義されます。アクセス タイプの使用可能なオプションは、次のとおりです。

- **部門管理者 ID 別:** 部門プロファイル ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) の [管理者 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。部門管理者のユーザーには、自分の部門に所属する従業員の一覧が表示されます。
- **部門セキュリティツリー別:** セキュリティツリーの情報を使用して、従業員データのアクセス権限を決定します。セキュリティツリーに基づき、ユーザーがデータへのアクセスを許可された従業員の一覧が表示されます。
- **グループ ID 別:** グループ ビルド機能で設定されたグループ ID を使用して、データのアクセス権限を決定します。
- **部門管理者ID別-一部ポジション管理:** 勤務地ページ (JOB_DATA1) の [直属上司] フィールドと、部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドの情報を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の

検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に部門管理者 ID について行われます。

- *監督者 ID 別 - 一部ポジション管理:* 勤務地ページの [直属上司] フィールドと [監督者の従業員 ID] フィールドの両方を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に監督者の従業員 ID について行われます。
- *直属上司のポジション別:* 勤務地ページの [直属上司] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーのポジションが、職務レコードの直属上司のポジションとして指定されている従業員の一覧が表示されます。
- *監督者 ID 別:* 勤務地ページの [監督者の従業員 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーの ID が、職務レコードの監督者 ID として指定されている従業員の一覧が表示されます。

注: グループ ID および部門セキュリティ ツリーは、チーム Fluid ページではサポートされないアクセス タイプです。

管理者セルフサービス ホーム ページ

管理者セルフサービス ホーム ページを使用して、さまざまな管理者セルフサービス トランザクションにアクセスします。このページのコンテンツ参照は HC_HR_MGR_SELF_SERVICE_FLU_GBL です。

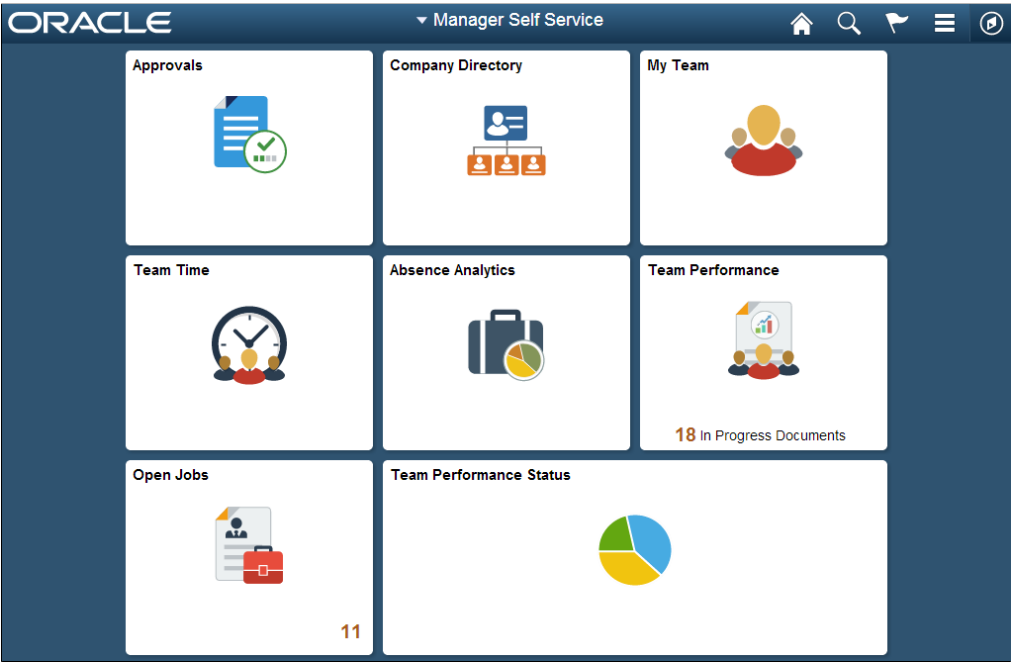
ナビゲーション

モバイル デバイスでは、最初のサインイン時に Fluid ホームが表示されます。デスクトップまたはラップトップで、メイン メニューまたはナビゲーション バーの下にある [Fluid ホーム] を選択して、Fluid ホームにアクセスします。

ホーム ページの上部には、デフォルトのホーム ページ タイトルが表示されます。管理者セルフサービス ホーム ページがデフォルトのホーム ページでない場合は、デフォルトのホーム ページのタイトルをタップして、表示されるリストから [管理者セルフサービス] を選択します。

画像: 管理者セルフサービス ホーム ページ

次の例では、管理者セルフサービス ホーム ページを説明します。



管理者セルフサービス ホーム ページの PeopleSoft HCM タイル

次の表に、付属の管理者セルフサービス ホーム ページのタイルを示します。この表では、同等のクラシック ページへのナビゲーション パスも示します。これらは、Fluid モードの場合に、条件ナビゲーション によって Fluid ナビゲーション パスで置換されるメニュー パスです。

タイルは、アルファベット順に示されています。タイルの順序は、ホーム ページでパーソナライズできます。各トランザクションの詳細なドキュメントにアクセスするには、この表内のリンクを使用します。

タイル名	説明	条件ナビゲーション
休暇欠勤分析	このタイルをタップして、チームに関する休暇欠勤情報が含まれるピボット グリッドにアクセスします。	なし

タイル名	説明	条件ナビゲーション
承認	このタイルをタップして、承認リクエストを確認し、処理します。	クラシック メニュー パスの [管理者セルフサービス], [トランザクションの確認] を使用すると、メインの Fluid の承認待ちページにリダイレクトされます。 これらのトランザクションのクラシックの承認ページには、同等の Fluid 承認ページへの条件ナビゲーションもあります。 1. アドホック給与変更 2. 休暇リクエスト 3. 常勤/パートタイム ステータス変更 4. 条件提示 5. 人材募集 6. 勤務地の変更 7. パフォーマンス記入票 8. 昇進・昇格処理 9. 管理者変更 10. 処分 11. 雇用終了 12. 従業員の転属処理
会社ディレクトリ	このタイルをタップして、クラシックの 組織図ビューア ページ にアクセスし、組織のさまざまな階層内のレポート構造の適用条件内における従業員の個人および職務データを表示できます。 注: このタイルは、小さい画面に対して調整されないクラシック ページに関連付けられているため、小さいフォーム ファクタ デバイス (電話) には表示されません。	なし
募集中の職務	このタイルをタップして、組織で募集中の職務を確認します。	なし

タイトル名	説明	条件ナビゲーション
チーム	このタイルをタップして、直属部下の従業員に関する情報を表示したり、それらの従業員に対してアクションを実行します。このタイルでは、直属部下ページレットに類似した情報が提供されます。	なし
チーム パフォーマンス	このタイルをタップして、チームのパフォーマンス記入票を使用します。	なし
チーム パフォーマンス ステータス	このタイルには、チームのパフォーマンス記入票のステータスに関連するチャートが表示されます。このタイルをタップして、その他の詳細を表示したり、必要に応じてチャートの表示を変更します。	なし
チーム時間 (勤務時間の場合は、および休暇欠勤の場合は、)	このタイルをタップして、次の操作を実行します。 - 例外の表示と解決、従業員が時間を入力した勤務地の表示 (従業員がロケーション サービスの使用を受け入れている場合) など、勤務時間レポートに関連する管理者タスクを実行します。 - 休暇リクエストと休暇残数の表示、チーム メンバーのための休暇リクエストの入力など、休暇に関連する管理者タスクを実行します。	[管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間レポート], [休暇リクエスト] [管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間の表示], [リクエストの表示] [管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間の表示], [休暇残数]

その他のタイル

PeopleSoft インタラクション ハブを介してインテグレーションを設定している場合、管理者セルフサービス ページには、インテグレーション システムのタイルも表示できます。

インタラクション ハブ クラスタでは、同じ名前のホーム ページが自動的にマージされます。したがって、ソース システムとのインテグレーションがアクティブで、タイルに対するセキュリティ アクセス権がユーザーに付与されている場合は、他の管理者セルフサービス ホーム ページの次のタイルが、PeopleSoft HCM の管理者セルフサービス ホーム ページに自動的に表示されます。

- 企業ニュース (PeopleSoft インタラクション ハブ)
- チーム学習 (PeopleSoft エンタープライズ ラーニング マネジメント)
- 学習準拠 (PeopleSoft エンタープライズ ラーニング マネジメント)

管理者セルフサービス ページの関連アクション

多くの管理者セルフサービス Fluid ページでは、関連アクション アイコンがチーム メンバーの名前の横に表示されます。関連アクション アイコンをタップすると、その他のセルフサービス トランザクションのメニューが表示されます。このメニューから Fluid およびクラシックの両方のページにアクセスできます。

関連アクション メニューが含まれる全てのページにおいて、現在のページへのリンクのメニューを除いて、メニューの選択肢は同じです。

次の表に、関連アクション メニューに関する詳細を示します。

最上位レベルのメニュー項目	トランザクション
勤務時間管理	1. 休暇リクエスト 2. リクエストの表示 3. 休暇残数
職務/個人情報	1. 従業員個人情報の表示 2. 管理者変更リクエスト 3. 従業員の転属処理 4. 昇進・昇格処理 5. 勤務地変更リクエスト 6. 常勤/パートタイム ステータスの変更 7. 従業員の退職処理 8. 従業員の雇用終了処理
報酬管理	1. アドホック給与変更リクエスト 2. 対価合計の表示 3. 給与履歴の表示
開発	1. 現在のチーム プロファイルの表示 2. チーム履歴プロフィールの表示 3. チームの希望任務リストの表示
パフォーマンス管理	1. パフォーマンス記入票の作成 2. キャリア開発記入票の作成 3. パフォーマンス記入票を開く 4. キャリア開発記入票を開く
タレント サマリ表示	このメニュー項目からタレント サマリ ページに直接移動します。

従業員の写真の表示

PeopleSoft アプリケーションでは、インストール テーブル - [HCM オプション ページ](#)で [セルフサービスで表示] オプションが有効になっている場合は、多くのセルフサービス ページで従業員の写真を表示できます。この機能が無効な場合は、写真を表示できません。

セルフサービス レポート フレームワークの使い方

セルフサービス レポート フレームワークについて

管理者が全従業員の法定レポートを作成して手動で配信するのは非効率的です。管理者がセルフサービス レポート フレームワークを使用すると、従業員はセルフサービスを介して法定レポートを作成できるようになります。

このフレームワークの柔軟性によって、管理者は以下の処理が可能になります。

- レポート グループを作成して、類似するレポートを分類します。
- 法定および会社の要件に基づいて、セルフサービス ページレットでのレポートの表示を管理します。
- 使用可能な各種レポート テンプレートを使用してレポートを設定します。テンプレートには、従業員がレポートを作成するときに選択できるフィルタ パラメータがあります。
- 既存の BI Publisher レポート クエリーに基づいて、レポート フィルタを動的に定義して管理します。

従業員は、ホーム ページのセルフ サービス レポート ページレットから有効なレポートにアクセスします。レポートのパラメータを入力し、レポートを作成してローカルドライブに保存できます。

セルフサービス レポート フレームワークの設定

次の各トピックでは、セルフサービス レポート フレームワークの設定方法について説明します。

セルフサービス レポート フレームワークの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
グループ設定ページ	HCSC_SS_RPT_GROUP	一連のレポートを国にマップする際に使用するグループを定義します。
セルフサービスレポートの有効化ページ	HCSC_SS_RPT_CNTL	セルフサービスを介して使用可能にするレポートのレポート ID を作成します。
セルフサービスレポートの設定ページ	HCSC_SS_RPT_CNFG	BI Publisher で開発された既存のレポートをレポート ID にマップします。

ページ名	定義名	用途
<u>レポート フィルタの定義ページ</u>	HCSC_SS_RPT_FILTER	従業員がセルフサービス レポートを作成する際に設定できるパラメータを定義します。
<u>フィルタ フィールドの値ページ</u>	HCSC_SS_RPTFLT_VAL	レポート フィルタのフィールド値を定義します。
<u>レポート セキュリティのリフレッシュ ページ</u>	HCSC_SS_RPT_SEC_RC	レポート セキュリティ テーブルを更新します。

グループ設定ページ

グループ設定ページ (HCSC_SS_RPT_GROUP) を使用して、一連のレポートを国にマップする際に使用するグループを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス レポート フレームワーク], [グループ設定]

画像: グループ設定ページ

次の例では、グループ設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Group Setup' page. It contains the following fields and controls:

- Group ID:** INDIA
- Country:** IND (with 'India' displayed next to it)
- Group Description:** A section header for the description area.
- Description:** Year-End Reports (with an 'Enabled' checkbox checked)
- Short Desc:** Yr End Rep
- Sequence:** 10

名称 レポート グループの名称を入力します。この名称は、セルフサービス レポート ページレットにフォルダ名として表示されます。

略称 レポート グループの略称を入力します。

連番 レポート グループの連番を入力します。複数のレポート グループがある場合は、このフィールドによって、レポート グループがセルフサービス レポート ページレットに表示される順序が決まります。

有効

レポート グループをアクティブにする場合に選択します。レポートグループを非アクティブにするには、このチェック ボックスをオフにします。

セルフサービス レポートの有効化ページ

セルフサービス レポートの有効化ページ (HCSC_SS_RPT_CNTL) を使用して、セルフサービスを介して使用できる必要があるレポートのレポート ID を作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス レポート フレームワーク], [セルフサービス レポートの有効化]

画像: セルフサービス レポートの有効化ページ

次の例では、セルフサービス レポートの有効化ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Enable Self-Service Reports

Report ID

GPINF16R

Country

IND

India

Report Parameters

Find | View All

First 1 of 1 Last

'Effective Date

01/01/2012

Effective Status

Active

'Group ID

INDIA

Year-End Reports

Sequence Number

10

'Report Title

Form 16/12BA Report

'Tree Descr

Form 16/12BA Report

Security Query

Report Instruction Text

Message Set Number

17411

Message Number

193

Digital Security

☒ Digital Signature

☒ Password Protect

'Package Name

GPIN_SS_F16_RPT

'Path

'Class ID

SignAndEncrypt

レポート パラメータ

有効日、有効日ステータス

レポート ID の有効日およびステータスを入力します。

グループ ID

レポートのマップ先レポートグループの ID を入力します。

連番

レポートの連番を入力します。複数のレポートがある場合は、このフィールドによって、レポート グループにレポートが表示される順序が決まります。

レポート タイトル

レポートのタイトルを入力します。

ツリー説明

セルフサービス レポート ページレットで、レポートに対して表示される説明を入力します。

セキュリティ クエリー

セルフサービスによるレポートの生成を複数の特定のユーザーに制限する場合は、必要な条件を指定したクエリーを定義し、このフィールドに入力できます。

従業員またはロールに基づいてセキュリティ クエリーを作成できます。クエリーでは、値インジケータおよび対応する値の 2 つの列が返されます。従業員ベースのクエリーの場合は、EMPLID と <従業員 ID 値> の列が返されます。ロールベースのクエリーの場合は、ROLENAM と <ロール名> の列が返されます。

注: これらのクエリーはパブリックである必要があります。

クエリーの定義の詳細については、『*PeopleTools: Query*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

レポート説明テキスト**メッセージ セット番号、メッセージ番号**

従業員がレポートを作成する際に、法定レポート ページに表示されるようにする手順テキストのメッセージ セット番号およびメッセージ番号を入力します。

電子セキュリティ**電子署名**

レポートによって生成される PDF ドキュメントに電子署名を要求する場合にクリックします。

パスワード保護

レポートによって生成される PDF ドキュメントにパスワードを要求する場合にクリックします。

連番、パス、クラス ID

レポートによって生成された PDF ドキュメントの署名および暗号化に使用するアプリケーション パッケージの名前、パス、およびクラス ID を入力します。

注: PeopleSoft には、基本アプリケーション パッケージ HCSC_SS_PDFSIGN が付属しています。セキュリティ対策を実施するために、実装チームは基本アプリケーション パッケージをカスタム アプリケーション パッケージにインポートする必要があります。カスタム アプリケーション パッケージの作成については、My Oracle Support に掲載されている PeopleSoft セルフサービス レポート フレームワークの資料 (ドキュメント ID 1564857.1) を参照してください。

セルフサービス レポートの設定ページ

セルフサービス レポートの設定ページ (HCSC_SS_RPT_CNFG) を使用して、BI Publisher で開発された既存のレポートをレポート ID にマップします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス レポート フレームワーク], [セルフサービス レポートの設定]

画像: セルフサービス レポートの設定ページ

次の例では、セルフサービス レポートの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Configure Self-Service Reports

Report ID GPINF16R

Country IND

Form 16/12BA Report

India

BI Publisher Details

'Report Name' GPIN_F16_RPT

'Query Name' GPIN_SS_F16_RPT

Template Control Field GPIN_ASSMNT_YR

GPIN_F16_RPT

Form 16 Report

Refresh Templates

Report Templates

Personalize | Find | View All | First 1 of 1 Last

Template ID	Language Code	Default Template
1 GPIN_F16_RPT	ENG	☒

BI Publisher 詳細

- レポート名

レポート ID にマップする BI Publisher レポート名を選択します。
- クエリー名

[レポート名] フィールドで選択したレポートのデータ ソースがクエリーの場合は、[クエリー名] フィールドに PS クエリー名がロードされます。

選択したレポートのデータソースが XML の場合は、このフィールドで PS クエリー名を選択する必要があります。

注: ソース クエリーはパブリックである必要があります。

このフィールドの値は、従業員がセルフサービスレポートを作成するときに使用できるレポート フィルタ フィールドを管理します。

注: セルフサービス レポート フレームワークでは、接続クエリーをデータソースとして使用する BI Publisher レポートは現在サポートされていません。

テンプレート コントロール フィールド

システムによってレポート出力の生成時に使用されるテンプレートを制御するデータソース クエリー プロンプトのフィールド名を選択します。

テンプレートのリフレッシュ

[レポート テンプレート] グリッドに、[レポート名] フィールドで選択したレポートに定義されている全てのテンプレートをロードする場合にクリックします。

注: このページを最後に保存した後で、レポートに定義されているテンプレートに変更が行われた場合は、そのレポートのページに次回アクセスしたときに、[テンプレートのリフレッシュ] ボタンをクリックして [レポート テンプレート] グリッドを更新するように求めるメッセージが表示されます。

レポート テンプレート

[テンプレートのリフレッシュ] ボタンをクリックすると、選択したレポートに定義されているテンプレートが、このグリッドにロードされます。

デフォルト テンプレート

レポートのデフォルト テンプレートとして設定するテンプレートを選択します。1 つのレポートに複数のテンプレートがある場合は、使用可能なテンプレート言語ごとに 1 つのデフォルト テンプレートを選択する必要があります。

レポート フィルタの定義ページ

レポート フィルタの定義ページ (HCSC_SS_RPT_FILTER) を使用して、従業員がセルフサービスレポートを作成する際に設定できるパラメータを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービスレポート フレームワーク], [レポート フィルタの定義]

画像: レポート フィルタの定義ページ (1/2)

次の例では、レポート フィルタの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Define Report Filters

Report ID

GPINF16R

Form 16/12BA Report

Country

IND

India

Refresh Filter Fields

Filter Fields

Personalize | Find | View All |

First 1-3 of 3 Last

Enable Filter Fields

Additional Details

Field Name	Sequence	Enabled	Field Label	Template Control
EMPLID	1	☒	ID	
GPIN_ASSMNT_YR	2	☒	Assessment Year	☒
ESTABID	3	☒	Establishment	

画像: レポート フィルタの定義ページ (2/2)

次の例では、レポート フィルタの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Define Report Filters

Report ID

GPINF16R

Form 16/12BA Report

Country

IND

India

Refresh Filter Fields

Filter Fields

Personalize | Find | View All |

First 1-3 of 3 Last

Enable Filter Fields

Additional Details

Field Name	Field Control	Value Source	Query Name	Data Values	Parent Field Name
EMPLID					
GPIN_ASSMNT_YR	Dropdown	All Values	GPIN_SS_F16_ASSMNT_YEAR		
ESTABID	Dropdown	All Values	GPIN_SS_ESTABID		Assessment Year

フィルタ フィールドのリフレッシュ

レポートに選択したクエリーに現在関連付けられているフィルタ フィールドが表示されるように、[フィルタ フィールド] グリッドを更新する場合にクリックします。

[フィルタ フィールドの有効化] タブ

フィールド名

クエリーに関連付けられているフィールドの名前がリストされます。

連番

連番を入力し、従業員がレポートのパラメータを選択する際に表示されるフィールドの順序を決定します。

有効

従業員が定義できるレポート パラメータとしてフィールドを使用できるようにする場合に選択します。

フィールド ラベル

レポート パラメータのラベルを入力します。

テンプレート コントロール

フィールドがセルフサービス レポートの設定ページのテンプレート コントロール フィールドとして定義されたことを示します。

このチェック ボックスをオンにすると、管理者は、その特定のフィルタ フィールドの値リストの値ごとにレポート テンプレートを柔軟に定義できます。

[追加詳細] タブ

フィールド制御

従業員がパラメータを定義するときに、このフィールドをどのように制御するかを設定します。*[ドロップダウン]*、*[プロンプト]*、および *[指定日]* の値があります。

値ソース

レポート パラメータに使用可能な値のソースを選択します。値は以下のとおりです。

- *アドホック値*: 値は、フィルタ フィールドの値 ページで管理者が定義します。
- *全ての値*: 使用可能な全てのフィールド値がクエリーから挿入されます。*[全ての値]* を選択すると、レポート セキュリティのリフレッシュ プロセスによって、レポートの全てのフィールド値がリフレッシュされます。これによって、レポートに必要な管理者によるメンテナンスが軽減されます。レポート セキュリティのリフレッシュ ページについては、製品ドキュメンテーションを参照してください。
- *クエリー*: クエリーの使用可能なフィールド値の中からフィールド値を選択します。

クエリー名

使用できるフィールド値を決定するレポート フィルタ クエリーを選択します。このフィールドは、*[値ソース]* フィールドで *[全ての値]* または *[クエリー]* を選択した場合にのみ使用できます。

注: 選択するレポート フィルタ クエリーはパブリックである必要があります。



親フィールド名

このフィールドの値が依存している親フィールドの名前を入力します。従業員が親フィールドの値を選択すると、その選択内容に基づいて子フィールドの値が抽出されます。

フィルタ フィールドの値ページ

フィルタ フィールドの値ページ (HCSC_SS_RPTFLT_VAL) を使用して、レポート フィルタのフィールド値を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス レポート フレームワーク], [フィルタ フィールドの値]

画像: フィルタ フィールドの値ページ

次の例では、フィルタ フィールドの値ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Filter Field Values

Report ID

GPINF16R

Data Value

All Values

Country

IND

Sequence Number

3

Field Name

GPIN_ASSMNT_YR

☒ Template Control

Query Name

GPIN_SS_F16_ASSMNT_YEAR

Select Query Data

Data Values

Find | View All |

First 1 of 1 Last

Selected	Field Value	Description	Begin Date	End Date	Select
☒	2013 - 2014	AY2013 - 2014			

OK Cancel

注: このページに表示される使用可能なフィールドは、レポート フィルタの定義ページの [値ソース] フィールドで選択する値によって異なります。

- テンプレート コントロール

フィールドがセルフサービスレポートの設定ページのテンプレートコントロール フィールドとして定義されたことを示します。
- クエリー データの選択

フィールドに使用できる値の全てをグリッドにロードする場合にクリックします。
- 選択済

レポート フィルタに使用できるようにするフィールド値の横にあるチェック ボックスをオンにします。[値ソース] フィールドで [全ての値] を選択すると、全てのフィールド値が選択されます。
- フィールド値

レポート フィルタのフィールド値を入力します。このフィールドは、[値ソース] フィールドで [アドホック] を選択した場合にのみ編集できます。
- 名称

フィールド値の名称を入力します。この値は、従業員がレポートパラメータを選択するときに表示されます。

開始日、終了日

レポート テンプレートの有効日の範囲を選択します。これらのフィールドは、[テンプレート コントロール] が選択されているレポート フィルタのフィールドにのみ使用できます。



レポート フィルタに使用するテンプレート ID を選択できる フィルタ値ごとのテンプレート ページにアクセスする場合にクリックします。

全て選択

グリッドの全てのフィールド値の [選択済] チェック ボックスをオンにする場合にクリックします。

全て選択解除

グリッドの全てのフィールド値の [選択済] チェック ボックスをオフにする場合にクリックします。

レポート セキュリティのリフレッシュ ページ

レポート セキュリティのリフレッシュ ページ (HCSC_SS_SEC_RC) を使用して、レポート セキュリティ テーブルを更新します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス レポート フレームワーク], [レポート セキュリティのリフレッシュ]

画像: レポート セキュリティのリフレッシュ ページ

次の例では、レポート セキュリティのリフレッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

デフォルトでは、プライマリ権限リストの国が、セルフサービス レポートの有効化ページのレポート ID に対して定義されている国と一致する全てのユーザーがレポートを使用できます。レポート ID に対してセキュリティ クエリーを定義することで、レポートを実行できるユーザを絞り込むこともできます。レポート セキュリティのリフレッシュ (HCSC_RPTSEC) アプリケーション エンジン (AE) プロセスは、各レポート ID のセキュリティ情報全てをレポート セキュリティ テーブルにロードします。このプロセスは、適切な従業員がレポートにアクセスできるように毎日実行することをお勧めします。

国

国を選択して、特定の国についてレポートを実行します。このフィールドを空白のままにすると、全ての国についてプロセスが実行されます。

- グループ ID

値を選択して、特定のグループ ID についてレポートを実行します。このフィールドを空白のままにすると、選択した国に関連付けられている全てのグループ ID についてプロセスが実行されます。このフィールドは、[国] フィールドで値を選択した場合にのみ値を入力できます。
- レポート ID

値を選択して、特定のレポート ID についてレポートを実行します。このフィールドを空白のままにすると、選択したグループ ID に関連付けられている全てのレポート ID についてプロセスが実行されます。このフィールドは、[グループ ID] フィールドで値を選択した場合にのみ値を入力できます。

セルフサービス レポートの生成と表示

セルフサービス レポート ページレットは、従業員を対象にして従業員のホーム ページに表示されます。ツリーを表示するためにページレットで使用するランディング ページは HCSC_SS_RPT_LNDTRE です。

画像: セルフ サービス レポート ページレット

これは、セルフ サービス レポート ページレットの例です。



このページレット内の各フォルダはレポート グループを表しています。レポート グループを展開すると、従業員が生成可能な全てのレポートが表示されます。セルフサービス レポートへのリンクをクリックして、法定レポート ページにアクセスし、このページでレポートのパラメータを入力してレポートを生成できます。

セルフサービス レポートの生成と表示に使用するページ

ページ名	定義名	用途
法定レポート ページ	HCSC_SS_RPT	セルフサービス法定レポートを作成します。

法定レポート ページ

法定レポート ページ (HCSC_SS_RPT) を使用して、セルフサービス法定レポートを作成します。

ナビゲーション

セルフサービス レポート ページレット内にあるセルフサービス レポートへのリンクをクリックします。

画像: 法定レポート ページ

次の例では、法定レポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Statutory Reports

Form 16/12BA Report

Pratik Kumar

To view the Form16, please enter your date of birth in DDMM format followed by PAN in lower case without any space between the DOB and PAN.
For example, if date of birth is January 15, 1985 and your PAN is ABCDE1234A ,then the password will be 1501abcde1234a. The date of birth and PAN number should be same as furnished to the Organisation.

Report Filters

*Assessment Year AY2013 - 2014

*Establishment Estab 1 of GP1

View Report

* Required Field

Return to Home

このページに表示される説明は、セルフサービス レポートの有効化ページで定義されます。

レポート フィルタ

ユーザーが定義可能な任意のレポート パラメータを選択します。このグループ ボックスに表示されるフィールドは、レポート フィルタの定義ページで定義されます。

[レポートの表示] ボタンをクリックすると、レポートが生成されます。レポートは、ブラウザの別のウィンドウにPDF ドキュメントとして生成されます。

PeopleSoft HCM の検索の概要と設定

HCM 用の PeopleSoft 検索フレームワークの導入について

PeopleSoft 検索は、インテグレーション ブローカー経由で Oracle Secure Enterprise Search (SES) エンジンに依存する PeopleTools のインデックス付き検索テクノロジーで、グローバル検索およびキーワード検索ページの検索で構成されています。Oracle SES サーバーでインデックスが作成および更新され、PeopleSoft クエリーまたは接続クエリーを使用して、インデックスで利用可能にするオブジェクトや属性を識別する検索定義を作成する必要があります。インテグレーション ブローカーによって PeopleSoft 検索フレームワークと Oracle SES エンジンとの間のインターフェイスが提供され、検索定義をデプロイし、インデックスを作成して、検索結果を返します。

注: PeopleSoft リリース 9.2 の時点で、Oracle Secure Enterprise Search (SES) は、Verity 検索エンジンに代わり PeopleSoft 全製品でサポートされている唯一の検索エンジンです。PeopleSoft 検索フレームワークは、Oracle SES を使用して PeopleSoft 検索を行う PeopleTools のセットで、グローバル検索およびキーワード検索ページ コンポーネントの検索機能で構成されています。PeopleSoft で使用する Oracle SES は、PeopleSoft 検索、および PeopleSoft 検索フレームワークに基づく全ての機能を使用するように設定する必要があります。

重要 Oracle の Secure Enterprise Search (SES) をインストールする前に、[My Oracle Support](#) から入手可能な『Oracle Secure Enterprise Search Deployment Considerations for PeopleSoft 9.2』(ドキュメント ID: 1684035.1) に記載されている、デプロイおよびサイズ変更の推奨事項を確認することをお勧めします。この記事は、SES に必須のハードウェアに関する情報、および PeopleSoft 9.2 環境におけるピーク時の同時使用の許容値を確認するための情報が記載されています。これらの推奨事項に従わないと、PeopleSoft 9.2 環境のパフォーマンスおよび安定性に影響する可能性があります。

注: PeopleSoft 検索の用語を理解し、次の各トピックで説明するアプリケーション固有アイテムを作成および導入する方法を学習するには、『*PeopleTools: PeopleSoft Search Technology*』製品ドキュメンテーションを参照する必要があります。

PeopleSoft 検索フレームワークは、グローバル検索およびキーワード検索ページ コンポーネントの検索機能の両方をサポートしています。グローバル検索バーから開始するグローバル検索によって、クラシックな PeopleSoft ナビゲーションをバイパスする代替ナビゲーション メカニズムが提供されます。キーワード検索ページ機能を使用すると、管理コンポーネント内に表示されるキーワード検索ページからキーワードベースの検索を実行できます。両方の検索とも、柔軟に検索が実行できると同時に、PeopleSoft のページやコンポーネントに直接ナビゲートしたかのように検索できます。データは保護されているため、検索結果で返されるのは、ユーザーがロールおよび権限リストへのアクセス権を持つデータ行のみです。ユーザーは、検索結果をリスト形式で表示するか、またはグリッド形式で表示するかを選択できます。

PeopleSoft 検索フレームワークによって、PeopleSoft アプリケーションに関係なく、検索インデックスをデプロイして保守するための一貫性のあるテクノロジーが提供されます。ただし、各アプリケーションは、アプリケーション固有の検索定義を設定および保守します。次の各トピックでは、PeopleSoft HCM 用に事前設定され、Oracle が提供する検索定義について説明します。

Oracle SES および HCM 用の PeopleSoft 検索のインストールに関する詳細については、[My Oracle Support](#) (MOS) から入手可能な『*PeopleSoft Human Capital Management Installation Guide*』の「Configuring Global Search Using Oracle Secure Enterprise Search」を参照してください。

検索定義のデプロイ、および PeopleSoft 検索フレームワークの管理の詳細については、『*PeopleTools: PeopleSoft Search Technology*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

HCM 用の PeopleSoft 検索定義について

PeopleSoft の各アプリケーションには、事前定義されたアプリケーション固有の検索定義が用意されており、PeopleSoft 検索フレームワーク内に導入できます。後続のトピック内の表には、PeopleSoft HCM 用に事前設定され、Oracle が提供する検索定義の一覧を示します。

PeopleSoft HCM で提供されるグローバル検索定義および検索ページ (コンポーネント) 定義は、使用、コピーおよび変更でき、新規に作成することもできます。

注: 管理およびパッチ アップグレードをより簡単に行うために、事前設定されたアプリケーション固有の検索定義はデフォルト定義のまま保持することをお勧めします。標準で用意されている検索定義を変更するには、検索定義を手動でコピーし、そのコピーを変更します。

検索定義に関連付けられた基礎単位またはオブジェクト (クエリー タイプ、クエリーの削除、セキュリティ タイプ、属性、ファセット、検索カテゴリなど)、および PeopleSoft 検索フレームワークを使用して検索定義を作成および導入する方法については、『*PeopleTools: Search Technology*』製品ドキュメンテーションを参照する必要があります。

このトピックにリストされた定義済みの HCM 検索定義を表示するには、検索定義コンポーネントにアクセスします ([PeopleTools], [検索フレームワーク], [デザイナー], [検索定義])。

HCM 用の PeopleSoft 検索に関する考慮事項

HCM 用の PeopleSoft 検索フレームワークを導入するときは、以下の一般的な考慮事項に注意してください。

PeopleSoft HCM 検索は以下のとおりです。

- 複数の管理コンポーネントに対して提供されています (キーワード検索ページの検索)。これらの検索は、グローバル検索でも有効です。
- 現在の有効日付きの行のみが対象です。増分インデックス作成を毎日実行して、変更されたデータのインデックスを SES システムに作成し、最新情報を返します。データ変更のレートを考えて、増分インデックス作成の周期を決定します。たとえば、勤務時間や休暇のインデックスは、1 日に複数回の

増分インデックス作成が必要な場合がありますが、後任計画の増分インデックス作成は四半期に 1 回のみ必要です。

- インデックスが作成されるフィールドと値のみに基づきます。
- 増分インデックス作成は、最終更新日時スタンプ フィールドに依存します。(日時スタンプ フィールドが検索定義の基準となるテーブルに存在しない場合、そのテーブルに対する変更は SES で追跡されません。日付および数値フィールドはファセットとして追加できません。)
- 大文字と小文字が区別されない自由テキスト検索が可能です。
- キーワード検索のワイルドカードはアスタリスク (*) のみ受け入れられます。その他の特殊文字による検索はサポートされていません。(キーワードの先頭にワイルドカードは使用できません。ワイルドカードの使用と制限の詳細については、Oracle SES のドキュメンテーションを参照してください。)

これらの一般的な考慮事項以外に、PeopleSoft HCM の各検索定義には、独自に特定の考慮事項がある場合があります。

PeopleSoft 検索用の HCM ロールと権限

次の表に、HCM 固有の PeopleSoft 検索定義用に提供されているロールと権限を示します。

HCM 検索定義	ロール	権限リスト
• 休暇リクエスト • 休暇残数	検索 - 休暇	HCCPAMSS1S
• 追加支給 • 差押 • 一般控除	検索-Payroll for NA	HCCPPY1001
応募者	• 採用担当者 • 採用管理マネージャ • 採用運用管理者	HCCPRS1321
キャリア プラン	検索 - キャリア プラン	HCCPSS3101
• 給与履歴 • 対価合計	検索- 報酬	HCCPSS2131
ePerformance - パフォーマンス管理	検索 - パフォーマンス	HCCPEP2500
職務データ	検索 - 求人	HCCPHR3311

HCM 検索定義	ロール	権限リスト
求人情報	- 採用担当者 - 採用管理マネージャ - 採用運用管理者 - 採用管理者 - 応募者	HCCPRS1320
個人	検索 - 会社ディレクトリ	HCCPSS3100
ポジティブ入力	GP 検索管理者	HCCPGPSEARCH
後任計画	検索 - 後任計画	HCCPSS3102
時間	検索 - 時間	HCCPSS2132

セルフサービス関連のアクション

Oracle では、グローバル検索からさまざまな管理者セルフ サービスや従業員セルフ サービストランザクションまで、関連するアクションも用意されています。応募者および求人情報のグローバル検索以外は、関連アクションが同じか、または組織図ビューアからの関連アクションのサブセットです。応募者および求人情報インデックスの関連アクションには、採用管理ソリューションに固有の関連アクションの別のセットが含まれます。

Understanding Global Search for RecruitingPeopleSoft Talent Acquisition Manager を参照してください。

HCM 用のグローバル検索定義の使用

このトピックの各表は、次の PeopleSoft HCM モジュール用に用意されている事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。PeopleSoft HCM の検索に関する考慮事項のトピックに示されている内容以外の考慮事項がある場合は、各表の追加の考慮事項の列に示しています。

- PeopleSoft 休暇管理
- PeopleSoft 人事・労務管理
- PeopleSoft eCompensation-報酬管理
- PeopleSoft ePerformance-パフォーマンス管理
- PeopleSoft キャリア プランと後任計画
- PeopleSoft 報酬管理
- PeopleSoft タレント獲得管理

- PeopleSoft 勤務管理

グローバル検索が有効な場合は、グローバル検索バーがアプリケーションのヘッダーに表示され、ユーザーは、キーワードを入力してアプリケーション間でグローバルに検索したり、ドロップダウン リストを使用して検索する特定の検索カテゴリを選択できます。

HCM 用のグローバル検索の概要については、YouTube でのビデオ機能による概説 (VFO) の視聴を検討してください。



[PeopleSoft Global Search - HCM](#)

PeopleSoft 休暇管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 休暇管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
休暇リクエスト検索 (HC_GP_ABS_RQST)	- 従業員: 休暇リクエスト履歴 (GP_ABS_EESS_HIST) ナビゲーション [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間の表示], [休暇リクエスト履歴] - マネージャ: 休暇リクエスト (GP_SS_ABS_APPR_L) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間と例外の承認], [休暇リクエスト]	従業員は、キーワードを入力して自身のセルフサービス休暇リクエストを検索し、そのリクエストを送信したり、休暇欠勤履歴を表示できます。 マネージャは、キーワードを入力して承認するセルフサービス休暇リクエストを検索したり、直属部下の休暇欠勤履歴を表示できます。 キーワードの例: - 個人の名前または従業員 ID の入力 - 休暇欠勤タイプ (病気、近親者の死亡、兵役) の入力 - ステータス (保留、承認済、拒否) の入力 * (全検索)	考慮されるのは、従業員のセルフサービス ページまたはマネージャのセルフサービス ページの休暇リクエストのみです。延長休暇リクエスト、人事・労務管理、または勤務管理をソースとする入力はサポートされていません。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
休暇残数 HC_GP_ABS_SRCH_BAL	- 従業員: 休暇残数 (GP_ABS_EESS_BAL) ナビゲーション [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間の表示], [休暇残数] - マネージャ: 休暇残数の表示 (GP_ABS_MGRSS_BAL) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間の表示], [休暇残数] 直属部下名の選択	従業員は、キーワードを入力して自身の休暇付与現在残数および休暇残数を検索し、表示できます。 マネージャは、キーワードを入力して直属部下の休暇付与現在残数および休暇残数を検索し、決定できます。 キーワードの例: - 個人の名前または従業員 ID の入力 - 休暇欠勤タイプ (病気、近親者の死亡、兵役) の入力 * (全検索)	なし

PeopleSoft 人事・労務管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 人事・労務管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
個人 (HC_HR_COMPANY_ DIRECTORY1)	会社ディレクトリ (HRCO_DIRECTORY) ナビゲーション[組織図ビュー ア], [会社ディレクトリ]	ユーザーは、キーワードを入力して会社ディレクトリ内の従業員を検索できます。 キーワードの例: • 個人の名前または従業員 ID の入力 • 部門名または ID の入力 • 職務コードの入力 • 会社名を入力 • 所在地の入力 • * (全検索)	個人情報で“勤務先”とマークされている住所、電話番号および電子メールのみにインデックスが作成されます。勤務先住所が使用できない場合は、職務情報の所在地住所にインデックスが作成されます。

PeopleSoft eCompensation-報酬管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft eCompensation-報酬管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよびクラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
給与履歴 (HC_COMP_COMPENSATION_HISTORY)	- 従業員: 給与履歴 (HR_ECOM_EE_HIST) ナビゲーション [セルフサービス], [給与計算/報酬], [給与履歴] - マネージャ: 給与履歴の表示 (HR_ECOM_MG_HIST) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [報酬/ストック オプション], [給与履歴の表示] グリッド内の [選択] ボタンを選択	従業員は、キーワードを入力して自身の給与詳細 (停止オプション サマリを含む) を検索できます。 マネージャは、キーワードを入力して直属部下または間接的部下に関する給与詳細を検索し、管理できます。マネージャは、給与が変更された年度、または給与の変更をトリガしたアクションに基づいて結果をフィルタすることもできます。 <i>キーワードの例:</i> - 個人の名前または従業員 ID の入力 - アクティブ - 転属 *(全検索)	- 給与履歴の表示ページで使用可能な給与履歴情報のみにインデックスが作成されます。変動報酬管理はサポートされていません。 - ACTION_TBL の名称に加えられた変更は考慮されません。最新のインデックス データには以前の値が存在しているため、変更された値は検索結果に反映されません。 - CURRENCY_CD_TBL の通貨コードの名称は、有効日に基づいてのみ取得されます。名称に加えられた変更は追跡されません。

PeopleSoft ePerformance-パフォーマンス管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft ePerformance-パフォーマンス管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
パフォーマンス記入票 (HC_EP_PERF_DEV)	- 従業員: 最新の記入票 (EP_APPR_SELECT) ナビゲーション [セルフサービス], [パフォーマンス管理], [パフォーマンス記入票], [最新の記入票] - マネージャ: 最新の記入票 (EP_APPR_SELECT) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [パフォーマンス管理], [パフォーマンス記入票], [最新の記入票] - 従業員: 最新のキャリア開発記入票 (EP_APPR_SELECT) ナビゲーション [セルフサービス], [パフォーマンス管理], [自分のキャリア開発記入票], [最新の記入票] - マネージャ: 最新のキャリア開発記入票 (EP_APPR_SELECT) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [パフォーマンス管理], [キャリア開発記入票], [最新の記入票]	従業員は、所有している業績査定またはキャリア開発記入票の事前フィルタ済のリストを表示します。 マネージャは、自身が指導者である業績査定またはキャリア開発記入票の事前フィルタ済のリストを表示します。検索結果を絞り込むためにフィルタ条件を指定することもできます。 <i>キーワードの例:</i> - 個人名の入力 - 記入票ステータス (<i>評価進行中</i>) の選択 - 記入票タイプ (<i>キャリア開発記入票</i>) の選択	[キャンセル] または [完了] ステータスの記入票にはインデックスが作成されません。 - ePerformance の委任ローンはサポートされていません。

PeopleSoft キャリア プランと後任計画のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft キャリア プランと後任計画の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
キャリア プラン (HC_HR_CAREER_PLAN)	- 従業員: キャリア進捗 チャート (HR_CP_EE_ CHART) ナビゲーション [セルフサービス], [キャリア プラン], [キャリア進捗 チャート] - マネージャ: キャリア進捗 チャート (HR_CP_MGR_ CHART) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [キャリア プラン], [キャリア 進捗チャート]	従業員は、キーワードを入力し て自身のキャリア進捗チャート を検索し、表示できます。 マネージャは、キーワードを入 力して直属部下のキャリア進 捗チャートを検索できます。結 果を管轄下にある従業員で フィルタすることもできます。 <i>キーワードの例:</i> - 個人の名前または従業 員 ID の入力 - 部門名の入力 * (全検索)	なし
後任計画 (HC_HR_SUCC_PLAN)	マネージャ: 後任 360 度 (HR_ VT_SEARCH) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [後 任計画], [後任 360 度]	マネージャは、キーワードを入 力して直属部下の後任計画 を検索し、管理できます。 <i>キーワードの例:</i> - 個人の名前または従業 員 ID の入力 - 計画タイプ (<i>個人、ボジ ション、職務コード</i>) の入力 - 計画ステータス (<i>ドラフ ト、公認</i>) の入力 * (全検索)	- 検索結果は、現在の日 付時点でマネージャの直 属部下または間接的部 下に制限されます。 - 現在の有効日に該当す る行が削除された場合 は、無効なデータが返さ れる場合があります。 - 従業員 ID の変更、従業 員 ID の削除、および従 業員レコードの削除はサ ポートされません。 - 履歴の修正モードで変更 が加えられた所在地また は部門にはインデックス が作成されません。イン デックスが作成されるの は、新しい有効日を指定 した行を追加して変更を 行った場合のみです。

PeopleSoft 報酬管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 報酬管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
報酬対価合計 (HC_COMP_ TOTALREWARDS)	- 従業員: 対価合計 (TRW_SS_STMT) ナビゲーション [セルフサービス], [給与 計算/報酬], [対価合計] - マネージャ: 対価合計の 表示 (TRW_SS_STMT) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [報酬/ストック オプショ ン], [対価合計の表示] グリッド内の [選択] ボタ ンを選択	マネージャは、キーワードを入力して直属部下または間接的部下を検索し、それらの従業員の報酬対価を表示または割り当てることができます。 従業員は対価合計を表示できます。 <i>キーワードの例:</i> - 個人名、従業員 ID、ポジション名、または部門名の入力 - 対価アイテムの入力 部門名の入力	なし

PeopleSoft タレント獲得管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft タレント獲得管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
求人情報 (HC_HRS_JOB_POSTING)	- 社内応募者: 職務内容 (HRS_APP_JBPST) ナビゲーション [セルフサービス], [人材募集], [キャリア] 最新の求人情報リストから求人情報リンクを選択するか、検索を実行して検索結果から求人情報リンクを選択します。 - 採用担当者、採用管理者、採用チーム メンバー: 求人情報の表示 (HRS_REC_JBPST) ナビゲーション [採用管理], [求人情報], [求人情報の検索] 検索を実行して検索結果で求人情報リンクを選択します。	- 社内応募者は、キーワードを入力して求人情報を検索できます。 - 採用担当者、採用管理者、および採用チーム メンバーは、キーワードを入力して求人情報を検索できます。 キーワードの例: - 求人情報のキーワード (<i>Java など</i>) の入力 - キーワードとして勤務地域の入力	グローバル検索は外部応募者には表示されません。
応募者 (HC_HRS_APP_INDEX)	採用担当者、採用管理者、採用運用管理者: 応募者の管理 (HRS_MANAGE_APP) ナビゲーション [採用管理], [応募者の検索] 検索を実行し、検索結果で応募者リンクを選択します。	採用担当者、採用管理者、採用運用管理者は、キーワードを入力して応募者を検索できます。 キーワードの例: - キーワードとして応募者所在地の入力 - 応募者履歴書のキーワードの入力	なし

PeopleSoft 勤務管理のグローバル検索定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 勤務管理の事前設定済グローバル検索定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
勤務管理タイムシート (HC_TL_GBL_ TIMESHEET)	- 従業員: タイムシート (TL_MSS_EE_SRCH_PRD) ナビゲーション [セルフサービス], [勤務時間レポート], [勤務時間レポート], [タイムシート] - マネージャ: タイムシート サマリ (TL_MSS_EE_SRCH_PRD) ナビゲーション [管理者セルフサービス], [勤務時間管理], [勤務時間レポート], [タイムシート], [タイムシート サマリ]	従業員は、キーワードを入力して自身の時間入力情報を検索し、表示または修正できます。 マネージャは、キーワードを入力して従業員の時間入力情報を検索できます。レポート ステータス (提出済)、または例外の程度 (高、中、低) に基づいてタイムシートを検索することもできます。 キーワードの例: - 個人の名前または従業員 ID の入力 - 週開始日の入力 * (全検索)	- 増分インデックスを毎日作成することをお勧めします。 - 前の 90 日間のデータのみのインデックスが作成されます。SES からデータを削除する前に、勤務管理からの大規模データの取得を削減したり、比較プロセスを削減することで、パフォーマンスを最適化します。

PeopleSoft HCM 用のコンポーネント キーワード検索ページ定義の使用

このトピックの各表は、次の PeopleSoft HCM モジュール用に用意されている、事前設定済コンポーネント キーワード検索ページ検索定義の一覧および説明です。PeopleSoft HCM の検索に関する考慮事項のトピックに示されている内容以外の考慮事項がある場合は、各表の追加の考慮事項の列に示しています。

- PeopleSoft 人事・労務管理
- PeopleSoft 基本福利厚生管理
- PeopleSoft Payroll for North America

コンポーネントに対してキーワード検索ページの検索機能を有効にするには、コンポーネントを検索定義にマップします。キーワード検索ページの検索を有効にすると、キーワード検索タブが検索ページとして、コンポーネントを移動するエンド ユーザーに表示されます。キーワード検索ページを使用すると、ユーザーは、詳細で自由形式の検索を実行して、コンポーネント内からアプリケーション データにアクセスできます。

注: PeopleSoft HCM のキーワード検索ページの全ての検索は、グローバル検索から使用することもできます。

PeopleSoft 人事・労務管理のコンポーネント キーワード検索ページ定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 人事・労務管理の事前設定済コンポーネント キーワード検索ページ定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
職務データ (HC_HR_JOB_DATA)	管理者: 職務データ (JOB_DATA) ナビゲーション [人事・労務管理], [職務情報], [職務データ]	管理者は、キーワードを入力して所在地内の全ての職務を検索したり、職務タイプで検索できます。また、ファセットを使用して基本設定に基づいた検索結果をフィルタまたはドリルダウンしたり、関連アクションを設定することもできます。 キーワードの例: • 個人の名前または従業員 ID の入力 • 部門 • 職務コード • ポジション内容 • 個人の国民 ID、支給グループの入力 • *(全検索 (キーワード詳細検索専用))	• 従業員の職務レコードから現在の有効日に該当する行が削除された場合でも、SES のインデックスの再作成では行が削除されません。ユーザーが検索を実行すると、古いデータが取得される場合があります。 • 従業員 ID の変更、従業員 ID の削除、および従業員レコードの削除はサポートされません。 • 履歴の修正モードで変更が加えられた所在地または部門レコードにはインデックスが作成されません。SES でインデックスが作成されるのは、新しい有効日を指定した行を追加して変更を行った場合のみです。

PeopleSoft グローバル ペイロールのコンポーネント キーワード検索ページ定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft グローバル ペイロールの事前設定済コンポーネント キーワード検索ページ定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
ポジティブ入力検索 (GP_PI_SRCH)	管理者: 1 回のみ (ポジティブ入力) (GP_PI_MNL_ERNDED) ナビゲーション [グローバル ペイロール/休暇 欠勤管理], [受給者データ], [支給と控除の割当]	管理者は、キーワードを入力してポジティブ入力を検索できます。また、ファセットを使用して基本設定に基づいた検索結果をフィルタまたはドリルダウンしたり、関連アクションを設定することもできます。 キーワードの例: • 個人の名前または従業員 ID の入力 • エLEMENT名 • 金額 • 支給グループ • カレンダー ID • 会社 • 部門 • * (全検索)	• キーワード検索では、過去の特定期数内に入力されたポジティブ入力の結果が返されます。インストール設定ページの[ポジティブ入力検索] フィールドで日数を定義します。 • ポジティブ入力検索コンポーネントでは、生成されたポジティブ入力が検索されません。1 回のみ (ポジティブ入力) コンポーネントの使用による入力のみが検索されます。

PeopleSoft 基本福利厚生管理のコンポーネント キーワード検索ページ定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft 基本福利厚生管理の事前設定済コンポーネント キーワード検索ページ定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
医療保険 (HC_BEN_HEALTH_ BENEFIT)	管理者: 医療保険 (HEALTH _BENEFITS) ナビゲーション [福利厚生], [福利厚生登録], [医療保険]	管理者 (専用) は、キーワード を入力して、プラン タイプ、補 償タイプ、および福利厚生プ ランに基づいて従業員の福 利厚生情報を検索できます。 キーワードの例: • 個人の名前または従業 員 ID の入力 • プログラム番号の入力 • プラン タイプ (医療、眼 科、歯科) の入力 • * (全検索)	該当なし

PeopleSoft Payroll for North America のコンポーネント キーワード検索ページ定義

この表は、PeopleSoft 検索フレームワーク内で使用するために用意されている、PeopleSoft Payroll for North America の事前設定済コンポーネント キーワード検索ページ定義の一覧および説明です。

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
追加支給の作成 (HC_HPY_CREATE_ADDL_PAY)	管理者: 追加支給の作成 (ADDITIONAL_PAY) ナビゲーション [Payroll for North America], [従業員支給データ USA], [追加支給の作成] [Payroll for North America], 従業員支給データ USF, [追加支給の作成] [Payroll for North America], [従業員支給データ CAN], [追加支給の作成]	管理者は、キーワードを入力して支給コードに基づいた従業員を検索できます。 キーワードの例: - 従業員の名前または従業員 ID の入力 - 支給コード - 部門 ID - 職務コード - ビジネス ユニット *(全検索)	- 考慮されるのは、現在の有効日に該当する行のみです。 - 一部の検索値は、通常の検索では考慮されません。詳細検索の場合は、演算子 [部分 =] を使用すると、* ワイルドカードが指定されたフィールドレベルの部分値が考慮されます。たとえば、姓 + [部分 =] + Kum* です。 - 検索結果は、フリー テキスト検索も含めて、インデックスが作成されているフィールドに基づきます。
一般控除作成 (HC_HPY_GEN_DED)	管理者: 一般控除作成 (GENL_DED_DATA) ナビゲーション [Payroll for North America], [従業員支給データ USA], [控除], [一般控除作成] [Payroll for North America], 従業員支給データ USF, [控除], [一般控除作成] [Payroll for North America], [従業員支給データ CAN], [控除], [一般控除作成]	管理者は、キーワードを入力して控除コードに基づいて従業員を検索できます。 キーワードの例: - 控除コード - 会社名 *(全検索)	(追加支給の作成と同様)

検索定義名	ターゲット コンポーネントおよび クラシック ナビゲーション	用途	追加の考慮事項
差押の確認検索 (HC_HPY_REVW_GARN)	管理者: 差押の確認 (GARN_REVIEW [USA]; GARN_REVIEW_CN [CAN]) ナビゲーション [Payroll for North America], 従業員支給データ USA 控除, [差押の確認] [Payroll for North America], [従業員支給データ CAN], [控除], 差押の確認の作成	管理者は、キーワードを入力して差押タイプに基づいて従業員を検索できます。 キーワードの例: - 従業員の名前または従業員 ID の入力 - 差押タイプ - 裁判所名 * (全検索)	(追加支給の作成と同様)

HCM データベースからのリモート検索の設定

グローバル検索を使用すると、HCM から別のデータベース内のインデックス付きアーティファクトをリモート検索できます。

HCM データベースからのリモート検索の設定ステップ

リモート検索用のアーティファクトは、他のデータベースに存在し、そこでインデックス付けされている必要があります。HCM とリモート データベース間の通信を許可するようにインテグレーション ブローカーを設定する必要があります。インデックス付けされたアーティファクトと設定済みのインテグレーション ブローカーを使用して、次のステップに従って、リモート検索が可能になるようにデータベースをさらに設定します。

1. インテグレーション管理ロールが、両方のデータベースの管理ユーザー (PS/VP1) に追加されていることを確認します。
2. 各データベースのデフォルトのローカル ノードを、両方のデータベースにネットワーク ノードとして追加します ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション ネットワーク], [ネットワーク設定])。
3. 両方のデータベースでポータル URI とコンテンツ URI のポータル ノードを設定します ([PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード])。
4. リモート検索グループにセキュリティを追加するロールを、そのデータを HCM からリモートで検索できる必要がある全てのユーザーに追加します。リモート データベースのデータにユーザーがアクセスできるのは、リモート データベースの検索グループに対するアクセス権がそのユーザーにある場合のみです。
5. 各データベースのデフォルトのローカル ノードをシングル サインオンに追加します ([PeopleTools], [セキュリティ], [セキュリティ オブジェクト], [シングル サインオン])。

6. リモート検索グループを HCM データベースにインポートします ([PeopleTools], [検索フレームワーク], [管理], [リモート検索グループ])。

リモート検索用の検索アーティファクトは全て、リモート データベースに存在します。リモート検索が HCM データベースから動作するには、リモート検索グループがインポートされている必要があります。インポートするには、リモート検索グループ ページの [コンテンツ プロバイダ] ドロップダウン リストで、リモート データベースのデフォルト ローカル ノード名を選択し、[インポート] を選択します。次に、検索グループのインポート ページで、インポートする検索カテゴリ名を選択します。

詳細については、『*PeopleTools: Search Technology*』の「Administering PeopleSoft SES Search Framework」に含まれる「Importing Remote Search Groups」を参照してください。

7. インポートした検索グループを HCM データベースのホームページ検索コンテキストに追加します ([PeopleTools], [検索フレームワーク], [管理], [検索コンテキストの定義])。

共通コンポーネントの使い方

PeopleSoft HCM 共通コンポーネントについて

このセクションでは、共通フィールドと共通コンポーネント ページについて説明します。

関連リンク

[承認について](#)

[委任について](#)

[変換フレームワークについて](#)

共通コンポーネントの使用時に使用する共通フィールド

オブジェクト オーナー ID

共通コンポーネントで使用されるアプリケーションを指定します。これは、標準で提供されている機能です。

サブ ID (サブ アプリケーション ID)

コンポーネント エントリをさらに機能別に分類します。たとえば、*M* (管理者) のサブ ID では、*E* (従業員) のサブ ID とは異なるコンポーネント エントリが許可されます。

共通コンポーネント ページ

PeopleSoft には、複数の HCM アプリケーション間で機能を実行するための共通ページが用意されています。これらのページは、標準 API による設定とアプリケーションへの組み込みが簡単なプラグイン アプリケーションとして導入されます。

これらのアプリケーションは通常、タレント獲得管理、ePerformance-パフォーマンス管理、福利厚生管理などの呼出アプリケーションの適用条件内における、特定の汎用機能に関する情報の取得、保存および表示に使用されます。

データ構造

各共通コンポーネントでは、固有のデータ ソースが管理されます。これらの共通コンポーネントにはキーがあります。プラグインの組み込まれた全てのアプリケーションは、ユーザー定義が可能なキー構造を使用する同一のデータ構造を共有しています。これにより、各アプリケーションのさまざまなデータ処理要件に対応しています。プラグインの組み込まれたアプリケーションの適用条件下でプラグインの実行時に使用される実際のキーが、アプリケーションごとに定義または登録されます。プラグインの設定ページでアプリケーションのエントリを作成して、キーを登録します。この情報には、組み込み先アプリケーションのオブジェクト オーナー ID がキーとして指定されます。

ユーザー インターフェイス

プラグインを使用することにより、プラグインが組み込まれた全てのアプリケーションにおいて、一貫性のあるデータ表示が可能になります。たとえば、同一のフォーマットを使用して、タレント獲得管理、ePerformance-パフォーマンス管理、Payroll for North America、または福利厚生管理のいずれを使用しているかに応じたメモが取得され、表示されます。HCM 全体で整合性のあるスタイルを維持しつつ、適用条件に応じた手順テキスト、ラベルなどを提供するため、各プラグイン アプリケーションではテキスト カタログが使用されます。

ユーザー定義可能な動作

組み込み先アプリケーションの一部では、プラグイン機能を有効または無効に設定したり、変更する機能を必要とします。これらの設定オプションは、キーの登録場所でもあるプラグインの設定ページで、アプリケーションごとに操作されます。

テキスト カタログ以外の HCM プラグインは、ページにグラフィック ボタンを挿入し、このボタンの FieldChange PeopleCode に簡易 API コールを挿入することにより、アプリケーションに組み込まれます。テキスト カタログは、コンポーネントビルドや PageActivate コード内の API によって呼び出されます。

警告 設定を変更する場合は注意してください。キー値を変更したりすると、アプリケーションの他の機能が正常に働かなくなる恐れがあるため、PeopleSoft ではこうした修正はサポートしていません。

直属部下機能の設定

直属部下機能を設定するには、直属部下関連 UI の設定 (HR_DR_UI_CFG)、直属部下テーブル作成 (RUNCTL_HR_DR)、直属部下 API の呼出 (HR_DRPT_API)、および直属部下関連 UI API の呼出 (HR_DRPT_API_UITEST) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、直属部下、直属部下パフォーマンス テーブルの概要および直属部下機能の設定方法について説明します。

関連リンク

[Generating Documents as a ManagerPeopleSoft ePerformance](#)

直属部下機能の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
直属部下設定ページ	HR_DR_UI_CFG_1	直属部下機能を含むコンポーネントとトランザクションを設定します。
直属部下トランザクション設定ページ	HR_DR_UI_CFG_2	トランザクションについて直属部下 UI に表示されるアクションとフィールドを選択します。

ページ名	定義名	用途
<u>直属部下テーブル作成ページ</u>	RUNCTL_HR_DR	直属部下テーブルの作成プロセスを実行し、現在の情報を使用して管理者に対する直属部下を更新します。
<u>直属部下 API の呼出 - 設定/実行ページ</u>	HR_DRPT_API_EXEC	直属部下 API をテストします。
<u>直属部下 API の呼出 - 実行結果ページ</u>	HR_DRPT_API_RSLTS	メソッドから返される例外とデータを表示します。
<u>直属部下 API の呼出 - 追跡結果ページ</u>	HR_DRPT_API_TRACE	メソッド実行のトレース ログを表示します。
<u>直属部下関連 UI API の呼出ページ</u>	HR_DRPT_API_UITEST	直属部下のユーザー インターフェイスをテストします。
<u><アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページ</u>	HR_DR_DIRECTREPORT	直属部下関連 UI API の呼出ページで、直属部下のリストを表示し、従業員を選択して [API の結果] リストに追加します。

直属部下機能について

直属部下情報は HCM アプリケーション全体で使用されますが、特に管理者セルフサービス アプリケーションで使用されます。直属部下情報には、通常、組織階層のナビゲーションが含まれます。たとえば、管理者は直属部下情報を使用して、従業員の昇進・昇給を行います。直属部下情報は以下のモードで使用できます。

- ドリルダウン モード: 管理者がセルフサービス アプリケーションで処理する従業員を選択できます。
- コマンド チェーン モード: 承認と通知用のワークフローを決定します。

直属部下機能を実行するための主なコンポーネントには、次の 2 つがあります。

- データ サービス

データ サービスは組織構造をナビゲートして、特定の管理者の管轄下にある従業員の一覧、または特定の従業員の管理階層を返します。データ サービスでは適用条件は完全に無視され、オンライン リクエストとバッチ リクエストの両方に対するサービスが可能です。

- ユーザー インターフェイス

データ サービスから切り離された、ユーザー設定可能な共通ユーザー インターフェイス (UI) です。データ サービスから情報を受け取り、一貫性のある、わかりやすい、再利用可能な UI として表示されます。これにより、ユーザーは組織構造を視覚的にナビゲートして、1 人または複数の処理対象の従業員を選択できます。

セルフ サービス アプリケーションの直属部下

直属部下機能を設定するには 2 つの方法があります。以下のアプリケーションまたは機能について直属部下機能を設定するには、直属部下の設定 (SS_LINK_TBL) コンポーネントを使用します。

- PeopleSoft eDevelopment – 教育・研修管理関連のコンポーネント
- HCM ポータル パック
- 管理者ダッシュボード
- ePay-給与

注: この他のアプリケーションについては、このトピックで説明する直属部下関連 UI の設定コンポーネントを使用します。

関連リンク

[直属部下データへのアクセス権限の設定](#)

直属部下パフォーマンス テーブルについて

直属部下テーブルは、全ての直属部下プロセスのパフォーマンスが向上するように設計されています。直属部下テーブルのロードは、管理者セルフ サービスのほとんどのページを使用する上で必須ではありませんが、このプロセスを実行してテーブルを作成すると、ページのパフォーマンスが向上します。ただし、組織図ビューアおよびプロフィール管理検索を使用するには、このプロセスを実行する必要があります。

直属部下テーブルには、職務データの複雑な処理で解決されるアクセス タイプに対する現在のレポート構造が格納されます。アクセス タイプ (アクセス メソッドまたはナビゲーション メソッドとも呼びます) は、次のとおりです。

- 2 - 監督者 ID
- 3 - 部門管理者 ID
- 4 - 全体をポジション管理
- 5 - 監督者 ID を使用して一部をポジション管理
- 6 - 部門管理者 ID を使用して一部をポジション管理

注: 一部ポジション メソッド (監督者 ID を使用して一部をポジション管理 または 部門管理者 ID を使用して一部をポジション管理) に対するプロセスを実行すると、部下メソッドのテーブルも同時に作成されます。つまり、監督者 ID を使用して一部をポジション管理 によって、"ポジション/監督者 ID" テーブルの作成前に、"全体をポジション管理" テーブルと "監督者 ID" テーブルが作成されます。

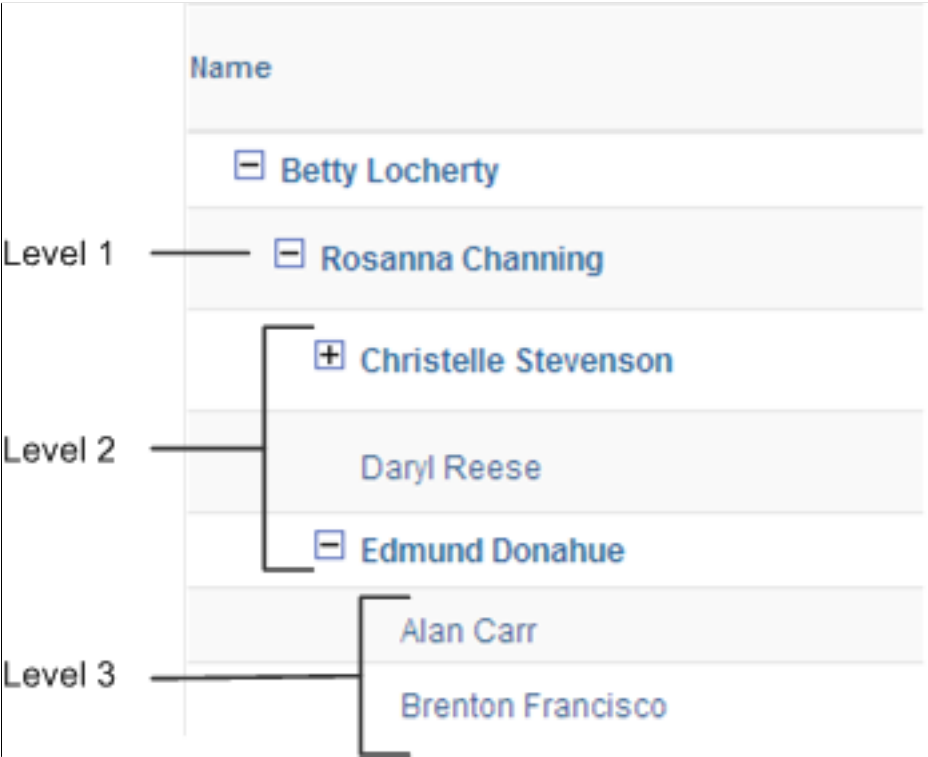
各アクセス メソッドに対して、別々のレポート構造テーブルがあります。テーブルには、各監督者とその直属部下および間接的部下に対する行が含まれます。使用するアクセス メソッドごとにテーブルを作成する必

要があります。作成プロセスは、一度に 1 つのアクセス メソッドに対して実行することも、同時に全てのアクセス メソッドに対して実行することもできます。

たとえば、以下の階層構造のリストは、レポート構造の最上位が Betty Locherty (KU0007) であるレポート構造を表しています。これは、簡易クエリー用に、テーブルまたはリスト フォーム内の階層がプロセスでどのように表示されるかを反映しています。リストでは、レポート構造の異なる各レベルがインデントされています。管理者である他の従業員の横には、折りたたみ (-) および展開 (+) アイコンが表示されます。

画像: 例: 直属部下の階層リスト

次の例では、管理者 Betty Locherty とその直属部下の階層構造のリストを説明します。



結果の直属部下テーブルのエントリは、Betty Locherty に対する行とその部下である各従業員を反映します。Betty が管理者または監督者であるかどうかだけでなく、その個人のレベルも定義されます。次に、Betty の部下である他の全ての管理者とその部下に対する行が追加されます。次の表では、このシナリオを説明します。

注: この例は簡略化されていて、雇用レコード番号や職務情報は含まれていません。階層がテーブルにどのように変換されるかという概念の説明にのみ使用されます。

SUPERVISOR_ID	EMPLID	HR_DR_LEVEL	SUPERVISOR_FLAG
KU0007 (Betty Locherty)	KU0046 (Rosanna Channing)	1	オン
KU0007	KU0020 (Christelle Stevenson)	2	オン
KU0007	KU0044 (Daryl Reese)	2	オフ

<i>SUPERVISOR_ID</i>	<i>EMPLID</i>	<i>HR_DR_LEVEL</i>	<i>SUPERVISOR_FLAG</i>
KU0007	KU0102 (Edmund Donahue)	2	オン
KU0007	KU0150 (Alan Carr)	3	オフ
KU0007	KU0048 (Brenton Francisco)	3	オフ
KU0046 (Rosanna Channing)	KU0020 (Christelle Stevenson)	1	オン
KU0046	KU0044 (Daryl Reese)	1	オフ
KU0046	KU0102 (Edmund Donahue)	1	オン
KU0046	KU0150 (Alan Carr)	2	オフ
KU0046	KU0048 (Brenton Francisco)	2	オフ
KU0102 (Edmund Donahue)	KU0150 (Alan Carr)	1	オフ
KU0102	KU0048 (Brenton Francisco)	1	オフ

注: 夜間ジョブをスケジュールして、現在日付になる将来日付の情報でテーブルを更新する必要があります。また、レポート構造に影響を与える情報がトランザクション ページで変更されるため、イベント マネージャのイベントも取得する必要があります。プロセスのスケジュールでは、これらの変更が選択され、テーブルに適用されます。

「[直属部下テーブル作成ページ](#)」を参照してください。

直属部下設定ページ

直属部下設定ページ (HR_DR_UI_CFG_1) を使用して、直属部下データ機能を含むコンポーネントとトランザクションを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下関連 UI の設定], [直属部下設定]

画像: 直属部下設定ページ

次の例では、直属部下設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Direct Reports Configuration				
Manager Desktop Transactions		Personalize Find  		First 1-45 of 45 Last
*Component Name	Transaction Name	*Description		
CO_PE_JPM_MGR_SRCH	JPM_MGR_SRCH 	Manager Profile Search	Configure	
EP_APPR_SELECT	EP_CREATE 	View-Only Documents	Configure	
EP_CREATE_MY_DVL	EP_CREATE 	Create Documents: Development	Configure	
EP_CREATE_MY_DVL_G	EP_CREATE_GRP 	Create Documents by Group: Dev	Configure	
EP_CREATE_MY_PRF	EP_CREATE 	Create Documents: Performance	Configure	
EP_CREATE_MY_PRF_G	EP_CREATE_GRP 	Create Documents by Group: Prf	Configure	
EP_VIEW_MY_DVL	EP_CREATE 	OrgChart-View Development Docs	Configure	

直属部下機能が有効なコンポーネントとトランザクションの一覧が表示されます。新規のコンポーネントとトランザクションを追加できます。また [設定] ボタンをクリックして、そのコンポーネントとトランザクションの適用条件における直属部下 API の処理方法と UI の表示方法を指定できます。

直属部下トランザクション設定ページ

直属部下トランザクション設定 ページ (HR_DR_UI_CFG_2) を使用して、トランザクションについて直属部下 UI に表示されるアクションとフィールドを選択します。

ナビゲーション

直属部下設定ページで、アプリケーションに対する[設定] ボタンをクリックします。

画像: 直属部下トランザクション設定ページ

次の例では、直属部下トランザクション設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Direct Reports Transaction Configuration

Data Find | View All First 1 of 45 Last

Component Name CO_PE_JPM_MGR_SRCH
Transaction Name JPM_MGR_SRCH Manager Profile Search

Processing Rules

Access Type By Part Posn Mgmt Supervisor ☐ Force Group Refresh

☐ Update Own Info ☐ Allow Empty Position

☒ Allow Indirect Reports ☐ Select Multiple Employees

☒ Allow As of Date Change ☒ Combine Partial

☒ Limit Drill Up ☐ Exclude Contingent Workers

*Maximum Fetch 300

Displayed Fields

☒ Employee ID ☐ Job Code

☒ Empl Record ☐ Job Title

☒ Position Number ☐ Department ID

☒ Employee Status ☐ Department Name

☐ Full/Part Time ☐ Location Code

☐ Location Name

Return

処理ルール

アクセス タイプ

上司と部下の関係を判断するために使用する直属関係の情報を選択します。このフィールドによって、該当するトランザクションコンポーネントの従業員の選択ページで使用される直属関係を定義し、トランザクションの承認者を識別するための方法を決定します。使用可能なオプションは以下のとおりです。

- **部門管理者 ID 別:** 部門プロフィール ページ (DEPARTMENT_TBL_GBL) の [管理者 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。部門管理者のユーザーには、自分の部門に所属する従業員の一覧が表示されます。
- **部門セキュリティツリー別:** セキュリティツリーの情報を使用して、従業員データのアクセス権限を決定します。セキュリティツリーに基づき、ユーザーがデータへのアクセスを許可された従業員の一覧が表示されます。

- **グループ ID 別:** グループビルド機能で設定されたグループ ID を使用して、データのアクセス権限を決定します。
- **部門管理者ID別-一部ポジション管理:** 勤務地ページ (JOB_DATA1) の [直属上司] フィールドと、部門プロファイル ページの [管理者 ID] フィールドの情報をを使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に部門管理者 ID について行われます。
- **監督者 ID 別 - 一部ポジション管理:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドと [監督者の従業員 ID] フィールドの両方を使用して直属関係を定義します。このオプションは、ポジション管理オプションで "一部" が設定されている組織を対象にしています。直属関係の検索は、まず直属上司のポジション番号に基づいて行われ、次に監督者の従業員 ID について行われます。
- **直属上司のポジション別:** 勤務地ページの [直属上司] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーのポジションが、職務レコードの直属上司のポジションとして指定されている従業員の一覧が表示されます。
- **監督者 ID 別:** 勤務地ページの [監督者の従業員 ID] フィールドの情報に基づいて直属関係を定義します。ユーザーの ID が、職務レコードの監督者 ID として指定されている従業員の一覧が表示されます。

自分自身のデータを更新

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーが自分のレコードを更新できます。また、管理者自身の情報が、直属部下または管理階層の情報と共に直属部下結果リストに表示されます。

間接的部下の処理を許可

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーの間接的部下が表示されます。組織階層をナビゲート ダウンすることにより、直属部下の直属部下が、階層の最下位に達するまで表示されます。

指定日の変更を許可

このチェック ボックスをオンに設定すると、指定日を変更できるようになります。

ドリルアップ制限

このチェック ボックスをオンに設定すると、ドリルアップを制限できます。

最大フェッチ

システムで取得する必要がある最大行数を入力します。

強制グループ リフレッシュ

このチェック ボックスをオンに設定すると、グループ ビルド プロセス (GBP002) を実行して、直屬部下を表示する前にグループ メンバーがリフレッシュされます。オフにすると、プロセスの最終スケジュール実行時のグループ メンバーがページに表示されます。アクセス タイプに *[グループ ID 別]* を選択した場合のみ、このチェック ボックスが使用可能になります。

空のポジションを許可

このチェック ボックスをオンに設定すると、空のポジション レポートが返されます。このチェック ボックスは、アクセス タイプとしてポジション関連のいずれかのオプションを選択した場合に使用できます。

複数の従業員を選択

このチェック ボックスをオンに設定すると、検索結果から複数の従業員を選択できます。また、結果リストの名前の隣にチェック ボックスが表示されます。オフにすると、[選択] ボタンが表示されます。

注: 標準トランザクションではこの設定を変更しないでください。標準トランザクションは、単一値または複数值のいずれかを選択する設計のため、この設定を変更すると、標準トランザクションが機能しなくなる可能性があります。

一部を統合

このチェック ボックスをオンにすると、一部をポジション管理するナビゲーション メソッドを使用している場合に、第 1 のメソッドが有効なデータを返した場合でも、第 2 のメソッドを適用することを示します。

非従業員を除外

このチェック ボックスをオンにすると、非従業員が直屬部下の階層に含まれなくなります。

表示フィールド

アプリケーションによる直屬部下リストの表示時にリスト内に表示するフィールドを選択します (複数選択可)。

関連リンク

[セルフサービス トランザクションの設定](#)

[トランザクションの確認](#)

[\(USF\) 連邦セルフサービス トランザクションの確認](#)

[直屬部下データへのアクセス権限の設定](#)

直屬部下テーブル作成ページ

直屬部下テーブル作成ページ (RUNCTL_HR_DR) を使用して、直屬部下テーブルの作成プロセスを実行し、現在の情報で管理者に対する直屬部下を更新します。

このプロセスでは、各アクセス タイプに対応する直属部下フラット テーブルにデータをロードすることによって、システム全体でピボット グリッドもサポートされます。ピボット チャートでは、PSQuery を使用してフラット テーブルからデータが選択されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下テーブル作成], [直属部下テーブル作成]

画像: 直属部下テーブル作成ページ

次の例では、直属部下テーブル作成ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

このプロセスでは直属部下テーブルを管理します。*[完全 - 全データ再作成]* モードで実行すると、テーブルが切り捨てられ、JOB、POSITION_DATA および DEPT_TBL の各テーブルに定義されている現在の構造に基づいてテーブルが作成されます。*[差分 - 現在の日付更新]* モードで実行すると、前回の実行日以降に 3 つのテーブルに加えられた変更が検出され、それに従ってテーブルが更新されます。

注: このプロセスは、以前は将来日付であり、現在は現在日付で有効であるデータを取得するために、繰返スケジュールを使用して毎晩深夜 0 時過ぎに *[差分 - 現在の日付更新]* モードで実行するように設定してください。

作成モード

テーブルを作成するモードを指定します。

- *完全 - 全データ再作成*: 全てのレポート データを切り捨て、再ロードします。
- *差分 - 現在の日付更新*: このプロセスの前回実行以降にレポート データに加えられた変更または現在日付になった情報を収集し、直属部下テーブルに変更を適用します。

アクセス メソッド

処理する直接アクセス メソッド テーブルを選択します。複数のアクセス メソッドを使用するが、全てのメソッドを使用するわけではない場合は、使用するアクセス メソッドごとにテーブルを作成する必要があります。プロセスは、一度に 1 つのアクセス メソッドに対して実行することも、同時に全てのアクセス メソッドに対して実行することもできます。メソッドのオプションは次のとおりです。

- 2 - 監督者 ID

- 3 - 部門管理者 ID
- 4 - 直属上司のポジション (完全なポジション管理)
- 5 - ポジション/監督者 ID (監督者 ID を使用して一部をポジション管理)
- 6 - ポジション/部門管理者 (部門管理者 ID を使用して一部をポジション管理)
- 全てのアクセスメソッド

注: 一部ポジション メソッド ([5 - ポジション/監督者 ID] または [6 - ポジション/部門管理者]) に対してプロセスを実行すると、下位メソッドのテーブルも同時に作成されます。つまり、[5 - ポジション/監督者 ID] に対するプロセスでは、[5 - ポジション/監督者 ID] の作成前に、[4 - 直属上司のポジション] テーブルと 2 - 監督者 ID テーブルが作成されます。

直属部下テーブルの更新

直属部下テーブルは 2 とおりの方法で更新できます。

1. 直属部下テーブルの作成プロセス

初期作成のために実行したアクセス メソッドごとに、繰返スケジュールを使用してこのプロセスを夜間 (深夜 0 時過ぎ) に実行するようにスケジュールします。このジョブは、作成メソッド [差分 - 現在の日付更新] を使用して実行する必要があります。このプロセスは、プロセスが前回実行された後で現在日付になった情報、および前回のプロセス実行以降に加えられた変更でテーブルを更新します。これは、レポート データに対する変更を使用して、テーマを最新の状態に保つために必要です。

2. イベント マネージャの直属部下イベント

データはオンラインで更新されるため、このプロセスによって現在のデータが管理されます。

日中に加えられた変更は夜間プロセスによって全て選択されるため、これらのイベントは必須ではありません。これらは、現在のデータにリアルタイムの更新を取得するために提供されています。夜間プロセスを置換しないように、現在日付になった将来日付の行は検出されません。提供されているイベントは、次のとおりです。

- *AssignmentAdded* – 新規雇用レコード作成済
- *AssignmentTerminated* – 雇用 (職務) 終了済
- *DRDepartmentManagerUpdated* – 部門管理者変更
- *DRDepartmentUpdated* – 部門 ID 変更
- *DRPositionDataUpdated* – ポジション データ管理者変更
- *DRPositionReportingUpdated* – ポジションまたは直属上司更新

- *DRSupervisorUpdated* – 監督者変更
- *DRStatusUpdated* – 有効日とステータス更新

イベント マネージャの設定およびアクティブ化の詳細については、「」を参照してください。

直属部下 API の呼出 - 設定/実行ページ

直属部下 API の呼出 - 設定/実行ページ (HR_DRPT_API_EXEC) を使用して、直属部下 API をテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下 API の呼出], [設定/実行]

画像: 直属部下 API の呼出 - 設定/実行ページ

次の例では、"直属部下 API の呼出 - 設定/実行" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

クラス メソッド

有効値のリストからメソッドを選択します。

- *DrillDown()*

レポート構造の 1 レベル下に論理的に移動して、従業員の全ての直属部下を取得します。これはアプリケーション クラスの最も一般的な使い方です。このメソッドは、従業員/職務の直属部下を返します。

- *DrillUp()*

レポート構造の 1 レベル上に論理的に移動して、従業員の監督者と、その監督者の全ての直属部下を取得します。

- *GetPeers()*

まずターゲット従業員について `GetSupervisor()` メソッドを呼び出し、次に `DrillUp()` メソッドを呼び出して、この監督者の全ての直属部下を取得します (これは特定従業員の全ての同僚を取得するのと同じです)。

- *GetSupervisor()*

ターゲット従業員の監督者を取得します。このメソッドは、このメソッドは、監督者の直属部下ではなく、ターゲット従業員の監督者をアプリケーションで決定する必要がある場合に有効です。たとえば、従業員の監督者に通知を送信するには、アプリケーションによって監督者の ID を決定する必要があります。

メソッドの実行

このボタンをクリックすると、ユーザーが設定したクラス プロパティを使用してメソッドが実行されます。

クラス プロパティ

選択したクラスに存在するプロパティとそのデフォルト値が表示されます。メソッドの実行前は、どのプロパティの設定も変更できます。

ナビゲーション メソッド

直属関係の判断時に使用するメソッドを選択します。オプションは、[1 - 部門セキュリティツリー]、[2 - 監督者 ID]、[3 - 部門管理者 ID]、[4 - 直属上司のポジション]、[5 - ポジション/監督者 ID]、[6 - ポジション/部門管理者]、[7 - グループ ID] です。

対象従業員 ID

対象従業員の従業員 ID を入力します。

対象雇用レコード

対象従業員の雇用レコード番号を入力します。

ポジション

対象従業員のポジション番号を入力します。

指定日

直属関係の判断時に使用する指定日を入力します。

グループ ID

[ナビゲーション メソッド] が [グループ ID] の場合はグループ ID を入力します。

氏名表示

[直属部下行セット] グリッドに従業員名を含める必要があるかどうかを指定します。デフォルト値は [真] です。

空きポジション表示

ナビゲーション メソッドがポジション ベースの場合、[直属部下行セット] グリッドに空きポジションを返すかどうかを指定します。デフォルト値は [偽] です。

間接インジケータ表示

[直属部下行セット] グリッドで従業員に直属部下がいるかどうかを示すかどうかを指定します。デフォルト値は [偽] です。

注: [ナビゲーション メソッド] が [グループ ID] または [グループ ID] の場合は適用されません。

対象従業員を含む

返された[直属部下行セット] および [監督者行セット] から、対象従業員を除外するかどうかを指定します。[真] の場合は、対象従業員は除外されません。[偽] (デフォルト) の場合は、ループ状態の直属関係は表示されません。

最大フェッチ

返される最大行数を入力します。

フラット テーブルの使用

[真] または [偽] を選択します。

パフォーマンス改善のために、PeopleSoft アプリケーションには、レポート構造のフラットビューに簡単にアクセスできるように、これらを作成するためのフレームワークが用意されています。

ドリルアップ制限

ユーザーが、最初に指定した対象従業員/職務より高いレベルにドリルアップできるかどうかを指定します。たとえば、管理者セルフサービストランザクションで使用する場合、2 レベルドリルダウンしてから 3 レベルドリルアップし、同僚を表示して選択できるかなどです。一方、通知プロセスで使用する場合は、最初に指定された対象従業員/職務よりも高いレベルへのドリルアップが必須です。[真] (デフォルト) の場合は、ドリルアップが制限されます。

一部を統合

一部をポジション管理するナビゲーション メソッドを使用している場合に、第 1 のメソッドが有効なデータを返した場合でも、第 2 のメソッドを適用するかどうかを指定します。デフォルト値は [真] です。

グループの再作成

[ナビゲーション メソッド] が [グループ ID] の場合は、この有効日のグループ結果が既に存在する場合でも、グループを再作成するかどうかを指定します。

バッファ

パフォーマンス向上のために、サービス バッファを次のレベルにレベル アップまたはレベル ダウンするかどうかを指定します。デフォルト値は [偽] です。

追跡

クラス メソッドの実行時に処理の追跡を生成するかどうかを指定します。デフォルト値は [偽] です。

デバッグ モード

[デバッグ モード] が [真] の場合は、結果セットの表示前に、実行中に発生した例外を表示するかどうかを指定します。

直属部下 API の呼出 - 実行結果ページ

直属部下 API の呼出 - 実行結果ページ (HR_DRPT_API_RSLTS) を使用して、メソッドから返される例外とデータを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下 API の呼出], [実行結果]

画像: 直属部下 API の呼出 - 実行結果ページ

次の例では、"直属部下 API の呼出 - 実行結果" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Set / Execute

Execution Results

Trace Results

Class Method

DrillDown()

Time0.91

Exceptions Rowset

Severity	Set	Msg	Description

Supervisor Rowset

Personalize | Find | |

First 1 of 1 Last

Empl ID	Empl Record	Pay Status	Name	Job Code	Dept ID	Location Code	Position	Proxy For Emplid	Proxy EmplRcd	Proxy For Position
	0									

Direct Reports Rowset

Personalize | Find | View All | |

First 1-3 of 3 Last

Empl ID	Empl Record	Pay Status	Name	Job Code	Dept ID	Location Code	Position	Indirect Reports
KU0065		0 A	Adland Chu	290080	13100	KUNY00	19000026	N
K0MTX005		0 A	Diane Palmer	170005	13100	KUNY00		N
KU0119		0 A	Susan Hoinck	140040	13100	KUNY00		N

メソッドの実行結果が表示されます。

直属部下 API の呼出 - 追跡結果ページ

直属部下 API の呼出 - 追跡結果ページ (HR_DRPT_API_TRACE) を使用して、メソッド実行のトレースログを表示します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下 API の呼出], [追跡結果]

画像: 直属部下 API の呼出 - 追跡結果ページ

次の例では、"直属部下 API の呼出 - 追跡結果" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Set / Execute		Execution Results	Trace Results
Execution Trace Results		Personalize Find  	First  1-19 of 19  Last
	Sub-Method Name	Trace Information	
1	DrillDown()	AppClass Method Invoked.	
2	iDrillDown()	private method invoked.	
3	iDrillDown()	class property NavigationMethod= 3	
4	iDrillDown()	class property TargetEmplid= KU0007	
5	iDrillDown()	class property TargetERN= 0	
6	iDrillDown()	class property AsOfDate= 2012-12-05	
7	iDrillDown()	class property ShowName= True	
8	iDrillDown()	class property ShowIndirectIndicator= False	
9	iDrillDown()	class property ShowEmptyPositions= False	
10	iDrillDown()	class property CombinePartials= True	
11	iDrillDown()	class property LimitDrillUp= True	
12	iDrillDown()	class property RebuildGroup= False	
13	iDrillDown()	class property BufferNextLevel= False	
14	FetchReportsMethod3()	Method returns 4 rows.	
15	RemoveTargetEmployee()	Searching for Target Employee in rowset.	

[追跡] クラス プロパティに [真] を選択した場合のみ、このページにデータが表示されます。

直属部下関連 UI API の呼出ページ

直属部下関連 UI API の呼出ページ (HR_DRPT_API_UITEST) を使用して、直属部下のユーザー インターフェイスをテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [直属部下], [直属部下関連 UI API の呼出], [直属部下関連 UI API の呼出]

画像: 直属部下関連 UI API の呼出ページ

次の例では、直属部下関連 UI API の呼出ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Data	
Empl ID	Display Name
KU0101	Cynthia Adams

この API のテストでは、現在の設定に基づいて表示される結果セットが表示されます。[API の結果] グリッドにデータをロードするには、コンポーネント名を選択し、[API を実行] をクリックします。<アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件 ページが表示され、ここに指定日を入力し、その日付時点の従業員を選択します。

この例は、勤務地変更コンポーネントのページ内から *Cynthia Adams* を選択した場合の[API の結果] の値を示しています。

<アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページ

<アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページ (HR_DR_DIRECTREPORT) を使用して、直属部下のリストを表示し、従業員を選択して、直属部下関連 UI API の呼出ページの [API の結果] リストに追加します。

ナビゲーション

直属部下関連 UI API の呼出ページで、[コンポーネント名] フィールドから値を選択し、[API を実行] をクリックします。

画像: <アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページ

次の例では、<アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

DirectReports User Interface

Location Change

Employee Selection Criteria

Select the employee(s) for whom you'd like to initiate a Location Change. You can initiate transactions only for employees who reported to you as of the date you entered on this page.

After you've selected the employee(s) you'd like to process, select the Continue button to enter the details about the transaction and finish the process.

As Of Date 05/07/2013 Refresh Employees Find Employee

Betty Locherty's employees

Select	Name	Empl ID	Job	HR Status	Position	Job Code	Job Title
☒	Cynthia Adams	KU0101	0	Active	19000074	600165	Corporate Controller
☐	Derek Holsinger	KU0038	0	Active	19000034	110000	Accountant
☐	Heidi Schwartz	KU0093	0	Active	19000070	140040	Analyst-Financial Sr
☐	Mark Johnson	KUC001	0	Active	19000034	110000	Accountant
☐	Steve Parsons	R-RDSP14	0	Active	19000013	R-1051	Assistant Controller
☐	Willies Ray	HXPSFT105	0	Active	10101010	HXPF21	PSFT Consultant Accountant

Select All Deselect All

Continue

<アプリケーション コンテンツ> - 選択ページ (HR_DR_SELECT_EMPS) [<アプリケーション コンテンツ> ページ (HR_DR_ADDL_INFO) で指定日を入力して [続行] をクリック] にアクセスします。

このページを使用して、直属部下を選択します。このコンポーネントの適用条件で直属部下プラグインが実行され、直属部下関連 UI API の呼出ページの[API の結果] グリッドに結果が表示されます。

例、および <アプリケーション コンテキスト> 従業員選択条件ページ (HR_DR_DIRECTREPORT) のフィールド説明は、次のとおりです。

従業員の検索

ヘッダー グリッドの上の[従業員の検索] リンクを使用すると、全てのノードを展開した場合と同じ直属部下および間接的部下のリストから選択できます。

直属部下組織内を検索するには、[従業員の検索] リンクをクリックします。従業員の検索ページ (HRDR_SRCH_EMPS_SEC) で基準を入力し、[検索] をクリックします。開く従業員をトランザクションで選択します。

[従業員の検索] リンクは、トランザクションが個人に適用される場合にのみ表示されます。個人のグループを選択したトランザクションに対しては、そのグループ内の個人を選択したポイントに達するまで表示されません。

注: 直属部下関連 UI の設定によって、選択できる従業員、および <アプリケーション コンテキスト> - 従業員選択条件ページに表示されるフィールドが決まります。

HR ステータス

[HR ステータス] フィールドが従業員選択条件ページに表示されるのは、直属部下のトランザクション設定ページで [間接的部下の処理を許可] チェック ボックスがオンの場合のみです。

非アクティブの従業員は、アクティブ従業員の直属または間接的な上司になることができます。

個人検索の設定

個人検索機能を設定するには、個人単純検索の設定 (HR_PSS_CONFIG) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、個人単純検索の概要および個人検索の設定およびテスト方法について説明します。

個人単純検索の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>個人単純検索の設定ページ</u>	HR_PSS_CONFIG	個人単純検索用コンポーネントを設定します。
<u>単純検索 API の呼出ページ</u>	HR_PSS_TEST_API	アプリケーションの適用条件で個人単純検索をテストします。
<u>個人検索ページ</u>	HR_PSS_SEARCH	個人を検索し、選択します。 このページは、複数の呼出アプリケーションから呼び出されます。

個人単純検索について

個人単純検索のページでは、アプリケーションのユーザーが処理対象の個人を検索して選択できます。このコンポーネントを使用することで、名前の一部を入力するようにユーザーに求める UI を表示したり、候補者の一覧を検索結果に表示してユーザーが値を選択できるようにする作業をアプリケーションで簡単に行うことができます。追加機能には、適用条件に依存しない追加データへの任意のドリルダウン機能が含まれます。

個人単純検索の設定ページ

個人単純検索の設定ページ (HR_PSS_CONFIG) を使用して、個人単純検索用コンポーネントを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [個人検索], [個人単純検索の設定], [個人単純検索の設定]

画像: 個人単純検索の設定ページ

次の例では、個人単純検索の設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

アプリケーションの個人検索 - 単純検索ページにおける、個人情報の検索方法と表示方法を制御するオプションを選択します。

最大行数

呼出アプリケーションに返す最大表示行数を入力します。検索条件を満たす行は全て返され、結果リストに表示されます。検索結果が最大表示行数を超える場合は、最大表示行数を超える検索結果が返されたため検索条件を絞り込むように指示するメッセージが表示されます。

複数の従業員を選択

このチェック ボックスをオンに設定すると、検索結果から複数の従業員を選択できます。また、結果リストの名前の隣にチェック ボックスが表示されます。オフにすると、オプション ボタンが表示されます。

名前をフリガナ表記

このチェック ボックスをオンに設定すると、フリガナ フォーマットに検索文字列を入力して名前を検索できます。システム設定でフリガナ フォーマットでの名前の入力を可能にしている場合、デフォルトではこのチェック ボックスはオンになっています。

従業員 ID を表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、結果の詳細に従業員の ID が表示されます。デフォルトでは、このチェック ボックスはオフになっています。

HR ステータス

次の値の中から 1 つ選択します。

- 非表示

検出された個人の HR ステータス値は、結果リストに表示されません。

- 表示専用

検出された個人の HR ステータス値は、結果リストに表示されます。

- 入力可能

HR ステータス値による検索が可能です。雇用形態は、個人検索ページにチェック ボックスとして表示されます。

HR ステータスがアクティブ

このチェック ボックスをオンにすると、アクティブな従業員の行だけが返されます。デフォルトではこのチェック ボックスはオンになっています。

HR ステータスが非アクティブ

このチェック ボックスをオンにすると、非アクティブな従業員の行だけが返されます。

雇用形態 (個人雇用形態)

以下のいずれかの値を選択して、個人検索ページにおける個人の雇用形態の使用方法を管理します。

- 非表示

雇用形態は結果リストに表示されません。

- 表示専用

雇用形態は結果リストに表示されます。

- 入力可能

検索対象の雇用形態を選択できます。雇用形態は、個人検索ページにチェック ボックスとして表示されます。

従業員

このチェック ボックスをオンに設定すると、検索結果として従業員が返されます。デフォルトでは、このチェック ボックスはオンになっています。

非従業員

このチェック ボックスをオンに設定すると、臨時従業員や契約社員などの非従業員が検索結果として返されます。

関係者

このチェック ボックスをオンに設定すると、退職者や応募者などのその他の関係者が検索結果として返されます。

単純検索 API の呼出ページ

単純検索 API の呼出ページ (HR_PSS_TEST_API) を使用して、アプリケーションの適用条件で個人単純検索をテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [個人検索], [単純検索 API の呼出], [単純検索 API の呼出]

画像: 単純検索 API の呼出ページ

次の例では、単純検索 API の呼出ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Data	
Empl ID	Display Name
KU0101	Cynthia Adams

このページでは、選択したアプリケーションやサブ アプリケーションに固有の条件下での、個人検索 - 単純検索ページの設定をテストできます。[API を実行] ボタンをクリックすると、このアプリケーションについて設定したとおりに作成された検索ページが表示されます。このページで検索条件を入力して、検索結果の表示について確認できます。

個人検索ページ

個人検索 (HR_PSS_SEARCH) を使用して、個人を検索して選択します。

このページは、複数の呼出アプリケーションから呼び出されます。

ナビゲーション

単純検索 API の呼出ページで、オーナー ID 値を選択し、[API を実行] ボタンをクリックします。

画像: 個人検索 - 単純検索ページ

次の例では、個人検索 - 単純ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Person Search

Person Search

Search Criteria and Results

Instructions

You are transferring ownership of the selected Note to another person.
Use this page to search for, and identify the new Note owner by Name.

Enter full or partial name information in the fields below, then select the **Search** button to display a list of people meeting this Name criteria.

More information about a listed person can be viewed by selecting the  icon that appears next to the person's name.

Search Criteria

Name

Last Name

PEREZ

Second Last Name

First Name

ACName

☒ Employees

☐ Contingent Workers

☐ Other

☒ Active

☐ Inactive

Search

Search Results

☐ Adrianna Perez	
☐ Beatrice Perez	
☐ Butts-Alois Perez	

マウス オーバー ポップアップの設定

従業員のマウス オーバー ポップアップ ページを設定するには、マウスオーバー フィールド定義 (HR_MO_FLDNM_TBL)、マウスオーバー ページ デザイン (HR_MO_TBL)、およびマウスオーバー コンポーネント設定 (HR_MO_COMPONENTS) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、マウス オーバー ポップアップ ページの概要、従業員の写真とマウス オーバー ポップアップ ページの概要、およびアプリケーションのページに対するマウス オーバー ポップアップの設定方法について説明します。

従業員のマウス オーバー ページの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>マウスオーバー フィールド定義ページ</u>	HR_MO_FLDNM_TBL	マウスオーバー ページ デザイン コンポーネントで有効化され、マウス オーバー ポップアップ ページで使用できるマウス オーバー ポップアップ フィールドおよび補助フィールドを定義します。 システム データとして用意されているフィールドのみがマウスオーバー ポップアップ アプリケーション クラスによって取得されます。
<u>マウス オーバー列 1 ページ</u>	HR_MO_CL1_TBL	マウス オーバー ポップアップ ページの最初の列にフィールドを定義することで、マウス オーバー ページ デザインを作成します。
<u>マウス オーバー列 2 ページ</u>	HR_MO_CL2_TBL	マウス オーバー ポップアップ ページの 2 番目の列にフィールドを定義することで、マウス オーバー ページ デザインを作成します。
<u>マウスオーバー コンポーネント設定ページ</u>	HR_MO_COMP_SETUP_1	コンポーネントのマウス オーバー ポップアップ ページを使用可能にします。マウス オーバー ポップアップ機能を利用するコンポーネントを定義します。この設定では、ポップアップ タイプ、コンポーネントで使用するマウス オーバー ID、およびオーナー ID とサブ オーナー ID (必要な場合) を定義することになります。
<u>マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細ページ</u>	HR_MO_COMP_SETUP_2	マウス オーバー ページを取得する ID フィールドを指定します。

マウス オーバー ポップアップ ページについて

マウス オーバー ポップアップ機能では、この例に示すように、下に点線が引かれた個人名または ID の上でマウス ポインタを一時停止すると、従業員または応募者の追加情報をすばやく確認できます。

画像: 従業員の追加データを表示するマウス オーバー ポップアップ ページの例

マウス オーバー ポップアップ ページの例を示します。

Person Profile

Empl ID KU0101 Cynthia Adams

Profile Type PERSON

*Profile Status

*Description Cynthia Adams

Print Comments

Competencies	
ID	Competency
0100	Abstract thinking
0110	Ability to manage own time
0205	Teamwork and cooperation

Employee Details:

Name Cynthia Adams
 Title Corporate Controller
 Department Corporate Accounting
 Manager Betty Locherty
 E-Mail cynthia.adams@xyzcompany.com
 Phone 925.555.6543
 Address 4500 Corporate Lane
 Pleasanton, CA 94588

Proficiency Table:

Proficiency	
-Good	
-Good	
-Expert	

PeopleSoft HCM アプリケーションには、組織内の所属グループまたは他のグループに有用な方法で、このマウス オーバー ポップアップ ページを設定できる柔軟性があります。写真、職務名、部門、監督者の氏名、勤務地などの従業員情報が記載されているポップアップ ページを設定できます。あるいは、特定のビジネス プロセスの実行時には、従業員や応募者の電子メールなど、連絡先情報が記載されたポップアップにすると便利です。この電子メール連絡先情報は、クリックすると電子メール通知が起動するアイコンに関連付けることもできます。

さまざまなマウス オーバー ポップアップ ページ デザインを作成して、特定の製品、機能またはユーザー ロールに関連付けます。あるいは、複数の製品で同じデザインを共有します。たとえば、あるページには従業員の福利厚生の選択内容を表示し、別のページには従業員の休日スケジュールを表示するとさらに便利です。

マウス オーバー ポップアップ ページのレイアウトおよびデザイン

マウスオーバー ページ デザイン コンポーネントを使用して、マウス オーバー ID を指定し、これによって、所定のマウス オーバー ポップアップ ページに表示するフィールドおよび列の数を定義します。ページを異なって表示できる 3 つのレイアウト デザインが用意されています。

- 1 列のデータ (HR_MO_DSP_1_POP)
- 2 列のデータ (HR_MO_DSP_1_2_POP)
- 1 列目が従業員の写真、2 列目がデータ (HR_MO_DSP_P_2_POP)

各列にはフィールドを 7 つまで含めることができます。ただし、マウス オーバー ポップアップ ページに従業員の写真を入れた場合、イメージは列 1 に表示され、その列にその他のフィールドは表示されません。

PeopleSoft アプリケーションには、次のマウス オーバー ID が用意されています。

マウス オーバー ID	説明
APPLICNT_INFO_1	応募者情報 - 列 1 と 列 2 のデータ
APPLICNT_INFO_2	応募者情報 - 1 列のデータ
EMPLOYEE_INFO_1	従業員情報 - 従業員の写真と 1 列のデータ
EMPLOYEE_INFO_2	従業員情報 - 列 1 と 列 2 のデータ
EMPLOYEE_INFO_3	従業員情報 - 1 列のデータ

注: 用意されているいずれかのマウス オーバー ID のバリエーションを使用する場合は、その ID のマウス オーバー ページ デザインで行を挿入し、[オーナー ID] および [サブ ID] フィールドを使用することをお勧めします。用意されている値は、他のアプリケーションで使用される可能性があるため、行を挿入してオーナー フィールドを使用する以外は値を変更しないでください。用意されている ID を変更すると、現在、マウス オーバー ID を使用している他のアプリケーションに影響を与える可能性があります。

マウス オーバー ポップアップ ページのデザインを作成する前に、マウスオーバー フィールド定義コンポーネントで、ページに含めるフィールドを指定する必要があります。PeopleSoft アプリケーションには、次の定義済みのフィールドが用意されています。

応募者データ	個人および職務データ
• APPLID (応募者 ID) • APP_ADDRESS (応募者アドレス) • APP_EMAIL (応募者電子メール) • APP_EMAIL_PRF (応募者優先電子メール) • APP_EMPLID (応募者従業員 ID) • APP_NAME (応募者氏名) • APP_PERSON_ID (応募者個人 ID) • APP_PER_STATUS (応募者タイプ) • APP_PHONE (応募者電話番号) • APP_PHONE_PRF (応募者指定電話番号) • APP_POI_TYPE (応募者関係者タイプ) • APP_PERF_CONT (応募者指定連絡先) • APP_STATUS_CODE (応募者ステータス コード) • APP_STATUS_REASON (応募者ステータス理由)	• ADDRESS (住所) • BUSINESS_UNIT (ビジネス ユニット) • COMPANY (会社) • DEPTID (部門) • EMAIL (電子メール) • EMPLID (個人 ID) • EMPL_STATUS (給与ステータス) • ESTABID (事業所 ID) • GRADE (等級) • HR_STATUS (HR ステータス) • JOBTITLE (職務名) • LOCATION (勤務地) • MANAGER_ID (管理者) • NAME (従業員名) • PHONE (電話) • REG_REGION (法定区域) • SAL_ADMIN_PLAN (給与プラン)

警告 他のフィールドの追加はカスタマイズと見なされ、新しいフィールドに関連付けられているデータを取得する際に使用するアプリケーション パッケージ/クラス (HR_MO_COMMON: SET_UP_COMMON) PeopleCode を修正する必要があります。

PeopleTools アプリケーション デザイナの設定

マウス オーバー ポップアップ ページのほとんどの設定は、HCM システムに用意されている PIA 設定 ページを介して実行します。ただし、ページ ポップアップを有効にし、ページ レイアウトを選択することで、アプリケーション デザイナで、ページ フィールド プロパティにマウス オーバー ポップアップ プロパティを設定することも必要です。これは、マウスオーバー ページ デザイン コンポーネントの [提示されるポップアップ ページ] フィールドで指定します。マウス オーバー ポップアップを設定すると、ポップアップが起動されるフィールドの下線に点線のマウスオーバー インジケータが表示されます。

注: 従業員または応募者の ID がレコード構造のレベル 0 に配置されてる場合は、HCM のさまざまな多くのページにマウス オーバー ポップアップ機能を適用できます。

重要 マウス オーバー ポップアップ付きで使用するようページ フィールド プロパティを設定し、このページをコンポーネントで使用すると、ページにマウス オーバー インジケータが表示されます。このページが複数のコンポーネントに存在し、その各コンポーネントが適切に設定されていない場合は、適切でないことを示すメッセージが表示されます。

ページ レベルおよびマウス オーバー ポップアップ ページの有効化の詳細については、『*PeopleTools: Application Designer Developer's Guide*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

従業員の写真とマウス オーバー ポップアップ ページについて

管理者セルフサービス マウス オーバー ポップアップ ページで、管理者が従業員の写真および従業員の詳細を表示できるように、システムを設定できます。ただし、インストール テーブル - HCM オプション ページで、[セルフサービスで表示] チェック ボックスがオンになっている場合、PeopleSoft システムでは、さまざまなセルフサービス トランザクション ページに従業員の写真が既に表示されています。ページに対して従業員の写真とマウス オーバー ポップアップの両方を使用可能にすると、従業員名の横にあるヘッダー セクションに従業員の写真が表示され、これらのページに提供されるマウス オーバー コンポーネント設定は、従業員の写真が含まれないマウス オーバー ID を使用するよう設定されます。これはマウスオーバー コンポーネント設定ページで行います。

次の表は、用意されている管理者セルフサービス ページの一覧で、インストール テーブルで従業員の写真を使用可能に指定するとヘッダーに写真が表示され、さらにマウス オーバー ポップアップも指定されると、結果的にポップアップには写真を使用しないマウス オーバー ID を使用するよう設定されます。

管理者セルフサービス メニュー グループ	トランザクション ページ
職務/個人情報	従業員個人情報の表示 昇進・昇格処理 昇進・昇格の承認 昇進・昇格ステータスの表示 従業員の転属処理 転属の承認 転属ステータスの表示 従業員の退職処理 退職の承認 退職ステータスの表示 従業員の雇用終了処理 従業員雇用終了の承認 従業員雇用終了ステータスの表示 職務変更リクエスト 職務変更の確認 常勤/パートタイム ステータスの変更リクエスト 常勤/パート ステータスの承認 常勤/パート変更ステータスの表示 勤務地変更の承認 勤務地変更ステータスの表示
報酬およびストック	アドホック給与変更リクエスト 給与履歴の表示
キャリア プラン	キャリア プランの管理

インストール テーブルで [従業員が写真をアップロード可能] オプションが選択されている場合は、HR システム写真、個人でアップロードした写真、またはダミーのデフォルト写真のいずれかの写真をヘッダー セクションに表示するように、従業員がオプションを決定できます。

マウスオーバー フィールド定義ページ

マウスオーバー フィールド定義ページ (HR_MO_FLDNM_TBL) を使用して、マウスオーバー ページ デザイン コンポーネントで有効化され、マウス オーバー ポップアップ ページで使用できるマウス オーバー ポップアップ フィールドおよび補助フィールドを定義します。

システム データとして用意されているフィールドのみがマウスオーバー ポップアップ アプリケーション クラスによって取得されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マウス オーバー ポップアップ], [マウスオーバー フィールド定義], [マウスオーバー フィールド定義]

画像: マウスオーバー フィールド定義ページ

次の例では、マウスオーバー フィールド定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

MouseOver Field Definition

Field Name

JOBTITLE

Field Name Data

Find | View All

Field Name Data

1 of 1

Last

*Effective Date

01/01/1900

*Status

Active

*Description

Job Title

Short Description

Job Title

Label

Title

Supporting Fields for Setup

☒ Show Display Field

☒ Show Type Field

☐ Show Icon Field

マウス オーバー ポップアップ ページで使用するように設定するフィールドを定義します。この機能には 31 のフィールドが用意されています。他のフィールドの追加はカスタマイズと見なされ、新しいフィールドに関連付けられているデータを取得する際に使用するアプリケーション パッケージ/クラス (HR_MO_COMMON: SET_UP_COMMON) への PeopleCode 修正が必要になります。

注: システム データとして用意されているフィールドのみがマウスオーバー ポップアップ アプリケーション クラスによって取得されます。データを取得するために、コンポーネントに追加される新しいフィールドには HR_MO_COMMON アプリケーション パッケージ への変更が必要です。

フィールド名

ユーザー用にマウス オーバー ポップアップ ページのデザインを作成する場合は、マウスオーバー ページ デザイン ページで入力できるようにフィールド名を定義します。PeopleSoft アプリケーションには、マウス オーバー ポップアップ ページのために複数の定義済みフィールドが用意されています。

「マウス_オーバー_ポップアップ_ページについて」を参照してください。

ラベル

マウス_オーバー_ポップアップ_ページに表示されるデフォルトのラベル名を定義します。ここに入力する値は、マウス_オーバー_列 1 ページとマウス_オーバー_列 2 ページの [ラベル] フィールドのデフォルト値になりますが、そのページで値を上書きできます。

設定用の補助フィールド

表示フィールドを表示

マウスオーバー ページ デザイン ページに [表示] フィールドを表示するには、このフィールドのチェック ボックスをオンにします。[表示] フィールドを使用して、マウス_オーバー_ポップアップ_ページのフィールド値の表示 (コードを表示、名称を表示、またはコードと名称の両方を表示) を指定します。たとえば、[部門] フィールドに "11000" の部門コードを表示するか、"会計" の部門名を表示するか、"11000 会計" というコードと名称の両方を表示するかを決定できます。

タイプ フィールドを表示

マウスオーバー ページ デザイン ページに [フィールド タイプ] フィールドを表示するには、このフィールドのチェック ボックスをオンにします。フィールドに同じデータの異なるタイプを使用する可能性がある場合は、[フィールド タイプ] フィールドを使用します。たとえば、個人の電話に対して [自宅]、[勤務先] または [その他] のタイプを使用することがあります。

アイコン フィールドを表示

マウスオーバー ページ デザイン ページに [アイコン ID] フィールドを表示するには、このフィールドのチェック ボックスをオンにします。フィールドにイメージを関連付けることが予想される場合は、[アイコン ID] フィールドを使用します。たとえば、ユーザーが選択すると別のウィンドウが表示され、電子メール ソフトウェアが起動するアイコン イメージが付いた電子メール フィールドが必要な場合があります。

注: PeopleSoft アプリケーションは、電子メール フィールドアイコンをサポートするように設定されています。その他のタイプのソフトウェアを使用するには、PeopleCode への変更が必要になります。

マウス_オーバー_列 1 およびマウス_オーバー_列 2 ページ

マウス_オーバー_列 1 ページ (HR_MO_CL1_TBL) を使用して、マウス_オーバー_ポップアップ_ページの最初の列にフィールドを定義することで、マウス_オーバー_ページ デザインを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マウス オーバー ポップアップ], [マウスオーバー ページ デザイン], [マウス オーバー列 1]

画像: マウス オーバー列 1 ページ

次の例では、マウス オーバー列 1 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Mouse Over Column 1

Mouse Over Column 2

Mouse Over ID EMPLOYEE_INFO_2

Mouse Over Data

Find | View AllFirst1 of 1Last

*Effective Date 01/01/1900

*Description Employee Info Popup Page - Column 1 and Column 2

Owner ID / Sub ID Data

Find | View AllFirst1 of 1Last

Owner ID

Sub ID

☐ Include Employee Picture

Suggested Popup Page HR_MO_DSP_1_2_POP

Column 1	*Ord Seq	*Field Name	*Fieldname	*Field Type	*Display	Label	Icon ID	Personalize	Find	Icon	Icon Text	First	1-5 of 6	Last
1	1	NAME	Employee Name			Name								
2	2	JOBTITLE	Job Title	Job Title	DESC	Title								
3	3	COMPANY	Company		DESC	Company								
4	4	DEPTID	Department		DESC	Department								
5	5	MANAGER_ID	Manager	Position then Supervisor		Manager								
6	99	ADDRESS	Address Description	Business		Address	PS_ADDRESS_MAP_ICN				Google Map			

マウス オーバー列 2 ページ (HR_MO_CL2_TBL) を使用して、マウス オーバー ポップアップ ページの 2 番目の列にフィールドを定義することで、マウス オーバー ページ デザインを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マウス オーバー ポップアップ], [マウスオーバー ページ デザイン], [マウス オーバー列 2]

画像: マウス オーバー列 2 ページ

次の例では、マウス オーバー列 2 ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Mouse Over Column 1

Mouse Over Column 2

Mouse Over ID EMPLOYEE_INFO_2

Mouse Over Data

Find | View AllFirst1 of 1Last

Effective Date 01/01/1900

Description Employee Info Popup Page - Column 1 and Column 2

Owner ID / Sub ID Data

Find | View AllFirst1 of 1Last

Owner ID

Sub ID

Column 2	*Ord Seq	*Fieldname	*Field Type	*Display	Label	Icon ID	Icon	Icon Text	First	1-5 of 5	Last
1	1	E-Mail	Business		E-Mail	IM_ICON_EMAIL1		Work Email			
2	2	Phone	Business		Phone						
3	3	Business Unit		DESC	Business Unit						
4	4	Location		DESC	Location						
5	99	Address Description	Business		Address	PS_ADDRESS_M/		Map			

注: マウス オーバー列 2 ページはマウス オーバー列 1 ページの設定と同様に設定しますが、[オーナー ID]/サブ ID データ フィールドが異なります。[従業員の写真を含む] チェック ボックスおよび [ポップアップ ページ] フィールドは、マウス オーバー列 1 ページのみで使用できます。[オーナー ID] および [サブ ID] フィールドは、マウス オーバー列 2 ページにのみ表示されます。

マウス オーバー ポップアップ ページを作成する際は、列 1 のみ、列 2 のみ、または列 1 と列 2 の両方を表示するようにフィールドを定義できます。

マウス オーバー ID

この固有のマウス オーバー ポップアップ ページレイアウトを定義するマウス オーバー ID を入力します。このコードは、このマウス オーバー ポップアップ レイアウトを使用する各コンポーネントに関連付けることになります。

提供されているマウス オーバー ID の詳細については、「[マウス オーバー ポップアップ ページについて](#)」を参照してください。

オーナー ID / サブ ID データ

このレベルによって、オーナーおよびサブ オーナーのマウス オーバー ポップアップ ページにさまざまな項目が表示されます。複数の異なるオーナー ID およびページ構造を、同じマウス オーバー ID に関連付けることができます。

オーナー ID

さまざまなオーナーに対して表示が異なる同じポップアップ ページがある場合は、オーナー ID を入力します。たとえば、グループまたはアプリケーションが同じマウス オーバー ID を使用し、既存の ID のデータ詳細には変更が必要な場合は、このフィールドを使用します。

オーナー ID を指定しなかった場合は、最も新しい有効なマウス オーバー ID を使用してページが表示されます。マウスオーバー コンポーネント設定ページでマウス オーバー ID をコンポーネントに関連付ける場合は、オーナー ID を入力して、このオーナー用にデザインされた固有のマウス オーバー ポップアップ ページを指定することもできます。

従業員の写真を含む

ポップアップ ページに従業員の写真を表示するには、このチェック ボックスをオンにします (使用可能な場合)。このチェック ボックスをオンにすると、列 1 のフィールドは入力不可になり、写真以外のその他のデータは列 1 に表示されないことを示すメッセージが表示されます。

注: このフィールドは、マウス オーバー列 1 ページでのみ有効で、従業員の写真を表示するものであり、応募者のマウス オーバー ポップアップ ページには使用しません。

インストール テーブル - HCM オプション ページで、[写真を表示] オプションが選択解除されている場合は、[従業員の写真を含む] が選択されているマウス オーバー ポップアップ ページにダミー写真が表示されます。

サブ ID

さまざまなサブ オーナーに対して表示が異なる同じポップアップ ページを表示するために、サブ オーナー ID を入力します。

オーナー ID またはサブ オーナー ID を指定しなかった場合は、最も新しい有効なマウス オーバー ID を使用してページが表示されます。マウスオーバー コンポーネント設定ページでマウス オーバー ID をコンポーネントに関連付ける場合は、オーナー ID およびサブ オーナー ID を入力して、このオーナーまたはサブ オーナー用にデザインされた固有のマウス オーバー ポップアップ ページを指定することもできます。

提示されるポップアップ ページ

選択したマウス オーバー ID を使用している場合は、アプリケーション デザインでのページの保存時に、ページ レイアウト名が表示され、ページに適用するポップアップ/レイアウトを決定します。ページ レイアウトとして、1 列のデータ (HR_MO_DSP_1_POP) のページ、2 列のデータ (HR_MO_DSP_1_2_POP) のページ、または従業員の写真と 1 列のデータ (HR_MO_DSP_P_2_POP) のページを指定します。

列 1 および列 2

このグリッド ボックスのフィールドは、マウスオーバー フィールド定義ページで選択した [フィールド名] の値と、このフィールド名に対して選択した補助フィールドによって異なります。これらのページで入力したフィールドおよびフィールド詳細データによって、ユーザーへのマウス オーバー ポップアップ ページの表示方法が決まります。

注: 1 つの列に対してフィールドを 7 つまで選択できます。

順序

システムによって 99 の順序が自動的に割り当てられる、住所 フィールドを除くあらゆるフィールド名に 98 までの順序を入力できます。マウス オーバー ページのレイアウトでは住所は 2 行に表示されるため、住所フィールドは列の下部に配置されます。

フィールド名、フィールド名

マウス オーバー ポップアップ ページに表示するフィールドを選択します。値はマウスオーバー フィールド定義ページで定義されます。[フィールド名] フィールドに値を入力すると、[フィールド名] の値が表示されます。グリッドには、マウスオーバー フィールド定義ページで選択した補助フィールドに基づいて追加のフィールドが表示されます。

フィールド タイプ

使用可能な複数のオプションがある場合に表示する、フィールド値の特定のタイプを選択します。たとえば、[電話] フィールドに

勤務先電話番号または自宅電話番号のいずれを表示するかを選択します。

このフィールドは、このフィールド名に対するマウスオーバーフィールド定義ページで、[タイプ フィールドを表示] チェック ボックスがオンになっている場合に使用できます。

表示

ユーザーに対するフィールド値の表示方法を指定します。選択できる表示方法は、フィールド値のコード (*CODE*)、フィールドの名称 (*DESC*)、またはフィールドのコードと名称の両方 *BOTH* です。たとえば、"290000" の職務コードを表示するか、"事務職" の職務名を表示するか、"290000 事務職" というコードと名称の両方を表示できます。

このフィールドは、このフィールド名に対するマウスオーバーフィールド定義ページで、[表示フィールドを表示] チェック ボックスがオンになっている場合に使用できます。

ラベル

ユーザーに表示するラベル名を入力します。フィールド値はマウスオーバー フィールド定義ページからデフォルトで提供されますが、このページで値を上書きできます。

アイコン ID

ユーザーがクリックして個人に連絡できるように、ユーザーに表示するアイコンを指定します。たとえば、ユーザーは、電子メールソフトウェアが起動される電子メール アイコンをクリックできます。PeopleSoft アプリケーションでは、電子メールを介して個人に連絡する、この機能をサポートしています。

このフィールドは、このフィールド名に対するマウスオーバーフィールド定義ページで、[アイコン フィールドを表示] チェック ボックスがオンになっている場合に使用できます。

アイコン

[アイコン ID] フィールドで選択したアイコンが表示されます。

アイコン テキスト

ユーザーがアイコン上にマウスのポインタを重ねたときに表示されるテキストを指定します。アイコン ID の名称がデフォルト値として表示されますが、ここで値を上書きできます。このフィールドは、[アイコン ID] フィールドで値を選択した後の入力に対して有効になります。

マウスオーバー コンポーネント設定ページ

マウスオーバー コンポーネント設定ページ (HR_MO_COMP_SETUP_1) を使用して、コンポーネントのマウス オーバー ポップアップ ページを有効にします。

マウス オーバー ポップアップ機能を利用するコンポーネントを定義します。この設定では、ポップアップタイプ、コンポーネントで使用するマウス オーバー ID、およびオーナー ID とサブ オーナー ID (必要な場合) を定義することになります。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [マウス オーバー ポップアップ], [マウスオーバー コンポーネント設定], [マウスオーバー コンポーネント設定]

画像: マウスオーバー コンポーネント設定ページ

次の例では、マウスオーバー コンポーネント設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

MouseOver Component Setup									
Setup Components for Use of MouseOver Popup					Personalize Find View 100 First 16-30 of 952 Last				
*Component Name	*Market	MouseOver Popup Type	Include Job	*Mouse Over ID	Owner ID	Sub ID	Person Detail		
16 ADDITIONAL_PAY	NLD	Employee	☒	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
17 ADDITIONAL_PAY	USA	Employee	☒	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
18 ADDL_HRS_INC_NL	NLD	Employee	☒	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
19 ADDL_INFO_ARG	GBL	Employee	☒	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
20 ADDL_INFO_BRA	GBL	Employee	☒	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
21 ADD_HOST_ASSIGN	GBL	Employee	☐	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
22 ADD_PER_ORG_ASGN	GBL	Employee	☐	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		
23 ADJUST_1042_BALANC	USA	Employee	☐	EMPLOYEE_INFO_1			Person Detail		

コンポーネント名

マウス オーバー ポップアップ機能を利用するコンポーネントを指定します。

マーケット

コンポーネントのマーケットを指定します。マウスオーバー ポップアップ キー構造はコンポーネント別ですが、同じコンポーネント名の異なるマーケットが存在する場合は、マーケットで区別できます。たとえば、コンポーネント名の方の行に "CAN"、コンポーネント名のもう一方の行に "USA" のマーケット コードを入力することで、カナダとアメリカの延滞残高を区別します。

マウスオーバー ポップアップ タイプ

このコンポーネントで使用するマウス オーバー タイプを選択します。値は [従業員] および [応募者] です。

職務を含める

ポップアップを介して取得されるデータが特定の従業員レコード番号に基づいている場合に、ユーザーが従業員レコード番号を指定できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスをオフにすると、従業員の現在有効な職務データが使用されます。

マウス オーバー ID

このコンポーネントに関して使用するマウス オーバー ID を入力します。マウス オーバー ID によってマウス オーバー ポップアップ ページの外観が決まりますが、これはマウスオーバー ページ デザイン コンポーネントで定義されます。

ヘッダーに従業員の写真が既に表示されている管理者セルフサービス ページには、従業員の写真を使用しないマウス オーバー ID (EMPLOYEE_INFO_3) を使用ようになります。用意されているページのリストについては、「[従業員の写真とマウス オーバー ポップアップ ページについて](#)」トピックを参照してください。

オーナー ID、サブ ID

さまざまなオーナーに対して表示が異なる同じポップアップ ページがある場合は、オーナー ID またはサブ オーナー ID を入力します。オーナー ID またはサブ オーナー ID を指定しなかった場合は、最も新しい有効なマウス オーバー ID を使用してページが表示されます。

個人詳細

個人詳細ページにアクセスし、マウス オーバー ポップアップ ページを起動するレコード名およびフィールド名を入力するには、このリンクをクリックします。

注: アプリケーション デザイナでマウス オーバー ポップアップ ページを使用するには、ページのフィールドプロパティを設定する必要があります。設定すると ID の下に点線が表示され、これはフィールドに対するマウス オーバー ポップアップ機能が有効になったことを意味します。ポップアップ ページが指定されているコンポーネントが、マウスオーバー コンポーネント設定コンポーネントで適切に設定されていない場合は、エラー メッセージが表示されます。

詳細については、『*PeopleTools: PeopleSoft Application Designer Developer's Guide*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細ページ

マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細ページ (HR_MO_COMP_SETUP_2) を使用して、マウス オーバー ページを取得する ID フィールドを指定します。

ナビゲーション

マウスオーバー コンポーネント設定ページで [個人詳細] をクリックします。

画像: マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細ページ

次の例では、"マウスオーバー コンポーネント設定 - 個人詳細" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

MouseOver Component Setup

Data

Component Name

JOB_DATA

Market

GBL

MouseOver Popup Type

Employee

☒ Include Job

Note: All fields entered below must appear in the level 0 scroll area of the selected component.

Employee Record and Field

Employee Record Name

PER_ORG_ASGN

Employee Field Name

EMPLID

Employment Record and Field

Job Record Name

PER_ORG_ASGN

Job Fieldname

EMPL_RCD

Return

従業員または応募者のレコードおよびフィールド

マウスオーバー コンポーネント設定ページで [職務を含める] チェック ボックスがオフの場合は、次のフィールドのみが入力の対象となります。

- 従業員レコード名、応募者レコード名

選択したコンポーネントのレコードを入力します。これは従業員情報または応募者情報を取得する際にシステムによって使用されます。
- 従業員フィールド名、応募者フィールド名

マウス オーバー ポップアップ ページを起動して、従業員情報または応募者情報を取得する、[従業員/応募者レコード名] フィールドに指定されたレコードのフィールドを指定します。

重要 応募者情報または従業員情報の取得に使用されるフィールドは、コンポーネントのレベル 0 である必要があります、また、アプリケーション デザイナで、ページ フィールド プロパティにマウス オーバー ポップアップ プロパティを設定する必要があります。

詳細については、『*PeopleTools: PeopleSoft Application Designer Developer's Guide*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

雇用レコードとフィールド

次の各フィールドは、マウス オーバー ポップアップ タイプが [従業員] であり、マウスオーバー コンポーネント設定ページで、コンポーネントの [職務を含める] チェック ボックスがオンになっている場合に表示されます。

職務レコード名	選択したコンポーネントのレコード名を入力します。これは従業員レコード番号に固有の職務関連情報を取得する際にシステムによって使用されます。
職務フィールド名	職務レコード内のフィールド名を入力します。これは従業員レコード番号に固有の職務関連情報を取得する際にシステムによって使用されます。

注: レコードおよびフィールドは、コンポーネントのレベル 0 である必要があります。

インスタント メッセージ ID の設定と検証

次の各トピックでは、インスタント メッセージングの概要、インスタント メッセージングの設定、およびインスタント メッセージ ID の検証方法について説明します。

インスタント メッセージ ID のテストに使用するページ

ページ名	定義名	用途
個人インスタントメッセージ テスタ ページ	HR_PERSON_IM_TEST	個人のインスタント メッセージ ID をテストします。

インスタント メッセージングについて

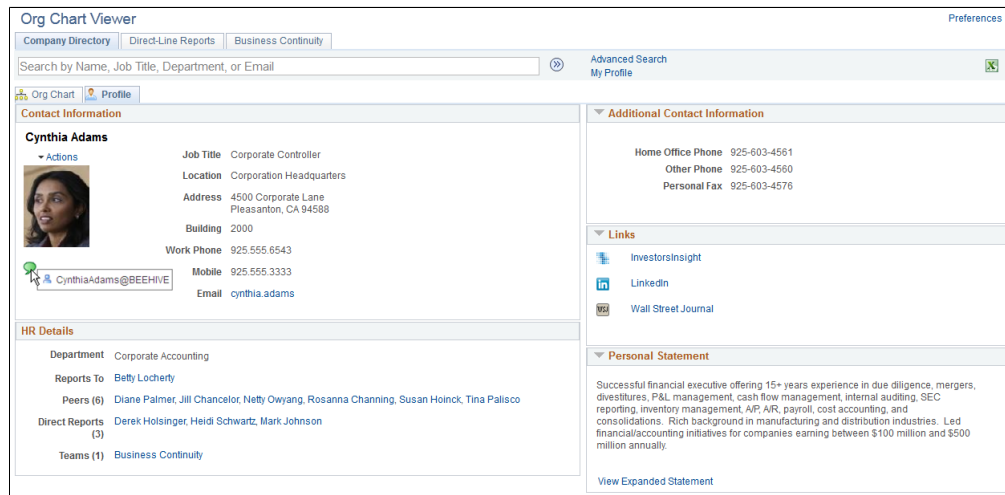
個人の住所、電子メール、および電話番号の連絡先情報の管理に加えて、PeopleSoft HCM アプリケーションでは、インスタント メッセージング (IM) の使用による組織内のコラボレーションがサポートされています。インスタント メッセージングは、2 人以上の個人が共有クライアントを使用して行うリアルタイムの直接テキストベース通信の一種です。従業員は、セルフサービスのページからインスタント メッセージ ID を入力できます。この情報が取得されて HR 個人データのページに保存されるか、あるいは管理者が、個人情報情報の追加コンポーネント (または採用処理) または個人情報情報の更新コンポーネントを使用して HR に直接入力できます。

IM を設定して、従業員の IM データをシステムに保存することによって、組織ではアプリケーション ページからのインスタント通信を有効にできます。たとえば、会社ディレクトリの各ページで別の従業員の連絡

先詳細を表示しているとき、IM 在席状態アイコンの上にカーソルを置くと、その個人の IM 情報を表示でき、クリックするとその個人とのインスタント チャットをそのページから直接開始できます。

画像: 従業員の [IM 在席状態] アイコンが表示された組織図ビューア: プロファイル ページの例

次の例では、従業員の [IM 在席状態] アイコンが表示された組織図ビューア: プロファイル ページの例のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



インスタント メッセージングの設定について

インスタント メッセージングは、PeopleTools マルチチャネル フレームワークを使用してこの機能をサポートします。

PeopleSoft マルチチャネル フレームワークには、パブリック ネットワークを介してインスタント メッセージングをサポートするための統合インフラストラクチャが用意されています。インスタント メッセージングのネットワーク (パブリックおよびプライベート) は、IM の単一ボタン在席状態検出用に実装されており、サーバー設定コンポーネント ([PeopleTools], [マルチチャネル フレームワーク], [インスタント メッセージング], [在席状態], [サーバー設定]) 内で設定されます。

[IM 在席状態] アイコンをビジネス プロセスのページに表示して利用するには、サーバー設定コンポーネントで IM ドメインを設定する必要があります。

マルチチャネル フレームワークでは、インスタント メッセージング用に次の IM ネットワーク プロトコルがサポートされています。

- GTALK
- MSN
- XMPP
- Yahoo

これらの設定レコードのビューは、従業員のチャット ID 詳細を取得して、この情報を、HCM 個人データ (PERSON モデル) に関連付けられている PERSON_IMCHAT レコードに保存する際に使用します。

XMPP サーバー用の IM ユーザーの設定

ユーザーの在席状態の情報を XMPP 設定済みの IM サーバーから取得するには、ユーザーがサーバーにログインする必要があります。各ユーザーは、XMPP サーバー用の自分のユーザー ID とパスワードを入力する必要があります。XMPP ログイン情報がユーザー プロファイルに入力されている場合は、設定済みの XMPP サーバーへのログイン プロセスは、ユーザーが PeopleSoft にサインオンすると自動的に行われます。

このタスクを実行するには、[マイ システム プロファイル] または [PeopleTools]、[セキュリティ]、[ユーザー プロファイル]、[ユーザー プロファイル] の順に移動します。[インスタント メッセージング情報] リンクをクリックし、使用している各 XMPP ドメイン用のユーザー ID とパスワードを入力します。

『PeopleTools: PeopleSoft MultiChannel Framework』の「Configuring Instant Messaging in PeopleSoft MultiChannel Framework」を参照してください。

個人インスタント メッセージ テスタ ページ

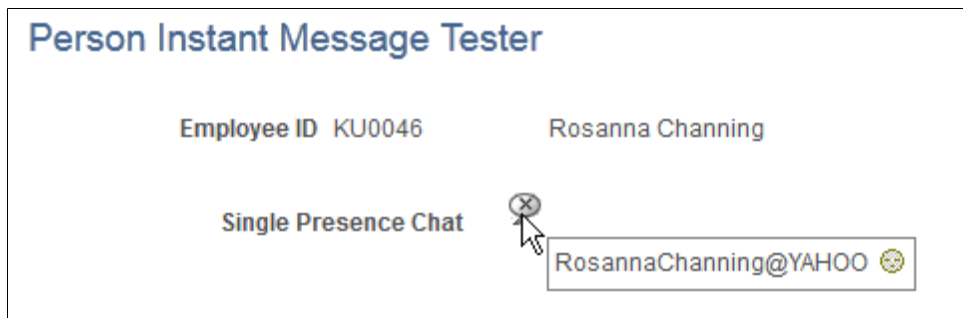
個人インスタント メッセージ テスタ ページ (HR_PERSON_IM_TEST) を使用して、個人のインスタント メッセージ ID をテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [個人インスタント メッセージ テスタ], [個人インスタント メッセージ テスタ]

画像: 個人インスタント メッセージ テスタ ページ

次の例では、個人インスタント メッセージ テスタ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



[単一在席状態チャット] アイコンには、次のようにさまざまな IM アイコンが表示されます。



指定した IM プロトコルで従業員が使用可能であることを示します。



指定した IM プロトコルで従業員が使用可能でないか、または従業員にその IM プロトコルのアカウントがないことを示します。



IM プロトコルへの接続中にエラーが発生したことを示します。

[単一在席状態チャット] アイコンの上にカーソルを置くと、従業員に対して設定されている全てのインスタント メッセージ ID が表示されます。

HR ノートパッドの設定と使い方

HR ノートパッドを設定するには、HR ノートパッドの設定 (HR_NP_CONFIG) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、HR ノートパッドの概要、および HR ノートパッドの設定方法と使用方法について説明します。

HR ノートパッドの設定と処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
HR ノートパッドの設定 - アプリケーションページ	HR_NP_CONFIG_HDR	アプリケーション別に HR ノートパッドを設定します。
HR ノートパッドの設定 - キーの設定ページ	HR_NP_CONFIG2	メモの保存条件を設定します。
HR ノートパッドの設定 - リンクの設定ページ	HR_NP_CONFIG3	アプリケーション メモ ページに表示されるリンクを設定します。
ノートパッド テスタ ページ	HR_NP_TEST_API	ノートパッドの設定内容についてテストします。
<アプリケーション ページ> ノートパッド ページ	HR_NP_NOTE_SRCH	ノートパッド ページにアクセスして、メモを検索および入力します。
選択済メモ ページ	HR_NP_NOTE	メモを入力または更新します。
削除の確認ページ	HR_NP_MESSAGE	メモの削除を確認します。
個人検索ページ	HR_PSS_SEARCH	選択したメモの所有権を別の個人に移管します

HR ノートパッドについて

ノートパッドはテキスト ベースのメモの論理グループ、言い換えれば、アプリケーションの適用条件においてユーザーが入力したメモの集まりです。たとえば、ePerformance の適用条件において従業員のパフォーマンス ノートパッドがあるとします。

HR ノートパッドを更新するプラグイン アプリケーションは、全ての HCM アプリケーションと統合できます。このプラグイン アプリケーションでは、アプリケーション データ行に関連する論理メモを記録できます。アプリケーション別に分割された共通データ構造を使用して、メモが保存されます。

ノートパッドは、テキスト ベースのメモを作成、編集、表示、削除するためにユーザーが使用できる一貫性のあるユーザー インターフェイス (UI) を提供します。ノートパッド UI は、メモを選択して管理するための 2 つのページと、警告とエラーを表示するための 2 次ページと、メモ履歴を表示するための 3 次ページから成る単一コンポーネントです。ほとんどの場合、アプリケーション ページに [メモ更新/表示] アイコンが表示されている場合はノートパッドのページにアクセスできます。



[メモ更新/表示] アイコンを使用すると、ユーザーはノートパッドのページにアクセスして、メモを入力し、表示できます。

ノートパッド UI は全てのアプリケーションで一貫性がありますが、特定のアプリケーションに固有の詳細なノートパッド表示や動作については、設定テーブルの、そのアプリケーション用のエントリで定義します。このエントリでは、ノートパッド UI の動作、および特定のアプリケーションで使用されるキーを定義します。この設定テーブルを使用して、現在標準でノートパッド機能が提供されていないアプリケーションにノートパッド ページを統合できます。また、PeopleTools で作成したアプリケーションにノートパッド機能を追加したり、ノートパッド ページの外観を変更することもできます。

HR ノートパッドの設定 - アプリケーション ページ

HR ノートパッドの設定 - アプリケーション ページ (HR_NP_CONFIG_HDR) を使用して、アプリケーション別に HR ノートパッドを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [HR ノートパッドの設定], [HR ノートパッドの設定]

画像: HR ノートパッドの設定 - アプリケーション ページ

次の例では, "HR ノートパッドの設定 - アプリケーション" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

HR Notepad Configuration									
Applications									
Object Owner ID	Description	Sub-Id	*Privacy	Allow Deletions	Allow Transfers	Audit	Configure		
HDEP	HR Germany Public Sector	GPSP	Others can Edit	☒	☐	☐	Configure		
HEP	ePerformance Management	E	Private	☒	☒	☐	Configure		
HEP	ePerformance Management	M	Private	☒	☒	☐	Configure		
HHR	Human Resources	JOB	Others can View	☒	☒	☐	Configure		
HHR	Human Resources	MIL	Others can View	☒	☒	☐	Configure		
HHR	Human Resources	SP	Others can View	☒	☒	☐	Configure		
HHR	Human Resources	TPOO	Others can View	☒	☒	☐	Configure		
HHR	Human Resources	WAGE	Others can Edit	☒	☐	☐	Configure		

オブジェクト オーナー ID、名称

オブジェクト オーナーを選択します。オブジェクト オーナーの名称が表示されます。

- プライバシー
- 以下のオプションから選択します。
- 個人専用: メモのオーナーのみがメモにアクセスできます。
 - 他者表示可: 誰でもこの分割部分の既存メモを表示できますが、更新できるのはメモのオーナーのみです。
 - 他者編集可: 誰でもこの分割部分の既存メモを表示および編集できます。

削除可

このチェック ボックスをオンに設定すると、メモを削除できます。

移管可

このチェック ボックスをオンに設定すると、メモを入力した所有者がメモの所有権を別の個人に移管できます。

オーディット

このチェック ボックスをオンに設定すると、この分割部分の変更のオーディット機能が使用可能になります。移管や削除を含めた既存のメモに対する全ての変更履歴が、自動的に保持されます。

設定

キーの設定ページにアクセスします。

HR ノートパッドの設定 - キーの設定ページ

"HR ノートパッドの設定 - キーの設定" ページを使用して (HR_NP_CONFIG2) を使用して、メモの保存条件を設定します。

ナビゲーション

"HR ノートパッドの設定 - アプリケーションの選択" ページで、アプリケーションに対する[設定] リンクをクリックします。

画像: HR ノートパッドの設定 - キーの設定ページ

次の例では、"HR ノートパッドの設定 - キーの設定" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

	Prompt Table	Prompt Field	Key Field Label	Related Display Field	Hide Key	Required	Enterable	Required for Query	Display on Grid
☐	1 PERSON_NAME	EMPLID	Employee ID	NAME_DISPLAY	☐	☒	☐	☒	☒
☐	2 JOB	EMPL_RCD	Empl Rcd Nbr		☐	☒	☐	☒	☒
☐	3				☐	☐	☐	☐	☐
☐	4				☐	☐	☐	☐	☐
☐	5				☐	☐	☐	☐	☐
☐	6				☐	☐	☐	☐	☐

このページは、ノートパッド キー設定用であり、6 つの条件キー行があります。グリッドの各行では、1 つのキー設定要件がサポートされます。

プロンプト テーブル

ユーザーが UI のキー検索フィールドに値を入力するときに、有効値リストへの値の表示やエントリの検証に使用されるテーブルを選択します。

プロンプト フィールド

有効値リストの値を取得する、プロンプト テーブル内のフィールドを選択します。プロンプト テーブル フィールドに値を入力する場合は、このフィールドにも値を入力する必要があります。

キー フィールド ラベル

このフィールドに対してページに表示される設定可能なラベルを選択します。

関連する表示フィールド

値の関連フィールドとして UI に表示される、プロンプト テーブルのフィールド名を入力します。このフィールドに対する入力は任意です。このフィールドを指定しない場合、この条件キーには関連フィールドは表示されません。たとえば、日付や番号の条件キーには、通常は表示フィールドを指定しません。

キーを非表示

UI ページにこのキー フィールドを表示させるかどうかを設定します。デフォルトでは、このチェック ボックスはオンになっています。

必須

このチェック ボックスをオンに設定すると、メモを追加する際に、このキー フィールドが必須入力フィールドであることを示します。デフォルトでは、このチェック ボックスはオフになっています。

入力可能

このチェック ボックスをオンに設定すると、UI 検索条件でこのキー フィールドに値を入力できます。デフォルトでは、このチェッ

クボックスはオンになっています。このチェック ボックスをオフにすると、このキーの値は API によって自動的にロードされて UI に表示されます。ユーザーによる変更は認められません。

クエリーに必須

このチェック ボックスをオンに設定すると、検索条件に一致するメモの一覧を参照したり、新規メモを追加する際に、UI 検索条件にこのキーを入力する必要があります。デフォルトでは、このチェック ボックスはオフになっています。

グリッド上に表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、検索条件を満たすメモの一覧に条件キー値が表示されます。[クエリーに必須] チェック ボックスがオフに設定されている条件キーでは、このチェック ボックスは通常オンに設定されます。

選択した行をクリア

この設定から消去する条件キー行を選択した後で、このボタンをクリックします。ページには引き続き行が表示されますが、プロンプト テーブルとフィールドの情報は消去されます。

HR ノートパッドの設定 - リンクの設定ページ

HR ノートパッドの設定 - リンクの設定ページ (HR_NP_CONFIG3) を使用して、アプリケーション メモ ページに表示されるリンクを設定します。

ナビゲーション

"HR ノートパッドの設定 - キーの設定" ページ下部にある、[リンクの設定] リンクをクリックします。

画像: HR ノートパッドの設定 - リンクの設定 ページ: [メニュー/バー] タブ

次の例では、"HR ノートパッドの設定 - リンクの設定" ページ: [メニュー/バー] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows the 'HR Notepad Configuration' page with the 'Navigation Link Destinations' tab selected. At the top, it shows 'Owner ID Human Resources' and 'Sub-Id JOB'. Below this is a toolbar with 'Personalize', 'Find', and icons for adding and deleting items. The main area has three search fields: '*Link Field Name', '*Menu Name', and '*Menu Bar Name'. At the bottom, there are three buttons: 'Select Application', 'Configure Keys', and 'Configure Links'.

このページを使用して、ノートパッド UI ページの下部のナビゲーション リンクの 1 つをユーザーがクリックすると実行されるナビゲーションを定義します。

リンク フィールド名

ナビゲーション リンク名を選択します。このフィールドの有効値リストには、メモ詳細 UI 用に標準で用意されている 4 つのナビゲーション フィールドが表示されます。ここで、リンク行を追加し

ノートパッド テスタ ページ

ノートパッド テスタ ページ (HR_NP_TEST_API) を使用して、ノートパッドの設定をテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [HR ノートパッド API の呼出], [ノートパッド テスタ]

画像: ノートパッド テスタ ページ

次の例では、ノートパッド テスタ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot shows a web form titled "Note Pad Tester". It contains a section "Set Application Context" with two dropdown menus: "Owner ID" (selected: Human Resources) and "Sub-Id" (selected: JOB). Below this is a section "Application Keys" with two rows of input fields and labels: "Employee ID" (input field) and "PERSON_NAME" (label); "Empl Rcd Nbr" (input field) and "JOB" (label). At the bottom, there is an "API Method" dropdown menu (selected: View()) and an "Execute API" button.

このページを使用して、必要に応じてアプリケーション、サブ ID を指定してノートパッドの設定をテストします。

このページには、指定したオブジェクト オーナー ID および サブ ID について定義されたアプリケーション キーが表示されます。このページに最初にアクセスしたときには、[オブジェクト オーナー ID] フィールドのみが入力可能になっています。オブジェクト オーナー ID を入力すると、このアプリケーションの有効なサブ ID が全て [サブID] フィールドのドロップダウン リストに表示されます。サブ ID を選択すると、"HR ノートパッドの設定 - キーの設定" ページで設定したアプリケーション キー (6 個まで) が表示されます。

API のメソッド

テストのメソッドを選択します。

- *Add()*
- *Edit()*
- *InvokeNotepad()*
- *View()*

API を実行

このボタンをクリックすると、入力したキーを使用して API メソッドが実行されます。

<アプリケーション ページ> ノートパッド ページ

<アプリケーション ページ> ノートパッド ページ (HR_NP_NOTE_SRCH) を使用して、メモを検索および入力するノートパッド ページにアクセスします。

ナビゲーション

- アプリケーション ページの [メモ更新/表示] アイコンをクリックします。
- ノートパッド テスタ ページの [API を実行] ボタンをクリックします。

画像: 職務データ の各ページからアクセスできるノートパッド ページの例

次の例では、職務データ の各ページからアクセスできるノートパッド ページの例のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

注: ノートパッド ページに表示されるフィールドは、ノートパッドの設定によって決定されます。

選択条件

ページの設定によって、メモに追加する個人を選択する必要がある場合があります。[メモ開始日] および [終了] の日付を任意で入力できます。

検索

クリックすると、検索条件に一致したメモのリストが表示されます。

新規メモの追加

クリックすると選択済メモ ページにアクセスでき、新しいメモを作成できます。

既存のメモ

このセクションには、検索条件に一致するメモがあるかどうかが表示されます。[件名] 列のリンクをクリックすると、選択済メモ ページが開き、既存のメモを表示または編集できます。

削除

表示されたメモを 1 つ以上選択してこのボタンをクリックすると、選択したメモがシステムから削除されます。

移管

表示されたメモを 1 つ以上選択し、このボタンをクリックして個人検索 - 単純ページにアクセスして、選択したメモを別の個人に移管します。

選択済メモ ページ

選択済メモ ページ (HR_NP_NOTE) を使用して、メモを入力または更新します。

ナビゲーション

[新規メモの追加] ボタンをクリックするか、または <アプリケーション ページ> ノートパッド ページで、既存のメモに対する[このメモの表示/編集] リンクを選択します。

画像: 選択済メモ ページ

次の例では、選択済メモ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Selected Note

Instructions

You have chosen to enter a new note, or view/update an existing note.

Add Performance Note

Applications

Employee ID KU0004

Empl Rcd Nbr 0

Kenneth Grafton

Created 07/17/2014 4:18PM

Creator Betty Locherty

Last Update

Updated By

Subject

Note Text

Save

[Return to Note Selection Page](#)

[Job Data Page](#)

有効日

新規メモのメモ作成日がページに表示される有効日です。日付は変更できません。

注: メモに関連付けられているレコードの有効日を変更してもメモの有効日は変更されません。その結果、メモにアクセスできなくなります。たとえば、職務データ行のメモを 2009 年 1 月 1 日の有効日で作成した場合は、メモの有効日も 2009 年 1 月 1 日です。修正モードで職務データ行の有効日を 2009 年 1 月 20 日に変更した場合、メモの有効日は変更されません。データの 1 月 20 日の行に対するメモを表示すると、1 月 20 日のメモのみが表示されます。データの 1 月 1 日の行がないと、元のメモにはアクセスできず、ユーザーは元のメモが存在していたことがわからなくなります。

件名
メモの件名を入力します。このエントリは、ノートパッド ページの [件名] 列にリンクとして表示されます。

テキスト カタログの設定

テキスト カタログを設定するには、テキスト カタログの設定 (HR_SSTEXT_CFG) コンポーネントと、テキスト カタログの翻訳 (HR_SSTEXT_TEXT) コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、テキスト カタログの概要を示し、共通フィールドをリストし、テキスト カタログの設定方法について説明します。

テキスト カタログの処理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
テキスト カタログの設定	HR_SSTEXT_CFG	アプリケーションのテキスト カタログを設定します。 テキスト カタログ エントリの保存と検索に使用するキーを指定します。
テキスト カタログの更新ページ	HR_SSTEXT_TEXT	テキスト カタログ エントリを定義して、適用条件依存のキーの値を定義します。 HTML タグは、HTML 領域のテキスト カタログにのみ使用できます。他の場所で使用することはできません。
テキスト カタログの更新 - HTML 表示ページ	HR_SSTEXT_HTML	テキスト カタログ エントリを HTML 形式で表示します。

ページ名	定義名	用途
テキスト カタログ - 全適用条件の表示 ページ	HR_SSTEXT_ALLKEYS	目的の有効日に対する [適用条件表示] リンクをクリックすることによって、特定のテキスト ID と有効日の組み合わせに対するバージョンおよび適用条件のエントリを表示します。
テキスト カタログの翻訳 - 説明ページ	HR_SSTEXT_LANG	テキスト カタログの翻訳対象言語を選択して説明します。
テキスト カタログの翻訳 - カタログ テキスト ページ	HR_SSTEXT_LANG2	テキスト カタログ エントリの翻訳に関する情報を入力します。
テキスト カタログのテスト ページ	HR_SSTEXT_TEST	適用条件の組み合わせを使用して、テキスト ID に対して検索されるテキストをテストします。

テキスト カタログについて

テキスト カタログ機能には、フィールド ラベル、ボタン名、リンク、ページ説明、警告など、HCM アプリケーションのセルフサービス ページに表示される標準テキストが保存されています。さらに、自動電子メール通知で使用されるテキストと件名も含まれます。HCM には、事前定義されたテキスト エントリが用意されており、テキスト カタログ機能を使用して変更できます。

テキスト カタログ機能のエントリは、適用される条件に依存します。つまり、ページに表示される各テキストは、ページの用途や使用される状況によって異なります。たとえば、管理者に対して表示される指示メッセージは、従業員に対して表示される指示メッセージとは異なる場合があります。

テキスト カタログ キー

アプリケーションに適切なテキスト カタログ エントリを取得するためのキーを使用することにより、適用条件に応じたテキストを表示できます。各アプリケーションのニーズを満たすため、アプリケーションごとに異なるキーが使用されます。

同じテキストに対して複数のバージョンを作成することが可能ですが、シナリオごとに別々にテキストを設定する必要はありません。全ての適用条件を空白にして標準のテキストを 1 つ作成し、標準とは異なる状況ごとにテキストを追加します。空白の適用条件はワイルドカードとして機能します。

警告 テキスト検索の際、適用条件の検索キーによって選択肢が 1 行に絞り込まれると、検索は停止され、下位の適用条件に設定されているキーは無視されます。正しく設定されていないと、誤った検索結果が出る場合があります。事前に計画を行ってから条件を変更してください。複雑なシナリオについては特に注意してください。ランダムに変更を行うとエラーが発生し、後からデバッグを行うことが困難になる可能性があります。

テキスト カタログのテスト ページを使用して、変更をテストできます。エントリをテストするには、テキストに関連付けられたテキスト ID、および適用条件の組み合わせを入力して、[テスト] ボタンをクリックし、入力した適用条件に対して取得されるテキストを表示させます。

テキスト ID

テキスト エントリを更新するには、その ID が必要です。テキスト ID は、テキスト カタログの設定ページの [テキスト ID 表示] オプションを使用して特定できます。このオプションをアクティブにすると、セルフサービス ページ、警告、および電子メールにおいて、テキストの代わりに対応するテキスト ID が表示されます。

正しいテキスト ID を表示するには、ページ、警告、および電子メールでテキストが表示される条件を指定する必要があります。たとえば、特定のロールを使用してサインインする必要のある場合があります。

注: このオプションをアクティブにしてセルフサービス ページを印刷し、その後非アクティブに戻します。この印刷したハードコピーは、各セルフサービス ページで使用されている全てのテキスト ID の参照資料として使用できます。

テキスト カタログの使用時に使用する共通フィールド

テキスト ID	テキスト カタログのエントリにアクセスするために入力する固有の ID。
適用箇所	電子メール本文、電子メール件名、エラー/警告、フィールド ラベル、グリッド/スクロール見出し、グループボックスタイトル、ハイパーリンクボタン、ページ説明、ページ タイトルなど、テキストが使用される箇所を示します。変更できないテキストは、トランスレート値と Windows のエラー ボックスに表示されるエラー メッセージのみです。[適用箇所] フィールドは、保存したテキストのテキスト ID が不明である場合に、テキスト カタログの更新ページで検索キーとして使用できます。
有効日	特定のテキスト カタログ エントリがアクティブになる日付。システムに用意されているテキストは、PeopleSoft HCM データベースのシステム データとして定義されており、有効日は 1900 年 1 月 1 日となっています。

重要 PeopleSoft ePerformance-パフォーマンス管理が将来アップデートされる際にユーザーが追加、変更したテキストが上書きされないようにするには、新しいテキストを追加するときに 1900/01/01 より後の有効日を指定してください。また、システムに用意されたテキストを変更するときは、新しい有効日でデータを挿入してください。

テキスト カタログの設定

テキスト カタログの設定ページ (HR_SSTEXT_CFG) を使用して、アプリケーションのテキスト カタログを設定します。テキスト カタログの設定: 適用条件 1 からテキスト カタログの設定: 適用条件 6 の各ページで、テキスト カタログ エントリの保存と検索に使用するキーを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [テキスト カタログの設定], [テキスト カタログの設定]

画像: テキスト カタログの設定ページ: [一般] タブ

次の例では、テキスト カタログの設定ページ: [一般] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Text Catalog

Applications

GeneralKey 1Key 2Key 3Key 4Key 5Key 6

Object Owner Identifier	Description	Sub ID	Description	Display Text Id	
HBN	Base Benefits	ELCT	BN_ELECT Application Package	☐	
HCSC	HCM Shared Component	AWE	Approval Workflow Engine	☐	
HCSC	HCM Shared Component	GDP	Guided Process	☐	
HCSC	HCM Shared Component	HCDL	Delegation	☐	
HCSC	HCM Shared Component	PH	Page Help	☐	
HEB	eBenefits			☐	
HEB	eBenefits	FLU	eBenefits Fluid Pages	☐	
HEB	eBenefits	LE	eBenefits Life Event	☐	
HELM	eProfile Manager Desktop	CT		☐	
HEP	ePerformance Management		Performance	☐	
HEP	ePerformance Management	D	Developmental	☐	
HEP	ePerformance Management	FLU	ePerformance Fluid	☐	
HEP	ePerformance Management	O	Objectives	☐	
HEY	ePay - Payroll for North Ameri	PM	Paycheck Modeling	☐	
HG	Global Payroll Core Applicatn		Global Payroll	☐	

このページを使用して、テキスト カタログにアプリケーションを追加または削除し、アプリケーション内のテキスト カタログの動作に影響するオプションを設定します。上のスクリーン ショットには、標準でテキスト カタログ機能が使用可能となっている PeopleSoft HCM アプリケーションが示されています。

オブジェクト オーナー ID、名称

オブジェクト オーナーを選択します。オブジェクト オーナーの名称が表示されます。

テキスト ID 表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、対応するテキストではなく、テキスト エントリのシステム ID が表示されます。このオプションを使用して、変更したい部分のテキストに対応するテキスト ID を検出できます。

テキスト カタログページ: [キー] タブにアクセスします。

注: [適用条件 2], [適用条件 3], [適用条件 4], [適用条件 5], [適用条件 6] の各タブは、適用条件 1 ページ ([HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [テキスト カタログの設定], [テキスト カタログの設定] の順にナビゲートし、該当するキー タブにアクセス) と外観および用途が同じです。

画像: テキスト カタログの設定ページ: [キー] タブ

次の例では、テキスト カタログの設定ページ: [キー] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Text Catalog

Applications

General

Key 1

Key 2

Key 3

Key 4

Key 5

Key 6

Help

Object Owner Identifier	Description	Sub ID	Key 1 Prompt Table	Key 1 Field Name
HBN	Base Benefits	ELCT	PLN_CATEGORY_VW	DESCR
HCSC	HCM Shared Component	AWE		
HCSC	HCM Shared Component	GDP	GDP_TMPL_TBL	GDP_TEMPLATE_ID
HCSC	HCM Shared Component	HCDL	HR_DR_PNLGRP_VW	PNLGRPNAME
HCSC	HCM Shared Component	PH	HR_PH_FIELD_VW	FIELDNAME
HEB	eBenefits		BEN_DEFN_PGM	BENEFIT_PROGRAM
HEB	eBenefits	FLU		
HEB	eBenefits	LE	W3EB_LE_RULES	LIFE_EVENT_TYPE
HELM	eProfile Manager Desktop	CT		
HEP	ePerformance Management		EP_SECTION_DEFN	EP_SECTION_TYPE
HEP	ePerformance Management	D	EP_SECTION_DEFN	EP_SECTION_TYPE
HEP	ePerformance Management	FLU		
HEP	ePerformance Management	O	EPO_HIER_MTH_VW	EPO_HIERARCHY_MTHD
HEYP	ePay - Payroll for North Ameri	PM	MODEL_MARKET_VW	MARKET
HG	Global Payroll Core Applicatn			

適用条件 1 プロンプト テーブル (適用条件 2 プロンプト テーブル、適用条件 3 プロンプト テーブル、適用条件 4 プロンプト テーブル、適用条件 5 プロンプト テーブル、適用条件 6 プロンプト テーブル)

アプリケーションに関してテキスト カタログの分割に使用される値を定義したプロンプト テーブルのオブジェクト名を選択します。

適用条件 1 フィールド名、適用条件 2 フィールド名、適用条件 3 フィールド名、適用条件 4 フィールド名、適用条件 5 フィールド名、適用条件 6 フィールド名

テキスト カタログを定義および更新するときに、このプロンプト テーブルの値が表示されます。セルフサービス ページまたは通知にエントリが表示される条件に適合する値を選択します。

適用条件 1 フィールド名、適用条件 2 フィールド名、適用条件 3 フィールド名、適用条件 4 フィールド名、適用条件 5 フィールド名、適用条件 6 フィールド名

このキーの有効値リストに表示される値を含む、プロンプト テーブル内のフィールドを選択します。

注: プロンプト テーブルの値を入力する場合は、同じ行にフィールド名も入力する必要があります。

テキスト カタログの更新ページ

テキスト カタログの更新ページ (HR_SSTEXT_TEXT) を使用して、テキスト カタログ エントリを定義して、適用条件依存のキーの値を定義します。

ナビゲーション

- [HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [テキスト カタログの更新], [テキスト カタログの更新]
- [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [ePerformance], [テキスト カタログ], [テキスト カタログの更新], [テキスト カタログの更新]

画像: テキスト カタログの更新ページ

次の例では、テキスト カタログの更新ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Maintain Text Catalog
ePerformance Management

Text ID: APPR_MAIN1_CMPPB Sub ID: Usage: Hyperlink/Button

Description: Maintain Performance Review Page 01 - Complete for Employee push button text
178 characters remaining

Text Entries Find | View All First 1 of 1 Last

Effective Date: 01/01/1900

Context Keys and Text Find | View All First 1 of 3 Last

Section Type: Author Type: User Role: Document Status: Track Progress Sub: Status: Complete

View/Edit as HTML

View all effective dates and context keys for this Text ID

適用条件/テキスト

このページに表示される適用条件は、アプリケーションのテキスト カタログ設定によって定義され、適用条件は 6 個まで表示されます。適用条件を使用して、メッセージやテキストの対象を特定のユーザーに絞ったり、またテキストの適切な使用条件を指定できます。

注: 空白の適用条件はワイルドカードとして機能します。つまり、全ての適用条件でエントリが表示されることを意味します。

たとえば、上記のスクリーン ショットは ePerformance-パフォーマンス管理アプリケーションのボタンの設定を示します。テキスト ボックスで定義されたボタン テキストは、記入票ステータスが "記入中" (IP) の記入者タイプの従業員 (E) に対してのみ適用されます。

各テキスト ID と有効日の組み合わせに対して、全ての適用条件を空白にした完全なワイルドカード エントリを定義します。このエントリは、ルート エントリと呼ばれ、セクション タイプ、記入者タイプ、ユーザー ロール、記入票ステータスのいずれも指定されていない場合に使用される、デフォルトのテキスト エントリです。

HTML として表示/編集

テキストがページの HTML 領域に表示される場合は、このリンクをクリックして HTML タグを表示させて編集します。

HTML タグは、HTML 領域のテキスト カタログにのみ使用できます。他の場所で使用することはできません。

テキストの置換

%1 や %2 などの特定トークンを代替するテキスト文字列は、テキスト カタログで代替トークンを使用するアプリケーションごとに異なります。代替トークンは、アプリケーションに標準で用意されています。

テキスト カタログの代替トークンは、PeopleTools のメッセージ カタログの代替トークンと同じ働きをします。PeopleCode 関数のコール実行時のトークンの値を指定する必要があります。テキストがパフォーマンス記入票に適用されるときに、それらの値は PeopleCode のパラメータによって置換されます。この機能を使用するには、PeopleCode の知識が必要です。

代替のトークンに異なる意味を持たせる、または順番を変えるなど、システムに用意されているテキスト ID を更新する場合は、テキスト カタログ機能の検索関数を呼び出す PeopleCode も変更する必要があります。それはこの関数により、トークンの代わりに使用する値がコピーされるためです。

テキスト制限

テキスト カタログ フレームワークを使用すると、長いテキスト エントリを入力できますが、実行時にテキストが表示されるページ項目に文字制限があり、結果のテキストが切り捨てられる可能性があります。標準のテキスト カタログ エントリを変更するときは、必ず変更内容をテストしてください。実行時のページでエントリが切り捨てられる場合は、テキストを短くする必要があります。

『PeopleTools: PeopleCode Developer's Guide』を参照してください。

テキスト カタログの更新 - HTML 表示ページ

テキスト カタログの更新 - HTML 表示ページ (HR_SSTEXT_HTML) を使用して、テキスト カタログ エントリを HTML 形式で表示します。

ナビゲーション

テキスト カタログの更新ページで [HTML として表示/編集] リンクをクリックします。

画像: テキスト カタログの更新 - HTML 表示ページ

次の例では、"テキスト カタログの更新 - HTML 表示" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



テキスト スタイル

テキストに対応したスタイルを選択します。[太字]、[エラー] などのスタイルをテキスト エントリに適用すると、セルフサービス ページで表示されるテキストの状態が [HTML 表示] ページ領域に示されます。

テキスト カタログ - 全適用条件の表示ページ

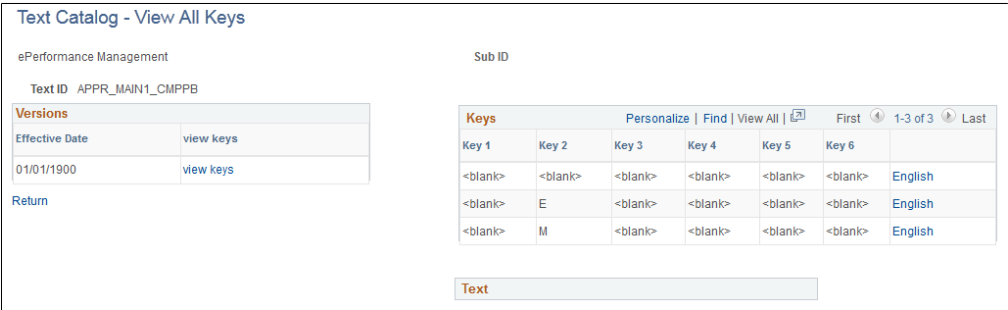
テキスト カタログ - 全適用条件の表示ページ (HR_SSTEXT_ALLKEYS) を使用して、目的の有効日に対する [適用条件表示] リンクをクリックすることによって、特定のテキスト ID と有効日の組み合わせに対するバージョンおよび適用条件のエントリを表示します。

ナビゲーション

テキスト カタログの更新ページまたは テキスト カタログのテスト ページで、[このテキスト ID に関する全ての有効日と適用条件を表示] リンクをクリックします。

画像: テキスト カタログ - 全適用条件の表示ページ

次の例では、"テキスト カタログ - 全適用条件の表示" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



[バージョン] グループ ボックスには、選択したテキスト ID の全てのバージョンが有効日付きで表示されます。

[適用条件表示] リンクをクリックすると、選択したバージョンに関連する適用条件の各セットが表示されます。言語のリンクをクリックすると、適用条件に関連付けされたテキストが指定した言語で表示されます。

テキスト カタログの翻訳 - 説明ページ

テキスト カタログの翻訳 - 説明 ページ (HR_SSTEXT_LANG) を使用して、テキスト カタログの翻訳対象言語を選択して説明します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [テキスト カタログの翻訳], [説明]

画像: テキスト カタログの翻訳 - 説明ページ

次の例では、"テキスト カタログの翻訳 - 説明" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Text ID Descriptions' page. At the top, there are tabs for 'Descriptions' and 'Catalog Text'. The main form contains the following fields: 'Object Owner ID' (ePerformance Management), 'Sub ID', 'Effective Date' (01/01/1900), 'Text ID' (APPR_MAIN1_CMPPB), and 'Usage' (Hyperlink/Button). The 'Description' field is a text area containing 'Maintain Performance Review Page 01 - Complete for Employee push button text'. Below the description field are three buttons: 'Add New Language', 'Collapse all Languages', and 'Expand All Languages'. A section titled 'Text ID Descriptions' contains a 'New Language Entry' form. This form has a 'Language Code' dropdown menu and a 'Description' text area. The description area shows '254 characters remaining'.

テキスト カタログ エントリと翻訳先の言語について表示します。[全言語を折りたたむ] リンクと [全言語を展開] リンクを使用して、言語リストの表示方法を制御します。このページでは言語の追加と削除を行うことができますが、翻訳テキストは入力できません。

テキスト カatalogの翻訳 - カatalog テキスト ページ

テキスト カatalogの翻訳 - カatalog テキスト ページ (HR_SSTEXT_LANG2) を使用して、テキスト カatalogに翻訳を入力します。

画像: テキスト カatalogの翻訳 - カatalog テキスト ページ

次の例では、"テキスト カatalogの翻訳 - カatalog テキスト" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

[全言語を折りたたむ] リンクと [全言語を展開] リンクを使用して、言語リストと翻訳エントリの表示方法を制御します。このページでは言語の追加と削除を行い、翻訳テキストを表示できます。

テキスト カatalogのテスト ページ

テキスト カatalogのテスト ページ (HR_SSTEXT_TEST) を使用し、適用条件の組み合わせを使用して、テキスト ID に対して検索されるテキストをテストします。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [ePerformance], [テキスト カタログ], [テキスト カタログのテスト], [テキスト カタログのテスト]

画像: テキスト カタログのテスト ページ

次の例では、テキスト カタログのテスト ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Test Text Catalog

Set Application Context

Object Owner ID ePerformance Management Sub ID

Text ID APPR_BASE_CMPTT Effective Date 07/17/2014

View all effective dates and context keys for this Text ID Language Code English

Context Keys

Section Type ELEM-USF Test

Author Type Use Cache

User Role

Document Status

Track Progress Sub Status

Substitution Text and Style

Substitute Text 1 Substitute Text 2

Substitute Text 3 Substitute Text 4

Substitute Text 5 Text Style

"Best Fit" Text

このページでは、パラメータを入力し、そのパラメータに適合する条件下でテキスト カタログ内のエントリがどのようにセルフサービスのページに表示されるかをテストできます。

テキスト検索をテストするには、次の手順に従います。

1. テキストのテキスト ID を入力します。
2. (省略可) 必要に応じて適用条件に値を入力します。"HR ノートパッドの設定 - キーの設定" ページで設定したコンテンツ キー (6 個まで) が表示されます。
 - 全ての適用条件を空白にして、[テスト] ボタンをクリックすると、ルート テキストが表示されます。
 - 適用条件のフィールドに値を入力すると、条件に最も適合するテキストが検索されます。
3. (省略可) 1 つまたは複数の代替表現フィールドに値を入力します。

[テスト] ボタンをクリックすると、テキスト内の変数 (%1、%2、%3、%4、%5) がここで指定した値に置き換えられます。
4. (省略可) [テキスト スタイル] を選択すると、HTML で特定のスタイルに変換されたテキストを確認できます。

この機能により、テキストがセルフサービス ページでどのように表示されるかを確認できます。指定できる値は、[\[追加説明\]](#)、[\[太字\]](#)、[\[エー\]](#)、[\[ページ説明\]](#)、および [\[ページタイトル\]](#) です。

5. [\[テスト\]](#) ボタンをクリックします。

選択したテキスト ID に対して指定した適用条件に最も適合したテキストが表示されます。

添付ファイルの設定

添付ファイルを設定するには、承認の定義 (HR_ATT_AUTH)、承認エントリの定義 (HR_ATT_AUTH_ENT)、添付ファイルの定義 (HR_ATT_CNFG)、キーの設定 (HR_ATT_KEYS_DFN)、および定義の管理 (HR_ATT_DEFN) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、添付ファイルの概要および添付ファイルの設定方法について説明します。

添付ファイルの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
承認の定義ページ	HR_ATT_AUTH	添付ファイルに対するユーザー アクセスのレベルを指定する添付ファイル承認 ID を入力および管理します。
承認エントリの定義ページ	HR_ATT_AUTH_ENT	添付ファイル承認をユーザー ロールに関連付けます。
添付ファイルの定義ページ	HR_ATT_CNFG	添付ファイルとその承認を関連付け、ターゲット アプリケーションに表示されるページ上にリンクを作成します。
キーの設定ページ	HR_ATT_KEYS_HDR	アプリケーションで使用されるプロンプトテーブルおよびキー フィールドを定義します。
添付ファイル適用条件ページ	HR_ATT_KEYS_C	コンテンツ キーのプロンプト値を入力します。
添付ファイル保存キー ページ	HR_ATT_KEYS_S	保存キーの値を入力します。
定義の管理ページ	HR_ATT_DEFN	アプリケーションで使える添付ファイル タイプを指定します。このページに表示される適用条件は、キーの設定コンポーネントによって決定され、有効な設定 ID のリストを取得するために使用されます。

添付ファイルについて

添付ファイル機能を使用すると、PeopleSoft アプリケーションにファイル、メモ、および URL を添付できます。管理者は、URL、共通メモ、およびファイルをコンポーネントまたはページに追加でき、他のユーザーが添付ファイルを表示、ダウンロード、および編集できるようにします。添付ファイルには、メモ、PDF ファイル、スプレッドシート ファイル、ドキュメント ファイル、URL などがあります。また、ユーザーがアプリケーション データの特定の行に追加できる添付ファイルのタイプ (医師証明書や養子縁組証明書、職務適合検査フォームなど) も定義できます。

ページに追加できる添付ファイルのタイプは基本的に無制限ですが、添付ファイルは次のいずれかに分類されます。

- 添付ファイルは、管理者がユーザーに対してダウンロード可能にする作成済みの電子ファイルです。
- URL は動的ファイルまたは Web サイトへのリンクです。
- メモは、ユーザーが PeopleSoft アプリケーションの添付ファイル ページから入力できる自由形式のテキストです。

注: 添付ファイルの定義ページで定義されるのは、添付ファイルと URL のみです。メモは、PeopleSoft アプリケーションの添付ファイル ページからユーザーによって作成されます。

注: 添付ファイルの定義ページを使用すると、管理者は、添付ファイルと URL に加えてドキュメント定義を作成できます。ドキュメント定義は、ユーザーがシステムにアップロードできるファイルのタイプです。たとえば、さまざまな医師証明書またはクラス修了の証明書があります。

多数のアップロード済添付ファイルが全てのユーザーに表示されないように、管理者は添付ファイルへのアクセスを制限できます。管理者は、ロールを使用して、アプリケーション データの特定の行に対して固有の添付ファイルを追加、変更、または削除できるユーザーを定義します。

アプリケーション処理フローへの添付ファイルの追加

次に、PeopleSoft アプリケーションで使用するために添付ファイルを定義するステップを示します。

1. 添付ファイル承認 ID の定義

添付ファイルの編集または表示に必要な承認レベル アクセスを指定します。

2. 承認エントリ ID の定義

添付ファイル オブジェクト タイプの添付ファイル、メモ、または URL を指定し、添付ファイルにアクセスできるユーザー ロールを指定します。承認 ID をロールに割り当てることによって、各ユーザー ロールのアクセスレベルを指定します。

3. 添付ファイル設定 ID の定義

共通添付ファイル、URL、またはドキュメント定義、および添付ファイルを表示できるロールを追加します。

4. キーの設定

添付ファイルをコンテキスト内のアプリケーションに統合します。添付ファイルの定義後、これらを任意の PeopleSoft アプリケーションに統合でき、コンテキストは、フレームワークを使用する製品によって異なります。キーの設定ページを使用すると、必須の各適用条件にマップするアプリケーション データ フィールドを定義できます。

a. 適用条件の設定

適用条件には、関連アプリケーションのフィールドに対応する値がロードされます。コンテキスト バリエーションを定義するには、アプリケーション フレームワークを使用して、アプリケーションに基づいてコンテキストのキー プロンプト テーブルまたはビューおよびキー プロンプト フィールドを定義します。これらのキーは、任意の数のテーブルから取得でき、異なる環境で使用できる代替設定 ID を指定するために、アプリケーション レベルのデータ構造にレコード キーとして定義される汎用文字フィールドとして実装されます。

b. 保存キーの設定

ドキュメント定義である添付ファイル設定 ID に対して、ドキュメント定義を起動するための保存レコードを作成し、ユーザーが追加した添付ファイルをアプリケーション データの特定の行に保存する必要があります。

添付ファイルが属しているデータの行を区別するためには、ドキュメント定義に対して保存キーを定義します。各アプリケーションでは、使用するキーの数を 1 から N まで決定し、アプリケーション デザイナーではそのアプリケーション独自のレコードと、添付ファイルに関連する共通フィールドを格納するためのサブレコードを作成できます。作成された保存レコードは、キー フィールド定義を自動的に取得して保存キー ラベルを選択するために、オブジェクト オーナー ID と サブ ID に関連付ける必要があります。

保存レコードの作成後、それをオブジェクト オーナー ID および添付ファイル サブ ID に関連付け、フィールド ラベルを選択します。保存レコード定義の名前の入力時に、キー フィールドは、レコードに定義されたキー位置によって正しい順序で自動的に取得されます。

5. 定義の管理

定義済みの適用条件に基づいて、有効な設定 ID のリストが取得されます。さらに、定義 ID と有効日を使用して、データベースから添付ファイルが選択されます。

6. 添付ファイル フレームワークの実装

添付ファイル フレームワークを実装するには、PeopleSoft に用意されている HR_ATTACHMENTS アプリケーション パッケージのアプリケーション クラス メソッドを使用します。標準のアプリケーション パッケージには 2 つのクラスがあります。Attachment_Data アプリケーション クラスを使用すると、全てのリンク ラベル、全ての設定 ID、および定義済みの添付ファイルへのリンクを含む全てのグループ ボックスに対するエントリを含むオブジェクトを作成できます。Attachment_UI アプリケーション クラスを使用すると、添付ファイルのユーザー インターフェイスを管理できます。

『PeopleTools: PeopleCode Developer's Guide』および『PeopleTools: PeopleCode API Reference』を参照してください。

承認の定義ページ

承認の定義ページ (HR_ATT_AUTH) を使用して、添付ファイルに対するユーザー アクセスのレベルを指定する添付ファイル承認 ID を入力および管理します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [添付ファイル], [承認の定義], [承認の定義]

画像: 承認の定義ページ

次の例では、承認の定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define Authorization

Authorization ID KOW_EDITALL

Authorization Details

*Description KOW_EDITALL

Short Description KOW_EDAL

Comments Edit Attachments, Notes, URLs

Authorization Options

☒ Edit Attachments	☒ View Attachments
☒ Edit Notes	☒ View Notes
☒ Edit URLs	☒ View URLs

Delete Options

☒ Mark as deleted

☐ Delete from database

承認オプション

添付ファイル編集

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーが添付ファイルを作成、更新、または削除できるようになります。[添付ファイル編集] チェック ボックスをオンにしてページを保存すると、[添付ファイル表示] チェック ボックスは自動的にオンになります。

添付ファイル表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーが添付ファイルを表示できるようになります。

ノートの編集

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーがメモを作成、更新、または削除できるようになります。[ノートの編集] チェック ボックスをオンにしてページを保存すると、[ノートの表示] チェック ボックスは自動的にオンになります。

ノートの表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーがメモを表示できるようになります。

URL の編集

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーが URL を作成、更新、または削除できるようになります。[URL の編集] チェック ボックスをオンにしてページを保存すると、[URL の表示] チェック ボックスは自動的にオンになります。

URL の表示

このチェック ボックスをオンに設定すると、ユーザーが URL を表示できるようになります。

削除オプション

ユーザーが既存の添付ファイル、メモ、または URL を削除した際のシステムの処理を決定するオプションを選択します。[削除済としてマーク] を選択すると、オブジェクトは添付ファイルとして引き続き表示されますが、オブジェクトのステータスは *[削除済]* となり、選択できません。このオプションを使用すると、削除した添付ファイルを追跡できます。[データベースから削除] を選択すると、オブジェクトはデータベースから完全に削除されます。

注: このグループ ボックスのオプションは、編集フィールドの [添付ファイル編集]、[ノートの編集]、または [URL の編集] から 1 つ以上選択していないと使用できません。

承認エントリの定義ページ

承認エントリの定義ページ (HR_ATT_AUTH_ENT) を使用して、添付ファイル承認をユーザー ロールに関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [添付ファイル], [承認エントリの定義], [承認エントリの定義]

画像: 承認エントリの定義ページ

次の例では、承認エントリの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define Authorization Entries

Entry ID KOW_BIRTH

Entry Definitions

Find | View AllFirst1 of 1Last

*Effective Date01/01/1990

*DescriptionBirth Certificate

Short DescriptionBirth Cert

CommentsBirth certificate will be posted

Entry Control

☒ Attachments

☒ Notes

☐ URLs

Define Authorization

Personalize | Find | View All | 1-3 of 3FirstLast

	Role Name	Description	Authorization ID	Description	
1	AM EA Administrator	AM EA Administrator	KOW_EDITALL	KOW_EDITALL	+ -
2	Employee	[WF] Employee	KOW_EDITALL	KOW_EDITALL	+ -
3	Manager	Manager	KOW_VIEWATT	KOW_VIEWATT	+ -

添付ファイル、メモ、URL

このチェック ボックスをオンに設定すると、[承認の定義] 領域にリストされているロール名で、指定した [承認者 ID] に基づいて添付ファイル、メモ、または URL を作成できます。[入力コントロール] リージョンのオプションを少なくとも 1 つ選択する必要があります。

承認の定義

[承認の定義] リージョンのフィールドを使用して、ロールを添付ファイル承認 ID に関連付けることによってロールが実行できる操作を指定します。ロール名を選択し、各行で有効な承認 ID を選択します。各ロールに割り当てることができる承認 ID は 1 つのみですが、複数のロールで同じ承認 ID を共有できます。

添付ファイルの定義ページ

添付ファイルの定義ページ (HR_ATT_CNFG) を使用して、添付ファイルとその承認を関連付け、ターゲットアプリケーションに表示されるページ上にリンクを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [添付ファイル], [添付ファイルの定義], [添付ファイルの定義]

画像: 添付ファイルの定義ページ

次の例では、添付ファイルの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Define Attachments

Configuration ID K0W_CERT_LNK

Attachment Configuration Details

*Effective Date 01/01/1990 *Effective Status Active

*Description Certificates Short Description Certificat

Comments Adoption and Birth certificates will be posted here

*Attachment Type Document Definition

Document Definitions

*Entry ID	Description
1 K0W_ADOPTCERT	Adopt Certificate
2 K0W_BIRTH	Birth Certificate

Last Upd User SAMPLE Updated on 04/10/09 5:21:36AM

名称

設定 ID の名称を入力します。この名称は、添付ファイルへのリンクに対するラベルとしてグループ ボックスに表示されます。

添付ファイル タイプ

ユーザーが添付またはアクセスできる添付ファイルのタイプを選択します。値は、[URL]、[添付ファイル]、および [ドキュメント定義] です。選択に基づいて、ページの残りのフィールドが変更されます。

共通添付ファイル、またはポリシー、ハンドブック、FAQ などの URL を定義する場合は、[添付ファイル] または [URL] のいずれかを選択します。アプリケーション データの特定の行に対してユーザーが独自の添付ファイルを作成できるようにするエントリを作成する場合は、[ドキュメント定義] を選択します。

添付ファイル

添付ファイルのファイル名を入力して、[添付ファイルの追加] ボタンをクリックします。ファイルのアップロード後、このフィールドには添付ファイルのファイル名が表示されます。次に、[添付ファイル表示] および [添付ファイルの削除] ボタンを使用すると、添付ファイルのコンテンツを管理できます。このフィールドは、[添付ファイル タイプ] が [添付ファイル] の場合にのみ表示されます。

URL

リンクとして添付する目的の URL を入力します。このフィールドは、[添付ファイル タイプ] が [URL] の場合にのみ表示されます。

添付ファイルの追加

[添付ファイル] フィールドに表示されているファイルを追加する場合にクリックします。このボタンは、[添付ファイル タイプ] が

[添付ファイル] で、ファイルがまだアップロードされていない場合にのみ表示されます。

添付ファイル表示、添付ファイルの削除

これらのボタンを使用して、[添付ファイル] フィールドに表示されているファイルのコンテンツを管理します。これらのボタンは、[添付ファイル タイプ] が [添付ファイル] で、ファイルがアップロードされている場合にのみ表示されます。

承認済ロール

添付ファイルまたは URL へのアクセス権を付与するロールを入力します。ロールが選択されていない場合は、使用可能な全てのロールがリンクを表示できます。このリージョンは、[添付ファイル タイプ] が [添付ファイル] または [URL] の場合にのみ表示されます。

ロール名

指定した添付ファイルにアクセスできるようにするロールを選択します。

ドキュメント定義

ユーザーが添付ファイルとしてアップロードできる定義済承認エントリのリストを入力します。[ドキュメント定義] リージョンは、[添付ファイル タイプ] が [ドキュメント定義] の場合にのみ表示されます。

エントリ ID

ユーザーがシステムにアップロードできるようにする承認エントリを選択します。承認エントリの定義ページで定義された承認エントリ ID が表示されます。

最終更新ユーザー

添付ファイルの定義ページを最後に更新したユーザー名を表示します。

更新日

添付ファイルの定義ページが最後に更新された日付を表示します。

キーの設定ページ

キーの設定ページ (HR_ATT_KEYS_HDR) を使用して、アプリケーションで使用されるプロンプト テーブルおよびキー フィールドを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [添付ファイル], [キーの設定], [キーの設定]

画像: キーの設定ページ

次の例では、キーの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configure Keys

Applications

Personalize | Find | |

First 1-5 of 5 Last

	*Object Owner ID	Description	*Sub Id	Description	Context Keys	Store Keys		
1	HEB	eBenefits	LE	eBenefits	Context Keys	Store Keys	+	-
2	HGA	Absence Management	AMEA	Absence Management	Context Keys	Store Keys	+	-
3	HNL	HR Netherlands	ABS	Follow Up Actions	Context Keys	Store Keys	+	-
4	HARAM	RS Applicant Manager	JOFF	Job Offer Atchments w Setid	Context Keys	Store Keys	+	-
5	HWCS	Workforce Comp Solutions	ALRT	Compensation Alerts	Context Keys	Store Keys	+	-

- オブジェクト オーナー ID

共通コンポーネントが使用されるアプリケーションを入力します。
- サブ ID (サブ アプリケーション ID)

サブアプリケーション ID を入力します。[サブ ID] フィールドを使用して、1 つの製品ライン内の複数の機能ラインに対する定義を作成します。
- 適用条件

クリックすると、添付ファイル適用条件ページが開きます。
- キーの保存

クリックすると、添付ファイル保存キー ページが開きます。

添付ファイル適用条件ページ

添付ファイル適用条件ページ (HR_ATT_KEYS_C) を使用して、コンテンツ キー プロンプト値を入力します。

ナビゲーション

キーの設定ページの [適用条件] リンクをクリックします。

画像: 添付ファイル適用条件ページ

次の例では、添付ファイル適用条件ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Attachments Context Keys

Object Owner ID HGA
Sub Id AMEA
Description Absence Management

Context Keys Personalize Find 1-2 of 2 First Last

Prompt Fields Related Fields

*Sequence	*Key Prompt Table	*Key Prompt Field	*Field Label Key		
10	GP_COUNTRY	COUNTRY	Country		
20	GP_PIN_NM_VW	PIN_NM	Absence Element		

OK Cancel

連番 定義の管理ページで適用条件の順序を指定します。

キー プロンプト テーブル アプリケーションに関して添付ファイルの分割に使用される値を定義したプロンプト テーブルのオブジェクト名を選択します。

キー プロンプト フィールド 指定したキーの有効値リストの値を含む、プロンプト テーブルフィールドを選択します。

フィールド ラベル キー プロンプト テーブルのラベルを選択します。

関連フィールド

[関連フィールド] タブをクリックして、キー プロンプト テーブルおよびキー プロンプト フィールドに関連するフィールドを行ごとに選択します。

添付ファイル保存キー ページ

添付ファイル保存キー ページ (HR_ATT_KEYS_S) を使用して、保存キーの値を入力します。

ナビゲーション

キーの設定ページの [キーの保存] リンクをクリックします。

画像: 添付ファイル保存キー

次の例では、添付ファイル保存キー ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Attachments Store Keys

Object Owner ID HGA

Sub Id AMEA

Description Absence Management

Record (Table) Name GP_ABS_ATTACH

Store Keys

Personalize | Find | First 1-3 of 3 Last

Seq Nbr	Prompt Table	Prompt Field	*Field Label	Hide Key	Display on Grid
1	GP_ABS_ATTACH	EMPLID	EmplID	☐	☒
2	GP_ABS_ATTACH	EMPL_RCD	Employee Record Number	☐	☒
3	GP_ABS_ATTACH	TRANSACTION_NBR	Transaction Number	☐	☒

OK

Cancel

- キーを非表示

キーがドキュメント定義ページに表示されるかどうかを示す場合にオンにします。
- グリッド上に表示

キー フィールドがドキュメント定義のヘッダー ページに表示されるかどうかを示す場合にオンにします。

定義の管理ページ

定義の管理ページ (HR_ATT_DEFN) を使用して、アプリケーションで利用できる添付ファイル タイプを指定します。

このページに表示される適用条件は、キーの設定コンポーネントによって決定され、有効な設定 ID のリストを取得するために使用されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [添付ファイル], [定義の管理], [定義の管理]

画像: 定義の管理ページ

次の例では、定義の管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Maintain Definitions

Object Owner ID HGA

Sub Id AMEA

Definition

Find | View All

First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/1990

*Status Active

Context

Find | View All

First 1 of 4 Last

*Sequence Number 1

Context Keys

Personalize | Find

First 1-2 of 2 Last

Key Field	Key Value	Key Date	Key Number	All values
1 Country	CYM			
2 Absence Element				☒

Attachments

Personalize | Find | View All

First 1 of 1 Last

*Configuration ID	*Sequence	*Group Box
1 KOW_FAQ_LNK	1	Related Links

キー フィールド

添付ファイル適用条件ページで指定した適用条件のリストを表示します。

キー値、キー日付、キー番号

指定したキー フィールドに対する有効な値を選択します。使用可能なフィールドは、キー フィールドのタイプによって異なります。たとえば、[サイクル ID] が CHAR 型のフィールドの場合は、[キー値] フィールドが使用可能で、[キー日付] フィールドと [キー番号] フィールドにはデータを入力できません。[予算期間開始日] は DATE 型のフィールドであり、この場合は [キー日付] フィールドが使用可能で、[キー値] フィールドと [キー番号] フィールドにはデータを入力できません。[全ての値] チェック ボックスがオンの場合、これらのフィールドはいずれも使用できません。

全ての値

指定したキー フィールドに対していずれの値も有効であることを指定する場合にオンにします。このフィールドを選択すると、[キー値] フィールドが使用不可になります。

添付ファイル

設定 ID

有効な設定 ID を選択します。アクティブな添付ファイル設定 ID のみが表示されます。

連番	添付ファイルへのハイパーリンクがデータベースから取得される順序を指定する数値を入力します。
グループ ボックス	ハイパーリンク ラベルが表示されるグループ ボックスを選択します。値は、 <i>[関連リンク]</i> 、 <i>[その他のリンク]</i> 、および <i>[なし]</i> です。

注: 定義の管理ページを初めて開いたときは、適用条件は表示されません。連番の入力が必要で、入力すると適用条件が自動的に表示されます。

添付ファイル フレームワークの実装

PeopleSoft に用意されている HR_ATTACHMENTS アプリケーション パッケージのアプリケーション クラス メソッドを使用して、添付ファイル フレームワークを実装します。標準のアプリケーション パッケージには 2 つのクラスがあります。Attachment_Data アプリケーション クラスを使用すると、全てのリンク ラベル、全ての設定 ID、および定義済みの添付ファイルへのリンクを含む全てのグループ ボックスに対するエントリを含むオブジェクトを作成できます。Attachment_UI アプリケーション クラスを使用すると、添付ファイルのユーザー インターフェイスを管理できます。

Attachment_Data アプリケーション クラス GetAttachmentLink メソッド

GetAttachmentLink メソッドは、有効日とコンテキスト キーの配列を使用してデータベースから設定 ID を取得します。次に、これらのエントリは、ロール名でさらにフィルタするためにスタンドアロン行セットにロードされます。

GetAttachmentLink メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&EffDt	有効日を日付として指定します。
&Ckeys	適用条件の値を文字列の配列として指定します。値は、適用条件ページに定義されている順序と同じ順序である必要があります。
%UserID	(省略可) システム変数を使用して現在のユーザーを指定します。
%Component	(省略可) システム変数を使用して、添付ファイル フレームワークを起動するコンポーネントを指定します。
&Roles	(省略可) ロールを文字列の配列として指定します。

メソッドによって、リンク ラベル、設定 ID、および現在のユーザーがアクセスできるグループ ボックスの全てに対するエントリを含む配列オブジェクトが返されます。

現在のユーザーのロールを検出または取得するオプションは、&Roles、%Component、または %UserID に渡される値に応じて 2 つあります。

- 1. システムでは、フィルタを実行するために、%UserId および %Component 変数を使用して各コンテンツ参照とユーザー ID に対する有効なロール名が全て検出されます。
- 2. &Roles の文字列の配列を使用すると、配列内のロール名のみがフィルタに考慮されます。

注: ロール名でさらにフィルタを実行するには、これらのオプションのいずれかを選択する必要があります。3 つのパラメータ全てを同時に渡した場合は、&Roles の文字列の配列が自動的に使用されます。

Attachment_Data アプリケーション クラス SameAttachmentSetup メソッド

SameAttachmentSetup メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&EffDt	有効日を日付として指定します。
%UserID	(省略可) システム変数を使用して現在のユーザーを指定します。
%Component	(省略可) システム変数を使用して、添付ファイル フレームワークを起動するコンポーネントを指定します。
&Roles	(省略可) ロールを文字列の配列として指定します。
&cKeys	現在の適用条件の値を文字列の配列として指定します。
&oKeys	以前の適用条件の値を文字列の配列として指定します。これは、前回コンポーネントが保存されたフィールドの値です。

メソッドによってブール値 (True/False) が返されます。

システムでは、&EffDt および &cKeys が使用され、現在のコンテキスト キーの値を使用して、設定 ID が取得されます。システムでは、&EffDt および &oKeys が使用され、コンポーネントが前回保存されたときのコンテキスト キーの値を使用して設定 ID が取得されます。%UserId および %Component システム変数を使用すると、フィルタを実行するために各コンテンツ参照とユーザー ID に対する有効なロール名が全て検出されます。&Roles の文字列の配列を使用すると、配列内のロール名のみがフィルタに考慮されます。次に、これらのエントリは、比較のために配列にロードされます。現在の設定 ID が以前の設定 ID と同じである場合、メソッドは値 True を返します。戻り値が True の場合、この機能を実装する予定の製品では、無効な添付ファイルを削除するかまたはデータベースに残すかを選択できます。

Attachment_UI アプリケーション クラス Attachment_UI (コンストラクタ) メソッド

このメソッドに含まれるステートメントは、クラスの初期化を提供し、Attachment_UI クラスの新規オブジェクトのインスタンスを作成します。

Attachment_UI (コンストラクタ) メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&tOwrId	(省略可) テキスト カタログのオブジェクト オーナー ID を指定します。
&tSubId	(省略可) テキスト カタログの添付ファイル サブ ID を指定します。
&OwrId	オブジェクト添付ファイル オーナー ID を指定します。
&SubId	オブジェクト添付ファイルのサブ ID を指定します。

戻りパラメータは使用できません。

Attachment_UI アプリケーション クラス GetAttachmentType メソッド

設定 ID および有効日は、添付ファイル設定テーブルから添付ファイル タイプを取得するために使用されます。

GetAttachmentType メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&CnfgId	ハイパーリンクの設定 ID を指定します。
&EffDt	有効日を日付として指定します。

メソッドによって、添付ファイル タイプが次のいずれかの文字列値で返されます。

- URL 添付ファイル タイプの場合は <001> です。
- ATTACHMENT 添付ファイル タイプの場合は <002> です。
- DOCUMENT DEFINITION 添付ファイル タイプの場合は <003> です。

注: タイプ 003 の添付ファイル タイプのみ編集できます。

Attachment_UI アプリケーション クラス OpenAttachment メソッド

システムでは、設定 ID 値 (&hCnfgID) と有効日 (&hEffDt) が使用され、GetAttachmentType メソッドを使用して PS_HR_ATT_CNFG_TBL から添付ファイル タイプが取得されます。添付ファイル タイプが[添付ファイル] または [URL] の場合は、指定した添付ファイルまたは URL が新しいウィンドウで開きます。それ以外の場合、ユーザーは添付ファイル ユーザー インターフェイス – (コンポーネント: HR_ATT_DD) に移動します。ユーザーがコンポーネントを開くことができるように、対応する保存キー レコードおよび保存キー フィールド ラベルが定義されていることを確認します。

OpenAttachment メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&tOwrId	(省略可) テキスト カタログのオブジェクト オーナー ID を指定します。
&tSubId	(省略可) テキスト カタログの添付ファイル サブ ID を指定します。
&OwrId	オブジェクト オーナー ID を指定します。
&SubId	オブジェクト添付ファイルのサブ ID を指定します。
&hCnfgID	ハイパーリンク設定 ID (GetAttachmentLinks メソッドが配列に返す値を使用) を指定します。
&hEffDt	有効日を指定します。
%UserID	システム変数を使用して現在のユーザーを指定します。
&sKeys	保存キーの値を文字列の配列として指定します。
&hRole	ロール名 (GetAttachmentLinks メソッドが配列に返す値を使用) を指定します。
&dOnly	<i>True</i> または <i>False</i> を指定します。 <i>True</i> は表示のみのモードを示します。 <i>False</i> の場合は、添付ファイルの設定が使用されます。

メソッドによって、正常に追加された添付ファイル レコードの数を示す数値が返されます。

Attachment_UI アプリケーション クラス DelAttachments メソッド

DelAttachments メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&EffDt	有効日を日付として指定します。
&Ckeys	適用条件の値を文字列の配列として指定します。
&Roles	(省略可) ロールを文字列の配列として指定します。
%Component	(省略可) システム変数を使用して、添付ファイル フレームワークを起動するコンポーネントを指定します。

入力パラメータ	説明
%UserID	(省略可) システム変数を使用して現在のユーザーを指定します。

メソッドによって、ハイパーリンク ラベル、設定 ID、および現在のユーザーがアクセスできるグループ ボックスの全てに対するエントリを含む配列が返されます。

Attachment_UI アプリケーション クラス ExistAttachments メソッド

ExistAttachments メソッドは次のパラメータを受け入れます。

入力パラメータ	説明
&OwrId	オブジェクト添付ファイル オーナー ID を指定します。
&SubId	オブジェクト添付ファイルのサブ ID を指定します。
&hEffDt	有効日を日付として指定します。
&hkeys	保存キーの値を文字列の配列として指定します。

メソッドによってブール値 (True/False) が返されます。

標準のテキスト カタログ エントリ

添付ファイルの標準テキスト カタログ エントリを表示するには、次の手順に従います。

1. テキスト カタログの更新ページに移動します。([HCM 基本設定], [共通定義], [テキスト カタログとノートパッド], [テキスト カタログの更新])
2. [オブジェクト オーナー ID] フィールドに HHR、[サブ ID] フィールドに ATT と入力します。
3. [検索] をクリックして、添付ファイルのテキスト カタログのリストを表示します。

学歴関連の情報の定義

学歴と専攻分野に関する情報を設定するには、学校タイプ (SCHOOL_TYPE_TABLE)、学校 (SCHOOL_TABLE)、専攻 (MAJOR_TABLE)、学部テーブル JPN (FACULTY_TABLE_JPN) の各コンポーネントを使用します。

次の各トピックでは、学歴関連の情報とプロフィールの概要および学歴関連の情報の定義方法について説明します。

学歴関連の情報の定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
学校タイプ ページ	SCHOOL_TYPE_TBL	高校、大学、専門学校など、従業員が就学した学校のタイプのコードを設定します。
<u>学校ページ</u>	SCHOOL_TABLE	特定の学校のコードを定義します。 ここで入力した学校コードは、従業員データや研修関連のページで同様の情報を管理する際にも利用可能です。
専攻ページ	MAJOR_TABLE	学位や資格に最も関連性のある専攻分野のコードを定義します。 これらの値は、専攻または副専攻の学位に使用されます。
<u>(JPN) 学部/学科 JPN ページ</u>	FACULTY_TABLE_JPN	(JPN) 学部を定義し、その学部に学科と文理区分を関連付けます。

学歴関連の情報およびプロフィールについて

学校タイプ、学校、専攻、副専攻、日本の学部や学科のコードをプロフィールに含める場合は、該当するプロパティをプロフィール タイプのコンテンツ セクションに追加します。学歴の各テーブルには、以下のプロパティが関連付けられています。

- SCHOOL_TYPE
- SCHOOL_CODE
- SCHOOL_DESCR
- MAJOR_CODE
- MAJOR_DESCR
- JPM_MINOR_CD
- MINOR_DESCR
- FACULTY_CODE (日本)
- FACULTY_DESCR (日本)
- SUBFACULTY_CODE (日本)
- SUBFACULTY_DESCR (日本)

標準で提供されている "個人" プロファイル タイプは、従業員の学歴情報を記録できるように設定されています。このプロファイル タイプの [学歴] タブには、各学歴テーブルの情報を使用する "学歴"、"学位" および "専攻分野" のコンテンツ セクションがあります。

ページ上で学校、専攻、副専攻、学部、または学科のコードを入力すると、各学歴テーブルに入力した名称が表示専用として学歴関連のプロファイル ページに表示されます。

関連リンク

[Profile Type PropertiesPeopleSoft Human Resources Manage Profiles](#)
[Understanding Profile ManagementPeopleSoft Human Resources Manage Profiles](#)

学校ページ

学校ページ (SCHOOL_TABLE) を使用して、特定の学校のコードを定義します。

ここで入力した学校コードは、従業員データや研修関連のページで同様の情報を管理する際にも利用可能です。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [学校関連], [学校], [学校]

画像: 学校ページ

次の例では、学校ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Schools

School Code KCS010

*Description Humber College

☒ Public ☐ Private

Short Description Humber

Country CAN

Canada

Province ON

Ontario

- 説明

学校の名称を入力します。プロファイル ページで学校コードを入力すると、このテキストが表示専用として [名称] フィールドに自動的に入力されます。
- 国

学校の国コードを選択します。国コードは、国テーブルに保存されています。選択した国によっては、その国内で学校の所在地域を定義する関連フィールド ([州]、[都道府県/州]、[コミュニティ]、[県]、または[国] など) が表示されます。
- 国公立、私立

学校が国公立校か私立校かを選択します。

(AUS) [オーストラリア]

教育機関タイプ

オーストラリアの学校の場合、教育機関タイプを選択します。

(JPN) 学部/学科 JPN ページ

(JPN) 学部/学科 JPNページ (FACULTY_TABLE_JPN) を使用して、学部を定義し、その学部に学科と文理区分を関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [学校関連], [学部/学科 JPN], [学部/学科 JPN]

画像: 学部/学科 JPN ページ

次の例では、学部/学科 JPN ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Faculty Table JPN

Faculty Code KJ002

Faculty Information

*Faculty DescriptionFaculty of Economics

*Faculty Short DescriptionEcon

Major CategoryHumanities

Sub-Faculty Information

Personalize | Find | First 1-2 of 2 Last

	*Sub-Faculty Code	*Sub-Faculty Description	*Sub-Faculty Short Description		
1	KJ01	Department of Economics	Econ		
2	KJ02	Department of Management	Mgmt		

学部名

学部の名称を入力します。プロフィール ページで学部または学科コードを入力すると、このテキストが表示専用として [名称] フィールドに自動的に入力されます。

文理区分

文理区分の値を選択します。

ここで選択する値は、プロフィールのどこでこの学部を選択してもデフォルトの文理区分になります。このデフォルト値は上書きできます。

学科コード

学科のコードを入力します。複数の学科を入力できます。プロフィールで学部を選択するときは、ここで学部に設定した学科しか選択できません。

HR 通知の使い方

HR 通知について

HR 通知を使用すると、HCM システム内の個人または従業員グループへの通知を構成して送信できます。通知は、以下の形式で配信できます。

- 受取人の受信ボックスに配信される電子メール メッセージ。
- 受取人がアクセス可能なホームページ、ワークセンター、またはダッシュボード ページのアナウンスメント ページレットに表示されるアナウンスメント。
- 電子メール メッセージとアナウンスメントの両方。

ユーザーは、この機能が導入された HCM コンポーネント、またはどのコンポーネントにも関連付けられていない汎用ページから、通知を作成して送信できます。HR 通知対応のコンポーネント ページから、ユーザーが [通知] ボタン (コンポーネントに配置されたサブページで使用可能) をクリックすると、HR 通知ページがモーダル ウィンドウに開きます。このページから、ユーザーは通知の受取人を選択して、通知の内容を構成します。通知は、即時に送信、予定日に送信、または繰返イベントとして送信できます。ユーザーがシステム内の個人にアドホック通知を送信するとき、特にどのコンポーネントとも関連がない場合は、[HCM 基本設定]、[共通定義]、[HR 通知] の順にクリックして HR 通知ページに直接アクセスし、このページから通知を送信できます。

勤務管理ワークセンターには、いずれか 1 つのページに HR 通知機能が導入されています。"レポート時間の管理: 休暇および超過勤務調整時間" ページから、管理者はページ下部にある [通知] ボタンをクリッ

クして HR 通知ページ を起動し、直属部下に対して休暇および超過勤務時間に関する通知を送信できます。

画像: "レポート時間の管理: 休暇および超過勤務調整時間" ページからの通知の送信

HR 通知機能を使用して、勤務管理ワークセンター ページから通知を送信します。

通知受取人

ユーザーは、通知受取人として、個人、組織構造 (支給グループ、部門など)、または従業員グループ (給与計算管理者など) を指定することもできます。管理者は、通知受取人設定コンポーネントを使用して、以下の方法で受取人グループを作成します。

1. システムで受取人グループ (受取人タイプ) を識別するのに使用される一般情報を入力します。
2. (省略可) 受取人タイプに通知を送信できるユーザー ロールを指定します。ロールが指定されない場合は、全てのユーザーが通知を送信する権限を持ちます。
3. 通知の送信先になる受取人を解決して受取人リストを作成するために、実行時に使用される方法を選択します。

サポートされているオプションは、[全ユーザー]、[アプリケーション クラス]、[クエリー ベース]、[ロール ベース]、および [SQL 定義] です。

4. ユーザーが受取人タイプ検索を実行して関連する受取人のリストを取得する際に、照会されるプロンプトレコードを選択します。
5. (省略可) ユーザーが受取人タイプ検索を実行する際に使用可能な検索フィールドをリストします。

システムには、通知の送信で使用される受取人タイプが用意されています。

通知内容

ユーザーは HR 通知機能を使用して作成および送信する通知に、次の内容を含めることができます。

- リッチテキストのメッセージ本文

- 以下のようなリンク
 - Web サイト URL (例: www.oracle.com)
 - HCM コンポーネントへのリンク (例: HCM システムでタイムシートを表示するためのリンク)
- 添付ファイル

通知を処理するためのラン コントロール

通知は、後の日付に送信したり繰返し送信するようにスケジュールできます。このような通知が適切に処理されるようにラン コントロール ページ (HCSC_NOTIF_RC) が用意されており、HCSC_NOTIFY アプリケーション エンジン (AE) プログラムをスケジュールして保留中および繰返の通知を処理できます。

通知を送信するための AE プログラム

システムには、通知を処理するための HCSC_NOTIFY AE プログラムが用意されています。以下の 2 つの場所から起動できます。

- アドホック通知が作成される HR 通知ページ

[送信] ボタンをクリックすると、AE プログラムがプロセス スケジューラに即時に送信されます。

- HCSC_NOTIF_RC ラン コントロール ページ

プログラムが起動されると、以下の処理が実行されます。

- 選択された受取人タイプから、受取人の最終リストを処理します。
- 識別された受取人のリストに通知、アナウンスメント、またはその両方 (設定されている場合) を送信します。

繰返および保留中の通知を処理するために、HCSC_NOTIFY AE プログラムを毎日実行することをお勧めします。容易にスケジュールするために、HCSC_ANN ジョブ (HCSC_NOTIFY プログラムに含まれる) が用意されています。管理者はこのジョブの定期処理を毎日に設定して、繰返および保留中の通知を処理できます。

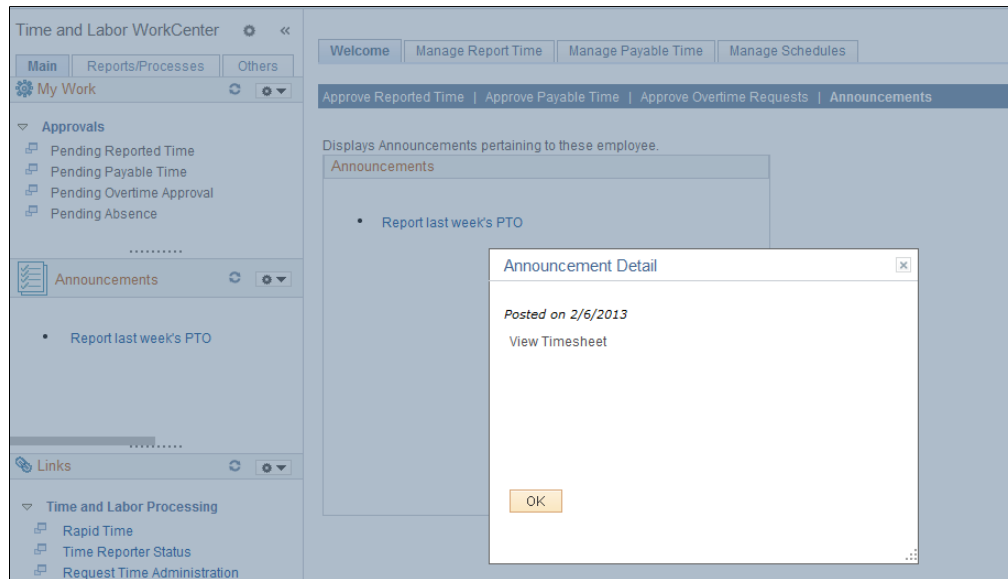
実行時におけるアナウンスメントの表示

実行時に、受取人は自分宛に送信されたアナウンスメントをアナウンスメント ページレットに表示できます。このページレットは、ホームページ、ワークセンターおよびダッシュボード ページに追加できます。

このスクリーンショットは、勤務管理ワークセンターでのアナウンスメント詳細の例を示しています。勤務管理ワークセンターでは、レポート時間の管理ページに HR 通知機能が導入されます。

画像: 勤務管理ワークセンターでのアナウンスメントの表示

アナウンスメント ページレットでアナウンスメント リンクをクリックして、アナウンスメント詳細を表示します。このリンクは、勤務管理ワークセンターの "ようこそ: アナウンスメント" ページで使用可能です。



注: 受取人リストに対して受取人の新規追加または削除が行われた場合は、アプリケーション エンジンがアナウンスメントを再処理すると更新が処理されます。受取人は、ユーザーのユーザー ID を使用して保護されるアナウンスメント ページレットにアナウンスメントを表示できます。

通知データのアーカイブ

通知データは、時間の経過と共に増大する可能性があります。データを管理可能な量に維持するために、1 つのアーカイブ オブジェクト、2 つのアーカイブ クエリー、および 1 つのアーカイブ テンプレートが用意されており、これらはデータ アーカイブ マネージャを介して通知データをアーカイブするために使用されます。

HR 通知機能では、以下の 2 つの方法でレコードをアーカイブできます。

- 送信日基準

特定の日付より前に送信された全てのアナウンスメントがアーカイブされます。

- 失効日基準

特定の日付より前に失効した全てのアナウンスメントがアーカイブされます。

標準で用意されているアーカイブ オブジェクト

アーカイブ オブジェクトとは、アーカイブするテーブルの集まりのことです。オブジェクト定義によってテーブルからデータをアーカイブする方法が決定されます。HR 通知機能用に HCSC_NOTIFICATION_ARCHIVE アーカイブ オブジェクトが用意されています。

次の表に、HCSC_NOTIFICATION_ARCHIVE アーカイブ オブジェクトに対して用意されているアーカイブレコードを示します。

内容	アーカイブ レコード	履歴レコード
通知およびアナウンスメント	HCSC_NOTIF	HCSC_NOTIF_HST
アナウンスメント リスト	HCSC_ANNOUNCE	HCSC_ANNOUN_HST
通知の添付ファイル	HCSC_NOTIF_ATCH	HCSC_NOT_AT_HST
通知リンク	HCSC_NOTIF_LINK	HCSC_N_LINK_HST
HR 通知の受取人リスト	HCSC_NOTIF_RCPT	HCSC_N_RCPT_HST

標準で用意されているアーカイブ クエリー

PeopleSoft データ アーカイブ マネージャでは、クエリーを使用して基本アーカイブ オブジェクトの基本テーブルからの選択条件を定義します。

送信日または失効日に基づくデータ アーカイブをサポートするために、2 つのクエリーが用意されています。

- HCSC_NOTIF_ARCH_DATE_POSTED
- HCSC_NOTIF_ARCH_EXPIRE_DATE

標準で用意されているアーカイブ テンプレート

アーカイブ テンプレートでは、アーカイブ オブジェクトとアーカイブ クエリーを関連付けます。HR 通知機能には、この目的のために HCSC_NOT テンプレートが用意されています。

『PeopleTools: Data Management』の「Using PeopleSoft Data Archive Manager」を参照してください。

アプリケーション コンポーネントにおける HR 通知の有効化

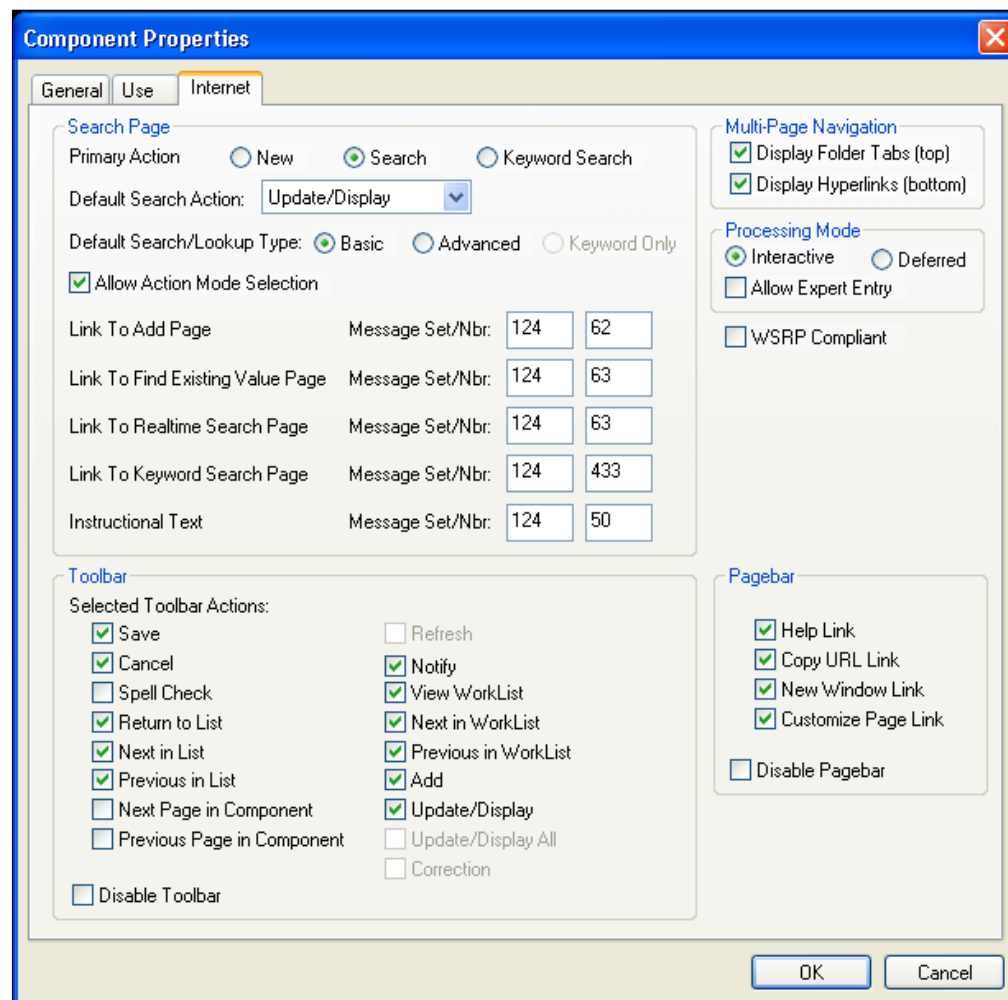
PeopleTools では、全ての PIA ページに、ページ下部に表示される [通知] ボタンを使用した通知機能が用意されています。ボタンをクリックすると、関係者に電子メール通知が送信されます。この標準の PeopleTools 機能を HR 通知で置換でき、提供される追加機能 (ワークセンターまたはダッシュボードのページに表示されるアナウンスメントの送信や、遅延通知の送信など) を利用できます。

アプリケーション コンポーネントで HR 通知を有効化するには、次の手順に従います。

1. 標準の PeopleTools 通知機能を HR 通知機能で上書きします。これを実行するには、次の手順に従います。
 - a. アプリケーション コンポーネントに対する [コンポーネント プロパティ] ダイアログ ボックスの [インターネット] タブで、[通知] ボタンが有効化されていることを確認します。

画像: HR 通知機能を実装しているコンポーネントの [コンポーネント プロパティ] ダイアログ ボックスで有効化されている [通知] ボタン

次の例では、HR 通知機能を実装しているコンポーネントの [コンポーネント プロパティ] ダイアログ ボックスで [通知] ボタンが有効化されていることを説明します。



- b. HR 通知機能を有効化する必要があるコンポーネント ページに HCSC_ADHOC_NFY_SBP サブ ページを追加します。

注: サブページは、レベル 0 で追加する必要があります。

これによって、標準の PeopleTools の [通知] ボタンが上書きされ、通知機能がリダイレクトされて HR 通知機能で処理されるようになります。この時点で、[HR 通知を有効化] チェック ボックスが インストール設定ページ で有効化されていることを確認します。

HCSC_ADHOC_NFY_SBP サブページのコンテンツは、PeopleTools の [通知] ボタンがコンポーネント ページで検出された場合は非表示になり、それ以外の場合は、サブページが挿入されたページ上に、クリック可能な [通知] ボタンが表示されます。

2. 標準の PeopleTools の [通知] ボタンがないページに [通知] ボタンを追加します。

これを実行するには、ページにボタンを追加し、このスクリーンショットに示すように、ボタン アクション設定を設定します。

画像: PeopleTools の [通知] ボタンがないページに追加される [通知] ボタンのボタン アクション設定

次の例では、PeopleTools の [通知] ボタンがないページに追加される [通知] ボタンのボタン アクション設定を説明します。

次に、HCSC_ADHOC_NFN.HCSC_ADHOC_NFY peoplecode によって必要な事前初期化が実行され、通知リクエストが HR 通知コンポーネントにリダイレクトされます。

注: 別の方法として、独自のボタンを作成する代わりに、HCSC_ADHOC_NFY_SBP サブページをページに組み込むことができます。PeopleTools の [通知] ボタンがページで有効化されていない場合は、サブページが配置される場所に [通知] ボタンが表示されます。

3. 標準の API を使用して、受取人を HR 通知ページ (通知が作成され、送信される場所) に渡します。

個々の受取人または受取人のグループを HR 通知ページの TO リストに渡すために、コンポーネントレベルのアプリケーション クラスが用意されています。

以下の `peoplecode` の行をコピーして、コンポーネントレベルの変数のインスタンスを作成します。このコードは、`Component PostBuild` イベントに記述できます。

```
import HCSC_NOTIFICATION:HCSC_RecipientList;  
Component HCSC_NOTIFICATION:HCSC_RecipientList &Recipients;  
&Recipients = create HCSC_NOTIFICATION:HCSC_RecipientList();
```

次の各関数を使用して受取人を追加またはクリアできるようになります。

- 関数名: `add (&recipient)`

この関数を使用すると、受取人を 1 人追加できます (例:
`&Recipients.add("KU0001");`)。

- 関数名: `addRecipientArray (&recipient)`

この関数を使用すると、配列に格納される従業員リストを追加できます (例:
`&Recipients.addRecipientArray(&yourarray);`)。

この関数の入力パラメータは、従業員 ID を格納する単一のディメンション配列である必要があります。

- 関数名: `addRecipientCSV (&recipient)`

この関数を使用すると、カンマ区切りの従業員リストを追加できます (例:
`&Recipients.add("KU0001, KU0002");`)。

- 関数名: `clear ()`

受取人を追加した場合、この関数を使用するとリストが空白にリセットされます (例:
`&Recipients.clear();`)。

これらの関数は、アプリケーション ビジネス ロジックに応じて、`peoplecode` イベントに記述できます。

関連コンテンツ サービス

PeopleSoft には、PeopleSoft に実装可能な HCSC_NOTIFICATION 関連のコンテンツ サービスが用意されています。この関連コンテンツ サービスは、必要なアプリケーション ページまたはピボット グリッドに割り当てることができます。

画像: コンテンツ サービスの定義ページ

次の例では、コンテンツ サービスの定義ページの HCSC_NOTIFICATION 関連のコンテンツ サービスについて説明します。

Define Related Content Service

Service Information

Service ID

HCSC_NOTIFICATION

*Service Name

Send Notification

Description

Send Notification and Announcement

*URL Type

Peoplesoft Component

Object Owner ID

HCSC

Write help text

Copy Service Definition

URL Information

*Node Name

HRMS

Component Parameters

*Menu Name

HCSC_NOTIFICATIONS

*Market

GBL

*Component Name

HCSC_NOTIF_ADHOC

Page Name

HCSC_NOTIF_ADHOC

☐ Post mapping definition data

☒ Escape URL Parameters

Note: parameter names are case-sensitive.

Service URL Parameters

	*Parameter Name	Required Flag	*Description		
1	OPRID	☒	User ID		+ -
2	HCSC_NOTIF_TRNS_ID	☒	Transaction ID (Fixed Value 9999999999)		+ -
3	HCSC_DATE_POSTED	☒	Posting Date		+ -
4	HCSC_DELIVERY_METH	☒	Delivery Method (Fixed Value A)		+ -
5	ACTION	☒	Action (Fixed Value A)		+ -

『PeopleTools: Portal Technology』の「Defining Related Content Services」も参照してください。

HR 通知の設定

HR 通知機能を設定するには、インストール設定 (HCSC_NOTIF_INSTALL) コンポーネント、通知受取人設定 (HCSC_RCPNT_SETUP) コンポーネント、埋め込み型リンクの設定 (HCSC_LINK_SETUP) コンポーネント、および埋め込み型リンクの割当 (HCSC_LINK_ASSIGN) コンポーネントを使用します。

このセクションでは、HR 通知の設定方法について説明します。

HR 通知の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
インストール設定ページ	HCSC_NOTIF_INSTALL	HR 通知機能を有効にし、アナウンスメントを発行するユーザー ロールを指定します。

ページ名	定義名	用途
<u>受取人タイプ情報の指定ページ</u>	HCSC_RCPNT_SETUP	受取人タイプに関する一般情報を入力します。
<u>セキュリティの設定ページ</u>	HCSC_RCPNT_SECURIT	(省略可) この受取人タイプへの通知を構成および送信できるユーザーのロールを指定します。
<u>受取人選択方法の選択ページ</u>	HCSC_RCPNT_SOURCE	受取人リスト選択方法を定義します。
<u>プロンプトレコードの選択ページ</u>	HCSC_RCPNT_RECPRMT	この受取人タイプに関連する受取人を取得するために、受取人の検索で照会されるレコードとフィールドを指定します。
<u>プロンプト検索フィールドの選択ページ</u>	HCSC_RCPNT_FLDPRMT	受取人の検索で使用される検索フィールドを指定します。
<u>確認ページ</u>	HCSC_RCPNT_CONFIRM	送信前に受取人タイプの設定を確認します。
<u>埋め込み型リンクの設定ページ</u>	HCSC_LINK_SETUP	通知に含めることができるリンクを設定します。
<u>埋め込み型リンクの割当ページ</u>	HCSC_LINK_ASSIGN	埋め込み型リンクをアプリケーション コンポーネントに関連付けます。
<u>HR 通知ページ</u>	HCSC_NOTIF_ADHOC	通知を構成および送信します。
<u>詳細オプション ページ</u>	HCSC_NOTIF_ADV_OPT	将来または繰返の通知のオプションを指定します。
通知の処理ページ	HCSC_NOTIF_RC	HCSC_NOTIFY AE プログラムを実行して、保留中および繰返の通知を処理します。

インストール設定ページ

インストール設定ページ (HCSC_NOTIF_INSTALL) を使用して、HR 通知機能を有効にし、アナウンスメントを発行するユーザー ロールを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [HR 通知], [インストール設定], [インストール設定]

画像: インストール設定ページ

次の例では、インストール設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Installation Settings' page. Under the 'HR Notification' section, the 'Enable HR Notification' checkbox is checked. Below this is the 'Announcement Access' section, which includes a table with columns 'Role Name' and 'Description'. A search icon is present next to the 'Role Name' column. The table currently displays one entry with the value '1' in the 'Role Name' column. Navigation controls like 'First', '1 of 1', and 'Last' are visible at the top right of the table area.

HR 通知を有効化

クリックすると、HCM システムで HR 通知機能が有効になります。

ロール名

ユーザー ロールを入力して、アナウンスメントを発行する権限をそのユーザー ロールを持つユーザーのみに制限します。

ロールが選択されていない場合は、全てのユーザーがアナウンスメントを発行できます。

受取人タイプ情報の指定ページ

受取人タイプ情報の指定ページ (HCSC_RCPNT_SETUP) を使用して、受取人タイプに関する一般情報を入力します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [HR 通知], [通知受取人設定], [受取人タイプ情報の指定]

画像: 受取人タイプ情報の指定ページ

次の例では、受取人タイプ情報の指定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Specify Recipient Type Information' page, which is Step 1 of 6. The page contains several input fields: 'Recipient Type' with the value 'DEPT', '*Description' with 'Department', 'Data Type' with a dropdown showing 'Sample Data', '*Status' with a dropdown showing 'Active', and 'Object Owner ID' with a dropdown showing 'HCM Shared Component'. At the top, there are tabs for 'Specify Recipient Type Information', 'Setup Security', 'Select Recipient Population Method', 'Select Prompt Record', 'Select Prompt Search Fields', and 'Confirmation'. Navigation buttons 'Exit', 'Previous', and 'Next' are located at the top right.

データ タイプ

受取人タイプが顧客データ、サンプル データ、またはシステムデータのいずれかの場合に指定します。

システム提供の受取人タイプ

次の表は、HR 通知の作成で使用するシステム提供の受取人タイプの一覧です。

受取人タイプ	説明	ユーザー リスト ソース
ALL	システム全体に配布	全て
COMPANY	会社	App クラス
DEPT	部門	App クラス
EMPL	従業員	App クラス
GP_PYGRP	GP 支給グループ	SQL
HR BU	HR ビジネス ユニット	App クラス
HR GROUP	HR グループ ID	App クラス
JOB CODE	職務コード	App クラス
PAY ADM	給与計算管理者	ロール ベース
PAYGROUP	支給グループ	クエリー
POS_NUM	ポジション番号	App クラス
TASKGRP	タスク グループ	App クラス
TASKPRFL	タスク プロファイル	App クラス
TL_GRPID	TL グループ ID	App クラス
UNION CD	組合コード	App クラス
WORK GRP	ワークグループ	App クラス

セキュリティの設定ページ

セキュリティの設定ページ (HCSC_RCPNT_SECURIT) を使用して、この受取人タイプへの通知を構成および送信できるユーザーのロールを任意で指定します。

ナビゲーション

受取人タイプ情報の指定ページで [次へ] ボタンをクリックします。

画像: セキュリティの設定ページ

次の例では、セキュリティの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

ユーザーのユーザー ID を使用して、受取人タイプに対するロール ベースのセキュリティが検証されます。通知を作成するとき、ユーザーが選択できるのは、ユーザーに割り当てられたユーザー ロールに関連付けられた受取人タイプのみです。

ロール名

ユーザー ロールを入力して、この受取人タイプに通知を送信する権限をそのユーザー ロールを持つユーザーのみに制限します。

ロールが選択されていない場合は、全てのユーザーがこの受取人タイプに通知を送信できます。

受取人選択方法の選択ページ

受取人選択方法の選択ページ (HCSC_RCPNT_SOURCE) を使用して、受取人リストの選択方法を定義します。

ナビゲーション

セキュリティの設定ページで [次へ] ボタンをクリックします。

画像: 受取人選択方法の選択ページ

次の例では、受取人選択方法の選択ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

ユーザー リスト ソース

受取人タイプに対して対象の受取人のリストを解決するのに使用する方法を選択します。オプションは、以下のとおりです。

- 全ユーザー

HCM システム内の全ユーザーに通知が送信されます。

- ロール ベース

このオプションを使用して、同じロールのユーザー グループである受取人タイプ (例: 給与計算管理者) を作成します。

- SQL 定義

このオプションは、アプリケーション デザイナ SQL から受取人リストをロードする上級導入担当者には便利です。

SQL 出力は単一系列の出力で、有効な EMPLID が返されます。

- クエリー ベース

このオプションは、アプリケーション デザイナにアクセスできない場合に [SQL 定義] の代替になります。

クエリー出力は単一系列の出力で、有効な EMPLID が返されます。

- App クラス

このオプションは、最も柔軟な方法で受取人選択を定義して導入します。

[App クラス] 方法は、有効な EMPLID を含む文字列の配列を返す必要があります。

通知/アナウンスメントを送信する前に、AE プログラムは (選択した方法を使用して) 受取人タイプを解決し、対象の受取人、電子メール ID、および ユーザー ID を取得します。

ソースの選択

このセクション内のフィールドは、選択したユーザー リスト ソースに基づいて変更されます。選択したソースに関する追加情報を入力します。

選択したユーザー リスト ソースが以下の場合、

- [SQL 定義] の場合、SQL オブジェクト ID を入力します。
- [ロールベース] の場合、ユーザー ロールを入力します。
- [クエリー ベース] の場合、クエリーを入力します。
- [App クラス] の場合、アプリケーション クラス、パッケージおよび方法を入力します。

プロンプト レコードの選択ページ

プロンプトレコードの選択ページ (HCSC_RCPNT_RECPRMT) を使用して、この受取人タイプに関連する受取人を取得するために、受取人の検索で照会されるレコードとフィールドを指定します。

ナビゲーション

受取人選択方法の選択ページで [次へ] ボタンをクリックします。

画像: プロンプトレコードの選択ページ

次の例では、プロンプトレコードの選択ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Select Prompt Record' page, which is part of a multi-step process (Step 4 of 6). The page has a header with navigation tabs: 'Specify Recipient Type Information', 'Setup Security', 'Select Recipient Population Method', 'Select Prompt Record' (active), 'Select Prompt Search Fields', and 'Confirmation'. Below the tabs, there are buttons for 'Exit', 'Previous', and 'Next'. The main content area includes a section for 'Recipient Type' with a dropdown set to 'DEPT' and a description 'Department'. A note states: 'The record field specified below will be queried in the Recipient look up page to fetch the list of possible recipients for this recipient type.' Below this note, there are several input fields: 'Record Name' (containing 'HCSC_BU_DEPT_VW'), 'Output Field Name' (containing 'DEPTID'), 'Field Label' (containing 'Department'), and 'Display Name' (containing 'DESCR'). Each of these fields has a magnifying glass icon to its right. There is also a checkbox labeled 'Effective Dated Record' which is checked.

受取人選択方法の選択ページで選択したユーザー リスト ソースが [全ユーザー] または [ロールベース] のいずれかの場合、このページは該当しません。

このページの情報を使用して、ユーザーが受取人を検索して選択する動的ページが作成されます。

プロンプト検索フィールドの選択ページ

プロンプト検索フィールドの選択ページ (HCSC_RCPNT_FLDPRMT) を使用して、受取人の検索で使用する検索フィールドを指定します。

ナビゲーション

プロンプトレコードの選択ページで [次へ] ボタンをクリックします。

画像: プロンプト検索フィールドの選択ページ

次の例では、プロンプト検索フィールドの選択ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Key Value	Field Label	Record Name	Display Name	Prompt
1 BUSINESS_UNIT	Business Unit	BUS_UNIT_TBL_HR	DESCR	☒

受取人選択方法の選択ページで選択したユーザー リスト ソースが [全ユーザー] または [ロールベース] のいずれかの場合、このページは該当しません。

キー フィールド

キー値

受取人の検索で検索フィールドとして表示および使用するキーフィールドを入力します。最大 4 つのキー フィールドを入力できます。

検索では、プロンプトレコードの選択ページで選択したレコードに属するキー フィールドに選択対象が限定されます。

フィールド ラベル

キー フィールドのユーザー定義ラベルがデフォルトで表示されます。ラベルは編集可能で、HR 通知ページの受取人の検索でキー フィールド ラベルとして使用されます。

レコード名、表示名

キー フィールドのプロンプト検索が必要な場合は、キー フィールドの値を取得するのに使用するレコードを入力します。表示名も同様に入力します。

プロンプト

クリックすると、受取人の検索でキー フィールドに対するプロンプト検索が使用可能になります。

このフィールドは、レコード名と表示名の値が指定された場合のみ入力可能になります。

確認ページ

確認ページ (HCSC_RCPNT_CONFIRM) を使用して、送信前に受取人タイプの設定を確認します。

ナビゲーション

プロンプト検索フィールドの選択ページで [次へ] ボタンをクリックします。

画像: 確認ページ (1/2)

次の例では、確認ページ (1/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。

Specify Recipient Type InformationSetup SecuritySelect Recipient Population MethodSelect Prompt RecordSelect Prompt Search FieldsConfirmation

Confirmation - Step 6 of 6

ExitPreviousSubmit

Please review the recipient type settings and select submit button to save.

Recipient Type

DEPT

Status

Active

Description

Department

All users will be able to send notifications to this recipient type.

This recipient type uses Application Class as recipient population method.

Root Package ID

HCSC_NOTIFICATION

Qualified Package/Class Path

:

Application Class ID

PersonSearch

Method

getEmpInfFromDept

画像: 確認ページ (2/2)

次の例では、確認ページ (2/2) のフィールドおよびコントロールを説明します。

Recipient types are fetched from following record field and are input to the population method.

Record Name

HCSC_BU_DEPT_VW

☒ Effective Dated Record

Output Field Name

DEPTID

Field Label

Department

Display Name

DESCR

The Recipient Type Record uses the following key fields.

Key Fields		Personalize Find  First 1 of 1 Last		
Key Value	Field Label	Record Name	Display Name	Prompt
1 BUSINESS_UNIT	Business Unit	BUS_UNIT_TBL_HR	DESCR	☒

このページを使用して、受取人タイプの作成リクエストを発行する前に、入力した全ての受取人タイプ設定情報が正しいことを確認します。

埋め込み型リンクの設定ページ

埋め込み型リンクの設定ページ (HCSC_LINK_SETUP) を使用して、通知に含めることができるリンクを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [HR 通知], [埋め込み型リンクの設定], [埋め込み型リンクの設定]

画像: 埋め込み型リンクの設定ページ

次の例では、埋め込み型リンクの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Configure Embedded Link

Link NameView Timesheet

*Link TypeMenu Item

Select Menu Item

Portal NameEMPLOYEE

Portal Object NameHC_TL_SS_JOB_SRCH_EE_GBL

Portal LabelTimesheet

Navigation

PersonalizeFind1 of 1FirstLast

Portal Name	Component Name	Market	Navigation	Hidden	URL
1 EMPLOYEE	TL_MSS_EE_SRCH_PRD	GBL	Root > Self Service > Time Reporting > Report Time > Timesheet	☐	Timesheet

リンク タイプ

作成する埋め込み型リンクのタイプを選択します。オプションは、以下のとおりです。

メニュー アイテム

URL

URL

URL を入力します。

このフィールドは、選択したリンク タイプが [URL] の場合に表示されます。

メニュー アイテムの選択

クリックすると、メニュー アイテムの コンテンツ参照の選択ページ (HCSC_CRFURL_SELECT) でツリー構造からコンテンツ参照が選択されます。

選択すると、[ポータル名]、[ポータル オブジェクト名]、および [ポータル ラベル] の各フィールドに、選択したコンテンツ参照に関連する値がロードされます。

ナビゲーション

このセクションには、選択したメニュー アイテムのポータル名、コンポーネント名、マーケット、およびナビゲーション パス (該当する場合) がリストされます。

URL

クリックすると、受取人が実行時に受信する通知からこの埋め込み型リンクをクリックしてアクセスするページにアクセスします。

埋め込み型リンクの割当ページ

埋め込み型リンクの割当ページ (HCSC_LINK_ASSIGN) を使用して、埋め込み型リンクをアプリケーション コンポーネントに関連付けます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [HR 通知], [埋め込み型リンクの割当], [埋め込み型リンクの割当]

画像: 埋め込み型リンクの割当ページ

次の例では、埋め込み型リンクの割当ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Assign Embedded Links

Component Name TL_LEAV_COMP

Market GBL

Link List ? Personalize | Find | First 1 of 1 Last

	*Link Name		
1	View Timesheet		+ -

ユーザーがアプリケーション コンポーネントから作成された通知に埋め込み型リンクを含めるには、埋め込み型リンクの割当ページでその埋め込み型リンクをアプリケーション コンポーネントに関連付ける必要があります。

ユーザーがアプリケーション コンポーネントから通知を構成するとき、そのアプリケーション コンポーネントに割り当てられた埋め込み型リンクのみを選択して、通知に追加できます。

リンク名

指定したコンポーネントに関連付ける埋め込み型リンクを選択します。

HR 通知ページ

HR 通知ページ (HCSC_NOTIF_ADHOC) を使用して、通知を構成および送信します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [HR 通知], [HR 通知], [HR 通知]

画像: HR 通知ページ

次の例では、HR 通知ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

このページを使用して、トランザクション コンポーネントに関連付けられていないアドホック通知を構成および送信します。検索ページで、受取人に送付済みまたは送付が予定されている通知のリストを検索できます。

プロセス モニター

クリックすると、プロセス リスト ページにアクセスし、HCSC NOTIFY AE プログラムの現在のステータスが表示されます。

送付方法

対象の受取人に送付する通知のタイプを選択します。オプションは、以下のとおりです。

アナウンスメント: アナウンスメントは、受取人がアクセス可能なホームページ、ワークセンター、またはダッシュボードに追加されるアナウンスメント ページレットに表示されます。

電子メール通知: 電子メール メッセージは受取人のメールボックスに送信されます。

電子メールとアナウンスメントの両方

ユーザーがアナウンスメントを送信する適切なロールを持たない場合 (ユーザー ロールによってインストール設定ページで設定さ

れるため)、このグリッドは表示されません。この場合、ユーザーは電子メール通知の送信のみ実行できます。

送信 (ボタン)

クリックすると通知が送信されます。

通知の送信日が将来の日付の場合、通知は保存されて送信日に送信されます。

リンクの追加 (ボタン)

クリックすると、リンク名の検索ページ (HCSC_NOTIF_LIN_SEC) にアクセスし、通知に追加する埋め込み型リンクを選択します。

添付ファイルの追加 (ボタン)

クリックすると、添付ファイルの検索ページにアクセスし、添付ファイルを通知にアップロードします。

削除 (ボタン)

クリックすると、HCM システムから通知が削除されます。通知を作成中の場合は、このボタンをクリックすると、その内容が全てクリアされます。

詳細オプション (ボタン)

クリックすると、詳細オプション ページにアクセスして、将来または繰返の通知のオプションを指定します。

宛先

[受取人の検索] アイコンを使用して、通知の受取人を選択します。

受取人の検索ページで、受取人タイプを選択し、それぞれの検索フィールドに検索条件を入力します。

ユーザーは、通知の作成時にアクセス権が付与された受取人タイプを表示して選択できます。

「セキュリティの設定ページ」も参照してください。

メッセージ

リッチ テキスト エディタで通知の内容を入力します。

詳細オプション ページ

詳細オプション ページ (HCSC_NOTIF_ADV_OPT) を使用して、将来または繰返の通知のオプションを指定します。

ナビゲーション

HR 通知ページで [詳細オプション] ボタンをクリックします。

画像: 詳細オプション ページ

次の例では、詳細オプション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

送信オプション

送信日

対象の受取人に通知を送信する日付を選択します。将来に通知を送信するには、将来の日付を入力します。通知は保存され、将来の日付に送信されます。

送信日に過去の日付を入力しないでください。

アナウンスメント有効期限

アナウンスメントがアナウンスメント ページレットに表示されなくなる日付を指定します。

ユーザーがアナウンスメントを送信する権限を持たない場合、このグリッドは表示されません。

このアナウンスメントはユーザーが削除可能

必要場合は受取人がページレットからアナウンスメントを削除できるようにする場合に選択します。

ユーザーがアナウンスメントを送信する権限を持たない場合、このグリッドは表示されません。

繰返オプション

繰返

クリックすると、アナウンスメントが繰返アナウンスメントとしてマークされます。

周期

繰返アナウンスメントの周期を選択します。

オプションは、以下のとおりです。

毎日

	毎月
	隔月
	隔週
	毎週
開始日	繰返アナウンスメントの送信を開始する曜日または日にちを入力します。 選択した周期が <i>[毎日]</i> の場合、このフィールドは表示されません。 注: ユーザーが月の最終日を選択した場合は、ユーザーが毎月月末に通知を送信することを意図していると思なされます。たとえば、<i>31 日</i> が選択された場合、通知が送信されるのは 1 月 31 日、2 月 28 日または 29 日、3 月 31 日、4 月 30 日 などです。
繰返終了日	繰返アナウンスメントの送付を終了する日付を入力します。

(USF) 異動シミュレーションの使い方

所属変更マス チェンジについて

政府が要求する変更や委任によって、PeopleSoft ヒューマン リソース管理レコードの大きなグループに対して同様の組織変更が必要になる場合があります。たとえば、機関の再編には、従業員グループを役員室の予算部署から役員室の会計基準部署に異動する場合があります。この異動をレコードごとに手動で実行するのではなく、所属変更マス チェンジ機能を使用して全ての変更を 1 回で実行できます。

所属変更マス チェンジ プロセスを使用すると、部門およびポジションの変更に基づいて変更を行うことができます。所属変更マス チェンジ機能を使用して、次の処理を実行できます。

- 従業員を既存の部門またはポジションに異動します。
- 新規の部門またはポジションを作成し、組織構造を変更して、従業員を新規の部門またはポジションに異動します。
- 複数の部門またはポジションの従業員を、新規または既存の部門やポジションにマージします。

所属変更マス チェンジを実行するには、変更を定義し、必要な情報を設定して、変更を実行します。入力した定義に基づき、所属変更マス チェンジ プロセスによって対象レコードが更新されます。このプロセスによって、定義した変更に従って連邦政府人事異動がシステムに作成されます。これは、オンラインで直接入力するのと同じ方法で実行されます。

マス チェンジは、システム内のデータの多数の行に影響を与える強力なツールです。したがって、所属変更マス チェンジを実行できる従業員を組織内で慎重に選択する必要があります。

注: マス チェンジ操作を複数回実行する場合は、全てのマス チェンジを保持して識別できるように、それぞれ固有の所属変更マス チェンジ ID を割り当てます。これらは、実行プロセスを設定するときにグループ化できます。また、エラーを減らしてシステムへの負荷を軽減するために、多数の変更は少数の変更に分割することをお勧めします。

はじめに

所属変更マス チェンジを実行するには、PeopleSoft ツリー マネージャに精通している必要があります。このトピックは、PeopleTools ツリー マネージャの使用方法を理解していることを前提としています。

『PeopleTools: PeopleSoft Tree Manager』を参照してください。

所属変更マス チェンジの実行

次の各トピックでは、所属変更マス チェンジを実行する方法について説明します。

所属変更マス チェンジの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Define Changes ページ	GVT_MOC_DATA	マス チェンジを定義します。
Build Position Structure ページ	RUNCTL_ASOFDATE	Build Position Structure SQR (POS006A) を実行して、システム内でポジションをリンクし、Indented Position レポートに出力される所属階層を作成します。
Build Department Organization ページ	RUNCTL_FGHR006	セキュリティツリーを変更した場合は、Departments コンポーネントの部門階層情報を再作成します。
Apply Changes ページ	RUNCTL_GVT_MASSORG	アプリケーション エンジン プロセス GVT_MASSORG を実行し、Define Changes ページに入力した情報に基づいて、システム データに対する所属変更マス チェンジを生成します。
Mass Org Exception Report (mass organization exception report) ページ	RUNCTL_FGHR034	このレポートを実行して、処理済みの所属変更マス チェンジ ID で識別されたポジションまたは部門に所属していたが、システムで処理されなかった従業員を特定します。これらの従業員のレコードは手動で変更します。
OF8 Report ページ	RUNCTL_FGOF8	このレポートを実行して、ポジション履歴を追跡し、一括ポジション変更を検証します。

所属変更マス チェンジの実行

ポジションの所属変更マス チェンジを実行するには、次の手順に従います。

1. (省略可) 部門またはポジションを新規作成するか、または既存の部門またはポジションを変更します。

部門の所属変更	ポジションの所属変更
1. 部門を新規作成する場合は、新しい部門を Departments USF コンポーネント (DEPARTMENT_TBL) に追加します。 注: ツリー ベースのデータ権限セキュリティを使用する場合は、必ず新しい部門を部門セキュリティ ツリーに追加し、SJT_CLASS_ALL をリフレッシュしてください。 「(USF) 連邦政府部門の設定」を参照してください。 2. ツリー ベースのセキュリティを使用し、部門セキュリティ階層を変更する場合は、PeopleSoft ツリー マネージャで変更を行います。 「ツリー ベースのデータ権限の設定と割り当て」を参照してください。	1. ポジションを新規作成する場合は、新しいポジションを Add/Update Position Info コンポーネント (POSITION_DATA) に追加します。 Creating PositionsPeopleSoft Human Resources Manage Positions を参照してください。 2. ポジション階層を変更する場合は、PeopleSoft ツリー マネージャで変更を行うか、または Add/Update Position Info コンポーネントで組織構造を変更します。 注: Add/Update Position Info コンポーネントには、新規ノードを追加するか (新規ポジションを追加する場合)、既存のノードをダブルクリックして (既存のポジションを更新する場合)、HR: ポジション ツリーからアクセスできます。 Maintaining Your Organizational StructurePeopleSoft Human Resources Manage Positions を参照してください。

2. (省略可) 階層を再作成します。

部門の所属変更	ポジションの所属変更
部門階層に変更を加えた場合は、Build Department Organization ページ (RUNCTL_FGHR006) から Refresh Department Table (FGHR006) プロセスを実行して、部門階層を再作成します。	所属階層に変更を加えた場合は、Build Position Structure ページから SQR Build Position Structure (POS006A) プロセスを実行して、ポジション ツリーまたはポジション構造を再作成します。

3. Define Changes ページ (GVT_MOC_DATA) で所属変更マス チェンジを定義します。

変更の有効日、アクションと理由コード、異動区分 (NOA) と法務当局コード、説明、新旧の部門またはポジションを入力します。

4. 所属変更マス チェンジ データを作成します。

Apply Changes ページ (RUNCTL_GVT_MASSORG) を使用して、所属変更マス チェンジ データ設定に基づき、所属変更マス チェンジを作成します。これによって、部門内またはポジション内で識別したどの従業員が影響を受けるかが判明し、連邦人事異動データの新規行が挿入されます。

5. Mass Org Exception レポート (FGHR034 SQR) を作成して、影響を受ける部門またはポジションに所属した従業員を特定します。

従業員が処理されていない場合は、その従業員のレコードを手動で変更します。

6. (ポジション変更のみ) 内容または通知を印刷します。

SQR プロセス FGOF8 を使用して、必要なポジション内容を印刷します。このプロセスからいくつかのレポートをランダムに実行して、実行した変更をテストおよび確認します。

Define Changes ページ

Define Changes ページ (GVT_MOC_DATA) を使用して、マス チェンジを定義します。

ナビゲーション

[Workforce Administration], [Collective Processes], [Mass Organization Changes USF], [Define Changes], [Define Changes]

画像: Define Changes ページ

次の例では、Define Changes ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Change

部門変更かポジション変更かを指定します。[Department] を選択すると、[Position Change] グループボックス内のフィールドは入力できなくなります。[Position] を選択すると、[Department Change] グループボックス内のフィールドは入力できなくなります。

Defaults

ここで入力した値は、この所属変更マス チェンジの影響を受ける従業員に対して作成される、新しい職務データ行に挿入されます。

Date of Change

変更が有効になる日付を入力します。この日付は、新しい職務データ行の有効日として使用されます。

Action, Reason Code

変更のアクションと理由を選択します。

注: アクションによっては、給与計算や HR ステータスが設定されたり、従業員の日付が更新されることがあります。Actions コンポーネント (ACTION_TBL) で、アクションによってシステム内でトリガされる処理やデフォルト設定を確認してください。

Actions PagePeopleSoft Human Resources Administer Workforce を参照してください。

NOA Code (nature of action code)、WIP Status (work-in-progress status)、Legal Authority (1)

異動区分コード、WIP ステータス、および法務当局を選択します ([WIP Status] と [Legal Authority (1)] は必須フィールド)。

「[Nature of Action Table ページ](#)」を参照してください。

「[WIP ステータスの設定](#)」を参照してください。

「[Legal Authority ページ](#)」を参照してください。

Department Change

複数の部門への変更に対応するために、複数の行を追加できます。たとえば、2 つの部門を 1 つにマージする場合、2 行に入力して、一方の行で片方の以前の部門を選択し、もう一方の行でもう片方の以前の部門を選択します。次に、各行の [New Department] フィールドで、マージする新規部門を選択します。

Old Department

変更元の部門の名称を入力します。

New Department

新規部門の名称を入力します。

Position Change

複数のポジションへの変更に対応するために、複数の行を追加できます。

Old Position

以前のポジションの名称を入力します。

New Position

新規ポジションの名称を入力します。

Reports To

新規ポジションの直属上司であるポジションを入力します。

Apply Changes ページ

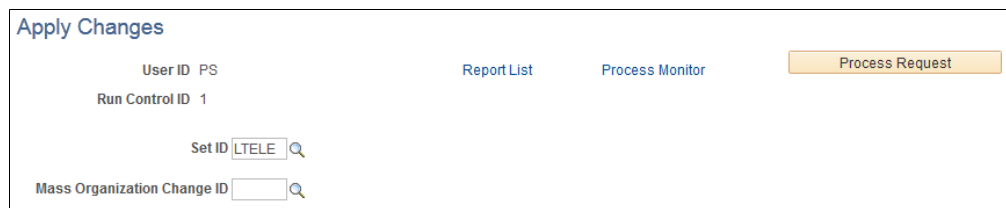
Apply Changes ページ (RUNCTL_GVT_MASSORG) を使用してアプリケーション エンジン プロセス GVT_MASSORG を実行し、Define Changes ページに入力した情報に基づいて、システム データに対する所属変更マス チェンジを生成します。

ナビゲーション

[Workforce Administration], [Collective Processes], [Mass Organization Changes USF], [Apply Changes], [Apply Changes]

画像: Apply Changes ページ

次の例では、Apply Changes ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



The screenshot shows the 'Apply Changes' page. At the top, there's a title 'Apply Changes'. Below it, there are several fields and controls: 'User ID PS', 'Run Control ID 1', 'Set ID LTELE' with a search icon, and 'Mass Organization Change ID' with a search icon. There are also links for 'Report List' and 'Process Monitor', and a 'Process Request' button.

Mass Organization Change ID

処理対象の所属変更マス チェンジの ID を選択します。所属変更マス チェンジ ID は、Define Changes ページで設定します。

このプロセスは、以下の処理を行います。

- 所属変更マス チェンジ ID で識別された部門またはポジション内で、影響を受ける従業員を判別します。
- 影響を受ける従業員ごとに連邦人事異動データの新規行を挿入し、マス チェンジ ID に対するデフォルト情報が選択されます。
- 各従業員に対するアクションを記録する PDF ファイルを生成します。このファイルには、[Process Monitor] リンクからアクセスできます。

プロセスによって更新された従業員のデータ行に不整合がないかをファイルで確認します。不整合は、Federal HR Processing USF コンポーネントに直接入力して修正できます。

PeopleSoft HCM における PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスの使い方

PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスについて

PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスを使用すると、PeopleSoft HCM データベースに保持されているデータを LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリと共有でき、これによってディレクトリ設定とデータの保守管理が簡単になります。

注: PeopleSoft Campus Solutions のライセンスも取得している場合は、『*PeopleSoft Campus Solutions Application Fundamentals*』の「Working with PeopleSoft Directory Interface for PeopleSoft Campus Solutions」を参照してください。

関連リンク

エンタープライズ コンポーネント

DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使ったディレクトリ データのロード

次の各トピックでは、ディレクトリのロード プロセスの概要およびディレクトリ データのロード方法について説明します。

DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使ったディレクトリのロードに使用するページ

ページ名	定義名	用途
ディレクトリのロード ページ	EO_RUNCTL_DS_LOAD	一時ファイルを消去し、エントリ メンバシップ プロセスを実行します。
フル データ パブリッシュ ページ	EO_FULLDATAPUB	従業員データと職務データをディレクトリにロードします。
モニター概要ページ	IB_MONITOR_OVRVIEW	DSMAPINPUT_FULLSYNC サービスオペレーションのステータスを確認します。

ディレクトリのロード プロセスについて

PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスを設定すると、ディレクトリのロード プロセスまたは DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使用してディレクトリにデータをロードできます。

従業員などの個人データと職務データのみをロードする場合は、DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使用します。個人データと職務データに加えて、勤務地や部門のデータもロードする場合は、ディレクトリのロード プロセスを使用します。

注: ディレクトリのロード プロセスでは、大量の個人データをロードするときにパフォーマンスの問題が発生することがあります。この問題を回避するには、DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスを使用します。

注: DSMAPINPUT FullSync ロード プロセスおよびディレクトリのロード プロセスはいずれもディレクトリにある既存データを上書きします。

一時テーブルの消去

ディレクトリのロード ページから一時テーブル消去 (DSMAPINPUT) プロセスを実行します。

1. 適切なマップ名を指定して [実行] をクリックします。
2. リストから DS_CLEANTEMP プロセスを選択して [OK] をクリックします。

注: ここでは、ディレクトリのロード プロセス (EO_DS_AUDIT) を実行しないでください。

フル データ パブリッシュ ページ

フル データ パブリッシュ ページ (EO_FULLDATAPUB) を使用して、従業員データと職務データをディレクトリにロードします。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [プロセス実行], [フル データ パブリッシュ], [フル データ パブリッシュ]

DSMAPINPUT サービス オペレーションは、個人の職務データと個人データの情報を 1 つにまとめたサービス オペレーションです。DSMAPINPUT_FULLSYNC サービス オペレーションは、DSMAPINPUT サービス オペレーション構造に基づいたサービス オペレーションで、DSMANCHNL サービス オペレーション キューに定義されます。フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、DSMAPINPUT_FULLSYNC サービス オペレーションを使って、複数の従業員 ID データのストリームをディレクトリにロードします。

ユーティリティでは、ディレクトリ マップ テーブルで最初に検出されたアクティブなマップを処理します。DSMAPINPUT をメッセージ名として含むマップがいくつか存在する場合は、このプロセスを実行する前に必ず目的のメッセージのサービス オペレーションだけをアクティブにしてください。

1. フル データ パブリッシュ ページにアクセスします。

2. 処理頻度の [1回限々] を選択します。
3. [メッセージ名] フィールドに、"DSMAPINPUT_FULLSYNC" と入力します。
4. リクエスト ID と名称を指定し、変更を保存して [実行] をクリックします。
5. テーブル データ フル パブリッシュ プロセス (EOP_PUBLISHT) を選択し、[OK] をクリックします。

モニター概要ページ

モニター概要ページ (IB_MONITOR_OVRVIEW) を使用して、DSMAPINPUT_FULLSYNC サービス オペレーションのステータスを確認します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [サービス オペレーション モニター], [モニター], [非同期 サービス], [モニター概要]

メッセージ キューを監視して、DSMANCHNL サービス オペレーション キュー内の DSMAPINPUT_FULLSYNC サービス オペレーションのステータスを判断します。

1. 非同期サービス コンポーネントのモニター概要ページにアクセスします。
2. [開始済] 列に 0 よりも大きい数値が表示されている場合、メッセージが処理中であることを示しています。サブスクリプションが完了すると、[完了] 列だけに 0 よりも大きい数値が表示されます。

『PeopleTools: Integration Broker』および『PeopleTools: Integration Broker Administration』を参照してください。

ディレクトリのロード ページ

ディレクトリのロード ページ (EO_RUNCTL_DS_LOAD) を使用して、一時ファイルを消去し、エン트리メンバーシップ プロセスを実行します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [ディレクトリ インターフェイス], [ディレクトリのロード], [ディレクトリのロード]

全てのメッセージ サブスクリプションが完了したことをモニター概要ページで確認した後、エン트리メンバーシップ プロセス (DSMAPINPUT) を実行し、エン트리メンバーシップ ルールに基づいてメンバーをディレクトリ グループにロードします。

1. ディレクトリのロード ページにアクセスします。
2. 適切なマップを指定して [実行] をクリックします。
3. DS_ENTRY プロセスを選択して [OK] をクリックします。

注: ここでは、"一時テーブル消去" または ディレクトリのロード プロセス (EO_DS_AUDIT) を実行しないでください。

DSMAPINPUT FullSync プロセスを使ったディレクトリ データのオーディット

次の各トピックでは、ディレクトリ オーディット プロセスの概要およびディレクトリ データのオーディット方法について説明します。

DSMAPINPUT FullSync オーディット プロセスを使ったディレクトリのオーディットに使用するページ

ページ名	定義名	用途
ディレクトリ オーディット ページ	EO_RUNCTL_DS_AUDIT	一時ファイルを消去およびロードします。 また、エントリ ルールを使用してディレクトリ グループにメンバーをロードして、複数の LDIF ファイルの内容を 1 つのファイルにマージします。
フル データ パブリッシュ ページ	EO_FULLDATAPUB	DSMAPINPUT_FULLSYNC_A サービス オペレーションをパブリッシュするルールを設定します。
モニター概要ページ	IB_MONITOR_OVRVIEW	DSMAPINPUT_FULLSYNC_A サービス オペレーションのステータスを確認します。

ディレクトリ オーディット プロセスについて

ディレクトリにデータをロードしてトランザクションの処理を開始した後は、定期的にディレクトリ オーディット プロセスまたは DSMAPINPUT FullSync オーディット プロセスを実行して、データベースのデータをディレクトリのデータと比較できます。

従業員などの個人データと職務データのみをオーディットする場合は、DSMAPINPUT FullSync オーディット プロセスを使用します。個人データと職務データに加えて、勤務地や部門のデータもオーディットする場合は、ディレクトリ オーディット プロセスを使用します。

注: ディレクトリ オーディット プロセスでは、大量の従業員データをオーディットするときにパフォーマンスの問題が発生することがあります。この問題を回避するには、DSMAPINPUT FullSync オーディット プロセスを使用します。

一時テーブルの消去とロード

ディレクトリ オーディット ページから一時テーブル消去/ディレクトリからロード (EODS_CLEANLD) プロセスを実行します。

1. 適切なマップ名を指定して [実行] をクリックします。
2. リストから EODS_CLEANLD プロセスを選択して [OK] をクリックします。

注: ディレクトリのロード プロセス (EO_DS_AUDIT) は実行しないでください。

フル データ パブリッシュ ページ

フル データ パブリッシュ ページ (EO_FULLDATAPUB) を使用して、DSMAPINPUT_FULLSYNC_A サービス オペレーションをパブリッシュするためのルールを設定します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [プロセス実行], [フル データ パブリッシュ]

DSMAPINPUT サービス オペレーションは、個人の職務データと個人データの情報を 1 つにまとめたサービス オペレーションです。DSMAPINPUT_FULLSYNC_A は、DSMAPINPUT サービス オペレーション構造に基づいた FullSync サービス オペレーションで、DSMANCHNL サービス オペレーション キューに定義されます。このキューは従業員 ID フィールドで分割して、並行処理することができます。フル データ パブリッシュ ユーティリティは、サービス オペレーションをパブリッシュします。サブスクリプション ユーティリティは、複数の従業員 ID データのストリームを同時に処理します。各サブスクリプションは、該当する個人の集合について、LDAP コマンドを含む一意な LDIF ファイルを作成します。

ユーティリティでは、ディレクトリ マップ テーブルで最初に検出されたアクティブなマップを処理します。DSMAPINPUT をメッセージ名として含むマップがいくつか存在する場合は、このプロセスを実行する前に必ず目的のメッセージのサービス オペレーションだけをアクティブにしてください。

1. フル データ パブリッシュ ページにアクセスします。
2. 処理頻度の [1回限り] を選択します。
3. [メッセージ名] フィールドに、"DSMAPINPUT_FULLSYNC_A" と入力します。
4. リクエスト ID と名称を指定し、変更を保存して [実行] をクリックします。
5. テーブル データ フル パブリッシュ プロセス (EOP_PUBLISHT) を選択し、[OK] をクリックします。

注: DSMAPINPUT_FULLSYNC_A の代わりに独自のサービス オペレーションを選択することもできますが、ディレクトリ マップのサービス オペレーション名に FULLSYNC_A を追加する必要があります。たとえば、PERSMSG が個人データ エントリのマップに指定された設定サービス オペレーションである場合は、サービス オペレーションの名称を PERSMSG_FULLSYNC_A とします。

モニター概要ページ

モニター概要ページ (IB_MONITOR_OVRVIEW) を使用して、DSMAPINPUT_FULLSYNC_A サービスオペレーションのステータスを確認します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [サービス オペレーション モニター], [モニター], [非同期 サービス], [モニター概要]

サービス オペレーション キューを監視して、DSMANCHNL サービス オペレーション キュー内の DSMAPINPUT_FULLSYNC_A メッセージのステータスを判断します。

1. モニター概要ページにアクセスします。
2. [開始済] 列に 0 よりも大きい数値が表示されている場合、メッセージが処理中であることを示しています。サブスクリプションが完了すると、[完了] 列だけに 0 よりも大きい数値が表示されます。

『PeopleTools: Integration Broker』および『PeopleTools: Integration Broker Administration』を参照してください。

ディレクトリ オーディット ページ

ディレクトリ オーディット ページ (EO_RUNCTL_DS_AUDIT) を使用して、一時ファイルを消去およびロードします。また、エントリ ルールを使用してディレクトリ グループにメンバーをロードして、複数の LDIF ファイルの内容を 1 つのファイルにマージします。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [ディレクトリ インターフェイス], [ディレクトリ オーディットの実行], [ディレクトリ オーディット]

全てのサービス オペレーション サブスクリプションが完了したことをモニター概要ページで確認した後は、エントリ メンバーシップ/LDIF マージ プロセス (EODS_LDIFMRG) を実行して、エントリ メンバーシップ ルールに基づいてメンバーをディレクトリ グループにロードし、フル テーブル パブリッシュ プロセスの実行時に生成された LDIF ファイルの内容を全てマージします。マージされたファイルは、後で内容を確認して変更し、ディレクトリにインポートできます。

エントリ メンバーシップ/LDIF マージ プロセスを実行するには、次の手順に従います。

1. ディレクトリ オーディット ページにアクセスします。
2. 適切なマップを指定して [実行] をクリックします。
3. EODS_LDIFMRG プロセスを選択して [OK] をクリックします。

注: ここでは、"一時テーブル消去" または ディレクトリのロード プロセス (EO_DS_AUDIT) を実行しないでください。

HCM における PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスの使い方

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- サンプル マッピングと付属のサービス オペレーションへのアクセス
- サンプル マッピングの使い方
- 付属のサービス オペレーションの確認

サンプル マッピングと付属のサービス オペレーションへのアクセス

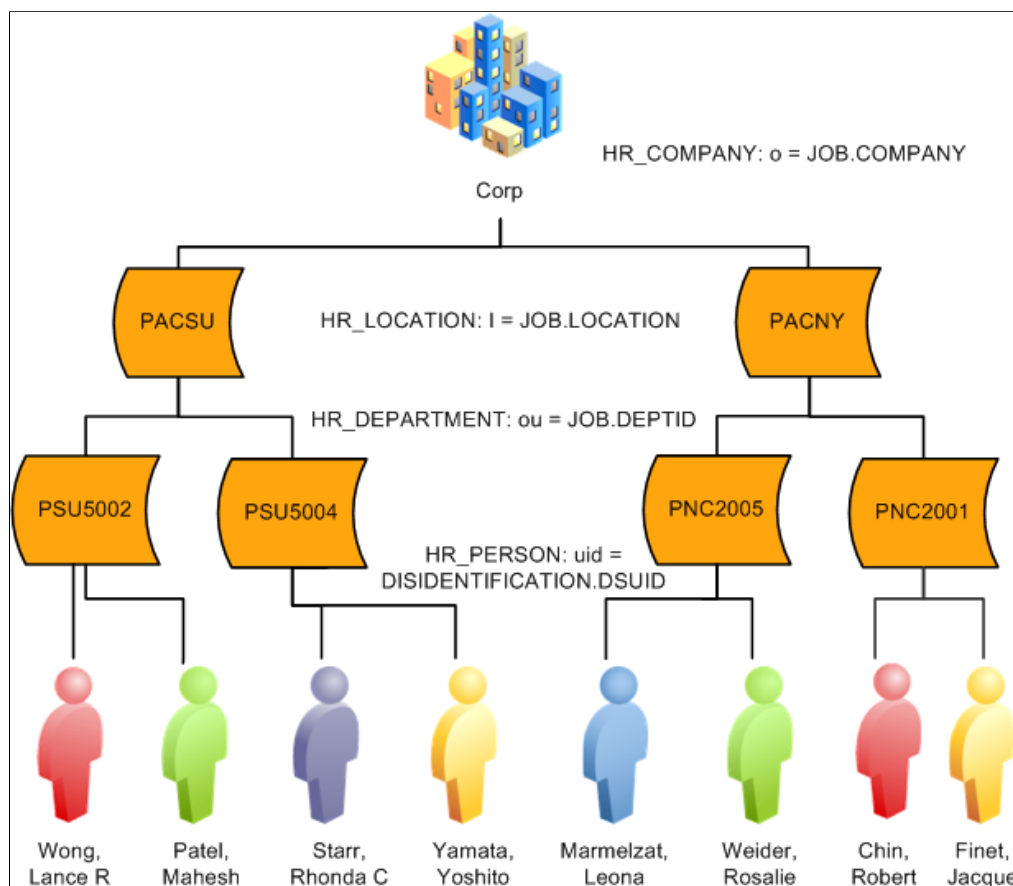
HCM 用の PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスのライセンスがある場合は、HCM 用にサンプルのマッピングとサービス オペレーションが用意されています。

サンプル マッピングの使い方

付属のサンプル マッピングを使用するには、ディレクトリ ID をディレクトリ設定コンポーネント (PSDSSETUP) に登録し、ディレクトリ ID をマッピングに追加します。サンプル マッピングでは、標準の Novell eDirectory のスキーマ オブジェクトを使用しています。

画像: サンプル ディレクトリ インターフェイス ツリー

サンプルマッピングは、以下に示すようなツリー構造 (HR_PERSON は HR_DEPARTMENT の管轄下で、この部門は HR_LOCATION に関連付けられていて、HR_LOCATION は会社レベルの HR_COMPANY の管轄下) を使用していることを前提に開発されています。



注: サンプル マッピングとして HR_LOCATION、HR_DEPARTMENT および HR_PERSON が標準で用意されています。

付属のサービス オペレーションの確認

以降の各トピックでは、付属のサンプル サービス オペレーションと、ディレクトリ マッピングに関係のある PeopleCode 関数について説明します。

ディレクトリ インターフェイス サービス オペレーション

PeopleSoft ディレクトリ インターフェイスには、PeopleSoft データをディレクトリにマッピングするための以下のサンプル メッセージが同梱されています。

サービス オペレーション名	ディレクトリ エントリ
DSLOCATION_SYNC	勤務地エントリ (レコード全体の同期)
DSLOCATION_SYNC_EFF	勤務地エントリ (現在行の同期)
DSDEPT_SYNC	部門エントリ (レコード全体の同期)
DSDEPT_SYNC_EFF	部門エントリ (現在行の同期)
DSWORKFORCE_SYNC	職務エントリ (レコード全体の同期)
DSWORKFORCE_SYNC_EFF	職務エントリ (現在行の同期)
DSPERSON_BASIC_SYNC	個人データ エントリ (レコード全体の同期)
DSPERSON_BASIC_SYNC_EFF	個人データ エントリ (現在行の同期)

注: ディレクトリ インターフェイス エンジンでは、メッセージ レベル

HCDI_SERVICES:HCDIUtilities.runPOIandIdentifictn を使用して、ディレクトリ インターフェイス マップの作成に使用可能な HCM 値を DSIDENTIFICTN テーブルにロードします。たとえば、共通する固有 ID 文字列を作成して DSIDENTIFICTN.DSUUID に保存し、デフォルトの固有 ID の識別子を DSIDENTIFICTN.DSUID に保存します。固有 ID は、デフォルトで現在の個人の電子メールアドレスに設定され、このアドレスが空白の場合は名 + 姓に設定されます。

UID フィールドには最大 50 文字まで入力できます。従業員名が 50 文字を超える場合、超過した部分は切り捨てられます。

『PeopleTools PeopleSoft Integration Broker』を参照してください。

DSMAPINPUT メッセージ

DSMAPINPUT サービス オペレーションはディレクトリ入力に対応するもので、個人の職務データと個人データを 1 つにまとめたサービス オペレーションのサンプルです。DSWORKFORCE_SYNC サービス オペレーションは、個人の職務情報をパブリッシュします。DSPERSON_BASIC_SYNC サービス オペレーションは、個人情報情報をパブリッシュします。

DSWROKFORCE_SYNC および DSPERSON_BASIC_SYNC のサブスクリプションでは、サービス オペレーションが入力として BuildMappingMessage に渡されます。BuildMappingMessage によって、DSMAPINPUT サービス オペレーションに従業員の職務データと個人データがロードされます。そのため、1 つのサービス オペレーションの職務データと個人データを 1 つのディレクトリ エントリにマッピングできます。

BuildMappingMessage の構文

BuildMappingMessage 関数は、別のサービス オペレーションに保存されているデータおよびローカル データベースのデータをサービス オペレーションにロードします。データを 2 つのデータ ソースからサービス オペレーションにロードした後、マッピング関数をコールします。ディレクトリ マッピングに必要なデータの全てが、パブリッシュされた元のサービス オペレーションにない場合、BuildMappingMessage はマッピング関数を直接コールする代わりにこの関数を使用します。

```
BuildMappingMessage (input message, output message, on-line flag, [, map name])
```

この関数では、次のタスクが実行されます。

- 入力サービス オペレーションから出力サービス オペレーションへ同じレコードのデータをコピーする。
- 出力サービス オペレーション内の空レコードを検索する。
- 空レコードのキー値の有無について、サービス オペレーション内のデータを調べる。
- 空レコードのキー値が見つかった場合は、データベースの現在行を取得して出力サービス オペレーション内の空レコードにロードする。
- マップ名が指定されている場合は、指定された名前のマッピング関数をコールする。指定されていない場合は、出力サービス オペレーションを参照するマップごとにマッピング関数をコールする。

BuildMappingMessage は、_EFF サービス オペレーションのハンドラに関連付けられているアプリケーション パッケージおよびアプリケーション クラスにあります。たとえば、DSLOCATION_SYNC_EFF サービス オペレーションの BuildMappingMessage は、DSLOCATION_SYNC_EFF アプリケーション パッケージに属している DSMappingSub アプリケーション クラスにあります。BuildMappingMessage コードは FUNCLIB_EO_DS ディライブドレコード、DSMAPMESSAGE フィールドの FieldFormula イベントにあります。

パラメータ

名前	タイプ	説明
input service operation (入力サービス オペレーション)	メッセージ	パブリッシュされた元のデータを含むメッセージを渡します。
output service operation (出力サービス オペレーション)	文字列	作成、ロードされ、マッピング関数に渡されるメッセージの名前を指定します。
online flag (オンライン フラグ)	ブール演算子	メッセージのオンライン パブリッシュが行われた後に関数がコールされる場合は、true を設定します。このフラグは BuildMappingMessage 関数では使用されませんが、マッピング関数に渡されます。

名前	タイプ	説明
map name (マップ名)	文字列	関数が出力メッセージに関連付けられているマップ全てをコールする必要がない場合に使用されるマップ名を指定します。

例:

```
Local Message &MsgIn;
```

```
BuildMappingMessage(&MsgIn, "DSMAPINPUT", True, "PERSON_NDS");
```


HCM におけるインテグレーション ポイントの使い方

導入するインテグレーションの特定

PeopleSoft では PeopleSoft インテグレーション ブローカーを使用して、HCM アプリケーションを以下のアプリケーションと統合します。

- データベース内の PeopleSoft HCM の他のアプリケーション (ローカル インテグレーション)
- HCM 以外の PeopleSoft アプリケーション
- サードパーティのアプリケーション

導入が必要なインテグレーションを特定するには、My Oracle Support のインタラクティブ サービス リポジトリ (ISR) を使用します。My Oracle Support に ISR アプリケーションと共に提供されているドキュメンテーションには、さまざまな条件を指定してリポジトリを照会するための検索ページの使用方法が説明されています。

- インテグレーション ポイント名で検索
- 製品で検索
- 製品間のインテグレーション
- ビジネス プロセスで検索
- インテグレーション テクノロジで検索
- 詳細検索ページの使い方

詳細検索ページを使用すると、1 つの検索に個別の検索条件を組み合わせ使用することができます。

検索結果のインテグレーション ポイントをクリックし、詳細を確認します。

My Oracle Support の [Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Interactive Services Repository] を参照してください。

My Oracle Support で [Implementation Guide]、[Implementation Documentation and Software]、[Interactive Services Repository] を選択して、掲載されている資料『Interactive Services Repository』(PDF) を参照してください。

サービス オペレーションおよびキューのアクティブ化

インテグレーション メッセージは、非アクティブな状態で提供されているサービス オペレーションに接続されます。自社が使用するサービス オペレーションをアクティブ化する必要があります。

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション] コンポーネントの順にクリックし、以下の作業を行います。

- 一般ページで、サービス オペレーションのステータスが [アクティブ] になっていることを確認し、[アクティブ] になっていない場合は [アクティブ] を選択します。
- 一般ページで、適切なルーティング ステータスが選択されていることを確認し、ステータスが適切でない場合は適切なステータスを選択します。
- ハンドラ ページで、該当ハンドラのステータス、および関連付けられているアプリケーション クラスのステータスをアクティブにします。
- ルーティング ページで、適切なルーティングをアクティブにします。

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [キュー] コンポーネントの順にクリックして、該当するサービス オペレーションのキュー ステータスを [実行] に設定します。

注: インテグレーション ブローカーの設定も必要です。

『PeopleTools: Integration Broker』および『PeopleTools: Integration Broker Administration』を参照してください。

関連リンク

エンタープライズ コンポーネント

HCM ローカル インテグレーションの使い方

パブリッシュを行うデータベースにも、そのデータベース内の他の処理をトリガするサービス オペレーションのハンドラと、関連付けられているアプリケーション クラスがある場合は、ローカル/ローカル インテグレーションが使用されます。

設定要件

ローカル インテグレーションを使用している場合は、ローカル ノードの設定以外に必要な処理はありませんが、アプリケーション サーバーでパブリッシュ サーバーとサブスクライブ サーバーの両方が稼動している必要があります。ローカル ゲートウェイとノードの正しい設定も必要です。ローカル/ローカル インテグレーションでは、ローカル ノード内の非同期ルーティング (ローカル/ローカル) をアクティブ化する必要があります。

次の表には、ローカル/ローカル サービス オペレーションがアルファベット順に記載されています。

サービス オペレーション	サービス オペレーション	サービス オペレーション
ACCOUNT_CHARTFIELD_FULLSYNC	EP_REVW_RATING	PSXP_CLEANATTR
ACTUAL_TIME_ADD	EP_SUB_COMP	PSXP_RATTR
ACTUAL_TIME_BATCH_ADD	EP_SUB_DEV	PTAF_MASS_APPROVALS
AWARD_GRANT_ISSUE	EP_SUB_PROF	PUNCHED_TIME_ADD
BUDGET_POSITION_FULLSYNC	EP_SUB_WRT	QAS_CRASH_MSG
BUS_UNIT_FS_FULLSYNC	ESTIMATED_TIME_BATCH_ADD	ROLE_MAINT
BUS_UNIT_FS_SYNC	FUND_LOAD	TIME_DEVICE_EMPL_ATT_FULLSYNC
BUS_UNIT_GL_FULLSYNC	GP_POST_GL	TIME_DEVICE_EMPL_ATT_SYNC
BUS_UNIT_GL_SYNC	GRANT_AWARD_UPDATE	TIME_DEVICE_PER_HRS_FULLSYNC
COUNTRY_FULLSYNC	HCR_EM_EVENT	TIME_DEVICE_PROFILES_FULLSYNC
COUNTRY_SYNC	HCR_EM_EVENT_QUEUE_1	TIME_DEVICE_RESTRICT_FULLSYNC
DEPBEN_SYNC	HCR_EM_EVENT_QUEUE_2	TIME_DEVICE_RPTG_CODE_FULLSYNC
DEPT_FULLSYNC	HCR_EM_EVENT_QUEUE_3	TIME_DEVICE_RPT_ELMNT_FULLSYNC
DEPT_FULLSYNC_EFF	HIRE_REQUEST	TIME_DEVICE_SCHEDULE_FULLSYNC
DEPT_SYNC	HR_ACCT_CD_LOAD	TIME_DEVICE_SUPERVSOR_FULLSYNC
DEPT_SYNC_EFF	HR_CHARTFLD_COMBO_SYNC	TIME_DEVICE_TASK_VALS_FULLSYNC
DETAIL_CALENDAR_FULLSYNC	JOURNAL_GEN_APPL_ID_FULLSYNC	TIME_DEVICE_TEMPLATES_FULLSYNC
ELAPSED_TIME_ADD	LOCATION_SYNC	TIME_REPORTING_CODE_FULLSYNC

サービス オペレーション	サービス オペレーション	サービス オペレーション
EP_CHK_SUG	PAYMENT_ERECRUIT_ ACKNOWLEDGE	TREE_CHANGE
EP_CHK_WRD	PAYMENT_ERECRUIT_ISSUED	UOM_FULLSYNC
EP_COMPETENCY	PAYMENT_ERECRUIT_REQUEST	UOM_SYNC
EP_COMP_DEV	PERSON_ERN_DELETE	USER_PROFILE
EP_COMP_PROF	POST_HIRE_REQUEST	VAR_COMP_PAYMENT_ ACKNOWLEDGE
EP_DEV_TIP	PRODUCT_CHARTFIELD_ FULLSYNC	WORKFORCE_FULLSYNC
EP_JPM_CAT_ITEMS	PRODUCT_CHARTFIELD_SYNC	WORKFORCE_SYNC
EP_JPM_CAT_ITEM_RD	PROJECT_ACTIVITY_FULLSYNC	WP_PSHARING_MSG
EP_JPM_CAT_I_RLAT	PROJECT_FULLSYNC	
EP_RATING_MDL	PSXP_ARCHATTR	

『PeopleTools Integration Broker』を参照してください。

その他の HCM インテグレーションの使い方

特定のビジネス プロセスをサポートするインテグレーションについては、PeopleSoft HCM のドキュメンテーションで説明されています。

次の表は、HCM ドキュメンテーション内のインテグレーション情報の参照先一覧です。

製品ドキュメンテーション	参照先
PeopleSoft グローバル ペイロール	Understanding the General Ledger Interface PeopleSoft Global Payroll を参照してください。
PeopleSoft グローバル ペイロール	Understanding Variable Compensation Awards PeopleSoft Global Payroll を参照してください。
PeopleSoft HR : Manage Professional Compliance	Understanding Manage Professional Compliance Business Processes PeopleSoft Human Resources Manage Professional Compliance を参照してください。

製品ドキュメンテーション	参照先
PeopleSoft HR: Manage Variable Compensation	Approving and Submitting AwardsPeopleSoft Human Resources Manage Variable Compensation を参照してください。
PeopleSoft Payroll for North America	Understanding the Interface with Time and LaborPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。
PeopleSoft Payroll for North America	Understanding Integration with PeopleSoft HR and ExpensesPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。
PeopleSoft Payroll for North America	Understanding the General Ledger InterfacePeopleSoft Global Payroll を参照してください。
PeopleSoft Payroll for North America	Understanding the Interface with PayablesPeopleSoft Payroll for North America を参照してください。
PeopleSoft Stock Administration	Variable Compensation IntegrationPeopleSoft Stock Administration を参照してください。
PeopleSoft タレント獲得管理	Understanding the Employee Referral Program ProcessPeopleSoft Talent Acquisition Manager を参照してください。
PeopleSoft 勤務管理	Receiving Time from a TCDPeopleSoft Time and Labor を参照してください。
PeopleSoft 勤務管理	Understanding IntegrationPeopleSoft Time and Labor を参照してください。
PeopleSoft 勤務管理	Understanding the TCD InterfacePeopleSoft Time and Labor を参照してください。
PeopleSoft 勤務管理	Understanding the TCD InterfacePeopleSoft Time and Labor を参照してください。

注: PeopleSoft アプリケーションで使用されるインテグレーション ポイントの技術的詳細については、My Oracle Support の [Implementation Guide] セクションにある「Interactive Services Repository」を参照してください。

Clairvia との統合

Clairvia とのインテグレーションについて

Clairvia によって、特別な対応および作業負荷の必要性に基づいて人員の配属が自動化され、最適な臨床的および経済的結果を得ることができます。Clairvia の機能には、Web ベースの従業員セルフ サービス ダッシュボード、生産性測定、スケジュール作成と人員配置、および組織の人員リソースの完全な管理に関するリアルタイムの決定が含まれます。

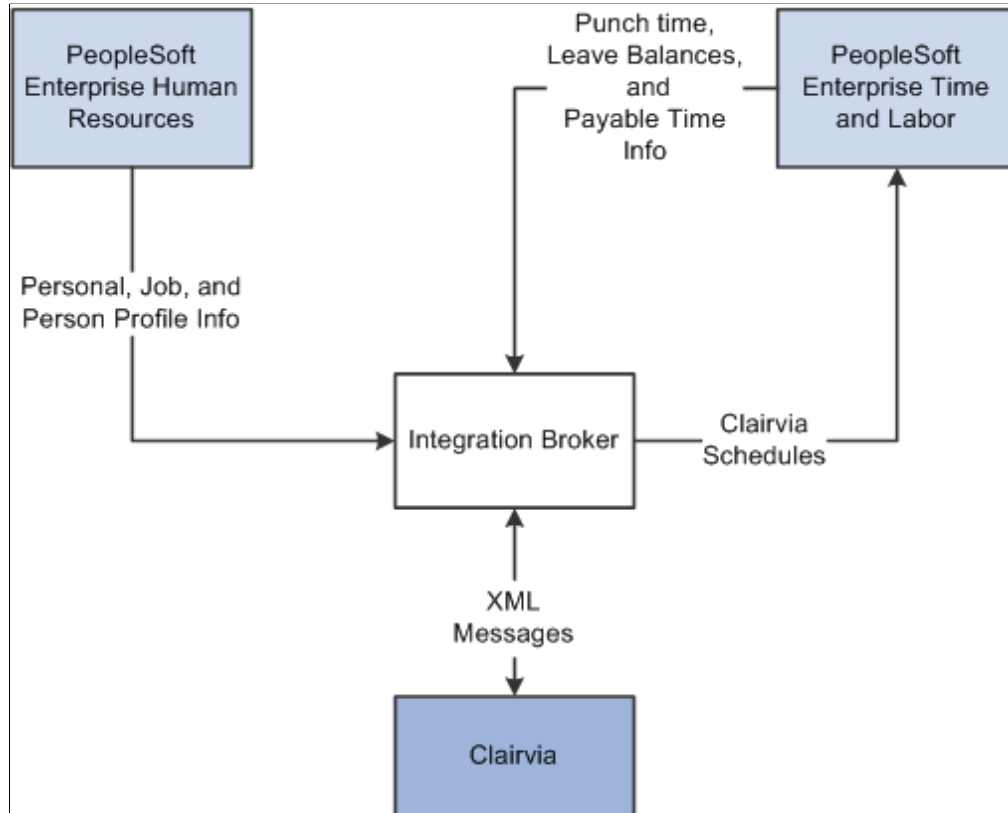
PeopleSoft 勤務管理によって、スケジュールの作成と使用と共に、勤務時間レポートおよび勤務時間の承認の管理が容易になります。スケジュール モジュールを使用すると、顧客はスケジュールを作成および管理し、勤務予定を伝達して順守させ、実際の勤務と照合できます。

PeopleSoft HCM は PeopleSoft インテグレーション ブローカー (IB) を介して Clairvia と統合されます。インテグレーション ブローカーは、アプリケーションまたはシステム間でデータを同期化できるメッセージ シス

テムです。PeopleSoft インテグレーション ブローカーによって、メッセージ構造、メッセージ形式および通信の不均衡を管理しながら、内部システムや取引パートナー間の同期 / 非同期メッセージが容易になります。

画像: PeopleSoft HCM、勤務管理、Clairvia 間の情報の流れ

次の図は、PeopleSoft HCM のアプリケーションと Clairvia 間における情報の流れを示しています。



PeopleSoft HCM 製品と Clairvia が統合されると、アプリケーション間で以下の情報が非同期に交換されます。

- PeopleSoft ヒューマン リソース管理は、従業員の個人情報、職務情報、および個人プロフィール情報を Clairvia に送信します。
- PeopleSoft 勤務管理は、従業員のレポート済記録時刻、休暇残数、および給与支給対象時間を Clairvia に送信します。
- Clairvia は、従業員の勤務スケジュールおよび休職スケジュール情報を勤務管理に送信します。

注: レポート済休暇時間および休暇残数情報は、HR 基本福利厚生とのインテグレーションを介して勤務管理から取得されます。このインテグレーションに休暇管理は必要ありません。

以下のいずれかのトランザクションが発生すると、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のメッセージが Clairvia にリアルタイムでパブリッシュされます。

- 個人および職務の追加 (新規採用)
- 既存の個人への従業員情報の追加

- 既存の従業員への従業員情報の追加 (複数職務)
- コンピテンシー、免許などに関する個人プロフィールの追加または更新
- 既存の個人の従業員情報の終了 (雇用終了)
- 既存の個人の従業員情報の更新 (異動)

Clairvia を使用したインテグレーション ブローカーとエンタープライズ コンポーネントの管理

PeopleSoft インテグレーション ブローカーによって、PeopleSoft とサードパーティ システムとのインテグレーションが容易になります。サービス指向のアーキテクチャが考慮され、PeopleSoft およびサードパーティ システムに対して PeopleSoft のビジネス ロジックをサービスとして示すことができます。別の PeopleSoft やサードパーティ システムからサービスを利用したり呼び出すこともできます。PeopleSoft インテグレーション ブローカーは、メッセージの構造、メッセージ コンテンツ、およびシステム間でのトランスポートの不均衡を管理します。

このトピックでは、インテグレーション ブローカーで PeopleSoft アプリケーションと Clairvia 間のメッセージを送信するために必要な設定のみを説明します。

『PeopleTools Integration Broker Administration』を参照してください。

次の各トピックでは、Clairvia を使用したインテグレーション ブローカーとエンタープライズ コンポーネントの管理方法について説明します。

Clairvia によるインテグレーション ブローカーとエンタープライズ コンポーネントの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
フル テーブル パブリッシュ ルール ページ	EOIU_SOPUBFULL	ルールをメッセージに関連付けて、ルールを特徴づけます。
フル データ パブリッシュ ページ	EO_FULLDATAPUB	フル データ パブリッシュ ユーティリティのラン コントロールを作成します。

フル テーブル パブリッシュ ルール ページ

フル テーブル パブリッシュ ルール ページ (EOIU_SOPUBFULL) を使用して、ルールをメッセージに関連付けて、ルールを特徴づけます。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [フル データ パブリッシュ ルール]

画像: フル テーブル パブリッシュ ルール ページ

次の例では、フル テーブル パブリッシュ ルール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Full Table Publish Rules' configuration page. At the top, there are tabs for 'Full Table Publish Rules', 'Record Mapping', and 'Languages'. Below the tabs, the 'Service Operation' is set to 'PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF' and the 'Message.Version' is 'PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF.INTERNAL'. The 'Operation Description' is 'ClairVia Person Data FullSync'. The 'Publish Rule Definition' section includes a 'Find' button, 'View All', 'First', '1 of 1', and 'Last' navigation options. The 'Publish Rule ID' is 'PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF'. The 'Description' is 'ClairVia PersonBasicFullSyncEf'. The 'Status' is set to 'Inactive'. The 'Chunking Rule ID' and 'Chunk Table' fields are empty. The 'Message Options' section has three checkboxes: 'Create Message Header' (unchecked), 'Create Message Trailer' (unchecked), and 'Create Delay Records' (checked). The 'Output Format' section has three radio buttons: 'Message' (selected), 'Flat File' (unchecked), and 'Flat File with Control Record' (unchecked).

全ての PeopleSoft アプリケーションでは、共通の集中管理されたテーブルおよびページを使用して、フル テーブル メッセージをパブリッシュする方法を定義します。パブリッシュ ユーティリティでは、フル テーブル パブリッシュ ルールを使用してデータを処理します。Clairvia とのインテグレーションでは、次のメッセージの [ルール定義のパブリッシュ] ステータスを [アクティブ] に設定する必要があります。

- PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF
- JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF
- WORKFORCE_CV_FULLSYNC

『PeopleTools: Portal Technology』を参照してください。

フル データ パブリッシュ ページ

フル データ パブリッシュ ページ (EO_FULLDATAPUB) を使用して、フル データ パブリッシュ ユーティリティのラン コントロールを作成します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [プロセス実行], [フル データ パブリッシュ]

画像: フル データ パブリッシュ ページ

次の例では、フル データ パブリッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Clairvia との最初のインテグレーションでは、フル データ パブリッシュ プロセスを 2 回実行する必要があります。

1. このプロセスは、DEPT_FULLSYNC、JOBCODE_FULLSYNC、JPM_CAT_FULLSYNC、および POSITION_FULLSYNC のメッセージに対して実行します。
2. 従業員データを入力し、Clairvia と統合する従業員を指定した後、PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF、WORKFORCE_CV_FULLSYNC、および JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF メッセージに対して、このプロセスを再度実行します。

「[PeopleSoft ヒューマン リソース管理と Clairvia とのインテグレーションの管理](#)」を参照してください。

PeopleSoft と Clairvia とのインテグレーションの設定

PeopleSoft ヒューマン リソース管理の情報を Clairvia と共有するには、Clairvia がインストールされて、従業員と従業員レコードとの組み合わせが Clairvia に登録されていることを指定する必要があります。勤務管理には、管理者による Clairvia スケジュールの上書きおよびデフォルト値の選択が可能かどうかを指定する必要があります。

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

PeopleSoft と Clairvia との インテグレーションの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>インストール済インテグレーション製品ページ</u>	INSTALL_PIP_SEC	Clairvia がインストールされていることを指定します。
<u>JPM カタログ詳細ページ</u>	INSTALL_CATTYP_SEC	Clairvia にパブリッシュするコンテンツ タイプを定義します。
<u>雇用情報ページ</u>	EMPLOYMENT_DTA1	選択した従業員を Clairvia に登録します。
<u>設定ページ</u>	TL_INSTL_PUNCH	スケジュール合計オプション、スケジュール決定オプション、および記録パターンのデフォルト値を勤務管理アプリケーション用に設定します。

インストール済インテグレーション製品ページ

インストール済インテグレーション製品ページ (INSTALL_PIP_SEC) を使用して、Clairvia がインストールされていることを指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル], [インストール済インテグレーション製品]

画像: インストール済インテグレーション製品ページ

次の例では、インストール済インテグレーション製品ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Installed Integration Products			
Payroll Proc Integration Packs		Talent Links	
☐ Payroll PIP - SAP		☐ Talent Links	
Product Integration Information			
Application Type	Product	Installed	JPM Content Catalog Details
1 Taleo	Taleo	☐	
2 Scheduling Integration	Clairvia Scheduling	☒	Add JPM Content Catalog Details
OK Cancel			

アプリケーション タイプ

このフィールドは、統合するアプリケーションのタイプを示します。**[スケジュール]** がデフォルト値です。

製品

インテグレーションに使用する製品を選択します。**[Clairvia]** がデフォルト値です。

インストール済

アプリケーション タイプと製品の組み合わせのインストールを指定する場合に選択します。デフォルト値はオフです。

パブリッシュされるコンテンツ タイプの定義

Clairvia にパブリッシュされるコンテンツ タイプは、デフォルト プロファイル タイプの割当ページで定義した主要個人プロファイル タイプに基づいて制御できます。JPM カタログ詳細ページを使用して、Clairvia にパブリッシュされるコンテンツ タイプを選択します。

JPM カタログ詳細ページ (INSTALL_CATTYP_SEC) を使用して、Clairvia にパブリッシュするコンテンツ タイプを定義します。

ナビゲーション

インストール済インテグレーション製品ページの [JPM コンテンツ カタログ詳細の追加] リンクをクリックします。

画像: JPM コンテンツ カタログ詳細ページ

次の例では、JPM コンテンツ カタログ詳細ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

JPM Content Catalog Details

Catalog Details

Personalize | Find |

First ◀ 1-7 of 7 ▶ Last

	Product	*Content Type	Description		
1	Clairvia Scheduling	AREA STUDY	Areas of Study		
2	Clairvia Scheduling	COMPETENC	Competencies		
3	Clairvia Scheduling	DEG	Degrees		
4	Clairvia Scheduling	HON	Honors and Awards		
5	Clairvia Scheduling	MEM	Memberships		
6	Clairvia Scheduling	RANK	Military Rank		
7	Clairvia Scheduling	TRAVEL	Travel Preferences		

OK

Cancel

コンテンツ タイプ

Clairvia にパブリッシュするプロファイル管理のコンテンツ タイプを選択します。

職務データの更新

Clairvia に情報を送信するには、各 Clairvia 従業員の職務データ コンポーネントの [製品統合情報] リージョンで、[Clairvia] フィールドを選択する必要があります。

雇用情報ページ (EMPLOYMENT_DTA1) を使用して、選択した従業員を Clairvia に登録します。

ナビゲーション

職務データ コンポーネントまたは最新職務データ コンポーネントのいずれかのページの下にある [雇用情報] リンクをクリックします。

[人事・労務管理], [職務情報], [職務データ]

[人事・労務管理], [職務情報], [最新職務]

画像: [製品統合情報] グループ ボックスが表示された雇用情報ページ

次の例では、[製品統合情報] グループ ボックスが表示された雇用情報ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Employment Information						
Antonio Santos Employee			Empl ID KU0010 Empl Record 0			
Organizational Instance ?						
Organizational Instance Rcd 0	Original Start Date 09/12/1997		☐ Override			
Last Start Date 09/12/1997	First Start Date 09/12/1997					
Termination Date			Years	Months	Days	
Org Instance Service Date 09/12/1997	☐ Override		16	10	6	
Organizational Assignment Data ?						
Instance Record						
Last Assignment Start Date 09/12/1997		First Assignment Start 09/12/1997				
Assignment End Date						
Home/Host Classification Home						
Company Seniority Date 09/12/1997	☐ Override		Years	Months	Days	Time Reporter Data
Benefits Service Date 09/12/1997	☐ Override		16	10	6	
Seniority Pay Calc Date 09/12/1997	☐ Override		16	10	6	
Probation Date						
Professional Experience Date						
Business Title Payroll Clerk						
Last Verification Date						
Position Phone						
Product Integration Information ?						
☒ Clairvia						

Clairvia 従業員を Clairvia に登録する場合に選択します。

HCM の基本的なデータ フローは PeopleSoft から Clairvia へのフローのみであるため、Clairvia に従業員を追加する前に、新しい従業員を PeopleSoft に追加する必要があります。

Clairvia に対するオプションおよびデフォルト値の追加

Clairvia から送信されたスケジュールを管理者が上書きできるかどうかを指定できます。スケジュールの上書きを使用可能にすると、管理者がスケジュールをアドホック変更したり、特定の従業員の個人スケジュールを作成できるようになります。

設定ページ (TL_INSTL_PUNCH) を使用して、スケジュール合計オプション、スケジュール決定オプション、および記録パターンのデフォルト値を勤務管理アプリケーション用に設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [インストール], [製品別設定], [勤務管理], [設定]

画像: [製品統合] グループ ボックスが表示された設定ページ

次の例では、[製品統合] グループ ボックスが表示された設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

The screenshot displays the 'Configurations' tab of the 'Time and Labor Installation' page. It features several sections: 'Load Dates' with a date range from 06/19/1998 to 09/16/2020; 'Scheduling and Punch Pattern' with dropdowns for 'Schedule Resolution' (set to 'Take Last Schedule Update') and 'Schedule Totaling' (set to 'Exclude Breaks and Meals'); a 'Default Punch Pattern' table with columns for 'Punch Type' and 'Column Heading'; 'Product Integration' with a checked 'Allow Override to Schedule' box; 'Payable Time Approvals' with a checked 'Retain basic (non-AWE) model' box; 'Email Notifications' with checked boxes for 'Enable Notifications' and 'Enable Alert Notification'; 'Manager Notifications' with checked boxes for 'Exception Generated' and 'Scheduled Event Modified'; and 'Employee Location' with a 'Radius' of 500 feet.

*Punch Type	*Column Heading		
In	In	+	-
Break	Break	+	-
In	In	+	-
Meal	Lunch	+	-
In	In	+	-
Out	Out	+	-

スケジュールへの上書きを許可

このチェック ボックスをオンにすると、管理者は スケジュールの管理ページで従業員と従業員レコードの組み合わせについて Clairvia スケジュールを変更または上書きできます。オフにすると、管理者は スケジュールの管理ページで Clairvia スケジュールを上書きできません。

PeopleSoft ヒューマン リソース管理と Clairvia とのインテグレーションの管理

PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、従業員の個人情報、職務情報、および個人プロフィール情報を Clairvia にパブリッシュします。アプリケーション メッセージングを使用して、PeopleSoft インテグレーションブローカーのメッセージングを介して Clairvia に情報がパブリッシュされます。

同期の初期設定

PeopleSoft システムと Clairvia 間のインテグレーションを設定する場合は、次の手順を実行することをお勧めします。

1. 以下のメッセージに対してフル データ パブリッシュ プロセスを実行します。
 - DEPT_FULLSYNC
 - JOBCODE_FULLSYNC
 - JPM_CAT_FULLSYNC
 - POSITION_FULLSYNC
2. 職務データ ページを介して、または Oracle が提供する ADD_CLAIRVIA_EMPLOYEES データムーバー スクリプトを使用して、PeopleSoft システムの既存の従業員を Clairvia に登録します。

ADD_CLAIRVIA_EMPLOYEES PeopleTools データムーバー スクリプトを使用すると、Clairvia と統合する当初の従業員および従業員レコードのインスタンスを同時に追加できます。必要な従業員の従業員情報が含まれるようにデータムーバー スクリプトを変更した後、データムーバー プロセスを開始して PS_PER_ORG_ASG_INT インテグレーション テーブルに従業員情報を挿入します。

たとえば、病院には Clairvia に登録する看護師が 3,000 人いるとします。各従業員の職務データを手動で更新するのではなく、ADD_CLAIRVIA_EMPLOYEES データムーバー スクリプトを使用して従業員の一括登録を完了します。

3. 再度フル データ パブリッシュ プロセスを実行して、登録された従業員データを PeopleSoft システムから Clairvia に送信します。

以下のメッセージについてプロセスを実行します。

- PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF
- WORKFORCE_CV_FULLSYNC
- JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF

Clairvia にパブリッシュされるデータ

個人、職務およびプロフィールの関連コンポーネントで Clairvia に必要ないずれかのフィールドが更新されると、以下のメッセージが Clairvia にパブリッシュされます。

- PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF
- WORKFORCE_CV_SYNC
- JPM_JP_CV_SYNC_EFF

個人および HR プロファイル管理のデータについては、有効日のメッセージを処理するエンタープライズコンポーネント メソッドを使用して、将来日および履歴の行を削除した後、メッセージが Clairvia ノードにパ

ブリッッシュされます。これらのメッセージは、現在の有効日に該当する情報のみが Clairvia に受け入れられます。将来日の行は、エンタープライズ コンポーネントの有効日パブリッシュ ユーティリティを使用してパブリッシュされます。

職務関連情報については、履歴、現在および将来の日付のメッセージ全てが Clairvia に受け入れられます。

Clairvia は、ビジネス ユニット、所在地などの組織関連の設定テーブル、および評価モデル、学校、学校タイプ、専攻などの任務プロフィール管理用のその他の設定テーブルとは統合しません。PeopleSoft と Clairvia との間にインテグレーション ポイントがない場合は、必要な設定テーブル データを手動でマップする必要があります。PeopleSoft テーブル値に対するその後の変更は、Clairvia システムの情報を手動で更新する必要があります。例: 新しい所在地の追加。

次の表に、Clairvia のフィールドおよび Clairvia に送信されるヒューマン リソースの対応するフィールド データを示します。

Clairvia のフィールド名	Clairvia の説明	PeopleSoft のフィールド名
ProfileID/CostCenter	プロフィールへの従業員のリンク	部門 ID (外部部門 ID)
EmployeeID	従業員の ID	従業員 ID
FirstName	従業員の名	名
LastName	従業員の姓	姓
Initial/MI	従業員のミドル イニシャル	ミドル ネーム
Email	従業員の電子メール アドレス	Email_Addr
HireDate	従業員が採用された日付。例: 1996 年 7 月 2 日の場合は 19960702	みなし初回採用日、採用日
BirthDate	従業員が出生した日付。例: 1973 年 2 月 2 日の場合は 19730202	生年月日
Street/Address	従業員の番地	住所行 1
Apt	従業員のアパート	住所行 2
City	従業員が居住している市区町村	市区町村
State/Province/Region	従業員が居住している都道府県/州	都道府県/州
ZIP/Postal Code	従業員の郵便番号	郵便番号
Country	従業員が居住している国	国

Clairvia のフィールド名	Clairvia の説明	PeopleSoft のフィールド名
Period*	労働時間、シフト、点数および支給限度額の期間タイプ (0 - なし、1 - 日、2 - 週、3 - 月、4 - 年、5 - 隔週)	勤務周期
HoursPerPeriod	期間あたりに勤務する最大時間数	標準勤務時間
MinPeriod	従業員の期間タイプの下限。0 - なし、1 - 日、2 - 週、3 - 月、4 - 年、5 - 隔週	勤務周期
Skill/JobCode	技能コードへの職務コードのマッピング	職務コード
HourRate	時給	時給
DeptID	従業員の部門 ID	部門 ID (外部部門 ID)
FTE	従業員の常勤換算ステータス	常勤換算
EmpAction	従業員の異動区分: 1 - 転属、2 - 雇用終了、3 - 職務変更	異動区分 Action_Descr
ActionStartDate	従業員の異動の開始日。例: 1973 年 2 月 2 日の場合は 19730202	有効日 退職日
PhoneType	従業員の電話タイプ: 1 - 自宅番号、2 - 勤務先番号、3 - ポケベル番号、4 - その他の番号	電話番号タイプ
PhoneNumber	従業員の電話番号。使用フォーマット: 1234567890	電話
CompetencyName	コンピテンシー名	コンテンツ タイプ
CompetencyValue	コンピテンシー値	コンテンツ アイテム
CompetencyExpDate	コンピテンシーが失効する日付	有効期限
Years of Experience		経験年数
Seniority Date		配属開始日、組合加入日
Start Date		開始日 LST_ASGN_START_DT
Job Type	主、副	雇用レコード

ヒューマン リソース メッセージの設計の概要

このトピックでは、ヒューマン リソース用に生成された多くの同期および完全同期インテグレーション ブレーカー メッセージのメッセージ設計の概要について説明します。

PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF メッセージの設計

現在の有効日の個人基本データと Clairvia との完全同期メッセージ

(PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF) には、エンタープライズ コンポーネントのフル データ パブリッシュ ユーティリティが使用されます。フル パブリッシュ ルールのマッピング ビューを使用して、実際のメッセージ レコードが、現在の有効日に該当する Clairvia 従業員の行のみを抽出するビューで上書きされます。

標準の PERSON_BASIC_FULLSYNC メッセージでは、Clairvia に対する登録に関係なく、全ての従業員の情報、および Clairvia に関連のない過去、現在および将来の日付の情報行が全てパブリッシュされます。マッピング ビューを使用することで、Clairvia に必要な現在の有効日に該当する情報のみが、PERSON_BASIC_CV_FULLSYNC_EFF メッセージに即時にパブリッシュされます。フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、履歴データは無視され、将来日の行が EO_EFFDELAY 遅延レコードに書き込まれます。エンタープライズ コンポーネントの有効日パブリッシュ ユーティリティでは、現在の遅延テーブルからレコードを取得して、PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF メッセージが生成されます。

フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、Clairvia に統合された従業員全ての PERSON_DATA 情報を全て備えたデータ メッセージがパブリッシュされます。

WORKFORCE_CV_FULLSYNC メッセージの設計

人事・労務データと Clairvia との完全同期メッセージ (WORKFORCE_CV_FULLSYNC) には、エンタープライズ コンポーネントのフル データ パブリッシュ ユーティリティが使用されます。フル パブリッシュ ルールのマッピング ビューを使用して、実際のメッセージ レコードが Clairvia 従業員の過去、現在および将来の全ての日付の行を抽出するビューで上書きされます。

マッピング ビューを使用することで、Clairvia に必要な情報のみが、WORKFORCE_CV_FULLSYNC メッセージに即時にパブリッシュされます。このメッセージは、現在の有効日ロジックを使用せずに、全ての行が Clairvia の新しいメッセージに渡されるため、メッセージ名に '_EFF' は使用されません。

フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、Clairvia に統合された従業員全ての人事・労務情報を備えたデータ メッセージがパブリッシュされます。

JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF メッセージの設計

現在の有効日の HR プロファイル管理の任務プロファイルと Clairvia との完全同期メッセージ

(JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF) には、エンタープライズ コンポーネントのフル データ パブリッシュ ユーティリティが使用されます。フル パブリッシュ ルールのマッピング ビューを使用して、実際のメッセージ レコードが、必要な HR プロファイル管理コンテンツ タイプ (最高ランキングの識別子インスタンス コンテンツ アイテムを使用) を対象として現在の有効日に該当する Clairvia 従業員の行のみを抽出するビューで上書きされます。

標準の JPM_JP_FULLSYNC メッセージでは、Clairvia に対する登録に関係なく、全ての従業員の情報に加え、全ての識別子インスタンスおよび Clairvia に関連のない過去、現在および将来の日付の情報行が全てパブリッシュされます。マッピング ビューを使用することで、Clairvia に必要な現在の有効日に該当する情報のみが、JPM_JP_CV_FULLSYNC_EFF メッセージに即時にパブリッシュされます。フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、履歴データは無視され、将来日の行が EO_EFFDELAY 遅延レコードに書き込まれます。エンタープライズ コンポーネントの有効日パブリッシュ ユーティリティでは、現在の遅延テーブルからレコードを取得して、JPM_JP_CV_SYNC_EFF メッセージが生成されます。

フル データ パブリッシュ ユーティリティでは、Clairvia に統合された従業員全てのプロフィール情報を全て備えたデータ メッセージがパブリッシュされます。

PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF メッセージの設計

現在の有効日の個人基本データと Clairvia との同期メッセージ (PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF) には、一般データを Clairvia で使用可能なフォーマットにするために 2 つの手続きがあります。第 1 段階でハンドラが PERSON_BASIC_SYNC に追加され、第 2 段階でハンドラが PERSON_BASIC_CV_SYNC に追加されます。

第 1 段階では、PERSON_BASIC_SYNC メッセージのデータが、暫定的な PERSON_BASIC_CV_SYNC メッセージ (これには Clairvia に不要な PERS_ORG_REL_WK ワークレコードを除く全てのデータが格納される) にコピーされます。

第 2 段階では、エンタープライズ コンポーネントのルーチンで PERSON_BASIC_CV_SYNC メッセージが読み込まれ、メッセージに現在の有効日に該当する行が含まれているかどうか判断されます。パブリッシュするために、現在の有効日に該当する行が PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF メッセージにコピーされます。将来日の行は EO_EFFDELAY 遅延レコードにコピーされます。エンタープライズ コンポーネントの有効日処理ユーティリティで、将来日の行とユーティリティ実行日が比較され、日付が現在の場合は、PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF メッセージが生成されます。履歴行は無視され、PERSON_BASIC_CV_SYNC_EFF にコピーされません。有効日処理ユーティリティでは、ヘッダーメッセージ (PSCAMA.MSG_SEQ_FLG = H)、データ メッセージ (Clairvia に必要な実際のデータが格納されている)、およびトレーラ メッセージ (PSCAMA.MSG_SEQ_FLG = T) の 3 つのメッセージが作成されます。

JPM_JP_CV_SYNC_EFF メッセージの設計

現在の有効日の HR プロファイル管理のプロファイルと Clairvia との同期メッセージ (JPM_JP_CV_SYNC_EFF) には、一般データを Clairvia で使用可能なフォーマットにするために 2 つの手続きがあります。第 1 段階でハンドラが JPM_JP_SYNC に追加され、第 2 段階でハンドラが JPM_JP_CV_SYNC に追加されます。

第 1 段階では、Clairvia インストール テーブル コンテンツ タイプのいずれのタイプでもないコンテンツ タイプが削除された後に、JPM_JP_SYNC メッセージのデータが暫定的な JPM_JP_CV_SYNC メッセージにコピーされます。

第 2 段階では、エンタープライズ コンポーネントのルーチンで JPM_JP_CV_SYNC メッセージが読み込まれ、メッセージに現在の有効日に該当する行が含まれているかどうか判断されます。パブリッシュするために、現在の有効日に該当する行が JPM_JP_CV_SYNC_EFF メッセージにコピーされます。将来日

の行は EO_EFFDELAY 遅延レコードにコピーされます。有効日処理ユーティリティで、将来日の行とユーティリティ実行日が比較され、日付が現在の場合は、JPM_JP_CV_SYNC_EFF メッセージが生成されます。履歴行は無視され、JPM_JP_CV_SYNC_EFF にコピーされません。有効日処理ユーティリティでは、ヘッダー メッセージ (PSCAMA.MSG_SEQ_FLG = H)、データ メッセージ (Clairvia に必要な実際のデータが格納されている)、およびトレーラ メッセージ (PSCAMA.MSG_SEQ_FLG = T)の 3 つのメッセージが作成されます。

WORKFORCE_CV_SYNC メッセージの設計

人事・労務データと Clairvia との同期メッセージ (WORKFORCE_CV_SYNC) では、メッセージのハンドラによって一般的な WORKFORCE_SYNC メッセージが読み込まれ、全ての行が Clairvia 従業員用の WORKFORCE_CV_SYNC にコピーされます。過去、現在および将来の全てのデータが、WORKFORCE_CV_SYNC メッセージにコピーされます。

勤務管理と Clairvia とのインテグレーションの管理

次の各トピックでは、勤務管理と Clairvia とのインテグレーションの概要および以下の作業方法について説明します。

- Clairvia へのレポート済記録時刻およびレポート済休暇時間のパブリッシュ。
- Clairvia への休暇残数のパブリッシュ。
- Clairvia からのスケジュール情報および休暇情報の受信。

勤務管理と Clairvia とのインテグレーションの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
勤務管理データのパブリッシュ ページ	TL_TIME_DATA	レポート済勤務時間および承認済時間を Clairvia にパブリッシュします。TL_PUB_TLDAT プロセスを実行します。
休暇残高のパブリッシュ ページ	TL_TIME_DATA	登録された従業員の基本福利厚生休暇残数を Clairvia に送信します。

勤務管理と Clairvia とのインテグレーションについて

勤務管理と Clairvia との間で情報を送受信するには、システムが次の条件を満たしている必要があります。

- PeopleSoft ヒューマン リソース管理および PeopleSoft 勤務管理がインストールされていること。
- Clairvia がインストールされていること。
- 勤務時間レポート コードおよび休暇プランが Clairvia に手動で入力されていること。

さらに、従業員が次の条件を満たしている必要があります。

- 従業員が Clairvia に登録されていること。
- PeopleSoft ヒューマン リソース管理からのメッセージを使用して、PeopleSoft 従業員が Clairvia に存在していること。
- 従業員が勤務管理に登録されていること。

勤務管理データのパブリッシュ ページ

勤務管理データのパブリッシュ ページ (TL_TIME_DATA) を使用して、レポート済勤務時間および承認済時間を Clairvia に送信します。

TL_PUB_TLDAT プロセスを実行します。

ナビゲーション

[勤務管理], [時間処理], [勤務管理データのパブリッシュ]

画像: 勤務管理データのパブリッシュ ページ ([時間オプション] に [現在の日付] が表示された状態)

次の例では、勤務管理データのパブリッシュ ページ ([時間オプション] に [現在の日付] が表示された状態) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Publish Time and Labor Data

Run Control ID 1
Report Manager
Process Monitor
Run

Run Control Parameters

Select Timeframe

Time Option
Current Date

Prior Date Grace Days

Future Date Grace Days

Select Data

☐ Verify Presence
☒ Reported Time
☐ Payable Time

TRC List

☐ Select All Employees

Employees To Process

Personalize | Find |
1 of 1
First
Last

Empl ID	Name	Empl Record	*Include or Exclude
GXEEABS62	John Hicks	0	Include

画像: 勤務管理データのパブリッシュ ページ ([時間オプション] に [開始日と終了日] が表示された状態)

次の例では、勤務管理データのパブリッシュ ページ ([時間オプション] に [開始日と終了日] が表示された状態) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

時間オプション

パブリッシュされたデータのタイム フレームを選択します。値は [現在の日付] および [開始日と終了日] です。パブリッシュするデータを収集する際にシステム日付をレポート期間として使用するには、[現在の日付] を選択します。レポート期間を指定するには、[開始日と終了日] を選択します。

開始日、終了日

処理する日付の範囲を入力します。これらのフィールドは、[時間オプション] フィールドで [開始日と終了日] を選択した場合に使用できます。

前回日付の猶予日数

Clairvia にパブリッシュするデータに含める現在日より前の日数を入力します。このフィールドの値をシステム日付から差し引いた日付に相当するレポート期間開始日が使用されます。このフィールドは、[時間オプション] フィールドで [現在の日付] を選択した場合にのみ使用できます。

将来日付の猶予日数

Clairvia にパブリッシュするデータに含める将来の日数を入力します。このフィールドの値をシステム日付に加算した日付に相当するレポート期間開始日が使用されます。このフィールドは、[時

間オプション] フィールドで [現在の日付] を選択した場合にのみ使用できます。

在席の確認

全従業員または [対象となる従業員] グリッドに指定された従業員の記録時刻をパブリッシュする場合に選択します。現在勤務している従業員が Clairvia で追跡されるように、プロセスの開始時に記録時刻がある従業員を対象として記録時刻がパブリッシュされます。パブリッシュ時に有効な全ての記録時刻が、SV- 保存済、NA - 要承認、AP - 承認済、および SB - 送信済のステータスと共にパブリッシュされます。このオプションを選択すると、休業データは対象に含まれません。

レポート時間

レポート済記録時刻、レポート済休暇、および休暇残数を Clairvia にパブリッシュする場合に選択します。ステータスが SB - 送信済、または AP - 承認済のレポート時間のみがパブリッシュされます。

給与支給対象時間

従業員の給与支給対象時間を Clairvia にパブリッシュする場合に選択します。ステータスが DN、CL、IG、OE、NP、PB、および RV 以外の給与支給対象時間がパブリッシュされます。さらに、相殺されない負数の給与支給対象時間も Clairvia にパブリッシュされます。勤務時間レポート コード (TRC) リストを指定すると、TRC リストでその TRC が設定されている給与支給対象時間のみが Clairvia にパブリッシュされます。

注: 給与支給の相殺は Clairvia にパブリッシュされません。ORIG_SEQ_NBR がゼロでない相殺行が指定されます。

TRC リスト

レポート期間内の給与支給対象時間を Clairvia にパブリッシュする場合に使用する TRC を選択します。レポート期間内の全ての給与支給対象時間をパブリッシュするには、このフィールドを空のままにします。このフィールドは、[給与支給対象時間] オプションを選択した場合にのみ使用できます。

全従業員の選択

選択した日付範囲の全ての登録済従業員の休暇残数をパブリッシュする場合に選択します。処理の対象とする、または除外する従業員を指定するには、このフィールドを選択解除します。

給与支給対象時間のパブリッシュのシナリオ

次の例では、さまざまな状況で勤務管理によって Clairvia にパブリッシュされる給与支給対象時間を説明します。

1. シナリオ 1: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、期間 (DUR) に対する給与支給対象時間の元の行および相殺行がゼロ数量になる場合。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	7.5	RP	N	543210001
10/10/2010 0:00	543210002	KUREG	-7.5	RP	N	543210001

次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	0	RP	N	543210001

2. シナリオ 2: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、期間 (DUR) に対する給与支給対象時間の元の行、相殺行、および新しい行が正数になる場合。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	6	TP	N	543210001
10/10/2010 0:00	543210002	KUREG	2	TP	N	543210002
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	-6	ES	N	543210001
10/10/2010 0:00	543210012	KUREG	-2	ES	N	543210002
10/10/2010 0:00	543210013	KUREG	3	ES	N	0
10/10/2010 0:00	543210014	KUREG	1	ES	N	0

注: タスクに分割があるため、このシナリオには同じ期間 (DUR) の 2 つの KUREG があります。たとえば、80% が部門 A に、20% が部門 B に割り当てられたとします。

次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210013	KUREG	3	ES	N	0
10/10/2010 0:00	543210014	KUREG	1	ES	N	0

3. シナリオ 3: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、通常時間 (KUREG) にユーザーが負数をレポートした場合。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	-3.75	ES	N	0
10/10/2010 0:00	543210002	KUREG	-1.25	ES	N	0

次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	-3.75	ES	N	0
10/10/2010 0:00	543210002	KUREG	-1.25	ES	N	0

4. シナリオ 4: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、元の行のステータスが無視の場合。給与計算に給与支給対象時間の行は作成されません。これは、勤務時間レポート コードが支給にマップされていないか、給与計算で却下された勤務時間が意図的に打ち切られて支払われないことに起因します。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	TL_PYBL_ REASON_CD	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	6	IG	MRJ	0
10/10/2010 0:00	543210002	KUREG	2	RP	PNP	543210002
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	-2	ES		543210002

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	TL_PYBL_ REASON_CD	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210012	KUREG	6	ES		0
10/10/2010 0:00	543210013	KUREG	2	ES		0
10/10/2010 0:00	543210014	KUOVT	1.9125	ES		0
10/10/2010 0:00	543210015	KUOVT	.6375	ES		0

このシナリオでは、SEQ_NBR 543210001 が給与計算で却下され、ユーザーによってクローズされます。ユーザーはこの列が支払われることを意図的に希望しませんでした。SEQ_NBR 543210002 (TL_QUANTITY=2) は却下ステータスですが、この行は給与計算に対して引き続き選択可能です。レポート時間に変更があり、システムで相殺が作成されることになります。相殺行は SEQ_NBR 543210011 で、543210012 から 543210015 に対して新しい時間が生成されます。

次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	TL_PYBL_ REASON_CD	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	543210012	KUREG	6	ES		0
10/10/2010 0:00	543210013	KUREG	2	ES		0
10/10/2010 0:00	543210014	KUOVT	1.9125	ES		0
10/10/2010 0:00	543210015	KUOVT	.6375	ES		0

5. シナリオ 5: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、支給済時間の調整で行 ('99999' で開始する SEQ_NBR、および RECORD_ONLY_ADJ = Y) が追加された場合。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	RECORD_ ONLY_ADJ	ORIG_SEQ_ NBR
10/10/2010 0:00	999990001	KUMLO	1.5	CL	Y	0
10/10/2010 0:00	999990002	KDSAD	-1.75	CL	Y	0

このシナリオでは、情報は勤務管理から Clairvia にパブリッシュされません。

6. シナリオ 6: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、従業員に支払われ、給与小切手逆仕訳が作成された場合。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	ORIG_SEQ _NBR	TL_PYBL_ REASON_ CD	INITIAL_ SEQ_NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	8	DL	0		543210001
10/10/2010 0:00	543210002	KUOVT	2	DL	0		543210002
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	-8	RV	543210001	CRV	543210001
10/10/2010 0:00	543210012	KUOVT	-2	RV	543210002	CRV	543210002

このシナリオでは、次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	ORIG_SEQ _NBR	TL_PYBL_ REASON_ CD	ORIG_SEQ _NBR
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	0	RV	543210001	CRV	543210001
10/10/2010 0:00	543210012	KUOVT	0	RV	543210002	CRV	543210002

7. シナリオ 7: EMPLID が KU0015、EMPL_RCD=0、従業員に支払われ、給与小切手逆仕訳が作成された場合。ただし、ユーザーは将来の支払を見積った新しい行が生成されることを希望しています。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	ORIG_SEQ _NBR	TL_PYBL_ REASON_ CD	INITIAL_ SEQ_NBR
10/10/2010 0:00	543210001	KUREG	8.5	RV	543210001	CRV	543210001
10/10/2010 0:00	543210010	KUREG	-8.5	RV	543210001	CRV	543210001
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	8.5	ES	0		543210001

このシナリオでは、次の情報が勤務管理から Clairvia にパブリッシュされます。

DUR	SEQ_NBR	TRC	TL_ QUANTITY	PAYABLE_ STATUS	ORIG_SEQ _NBR	TL_PYBL_ REASON_ CD	INITIAL_ SEQ_NBR
10/10/2010 0:00	543210011	KUREG	8.5	ES	0		543210001

メッセージ定義

勤務管理データのパブリッシュ ページから TL_PUB_TLDAT プロセスを実行すると、TL_TIME_DATA インテグレーション ブローカー メッセージが Clairvia にパブリッシュされます。

画像: メッセージ定義ページ (TL_TIME_DATA メッセージの一部が表示された状態)

次の例では、メッセージ定義ページ (TL_TIME_DATA メッセージの一部が表示された状態) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Message Definition | Schema

Status: Message cannot be changed. Message referenced in runtime tables.

Message: TL_TIME_DATA **Schema Exists:** Yes

Version: VERSION_1 **Part Message:** ☐

Alias: TimeData

Description: Time and Labor Time Data

Owner ID: TL Interfaces

Comments: This container is used to Publish Time Data (Verify Presence, Punch Time & Leave and Payable Time)

Message Type

☐ Rowset-based

☐ Nonrowset-based

☒ Container

[Service Operation References](#)

[Add Parts](#) [Container Attributes](#)

Message Name	Message Version	Sequence	Minimum Occurs	Maximum Occurs	*Unbound Maximum
TL_VP_MSG	VERSION_1	1	0	1	N
TL_RT_MSG	VERSION_1	2	0	1	N
TL_PT_MSG	VERSION_1	3	0	1	N

TL_TIME_DATA メッセージは 3 つの部分があるコンテナです。

- TL_VP_MSG には記録時刻のデータのみが格納されます。これは、勤務管理データのパブリッシュ ページの [在席の確認] オプションで指定された情報です。
- TL_RT_MSG には、記録時刻、レポート済休暇、休暇残数などの全てのレポート時間のデータが格納されます。これは、勤務管理データのパブリッシュ ページの [レポート時間] オプションで指定された情報です。
- TL_PT_MSG には給与支給対象時間のデータのみが格納されます。これは、勤務管理データのパブリッシュ ページの [給与支給対象時間] オプションで指定された情報です。

休暇残高のパブリッシュ ページ

休暇残高のパブリッシュ ページ (TL_TIME_DATA) を使用して、登録された従業員の基本福利厚生休暇残数を Clairvia に送信します。

ナビゲーション

[勤務管理], [時間処理], [休暇残高のパブリッシュ]

勤務管理と Clairvia を初めて統合した後は、休暇残高のパブリッシュ プロセス (TL_PUB_LVBL) を使用して、登録された従業員の全ての休暇残数を Clairvia に送信します。

画像: 休暇残高のパブリッシュ ページ

次の例では、休暇残高のパブリッシュ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Publish Leave Balance

Run Control ID 1 Report Manager Process Monitor **Run**

Run Control Parameters

☐ Select All Employees

Employees To Process Personalize | Find | | First 1 of 1 Last

Empl ID	Name	Empl Record	*Include or Exclude
GXEEABS62	John Hicks	0	Include

全従業員の選択

現在の日付時点の全ての登録済従業員の休暇残数をパブリッシュする場合に選択します。このフィールドを選択解除すると、処理の対象とする、または除外する従業員を指定できるようになります。

メッセージ定義

休暇残高のパブリッシュ ページから TL_PUB_LVBL プロセスを実行すると、TL_LB_MSGC インテグレーション ブロカー メッセージが Clairvia にパブリッシュされます。

画像: メッセージ定義ページ (TL_LB_MSGC メッセージの一部が表示された状態)

次の例では、メッセージ定義ページ (TL_LB_MSGC メッセージの一部が表示された状態) のフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Message Definition Schema

Status: Message cannot be changed. Message referenced in runtime tables.

Message: TL_LB_MSGC **Schema Exists:** Yes

Version: VERSION_1 ☐ Part Message

Alias: LeaveBalanceContainer

Description: Leave Balance Container

Owner ID: TL Interfaces

Comments: This container message is used to publish Time and Labor Leave Balances

Message Type

☐ Rowset-based

☐ Nonrowset-based

☒ Container

[Service Operation References](#)

[Add Parts](#) [Container Attributes](#)

Message Name	Message Version	Sequence	Minimum Occurs	Maximum Occurs	*Unbound Maximum
TL_LB_MSGC	VERSION_1	1	0	1	N

The TL_LB_MSGC メッセージは 1 つの部分があるコンテナです。メッセージ TL_LB_MSGC には、TL_OWSSR_RUNCTL、TL_RUN_CTRL_GRP、TL_COMPLEAV_TBL、および JOB テーブルからのデータが格納されます。

Clairvia からのスケジュール情報および休暇情報の受信

勤務管理では、SCH_OWS_INTEGRATION アプリケーション クラスおよび SCH_OWSVALID アプリケーション エンジンを使用して、Clairvia からのインバウンド メッセージが処理されます。

Clairvia では SCH_OWS_SCHEDULE メッセージを使用して、確定済スケジュールおよび休暇が勤務管理にパブリッシュされます。システムでは、メッセージを受信した後、次の手順が実行されます。

1. 勤務管理で、スケジュール記録時刻および休暇時間が検証されます。レポート コードおよび従業員の休暇残数の検証など、基本的な休暇検証が実行されます。
2. PS_SCH_ADHOC_DTL テーブルに有効なスケジュールが挿入され、PS_SCH_MNG_SCH_TBL テーブルにスケジュールのサマリが挿入されます。
3. 有効な休暇が AP (承認済) の REPORTED_STATUS で PS_TL_RPTD_TIME テーブルに挿入されます。TL_COMPLEAV_TBL テーブルの休暇プラン残数が更新されます。
4. スケジュールおよび休暇の無効なデータが SCH_INTEG_ERROR テーブルに挿入されます。
5. レスポンス メッセージ (SCH_OWS_MESSAGE) が Clairvia に送信されます。

- 全ての行が正しく処理されると、成功レスポンス メッセージが Clairvia に送信されます。
- エラーの情報は、訂正のために Clairvia に返されます。メッセージには、従業員の情報、却下理由コードが含まれています。SCH_INTEGRATION_ERROR クエリーでエラー データを確認できます。

却下理由コード

次の表に、却下理由コードを示します。

エラー コード	説明
1	無効な従業員 ID と雇用レコード番号
2	無効なスケジュール ソース
3	無効なスケジュール カテゴリ
4	無効な記録時刻タイプ
5	無効なアクティビティ
6	無効なアクティビティ タイプ
7	無効なイベント
8	無効なタイムゾーン
9	既存のトランザクションあり
10	トランザクションがあるため、追加不可
11	トランザクションがあるため、変更、削除が不可
12	従業員がインテグレーション製品に登録されていない
13	従業員が Clairvia に登録されていない
14	休暇残数不足
15	TRC が空白 (タイプ = 0 および TRC = 空白)
16	TRC が非アクティブ

次の図に、クエリービューアでの SCH_INTEGRATION_ERROR クエリーの結果の例を示します。

画像: クエリービューアでの SCH_INTEGRATION_ERROR クエリーの結果

次の例では、クエリービューアでの SCH_INTEGRATION_ERROR クエリーの結果に関するフィールドおよびコントロールを説明します。

SCH_INTEGRATION_ERROR - Integration Error Handling

From Date Under Reporting: 08/01/2010

To Date Under Reporting: 09/01/2010

View Results

Download results in : Excel SpreadSheet CSV Text File XML File (1 kb)

View All

First 1-4 of 4 Last

	Empl ID	Empl Record	Display Name	Error Code	Error Descr	DtTm Created	DUR	Seq Nbr	SeqNum	Punch Date Time	Source	Punch Type	Quantity
1	ALWYN	0	angel dsouza	17	Not Enrolled Leave Benefit	08/04/2010 12:11:47AM	08/02/2010	1	1	08/02/2010 6:30:00PM	I	0	4.000000
2	ALWYN	0	angel dsouza	17	Not Enrolled Leave Benefit	08/04/2010 12:13:33AM	08/02/2010	1	1	08/03/2010 6:30:00PM	I	0	4.000000
3	ALWYN	0	angel dsouza	17	Not Enrolled Leave Benefit	08/04/2010 12:14:34AM	08/03/2010	1	1	08/03/2010 6:30:00PM	I	0	4.000000
4	ALWYN	0	angel dsouza	16	TRC is not active	08/04/2010 12:15:50AM	08/03/2010	1	1	08/03/2010 6:30:00PM	I	0	4.000000

Taleo との統合

Taleo とのインテグレーションについて

このトピックでは、標準 Taleo インテグレーション ソリューションの PeopleSoft 側の概要、および以下の項目について説明します。

- インテグレーションの必要条件
- ロールおよびユーザー プロファイルの管理
- Web サービスの設定
- Taleo インテグレーションの設定
- ソース データ アナライザ レポートの作成
- データの送受信
- 変換エラーの確認
- 採用管理を使用した候補者の採用
- Taleo 統計の表示

PeopleSoft HCM と Taleo Recruiting とのインテグレーションの目的は、顧客が PeopleSoft を使用して毎日の HCM ビジネス プロセスを実行しながら、Taleo アプリケーション内で定義されている採用管理機能を利用できるようにすることです。このインテグレーション モデルによって、顧客は、PeopleSoft 内で定義された組織、勤務地および職務フィールド (OLF) を使用して、Taleo アプリケーションで人材募集を作成および管理できます。

インテグレーションの範囲

- PeopleSoft 9.2 とのインテグレーションは、Taleo バージョン 13A 以上に対して可能です。
- PeopleSoft HR 基本情報と Taleo を同期して、Taleo での人材募集作成と応募者追跡を可能にします。
- 選択した応募者に関する候補者情報を Taleo から取得して、PeopleSoft で採用を処理します。
- データ同期または候補者取得プロセスでのエラーを通知するワークフロー電子メール通知を関係者に送信します。

- インテグレーション専門家は、PeopleSoft ユーザー インターフェイスからエラーを取得して解決できます。
- PeopleSoft の内部従業員は Taleo で職務を検索して適用できます。
- PeopleSoft の採用管理者は、PeopleSoft 管理者ダッシュボードに Taleo の採用統計を表示できます。

インテグレーションの必要条件

正常にインテグレーションを行うために、以下の必要条件を満たす必要があります。

PeopleSoft の前提条件

Taleo とのインテグレーションを進める前に、PeopleSoft で以下の情報を定義する必要があります。

- ビジネス ユニットおよびセットID の設定
- レコード グループ
- 部門、会社および勤務地
- PeopleSoft に定義する勤務地は、正しい国と州/都道府県情報を使用して存在する必要があります。
- 職務コード
- テーブルセット コントロールが PeopleSoft に導入され、エンティティ (部門、職務コード、勤務地など) がビジネス ユニット別に設定および管理されていること。
- PeopleSoft の全従業員は、PeopleSoft にアクセスするためのユーザー ID が必要です。
- 各従業員は、1 つのユーザー ID に関連付けられている必要があります。
- 適切なロールと共に、ユーザー プロファイルが PeopleSoft に定義および設定されていること。
- 従業員に関連付けられるユーザー ID は 4 文字以上である必要があります。
- PeopleSoft HR システムの管理は、最新のバンドルと個々の修正を適用して最新の状態を維持する必要があります。
- PeopleSoft は、PeopleTools リリース 8.53.05 以上と共に存在する必要があります。

Taleo の前提条件

- インテグレーション ソリューションの Taleo 側は、SmartOrg 管理に次の構造が含まれて存在する必要があります。組織構造は、会社、ビジネス ユニットおよび部門の 3 レベルで構成されます。勤務地構造は、国、都道府県、市区町村、勤務地の順の階層構造です (第 4 レベルは Taleo で勤務地として定義済み)。
- Taleo は、マルチリンガル エンティティに対して同期化するデータからデフォルト言語を識別し、そのデフォルト言語を使用してサポートされていない言語フィールドが入力されるように設定する必要があります。

- 採用担当者は、人材募集テンプレートのみを使用して人材募集を作成する必要があり、人材募集の組織または勤務地情報は、テンプレートでデフォルト設定された内容を変更できません。
- 同期化のために Taleo が新規採用データを PeopleSoft に送信するのは、Taleo 採用プロセス全体で 1 回 (Taleo 側の設定時にインテグレーション顧客が指定する時点) のみです。
- 基本データは Taleo にインポートされる必要があり、手動では作成できません。Taleo に手動で作成された基本データは、PeopleSoft と同期化されません。基本データが PeopleSoft にインポートされると、システムでは無効なデータと見なされ、Taleo をソースとする基本データは新規採用のエクスポートレコードの候補者から消去されます。

ロールおよびユーザー プロファイルの管理

Taleo インテグレーションに関連する全ての機能にアクセスできるようにするには、各ユーザー ID を適切な権限リストとロールに関連付ける必要があります。このためには、以下の作業を行う必要があります。

- インテグレーション関連ロールに対する権限リストを確認します。
- ユーザー ID にインテグレーション関連ロールを追加します。

ロールおよびユーザー プロファイルの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
権限リスト ページ	ROLE_CLASS	インテグレーション関連ロールに関連付けられた権限リストを確認します。
ロール ページ	USER_ROLES	インテグレーション関連ロールをユーザー プロファイルに関連付けます。

インテグレーション関連ロールに対する権限リストの確認

ロール ページ (ROLE_CLASS) を使用して、以下のロールに関連付けられた権限リストをチェックします。

- Taleo インテグレーション専門家
- Taleo インテグレーション ユーザー
- EOTF_ADMIN

次の表に、ロールに対する権限リストを示します。

ロール	権限リスト	説明
Taleo インテグレーション専門家	HCCTLO1000	Taleo インテグレーションの管理
Taleo インテグレーション ユーザー	HCCPHR8010	管理者ダッシュボード

ロール	権限リスト	説明
	HCCTLO2000	ダッシュボード - Taleo
EOTF_ADMIN	EOTF1000	変換フレームワークの設定
	EOTF1100	変換フレームワーク データ管理
	EOTF1200	変換フレームワーク ランタイム

上記のロールおよび権限リストは、システム内に値が既に設定されています。

注: HCM 管理者ダッシュボードで Taleo ページレットにアクセスするには、*HCCPHR8010* (管理者ダッシュボード) および *HCCTLO2000* (ダッシュボード - Taleo) の両方の権限リストがロールに関連付けられている必要があります。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [権限 / ロール], [ロール]

[権限リスト] タブをクリックします。

ユーザー ID へのインテグレーション関連ロールの追加

ユーザー プロファイル ページ (USER_ROLES) を使用して、*Taleo* インテグレーション専門家ロールを、インテグレーション アクティビティを実行するユーザー プロファイルに関連付けます。さらに、*[EOTF_ADMIN]*、*[従業員]*、*[管理者]*、*[マネージャ]*、および *[採用担当者]* の各ロールもユーザー プロファイルに関連付けられていることを確認する必要があります。ロールをユーザー プロファイルに関連付ける際には、以下のガイドラインに従ってください。

- インテグレーション プロセスを管理および実行するユーザーに対しては、[ユーザー ロール] グループボックスで *Taleo* インテグレーション専門家ロールを追加します。
- 変換マップおよび値の設定と管理を行うユーザーに対しては、[ユーザー ロール] グループボックスで *[EOTF_ADMIN]* (変換フレームワーク管理者) ロールを追加します。
- インテグレーション プロセスを管理および実行するユーザー ID に対しては、[ユーザー ロール] グループボックスで *[従業員]*、*[管理者]*、*[マネージャ]*、および *[採用担当者]* をユーザー プロファイルに関連付けます。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル]

[ロール] タブをクリックします。

Web サービスの設定

PeopleSoft と Taleo 間のデータ変換には、Bulk API Web サービスを使用します。PeopleSoft 環境からのデータの変換は、PeopleSoft インテグレーション ブローカー Web サービス メッセージによってサポートされます。PeopleSoft には、PeopleSoft HCM 9.2 と Taleo とのインテグレーションの一部として Web サービス メッセージ構造が用意されていますが、インテグレーション ブローカーの設定を完了するには、複数のステップを実行する必要があります。

- サービス オペレーション、ハンドラ、およびルーティングを設定してアクティブにします。
- 権限リストに対するアクセスを設定します。
- ルーティング コネクタ プロパティを設定します。
- キューをアクティブにします。

Web サービスの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
サービス オペレーション - 一般ページ	IB_SERVICE	付属のサービス オペレーションをアクティブにします。
Web サービス アクセス ページ	WS_ACCESS_IB	権限リストに対するアクセスを設定します。
サービス オペレーション - ハンドラ ページ	IB_SERVICEHDLR	付属のハンドラをアクティブにします。
サービス オペレーション - ルーティング ページ	IB_SERVICERTNGS	ルーティング定義を追加します。
ルーティング定義ページ	IB_ROUTINGDEFN	付属のルーティングをアクティブにします。
キュー定義ページ	IB_QUEUEDEFN	付属のキューをアクティブにします。
コネクタ プロパティ ページ	IB_ROUTINGDEFNCON	ルーティング コネクタ プロパティを設定します。
ノード定義ページ	IB_NODE	ノード資格証明を更新します。
コネクタ ページ	IB_NODECONN	ノード コネクタ プロパティを設定します。
WS セキュリティ ページ	IB_NODESECURITY	ノード セキュリティを更新します。

付属のサービス オペレーションのアクティブ化

サービス ページにアクセスして、サービスの *TI_NEWHIR_CAND_DATA* および *TI_SETUP_EMPLOYEE_OB* がシステムに存在しているかどうかを確認します。これらの各サービスに対して、次を確認します。

- 前述のサービスに関連付けられているサービス オペレーションのステータスが [アクティブ] かどうかを確認します。
- インテグレーション関連のサービス オペレーション全てのステータスが [アクティブ] かどうかを確認します。
- インテグレーション関連のサービス オペレーション内のハンドラのステータスが [アクティブ] かどうかを確認します。
- インテグレーション関連のサービス オペレーション内のルーティングのステータスが [アクティブ] かどうかを確認します。

権限リストに対するアクセスの設定

Web サービス アクセス ページ (WS_ACCESS_IB) を使用して、全ての Taleo インテグレーション関連ロールが必要な権限リストで更新されて [フル アクセス] が付与されていることを確認します。

ルーティング コネクタ プロパティの設定

コネクタ プロパティ ページ (IB_ROUTINGDEFNCON) にアクセスして、次に示すように、全てのルーティングに対して次のコネクタ プロパティを追加します。

プロパティ ID	プロパティ名	値
HEADER	Content-Type	multipart/related;boundary="----=_Part_04_040404.0404";type="application/xop+xml";start="<0.candidate_04.cdm@peoplesoft>";start-info="text/xml" (これは、システム データとしてルーティングごとに個別に提供されています)
HEADER	Authorization	Basic {V1.1}2dZ0KWpeOCHn9D+YwKGcUL9iMWBhWJs8Jpx7Bq+ayAI= (サンプル資格証明の username:password に対して、ここに表示されるパスワードは、base64 タイプの形式で暗号化されています)
HEADER	sendUncompressed	Y
HTTPPPROPERTY	Method	POST

プロパティ ID	プロパティ名	値
PRIMARYURL	URL	Taleo ゾーンに対して使用する URL。

注: ユーザー名およびパスワードは Taleo から導出されます。Bulk API スクリプトでは、Taleo に対する認証にこのインテグレーション ユーザー資格証明を使用します。

プライマリ URL

Taleo ゾーンに対して使用する必要がある URL を次にリストします。ターゲットの Taleo ゾーンによって URL が変化することに注意してください。

サービス オペレーション	ルーティング	プライマリ URL
TI_USER_EMP_SYNC	TI_USER_EMPL	https:// <Taleo ゾーン> /smartorg/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_CANDMERGE_SYNC	TALEO_CDM_OUTBOUND	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_CANDUPDATE_SYNC	TALEO_CDU_OUTBOUND	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_FINDPARTIALENTITIES	TI_IMPORTED_26958	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=FindService
TI_GETLARGEDOC	TI_GETLARGEDOC	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_GETMSGBYKEY	TI_GETMSGBYKEY	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_JOBTEMPLATE_SYNC	TALEO_JTM_OUTBOUND	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_LOCATION_SYNC	TALEO_LOC_OUTBOUND	https:// <Taleo ゾーン> /smartorg/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_NEWHIR_CAND_SYNC	TALEO_NEWHIRE_CAND	https:// <Taleo ゾーン> /enterprise/soap? ServiceName=IntegrationManagementService
TI_ORGANIZATION_SYNC	TALEO_ORG_OUTBOUND	https:// <Taleo ゾーン> /smartorg/soap? ServiceName=IntegrationManagementService

キューのアクティブ化

キュー定義ページを使用して、次のキューのキュー ステータスが [実行] かどうかを確認します。

- TI_NEWHIR_CAND_DATA
- TI_SETUP_EMPLOYEE_OB

Taleo 資格の追加

PeopleSoft と Taleo の両方が Oracle 傘下であるため、通常、Taleo 証明書が自動的に追加されます。ただし、Taleo 証明書が追加されない場合は、次のステップに従って同じ証明書を追加できます。

1. ローカル パスに証明書をダウンロードします。
2. ファイル管理に証明書をロードします。

Taleo インテグレーションの設定

PeopleSoft には設定ウィザードがあり、インテグレーション設定をステップ バイ ステップ処理に従って作成します。Taleo インテグレーションの設定には、次のステップがあります。

- Taleo インテグレーション インストール オプションの定義
- PeopleSoft 会社の定義およびインテグレーションに使用するビジネス ユニットの関連付け
- このインテグレーションに関連付けるエラー コードの定義
- インテグレーションで使用するドメイン値マップの定義

Taleo インテグレーションの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>インストール オプションの設定ページ</u>	TI_CONFIG_WZ1	インテグレーションに対するドメイン、資格、言語のデフォルトなどを設定します。
<u>会社をビジネス ユニットに関連付けページ</u>	TI_CONFIG_WZ2	インテグレーションに使用する会社を定義し、対応するビジネス ユニットに関連付けます。
<u>インテグレーション エラーの定義ページ</u>	TI_CONFIG_WZ3	プロセスで発生したエラーの識別に使用するインテグレーション エラー コードを定義します。
エラー定義ページ	TI_CONFIG_WZ3_SEC	カスタム エラーに関連する詳細を入力します。
<u>ドメイン値マップ ページ</u>	TI_CONFIG_WZ4	このインテグレーションに使用するドメイン値マップのリストを確認し、入力する必要がある値をロードします。

ページ名	定義名	用途
職務テンプレートの作成ページ	TI_JOB_TEMPLATE	インテグレーションで使用する新しい職務テンプレートを作成します。

インストール オプションの設定ページ

インストール オプションの設定ページ (TI_CONFIG_WZ1) を使用して、データ変換が正常に機能するために必要な技術的な詳細を指定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Taleo インテグレーション], [設定ウィザード], [インストール オプションの設定]

画像: インストール オプションの設定ページ

次の例では、インストール オプションの設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configuration Wizard

1

2

3

4

Configure Installation Options

Step 1 of 4

Installation Defaults

*Installation ID

Analyzer Reports

*PeopleSoft Domain

*Taleo Domain

Language Defaults

Personalize | Find | View All |

First 1 of 1 Last

*Language Code	Description	Taleo Default		
1			+	-

Filters

Group Data Filters

Personalize | Find | View All |

First 1 of 1 Last

*Group ID	Description	*Group As Of Date	Refinement Date		
1				+	-

Save

Next

インストールのデフォルト

アナライザレポート

新しいブラウザ ウィンドウに "ソース データ分析レポート - ラン コントロール" ページを開くには、このボタンをクリックします。これは、設定ウィザード フローには影響しません。

注: このボタンは、同期アクティビティを開始する前に、これらのレポートを実行してシステムの準備状況を確認するためのリマインダとして機能します。

インストール ID

インテグレーション専門家が現在の共存インストールを識別するのに役立つグローバル識別子を入力します。

PeopleSoft ドメイン

データ変換に DVM が参照される際に、プログラムが使用するドメイン名を選択します。

Taleo ドメイン

データ変換に DVM が参照される際に、プログラムが使用するドメイン名を選択します。

言語のデフォルト

このグループ ボックスにリストされる言語は、インテグレーション ソリューションの一部としてインストールされます。デフォルト言語の指定は必須です。サポートされていない言語のデータが必須のマルチリンガル フィールドに入力された場合は、デフォルト言語フィールドからデータがロードされます。

言語コード

インテグレーション インストールでサポートする言語を選択します。選択には PeopleSoft サポート言語のリストを使用できます。

名称

選択した言語コードの名称が表示されます。

Taleo デフォルト

必須言語情報が指定されていないマルチリンガル フィールドに記入する際に、Taleo 側が使用する言語を選択します。Taleo デフォルトとして選択できるのは、1 つの言語のみです。2 つ目の言語をデフォルトとして選択すると、1 つ目の言語からデフォルトフラグが削除されます。

グループ データ フィルタ

このグループ ボックスでは、従業員または候補者のグループ条件を柔軟に選択できます。グループビルドを選択すると、変換プロセスでは、その集合に属している従業員のみが選択され、その従業員の集合に対してのみ検証が適用されます。グループビルドでは、前の実行でエラーが返された従業員は対象として考慮されません。

注: グループビルド条件を変更した場合は、候補者およびユーザー従業員に対して一括処理を再度実行する必要があります。差分でも実行できますが、前の実行で選択されなかった従業員は、いずれかの差分条件に該当しない限り Taleo に移動されません。

グループ ID	メンバーを表示するグループの ID を入力します。既存のグループビルド機能を使用して、PeopleSoft でグループ ID を作成できます。
名称	選択したグループ ID の名称が表示されます。
グループ指定日	グループに属している従業員を決定する日付を選択します。この指定日にグループ ID に属している全ての従業員が変換の対象として選択されます。
絞込日	グループ定義に有効日が設定されたレコードが含まれている場合、実行するレコードの日付を入力します。たとえば、有効日が 2000 年 1 月 1 日のグループを実行する場合に、2008 年 2 月 15 日時点でそのグループに含まれる有効日が設定された行を実行するとします。この場合、グループ指定日に 2000 年 1 月 1 日を選択し、絞込日に 2008 年 2 月 15 日を選択する必要があります。
注: このフィールドを空白のままにしておくと、現在の日付でグループが実行されます。	

会社をビジネス ユニットに関連付けページ

会社をビジネス ユニットに関連付けページ (TI_CONFIG_WZ2) を使用して、ビジネス ユニットの会社に関連付け、それによって Taleo が理解する組織階層が生成されます。データ変換の際はフィルタとしても機能します。初期バッチ処理の実行後に、このページから情報を削除すると、その情報はそれ以降の差分実行では処理されません。

注: PeopleSoft で会社またはビジネス ユニットが新規に作成されると、同期処理で関連が確認され、データが Taleo に送信されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Taleo インテグレーション], [設定ウィザード], [会社をビジネス ユニットに関連付け]

画像: 会社をビジネス ユニットに関連付けページ

次の例では、"会社をビジネス ユニットに関連付け" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configuration Wizard

1234

Associate Companies to Business Units

Step 2 of 4

Company- Business Unit

Find | View All

First 1 of 1 Last

+ -

*Company

Business Units

Personalize | Find | View All

First 1 of 1 Last

+ -

*Business Unit	Description
1	

Save

Previous

Next

- 会社

ビジネス ユニットと関連付ける必要がある会社をグリッドで選択します。
- ビジネス ユニット

選択した会社と関連付けるビジネス ユニットを選択します。選択には、BUS_UNIT_TBL_HR テーブルで有効なビジネス ユニット全てを使用できます。

注: 会社とビジネス ユニットの関連付けは非常に重要です。これに基づいて、Taleo に送信する勤務地および候補者が定義されます。候補者 (候補者のマージおよび更新) は、設定ウィザードで定義されたビジネス ユニットと会社の組み合わせに基づいて抽出されます。勤務地は、セット コントロール機能を使用して設定ウィザードで定義されたビジネス ユニットに基づいて抽出されます。

インテグレーション エラーの定義ページ

インテグレーション エラーの定義ページ (TI_CONFIG_WZ3) を使用して、システムから提供されたエラーを表示します。カスタム定義のエラーも追加できます。ここで定義したエラーで、変換プログラムの実行中に実施する確認と検証のマスター リストを構成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Taleo インテグレーション], [設定ウィザード], [インテグレーション エラーの定義]

画像: インテグレーション エラーの定義ページ

次の例では、インテグレーション エラーの定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configuration Wizard

1234

Define Integration Errors

Step 3 of 4

Error Type ?	Personalize	Find	View All	First	1-3 of 3	Last
Code	Title	Type	Status	Details		
1 DVME	DVM Error	System	Active	Details	+	-
2 INVC	Invalid Candidate Data	System	Active	Details	+	-
3 TAPE	Taleo Application Error	System	Active	Details	+	-

Save

Previous

Next

- コード

エラー コードが表示されます。カスタム エラーを作成する際、必要な値を入力できます。ただし、保存した後はコードを編集できません。
- 名称

エラーの名称が表示されます。カスタム エラーを作成する際、エラーに意味のある名称を入力できます。ただし、保存した後は名称を編集できません。
- タイプ

エラーのタイプが表示されます。[システム] および [ユーザー定義] のタイプがあります。
- ステータス

エラーのステータスが表示されます。カスタム エラーを作成する場合、デフォルト ステータスは [非アクティブ] です。[詳細] リンクを使用してステータスを更新できます。
- 詳細

エラーの詳細を追加または更新するには、このリンクをクリックします。これによって、エラー定義ページが開きます。

注: [詳細] リンクは、カスタム エラーを初めて保存した後に表示されます。

エラー定義

エラー定義ページを使用して、カスタム エラーに関連する詳細を入力します。ただし、ソリューションに付属してパッケージ化されているシステム エラーでは、このページは事実上情報提供ページであり、詳細は表示専用です。反対に、ユーザー定義エラーの場合は、エラー コードとエラー タイプを除く全ての詳細を変更できます。

ナビゲーション

エラー定義ページにアクセスするには、[エラー タイプ] グリッドでエラーに対する [詳細] リンクをクリックします。

画像: エラー定義ページ

次の例では、エラー定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Error Definition

Error Details

Code TAPE

Title Taleo Application Error

Status Active

Type Sys

Description This type of error occurs on Taleo side when data from PeopleSoft gets reconciled in Taleo and the migrated data fails to meet some Taleo Application specific Business rules.

Application Package Path

Application Package Path TI_INTEGRATION:TAPEError

Method Name TAPEError

アプリケーション パッケージ パス

このエラーを処理するアプリケーション パッケージの名前が表示されます。

メソッド名

このエラーを具体的に処理する前述のアプリケーション パッケージのメソッドが表示されます。

ドメイン値マップ ページ

ドメイン値マップ ページを使用して、変換プログラムを実行する前に、データを設定しておく必要があるドメイン値マップを確認します。このインテグレーションには 2 つのタイプのドメイン値マップ (DVM) があり、DVM のタイプに基づいて実装処理は変わります。

- **静的 DVM:** DVM には、PeopleSoft と Taleo の両方の値がシステム データとして用意されています。顧客は、用意されている値を確認する必要があります。値を修正する必要がない限り、その他の処理は必要ありません。
- **動的 DVM:** DVM には、PeopleSoft と Taleo の両方の値がシステム データとして用意されています。顧客は、用意されている値を確認したり、必要な場合は要件に基づいてその他の値を追加できます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Taleo インテグレーション], [設定ウィザード], [ドメイン値マップ]

画像: ドメイン値マップ ページ

次の例では、ドメイン値マップ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Configuration Wizard

1 2 3 4

Domain Value Maps Step 4 of 4

Domain Value Maps			Personalize Find View All First 1-10 of 10 Last
Map Name	Description	Populate	
1 TaleoCountryCodeDVM	Taleo Country Code	Populate	
2 TaleoCountryStateCodeDVM	Taleo Country StateCode	Populate	
3 TaleoCurrencyCodeDVM	Taleo Currency Code	Populate	
4 TaleoEmployeeStatusDVM	Taleo Employee Status	Populate	
5 TaleoJobScheduleDVM	Taleo JobSchedule	Populate	
6 TaleoJobTypeDVM	Taleo JobType	Populate	
7 TaleoLanguageCodeDVM	Taleo Language Code	Populate	
8 TaleoPayFrequencyBasisDVM	Taleo Pay Frequency Basis	Populate	
9 TaleoRoleDVM	Taleo Role	Populate	
10 TaleoTemplateStatusDVM	Taleo Template Status	Populate	

Previous Finish

ロード

ドメイン値マップのロード コンポーネントに移動するには、このボタンをクリックします。ここでは、入力された値を確認したり、必要な場合はいつでも値を入力できます。

職務テンプレートの作成ページ

職務テンプレートの作成ページ (TI_JOB_TEMPLATE) を使用して、新しい職務テンプレートを作成します。アウトバウンドの同期プロセスでは、このページからデータを選択して職務テンプレートを作成し、Taleo に移動されます。このページでは情報を削除できます。初期バッチ処理の実行後にこのページに追加された新しいデータは、最終更新日時に基づいて、その後の差分実行で処理されます。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Taleo インテグレーション], [職務テンプレートの作成]

ソース データの分析

Taleo と PeopleSoft の同期に着手する前に、円滑なエラーのないデータ変換を確実に実行するために、PeopleSoft 側でデータの準備状況をチェックすることをお勧めします。ソース データ アナライザのレポートでは、定義済みの一連の認定条件に対して、PeopleSoft 側と Taleo とのデータを確認できます。

レポートでは、ソース データが以下の条件に一致しているかどうかをチェックすることで、Taleo インテグレーションに対して PeopleSoft データの準備ができているかどうかを分析できます。

- 住所に国の値のない勤務地。
- 住所に都道府県/州の値のない勤務地。都道府県/州がないシンガポールなどの一部の国は、例外として処理されます。
- 住所に市区町村の値のない勤務地。市区町村がないシンガポールなどの一部の国は、例外として処理されます。
- システム内にユーザー プロファイルのない従業員。
- 複数のユーザー プロファイルが関連付けられている従業員。

Taleo に対するソース データ分析レポートには 2 つのタイプがあります。

- **製品準備期間サマリ:** レポートには、インテグレーションに向けて満たす必要がある定義された条件、およびその条件を満たしていない行の数が全てリストされます。
- **製品準備期間詳細:** レポートには、インテグレーションに向けて満たす必要がある定義された全ての条件、およびその条件を満たしていない行の数が全てリストされます。このレポートには、記述された条件を満たしていないデータも全て表示されます。定義された各条件に対して、詳細レポートを作成できます。

注: この手順は省略できますが、変換でのエラーを回避するために、手順に従ってデータを訂正することをお勧めします。

ソース データ分析レポートの実行に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ソース データ アナライザの実行ページ	FMEV_RUN	データ ソース分析レポートを作成するためのラン コントロール ページ

ソース データ アナライザの実行ページ

ソース データ アナライザの実行ページを使用して、ソース データ分析レポートを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [ソース データ アナライザ], [ソース データ アナライザの実行]

画像: ソース データ アナライザの実行ページ

次の例では、ソース データ アナライザの実行ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Run Source Data Analyzer

Run Control ID 01

Report Manager

Process Monitor

Run

Language English

*Target Application Taleo

*Report Type Product Readiness Summary

Taleo Version

Select Product Groups

*PeopleSoft Product

ターゲット アプリケーション

このフィールドでは [Taleo] を選択します。選択した値は、レポートを作成するターゲット アプリケーションを示します。

レポート タイプ

このフィールドでは [製品準備期間サマリ] を選択します。選択した値は、作成する必要があるレポートのタイプを示します。

Taleo バージョン

このフィールドでは 13A を選択します。このフィールドのラベルは [ターゲット アプリケーション] の選択に基づいて変化します。

製品グループの選択

このグループ ボックスでは、製品準備期間サマリレポートを作成する製品グループを選択できます。同時に複数の製品について、サマリレポートを作成できます。

PeopleSoft 製品

レポートを作成する製品グループを選択します。複数の行を追加して、1 回の実行で複数の製品のレポートを作成できます。

[レポート タイプ] フィールドで [製品準備期間詳細] を選択した場合は、[レポート ID] という追加のフィールドが表示されます。

レポート ID 満たす必要がある定義した各条件に対してレポート ID を選択します。

注: 製品準備期間詳細レポートの場合は、[PeopleSoft 製品] フィールドで 1 つの製品グループのみを選択します。

Taleo へのデータの送信

初期バッチ ロードによって、進行中の毎日のアクティビティがシステムのデータと同期化され、両方のシステムの同期が維持されます。また、決められた間隔に基づいて、Taleo から新規採用の詳細を定期的に取得します。

識別されたエンティティに関連するデータを PeopleSoft 側で作成または変更すると、特定のインテグレーション管理アクティビティ セットが実行されて変更が Taleo と同期化されます。新規採用の詳細を採用管理システムから取得し、PeopleSoft でインテグレーション専門家が定期的に実行する採用の処理も、これと同じ部類に入ると見なされます。

このトピックでは、PeopleSoft 側から Taleo 側にデータを移動する方法について説明します。以下のエンティティは、アウトバウンド実行のたびに Taleo に移動します。

- 所在地
- 組織
- 職務テンプレート
- 候補者プロフィール
- 従業員ユーザー

初期完全同期

初期完全同期に関しては、各ビジネス オブジェクトに対して実行するためのチェック ボックスがラン コントロール ページにあります。各種オブジェクト間の相互依存のため、同期対象のオブジェクトは以下の順序で選択されます。

- 組織
- 所在地
- 職務テンプレート
- 候補者

- ユーザー従業員

5 つのオブジェクトが全て実行されてエラーなしで正常に完了すると、各チェック ボックスはアクティブのままになるため、ユーザーは次回の実行で任意のチェック ボックスを選択できます。

注: 初期同期中にエラーが発生した場合は、エラーを修正して、完全同期を再実行して再同期化する必要があります。

差分ロード プロセス

差分ロードを実行すると、以下の順序でビジネス オブジェクトが同期化されます。

1. 所在地
2. 組織
3. 職務テンプレート
4. 候補者
5. ユーザー従業員

差分ロード プロセス中は、全てのチェック ボックスがオンになり非アクティブになるため、同期化するオブジェクト タイプを管理できません。差分実行時にエラーを修正し、次回の差分実行を使用して再同期化する必要があります。

Taleo へのデータの送信に使用するページ

ページ名	定義名	用途
データの同期ページ	TI_OB_RUN_CNTRL	アウトバウンド プロセスでデータを Taleo に送信するためのラン コントロール ページ。

データの同期ページ

データの同期ページを使用して、バッチまたは差分ロード プロセスを実行します。インストールではグローバルなラン コントロール ID の使用をお勧めします。最初にフル データ パブリッシュ プロセスを 1 回実行し、次に差分ロードを実行して最新データ変更を Taleo と同期化します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Taleo インテグレーション], [データの同期]

画像: データの同期ページ

次の例では、データの同期ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

インテグレーション モニター

このリンクをクリックすると、インテグレーション モニター ページが開き、インテグレーションのステータス、および発生したエラーを表示できます。

データ パブリッシュ

フル データ パブリッシュ / 差分ロード

実行するプロセスを選択します。フルデータパブリッシュプロセスまたは 差分ロード プロセスのいずれかを実行できます。

ビジネス オブジェクト

組織

複数の組織に対して同期を実行するには、このチェック ボックスをオンにします。

所在地

複数の所在地に対して同期を実行するには、このチェック ボックスをオンにします。

職務テンプレート

複数の職務テンプレートに対して同期を実行するには、このチェック ボックスをオンにします。

候補者

複数の候補者に対して同期を実行するには、このチェック ボックスをオンにします。

ユーザー従業員

複数のユーザー従業員に対して同期を実行するには、このチェック ボックスをオンにします。

最終実行日時

2つのプロセスのいずれかが最後に実行された日時が表示されます。

Taleo からのデータの受信

インバウンド プロセスの中で、PeopleSoft は候補者データと共に最終ステータスのドキュメントを Taleo から受信します。このトピックでは、PeopleSoft 側でデータを受信する方法について説明します。

Taleo からの最終ステータスのドキュメント

アウトバウンド プロセスでデータが Taleo に送信された後、PeopleSoft は、送信されたデータが Taleo 側に着信したことを確認するための通知キーを受け取ります。ただし、PeopleSoft 側から送信されたデータが Taleo データベースに正常に格納されたか、または、PeopleSoft 側から送信されたデータになんらかの不整合があり失敗したかは確認できません。

Taleo に送信されたデータのステータスを確認するには、アプリケーション エンジン プログラム TI_GET_RSLT を使用して、応答があるまで Taleo を継続的に PING する必要があります。PeopleSoft 側でアプリケーション エンジンを少なくとも 1 日 1 回実行するようにスケジュールすると、送信されたデータのステータスについて Taleo を継続的にチェックできます。顧客の要件およびトランザクション データの量に基づいて、1 時間または 30 分に 1 回の頻度でプロセスを実行するようにスケジュールすることをお勧めします。変換プロセスが完了した後に、TI_GET_RSLT プログラムを再度実行する必要があります。スケジュールされたタスクとして設定することをお勧めします。

ステータスを即時に取得するために、プロセス リクエスト ページ ([PeopleTools], [プロセス モニター], [プロセス リクエスト]) からアプリケーション エンジンを手動で実行することもできます。

Taleo からの候補者データ

個人が Taleo 側で採用されると、候補者データが PeopleSoft に転送されます。このトピックでは、PeopleSoft 側で候補者データを受信する方法について説明します。

注: Taleo から受信する一部のデータは、PeopleSoft のフィールドで許可された最大フィールド長を超えている場合があります。その場合、Taleo から受信するデータは、PeopleSoft のテーブルに送信される前に切り捨てられます。

Taleo からの HR データの受信

[フェッチ開始日] と [時刻] フィールドに渡された日時値以降に、採用準備が完了した候補者が Taleo から取得されます。PeopleSoft プロセスでステータスが [正常終了] と表示された後、インテグレーション モニター ページに移動し、インテグレーション ステータスをチェックします。インテグレーション タイプとして [インバウンドデータ同期] を選択し、[リフレッシュ] ボタンをクリックして、Bulk API ドキュメント リクエストのステータスをチェックします。

このプロセスを使用して取得された候補者は採用の管理キューに入り、採用のために HR 管理者によって準備完了になります。人材募集テンプレートの使用に関係なく、候補者は採用の管理キューにリストさ

れます。採用担当者が人材募集テンプレートを使用していない場合は、検証済み属性が設定されたテーブルが個人コンポーネントまたは職務コンポーネントに表示されます。HR 管理者は、新規の個人がキューに追加されると電子メールを受信します。なんらかの理由でプロセスの実行中にフェッチ開始日時が変更されると、PS 採用の管理に既にフェッチされている特定の候補者が取得されます。採用の管理キュー内のこのような候補者は、既存のエントリが Taleo からの最新情報で更新されます。候補者の個人データや職務データが採用の管理に追加されると、その候補者のデータは更新されません。

Taleo からの候補者データの受信に使用するページ

ページ名	定義名	用途
候補者データの受信ページ	TI_NEW_HIR_CAND	インバウンド プロセスが Taleo からのデータを受信するためのラン コントロール ページ。

候補者データの受信ページ

候補者データの受信ページ (TI_NEW_HIR_CAND) を使用して、採用準備が完了した候補者を Taleo から取得します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Taleo インテグレーション], [候補者データの受信]

画像: 候補者データの受信ページ

次の例では、候補者データの受信ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Receive Candidate Data

Run Control ID 01

Report Manager

Process Monitor

Run

Parameters

*Fetch Since Date01/01/190031

*Time12:00AM

Integration Monitor

最終実行日時

プロセスが最後に実行され、Taleo から候補者のリストがフェッチされた日時が表示されます。

パラメータ

フェッチ開始日	この日付以降に Taleo で採用準備が完了した候補者がフェッチされます。デフォルトでは、フィールドに最終実行日が表示されますが、この日付は編集できます。
時刻	この時刻以降に Taleo で採用準備が完了した候補者がフェッチされます。デフォルトでは、フィールドに最終実行時刻が表示されますが、この時刻は編集できます。

注: [フェッチ開始日] フィールドと [時刻] フィールドには、最終実行の日時の値を入力してプロセスを実行するのが理想的です。

変換エラーの確認

インテグレーション モニターを使用すると、インテグレーション 専門家は変換プロセス中に発生したエラーを表示できます。最終実行のエラーのみが表示され、設定された条件に基づいてエラーを絞り込んでから表示できます。実際のエラーがグリッドに表示される前に、インテグレーション 専門家は、各ビジネス オブジェクトに関連する個々のメッセージ セットのステータスを取得する必要があります。いずれかのオブジェクトについて返されたステータスが完了ステータスに達すると、エラー フィルタが開き、ユーザーはエラーを検索できます。なんらかの理由でプロセスでエラーがスローされると、People Tools Web サービス モニターへのリンクが開きます。個々の [ビジネス オブジェクト ステータス] グループ ボックスは折りたたみ可能領域で、ユーザーが実際にエラーを検索し、エラー グリッドが表示されると最小化されます。インバウンド候補者取得プロセスのエラーが検索対象の場合、この領域は非表示になります。

インテグレーション モニターには、3 つの主要機能領域があります。

1. **ステータス モニター:** ここでは、Taleo に送信されたメッセージ キー リクエストのステータスを追跡できます。
2. **フィルタの適用:** メッセージ キーが完了ステータスに達すると、[フィルタの適用] 内のフィールドを使用して、発生したエラー全てまたは選択したタイプのエラーを表示します。
3. **エラー サマリ:** ここには、適用されたフィルタに基づいてエラー ログで検出されたエラーの一覧が表示されます。

PeopleSoft では、前回実行のエラー詳細のみがエラー ログに保持され、次回実行がトリガされると履歴データは消去されます。

電子メール通知

インテグレーション モニターにエラーが記録されると、エラーを通知する別のワークフロー電子メールがインテグレーション 専門家に送信されます。電子メールには、インテグレーション モニター ページを開くための埋め込み型ハイパーリンクが含まれます。インテグレーション 専門家は、ページを開き、適用可能なフィルタを使用してエラー詳細を検索できます。

注: 電子メール通知の場合、電子メールの URL に HCM ポータル ノードを設定する必要があります。

アウトバウンド プロセスに対するインテグレーション モニターの使用

インテグレーション ステータスが完了に設定された後、標準で用意されている検索条件を使用して、データ同期プロセス中に発生したエラーを絞り込みます。インテグレーション モニターで使用可能なフィルタは以下のとおりです。

- ビジネス オブジェクト
- エラー
- ID

全てのフィルタ フィールドを空白のままにすると、全てのエラーを検索できます。

インバウンド プロセスに対するインテグレーション モニター

顧客のビジネス ニーズに応じて、採用準備の完了している候補者の情報を Taleo システムから定期的に取得できます。インテグレーション 専門家は、インテグレーション モニター ページを使用して、インバウンド候補者の最終実行ステータスおよび同期でのエラー (ある場合) を表示します。プロセスでのエラーによっても電子メール通知がトリガされます。

変換エラーの確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
インテグレーション モニター ページ	TI_INT_MONITOR	このページを使用して、インバウンド エラーおよびアウトバウンド エラーの両方を確認します。

インテグレーション モニター ページ

インテグレーション モニター ページを使用して、データ同期プロセス (アウトバウンドとインバウンドの両方) のステータスを表示します。さらに、プロセス中に発生したエラーのスナップショットも表示されます。インテグレーション 専門家または HR 管理者は、インテグレーション モニターをチェックした後にエラーを修正する必要があります。これによって、次回に差分ロード プロセスを実行してこれらのエラーが再同期されると、変換はエラーなしで実行されます。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Taleo インテグレーション], [インテグレーション モニター]

画像: インテグレーション モニター ページ

次の例では、インテグレーション モニター ページのフィールドおよびコントロールを説明します。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。

Integration Monitor Refresh

Status Monitor

Integration Type: Outbound Data Synchronization ▼

Integration Status: In Progress

Business Object Status

Organization	Completed	User Employee	Not Initiated
Location	Not Initiated	Candidate	Not Initiated
Job Template	Not Initiated		

Apply Filter

Business Object: ▼ Identifier: 🔍

Error Code: 🔍 Error Type: ▼

Search Clear

リフレッシュ

このボタンをクリックすると、各オブジェクト インテグレーション およびプロセス全体のステータスが取得されます。

ステータス モニター

インテグレーション タイプ

ステータスを表示する同期プロセスを選択します。有効値は以下のとおりです。

- アウトバウンドデータ同期
- インバウンドデータ同期

インテグレーション ステータス

インテグレーション実行全体の正常終了/異常終了を示します。[リフレッシュ] ボタンをクリックすると、現在のステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- 処理中: 各オブジェクトのインテグレーション ステータスが未完了の場合。
- 完了: 全てのエンティティが Taleo との統合を正常に終了した場合。

- エラー: メッセージ セット全体を Taleo に送信できないなんらかの問題が発生した場合。突然のネットワーク停止はその一例です。
- 未開始: プロセスがまだ開始されていない場合。

Web サービス モニター

このリンクが表示されるのは、[インテグレーション ステータス] に返された値が [エラー] の場合のみです。

ビジネス オブジェクト ステータス

このグループ ボックスとその内容が表示されるのは、選択したインテグレーション タイプが [アウトバウンド データ同期] の場合のみです。

組織

全ての組織エンティティのインテグレーション ステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- 処理中
- 完了
- エラー
- 未開始

所在地

全ての所在地エンティティのインテグレーション ステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- 処理中
- 完了
- エラー
- 未開始

職務テンプレート

全ての職務テンプレート エンティティのインテグレーション ステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- 処理中
- 完了
- エラー
- 未開始

ユーザー従業員

全てのユーザー従業員エンティティのインテグレーション ステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

- 処理中

	- 完了 - エラー - 未開始
候補者	全ての候補者エンティティのインテグレーション ステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。 - 処理中 - 完了 - エラー - 未開始
フィルタの適用	
このグループ ボックスとその内容が表示されるのは、個々のインテグレーション ステータスが <i>[完了]</i> または <i>[エラー]</i> の場合のみです。	
ビジネス オブジェクト	エラーを絞り込む基準になる条件を選択します。有効値は以下のとおりです。 - 組織 - 所在地 - 職務テンプレート - ユーザー従業員 - 候補者 インバウンド プロセスの場合、有効値は <i>[新規採用]</i> です。
エラー コード	エラーを絞り込む基準になるエラー コードを選択します。有効値は以下のとおりです。 - DVME - TAPE インバウンド プロセスの場合は、追加の値 - <i>INVC</i> も有効です。
エラー タイプ	エラーを絞り込む基準になるエラー タイプを選択します。有効値は以下のとおりです。 エラー

	警告
ID	関連するエラーを表示する、エラー内のエンティティを選択します。
検索	このボタンをクリックすると、指定したフィルタ条件を満たす全てのエラーが検索されます。
クリア	このボタンをクリックすると、フィルタ フィールドがクリアされます。
エラー サマリ	
エラー コード	エラー コードが表示されます。
説明	エラー タイプに関する情報が表示されます。 <i>DVME</i> の場合、このフィールドにはエラー データがあるマップ名が表示されます。 <i>TAPE</i> (Taleo アプリケーション エラー) の場合、このフィールドには、Taleo から返された記述的なエラー メッセージが表示されます。 <i>INVC</i> (無効な候補者) の場合、このタイプのエラーは、Taleo からのデータが PeopleSoft でのテーブル セット制御ロジックに従っていないか、Taleo での職務テンプレート/組織/所在地が変更されている場合に、PeopleSoft 側で発生します。
ビジネス オブジェクト	エラーが発生したビジネス オブジェクトが表示されます。
ID	エラーが発生した実際のエンティティが表示されます。

候補者の採用

採用管理ページ (HR_MANAGE_HIRES) を使用して、Taleo から受け取る候補者情報に基づいて個人を追加します。HR 管理者が [個人の追加] ボタンをクリックすると、Taleo からの新規採用情報が個人データ コンポーネントにデフォルト設定されます。PeopleSoft システムで新規作成された個人の個人データ コンポーネントには、次の一連の候補者情報がデフォルト設定されます。

- 姓
- ミドル ネーム
- 名

- 電子メール (Taleo から取得した電子メール ID は [その他] タイプで PS 個人データ コンポーネントにロードされます)
- 自宅住所
- 自宅住所 2
- 自宅市区町村
- 自宅郵便番号
- 自宅電話
- 勤務先電話
- 携帯電話
- ポケベル番号
- 生年月日
- 候補者の国 (ISOAlpha 3)
- 候補者の都道府県/州 (ISOAlpha 2 桁の略称)

PeopleSoft システムで新規作成された従業員/非従業員について、次の一連の候補者情報が 職務データ コンポーネントにデフォルト設定されます。

- 提示実際開始日
- 人材募集の組織
- 人材募集の主な勤務地
- 人材募集の勤務地
- 人材募集の職務コード

候補者が PeopleSoft で正常に採用されると、リアルタイム一括 API 更新がトリガされ、次回の差分同期中に Taleo の専用 UDF の値が [採用済] に変更されます。これは、同じデータが Taleo システムから複数回取得された場合に、既に採用済みの候補者をシステムで識別するためのメカニズムです。

Taleo 統計の表示

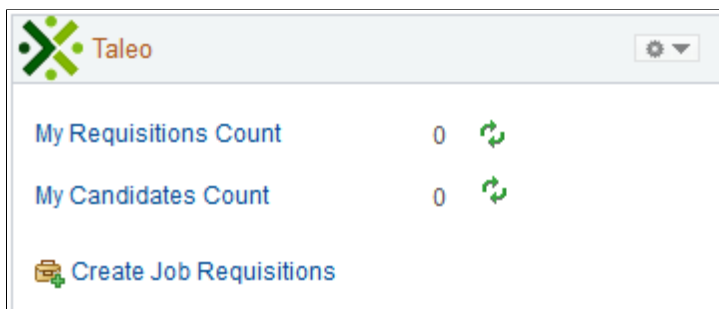
HCM の管理者ダッシュボードには Taleo というページレットがあり、採用関連の統計、および Taleo アプリケーションへのハイパーリンクが表示されます。これを使用すると、採用管理者は Taleo にシームレスにナビゲートしてアクションを実行できます。シングル サインオンによって、PeopleSoft アプリケーションにログインしているユーザーは、ダッシュボードのリンクを使用して Taleo にナビゲートするときにログイン資格証明を再入力する必要がありません。

Taleo ページレット

Taleo ページレットには、Taleo 外部 Web サービス API コールを利用して、人材募集および候補者の数が表示されます。この情報を表示するために実行された API コールの回数は、顧客の 1 日の使用制限にカウントされます。顧客は、他のアプリケーションで Web サービス API コール制限を使用する場合、ダッシュボードをオフにできます。

画像: Taleo ページレット

次の例は、Taleo ページレットのフィールドとコントロールを示しています。このページのフィールドおよびコントロールの定義は後で説明します。



担当人材募集数

採用管理者はこのリンクを使用して Taleo にアクセスし、自分が作成した人材募集、または採用管理者や採用管理者アシスタントとして自分の名前を使用して作成した人材募集を表示できます。

リンクに対して表示されている値は、該当する人材募集の合計数を示します。

担当候補者数

採用管理者はこのリンクを使用して Taleo にアクセスし、自分が作成した人材募集に応募してきた候補者の詳細を表示できます。

リンクに対して表示されている値は、該当する候補者の合計数を示します。

リフレッシュ

このボタンをクリックすると、Taleo から最新の数が取得されます。

人材募集の作成

採用管理者はこのリンクを使用して Taleo にアクセスし、人材募集を作成できます。

Taleo ページレットの有効化

コンテンツの設定の 2 次ページには、Taleo ページレットを HCM の管理者ダッシュボード ページに表示するかどうかを決定する追加のチェック ボックスがあります。

詳細については、Defining the Manager Dashboard Content and LayoutPeopleSoft eProfile Manager Desktop を参照してください。

Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との統合

共存について

PeopleSoft HCM と Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存によって、顧客は、事業所用に設定された PeopleSoft HR システムからデータを利用する Fusion アプリケーションを導入して管理できます。このドキュメントでは、共存の PeopleSoft HCM 側を設定および管理する方法に重点を置いて説明します。

共存を構成するメインのデータ転送プロセスは 3 つあります。

- PeopleSoft HCM から Fusion へのコア HR データの送信
- PeopleSoft HCM から Fusion へのプロフィール データの移行
- Fusion からの報酬データの受信

Fusion へのコア HR データの送信

このプロセスを使用して、以下のタイプのコア HR データを変換して Fusion に送信します。

- 勤務地
- HR ビジネス ユニット
- 部門
- 職務等級
- 職務コード
- 個人/職務
- 部門ツリー
- ポジション
- 職務等級レート
- 給与
- 賞与

PeopleSoft HCM は、このデータ用レコードのシステムとして機能し、このデータと Fusion Talent Management システムとの同期化が定期的 (例: 毎日) に発生します。PeopleTools プロセス スケジューラを使用して、PeopleSoft HCM と Fusion Talent Management 間のデータ同期の周期を管理します。

「[Fusion に HR データを送信ページ](#)」を参照してください。

プロフィール データの移行

これは、PeopleSoft HCM 9.2 から Fusion に業績査定データを移行する 1 回だけのプロセスです。このプロセスが実行されると、それ以降は Fusion システムでデータが管理されます。

「[プロフィール データの移行ページ](#)」を参照してください。

報酬データの受信

Fusion Workforce Compensation は、このプロセス用レコードのシステムとして機能し、従業員報酬データを確認および更新します。このプロセスによって、Fusion Workforce Compensation はデータを PeopleSoft HCM 9.2 システムに戻し、今後の給与計算処理のために従業員レコードを更新します。

PeopleSoft Variable Compensation アプリケーションに含まれる既存のインテグレーション機能を使用して、Fusion から PeopleSoft 給与計算に賞与情報を渡すことも可能です。

「[Fusion からのデータの受信](#)」を参照してください。

ドメイン値マップの設定

データ マッピングの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
値マップの定義 - エlement ページ	EOTF_DEFINE_MAPS	割り当てられたマップ エlementを確認します。
値マップの定義 - ドメイン ページ	EOTF_DEFINE_MAPS2	割り当てられたドメイン エlementを確認します。
値マップのインポート ページ	EOTF_MAP_IMPORT	手動で定義した XREF をインポートします。
ドメイン値マップ ページ	EOTF_POPULATE_DVMS	ドメイン値マップを確認および更新します。

ドメイン値マップの設定について

ドメイン値マップ (DVM) は、PeopleSoft HCM で、データの変換時に PeopleSoft オブジェクトを Fusion オブジェクトに関連付けるために使用されます。PeopleSoft にはこれら全ての DVM の定義が標準で用

意されていますが、顧客は標準でロードされた値を確認する必要があります。さらに、標準の DVM の中には、手動で設定して値のロードが必要なものもあります。

注: DVM の定義と値は、エンタープライズ コンポーネントの一部で共存の前提条件である PeopleSoft アプリケーション インテグレーション フレームワークを使用してロードおよび管理します。

"値マップについて" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク) を参照してください。

標準 DVM

次の表に、PeopleSoft HCM と Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存の一部として標準で用意されている DVM を示します。この表には、各 DVM の名前、および関連するシステム オブジェクトがリストされています。さらに、[システム データ] 列には、PeopleSoft にシステム データとして用意されている値のタイプを示すコードがリストされています。システム データのコードは以下のとおりです。

- **PF:** DVM には、PeopleSoft と Fusion の両方の値がシステム データとして用意されています。顧客は、用意されている値を確認する必要があります。
- **P:** DVM には、PeopleSoft の値がシステム データとして用意されています。顧客は、用意されている値を確認して、対応する Fusion の値を追加する必要があります。
- **M:** DVM にはシステム データとして用意されている値はなく、"手動 XREF" とも呼ばれます。この DVM の値をロードするには、Fusion で日付を設定し、データを .dat ファイルにエクスポートして、その .dat ファイルを手動で変更します。次に、そのファイルを .csv ファイルとして保存し、値を PeopleSoft にインポートする必要があります。
- **N:** DVM には、システム データとして用意されている値はありません。顧客は、PeopleSoft アプリケーション インテグレーション フレームワークのドメイン値マップのロード ページを使用して、この DVM の値をロードする必要があります。
- **X:** DVM には、システム データとして用意されている値はありません。この DVM の値をロードするには、Fusion で日付を設定し、データを .dat ファイルにエクスポートして、その .dat ファイルを手動で変更します。次に、そのファイルを .csv ファイルとして保存し、値を PeopleSoft にインポートする必要があります。さらに、これらの DVM は特定の値でシードされている必要があります。

"値マップのインポート" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク) を参照してください。

DVM 名	関連するシステム オブジェクト	システム データ
ACTION_REASON_XREF	従業員	M
ACTION_XREF	従業員	M
ADDRESS_USE_CODE	従業員	P

DVM 名	関連するシステム オブジェクト	システム データ
BONUS_ELEMENT_TYPE_XREF	PayrollElemenEntry	M
BONUS_INPUT_VALUE_XREF	PayrollElemenEntry	M
CountryCodeDVM	ほとんど全て	P
CURRENCY95CODE	多数	P
FREQUENCY_CODE	WorkerPosition	P
FREQUENCY_TYPE_CODE	給与	P
GRADE_ACTIVE_STATUS_CODE	等級	PF
JOB_ACTIVE_STATUS_CODE	職務コード	PF
JOB_FUNCTION_CODE	職務コード	P
JOB_MANAGER_LEVEL_CODE	職務コード	P
JOB_MEDICAL_CHECKUP_REQUIRED_CODE	職務コード	PF
JOB_REGULAR_FLAG_CODE	職務コード	P
LanguageCodeDVM	ほとんど全て	P
LEGAL_ENTITY_XREF	多数	M
LEGISLATIVE_DATA_GROUP_XREF	GradeRate	M
LOCATION_GEO_HIERARCHY_NODE_CODE	所在地	P
MARITAL_STATUS	従業員 (個人)	P*
PERSON_EMAIL_ADDRESS_TYPE_CODE	従業員 (個人)	P
PERSON_ETHNICITY_CODE	従業員 (個人)	N
PERSON_GENDER_CODE	従業員 (個人)	P*
PERSON_HIGHEST_EDU_LEVEL_CODE	従業員 (個人)	P
PERSON_NAME_PREFIX_CODE	従業員 (個人)	P
PERSON_NAME_TYPE_CODE	従業員	P

DVM 名	関連するシステム オブジェクト	システム データ
PERSON_NID_TYPE_CODE	従業員 (個人)	P
PERSON_RELIGION_CODE	従業員 (個人)	N
PHONE_TYPE_CODE	従業員 (個人)	P
POSITION_FULL_PART_TIME_CODE	ポジション	P
POSITION_HIRING_STATUS_CODE	ポジション	P
POSITION_SECURITY_CLEARANCE_CODE	ポジション	P
POSITION_TYPE_CODE	ポジション	P
SALARY_COMP_ACTION_REASON_CODE	給与	P
SALARY_ELEMENT_TYPE_XREF	給与	M
SALARY_INPUT_VALUE_XREF	給与	M
SETID_XREF	多数	M
StateCodeDVM	所在地	P
TALENTPROFILETYPE_XREF	TalentProfileType	X
TP_CI_LANGUAGE_XREF	TPContentType	M
TP_CI_RELATIONSHIP_CODE	TPContentType/TPContentItemRelationship	P
TP_CT_XREF	TPContentType	X
TP_IMPORTANCE_CODE	TalentProfileItem	P
TP_INTEREST_LEVEL_CODE	TalentProfileItem	P
TP_OBJECT_ASSOCIATION_XREF	TalentProfile	X
TP_USAGE_CODE	TalentProfileType/TalentProfile	P
TPINSTANCEQUALIFIERSET_IN_XREF	TalentProfileInstanceQualifier	X
TREE_VERSION_ACTIVE_STATUS_CODE	多数	PF
WORKER_ASSIGNMENT_CLASSIFICATION_CODE	従業員/ 配属	P

DVM 名	関連するシステム オブジェクト	システム データ
WORKER_ASSIGNMENT_EMPLOYEE_CATEGORY_CODE	従業員	P
WORKER_ASSIGNMENT_STATUS_TYPE_XREF	従業員	M
WORKER_ASSIGNMENT_TYPE_CODE	従業員	P
WORKER_BARG_UNIT_CODE	従業員	N
WORKER_EMPL_TYPE_CODE	従業員/ 配属	P
WORKER_PAYROLL_STATUS_CODE	従業員	P
WORKER_PERSON_TYPE_XREF	従業員	M
WORKER_PRIMARY_INDICATOR_CODE	従業員/ 配属	P
WORKER_SYSTEM_PERSON_TYPE_CODE	従業員	P
WORKER_TYPE_CODE	従業員	P
WORKER_WORK_TERM_ASSIGNMENT_TYPE_CODE	従業員	P

* 顧客が PeopleSoft 値 [不明] を Fusion の [NULL] にマップする必要がある DVM を示します。

注: この表には、標準の静的値マップ (DVM) のみがリストされています。PeopleSoft HCM 9.2 と Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存には、標準の動的値マップ (相互参照) もシステム データとして含まれますが、顧客による変更は必要ありません。値マップの定義コンポーネントを使用して、両タイプの用意されている値マップの定義を確認できます。

XREF DVM の手動設定

標準のタイプ M (手動 XREF) およびタイプ X の DVM (例:

WORKER_PERSON_TYPE_XREF、TP_OBJECT_ASSOCIATION_XREF) は、手動設定が必要です。

注: XREF サフィックスがある DVM は静的値マップです。_XREF サフィックスと "クロスリファレンス" という用語を混同しないでください。多くの場合、"クロスリファレンス" は、アプリケーション インテグレーション フレームワークを説明するときに動的値マップと同義として使用されます。

XREF DVM を手動で設定してインポートするには、次の手順に従います。

1. オブジェクトを Fusion で定義し、Fusion 主キーおよびその他の記述属性を .dat ファイルにエクスポートします。このフィールドには、自動生成された GUID、Fusion キー、または DVM にロードされた

PeopleSoft 値に対応するユーザー インテリジェントの Fusion 説明フィールドが含まれる必要があります。

2. Microsoft Excel で .dat ファイルを開きます。
3. PeopleSoft キーを入力して Fusion 機能説明および Fusion GUID をマップし、ファイルを .csv 形式で保存します。.csv ファイルは以下のガイドラインに従って設定してください。
 - a. ファイルの 1 行目は、1 列目に *DVM*、2 列目にインポート対象のマップ名が含まれる必要があります。
 - b. ファイルの 2 行目の各列では、値のインポート先になるエレメントの名前が識別される必要があります。参照データは省略できます。インポート プロセスで無視される参照データ列を定義するには、名前の先頭にアスタリスク (*) を追加するか、または名前を空白のままにします。
 - c. ファイル内の後続の行では、インポート対象のデータ値を識別し、2 行目と同じ数の列が含まれる必要があります。

画像: 正しく設定された .csv ファイルの例

次の例では、正しく設定された .csv ファイルを示しています。

	A	B	C	D	E
1	DVM	LEGAL_ENTITY_XREF			
2	FT_LEGALNTY_GUID	*FusionKey	COMPANY	Description	Description2
3	8B572FE8B44DC355E040578C495D0EA3	940011	PSI	PSFT-PSI	US
4	8B572FE8B44EC355E040578C495D0EA3	40016	CWB	PSFT-CWB	US
5	8B572FE8B44FC355E040578C495D0EA3	40015	HX1	PSFT-HX1	US
6	8B572FE8B44EC355E040578C495D0EA3	940015	PSF	PSFT-PSF	US

4. 値マップのインポート ページを使用して、変更した .csv ファイルをインポートします。
「[値マップのインポート ページ](#)」を参照してください。
5. ドメイン値マップのロード ページを使用して、インポートされたデータを確認し、データが正しいことを確認します。
「[ドメイン値マップ ページ](#)」を参照してください。

値マップの定義 - エレメント ページ

値マップの定義 - エレメント ページ (EOTF_DEFINE_MAPS) を使用して、割り当てられたマップ エレメントを確認します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [変換フレームワーク], [値マップの定義]

画像: 値マップの定義 - エlement ページ

次の例では、"値マップの定義 - Element" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Order	*Element Name	*Data Type	Length	Required		
1	UniqueGUID	String	36	☒	+	-
2	FT_ACTNREASON_GUID	String	36	☒	+	-
3	REASON_CODE	String	30	☒	+	-
4	ACTION	String	3	☒	+	-
5	ACTION_REASON	String	3	☒	+	-
6	Description	String	254	☒	+	-
7	Description2	String	254	☒	+	-

PeopleSoft には、Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存に関連する全ての DVM 定義が用意されています。したがって、通常は、特定の DVM に割り当てられる Element を判別するための参照としてこのページを使用します。

関連リンク

"値マップの定義" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク)

値マップの定義 - ドメイン ページ

値マップの定義 - ドメイン ページ (EOTF_DEFINE_MAPS2) を使用して、割り当てられたドメイン Element を確認します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [変換フレームワーク], [値マップの定義], [ドメイン]

画像: 値マップの定義 - ドメイン ページ

次の例では、"値マップの定義 - ドメイン" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot displays the 'Value Map Definition - Domain' page for the 'ACTION_REASON_XREF' value map. The page is organized into four sections, each representing a different domain. Each section includes a domain name, a 'Is Unique' checkbox, and a table of elements assigned to that domain.

Domain Name	Is Unique	Element Name
FusionInformation	☐	1 Description
FusionInformation	☐	2 Description2
FusionTalent	☐	1 FT_ACTNREASON_GUID
FusionTalent	☐	2 REASON_CODE
PSFT	☐	1 ACTION
PSFT	☐	2 ACTION_REASON
UniqueGUID	☒	1 UniqueGUID

PeopleSoft には、Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存に関連する全ての DVM 定義が用意されています。したがって、通常は、特定の DVM のドメインに割り当てられるエレメントを判別するための参照としてこのページを使用します。

関連リンク

"値マップの定義" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク)

値マップのインポート ページ

値マップのインポート ページ (EOTF_MAP_IMPORT) を使用して、手動で定義した XREF をインポートします。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [変換フレームワーク], [値マップのインポート]

画像: 値マップのインポート ページ

次の例では、値マップのインポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Import Value Maps

File Name

c:\temp\DVM_LEGAL_ENTITY.csv

*Import Mode

Values Only

☒

Delete Map/Data Before Import

Column Separator

,

(use \t for tab)

Concatenation
Separator

::

ファイル名	インポートするファイルの名前を、パスも含めて入力します。
インポート モード	<i>[値のみ]</i> 値を選択します。 注: <i>[値のみ]</i> 値を選択することが重要です。他の値を選択すると、インポート プロセスでマップ定義が上書きされます。この結果、マップを手動で再定義する必要があります。
インポート前にマップ/データを削除	このチェック ボックスをオンにします。
列区切り	このフィールドは空白のままにします。
連結区切り	このフィールドは空白のままにします。
インポート	このボタンをクリックするとインポート プロセスが開始されます。

関連リンク

"値マップのインポート" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク)

ドメイン値マップ ページ

ドメイン値マップ ページ (EOTF_POPULATE_DVMS) を使用して、ドメイン値マップを確認および更新します。

ナビゲーション

[エンタープライズ コンポーネント], [インテグレーション定義], [変換フレームワーク], [ドメイン値マップのロード]

画像: ドメイン値マップ ページ

次の例では、ドメイン値マップ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Domain Value Map

Map Name MARITAL_STATUSDescription Marital Status Code

Assign Data to Value MapsPersonalizeFindView AllFirst1-11 of 11Last

MAR_STATUS▼FT_MARITAL_STATUS

1	W	W	+ -
2	V	CIV_PART_D	+ -
3	U	U	+ -
4	T	S_CIV_PART	+ -
5	S	S	+ -
6	P	CIV_PART	+ -
7	M	M	+ -
8	H		+ -
9	E	L	+ -
10	D	D	+ -
11	C	C	+ -

このページには、全ての DVM に共通する固有の GUID を除き、DVM に割り当てられた元素ごとに列が表示されます。このページを使用して、標準の元素値を確認し、ビジネス プロセスのニーズに合わせて値を追加および更新します。

注: 全ての列の全てのフィールドに値が入力されていることを確認してください。そうしないと、データ変換プロセス (FT_EXTRACT) の実行時に予期しない結果が生じる場合があります。[説明] 列または説明 2 列は例外です。これらの列に空白のフィールドがあっても問題ありません。

関連リンク

"ドメイン値マップのロード" (PeopleSoft 9.2: アプリケーション インテグレーション フレームワーク)

共存のための Web サービスの設定

PeopleSoft 環境と Fusion 環境間で移動されるファイルは、圧縮された単一の .zip ファイルです。これらのファイルの PeopleSoft 環境との間の移動は、PeopleSoft インテグレーション ブローカー Web サービス メッセージによってサポートされます。PeopleSoft には、PeopleSoft HCM 9.2 と Fusion Talent Management

および Fusion Workforce Compensation との共存の一部として Web サービス メッセージ構造が用意されていますが、インテグレーション ブローカーの設定を完了するには、複数のステップを実行する必要があります。

共存のための Web サービスの設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>サービス オペレーション - 一般ページ</u>	IB_SERVICE	付属のサービス オペレーションをアクティブにします。
<u>Web サービス アクセス ページ</u>	WS_ACCESS_IB	権限リストに対するアクセスを設定します。
<u>サービス オペレーション - ハンドラ ページ</u>	IB_SERVICEHDLR	付属のハンドラをアクティブにします。
<u>サービス オペレーション - ルーティング ページ</u>	IB_SERVICERTNGS	ルーティング定義を追加します。
<u>ルーティング定義</u>	IB_ROUTINGDEFN	付属のルーティングをアクティブにします。
<u>コネクタ プロパティ ページ</u>	IB_ROUTINGDEFNCON	ルーティング コネクタ プロパティを設定します。
<u>キュー定義ページ</u>	IB_QUEUEDEFN	付属のキューをアクティブにします。
<u>ノード定義ページ</u>	IB_NODE	ノード資格証明を更新します。
<u>コネクタ ページ</u>	IB_NODECONN	ノード コネクタ プロパティを設定します。
<u>WS セキュリティ ページ</u>	IB_NODESECURITY	ノード セキュリティを更新します。

Web サービスの詳細については、『*PeopleTools: Integration Broker*』製品ドキュメンテーションを参照してください。

サービス オペレーション - 一般ページ

サービス オペレーション - 一般ページ (IB_SERVICE) を使用して、付属のサービス オペレーションをアクティブにします。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [一般]

画像: サービス オペレーション - 一般ページ

次の例では、"サービス オペレーション - 一般" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot displays the 'General' tab of the 'Service Operation' configuration page. The 'Service Operation' is set to 'READY_FOR_LOAD' with an 'Asynch Request/Response' type. The description is 'FTM Outbound PSFT to Fusion'. The owner is 'PSFT Fusion Coexistence'. The default version is 'v1' with the description 'Outbound PSFT to Fusion'. Under 'Runtime Schema Validation', the 'Request Message' and 'Response Message' options are selected. The 'Routing Status' table indicates that both 'Any-to-Local' and 'Local-to-Local' routing paths do not exist. The 'Message Information' section shows a 'Request' type message with version 'FT_PSFT_TO_FUSION_MSG.VERSION' and queue 'FT_WEB_SERVICES'. The page includes a 'Save' button and links to 'Return to Service' and 'Add Version'.

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION サービス オペレーションに対して、[ユーザー/パスワード必須] および [アクティブ] チェック ボックスをオンにします。

WORKFORCE_SYNC

WORKFORCE_SYNC サービス オペレーションに対して、[アクティブ] チェック ボックスをオンにします。さらに、[メッセージ バージョン] フィールドの値が *WORKFORCE_SYNC.VERSION_2* であることを確認します。

Web サービス アクセス ページ

Web サービス アクセス ページ (WS_ACCESS_IB) を使用して、権限リストに対するアクセスを設定します。

ナビゲーション

"サービス オペレーション - 一般" ページで [サービス オペレーション セキュリティ] リンクをクリックします。

画像: Web サービス アクセス ページ

次の例では、Web サービス アクセス ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Web Service Access' page. At the top, it says 'Operation: READY_FOR_LOAD'. Below this is a table with two columns: 'Permission List' and 'Access'. The first row shows 'HCCPFT1000' in the 'Permission List' column and 'Full Access' in the 'Access' column. The 'Access' column has a dropdown menu and '+' and '-' buttons. Above the table, there are navigation controls: 'First', '1 of 1', and 'Last'.

Permission List	Access
HCCPFT1000	Full Access

HCCPFT1000 権限リストに対して、[アクセス] フィールドを [フルアクセス] に設定します。READY_TO_LOAD、READY_FOR_TRANSMISSION、および WORKFORCE_SYNC サービス オペレーションに対してこれを実行します。

サービス オペレーション - ハンドラ ページ

サービス オペレーション - 一般ページ (IB_SERVICE) を使用して、付属のハンドラをアクティブにします。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [ハンドラ]

画像: サービス オペレーション - ハンドラ ページ (READY_FOR_LOAD)

次の例では、READY_FOR_LOAD サービス オペレーションに関する "サービス オペレーション - ハンドラ" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

GeneralHandlersRoutings

Service Operation READY_FOR_LOAD
Default Version v1
Operation Type Asynch Request/Response

Handlers

PersonalizeFindView All1 of 1FirstLast

*Name	*Type	Sequence	*Implementation	*Status	
1 AckResponseMsg	On Response		Application Class	Inactive	Details+ -

画像: サービス オペレーション - ハンドラ ページ (WORKFORCE_SYNC)

次の例では、WORKFORCE_SYNC サービス オペレーションに関する "サービス オペレーション - ハンドラ" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

GeneralHandlersRoutings

Service Operation WORKFORCE_SYNC
Default Version INTERNAL
Operation Type Asynchronous - One Way

Handlers

PersonalizeFindView All1-10 of 15FirstLast

*Name	*Type	Sequence	*Implementation	*Status	
1 ClairviaWorkforceSync	On Notify	1	Application Class	Inactive	Details+ -
2 Copy_SubstantiveJob	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
3 FT_WorkforceSync	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
4 GPAR_Terminations	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
5 GPBRTerminations	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
6 GPCH_Sync_Legal_Job	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
7 GPMX_SDL_Hire_Termination_Job	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
8 GPMX_Termination_version_job	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
9 GPUS_JobSync	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -
10 HBR_Sync_Reg_Number	On Notify		Application Class	Inactive	Details+ -

SaveReturn to Service

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION サービス オペレーションの付属のハンドラをアクティブにするには、各ハンドラの [ステータス] 列で [アクティブ]の値を選択します。

WORKFORCE_SYNC

WORKFORCE_SYNC サービス オペレーションに対して、FT_WorkforceSync ハンドラの [ステータス] 列で [アクティブ]を選択します。

サービス オペレーション - ルーティング ページ

サービス オペレーション - ルーティング ページ (IB_SERVICERTNGS) を使用して、ルーティング定義を追加します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [ルーティング]

画像: サービス オペレーション - ルーティング ページ

次の例では、"サービス オペレーション - ルーティング" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Service Operation: WORKFORCE_SYNC
Default Version: INTERNAL
Routing Name:

Selected	Name	Version	Operation Type	Sender Node	Receiver Node	Direction	Status	Results
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_CR_V1	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_CR	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_EP_V1	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_EP	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_FROM_V4	INTERNAL	Asynch	PSFT_XINBND	HC920DVL	Inbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_FROM_V5	INTERNAL	Asynch	PSFT_XINBND	HC920DVL	Inbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_CR_V2	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_CR	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_V3	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_XOUTBND	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_V4	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_XOUTBND	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_TO_V5	INTERNAL	Asynch	HC920DVL	PSFT_XOUTBND	Outbound	Inactive	
☐	WORKFORCE_SYNC_HR_FROM_V3	INTERNAL	Asynch	PSFT_XINBND	HC920DVL	Inbound	Inactive	

[Return to Service](#)

WORKFORCE_SYNC サービス オペレーションに対して、[ルーティング名] フィールドに "WORKFORCE_SYNC_LOCAL" と入力し、[追加] ボタンをクリックします。ルーティング定義ページに移動します。

ルーティング定義

ルーティング定義ページ (IB_ROUTINGDEFN) を使用して、付属のルーティングをアクティブにします。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [サービス オペレーション], [ルーティング]

[名前] 列にあるルーティング ルールをクリックします。

画像: ルーティング定義ページ (READY_FOR_LOAD)

次の例では、READY_FOR_LOAD ルーティングに関するルーティング定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'IB Routing Definitions' page with the 'Routing Definitions' tab selected. The page contains the following fields and controls:

- Routing Name:** READY_FOR_LOAD
- *Service Operation:** READY_FOR_LOAD
- Version:** v1
- *Description:** READY_FOR_LOAD
- Comments:** FTM Outbound Service Message - PSFT to Fusion
- *Sender Node:** HC920DVL
- *Receiver Node:** PSFT_FUSION
- Operation Type:** Asynch Request/Response
- Owner ID:** PSFT Fusion Coexistence
- Active:** ☒ Active
- System Generated:** ☐ System Generated
- Graphical View:** [Graphical View](#)
- Use Secure Target Location:** ☐ Use Secure Target Location
- Buttons:** Save, Return

画像: ルーティング定義ページ (READY_FOR_TRANSMISSION)

次の例では、READY_FOR_TRANSMISSION ルーティングに関するルーティング定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'IB Routing Definitions' page with the 'Routing Definitions' tab selected. The routing definition is for 'READY_FOR_TRANSMISSION'. The fields and controls are as follows:

- Routing Name:** READY_FOR_TRANSMISSION
- *Service Operation:** READY_FOR_TRANSMISSION
- Version:** v1
- *Description:** READY_FOR_TRANSMISSION
- Comments:** (Empty text area)
- *Sender Node:** PSFT_FUSION
- *Receiver Node:** HC920DVL
- Delay Processing:** (Empty input field)
- Operation Type:** Asynch Request/Response
- Owner ID:** PSFT Fusion Coexistence (dropdown menu)
- Active:** ☒ Active
- System Generated:** ☐ System Generated
- Graphical View:** (Link)
- Buttons:** Save, Return

画像: ルーティング定義ページ (WORKFORCE_SYNC_LOCAL)

次の例では、WORKFORCE_SYNC_LOCAL ルーティングに関するルーティング定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'IB Routing Definitions' page with the 'Routing Definitions' tab selected. The routing definition is for 'WORKFORCE_SYNC_LOCAL'. The fields and controls are as follows:

- Routing Name:** WORKFORCE_SYNC_LOCAL
- *Service Operation:** WORKFORCE_SYNC
- Version:** INTERNAL
- *Description:** (Empty input field)
- Comments:** (Empty text area)
- *Sender Node:** HC920DVL
- *Receiver Node:** HC920DVL
- Operation Type:** Asynchronous - One Way
- Owner ID:** HR Core Objects (dropdown menu)
- Active:** ☒ Active
- System Generated:** ☐ System Generated
- Unordered Segments:** ☐ Unordered Segments
- Graphical View:** (Link)
- Buttons:** Save, Return

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION

READY_FOR_LOAD および READY_FOR_TRANSMISSION サービス オペレーションの付属のルーティングをアクティブにするには、サービス オペレーションのルーティングごとに [アクティブ] チェック ボックスをオンにします。

WORKFORCE_SYNC_LOCAL

[アクティブ] チェック ボックスをオンにして、WORKFORCE_SYNC_LOCAL ルーティングをアクティブにします。さらに、[送信元ノード] および [受信元ノード] フィールドにローカル ノードを入力します。

コネクタ プロパティ ページ

コネクタ プロパティ ページ (IB_ROUTINGDEFNCON) を使用して、ルーティング コネクタ プロパティを設定します。

ナビゲーション

ルーティング定義ページから [コネクタ プロパティ] タブをクリックします。

画像: コネクタ プロパティ ページ

次の例では、コネクタ プロパティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

IB Routing Definitions

Routing Definitions Parameters **Connector Properties** Routing Properties

Routing Name **READY_FOR_LOAD**
Service Operation **READY_FOR_LOAD**
Service Operation Version **v1**
Gateway ID
Connector ID
*Delivery Mode

Connector Properties Personalize | Find | View All | First 1-5 of 5 Last

Property ID	Property Name	Value		
HEADER	Content-Type	text/xml		
HEADER	sendUncompressed	Y		
HTTPPROPERTY	Method	POST		
HTTPPROPERTY	SOAPUpContent	Y		
PRIMARYURL	URL	http://ple65103fwks.us.oracle.com:7		

Save Return

READY_TO_LOAD ルーティングに対して次のコネクタ プロパティを追加します。

プロパティ ID	プロパティ名	値
HEADER	Content-Type	text/xml
HEADER	sendUncompressed	Y
HTTPPROPERTY	Method	POST
HTTPPROPERTY	SOAPUpContent	Y
PRIMARYURL	URL	Fusion エンドポイント URL に対して使用する URL。

キュー定義ページ

キュー定義ページ (IB_QUEUEDEFN) を使用して、付属のキューをアクティブにします。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [キュー]

画像: キュー定義ページ

次の例では、キュー定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Queue Definitions

Queue Name: FT_WEB_SERVICES

Description: Fusion Web Service Integration

Comments: Channel used for PSFT HR and fusion integr

Archive: ☐ Unordered: ☒

Queue Status: Run

Owner ID: PSFT Fusion Coexistence

Operations Assigned to Queue

Service	View All	First	1-2	Last
Service Operation			of 2	
READY_FOR_LOAD			v1	
READY_FOR_TRANSMISSION			v1	

Define Partitioning Fields

Common Fields	View All	First	1-3 of 3	Last
Include	Field	Alias Name		
☐	OPERATIONNAME			
☐	PUBLISHER			
☐	PUBPROC			

Save Add Field

キューをアクティブにするには、[キュー ステータス] フィールドで [実行] の値を選択します。さらに、[順序不定] チェック ボックスがオンになっていることを確認します。FT_WEB_SERVICES と PERSON_DATA の両方のキューに対してこれを実行していることを確認します。

ノード定義ページ

ノード定義ページ (IB_NODE) を使用して、ノード資格証明を更新します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード], [ノード定義]

画像: ノード定義ページ

次の例では、ノード定義ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot displays the 'Node Definitions' page for a node named 'PSFT_FUSION'. The page is organized into several sections:

- Node Information:** Includes fields for Node Name (PSFT_FUSION), *Description (Fusion Outbound Node), *Node Type (External), and *Authentication Option (Password).
- Node Properties:** Includes fields for Node Password (masked), *Default User ID (PS), WSIL URL, Hub Node, Master Node, Company ID, IB Throttle Threshold, Image Name, Codeset Group Name, External User ID (THARRIS), External Password (masked), and External Version.
- Node Options:** Includes checkboxes for Default Local Node, Local Node, Active Node, Non-Repudiation, and Segment Aware.
- Actions:** Includes buttons for Copy Node, Rename Node, and Delete Node.
- Navigation:** Includes a Save button and tabs for Contact/Notes and Properties.

PSFT_FUSION ノードについて、[認証オプション]、[ノード パスワード]、[デフォルト ユーザー ID]、[外部ユーザー ID]、および [外部パスワード] フィールドの値が Fusion システムに対して定義されている資格証明と一致していることを確認します。

コネクタ ページ

コネクタ ページ (IB_NODECONN) を使用して、ノード コネクタ プロパティを設定します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード], [コネクタ]

画像: コネクタ ページ

次の例では、コネクタ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Node DefinitionsConnectorsPortalWS SecurityRoutings

Node NamePSFT_FUSIONPing Node

Details

Gateway IDLOCAL

Connector IDHTTPTARGET

*Delivery ModeGuaranteed Delivery

PropertiesPersonalizeFind1-5 of 5Last

PropertiesData Type / Description

*Property ID	*Property Name	Required	Value
1	HEADERContent-Type	☐	text/xml
2	HEADERsendUncompressed	☒	Y
3	HTTPPPROPERTYMethod	☒	POST
4	HTTPPPROPERTYSOAPUpContent	☐	Y
5	PRIMARYURLURL	☒	http://ple65103fwks.us.oracle.com:7

Password Encryption

Save

PSFT_FUSION ノードに対して次のコネクタ プロパティを追加します。

プロパティ ID	プロパティ名	値
HEADER	Content-Type	text/xml
HEADER	sendUncompressed	Y
HTTPPPROPERTY	Method	POST
HTTPPPROPERTY	SOAPUpContent	Y
PRIMARYURL	URL	Fusion エンドポイント URL に対して使用する URL。

WS セキュリティ ページ

WS セキュリティ ページ (IB_NODESECURITY) を使用して、ノード セキュリティを更新します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [インテグレーション ブローカー], [インテグレーション設定], [ノード], [WS セキュリティ]

画像: WS セキュリティ ページ

次の例では、WS セキュリティ ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Node DefinitionsConnectorsPortalWS SecurityRoutings

Node NamePSFT_FUSION

Authentication Token

*Authentication Token TypeUsername Token

☐ Encrypted

☐ Digitally Signed

☒ Use External User ID

(Password Optional)

認証トークン タイプ

[ユーザー名トークン] の値を選択します。

認証トークン タイプ

このチェック ボックスがオンになっていることを確認します。

共存のためのロールおよびユーザー プロファイルの管理

PeopleSoft HCM 9.2 と Fusion Talent Management および Workforce Compensation との共存に関連する全ての機能にアクセスできるようにするには、ユーザー ID が適切な権限リストとロールに関連付けられている必要があります。

ロールおよびユーザー プロファイルの管理に使用するページ

ページ名	定義名	用途
権限リスト ページ	ROLE_CLASS	共存関連ロールに対する権限リストを確認します。
ロール ページ	USER_ROLES	ユーザー ID に共存関連ロールを追加します。

権限リスト ページ

権限リスト ページ (ROLE_CLASS) を使用して、共存関連ロールに対する権限リストを確認します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [権限 / ロール], [ロール], [権限リスト]

画像: 権限リスト ページ

次の例では、権限リスト ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

General	Permission Lists	Members	Dynamic Members	Workflow	Role Grant	Links	Role Queries	Audit
Role Name: Fusion Integration Specialist Description: Fusion Integration Specialist								
Permission Lists Personalize Find View All First 1-3 of 3 Last								
*Permission List	Description	View Definition						
HCCPFT1000	Manage Fusion Integration	View Definition		+	-			
HCCPHR3000	Setup Workforce Tables	View Definition		+	-			
HCFIZ100	Fusion Integration Analyzer	View Definition		+	-			

Fusion 統合専門家の権限リスト

[Fusion 統合専門家] ロールに対して、[権限リスト] グループ ボックスで以下の権限リストが追加されていることを確認します。

- *HCCPFT1000* (Fusion 統合の管理)
- *HCCPHR3000* (人材テーブルの設定)
- *HCFIZ100* (Fusion インテグレーション アナライザ)

EOTF_ADMIN ロールの権限リスト

[EOTF_ADMIN] ロールに対して、[権限リスト] グループ ボックスで以下の権限リストが追加されていることを確認します。

- *EOTF1000* (変換フレームワークの設定)
- *EOTF1100* (変換フレームワーク データ管理)
- *EOTF1200* (変換フレームワーク ランタイム)

ロール ページ

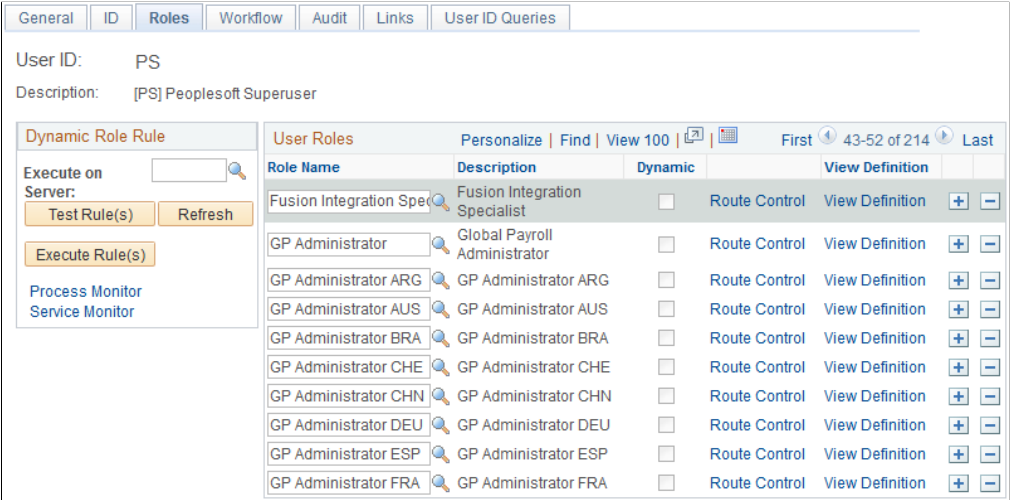
ロール ページ (USER_ROLES) を使用して、ユーザー ID に共存関連ロールを追加します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [セキュリティ], [ユーザー プロファイル], [ユーザー プロファイル], [ロール]

画像: ロール ページ

次の例では、ロール ページのフィールドおよびコントロールを説明します。



インテグレーション プロセスを管理および実行できる必要があるユーザー ID に対しては、[ユーザー ロール] グループ ボックスで *[Fusion 統合専門家]* および *[HR 労働報酬専門家]* ロールを追加します。

変換マップおよび値の設定と管理ができる必要があるユーザー ID に対しては、[ユーザー ロール] グループ ボックスで *[EOTF_ADMIN]* (変換フレームワーク管理者) ロールを追加します。

注: ドメイン マップ値の更新のみが必要なユーザー ID に対しては、*[EOTF_ADMIN]* の代わりに *[EOTF_ANALYST]* (変換フレームワーク アナリスト) ロールを追加できます。

FTP サーバーの URL オブジェクトの作成

PeopleSoft HCM と Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation との共存に使用する FTP サーバーの URL オブジェクトを作成する必要があります。

FTP サーバーの URL オブジェクトの作成に使用するページ

ページ名	定義名	用途
URL 管理ページ	URL_TABLE	FTP サーバーの URL オブジェクトを作成します。

URL 管理ページ

URL 管理ページ (URL_TABLE) を使用して、FTP サーバーの URL オブジェクトを作成します。

ナビゲーション

[PeopleTools], [ユーティリティ], [管理], [URL]

画像: URL 管理ページ

次の例では、URL 管理ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

URL Maintenance

URL Identifier: FTP_FUSION_INTEGRATION

*Description: Fusion Integration FTP Server

*URLID: http://ftpuser.Hello123@rtdc78091qaemt/9.2_FTPPATH_4_FTW

Comments:

URL Properties

このページを使用して、FTP サーバーの URL オブジェクトを定義します。共存に使用する FTP サーバーごとに個別に URL オブジェクトを定義する必要があります。

共存の設定

共存の設定に使用するページ

ページ名	定義名	用途
設定ページ	FT_CONFIG	アウトバウンド/インバウンド ファイルおよび通知オプションを設定します。
Fusion 統合インストールオプションページ	FT_INSTALL	Fusion 統合用のドメイン、設定、およびデータ フィルタ オプションを定義します。
異動区分/理由連番ページ	FT_JOB_ACT_SEQ	関連する異動区分および理由に対してインバウンド インターフェイス連番を定義します。

設定ページ

設定ページ (FT_CONFIG) を使用して、アウトバウンド/インバウンド ファイルおよび通知オプションを設定します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [Fusion 統合の設定]

画像: 設定ページ (1/2)

次の例では、設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Configure Fusion Integration

Configuration

Configuration ID: FUSION_OUTBOUND
Integration Type: Outbound ▼

▼ File Options

Create File Options

File Location: C:\temp
Zip File Name: PSFT_TALENT_%yyyymmdd_%hhmmss_%processinstanceE.zip

☒ Send Zip File to FTP Server

FTP Server URL ID: FTP_FUSION_INTEGRATI 🔍
FTP Server Path:

画像: 設定ページ (2/2)

次の例では、設定ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Notification Options

☒ **Send Email upon Receiving Acknowledgement Message**

Email Subject: PeopleSoft Extract sent to Fusion

Email Sender: HCMHRSUser1@ap6023fems.us.oracle.com

Email Recipients: HCMHRSUser2@ap6023fems.us.oracle.com

Email Message: PeopleSoft Extract sent to Fusion

☒ **Send Email Notification of File Creation Summary**

Email Subject: PeopleSoft Extract data has been created

Email Sender: HCMHRSUser1@ap6023fems.us.oracle.com

Email Recipients: HCMHRSUser2@ap6023fems.us.oracle.com

Email Message: PeopleSoft Extract data has been created

Send Email on Errors

Email Subject: error message found

Email Sender: HCMHRSUser1@ap6023fems.us.oracle.com

Email Recipients: HCMHRSUser2@ap6023fems.us.oracle.com

Email Message: error message found

このページを使用して、アウトバウンドとインバウンドの両方のデータ処理に対して、さまざまなデフォルト処理オプションを定義するための設定 ID を作成します。次に、これらの設定 ID を使用して、さまざまな共存ラン コントロール ページに対する処理オプションを指定します。

インテグレーション タイプ

設定している統合のタイプを選択します。値は以下のとおりです。

インバウンド: Fusion Workforce Compensation からの受信データに関する統合

アウトバウンド: Fusion に送信するためのデータ変換および抽出のための統合

この選択は、[ファイル オプション] および [通知オプション] グループ ボックスに表示されるフィールドに影響を与えます。[インバウンド] を選択した場合は、[ファイル保管場所] および [Zip ファイル名] の各フィールドを含むグループ ボックスのラベルが [ファイルの手動ロード オプション] になり、[FTP サーバーから Zip ファイルを受信] チェック ボックスが [ファイル オプション] グループ ボックスに表示されます。さらに、[通知オプション] グループ ボックスに表示されるチェック ボックスのラベルが [正常なファイル ロードで電子メールを送信] になります。

[アウトバウンド] を選択した場合は、[ファイル保管場所] および [Zip ファイル名] の各フィールドを含むグループ ボックスのラベルが [ファイル オプションの作成] になり、FTP サーバーから Zip ファイルを送信 チェック ボックスが [ファイル オプション] グループ ボックスに表示されます。さらに、[通知オプション] グループ ボックスに表示される 2 つのチェック ボックスのラベルが [確認メッセージの受領時に電子メールを送信] および [ファイル作成サマリの電子メール通知を送信] になります。

ファイル オプション

このグループ ボックスのフィールドの目的は、インバウンド統合とアウトバウンド統合のいずれを設定しているかによって異なります。インバウンド統合を設定している場合、これらのフィールドは、Fusion から情報を受信する方法および場所を定義します。アウトバウンド統合を設定している場合、これらのフィールドは、Fusion に情報を送信する方法および場所を定義します。

ファイル保管場所

インテグレーション プロセスに使用する既存ファイルの場所を入力します。

アウトバウンド プロセスの場合、これは、出力ファイルおよび結果の zip ファイルが作成される場所です。

インバウンド プロセスの場合、これは、インバウンド zip ファイルが受信、抽出、および処理される場所です。

したがって、ファイルの場所はプロセスによる読み込み/書き込みが可能である必要があります。

注: ファイルの場所は、PS スケジューラ サーバーに対してローカルである必要があります。つまり、実行時にアクセス可能である必要があります。

Zip ファイル名

Fusion から受信したデータ、または Fusion に送信するデータを格納する zip ファイルの名前を入力します。

zip ファイル名には、実行時に実際の値で置換される、以下の値プレースホルダを含めることができます。

%processinstance: プロセスのプロセス インスタンス

%runcontrol: プロセスのラン コントロール ID

%userid: プロセスを実行するユーザーの ID

%date: zip ファイルの作成日

%time: zip ファイルの作成時間

%yyyymmdd: yyyymmdd 形式の zip ファイル作成日

%hhmmss: hhmmss 形式の zip ファイル作成時間

注: アウトバウンド zip ファイル名には、小文字の .zip 拡張子が必要です。したがって、ページを保存するとき、名前が検証され、必要な場合は小文字の .zip が含まれるように名前が更新されます。

ラン コントロール ページで設定 ID に対して指定された zip ファイル名は、[出力 Zip ファイル上書き] フィールドを使用して上書きできます。

FTP サーバーに Zip ファイルを送信

Fusion にデータを送信するための FTP サーバー詳細を入力する場合はオンにします。このチェック ボックスをオンにすると、[FTP サーバー URL ID] フィールドと [FTP サーバー パス] フィールドが表示されます。

本番では、Fusion FTP サーバーにアウトバウンド データを自動的に送信するために、このチェック ボックスをオンの状態のままにする必要があります。このオプションをオフにすると、プログラムで zip ファイルは作成されますが、Fusion FTP サーバーには送信されません。かわりに、ファイルは、[ファイル保管場所] フィールドに指定した場所に格納されます。

このチェック ボックスは、テスト中、またはそれ以外に Fusion への送信前にファイルを検査するためにオフにする場合があります。

さらに、このオプションがオフの場合は、ファイルの作成を通信するために使用される Web サービスは呼び出されません。

FTP サーバーから Zip ファイルを受信

このチェック ボックスをオンにすると、[FTP サーバー パス] フィールドで指定されたパスのインバウンド zip ファイルが FTP サーバーから自動的に取得され、[ファイル保管場所] フィールドで指定された場所に移動されます。このチェック ボックスをオフにすると、インバウンド zip ファイルは既にファイルの保管場所にコピーされていると想定されます。

注: Web サービスを使用してファイルを自動的にロードする場合は、Fusion 統合インストール オプションで指定したインバウンド デフォルト設定 ID が使用されます。

通常、FTP サーバーからファイルを自動的に取得するには、このチェック ボックスをオンにして、その設定 ID に FTP 情報を提供することが必要となります。

FTP サーバー URL ID

Fusion 宛のデータの送信先または Fusion からのデータの受信元となる FTP サーバーの URL ID を入力します。

FTP サーバー パス

Fusion 宛のデータの送信先または Fusion からのデータの受信元となる FTP サーバーのパスを入力します。

通知オプション

このグループ ボックスで使用可能にできる通知のタイプは、統合がインバウンドであるかアウトバウンドであるかによって異なります。[電子メールを送信] チェック ボックスのいずれかを選択すると、関連通知電子メールの件名、送信者、受信者、およびメッセージ テキストを入力できます。

正常なファイル ロードで電子メールを送信 受信ファイルが正常にロードされたときに必ず通知電子メールを送信する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

確認メッセージの受領時に電子メールを送信 Fusion からの送信ファイルの受信確認をシステムが受信したときに必ず通知電子メールを送信する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

ファイル作成サマリの電子メール通知を送信 各送信 zip ファイルの作成に関する情報のサマリを含む通知電子メールを送信する場合は、このチェック ボックスをオンにします。

エラーの電子メールを送信

他の通知とは異なり、zip ファイルの送受信でエラーが発生した場合に送信される電子メールはオプションではありません。エラー メッセージ用の件名、送信者、受信者、およびメッセージ テキストを入力してください。

Fusion 統合インストール オプション ページ

Fusion 統合インストール オプション ページ (FT_INSTALL) を使用して、Fusion 統合用のドメイン、設定、およびデータ フィルタ オプションを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [インストール オプション]

画像: Fusion 統合インストール オプション ページ

次の例では、Fusion 統合インストール オプション ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Fusion Integration Installation Options

*PeopleSoft Domain

*Fusion Domain

Primary Mailing Address Type Business

Department Hierarchy Tree

*Inbound Default Config ID

Data Filter Options

*Point in Time

*Company Data Filter Option

Company Data Filters [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [First](#) | [1-3 of 3](#) | [Last](#)

*Company	Description		
1 CWB	PSFT - Fusion Integration CWB	+	-
2 HX1	HR-System Test Company	+	-
3 PSI	PSFT-Fusion Integration HR	+	-

*Reg Region Data Filter Option

Regulatory Region Data Filters [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [First](#) | [1 of 1](#) | [Last](#)

*Regulatory Region	Description		
1 USA	United States	+	-

*Set ID Data Filter Option

Set ID Data Filters [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [First](#) | [1-2 of 2](#) | [Last](#)

*Set ID Type	*Set ID	Description		
1 Department Set ID	HXSID	HR-System Test SetID	+	-
2 Location Set ID	HXSID	HR-System Test SetID	+	-

*Group Data Filter Option

Group Data Filters [Personalize](#) | [Find](#) | [View All](#) | [First](#) | [1 of 1](#) | [Last](#)

*Group ID	Description	*Group As Of Date	Refinement Date		
1				+	-

Warning

After the initial run of the Transformation Process using these Fusion Integration Installation Options, subsequent runs could result in orphaned employee data in Fusion if, in the meantime:

- Either, employee data has been changed in Correction mode;
- Or, the data filter options have been modified or deleted.

注: このページは、Fusion 統合の必須設定です。

PeopleSoft ドメイン

このフィールドの値は、アプリケーション インテグレーション フレームワークで使用されている値に対応する *[PSFT]* である必要があります。全ての DVM および XREF が *PSFT* ドメイン値と共に提供されています。

この値を変更する場合は、対応する全ての DVM および XREF に対する PeopleSoft ドメイン定義を更新する必要があります。

Fusion ドメイン

このフィールドの値は、アプリケーション インテグレーション フレームワークで使用されている値に対応する *[FusionTalent]* である必要があります。全ての DVM および XREF が *FusionTalent* ドメイン値と共に提供されています。

この値を変更する場合は、対応する全ての DVM および XREF に対する Fusion ドメイン定義を更新する必要があります。

主郵送先住所

従業員の主郵送先住所を決定するためにシステムで使用される住所タイプを選択します。

この値は、Fusion の従業員 HR 住所レコードのデフォルト郵送先住所として使用されます。さらに、Fusion の個人住所デフォルトを設定する際にもこの値が使用されます。

部門階層ツリー

特定のケースで従業員の管理者を決定するために、ここに入力した値が使用されます。

従業員の管理者は次に基づいて判断されます。

1. 職務レコードの監督者 ID。
2. 職務レコードに監督者 ID が存在しない場合は、その部門の管理者。
3. ステップ 1 と 2 の管理者が従業員と同じ場合は、ここで指定した部門階層ツリーを使用して親部門が検索され、親部門の管理者が取得されます。

インバウンド デフォルト設定 ID

インバウンド Web サービス呼び出しに使用されるようにするデフォルトのインバウンド設定の ID を入力します。

「[Fusion からのデータの受信](#)」を参照してください。

データ フィルタ オプション

このグループ ボックスのフィールドを使用すると、FT_EXTRACT プロセスの実行時にシステムによって抽出、変換、および Fusion に送信される従業員データをフィルタできます。

注: コントロール データは、これらのフィルタ オプションの影響を受けません。
「Fusion に HR データを送信ページ」を参照してください。

期間指定	システムでは、ここに入力した日付以降に [HR ステータス] が [アクティブ] である従業員のデータのみが抽出され、パブリッシュされます。
会社データ フィルタ オプション	データを抽出して Fusion にパブリッシュする際に会社でフィルタする方法を定義します。値は以下のとおりです。 全て: 全ての会社のデータを抽出およびパブリッシュします。 指定...: この値を選択すると使用可能になる[会社データ フィルタ] グリッドで指定した会社のデータのみを抽出してパブリッシュします。
法定区域データ フィルタ オプション	データを抽出して Fusion にパブリッシュする際に法定区域でフィルタする方法を定義します。値は以下のとおりです。 全て: 全ての法定区域のデータを抽出およびパブリッシュします。 指定...: この値を選択すると使用可能になる[法定区域データ フィルタ] グリッドで指定した法定区域のデータのみを抽出してパブリッシュします。
注: 現在、米国法定区域の指定のみが可能です。	
セットID データ フィルタ オプション	データを抽出して Fusion にパブリッシュする際にセットID でフィルタする方法を定義します。値は以下のとおりです。 全て: 全てのセットID のデータを抽出およびパブリッシュします。 指定...: この値を選択すると使用可能になる[セットID データ フィルタ] グリッドで指定したセットID のデータのみを抽出してパブリッシュします。
グループ データ フィルタ オプション	データを抽出して Fusion にパブリッシュする際にグループでフィルタする方法を定義します。値は以下のとおりです。 全て: 全てのグループのデータを抽出およびパブリッシュします。 指定...: この値を選択すると使用可能になる[グループ データ フィルタ] グリッドで指定したグループ ID のデータのみを抽出してパブリッシュします。

注: システムでは、[絞込日] フィールドの日付以前に [HR ステータス] が [アクティブ] である従業員のデータのみが抽出され、パブリッシュされます。

注: データ フィルタの選択時に、フィルタ済みの従業員に対する割当監督者もフィルタ条件と一致していることを確認してください。割当監督者がフィルタ条件と一致していない場合は、データ変換のためにこれらの割当監督者を参照する従業員が自動的に選択されます。
フィルタ済み従業員の監督者を識別するには、これらの従業員の割当レコードを参照する必要があります。

異動区分/理由連番ページ

異動区分/理由連番ページ (FT_JOB_ACT_SEQ) を使用して、関連する異動区分および理由にインバウンド インターフェイス連番を定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [異動区分/理由連番]

画像: 異動区分/理由連番ページ

次の例では、異動区分/理由連番ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Job Action/Reason Sequence					
Job Action/Reason Sequence		Personalize	Find	View All	First 1-7 of 7 Last
	*Action	Short Description	Reason Code	Action Reason	Sequence Order
1	HIR	Hire	PRI	First Job	1
2	PAY	Pay Rt Chg	COL	COLA	2
3	PAY	Pay Rt Chg	MER	Merit	3
4	PAY	Pay Rt Chg	ADJ	Adjustment	4
5	PRO	Promotion	OPR	Outst Perf	5
6	DTA	Data Chg	CPR	Corrct-Pay	6
7	AWD	Award Mnt	ESP	SES Perf	7

このページは、Fusion からインバウンド報酬データを受信するためにのみ必要です。Fusion は、従業員報酬から複数の異動区分を戻すことができます。このページでは、変更の処理順序が定義されます。連番は、異動および異動理由 (理由コード) 別です。インバウンド プロセスで使用される全ての異動区分と対応する理由コードを追加します。

評価モデルの定義

プロフィール データを Fusion に移行する前に、特定の評価モデルを定義する必要があります。評価モデルは、従業員の専門分野の学位または経験をコンピテンシーでランキングするための一連の数値コードを表します。このトピックでは、LANG 評価モデルの定義方法について説明します。

評価モデルの定義に使用するページ

ページ名	定義名	用途
評価モデル ページ	RATING_MDL_TBL	LANG 評価モデルを定義します。

評価モデル ページ

評価モデル ページ (RATING_MDL_TBL) を使用して、LANG 評価モデルを定義します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [プロフィール管理], [コンテンツ カタログ], [評価モデル]

画像: 評価モデル ページ

次の例では、評価モデル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Rating Model
Rating Model LANG

Rating Model Description Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/1900 Status Active

*Description Language Ratings

Short Description Language Review Band

Ratings Personalize | Find 1-3 of 3

Rating	Description	Short Description	Numeric Rating	Career Strength/Development	Rating Explanation
1	1 - Low	Low	1.00		
2	2 - Moderate	Moderate	2.00		
3	3 - High	High	3.00		

考課/評価モデルの名称

有効日

有効日に 01/01/1900 を入力します。

ステータス

ステータスを [アクティブ] に設定します。

説明

語学力評価レベルの説明を入力します。

略称

語学力評価レベルの略称を入力します。

考課ランク

このチェック ボックスはオフの状態のままにします。

[一般] タブ

以下の値で 3 行入力します。

評価レベル	説明	略称	評価レベル値
1	1 - 低	低	1.00
2	2 - 中	中	2.00
3	3 - 高	高	3.00

注: [得意/要育成分野] フィールドは、3 行全てを空白のままにします。

[点数] タブ

画像: 評価モデル ページ: [点数] タブ

次の例では、評価モデル ページの [点数] タブのフィールドおよびコントロールを説明します。

Rating Model LANG

Rating Model Description Find | View All First 1 of 1 Last

*Effective Date 01/01/1900 Status Active

*Description Language Ratings

Short Description Language Review Band

Ratings Personalize | Find 1-3 of 3

Rating	Review Points	From Points	To Points	Eligibility Points
1	1	0	0	0.0
2	2	0	0	0.0
3	3	0	0	0.0

[一般] タブで入力した 3 つの評価レベルに対して以下の値を入力します。

評価レベル	点数	開始点数	終了点数	昇格ポイント
1	1	0	0	0.0
2	2	0	0	0.0
3	3	0	0	0.0

PeopleSoft HCM ソース データの分析

PeopleSoft HCM データを Fusion に送信する前に、ソース データ アナライザ レポートを実行して、Fusion と互換性のない PeopleSoft HCM ソース データを識別できます。

PeopleSoft HCM ソース データの分析に使用するページ

ページ名	定義名	用途
ソース データ アナライザの実行ページ	FMEV_RUN	Fusion と互換性のない PeopleSoft HCM ソース データを識別するレポートを作成します。

ソース データ アナライザの実行ページ

ソース データ アナライザの実行ページ (FMEV_RUN) を使用して、Fusion と互換性のない PeopleSoft HCM ソース データを識別するレポートを作成します。

ナビゲーション

[HCM 基本設定], [共通定義], [インテグレーション レポート], [ソース データ アナライザ], [ソース データ アナライザの実行]

画像: ソース データ アナライザの実行ページ

次の例では、ソース データ アナライザの実行ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

このページを使用して、[製品準備期間サマリ] および [製品準備期間詳細] の 2 つの異なるタイプのレポートを作成できます。

製品準備期間サマリレポートでは、全てのレポートの説明を各レポートのエラー件数と共に提供する PDF ファイルが生成されます。

選択したレポート ID に応じて、製品準備期間詳細レポートでは、各エラーの詳細情報が含まれている PDF ファイルまたは Microsoft Excel ファイルのいずれかが生成されます。製品準備期間詳細レポートにも、製品準備期間サマリレポートと同じサマリ セクションがあります。

ターゲット アプリケーション	[Fusion HCM アプリケーション] を選択します。
レポート タイプ	[製品準備期間サマリ] または [製品準備期間詳細] のどちらのレポートを作成するかを選択します。
Fusion バージョン	統合する Fusion のバージョンを選択します。
PeopleSoft 製品	PeopleSoft 製品を選択します。値は <i>HR</i> (ヒューマン リソース管理コア) および <i>PRO</i> (プロファイル) です。
レポート ID	作成する特定の詳細レポートを選択します。このフィールドは、[レポート タイプ] フィールドで [製品準備期間詳細] を選択した場合にのみ使用できます。

Fusion へのデータの送信

Fusion へのデータの送信に使用するページ

ページ名	定義名	用途
<u>Fusion に HR データを送信ページ</u>	FT_XTRCT_RUN_CNTL	Fusion にコア HR データを送信します。
<u>進捗レポート ページ</u>	FT_PROG_RPT	抽出プロセスで処理されたインテグレーション オブジェクトの詳細が表示されます。 このページには、処理中のオブジェクトと完了したオブジェクトの両方に関する進捗が表示されます。
<u>プロファイル データの移行ページ</u>	FT_X_RUN_CNTL_TP	Fusion にプロファイル データを移行します。

Fusion に HR データを送信ページ

"Fusion に HR データを送信" ページ (FT_XTRCT_RUN_CNTL) を使用して、Fusion にコア HR データを送信します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [Fusion に HR データを送信]

画像: Fusion に HR データを送信ページ

次の例では、"Fusion に HR データを送信" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Select	Process	TM	WFC	Process Dependency
☐	Location	☒	☒	
☐	HR Business Unit	☒	☒	
☐	Department	☒	☒	Location Transformation should be run before Department.
☐	Job Grade	☒	☒	
☒	Job Code	☒	☒	Job Grade needs to be run before Job Code.
☐	Position	☒	☒	Location, Department and Job Grade need to be run before Position.
☐	Person/Job	☒	☒	HR Business Unit, Location, Department, Position, Job Grade and Job Code Transformation need to be run before Person/Job.
☐	Department Tree	☒	☒	Department Transformation needs to be run before Department Tree.

プロセス リクエスト パラメータ

このグループ ボックス内のフィールドを使用して、変換プロセス用の上位レベルのパラメータを定義します。

注: [処理頻度] グループ ボックスは、アプリケーション エンジン プロセスのラン コントロール ページの標準コンポーネントです。ほとんどの場合、[常に処理] ラジオ ボタンをオンにします。

リクエスト ID

リクエストの固有 ID を入力します。

説明

変換プロセス実行に関する任意の説明を入力します。

設定 ID

アウトバウンド設定 ID を入力します。この ID によって、生成された zip ファイルの名前付けと転送先が指示されます。通知オプションも定義されます。

「[設定ページ](#)」を参照してください。

出力 Zip ファイル上書き

選択した設定 ID で指定されるファイル名とは異なる名前を入力する場合は、ここで入力します。

注: アウトバウンド zip ファイル名には、小文字の .zip 拡張子が必要です。したがって、ページを保存するとき、名前が検証され、必要な場合は小文字の .zip が含まれるように名前が更新されます。

フル データ パブリッシュ

全ての従業員のデータを抽出する場合にオンにします。

差分データ パブリッシュ

正常終了した前回の抽出プロセスの後に、個人または職務に関連するエンティティに変更があった従業員のデータのみを抽出する場合にオンにします。差分抽出プロセスには、正常終了した前回の抽出実行時間より最終更新日時が後の従業員が含まれます。

注: 差分ファイル ロード機能は、ファイル ベース ローダーでのみサポートされています。HR2HR を使用してデータを Fusion にロードする顧客は、差分抽出を実行できません。

データ行の 1 行のみが更新されたり新規に挿入された場合でも、個人および職務に対応する全ての行が抽出されます。

職務、個人または給与に関連のないエンティティについて、毎回フル データ抽出が処理されます。

従業員に個人に関連する変更のみがある場合は、個人に関連するデータのみが差分抽出に送信されます。

従業員に職務に関連する変更のみがある場合は、職務に関連するデータのみが差分抽出に送信されます。

[履歴の修正] モードで挿入された職務行について、Fusion では、従業員の後続の行を削除することによって変更が処理されます。

並列処理数

最大 15 の並列インスタンスで FT_EXTRACT アプリケーション エンジン プロセスを実行できます。このフィールドを使用して、実行する並列処理インスタンスの数を入力します。このフィールドは、[フル データ パブリッシュ] オプションを選択した場合のみ入力可能になります。

並列処理は、個人および職務に関連するエンティティに対してのみ機能します。所在地や部門など、その他のエンティティは連続モードで処理されます。

注: 実行可能な並列インスタンスの最大数は、プロセス スケジューラ設定の PSAESRV 最大インスタンスの値、およびサーバー定義のアプリケーション エンジン最大プロセス数の値によって決まります。最適なパフォーマンスを得るために、システムの使用可能なメモリに基づいて [並列処理数] の値を選択します。

並列インスタンスのいずれかが [未完了] の結果で終了した場合は、親アプリケーション エンジンも [未完了] になります。

進捗レポート

クリックすると、進捗レポート ページにアクセスして、抽出プロセスで処理されたインテグレーション オブジェクトの詳細を表示できます。

「[進捗レポート ページ](#)」を参照してください。

変換プロセス

このグループ ボックス内のフィールドによって、[実行] ボタンをクリックすると処理されるコア HR データのタイプが決まります。

選択

変換プロセスに含めるコア HR データのタイプの横にあるチェック ボックスをオンにします。

プロセス

変換プロセス全体に含めることができるコア HR データのさまざまなプロセスがリストされます。

ここにリストされているアイテムごとに、個別のアプリケーション エンジン プロセスがあります。各プロセスで 1 つ以上のフラット ファイルが生成されます。FT_EXTRACT は、ここで選択した各アプリケーション エンジン プロセスを呼び出す管理プログラムです。

説明

変換プロセス実行に関する任意の説明を入力します。

TM (Talent Management)、WFC (Workforce Compensation)

データ タイプを適用するのが Fusion Talent Management か Fusion Workforce Compensation かを指定します。

プロセス依存

特定タイプのデータ変換に対する依存がリストされます。変換に含めるデータ タイプを選択する際は、これらの依存に十分注意してください。

変換プロセスの実行

[実行] ボタンをクリックして、FT_EXTRACT アプリケーション エンジン プロセスを開始します。このプロセスは、[変換プロセス] グループ ボックスで選択したアプリケーション エンジン プロセスを呼び出し、指定されたデータを抽出します。次に、Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation

で読み取り可能なフォーマットにデータを変換し、指定の設定 ID で定義した FTP サーバーに単一の zip ファイルとして転送します。

プロセスで発生したエラーは、エラー サマリ ページで確認できます。エラーを確認した後に、必要に応じて FT_EXTRACT プロセスを再実行できます。

注: FT_EXTRACT プロセスでは、Fusion 統合インストール オプション ページで定義したデータ フィルタ オプションに基づいて、抽出された従業員データが絞り込まれます。ただし、これらのデータ フィルタ オプションはコントロール データに適用されません。

注: FT_EXTRACT プロセスでは、パイプ文字 (|) を含むデータ値をサポートしていません。

関連リンク

[Fusion 統合インストール オプション ページ](#)

[変換エラー確認 - エラー サマリ ページ](#)

進捗レポート ページ

進捗レポート ページ (FT_PROG_RPT) を使用して、抽出プロセスで処理されたインテグレーション オブジェクトの詳細を表示します。

ナビゲーション

- [人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [進捗レポート]
- "Fusion に HR データを送信" ページで [進捗レポート] ボタンをクリックします。

画像: 進捗レポート ページ

次の例では、進捗レポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Progress Reporting

Search Criteria

Process Instance  Refresh

Process Name FT_EXTRACT Run Status Success

Run Date/Time 04/27/14 11:07:05PM

** Select the hyperlinks to see the details of each object type.
** To view all integration objects select the "View All" link.

Extract Summary			
Object Type	Status	Total No. of Files	No. of Files Completed
Location	Completed with Errors	1	1
HR Business Unit	Completed with Errors	1	1
Department	Completed with Errors	2	2
Job Grade	Completed with Errors	1	1
Job Code	Completed with Errors	3	3
Position	Completed with Errors	2	2
Person/Job	Completed with Errors	17	17
Department Tree	Completed with Errors	9	9
Job Grade Rate	Completed with Errors	2	2
Salary	Completed with Errors	3	3
Bonus	Completed	2	2

[View All](#)

Location

Details

Integration Object	Status	Total Rows	Rows in Error	View
Outbound Location	Completed with Errors	1473	1433	Error Log

オブジェクト タイプ

クリックすると、グループ ボックス内のオブジェクト タイプに関する詳細がページ下部に表示されます。グループ ボックスには、オブジェクト タイプに関連付けられた各インテグレーション オブジェクトとそのステータス、合計行数、およびエラー行数がリストされます。

エラー ログ

エラー行があるインテグレーション オブジェクトについては、このリンクをクリックして、対応するプロセス インスタンスおよびイン

テグレーション オブジェクトの "変換エラー確認 - エラー サマリ" ページにアクセスします。

関連リンク

[変換エラー確認 - エラー サマリ ページ](#)

プロフィール データの移行ページ

プロフィール データの移行ページ (FT_X_RUN_CNTL_TP) を使用して、Fusion にコア HR データを送信します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [プロフィール データの移行]

画像: プロフィール データの移行ページ

次の例では、プロフィール データの移行ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Migrate Profile Data

Run Control ID 9121 Report Manager Process Monitor Run

Last Update Date/Time ☐ Run the talent profile migration process

Process Request Parameters

*Request ID 9121

Description

*Configuration ID FUSION_OUTBOUND

Output Zip File Override

Email Recipients Override

☒ Profile Data Only

☐ Profile and Appraisal Data

タレント プロファイル移行プロセス実行 タレント プロファイル移行プロセス (FT_EXTRCT_TP) を実行すると、[実行] ボタンは使用不可になります。これは、通常、このプロセスを実行するのは 1 回のみであるためです。このプロセスを再度実行する必要がある場合は、[タレント プロファイル移行プロセス実行] を選択すると [実行] ボタンが再度有効になります。

注: プロファイル データを PeopleSoft HCM から Fusion に移行した後は、いかなる変更もプロファイル データに渡されません。従業員のデータを再送信する必要がある場合は、最初に、その従業員の FT_XTRCT_EMPLID レコードの FT_PROF_MIGR_DATE を Null に設定する必要があります。

プロセス リクエスト パラメータ

リクエスト ID

移行に固有のリクエスト ID を入力します。

説明

移行に関する任意の説明を入力します。

設定 ID

アウトバウンド設定 ID を入力します。この ID によって、生成された zip ファイルの名前付けと転送先が指示されます。

「[設定ページ](#)」を参照してください。

出力 Zip ファイル上書き

選択した設定 ID で指定されるファイル名とは異なる名前を入力する場合は、ここで入力します。

注: アウトバウンド zip ファイル名には、小文字の .zip 拡張子が必要です。したがって、ページを保存するとき、名前が検証され、必要な場合は小文字の .zip が含まれるように名前が更新されます。

電子メール受信者上書き

ファイル作成時に電子メール通知に対して指定した電子メール受信者とは別の受信者を入力する場合。

プロファイル データのみ、プロファイル および評価者データ

プロセスで移行するのはプロファイル データのみか、またはプロファイルと評価者データの両方かを選択します。

移行プロセスの実行

[実行] ボタンをクリックして、FT_EXTRCT_TP アプリケーション エンジン プロセスを開始します。このプロセスは、プロファイル データおよび評価者データを抽出して、Fusion Talent Management および Fusion Workforce Compensation で読み取り可能なフォーマットにデータを変換し、指定の設定 ID で定義した FTP サーバーに単一の zip ファイルとして転送します。

注: FT_EXTRCT_TP プロセスでは、Fusion 統合インストール オプション ページで定義したデータ フィルタ オプションに基づいて、抽出された従業員関連のタレント プロファイルが絞り込まれます。ただし、非従業員関連のタレント プロファイルまたはタレント プロファイル コンテンツ データを抽出する場合は、これらのデータ フィルタ オプションは使用されません。

Fusion からのデータの受信

次の各トピックでは、インバウンド プロセスの概要および Fusion からのデータの受信について説明します。

Fusion からのデータの受信に使用するページ

ページ名	定義名	用途
Fusion から報酬データを受信 ページ	FT_XTRT_I_RUN_CNTL	Fusion から給与データを受信します。
給与データのキャンセル ページ	FT_XTRT_I_D_RUNCNT	インバウンド ステージング テーブルから給与データを削除します。
インバウンド ステータス モニター ページ	FT_CWBOBJ_INSTATUS	インバウンド ステータスおよびトランザクション エラーを確認します。
＜インテグレーション オブジェクト＞の詳細 ページ	FT_VC_AWARD_DTL FT_SALARY_DTL FT_ASGN_AUDIT_DTL	インバウンド インテグレーション オブジェクトに関連するエラーを確認します。
＜インテグレーション オブジェクト＞の詳細 ページ	FT_VC_AWARD_SEC FT_SAL_DETAIL_SEC FT_ASGN_AUDIT_SEC	インバウンド インテグレーション オブジェクトに対するエラーを修正します。
＜インテグレーション オブジェクト＞検証レポート ページ	FT_VC_AWARD_SUM FT_SAL_AUD_RPT FT_ASGN_AUDIT_SUM	インテグレーション オブジェクトの変更サマリを確認します。

インバウンド プロセスについて

Fusion Workforce Compensation から PeopleSoft HCM 9.2 にデータを移動する際の一般的なプロセスフローは次のとおりです。

1. Fusion 管理者が Fusion Workforce Compensation データの zip ファイルを FTP サーバーの送信ディレクトリに送ります。
2. Fusion Workforce Compensation は READY_FOR_TRANSMISSION 非同期 Web サービス呼び出しを開始し、ファイルが使用可能であることを PeopleSoft HCM 9.2 に通知します。
3. PeopleSoft HCM 9.2 は FTP サーバーから zip ファイルを取得し、データをステージング テーブルに抽出します。

4. PeopleSoft HCM 9.2 管理者は "Fusion から報酬データを受信" ページを使用して、ステージング テーブルからアプリケーション ソース テーブルにデータを変換してロードします。

必要に応じて、PeopleSoft HCM 9.2 管理者は、Web サービス メッセージを介したファイルの自動ロードをスキップして、"Fusion から報酬データを受信" ページを使用してファイルを手動でロードできます。

注: インバウンド プロセスでは、賞与データを PS_VC_AWARD テーブルにロードします。ただし、これらの賞与を支払うには、PeopleSoft 9.2 変動報酬でアドホック変動報酬プランを定義し、PeopleSoft 9.2 変動報酬と PeopleSoft 給与計算アプリケーション (PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft グローバル ペイロール) の間にインテグレーションを設定する必要があります。

関連リンク

[Integrating with Payroll Applications](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Variable Compensation](#)
[Fusion から報酬データを受信 ページ](#)

Fusion から報酬データを受信 ページ

"Fusion から報酬データを受信" ページ (FT_XTRT_I_RUN_CNTL) を使用して、Fusion から報酬データを受信します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [Fusion から報酬データを受信]

画像: Fusion から報酬データを受信 ページ (ファイルのロード前)

次の例では、ファイルをロードする前の "Fusion から報酬データを受信" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Receive Comp Data from Fusion

Run Control ID

SB

Report Manager

Process Monitor

Run

Process Request Parameters

Configuration Option

*Configuration ID

FUSION_INBOUND

Inbound Zip File Override

Process Frequency

Always Process

Process Once

Don't Run

Process List

Personalize | Find |   First 1-2 of 2 Last

Selected	Description
☒	Assignment and Salary
☒	Bonus

Select All

Deselect All

Process Action

☐ Manual Load File

選択したラン コントロール ID のステージング テーブルにデータがまだロードされていない場合 (手動か Web サービス経由かに関係なく)、ページはこのように表示されます。

注: [処理頻度] グループ ボックスは、アプリケーション エンジン プロセスのラン コントロール ページの標準コンポーネントです。ほとんどの場合、[常に処理] ラジオ ボタンをオンにします。

設定オプション

設定 ID

インバウンド設定 ID を入力します。この ID によって、Fusion Workforce Compensation データを含む転送済み zip ファイルの検索方法と検索場所が指定されます。

「[設定ページ](#)」を参照してください。

インバウンド Zip ファイル上書き

選択した設定 ID で指定されるファイル名とは異なる名前を入力する場合は、ここで入力します。

プロセス リスト

ステージング テーブルにロードする Fusion Workforce Compensation データのタイプの横にあるチェックボックスをオンにします。オプションは、**配属と給与**および **[賞与]** です。

処理アクション

使用可能な処理アクションは [ファイルの手動ロード] のみです。

ファイルのロード

[実行] ボタンをクリックして、FT_LOAD アプリケーション エンジン プロセスを実行します。[ファイルの手動ロード] チェック ボックスがオンの場合、このプロセスによって、Fusion Workforce Compensation の zip ファイルから PeopleSoft HCM 9.2 内のステージング テーブルにデータがロードされます。

画像: Fusion から報酬データを受信 ページ (ファイルのロード後)

次の例では、ファイルをロードした後の "Fusion から報酬データを受信" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Receive Comp Data from Fusion

Run Control ID inbu2 Report Manager Process Monitor Run

Process Request Parameters

Run ID 100000271411162

Process Status Transformed

Plan Name PSFT_CWB_PromotionTest_06Mar2012

Plan Description

Period Name PSFT_CWB_Plan_Cycle

Period Start Date 01/01/2011

Period End Date 12/31/2020

Process List Personalize | Find | First 1-2 of 2 Last

Selected	Description
☒	Assignment and Salary
☒	Bonus

Process Action

☒ Transform Data

☒ Load Data

☒ Preview Mode ☐ Commit/Post Mode

選択したラン コントロール ID のステージング テーブルにデータが既にロードされている場合 (手動か Web サービス経由かに関係なく)、ページはこのように表示されます。

プロセス リクエスト パラメータ

実行 ID

固有の Fusion プロセス実行 ID が表示されます。

プロセス ステータス

Fusion Workforce Compensation から取得されたデータのステータスが表示されます。有効値は以下のとおりです。

未処理

ファイルからロード済

変換済

プレビュー済

手動転記済

転記済

プラン名、プラン説明

Fusion Workforce Compensation のプランの名称と説明が表示されます。

期間名、期間開始日、期間終了日

対象のサイクル期間の名称、およびその開始日と終了日が表示されます。

プロセス リスト

プロセスに含まれる給与データのタイプを指定します。このシステムでは、インバウンド Web サービス メッセージに含まれる論理ビジネス オブジェクト (LBO) リストを使用して、どのインテグレーション オブジェクトが含まれるかを判断します。

処理アクション

データの変換

ステージング テーブル内のデータを PeopleSoft HCM 9.2 で読み取り可能なフォーマットに変換する場合はオンにします。

データのロード

データを PeopleSoft アプリケーション ソース テーブルにロードする場合はオンにします。このオプションを選択すると、[プレビュー モード] および [コミット/転記モード] オプションが選択可能になります。

このチェック ボックスをオンにして、まだ変換されていないデータに対してプロセスを実行すると、データはロードされず、メッセージが表示されます。

プレビュー モード

このオプションをオンにすると、アプリケーション ソース テーブルにデータが実際にロードされる前に、データをプレビューして確認できます。

データのプレビューおよび確認は、インバウンド ステータス モニター ページを使用して行います。「インバウンド ステータス モニター ページ」を参照してください。

コミット/転記モード

アプリケーション ソース テーブルへのデータのロードをコミットする場合はオンにします。

データの変換とロード

[実行] をクリックして、FT_LOAD プロセスを開始します。選択した処理アクションに応じて、このプロセスはステージング テーブル内のデータを変換したり、アプリケーション ソース テーブルにデータをロードします。

給与データのキャンセル ページ

給与データのキャンセル ページ (FT_XTRT_I_D_RUNCNT) を使用して、インバウンド ステージング テーブルから給与データを削除します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [給与データのキャンセル]

画像: 給与データのキャンセル ページ

次の例では、給与データのキャンセル ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Cancel Compensation Data

Run Control ID inbu2
Report Manager
Process Monitor
Run

Process Request Parameters

*Run ID 100000271411162

Process Status Transformed

Plan Name PSFT_CWB_PromotionTest_06Mar2012

Plan Description

Period Name PSFT_CWB_Plan_Cycle

Period Start Date 01/01/2011

Period End Date 12/31/2020

Process List

Personalize | Find |
First 1-2 of 2 Last

Selected	Integration Object	Integration Object
☒	Inbound Assignment	Assignment and Salary

Confirm Action

☐ Delete Data

プロセス リクエスト パラメータ

実行 ID	データを削除するための固有の Fusion プロセス実行 ID を入力します。
プロセス ステータス	Fusion Workforce Compensation から取得されたデータのステータスが表示されます。
プラン名、プラン説明	Fusion Workforce Compensation のプランの名称と説明が表示されます。
期間名、期間開始日、期間終了日	対象のサイクル期間の名称、およびその開始日と終了日が表示されます。

プロセス リスト

プロセスに含まれる給与データのタイプを指定します。

アクションの確認

選択した実行 ID からデータを削除することを確認する場合は、[データ削除] チェック ボックスをオンにします。このチェック ボックスがオフのときに [実行] ボタンをクリックすると、警告メッセージが表示されて、プロセスを開始できません。

データの削除

[実行] ボタンをクリックして、FT_LOAD プロセスを開始します。[データ削除] チェック ボックスがオンの場合、選択した実行 ID に関連付けられたデータがステージング テーブルから削除されます。

注: このプロセスは、ステージング テーブルから PeopleSoft アプリケーション ソース テーブルに既にロードされたデータに影響を与えません。

インバウンド ステータス モニター ページ

インバウンド ステータス モニター ページ (FT_CWBOBJ_INSTATUS) を使用して、インバウンド ステータス およびトランザクション エラーを確認します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [インバウンド ステータス モニター]

画像: インバウンド ステータス モニター ページ

次の例では、インバウンド ステータス モニター ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

The screenshot shows the 'Inbound Status Monitor' interface. It includes a search criteria section with fields for Date From, Date To, Integration Object, Run ID, Plan Name, and Process Status. There are also checkboxes for 'Error Rows Only' and buttons for 'Search' and 'Clear'. Below the search criteria is a table titled 'Inbound Status Information' with columns: Period Start Date, Period End Date, Run ID, Integration Object, Process Status, Plan Name, Period Name, and View Audit Report. The table contains 9 rows of data.

Period Start Date	Period End Date	Run ID	Integration Object	Process Status	Plan Name	Period Name	View Audit Report
1 01/01/2011	12/31/2020	100000271411162	Inbound Assignment	Transformed	PSFT_CWB_PromotionTest_06Mar2012	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
2 01/01/2011	12/31/2020	100000271411162	Inbound Salary	Transformed	PSFT_CWB_PromotionTest_06Mar2012	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
3 01/01/2011	12/31/2020	100000271411162	Inbound Bonus	Previewed	PSFT_CWB_PromotionTest_06Mar2012	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
4 01/01/2011	12/31/2020	100000271442467	Inbound Assignment	Transformed	Demo_CWB_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
5 01/01/2011	12/31/2020	100000271442467	Inbound Salary	Transformed	Demo_CWB_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
6 01/01/2011	12/31/2020	100000271442467	Inbound Bonus	Previewed	Demo_CWB_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
7 01/01/2011	12/31/2020	100000271843453	Inbound Assignment	Previewed	BonusPromotion_Demo_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
8 01/01/2011	12/31/2020	100000271843453	Inbound Salary	Previewed	BonusPromotion_Demo_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report
9 01/01/2011	12/31/2020	100000271843453	Inbound Bonus	Previewed	BonusPromotion_Demo_Plan	PSFT_CWB_Plan_Cycle	Audit Report

検索条件

このグループ ボックス内のフィールドを使用して、[インバウンド ステータス情報] グループ ボックスに表示されるプロセス実行を絞り込みます。

開始日、終了日

これらのフィールドを使用して、表示する Fusion 期間の日付範囲を設定します。

インテグレーション オブジェクト

表示する特定タイプのデータを選択します。

実行 ID

表示する固有の Fusion プロセス実行 ID を入力します。

プラン名

インバウンド プロセス実行を表示する Fusion Workforce Compensation プランの名称を入力します。

プロセス ステータス

インバウンド プロセス実行を表示するステータスを選択します。

エラー行のみ

エラーが発生したインバウンド プロセス実行のみを表示する場合にオンにします。

検索

検索条件に一致するインバウンド プロセス実行を表示する場合にクリックします。

クリア

[検索条件] グループ ボックス内のフィールドをクリアする場合にクリックします。

インバウンド ステータス情報

このグループ ボックスには、指定した検索条件に一致するインバウンド プロセス実行が表示されます。

期間開始日、期間終了日	対象のサイクル期間の開始日と終了日が表示されます。
実行 ID	プロセス実行の固有 ID が表示されます。
インテグレーション オブジェクト	プロセスに含まれる給与データのタイプを指定します。
プロセス ステータス	Fusion Workforce Compensation から取得されたデータのステータスが表示されます。
プラン名	Fusion Workforce Compensation のプラン名が表示されます。
期間名	対象のサイクル期間の名称が表示されます。
全てのエラー	プロセス実行の " <u><インテグレーション オブジェクト> の詳細</u> " ページにアクセスするには、[エラーの表示] リンクをクリックします。
変換エラー	プロセス実行の " <u>変換エラー確認 - エラー サマリ</u> " ページにアクセスするには、[DVM/XRef エラー] リンクをクリックします。
オーディットレポート表示	プロセス実行の " <u><インテグレーション オブジェクト> 検証レポート</u> " ページにアクセスするには、[検証レポート] リンクをクリックします。

<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ

<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ

(FT_VC_AWARD_DTL、FT_SALARY_DTL、FT_ASGN_AUDIT_DTL) を使用して、インバウンド インテグレーション オブジェクトに関連するエラーを確認します。

ナビゲーション

インバウンド ステータス モニター ページで [エラーの表示] リンクをクリックします。

検索条件

このグループ ボックス内のフィールドを使用して、[<インテグレーション オブジェクト> の詳細] グループ ボックスに表示されるインテグレーション オブジェクトの詳細をソートします。

注: このグループ ボックスで実際に使用できるフィールドは、詳細を表示するインテグレーション オブジェクトのタイプによって決まります。

従業員 ID	詳細を表示する従業員の固有 ID を入力します。
プラン ID	詳細を表示する給与プランの固有 ID を入力します。
職務コード セットID	詳細を表示する職務コードのセットID を入力します。

会社	詳細を表示する会社を入力します。
支給期間 ID	詳細を表示する支給期間の ID を入力します。
職務コード	詳細を表示する職務コードを入力します。
通貨コード	詳細を表示する通貨コードを入力します。
報奨日	表示する賞与詳細の報奨日を入力します。
報奨値	表示する賞与詳細の値を入力します。
ステータスの変更	詳細に対する手動変更 (ある場合) に基づいて詳細を絞り込むには、値を選択します。値は、[手動転記済] および [変更済の値] です。
頻度	詳細を表示する頻度を入力します。
アクション	詳細を表示するアクションを入力します。
理由コード	詳細を表示する理由コードを入力します。
職務コードの変更	職務コードの変更が含まれる詳細の行のみを表示する場合に選択します。
給与等級の変更	給与等級の変更が含まれる詳細の行のみを表示する場合に選択します。
ポジション番号の変更	ポジション番号値が変更された詳細の行のみを表示する場合に選択します。
全ての行	検索条件に一致する詳細の全ての行を表示する場合に選択します。
エラー行のみ	検索条件に一致し、エラーが含まれる詳細の行のみを表示する場合に選択します。
検索	検索条件に従って、表示される詳細を絞り込む場合にクリックします。
クリア	検索条件のフィールドおよび詳細の行を全てクリアにする場合にクリックします。

<インテグレーション オブジェクト> の詳細

このグループ ボックスには、指定した検索条件に従って詳細が表示されます。行の [表示/更新] をクリックして、<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページにアクセスします。このページで、行のデータを表示および更新できます。

<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ

<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページ

(FT_VC_AWARD_SEC、FT_SAL_DETAIL_SEC、FT_ASGN_AUDIT_SEC) を使用して、インバウンド インテグレーション オブジェクトに対するエラーを修正します。

ナビゲーション

<インテグレーション オブジェクト> の詳細ページで、[表示/更新] リンクをクリックします。

手動転記済

データを PeopleSoft システムに手動で転記 (または入力) したことを示すには、このチェック ボックスをオンにします。この行に対する後続の処理は実行されません。

このチェック ボックスをオンにすると、このページのフィールドは全て無効になります。

<インテグレーション オブジェクト> の詳細

このグループ ボックスには、トランザクションに関連する詳細が表示されます。さらに一部のフィールドでは、PeopleSoft 値を手動で更新できます。

注: このページで手動で更新できる値は、トランザクション詳細を表示するインテグレーション オブジェクトのタイプによって決まります。

エラー詳細

トランザクションに関連するエラーが発生した場合は、エラーに関する詳細がここでページに表示されます。

<インテグレーション オブジェクト> 検証レポート ページ

"<インテグレーション オブジェクト> 検証レポート" ページ

(FT_VC_AWARD_SUM、FT_SAL_AUD_RPT、FT_ASGN_AUDIT_SUM) を使用して、インテグレーション オブジェクトの変更のサマリを確認します。

ナビゲーション

インバウンド ステータス ページで [検証レポート] リンクをクリックします。

画像: <インテグレーション オブジェクト> 検証レポート ページ

次の例では、"<インテグレーション オブジェクト> 検証レポート" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Salary Change Audit Report		Salary Detail	
Run ID 100000271442467		Plan Name Demo_CWB_Plan	
Process Status Transformed		Plan Description	
Period Name PSFT_CWB_Plan_Cycle		Period Start Date 01/01/2011	Period End Date 12/31/2020
Salary Changes Summary			
Personalize Find View All First 1 of 1 Last			
Transaction Detail	Amount Detail	Salary Change Detail	Error Detail
Frequency	Currency Code	Transactions Increase	Transactions Decrease
		0	0
			Transactions No Change
			0
			Transactions in Error
			1
			Transactions Total
			0
			Details
Return to Inbound Status Monitor			

このページには、特定の行に関連する情報のサマリが表示されます。[詳細] リンクをクリックして、行の <インテグレーション オブジェクト> の詳細ページにアクセスできます。

変換エラー情報の確認

変換エラー情報の確認に使用するページ

ページ名	定義名	用途
変換エラー確認 - エラー サマリ ページ	FT_ERR_LOG_REVIEW	インバウンドおよびアウトバウンド プロセスに対する変換エラーを確認します。
変換エラー確認 - エラー データ ページ	FT_ERR_DATA_REVIEW	特定のエラーの詳細を確認します。
変換エラーレポート ページ	FT_ERR_LOG_RPT	特定の変換プロセス インスタンスに対するエラー一覧のレポートを作成します。

変換エラー確認 - エラー サマリ ページ

変換エラー確認 - エラー サマリ ページ (FT_ERR_LOG_REVIEW) を使用して、インバウンドおよびアウトバウンド プロセスに対する変換エラーを確認します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [変換エラー確認]

画像: 変換エラー確認 - エラー サマリ ページ

次の例では、"変換エラー確認 - エラー サマリ" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Transformation Error Review

Error Summary

Total Error Count 151,593

Display Criteria

*Integration Type Outbound

Run Control ID 0000

Error Type

☒ Show Summary by Object

Integration Object

Run ID

Process Instance 8638

Map Name SETID_XREF

☐ Show Required Fields Only

Display Summary

Clear Display

Error Summary

Personalize | Find | View 100 | 1-25 of 208 | Last

Error Type	Map Name▲	Source Value(s)	Integration Object	Source Record	Required	Error Count	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HGSID	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	8	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HKG01	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	3	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	GXSID	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	3	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HD001	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	3	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HXDE	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	1	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HXDE1	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	1	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	HNSID	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	5	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	FRA01	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	2	Error Data
Unable to map the DVM value(s)	SETID_XREF	G1USA	Outbound Location	LOCATION_TBL	Yes	3	Error Data

表示条件

このグループ ボックス内のフィールドを使用して、エラー サマリ ページに表示されるエラーを限定およびソートします。

インテグレーション タイプ

インバウンド または アウトバウンド プロセスのどちらのエラーを表示するかを選択します。[インバウンド] を選択した場合は、[実行 ID] フィールドが入力できるようになります。

実行 ID

エラーを表示する特定の実行 ID を入力します。

注: このフィールドは、インバウンド エラーにのみ適用されます。これは、Fusion Workforce Compensation プロセスの実行 ID を表します。

ラン コントロール ID

エラーを表示する特定のラン コントロール ID を入力します。

プロセス インスタンス

エラーを表示する特定のプロセス インスタンスを入力します。

エラー タイプ	表示するエラーのタイプを選択します。有効値は以下のとおりです。 <i>DVM マップのロード不可</i> <i>重複したコンテンツ アイテム名</i> <i>DVM 値のマップ不可</i> <i>複数職務の従業員</i> <i>オブジェクト全体を省略</i> <i>参照オブジェクトなし</i> <i>複数給与ベース</i> <i>ポジション上書き</i> <i>エラーのオブジェクトを参照</i> <i>XREF マップのロード不可</i> <i>XREF のマップ不可</i>
マップ名	エラーを表示する特定の値マップを入力します。
オブジェクト別サマリ表示	エラーをインテグレーション オブジェクト別にグループ化して [エラー サマリ] グループ ボックスに表示する場合にオンにします。デフォルトではこのチェック ボックスはオンになっています。オフにした場合、エラーはマップ名およびソース値別にグループ化されます。さらに、このチェック ボックスをオフにすると、[インテグレーション オブジェクト] および [必須フィールドのみ表示] は無効になります。
インテグレーション オブジェクト	エラーを表示する特定のインテグレーション オブジェクトを選択します。
必須フィールドのみ表示	[必須] 列の値が [はい] のエラーのみを表示する場合にオンにします。
サマリの表示	このボタンをクリックすると、選択した表示条件を満たすエラーが表示されます。
表示をクリア	このボタンをクリックすると、[エラー サマリ] グループ ボックスが非表示になります。

エラー サマリ

[サマリの表示] ボタンをクリックすると、選択した表示条件を満たす全てのエラーがこのグループ ボックスに表示されます。

エラー タイプ

エラー タイプの一覧です。有効値は以下のとおりです。

DVM マップのロード不可

重複したコンテンツ アイテム名

DVM 値のマップ不可

複数職務の従業員

オブジェクト全体を省略

参照オブジェクトなし

複数給与ベース

ポジション上書き

エラーのオブジェクトを参照

XREF マップのロード不可

XREF のマップ不可

マップ名

エラーに関連する値マップの名前がリストされます。この名前がリンクとして表示されている場合は、クリックして[ドメイン値マップ ページ](#)にアクセスできます。

ソース値

エラーに関連する元のソース値がリストされます。

インテグレーション オブジェクト

エラーに関連するインテグレーション オブジェクトがリストされます。インテグレーション オブジェクトは、処理対象のデータ タイプ、およびアウトバウンドかインバウンドかを表します。

ソースレコード

エラーに関連するデータが最初に格納されていたテーブルがリストされます。

必須

インテグレーション オブジェクトを Fusion に送信するために必須のデータがエラー行に関連付けられているかどうかを指定します。

行の値が [いいえ] の場合は、目標値が Null に設定され、関連するインテグレーション オブジェクトを Fusion に送信できます。

行の値が [はい] ("ハード エラー" と呼ばれる場合があります) の場合、関連するインテグレーション オブジェクトは Fusion に送信されません。

エラー件数

サマリのエラー行に関連する実際のエラー数がリストされます。

エラー データ

エラー行にあるこのリンクをクリックして、エラー データ ページにアクセスします。

変換エラーについて

次の表では、FT_EXTRACT プロセスで生成される可能性がある変換エラーについて説明します。

変換エラー	説明
DVM マップのロード不可	このエラー タイプは将来使用されます。
重複したコンテンツ アイテム名	2 つの JPM カタログ アイテム行のカタログ アイテム タイプ (JPM_CAT_TYPE) 値が同じです。これらの行はスキップされ、Fusion に送信されませんでした。
DVM 値のマップ不可	.DAT 出力ファイルにデータをロードする際に、PeopleSoft オブジェクト値に対してドメイン値マップのロード ページに設定した値に対応する Fusion DVM マップ値が見つかりませんでした。 たとえば、LEGAL_ENTITY_XREF DVM には、PSI、CWB、HX1、および GBI の各社に対するマップ値が定義されているとします。.DAT ファイルをロードする際、FT_EXTRACT プロセスは会社値が ACC のデータ行を検出しました。このデータ行は、[DVM 値のマップ不可] エラー タイプでログに記録されます。
複数職務の従業員	アクティブな職務が複数ある従業員がプロセスで検出されました (PeopleSoft HCM は複数職務の従業員に対応していますが、Fusion は対応していません)。
オブジェクト全体を省略	いずれかのオブジェクト行 (部門、勤務地、配属先など) にエラーがあり、プロセスではその行を強制的にスキップしました。Fusion では不完全なデータをロードできないため、エラーがあるのがオブジェクト行の 1 つのみであっても、不完全なデータが Fusion に送信されないようにオブジェクト全体とその全ての行がスキップされます。
参照オブジェクトなし	欠落しているか、移行プロセスに含まれていない別のオブジェクトを参照するオブジェクトが検出されました。
複数給与ベース	従業員の現在のアクティブな行に複数の給与行が含まれていました (PeopleSoft HCM は複数の給与行を含む従業員に対応していますが、Fusion は対応していません)。
終了行の更新	同じ日に終了行の前に異動行がある従業員が検出されました。この場合、終了行のみが Fusion に送信されます。

変換エラー	説明
ポジション 上書き	ポジション データが上書きされた従業員が検出されました。
エラーのオブジェクトを参照	オブジェクトの現在行に、スキップされるオブジェクトへの参照が含まれ、別のオブジェクトでこのオブジェクトが参照されています。
XREF マップのロード不可	このエラー タイプは将来使用されます。
XREF のマップ不可	オブジェクトの .DAT 出力ファイルにデータをロードする際に、元のオブジェクトが参照するオブジェクトの GUID が見つかりませんでした。

変換エラー確認 - エラー データ ページ

変換エラー確認 - エラー データ ページ (FT_ERR_DATA_REVIEW) を使用して、特定のエラーの詳細を確認します。

ナビゲーション

"変換エラー確認 - エラー サマリ" ページの [エラー データ] リンクをクリックします。

画像: 変換エラー確認 - エラー データ ページ

次の例では、"変換エラー確認 - エラー データ" ページのフィールドおよびコントロールを説明します。

Fusion Extract Error Data

Transformation Error Review

Error Data

Integration Type Outbound
Run Control ID 0000
Error Type Unable to map the DVM value(s)
Integration Object Outbound Location
Error Count 8
Source Value(s) HGSID

Process Instance 8638
Map Name SETID_XREF
Source Record LOCATION_TBL
Required Field Yes

Source Key Value(s)
Personalize | Find | View All |
First 1-8 of 8 Last

HGSID::903::1990-01-01
HGSID::905::1985-01-01
HGSID::910::1985-01-01
HGSID::911::1985-01-01
HGSID::912::1985-01-01
HGSID::913::1985-01-01
HGSID::HX901::1985-01-01
HGSID::HX902::1990-01-01

Return

このページには、エラーのソース キー値 (ソース レコードの行を検索するのに使用できる) と共に、エラー行に関してエラー サマリ ページに表示される全ての情報が表示されます。

変換エラー レポート ページ

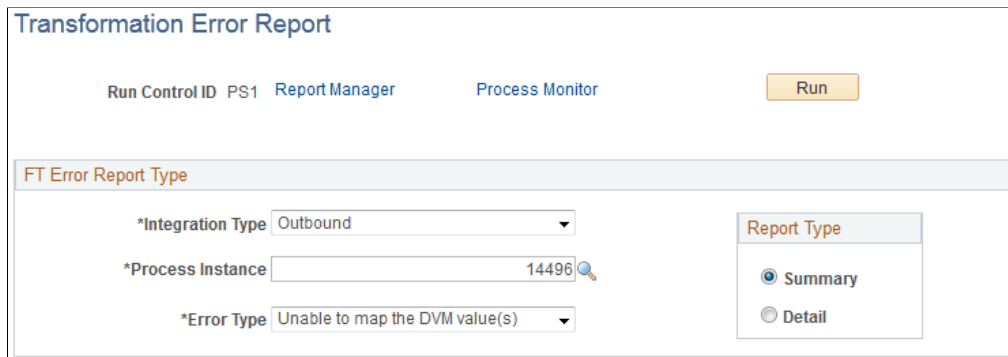
変換エラー レポート ページ (FT_ERR_LOG_RPT) を使用して、特定の変換プロセス インスタンスに対するエラー一覧のレポートを作成します。

ナビゲーション

[人事・労務管理], [一括更新処理], [Fusion 統合], [タレント/従業員報酬], [変換エラー レポート]

画像: 変換エラー レポート ページ

次の例では、変換エラー レポート ページのフィールドおよびコントロールを説明します。



インテグレーション タイプ

インバウンドまたは アウトバウンド インテグレーションのどちらのレポートを作成するかを選択します。

プロセス インスタンス

エラー レポートを作成するプロセスのインスタンス番号を入力します。

エラー タイプ

レポートを作成するエラー タイプを選択します。選択できるのは、選択したプロセス インスタンスに関してログに記録されたエラー タイプのみです。

グループ単位

レポートの結果をグループ化する際の単位として、[ビジネス ユニツト]、[部門]、または [所在地] を選択します。このフィールドは、レポート タイプとして [詳細] を選択した場合のみ使用可能になります。

レポート タイプ

このページを使用して、[サマリ] および [詳細] の 2 タイプのレポートを作成できます。

サマリ

プロセスで生成されたエラー タイプの一覧、およびエラーが発生した行の数が表示されるレポートを作成する場合に選択します。

詳細

エラーが発生した全てのエンティティに関する詳細情報が表示されるレポートを作成する場合に選択します。

グループ ビルドの導入 (開発者向け)

グループ ビルド機能を導入したアプリケーション プログラムまたはバッチ プログラムの作成

次の各トピックでは、以下の作業方法について説明します。

- PeopleCode API コールの導入
- PeopleSoft アプリケーション エンジン API コールの導入
- クライアント専用ワークフローの開発

PeopleCode API コールの導入

このトピックでは、開発者が作成しているアプリケーションでグループ ビルドを使用するために必要な処理について説明します。(このアプリケーションをクライアント アプリケーションと呼びます。)

注: トピック全体を一読してから、各手順を実行してください。

PeopleCode API コールを導入するには、次の手順に従います。

1. (省略可) グループ ビルドの結果テーブルを設定します。

グループ ビルドには、GB_GRP_RES_TBL という標準のグループ結果テーブルが用意されています。このテーブルには、ユーザーが作成したグループの結果が含まれ、その内容は全てグループ ビルド アプリケーションで管理されます。このテーブルは、グループ ビルドの結果の主要な保存場所であり、その結果はグループ ビルドを使う全てのアプリケーションで共有できます。このテーブルに対する行の追加、削除、または変更は行わないでください。

クライアント アプリケーション用に、行の追加、削除、変更ができるテーブルが必要な場合は、以下の任意の手順を実行する必要があります。作成したテーブルは、グループ ビルド アプリケーションの構築および消去の処理対象として扱われます。

ユーザー独自のテーブルを設定するには、以下の 2 つの方法があります。

- a. PeopleSoft アプリケーション デザイナにログ オンし、レコード GB_GRP_RES_TBL をコピーして MyClientModuleResultTable という名前を付けます。

このレコードは、クライアント アプリケーション用の結果テーブルになります。

- b. 新規レコード (MyClientModuleResultTable) を作成し、少なくともサブレコード GB_GRP_RES_SBR (カスタム結果テーブルの最小の構造) を挿入します。カスタム結果テーブルには、サブレコードに定義されたフィールドよりも多くのフィールドを含めることができます。ただし、標準クエリー GB_DEFAULT_QUERY を使用することはできません。カスタムの開発者クエリーを作成する必要があります。そこで追加したフィールドは [field (フィールド)] タブに表示されます。たとえば、結果テーブルを DEPTID として定義した場合、カスタム クエリーは以下のフィールドで定義します。
 - GB_QRY_LINK_VW の全てのフィールド
 - ユーザーの全ての追加フィールド
2. (省略可) クライアント アプリケーション レコードに 2 つのフィールドを追加して、グループ ID とグループ 指定日を格納します。この情報を記録する代わりに、ディライブド/ワークレコード (手順 3 参照)、またはシステム変数 (システム日付など) を使用することもできます。

PeopleSoft アプリケーション デザイナで、クライアント アプリケーション レコード (MyClientModuleRecord) に 2 つのフィールドを追加します。

 - GB_GROUP_ID フィールドを追加して、グループ ID を格納します。

このフィールドは、GB_GROUP_TBL でプロンプト表示されます。
 - MyAsOfDate フィールドを追加して、グループ 指定日を格納します。
3. PeopleSoft アプリケーション デザイナで、ディライブド/ワークレコードを作成してグループ作成ボタンを格納します。
 - a. 新しいレコード DERIVED_MyClientModule を作成するか、既存のディライブドレコードを使用します。
 - b. 新しいフィールド MyClientModule_GEN_BTN を作成します。
 - c. DERIVED_MyClientModule レコードに新しいフィールド MyClientModule_GEN_BTN を追加します。
4. PeopleSoft アプリケーション デザイナで、ワーク ページ GB_API_WRK をクライアント アプリケーション コンポーネントに含めます。
 - a. コンポーネント (MyClientModuleComponent) を開きます。このコンポーネントには、グループ ビルド API をコールするページ (MyClientModulePage) が含まれています。
 - b. MyClientModuleComponent にページ GB_API_WRK (グループ ビルド ワーク ページ) を挿入して非表示に設定します。

5. (省略可) PeopleSoft クエリーを使用して、グループを絞り込むために追加するクエリー、つまり開発者クエリーを定義します。
 - a. ビュー GB_QRY_LINK_VW を挿入します (必須)。
 - b. 結合および条件に必要なレコードを挿入します。
 - c. グループ ビルドの制約に従ってクエリーを作成します。

「グループ ビルド クエリーの制約 (開発者向け)」を参照してください。
 - d. [criteria (条件)] タブで必要なプロンプトを全て追加します。

プロンプト値は、GB_BIND API コールを使用してバインドされます。
 - e. クエリーが PUBLIC であることを確認します。
 - f. クエリーを MyDeveloperQueryName という名前で保存します。
6. カスタム フィールドをクライアント アプリケーション ページに追加します。
 - a. MyClientModuleRecord.GB_GROUP_ID フィールドを MyClientModulePage に追加します。
 - b. MyClientModuleRecord.MyAsOfDate フィールドを MyClientModulePage に追加します。
 - c. DERIVED_MyClientModule.MyClientModule_GEN_BTN グループ作成ボタンを MyClientModulePage に追加します。
7. グループ ビルド API へのコールを導入するための PeopleCode を追加します。

警告 グループ ビルド API へのコールは全て、クライアント アプリケーション ページのレベル 0 で実行する必要があります。

- a. グループ ビルド API へのコールは PeopleCode イベントの FieldChange で実行します。
 - b. PeopleCode イベントのプロパティをアプリケーション サーバーに設定します。
 - c. PeopleCode Event Properties (PeopleCode イベント プロパティ) ページで [Application Server (アプリケーション サーバー)] を選択します。

「PeopleCode API 関数」を参照してください。
8. グループがコンポーネントで使用可能かどうかを検証するために PeopleSoft セキュリティを導入します。
 - a. GB_GROUP_ID フィールドがページに含まれている必要があります。また、[Record Field Property (レコード フィールド プロパティ)] で [Prompt Table Edit (プロンプト テーブル編集)] を選択し、[GB_GROUP_SEC_VW] を指定する必要があります。

- b. DERIVED_XXX.PNLGRPNAME および DERIVED_XXX.OPRID をページのレベル 0 に追加します。これらのフィールドは、表示専用かつ非表示に設定する必要があります。

PeopleCode API 関数

このリストは、PeopleCode の関数ライブラリ (DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula) です。使用する API グループ、絞り込み用のクエリー名、結果テーブルを指定します。

- 使用するグループ、クエリー名、結果テーブルを指定します。

```
&ret_bool = GB_DECLARE(group_id, AsOfDate of the group, query_name, result_table_name)
```

- パラメータ group_id は必須です。
- パラメータ AsOfDate は必須です。
- パラメータ query_name で、絞り込むための開発者クエリーの名前を指定します。このパラメータは省略できます。デフォルトのクエリー名は、GB_DEFAULT_QUERY (ビューは PS_GB_QRY_LINK_VW) です。
- パラメータ result_table_name は、カスタム結果テーブルを作成した場合に必要です。このパラメータは省略できます。デフォルトの結果テーブルは、PS_GB_GRP_RES_TBL です。パラメータ result_table_name には、PS_MY_RESULT_TABLE など、完全な名前を指定する必要があります。
- 値をバインドします。

```
&ret_bool = GB_BIND(prompt_code, value)
```

- カスタム開発者クエリーでプロンプトが定義されている場合、値をバインドできます。標準クエリー GB_DEFAULT_QUERY を使用する場合、バインドされる値は絞込日のみです。その場合は、システムに用意されている API の GB_BIND_DATE を使用します。
- パラメータ prompt_code は、開発者クエリーにプロンプトとして定義する必要があります。
- パラメータ value は必須です。
- 標準クエリーの使用時に日付を絞込日としてバインドします。

```
&ret_bool = GB_BIND_DATE(value)
```

- この関数は、標準クエリー GB_DEFAULT_QUERY を使用しているときに使います。日付 (値) を絞込日としてバインドできます。
- パラメータ value は省略でき、絞込日を指定します。デフォルト設定は %date です。

- SQL ステートメントを作成、実行します。

```
&group_version_number = GB_EXEC(refresh_flag)
```

- この API により、SQL ステートメントが作成および実行されます。
- 作成されたグループのバージョン番号が返されます。
- パラメータ `refresh_flag` に *Y* を設定すると、この関数がコールされるたびに SQL ステートメントが作成されます。`refresh_flag` に *N* を設定すると、作成済みのグループが存在するかどうかを確認され、そのバージョン番号が返されます。グループが存在しない場合は、パラメータによって作成されます。パラメータ `refresh_flag` は必須です。
- 結果テーブルの内容を削除します。

```
GB_DELETE()
```

- 汎用ワークフローおよび専用ワークフローの使用可/不可の切り替えを行います。

```
GB_SET_JOB_WF(job_name)
```

- `job_name` の値に従って、汎用ワークフローと専用ワークフローの使用可/不可を切り替えます。必要に応じて、デフォルトのジョブ名 (汎用ワークフローに使用) の代わりにジョブ (`job_name`) を指定し、スケジュールに使用します。
- パラメータ `job_name` は省略できます。
- `job_name` を指定する場合は、ワークフローに関するトピックで説明されているように、`job_name` に指定した名前のジョブを PeopleSoft プロセス スケジューラで指定する必要があります。
- `job_name` にヌル以外の値を指定すると、対応するワークフローが使用可能になります。汎用ワークフローは使用不可能になります。
- `job_name` にヌルを指定すると、汎用ワークフロー (デフォルトのワークフロー) が使用可能になります。
- `DERIVED_MyClientModule.MyClientModule_GEN_BTN` の `PeopleCode` イベントの `FieldChange` で、次の 2 つのシナリオのいずれかに従って、以下のコードを追加します。

シナリオ 1

標準のグループ結果テーブルとクエリーを使ってグループビルド コールを導入する場合、DERIVED_MyClientModule.MyClientModule_GEN_BTN の PeopleCode イベント FieldChange は、以下ようになります。

```

Declare Function GB_DECLARE PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

Declare Function GB_BIND PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

Declare Function GB_EXEC PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

/* Use this instruction if you plan to use GB_GRP_RES_TBL */

GB_DECLARE (MyClientModuleRecord.GB_GROUP_ID, MyClientModuleRecord.MyAsOfDate, « »,⇒
« ») ;

/* Bind all parameters for the default Query : The Effdt of JOB */

GB_BIND_DATE(Any Date ) ;

/* Execute the SQL and fill the group result table */

&MyVersion = GB_EXEC ( « Y » ) ;    /* <Y> Forces to rebuild the group even if one i⇒
s available */

* The list of employees for the group is now available for your own usage */

/* The code presented above populates the Group Result table GB_GRP_RES_TBL */

/* You can now use this record to populate your scrolls or can be used as a join fo⇒
r a SQL Statement */

/* ADD YOUR CODE HERE */

/* Clear the group result table only in the case you know the group will not be use⇒
d anymore*/

[GB_DELETE() ;]

```

シナリオ 2

ユーザー独自のカスタム グループ結果テーブルとクエリーを使ってグループビルド コールを導入する場合、DERIVED_MyClientModule.MyClientModule_GEN_BTN の PeopleCode イベント FieldChange は、以下ようになります。

```

Declare Function GB_DECLARE PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

Declare Function GB_BIND PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

Declare Function GB_EXEC PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

/* Give your result table name to GB_DECLARE (STEP 1 must have been previously per⇒
formed) and your Query Name if you created one */

GB_DECLARE (MyClientModuleRecord.GB_GROUP_ID, MyClientModuleRecord. MyAsOfDate, « M⇒

```



```

yDeveloperQueryName », «MyClientModuleResultTable ») ;

/* Bind all parameters for MyDeveloperQueryName */

/* Each prompt in MyDeveloperQueryName must be binded */

GB_BIND (« :1 », MyClientModuleRecord.MyField1) ;

[...]

GB_BIND (« :n », MyClientModuleRecord.MyFieldn) ;

/* Or use local variable for binding */

GB_BIND (« :n », &MyLocalVarn) ;

/* Execute the SQL and fill the group result table */

&MyVersion = GB_EXEC ( « N » ) ;    /* <N> Don't rebuild the group if it is availabl⇒
e */

/* Employee group is now available for your module */

/* This populates the group result table MyClientModuleResultTable */

/* You can now use this record to populate your scrolls or work on this table... */

/* ADD YOUR CODE HERE */

/* Clear the group result table only in the case you know the group will not be use⇒
d anymore*/

[GB_DELETE() ;]

```

グループビルド クエリーの制約 (開発者向け)

PeopleTools クエリーの標準的な使用に際しては、以下のような制約があります。

- 開発者クエリーは、PUBLIC クエリーとして定義する必要があります。
- ユニオンは使用できません。
- 集計式は使用できません。
- ツリー オプションは式として使用できません。
- ビュー GB_QRY_LINK_VW をクエリーに含める必要があります。
- QUERY に追加するレコードには、最低 1 つの条件が必要です。
- プロンプトは、変数をバインドする式として使用できます。

PeopleSoft アプリケーション エンジン API コールの導入

このトピックでは、PeopleSoft アプリケーション エンジンを使用して、開発者が作成しているアプリケーションでグループビルドを使用するために必要な処理について説明します。(このアプリケーションをクライアント アプリケーションと呼びます。)

PeopleSoft アプリケーション エンジン API コールを導入するには、次の手順に従います。

1. PeopleSoft アプリケーション デザイナでラン コントロール ページを作成します。
2. 新しいラン コントロールのレコードを作成するか、既存のレコードを使用します。

このレコードには以下のものを追加します。

- パラメータ GB_GROUP_ID、GB_EFFDT、および GB_REFINE_DATE
- フィールド VERSIONGBQDM

3. PeopleSoft アプリケーション エンジンを使用して新しいプログラムを作成します。

このプログラムには、以下のものを含める必要があります。

- パラメータの抽出

Step01.SQL:

```
%Select(AE_GBP002_AET.GB_GROUP_ID, AE_GBP002_AET.GB_EFFDT, AE_GBP002_AET.GB_REFINE_DATE) SELECT GB_GROUP_ID , GB_EFFDT , GB_REFINE_DATE FROM P
S_RUN_CNTL_HR WHERE OPRID = %Bind(OPRID) AND RUN_CNTL_ID = %Bind(RUN_CN
TL_ID)
```

- グループ ビルド PeopleCode API へのコール

Step02.PeopleCode:

```
Declare Function GB_DECLARE PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;
Declare Function GB_BIND PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;
Declare Function GB_RESET PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormula;

Declare Function GB_BIND_DATE PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldFormul
a;

Declare Function GB_SET_PANELGROUP PeopleCode DERIVED_HR_GB.GB_API FieldF
ormula;

GB_SET_PANELGROUP("APPENGINE"); /* This is due to a tools issue and wil
l disappear as soon as the TPRD is closed */

GB_RESET();

&RET = GB_DECLARE(AE_GBP002_AET.GB_GROUP_ID, AE_GBP002_AET.GB_EFFDT, "", =>
"");

&RET = GB_BIND_DATE(AE_GBP002_AET.GB_REFINE_DATE);

AE_GB_API_AET.REFRESH_SW.Value = "N"; /* You can see that the REFRESH_F
LAG is set to "N" Equivalent to GB_EXEC("N"). As we can't call a section
with direct parameters, we must use the cache record of the AE API to pe
rform this operation */
```

- グループ ビルド AE API GB_EXEC へのコール

Step02.Call Section:

```
Call the section GB_API.GB_EXEC. You must not call GB_EXEC_LIB.GB_EXEC Di
rectly. You will always use the GB_API AppEngine Lib.
```

- グループのバージョン番号

Step01.SQL:

```
UPDATE PS_RUN_CNTL_HR SET VERSIONGBQDM = %Bind(AE_GB_API_AET.VERSIONGBQD⇒
M) WHERE OPRID = %Bind(OPRID) AND RUN_CNTL_ID = %Bind(RUN_CNTL_ID)
```

注: このグループを使って、ユーザー独自のアプリケーション エンジン処理を実行します。

- 4. ジョブを設定して、作成したばかりのグループに基づいたレポートを作成します。

SQR が起動すると、ラン コントロールレコードから GB_GROUP_ID VERSIONGBQDM (グループのバージョン) が返されます。これにより、グループをグループ結果テーブルから抽出し、印刷や処理を行うことができます。

PeopleCode API とアプリケーション エンジン API の相違点

質問	回答
PeopleCode API と PeopleSoft アプリケーション エンジン API の相違点	グループを作成するのに、この 2 つの API にはそれほど大きな違いはありません。 • どちらの API も、PeopleCode 関数 GB_DECLARE、GB_BIND または GB_BIND_DATE を使用します。 • PeopleCode API では、REFRESH_FLAG ("Y" または "N") をパラメータとして指定して GB_EXEC ("Y") をコールします。関数からはグループのバージョン番号が返されます。 • PeopleSoft アプリケーション エンジン API では、セクション GB_API.GB_EXEC をコールします。AE_GB_API_AET.REFRESH_SW の更新によって、コール前にリフレッシュ フラグが設定されます。また、キャッシュレコード AE_GB_API_AET.VERSIONGBQDM にあるグループのバージョンが検索されます。
PeopleSoft アプリケーション エンジンの PeopleCode ステップで直接 PeopleCode API を使用できない理由	PeopleTools には、以下の制約があります。 CallAppEngine() 関数は、アプリケーション エンジンの PeopleCode ステップに挿入する仕様にはなっていません。あるアプリケーション エンジン プログラムから別のアプリケーション エンジン プログラムをコールする必要がある場合、セクションの呼び出しアクションを使う必要があります。

クライアント専用ワークフローの開発

このトピックでは、ワークフロー導入の際に実行する必要がある追加手順について説明します。この専用ワークフローは、グループ ビルド アプリケーションでデフォルトで提供される一般的なワークフローを拡張したものです。ワークフローの導入は全て、クライアント アプリケーションの開発者が行います。このトピックでは、グループ ビルドのワークフローとワークフローの標準的な導入方法との主な相違点について説明します。

ビジネス プロセス図はグループ ビルドの汎用ワークフロー ビジネス プロセスと同じように見えますが、グループ ビルドの汎用ワークフローによって提供される情報を拡張するために、各クライアント アプリケーション用にビジネス プロセスを作成する必要があります。理由は以下のとおりです。

- ユーザー情報を拡張するためのワークリスト ルートでは、コール元のクライアント アプリケーション ページにユーザーが直接分岐されている必要があります。
- ビジネス イベントはクライアント アプリケーション ページからトリガされます。

ワークリストレコード テーブルには、クライアント アプリケーション ページにアクセスするためのキー フィールドが含まれている必要があるため、これらのフィールドをクライアント アプリケーション ページの適切なフィールドにマッピングします (ワークフローはコール元のページからトリガされます)。

メッセージ エージェントによって、専用ワークフローをトリガするためのデータがクライアント アプリケーション ページに入力されます。データベース エージェントでは、メッセージ エージェントの入力フィールドとして渡される値を検索するクエリが実行されます。つまり、データベース エージェント クエリによって、ワークフローをトリガするために必要なキー値と条件を取得する必要があるということになります。

クライアント専用テーブル レコード (MySpecificWorkflowTable) を新しく定義する必要があります。このレコードには、全てのクライアント アプリケーションのキー フィールド、グループ ID フィールド (GB_GROUP_ID)、およびバージョン フィールド (VERSIONGBQDM) が保存されます。(バージョン番号を取得するために) グループ ビルドをコールした後、MySpecificWorkflow テーブルにデータをロードします。

要約

クライアント アプリケーションの開発者は、以下の作業を行う必要があります。

1. ページ キー、グループ ID、およびバージョン番号の各フィールドを保存するために新規テーブル (MySpecificWorkflowTable) を定義します。
2. 新しいワークリスト テーブル レコードを定義します。
3. ワークフローのトリガを実行するディライブド/ワーク フィールドを定義します。
4. そのフィールドを非表示フィールドとして、クライアント アプリケーション ページに追加します。
5. グループ ビルドをコールする前にページ キー値を保存する PeopleCode を指定します。
6. キー フィールド値であるグループ ID、バージョン番号、ユーザー ID を取得するためのデータベース エージェント クエリを定義します。

7. ビジネス プロセス (アクティビティ、ステップ、ビジネス イベント、ワークリスト ルート、電子メール ルート、データベース エージェント、およびメッセージ エージェント) を設計し、必要な属性とフィールド マッピングを定義します。
8. PeopleSoft プロセス スケジューラで、カスタム データベース エージェント (MyDBAGProcess) 用に新しいプロセスを定義します。
9. PeopleSoft アプリケーション エンジン (アプリケーション エンジン GB_API でセクション GB_EXEC をコール) と、カスタム データベース エージェント プロセス (MyDBAGProcess) を順次処理するジョブ (MySpecificJobName) を新しく定義します。
10. この新しいジョブ名をパラメータとして、新しい API 関数 GB_SET_JOB_WF (MySpecificJobName) を介してグループ ビルドに渡します。API 関数 GB_SET_JOB_WF では、スケジュール対象の新しいジョブ名を渡し、専用ワークフローを使用可能にし、汎用ワークフローを使用不可にします。この関数のコールは、GB_EXEC のコールより先に行う必要があります。
11. MySpecificWorkflowTable に必要な情報を保存するための PeopleCode を追加します (次の手順を参照してください)。

MySpecificWorkflowTable に情報を保存するための PeopleCode を追加するには、次の手順に従います。

1. MySpecificWorkflowTable を、クライアント アプリケーション ページへのアクセスに必要なキー フィールドが全て記録されるように設計します。
 - a. 2 つのキー フィールド GB_GROUP_ID と VERSIONGBQDM をレコードに追加します。
 - b. ワークフロー フラグ WF_FLAG を追加します。
2. MySpecificWorkflowDerived/Work を設計します。
 - a. ワークフローをトリガする GB_TRIGGER_WF とルーティングで重要な OPRID の 2 つのフィールドを追加します。
 - b. これらのフィールドは非表示に設定します。
3. コール元のクライアント アプリケーション ページにルーティングするためのワークリスト レコード MyWorklistRecord を定義します。

BUSPROCNAME、ACTIVITYNAME、EVENTNAME、WORKLISTNAME、INSTANCEID、および TRANSACTIONID は、どのワークリスト レコードについても標準の必須フィールドです。

ページの全てのキー フィールドと、GB_GROUP_ID および VERSIONGBQDM フィールドを追加します。

4. データベース エージェント (DBAG) クエリーを定義します。

DBAG クエリーによって、グループ ID、グループのバージョン番号、およびユーザー ID といったクライアント アプリケーションのキー フィールド値がコールされます。

- a. PeopleSoft ツリー マネージャを使用して、次の手順で MySpecificWorkflowTable を HR ACCESS GROUP に追加します。
 - b. PeopleSoft クエリーに移動します。
 - c. MySpecificWorkflowTable と GB_GENERICWF をグループ ID およびバージョン番号で結合し、グループ ID、グループのバージョン番号、ワークフロー トリガ フラグ、およびユーザー ID といった特定のキー値を返すようにします。
 - d. グループ ID と バージョン番号の 2 つのプロンプトを条件に含めます。
 - e. クエリーをパブリック データベース エージェント クエリーとして、_DBAG_MySpecificWorkflowQuery という名前で保存します。
5. MySpecificBusinessProcess を設計します。
- a. PeopleSoft アプリケーション デザイナで、ビジネス プロセスを定義します。

MySpecificBusinessProcess には、以下の 2 つのアクティビティがあります。

MySpecificWorkflowModule

MySpecificWorkflowModuleResult

それぞれのアクティビティには、クライアント アプリケーション ページに分岐するステップが 1 つだけあります。
 - b. MySpecificWorkflowModule アクティビティに、ビジネス イベント、ワークリスト ルート、電子メール ルート、データベース エージェント、およびリンクを追加します。
 - c. 各アイテムとその必須属性を定義します。

ビジネス イベントは MySpecificWorkflowDerived/Work レコードからトリガされます。
 - d. [Edit Business Rules (ビジネス ルールの編集)] ボタンを使用してワークフロー PeopleCode を追加し、表示されているとおりにコードを記述して、TriggerBusinessEvent 関数をコールするための条件を指定します。トリガするビジネス プロセス、アクティビティ、およびビジネス イベントの各パラメータを正しく指定します。
 - e. Worklist Attributes (ワークリスト属性) ページで、手順 3 で定義したレコードをワークリストレコードとして選択します。ワークリスト (MySpecificWorkflowModuleResult) を実行するアクティビティを持つビジネス プロセスを指定します。
 - f. フィールド マッピングのページで、ワークリストレコードのフィールドとクライアント アプリケーション ページのキーをマッピングします。
 - g. OPRID フィールドについては、ロール名 Roleuser by Oprid Qry を選択し、OPRID クエリー変数を MySpecificWorkflowDerived/Work.OPRID フィールドにバインドします。

- h. 電子メール ルートについては、電子メールのフィールド (SUBJECT、NOTETEXT、TO、CC、および BCC) とアプリケーション フィールドの間にフィールド マッピングを定義します。
- i. データベース エージェント アイテムを定義します。

Message Attributes (メッセージ属性) ページでターゲット コンポーネントを定義し、クライアント アプリケーション コンポーネントへのパスを指定します。

[Query Name (クエリー名)] フィールドに、手順 4 で定義したデータベース エージェント クエリーを入力します。

クエリー選択のフィールド (2 列目) とクライアント アプリケーション ページのフィールド (最後の列) の間にマッピングを定義します。

- 6. PeopleSoft プロセス スケジューラへ移動し、MySpecificWorkflowDBAGProcess を定義します。
 - a. プロセス タイプが Database Agent の新しいプロセスをプロセス定義ページで追加します。
 - b. プロセス定義オプション ページで、値の追加モードでパラメータ リストを上書きし、以下をパラメータとして指定します。

E100 -T -L /A MySpecificWorkflowModule /MD MyDatabaseAgentName

kbind1=:DERIVED_HR_GB.GB_GROUP_ID2 -
kbind2=:DERIVED_HR_GB.VERSIONGBQDM

/A は、アクティビティ名を表します。

/MD は、メッセージ定義を表します。

-kbind1 および -kbind2 は、API ワーク ページのバインド変数です。

- 7. PeopleSoft プロセス スケジューラで、MySpecificWorkflowJob を定義します。

グループ ビルドの アプリケーション エンジン プロセス (GB_API.GB_EXEC をコールするプロセス) と MySpecificWorkflowDBAG データベース エージェント プロセスを順次処理する新しいジョブを追加します。

- 8. グループ ビルド API へのコールをクライアント アプリケーションに追加します。

グループ ビルド コール ボタンの PeopleCode イベント FieldChange で、「PeopleCode API コールの導入」トピックの手順 7 で説明されているように、グループ ビルド API を使用します。必ず GB_SET_JOB_WF 関数をコールして、専用ワークフローを使用可能に、汎用ワークフローを使用不可にしてください。

- 9. MySpecificWorkflowTable に必要な情報を保存するための PeopleCode を追加します。

グループ バージョンの使い方

次の各トピックでは、バージョン番号の概要とバージョンの使い方について、開発者向けに説明します。

バージョン番号について

グループを作成するたびに、バージョン番号が生成されてグループ結果テーブルに保存されます。以下のいずれかが、前回グループを実行したときから変更されている場合、新しいバージョン番号が自動的に生成され、結果テーブルが更新されます。

- グループ定義
- クエリー定義
- グループ作成に使用した全てのパラメータ (有効日付きの職務データを使用する場合など)

バージョンの使い方 (開発者向け)

このトピックを読む前に、「グループ ビルド機能を導入したアプリケーション プログラムまたはバッチ プログラムの作成」を参照してください。

アプリケーションにグループ ビルドを導入するには、以下の 2 つの方法があります。

- デフォルトの開発者クエリーを使用する方法
デフォルトの開発者クエリーでは、デフォルトのグループ結果テーブルを使用します。
- ユーザー独自のクエリーを作成する方法
ユーザー独自のクエリーを使用する場合、ユーザー独自のグループ結果テーブルを使用してパラメータやフィールドを追加定義できます。

ただし、ユーザー独自のグループ結果テーブルはデフォルトの開発者クエリーでも使用できます。また、デフォルトのグループ結果テーブルをユーザー独自のクエリーで使用することもできます。この場合、クエリーで選択されるフィールドがデフォルトのグループ結果テーブルの構造と一致していることが前提となります。

このため、グループを前回実行した後で以下のいずれかが変更された場合、そのグループは再作成され、バージョン番号が変更されます。

- 開発者によって追加されたクエリー定義
- グループ結果テーブル

注: GB_EXEC ("Y") をコールすると、バージョン採番機能をバイパスできます。その後、コールされるたびにグループは再作成されます。

注: 開発者クエリまたはユーザー クエリを使用する際には、GB_QRY_LINK_VIEW が JOB レコードに基づいていることに注意してください。グループ ビルドにより SQL が生成されるときには、GB_QRY_LINK_VIEW を参照している全ての箇所がシステムによって JOB レコードで置き換えられます。この処理の後、右辺と左辺のレコード フィールドが同じである行については、グループ ビルドは SQL 生成の際にその行を処理しません。

たとえば、クエリで GB_QRY_LINK_VIEW.EFFDT <= JOB.EFFDT という条件があり、グループ ビルドによりその条件が JOB.EFFDT <= JOB.EFFDT で置き換えられるとします。次に、左側の REC.FIELD と右側の REC.FIELD が同じなので、この行は削除されます。このため、クエリ回数がグループ ビルドから返されたものと異なる場合があります。

PeopleSoft HCM アプリケーションの診断プラグイン

PeopleTools 診断フレームワークについて

PeopleTools 診断フレームワークにより、アプリケーションの問題を調査するクエリーを実行し、その取得データを PeopleSoft のグローバル サポート センターと共有可能な標準フォーマットで出力できるインターフェイスが提供されます。

診断フレームワークでは、以下の機能が提供されます。

- 動的プロンプト (クエリーを限定し、トランザクション データを含めることが可能)
- HTML および XML による出力
- 送信機能 (出力データをグローバル サポート センターのアナリストの電子メール アドレスに直接送信可能)
- 行セット取得のサポート

HCM には、このバージョンに対応する、アプリケーション別のクエリーを含む多数の診断プラグインが標準で用意されています。一般出荷開始日以降に開発されたプラグインは、My Oracle Support に全て掲載されます。

『*PeopleTools: Data Management*』の「Running Diagnostics with Diagnostic Framework」を参照してください。

標準装備の HCM アプリケーション診断プラグイン

以下に、アプリケーション別に標準で提供される診断プラグインを示します。

ヒューマン リソース管理の基本福利厚生管理

基本福利厚生管理には、1 つのプラグインが標準で用意されています。

BA_EVENT_DIAGNOSTICS

以下は、BA_EVENT_DIAGNOSTICS プラグイン (福利厚生イベント定義とルール設定情報) についての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - イベント ルール ID
 - 有効日
- 福利厚生イベント設定と、それに関連付けられている保障コード ルールの診断が生成されます。

BAS_EVENT_RULE、BAS_EVENT_CLASS、BAS_CVG_CD_RULE という 3 つの主要テーブルからデータが抽出されます。この診断を使用して、Benefits Administration の処理で使用する処理用のデータベースで定義されている基となるデータを表示します。

ヒューマン リソース管理の基本報酬管理と予算計画

基本報酬管理と予算計画には、1 つのプラグインが標準で用意されています。

SP_DIAGNOSTICS_SALARY_STEP

以下は、SP_DIAGNOSTICS_SALARY_STEP プラグイン (給与ステップ詳細) についての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - セットID
 - 給与管理プラン
 - 等級
 - 有効日
- 指定したプランの給与ステップ詳細の診断が生成されます。

ePerformance - パフォーマンス管理

ePerformance-パフォーマンス管理には、次の 2 つのプラグインが標準で用意されています。

- 記入票テンプレート

注: この診断スクリプトは、ヒューマン リソース管理の記入票の管理でも使用できます。

- デバッグ/トレース結果

記入票テンプレート

以下は、記入票テンプレート プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - テンプレート ID

- 有効日
- 特定の記入票を作成した記入票テンプレートの構成の診断が生成されます。これにより、記入票に関する問題を解決する際に、グローバル サポート センターのアナリストに重要な情報を提供することができます。以下のテーブルがダンプされます。これらのテーブルは全て、テンプレート ID および有効日がキーに指定されています。
 - テンプレート ヘッダー (EP_TMPL_DEFN)
 - プロセスの関与者ロール (EP_TMPL_PARTIC)
 - 記入票セクション (EP_TMPL_SECTION)
 - ロールレベル ルール (EP_TMPL_ROLE)
 - 共通コンテンツ: 項目 (EP_TMPL_ITEM)
 - 共通コンテンツ: サブ項目 (EP_TMPL_SUBITEM)

デバッグ/トレース結果

以下は、デバッグ/トレース結果プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 記入票 ID
 - ユーザー ロール
- 標準装備のデバッグ/トレース機能によって作成されるデバッグ/トレース結果テーブル ビュー (EP_DBG_DIAG_VW) の診断が生成されます。このビューは、記入票 ID とユーザー ロールがキーに指定されています。

また、デバッグ/トレース結果照会ページの [PeopleSoft に送信] リンクをクリックすると、"診断プラグインの起動" ページが表示され、このデータを PeopleSoft に送信できます。

グローバル ペイロール

グローバル ペイロールには、以下のプラグインが標準で用意されています。

- GP_DIAG_000
- GP_DIAG_005
- GP_DIAG_010
- GP_DIAG_020
- GP_DIAG_030

- GP_DIAG_040
- GP_DIAG_100
- GP_DIAG_200

GP_DIAG_000

以下は、GP_DIAG_000 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、一般情報が返されます。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - オペレーティング システム
 - ISO の半角 3 文字の国コード
- 以下のテーブルおよび情報の診断が生成されます。
 - PSRELEASE (リリース情報)
 - PSOPTION (ライセンス情報)
 - PS_INSTALLATION (HCM インストール情報)
 - PS_GP_PIN (最終使用エレメント番号)
 - PS_GP_INSTALLATION (グローバル ペイロール インストール情報)
 - PS_MAINTENANCE_LOG (データベースに適用されたバンドルと修正)
 - PS_GP_COUNTRY (国情報)

注: 国コード パラメータが空白の場合、カレンダー グループの国情報が返されます。国コード パラメータが "ALL" (全て) の場合、全ての国情報が返されます。

GP_DIAG_005

以下は、GP_DIAG_005 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、ログ ファイルが返されます。

- ファイルへのフル パスとログ ファイル名がパラメータとして使用されます。
- フル パス + ログ ファイル名を入力 フィールドで指定したファイルの診断が生成されます。

GP_DIAG_010

以下は、GP_DIAG_010 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、COBOL プログラム用の SQL ステートメントが返されます。

- COBOL プログラム名がパラメータとして使用されます。

- PSSQLSTMT_TBL の診断が生成され、[COBOL プログラム名] フィールドで指定した COBOL 名に使用される全ての SQL ステートメントが返されます。

GP_DIAG_020

以下は、GP_DIAG_020 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、アプリケーション エンジン プログラム定義が返されます。

- アプリケーション エンジン プログラム名がパラメータとして使用されます。
- 以下のアプリケーション エンジン情報の診断が生成されます。
 - PSAEAPPLDEFN
 - PSAEAPPLSTATE
 - PSAESECTDTLDEFN
 - PSAESTEPDEFN
 - PSAESTEPMSGDEFN
 - PSAESTMTDEFN
 - PSSQLTEXTDEFN

GP_DIAG_030

以下は、GP_DIAG_030 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、エレメント定義が返されます。

- エレメント名 1 から 5 がパラメータとして使用されます。
- 5 つまでの各エレメント定義に対して、返されたエレメント タイプに基づき、以下のテーブルの診断が生成されます。
 - エレメント名情報 (PS_GP_PIN)
 - 休暇取得エレメント
(GP_ABS_TAKE、GP_ABS_TAKE_CFG、GP_ABS_TAKE_DAY、GP_ABS_TAKE_ELM、GP_ABS_TK_FC)
 - 累計エレメント (GP_ACCUMULATOR、GP_ACM_MBR)
 - アレイ エレメント (GP_ARRAY、GP_ARRAY_FLD、GP_ARRAY_KEY、GP_ARRAY_PRC)
 - ブラケット エレメント (GP_BRACKET)
 - カウント エレメント (GP_COUNT)
 - 日付エレメント (GP_DATE)
 - デュレーション エレメント (GP_DURATION、GP_DUR_GNRN)

- 支給および控除エレメント
(GP_ERN_DED、GP_ELM_DFN_SOVR、GP_PIN_CMPNT、GP_RCP_DED)
- エレメントグループ名 (GP_ELEM_GRP、GP_ELEM_GRP_MBR)
- 仮再計算エレメント
(GP_FC_IN、GP_FC_OUT、GP_FC_OUT_DTL、GP_FC_SEG、GP_FC_TBL)
- フォーミュラ エレメント
(GP_FORMULA、GP_FORMULA_CLUE、GP_FORMULA_DTL、GP_FORMULA_VAR)
- ジェネレーション コントロール エレメント (GP_GCTL、GP_GCTL_DTL)
- 再計算/履歴抽出ルール エレメント (GP_HIST_ELEM、GP_HIST_RULE)
- プロセス エレメント (GP_PROCESS、GP_PROCESS_DTL)
- 比例配分エレメント (GP_PRORATION)
- レート コード エレメント (GP_RATE_CODE)
- セクション エレメント (GP_SECTION、GP_SECTION_DTL)
- システム エレメント (GP_SYSTEM_PIN)
- 変数エレメント (GP_VARIABLE)
- 書込可能アレイ エレメント (GP_WA_ARRAY、GP_WA_FLD)

GP_DIAG_040

以下は、GP_DIAG_040 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、アレイおよび書込可能アレイ検証が返されます。

- ISO の半角 3 文字の国コードがパラメータとして使用されます。
- 以下のテーブルおよび情報の診断が生成されます。
 - PS_GP_DIAG_ARRAY_D (レコード定義と同期していない特定の国の全てのアレイ)
 - PS_GP_DIAG_WA_D (レコード定義と同期していない特定の国の全ての書込可能アレイ)

GP_DIAG_100

以下は、GP_DIAG_100 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、組織設定データが返されます。

- カレンダー グループ ID パラメータが使用されます。
- 以下のテーブルおよび情報の診断が生成されます。

- PS_GP_PYENT (支給元情報)
- PS_GP_PYENT_DTL (支給元の詳細情報)
- PS_GP_CAL_RUN (カレンダー グループ情報)
- PS_GP_CAL_RUN_DTL (カレンダー グループの詳細情報)
- PS_GP_CALENDAR (カレンダー情報)
- PS_GP_RUN_TYPE (実行タイプ情報)

GP_DIAG_200

以下は、GP_DIAG_200 プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、従業員情報が返されます。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 従業員 ID
 - 雇用レコード番号
 - カレンダー グループ ID
 - カレンダー ID
- 以下のテーブルおよび情報の診断が生成されます。
 - PS_GP_DIAG_JOB_D (給与データを含まない給与計算情報)
 - PS_GP_DIAG_EMPL_D (日付)
 - PS_GP_DIAG_CTR1_D (契約情報)
 - PS_WKFCNT_TYPE (関連契約情報)
 - PS_GP_DIAG_CTR2_D (関連契約情報)
 - PS_GP_PAYEE_DATA (受給者情報)
 - PS_GP_DIAG_PI_D (金額データを含まないポジティブ入力)
 - PS_GP_NET_DIST_DTL (銀行振込および支給情報)
 - PS_GP_RTO_TRGR (トリガ情報)
 - PS_GP_SEG_TRGR (関連トリガ情報)
 - PS_GP_DIAG_P_SEG_D (総支給および純支給データを含まない給与計算結果ヘッダー)

- PS_GP_DIAG_MSG_D (給与計算エラー メッセージ)

勤務管理

勤務管理には、以下のプラグインが標準で用意されています。

- TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_PAY
- TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_GRP
- TL_DIAGNOSTICS_TA_TACODE
- TL_DIAGNOSTICS_TA_RPTD_TIME
- TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_PAYTIME
- TL_DIAGNOSTICS_PT_DUP_SEQ
- TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_OFFSET
- TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEPRD
- TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEZONE
- TL_DIAGNOSTICS_SETUP_RULEPGM
- TL_DIAGNOSTICS_SETUP_EXWRKGRP
- TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TCD

TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_PAY

指定した期間の従業員の給与支給対象時間が表示されます。また、その期間に対して例外が作成された場合は、その例外も表示されます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_PAY プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 従業員 ID
 - 雇用レコード
 - 開始日
 - 終了日
- 以下の診断が生成されます。
 - TL_DU_TA_PT_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.TRC, A.TL_QUANTITY,
A.PAYABLE_STATUS FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A
```

- TL_DU_TA_EX_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EXCEPTION_ID, A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.EXCEPTION_SOURCE,
A.MSG_DATA1 FROM PS_TL_EXCEPTION A
```

- CreateSQL

```
SELECT %DateOut(EARLIEST_CHGDT), TA_STATUS FROM PS_TL_TR_STATUS WHERE
EMPLID= :1 AND EMPL_RCD = :2
```

TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_GRP

ラン コントロール ID に動的グループが含まれる場合、そのグループの従業員のリストが処理されます。これらの従業員は、処理終了日とその前の 31 日間にアクティブかどうかチェックされます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_TA_EMPL_GRP プラグインについての説明です。

- ラン コントロール ID がパラメータとして使用されます。
- 以下の診断が生成されます。

- TL_DU_TA_GRP_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.EFFDT, A.EMPL_STATUS FROM PS_JOB A
```

- SQLExec

```
SELECT %DATEOUT(A.THRUDATE) FROM PS_TL_TA_RUNCTL A WHERE
A.RUN_CNTL_ID=:1 AND A.OPRID=:2
```

- CreateSQL

```
SELECT DISTINCT A.EMPLID, A.EMPL_RCD FROM PS_JOB A WHERE (EXISTS
(SELECT 'X' FROM PS_TL_RUN_CTRL_GRP B WHERE B.RUN_CNTL_ID=:1 AND
B.GROUP_ID='Z' AND B.INCLUDE_EXCLUDE_IND='+' AND A.EMPLID=B.EMPLID AND
A.EMPL_RCD=B.EMPL_RCD ) OR EXISTS(SELECT 'X' FROM PS_TL_GROUP_DTL B1
WHERE B1.GROUP_ID IN (SELECT B.GROUP_ID FROM PS_TL_RUN_CTRL_GRP B
WHERE B.RUN_CNTL_ID=:1 AND B.GROUP_ID <> 'Z') AND A.EMPLID=B1.EMPLID
AND A.EMPL_RCD=B1.EMPL_RCD)) AND NOT EXISTS(SELECT 'X' FROM
PS_TL_RUN_CTRL_GRP B2 WHERE B2.RUN_CNTL_ID=:1 AND B2.GROUP_ID='Z'
AND B2.INCLUDE_EXCLUDE_IND='-' AND A.EMPLID=B2.EMPLID AND
A.EMPL_RCD=B2.EMPL_RCD) AND EMPL_STATUS='A' AND (A.EFFDT
=(SELECT MAX(EFFDT) FROM PS_JOB J1 WHERE A.EMPLID=J1.EMPLID AND
A.EMPL_RCD= J1.EMPL_RCD AND J1.EFFDT <=%DATEIN(:2) ) OR A.EFFDT
=(SELECT MAX(EFFDT) FROM PS_JOB J2 WHERE A.EMPLID=J2.EMPLID AND
A.EMPL_RCD=J2.EMPL_RCD AND J2.EFFDT >%DATEIN(:2) AND J2.EFFDT <=
%DATEIN(:3) AND J2.EMPL_STATUS='A'))
```

TL_DIAGNOSTICS_TA_TACODE

以下は、TL_DIAGNOSTICS_TA_TACODE プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、勤務時間管理プロセスで使用される SQL オブジェクト ID と SQL ステートメントのリストが表示されます。

- SQL オブジェクト ID がパラメータとして使用されます。
- TL_DU_TA_SQL_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT A.SQLID, A.SQLTEXT FROM PSSQLTEXTDEFN A
```

TL_DIAGNOSTICS_TA_RPTD_TIME

[レポート時間のステータス] フィールドに入力した値に基づき、指定期間での従業員のレポート時間の詳細が表示されます。従業員 ID を入力しない場合、指定した期間およびレポート時間のステータスに適合する全ての従業員が表示されます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_TA_RPTD_TIME プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 従業員 ID
 - レポート時間のステータス
 - 開始日
 - 終了日
- 以下の診断が生成されます。
 - TL_DU_TA_RPT_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.PUNCH_TYPE, A.PUNCH_DTTM,
A.TASKGROUP, A.TASK_PROFILE_ID, A.TRC, A.TL_QUANTITY, B.XLATLONGNAME
FROM PS_TL_RPTD_TIME A, XLATTABLE_VW B WHERE B.FIELDNAME =
'REPORTED_STATUS' AND B.FIELDVALUE = A.REPORTED_STATUS
```

- TL_DU_TA_RPL_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.PUNCH_TYPE, A.PUNCH_DTTM,
A.TASKGROUP, A.TASK_PROFILE_ID, A.TRC, A.TL_QUANTITY, B.XLATLONGNAME
FROM PS_TL_RPTD_TIME A, XLATTABLE_LNG B WHERE B.FIELDNAME =
'REPORTED_STATUS' AND B.FIELDVALUE = A.REPORTED_STATUS
```

- SQLExec

```
SELECT A.XLATLONGNAME FROM XLATTABLE_VW A WHERE
A.FIELDNAME='REPORTED_STATUS' AND %Upper(A.XLATLONGNAME) = :1
```

- SQLExec

```
SELECT A.XLATLONGNAME FROM XLATTABLE_LNG A WHERE
A.FIELDNAME='REPORTED_STATUS' AND %Upper(A.XLATLONGNAME) = :1
```

- CreateSQL

```
SELECT A.XLATLONGNAME FROM XLATTABLE_VW A WHERE
A.FIELDNAME='REPORTED_STATUS'
```

- CreateSQL

```
SELECT A.XLATLONGNAME FROM XLATTABLE_LNG A WHERE
A.FIELDNAME='REPORTED_STATUS'
```

TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_PAYTIME

以下は、TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_PAYTIME プラグインについての説明です。このプラグインを使用すると、指定期間に給与支給ステータスが "給与計算で却下" になっている、給与支給対象時間が表示されます。

- 以下の追加パラメータが使用されます。

- 開始日
- 終了日

- 以下の診断が生成されます。

- TL_DU_PT_PT_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.TL_QUANTITY, B.XLATSHORTNAME
FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A, XLATTABLE_VW B WHERE ((A.PAYABLE_STATUS
='RP' AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS
='CL' AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS ='TP'
AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS ='SP' AND
A.PAYROLL_REQ_NUM <>0) ) AND B.FIELDNAME='PAYABLE_STATUS' AND
B.FIELDVALUE = A.PAYABLE_STATUS
```

- TL_DU_PT_PTL_VW ビューの SQL

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.TL_QUANTITY, B.XLATSHORTNAME
FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A, XLATTABLE_LNG B WHERE ((A.PAYABLE_STATUS
='RP' AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS
='CL' AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS ='TP'
AND A.PAYROLL_REQ_NUM =0) OR (A.PAYABLE_STATUS ='SP' AND
A.PAYROLL_REQ_NUM <>0) ) AND B.FIELDNAME = 'PAYABLE_STATUS' AND
B.FIELDVALUE = A.PAYABLE_STATUS
```

TL_DIAGNOSTICS_PT_DUP_SEQ

TL_DIAGNOSTICS_PT_DUP_SEQ プラグイン (相殺対象の重複連番のリストを表示) を使用すると、TL_DU_PT_SEQ_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT A.SEQ_NBR, COUNT(*) FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A GROUP BY A.SEQ_NBR
HAVING COUNT(*) > 1
```

TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_OFFSET

TL_DIAGNOSTICS_PT_INV_OFFSET プラグイン (給与計算で却下されている給与支給対象時間の相殺のリストを表示) を使用すると、TL_DU_PT_OFF_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT A.EMPLID, A.EMPL_RCD, A.DUR, A.SEQ_NBR, A.TL_QUANTITY,
A.PAYABLE_STATUS, A.RECORD_ONLY_ADJ, A.ORIG_SEQ_NBR FROM
PS_TL_PAYABLE_TIME A WHERE EXISTS (SELECT 'X' FROM PS_TL_PAYABLE_TIME C
WHERE A.EMPLID = C.EMPLID AND A.EMPL_RCD = C.EMPL_RCD AND A.DUR = C.DUR AND
A.ORIG_SEQ_NBR = C.SEQ_NBR AND C.ORIG_SEQ_NBR <> 0 AND C.RECORD_ONLY_ADJ
= 'N' AND C.PAYABLE_STATUS NOT IN ('ES','NA') AND C.TL_QUANTITY > 0 AND NOT
EXISTS (SELECT 'X' FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A2 WHERE A2.EMPLID = C.EMPLID AND
A2.EMPL_RCD = C.EMPL_RCD AND A2.DUR = C.DUR AND A2.ORIG_SEQ_NBR = C.SEQ_NBR
AND A2.TL_QUANTITY < 0)) OR EXISTS (SELECT 'X' FROM PS_TL_PAYABLE_TIME
C1 WHERE A.EMPLID = C1.EMPLID AND A.EMPL_RCD = C1.EMPL_RCD AND
A.DUR = C1.DUR AND A.ORIG_SEQ_NBR = C1.SEQ_NBR AND C1.ORIG_SEQ_NBR = 0 AND
C1.RECORD_ONLY_ADJ = 'N' AND C1.PAYABLE_STATUS NOT IN ('ES','NA') AND EXISTS
(SELECT 'X' FROM PS_TL_PAYABLE_TIME A1 WHERE A1.EMPLID = C1.EMPLID AND
A1.EMPL_RCD = C1.EMPL_RCD AND A1.DUR = C1.DUR AND A1.TL_QUANTITY < 0 AND
A1.ORIG_SEQ_NBR = C1.SEQ_NBR))
```

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEPRD

このプラグインを使用すると、PS_TL_WRKGRP_TBL からワークグループが取得され、指定期間以外で作成された期間 ID と共に表示されます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEPRD プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 開始日
 - 終了日
- TL_DU_ST_TP_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT PERIOD_ID, WORKGROUP FROM PS_TL_WRKGRP_TBL
CreateSQL:SELECT
DISTINCT A.PERIOD_ID FROM PS_TL_TIME_PERIODS A WHERE A.PERIOD_ID
NOT IN (SELECT DISTINCT B.PERIOD_ID FROM PS_TL_CALENDAR B WHERE
((%DateIn(:1)>B.START_DT AND %DateIn(:2)<B.END_DT) OR (%DateIn(:1)<B.END_DT AND
%DateIn(:2)>B.START_DT)))
```

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEZONE

このプラグインを使用すると、入力した従業員 ID に基づいて従業員のタイムゾーンが取得され、指定期間内のタイムゾーンの時差が表示されます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TIMEZONE プラグインについての説明です。

- 以下の追加パラメータが使用されます。
 - 従業員 ID
 - 開始日
 - 終了日
- SQL 実行の診断が生成されます。

```
SELECT B.TIMEZONE FROM PS_TL_EMPL_DATA B WHERE B.EMPLID= :1 AND
B.EFFDT=(SELECT MAX(EFFDT) FROM PS_TL_EMPL_DATA A WHERE A.EMPLID=:1 AND
A.EFFDT<=%DateIn(:2) AND A.TIME_RPTG_STATUS='A')
```

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_RULEPGM

このプラグインを使用すると、ルール プログラムが割り当てられていないワークグループのリストが表示されます。

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_RULEPGM プラグインにより、TL_DU_ST_RUL_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT A.WORKGROUP FROM PS_TL_WRKGRP_TBL A WHERE A.RULE_PGM_ID = ''
```

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_EXWRKGRP

プラグインには、スケジュール ID のない全ての例外タイムレポーター タイプ ワークグループのリストが表示されます。例外タイムレポーター タイプのワークグループは、スケジュール ID が関連付けられていない場合に表示されます。

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_EXWRKGRP プラグインにより、TL_DU_ST_SCH_VW ビューの SQL の診断が生成されます。

```
SELECT A.WORKGROUP FROM PS_TL_WRKGRP_TBL A WHERE A.TIME_RPTG_TYPE = 'E'
AND A.SCHEDULE_ID=' '
```

TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TCD

このプラグインを使用すると、TCD 設定データが検証されます。指定した TCD ID に基づいて、TCD (メッセージ ノード名)、メッセージ名、メッセージ ステータス、トランザクション ステータス、およびトランザクション タイプが追跡されます。また、インテグレーション タイプについても検証が行われます。フラット ファイル インテグレーションにインバウンドおよびアウトバウンド ディレクトリが指定されているかどうかを示されます。

以下は、TL_DIAGNOSTICS_SETUP_TCD プラグインについての説明です。

- TCD ID がパラメータとして使用されます。
- 以下の診断が生成されます。

- TL_DU_ST_TCD_VW ビューの SQL

```
SELECT A.RQSTMSGNAME, A.MSGNODENAME, B.MSGSTATUS,
C.XLATSHORTNAME, A.EFF_STATUS FROM PSNODETRX A, PSMGDEFN
B, XLATTABLE_VW C WHERE A.RQSTMSGNAME=B.MSGNAME AND
C.FIELDNAME='TRXTYPE' AND C.FIELDVALUE=A.TRXTYPE
```

- CreateSQL

```
SELECT A.XLATSHORTNAME, A.FIELDVALUE FROM XLATTABLE_VW A
WHERE A.FIELDNAME = 'INTEGRATION_TYPE' AND A.FIELDVALUE=(SELECT
B.INTEGRATION_TYPE FROM PS_TL_TCDDEF_TBL B WHERE B.TCD_TYPE_ID=:1
AND B.EFFDT = (SELECT MAX(B1.EFFDT) FROM PS_TL_TCDDEF_TBL B1 WHERE
B1.TCD_TYPE_ID=:1))
```

- CreateSQL

```
SELECT A.XLATSHORTNAME, A.FIELDVALUE FROM XLATTABLE_LNG A
WHERE A.FIELDNAME = 'INTEGRATION_TYPE' AND A.FIELDVALUE=(SELECT
B.INTEGRATION_TYPE FROM PS_TL_TCDDEF_TBL B WHERE B.TCD_TYPE_ID=:1
AND B.EFFDT=(SELECT MAX(B1.EFFDT) FROM PS_TL_TCDDEF_TBL B1 WHERE
B1.TCD_TYPE_ID=:1))CreateSQL:SELECT FILE_OUTPUT_DIR, FILE_ARCHIVE_DIR
FROM PS_TL_INSTALLATION
```


PeopleSoft HCM の標準ワークフロー

一般ワークフロー情報

1 人の従業員が日常業務として行うタスクの多くは、複数のステップで構成される大きなタスクの一部であり、複数の人がそのタスクに携わっています。たとえば、PeopleSoft ヒューマン リソース管理を使用して従業員の入社手続きをする場合、以下のように、実際には複数の担当者が手続きにかかわります。

- 福利厚生の手続きをする人
- 必要な備品を検討して承認する人
- 給与計算用に税金情報を入力する人

PeopleSoft のワークフローによって、このプロセス全体が自動化されます。他のプロセスも同様です。

注: HCM システムにはワークフロー ビジネス プロセスがいくつか用意されていますが、初期設定では全てのワークフローがオフになっています。ワークフローを使用するには、PeopleSoft のワークフロー設定をオンにしておく必要があります。

注: [HCM 基本設定], [共通定義], [セルフサービス] メニューの順にクリックし、このメニューに含まれる各コンポーネントを使用して、PeopleSoft セルフ サービス アプリケーションのワークフローを設定する必要があります。

「セルフサービス トランザクションにおけるワークフローの使い方」を参照してください。

メッセージ エージェントを使ったロール ユーザーの作成

PeopleSoft HCM には、アクティブな職務レコードがある従業員全員を自動的にロール ユーザーとして入力するためのメッセージ エージェントが用意されています。

ユーザー プロファイル コンポーネントで従業員を 1 人ずつロール ユーザーとして手動入力することもできますが、ユーザーとして指定する従業員の数が多い場合、この処理は非常に面倒な作業です。一部のワークフロー プロセスでは、組織の全従業員が対象になることもあります。メッセージ エージェントを使用すると、従業員をワークフローのロール ユーザーに変換する時間を大幅に短縮できます。

動的ロール ユーザー クエリーの使い方

監督者のロールが関係するワークフローの開始時には、稼動中のヒューマン リソース管理データベースでクエリーを実行する 3 つの動的 SQR のうちの 1 つを使用します。PeopleSoft ヒューマン リソース管理システムのポジション管理の運用方法 (全体、一部、なしのいずれか) に合わせて、これらのロール ユーザーク

エリーのうち 1 つを選択し、監督者のルートに割り当てます。次の表は、選択可能なロール クエリーのリストです。自社の人事管理方法に適したものを 1 つ選択します。

ポジション管理の運用状態	クエリー
全体をポジション管理	[ROLE] 監督者全体ポジション管理
なし (ポジション管理がオフ)	[ROLE] 監督者ポジション管理なし
一部をポジション管理	[ROLE] 監督者一部ポジション管理

動的ロール ユーザー クエリーを使うと、監督者のロール ユーザーの割り当てが、稼働中のヒューマン リソース管理データと同様、正確なものになります。また、この動的クエリーを使うと、監督者の人事データをヒューマン リソース管理システムとロール ユーザー テーブルの 2 か所で管理する必要がなくなります。

デフォルトのクエリーは [ROLE] 監督者一部ポジション管理ロール ユーザー クエリーです。PeopleTools の一般的なワークフローでは、全てこのクエリーが使われます。クエリーの対象となるのは、稼働中のヒューマン リソース管理データベースではなく、ロール ユーザー テーブルです。

他の 2 つの監督者のロール ユーザー クエリーを PeopleSoft ワークフローで使う場合は、監督者が含まれるルートを全て修正する必要があります。

教育・研修管理の標準ワークフロー

このトピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の教育・研修管理ワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

研修リクエストの承認イベント

このトピックでは、研修リクエストの承認イベントワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者をコースに登録すると、HR Technical/Admin にワークリスト アイテムが送信され、研修リクエストに対する確認および承認の指示が通知されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	TRN_STUDNT_CRS_DT2
ワークフロー アクション	自動
ロール	HR 技術管理者
電子メール テンプレート	研修の承認ワークリスト
ビジネス プロセス	研修リクエストの承認
ビジネス アクティビティ	APPROVE_TRAINING_REQ_USF
ビジネス イベント	研修リクエストの承認イベント

研修の承認イベント

このトピックでは、研修の承認イベント ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者をコースに登録すると、研修管理者にワークリスト アイテムが送信され、承認の指示が通知されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	TRN_STUDNT_CRS_DT2
ワークフロー アクション	自動
ロール	研修管理者
電子メール テンプレート	研修リクエストの承認ワークリスト
ビジネス プロセス	研修リクエストの承認
ビジネス アクティビティ	AUTHORIZE_TRAINING_REQ_USF

情報タイプ	説明
ビジネス イベント	研修の承認イベント

研修リクエスト イベント (CSE)

このトピックでは、研修リクエスト イベント (CSE) ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者をコースに登録すると、監督者一部ポジション管理にワークリスト アイテムが送信され、研修リクエストに対する確認および承認の指示が通知されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	COURSE_ENROLLMENT1
ワークフロー アクション	自動
ロール	監督者一部ポジション管理
電子メール テンプレート	研修リクエスト ワークリスト (CSE)
ビジネス プロセス	コース セッション登録
ビジネス アクティビティ	REQUEST_TRAINING_USF
ビジネス イベント	研修リクエスト イベント (CSE)

研修リクエスト イベント (SCE)

このトピックでは、研修リクエスト イベント (SCE) ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者をコースに登録すると、監督者一部ポジション管理にワークリスト アイテムが送信され、研修リクエストに対する確認および承認の指示が通知されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	CRSE_ENRL_WL
ワークフロー アクション	自動
ロール	監督者一部ポジション管理
電子メール テンプレート	研修リクエスト ワークリスト (SCE)
ビジネス プロセス	受講者コース登録
ビジネス アクティビティ	REQUEST_TRAINING_USF
ビジネス イベント	研修リクエスト イベント (SCE)

研修リクエスト イベント (ST)

このトピックでは、研修リクエスト イベント (ST) ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者をコースに登録すると、監督者一部ポジション管理にワークリスト アイテムが送信され、研修リクエストに対する確認および承認の指示が通知されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	TRN_STUDNT_CRS_DT2
ワークフロー アクション	自動
ロール	監督者一部ポジション管理
電子メール テンプレート	研修リクエスト ワークリスト (ST)
ビジネス プロセス	研修受講履歴
ビジネス アクティビティ	REQUEST_TRAINING_USF
ビジネス イベント	研修リクエスト イベント (ST)

送信の確認

このトピックでは、確認の送信ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	受講者がクラスに登録されると、その受講者には登録されたコースの詳細が記載された電子メールが届きます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	RUNCTL_TRN001
ワークフロー アクション	自動
ロール	研修管理者
電子メール テンプレート	受講者確認
ビジネス プロセス	研修通知
ビジネス アクティビティ	研修データのレポート

情報タイプ	説明
ビジネス イベント	送信の確認

キャンセルの送信

このトピックでは、キャンセルの送信ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	コースがキャンセルされた場合、そのコースに登録されている受講者にはキャンセルされたコースの詳細が記載された電子メールが届きます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	RUNCTL_TRN001
ワークフロー アクション	自動
ロール	研修管理者
電子メール テンプレート	受講者キャンセル
ビジネス プロセス	研修通知
ビジネス アクティビティ	研修データのレポート
ビジネス イベント	キャンセルの送信

スケジュール変更の送信

このトピックでは、スケジュール変更の送信ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	コースのスケジュール変更が行われた場合、そのコースに登録されている受講者にはコースの新しいスケジュールが記載された電子メールが届きます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	RUNCTL_TRN001
ワークフロー アクション	自動
ロール	研修管理者
電子メール テンプレート	受講者スケジュール変更
ビジネス プロセス	研修通知
ビジネス アクティビティ	研修データのレポート
ビジネス イベント	スケジュール変更の送信

人事・労務管理の標準ワークフロー

このトピックでは、人事・労務管理ワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

(USF) 60 日確認

このトピックでは、60 日確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
アクション内容	終身在職権の変更を識別するために実行される '60 日終身在職権の通知' プロセスでは、次の 60 日以内に終身在職権への変更日を迎える従業員全ての監督者にワークリスト アイテムが送信されます。 試用期間終了を識別するために実行される '60 日試用期間終了通知' プロセスでは、次の 60 日以内に試用期間終了日を迎える従業員全ての監督者にワークリスト アイテムが送信されます。 WGI (予定昇給) を識別するために実行される '60 日 WGI 通知' プロセスでは、次の 60 日以内に予定昇給が行われる従業員全ての監督者にワークリスト アイテムが送信されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	GVT_60_DAY_REV
ワークフロー アクション	手動
ロール	監督者一部ポジション管理
電子メール テンプレート	終身在職権の変更ワークリスト 試用期間終了通知ワークリスト 予定昇給通知ワークリスト
ビジネス プロセス	60 日通知選択
ビジネス アクティビティ	ROUTE_TO_WORKLIST
ビジネス イベント	終身在職権変更の通知イベント 試用期間終了の通知イベント 予定昇給の通知イベント

(USF) 汎用

このトピックでは、汎用ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	これは管理者セルフサービス通知用の共通電子メールおよびワークフロー イベントです。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	EE_HR_PROC
ワークフロー アクション	手動
ロール	従業員 ID によるロールユーザー
電子メール テンプレート	電子メール通知 FE_HR_ADMIN_WL
ビジネス プロセス	FE_NOTIFY_HR_ADMIN
ビジネス アクティビティ	FE_NOTIFY_HR_ADMIN
ビジネス イベント	電子メール通知 HR 管理者に通知

従業員の入社手続き

このトピックでは、従業員の入社手続きワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員の入社手続きビジネス イベントは、新しい従業員が採用されるたびに開始します。入社手続きビジネス プロセス全体がこの 1 つのイベント内で発生します。ワークフローにより、入社手続き処理を行う必要のある組織内の各ロールに対して、新入社員に関する通知が送信されます。 フランスで従業員を採用した場合は、各イベントの人事管理者に対しても電子メールまたはワークリスト アイテムが自動送信されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	福利厚生管理者 - 福利厚生管理者に対し、新規採用者の福利厚生登録管理アクティビティの開始を指示する電子メールが送信されます。 施設管理者 - 施設管理者に対し、会社資産コンポーネントで新規採用者に必要な備品を支給することを指示する電子メールが送信されます。 (USF) MIS 管理者 - MIS 管理者に新規採用について知らせる電子メールを送信します。ログイン ID/PC 設備を適切に設定できます。 給与計算管理者 - 給与計算管理者に対し、新規採用者の控除データの更新アクティビティの開始を指示する電子メールが送信されます。 研修管理者 - 研修管理者に対し、受講者の登録アクティビティを開始して、新規採用者を会社のオリエンテーションに登録することを指示する電子メールが送信されます。 変動報酬管理者 - 変動報酬管理者に対し、新規採用者に関する情報を示し、その新規採用者を報酬プランに含めることができるかどうかを決定することを指示する電子メールが送信されます。 福利厚生管理者 - 福利厚生管理者に対し、新規採用者の福利厚生登録管理アクティビティの開始を指示するワークリストアイテムが送信されます。 施設管理者 - 施設管理者に対し、会社資産コンポーネントで新規採用者に必要な備品を支給することを指示するワークリストアイテムが送信されます。 給与計算管理者 - 給与計算管理者に対し、新規採用者の控除データの更新アクティビティの開始を指示するワークリストアイテムが送信されます。 研修管理者 - 研修管理者に対し、受講者の登録アクティビティを開始して、新規採用者を会社のオリエンテーションに登録することを指示するワークリストアイテムが送信されます。 人事管理者 (FRA) に対し、入社日前に最低限の必須情報が記載された個人別採用明細を送信することを確認する電子メールが送信されます。

情報タイプ	説明
	HR 管理者 (FRA) に対し、入社日前に最低限の必須情報が記載された個人別採用明細を送信することを確認するワークリスト アイテムが送信されます。
アクション内容 (続き)	HR 管理者 (FRA) に対し、新規採用者が将来日付の採用日でシステムに追加された際に、電子メールが送信されます。これにより、HR 管理者に対し、入社日前に最低限の必須情報が記載された個人別採用明細を送信するように警告されます。 HR 管理者 (FRA) に対し、新規採用者がシステムに追加され、その新規採用者に関する追加情報が必要になった場合に、ワークリスト アイテムが送信されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	JOB_DATA_EMP EE_HIRE
ワークフロー アクション	自動
ロール	福利厚生管理者 施設管理者 MIS 管理者 給与計算管理者 研修管理者 変動報酬管理者 HR 管理者 FRA ワークリスト管理者

情報タイプ	説明
電子メール テンプレート	福利厚生管理者 施設管理者 MIS 管理者 給与計算管理者 研修管理者 VC_HIRE_EMAIL 個人別採用明細 SHS_EMAIL_DELAY 従業員情報の完了
ビジネス プロセス	人事・労務管理 従業員の採用 ADMINISTER_WORKFORCE_USF REPORT_REGULATIONS
ビジネス アクティビティ	人材の採用 人材の採用 (USF) HIRE_WORKFORCE_FRA
ビジネス イベント	従業員の入社手続き VC_HIRE_EVENT SHS_HIRE_EVENT SHS_HIRE_DELAY SHS_HIRE_INFO

職務データの管理

このトピックでは、職務データの管理ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
アクション内容	従業員の勤務開始日に変更があると、福利厚生に関して適切な処理が行えるように、福利厚生管理者に対して電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 複数の職務を持つ従業員に人事異動が実行された場合、福利厚生管理者にワークリスト アイテムが送信され、主雇用レコード インジケータおよび主雇用レコード フラグを確認する指示が通知されます。 変動報酬 (VC) 管理者に対して、変更を確認し、必要に応じて適切な処理が行えるように、電子メールが送信されます。 従業員の福利厚生システムに変更があると、福利厚生に関して適切な処理が行えるように、福利厚生管理者に対して電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 従業員の職務レコードに変更があり、追加または変更されたアクションが株式措置理由テーブル ページで定義した株式措置と一致する場合、株式管理者に対して、適切な処理が行えるようにワークリスト アイテムが送信されます。 (経営協議会固有) HR 管理者が職務変更リクエストについての決定をすると、経営協議会に対して、確認を指示する電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 (経営協議会固有) HR 管理者が職務変更リクエストについての決定をすると、従業員に対して、その決定を通知する電子メールが送信されます。 (経営協議会固有) HR 管理者が職務変更リクエストについての決定をすると、新管理者に対して、その決定を通知する電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 (経営協議会固有) HR 管理者が職務変更リクエストについての決定をすると、現管理者に対して、その決定を通知する電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 (経営協議会固有) HR 管理者が従業員の職務変更をリクエストすると、そのリクエストは電子メールおよびワークリスト アイテムによって経営協議会に送信され、確認と承認の指示が通知されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	JOB_DATA WC_JOB_CHG_REQ_HR EE_HR_PROC
ワークフロー アクション	自動
ロール	福利厚生管理者 VC 管理者 株式管理者 従業員 ID によるロールユーザー 経営協議会代表者
電子メール テンプレート	福利厚生管理者 福利厚生管理者 1 福利厚生管理者 2 福利厚生管理者 3 変動報酬管理者 株式管理者 経営協議会 従業員 新管理者 現管理者 経営協議会
ビジネス プロセス	人事・労務管理 ADMINISTER_WORKFORCE_USF WORKS_COUNCIL_NOTIFICATION ADMINISTER_STOCK

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	職務データの管理 職務データの管理 (USF) WC_HR_DECISION WC_RJC_HR STOCK_ACTION
ビジネス イベント	勤務開始日の変更 複数職務変更 職務変更 主雇用レコード検証 福利厚生システムの変更 Stock_Action_List WC 通知 EE 通知 新管理者に通知 現管理者に通知

個人データの管理

このトピックでは、個人データの管理ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
アクション内容	従業員の生年月日に変更があると、福利厚生に関して適切な処理が行えるように、福利厚生管理者に対して電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 (CAN) 従業員の居住する州が変更されると、給与計算に関して適切な処理が行えるように、給与計算管理者に対して電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。 従業員の居住する都道府県/州が変更されると、給与計算に関して適切な処理が行えるように、給与計算管理者に対して電子メールおよびワークリスト アイテムが送信されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	PERSONAL_DATA EE_HR_PROC
ワークフロー アクション	自動
ロール	福利厚生管理者 給与計算管理者
電子メール テンプレート	福利厚生管理者 給与計算管理者 給与計算管理者 1
ビジネス プロセス	人事・労務管理 ADMINISTER_WORKFORCE_USF
ビジネス アクティビティ	個人データの管理 個人データの管理 (USF)

情報タイプ	説明
ビジネス イベント	生年月日の変更
	州の変更 (カナダ)
	州の変更 (U.S.)

(USF) 人事異動要求処理

このトピックでは、人事異動要求処理ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
アクション内容	第 1 承認者が人事異動要求を承認すると、プロセスの次のステップとして確認/承認を実施する第 2 承認者にワークリスト アイテムが送信されます。 リクエストが承認を得るために第 1 承認者に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡と共にワークリスト アイテムが、従業員の管理者に送信されます。 リクエストが承認を得るために第 1 承認者に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡を記載した電子メールが、従業員に送信されます。 第 2 承認者が人事異動要求を承認すると、承認および署名を得るためにプロセスの最終承認者にワークリスト アイテムが送信されます。 リクエストが承認を得るために第 2 承認者に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡と共にワークリスト アイテムが、従業員の管理者に送れます。 リクエストが承認を得るために第 2 承認者に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡を記載した電子メールが、従業員に送信されます。 リクエストが最終承認および署名を得るためにヒューマン リソース管理に送信された場合は、ワークリスト アイテムが HR 管理者に送信され、トランザクションが処理されていることが知らされます。 リクエストが最終承認者によって承認却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡と共にワークリスト アイテムが、従業員の管理者に送信されます。 リクエストが最終承認者によって承認却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡を記載した電子メールが、従業員に送信されます。 従業員が人事異動要求リクエストを送信すると、第 1 レベルの承認を得るためにワークリスト アイテムが従業員の管理者に送信されます。

情報タイプ	説明
	承認および最終処理のためにリクエストがヒューマン リソース管理に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡と共にワークリスト アイテムが、従業員の管理者に送信されます。 承認および最終処理のためにリクエストがヒューマン リソース管理に送信され、承認が却下または差戻しになった場合は、リクエスト情報またはリクエストの承認却下の連絡を記載した電子メールが、従業員に送信されます。 管理者が発行したリクエストが承認却下された場合は、ワークリスト アイテムが従業員の管理者に送信され、承認の却下が通知されます。 管理者が発行したリクエストが承認却下された場合は、電子メールが従業員に送信され、承認の却下が通知されます。 従業員の管理者が従業員の人事異動要求リクエストを送信すると、確認および承認のためにワークリスト アイテムが第 1 レベルの承認者 (第 1 承認者) に送信されます。

情報タイプ	説明
アクション内容 (続き)	遡及予定昇給リクエストが承認プロセスに渡されると、最終処理のためにヒューマン リソース管理オフィスに直接移動します。ヒューマン リソース管理で従業員に対する遡及予定昇給の処理が完了すると、その従業員の管理者にワークリスト アイテムが送信されます。 手動予定昇給リクエストは、承認プロセスに渡されると、最終処理のためにヒューマン リソース管理オフィスに直接移動します。ヒューマン リソース管理で従業員に対する手動予定昇給の処理が完了すると、その従業員の管理者にワークリスト アイテムが送信されます。 試用期間終了リクエストは、承認プロセスに渡されると、最終処理のためにヒューマン リソース管理オフィスに直接移動します。ヒューマン リソース管理で処理が完了すると、適切な管理者にワークリスト アイテムが送信されます。 終身在職権への変更リクエストは、承認プロセスに渡されると、最終処理のためにヒューマン リソース管理オフィスに直接移動します。ヒューマン リソース管理で処理が完了すると、適切な管理者にワークリスト アイテムが送信されます。 予定昇給リクエストは、承認プロセスに渡されると、最終処理のためにヒューマン リソース管理オフィスに直接移動します。ヒューマン リソース管理で従業員に対する予定昇給の処理が完了すると、その従業員の管理者にワークリスト アイテムが送信されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	EE_1ST_AUTH EE_2ND_AUTH EE_APPROVAL EE_EMPL_REQ EE_HR_PROC EE_SUP_REQ GVT_COMP_ACTN

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	自動
ロール	人事異動要求承認者 監督者一部ポジション管理 従業員 ID によるロールユーザー 人事管理者 人事異動要求監督者
電子メール テンプレート	第 2 承認者ワークリスト 監督者ワークリスト 従業員への電子メール 承認の署名ワークリスト ヒューマン リリース管理ワークリスト 第 1 承認者ワークリスト 遡及予定昇給ワークリスト 手動予定昇給ワークリスト 終身在職権の変更除外ワークリスト 試用期間終了完了ワークリスト 終身在職権の変更完了ワークリスト 予定昇給完了ワークリスト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	第 1 承認の実行 第 1 承認の承認却下/差戻し 第 2 承認の実行 第 2 承認の承認却下/差戻し 承認/署名の実行 承認者の承認却下/差戻し 従業員リクエストの入力 ヒューマン リソース管理プロセスの承認却下/差戻し 監督者の承認却下/差戻し 監督者リクエストの入力 処理アクション
ビジネス アクティビティ	第 1 承認 承認却下/差戻し 第 2 承認 承認/署名 従業員リクエスト 監督者リクエスト PERFORM_AUTO_ACTION

情報タイプ	説明
ビジネス イベント	第 2 承認への送信 承認却下/差戻しの送信 承認/署名のための送信 ヒューマン リソース管理への送信 監督者へのリクエストの送信 第 1 承認のための送信 遡及予定昇給イベント 手動予定昇給イベント 終身在職権の変更除外の確認 試用期間終了の完了通知 終身在職権の変更の完了通知 予定昇給の完了通知

従業員の雇用終了処理

このトピックでは、従業員の従業員の雇用終了処理ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員の雇用終了時に、組織内のロールにさまざまな通知が送信されて、処理が実行されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	従業員の管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用終了が通知されます。 研修管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って未処理のコース登録をキャンセルするように通知されます。 研修管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って未処理のコース登録をキャンセルするように通知されます。 指定の従業員に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の利潤分配を確認するように通知されます。 指定の従業員に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の利潤分配を確認するように通知されます。 福利厚生管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の福利厚生をキャンセルするように通知されます。 福利厚生管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の福利厚生をキャンセルするように通知されます。 給与計算管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の最終給与を処理するように通知されます。 給与計算管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の最終給与を処理するように通知されます。 雇用終了対象の従業員が利潤分配権を持っている場合、その従業員に対して電子メールが送信され、アカウントの管理方法を選択するように通知されます。 雇用終了対象の従業員が利潤分配権を持っている場合、その従業員に対してワークリスト アイテムが送信され、アカウントの管理方法を選択するように通知されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	JOB_DATA
ワークフロー アクション	自動
ロール	MIS 管理者 監督者一部ポジション管理 研修管理者 従業員 ID によるロールユーザー 福利厚生管理者 給与計算管理者 施設管理者
電子メール テンプレート	MIS 管理者 監督者 研修管理者 確認する利潤分配 福利厚生管理者 給与計算管理者 施設管理者
ビジネス プロセス	人事・労務管理
ビジネス アクティビティ	従業員の雇用終了
ビジネス イベント	通知 コース登録のキャンセル 利潤分配 福利厚生のキャンセル 給与計算の終了 備品の回収

(USF) 従業員の雇用終了手続き

このトピックでは、(USF) 従業員の雇用終了手続きワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員の雇用終了時に、組織内のロールにさまざまな通知が送信されて、処理が実行されます。
アクション内容	MIS 管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってシステム アカウントを無効にするように通知されます。 従業員の管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用終了が通知されます。 研修管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って未処理のコース登録をキャンセルするように通知されます。 研修管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って未処理のコース登録をキャンセルするように通知されます。 福利厚生管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の福利厚生をキャンセルするように通知されます。 福利厚生管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の福利厚生をキャンセルするように通知されます。 給与計算管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の最終給与を処理するように通知されます。 給与計算管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行ってその従業員の最終給与を処理するように通知されます。 施設管理者に対して電子メールが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って退職する前に従業員から未回収の備品を受け取るように通知されます。 施設管理者に対してワークリスト アイテムが送信され、従業員の雇用が終了したため、適切な処理を行って退職する前に従業員から未回収の備品を受け取るように通知されます。

情報タイプ	説明
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	EE_HR_PROC
ワークフロー アクション	自動
ロール	MIS 管理者 監督者一部ポジション管理 研修管理者 福利厚生管理者 給与計算管理者 施設管理者
電子メール テンプレート	MIS 管理者 監督者 研修管理者 福利厚生管理者 給与計算管理者 施設管理者
ビジネス プロセス	従業員の雇用終了処理
ビジネス アクティビティ	従業員の雇用終了手続き (USF)
ビジネス イベント	通知 コース登録のキャンセル 福利厚生のキャンセル 給与計算の終了 備品の回収

基本報酬管理と予算計画の標準ワークフロー

このトピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の基本報酬管理と予算計画のワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

アドホック給与変更の承認または却下

このトピックでは、アドホック給与変更の承認または却下のワークフローについて説明します。

説明

このトピックでは、アドホック給与変更の承認または却下のワークフローについて説明します。

情報タイプ	説明
イベント内容	監督者または管理者は、アドホック給与変更リクエストの承認または却下を行います。
アクション内容	アドホック給与変更リクエストが承認または却下されると、従業員に電子メールが届きます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	給与変更の処理
ワークフロー アクション	給与変更の処理
ロール	人事管理者

予算計上済み給与変更の承認または却下

このトピックでは、予算計上済み給与変更の承認または却下のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	監督者または管理者は、従業員グループに対する予算計上済み給与変更リクエストの承認または却下を行います。

情報タイプ	説明
アクション内容	従業員グループに対する予算計上済み給与変更リクエストが承認または却下されると、管理者に電子メールが届きます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	給与変更の処理
ワークフロー アクション	給与変更の処理
ロール	人事管理者

給与変更の処理

このトピックでは、給与変更の処理ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者は、グループ給与予算の計算をリクエストします。
アクション内容	グループ給与予算が計算されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	給与変更の処理
ワークフロー アクション	給与変更の処理
ロール	人事管理者

給与変更リクエスト

このセクションでは、予算計算ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者は、グループ給与予算の計算をリクエストします。
アクション内容	グループ給与予算に加えた変更が計算されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	給与変更リクエスト
ワークフロー アクション	給与変更リクエスト
ロール	ロールユーザー クエリーによるロールユーザー

記入票の管理の標準ワークフロー

このトピックでは、記入票の管理ワークフローについて説明します。

記入票の管理の通知イベント

このトピックでは、記入票の通知ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員および管理者が記入票を使用して評価を作成すると、この汎用通知イベントにより、該当する評価者に対して電子メールによる通知が送信されます。
アクション内容	該当する評価者に対し、記入票の表示と更新が可能であること、記入票ステータスの変更に関する情報、および新しい管理者への記入票の移管に関する情報が電子メールにより通知されます。
通知方法	電子メール

フランス利潤分配管理の標準ワークフロー

このトピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のフランス利潤分配管理ワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

資金リリース リクエストの承認

このトピックでは、資金リリース リクエストの承認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者が従業員による利潤分配資金のリリース リクエストを承認すると、ワークフローが開始されます。
アクション内容	従業員に対して、資金リリース リクエストが承認されたことを通知する電子メールが送信されます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_PROFIT_SHARING
ワークフロー アクション	手動
ロール	従業員
電子メール テンプレート	APP_REL_REQ_MAIL
ビジネス プロセス	MAN_REL_REQ
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	APP_REL_REQ_EVENT

資金エラー

このトピックでは、資金エラー ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	利息/支給の処理プロセスで従業員の資金にエラーが検出されると、管理者に対し、確認することを指示する電子メールが送信されます。
アクション内容	管理者に対して、従業員の資金にエラーが検出されたことを通知する電子メールが送信されます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_FUND_STATUS
ワークフロー アクション	自動
ロール	HR 管理者 FRA
電子メール テンプレート	FUN_STA_ERR_MAIL
ビジネス プロセス	MAN_FUN_STA_STEP
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	FUN_STA_ERR_EVENT

金融機関の変更

このトピックでは、金融機関の変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員が 契約の個人別設定コンポーネント (WP_AGREEMENT_CUST) の投資ページで金融機関を変更すると、その変更を管理者に通知するワークフローが開始されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	管理者に対して、金融機関が変更されたことを通知するワークリスト アイテムおよび電子メールが送信されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_AGREEMENT_CUST
ワークフロー アクション	手動
ロール	HR 管理者 FRA
電子メール テンプレート	MOD_FIN_ORG_MAIL
ビジネス プロセス	MOD_FIN_ORG_STEP
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	MOD_FIN_ORG_EVENT

資金ステータスの変更

このトピックでは、資金ステータスの変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	利息/支給の処理プロセスにより資金ステータスが変更されると、メンバーに対し、変更を通知する電子メールが送信されます。
アクション内容	従業員に対して、資金ステータスが変更されたことを通知する電子メールが送信されます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_FUND_STATUS
ワークフロー アクション	自動
ロール	従業員
電子メール テンプレート	FUN_STA_MOD_MAIL
ビジネス プロセス	MAN_FUN_STA_STEP
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	FUN_STA_MOD_EVENT

資金リリース リクエストの却下

このトピックでは、資金リリース リクエストの却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者が従業員による利潤分配資金のリリース リクエストを却下すると、ワークフローが開始されます。
アクション内容	従業員に対して、資金リリース リクエストが却下されたことを通知する電子メールが送信されます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_PROFIT_SHARING
ワークフロー アクション	手動
ロール	従業員
電子メール テンプレート	REJ_REL_REQ_MAIL

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	MAN_REL_REQ
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	REJ_REL_REQ_EVENT

資金のリリース リクエスト

このトピックでは、資金のリリース リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	個人の割当確認コンポーネント (WP_FUND_RELEASE) から、従業員が利潤分配資金のリリース リクエストを発行します。リクエストを管理者に通知するワークフローが生成されます。
アクション内容	管理者は、受け取った電子メールまたはワークリスト アイテムから従業員リリース詳細ページに直接アクセスし、資金リリース リクエストの表示、承認、または却下を行うことができます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	WP_FUND_RELEASE
ワークフロー アクション	手動
ロール	HR 管理者 FRA
電子メール テンプレート	REQ_FUN_REL_MAIL
ビジネス プロセス	REQ_FUN_REL_STEP
ビジネス アクティビティ	WP_PROFIT_SHARING_FRA
ビジネス イベント	REQ_FUN_REL_EVENT

フランス公的機関管理の標準ワークフロー

このトピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理のフランス公的機関管理ワークフローについて説明します。ワークフローはアルファベット順に分類されています。

CAE リクエスト (採用)

このトピックでは、採用アクティビティの CAE リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	採用が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	HIRE
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_HIRE
ビジネス イベント	FP_CA_REQUIRE_E

スタンプ リクエスト (採用)

このトピックでは、CAE 割当 (採用プロセス) アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE1
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_E

CAE 却下 (採用)

このトピックでは、CAE 割当 (採用プロセス) アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、採用を削除する管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE1
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_E

スタンプ却下 (採用)

このトピックでは、スタンプ割当 (採用) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、CAE を削除する要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動

情報タイプ	説明
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_E

スタンプ付与 (採用)

このトピックでは、スタンプ割当 (採用) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、採用を確認する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_E

スタンプ延期 (採用)

このトピックでは、スタンプ割当 (採用) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、管理者への電子メールが生成されます。
アクション内容	採用が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_E

削除確認 (採用)

このトピックでは、CAE 削除 (採用却下) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	このワークリストが選択されると、採用をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_CREATION
ビジネス アクティビティ	FP_HIRE_REFUSE
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_E

等級変更

このトピックでは、等級変更アクティビティの等級変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	等級変更が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEECAREER_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_CHGT_RANK
ビジネス イベント	FP_CA_RKCHNG_C

スタンプ リクエスト (等級および CAE の変更)

このトピックでは、等級および CAE 変更アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が等級変更の対象 CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_C

CAE 却下 (等級および CAE の変更)

このトピックでは、等級および CAE 変更アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が等級変更の対象 CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級変更のリクエストを削除する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_C

スタンプ却下 (新しい等級)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が等級変更の対象 CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級変更のリクエストを削除する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_C

スタンプ付与 (新しい等級)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級変更を確認する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_C

スタンプ延期 (新しい等級)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が等級変更の対象 CAE を保留または延期すると、管理者への電子メールが生成されます。
アクション内容	等級変更の処理が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。

情報タイプ	説明
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_C

削除確認 (新しい等級)

このトピックでは、CAE 削除 (新しい等級) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が等級変更の対象 CAE リクエストを削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動

情報タイプ	説明
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROMOTION
ビジネス アクティビティ	FP_RK_CHNG_DENIED
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_C

勤務時間割合変更

このトピックでは、勤務時間割合変更アクティビティの勤務時間割合変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	勤務時間割合 (WTP) 変更が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、WTP に対して新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEWORKRT_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CHGT_TPS_WORK

情報タイプ	説明
ビジネス イベント	FP_CA_WKRT_F

スタンプ リクエスト (WTP および CAE の変更)

このトピックでは、勤務時間割合および CAE 変更アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が WTP の対象 CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE3
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_F

CAE 却下 (WTP および CAE の変更)

このトピックでは、勤務時間割合および CAE 変更アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、勤務時間割合変更を削除する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE3
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_F

スタンプ却下 (新しい WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい WTP) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、勤務時間割合変更の対象 CAE を削除する要員管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH2
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_F

スタンプ付与 (新しい WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい WTP) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、勤務時間割合変更を確認する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH2
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_F

スタンプ延期 (新しい WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい WTP) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	勤務時間割合変更の承認が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH2
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_F

削除確認 (新しい WTP)

このトピックでは、CAE 削除 (新しい WTP) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、勤務時間割合変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_PT_CHNG_DENIED
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_F

ダブル変更

このトピックでは、CAE、等級および勤務時間割合の変更アクティビティのダブル変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	等級および勤務時間割合の変更が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEWORKRT_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CHGT_RK_TPS
ビジネス イベント	FP_CA_WKRT_K

スタンプ リクエスト (等級、WTP および CAE の変更)

このトピックでは、等級、勤務時間割合および CAE の変更アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、等級および勤務時間割合の変更対象の CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE4
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_K

CAE 却下 (等級、WTP および CAE の変更)

このトピックでは、等級、勤務時間割合および CAE の変更アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級および勤務時間割合の変更を削除する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_CHNG_GRP

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE4
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_K

スタンプ却下 (新しい等級および WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級および勤務時間割合の変更対象の CAE を削除できるように、要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH3
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_K

スタンプ付与 (新しい等級および WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級および勤務時間割合の変更を確認する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH3
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_K

スタンプ延期 (新しい等級および WTP)

このトピックでは、スタンプ割当 (新しい等級および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	等級/勤務時間割合の変更が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CACH_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CH3
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_K

削除確認 (新しい等級および WTP)

このトピックでは、CAE 削除 (新しい等級および勤務時間割合) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級および勤務時間割合の変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_PROM_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_PT_CHNG_DENIED2
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_K

CAE 割当解除リクエスト

このトピックでは、雇用終了アクティビティの CAE 割当解除リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	雇用終了が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、CAE を割当解除する要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEELEGAL_PNL
ワークフロー アクション	手動

情報タイプ	説明
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG
ビジネス アクティビティ	FP_CA_DISCHG
ビジネス イベント	FP_CA_DISCH_D

スタンプ リクエスト (CAE 割当解除)

このトピックでは、CAE 割当解除アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割当解除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、CAE 割当解除をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DISCH_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG
ビジネス アクティビティ	FP_LIB_CA
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_D

割当解除却下 (CAE 割当解除)

このトピックでは、CAE 割当解除アクティビティの割当解除却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、雇用終了を削除する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DISCH_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG
ビジネス アクティビティ	FP_LIB_CA
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_D

割当解除却下 (スタンプ)

このトピックでは、CAE 割当解除スタンプ アクティビティの割当解除却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が割当解除の対象 CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	このワークリストが選択されると、CAE を元に戻す要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_DSCH
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_LIB
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_D

スタンプ付与 (CAE 割当解除)

このトピックでは、CAE 割当解除スタンプ アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当解除を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、雇用終了を確認する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_DSCH
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_LIB
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_D

割当解除延期

このトピックでは、CAE 割当解除スタンプ アクティビティの割当解除延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が割当解除の対象 CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	雇用終了が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_DSCH
ワークフロー アクション	手動
電子メール テンプレート	FP_CA_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_DISCHG

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_LIB
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_D

CAE リクエスト

このトピックでは、復職アクティビティの CAE リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	復職が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、復職に対して新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEELEGAL_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_RETURN
ビジネス イベント	FP_CA_REINST_R

スタンプ リクエスト (復職)

このトピックでは、CAE 割当 (単純復職) アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、復職の対象 CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE2
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_R

CAE 却下 (復職)

このトピックでは、CAE 割当 (単純復職) アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE2
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_R

スタンプ却下 (復職)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職の対象 CAE 割当を削除する要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CR2
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_R

スタンプ付与 (復職)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職を最終決定する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CR2
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_R

スタンプ延期 (復職)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	復職が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_VISA_CR2
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_R

削除確認 (復職)

このトピックでは、CAE 削除 (復職) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINSTATEMENT
ビジネス アクティビティ	FP_HIRE_REFUSE2
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_R

ダブル変更 (復職)

このトピックでは、復職および等級変更アクティビティのダブル変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	復職および等級変更アクティビティが進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEECAREER_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_RKRETURN_H
ビジネス イベント	FP_CA_RKCHNG_H

スタンプ リクエスト (復職および等級変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職および等級変更) アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、復職および等級変更の対象 CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_H
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_H

CAE 却下 (復職および等級変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職および等級変更) アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_H
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_H

スタンプ却下 (復職および等級変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および等級変更) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級変更をキャンセルする要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_H
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_H

スタンプ付与 (復職および等級変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および等級変更) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が復職および等級変更の対象 CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級変更を最終決定する管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_H
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_H

スタンプ延期 (復職および等級変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および等級変更) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	復職および等級変更の処理が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_H
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_H

削除確認 (復職および等級変更)

このトピックでは、CAE 削除 (復職および等級変更) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_PROM

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_CA_REFUSE_H
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_H

ダブル変更 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、復職および勤務時間割合の変更アクティビティのダブル変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	復職および勤務時間割合の変更処理が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEWORKRT_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_WKRTRETURN_B
ビジネス イベント	FP_CA_WKRTCHNG_B

スタンプ リクエスト (復職および WTP 変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職および勤務時間割合変更) アクティビティのスタンプ リクエストワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、復職および勤務時間割合の変更対象の CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_B
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_B

CAE 却下 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職および勤務時間割合変更) アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および勤務時間割合の変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_B
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_B

スタンプ却下 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および勤務時間割合の変更に対応する CAE をキャンセルする要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_B
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_B

スタンプ付与 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が復職および勤務時間割合の変更対象の CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および勤務時間割合の変更を最終決定する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_B
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_B

スタンプ延期 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および勤務時間割合変更) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	復職および勤務時間割合の変更が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_B
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_B

削除確認 (復職および WTP 変更)

このトピックでは、CAE 削除 (復職および勤務時間割合変更の却下) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および勤務時間割合の変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_WRKRT
ビジネス アクティビティ	FP_CA_REFUSE_B
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_B

トリプル変更 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、復職、等級および勤務時間割合の変更アクティビティのトリプル変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	復職および等級と勤務時間割合の変更が進行中で従業員レコードが更新されると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、新しい CAE を割り当てる要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPAEWORKRT_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_RKWKRTRETURN_Z
ビジネス イベント	FP_CA_RKWKRTCHNG_Z

スタンプ リクエスト (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職、等級および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ リクエスト ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を割り当てると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、復職および等級と勤務時間割合の変更対象の CAE 割当をスタンプする財務管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULLL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_STMPREQ_Z

CAE 却下 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、CAE 割当 (復職、等級および勤務時間割合) アクティビティの CAE 却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE の割当を却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級と勤務時間割合の変更をキャンセルする管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FP_CA_CR_GRP

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULLL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_CREATE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_DENY_Z

スタンプ却下 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職、等級および勤務時間割合) アクティビティのスタンプ却下ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE のスタンプを却下すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級と勤務時間割合の変更に対応する CAE をキャンセルする要員管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA2_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULLL

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_STMPDENY_Z

スタンプ付与 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および等級と勤務時間割合の変更) アクティビティのスタンプ付与ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE の割当を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、復職および等級と勤務時間割合の変更を最終決定する管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_STMPGRANTED_Z

スタンプ延期 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、スタンプ割当 (復職および等級と勤務時間割合の変更) アクティビティのスタンプ延期ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	財務管理者が CAE を保留または延期すると、電子メールが生成されます。
アクション内容	復職および等級と勤務時間割合の変更が延期されたことを管理者に電子メールで知らせます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_STMP_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	FP_GEST_EFFECTIFS
電子メール テンプレート	FP_CA_STBY_NOTIF
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_STMPCREATE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_STBY_Z

削除確認 (復職、等級および WTP の変更)

このトピックでは、CAE 削除 (等級および勤務時間割合の変更を伴う復職の却下) アクティビティの削除確認ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	要員管理者が CAE を削除すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	このワークリストが選択されると、等級および勤務時間割合の変更を伴う復職をキャンセルする管理者に制御が移動します。

情報タイプ	説明
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPA_CA_DENI_GRP
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	WF_FP_CA1_WL
ビジネス プロセス	FP_CA_REINST_FULLL
ビジネス アクティビティ	FP_CA_REFUSE_Z
ビジネス イベント	FP_CA_DELETE_Z

終身在職権の承諾

このトピックでは、終身在職権の試用期間確認アクティビティの終身在職権の承諾ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	終身在職権の試用期間が進行中で、管理者が終身在職権を承認すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、終身在職権を付与する HR 管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPATEN_VALID_PNL

情報タイプ	説明
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	HR_WL_FP
ビジネス プロセス	FP_TENURE
ビジネス アクティビティ	FP_VALIDATE_TENPPD
ビジネス イベント	FP_ACCEPT_TENURE

終身在職権の試用期間更新

このトピックでは、終身在職権の試用期間確認アクティビティの終身在職権の試用期間更新ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	終身在職権の試用期間が進行中で、管理者が終身在職権を更新すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、試用期間を更新する HR 管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPATEN_VALID_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	HR_WL_FP
ビジネス プロセス	FP_TENURE

情報タイプ	説明
ビジネス アクティビティ	FP_VALIDATE_TENPPD
ビジネス イベント	FP_RENEW_TEN_PPD

終身在職権の拒否

このトピックでは、終身在職権の試用期間確認アクティビティの終身在職権の拒否ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	終身在職権の試用期間が進行中で、管理者が終身在職権を拒否すると、ワークリスト エントリが生成されます。
アクション内容	ワークリスト エントリが選択されると、終了指示を発行する HR 管理者に制御が移動します。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	FPATEN_VALID_PNL
ワークフロー アクション	手動
ロール	ワークリスト管理者
電子メール テンプレート	HR_WL_FP
ビジネス プロセス	FP_TENURE
ビジネス アクティビティ	FP_VALIDATE_TENPPD
ビジネス イベント	FP_REFUSE_TENURE

公認資格認定管理の標準ワークフロー

このトピックでは、公認資格認定管理のワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

公認資格認定採用

このトピックでは、公認資格認定管理の採用アクティビティにおける採用ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	新しく従業員が採用されると、その新規採用者は、公認資格認定管理ビジネス プロセスに追加されます。 注: これは、公認資格認定タイプのデフォルトが、採用された従業員の職務コードに関連付けられている場合にのみ適用されます。
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、以下の処理が行われます。 新規採用者の業務監督者のワークリストに、採用通知が追加されます。 新規採用者の業務監督者に対し、電子メールによる通知が送信されます。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格認定採用

公認資格認定管理の追加

このトピックでは、公認資格認定管理の追加ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員が、公認資格認定管理ビジネス プロセスに手動で追加されます。
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、従業員の業務監督者に電子メールが送信され、その従業員が公認資格認定管理ビジネス プロセスに追加されたこと、および適切なアクションを実行する必要があることが通知されます。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格認定管理の追加

公認資格認定分類変更

このトピックでは、公認資格認定管理の分類変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	公認資格認定管理ビジネス プロセスに含まれる従業員の分類レベルに変更があります。
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、従業員の認定プラン監督者に電子メールが送信され、公認資格認定管理ビジネス プロセスに分類変更が存在すること、および適切なアクションを実行する必要があることが通知されます。 分類変更が監督者に対してのものである場合、認定プラン管理者に通知する必要があります。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格認定分類変更

公認資格認定職務変更

このトピックでは、公認資格認定管理の職務変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	公認資格認定管理ビジネス プロセスに含まれる従業員の職務に変更があります。
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、従業員の認定プラン監督者に電子メールが送信され、職務変更が存在すること、および適切なアクションを実行する必要があることが通知されます。 分類変更が監督者に対してのものである場合、認定プラン管理者に通知する必要があります。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格認定職務変更

公認資格認定管理の再認定

このトピックでは、公認資格認定管理の再認定ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	公認資格認定管理ビジネス プロセスに含まれる従業員に対し、再認定アプリケーション エンジン プログラムが実行されます。
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、認定プラン監督者に電子メールが送信され、免許および資格の認定有効期限までの残日数や認定失効後の経過日数が通知されます。 認定情報が監督者に対してのものである場合、認定プラン管理者に通知する必要があります。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格再認定

公認資格認定管理の雇用終了

このトピックでは、公認資格認定管理の雇用終了ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	公認資格認定管理ビジネス プロセスに含まれる従業員の雇用が終了されます。

情報タイプ	説明
アクション内容	PCMP_BUS_PROC ビジネス プロセスによって、以下の処理が行われます。 ワークリストに採用通知が追加されます。 従業員の認定プラン監督者に電子メールが送信され、その従業員の雇用が終了したこと、および適切なアクションを実行する必要があることが通知されます。 分類変更が監督者に対してのものである場合、認定プラン管理者に通知する必要があります。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ビジネス プロセス	PCMP_BUS_PROC
アクティビティ	公認資格認定職務変更

変動報酬管理の標準ワークフロー

このトピックでは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理の変動報酬管理のワークフローについて説明します。ワークフローは、ワークフロー名のアルファベット順に記載されています。

プラン別報奨割当 (承認)

このトピックでは、プラン別報奨割当のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	ユーザーは、各変動報酬プランの計算済み報奨または報奨ステータスを変更します。
アクション内容	管理者は、各変動報酬プランの計算済み金額または報奨ステータスに対して行われた変更を承認します。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ロール	従業員 ID クエリーによるロールユーザー

プラン別報奨割当 (却下)

このトピックでは、プラン別報奨割当のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	ユーザーは、各変動報酬プランの計算済み報奨または報奨ステータスを変更します。
アクション内容	管理者は、各変動報酬プランの計算済み金額または報奨ステータスに対して行われた変更を却下します。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	却下の電子メール
ワークフロー アクション	却下の電子メール
ロール	従業員 ID クエリーによるロールユーザー

グループ別報奨割当 (承認)

このトピックでは、グループ別報奨割当のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	ユーザーは、各変動報酬プランのグループ メンバーの計算済み報奨または報奨ステータスを変更します。

情報タイプ	説明
アクション内容	管理者は、各変動報酬プランのグループ メンバーの計算済み金額または報奨ステータスに対して行われた変更を承認します。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
ロール	従業員 ID クエリーによるロールユーザー

グループ別報奨割当 (却下)

このトピックでは、グループ別報奨割当のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	ユーザーは、各変動報酬プランのグループ メンバーの計算済み報奨または報奨ステータスを変更します。
アクション内容	管理者は、各変動報酬プランのグループ メンバーの計算済み金額または報奨ステータスに対して行われた変更を却下します。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	却下の電子メール
ワークフロー アクション	却下の電子メール
ロール	従業員 ID クエリーによるロールユーザー

資金割当 (グループ)

このトピックでは、資金割当 (グループ) のワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者または承認者は、グループの変動報酬報奨に変更を加えます。
アクション内容	承認管理者は、グループの変動報酬報奨に対する変更を承認または却下します。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	資金変更イベント
ワークフロー アクション	資金変更イベント
ロール	従業員 ID クエリーによるロールユーザー

変動報酬ツリーの変更

このトピックでは、変動報酬ツリーの変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者または承認者は、変動報酬ツリーに変更を加えます。
アクション内容	承認管理者は、変動報酬ツリーに対する変更を承認または却下します。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	変動報酬ツリーの変更イベント
ワークフロー アクション	変動報酬ツリーの変更イベント

情報タイプ	説明
ロール	VC 管理者、HR 管理者

変動報酬ツリーの削除

このトピックでは、変動報酬ツリーの削除ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者または承認者は、変動報酬ツリーを削除します。
アクション内容	承認管理者は、変動報酬ツリーの削除を承認または却下します。
通知方法	電子メールとワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	変動報酬ツリーの削除イベント
ワークフロー アクション	変動報酬ツリーの削除
ロール	VC 管理者

変動報酬ツリー名の変更

このトピックでは、変動報酬ツリー名の変更ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	管理者または承認者は、変動報酬ツリー名を変更します。
アクション内容	承認管理者は、変動報酬ツリー名の変更を承認または却下します。
通知方法	電子メール

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	変動報酬ツリー名の変更イベント
ワークフロー アクション	変動報酬ツリー名の変更イベント
ロール	VC 管理者

キャリア プランの標準ワークフロー

このトピックでは、キャリア プランのワークフローについて説明します。

(USF) キャリア プラン

このトピックでは、キャリア プラン ワークフローについて説明します。

説明

情報タイプ	説明
イベント内容	従業員のキャリア プランが作成または更新されると、ワークリスト エントリが監督者に送信されます。
アクション内容	管理者が従業員のキャリア プランを承認すると、ワークリスト エントリがヒューマン リソース管理開発スタッフ ロールに返送されます。 管理者が従業員のキャリア プランの承認を却下すると、ワークリスト エントリが監督者に返送されます。 ヒューマン リソース管理が従業員のキャリア プランの承認を却下すると、ワークリスト エントリが監督者に戻されます。
通知方法	ワークリスト

ワークフロー オブジェクト

情報タイプ	説明
イベント	CAREER_PLAN
ワークフロー アクション	自動

情報タイプ	説明
ロール	監督者一部ポジション管理
電子メール テンプレート	管理者ワークリスト
ビジネス プロセス	キャリア プラン
ビジネス アクティビティ	キャリア プランの開発 (USF) キャリア プランの確認 (USF)
ビジネス イベント	管理者へのプランの送信、管理者によるプランの承認、管理者によるプランの承認却下、ヒューマン リソース管理によるプランの承認却下。

PeopleSoft HCM Web ライブラリ

Web ライブラリについて

Web ライブラリは、名前が WEBLIB_ で開始するディライブドレコードまたはワークレコードです。全ての PeopleSoft iScript は、このタイプのレコードに埋め込まれています。iScript は動的 Web コンテンツを生成する特殊な PeopleCode 関数です。管理者は、ユーザーに Web ライブラリへの適切なアクセスが確保されるようにする必要があります。

たとえば、PeopleSoft Pure Internet Architecture ユーザーのデフォルト ナビゲーション システムは、Web ライブラリを使用して実装されます。ユーザーに Web ライブラリおよび関連スクリプトへの適切な権限がないと、そのユーザーはシステムに適切にアクセスできません。ユーザーに特定の Web ライブラリまたはスクリプトへの権限がないと、ユーザーはそれらを起動できません。Web ライブラリを追加した後、各スクリプト関数に対するアクセス権を個々に設定します。iScript を起動するには URL の 組立てが必要です。開発者は PeopleCode を使用して URL を組み立てます。

PeopleSoft HCM Web ライブラリ

次の表は、主要な PeopleSoft HCM Web ライブラリの一覧です。

RECNAME	RECDESCR	製品	HMCD	説明
WEBLIB_CD_APP	CD モバイル アプリケーション エントリ ポイント	ヒューマン リソース管理	HMCD	この Web ライブラリには、モバイル会社ディレクトリが使用する iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_CHART	福利厚生チャート用 Web ライブラリ	eBenefits	HEB	この Web ライブラリは、eBenefits ライフ イベント ページレット内でのチャート設定を制御します。
WEBLIB_EOAW	承認 iScript	エンタープライズ コンポーネント	COO	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントの承認用の iScript 関数が含まれています。

RECNAME	RECDESCR	製品	HMCD	説明
WEBLIB_EOAWEMC		エンタープライズ コンポーネント	COO	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントの電子メール コラボレーション用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_EOCF	Iscript 用ディライブド レコード	エンタープライズ コンポーネント	CCF	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントのアクティブ アナリティクス フレームワーク用の関数が含まれています。
WEBLIB_EOEC_CCI		エンタープライズ コンポーネント	COO	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントのクレジット カード インテグレーション フレームワーク用の関数が含まれています。
WEBLIB_EOEW_SDO		エンタープライズ コンポーネント	CEW	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントのデータ変換ユーティリティ用の関数が含まれています。
WEBLIB_EOPP_LN		エンタープライズ コンポーネント	CPP	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントのページ レット表示用の関数が含まれています。
WEBLIB_EOPP_PGT		エンタープライズ コンポーネント	CPP	この Web ライブラリには、エンタープライズ コンポーネントのページ レット表示用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_EOPP_SC	ナビゲーション コレクション表示	エンタープライズ コンポーネント	CPP	この Web ライブラリには、ナビゲーション コレクション表示用の iScript 関数が含まれています。

RECNAME	RECDESCR	製品	HMCD	説明
WEBLIB_EQRY	クエリービルダー用 Web ライブラリ	共有コンポーネント	HOQM	この Web ライブラリには、共有コンポーネントのオブジェクトメタデータクエリーツール用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_ER	eRecruit 用 Web ライブラリ	採用管理	HRS	この Web ライブラリは、応募者ゲートウェイ履歴書処理で将来使用するように予約されています。
WEBLIB_ER2	Web ライブラリ	採用管理	HRS	この Web ライブラリは、応募者ゲートウェイ雇用前調査で将来使用するように予約されています。
WEBLIB_FIN_MBL	モバイル承認 iScript ライブラリ	エンタープライズコンポーネント	COO	この Web ライブラリには、モバイル承認用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_FM_ESP	PDF フォーム Web ライブラリ ESP	HR スペイン	HES	この Web ライブラリには、XML 生成フレームワーク (スペイン) 用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_GPCH_FM	WEBLIB_GPCH_FM	GP スイス	HGCH	この Web ライブラリには、法定フォーム (スイス) の処理および送信で使用する iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_GPDE	iScript 関数を格納	GP ドイツ	HGDE	この Web ライブラリには、エルスタ処理 (ドイツ) で使用する iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_GPDE_FM	CT Web ライブラリ	GP ドイツ	HGDE	この Web ライブラリには、証明書フォーム (ドイツ) で使用する iScript 関数が含まれています。

RECNAME	RECDESCR	製品	HMCD	説明
WEBLIB_HMCRWSDL	ディライブドレコード - iScript	共有コンポーネント	HMCR	この Web ライブラリには、WSDL を取得およびテストする際に HCM SOA フレームワークで使用する iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_HRCD	会社ディレクトリ用ライブラリ	ヒューマン リソース管理	HHR	この Web ライブラリには、ディレクトリフォルダおよび検索結果を表示する際に会社ディレクトリで使用するさまざまな iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_HRS_HROI	求人サイト インテグレーション	採用管理	HROI	この Web ライブラリには、オープン インテグレーション フレームワークとの求人サイト インテグレーション用の iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_HR_ABN	ABN フォルダ iScript	ヒューマン リソース管理	HHR	この Web ライブラリには、ドロップダウン メニュー ナビゲーションでの会社ディレクトリフォルダ構造に対する関数が含まれています。
WEBLIB_LM	Web ライブラリ - ELM	ヒューマン リソース管理	HHR	この Web ライブラリには、タレント サマリからのラーニング ページレットの表示に使用する iScript 関数が含まれています。
WEBLIB_OSHA	WEBLIB_OSHA	ヒューマン リソース管理	HHR	この Web ライブラリには、OSHA 300 レポートの出力取得用の関数が含まれています。

サンプル データに付属しているサードパーティ画像

サンプル データと共に提供されたサード パーティのイメージの使用

PeopleSoft HCM のデモ データベースには、デモの目的のみに使用を制限するライセンス下で提供されるサンプル イメージ (製品デモ、会議室パイロットなど) が含まれています。特定のイメージを以下に示します。これらのサンプル イメージを本番環境で使用する場合は、イメージのオーナーに直接連絡して、そのイメージを購入する必要があります。オーナーの連絡先情報は、[My Oracle Support](#) にある『[Licensing Notes for Oracle's PeopleSoft Human Capital Management \(HCM\) 9.2](#)』ドキュメントに記載されています。

Oracle では、サンプル イメージを本番環境で使用したり、デモ以外で使用するためのライセンスは発行していません。

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-15416904
	Corbis	42-15419640
	Corbis	42-16540035

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-16544887
	Corbis	42-16588263
	Corbis	42-17109039
	Corbis	42-17580047
	Corbis	42-19506591
	Corbis	42-19644350

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-19714687
	Corbis	42-19719862
	Corbis	42-20065440
	Corbis	42-21090639
	Corbis	42-21853427
	Corbis	42-22430646

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-22519894
	Corbis	42-22566189
	Corbis	42-22940690
	Corbis	42-22996268
	Corbis	42-23086157
	Corbis	42-23955787

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-25839097
	Corbis	42-26000040
	Corbis	42-29578554
	Corbis	42-30531293
	Corbis	42-32046570
	Corbis	42-34880353

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-35908297
	Corbis	42-35908315
	Corbis	42-35908324
	Corbis	42-36105176
	Corbis	42-42982065
	Corbis	42-43601080

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-46415347
	Corbis	42-46703418
	Corbis	42-46703429
	Corbis	42-46703433
	Corbis	42-48516807
	Corbis	42-50376686

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-52972097
	Corbis	42-55678597
	Corbis	42-56874130
	Corbis	42-56874130
	Corbis	42-58283545
	Corbis	42-58751045

イメージ	オーナー	イメージのオーナーのメディア ID
	Corbis	42-58751107

PeopleSoft HCM アプリケーションの基礎のレポート群

PeopleSoft HCM 基本レポート: 概要

以下の表は、PeopleSoft HCM の基本レポート、および PeopleSoft ヒューマン リソース管理のビジネス プロセス特有のレポートを、レポート ID でソートして一覧にしたものです。

これらのレポートの実行方法の詳細については、以下を参照してください。

- 製品ドキュメンテーションの対応するトピック
- *PeopleTools: PeopleSoft Process Scheduler*
- *PeopleTools: BI Publisher for PeopleSoft*
- *PeopleTools: SQL Language Reference for PeopleSoft*

これらのレポートのサンプルについては、このオンライン ドキュメンテーションで公開されている レポート サンプル をご確認ください。

HCM 基本レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
AWEAUDIT 承認オーデイトレポート	承認フレームワークに関連付けられている承認トランザクション リクエストに関するデータが含まれています。	[人事・労務管理], [セルフサービス管理], [承認/委任], [承認オーデイトレポート], [承認オーデイトレポート]	HCSCAWE_RUN_CNTL
FGHR005 給与等級テーブル USF レポート	連邦政府給与等級テーブルの内容がさまざまなフォーマットで出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], 給与等級テーブル レポート USF, [支給テーブル]	RUN_FGHR005
FGPER802 所在地レポート	所在地テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [所在地]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGPER803 機関レポート	機関テーブルの全ての機関および名前と住所、機関コードおよび有効日などのデフォルト情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], 機関レポート テーブル USF	PRCSRUNCNTL
FGPER804 別組織テーブルレポート	別組織テーブルの全ての別組織および関連する組織が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, 別組織テーブル	PRCSRUNCNTL
FGPER805 事業所 ID テーブルレポート	機関の全ての事業所 ID に関する情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [事業所 ID テーブル]	PRCSRUNCNTL
FGPER807 納税地支払区域テーブルレポート	全ての納税地支払区域に関する情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], 納税地支払区域レポート USF	PRCSRUNCNTL
FGPER808 LEO 支給区域テーブルレポート	各 LEO 特別支給区域と関連する率が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [報酬管理], LEO 支給区域レポート USF	PRCSRUNCNTL
FGPER811 障害者テーブルレポート	全ての障害と関連するコードが出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [障害者テーブル]	PRCSRUNCNTL
FGPER812 法務当局テーブルレポート	法務当局テーブルに設定した法務当局に関する情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, 法務当局	PRCSRUNCNTL
FGPER813 異動区分テーブルレポート	異動区分テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, 異動区分テーブル	PRCSRUNCNTL
FGPER814 NOA 公的機関 1 レポート	異動区分/公的機関 1 テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, NOA/公的機関 1	PRCSRUNCNTL
FGPER816 優先職業紹介テーブルレポート	優先職業紹介テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [優先職業紹介テーブル]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGPER817 勤務地テーブル レポート	勤務地テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [勤務地テーブル]	PRCSRUNCNTL
FGPER823 USF 職務コード テーブル レポート	全ての職務コードおよび有効にする日付のリストが出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート USF, [職務コード テーブル]	PRCSRUNCNTL
GBP001 グループ メンバー重複	複数のグループに所属するメンバーが出力されます。	[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループ重複]	RUNCTL_GBP001
GBP002 グループ メンバー リスト レポート	特定グループの全メンバーが出力されます。	[HCM 基本設定], [共通定義], [グループビルド], [グループ メンバー リスト]	RUNCTL_GBP002
PAY701 銀行/支店	銀行/支店テーブルに入力された銀行および支店が出力されます。	[HCM 基本設定], [共通定義], [金融機関関連], 銀行/支店レポート	PRCSRUNCNTL
PAY710 チャートフィールド トランザクション レポート	トランザクションで使用されるチャートフィールド コードが出力されます。	[HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], チャートフィールド トランザクション レポート	PRCSRUNCNTL
PAY711 支給グループ レポート	各支給グループとその有効日が、グループに適用される処理特性と共に出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], 給与レポート, [支給グループ テーブル]	PRCSRUNCNTL
PAY717 支給プログラム テーブル	支給プラン定義の詳細が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [給与計算インターフェイス], 給与レポート, [支給プログラム]	PRCSRUNCNTL
PAY760 組合せコード レポート	組合せコード テーブルで設定した勘定コードの一覧が出力されます。	[HCM 基本設定], [共通定義], [チャートフィールド設定], 組合せコード レポート	PRCSRUNCNTL
PER506 セキュリティ ツリー 検証	部門コンポーネントで入力されたデータと、部門セキュリティ ツリーの部門データとの間の不一致リストが出力されます。	[HCM 基本設定], [セキュリティ], [行レベル セキュリティ], [セキュリティ ツリー 検証レポート]	PRCSRUNCNTL
PER701 部門テーブル レポート	全ての部門が部門 ID 別に出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [部門テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER702 インストール テーブル レポート	会社コード、標準勤務時間の上限と下限、社会保障番号などのフィールドにデフォルトとして設定されている値が一覧で出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [インストール], [インストール テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL
PER705 所在地テーブル レポート	所在地コード別に実際の所在地が出力されます。所在地は有効日別に定義できるため、過去、現在、および将来の所在地が全て出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [所在地テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL
PER707 会社テーブル レポート	会社テーブルにある全ての会社と、会社の名称、住所、会社コード、有効日などのデフォルト情報が出力されます。 別のレポート プログラム (PAY702) には、会社テーブルに入力した一般会計情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [組織], [会社テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL
PER708 国テーブル レポート	全ての国の文字コードの一覧が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [インストール], [国テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL
PER709A 職務コード テーブル USA レポート	全ての職務コードおよび有効にする日付のリストが出力されます。また、アメリカに拠点を置く企業の職務コード ページに保存されている情報も全て出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [職務コード レポート USA]	PRCSRUNCNTL
PER709B 職務コード テーブル CAN レポート	全ての職務コードおよび有効にする日付のリストが出力されます。また、カナダに拠点を置く企業の職務コード ページに保存されている情報も全て出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [職務コード テーブル レポート CAN]	PRCSRUNCNTL
PER709C 職務コード テーブル レポート	全ての職務コードおよび有効にする日付のリストが出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [任務属性], [職務コード テーブル レポート]	PRCSRUNCNTL
PER711 標準文書テーブル レポート	標準文書テーブルに設定されたコードの一覧が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [共通定義], [文書/書類], [標準文書 レポート]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER713 通貨コード テーブル レポート	各通貨の情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [通貨・市場レート], [通貨コード テーブル]	PRCSRUNCNTL
PER714 通貨レート テーブル レポート	為替レートの情報が出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [通貨・市場レート], [通貨レート レポート]	PRCSRUNCNTL

社有車管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CAR002 P11D 情報の印刷	P11D 情報の計算プロセス (CAR001) の結果が、イギリス政府の P11D フォームに似たフォーマットで印刷されます。 このページを使う前に、CAR001 レポートのプロセスを実行しておく必要があります。	[福利厚生管理], [社有車管理], [P11D 情報の印刷]	RUNCTL_COMPCAR001
CAR003 車両リスト	会社保有車両の一覧がその車両の基本情報と共に出力されます。	[福利厚生管理], [社有車管理], [車両リスト作成]	PRCSRUNCNTL

報酬管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP013 年功給更新レポート	従業員とその従業員の年功に加えた変更が全て出力されます。このレポートは、年功給の更新プロセス (HR_CMP013) を実行した後、および変更内容を職務データにロードする年功給更新 - データ ロード プロセス (HR_CMP013_CI) を実行する前に実行します。	[人事・労務管理], [一括更新処理], [年功給処理], [年功給の更新]	RUNCTL_SENPAY2

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP014S 年功給対象者の更新レポート	従業員とその従業員の年功に加えた変更が全て出力されます。このレポートは、年功給対象者の更新プロセス (HR_CMP014) を実行した後、および変更内容を職務データにロードする年功給対象者の更新-データ ロード プロセス (HR_CMP014_CI) を実行する前に実行します。	[人事・労務管理], [一括更新処理], [年功給処理], [年功給対象者の更新]	RUNCTL_SENPAY
CMP015 従業員報酬のリフレッシュ	一般給与報酬の更新プロセスの実行で加えられた変更が全て出力されます。このレポートを実行する前に、一般給与報酬の更新プロセス (HR_CMP015) を実行します。	[人事・労務管理], [一括更新処理], [給与データのリフレッシュ]	RUNCTL_CMP015
CMP016 デフォルト ルール該当者	指定日の時点で、選択したデフォルト ルールに該当する従業員が出力されます。	[HCM 基本設定], [基本テーブル], [報酬ルール設定], デフォルト ルール該当者レポート	RUNCTL_CMP016

オランダ給与管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
INT003NL 支給グループ	システムに入力した支給グループの概要が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD], [レポート], [支給グループ]	PRCSRUNCNTL
INT004NL 支給テーブル (NLD)	システムに入力した全ての有効な支給コードと、それぞれの支給コードに割り当てた給与計算特性を確認します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD], [レポート], [支給]	PRCSRUNCNTL
INT005NL 控除/周期 (NLD)	システムに入力した全ての有効な控除コードを確認します。SQR はプラン タイプ、控除コード、有効日別にソートされます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD], [レポート], [控除]	PRCSRUNCNTL
INT006NL 一般控除/控除周期 (NLD)	各控除の計算タイプ コードと、該当する場合には、均一レートまたはパーセント値、従業員の支給周期、およびその他の固定控除額が表示されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [福利厚生 NLD], [一般控除/周期]	PRCSRUNCNTL

給与パッケージ管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PKG003 確認対象パッケージ	確認準備ができていないパッケージがある従業員が全て表示されます。	[報酬管理], [給与パッケージ AUS], [パッケージ レポート作成], [確認対象パッケージ]	RUNCTL_PKG003
PKG004 パッケージ モデル	応募者または従業員の給与パッケージについてレポートできます。従業員/応募者の給与パッケージのページに表示される詳細が、このレポートの情報として表示されます。コンポーネント金額 (年間) とコンポーネント金額 (パッケージ期間)、追加コンポーネント金額 (年間) と追加コンポーネント金額 (パッケージ期間)、給与/税額、TPV 金額、TEC 金額が表示されます。	[報酬管理], [給与パッケージ AUS], [パッケージ レポート作成], [パッケージ モデル]	RUNCTL_PKG004
PKG006 FBT 照合	FRINGE ベネフィット税年度末である 3 月 31 日にオーストラリア税務署に報告する給付および債務のレポート作成を支援します。オーストラリア税務署は、FRINGE ベネフィットのさまざまなカテゴリを特定しており、各カテゴリに課税対象額計算の固有のルールがあります。	[報酬管理], [給与パッケージ AUS], [パッケージ レポート作成], [FBT 照合]	RUNCTL_PKG006
PKG007 パッケージ詳細	各支給期間におけるパッケージの各コンポーネントの予算額についてレポートします。従業員別にのみ実行されるこのレポートには、レポート期間の開始日と終了日が必要です。	[報酬管理], [給与パッケージ AUS], [パッケージ レポート作成], [パッケージ詳細]	RUNCTL_PKG007

教育・研修管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGSF182 (USF) SF182	費用および請求のリクエスト、承認、詳細見積、および従業員の研修プログラムの認定を行う SF182 レポートを作成するための標準化されたメカニズムを提供します。(SQR)	[教育・研修管理], [研修レポート], [SF182]	RUNCTL_SF182

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
MXSTP001 (フォーマット) (MEX) DC-1 研修合同委員会組織構造	研修合同委員会と、合同委員会に関連付けられた事業所の構成に関する詳細情報が出力されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-1 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP001
MXSTP002 STPS レポート DC-1 (取消)	上記を参照してください。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-1 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP001
MXSTP003 (フォーマット) (MEX) DC-2 研修/能力開発プラン	研修目標の優先度などの研修および能力開発プランの情報が出力されます。また、合同委員会に関連付けられた事業所も出力されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-2 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP003
MXSTP004 STPS レポート DC-2 (取消)	上記を参照してください。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-2 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP003
MXSTP005 (MEX) DC-2B 研修/能力開発 - 登録申請書	研修および能力開発登録申請書レポートが作成されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-2B フォーマット MEX]	RUNCTL_STP005
MXSTP006 (MEX) DC-3 コース/イベント修了証書	コース/イベント修了証書が作成されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-3 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP006
MXSTP007 (MEX) DC-4 コース/イベント修了証書一覧	コース/イベント修了証書の一覧が出力されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], MEX STPS DC-4 フォーマット	RUNCTL_STP007
MXSTP008 (フォーマット) (MEX) DC-5 研修/能力開発 - 外部登録申請書	研修および能力開発の外部登録申請書と講師の一覧が出力されます。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-5 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP008
MXSTP009 STPS レポート DC-5 (取消)	上記を参照してください。	[教育・研修管理], [研修レポート], [STPS DC-5 フォーマット MEX]	RUNCTL_STP008
PER703 コース テーブル	受講可能なコースが出力されます。コース内容、タイプコード、研修場所、研修期間、学校名も記載されます。このレポートを使って、社内および社外の研修コースを追跡管理できます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース テーブル]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
TRN001 研修通知	研修通知が作成されます。(SQR、Word)	[教育・研修管理], [受講者の登録], [研修通知作成]	RUNCTL_TRN001
TRN002 コース セッション名簿	コース名、セッション番号、セッション開始日、およびコースに登録されている全受講者が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース セッション名簿]	RUNCTL_TRN002
TRN003 コース登録待ちリスト	対象コースのコース/セッション登録待ちリストに載っている全受講者が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース登録待ちリスト]	RUNCTL_TRN003
TRN004 研修スケジュール	指定の期間内に予定されている全てのコース セッションが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [研修レポート], [研修スケジュール]	RUNCTL_TRN004
TRN005 研修施設スケジュール	指定の期間内に研修施設で実施される予定のコースセッションが全て出力されます。全セッションがコースの開始日順に出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [研修レポート], [研修施設スケジュール]	RUNCTL_TRN005
TRN010 アクティブ シナリオ サマリ	ビジネス ユニットの承認済み研修申請と予算情報のサマリが出力されます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修予算], [予算レポート], [アクティブ シナリオ サマリ]	RUNCTL_TRN010
TRN011 グローバル シナリオ サマリ	部門またはビジネス ユニットの承認済みの研修申請と予算情報のサマリが出力されます。この情報は選択したグローバル シナリオから抽出されます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修予算], [予算レポート], [グローバル シナリオ サマリ]	RUNCTL_TRN011
TRN016 取得目標 - 資格	受講者がコース修了時に授与される免許/資格が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [取得目標 - 資格]	RUNCTL_TRN016
TRN017 コース評価	コース セッションに対する評価の詳細が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース評価]	RUNCTL_TRN017
TRN018 コース出席状況	コース受講者の出席状況が出力されます。(SQR)	[教育・研修管理], [コースレポート], [出席状況]	RUNCTL_TRN018

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
TRN019 コース評価テンプレート	コース セッションに登録した受講者が記入する評価テンプレートとして機能します。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース評価テンプレート]	RUNCTL_TRN019
TRN020 コース受講履歴	このレポートには、受講者が修了したコース/セッションが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [研修レポート], [コース受講履歴]	RUNCTL_TRN020
TRN021 研修プログラム	従業員の研修プログラムが出力されます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修レポート], [研修プログラム], [研修プログラム]	RUNCTL_TRN021
TRN022 登録済従業員の統計	コースに登録されている従業員、および会社別、所在地別、部門別のコース統計が出力されます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修レポート], [登録済従業員の統計], [登録済従業員の統計]	RUNCTL_TRN022
TRN023 コース内容	コース内容が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース内容]	RUNCTL_TRN023
TRN024 コース カテゴリ	研修カタログのコース カテゴリが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース カテゴリ]	RUNCTL_TRN024
TRN025 コース備品/教材	コースに必要な備品/教材の一覧が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [コース備品/教材]	RUNCTL_TRN025
TRN026 研修委託機関	コース テーブルのコースに関連付けられている研修委託機関が出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [研修委託機関]	RUNCTL_TRN026
TRN027 事前必須コース	各コースを受講するために事前に受講が必要なコースが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [事前必須コース]	RUNCTL_TRN027
TRN028 取得目標 - コンピテンシー	各コースで育成または改善を目的とするコンピテンシーが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [コースレポート], [取得目標 - コンピテンシー]	RUNCTL_TRN028

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
TRN029 (FRA) 研修レポート 2483	フランスの組織で従業員に提供された職業訓練を申告するために、2483 インジケータの計算結果が取りまとめられます。このレポートを実行する前に、研修レポート 2483 用データ計算 (DEC2483) プロセスを実行して、インジケータを計算します。"2483 用データの編集 FRA" の 2483 用データ編集ページで、計算結果を確認し、必要な更新を行います。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [研修レポート], [税金申告書 2483 FRA]	RUNCTL_TRN029
TRN030 研修プラン サマリ	指定した予算期間とビジネスユニットに対する研修プランに含まれる全コースの一覧が出力されます。 レポートには、コース別にコース費用、承認人数、研修合計時間数が出力されます。研修合計時間数は、承認人数とコース期間を乗算して計算します。(SQR)	[教育・研修管理], [研修予算], [予算レポート], [研修プラン サマリ]	RUNCTL_TRN030
TRN032 従業員別セッション費用サマリ	コースを受講する従業員に関連付けられたコース費用が出力されます。レポートには、コース費用として、給与費用、研修委託機関費用、研修施設費用、講師費用、諸経費、およびセッション費用が出力されます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修レポート], [従業員別セッション費用サマリ]	RUNCTL_TRN032
TRN033 研修講師スケジュール	特定の期間に任意の講師が講義する予定のコースが出力されます。(BI Publisher)	[教育・研修管理], [研修レポート], [研修講師スケジュール]	RUNCTL_TRN033
TRN034 備品チェックリスト	コース セッションに必要な備品が出力されます。アイテムごとに、必要数、研修室や施設で使用可能な数、および指定した期間に施設で予約されている合計数が出力されます。(SQR) このレポートを実行する前に、コース セッション テーブルにコース セッションを設定しておく必要があります。	[教育・研修管理], [研修レポート], [備品チェックリスト]	RUNCTL_TRN034

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
TRN035 (FRA) 研修プラン別予算配分	フランスの会社の研修申請が、性別や職業カテゴリ(幹部役員、管理職、事務職、有資格従業員、無資格従業員など) ごとにどのように配分されているのかが詳細にレポートされます。(SQR)	[教育・研修管理], [研修予算], [予算レポート], [研修プラン別予算配分 FRA]	RUNCTL_TRN035
TRN036 (FRA) 研修プラン別費用詳細	フランスの組織の各コースに関連付けられている研修費用の一覧が出力されます。施設、講師、委託機関、備品、給与費用、諸経費の各費用タイプを詳細にレポートします。(SQR)	[教育・研修管理], [研修予算], [予算レポート], [研修プラン別費用詳細 FRA]	RUNCTL_TRN036

人事・労務管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CNT001 契約情報	選択した従業員または全従業員の契約履歴の一覧が出力されます。全ての契約履歴が含まれるようにレポートの期間を指定できます。	[人事・労務管理], [職務情報], [契約管理], [契約情報レポート]	RUNCTL_CNT001
CTPS_RCP_BRA CTPS 証書	従業員が自分の CTPS 国民 ID を 確認のために人事部門に提出したときに、従業員に対する証書が作成されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [CTPS 証書 BRA]	CTPS_RC_BRA
ERE_RPT_ESP ERE レポート ESP	ERE リクエストが作成されます (BI Publisher)。	[人事・労務管理], [ERE プロシージャ ESP], [ERE データレポート ESP]	ERE_RC_DTA1_ESP
ES931 賃金および終了の印刷	賃金および終了情報レポートに対する ES-931 リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 賃金/終了の印刷 USF	GVT_PRINT_ES931

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR017 人事異動履歴	入力した各人事異動によって影響を受けた全ての従業員のリストが出力されます。出力される情報には、氏名、部門、有効日、および異動理由が含まれます。 従業員ごとに、初回採用日、勤続年数、従業員タイプ、正規/臨時、常勤/パートタイム、職務コードと職務名、給与等級、異動に関連する給与レート、監督者の氏名が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 人事異動履歴 USF	RUNCTL_FGHR017
FGPER810 報奨タイプ テーブル	報奨タイプ テーブル レポートが作成されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 報奨アクション USF	PRCSRUNCNTL
FGSF61 任命宣誓供述書	内定者によって署名される任命宣誓供述書 STANDARD FORM 61 フォームが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 任命宣誓供述書 USF	RUNCTL_FGSF61
FGSF75 暫定雇用データのリクエスト	暫定雇用データのリクエスト フォームが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 暫定雇用データリクエスト USF	RUN_CNTL_FGSF75
FGSF50 および FGSF52 人事異動要求/人事異動通知	従業員および給与計算事務所への異動の通知、公式人事フォルダへの異動の記録、および発生した異動の日付順記録の提供に使用する正式な人事異動通知フォームが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 人事異動要求 USF [人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 人事異動通知 USF	RUNCTL_PAR
HR_EDM_NLD 雇用開始通知 NLD	雇用開始通知 (<i>Eerste Dag Melding</i>) を使用して、雇用開始日前に新規従業員に関して税務当局に通知します。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [雇用開始通知 NLD]	RUNCTL_EDM_NLD
MILRNKNOT 階級変更通知の生成	1 人または複数の軍人の兵役階級変更通知が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [階級変更通知の生成]	MIL_NOTICE_RUN_CTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER001 部門内人事通知	特定の期間または有効期限が設定された異動通知が出力されます。人事異動通知をもれなく作成するためのメモとして使うことができます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [部門内人事通知]	PRCSRUNCNTL
PER001CH 会社別統計 CHE	このレポートには、従業員の賃金、職種など会社別統計レポート (Betriebszaehlung) に必要なデータが表示されます。スイスにある会社は全て、スイス連邦統計局からこの会社別統計レポートを 10 年ごとに作成することが義務付けられています。	[職場環境保全], [会社別統計 CHE]	RUNCTL_PER001_CHE
PER002 従業員の生年月日	従業員、従業員の生年月日、およびその他の識別情報の一覧が出力されます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [個人情報], [一般情報], [生年月日レポート]	RUNCTL_PER002
PER003 勤務年数	指定した時点で特定の勤続年数を満了した従業員のリストが出力されます。福利厚生プランや勤続手当の受給資格がある従業員のメモとして活用できます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [勤務年数]	RUNCTL_PER003
PER004 緊急連絡先	緊急連絡先テーブルに入力された各従業員の連絡先のリストが全て出力されます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [個人情報], [個人関連], [緊急連絡先レポート]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER005 休職中の従業員	休職中の全従業員と各従業員の復職予定日の一覧が出力されます。このレポートは、PeopleSoft ヒューマン リソース管理に入力済みの復職日と従業員の復職予定日を比較したり、復職情報をシステムに入力するためのメモとして使用できます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [休職中の従業員]	PRCSRUNCNTL
PER006 宛名ラベル	PeopleSoft ヒューマン リソース管理のデータベースに入力されている全従業員の住所ラベルが、横方向に 3 ラベルずつ作成されます。(BI Publisher) このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [個人情報], [一般情報], [宛名ラベルレポート]	PRCSRUNCNTL
PER007 臨時従業員	臨時従業員として指定された全ての従業員がアルファベット順に出力されます。勤続期間や、その他の雇用情報の詳細についても出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [臨時従業員]	RUNCTL_ASOFFDATE
PER010 部門別異動率分析	各部門 ID と指定日の時点での従業員数が出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [部門別異動率分析]	RUNCTL_FROMTHRU
PER015 人事異動履歴	入力した各人事異動によって影響を受けた全ての従業員のリストが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [人事異動履歴]	RUNCTL_PER015
PER020 従業員の住所録	全従業員について住所および自宅の電話番号が出力されます。	[人事・労務管理], [一般情報], [住所レポート]	PRCSRUNCNTL
PER021 予定人事異動	将来、人事異動通知を受け取る予定のある全従業員のリストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [予定人事異動]	RUNCTL_ASOFFDT_COMP
PER029 データベース検証	給与金額など、扱いに注意を要するフィールドに対する変更、追加、削除の管理に使用します。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [データベース検証]	RUNCTL_FROMTHRU

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER032 旅券/査証の有効期限	レポートの実行日から 90 日以内に有効期限が切れる旅券、査証、または労働許可証を所持する従業員および扶養家族のリストが出力されます。 このレポートは 2 つのセクションに分かれています。最初のセクションには、国、旅券番号、発行日、有効期限などの旅券情報が出力されます。2 つ目のセクションには、国、査証番号および労働許可番号、区分、発行日、有効期限など、査証や労働許可に関する情報が表示されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [旅券/査証情報], [旅券/査証の有効期限]	PRCSRUNCNTL
PER033 市民権/国/査証の検証	従業員の国籍または市民権ステータスと査証データの整合性の検証結果が出力されます。 個人データ テーブルに保存されている従業員の市民権ステータスに関して検出された整合性のないさまざまなデータが出力されます。 インストール テーブルで指定された国が検索され、従業員の所在国として使用されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [旅券/査証情報], [市民権/国/査証の検証]	PRCSRUNCNTL
PER038NL DIVERSITEIT RAPPORT	ターゲット国出身の従業員数、または両親のどちらかがターゲット国出身の従業員数に関する民族統計の必須情報が表示されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [SAMEN 準拠管理 NLD], [民族レポート]	RUNCTL_PER038_NL
PER039GR 重度障害者 DEU	このレポートには、重度の障害を持つ従業員とその障害に関する追加情報の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [障害者データ], [重度障害者 GER]	DSB_RUNCTL_GER
PER058 主雇用レコードの検証	職務レコードに問題があると思われる全ての従業員の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [主雇用レコードの検証]	RUNCTL_PER058
PER060 障害レポート - ITA	年次レポート、従業員名リストレポート、または障害統計レポートが実行されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [障害者データ], [障害レポート ITA]	RUNCTL_PER060

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER063JP 辞令 JPN	辞令を作成します。ラン コントロールで指定する異動区分と異動理由の組み合わせに基づいて、各従業員の採用、再雇用、退職、異動、および昇進・昇格に関する辞令が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [辞令 JPN]	RUNCTL_NTF_JPN
PER064JP 通達 JPN	通達レポートを実行します。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [通達 JPN]	RUNCTL_NTF2_JPN
PER065JP 出向満了予定者一覧 JPN	出向中の従業員が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [出向満了予定者一覧 JPN]	RUNCTL_PER065_JPN
PER066BE 雇用終了通知	Claeys 計算による通知期間に基づき、ベルギーの事業主に対して、雇用終了の場合の契約および給与関連の詳細情報が出力されます。	[人事・労務管理], [一括更新処理], [管理 BEL], [通知の作成]	RUNCTL_PER066_BEL
PER066IT PER066IT - 採用通知	採用時に出力され、従業員と事業主によって署名される採用通知が作成されます。試用期間などの職務規約の詳細が記載されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [採用通知 ITA]	RUNCTL_PER066_ITA
PER066JP 人員配置表 JPN	兼務している従業員を含む従業員の一覧が部門別に出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [人員配置 JPN]	RUNCTL_EMPLIST_JPN
PER067BEL 社会保険レポート	ベルギー政府が提出を義務付けている事業主と従業員に関するさまざまな情報が出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [社会保険レポート BEL]	RUNCTL_PER067_BEL
PER100CN 採用者リスト CAN	指定した期間内の社会保険番号、有効日、バッジ/給与支給番号の情報を含む採用者リストが出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [採用者レポート CAN]	RUNCTL_FROMTHRU

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER103CN 職業別 OEE グループ	オンタリオ州の従業員には、現在、OEEC (Ontario Employment Equity Commission: オンタリオ雇用機会均等委員会) による労働力調査票への回答の義務はありませんが、PeopleSoft では引き続き OEE レポート作成機能を提供しています。このレポートには、指定期間内に定義した地域で雇用されたアクティブな従業員の合計数が出力されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [OEE 労働力調査 CAN], [職業別グループレポート]	RUNCTL_FTCANAC
PER104CN 雇用タイプ別 OEE グループ	オンタリオ州の従業員には、現在、OEEC (Ontario Employment Equity Commission: オンタリオ雇用機会均等委員会) による労働力調査票への回答の義務はありませんが、PeopleSoft では引き続き OEE レポート作成機能を提供しています。	[人事・労務管理], [個人情報], [OEE 労働力調査 CAN], [雇用タイプ別グループレポート]	RUNCTL_FTCANAC
PER105CN OEE 労働力調査統計	オンタリオ州の従業員には、現在、OEEC (Ontario Employment Equity Commission: オンタリオ雇用機会均等委員会) による労働力調査票への回答の義務はありませんが、PeopleSoft では引き続き OEE レポート作成機能を提供しています。OEE 労働力調査統計レポートには、調査を受けた回数とその調査への回答数が出力されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [OEE 労働力調査 CAN], [労働力調査統計]	RUNCTL_PER105CN
PER106CN 空席状況別 OEE グループ	オンタリオ州の従業員には、現在、OEEC (Ontario Employment Equity Commission: オンタリオ雇用機会均等委員会) による労働力調査票への回答の義務はありませんが、PeopleSoft では引き続き OEE レポート作成機能を提供しています。このレポートには、指定期間内に定義した地域で雇用されたアクティブな従業員の合計数が出力されます。	[人事・労務管理], [個人情報], [OEE 労働力調査 CAN], [空席状況別 OEE グループ]	RUNCTL_FTCANAC

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER706A 給与等級テーブル	給与管理プランおよび給与等級、名称、有効日、通貨コード、各等級の給与レンジ (上限額、下限額、中間額) が出力されます。(BI Publisher)	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [給与等級]	PRCSRUNCNTL
PER706B 給与等級/ステップ テーブル	給与等級テーブルおよび給与ステップ コンポーネント テーブルで入力された情報が、社内の各給与プランに対する全ての給与等級および設定されたステップに対する時給、月給、年間給の金額と共に出力されます。各ステップのコンポーネントが出力されるように選択することもできます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [給与等級/ステップ]	RUNCTL_PER706B
PER710 異動理由テーブル	各人事異動に対する理由コードが、異動別にアルファベット順で出力されます。(BI Publisher)	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], [異動理由レポート]	PRCSRUNCNTL
PER801SG 従業員リスト	部門、従業員氏名、従業員 ID など、ラン コントロール ページで選択した値に基づいて従業員情報が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], [従業員リスト SGP]	RUNCTL_EMP_LIST
SOCS_AFI_ESP AFI レポート ESP	AFI プロセスにより、採用、雇用終了、個人データまたは職務データの変更など、指定期間の人事・労務管理における変更が出力されたフラットファイルが作成されます。このファイルは、社会保障管理当局に提出されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], AFI レポート ESP	RC_SOCS_AFI_ESP
TAS001 期限なし臨時職務	現在、終了日が定義されていない臨時職務に就いている従業員の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [臨時職務], [期限なし臨時職務]	RUNCTL_TAS001
TAS002 期限付き臨時職務	指定期間内に臨時職務を終了する予定の従業員の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [職務情報], [臨時職務], [期限付き臨時職務]	RUNCTL_TAS002
XML_LOADPRNT XML ファイルの印刷	ERE XML ファイルが作成されます (BI Publisher)。	[人事・労務管理], [ERE プロシージャ ESP], [ERE SPEE 通信 ESP]	ERE_RC_XML

基本福利厚生管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN001 医療保険加入者リスト	指定日の時点でアクティブな医療保険加入者の一覧が出力されます。特定の保険取扱機関によって提供されたプランタイプに含まれる従業員数を決定する際に役立ちます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生加入状況], [医療保険加入者リスト]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN002 生命保険加入者リスト	指定日の時点でアクティブな生命保険加入者の一覧が出力されます。特定の保険取扱機関によって提供されたプランタイプに含まれる従業員数を決定する際に役立ちます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生加入状況], [生命保険加入者リスト]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN003 福利厚生拠出金	従業員別および事業主別に福利厚生拠出金のサマリが出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [拠出金/控除], [福利厚生拠出金登録]	RUNCTL_BEN003
BEN003CN 福利厚生拠出金 CAN	カナダの会社について、従業員別および事業主別に福利厚生拠出金のサマリが出力されます。このレポートは、BEN003 と同じものです。	[福利厚生管理], [レポート作成], [拠出金/控除], [CAN-拠出金登録]	RUNCTL_BEN003CN
BEN004 貯蓄投資配分	投資配分付き貯蓄プランに加入している従業員の全控除、および会社拠出額が出力されます。また、サードパーティの管理者が使用するインターフェイス ファイルも作成されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生加入状況], [貯蓄投資配分]	RUNCTL_BEN004
BEN007 有給休暇	このレポートには、休暇プラン別および従業員別に有給休暇情報が表示されます。プラン年の付与時間数、繰り越し時間数の年間累計、取得時間数の年間累計、および休暇残数などの情報が出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生加入状況], [有給休暇付与/取得サマリ]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN008 415 準拠レポート	415 の制限を超える、または下回る従業員負担額の一覧が出力されます。会社、従業員 ID、有効日、特別累計、福利厚生プログラム、給与比率、福利厚生の算定基礎の上限、および年間累計総額などの情報も表示されます。また、415 制限から除外されるプランおよび 415 制限に含まれるプランが、制限対象のプランと共に出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [法令準拠], [415 準拠従業員]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN009 415 非準拠レポート	BEN009 では、415 制限を超過している従業員のレポートが作成されます。会社、従業員 ID、カレンダー年/月、年間累計総額、有効日、支給コード、福利厚生プログラム、給与比率、および福利厚生の算定基礎の上限などの情報が表示されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [法令準拠], [415 非準拠従業員]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN020 FMLA ステータス レポート	間近に迫った休暇リクエスト、現在の FMLA 休暇リクエスト、最近満了した FMLA 休暇、および却下された FMLA 休暇リクエストなどのサマリ情報が出力されます。 このレポートを使用して、FMLA 休暇プロセスを最初から最後まで管理することができます。このレポートを確認することにより、間もなく休暇に入る従業員、休暇をサポートするために必要なフォローアップ、間もなく休暇資格を使い果たす従業員などがわかります。	[福利厚生管理], [FMLA 管理], [ステータス レポート]	RUNCTL_BEN020

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN021 FMLA 給与計算検証	FMLA 休暇中の従業員または最近休暇を満了した従業員について、従業員 ID、氏名、FMLA リクエスト番号、開始日と終了日、職務ステータス、休暇期間中の給与支給、FMLA 取得時間 (有給および無給)、および給与計算で支給対象として報告された時間と FMLA システムで支給対象として記録された時間との差異の合計が出力されます。	[福利厚生管理], [FMLA 管理], [給与計算検証レポート]	RUNCTL_BEN021
BEN022, BEN023 HIPAA 医師証明書	BEN022 プロセスでは、HIPAA (Health Insurance Portability and Accountability Act of 1996、医療保健の携行性と責任に関する法律) の規定に従い、指定したプラン タイプに対する元従業員のグループ健康保険の履歴が 18 か月分出力されます。 BEN023 プロセスでは、選択した扶養家族の履歴が出力されます。 これらのレポートに HIPAA 履歴が表示されるのは、福利厚生プログラム テーブル コンポーネントで [HIPAA プラン] チェック ボックスをオンにしたプラン タイプのみです。	[福利厚生管理], [レポート作成], [法令準拠], [HIPAA]	RUN_CNTL_HIPAA
BEN040 請求明細	福利厚生請求管理システムに登録されていてアクティブになっている未決済残高を持つ全ての従業員について、請求明細が出力されます。この明細には、アクティビティの開始日と終了日、アクティビティタイプ、プラン タイプ、福利厚生プラン、補償、金額および期日などが表示されます。また、合計支払額、合計未支払額、および請求カレンダーに入力されたコメントなども出力されます。	[福利厚生管理], [福利厚生請求管理], [請求書明細], [請求明細の印刷]	RUNCTL_BEN040

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN041 支払滞納口座	福利厚生請求管理プラン テーブルで定義された諸条件 に従って、支払いの遅れている 従業員の請求/支払いアク ティビティが出力されます。 このレポートを使用して、滞納 している加入者と期日後の経 過日数、および合計未払金額 などを確認することができま す。また、滞納している加入者 の合計数と期限後の経過期 間、および合計未払金額など を確認することもできます。	[福利厚生管理], [福利厚生 請求管理], [請求管理レポー ト作成], [支払滞納口座レ ポート]	RUNCTL_BEN041
BEN042 売掛金管理レポート	入金額とその適用方法を含 む、全ての入金アクティビティ が出力されます。 このレポートを使用して、従業 員から受け取った入金額を 検証することができます。ま た、その入金の適用方法を確 認することもできます。このレ ポートは、一般会計の照合や 検証に使用することもできま す。	[福利厚生管理], [福利厚生 請求管理], [請求管理レポー ト作成], [売掛金管理]	RUNCTL_BEN042
BEN043 請求履歴	指定期間の全ての請求履歴 アクティビティが従業員別に 出力されます。 このレポートを使用すると、請 求履歴に関する従業員から の質問に答えることができま す。また、請求アクティビティ のトラブルシューティング ツ ールおよび検証ツールとして使 うこともできます。請求履歴 ページには、開始日と終了日 を入力するフィールドが表示さ れます。	[福利厚生管理], [福利厚生 請求管理], [請求管理レポー ト作成], [履歴アクティビティ レポート]	RUNCTL_BEN043
BEN044 請求計算エラー	請求計算エラーの一覧が出力 されます。	[福利厚生管理], [福利厚 生請求管理], [処理結果レ ビュー], [計算エラー レポート]	RUNCTL_BILL_CAL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN045 福利厚生請求検証	オープン請求およびオープンクレジットのある従業員、アクティブ登録検証、非アクティブ登録検証、3 か月以上の保留のある従業員、および3 か月以上の保留のある登録などが出力されます。 このレポートを使用して、フォローアップ アクティビティが必要な可能性のある請求登録を検証します。たとえば、エラー条件が存在する場合は、オープン請求およびオープンクレジットのある従業員のデータのみが表示されます。	[福利厚生管理], [福利厚生請求管理], [請求管理レポート作成], [検証レポート]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN050 主雇用レコード検証	主雇用レコード テーブルにレコードのない従業員、主雇用レコード テーブルに職務のない従業員、主雇用レコード フラグがオンになっていない従業員、主雇用レコードが特定の福利厚生レコードに対して指定されていない従業員、および特定の福利厚生レコード番号に対して複数の主雇用レコードが指定されている従業員などが識別されます。	[福利厚生管理], [主雇用レコード管理], [検証レポート作成]	RUNCTL_BEN050

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN110 スナップショット保険料レポート	福利厚生加入スナップショットの結果を使用して、福利厚生取扱機関に支払うべき総保険料を計算し、被保険従業員の補償額と保険料を機関およびプラン タイプ別にソートして報告します。 このレポートは 3 つの方法で実行できます。(1) "スナップショット保険料 - 計算" プロセス (個々の保険料を計算して保存するアプリケーション エンジン) だけを実行する。(2) "スナップショット保険料 - レポート" (以前に計算された保険料を使用して、福利厚生取扱機関およびプラン タイプ別に報告する SQR レポート) だけを実行する。(3) 結合された "スナップショット保険料レポート" ジョブ (計算プロセスとレポート プロセスをひとまとめにして、同じラン コントロール条件を使用して一度に実行する) を実行する。	[福利厚生管理], [取扱機関とのインターフェイス], スナップショット保険料	RUNCTL_BEN110
BEN140 支払インターフェイス	このプログラムにより、サードパーティのインターフェイス ファイルから支払い情報が読み込まれ、オープンなアカウントに対して転記されます。バッチ インターフェイス プロセスで処理される福利厚生請求支払いに関する情報が出力されます。 このプログラムは、支払い入力ページで支払いを入力する代わりに使用できます。期日内の最も古い期日からプラン タイプ別に支払いが請求に適用されます。支払いは、トランザクションの転記日の時点で転記されます。	[福利厚生管理], [福利厚生請求管理], [請求インターフェイスの処理], [ファイルの支払転記]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN141 A/R インターフェイス	このレポートには、指定した請求期間の全ての請求および請求期間内の転記日を持つ全ての請求調整が抽出されます。BILLAR というファイルが作成されます。出力ファイル BILLAR には 2 つのタイプのレコードが保持されます。一方には従業員情報が保持され、もう一方には福利厚生請求管理の請求と請求調整の会計情報が保持されます。 このレポートを使用して、請求情報を売掛金管理システムに送信することができます。	[福利厚生管理], [福利厚生請求管理], [請求インターフェイスの処理], [請求管理売掛金ロード]	RUNCTL_BILL_CAL
BEN701 福利厚生テーブル リスト	FSA テーブルの情報が出力されます。このレポートを使用して、FSA テーブルの更新および変更が正しく行われたかどうかを確認できます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [FSA プラン]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN702 均一レート テーブル	特定の福利厚生プログラム/プランに対する選択周期ごとの請求レートを定義する均一レート テーブルから情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], [均一レート]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN703 所得補償保険プラン テーブル リスト	所得補償保険プラン テーブルから情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [所得補償保険プラン]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN704 年齢等級レート テーブル リスト	年齢等級テーブルレポートには、年齢等級レートのセットごとに、レートの有効日、および年齢範囲、性別、喫煙者/非喫煙者などのレート係数が事業主および従業員別に出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], 年齢等級レート	RUNCTL_BEN_LANG
BEN705 生命/傷害保険テーブル リスト	生命/傷害保険プラン テーブルから情報が出力されます。プラン タイプ、プラン名、福利厚生プラン ID、福利厚生プラン名、有効日、補償、固定額、レート係数、およびグループ コードなどの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [生命/傷害保険テーブル リスト]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN707 貯蓄プラン/投資テーブル	貯蓄プラン テーブルから情報が出力されます。貯蓄プラン タイプ、福利厚生プラン、有効日、事業主投資マッチング オプション、従業員控除と事業主拠出金および投資オプションの条件などの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [貯蓄プラン]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN708 計算ルール テーブル リスト	計算ルール情報が、計算ルール ID 別に出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], [計算ルール]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN709 福利厚生プラン テーブル リスト	福利厚生プラン テーブルから情報が出力されます。有効日、名称、機関 ID、機関名、デフォルト控除コードとその名称、および差別禁止テストのインジケータなどの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [福利厚生プラン]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN710 休暇プラン テーブル リスト	休暇プラン テーブル ページ 1 から情報が出力されます。プラン タイプ、プラン名、福利厚生プラン名、福利厚生プラン ID、有効日、累計処理日、付与周期、勤続期間、特別計算ルーチン、プラン開始年、休暇残数の上限、および休暇繰越数の上限などの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [休暇プラン - 基本属性]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN710A 休暇プラン テーブル (勤続レート)	休暇プラン テーブル ページ 2 および 3 から情報が出力されます。各プラン タイプの名称および ID、有効日、勤続期間、各加算値と賞与値、金銭で支給するかどうか、雇用終了時に金銭で支給するかどうか、雇用終了時の支給率、超過取得が可能かどうか、各初年度レート値などの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [休暇プラン - 有給休暇と賞与]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN711 退職プラン テーブル リスト	カリフォルニア州職員退職年金基金 (PERS) の年金プランを定義する退職プラン テーブルから情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [退職プラン]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN713 福利厚生プログラム	福利厚生プログラム テーブルから情報が出力されます。福利厚生プログラムと福利厚生プランとの関係、レート、計算ルール、扶養家族ルール、給与計算ルールなどの情報が出力されます。このレポートは、福利厚生プログラム テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プラン レポート作成], [福利厚生プログラム]	RUNCTL_BEN713
BEN714 勤続期間レート テーブル リスト	各勤続期間レート ID に関する情報が出力されます。有効日、支給周期、基準単位、勤続期間、合計レート、事業主負担、従業員負担などの情報が出力されます。このレポートは、勤続期間レート テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], [勤続期間レート]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN715 休暇売買プラン リスト	各休暇売買プラン タイプ名とプラン タイプ ID、有効日、休暇の買い上げまたは売却の選択、支給タイプ、処理周期、休暇時間数 (増加、下限、上限)、給与比率、休暇額の上限などの情報が出力されます。このレポートは、休暇売買テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プラン レポート作成], [休暇売買]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN716CN 年金プラン テーブル リスト 1	カナダの年金プラン テーブルから情報が出力されます。プラン タイプとその名称、福利厚生プランとその名称、有効日、特別累計コード、年金プラン タイプ、任意拠出が可能かどうか、CPP との調整を行うかどうか、プランの登録番号、拠出金パーセント、YMPE までの拠出金および YMPE を超える拠出金についての従業員拠出率と事業主拠出率などの情報が出力されます。 このレポートは、カナダの年金プラン テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プラン レポート作成], [カナダ年金プラン-基本]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN717CN 年金プラン テーブル リスト 2	カナダの年金プラン テーブルから情報が出力されます。プラン タイプ ID とその名称、福利厚生プラン ID とその名称、有効日、拠出金のレートタイプ、給付限度、YMPE までの拠出金および YMPE を超える拠出金についての従業員拠出率と事業主拠出率などの情報が出力されます。 このレポートは、カナダの年金プラン テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [カナダ年金プラン-レート]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN718CN 年金プラン テーブル リスト 3	カナダの年金プラン テーブルから情報が出力されます。プラン タイプ ID とその名称、福利厚生プラン ID とその名称、有効日、特別累計、年金プラン タイプ、任意拠出が可能かどうか、YMPE 以下および YMPE 超過での拠出金パーセント、年金管理の支給除外範囲、手当給付額の上限、年間基本時間などの情報が出力されます。 このレポートは、カナダの年金プラン テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [カナダ年金プラン-限度]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN720 FMLA プラン テーブル リスト	FMLA プラン テーブルから情報が出力されます。FMLA カレンダー タイプ、資格条件、年間休暇付与週数などの情報が出力されます。このレポートは、FMLA プラン テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [FMLA], [FMLA プラン テーブルレポート]	RUNCTL_BEN_LANG

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN721 制限 テーブル リスト	加入者が有資格のプランから受け取ることができる、または拠出することができる金額を制限する政府規定の定義を行う制限テーブルから情報が出力されます。このレポートは、制限テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], [制限テーブル]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN731 給与比率レート テーブル	フレックス クレジット オプションおよび控除計算に対する給与比率を定義する給与比率レート テーブルから情報が出力されます。レート ID に対する給与パーセント有効日などが出力されます。このレポートは、給与比率テーブルで定義された情報の監査証跡として機能します。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [レート/ルール レポート作成], [給与比率レート]	RUNCTL_ASODATE_BEN
BEN733 基本福利厚生データの検証レポート	基本福利厚生ビジネス プロセスに関連する、該当する可能性のある従業員データ エラー条件のサマリが出力されます。 雇用レコードのない従業員、職務レコードのない従業員、16 歳未満の従業員、補償契約した例外的な扶養家族がいる従業員、配偶者 (または他の扶養家族) と共に医療保険に加入している従業員、年齢超過扶養家族が補償対象になっている従業員、および福利厚生プログラム テーブルで間違った医療保険が設定されている従業員などが出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生検証レポート], [基本福利厚生検証]	RUNCTL_BEN_LANG
BEN734 裁判所命令検証レポート	裁判所命令による扶養家族補償または最低配偶者補償に準拠していない従業員が出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [福利厚生検証レポート], [裁判所命令補償額検証]	RUNCTL_BEN734

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BEN740 請求カレンダー テーブル リスト	このレポートには、作成済みの請求期間が出力されます。このレポートは、請求期間別に支払期日情報を参照できるクイック リファレンスとしても活用できます。 各請求期間について、請求期間 ID、期間開始日、期間終了日、支払期日、COBRA 支払期日、請求管理計算の有無、請求明細の印刷の有無などの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [請求管理], [カレンダー レポート]	RUNCTL_BEN_LANG
CBR001 COBRA 第 1 回通知文書	有資格 COBRA 加入者の医療補償の終了、有資格の COBRA 補償、および選択内容を報告またはリクエストを放棄する際の回答期限日などが記載された通知文書が作成されます。また、登録フォームも出力されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [自動加入管理], [第 1 回通知文書作成]	RUNCTL_CBR001
CBR002 COBRA 第 2 回通知文書	第 2 資格適用イベントを経験済みの COBRA 加入者に対する COBRA 継続補償の延長に関する情報などが記載された通知文書が作成されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [自動加入管理], [第 2 回通知文書作成]	RUNCTL_CBR002
CBR003 COBRA 解約予告通知	COBRA 補償の有効期限が間もなく切れることを COBRA 加入者に通知する文書が作成されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [COBRA 補償終了], [解約予告通知作成]	RUNCTL_CBR003
CBR004 登録フォーム	COBRA 加入者のオープン登録通知が作成されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [オープン登録通知作成]	RUNCTL_CBR004
CBR005 COBRA イベント サマリ	COBRA イベントが発生した全ての従業員が、イベント ステータスと共に出力されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [処理結果レビュー], [イベント サマリ作成]	RUNCTL_CBR005
CBR006 COBRA 登録データレポート	全ての COBRA 加入者、および各加入者の補償開始日などを含む現在の選択内容が出力されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [処理結果レビュー], [登録データレポート]	RUNCTL_CBR006

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CBR007 COBRA 検証レポート	COBRA 医療補償に登録されているアクティブな従業員、同じ扶養家族 ID で医療保険に加入している従業員と配偶者 (または他の扶養家族)、超過年齢扶養家族を持つ従業員などが出力されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [処理結果レビュー], [検証レポート]	RUNCTL_ASODATE_BEN
CBR008 COBRA 管理エラー	COBRA イベント コンフリクト、有資格の福利厚生プログラムがないかまたは有資格の福利厚生プログラムが複数ある、重複 COBRA イベントが存在するなど、COBRA プロセスのエラーが出力されます。	[福利厚生管理], [COBRA 福利厚生管理], [処理結果レビュー], [エラー レポート]	RUNCTL_CBR008
FGPY017 (USF) FEHB 照合	連邦機関は、主要な FEHB 取扱機関に四半期レポートを送付する必要があります。これらのレポートを使用することによって、取扱機関はその機関の登録レコードと連邦機関の登録レコードを比較できます。また、合計人員数および保険料も出力されます。	[福利厚生管理], [取扱機関とのインターフェイス], FEHB 照合レポート	GVT_RUN_FGPY017
NDT004 401 差別禁止テスト	401(k) 差別禁止テスト SQR (NDT002) および 401(m) 差別禁止テスト SQR (NDT003) による出力結果が表示されます。	[福利厚生管理], [差別禁止テスト], [セクション 401], [401 テストレポート]	RUNCTL_NDT004
NDT008 129 差別禁止テスト	次の 3 つのセクション 129 の差別禁止テスト SQR による結果が出力されます。 NDT005: 有資格クロスセクション テスト (有資格従業員テスト) NDT006: 55% 平均福利厚生テスト NDT007: 集中テスト (5% オーナー テスト)	[福利厚生管理], [差別禁止テスト], [セクション 129], [129 テストレポート]	PRCSRUNCTL
PAY031 控除および福利厚生登録	控除が控除コード順にソートされて出力されます。	[福利厚生管理], [レポート作成], [拠出金/控除], [PI 福利厚生控除登録]	RUNCTL_PAYINIT2

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PAYVNDR 取扱機関	機関テーブルから情報が出力されます。機関名と機関 ID、機関の有効日、機関の住所、必要に応じて保険支払いのための個別の住所欄などの情報が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [基本福利厚生], [福利厚生プランレポート作成], [取扱機関]	RUNCTL_PAYVNDR
RDED001 リクエスト済遡及福利厚生/控除 - '未処理ステータス'	未処理の遡及福利厚生/控除リクエストが出力されます。	[Payroll for North America], [遡及給与計算], [レポート作成], 遡及福利厚生/控除レポート, 遡及福利厚生/控除未処理リクエスト サマリ	RUNCTL_RTRODED1
RDED002 処理中の遡及福利厚生/控除 - '計算ステータス'	処理された遡及福利厚生/控除リクエストが出力されます。	[Payroll for North America], [遡及給与計算], [レポート作成], 遡及福利厚生/控除レポート, [遡及福利/控除計算]	RUNCTL_RTRODED1
RDED002B 遡及福利厚生/控除サマリ	遡及福利厚生/控除リクエスト情報のサマリが従業員 ID 別に出力されます。控除タイプ、控除額 (旧および新)、および再計算後の控除額が従業員別の合計と共に出力されます。	[Payroll for North America], [遡及給与計算], [レポート作成], 遡及福利厚生/控除レポート, [遡及福利厚生/控除ロード サマリ]	RUNCTL_BEN_LANG
RDED003 遡及福利厚生/控除検証レポート - 'ペイシートにロード' ステータス	給与計算システムにロードされたリクエストの遡及福利厚生/控除情報のサマリが出力されます。控除タイプ、控除額 (旧/新)、および再計算後の控除額が従業員別の合計と共に出力されます。	[Payroll for North America], [遡及給与計算], [レポート作成], 遡及福利厚生/控除レポート, [遡及福利厚生/控除ロードの検証]	RUNCTL_RTRODED3
RDED004 期間別計算済遡及福利/控除 (ロード済雇用完了従業員)	雇用完了従業員に関して給与計算システムにロードされたリクエストの遡及福利厚生/控除情報のサマリが出力されます。控除タイプ、控除額 (旧/新)、および再計算後の控除額が従業員別の合計と共に出力されます。	[Payroll for North America], [遡及給与計算], [レポート作成], 遡及福利厚生/控除レポート, [遡及福利厚生/控除 - 雇用終了]	RUNCTL_RTRODED3

コミットメント会計管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BUD001 部門別 FTE	部門別 FTE (常勤換算) レポートを実行します。このレポートには、部門ごとの常勤換算の上限と実績常勤換算との間の差異が表示されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [レポート作成], 部門別 FTE	RUNCTL_FRMTHRU_DPT
BUD004 会計年度予算	税、控除、および支給に対する予算レベルの定義を表示するレポートが出力されます。また、予算レベルの実績累計、および FTE (常勤換算) 上限と部門の限度額も出力されます。 Understanding Fiscal Year Budgets in PeopleSoft Human Resources PeopleSoft Human Resources Manage Commitment Accounting を参照してください。	[Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 USA, [会計年度予算レポート], [会計年度予算レポート] [Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 CAN, [会計年度予算レポート], [会計年度予算レポート]	RUNCTL_BUD004
BUD009 エンカンバランス メッセージ	エンカンバランス メッセージ レポートを実行します。このレポートには、エンカンバランス処理のエラー メッセージに関する情報が表示されます。 このページを使う前に、エンカンバランス処理を実行しておく必要があります。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [レポート作成], [エンカンバランス メッセージ]	RUNCTL_BUD009
BUD011 資金割当サマリ	資金割当サマリレポート ページを実行します。このページには、部門内のポジションや従業員に関する資金割り当てのサマリ情報が一覧表示されます。ラン コントロールとして従業員情報やポジション情報を入力すると、特定のポジションや従業員に関する情報を出力することもできます。 このページを使う前に、レポートを作成する部門の資金割り当ての情報を設定しておく必要があります。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [レポート作成], 資金割当サマリレポート CAN [HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [レポート作成], 資金割当サマリレポート USA	RUNCTL_BUD011C RUNCTL_BUD011

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BUD012 FTE ロールアップ	FTE ロールアップレポートを実行します。このレポートには、部門ごとの人員割り当て済みと未割り当ての FTE (常勤換算) 数の合計の詳細リストが出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [コミットメント会計], [レポート作成], [FTE ロールアップレポート]	RUNCTL_BUD012
BUD020 遡及配分	遡及配分を使用して修正された給与小切手が出力されます。旧小切手データと修正された小切手データが表示されます。	[Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 CAN, [遡及配分検証レポート] [Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 USA, [遡及配分検証レポート]	RUNCNTL_BUD020
HPCA010 配分前検証	配分前検証レポートでは、給与計算および設定データが検証され、実績配分または実績 GL インターフェイス プロセスの実行時に発生した可能性のあるエラーが検出されます。 配分検証レポートは、ペイシート作成プロセスの実行後、および実績配分プロセスの実行前に実行します。	[Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 CAN, [配分前検証レポート] [Payroll for North America], [給与計算情報配分], コミットメント会計 USA, [配分前検証レポート]	HP_RUNCTL_PDAAUDIT
HPCA012 フリンジ/総額レポート	給与小切手配分レコードのレポートが作成されます。給与小切手配分プロセスの完了後に実行します。 列定義を設定して、フリンジ/総額レポートの実行前にフリンジ/総額ロード プロセスを実行する必要があります。	[Payroll for North America], [給与計算情報配分], GL インターフェイス レポート, 総額/フリンジ	HP_RCTL_GRSFR_RPT
PAY059 エンカンパランス会計行	PeopleSoft 一般会計またはコミットメント コントロールとインターフェイスするエンカンパランス トランザクションの詳細が出力されます。	[給与計算], [給与計算情報配分], GL インターフェイス レポート, エンカンパランス会計行, [エンカンパランス会計行レポート]	RUN_PAY059
PAY061 従業員予算確認ログ	従業員予算確認ログの詳細が出力されます。	[給与計算], [給与計算情報配分], GL インターフェイス レポート, [従業員予算確認ログ], [従業員予算確認ログ]	RUN_PAY061

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PAY062 ポジション予算確認ログ	ポジション予算確認ログの詳細が出力されます。	[給与計算], [給与計算情報配分], GL インターフェイス レポート, [ポジション予算確認ログ], [ポジション予算確認ログ]	RUN_PAY062
PAY063 予算確認エラー	予算チェック ステータスが有効ではないドキュメント ID をリストするレポートが作成されます。	[給与計算], [給与計算情報配分], GL インターフェイス レポート, [予算確認エラー], [予算確認エラー]	RUN_PAY063

フランス利潤分配管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
WP0001FR 個人レポート	利潤分配額の計算時または従業員の退職時に、利潤分配額の詳細が従業員情報と共に出力されます。このレポートは、従業員の給与明細に標準で出力できます。	[報酬管理], [利潤分配制度 FRA], [利潤分配の管理], [個人レポート]	RUNCTL_WP_IND_RPT
WP0002FR 契約別レポート	このレポートは、管理者用です。選択した契約が有効な全ての従業員が出力されます。従業員の資金ステータス、利潤分配総額、利潤分配純額、控除、投資方法などの情報が出力されます。	[報酬管理], [利潤分配制度 FRA], [利潤分配の管理], [契約別レポート]	RUNCTL_WP_AGRT_RPT

フランス公的機関管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FP_PROM 昇進候補の従業員	昇進候補の従業員が指定日別に出力されます。FPA800 SQR の後に開始します。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [一括更新処理], [昇進候補者の指定 FPS], 昇進候補の従業員レポート	RUNCTL_FPAPROM
FPA_CARB キャリア シミュレーション	ステップ昇給の再分類またはシミュレーション後のシミュレート済キャリア データが出力されます。	[人事・労務管理], [一括更新処理], 昇給管理 FPS, キャリア シミュレーション レポート	RUNCTL_FPACRYSTAL3
FPA025 評価	評価済みの従業員および未評価の従業員が出力されます。	[人材開発], [キャリア プラン], [評価/キャリア プランの準備], 評価ステータスの確認 FPS	RUNCTL_FPA025

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FPA030 調整定数	特定の団体の評価者ごとの調整定数が計算されて出力されます。	[人材開発], [キャリア プラン], [評価/キャリア プランの準備], 調整定数の計算 FPS	RUNCTL_FPA030
FPA110 Edit Individual Order	期間、ステータス、および異動区分に対する全ての個別順序が編集されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], Individual Orders Edit FPS	RUNCTL_FPA110J
FPA110 Edit Collective Order	期間、ステータス、および異動区分に対する全ての団体順序が編集されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], Collective Orders FPS	RUNCTL_FPA110C
FPA115 団体順序番号更新	団体順序で番号を更新します。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], Collective Order Updates FPS	RUNCTL_FPA115
FPA400 パートタイム スケジュール	パートタイムが間もなく終了するパートタイム従業員が出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], [パートタイム スケジュール FPS]	RUNCTL_FROMTHRU
FPA405 試用期間スケジュール	試用期間が間もなく終了する従業員が出力されます。	[人事・労務管理], [一括更新処理], [昇進候補者の指定 FPS], [現在の試用スケジュール レポート]	RUNCTL_FROMTHRU
FPA-AFFE 割当 - リクエスト tbc	承認が必要な割当変更のリクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 割当 - リクエスト tbc FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPA-CARR キャリア - リクエスト tbc	承認が必要なキャリア変更のリクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], キャリア - リクエスト tbc FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPACNTR 拠出金払込督促状	拠出金払込督促状には、従業員の住所および拠出金額が含まれています。このレポートは、FPA1100 SQR の後に開始します。	[人事・労務管理], [一括更新処理], 拠出金払込督促状 FPS	RUNCTL_FPA1150
FPACNTR2 拠出金払込督促状	上記を参照してください。	[人事・労務管理], [一括更新処理], 拠出金払込督促状 FPS	RUNCTL_FPA1150
FPAEE_CA 従業員キャリア/異動	従業員キャリア データが出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 従業員キャリア/異動 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL2
FPAEE_PO 公務員ポジション/従業員	従業員の公務員ポジション データが出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [職務情報], [レポート], 公務員ポジション/従業員 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL2

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FPAHISTA 割当 - リクエスト却下	却下された割当変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 割当 - リクエスト却下 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPAHISTC キャリア - リクエスト却下	却下されたキャリア変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], キャリア - リクエスト却下 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPAHISTP 公務員ポジション - リクエスト却下	却下された公務員ポジションリクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 公務員ポジション - リクエスト却下 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPAHISTS 給与 - リクエスト却下	却下された給与変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 給与 - リクエスト却下 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPAHISTW 勤務時間 - リクエスト却下	却下された勤務時間変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 勤務時間 - リクエスト却下 FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPA-POSI 公務員ポジション tbc	承認を必要とする公務員変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 公務員ポジションリクエスト tbc FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPA_RAT 評価対象の従業員のリスト (従業員 ID)	出勤時間による評価対象の従業員が部門または等級別にソートされて出力されます。このレポートは、FPA1200 SQR の後に開始します。	[人材開発], [キャリア プラン], [評価/キャリア プランの準備], 評価対象従業員レポート FPS	RUNCTL_FPA1210
FPARAT2 評価対象の従業員が出力されます (従業員/部門リスト)。	上記を参照してください。	[人材開発], [キャリア プラン], [評価/キャリア プランの準備], 評価対象従業員レポート FPS	RUNCTL_FPA1210
FPA-REMU 給与 - リクエスト tbc	承認を必要とする給与変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 給与 - リクエスト tbc FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPA-TDTR 勤務時間 - リクエスト tbc	承認を必要とする勤務時間変更リクエストが出力されます。	[人事・労務管理], [人事・労務レポート], 勤務時間 - リクエスト tbc FPS	RUNCTL_FPACRYSTAL1
FPMACT1 アクション リスト - レポート 1	アクション定義パート 1 が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, アクション リスト - レポート 1	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FPMACT2 アクション リスト – レポート 2	アクション定義パート 2 が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, アクション リスト – レポート 2	PRCSRUNCNTL
FPMACTLE アクション/公務員ポジション	公務ポジションによって承認されたアクションが出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, アクション/公務員ポジション	PRCSRUNCNTL
FPMACTPR 遡及プロセス措置ルール	措置コードの遡及ルールが出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, 遡及プロセス措置ルール	PRCSRUNCNTL
FPMACTST アクション/ステータス	ステータスによって承認されたアクションが出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, アクション/ステータス	PRCSRUNCNTL
FPMBUISN 職業	職業コードが出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, [職業コード]	PRCSRUNCNTL
FPMCORPS Corps	Corps 定義が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, [Corps]	PRCSRUNCNTL
FPMINDEX インデックス値	インデックス値/金額が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, インデックス値	PRCSRUNCNTL
FPMJOB CD 職務コード	職務コード定義が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, [職務コード]	PRCSRUNCNTL
FPMLEGAL 公務ポジション	公務ポジション定義が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, [公務ポジション]	PRCSRUNCNTL
FPMPOINT 点数タイプ	点数タイプ定義が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, 点数タイプ	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FPMRANK1 等級リスト - レポート 1	等級定義パート 1 が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, 等級リスト - レポート 1	PRCSRUNCNTL
FPMRANK2 等級リスト - レポート 2	等級定義パート 2 が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, 等級リスト - レポート 2	PRCSRUNCNTL
FPMSALST 給与等級テーブル/スケール - ステップ	給与等級テーブル - ステップ が出力されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [人事・労務管理], 人事・労務レポート FPS, 給与等級テーブル/スケール - ステップ	PRCSRUNCNTL

労使関係管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR015 (USF) 組合員リスト	(U.S. 連邦政府ユーザー向け) 各組合組織とその組合員である従業員の一覧が出力されます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行する必要があります。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], 組合員リスト USF	PRCSRUNCNTL
HRLAY001 一時解雇対象者名簿	一時解雇対象者名簿の設定情報、名簿リスト情報についてのレポートが作成されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [一時解雇対象者名簿]	HR_RUNCTL_LAY001
HRLAY002 降格配転	このレポートには、従業員の職務データ履歴、および職務の階層が出力されます。職務の階層により、一時解雇の際に降格配転権を持つ人物を判断できます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [降格配転レポート]	HR_RUNCTL_LAY002
HRLAY003 年功	従業員とその年功起算日、および年功起算日の値が出力されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [年功情報]	HR_RUNCTL_LAY003
HRLAY004 候補者リスト	このレポートは、復職権期限が有効期間内にある従業員のリストを出力します。	[人事・労務管理], [労使関係], [候補者リストレポート]	HR_RUNCTL_LAY004

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HRLAY005 復職対象者名簿	復職対象者名簿の設定情報、名簿リスト情報についてのレポートが作成されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [復職対象者名簿], [復職対象者名簿レポート]	HR_RUNCTL_LAY005
HRLAY006 一時解雇対象者名簿の後処理	一時解雇プロセス ページで一時解雇プロセスを実行すると、このレポートが作成され、一時解雇対象の従業員の一覧が出力されます。 注: 一時解雇プロセス ページの [自動現職復帰] チェック ボックスをオンにすると、一時解雇プロセスを実行してもこのレポートは作成されません。	[人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [一時解雇対象者名簿], [一時解雇名簿リスト] [一時解雇の処理] ボタンをクリックします。	HR_RUNCTL_LAY
HRLAY007 復職権の後処理	- 一時解雇プロセス ページで一時解雇プロセスを実行すると、このレポートが作成され、復職権が付与された従業員の一覧が出力されます。 注: 一時解雇プロセス ページの [自動現職復帰] チェック ボックスをオンにすると、一時解雇プロセスを実行してもこのレポートは作成されません。 - 復職/現職復帰処理ページで復職プロセスまたは現職復帰プロセスを実行すると、このレポートが作成され、再雇用された従業員の復職権の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [一時解雇対象者名簿], [一時解雇名簿リスト] [一時解雇の処理] ボタンをクリックします。 [人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [復職対象者名簿], 復職候補者リスト [復職の処理] ボタンをクリックします。 [人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [現職復帰対象者名簿], 現職復帰候補者リスト [現職復帰の処理] ボタンをクリックします。	HR_RUNCTL_LAY HR_RUNCTL_REINSTAT

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HRLAY008 復職の後処理	復職/現職復帰処理ページで復職プロセスまたは現職復帰プロセスを実行すると、このレポートが作成され、復職対象または現職復帰対象の従業員の一覧が出力されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [復職対象者名簿], 復職候補者リスト [復職の処理] ボタンをクリックします。 [人事・労務管理], [労使関係], [一時解雇と復職], [現職復帰対象者名簿], 現職復帰候補者リスト [現職復帰の処理] ボタンをクリックします。	HR_RUNCTL_REINSTAT
OHS002 懲戒・指導措置サマリ	指定した期間内に従業員に対してとられた全ての懲戒・指導措置のサマリが出力されます。このレポートには、日付別、問題行為別、従業員別に措置が出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [懲戒・指導措置サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS004 苦情詳細	会社に対して正式に申し立てられた苦情に関する詳細な情報が出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [苦情詳細]	RUNCTL_OHS_NONE
OHS006 苦情サマリ	会社に対して正式に申し立てられた苦情とその苦情に関連付けられた措置と解決策のサマリが出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [苦情サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
PER009 組合員リスト	(アメリカ/カナダ機能) 各組合組織とその組合員である従業員の一覧が出力されます。 このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュプロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [組合員リスト]	PRCSRUNCNTL
PER053 雇用機会均等 ITA	このレポートは、2 年ごとに提出され、8 つの異なるテーブルから構成されています。従業員が 100 人以上いる会社は全て、このレポートを提出するように義務付けられています。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [雇用機会均等 ITA]	RUNCTL_PER053

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER059 組合レポート ITA	(ITA) イタリアの組合レポートは 2 種類あります。組合レポートを実行して、従業員と従業員情報のリストを組合別に作成できます。また、カテゴリ別に各組合に所属する従業員数を出力することもできます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [組合レポート ITA]	RUNCTL_PER059
PER061 労使関係関連文書	入力されたデータと選択された文書タイプに基づいて、さまざまな労使関係関連文書が作成されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [レポート], [労使関係関連文書]	RUNCTL_PER061
WP001 賃金引上対象従業員	賃金引上処理プロセスで引き上げの対象となる全ての従業員の一覧が作成されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [賃金引上], [賃金引上処理], [賃金引上処理]	RUN_UPD_WP_ADV C
WP002 例外	特定の賃金引上実行 ID グループに属する従業員の中から、例外が未承認となっている従業員が検索され、例外のタイプと共に出力されます。	[人事・労務管理], [労使関係], [賃金引上], [賃金引上例外レポート], [例外レポート]	RUN_WP002

ポジション管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR025 (USF) アクティブ/非アクティブ ポジション	アクティブなポジション、非アクティブなポジション、またはその両方について、選択内容に従い、ポジションに関連した最新データが出力されます。(BI Publisher)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], アクティブ/非アクティブ ポジション USF	RUNCTL_FGHR025
FGHR026 (USF) ポジション歴任者	組織内の現職者およびそれまでの歴任者全てのリストが、ポジション別に最新の現職者から順に出力されます。各歴任者について、ポジションに就いた日付とポジションから退任した日付、および就任時の給与と退任時の給与が出力されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], ポジション歴任者 USF	RUNCTL_FGASOFDT

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR027 (USF) アクティブ ポジション の履歴	組織内のアクティブなポジション全てに関し、ポジションに関連付けられた現在および過去のデータが全て表示されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], アクティブ ポジションの履歴 USF	RUNCTL_FGASOFDT
FGHR028 (USF) ポジションの例外/未更新	ポジション データ コンポーネントおよび現職者の職務データ コンポーネントで共通するフィールドのデータが検証されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], 例外/上書き USF	RUNCTL_FGHR028
FGOCC800 (USF) 職務系列	職務系列テーブルの詳細が出力されます。(BI Publisher)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], 職務系列 USF	PRCSRUNCNTL
FGOF8 (USF) OF8 レポート	このオプションのフォームには、職務、職務系列、等級、組織構造、認定ブロック、その他のポジション関連情報などのポジション情報を識別するための標準化されたメカニズムが出力されます。	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], OF8 レポート USF	RUNCTL_FGOF8
FGPER815 (USF) ポジション名テーブル	ポジション名テーブルのリストが出力されます。(BI Publisher)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], ポジション名テーブル USF	PRCSRUNCNTL
FGPER823 (USF) 職務コード	全ての職務コードと有効日のリストが出力されます。	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], 職務コード USF	PRCSRUNCNTL
FGHR010 (USF) 空きポジション	予算計上済みで現在欠員のある組織内のポジションが全て出力されます。	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], 空きポジション USF	RUNCTL_FGHR010
POS001 ポジション ステータス	組織内のポジション タイプの一覧、および人員が割り当てられているポジションと欠員のあるポジションが全て出力されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [ポジション ステータス]	RUNCTL_ASOFDATE
POS002 アクティブ/非アクティブ ポジション	アクティブなポジション、非アクティブなポジション、またはその両方について、選択内容に従い、ポジションに関連した最新データが出力されます。(BI Publisher)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [アクティブ/非アクティブ ポジション]	RUNCTL_POS002

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
POS003 ポジション歴任者	組織内の現職者およびそれまでの歴任者全てのリストが、ポジション別に最新の現職者から順に出力されます。各歴任者について、ポジションに就いた日付とポジションから退任した日付、および就任時の給与と退任時の給与が出力されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [ポジション歴任者]	RUNCTL_ASOFDT_COMP
POS004 アクティブ ポジションの履歴	組織内のアクティブなポジション全てに関し、ポジションに関連付けられた現在および過去のデータが全て表示されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [アクティブ ポジションの履歴]	RUNCTL_ASOFDATE
POS006 組織レポートの作成	組織内のポジション間の従属関係がレベル別 (該当する場合) に出力されます。(SQR) このレポートを実行する前に、ポジション ツリー構造の作成プロセスを実行して、システムに入力されたポジションをリンクし、このレポートに出力されるポジション階層を作成しておく必要があります。	[組織計画/管理], [ポジション管理], [組織構造の作成], [組織レポートの作成]	RUNCTL_POS006
POS006A ポジション構造の構築	システム内のポジションがリンクされ、組織レポートの作成レポートに出力されるポジション間の階層が作成されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [組織構造の作成], [ポジション構造の構築]	RUNCTL_ASOFDATE
POS007 空きポジション	予算計上済みで現在欠員のある組織内のポジションが全て出力されます。(BI Publisher, SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [空きポジション]	PRCSRUNCNTL
POS008 ポジションの例外/未更新	ポジション データ コンポーネントおよび現職者の職務データコンポーネントで共通するフィールドのデータが検証されます。(SQR)	[組織計画/管理], [ポジション管理], [ポジション レポート], [ポジションの例外/未更新]	RUNCTL_POS008

公認資格認定管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PCMP002 公認資格認定プラン	社内認定プランの詳細が出力されます。	[職場環境保全], [公認資格認定], [レポート], [社内認定プラン]	RUN_CNTL_PCMP2
PCMP003 認定対象者審査	認定対象者審査の詳細が出力されます。	[職場環境保全], [公認資格認定], [レポート], [認定対象者審査]	RUN_CNTL_PCMP3
PCMP004 認定対象者評価	認定対象者評価の詳細が出力されます。	[職場環境保全], [公認資格認定], [レポート], [認定対象者評価]	RUN_CNTL_PCMP4

プロフィール管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMM007 資格/免許更新	資格や免許の更新が必要な従業員の一覧が出力されます。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [免許/資格更新]	RUNCTL_CMM007
JPM_CATI_RPT コンテンツ カタログ リスト	選択したコンテンツ タイプまたは全てのコンテンツ タイプに対して設定されているコンテンツ アイテムが一覧表示されます。	[HCM 基本設定], [製品/業務別定義], [プロフィール管理], [コンテンツ カタログ], [コンテンツ カタログ リスト]	JPM_CATLIST_RPT
JPM_JPNP_RPT 非個人プロフィール	実行パラメータにリストされているそれぞれの非個人プロフィールの PDF ファイルを作成します。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [非個人プロフィール レポート]	JPM_NPPROF_RPT
JPM_JPPP_RPT 個人プロフィール	実行パラメータにリストされているそれぞれの個人プロフィールの PDF ファイルを作成します。実行パラメータに指定した日付の時点で有効な個人のプロフィールの全てのアイテムが一覧表示されます。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [個人プロフィール レポート]	JPM_PPROF_RPT
NVQ001 (GBR) UK NVQ - 従業員ステータス	NVQ に割り当てられた従業員と、そのステータスの一覧が出力されます。(BI Publisher)	[人材開発], [プロフィール管理], NVQ レポート UK, [NVQ 従業員ステータス]	PRCSRUNCNTL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
NVQ002 (GBR) UK NVQ - ユニット リスト	定義された NVQ ユニット全部の一覧が出力されます。(BI Publisher)	[人材開発], [プロフィール管理], NVQ レポート UK, [ユニット リスト]	PRCSRUNCNTL
NVQ003 (GBR) UK NVQ - NVQ リスト	定義された NVQ ユニット全部の一覧が出力されます。(BI Publisher)	[人材開発], [プロフィール管理], NVQ レポート UK, [NVQ リスト]	PRCSRUNCNTL
NVQ004 (GBR) UK NVQ - ユニット/エレメント リスト	NVQ ユニットに関連付けられたエレメントの一覧が出力されます。(BI Publisher)	[人材開発], [プロフィール管理], NVQ レポート UK, [NVQ ユニット/エレメント]	PRCSRUNCNTL
NVQ006 (GBR) UK NVQ - 従業員プラン	従業員の NVQ ユニット プランのサマリが出力されます。このレポートを作成するには、最初に NVQ プランの初期化プロセスを実行しておきます。(BI Publisher)	[人材開発], [プロフィール管理], NVQ レポート UK, [NVQ 従業員プラン]	PRCSRUNCNTL
PER011 コンピテンシー インベントリ	指定した部門内の従業員とそのコンピテンシーが出力されます。 新規に採用された従業員と彼らに関連付けられたコンピテンシーをこのレポートに含めるには、このレポートの実行前に従業員テーブルのリフレッシュ プロセスを実行しておく必要があります。従業員テーブルのリフレッシュ プロセスとコンピテンシー インベントリ レポートには、同じラン コントロール ID を使用します。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [コンピテンシー インベントリ]	RUNCTL_PER011
PER034 社内用履歴書	従業員の個人プロフィールに入力されているデータやその他の情報から、履歴書タイプのドキュメントが作成されます。このレポートには、従業員氏名、住所、職歴、学歴、給与履歴、業績、研修、特別プロジェクト、コンピテンシー、語学力、国籍、査証/労働許可証、免許/資格、専門組織の会員資格、および表彰/報奨などの情報が含まれます。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [社内用履歴書]	RUNCTL_PER034

変動報酬管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
VC001 実績報奨レポート	報奨が支給のためパブリッシュされた後に実行します。このレポートには、ユーザーが報奨割当ページで報奨に加えた変更が出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [実績報奨]	RUNCTL_VC_REP
VC002 予算レポート	プランに割り当てる資金額を計算する際に役立ちます。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [予算]	RUNCTL_VC_REP
VC003 報奨計算レポート	報奨計算処理の結果が出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [報奨計算]	RUNCTL_VC_REP
VC004 繰越レポート	繰越残高が出力されます。詳細レポートでは、プランの全従業員がグループ別に出力され、従業員の繰越残高も出力されます。要約レポートには、各グループの繰越残高の合計、およびプランの総計のリストが出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [繰越]	RUNCTL_VC_REP
VC005 従業員履歴レポート	このレポートでは、各従業員について、目標値、報奨値、ユニットが、プラン別および支給期間別に出力されます。また、各プランの合計値と合計ユニット数も出力されます。さらに、各従業員について全てのプランの総計を出力するよう選択することもできます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [従業員履歴]	RUNCTL_VC_EEHIS_RP
VC006 資金割当レポート	資金をグループに割り当てた後、任意の資金割当レポートを使ってプランの全グループへの資金の配分を確認および評価します。このレポートには、全てのデータがグループレベルのサマリ情報としてリストされます。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [資金割当]	RUNCTL_VC_REP

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
VC007 保証額レポート	従業員の保証額が出力されます。詳細レポートには、プランの全従業員がグループ別に出力されます。各従業員の保証金額も出力されます。要約レポートには、各グループの保証金額の合計、およびプランの総計がリストされます。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [保証額]	RUNCTL_VC_REP
VC008 金銭外報酬レポート	プランに基づいて従業員に与えられた報奨のユニット数、および従業員にとっての報奨価値を管理します。レポートには、初期計算のステータスを超える報奨だけがリストされます。詳細レポートには、プランの全従業員のグループ別リスト、目標報奨値、計算済報奨、金銭外ユニットの実績報奨、および実績報奨の金銭価値が出力されます。要約レポートには、各グループの金銭外ユニットの合計、およびプランの総計が出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [金銭外報酬]	RUNCTL_VC_REP
VC009 プラン履歴レポート	このレポートには、ラン コントロール ページで指定したプラン ID について、プラン定義に関する情報が出力されます。また、報奨値、比例配分、および承認者の情報が支給期間別に一覧出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [プラン履歴]	RUNCTL_VC_REP

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
VC010 差異レポート	目標報奨値と報奨割当ページに表示される [実績報奨] フィールドの値との差異が表示されます。 詳細レポートには、プランの全従業員がグループ別に出力され、従業員の目標報奨値、実績報奨値、および目標報奨と実績報奨の差異が出力されます。また、報奨がプランの最低支給値または最高支給値であるかどうかが表示されます。さらに、目標報奨の合計値、実績報奨値、各グループでのこの 2 つの値の差異、およびプランの報奨の総計が表示されます。 要約レポートには、目標報奨の合計値、実績報奨値、各グループでのこの 2 つの値の差異、およびプランの報奨の総計が出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [差異]	RUNCTL_VC_REP
VC011 組織/グループ目標レポート	指定した変動報酬プラン ID と期間 ID について、プラン目標加重が出力されます。また、プランの組織およびグループの全加重目標とその加重率および達成率も出力されます。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [組織/グループ目標]	RUNCTL_VC_REP
VC012 整合性レポート	ツリーから削除された従業員のリスト、およびその従業員が所属していたグループが出力されます。変動報酬の管理者または従業員の管理者はこの情報を使用して、各従業員が適切な報奨を確実に受けられるようにします。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [ツリー整合性]	RUNCTL_VC_REP
VC013 サブスクリプション エラーレポート	PeopleSoft Payroll for North America または PeopleSoft Stock Administration から、エラーが発生した報奨または却下された報奨が返されたという内容のワークフロー電子メール通知を受け取った後に、このレポートを実行します。	[報酬管理], [変動報酬], [報奨レポート], [サブスクリプション エラー]	RUNCTL_VC_REP

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
VCP001 ツリー メンバー重複レポート	ツリーに複数存在する従業員を検出します。これにより、グループのメンバーを確認したり、必要に応じて変更したりできます。	[報酬管理], [変動報酬], [変動報酬レポート], [ツリーのグループ メンバー重複]	RUNCTL_VCP001

法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HRS001 差別分析	採用や雇用状況に関する情報が出力されます。少数民族や女性の採用決定と白人男性の採用決定が比較されます。このレポートには、差別分析ページで指定した期間に記録された人事異動の対象となった従業員だけが出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [差別分析]	RUN_CNTL_REG
HRS002 職務グループ異動分析	組織に対する性別と民族グループ別の異動分析と、昇進パターンが出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [職務グループ異動分析]	RUN_CNTL_REG
OHS001 OSHA-200 ログ	特定のカレンダー年に発生した負傷と疾病の申し立て番号と詳細が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [OSHA-200 ログ]	RUNCTL_CALEDARYR
PER016 EEO-1 事業主情報	民営の組織に関する雇用機会均等 (EEO) 情報が出力されます。このレポートは、単一の事業所および複数の事業所のレポートについて、雇用機会均等委員会 (EEOC) の要件に準拠しています。単一事業所の事業主である場合、1つのレポートを提出します。複数の事業所の事業主の場合は、個別にレポートを提出する必要があります。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], [EEO-1 事業主情報]	RUNCTL_PER016
PER017 EEO-1 職務分析	民間セクターに対する従業員数の代わりに、標準職務カテゴリ別の従業員数が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], [EEO-1 職務分析レポート]	RUNCTL_PER017

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER019 雇用終了分析	年齢、勤続年数、性別、人種など、あらかじめ決められたグループを基に、組織内の雇用終了が分析されます。各グループ内の従業員数と退職者数が計算され、アクティブな従業員の総数に対する割合がそれぞれ示されます。また、雇用終了者率も示されます。 このレポートには、性別や民族グループが指定されていない従業員は含まれません。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [雇用終了分析]	RUN_CNTL_REG
PER022 EEO-5 職務分析	学校関連の標準職務カテゴリの従業員数が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], [EEO-5 職務分析]	RUNCTL_PER022
PER024 職務グループ分析	事業所、EEO 職務グループ、職務名、および給与等級別に従業員構成が分析されます。特定の職務名および給与等級に対して、少数民族の合計、および性別、各性別での民族別の合計が出力されます。この情報を使うと、職務グループ分けを会社の組織構造に照らし合わせて検討し、必要に応じて変更および追加することができます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [職務グループ分析]	RUN_CNTL_REG2
PER024A 職務グループ分析サマリ	各事業所内の職務グループ別に従業員構成が分析されます。少数民族の合計、および性別、各性別での民族別の合計が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [職務グループ分析サマリ]	RUN_CNTL_REG2
PER025 人材分析	職務名に基づいて部門別に採用状況が追跡されます。その職務名に関連付けられている給与等級や、その職務に就いている従業員および少数民族の総数が出力されます。このレポートは、採用時の差別のパターンを分析するために使用します。レポートには、各部門の少数民族の割合も出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [人材分析]	RUN_CNTL_REG2

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER027 VETS-100 処理	このレポートでは、職務カテゴリおよび採用勤務地ごとに、特別障害がある退役軍人、ベトナム戦争退役軍人、およびその他の保護対象の退役軍人の従業員数が出力されます。また、レポート期間中に採用された従業員、特別障害がある退役軍人、ベトナム戦争退役軍人、およびその他の保護対象の退役軍人の各総数も出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [VETS-100 レポート], [VETS-100 処理]	RUNCTL_PER027
PER027B VETS-100 分析	VETS-100 プロセスで作成された VETS-100 データに関するレポートが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [VETS-100 レポート], [VETS-100 分析]	RUNCTL_PER027C
PER027C VETS-100 送信	政府に提出するためのデジタル ファイルが作成されます。このレポートを実行する前に、VETS-100 プロセスを実行しておく必要があります。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [VETS-100 レポート], [VETS-100 送信]	RUNCTL_PER027C
PER030 職務グループ名簿	民族グループ、性別、着任日、給与等級、時給、月給、部門名、みなし初回採用日、採用時の職務名などの個人データおよび職務データが出力されます。従業員は、関連付けられた職務グループおよび事業所ごとにグループ分けされます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [職務グループ名簿]	RUN_CNTL_REG2
PER031 EEO-4 州政府と地方自治体	州政府および地方政府の規定フォーマットで雇用件数が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], [EEO-4 州政府と地方自治体]	RUNCTL_PER031
HR_RFWPRW_AE PRWORA - 新規採用レポート	電子レポートの作成に必要な条件、および従業員の新規採用後に事業主が新規採用の州登録簿に提供する必要のある情報を含む標準の州 (または連邦) フラット ファイルが出力されます (PRWORA 新規採用レポート)。このレポートは Adobe (PDF) ファイルとして作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [連邦 PRWORA 新規採用レポート]	RUN_RFWPRW_HR

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER040 IPEDS-S	IPEDS-S (Fall Staff Survey) レポートは、米国連邦政府プログラムから資金援助を受けている高等教育機関に義務付けられているレポートです。このレポートでは、従業員が常勤教職員、教職以外の常勤従業員、非常勤従業員、新規採用者などのタイプごとに分類されています。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [IPEDS-S]	RUNCTL_PER040

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

(AUS) オーストラリア法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER712AUS ANZSCO	ANZSCO レポート コードの一覧が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 AUS], [ASCO レポート]	PRCSRUNCNTL

関連リンク

[Maintaining the ASCO TablePeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

[Creating Reports for the PSMPCPeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

(BRA) ブラジル法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BRCGED01 CAGED レポート	CAGED (<i>Cadastro Geral de Empregados e Desempregados</i>) レポートにより、事業所別の月次の従業員の異動を含むファイルが作成されます。統合労働法で規定された雇用契約を持つ従業員の採用、解雇、転属などの異動があった事業所は全て、その異動をブラジル労働雇用省に報告する必要があります。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 BRA], [CAGED ファイル/レポート BRA]	CAGED_RC_BRA

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BREREG01 従業員登録	採用日や退職日などの従業員の雇用データや社会保障拠出期間についての情報を含むファイルが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 BRA], [従業員登録レポート BRA]	EMPL_REG_RC_BRA

(CAN) カナダ法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER101CN 雇用機会均等	カナダの雇用機会均等のソフトウェアにデータをエクスポートするためのインターフェイス ファイルが作成されます。(SQR)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 CAN], [レポート], [雇用機会均等]	RUNCTL_PER101CN
PER102CN 公用語データ ファイル CAN	公用語情報をレポートするためのインポート ファイルが作成されます。(SQR)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 CAN], [レポート], [公用語要件]	RUNCNTL_PER102CN
PER715CN 支給均等テーブル	職務評価情報が出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 CAN], [レポート], [支給均等]	PRCSRUNCNTL
PER716CN 全国職業分類コード	職務コードの分類に使用されている全国職業分類コードが出力されます。(BI Publisher, SQR)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 CAN], [レポート], [全国職業分類コード]	PRCSRUNCNTL

関連リンク

[Understanding Regulatory Requirements for Canada](#)[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

(FRA) フランス法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
DIS001 障害	会社が採用すべき障害者の理論上の数が算出され、臨時従業員や研修生、見習い生を除く障害を持つ従業員の一覧が出力されます。従業員が 20 人を超える会社向けのレポートです。(SQR) このレポートを実行する前に、INSEE (National Institute for Statistic and Economic Studies、国立統計経済研究所) テーブルに正確なコードを入力し、外部変数テーブルに正しい障害率コードを入力しておく必要があります。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [障害]	RUNCTL_DIS001_FRA
ELE001 選挙	従業員および管理者を対象とした従業員代表選挙の結果が出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [選挙モニター管理], [選挙レポート]	RUNCTL_ELE001
HRSHSFRA 個人別採用明細	新しく従業員を採用したときに提出する法定レポートです。このレポートは、従業員、会社、事業所の各テーブルの情報をを使用して作成されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [採用の明細]	SHS_FRA_RUN_CTL
REG001FR 月間従業員	会社内の特定の事業所における 1 か月間に発生した人事異動の一覧が出力されます。従業員が 50 人以上いる会社は全て、このレポートを提出する必要があります。(SQR) このレポートを実行する前に、契約タイプ グループ ページを使ってこのレポートに含める契約タイプを定義しておく必要があります。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [月間従業員]	RUNCTL_REG001_FRA
REG002FR 個人記載事項	会社内の特定の事業所の従業員が出力されます。このレポートは、組織内の特定の事業所、または組織内の全ての事業所に対して実行できます。(SQR)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [個人記載事項]	RUNCTL_REG002_FRA

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
REG003FR 国籍別従業員	社内の外国人の労働力が総合的に分析されます。(SQR)	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [国籍別従業員]	RUNCTL_REG003_FRA
REG004FR BIAF レポート	この法定レポートは、固定期間契約の従業員を対象としています。従業員の研修資格に関する詳細が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [必須レポート], [BIAF]	RUNCTL_BIAF_FRA
SOC001 従業員調査	組織内の従業員数や従業員の平均給与など、いくつかのインジケータの計算に基づいた企業の年次概要が作成されます。(BI Publisher) このレポートを実行する前に、従業員調査の集計 - 従業員調査パラメータ ページを使用して、従業員調査インジケータの計算プロセスを実行しておく必要があります。従業員調査の編集ページで計算結果を確認し、必要に応じて結果を更新します。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 FRA], [従業員調査], [従業員調査レポート]	RUNCTL_SOC001

関連リンク

[Understanding French Regulatory Requirements](#)[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

(GBR) イギリス法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HRS001UK 差別分析	イギリス独自の人種グループおよび性別ごとに、求人数と応募者数が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [差別分析]	RUNCTL_FROMTHRU
PER019UK 雇用終了分析	現在の従業員数および雇用終了者数が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [雇用終了分析]	RUNCTL_FROMTHRU
PER025UK 人材分析	部門内の職務名に基づいて、部門別またはその他の組織ユニット別に採用状況が追跡されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [人材分析]	RUNCTL_PER025UK

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER030UK 職務グループ名簿	職務グループの従業員が出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [職務グループ名簿]	RUNCTL_PER030UK
PER037UK 合同作業	職務コード、性別、および常勤またはパートタイム ステータス別に区分された従業員の内訳が作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [合同作業]	RUNCTL_ASOFDATA
UKNI001 北アイルランド	従業員、応募者、および内定者の宗教構成が出力されます。このレポートのフォーマットは、北アイルランドで営業する組織に対して提出が義務付けられている Monitoring Return レポートを模倣したものです。	[職場環境保全], [法定提出書類要件 GBR], [レポート], [北アイルランド公正雇用]	RUNCTL_UKNI

関連リンク

[Understanding U.K. Regulatory Requirements](#)[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

(USF) US 連邦政府法定提出書類用レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR012A PATCOB/関係者別 EEO グループ	雇用機会均等 (EEO) グループの分布および比較の詳細が PATCOB および関係者別に出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], PATCOB/関係者別 EEO グループ USF	RUNCTL_FGHR012
FGHR012B PATCOB/別組織別 EEO グループ	EEO グループの分布および比較の詳細が PATCOB および別組織別に出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], PATCOB/別組織別 EEO グループ USF	RUNCTL_FGHR012
FGHR013A 別組織別 VETS-100	退役軍人雇用レポートが別組織別に作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [VETS-100 レポート], 別組織別 VETS-100 USF	RUNCTL_FGHR013
FGHR013B 関係者別 VETS-100	退役軍人雇用レポートが関係者別に作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [VETS-100 レポート], 関係者別 VETS-100 USF	RUNCTL_FGHR013
FGHR014A 兵役番号/関係者別 EEO グループ	EEO グループの分布および比較の詳細が職業および関係者別に出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], 兵役番号/関係者別 EEO グループ USF	RUNCTL_FGHR014

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
FGHR014B 兵役番号/別組織別 EEO グループ	EEO グループの分布および比較の詳細が兵役番号および別組織別に出力されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [EEO レポート], 兵役番号/別組織別 EEO グループ USF	RUNCTL_FGHR014
FGHR019B CPDF エラー	CPDF エラー処理で検出された CPDF 編集エラーが出力されます。 このレポートを実行する前に、CPDF 編集処理を実行して COBOL プログラム FGPCPDF を実行します。このプログラムでは、CPDF ステータスおよび動的テーブルで検出された CPDF 編集エラーのテーブルが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], CPDF 処理 USF, [エラー レポート]	RUNCTL_FGHR019B
FGPY015 新規採用 USF - 新規採用抽出	連邦の新規採用を含むレポートが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], 新規採用 USF	GVT_RUN_NH_EXTRACT
FGPY016 新規採用エラー USF - 新規採用インポート	連邦の新規採用エラーを含むレポートが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], 新規採用エラー USF	GVT_RUN_NH_ERROR
FGSF113A SF113-A	連邦政府職員採用の月次レポートが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [SF113-A USF]	RUN_FGSF113A
FGSF113G SF113-G	常勤換算および勤務年度の職員採用の月次レポートが作成されます。	[職場環境保全], [法定提出書類要件], [差別撤廃措置レポート], [SF113-G USF]	RUN_FGSF113G

関連リンク

[Understanding Regulatory Requirements for U.S. Federal Agencies](#)
[PeopleSoft Human Resources Meet Regulatory Requirements](#)

休暇欠勤管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
ABS001 休暇欠勤リスト	従業員の休暇欠勤履歴に関する情報が出力されます。 注: このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュ プロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [休暇欠勤リスト]	RUNCTL_ABS001
ABS002 休暇欠勤期間	従業員の休暇欠勤期間数に関する情報が出力されます。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [休暇欠勤期間]	RUNCTL_FROMTHRU
ABS003 休暇欠勤時間数	従業員の休暇欠勤時間に関する情報が出力されます。 注: このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュ プロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [休暇欠勤時間数]	RUNCTL_ABS003
ABS004UK Bradford スコア	イギリス (GBR) の法定区域のみを対象に、従業員の休暇欠勤が出力されます。部門、従業員氏名、従業員 ID、従業員タイプ、職務名、休暇欠勤の合計数、合計日数、および Bradford スコアが含まれます。 このレポートの Bradford スコア列は、以下の情報に基づいて計算されます。 • 休暇欠勤の合計数 (A) • 休暇欠勤の合計日数 (B) • $A^2 \times B$ 注: このレポートを実行する前に、従業員テーブルのリフレッシュ プロセスを実行しておきます。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [Bradford スコア GBR]	RUNCTL_ABS004UK
ABS005NL 疾病登録 (1)	疾病の合計数、割合、頻度が算出されます。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [疾病登録 NLD]	RUNCTL_ABS005_NL

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
ABS006NL 疾病登録 (2) NLD	同上	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [疾病登録 NLD]	RUNCTL_ABS005_NL
ABS007NL 長期疾病 NLD	完全には回復しない長期疾病があり、オランダの法律 <i>Wet Poortwachter</i> の対象となる従業員のレポートが出力されます。従業員チェックリストを使用して、従業員の疾病のステータスを管理できます。 注: このレポートは、PeopleSoft ヒューマンリソース管理、または PeopleSoft Global Payroll for the Netherlands から実行することができます。またこのレポートは、GPNLD インストール フラグの設定に基づいて、ヒューマン リソース管理または給与計算のテーブルから休暇欠勤データを取得しています。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], [長期疾病 NLD]	RUNCTL_ABS007_NL
ABS702NL 統計作成	オランダにある会社の休暇欠勤統計を作成します。まずこのプロセスを実行してから、疾病登録レポートを作成します。特定の年月を指定して実行します。	[人事・労務管理], [休暇欠勤管理], [休暇欠勤レポート], 疾病統計の作成, [統計作成]	RUNCTL_ABS702_NL

安全衛生モニター管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
BRPPP01 PPP レポート BRA	事業所 ID、部門 ID、グループ ID、または従業員別にプロファイル情報をシステムに追加します。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [PPP レポート BRA]	PPP_RC_BRA
OHS001CN WCB フォーム 7	州の WCB フォーム 7 に必要な情報の一部が出力されます。このレポートを参照して、カナダのほとんどの州の WCB が規定している印刷フォームに必要な情報を書き写します。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [WCB フォーム 7 CAN]	RUNCTL_OHS001CN

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
RUNCTL_OHS001FR 保険事故レポート	事業主、事業所、負傷者、および証人や第三者などの事故の詳細情報が追跡されます。この情報を使って、フランスの公式レポートを作成します。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故 FRA]	RUNCTL_OHS001FR
OHS001GR 事故レポート	選択した事故について、負傷者、身体部位、医師と医療施設データ、負傷原因と内容、危険行為、危険環境、原因、改善/予防措置、および証人についての情報が出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [事故 DEU]	RUNCTL_OHS001GR
OHS001UK 負傷/危険事象	イギリスにおける安全衛生関連の法定レポートの作成に必要な保険事故についてのデータが出力されます。(BI Publisher) このレポートを実行する前に、SQR プロセスの RIDDOR データの収集 GBR プロセスを実行して、一時テーブルをロードします。このレポートは、公的レポートを正確に複製した BI Publisher レポートです。 注: このレポートを作成するには、まず、保険事故の詳細コンポーネントを使って保険事故の情報をシステムに登録しておく必要があります。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [負傷/危険事象 GBR]	RUNCTL_OHS_UK
OHS002GR レポート対象の事故/疾病	ドイツ用のレポート対象の事故/疾病レポートが出力されます。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [報告対象の事故/疾病 DEU]	RUNCTL_OHS002GR

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
OHS002UK 疾病レポート	イギリスにおける安全衛生関連の法定レポートの作成に必要な情報が表示されます。(BI Publisher) このレポートを実行する前に、SQR プロセスの RIDDOR データの収集 GBR を実行して、一時テーブルをロードします。このレポートは、公的レポートを正確に複製した BI Publisher レポートです。 レポートにデータを入力した後、署名してイギリスの安全衛生事務局 (HSE: Health and Safety Executive) に郵送します。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [疾病 GBR]	RUNCTL_OHS_UK
OHS003 保険事故被災者 - 非従業員	指定期間内に発生した保険事故に遭った非従業員の概要が出力されます。疾病または負傷を被ったかどうかも出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故被災者 - 非従業員]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS003GR 保険事故発生場所サマリ	移動、交通手段、薬物使用の有無、事故関係者の詳細情報などが出力されます。 このレポートは、ドイツのユーザーにのみ使用可能です。(SQR)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故発生場所サマリ DEU]	RUNCTL_OHS003GR
OHS004GR 疾病レポート	個人データ、国籍、子供、職務、医師などの個人に関する情報が出力されます。 このレポートを作成するには、まず、疾病管理コンポーネントを使って疾病の情報をシステムに入力する必要があります。また、疾病の詳細もシステムに正しく登録しておく必要があります。SQR プロセスの疾病レポート データの収集 (OHS004GR) を実行して、一時データ テーブルをロードしてから、レポートを実行します。 このレポートは、ドイツのユーザーにのみ使用可能です。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [疾病 DEU]	RUNCTL_OHS004GR

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
OHS008BC WCB 保険事故	カナダの労働基準局 (WCB) によって義務付けられている保険事故発生情報、休職と復職、責任者、応急処置などの特定の保険事故情報やその他の情報が出力されます。このレポートを参照して、WCB レポートのフォームに情報を記入します。(SQR)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [WCB 保険事故 CAN]	RUNCTL_OHS_INC
OHS010 保険事故サマリ	指定期間内に発生した保険事故のサマリが出力されます。このレポートには、全ての事故関係者、および事故関係者に対する OSHA レポートが提出されたかどうか出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS011 所在地別保険事故サマリ	特定の所在地、および指定期間内に発生した保険事故のサマリが出力されます。このレポートには、全ての事故関係者、および事故関係者が OSHA レポートの対象になる疾病または負傷を被ったかどうか出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [所在地別保険事故サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS012 保険事故請求サマリ	指定期間内に記録された保険事故請求のサマリが出力されます。このレポートには、請求タイプの金額別明細、請求タイプ別小計と請求別小計、さらにレポート期間内の全ての請求の合計金額が出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故請求サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS013 保険事故被災者 - 従業員	指定期間内に発生した保険事故に遭った従業員のサマリが出力されます。従業員が負傷または疾病のどちらを負ったかが出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故被災者 - 従業員]	RUNCTL_OHS_FROMTO
OHS014 保険事故による休業	指定したレポート期間内に保険事故に遭った従業員の休業日数や制限勤務日数の一覧が出力され、それらの日数が保険事故別に合計されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故による休業]	RUNCTL_OHS_FROMTO

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
OHS015 保険事故請求の詳細	特定の保険事故に対する請求、請求を行った従業員、請求の取扱機関、請求の詳細 (請求タイプ別) が出力されます。請求タイプ別の小計と請求自体の小計、保険事故の全請求の合計が順に出力されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [保険事故請求の詳細]	RUNCTL_OHS_INC
OHS016 車両事故サマリ	指定期間内に起きた保険事故にかかわった車両のサマリが出力されます。車両および装置情報と事故関係者の関連情報が表示されます。(BI Publisher)	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [車両事故サマリ]	RUNCTL_OHS_FROMTO
PER002CH 事故レポート	スイスの法律で義務付けられている情報がスイスの全ての保険会社で承認されたフォーマットで出力されます。(SQR)。このレポートを使用して、会社が契約している事故処理を行う保険会社に提出する事故レポートを作成します。	[職場環境保全], [安全衛生管理], [レポート], [事故 CHE]	RUNCTL_PER002_CHE

キャリア プランと後任計画レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CARTRAIN 従業員研修プラン	キャリア目標を達成するための従業員の研修プランが出力されます (BI Publisher)。	[人材開発], [キャリア プラン], [キャリア レポート], [キャリア 研修]	RUNCTL_CAR002
FGHR022 (USF) 能力開発プラン	従業員の能力開発プラン (IDP) が出力されます。(SQR)。IDP には、従業員プロフィール、従業員コンピテンシー、従業員研修履歴、異動の適性、メンタリング、研修、その他特定の要育成分野、見積済費用のサマリ、実績費用のサマリ、および署名のセクションが含まれます。	[人材開発], [キャリア プラン], [キャリア レポート], [能力開発プラン], [IDP]	RUN_FGHR022

基本報酬管理と予算計画レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP001 給与構造	全ての給与等級が等級別に降順で出力されます。それぞれの等級について、支給される年間給与の最高額、中間額および最低額のリストが出力されます。中間額差の列には、各等級の中間額の差異がパーセントで表示されます。このレポートでは、上限額を下限額で割った値から 1 を引いた値が、給与レンジ比率として算出されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [給与構造]	RUNCTL_ASOFFDATE
CMP002 点数別給与等級	組織の全ての給与等級と、各等級内の全職務に対する給与データが、職務評価の点数順に出力されます。給与等級内の全ての職務名が職務評価の点数順に出力されます。評価点数を使って、組織内の各職務の職責に値が割り当てられ、それに従って各給与等級に給与額が割り当てられます。このレポートには、給与の調査情報と、関連する点数比率および中間額も出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [点数別給与等級]	RUNCTL_ASOFFDATE
CMP003 給与等級別相対比率分析	このレポートには、給与等級別の従業員および各等級の給与中間額が出力されます。従業員別に、職務コード、職務名、部門 ID が表示されます。レポートの対象となるのは、HR ステータスがアクティブ、休職、停職または休職 (有給) の従業員です。 最後の 2 列には、各従業員の年間給与と相対比率が計算されて表示されます。相対比率とは、従業員の給与額と給与等級の中間給与額を比較した値のことです。たとえば、従業員の現在の給与が中間金額と同じ場合、相対比率は 1.00、つまり中間金額の 100% ということになります。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [相対比率分析]	RUNCTL_ASOFFDATE

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP004 下限以下の給与分析	このレポートでは、給与額が下限額に満たない従業員を含む給与等級のリストが出力され、該当する下限額、その従業員の年間給与、および不足額が金額とパーセントで表示されます。レポートの対象となるのは、HR ステータスがアクティブ、休職、停職または休職 (有給) の従業員です。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プラン レポート], [下限以下の給与分析]	RUNCTL_ASOFDATA
CMP005 上限以上の給与分析	このレポートには、給与額が上限を超えている従業員について、職務コード、職務名、氏名、部門 ID、上限額、年間給与、および金額とパーセントで表された超過額が表示されます。レポートの対象となるのは、HR ステータスがアクティブ、休職、停職または休職 (有給) の従業員です。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プラン レポート], [上限以上の給与分析]	RUNCTL_ASOFDATA
CMP008 給与プラン/グループ別更新	このレポートは、給与プラン/グループ別更新のアプリケーション エンジン プロセスを実行した後に作成します。レポートには、従業員の過去および新規の給与パッケージが出力されます。データロード プロセス (HR_SP_CI) を実行すると、全てのデータが職務データのレコードにロードされます。 このレポートは、給与プラン/グループ別更新プロセスを実行するための3つのステップのうち、第2のステップとして実行します。これら3つのステップは全て、給与プラン/グループ別更新プロセスのラン コントロール ページを使用する際に、PeopleSoft プロセス スケジューラで実行できます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プラン管理], [給与プラン/グループ別更新]	RUNCTL_CMP008

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP010 職務コード別給与一括更新	データ ロード プロセス (HR_SP_CI) を実行して新規の職務レコードを実際に挿入する前に、従業員の職務レコードに対して行われる予定の給与管理プラン、給与等級、および給与ステップへの変更の内容が出力されます。このレポートには、従業員の過去と新規の給与管理プラン、給与等級、および給与ステップが出力されます。 このレポートは、職務コード別更新のアプリケーション エンジン プロセスを実行した後に作成します。レポートには、従業員の過去と新規の給与管理プラン、給与等級、および給与ステップが出力されます。データ ロード プロセス (HR_SP_CI) を実行すると、全てのデータが職務データのレコードにロードされます。 このレポートは、職務コード別更新プロセスを実行するための3つのステップのうち、第2のステップとして実行します。これら3つのプロセスは、職務コード別更新プロセスのラン コントロール ページを使用する際に、PeopleSoft プロセス スケジューラで実行できます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プラン管理], [職務コード別更新]	RUNCTL_CMP010
CMP011 従業員別給与履歴	指定した期間における従業員の給与変更が出力されます。各給与変更について、関連する異動区分、有効日、職務コード、職務名、給与等級、給与レート、変更金額および変更率が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与履歴レポート], [従業員別給与履歴]	RUNCTL_CMP011

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
CMP014 グループ別給与履歴	指定した期間におけるグループ内の従業員の給与変更が出力されます。各給与変更について、関連する異動区分、有効日、職務コード、職務名、給与等級、給与レート、変更金額および変更率が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与履歴レポート], [グループ別給与履歴]	RUNCTL_CMP014
CMP020JP (JPN) 昇給シミュレーション	昇給シミュレーション プロセスの結果が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [昇給率による昇給 JPN], [昇給シミュレーション レポート]	RUN_SALREPORT_JPN
LMS001、LMS002 予測給与	シナリオで定義されているイベントの予測期間での影響、および 2 つの期間にわたる給与と人員数の変動値 (LMS002: 変動値) が分析されます。	[報酬管理], [給与予測 FRA], [予測プロセス], [予測給与レポート]	RUNCTL_LMS_REPORT
LMS003 シナリオ比較	2 つのシナリオが比較されます。	[報酬管理], [給与予測 FRA], [予測プロセス], [シナリオ比較レポート]	RUNCTL_LMS_REPORT
LMS004 クラスなしレート コード	給与レート コード クラスが関連付けられていない給与レート コードが出力されます。 給与予測計算の機能は、各従業員に割り当てられた給与レート コードにクラスが関連付けられていないと正しく機能しません。従業員の給与パッケージに含まれている全ての給与コンポーネントに給与レート コード クラスが関連付けられているかを確認します。このレポートは、計算処理を実行する前に実行します。	[報酬管理], [給与予測 FRA], [予測プロセス], [クラスなしレート コードレポート]	RUNCTL_LMS_RATE_CL
PER008 考課状況確認	グループ内の従業員に対する全ての人事考課が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [人事考課履歴], [考課状況確認]	RUNCTL_PER008
PER012 部門別給与	このレポートには、部門別の従業員リストがアルファベット順に出力され、基本的な職務データ情報、および各従業員の給与レートの内訳が表示されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与履歴レポート], [部門別給与履歴]	PRCSRUNCTL_LC_HR

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER013 給与変更従業員	指定した期間内に給与レートが変更された従業員の一覧が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与履歴レポート], [給与変更従業員]	RUNCTL_PER013
PER023 給与履歴	指定した期間における従業員の給与変更が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与履歴レポート], [会社別給与履歴]	RUNCTL_PER023
PER041 特別昇給レポート	能力調査グループの従業員に対する特別昇給とその承認ステータスが出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [特別昇給], [特別昇給レポート]	RUNCTL_SP_MERIT
PER062JP (JPN) 昇格候補者一覧	入力した等級から昇格する資格のある従業員が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [昇格候補者一覧 JPN]	RUNCTL_PER062_JPN
PER706A 給与等級テーブル	給与管理プランおよび給与等級、名称、有効日、通貨コード、各等級に対する時給、日給、月給、年間給の上限額、下限額、中間額が出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [給与等級]	PRCSRUNCNTL
PER706B 給与等級/ステップ テーブル	給与プラン、給与等級、給与ステップ、給与等級の名称および有効日が出力されます。また、各コンポーネントの時給、日給、月給、年間給与の範囲が、通貨および支給周期と共に出力されます。	[報酬管理], [基本報酬], [給与プランレポート], [給与等級/ステップ]	RUNCTL_PER706B

パフォーマンス管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HEP001 記入票未作成者一覧	従業員グループ (グループ ID) ごとに記入票未作成者の一覧、該当の記入票のタイプおよび期間が出力されます。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [記入票未作成者一覧]	RUNCTL_EP_RPT
HEP002 記入期日遅延者一覧	期日が過ぎている管理者記入票の一覧が出力されます。	[人材開発], [プロフィール管理], [レポート], [記入期日遅延者一覧]	RUNCTL_EP_RPT

総合人件費レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
TC001 従業員別人件費内訳	各従業員の全ての人件費の一覧が従業員に配布できる形式で出力されます。	[報酬管理], [総合人件費], [総合人件費の表示], [従業員別人件費内訳レポート]	TC_BEN_RUN_CNTL
TC002 グループ人件費合計	指定したグループに属する各従業員についての集計情報が出力されます。	[報酬管理], [総合人件費], [総合人件費の表示], [グループ別人件費合計レポート]	TC_GRP_RUN_CNTL
TC003 グループ別人件費明細	指定したグループに属する各従業員についての給与タイプの詳細情報が出力されます。	[報酬管理], [総合人件費], [総合人件費の表示], [グループ別人件費明細レポート]	TC_GRP_RUN_CNTL

教職員イベントの管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
HRH905CN 統計用カナダ常勤調査	カナダ統計局調査の作成コンポーネントを使用して作成されるカナダ統計局の教職員調査の結果が出力されます。	[人材開発], [教職員管理], 教職員データのロード CAN, 常勤調査統計 CAN レポート	RUNCTL_HPH905CN
PER045 教職員管理	活動など、従業員のイベント管理が出力されます。このレポートは、履歴書レポート作成のテンプレートとして使用します。	[人材開発], [教職員管理], イベント管理, 教職員履歴レポート, 教職員レポート	RUNCTL_EVENTS
PER046 ケース評価	ケース評価の詳細およびケース評価パスの低保証の詳細を取得します。	[人材開発], [教職員管理], [ケースの管理], ケース評価ステータス レポート, [ケース評価レポート]	RUNCTL_CASE_REVIEW
PER047 従業員在職期間ステータス	従業員の在職期間ステータスおよび所属部門の情報が出力されます。	[人材開発], [教職員管理], 在職期間レポート, 従業員在職期間ステータス	RUNCTL_EGPP03

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER050 在職期間計算	在職期間計算プロセスを通常実行モードで使用して作成された一時計算ファイルの計算済在職期間情報が出力されます。 このレポートを使用する前に、在職期間計算プロセスを 1 回 以上実行する必要があります。このレポートは、計算名に基づいて、またはビジネスユニット、部門、およびサービス計算グループに基づいて実行できます。 フレックス勤務の管理でもこのレポートが使用されます。	[人材開発], [教職員管理], 在職期間レポート, 在職期間計算, 在職期間計算	RUNCTL_EGPP05
PER051 在職期間リスト	在職期間ステータスや管理開始日など、従業員の詳細な在職期間情報が出力されます。 このレポートを使用すると、従業員を計算グループ別、および特定年度間の在職期間内で一覧表示できます。また、勤務時間の昇順または降順でソートすることもできます。	[人材開発], [教職員管理], 在職期間レポート, 在職期間年数, 在職期間リスト	RUNCTL_EGPP06

フレックス勤務管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER048 従業員サービスリスト	従業員が計算グループおよびサービス タイプ別に指定期間内で出力されます。勤務時間の昇順または降順でソートします。	[人事・労務管理], フレックス勤務 EG, 従業員サービスレポート	RUNCTL_EGPP04
PER049 従業員サービス計算結果	通常実行バックグラウンド処理の結果が出力され、勤続年数算入に関する詳細を含む一時ファイルがある全ての従業員が表示されます (通常実行モードでのプロセスの結果)。	[人事・労務管理], フレックス勤務 EG, 計算済サービスレポート	RUNCTL_EGPP05

海外赴任管理レポート

レポート ID およびレポート名	説明	ナビゲーション	ラン コントロール ページ
PER717 海外赴任従業員リスト	海外に赴任中の従業員が出力されます。(BI Publisher)	[人事・労務管理], [海外赴任管理], [赴任管理], 海外赴任従業員リストレポート	RUNCTL_PER717

PeopleSoft HCM レポート: 主要レポート

このトピックでは、各主要レポートについて詳細情報を提供します。レポートは、レポート ID 別に説明されています。

PER044 - 複数年功給コンポーネント - 基本レポート

このレポートでは、年功給レートコードのオリジンについて、以下の情報が提供されます。

- 年功給レートコードに関連付けられたグループに所属しているという理由で、従業員が年功給コンポーネントを受け取る場合は、その年功給レートコードに対応するグループ ID が表示されます。
- 全従業員に年功給レートコードが関連付けられているという理由で、従業員が年功給コンポーネントを受け取る場合は、その年功給レートコードのオリジンとして *[全て]* が表示されます。
- 年功給レートコードが手動で追加されたという理由で、従業員が年功給コンポーネントを受け取る場合は、年功給レートコードのオリジンとして *[手動で追加]* が表示されます。

関連リンク

[Understanding the Update Seniority Pay Process](#)PeopleSoft Human Resources Administer Compensation

PER033 - 市民権/国/査証の検証 - 人事・労務管理

レポートでは、6つの異なるタイプのデータの整合性が検証されます。特に、以下のデータの組み合わせが存在する場合には、職務レコードが検出されます。

市民権ステータス	• 自国または帰化 • 外国または帰化
市民権保持国	• 外国 • 自国
査証記録	• 査証あり • 査証なし

レポートは、カテゴリごとにページが分けられます。

関連リンク

[Managing Citizenship and Visa or Permit Information](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

PER058 - 主雇用レコードの検証 - 人事・労務管理

主雇用レコードと副雇用レコードを設定する主な理由の 1 つは、法定レポートに使用するための正確なデータを作成することです。従業員の主雇用レコードのデータのみを使用してレポートを作成すると、差別撤廃措置や官公庁に提出するレポート用に正確な従業員数を出力できます。PeopleSoft ヒューマン リソース管理では、主雇用レコードと副雇用レコードを指定できるという柔軟性を提供していますが、レポートデータの正確さについて、妥協が必要となる場合があります。従業員に主雇用レコードが指定されていない場合、複数の主雇用レコードが指定されている場合、または主雇用レコードが非アクティブに設定されている場合なども考えられます。定期的に職務レコードを確認し、このような矛盾点を修正することをお勧めします。主雇用レコードの検証レポートを使えば、複数の雇用レコードを持つ従業員について、主雇用レコードの整合性を検証することができます。

このレポートには、職務レコードに以下の問題がある全ての従業員が出力されます。

- 複数の主雇用レコード: 複数のアクティブな職務が同時に主雇用レコードとして指定されている場合。
- 主雇用レコードの雇用終了: 主雇用レコードに関する雇用は終了したが、非主雇用レコードの職務がアクティブになっている場合。
- 主雇用レコードなし: 兼任している職務中に主雇用レコードとして指定されているものがない場合。

関連リンク

[Running Job Data Reports](#)[PeopleSoft Human Resources Administer Workforce](#)

PER066JP - 人員配置表 JPN

このレポートには、従業員が部門別、および役職別に一覧表示されます。兼務している従業員も含まれます。

レポートを実行するには、1 つ以上の部門ツリーを作成しておく必要があります。部門セキュリティのため、通常、DEPT_SECURITY ツリーが既にあります。このツリーを選択するか、DEPARTMENT ツリー構造の下に部門階層を新規で作成します。

このレポートは部門別にソートされ、以下の順序で表示されます。

- 役職ツリーに登録された役職を持つ従業員がツリー順に表示されます。
- 役職ツリーに登録されていない役職を持つ従業員が役職のアルファベット順に表示されます。
- 役職を持たない従業員が、従業員 ID のアルファベット順に表示されます。

注: ソートに使用される役職ツリーは、辞令レポートと通達レポートに使用されているものです。システムで使用される役職ツリーは、SUPERVISOR_LEVEL という名前で定義されている必要があります。役職ツリーがこの名前で定義されていないと、ソートは役職のアルファベット順になります。

POS006A - ポジション ツリー構造の作成 - ポジション管理

ポジション データ コンポーネントでポジション間の従属関係を全て設定した後に、この SQR を実行します。ポジション ツリー構造の作成レポートでは、ORG_CODE フィールドに値が入力され、ポジションが階層定義されます。このレポートを実行すると、指定した日付、またはそれ以前の有効なデータを使ってポジション構造が更新されます。

最初に従属関係を入力するとき、新しいポジションを追加するとき、および既存のポジション間の従属関係を変更するときは、必ずこのレポートを実行します。最初にこの SQR を実行しないと、ポジションインデントレポート (POS006) は実行できません。

ポジション ツリー構造の作成レポートを実行すると、ユーティリティの出力結果を説明する診断メッセージが表示される場合があります。表示されるメッセージは、次のとおりです。

- ルート ノードのポジションが見つからない場合 (直属上司ポジションが自分自身であるポジション) は、エラー メッセージが表示されます。ルート ノードがないと、レポートは作成されません。
- ポジション 1 の直属上司ポジションにポジション 2 が設定されており、ポジション 2 の直属上司ポジションにポジション 1 が設定されているように、従属関係がループの状態になっている場合は、警告メッセージが表示され、該当するポジションはレポートに出力されません。
- ポジションの [直属上司のポジション] フィールドにデータがない場合は、警告メッセージが表示されます。該当するポジションはレポートに出力されません。

関連リンク

[Running the Organizational Structure Reports](#)PeopleSoft Human Resources Manage Positions

POS008 - ポジションの例外/未更新 - ポジション管理

相互更新が自動的に行われないように設定した現職者の職務データを出力したり (未更新レポート)、その他の理由で現職者の職務データとポジション データが一致していない例外だけを出力したり (例外レポート) することができます。

例外/未更新レポートには、ポジション名とそのポジションに割り当てられた従業員の氏名、およびポジション データ コンポーネントと職務データ コンポーネントで共通するフィールドのデータが表示されます。レポートの対象となるのは、ヒューマン リソース管理ステータスが [アクティブ]、[休職]、[停職]、または [休職 (有給)] の従業員です。

例外レポートを実行する際、現職者の雇用データの肩書きが、ポジション データのポジション名と一致しない場合、ポジション名の横にアスタリスク (*) が出力されます。また、現職者の職務データとポジション データの間で郵便箱データが一致しているかによって、[郵便箱] 列に [一致] または [一致なし] が表示されます。

関連リンク

[Verifying Position DataPeopleSoft Human Resources Manage Positions](#)

PKG006 - 給与パッケージ FBT 照合 - 給与パッケージ管理

レポートを作成するには、フリンジ ベネフィットの全てのカテゴリと、その課税対象額を特定する必要があります。FBT 照合レポートでは、パッケージ コンポーネント テーブルのコンポーネントで定義するコンポーネント タイプに基づいて、全ての FBT カテゴリが特定されます。コンポーネント タイプまたは FBT カテゴリごとに、FBT 年度に付加給付を受け取った従業員が出力されます。また、付加給付の課税対象総額の見積と実績に関する情報も出力されます。これらの値は、従業員別に出 force され、コンポーネントごとに合計されます。

FBT 照合レポートで提供される情報とその他の管理システムからの情報を組み合わせて、オーストラリア税務署に提出する FBT 申告書を正確に作成することができます。

注: FBT 照合レポートには、パッケージ費用の計算時に算出された値が出力されます。FBT 照合レポートに出力される合計額が正確であることを確認するには、FBT 照合レポートの実行対象となる FBT 年度の最終日にパッケージ費用の計算を実行します。FBT 照合レポートを実行する前に、パッケージ費用の計算を完了しておく必要があります。

関連リンク

[Running Salary Packaging ReportsPeopleSoft Human Resources Administer Salary Packaging](#)

HRH905CN - カナダ統計局 FT 調査 - 教職員イベントの追跡

常勤およびパートタイムの大学教職員調査レポート フラット ファイルをカナダ統計局に発行した後、調査レポートをカナダ統計局から受け取ります。カナダ統計局 FT 調査レポートを使用して、結果をカナダ統計局のサマリと比較します。

レポートは 4 ページで構成され、各ページには、異なる選択条件に基づいた常勤統計用の給与計算が含まれています。

- 管理職と医療カテゴリの両方が対象に含まれる。
- 管理職は対象に含まれ、医療カテゴリは除外される。
- 上級管理職は除外、医療カテゴリは対象に含まれる。
- 上級管理職と医療カテゴリの両方が対象から除外される。

VC011 - 組織/グループ目標 - 変動報酬管理

組織/グループ目標レポートは、目標測定対象期間の前または後に任意に実行できるレポートです。このレポートには、指定した変動報酬プラン ID と期間 ID についてプラン目標加重が出力されます。また、プランの全ての組織およびグループ加重目標と、その加重率および達成率も出力されます。

このレポートには、以下の情報が含まれます。

- 指定した変動報酬プラン ID と期間 ID に対するプラン目標加重
- プランに指定されている全ての組織加重目標、およびその加重率と達成率のリスト
- プランに指定されている全てのグループ加重目標 (グループ別)、およびその加重率と達成率のリスト

グループに目標が設定されていない場合、レポートでは子グループの目標が親グループの目標である旨が示されます。

関連リンク

[Running the Organization and Group Goals Report](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Variable Compensation](#)

VC013 - サブスクリプション エラー レポート - 変動報酬管理

このレポートには、指定した変動報酬 (VC) プラン ID および 支給期間 ID について、エラーが発生した、または却下された報奨がある従業員が出力されます。エラーが発生した、または却下された各報奨について、従業員、報奨値、報奨ステータス、却下理由 (給与計算のみ) が出力されます。

給与計算の有効な却下理由コードは以下のとおりです。

- 無効支給コード (無効 EC)
- 無効従業員 ID & レコード番号 (無効 EE)
- 無効通貨コード (無効 CC)
- 既存のトランザクションあり (トランザクション)
- 金額が給与上限を超過 (上限超過)
- 全て却下 - ユーザー リクエスト (全て却下)

関連リンク

[Reporting on Award Payout and Distribution](#)[PeopleSoft Human Resources Manage Variable Compensation](#)

BEN004 - 貯蓄投資配分 - 基本福利厚生

このレポートには、貯蓄プランを含む福利厚生プログラムに加入している従業員について、指定日までに行われた全ての控除、および合計会社拠出額が出力されます。投資可能金額の合計が投資配分ごとに分類されて、金額と合計に対するパーセントで出力されます。

各プラン タイプに対し、そのプラン タイプでの従業員の合計控除額および会社拠出額が示されます。このレポートは、会社、福利厚生プログラム、プラン タイプ、および福利厚生プランごとにページが分かれています。各合計額が示されます。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

BEN733 - 基本福利厚生データの検証 - 基本福利厚生

このレポートには、基本福利厚生ビジネス プロセスに関連する、問題のある可能性がある従業員データのサマリが出力されます。これにより、登録または変更の処理の際に表示される可能性があるエラーをキャッチすることができます。

雇用レコードのない従業員、職務レコードのない従業員、16 歳未満の従業員、補償契約した例外的な扶養家族がいる従業員、配偶者 (または他の扶養家族) と共に医療保険に加入している従業員、年齢超過扶養家族が補償対象になっている従業員、福利厚生プログラム テーブルで間違った医療保険が設定されている従業員などが検証対象となります。また、婚姻や扶養家族などの続柄に関する整合性も検証されます。

これらの検証は、加入者の登録前の導入時に実行し、プラン年の間に定期的に実行します。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

CBR005 - COBRA イベント レポート - 基本福利厚生

このレポートには、COBRA 受益者に関するデータがイベントレベルで出力されます。COBRA イベントが発生した全ての従業員の一覧が出力されます。各従業員の COBRA 資格ステータスの列には、"資格あり" (QL)、"資格なし" (NQ)、"資格なし/重複" (ND)、または "資格エラー" (QE) が示されます。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

CBR007 - COBRA 検証レポート - 基本福利厚生

このレポートには、COBRA 医療補償に登録されているアクティブな従業員、同じ扶養家族 ID で医療保険に加入している従業員と配偶者 (または他の扶養家族)、および超過年齢扶養家族を持つ従業員などに関する情報が出力されます。

このレポートを使用して、COBRA とアクティブな補償の間に重複があるかどうか、扶養家族が複数の従業員 ID で補償対象になっているかどうか、または超過年齢扶養家族が検出されていないかなどを分析することができます。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

CBR008 - COBRA 管理エラー - 基本福利厚生

このレポートには、COBRA プロセスの実行の結果生じるエラーについての情報が出力されます。COBRA イベントコンフリクト、有資格の福利厚生プログラムがないかまたは複数ある、重複 COBRA イベントが存在するなどのエラーが出力されます。

このレポートを使用して、COBRA プロセスの結果として表れるエラーを特定し、問題を解決することができます。また、オンラインでこれらのエラーを特定することもできます。レポートを印刷し、スタッフにリクエストして各エラーを照合しながら解決策を割り出します。これにより、全てのエラーが分析されたことを証明する監査証跡が作成されます。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

NDT004 - 401(k)/401(m) 差別禁止テスト - 基本福利厚生

401(k) または 401(m) のどちらのレポートを出力するかを指定します。

このレポートが年度途中に実行され、401 NDT ラン コントロールで予測パーセントが指定されている場合、予測済みの年度末支給、拠出金、および関連する ADP/ACP 結果が出力されます。

このレポートは、実態繰り延べパーセント (ADP) の再計算や差別禁止テストを通過したかどうかの判断を行うものではありません。このレポートは、NDT002 SQR または NDT003 SQR によって、これらのテストが処理されたことを想定しています。ただし、リミット テスト集計を使う必要がある場合、このレポートはこれらのテストを呼び出す唯一のメソッドとして機能し、このための個別の SQR はありません。

リミット テスト集計が呼び出された場合、各レポートには、リミット テスト集計合格/不合格ステータスと、401(m) および 401(k) の両方のテスト結果が出力されます。ラン コントロールが更新済みで、以下の SQR を起動していない場合、NDT004 を起動することはできません。

- *NDT001*: この SQR により、プラン タイプ、プラン名、福利厚生プラン名、福利厚生プラン ID、有効日、累計処理日、付与周期、勤続期間、特別計算ルーチン、プラン開始年、休暇残数の上限、および休暇繰越数の上限などの情報が出力されます。
- *NDT002*: この SQR を NDT001 の後に起動して、401(k) NDT の差別禁止テスト ラン コントロール テーブルの実際額と予測額を更新できます。
- *NDT003*: この SQR により、401(m) NDT の差別禁止テスト ラン コントロール テーブルの実際額と予測額を更新できます。

関連リンク

[PeopleSoft Human Resources Manage Base Benefits](#)

